

大正新宗教
大藏經
圖像

新宗教
大藏經
PDG

曼茶羅集 (三卷)

興然集 一三

京都大通寺藏本 (參考 甲本、高野山金剛三昧院藏本 乙本、上中二卷京都仁和寺)

藏本 丙本、下卷高野山光明院藏本)

〔卷 上〕

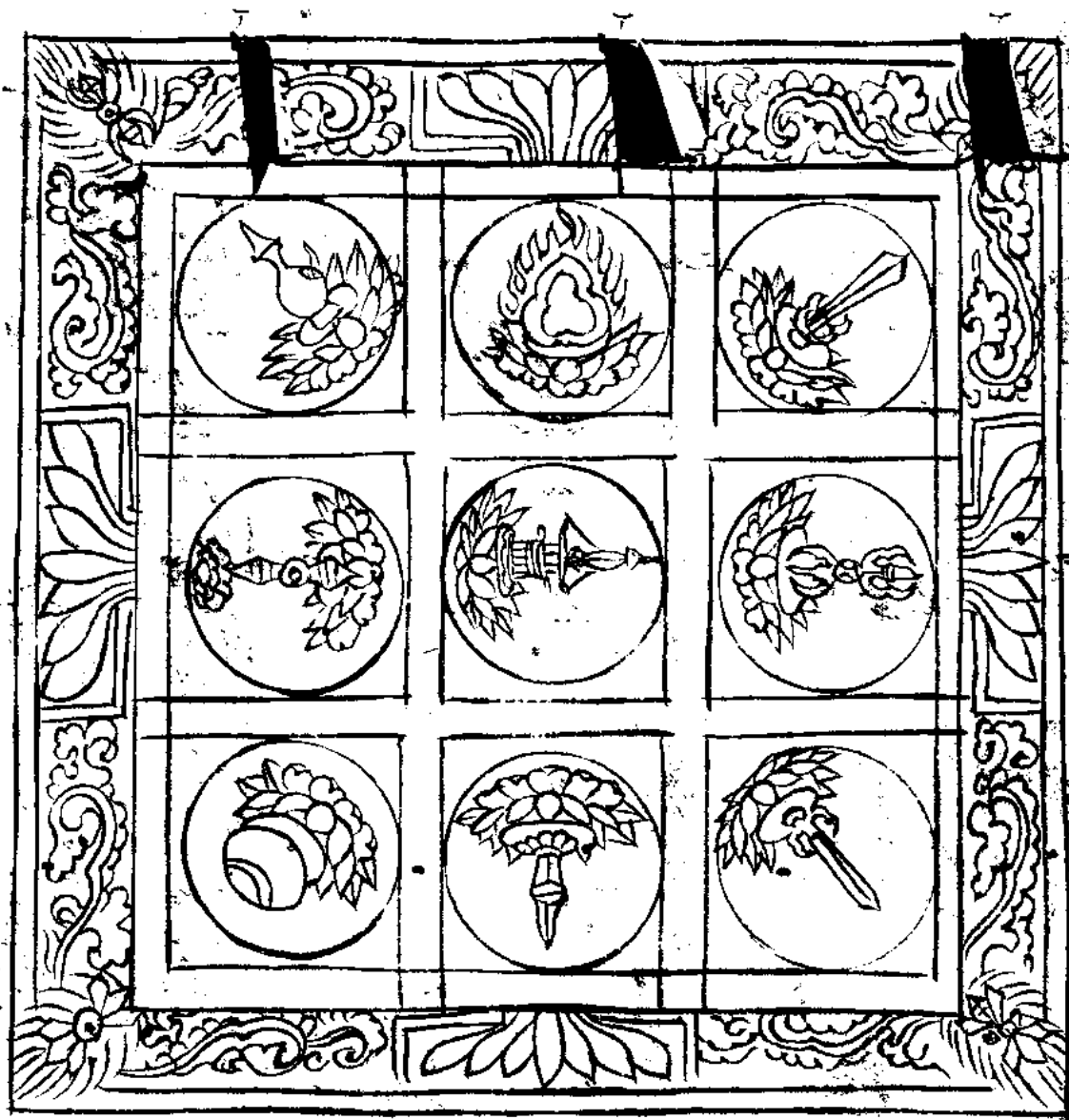
- 一 佛眼曼茶羅 (其 1) [cf. p. 33 參考圖像 No. 1] 二
- 二 佛眼曼茶羅 (其 2) [cf. p. 34 參考圖像 No. 2] 三
- 三 攝一切佛頂曼茶羅 (其 1) [cf. p. 35 參考圖像 No. 3] 二
- 四 攝一切佛頂曼茶羅 (其 2) [cf. p. 36 參考圖像 No. 4] 一
- 五 大勝金剛曼茶羅 (其 1) [cf. p. 37 參考圖像 No. 5] 二
- 六 大勝金剛曼茶羅 (其 2) [cf. p. 38 參考圖像 No. 6] 二
- 七 金輪曼茶羅 (其 1) [cf. p. 39 參考圖像 No. 7] 二
- 八 金輪曼茶羅 (其 2) [cf. p. 40 參考圖像 No. 8] 三
- 九 金輪曼茶羅 (其 3) 一
- 一〇 金輪曼茶羅 (其 4) 四
- 一一 尊勝曼茶羅 (其 1) [cf. p. 41-43 參考圖像 Nos. 9-11] 五
- 一二 尊勝曼茶羅 (其 2) [cf. p. 44 參考圖像 No. 12] 五
- 一三 尊勝曼茶羅 (其 3) [cf. p. 45-47 參考圖像 Nos. 13-15] 六
- 一四 仁王經曼茶羅 (其 1) [cf. p. 48 參考圖像 No. 16] 六
- 一五 仁王經曼茶羅 (其 2) [cf. p. 49 參考圖像 No. 17] 六
- 一六 孔雀經曼茶羅 (其 1) [cf. p. 50 參考圖像 No. 18] 六
- 一七 孔雀經曼茶羅 (其 2) 六
- 一八 孔雀經曼茶羅 (其 3) [cf. p. 51 參考圖像 No. 19] 六
- 一九 法華經曼茶羅 (其 1) 六
- 二〇 法華經曼茶羅 (其 2) [cf. p. 52 參考圖像 No. 20] 六
- 二一 法華經曼茶羅 (其 3) [cf. p. 53 參考圖像 No. 21] 六
- 〔卷 中〕
- 二二 金剛城曼茶羅 [cf. p. 54 參考圖像 No. 22] 七
- 二三 菩提場莊嚴經曼茶羅 [cf. p. 55-57 參考圖像 Nos. 23-25] 七

〔卷 下〕

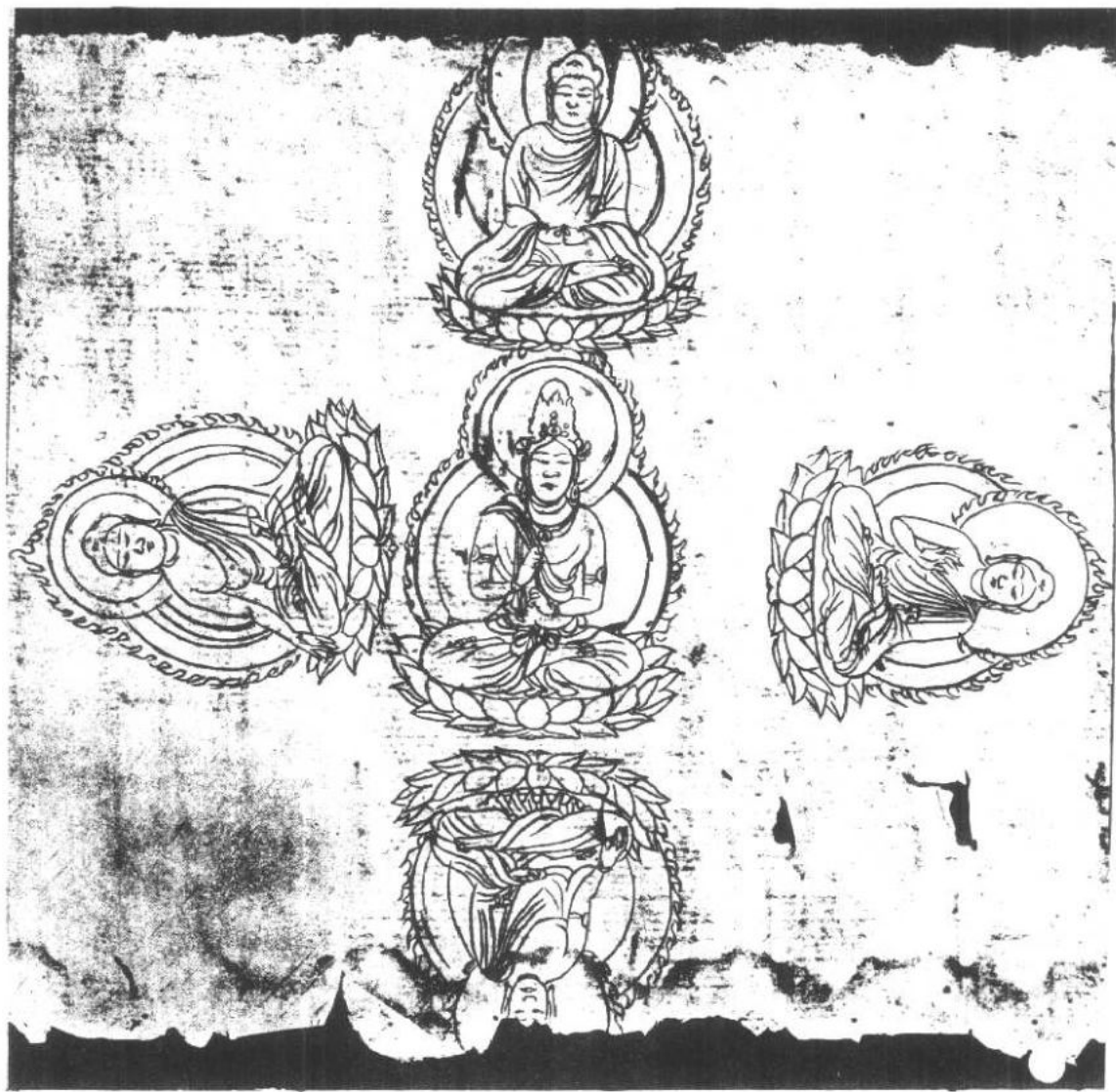
- 二四 出生無邊門經曼茶羅 二
- 二五 寶樓閣經曼茶羅 (其 1) [cf. p. 58 參考圖像 No. 26] 二
- 二六 寶樓閣經曼茶羅 (其 2) [cf. p. 59 參考圖像 No. 27] 二
- 二七 祈雨經曼茶羅 [cf. p. 60 參考圖像 No. 28] 二
- 二八 阿彌陀曼茶羅 [cf. p. 61 參考圖像 No. 29] 二
- 二九 釋迦曼茶羅 [cf. p. 62 參考圖像 No. 30] 二
- 三〇 般若菩薩曼茶羅 [cf. p. 63 參考圖像 No. 31] 二
- 三一 八字文殊曼茶羅 [cf. p. 64-67 參考圖像 Nos. 32-35] 二
- 三二 五字文殊曼茶羅 (其 1) [cf. p. 68 參考圖像 No. 36] 二
- 三三 五字文殊曼茶羅 (其 2) [cf. p. 69 參考圖像 No. 37] 二
- 三四 五字文殊曼茶羅 (其 3) 二
- 三五 五字文殊曼茶羅 (其 4) 二
- 三六 五字文殊曼茶羅 (其 5) [cf. p. 70 參考圖像 No. 38] 二
- 三七 一臂文殊曼茶羅 [cf. p. 71 參考圖像 No. 39] 二
- 三八 彌勒曼茶羅 (其 1) [cf. p. 72 參考圖像 No. 40] 二
- 三九 彌勒曼茶羅 (其 2) [cf. p. 73 參考圖像 No. 41] 二
- 四〇 虛空藏曼茶羅 [cf. p. 74 參考圖像 No. 42] 二
- 四一 五大虛空藏曼茶羅 [cf. p. 75 參考圖像 No. 43] 二
- 四二 五秘密曼茶羅 (其 1) [cf. p. 76 參考圖像 No. 44] 二
- 四三 五秘密曼茶羅 (其 2) [cf. p. 77 參考圖像 No. 45] 二
- 四四 五秘密曼茶羅 (其 3) [cf. p. 78 參考圖像 No. 46] 二
- 四五 五秘密曼茶羅 (其 4) [cf. p. 79, 80 參考圖像 Nos. 47-48] 二
- 四六 五秘密曼茶羅 (其 5) [cf. p. 81 參考圖像 No. 49] 二
- 四七 金剛王曼茶羅 [cf. p. 82 參考圖像 No. 50] 二
- 四八 理趣會曼茶羅 (其 1) [cf. p. 83 參考圖像 No. 51] 二



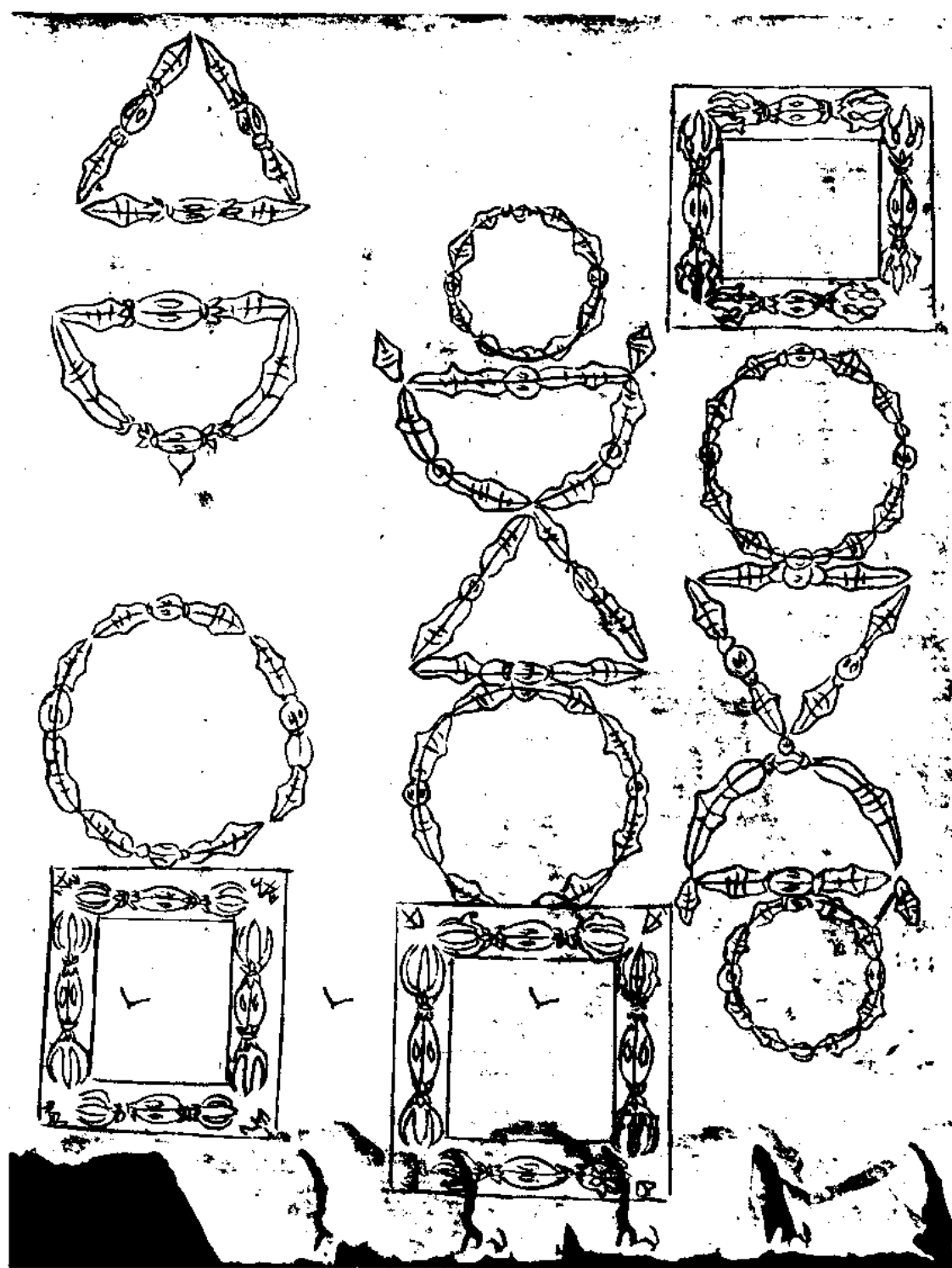
圖像 No. 1. 尊名未詳曼荼羅



圖像 No. 2. 尊名未詳三昧耶曼荼羅



圖像 No.3. 金剛界五佛



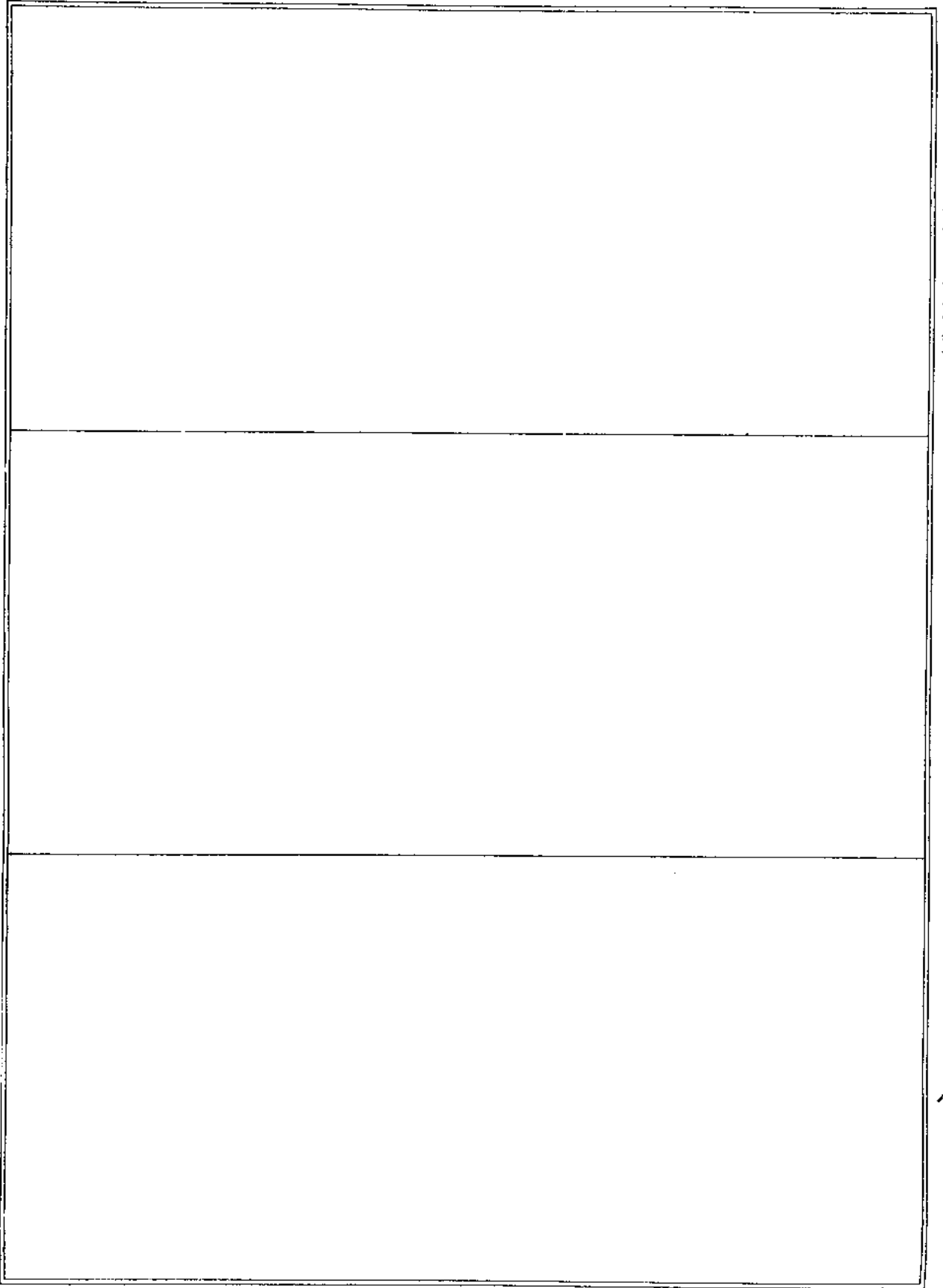
圖像 No. 4. 尊名末詳三昧耶曼荼羅



圖像 No. 5. 尊名未詳曼荼羅(中尊金剛界大日如來)



圖像 No. 6. 尊名未詳曼荼羅

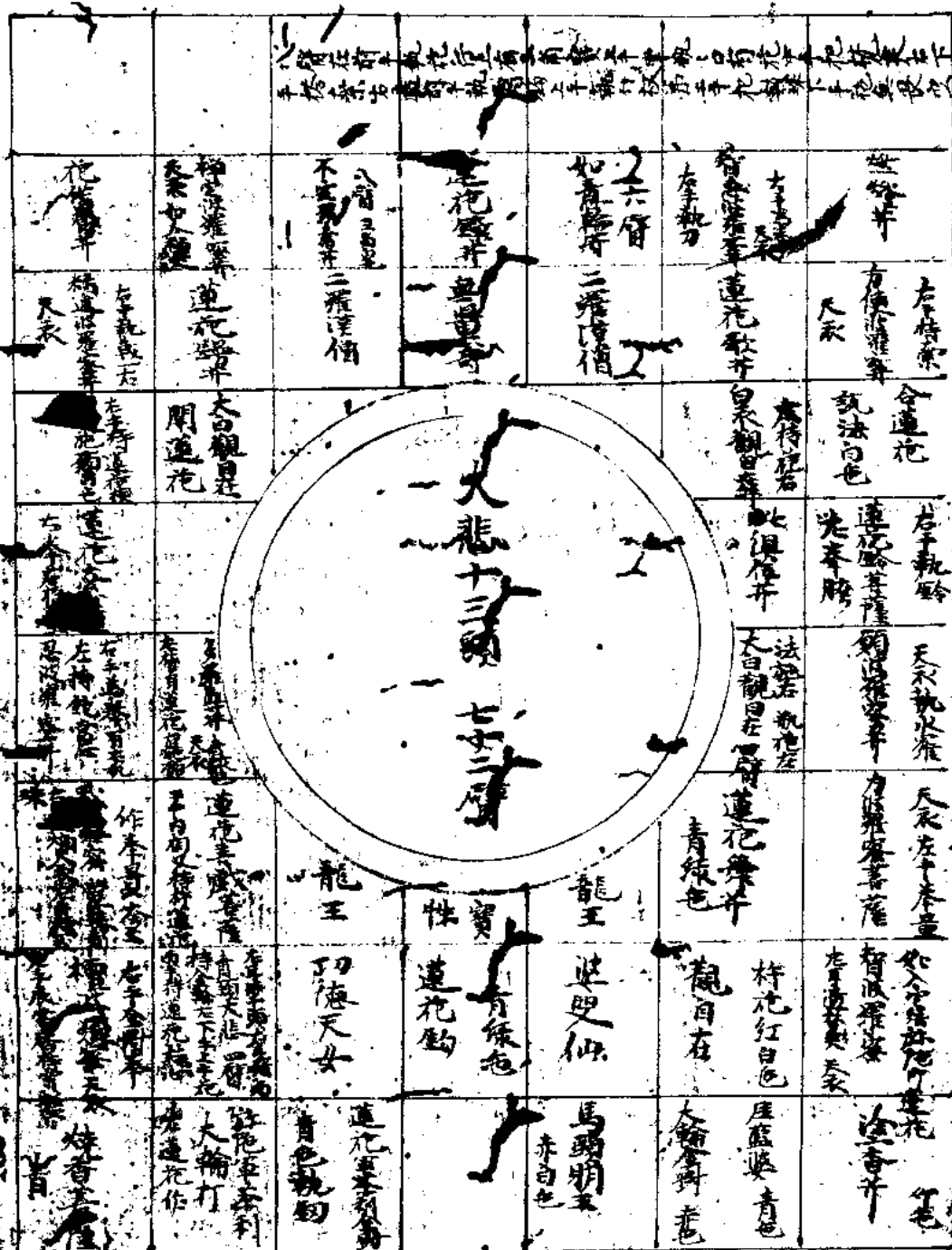


唐本曼荼羅（千臂軍荼利等）

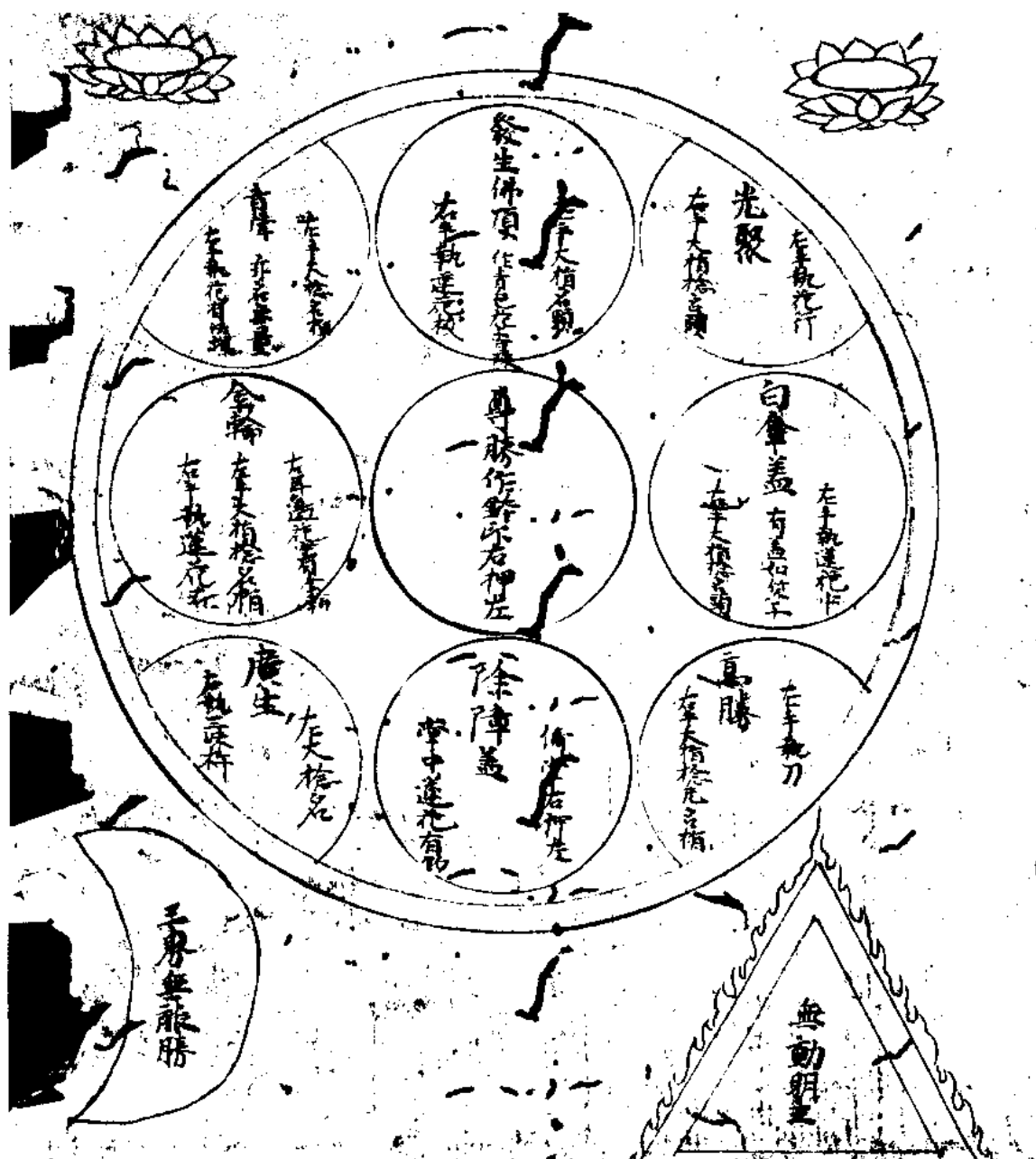
- | | | |
|---|-------------|---|
| 一 | 白傘蓋佛頂曼荼羅尊位 | 二 |
| 二 | 大悲（千手）曼荼羅尊位 | 三 |
| 三 | 尊勝曼荼羅尊位 | 四 |
| 四 | 千臂軍荼利 | 五 |



圖像 No. 1. 白傘蓋佛頂曼荼羅尊位



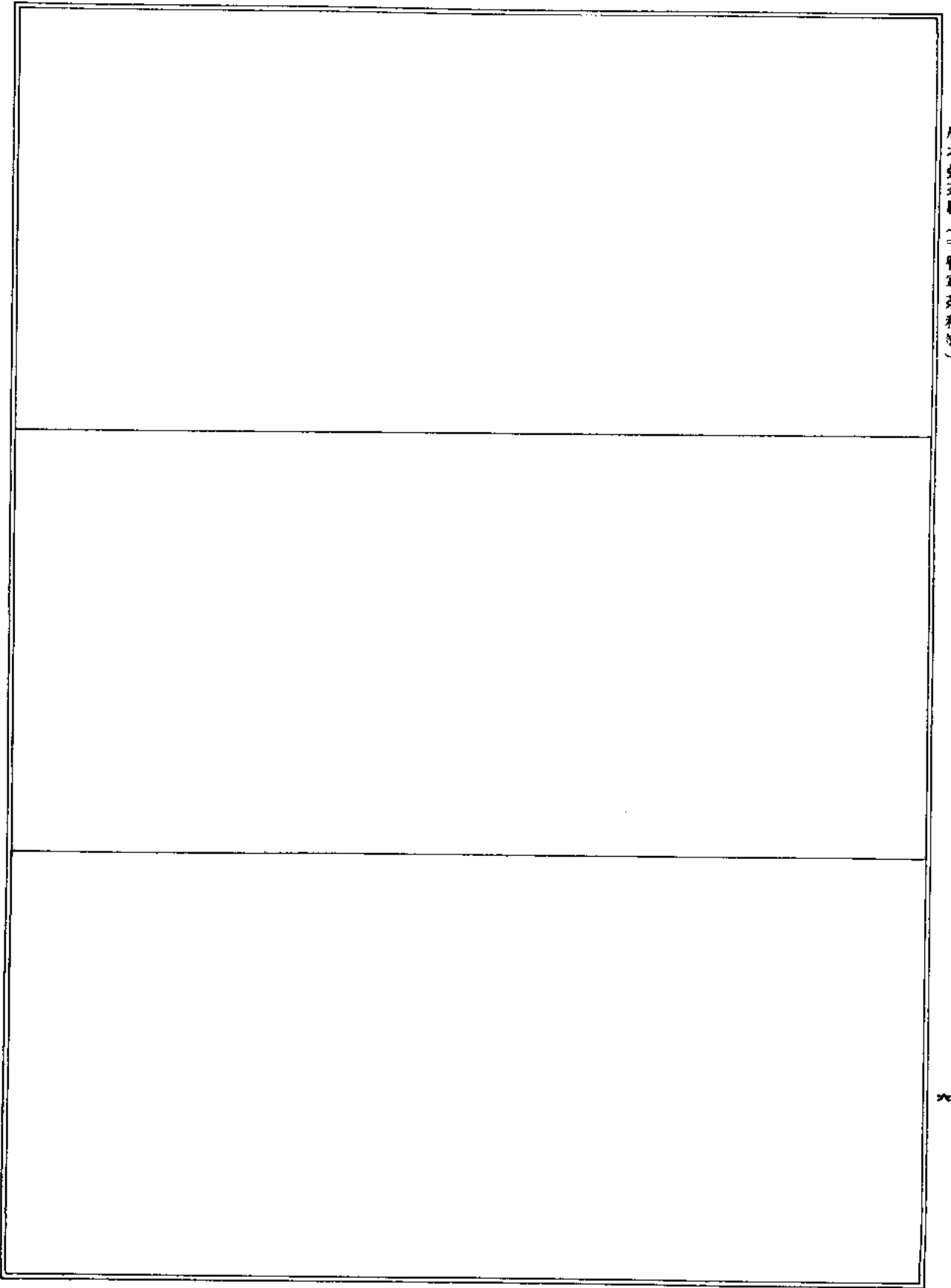
圖像 No. 2. 大悲(千手)曼荼羅尊位



圖像 No. 3. 尊勝曼荼羅尊位



圖像 No.4. 千臂軍荼利



醍醐本圖像（佛眼等）

一	佛眼（其一）	二
二	佛眼（其二）	三
三	佛眼（其三）	四
四	佛眼曼荼羅	五
五	一字金輪	六
六	金輪曼荼羅（其一）	七
七	金輪曼荼羅（其二）	八
八	大佛頂曼荼羅	九
九	廣生佛頂	一〇
一〇	高佛頂	一一
一一	光聚佛頂	一二
一二	白傘蓋佛頂	一三
一三	勝佛頂	一四
一四	尊勝佛頂	一五
一五	摩利支天	一六
一六	熾盛光佛	一七
一七	五祕密	一八
一八	五祕密尊位（其一）	一九
一九	五祕密尊位（其二）	二〇
二〇	理趣會曼荼羅（種子）	二一
二一	寶樓閣曼荼羅	二二



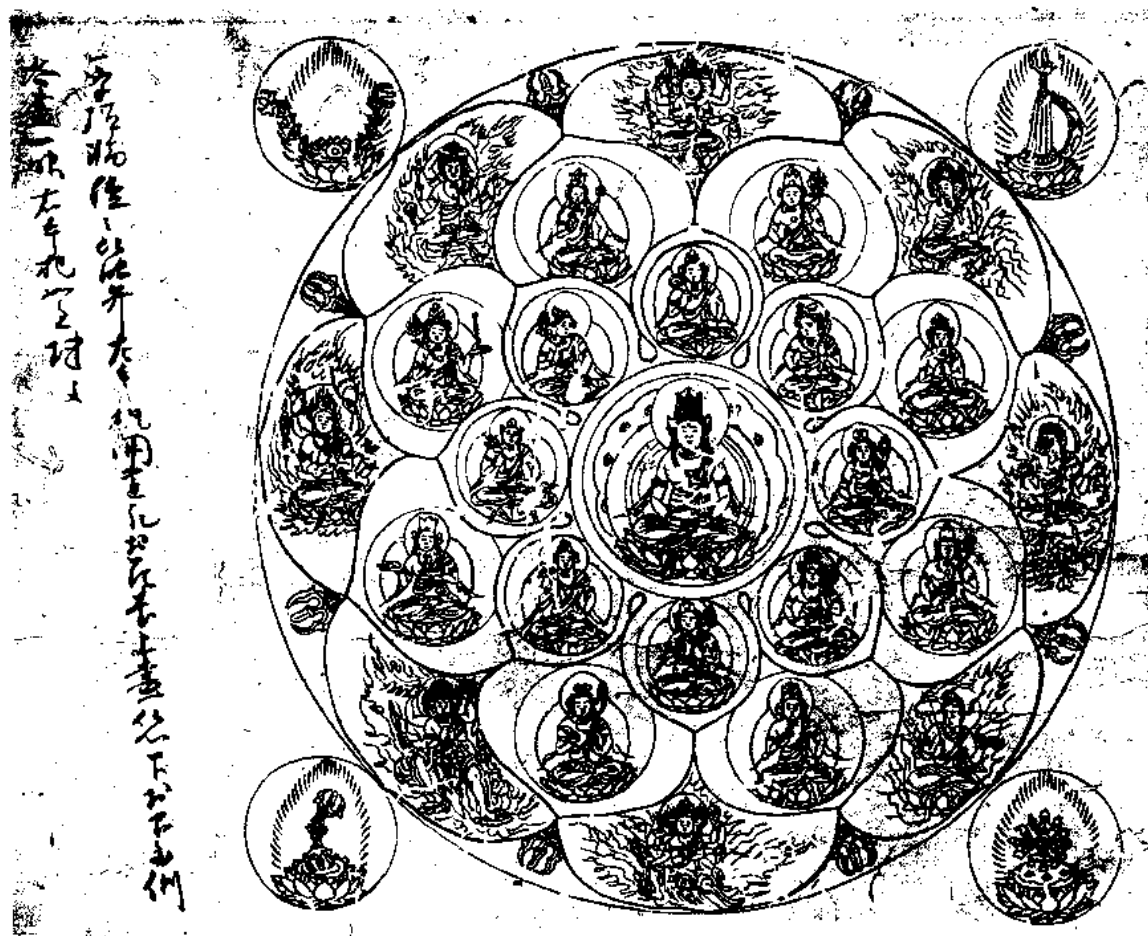
圖像 No. 1. 佛 眼 (共一)



并請一字及略之
紅眼刀妃及女引。
石手打之空室在寺前。



圖像 No. 3. 佛 眼 (其 三)



圖像 No.4. 佛眼曼荼羅



圖像 No. 5. 一字金輪



圖像 No. 6. 金輪曼荼羅(其一)



圖像 No.7. 金輪曼荼羅(其二)



圖像 No. 8. 大佛頂覺荼羅





高





圖像 No. 12. 白傘蓋佛頂



圖像 No. 13. 勝 佛 頂



圖像 No. 14. 尊勝佛頂



圖像 No. 15. 摩利支天



圖像 No. 16. 熾盛光佛

五松窓

此窓朝日國蘇我社之也

金泥曼荼羅

右東南隅



此尊二手持尊

左手法華經

右手三翻

乃為施舞便作

柳花勢大

此尊

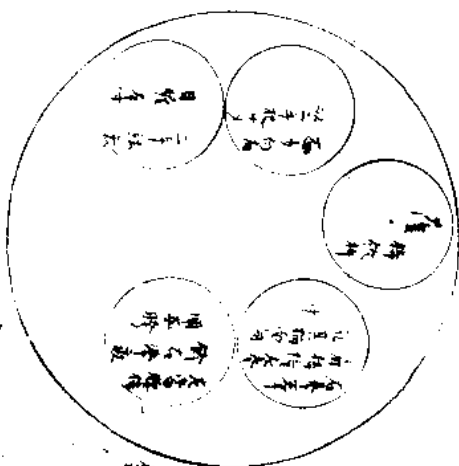
曼荼羅

盤龍



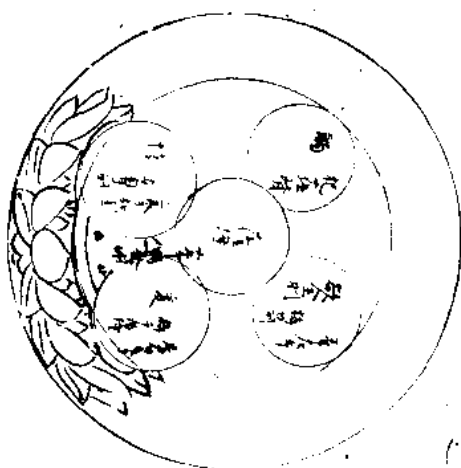
盤龍

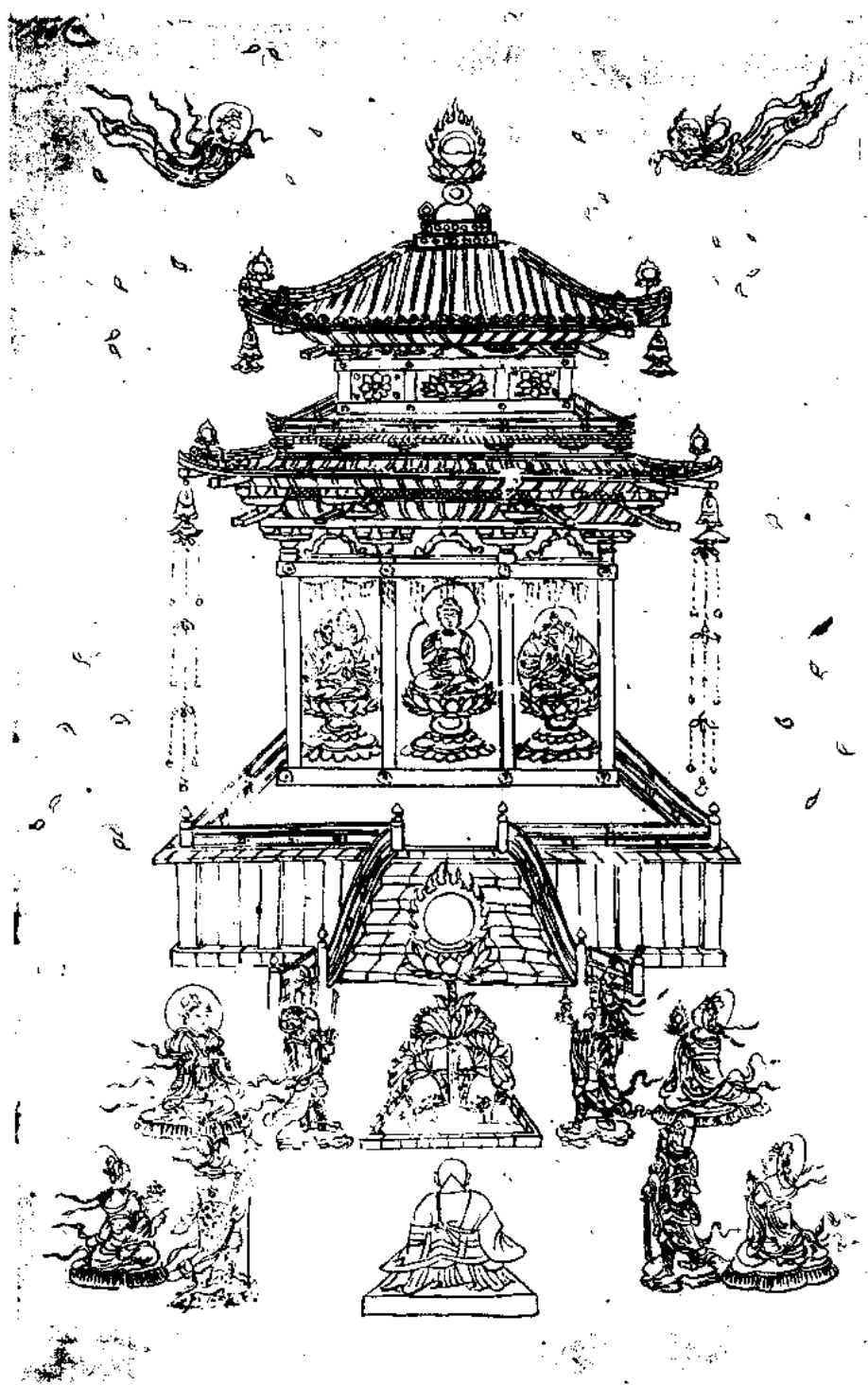
盤龍



盤龍

盤龍





圖像 No. 21. 寶樓閣曼荼羅

醍醐本圖像（祈雨法懸曼荼羅等）

- | | | |
|---|---------|---|
| 一 | 祈雨法懸曼荼羅 | 三 |
| 二 | 深沙大將 | 三 |
| 三 | 菩提場曼荼羅 | 四 |
| 四 | 海眼寺藥師 | 五 |
| 五 | 辨才天 | 六 |
| 六 | 大威德明王 | 七 |
| 七 | 阿嚕力迦曼荼羅 | 八 |
| 八 | 摩利支天 | 九 |

祈雨法懸曼荼羅佛臺懸之佛後之間隙行道之祈雨



深沙大將 斬邪定命



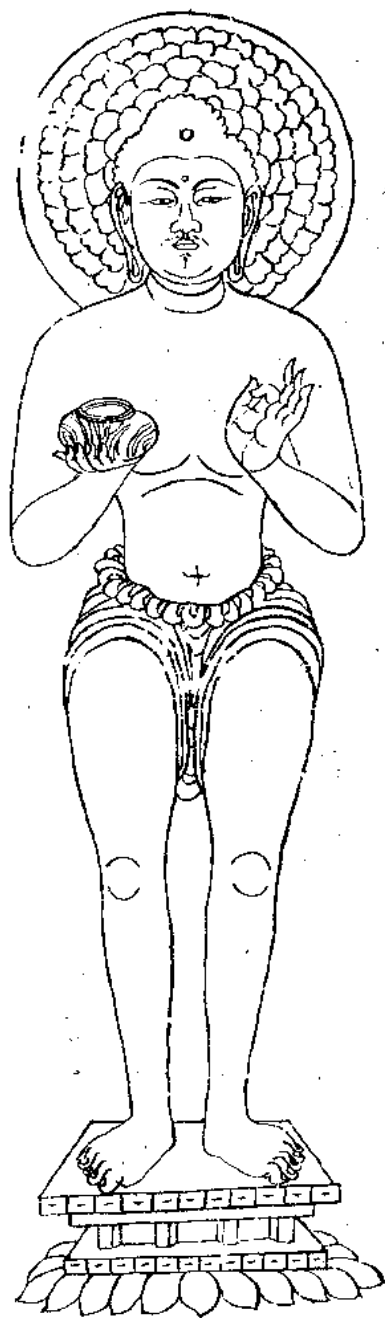
醍醐本圖像 (祈雨法懸曼荼羅等)

圖像 No. 2. 深沙大將

井場文可

天王坐居本末相違





海眼寺藥師瑠璃光佛
像者後江中豫出

弁才天

白肉色



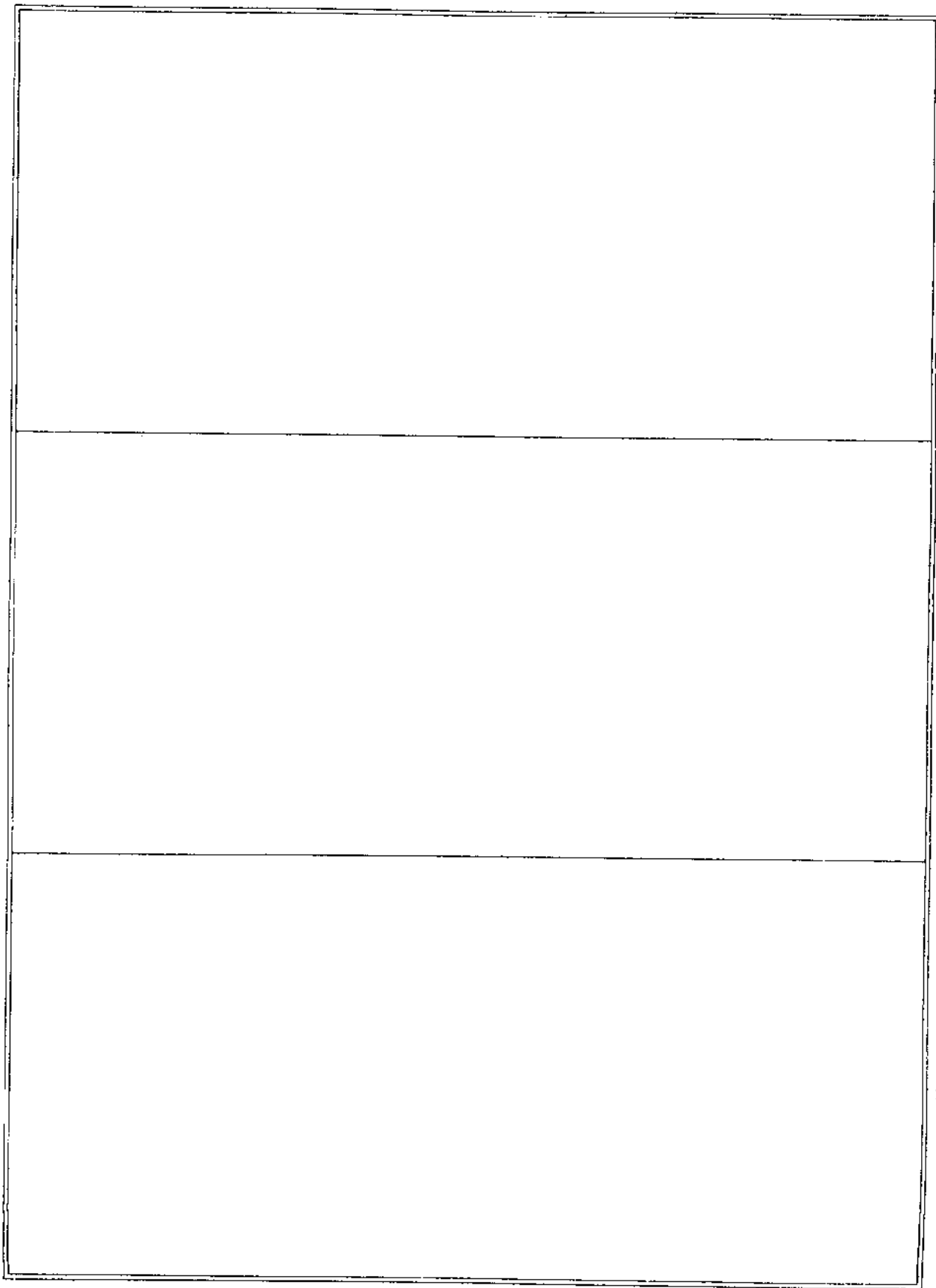


圖像 No. 6. 大威德明王



圖像 No. 7. 阿耨力迦曼荼羅





醍醐本圖像（馬頭等）

- 一 大勝金剛（宗命本）
- 二 馬鳴曼荼羅
- 三 六字



圖像 No.1. 馬頭象婆像

大勝金剛 宗命本

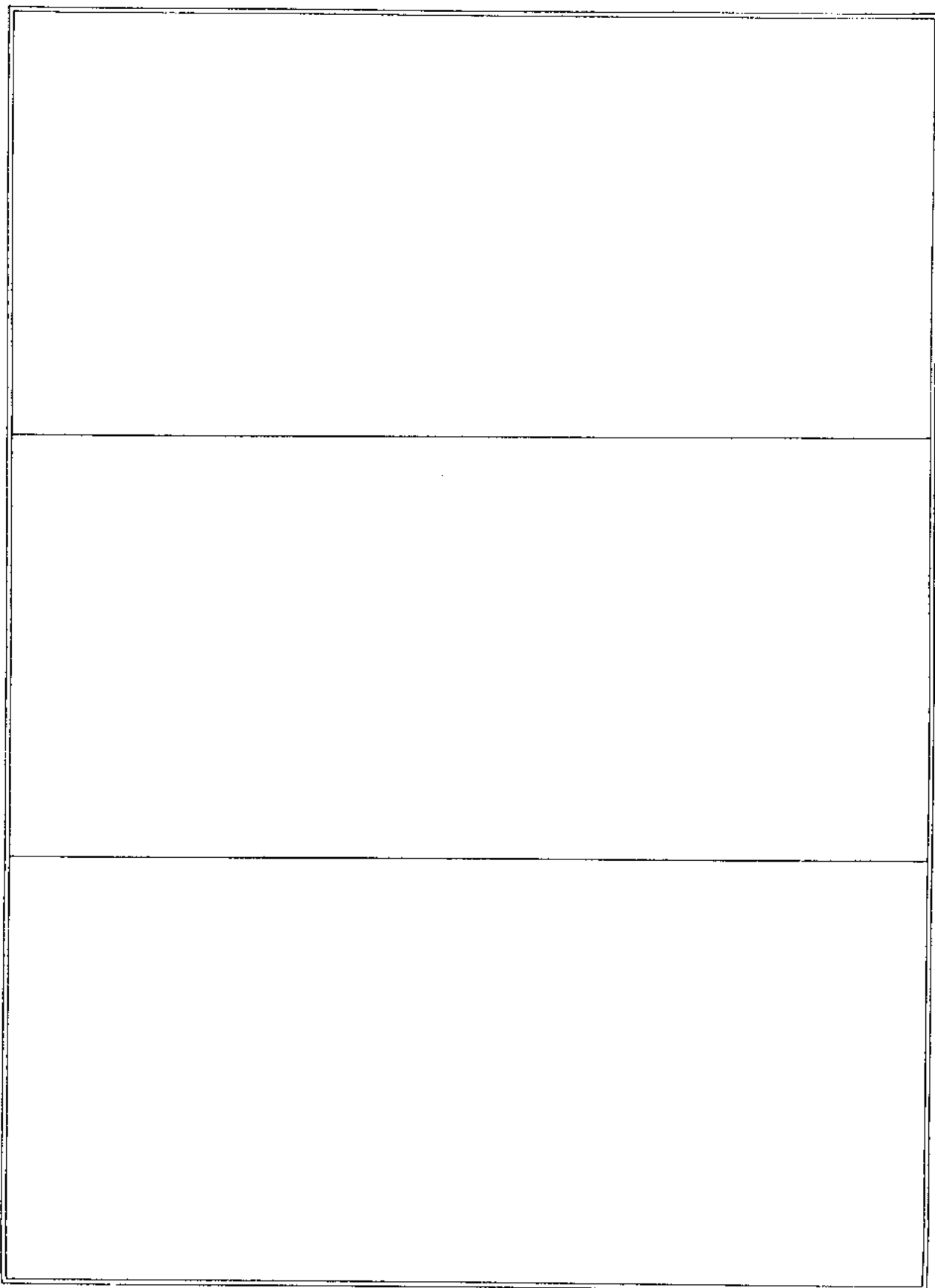


圖像 No. 2. 大勝金剛（宗命本）



圖像 No. 3. 馬頭曼荼羅





醍醐諸尊圖像（東安本）

- | | | |
|----|---------|----|
| 一 | 大勝金剛 | 二 |
| 二 | 安鎮曼荼羅 | 三 |
| 三 | 二十臂延命 | 四 |
| 四 | 金剛童子 | 五 |
| 五 | 五大虛空藏 | 六 |
| 六 | 瑜祇經金剛菩薩 | 七 |
| 七 | 聖觀音 | 八 |
| 八 | 四臂瑪尼菩薩 | 九 |
| 九 | 白傘蓋佛頂 | 一〇 |
| 一〇 | 光聚佛頂 | 一一 |
| 一一 | 高佛頂 | 一二 |
| 一二 | 勝佛頂 | 一三 |
| 一三 | 義髮梨童女 | 一四 |



圖像 No. 1. 大勝金剛



圖像 No. 2. 安竊曼茶羅

廿臂延命



圖像 No. 3. 二十臂延命



圖像 No. 4. 金剛童子

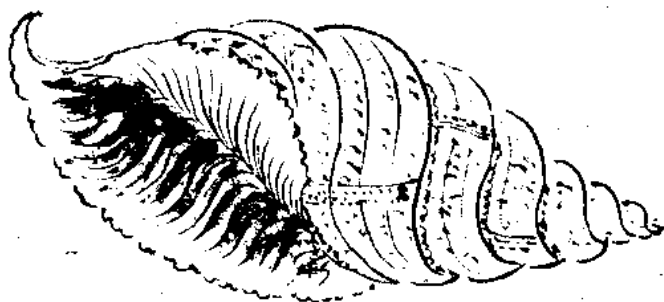
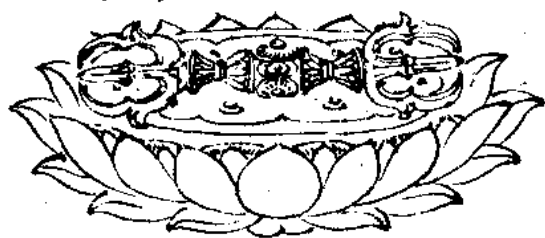




圖像 No. 6. 瑜祇經金剛菩薩



聖觀音





圖像 No. 8. 阿闍梨菩薩摩訶薩



圖像 No. 9. 白傘蓋佛頂



圖像 No. 10. 光 聚 佛 頂







圖像 No. 13. 裏巖梨童女

久原本圖像

一	辨才天女	...
二	摩利支天	...
三	訶梨帝母	...
四	金剛界五佛	...
五	尊名未詳菩薩像	...
六	尊勝曼荼羅(三昧耶)	...
七	阿彌陀九尊	...
八	九品彌陀印	...
九	隨求菩薩	...
一〇	不空成就如來	...
二	釋迦三尊	...
三	孔雀明王	...
四	三十日秘佛	...

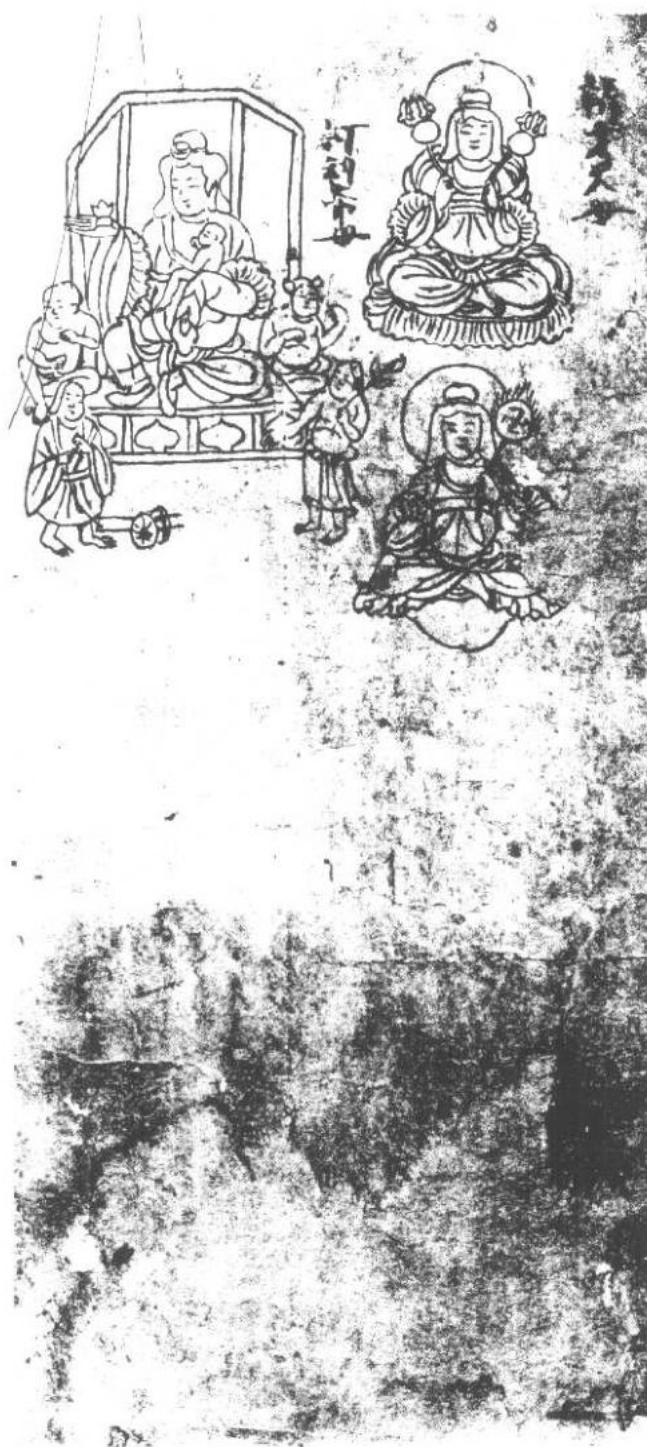
五	無着菩薩	...
六	寶藏菩薩	...
七	楊柳觀音	...
八	葉衣觀音	...
九	虛空藏菩薩(其一)	...
一〇	虛空藏菩薩(其二)	...
一一	虛空藏菩薩(其三)	...
一二	虛空藏菩薩(其四)	...
一三	虛空藏菩薩(其五)	...
一四	白衣觀音	...
一五	尊名未詳供養像	...
一六	五大虛空藏	...
一七	一面十二臂延命	...
一八	十臂延命	...
一九	多羅觀音	...
二〇	彌勒菩薩(其一)	...
二一	彌勒菩薩(其二)	...
二二	彌勒菩薩(其三)	...
二三	彌勒菩薩(其四)	...
二四	彌勒菩薩(其五)	...
二五	彌勒菩薩(其六)	...
二六	彌勒菩薩(其七)	...
二七	馬鳴菩薩曼荼羅	...
二八	千手觀音	...
二九	正觀音	...

大勢菩薩(二十三)・地藏(二十四)
 日・文殊菩薩(二十五)・藥上菩
 薩(二十六)・毘盧遮那(二十七)
 大日(二十八)・藥王(二十九)
 釋迦(三十)

三〇	不空絹索觀音	...
三一	馬頭觀音	...
三二	如意輪觀音	...
三三	十一面觀音	...
三四	毘俱胝觀音	...
三五	馬頭觀音	...
三六	不空絹索觀音	...
三七	孔雀明王	...
三八	六地藏	...
三九	一面十二臂如意輪	...
四〇	白山妙力大菩薩	...
四一	水月觀音	...
四二	普賢延命菩薩(其一)	...
四三	普賢延命菩薩(其二)	...
四四	普賢延命菩薩(其三)	...
四五	准胝觀音	...
四六	石山觀音	...
四七	八大菩薩	...
四八	觀音金剛手・虛空藏菩薩・文殊・ 彌勒・地藏・除蓋障	...
四九	五秘密	...
五〇	唐本二十五菩薩	...

觀音・大勢至・藥王・普賢・藥上・菩薩
 普賢・普賢・寶自在・菩薩・童子・乳・菩
 薩・羅尼・菩薩・虛空・藏・菩薩・德・藏
 菩薩・寶・藏・菩薩・金・藏・菩薩・金・剛・藏
 菩薩・光・明・下・菩薩・山・海・王・菩薩・花
 嚴・王・菩薩・寶・王・菩薩・日・光・菩薩・
 日照・菩薩・味・下・菩薩・自在・王・菩
 薩・天・白・王・菩薩・白・藏・王・菩薩・大
 威・德・王・菩薩・無・邊・身・菩薩

杏	烏菟沙摩明王	一四
△	清淨明王	一四
△	烏菟沙摩明王	一四
△	五大力	一四
△	金剛童子	一四
△	大威德明王	一四
△	金剛童子	一四
△	深沙神	一四
△	金剛童子	一四
△	五大明王	一五
△	黃不動	一五
△	不動八大童子	一五
△	護髮梨童女	一六



圖像 No.1. 辨才天女 圖像 No.2. 摩利支天 圖像 No.3. 訶梨帝母



圖像 No. 4. 金剛界五佛（毗盧舍那，阿閼鞞，寶生，阿彌陀，不空成就）



圖像 No. 5. 尊名未詳菩薩 圖像 No. 6. 尊勝曼荼羅 (三昧耶) 圖像 No. 7. 阿彌陀九尊 (阿彌陀, 八大菩薩)



圖像 No. 8. 九品彌陀印 圖像 No. 9. 隨求菩薩 圖像 No. 10. 不空成就如來 圖像 No. 11. 釋迦三尊 圖像 No. 12. 七佛



孔雀明王



圖像 No. 14. 三十三位佛



圖像 No.15. 無着菩薩 圖像 No.16. 寶藏菩薩 圖像 No.17. 楊柳觀音 圖像 No.18. 葉衣觀音 圖像 Nos.19-23. 虛空藏菩薩 (共一—共五) 圖像 No.24. 白衣觀音 圖像 No.25. 尊名未詳供養像 圖像 No.26. 五大虛空藏



圖像 No. 27. 一而十二臂延命
圖像 No. 37. 馬鳴菩薩曼荼羅

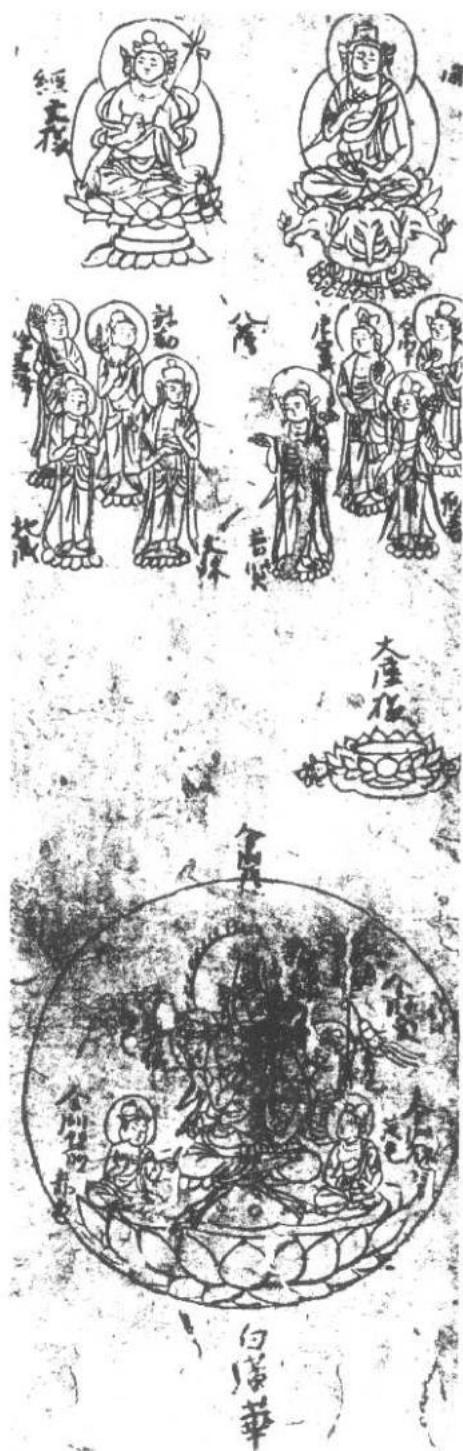
圖像 No. 28. 十臂延命

圖像 No. 29. 多羅觀音

圖像 Nos. 30-36. 彌勒菩薩 (其一 一其七)



圖像 No. 38. 千手觀音 圖像 No. 39. 正觀音 圖像 No. 40. 不空羅索觀音 圖像 No. 41. 馬頭觀音 圖像 No. 42. 如意輪觀音 圖像 No. 43. 十一面觀音 圖像 No. 44. 毗俱胝觀音 圖像 No. 45. 馬頭觀音 圖像 No. 46. 不空羅索觀音 圖像 No. 47. 孔雀明王 圖像 No. 48. 六地藏 圖像 No. 49. 一面十二臂如意輪 圖像 No. 50. 白山妙力大菩薩



圖像 No. 51. 水月觀音 圖像 No. 52. 普賢延命菩薩(其一) 圖像 No. 53. 普賢延命菩薩(其二) 圖像 No. 54. 普賢延命菩薩(其三)
圖像 No. 55. 准胝觀音 圖像 No. 56. 石山觀音 圖像 No. 57. 八大菩薩 圖像 No. 58. 五秘密





圖像 No. 60. 烏菟沙摩明王 圖像 No. 61. 清淨明王 圖像 No. 62. 烏菟沙摩明王 圖像 No. 63. 五大力 圖像 No. 64. 金剛童子
圖像 No. 65. 大威德明王 圖像 No. 66. 金剛童子 圖像 No. 67. 深沙神 圖像 No. 68. 金剛童子



圖像 No. 69. 五大明王 圖像 No. 70. 黃不動 圖像 No. 71. 不動八大童子



梵文熾盛光佛頂陀羅尼諸尊圖會

(第一會)

一	南無薩怛佉蘇伽多耶歸命	七
二	阿囉訶帝三藐三菩陀寫歸	七
三	薩怛佉佛陀俱知瑟尼釤	七
四	南無薩婆勃陀敬禮一切佛	七
五	勃地薩路韓弊歸命菩薩耶	八
六	南無薩多南三藐三菩陀俱	八
七	知南敬禮正遍知覺	八
八	婆舍囉婆迦僧伽喃敬禮	八
九	支佛四果人	八
十	南無盧雞阿囉漢路喃歸命	八
十一	羅漢等衆	八
十二	南無蘇盧多波那喃敬禮斯陀含	九
十三	南無娑羯喇陀伽彌喃敬禮	九
十四	阿那含	九
十五	南無盧雞三藐伽路喃敬禮	九
十六	過去未來諸佛	九
十七	三藐伽波囉底波多那喃	九
十八	南無提婆離瑟赧敬禮三十三天	九
十九	及一切諸仙天等衆	一〇
二十	南無悉陀耶毗地耶陀囉離	一〇
二十一	瑟赧敬禮現仙	一〇
二十二	舍波奴揭囉訶娑訶娑囉摩	一〇

一	佉喃攝惡作善	一〇
二	南無跋囉訶摩泥歸命梵天	一〇
三	南無因陀囉耶歸命帝釋	一一
四	南無婆伽婆帝嚩訶囉耶	一一
五	烏摩般帝天后	一一
六	娑薩夜耶及眷屬等	一二
七	南無婆伽婆帝那囉野拏耶	一二
八	地祇衆	一二
九	繫遮摩訶三藐陀囉大印	一二
十	禮世尊	一二
十一	南無婆伽婆帝摩訶迦囉耶	一二
十二	大黑天神	一二
十三	地利般刺那迦囉毗陀囉波	一二
十四	拏迦囉耶破壤	一二
十五	阿地目帝尸摩舍那泥婆悉	一二
十六	泥尸陀林中	一二
十七	摩怛唎伽拏南無悉羯喇多	一三
十八	耶鬼神衆	一三
十九	南無婆伽婆帝多佉伽路俱	一三
二十	囉耶如來族	一三
二十一	南無般頭摩俱囉耶歸命蓮	一三
二十二	族菩薩	一三
二十三	南無跋闍囉俱囉耶歸命金	一四
二十四	剛族	一四
二十五	南無摩尼俱囉耶歸命寶族	一四
二十六	南無伽闍俱囉耶歸命衆族	一四
二十七	南無婆伽婆帝口茶輸囉	一四
二十八	西那波囉訶囉拏囉闍耶	一四
二十九	猛將持持器杖	一四

一	路佉伽多耶如來	一五
二	南無婆伽婆帝南無阿彌多	一五
三	婆耶無量壽佛	一五
四	路佉伽多耶阿囉訶帝三藐	一五
五	三善陀耶應正等覺	一五
六	南無婆伽婆帝阿彌轉耶阿	一五
七	闍如來	一五
八	路佉伽多耶阿囉訶帝三藐	一六
九	三善陀耶應正等覺	一六
十	南無婆伽婆帝韓沙闍耶俱	一六
十一	囉吠柱喇耶藥師如來	一六
十二	般囉婆囉闍耶光王路佉伽	一六
十三	多野如來	一六
十四	南無婆伽婆帝三補師慈多	一六
十五	薩憐捺囉喇闍耶婆羅花王	一六
十六	路佉伽多耶阿囉訶帝三藐	一七
十七	三善陀耶應正等覺	一七
十八	南無婆伽婆帝舍難野母那	一七
十九	曳釋迦牟尼佛	一七
二十	路佉伽多耶阿囉訶帝三藐	一七
二十一	三善陀耶應正等覺	一七
二十二	南無婆伽婆帝喇口難都	一七
二十三	囉闍耶寶轉王如來	一七
二十四	路佉伽多耶阿囉訶帝三藐	一八
二十五	三善陀耶應正等覺	一八
二十六	帝彌南無薩羯喇多翳曇婆	一八
二十七	加婆多薩怛他伽都瑟尼釤	一八
二十八	如來佛頂	一八
二十九	薩怛多般怛囉摩蓋	一八

咒 南無阿婆囉視就敬禮是辰勝..... 一八

揭囉訶一切神衆作詞..... 一九

吾 尼羯囉訶羯迦囉訶尼跋囉..... 一九

三 阿迦囉密喇柱橫死 般喇恒
囉耶俾 能羯喇救取..... 一九

三 薩囉婆槃陀那目叉尼一切
縛禁解脫..... 一九

三 薩囉婆突瑟吒除一切惡..... 二〇

三 突悉乏般那爾伐囉尼惡夢..... 二〇

三 緒都囉失帝南八萬四千金剛
神衆..... 二〇

三 羯囉訶娑訶薩囉若闍毘多
崩娑那羯喇打破..... 二〇

三 阿瑟吒水舍帝南那叉利恒
囉若闍波囉薩陀那羯喇正
行..... 二〇

三 阿瑟吒南摩訶揭囉訶若闍
毘多崩薩那羯喇打破..... 二〇

三 薩婆舍都嚕嚩婆囉除一切惡..... 二〇

三 若闍呼藍突悉乏難遮那舍
尼除却嚴惡..... 二〇

三 悉沙舍悉怛囉器杖..... 二〇

三 阿吉尼火..... 二〇

三 烏陀迦囉若闍水..... 二〇

三 阿般囉視多具囉符能勝嚴..... 二〇

三 摩訶般囉戰持大力囉怒..... 二〇

三 摩訶疊多火天..... 二〇

空 摩訶帝闍威德天..... 二二

空 摩訶稅多太白..... 二二

空 開婆囉光燦天..... 二二

吉 摩訶跋囉大力天..... 二二

三 槃陀囉婆悉爾白拂阿喇耶
多囉聖者..... 二二

三 毗喇俱知誓婆里闍耶最勝
菩薩..... 二二

三 跋闍囉摩禮底毗舍囉多羅
碎金剛..... 二二

三 勃騰罔迦降伏..... 二二

三 跋闍囉制喝那阿遮金剛力士..... 二二

三 摩囉制婆般囉質多金剛杵..... 二二

三 跋闍囉檀持金剛神像..... 二二

三 毗舍囉遮天神力士..... 二二

三 扇多舍韓提婆補視多蘇摩
囉波參辰日月天子及二十八宿..... 二二

三 摩訶稅多西方大白星..... 二二

三 阿喇耶多囉摩訶婆囉阿般
囉跋闍囉商羯囉制婆金剛連鎖..... 二二

三 跋闍囉俱摩喇金剛童子..... 二二

三 俱藍陀喇金剛童子..... 二二

三 跋闍囉喝薩多遮金剛手..... 二二

三 毘地耶大明呪藏..... 二二

三 乾遮那摩喇迦四天下太子..... 二二

三 囉蘇母婆羯囉哆那月天子
眷屬..... 二二

三 韓嚕遮那俱喇耶壯火..... 二二

三 夜囉奄瑟尼鈇佛頂..... 二二

三 毗折囉婆摩尼遮羅刹神女..... 二二

三 跋闍囉迦那迦金剛使者..... 二二

三 波囉婆囉闍那蓮華神衆..... 二二

三 跋闍囉囉囉推遮摩山金剛..... 二二

三 稅多遮迦摩囉刹奢尸波囉
婆翳帝夷帝如是等衆母陀囉
羯拏衆印可..... 二二

三 娑鞞囉囉囉一切護戒掘梵都印
兔那麼麼寫一百三十七句誦者
當稱弟子名字同向..... 二二

三 烏咭喇瑟羯拏仙衆..... 二二

三 般刺舍悉多善相..... 二二

三 薩怛佉伽都一切如來..... 二二

三 瑟尼釤警悟虎咭都囉雍..... 二二

三 瞻婆那押頌虎咭都囉雍..... 二二

三 悉耽婆那鎮守虎咭都囉雍..... 二二

三 波囉瑟地耶三般叉孃羯囉
虎咭都囉雍..... 二二

三 薩婆藥叉勇猛..... 二二

三 喝囉刹婆喚却他呪..... 二二

三 揭囉訶者闍毗騰崩薩那羯
囉打破虎咭都囉雍..... 二二

三 者都囉尸底南揭囉訶娑訶
薩囉南八萬四千神王衆..... 二二

三 毘騰崩薩那囉虎咭都囉雍
囉叉護一切諸佛菩薩金剛天仙
皆護..... 二二

一〇七 婆伽梵薩恒他伽都瑟尼釤

佛頂……………

一〇八 波囉點闍吉喇摩訶婆訶薩

囉十臂大神……………

一〇九 勃樹婆訶薩囉室喇沙千頭佛

俱知婆訶薩泥帝囉百千眼神……………

一一〇 阿弊提視婆訶多吒吒覺迦

摩訶跋闍盧陀羅大輪金剛……………

一一一 帝喇苦婆那三世……………

一〇三 曼茶囉壇場……………

一〇四 烏鉢莎悉帝薄婆都與我不等

麼麼印兔那麼麼寫一百七十

八句誦者稱弟子名同向……………

〔第三會〕

一〇五 囉闍婆夜解除王難……………

一〇六 主囉跋夜賊難……………

一〇七 阿祇尼跋夜火難……………

一〇八 烏陀迦婆夜水難……………

一〇九 里沙婆夜毒難……………

一一〇 舍薩多囉婆夜刀杖難……………

一一一 婆囉祈羯囉婆夜兵難……………

一一二 突瑟叉婆夜殺貴飢饉難……………

一一三 阿舍伽婆夜雷難……………

一一四 阿迦囉蜜喇柱婆夜橫死難……………

一一五 陀囉尼部彌劍波總持地動……………

一一六 伽波陀跋夜險難……………

一一七 烏囉迦婆多婆夜道路難……………

一一八 刺闍攪茶婆夜王刑罰難……………

一一九 那迦婆夜龍怖難……………

一一〇 思條恒婆夜凶電難……………

一一一 蘇波囉拏婆夜金翅鳥難……………

一一二 藥叉揭囉訶非命難……………

一一三 囉叉私揭囉訶中魂鬼……………

一一四 畢喇多揭囉訶餓鬼難……………

一一五 毘舍遮揭囉訶廁神……………

一一六 部多揭囉訶神鬼衆……………

一一七 鳩槃荼揭囉訶守宮婦女鬼……………

一一八 補丹那揭囉訶臭鬼……………

一一九 迦吒補丹那揭囉訶奇臭鬼……………

一二〇 悉乾度揭囉訶鳩摩羅童子……………

一二一 阿播悉摩囉揭囉訶羊頭鬼……………

一二二 烏檀摩陀揭囉訶熱鬼……………

一二三 車夜揭囉訶影鬼……………

一二四 醯喇婆帝揭囉訶陰謀鬼……………

一二五 社多訶喇南食初產鬼……………

一二六 揭婆訶喇南食懷孕鬼……………

一二七 囉地囉訶喇南食血鬼……………

一二八 忙婆訶喇南食肉鬼……………

一二九 謎陀訶喇南食脂鬼……………

一三〇 摩闍訶喇南食龍鬼……………

一三一 闍多訶喇南食氣鬼……………

一三二 視比多訶喇南食壽命鬼……………

一三三 毘多訶喇南食風氣鬼……………

一三四 婆多訶喇南阿輪遮訶喇女

食不淨鬼……………

一三五 質多訶喇女食心鬼……………

一三六 帝鈇薩鞞鈇如是等衆……………

一三七 薩婆揭囉訶南一切執神鬼……………

一三八 毘陀夜明咒藏……………

一三九 闍囉陀夜彌斬伐罪者……………

一四〇 雞囉夜彌斷伐……………

一四一 波喇跋囉者迦訶喇擔毘陀

夜闍囉陀夜彌雞囉夜彌赤

外道……………

一四二 茶演尼孤魅鬼訶喇擔毘陀

夜闍囉陀夜彌雞囉夜彌如

上……………

一四三 摩訶般輪般恒夜盧陀囉大

自在天訶喇擔毘陀夜闍囉陀

夜彌雞囉夜彌如上……………

一四四 那囉夜拏天神訶喇擔毘陀

夜闍囉陀夜彌雞囉夜彌如

上……………

一四五 恒埵伽囉茶西金翅鳥訶喇

擔毘陀夜闍囉陀夜彌雞囉

夜彌如上……………

一四六 摩訶迦囉大黑天神摩恒喇伽

拏小黑天神訶喇擔毘陀夜闍

囉陀夜彌雞囉夜彌如上……………

一四七 迦波喇迦囉體外道訶喇擔毘

陀夜闍囉陀夜彌雞囉夜彌

如上……………

一四八 闍耶羯囉摩度羯囉薩婆囉

他婆達那持一切物訶喇擔毘

陀夜闍囉陀夜彌雞囉夜彌

索雞夜野又王兄弟三人訶喇

擔毘陀夜闍囉陀夜彌雞囉

各領二十八萬衆……………

夜彌	九	一八	阿素囉毘陀囉波迦泮修羅	五三	二〇〇	摩訶迦囉夜 大黑暗天神	五六
一五 那羯那舍羅婆摩形外道訖	九	一六	薩婆提轉弊泮 一切天神	五三	二〇一	摩訶末怛唎迦擊 鬼神衆南	五七
一四 唎擔毘陀夜闍唎陀夜彌雞	九	一七	薩婆那伽弊泮 一切龍神	五三	二〇二	無婆羯唎多夜泮降伏一切惡	五七
一三 羅夜彌如上	九	一八	薩婆藥叉弊泮 一切勇猛鬼神	五三	二〇三	降伏一切惡道	五八
一二 阿囉漢羅漢 訖唎擔毘陀夜	九	一九	薩婆乾闥婆弊泮 一切音樂神	五三	二〇四	慈瑟琴婢曳泮 毘紐天子	五七
一一 闍唎陀夜彌雞羅夜彌如上	九	二〇	薩婆補丹那弊泮 一切讚禮迦	五三	二〇五	勃囉訶牟尼曳泮梵王	五七
一〇 毘多囉伽起屍鬼 訖唎擔毘	九	二一	吒補丹那弊泮 一切歸敬	五三	二〇六	阿耆伽曳泮 天女	五七
〇九 陀夜闍唎陀夜彌雞羅夜彌	九	二二	薩婆突狼根帝弊泮 一切難	五三	二〇七	摩訶羯唎曳泮 大黑天女	五七
〇八 跋闍時熱	九	二三	發遣過	五三	二〇八	羯囉檀持曳泮 大黑脚黑鬼神	五八
〇七 囉波伽執金剛神	九	二四	薩婆突澀比嚒訖瑟帝弊泮	五三	二〇九	蔓怛唎曳泮 帝釋	五八
〇六 具醯夜具醯夜密勝力士	九	二五	一切難	五三	二一〇	嚩怛唎曳泮 囉惹神	五八
〇五 迦地般帝總管 訖唎擔毘陀	九	二六	薩婆什婆唎弊泮 一切瘧壯熱	五三	二一一	遮文茶曳泮 嚩山大神 羯邏囉	五八
〇四 夜闍唎陀夜彌雞羅夜彌	九	二七	薩婆阿播悉摩囉弊泮 一切	五三	二一二	怛唎曳泮喝水大神迦般唎曳	五八
〇三 囉叉罔一切諸佛菩薩天仙鬼神	九	二八	外道薩婆舍囉婆擊弊泮破	五三	二一三	泮放火大神阿地目質多迦尸	五八
〇二 守護婆伽梵印兔那麼麼寫	九	二九	一切災厄薩婆地帝雞弊泮破	五三	二一四	摩舍那婆私伽曳泮一切有力	五八
〇一 二百七十二句至此稱為受持	九	三〇	一切冤害	五三	二一五	鬼神演吉質薩埵婆寫麼麼	五八
〔第四會〕					二一六	印究那麼麼寫三百三十二句至	五八
二天 婆伽梵薩怛多般怛羅華蓋	五二	三一	薩婆恒摩陀繼弊泮 一切鬼惡	五三	二一七	此稱為受持	五九
二天 南無粹都帝頂禮	五二	三二	薩婆里陀耶囉暫遮囉弊泮	五三	二一八	〔第五會〕	
二天 阿悉多那囉賴迦 白光分明	五二	三三	一切持咒博士等	五三	二一九	突瑟吒質多 惡心鬼阿末怛	五九
二天 波囉婆悉菩吒毘迦薩怛多	五二	三四	闍夜羯囉摩度羯囉解一切重	五三	二二〇	唎質多 惡毒鬼烏闍訶囉食	五九
二天 鉢帝唎什佛囉什佛囉光焰	五二	三五	難薩婆囉他娑陀雞弊泮	五三	二二一	精鬼	五九
二天 陀囉陀囉頻陀囉頻陀囉唎	五二	三六	毘地夜遮唎弊泮解諸壯熱者	五三	二二二	伽婆訶囉食胎藏鬼	五九
二天 陀囉陀囉頻陀囉頻陀囉唎	五二	三七	都囉縛耆爾弊泮四姊妹神女	五三	二二三	嚩地囉訶囉食血鬼	五九
二天 泮吒泮吒娑訶醯醯泮阿牟	五二	三八	跋闍囉俱摩唎毘陀夜囉暫	五三	二二四	婆娑訶囉食油鬼	六〇
二天 迦耶泮不空大使	五二	三九	弊泮金剛童子	五三	二二五	摩闍訶囉食產鬼	六〇
二天 阿波囉提訶多泮 無障礙	五二	四〇	摩訶波羅丁羊叉耆唎弊泮	五三	二二六	闍多訶囉食肉鬼	六一
二天 婆囉波囉陀泮與願	五二	四一	降伏一切厄難怨敵 跋闍囉商	五三	二二七	視慈多訶囉食壽命鬼	六一
		四二	羯囉夜波囉丈耆囉闍耶泮	五三			

三七	跋略夜訶囉	食祭鬼	六二	二四	隆帝藥迦	二日一發瘧鬼	六七	二九	婆房益伽般囉	丈伽輪藍四	七五				
三八	乾陀訶囉	食香鬼	六二	二五	怛囉帝藥迦	三日一發瘧鬼	六六	三〇	股節痛鬼	起屍鬼	七六				
二九	布史波訶囉	食花鬼	六三	二六	者突託迦	四日一發瘧鬼	六七	三一	部多慈路	茶起屍鬼	七七				
三〇	頗囉訶囉	食五穀子鬼	六三	二七	呢提什伐囉	常壯熱鬼	六八	三二	茶者尼什婆囉	魅鬼	七八				
三一	婆寫訶囉	食五穀	六三	二八	慈彭摩什伐囉	壯熱鬼	六八	三三	吃突噯迦	蜘蛛鬼	七九				
三二	般波質多	惡形鬼	六四	二九	薄底迦	風病鬼	六九	三四	建咄盧吉	知丁瘡鬼	八〇				
三三	多惡眼鬼	突瑟吒質	六四	三〇	鼻底迦	瘧病鬼	六九	三五	婆路多	昆發漏瘡鬼	八一				
三四	嚩陀囉質	多噯心鬼	六五	三一	室囉瑟蜜	迦瘧飲鬼	七〇	三六	薩般噯訶	凌伽赤瘡鬼	八二				
三五	藥叉揭囉訶	護法神	六五	三二	婆儻般帝	迦瘧病鬼	七〇	三七	輪沙怛囉	小兒瘡鬼	婆那羯羅	八三			
三六	羅刹娑揭囉訶		六五	三三	薩婆什伐囉	一切壯熱鬼	七一	三八	顯狂鬼	毘沙噯迦	瘧毒鬼	八四			
三七	閉隸多揭囉訶		六六	三四	室囉吉帝	頭痛鬼	七一	三九	阿耆尼	火		八五			
三八	毘舍遮揭囉訶		六六	三五	末陀轉達	噯制劍	飢不食鬼	四〇	烏陀迦	水		八六			
三九	部多揭囉訶	神	六六	三六	阿綺噯	針口痛鬼	七一	四一	末囉	轉囉建路	囉女死鬼	八七			
四〇	鳩槃荼揭囉訶		六七	三七	目佉噯	針齒痛鬼	七一	四二	阿迦囉	密囉	囉橫死鬼	八八			
四一	悉乾陀揭囉訶		六七	三八	揭囉突噯	針喉疼鬼	七一	四三	怛斂	章藥毒鬼	地栗刺吒瑟	八九			
四二	烏怛摩陀揭囉訶		六八	三九	揭囉訶	揭藍揭拏	輪藍身痛	四四	喇瑟質	迦囉毒鬼		九〇			
四三	車夜揭囉訶	形影鬼	六八	四〇	鬼			四五	薩婆	蛇		九一			
四四	阿播薩摩囉	揭囉訶	作噯鬼	六一	二天	憚多輪藍	瘧痛鬼	四六	那俱羅	虎狼		九二			
四五	宅結革茶者尼	揭囉訶	魅男	六二	二天	迄喇夜輪藍	心痛鬼	四七	肆引伽	呌獅子		九三			
四六	魅女鬼		六三	六三	二天	末麼輪藍	跋喇室	輪藍痛	揭囉	大藥		九四			
四七	喇佛帝揭囉訶	如狗抱小鬼	六四	六四	二天	慈栗惹	吒輪藍	背痛鬼	喇藥	又頭能		九五			
四八	闍彌迦揭囉訶	如鳥鬼	六四	六五	二天	烏陀囉	輪藍	肚痛鬼	怛囉	葛諸惡毒鬼	末囉	視馬頭	九六		
四九	舍俱尼揭囉訶	如馬鬼	六五	六六	二天	羯知輪藍	腹痛鬼		悉怛	多般怛囉	華蓋		九七		
五〇	姥陀囉難地迦	揭囉訶	如貓	六七	二天	跋悉帝	輪藍	根骨痛鬼	摩訶	跋闍	瑟尼	彭摩訶	般	九八	
五一	鬼		六八	六八	二天	鄔囉輪藍	膝痛鬼		賴丈	耆藍	力主	夜婆突	陀	九九	
五二	阿藍婆揭囉訶	如蛇鬼	六八	六九	二天	常伽輪藍	腹痛鬼		舍險	闍那	乃平	十二	由旬	界分	一〇〇
五三	乾度波尼揭囉訶	如雞鬼	六八	七〇	二天	喝悉多	輪藍	兩手痛鬼	結界	轉轉	大	毘陀耶	槃	婆迦	一〇一
五四	什伐囉	壯熱鬼	坤迦醯迦	一〇二	二天	跋陀輪藍	足痛鬼								
五五	日一發瘧鬼		六九	七〇	二天	跋陀輪藍	足痛鬼								

元

嚧彌佛頂光聚縛結不得入界……………八〇
帝殊槃曇□□般羅毘陀
槃曇迦嚧彌能救一切惡神鬼……………八〇

無量壽寺中韓功主自亮原后
付本經介伽筆於休山主金言慶元
面書畢功于四亞年仲夏三九之辰
桂悟

第一會

南無薩怛他

蘇伽多耶

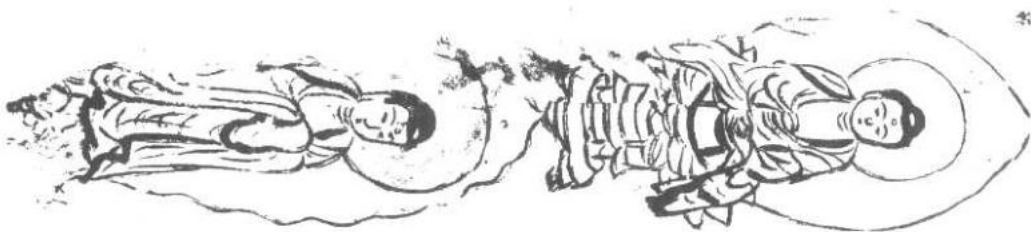
歸命一切佛



歸命一切來

菩薩富

阿羅訶帝三藐三



薩怛他佛他俱

知悉足欽

所警切



南無薩婆訶他

敬禮一切佛

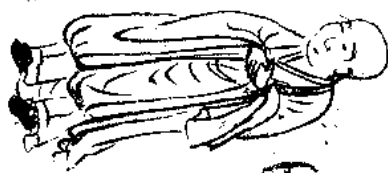


敬禮文殊聖人

婆舍羅波
迦僧伽南



敬命羅漢善眾



跋南

何羅漢

南無



敬命菩薩耶

勃地薩跋

敬禮迦聖眾

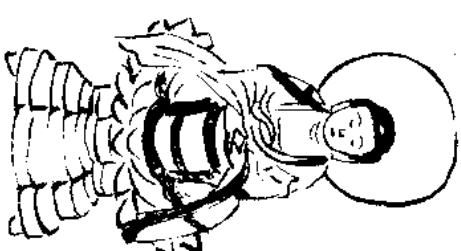
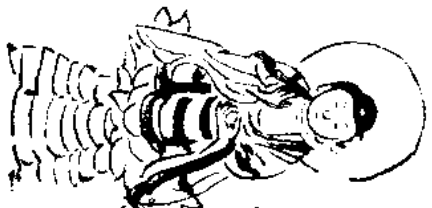
俱知南

藐三菩陀

南無薩多南三



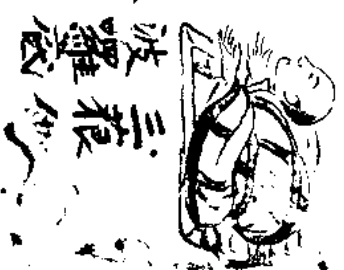
南無蘇盧多波那南
敬禮斯陀舍



南無盧雞三根伽路南
敬禮過去未來諸佛

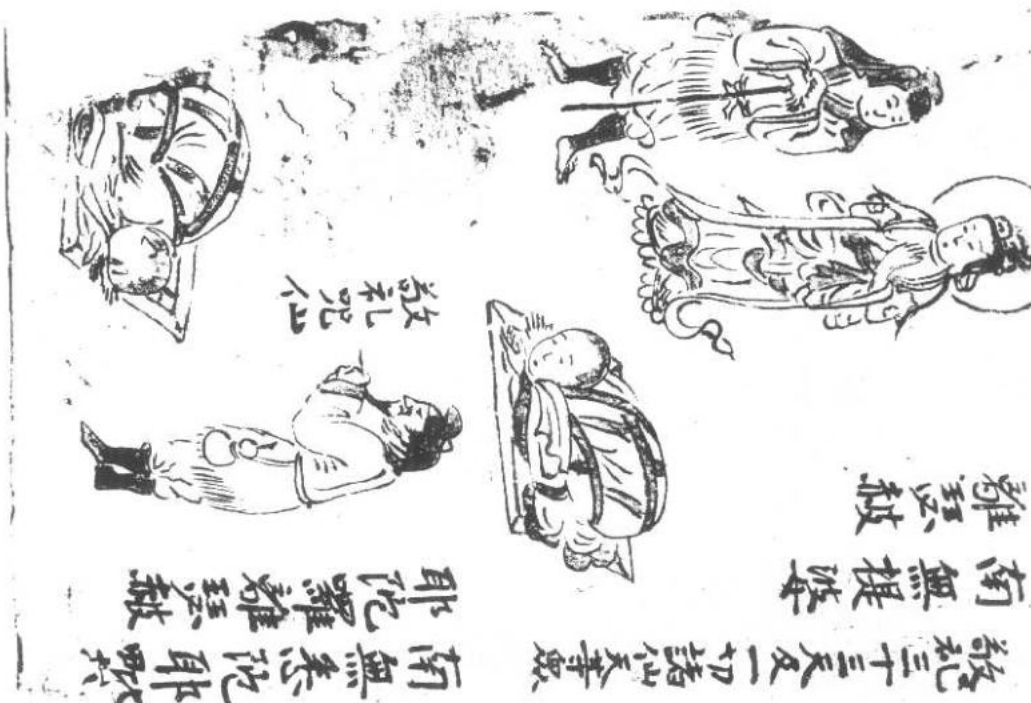


波多那南



南無波
伽路南
敬禮斯陀舍





烏摩事般帝天



久春高寺

波醯夜耶



南無波伽婆
帝蓮陀羅



南無因陀羅
級命帝釋



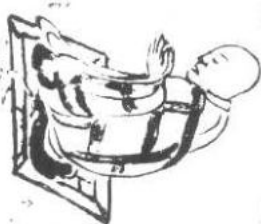
南無婆伽婆帝
耆訶迦羅耶
大黑天神



南無婆伽婆帝那
羅野拏耶地祇衆



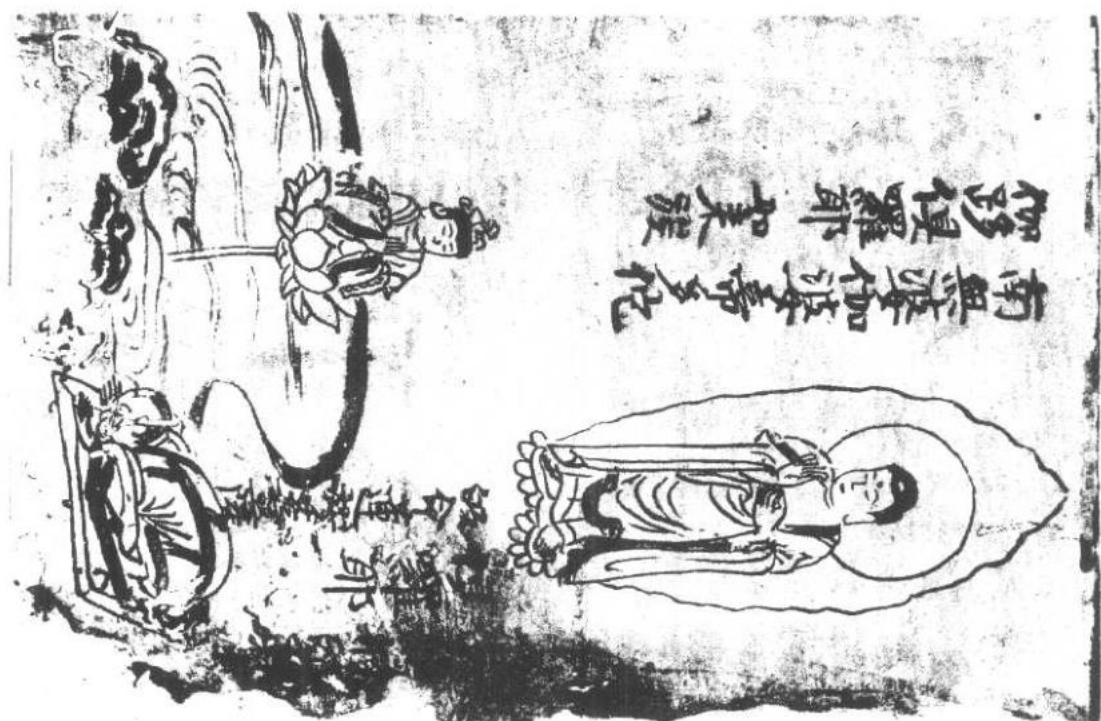
敬禮世尊

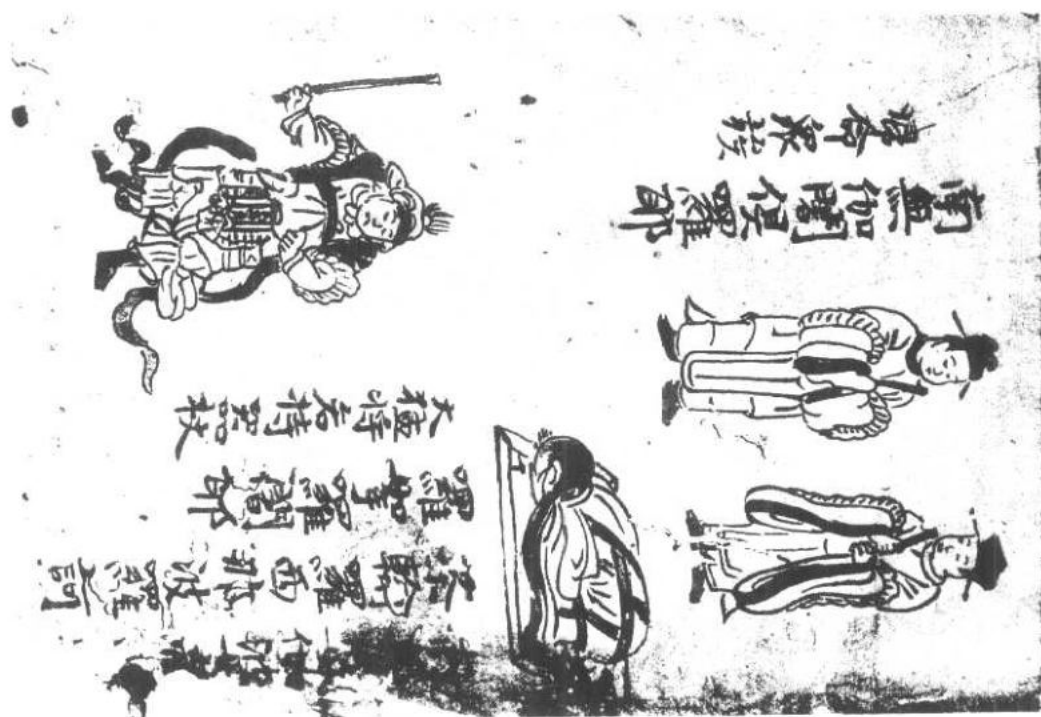


大印

慕陀羅

槃透耆訶三





跢伽多耶
如來



南無波加薩婆耶
阿鉢多耶



南無波加薩婆耶

應云普覺

跢伽多耶阿羅訶帝
三藐三菩陀耶

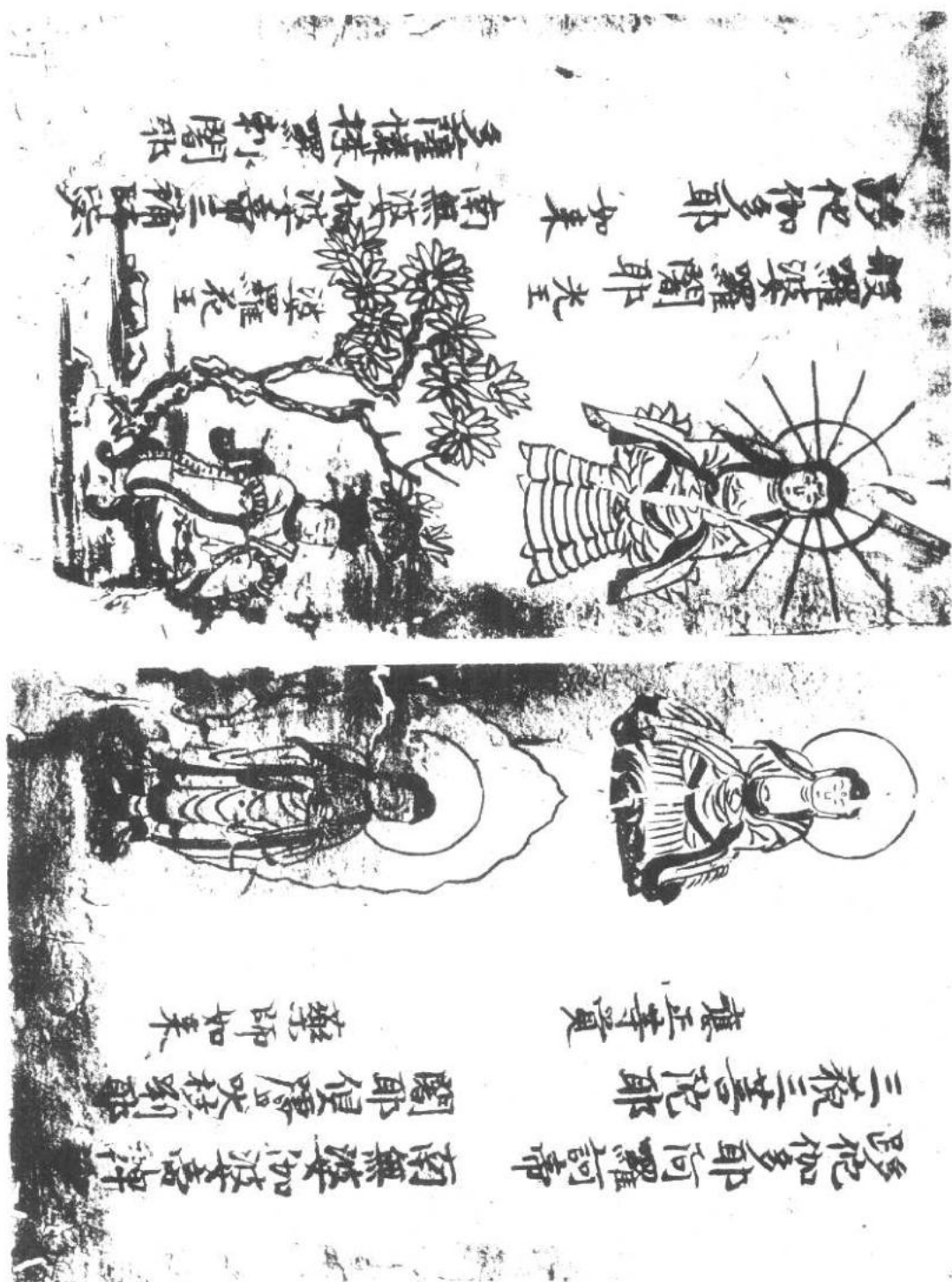


鞞耶

南無波加薩婆耶阿羅訶帝

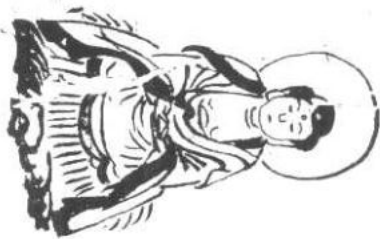


阿鉢多耶



圖像 Nos. 37, 38, 39, 40.

跋他伽多耶阿囉訶帝
三根三菩陀耶
應心等受



南無跋婆伽婆
舍難野母那由
釋迦牟尼佛



跋他伽多耶阿囉訶帝
三根三菩陀耶
應心等受
跋他伽多耶阿囉訶帝
三根三菩陀耶
應心等受

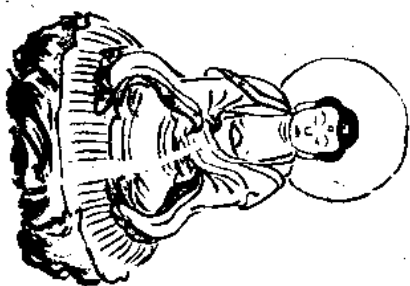
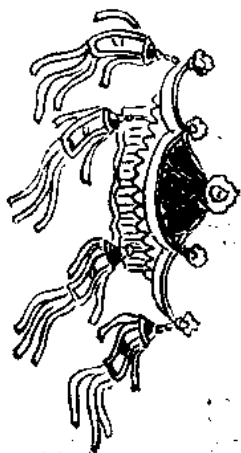


跋他伽多耶阿囉訶帝
三根三菩陀耶
應心等受



華蓋

薩怛多般怛藍



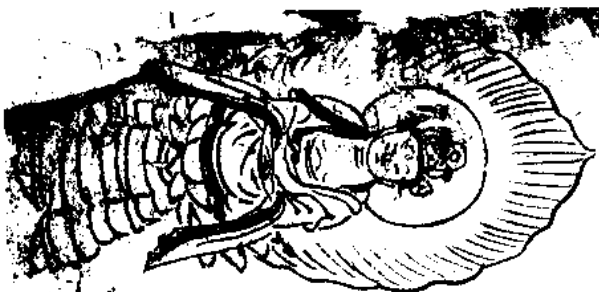
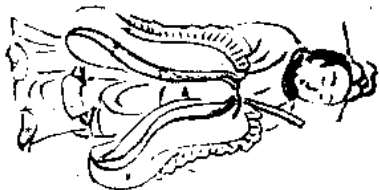
應云奇寶

三根本善陀耶

跢他伽多耶阿羅訶帝

敬札是依勝

南無阿婆囉視耽



如來佛頂

他伽都瑟尼釤

醫雲婆伽波多囉怛

帝祇南無薩羯

般羅帝揚跋羅薩羅波
 尼羅訶習迦羅訶元
 跋羅華地耶光隱你

部多揭羅訶
 一神象作罰



能新地咒



河迦羅密利柱橫元
 般利恒羅耶倅音能習利救取

又元

薩羅跋樂陀耶目



一切轉禁解脫



諸都羅失帝南
八四千金剛神眾



薩羅婆突瑟吒
除一切惡

打破

思多朋波那瑪列

羯羅訶沙訶薩維善



惡夢

安能多般那修修

薩婆安會都盧佉婆安羅
除一切患

希闍呼薩婆安會之誰
透那舍尼除却敵患

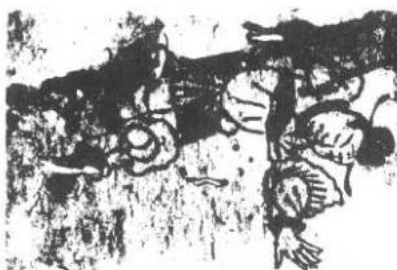


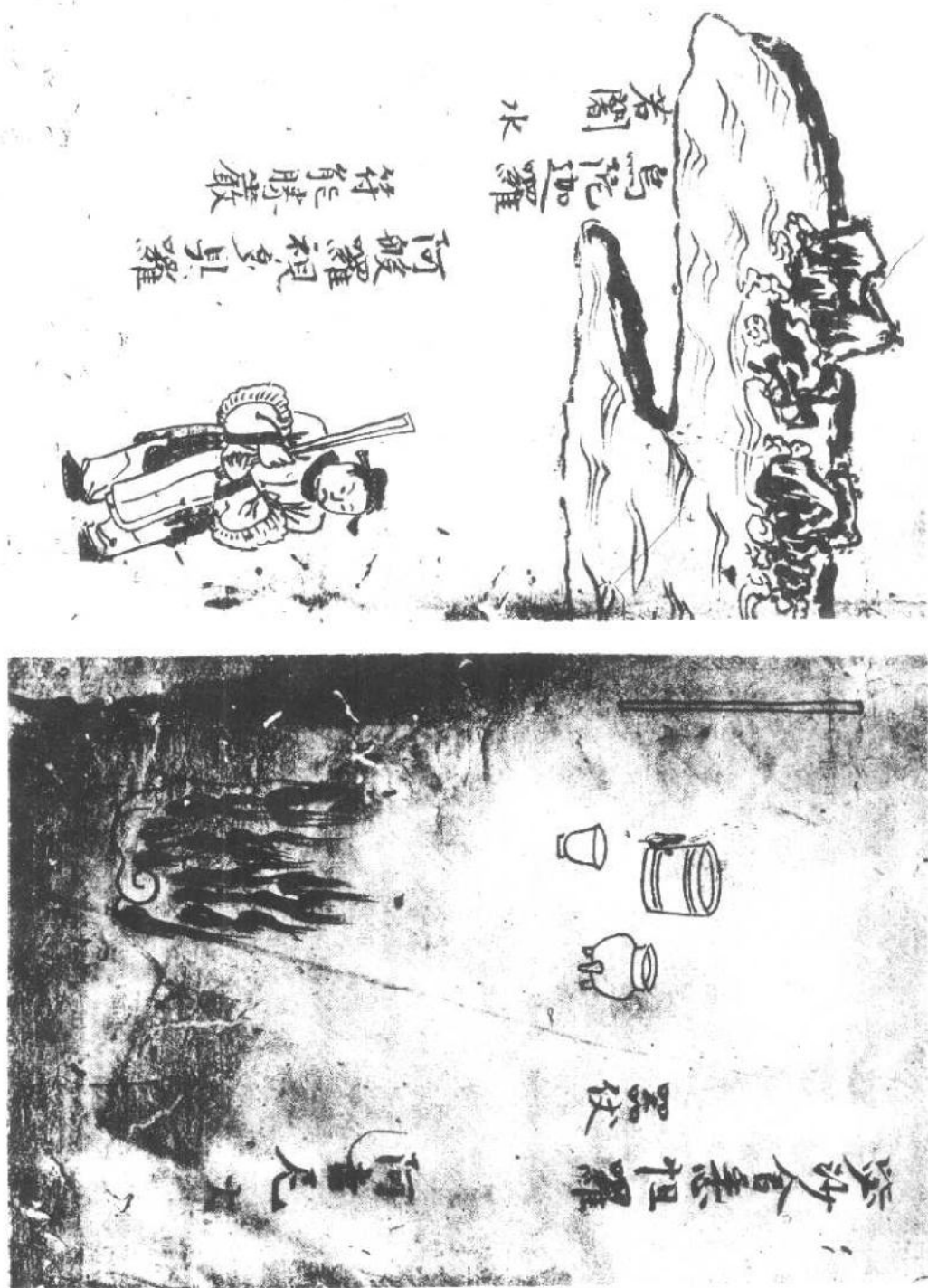
碧剎 正行

阿婆訶水金帝南那叉剎
恒羅若闍波羅薩陀那

剎剎

訶若闍波羅薩陀那
打破





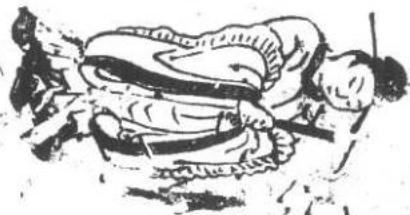
圖像 Nos. 61, 62, 63, 64.

摩訶帝蘭 敬德天



摩訶般若

本白



大力真怒

摩訶般若羅戰特



摩訶般若

火天



阿利耶多羅 聖者
雙陀羅尼志保 白拂



毗利俱舍和書家
聖蘭耶
最勝菩薩摩訶薩



摩訶跋闍
大力夫

闍波羅 光誅天



孩闍羅帝 喝那河透
金剛力士



金剛杵

摩羅刹 波羅羅貨多



摧碎金剛

孩闍羅帝 礼衣毗舍雲多

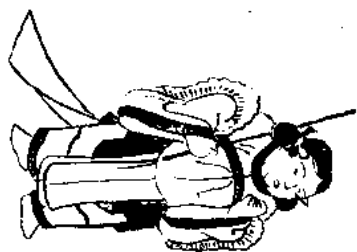
降伏

勞騰因迦





優藍陀利 金剛童子



金剛手

跋闍羅囉囉



刺波女 金剛連鎖

阿般羅跋闍囉囉囉
阿利耶多羅華前婆羅

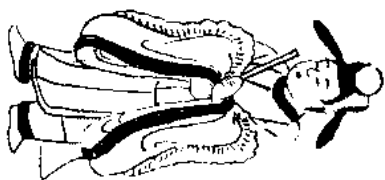


金剛童子

跋闍囉囉囉

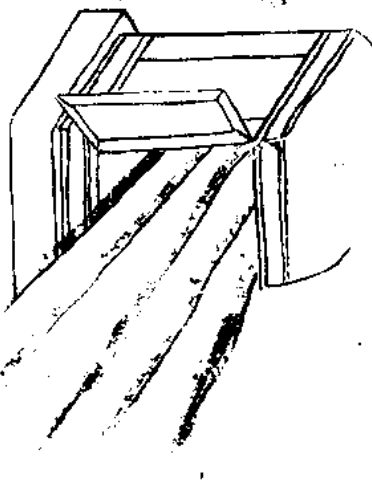


聖蘇母世諸羅囉那
月天子耆舊



吐大

聖蘇母世諸羅囉那

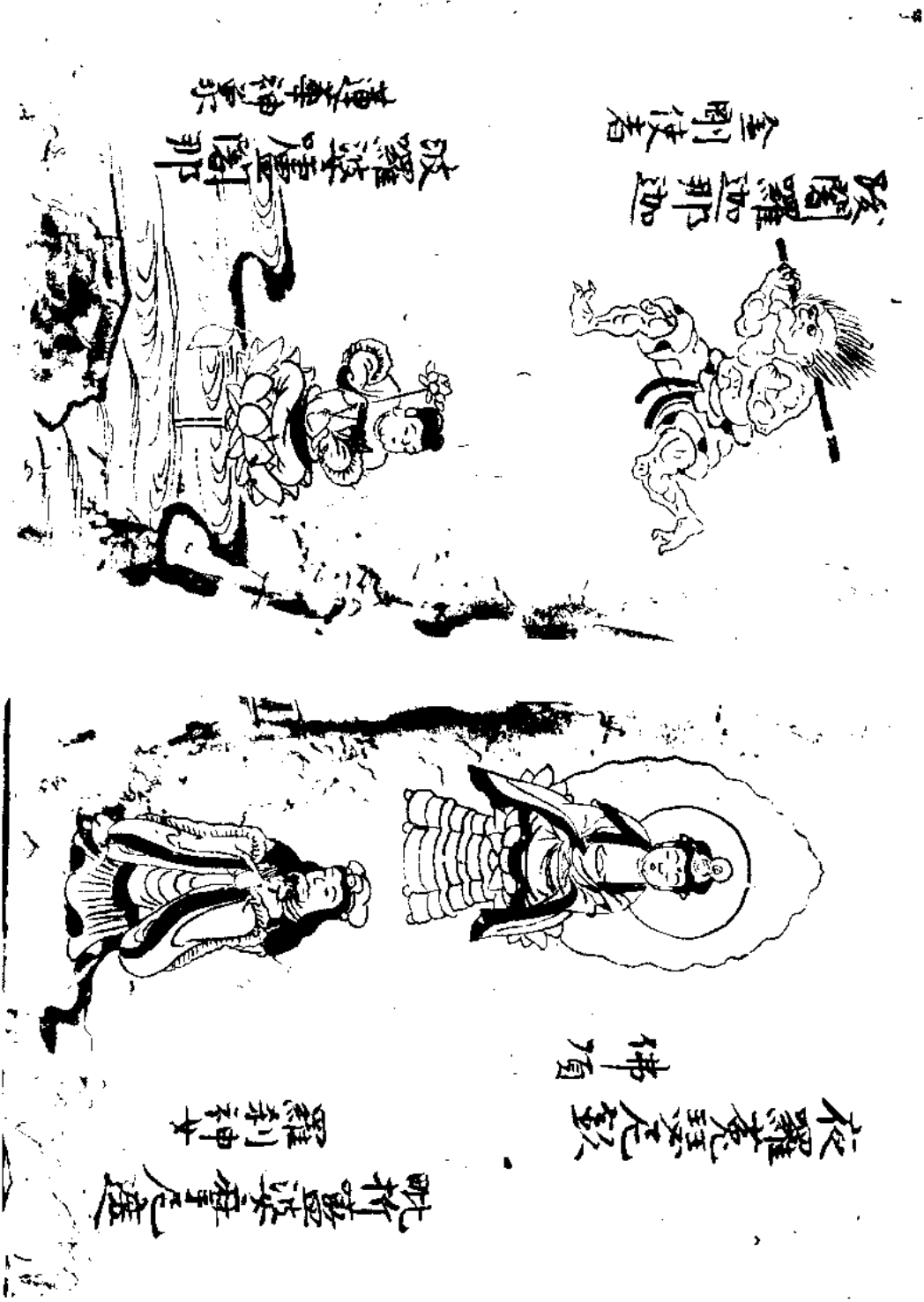


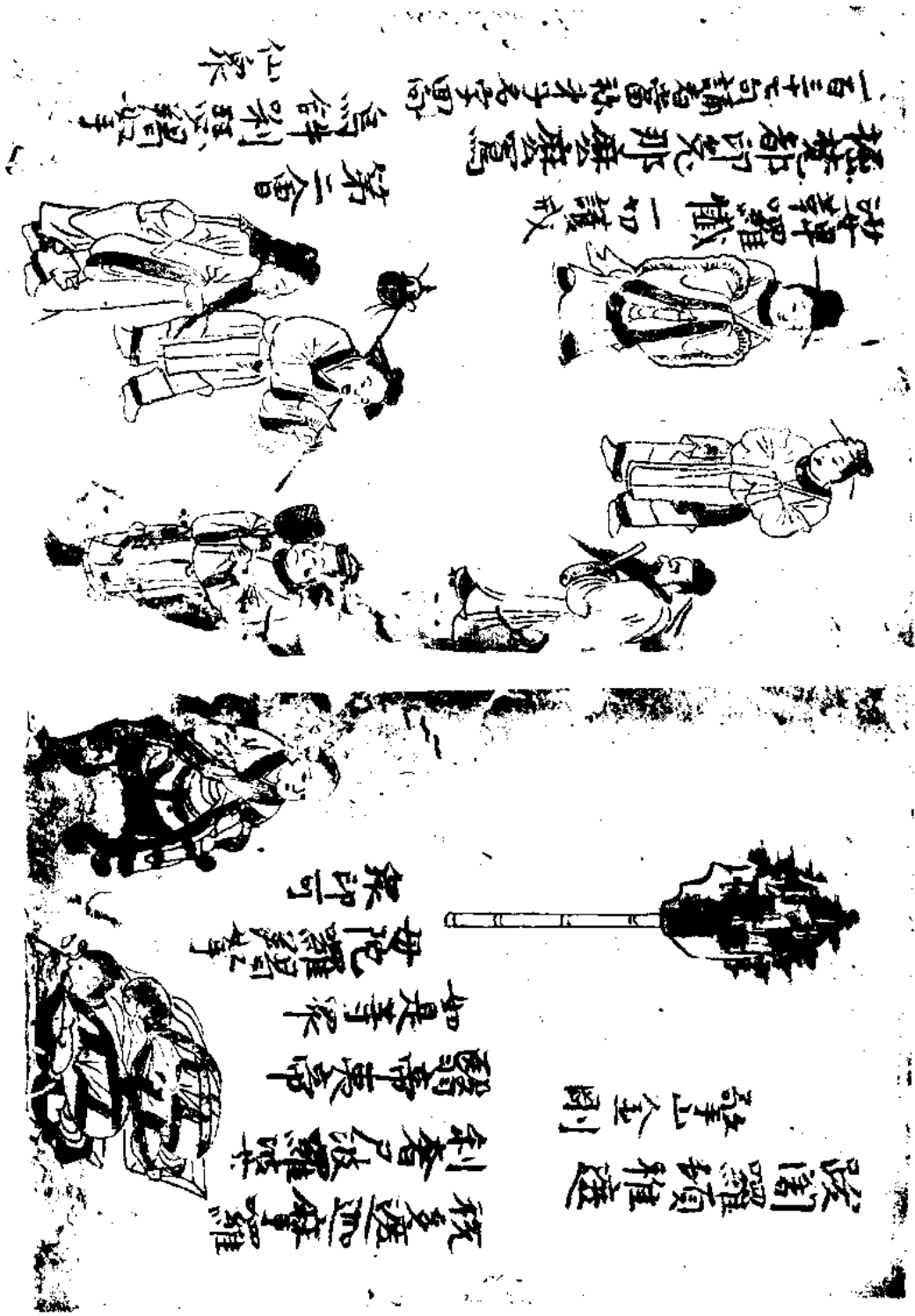
毗地耶 大明咒藏

四天王

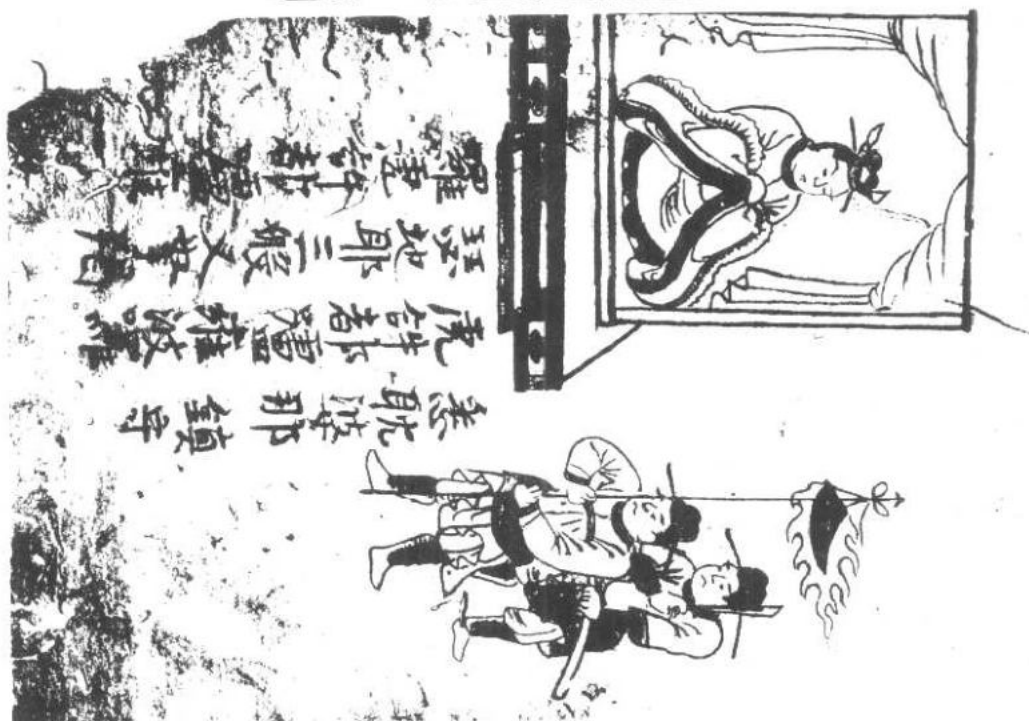


聖蘇母世諸羅囉那



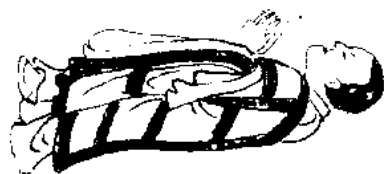






圖像 Nos. 101, 102.

喝羅刹婆 聖却他呬



六方神王衆



新羅人悉南揭羅
訶汝訶薩羅南

由騰明薩那羅虎

那騰羅叉護諸佛菩薩金剛天仙守護



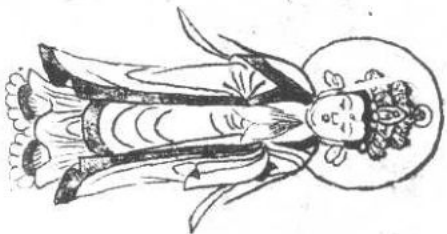
康斗朴書羅

打破

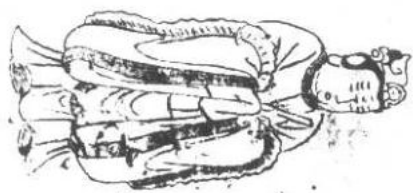
薩那碧羅

揭羅訶者闍毘闍

初樹婆訶薩羅室利沙
千頭佛



俱舍婆訶薩泥帝集
百千鬼神



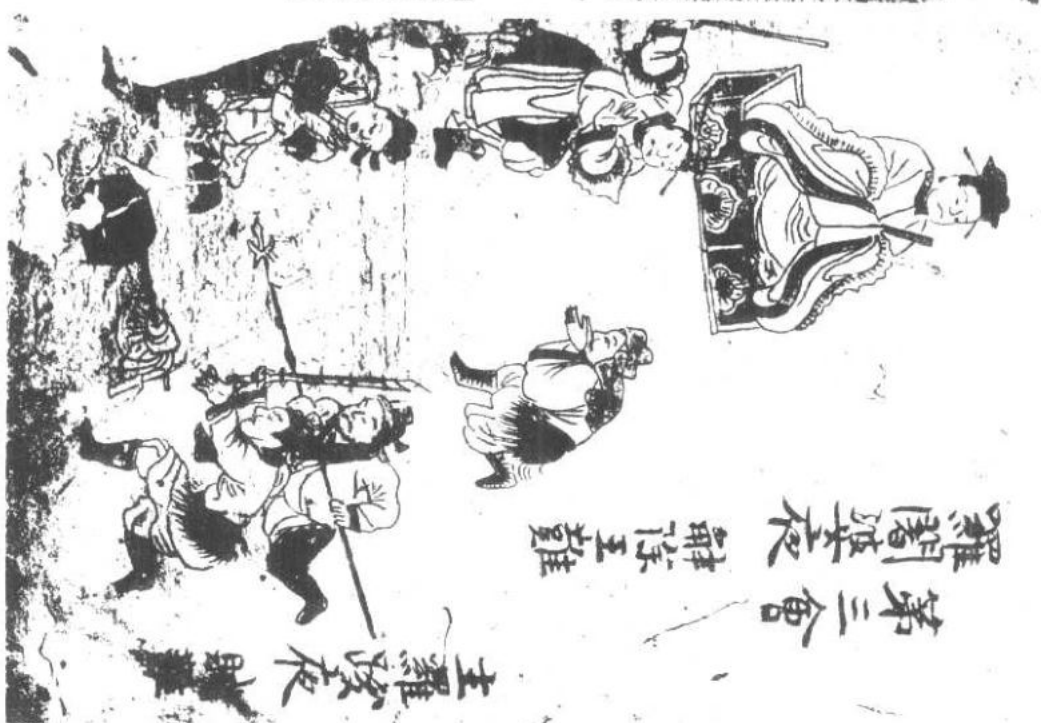
婆伽梵薩怛他伽都
玉足金 伸頂



波羅點闍吉利摩訶
沙婆訶薩羅
十臂大神







毗沙波夜毒羅



金羅波夜
刀枝羅



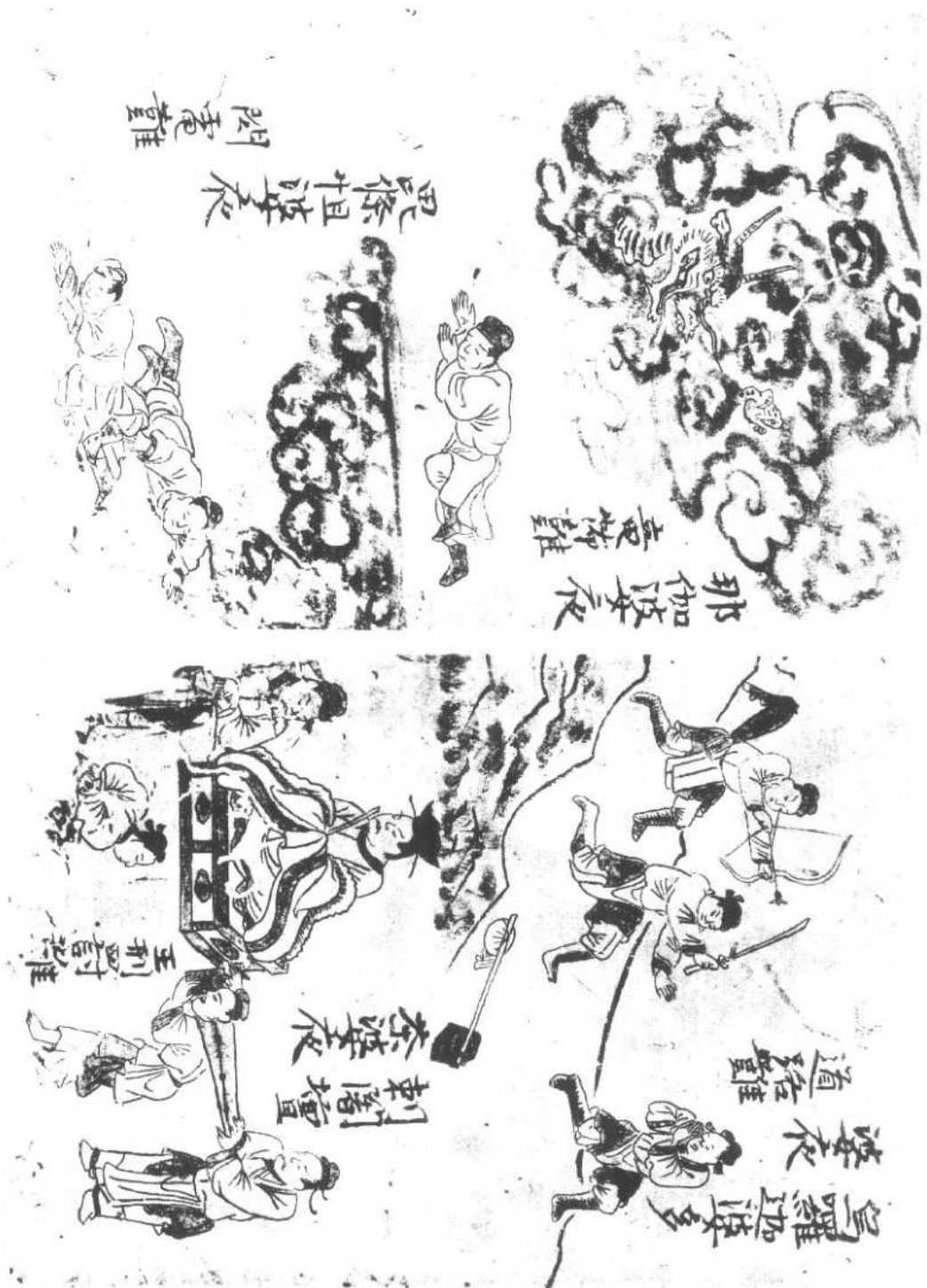
羅波夜
五羅新羅



殺貪官羅
夜



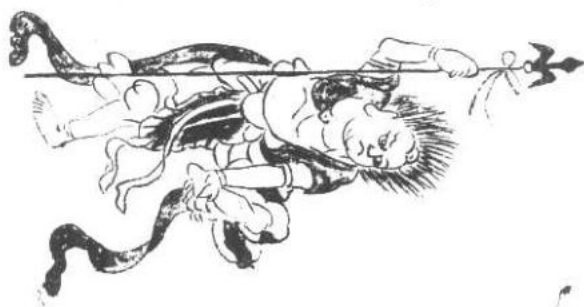




圖像 Nos. 127, 128, 129, 130.

具舍透相羅訶

剎神



部多相羅訶
神鬼衆



羅叉相羅訶中魂鬼



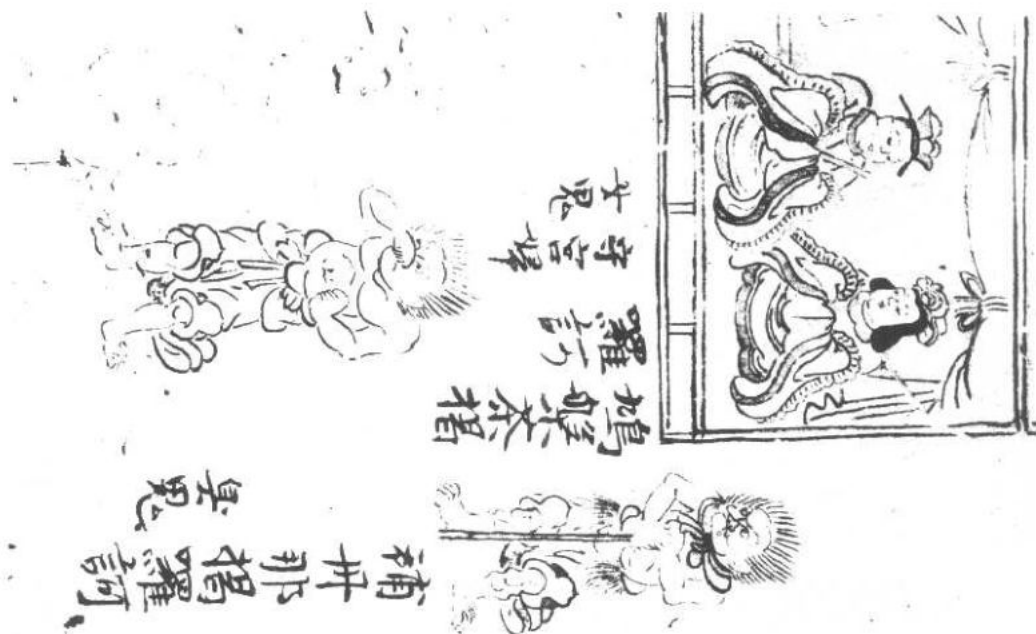
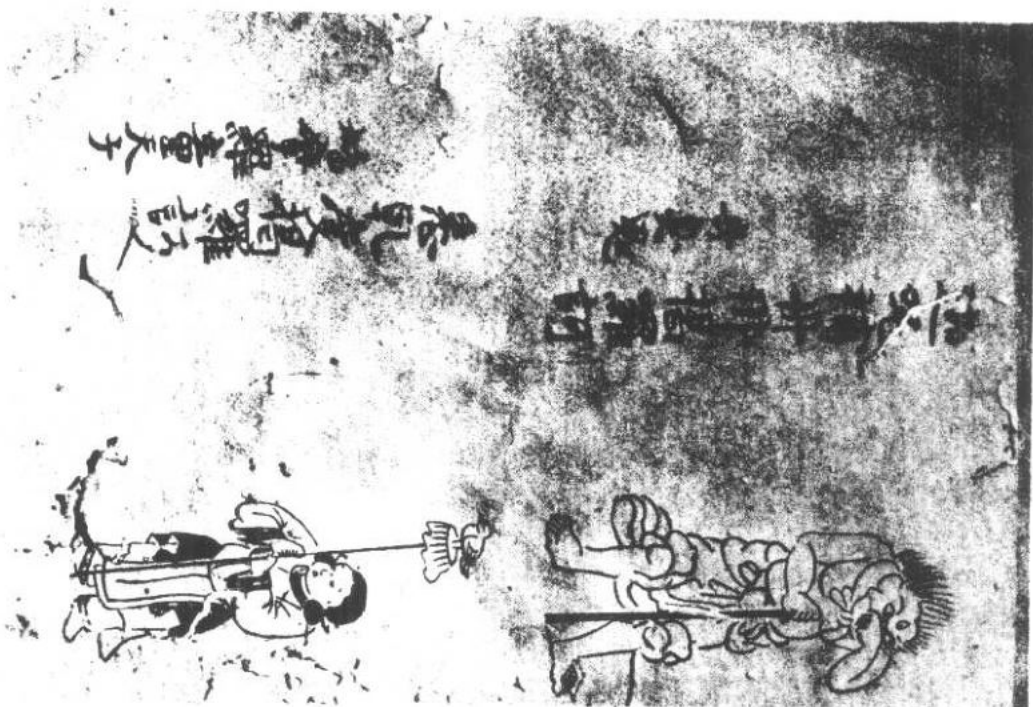
薩者相羅訶非命難

蘇波羅等降夜金翅鳥維

畢利者相羅訶

誠名羅





車夜揭羅訶 墨鬼



車夜揭羅訶 墨鬼



國益米波王揭羅訶

陸謀鬼



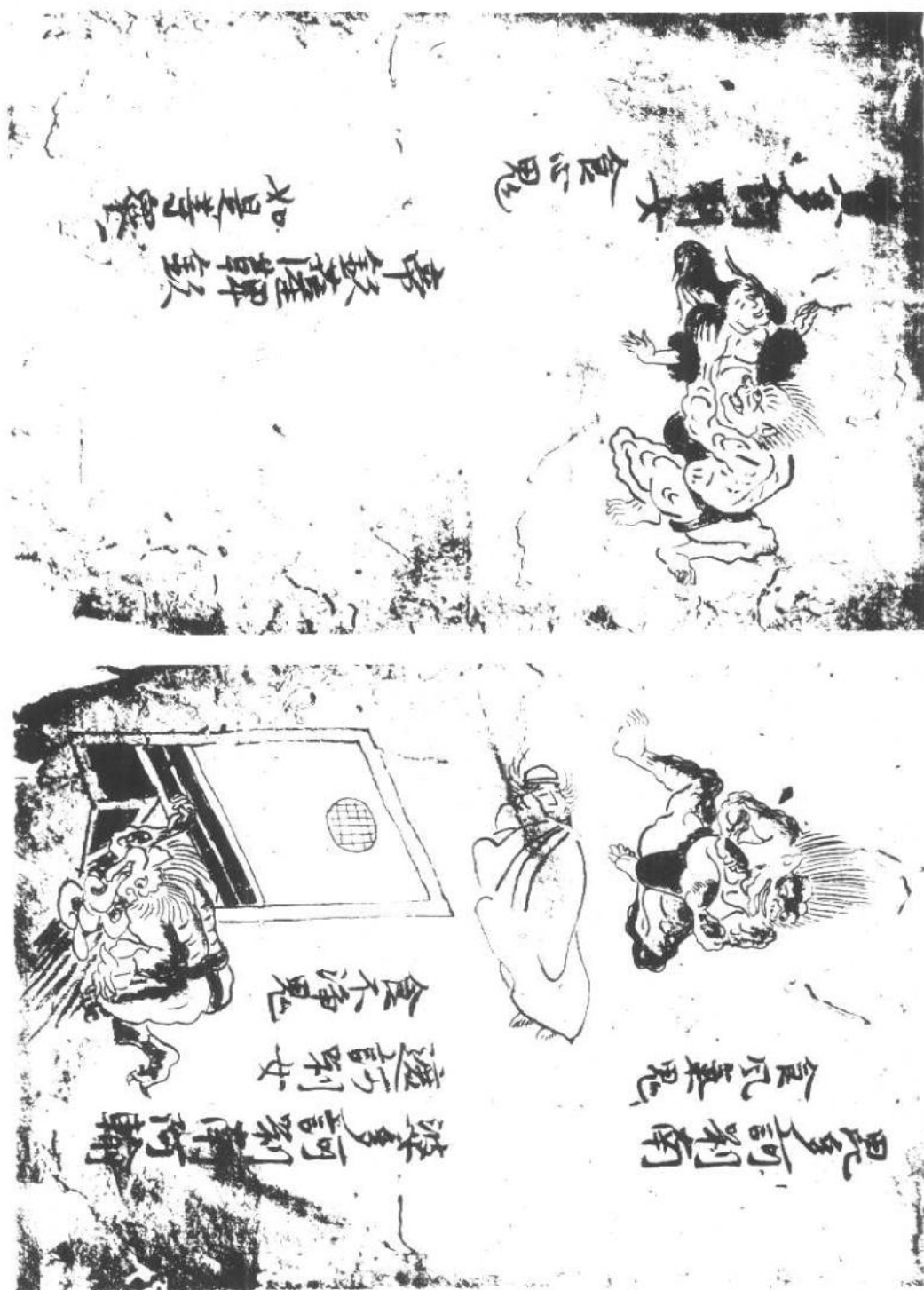
百播悉麻王揭羅訶 烏檀森王揭羅訶

熱鬼







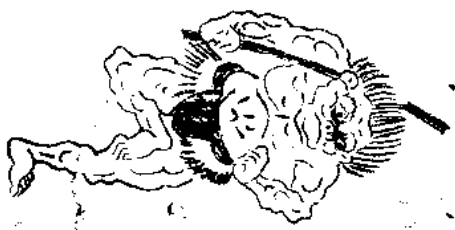


圖像 Nos. 153, 154, 155, 156.



圖像 Nos. 157, 158, 159, 160.

時有夜輸般夜盧使羅
 大自在天訖剎提毘陀夜闍
 真陀夜孫維羅夜孫如土



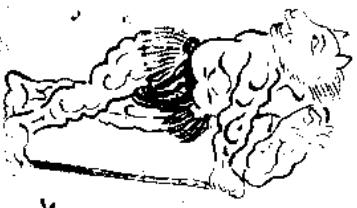
那羅夜掌天神
 訖剎提毘陀夜闍
 真陀夜孫維羅夜
 孫如土



波剎跋羅者迦訖剎提毘
 陀夜闍真陀夜孫維羅
 夜孫 赤外通



茶演尼孤悲鬼
 訖剎提毘陀夜闍真
 陀夜孫維羅夜孫
 如土



恒垂伽藍荼西金翅鳥



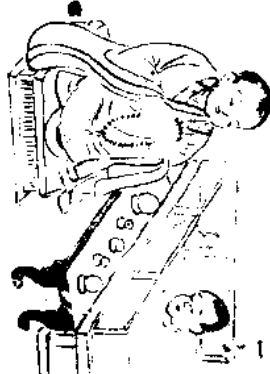
訖利擔陀夜闍真陀
夜彌羅夜如土

每手伽羅大黑天神
每手伽羅小黑天神



訖利擔陀夜闍真

陀夜彌羅夜如土



諸耶若

迦波呼迦羅蘇外道

羅摩受羯羅薩波羅他迦

達那
有一物

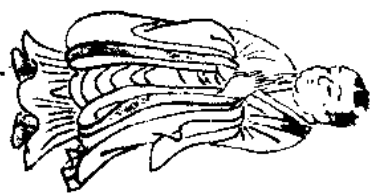
訖利擔陀夜闍真陀

彌羅夜如土

訖利擔陀

夜闍真陀夜彌羅夜

阿羅漢羅漢
訖利權毘陀夜闍真陀
夜弥雞羅夜弥如工



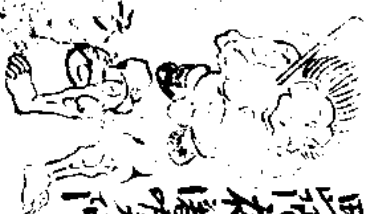
夜弥雞羅夜弥
訖利權毘陀夜闍真陀



毘羅伽起死鬼



羅夜弥
夜弥雞羅
訖利權毘陀夜闍真陀



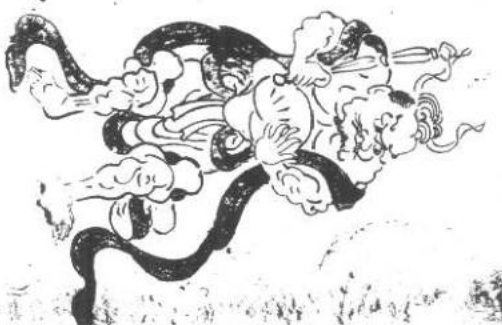
索雞夜野叉三兄弟三各
領千八
万眾



那羯那舍羅婆拿地通
訖利權毘陀夜闍真陀
夜弥雞羅夜弥如工



是醯夜具醯夜
密跡力士



訖剎檀思陀夜闍真陀
夜弥羅羅夜弥
迦地維帝 結結

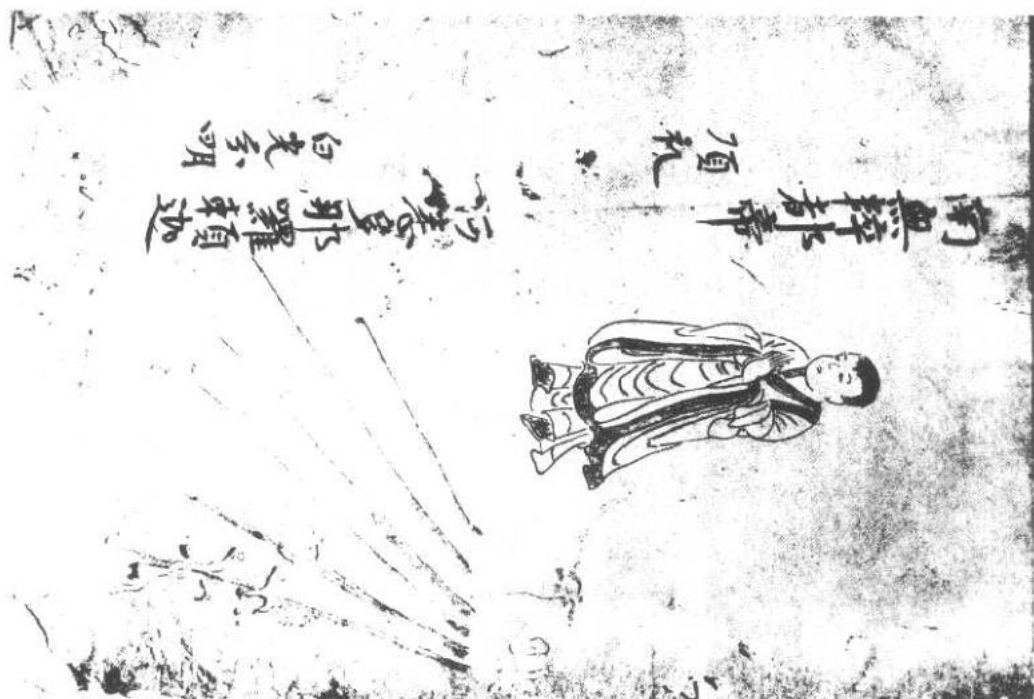


跋闍詩熱



羅波儀聖則神





波羅陀 陀律與頤

迦耶律
不在大德

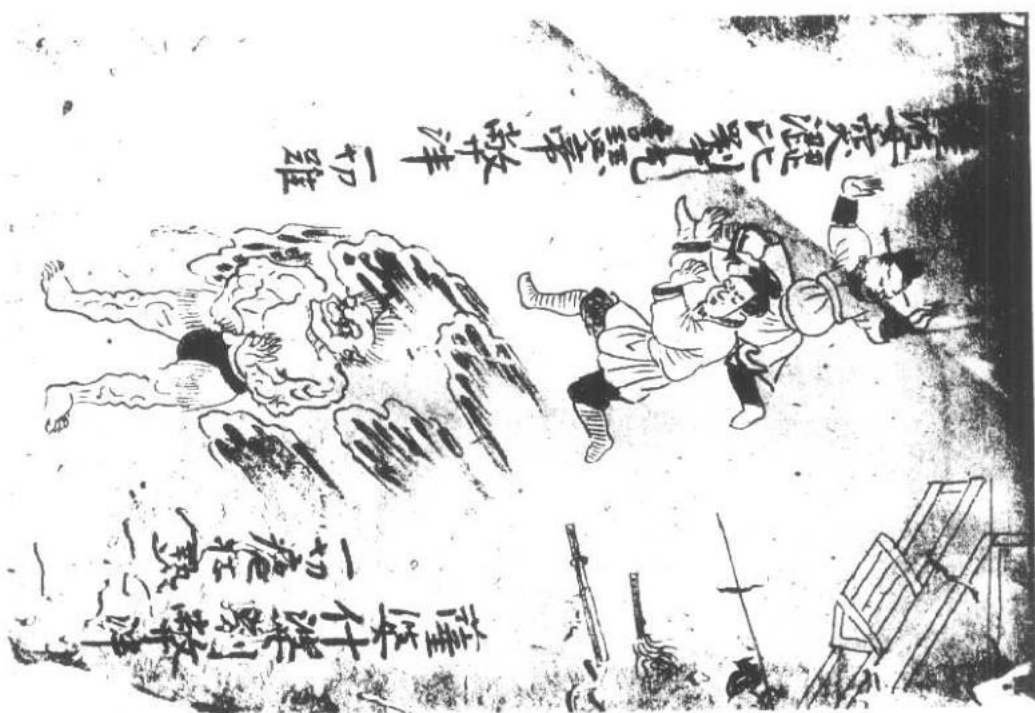
[illegible]

羅光燾

波羅婆卷首字母迦薩祖
受鉢帝刹什佛羅什佈

圖像 Nos. 181, 182, 183, 184.





薩婆安可攝慈母聖教洋
一切外道
薩婆舍羅婆聖教洋
破一切空見
薩婆地帝雞教洋
破一切受害



薩婆地帝雞教洋
破一切受害
薩婆舍羅婆聖教洋
破一切空見
薩婆地帝雞教洋
破一切受害
薩婆舍羅婆聖教洋
破一切空見
薩婆地帝雞教洋
破一切受害



薩婆恒磨聖教洋
破一切惡
薩婆恒磨聖教洋
破一切惡
薩婆恒磨聖教洋
破一切惡



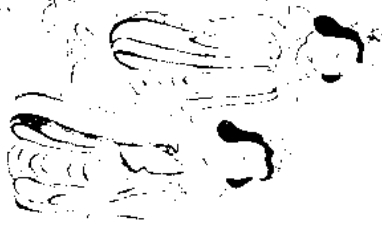
摩訶波羅丁年又耆闍崛津
 降伏一切元難惡敵
 跋闍羅闍羅夜波羅丈
 耆闍闍即津降伏一切惡道

大觀書神

夜羅迦



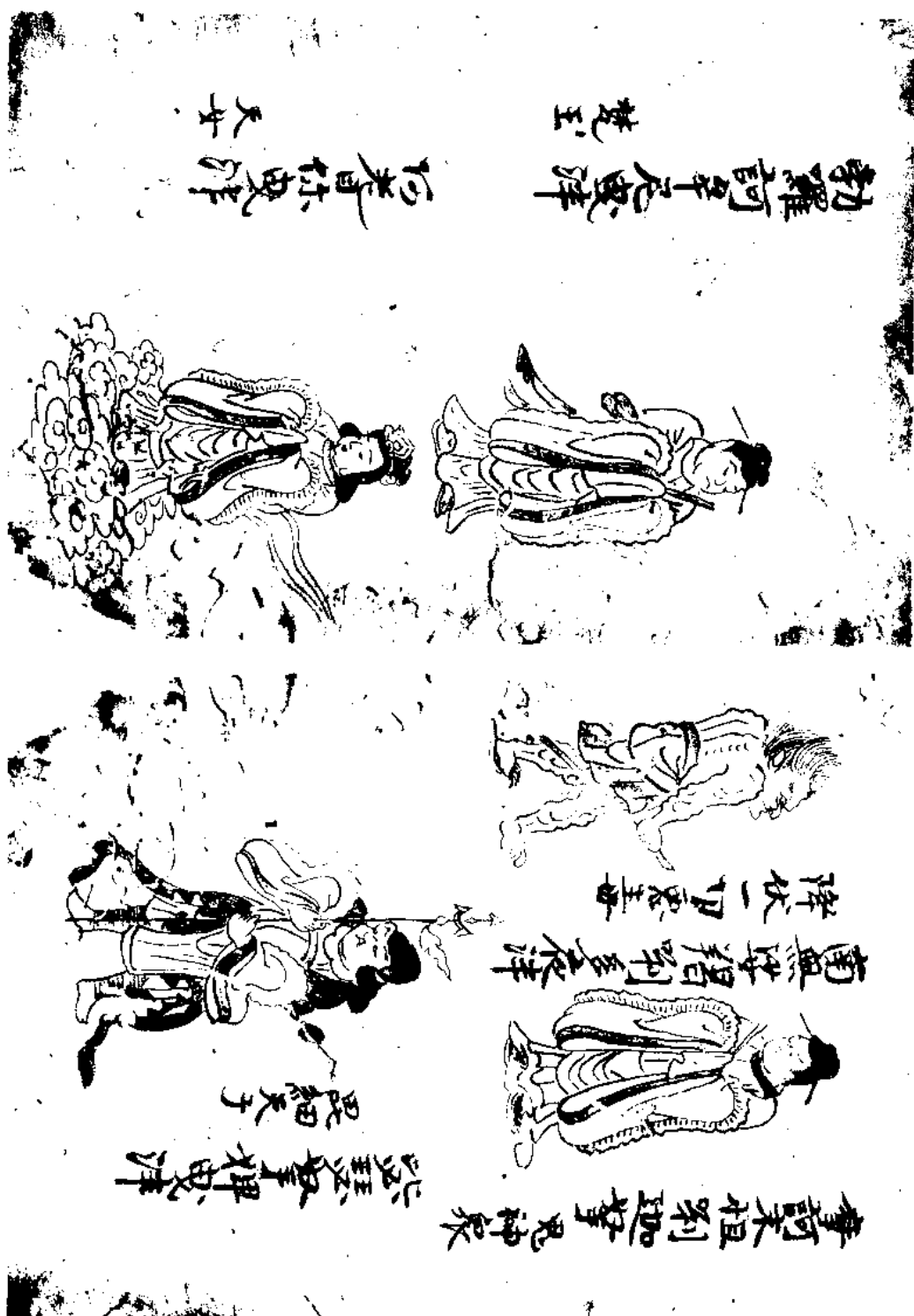
者都羅唐老固休聲



田代他逸利敵洋 醉瘧壯熱



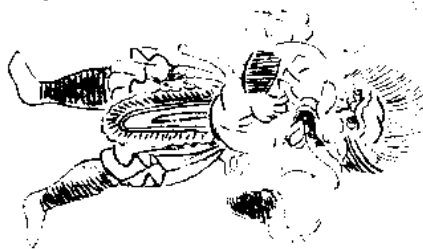
夜羅板書聲津





跋叉荼毘津

跋叉大神



第五會

跋叉荼毘津 惡心鬼

阿末担利伽多 惡毒鬼

烏闍訶羅

食精鬼

伽波訶羅 食胎鬼



三十二句里此說《素書》

印支那那 摩訶

演說寶薩摩訶

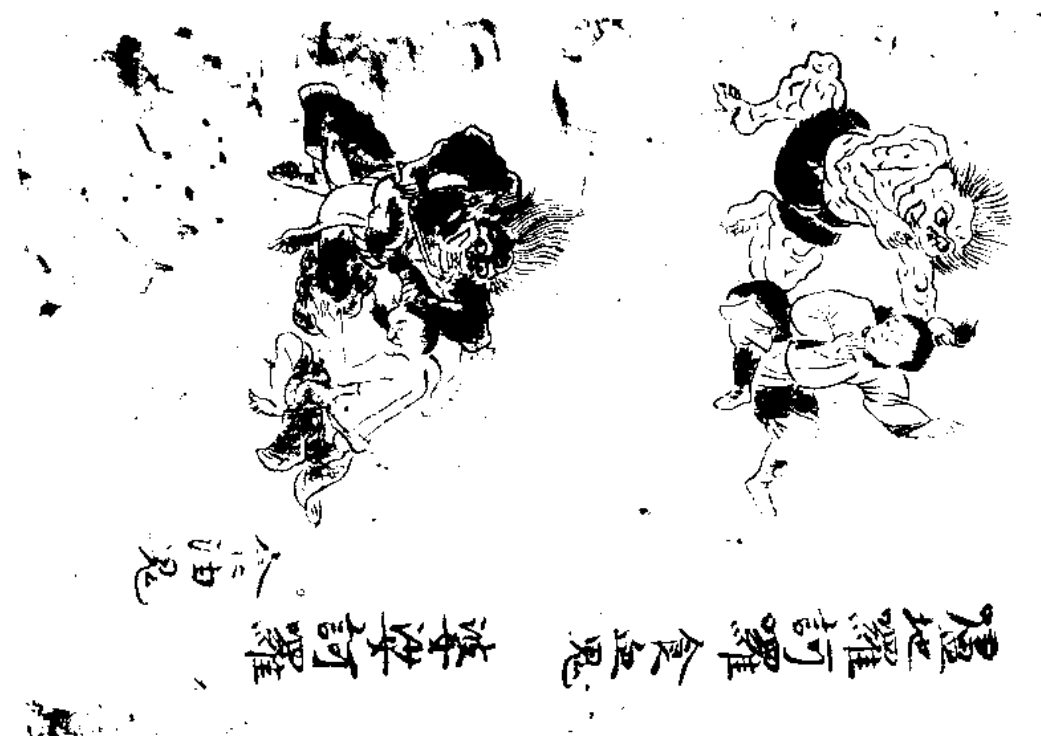
摩訶毘津 一切有力鬼神

跋叉毘津 迦王摩訶那

跋叉利毘津 跋叉大神

喝水神

羯羅羅毘津



闇多訶羅
食肉鬼



跋路夜訶羅
食衆鬼



乳陀訶羅
食毒鬼



視多訶羅
食毒鬼



波羅訶羅

食五穀



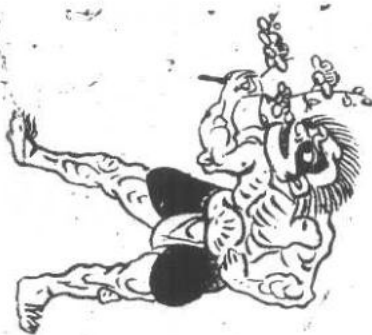
波羅訶羅

食五穀



布史波訶羅

食花鬼



波羅訶羅

食五穀



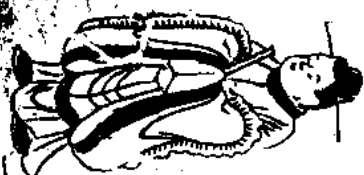
羅刹女揭羅訶



真心鬼

羅刹女揭羅訶

羅刹女揭羅訶



護法神

羅刹女揭羅訶

鳩摩荼羅訶



毘舍遮羅訶

悉曇陀羅尼



部多揭羅訶

烏桓森陀羅訶



車表揭羅訶

於數鬼

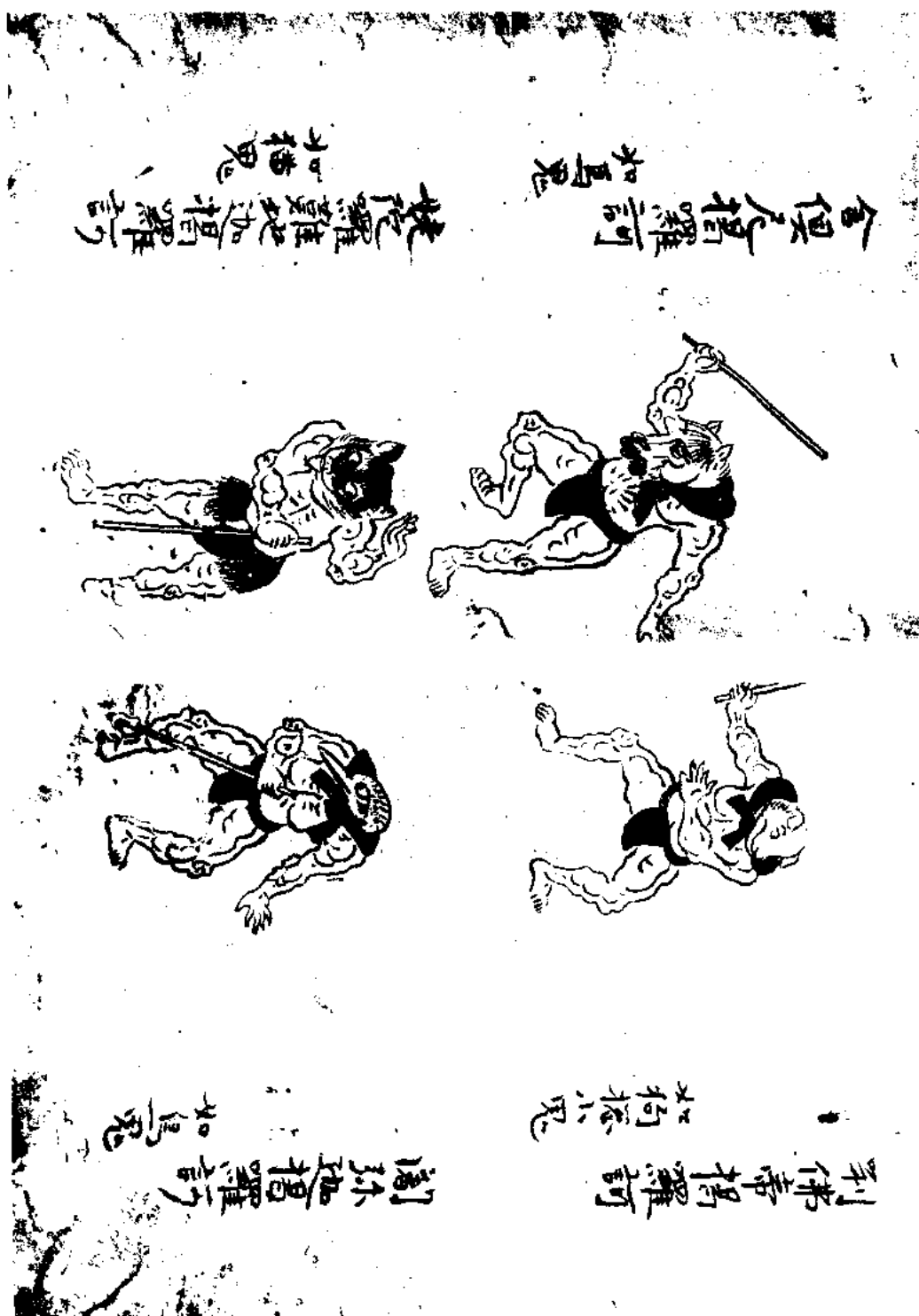


解與鬼
羅揭羅訶



羅揭羅訶
於數鬼

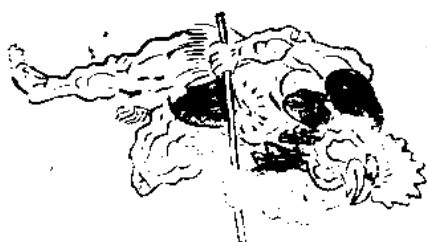




不願渡者招羅
地鬼



亂度波之招羅
地鬼



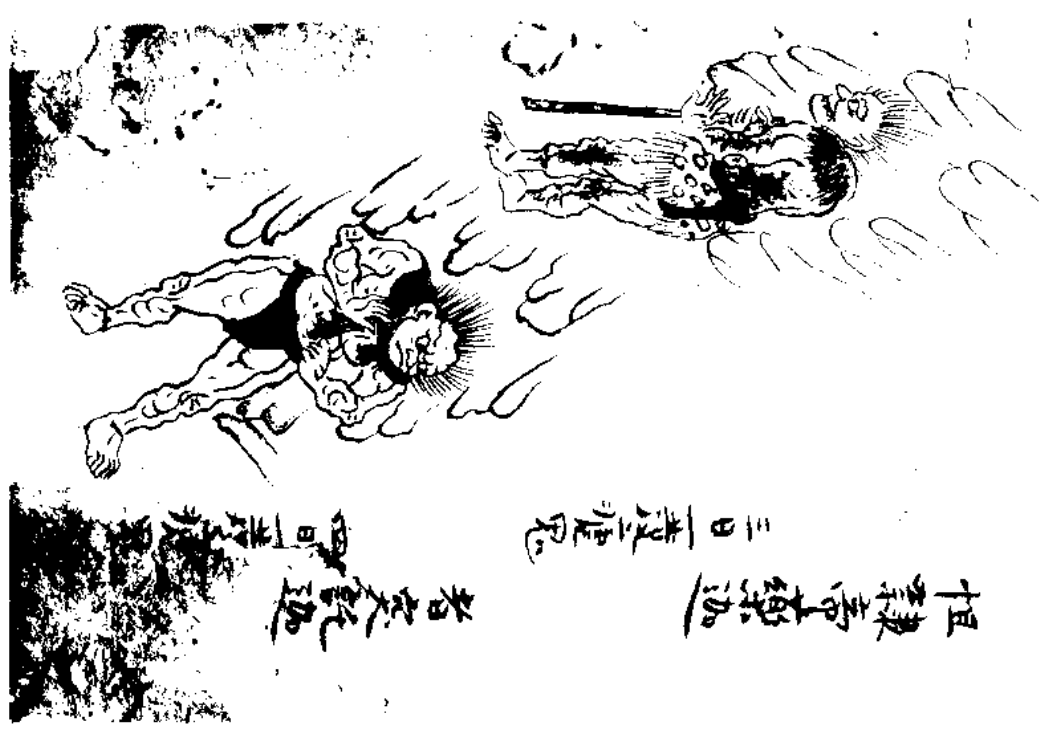
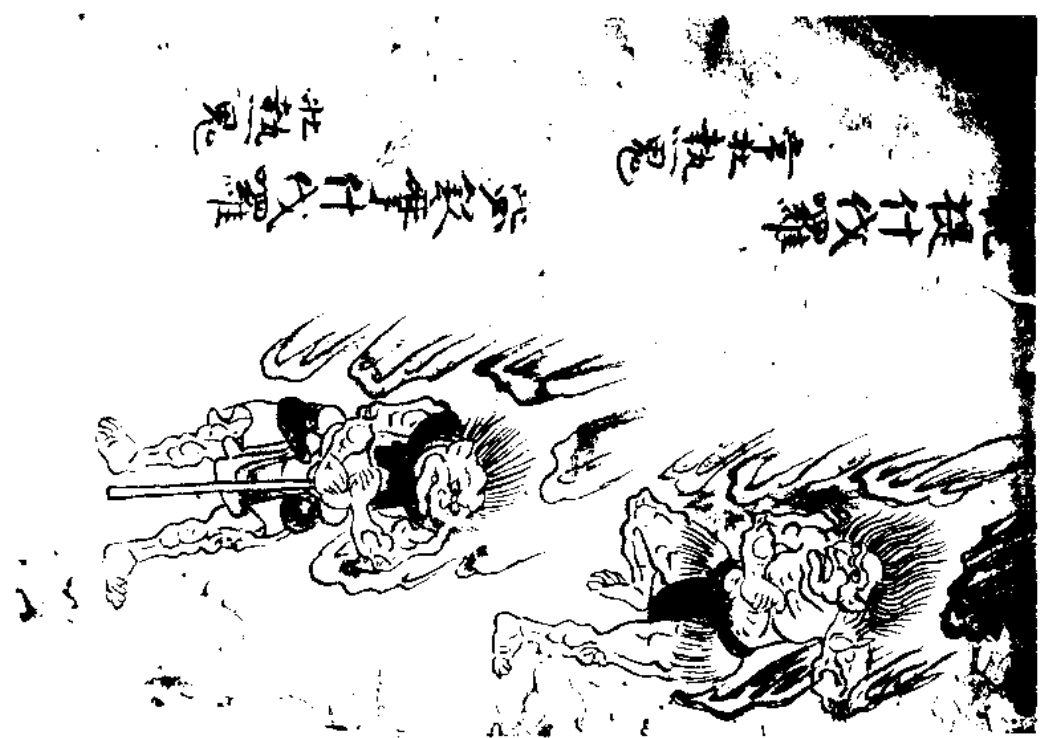
什伐羅 壯熱鬼
煙迦薩迦 一日一發瘧鬼



陸王帝樂

一日一發瘧鬼

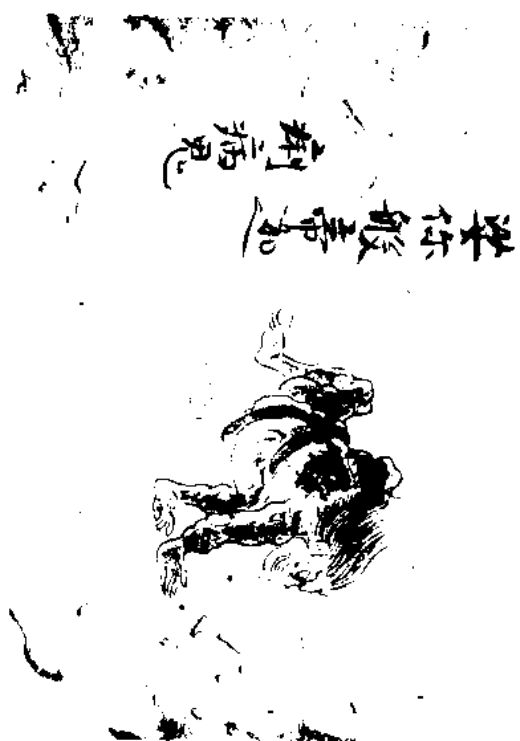




圖像 Nos. 243, 244, 245, 246.



薄底迦 吐病鬼



鼻底迦 魚病鬼

亂不食鬼

末陀甲連雷劍



口痛鬼

阿絳雷甘



一切壯熱鬼

薩波什伐羅



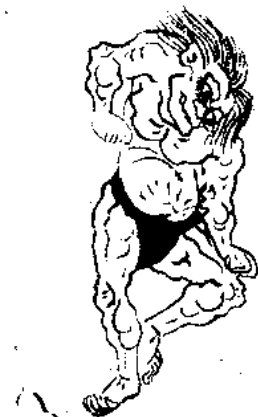
誘痛鬼

室盧吉帝



目住湏鉗

毒痛鬼



攔羅巧揭毒揭掌輸亞

來痛鬼

憚

刺亞

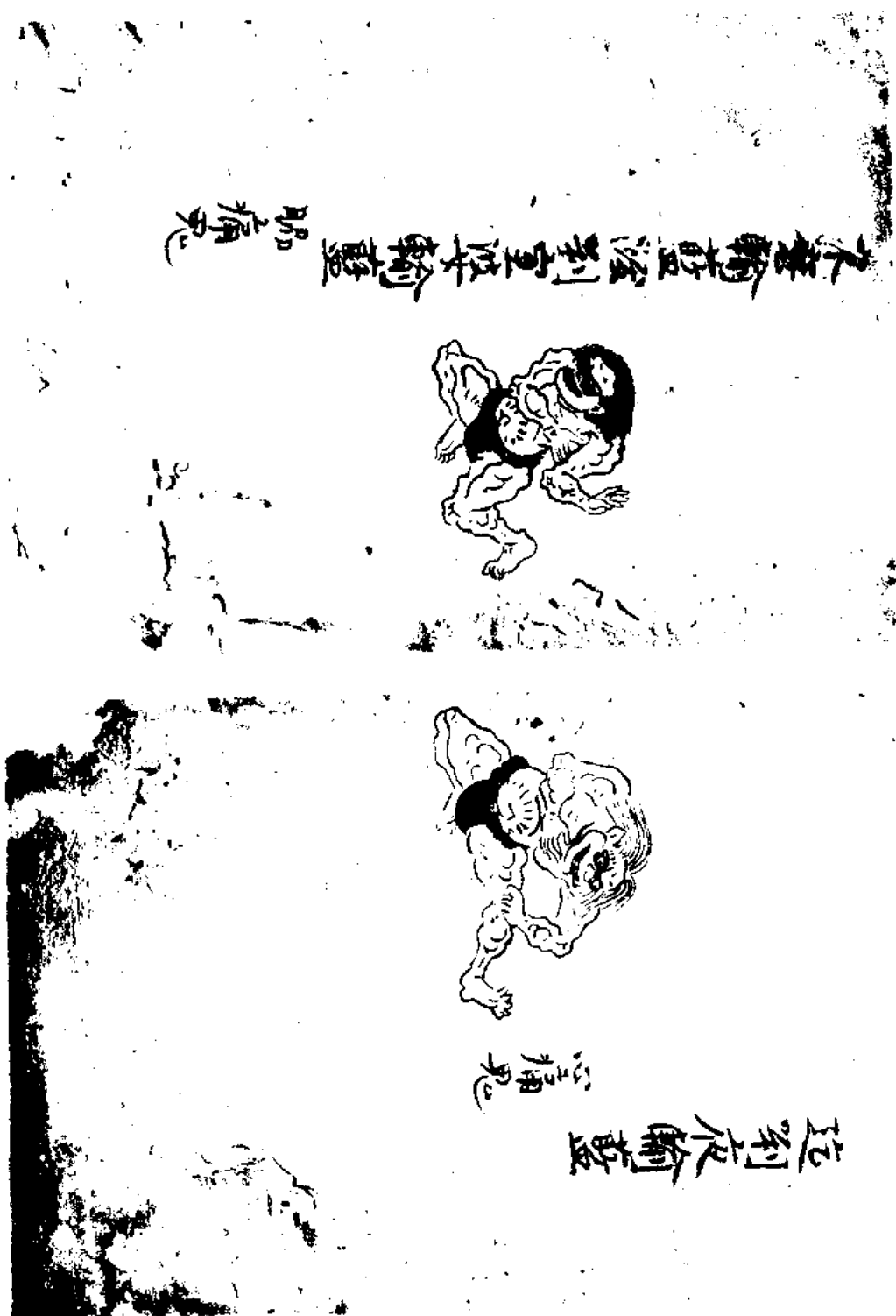
威痛鬼



獨刺毒盧鉗

四頂疾鬼





圖像 Nos. 259, 260.

腰痛鬼

腰痛鬼



腰痛鬼

腰痛鬼



背痛鬼

背痛鬼



背痛鬼

背痛鬼



苦患多輸助旦
兩王痛鬼



跋陀輸助旦

六痛鬼



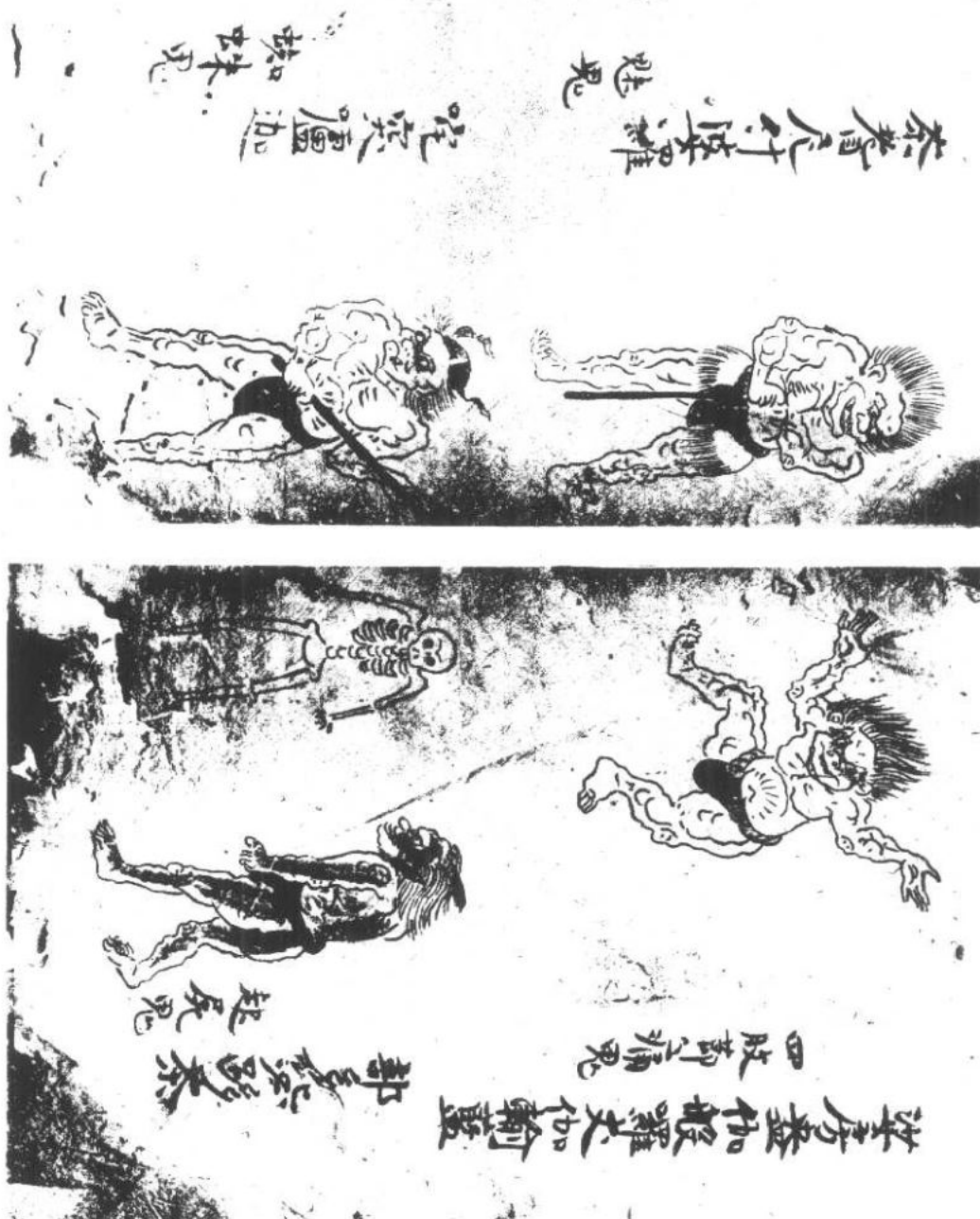
耶盧輸助旦
腔痛鬼



常伽輸助旦

腕痛鬼





赤瘡鬼

薩經盧訶婆伽



丁瘡鬼

薩經盧訶婆伽



毘沙訶前迦婆鬼



小兒世間

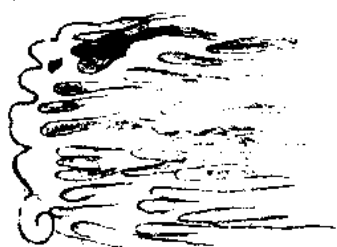


漫海瘡鬼

薩經盧訶婆伽



阿耨尼大



大羅維羅達沙羅

大死鬼

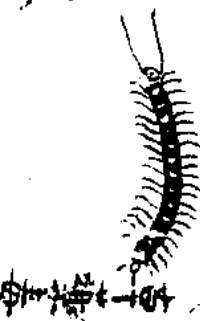


橫死鬼

心迦羅密刺虫



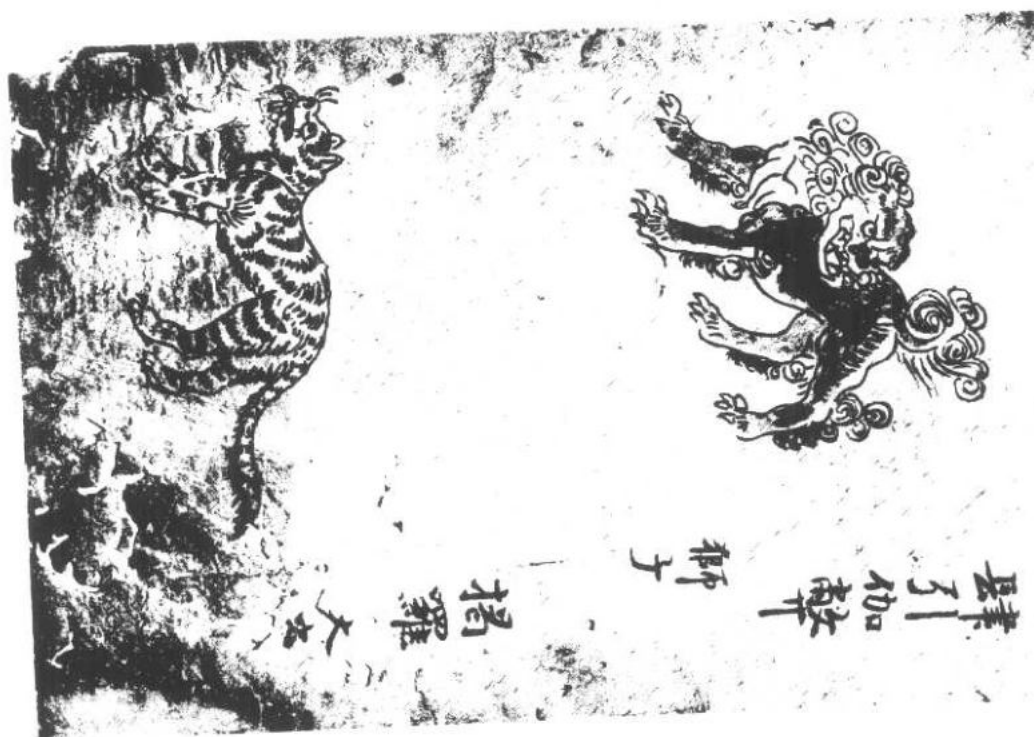
担鈴

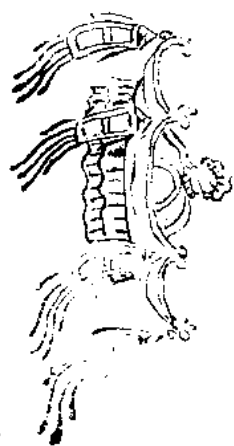


地栗刺吃品刺
要寶連
蝎毒鬼

水陀迦







華蓋

素恒之般恒維

猪頭熊



利垂叉



月星十二由月星分

夜降交院言希圖那

重詞維有文意自路之春

重詞維有文意自路之春

一切此紙者

伏帝欽使界金

木羅視馬頭龍



十羅爾

諸界母兒

跋
陀羅尼
內說咒

阿耶果我今并宣佛
 陀羅尼衆類一切衆類
 能令汝等速見阿耨多羅三藐三菩提
 青誦此咒者皆能除一切惡業
 合掌恭敬 能令汝等速見阿耨多羅三藐三菩提
 補償一切 我行住坐卧時 虎牛等畜生 諸鬼神
 一切惡目 陀羅尼 敬故一切 虎牛等畜生 諸鬼神
 一切惡目 陀羅尼 敬故一切 虎牛等畜生 諸鬼神
 四下七句誦者科牙十名回心



辨恒隸等 云我大明咒十而句
 結果終身受
 果陀羅尼 雲加盧那
 井身光眼終身不得受

[illegible]

老以大城來獻盛光美吉祥能
然麻薩曼恒勒二音啊不囉二諦
囉恒阿字二塔二音司司到字妙目
權救高撒辭不囉二音林林不囉二
音敘里三音實致里三音斯波二音
囉里二音耶訶訶可訶訶
音此陀羅尼能降三世間其種不吉祥事優能
乃依此經大吉祥星一切眾生如集吉祥月夜
念之在無量阿僧祇劫當至六誦時已

曼茶羅集上

設者曰原本京都大通寺藏本參考本中本上本
下三卷延德二年寫高野金剛三昧院藏本乙本
上中二卷鎌倉時代寫京都仁和寺藏本丙本下
一卷文治三年寫高野光明院藏本

佛眼曼茶羅 攝一切佛頂
大勝金剛 金輪
尊勝 仁王經
孔雀經 法華經

諸曼陀羅外位置八方大事

蘇摩呼經下云諸漫茶羅以淨彩色隨意
作一護八方神要須安置彼等能摧諸部
難者云

外部天可向外方事

內供金剛界次第第二云天等各向外而住
云是守護義歟圍於外院亦有金剛牆
是外亦有寶生草地是外緣即名食道安
置供具若獻御布施安置次內界道耳四
方各開蓮花門如半惡凸字等云

曼茶羅事

集經二云曼茶羅此云壇也云

蘇悉地經疏一云漫茶羅者此壇場彼明
王等漫茶羅方圓三角等尊位亦復各有
差別云

大日經疏四云夫漫茶羅者名為聚集今
以如來眞實功德集在一處乃至十世界
微塵數差別智印輪圓輻湊翼輔大日心

王使一切衆生普門進趣是故說爲漫茶
羅也云

四種曼茶羅義問答云問四種者
何耶答一摩訶曼茶羅義二三昧耶

三達磨者四羯磨者也問漢
語如何翻耶答言摩訶者漢翻大

言達磨者翻事業威儀者問何故翻
摩訶三昧耶達磨羯磨而不翻耶

答於此將翻問如何翻耶答於此有古新
古者翻境新者翻輪圓具足也問新者若

亦有翻方耶答亦翻無比無過上味也問
古者云壇與新者云輪圓具足如何別耶

答古者云壇者義偏而不具矣新者云輪
圓具足者義具也問何故古者云壇者義

偏而不具新者云輪圓具足者義具耶答
壇者壇坦也謂坦然而平壇義缺三密四

智印等無量名義故言義偏也新者云輪
圓具足者其三密四智印等無量名義故

言義具也問此坦然而平壇義者在言輪
圓具足之中耶答耐有之地云

般若寺上綱大日經疏一云問曼茶羅者
何義答此輪圓具足無過上味義云問

其具足者具足何物故云具足答云此有
多具足且具足因果故具足理智故具足

莊嚴故具足時節故具足善巧故有無量
具足也

諸事以下九行爲始事

椅尾口決云凡曼茶羅事皆從東北維
起謂置金剛杵及數茅安瓶懸糸線泥
塗掃淨土也茅草以本押末敷也線准
茅草而以始置下以末置上結也云

佛眼曼茶羅一

瑜祇經云復說畫像曼拏羅法取白淨素
縹等自身量而圖畫之凡一切瑜伽中像

皆身自坐等量畫之於中應畫三層八葉
蓮花中畫我身當於我前一蓮花葉上畫

一切佛頂輪王手持八輻金剛寶輪於此
次右旋布七曜使者次第二花院當頂輪

王前畫金剛薩埵次右旋畫八大菩薩各
執本標幟次第三花院右旋各畫八大金

剛明王又於花院外四方面畫八大供養
及四攝等使者皆戴師子冠是名畫像法

曼茶羅亦如之法將阿闍梨云八大菩薩如理趣
經說又八供養及四攝等標幟

疏下云法將所指一切佛頂輪王經未度
此國其八大金剛具如佛眼佛母念誦集

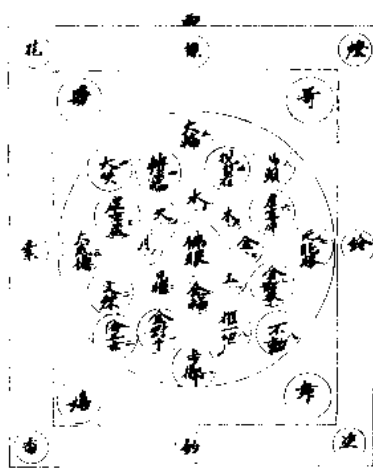
列云
佛母漫茶羅念誦要法集云復說畫像曼
茶羅

一切頂輪王
日天月天火星水星木星金星土星

八大菩薩 善書云增進經云金剛手菩薩觀自在
利提發心轉法輪

金剛手呼短 文殊。菴 虛空藏。但瞻

轉法輪。畔 觀自在。乾喇合。 虛空庫。菴
金剛拳。惡 摧一切魔。邪
八大明王
步擲明王。降三世明王。大威德。大吽
。大輪明王。馬頭。無能勝。無
動。云。



No. 1

校者曰。圖中數字朱書也



No. 2

古本

攝一切佛頂曼荼羅。二
大妙金剛大甘露軍荼利焰鬘熾盛佛頂
經云。爾時世尊身現作攝一切佛頂輪王
之相。手持八輪金輪。處七寶師子座。身放
無量百千光明及大火焰。頂旋傘蓋。上出
現一俱胝佛。身放大光明。一。旋轉坐傘
蓋中。如是世尊以印又八轉。旋轉作八方八
色。輪中現作八種佛頂輪王。八種花座。持
本標幟。各以八凝。誦沙俱胝佛身圍繞。各
旋無量雜寶色光焰。還於傘蓋頂上現一
俱胝佛。旋大光明。一。旋轉。即於東方
如來面。前赤色輪中。現光聚佛頂輪王。手
執如來頂印。放大光聚。座大赤色蓮花。於
如來右。隅黃色輪中。現發生一切佛頂輪
王。手持黃色蓮花。放黃色光明。座黃色蓮
花。於如來右。邊白色輪中。現白傘蓋佛頂
輪王。手持白傘蓋。放白色光明。坐大白色
蓮花。於如來後。右隅雜巧色輪中。現勝佛
頂輪王。手持利劍。放雜巧色光明。坐雜巧
色蓮花。於如來後。紅色輪中。現除一切蓋
障佛頂輪王。手持紅色蓮花。上有鈎。放
紅色光明。坐紅色蓮花。於如來後。左隅青
色輪中。現黃色佛頂輪王。手持三股。日
羅。放青色光明。坐青色蓮花。於如來左
邊綠色輪中。現一字最勝佛頂輪王。手持
八輪金輪。放綠色焰。坐大綠色蓮花。於如
來前。左隅紫色輪中。現無邊音聲佛頂輪
王。手持白螺。放紫色光焰。坐紫色蓮花。如

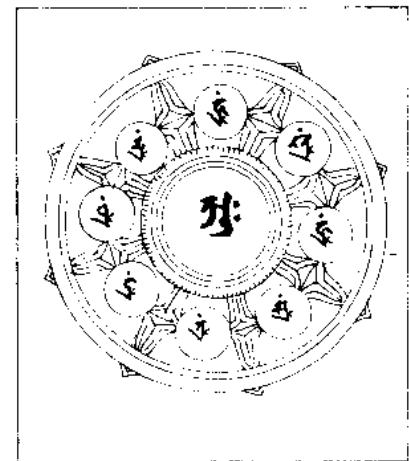
上八方佛頂各。放本方色光明。各以八
凝。誦沙俱胝佛圍繞。各坐本方色蓮花。各
以一俱胝佛利。於頂上盤旋。而作蓋形。爾
時攝一切佛頂輪王。施說八方坐位。各現
八種佛頂輪王。相已。時世尊復現七寶眷
屬。女寶。馬寶。象寶。主藏神寶。輪寶。如意珠
寶。兵寶。周匝圍繞大輪四面云。



No. 3

校者曰。圖中數字朱書也

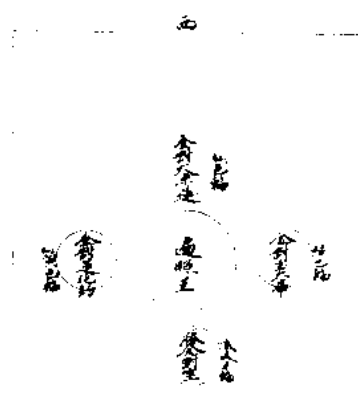
古本



No. 4

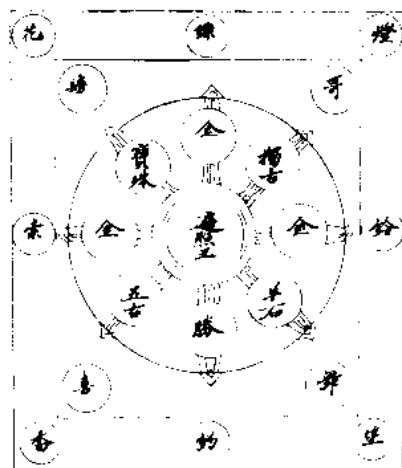
大勝金剛曼荼羅 三

瑜祇經云。遍照薄伽梵。復現種種。光明於頂上。放金剛威怒。光明照諸菩薩。○復現身手具十二臂。持智拳印。復持五峯金剛蓮花。摩尼羯磨鉤索。鎖鈴智劍。法輪十二大印。身住千葉大白蓮花。身色如日。五髻光明。其光無主。遍於十方。面門微笑云。又云。復次秘密主。我此心最心。更說秘密法。佛名五瑜伽。當觀遍照王。自身悉同等。復當於目前。觀勝金剛寶。住於熾盛日。執妙大寶幢。次右復當觀。金剛蓮花鉤。住於黃色輪。執鉤大微笑。次左復當知。金剛寶大庫。住於綠色輪。執持大圓鏡。次當復於後。金剛大藥蓮。住於紅色輪。執持大紅蓮。是名五瑜伽。秘密。最上味云。



No. 5

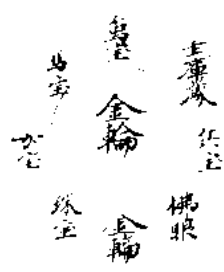
占本



No. 6

金輪曼荼羅 四

一字頂輪王一切時處念誦軌云。心中日輪。現一字金色。舌端亦如是。則是字爲輪。其輪爲轉輪。加持色金色。備七珍圍繞。寶輪寶在前。除寶右旋置。珠寶與無量摩尼衆圍繞。次寶女亦與無邊婦女俱。馬寶及象寶。主庫藏神寶。各節自眷屬無量衆。侍立其寶持金剛。無能勝爲能。佛眼如來母。共寶居八方。如此金輪王。其七寶眷屬如來頂輪王。以佛無上寶爲眷屬圍繞。云。



No. 7

金輪王佛頂略念誦法云。又想。曼荼羅中有香水大海。於海中心有妙高山。七重金山。周圍繞於妙高頂上。有八葉白色蓮華。一葉上有旋布列輪王七寶。所謂金輪象馬珠女兵及主藏。當前第八葉想安佛眼尊。十佛頂眷屬前後圍繞云。一字頂輪王念誦儀軌云。想一字頂輪成。本尊坐八葉蓮花。於一葉上想七寶。當前蓮花葉上想佛眼尊云。



No. 8



No. 9

此圖乃大勝金剛曼荼羅之一 (No. 5) 參考圖 No. 5 此圖 No. 6 大勝金剛曼荼羅之一 (No. 6) 參考圖 No. 6 此圖 No. 7 金輪曼荼羅之一 (No. 7) 參考圖 No. 7 此圖 No. 8 金輪曼荼羅之一 (No. 8) 參考圖 No. 8 此圖 No. 9 金輪曼荼羅之一 (No. 9) 參考圖 No. 9

疑問云。如此圖者。以七寶更置何處耶。若又不盡七寶。唯圖佛眼八尊者。偏遠餘軌說。云何。況若御披。軌文字脫落。依流布本。以朱加九箇字也。邪。正自顯歟。但御所覽軌證文。若有請垂示其文。
古本 高野本



No. 10

七寶所生次第

涅槃經第十二云。善男子。過去之世人壽無量時。世有王名爲善住。其王爾時爲童子身。太子治事。及登王位。各八萬四千歲。時王頂上生一肉疱。其疱柔濡如兜羅綿。細濡切其漸々增長。不以爲患。足滿十月。疱即開剖。生一童子。其形端正。奇異少雙。色像分明。人中第一。父王歡喜。字之頂生。時善住王即以國事委付頂生。棄捨宮殿。妻子眷屬。入山學道。滿八萬四千歲。爾時頂生於十五日。處在高樓沐浴受齋。即於

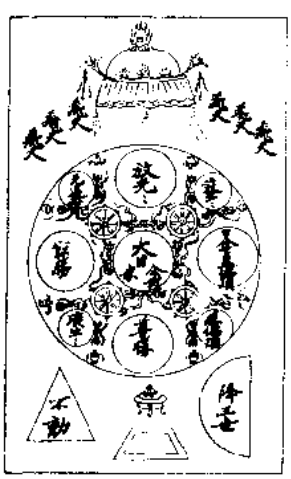
東方有金輪寶。其輪千輻。轆轡具足。非工匠造。自然成就。而來應之。頂生大王即作是念。我昔曾聞五通仙說。若利利王於十五日。處在高樓沐浴受齋。若有金輪千輻不滅。轆轡具足。非工匠造。自然成就。而來應者。當知是王即當得作轉輪聖帝。復作是念。我今當試。即以左手擎此輪寶。右執香爐。右膝著地。而發誓言。是金輪寶。實不虛。應如過去轉輪聖王所行道去。作是誓言。已。是金輪寶。飛昇虛空。遍十方已。還來住在頂生左手。爾時頂生心生歡喜。踊躍無量。復作是言。我今定當作轉輪王。其後不久。復有象寶。狀貌端嚴。如白蓮花。七枝柱地。頂生見已。復作是念。我昔曾聞五通仙說。若轉輪王於十五日。處在高樓沐浴受齋。若有象寶。狀貌端嚴。如白蓮花。七枝柱地。而來應者。當知是王即聖王。復作是念。我今當試。即擎香爐。右膝著地。而發誓言。是白象寶。實不虛。應如過去轉輪聖王所行道去。作是誓言。已。是白象寶。從旦至夕。周遍八方。盡大海際。還住本處。爾時頂生心大歡喜。踊躍無量。復作是言。我今定是轉輪聖王。其後不久。又有馬寶。其色紺。鬣尾金色。頂生見已。復作是念。我昔曾聞五通仙說。若轉輪王於十五日。處在高樓沐浴受齋。若有馬寶。其色紺。鬣尾金色。而來應者。當知是王即聖王。復作是念。我今當試。即執香爐。右膝著地。而發誓言。是紺馬寶。實不虛。如過去轉輪王所行道去。作是誓言。已。是紺馬寶。從旦至夕。周遍八方。盡大海際。還住本處。爾時頂生心大歡喜。踊躍無量。復作是言。我今定是轉輪聖王。其後不久。復有女寶。形容端正。微妙第一。不長不短。不白不黑。身諸毛孔。出栴檀香。口氣。潔如青蓮花。其目遠視。見一山。旬耳聞鼻。嗅亦復如是。其舌廣大。出能覆面。形色細薄。如赤銅葉。心聰。觀哲有大智惠。於諸衆生。常有濡語。是女以手觸王衣時。即知王身安樂病患。亦知王心所緣之處。爾時頂生復作是念。若有女人能知王心。即是女寶。其後不久。於王宮內。自然而有寶摩尼珠。純青瑠璃。大如人膝。能於闇中照一由旬。若天降雨。滂如車輪。是珠力勢。能作大蓋。遍覆足一由旬。勿遮此大雨。不令下過。爾時頂生復作是念。若轉輪王得是寶珠。必是聖王。其後不久。有主藏臣。自然而出。多饒財寶。巨富無量。庫藏盈溢。無所乏少。報得眼根力。能微見一切地中所有伏藏。隨王所念。皆能辨之。爾時頂生復欲試之。即共乘船。入於大海。告藏臣言。我今欲得珍異之寶。藏臣聞已。即以兩手。撓大海水。時十指頭。出十寶藏。以奉聖王。而白王言。大王所須。隨意用之。其餘在者。當投大海。爾時頂生心大歡喜。踊躍無量。復作念言。我今定是轉輪聖王。其後不久。有主兵臣。自然而出。勇健猛略。策謀第一。善知四兵。若任闢者。則現聖王。若不任者。退不令現。未摧伏者。能令摧伏。已

摧伏者力能守護爾時頂生復作是念若轉輪王得是兵寶當知定是轉輪聖王云

尊勝曼荼羅 五

尊勝軌上云善無畏譯又大圓明分爲九圓八方置寶瓶於瓶口中插以名花上置三股轉折羅中心圓外四隅安四寶輪皆以轉折囉相柱寶瓶及轉折羅腰纏綵帶垂之中國畫毘盧遮那如來頭戴五佛冠種種寶花光於七師子上結跏趺坐手結法界印上文云用大日法界印其法界印相以權智各作金剛拳智手執權風輪云左圓明中畫白傘佛頂王頭戴五智冠右手執蓮花於蓮花上安置白傘蓋右手揚掌半跏趺坐其身光及頭光如五色車輪形右圓明中畫最勝佛頂輪王頭戴五智冠種種莊嚴背圓光及以通身光狀如車輪具種種色右手持蓮花於蓮花上安八輻寶輪光焰圍遶於蓮花上結跏趺坐左手揚掌中國明前畫尊勝佛頂亦名除障佛頂輪王於蓮花臺上結跏趺坐白肉色兩手膝下如入禪定掌中承蓮花上置金剛鉤如頂輪王等種種光明五智冠等一依瑜伽圖皆於白蓮花座結跏趺坐大日如來後圓中畫放光佛頂或名光聚佛頂輪王左手執蓮花於花臺上畫佛頂印於佛頂上放光五智寶冠光明等一如上說右手揚掌其尊勝佛頂左邊圓明中畫勝佛頂左手執劍右手揚掌五佛冠種種莊嚴

嚴光明等亦如上說其尊勝佛頂右盡廣生佛頂王左手持縛日羅合二右手揚掌五智寶冠輪光焰縷絡等一依上諸尊等例光聚佛頂右圓明中畫無邊聲佛頂王右手持蓮花於蓮花臺上畫商伽左手當娑房上揚掌五佛冠輪光莊嚴等隨意種種莊嚴光聚左圓明中畫發生佛頂王左手執開敷蓮花右手安右膝上半跏趺坐輪光縷絡同如上說皆大仁慈悲相下左邊畫降三世尊於半月輪邪立走勢青色物牙上出四手兩手結三昧耶印定手結心印惠手執縛日羅合二右邊三角赤光中畫無動尊於盤石上半跏趺坐一日怒出一日合交下唇一逆反出赤髮交鎖垂下左邊身復肥滿如童子形惠手執劍定手執索兩明王中間修瑜伽者坐前安香爐其像上畫寶蓋兩邊畫六箇乘雲首陀會天童子形半身踊出各執香花寶鬘等一依如上圖云



No. 11

尊勝軌云一卷本於淨室畫本尊勝陀羅

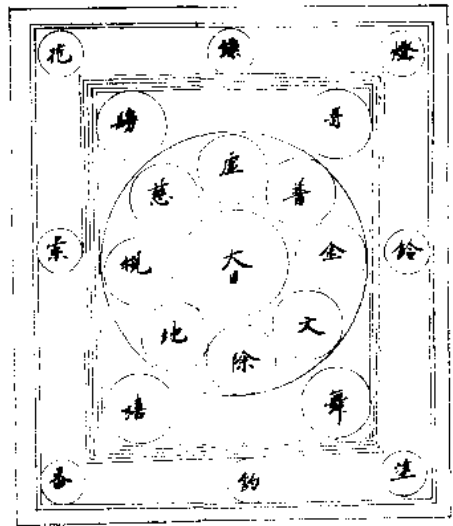
尼像安於東壁持誦者以面對之其念誦處地狹深一肘半若有瓦礫乃至穢等物○除之若無還取本土填滿築令平正十若有餘其地吉祥又取瞿摩夷和水誦無能勝陀羅尼二十一遍加持瞿摩夷其無能勝眞言曰略之加持已○以繩分九位○其九位者中央安毘盧遮那佛位右邊安觀自在菩薩位觀自在後安慈氏菩薩位毘盧遮那後安虛空藏菩薩位此菩薩左邊安普賢菩薩位毘盧遮那佛位左邊○金剛手菩薩位金剛手菩薩下安文殊師利菩薩位左邊安地藏菩薩位是名九位云

普賢	虛空藏	慈氏
金剛	大日	觀自在
文殊	除障	地藏

No. 12

師傳云胎藏入口云

古本

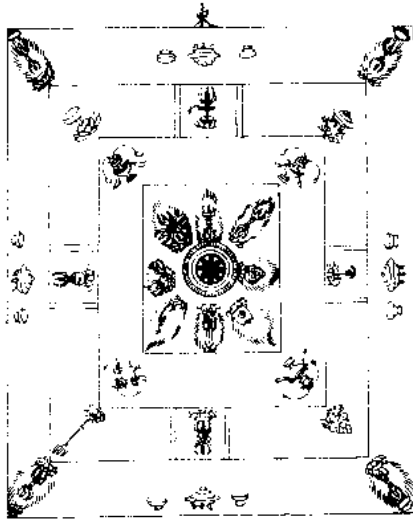


No. 13

仁王經 六

敷曼茶羅

仁王經念誦法云。次於壇上張青色蓋。楯壇大小。繞壇懸幡二十四口。次於壇中如法彩畫。人沐浴著新淨衣。受近住戒。其壇三重。莫用皮膠。用諸香膠。如無香膠。煎糯米汁用和彩色。於壇中心畫十二幅輪。東邊畫五股金剛杵。南邊畫金剛寶。西邊畫金剛劍。北邊畫金剛牙。此上五事。是五方菩薩手中所執之契。東南隅畫三股金剛杵。西南隅畫寶冠。西北隅畫篋。東北隅畫羯磨金剛杵。當四角上置四寶瓶。金銀銅瓷。新瓦亦得。受一斗已下。滿瓶盛水。插枝條花。用四色綵各長四尺。青黃赤綠。如上次第繫四瓶項。次第三重東門畫金剛鉤。南門畫金剛索。西門畫金剛鎖。北門



No. 14

畫金剛鈴。東南角畫香爐。西南角畫荷葉。於中畫雜花。西北角畫燈。東北角畫塗香。器所畫杵等。皆有光焰。三重壇外一重界道。於壇四角釘依陀羅木。如無此木。鐵板紫檀木。亦得。長十二指。入地四指。誦下第三金剛真言。加持。二十一遍已。然後釘也。以五色縷令童女右合。並細如小指。以繫板頭周圍壇上。於四門置四香爐。燒沈檀等。薰座蘇合等香。於檀四角畫三股半金剛杵。四角之上各燃一盞燈。於四門外左右兩邊各置二盞碗。金剛銅盛。固伽香水。每時皆換其水。灑於淨處。不得踐踏云。

孔雀經 七

敷曼茶羅

佛母本孔雀明王畫像壇場軌云。不空復說畫像法。及建立道場供養儀軌。○內院中心畫八葉蓮花。於蓮花胎上畫佛母大孔雀明王菩薩。頭上向東方白色。著白綵輕衣。頭冠瓔珞。耳璫臂釧。種種莊嚴。乘金色孔雀。結跏趺坐。白蓮花上。住慈悲相。右四臂。右邊第一手執開敷蓮花。第二手持俱緣葉。其葉狀似木葉。左邊第一手當心。掌持吉祥葉。第二手執三五葉孔雀尾。從佛母右邊右旋周匝。蓮花葉上畫七佛世尊。從微鉢尸如來。次第布列。乃至釋迦及慈氏菩薩等。皆頭向外坐。各住定相。至西北角第八葉上畫慈氏菩薩。左手執軍持。右手揚掌向外作無畏勢。又於蓮花葉外內院四



No. 15

大曼茶羅 先師法務 宣 御本

六

二六

方畫四辟支佛。皆作佛形。頂有肉髻。亦住定相。又於四隅畫四大聲聞。從東北隅畫阿難陀。次東南隅畫羅睺羅。次西南隅畫舍利弗。次西北隅畫大目乾連。皆著乾陀袈裟。偏袒右臂。此皆中院。次第二院畫八方天王。并諸眷屬。東方畫帝釋天王。執金剛杵。與諸天衆圍繞。次東南方畫火天。左手執軍持。右手施無畏。與五通苦行仙衆圍繞。次南方畫焰魔天王。執焰魔幢。與焰魔界衆圍繞。次西方畫水天。持網索。與羅刹衆圍繞。次西北方畫風天。執幡。與諸持明仙衆圍繞。次北方畫多聞天王。執寶棒。與諸藥叉衆圍繞。次東北方畫伊舍那天王。執三戟。又與諸步多鬼衆圍繞。此皆第二院。次三院從東北隅右旋圍遶畫二十八藥叉將。各與諸鬼神衆圍遶。及畫宿曜十二宮神。次第三院外周匝用香泥塗拭。布以荷葉。上置供養食器。所謂乳糜酪餅飲食菓等。皆以阿波羅爾多明王真言加持香水散灑。布列四邊供養。及以諸食砂糖石密石榴蜜將食等而奉獻之。壇上散白色花於四角。置蘇燈四盞。四門各置二淨器。滿盛香水云。

孔雀經上云。昂星及畢星。昴星參及井。鬼宿能吉祥。柳星爲第七。此等七宿住於東門守護東方。○星宿能摧怨。張翼亦。是軫星及角亢。氐星居第七。此等七宿住於南門守護南方。○房宿大威德。心尾亦復

然箕星及斗牛。女星爲第七。此等七宿住於西門守護西方。○虛星與危星。室星壁星等。奎星及婁星。胃星最居後。此等七宿住於北門守護北方云。

同經下云。日月及癸惑。辰歲并太白。鎮及羅喉。此皆名執曜云。

胎藏圖云

羊宮	牛宮	大婦宮	東方
賢瓶宮	摩竭宮	魚宮	南方
秤宮	弓宮	蝎宮	西方
娑羅宮	師子宮	雙女宮	北方
孔雀王	呪經下云	羅漢	修治多羅
地珂	長言	修治多羅	善眼
毘羅	長言	分那珂	滿言
已上東方四夜又	優波僧伽	小師	續起羅
僧桑捺反	迦師子	優波僧伽	小師
螺	樹陀那	樹檀	
已上南方四夜又	訶利樹舍	師子髮	波羅起
訶利師子	訶利樹舍	師子髮	波羅起
水迦羅	俞也		
已上西方四夜又	陀羅難陀	歡喜	鬱庚伽波
陀羅那	持	陀羅難陀	歡喜
羅動守	別他那	陀羅難陀	歡喜
已上北方四夜又	般止柯	五處	東北方角
般遮羅	梅陀	奇畏	東南方角
莎多那	梨七山王	西南方角	
薩摩婆多	雪山王	西北方角	
部摩地	東方地下		

修部摩地。南方地下

柯羅。西方地下

優婆柯羅。北方地下

蘇摩。東北方空居

修利。東南方空居

惡那尼。西南方空居

婆羅。西北方空居

塞付云。改者曰。此集付甲乙二本。集之

孔雀經中云

有四藥叉大將住於東方。擁護東方所

有衆生。令離憂惱。其名曰

彌爾。迦反。伽。蘇。寄。怛。略。二。合。布囉拏迦

三。切。比。囉。四。○

有四藥叉大將住於南方。○其名曰

僧思。反。賀。一。塢。波。僧。賀。二。餉。企。囉。三。難

那。四。○

有四藥叉大將住於西方。○其名曰

賀。囉。一。賀。哩。計。燦。二。鉢。囉。合。二。僕。三。切。比

囉。四。○

有四藥叉大將住於北方。○其名曰

駄囉拏。一。駄囉。難。弩。二。嚙。爾。庚。二。業。播

路。三。尾。瑟。弩。四。○

有四藥叉各住四維。○其名曰

牛。止。脚。一。半。者。囉。獻。拏。二。婆。路。優。哩。三

彥。麼。囉。多。四。○

有四藥叉常居於地。○其名曰

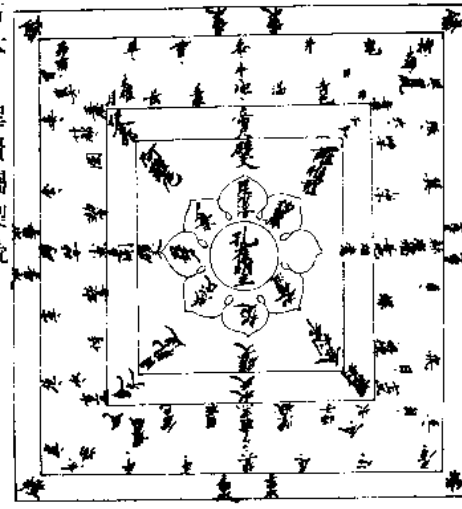
步。莫。一。蘇。步。莫。二。迦。引。落。三。塢。跋。迦。引

囉。四。○

有四藥叉常在空居。○其名曰

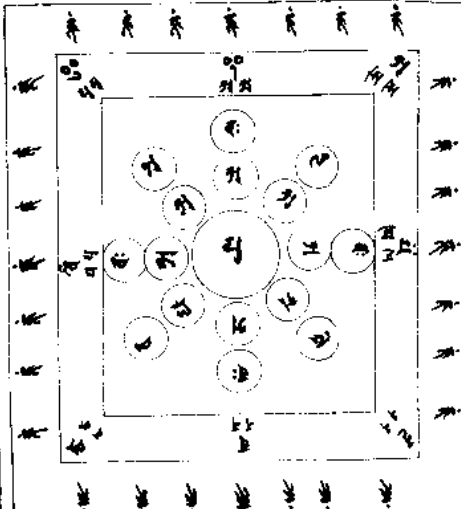
素引哩野一素誤二合 阿儼類二合引
引哩野一素誤二合 阿儼類二合引
今云今文圖曼荼羅之時追令書加
之今此二十八藥又者葉衣鎮之二
十八藥又同體歟漢號雖有少異太
同也形像以古本圖之

今云今文圖曼荼羅之時追令書加
之今此二十八藥又者葉衣鎮之二
十八藥又同體歟漢號雖有少異太
同也形像以古本圖之



No. 16

古本 聖賢圖梨流



No. 17

大曼荼羅

父云○於壇東安佛母大孔雀明王像其
畫像法如前畫壇唯不安界道云

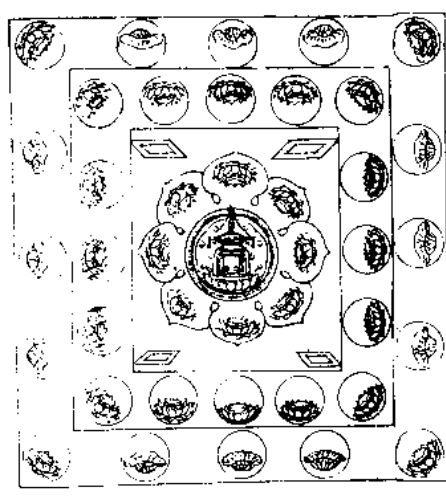


No. 18

法華經

敷曼荼羅

瑜伽觀智軌云其壇三重當中內院盡八
葉蓮花於花胎上置率都波塔於其塔中
畫釋迦牟尼如來多寶如來同座而坐塔
門西開於蓮華八葉上從東北隅爲首右
旋布烈安置八大菩薩初彌勒次文殊師
利菩薩藥王菩薩妙音菩薩常精進菩薩
無盡意菩薩觀世音菩薩普賢菩薩於此
中院四隅角內初東北隅置摩訶迦葉次
東南須菩提西南舍利弗西北大目犍連
次於第二院其於東門置金剛鎖菩薩南
門置金剛鈴菩薩當塔前門金剛鉤菩薩
北門金剛索菩薩東門北置得大勢至菩



No. 19

薩門南置寶手菩薩次於南門東置寶幢
菩薩門西置星宿王菩薩次於西門南置
寶月菩薩門北置滿月菩薩次於北門西
置勇施菩薩門東置一切儀成就菩薩又
於東北隅角內置供養花菩薩東南隅置
供養燈菩薩西南隅置供養塗香菩薩西
北隅置供養燒香菩薩次第三重院東門
置持國天王南門置毘樓勒又天王西門
置毘樓博又天王北門置毘沙門天王於
東方門北置大梵天王南置天帝釋次於
南方門東置大自在天西置難陀龍王次
於西方門南置妙法緊那羅王北置樂音
乾闥婆王次北方門西置羅睺阿修羅王
門東置如意迦樓羅王於東北方置聖鳥
鵝沙摩金剛東南方置聖軍荼利金剛西
南方置聖不動尊金剛西北方置聖降三
世金剛於壇四面畫飲食界道云
先師法務寬 御記云座以不可云云

圖像 No. 16, 孔雀明王曼荼羅 (大) [cf. p. 60 參考圖像 No. 18] 圖像 No. 17, 孔雀明王曼荼羅 (大二) 圖像 No. 18, 孔雀明王曼荼羅 (大三) [cf. p. 61 參考圖像 No. 19] 圖像 No. 19, 法華曼荼羅 (大)

大曼荼羅

威儀形色經不空云爾時毘盧遮那婆識
 鑊告持金剛秘密手菩薩言佛子志心聽
 說證成妙法大曼荼羅相及諸尊等滿願
 會方位乃至威儀形色法所謂內心曼荼
 羅彼身地即是法界自性真言密印加持
 而加持之本性清淨四大金剛所護持故
 淨除一切塵垢我人衆生壽者意生儒童
 株杌過患紺瑠璃地黃金界場微妙蓮花
 普散其上方壇面門西向通達周旋界道
 內現意生八葉花王柚莖敷藥繡綺端妙
 鮮白如雪放素皓光色超世間範圍三銅
 其花胎上湧出七寶大率都婆寶塔高妙
 五百由旬縱廣正等各二百五十由旬其
 樓閣上住如意珠焰鬘圍繞張金剛鎖普
 懸寶鐸種種珍珍綵嚴飾之五千欄楯千
 萬龕室懸無數幢幡七寶瓔珞五寶鈴鐸
 處處垂烈四面皆出多摩羅跋栴檀之香
 遍大千界天雨寶花繽紛供養爾時塔中
 師子座上釋迦多寶兩足聖尊半跏半座
 而同坐八葉花上八大菩薩一切世間最
 尊特身超身語意至於心地逮得殊勝悅
 意之果於彼八葉彼東北隅爲首右旋布
 烈安置八大菩薩初彌勒菩薩次文殊師
 利菩薩藥王菩薩妙音菩薩常精進菩薩
 無盡意菩薩觀世音菩薩普賢菩薩於此
 內院四隅角內初東北隅摩訶迦葉東南
 須菩提西南舍利弗西北大目犍連次於
 第二院於其東門置金剛鎖菩薩南門置

金剛鈴菩薩當塔前金剛鉤菩薩北門金
 剛索菩薩東門北置得大勢菩薩門南置
 寶手菩薩次於南門東置寶幢菩薩門西
 置星宿王菩薩次於西門南置寶月菩薩
 北置滿月菩薩次於北門西置勇施菩薩
 東置一切儀成就菩薩又於東北隅角內
 置供養花菩薩東南隅供養燈菩薩西南
 隅置塗香菩薩西北隅供養燈香菩薩次
 於第三重院東門置持國天王南門置毘
 樓勒又天王西門置毘樓博又天王北門
 置毘沙門天王於東門北置大梵天王門
 南置天帝釋於南門東置大自在天門西
 置難陀龍王於西門南置妙法緊那羅王
 門北置樂音乾闥婆王於北門西置羅睺
 阿修羅王門東置如意迦樓羅王於東北
 隅置烏菟沙摩金剛東南方隅置聖軍吒
 利金剛西南方隅置聖不動尊金剛西北
 隅置聖降三世金剛於壇四面畫飲食界
 道又畫四門於壇上張設天蓋四面懸幡
 二十四口又於四角各懸幡四智賢瓶
 底不黑者盛滿香水於瓶四口內插鮮妙
 花其壇四門兩邊各置二闍伽器盛滿香
 水中著鬱金花泛諸時花極潔之又於四門
 置四香爐燒五味香以用供養又其四隅
 各置銅燈臺蘇油爲明於四角外釘伽陀
 木檄如無此木鐸銅作檄代之亦得具現成
連觀王瑜珈觀智儀軌是一
法說威儀形色及一切方位
 式及一層寶莊嚴相已○今說塔中二體
 聖尊威儀形也

多寶如來

烏瑟紺髮冠
 普照於一切
 定惠智拳印
 垂下左輻輪
 安住大蓮花
 光明靡不遍
 誠成妙法輪
 廣度衆生類
 釋迦如來
 賦沙紺青髻
 照東方八萬
 左定結拳印
 屈無明小指
 跏趺左抑右
 被服袈裟衣
 恒遊月輪中
 爲令教流布
 三昧衆圍繞
 今說八大菩薩相好其
 隅范右旋以彌勒爲首
 第一彌勒菩薩
 頂上妙寶冠
 身相赤肉色
 其上有鐸持
 跏趺右抑左
 身被袈裟衣
 鑽釧爲臂玉
 細軟以腰巾
 眉間素毫光
 身相黃金色
 跏趺右抑左
 身被袈裟衣
 常遊滿月輪
 涌現寶塔中
 常令不斷絕
 眉間白毫光
 身相黃金色
 右惠開外方
 叙中頭大指
 垂下右輻輪
 安住白蓮花
 光明赫々輝
 住彼而說法
 各護持經者
 紺髻垂兩肩
 左定紫蓮花
 右惠按摩膝
 大慈大悲相
 珠璽寶瓔珞
 千色妙天衣
 妙裳赤朱色

莊嚴相好身 具相三十二
圓光商佉色 其光無不遍
寶花以爲座 住大月輪中

莊嚴萬德身 身光遍一切
蓮花以爲座 安住滿月輪
頂上妙寶冠 紺髮垂兩耳

身相淺紫色 左定蓮上劍
右惠拳押膝 大悲憐愍相
珠鬘及袈裟 天衣妙瓔珞
銀釧爲臂玉 千色爲腰巾
妙裳赤光色 身光如虹色
寶蓮以爲座 安住月輪海

第二文殊師利菩薩

頂上五髻冠 紺髮以垂肩
身相黃金色 左定青蓮花
其上有三釵 右惠執梵篋
跏趺右押左 慈悲引接相
身被袈裟衣 花鬘妙瓔珞
銀釧爲臂玉 微妙寶天衣
綵綬以腰巾 著裳赤光色
嚴飾上妙身 身光如秋虹

第五常精進菩薩 頂上妙寶冠
身相白肉色 左定摩膝相
右惠摩尼寶 跏趺右押左
憐愍一切相 珠鬘及天衣
袈裟妙瓔珞 臂玉甚希有
綵羅爲腰巾 著裳染赤色
嚴身百福身 圓光如熾虹
寶蓮以爲座 安住月輪殿

今說第二院十六菩薩威儀形色
第二重院東門金剛鎖菩薩
頂上妙寶冠 身相白肉色
左定結拳印 右惠金剛鎖
身被瓔珞 跏趺右押左
南方金對鈴菩薩 身相大青色
頂上妙寶冠 右惠金剛鈴
左定結拳印 身相大黑色
西門金剛鉤菩薩 身相白黃色
頂上妙寶冠 右惠拳押膝
左定金剛索 身相淺黃色
東北隅供養花菩薩 身相大青色
頂上妙寶冠 跏趺右押左
定惠持鮮花 身相大青色
西南塗香供養菩薩 身相大青色

第三藥王菩薩

頂上妙寶冠 紺髮垂可側
身相朝日色 左定拳著膝
右惠雲上日 跏趺右押左
大悲救世相 身被妙花鬘
大慈救世相 銀釧爲臂玉
天衣及瓔珞 赤綾爲妙裳
細錦以腰巾 身光遍暉曜
莊嚴相好身 安住月輪海
寶蓮以爲座

第七觀世音菩薩 寶冠嚴頂上
紺髮垂兩肩 中現無量壽
銀釧爲臂玉 十度開敷蓮
服裳染赤色 細綾爲腰巾
圓光遍世間 莊嚴慈悲體
安住月輪殿 寶花承兩足

今說第二院十六菩薩威儀形色
第二重院東門金剛鎖菩薩
頂上妙寶冠 身相白肉色
左定結拳印 右惠金剛鎖
身被瓔珞 跏趺右押左
南方金對鈴菩薩 身相大青色
頂上妙寶冠 右惠金剛鈴
左定結拳印 身相大黑色
西門金剛鉤菩薩 身相白黃色
頂上妙寶冠 右惠拳押膝
左定金剛索 身相淺黃色
東北隅供養花菩薩 身相大青色
頂上妙寶冠 跏趺右押左
定惠持鮮花 身相大青色
西南塗香供養菩薩 身相大青色

第四妙音菩薩

頂上大寶冠 紺髮垂耳下
身相赤黃色 左定未開蓮
右惠拳押膝 跏趺右押左
哀慈救世間 花鬘及瓔珞
袈裟妙天衣 玉環爲臂飾
萬色爲腰巾 著裳顯婆色

第八普賢菩薩 妙冠嚴髮髻
紺髮垂耳側
身相大青色

今說第二院十六菩薩威儀形色
第二重院東門金剛鎖菩薩
頂上妙寶冠 身相白肉色
左定結拳印 右惠金剛鎖
身被瓔珞 跏趺右押左
南方金對鈴菩薩 身相大青色
頂上妙寶冠 右惠金剛鈴
左定結拳印 身相大黑色
西門金剛鉤菩薩 身相白黃色
頂上妙寶冠 右惠拳押膝
左定金剛索 身相淺黃色
東北隅供養花菩薩 身相大青色
頂上妙寶冠 跏趺右押左
定惠持鮮花 身相大青色
西南塗香供養菩薩 身相大青色

東南供養燈菩薩 頂上妙寶冠 嚴身同彌勒	定惠持燈壇 嚴身如土說	西北燒香供養菩薩 頂上妙寶冠 嚴身如土說	定惠燒香器 嚴身如土說	東門北得大勢菩薩 頂上五髻冠 冠中住錫持 左定白蓮華 圍繞以圓光 嚴身如普賢	滋茂而未敷 嚴身如普賢	南寶手菩薩 頂上五髻冠 身相白肉色 右惠大蓮華 遠寶珠焰鬘	南門東寶幢菩薩 頂上五髻冠 身相白肉色 其上有幢幡 焰鬘以圍遠 嚴身如普賢	右惠持寶珠 嚴身如普賢	百千種々塔 嚴身如普賢	西星宿菩薩 頂上五髻冠 身相赤黃色 右惠蓮上鉢	左定拳押膝 身相淺黃色 右惠拳押膝	頂上五髻冠 身相深黃色	北滿月菩薩 頂上五髻冠 身相深黃色
左定青雲月 右惠施無畏	北門東一切儀成就菩薩 頂上五髻冠 身相黃金色 右惠持蓮花	西勇施菩薩 頂上五髻冠 身相白肉色 右惠拳押膝	左定蓮上經 右惠拳押膝	今說第三重院儀式 第三院東門持國天王 寶冠嚴髮髻 面門青肉色 右惠著腰相 袈裟及天衣 嚴怒威德相 蓮葉以爲嚴	金剛寶甲冑 蓮葉以爲嚴	跏趺右押左 寶冠嚴髮髻 面門赤肉色 右惠金剛劍	左定拳押膝 寶冠嚴髮髻 面門白肉色 右惠持絹索	北門毘沙門天王 寶冠嚴髮髻 面門白黃色 右惠持寶劍	以上四大天王威儀嚴身同持國天王 東門南天帝釋 寶冠嚴頂上 戴持三釵杵 面門白黃色 左定結拳印 百千種瓔珞 安住妙高座	右惠持一銅 袈裟天飛衣	寶冠嚴頂上 戴持三釵杵 面門白黃色 左定結拳印 百千種瓔珞 安住妙高座	袈裟天飛衣	
北大梵天王 四面髮髻冠 每面三日月相 次惠持數珠 定下手側掌 身嚴妙瓔珞 圓光遍寶身	面門白肉色 四手惠持花 定上執錫持 屈風餘申直 袈裟及天衣 座於七鶴車	南門東大白在天 頂上妙天冠 定惠把利錚 上妙寶瓔珞 嚴身微妙色	乘大黑水牛 天衣及飛衣 安住月輪海	西維陀龍王 頂上九頭龍 左定結拳印 嚴怒降伏相	身相白肉色 右惠持絹索 蓮花以爲座	西門南妙法緊那羅王 嚴鹿馬頭面 執持音聲器	身相赤肉色 人身裸形相	北樂乾闥婆王 頂上八角冠 耳如大牛王 右惠持寶劍	身相赤肉色 左定執簫笛 具大威力相	北門東如意迦樓羅王 頂上如意珠 身相赤黑色 口吹螺咽笛	西羅睺阿修羅王 頂上髮髻冠 面門忿怒相	身相青黑色 左定金剛定	面門忿怒相

右修羅智印 風紋空輪上

髮髻遠白蛇 身相大青色

金剛寶環珞 甚大忿怒相

左定執羂索 左理寶數珠

右惠執三釵 右智滿願印

以惠方願屈 智力直加哺

以獸皮爲衣 左肩兩赤蛇

蟠繞垂胸臆 令瞻本尊面

亦四臂兩膊 有一蛇遶之

其色甚青白 住寶池蓮上

東南聖軍荼利

髮髻獨體冠 雲雷玄雲色

三目怖畏相 八臂操器械

左定握金輪 左理持戟鎗

左定金剛劍 右惠執三釵

右智拳押脇 先作金剛拳

直豎戒風輪 當右脇之下

右惠施無畏 定惠大瞋印

先以右惠腕 押左定腕上

各作金剛拳 定惠戒風輪

忍火進水輪 各直豎當臆

金剛寶環珞 在八臂八蛇

遶八臂爲珠 二蛇遶二膊

二蛇遶二身 獸王皮爲衣

白蓮承兩足 威怒身焰鬘

西南不動尊

髻上八葉蓮 頂髻垂右肩

一目而諦觀 面門水波相

大忿怒白牙 左定握羂索

金剛寶環珞 一切寶嚴飾

威怒身火鬘 住七寶盤石

西北聖降三世 夏時雨雲色

獨體火髮冠 呵吒吒微咲

三面三目 八臂兩足尊

極大忿怒相 左理把寶弓

左定執戟鎗 右惠執折羅

左定金剛索 理智救世印

右智持寶箭 押右惠腕上

先以左定腕 又左禪地輪

以右禪地輪 左定進水輪

猶如懸連鈎 相屈入掌中

及以忍火輪 檀惠輪直豎

亦以戒風輪 譬如鳥兩翼

各々相附頭 金剛寶環珞

右惠亦如是 身光霹靂色

莊嚴上妙身 摩醯及后妃

焰燈靡不遍 兩身以爲座

既說三重方壇諸尊等方位及威儀形色

已今說壇形次內院地色紺琉璃色第二

院地赤珠色第三院淺赤色從內院至二

院間吠琉璃地五劍文從二院至三院間

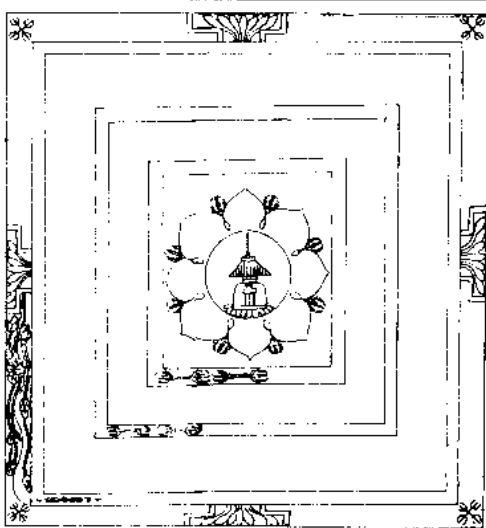
紫磨金地三釵文從三院至蓮花門赤黃

金地獨釵文次四方蓮花間也四隅金

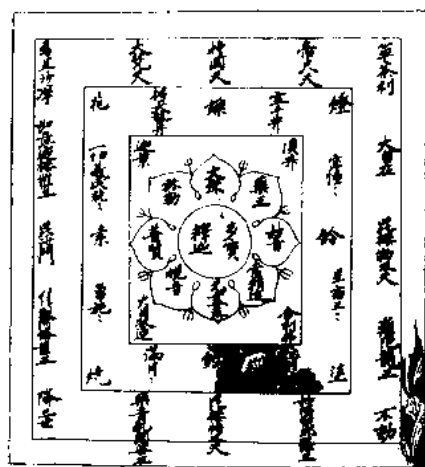
剛木樞又云乾陀木樞也四方四隅青蓮花圍

遶云々

古本



No. 20



No. 21

甲本與書

本云

乾元第 曆夷則下旬第三天於勸修
寺勝福院以祖師理明房阿闍梨自筆
草本書寫畢 權律師公嚴
康永二年十二月二十一日書寫功訖
永德三年三月十九日轉墨功訖
延德二年 卯月二十日於高野山峯
之坊寫之 清圓
永智四歲十

曼茶羅集中

金剛城曼茶羅
善提場莊嚴經
出生無邊門經
寶樓閣經
請雨經
釋迦經
八字文殊
一髻文殊
虛空藏
五秘密
理趣會
阿彌陀
般若菩薩
五字文殊
彌勒
五大虛空藏
金剛王
馬鳴

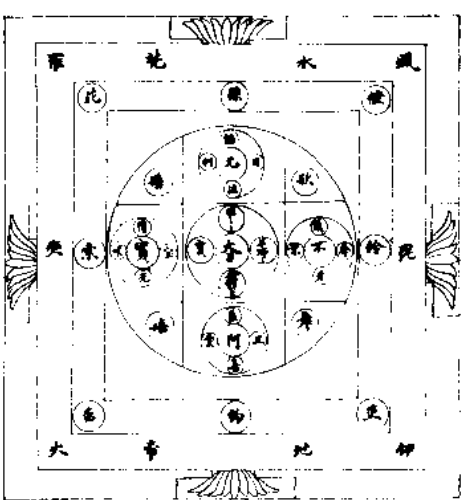
曼茶羅集卷中

金剛城曼茶羅一

守護經九云。若阿闍梨選擇地時。其地若有沙石瓦礫樹根株杙髮毛爪齒梗麤灰炭骸骨塚墓蛇窟蟻穴。如是等地不堪建立曼茶羅場。擇地已闍梨當選好宿直日。於清旦時吉祥相時。五體投地禮如來足。隨其力分隨心廣狹。以建壇場。量極大者一千由旬。或復九百七百五百三百一百一由旬。重或七肘量。五肘三肘。或一肘量。或一手掌。乃至一爪甲量。我今當說作金剛城勝曼茶羅量之儀則。當更方作面開一門。上安閼闔以爲莊嚴。一面各自有三十二磔手之量。四周欄楯盡成三重共十二角。以種種寶用作花鬘而爲莊嚴。於壇中心畫毘盧遮那如來之像。并畫四波羅蜜菩薩。四方四佛各四菩薩。或安種子。一苦薩各有一俱胝那由他菩薩。以爲眷屬。次安十二俱養菩薩。最外一院安置十天云。

攝眞實經下云。東方門首帝釋坐位。南方瑱摩羅王坐位。西方水天坐位。北方毘沙門天王坐位。東北角大自在天坐位。東南角火天坐位。西南角羅刹天女坐位。西北角風天坐位。上方大梵天坐位。下方堅牢地神坐位。我今已說坐位次第。

師云。守護經曼茶羅外院坐位如攝眞實經。仍載加之。



No. 22

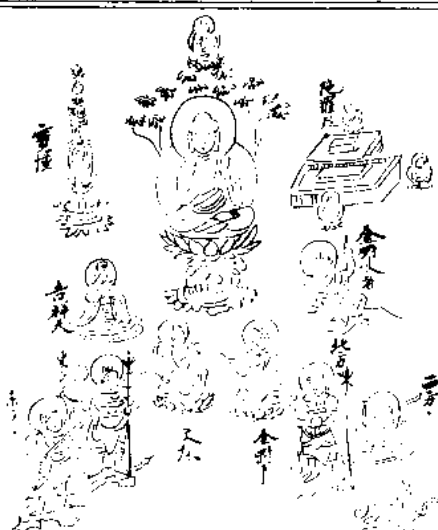
大日經疏五云。上方諸尊多依帝釋之右。下方諸尊多依龍尊之右。上謂空居。下謂地居也云。

私云金對界准之可置上下方尊數

善提場莊嚴曼茶羅二

善提場莊嚴經云。我今說畫像法能成就一切。取不截髮長四肘。擇去毛髮。不應用皮膠。畫人清淨受八戒。然後令畫。當中釋迦牟尼佛於寶樹下坐師子座。釋迦牟尼佛上又畫一佛作說法相。其菩提樹種寶莊嚴。釋迦牟尼右邊畫聖文殊師利菩薩。種寶瓔珞莊嚴。於蓮花上雙膝跪坐。二手捧鉢作獻佛勢。佛左邊畫聖金剛手菩薩。面貌忿怒。佛一切寶莊嚴。金剛手金剛杵作旋轉勢。於蓮花上雙膝跪坐。瞻仰如來。聖文殊師利後畫寶幢。其量廣大。界道莊嚴。於幢中畫如來坐師子座作安

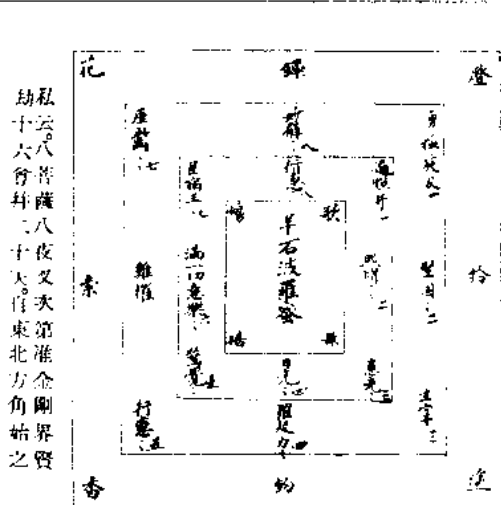
慰相。金剛手後畫菩提場莊嚴陀羅尼經
夾量於寶篋四面周匝畫佛安置師子坐
上。於寶篋下畫金剛使者作威怒形。於寶
幢下畫吉祥天女。於佛下畫中畫四大天
王。皆被甲冑作威怒形。天王下畫持誦者。
左手執香爐。右手把念珠。瞻視世尊云。



No. 23

出生無邊門經曼茶羅
出生無邊門陀羅尼軌云。不空。○是尊即
羯磨波羅蜜菩薩。由位出生。故示妙采女
形。顯明大慈母。諸佛住是智。能普現色身。
處大菩提心。跏趺蓮臺上。大印威儀等同
不空成就。如來之相狀。定羽金剛拳。當心
持蓮花。置般若梵夾。惠羽說法相。揚掌中
五輪。忍峯現羯磨。十字金剛輪。首冠五如
來。遍身草綠色。○復有八菩薩。安住於八
方。及以八樂叉四攝八供養。次第而布列。
成祕曼茶羅云。

寶樓閣曼茶羅
寶樓閣經中云。我今說畫像法。而能
成就一切事業。應取新白氈。不割截者。或



No. 24

出生無邊門經云。不空。有八大樂叉住
山中。皆來增加修行者身。威力甚夜加持
擁護。何者。為八。所謂名初成羅樂叉。次
名涅槃。二。茶樂叉。三。名鉢。四。名
樂叉。五。名那羅延。六。名羅樂叉。七。名
達沙樂叉。八。名那羅延。九。名羅樂叉。十。
五名左哩。十一。名那羅延。十二。名羅樂叉。
達沙樂叉。十三。名那羅延。十四。名羅樂叉。
八名蘇摩呼樂叉。妙音云。
又云。有八大菩薩。生於欲界天。彼等亦來
加持攝授。何者。為八。所謂遍照菩薩。照明
菩薩。○光菩薩。日光。覺覺菩薩。滿一切意
樂菩薩。星宿王菩薩。行惠菩薩云。

一時或二時。令四方等。需人應受八戒。其
畫彩色於新器中。盛勿用皮膠。畫七寶莊
嚴樓閣。於樓閣中畫如來。作說法相。坐師
子座。佛右邊畫金剛手菩薩。十二臂黃白
色。其像四面。正面歡喜。右邊面忿怒相。左
邊面開口狗牙上出。當頭上面頻眉怒目。
頭冠瓔珞。種種莊嚴。於蓮花上半跏而坐。
左邊畫寶金剛菩薩。四面十六臂。正面歡
喜。右面青色。作摩訶迦羅天面。左面綠色。
作師子面。頭上面頻眉。露齒忿怒。相作淺
綠色。右邊第一手持真多摩尼寶。作獻佛
勢。左邊第一手持蓮花。右第二手作安慰
手。左第二手持三戟叉。二手持合掌。餘手皆
執諸器械。右第四手持輪。左第四手持劍。
右第五手持金剛杵。左第五手持花。右
第六手持念珠。左第六手持軍。右第七
手持刀。左第七手持梵夾。右第八手持寶
塔。左第八手持須彌山。於蓮花臺上半跏
而坐。於其座下畫餽樂尼天女。有八臂。跪
坐合掌。作供養佛相。金剛手菩薩座下作
吉祥天女。跪坐持寶器。滿盛種種寶供養。
如來。於吉祥天女後畫金剛使者天女。作
笑面。有四臂。種種瓔珞。而為嚴飾。手持種
種器械。餽樂尼天女後畫雷花。雷天女。身著
素服。以手持華。瞻仰如來。於如來前畫作
七寶花。其花百葉。以金為蕊。吹琉璃為草。
其蓮花葉上。畫作百輪輪。輪具足。輪外
周匝皆有光焰。於蓮花根下畫四大天王。
悉被甲冑。種種嚴飾。手執器械。蓮花下畫

作水池。以七寶莊嚴。於池岸上應畫持誦人跪坐。手持香爐并持花枝。又持念珠。跪坐瞻仰如來。於寶樓閣上。於虛空中畫梵天。紐紐天大自在天散花供養云々

大自在天

寶金剛

梵天

梵天

如來

百福輪

廣目 增長 持國 增長

又說

金剛

吉祥天女

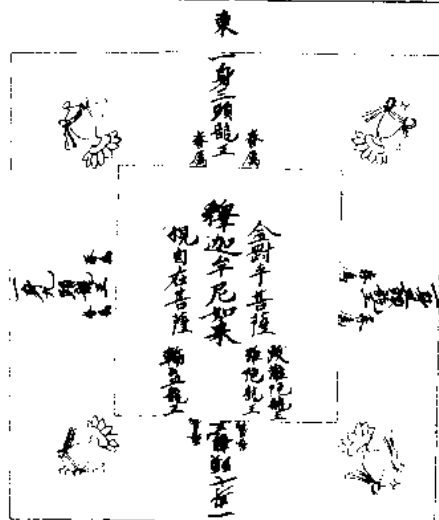
金剛持者天女



No. 26

No. 25

祈請雨者。於露地作壇。除去瓦礫及諸穢物。張設青幕懸青幡。香泥塗拭作一方壇。於壇中畫七寶水池。中盡海龍王宮。於龍宮中有釋迦牟尼如來住說法相。佛右盡觀自在菩薩。佛左盡金剛手菩薩等侍衛。於佛前右畫三千大千世界主輪蓋龍王。佛前左畫難陀跋難陀二龍王。於壇四方用單摩夷汁各畫一龍王。於東方畫一龍王。一身三頭。量長三肘。并眷屬圍繞。又南方畫一龍王。一身五頭。量長五肘。并諸眷屬。又於西方畫一龍王。一身七頭。量長七肘。并眷屬圍繞。於北方又畫一龍王。一身九頭。量長九肘。并眷屬圍繞。皆在壇青黑雲中。半身已下如蛇形。尾在地中。半身已上如菩薩形。皆合掌從池涌出。於壇四角置四清水瓶。隨其力分。飲食菓子等皆染作青色。以懸淨心。布列供養。燒香散青色花。道場中所用物皆作青色云々



No. 27

大雲輪請雨經下云。那連提從高座東量三肘外。用牛糞汁畫作龍王。一身三頭。畫彼龍左右眷屬圍繞龍王。從高座南量五肘外。畫作龍王。一身五頭。亦畫諸龍左右圍繞。從高座西量七肘外。畫作龍王。一身七頭。亦畫諸龍左右圍繞。從高座北量九肘外。畫作龍王。一身九頭。亦畫作龍左右圍繞云々

請雨品六十四云。法座四面各用純新淨牛糞汁畫作龍形。東面去座三肘已外。畫作龍形。一身三頭。并龍眷屬。南面去座五肘已外。畫作龍形。一身五頭。并龍眷屬。西面去座七肘已外。畫作龍形。一身七頭。并眷屬。北面去座九肘已外。畫作龍形。一身九頭。并龍眷屬云々

集經云。壇之東門將以泥作一龍王身。長三肘。一身三首。其龍立地。龍身一肘在於壇內。二肘在外。次於南門又以泥作一龍王身。長五肘。一身五首。其龍立地。龍身一肘在於壇內。四肘在外。次於西門又以泥作一龍王身。長七肘。一身七首。龍身立地。龍身長一肘在於壇內。六肘在外。次於北門又以泥作一龍王身。長九肘。一身九首。龍身立地。一肘在內。八肘在外。次壇中心又以泥作一龍王身。長八肘。一身一首。龍頭向東云々

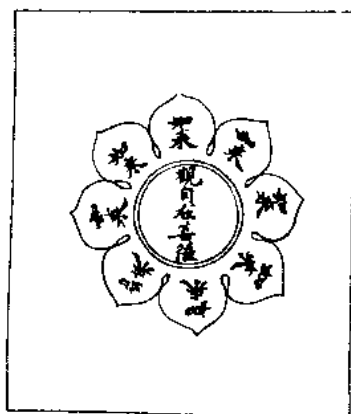
阿彌陀曼荼羅 六
無量壽軌云。閉目澄心觀。自身中圓滿潔

白。猶如淨月仰在中心。於淨月上。想乾哩入。字。放大光明。其字變成八葉蓮花。於蓮花臺上有觀自在菩薩。相好分明。左手持蓮花。右手作開花勢。作是思惟。一切有情身中。具有此覺悟蓮花清淨法界。不染煩惱。於蓮花八葉上。各有如來。入定結跏趺坐。面向觀自在菩薩。頂佩圓光。身如金色。光明晃曜云。

觀自在一印法云。又結前印。誦真言七反。則想。白身坐於八葉蓮花臺中。相好威光具足。圓滿等同。於觀自在菩薩。於蓮花八葉。每一葉上。各有一如來。入定面向觀自在菩薩云。

理趣釋云。或時想己身。乾利合二字。門成八葉蓮花。胎中想金剛法。於八葉上。想八佛云。

降三世大儀軌云。院位。壁方。便內四面向門善度。最中央井形。排四道頭。成於八位。分爲八葉花。是色應用。朱。中台觀自在。於彼一葉。圖畫大覺形。中院不爲門云。



No. 28

釋迦曼荼羅七
釋迦文佛軌云。若欲報無上世尊恩德者。先作曼荼羅。其中央畫釋迦牟尼像。金色之身。具四八相。被服袈裟。應身說法相。智手吉祥印。理手向上。置臍前。於白蓮花臺。結跏趺坐。善賢文殊觀音。彌勒。住於四隅。如胎藏說。各坐蓮座。半跏而居。於佛前有。如來鉢。於佛右邊有寶瓶。含花。於佛後有。錫杖。於佛左邊有寶螺。各安住蓮葉上。光炎圍繞云。



No. 29

般若菩薩曼荼羅八
修習般若波羅蜜菩薩觀行念誦軌云。行者。即於壇中。本尊像前。想七寶樓閣。而開四門。於其殿中。觀地字門。成般若波羅蜜佛母。以上波羅蜜圍繞。及八供養四門。鉤鎖井八方天衆。皆本種子字。觀想而成云。



No. 30

八字文殊曼荼羅九

八字文殊軌云。我今更說最勝大威德。八字曼荼羅壇法次第。汝當諦聽。若欲建立。息災曼荼羅者。○其曼荼羅法。先當心作。一圓輪。由如滿月。當中心。梵書滿引字。次從字後。北面書唵引字。次右旋東北角。書阿字。次東南角。書味引字。次東南角。書囉字。次南方書吽引字。次西南角。書佉字。次西方書左字。次西北隅書路字。以此九字。爲內院中尊。或於院中。畫妙吉祥童子。其頂八髻。前五髻。頂上一髻。頂後兩髻。一髻。上皆有佛身。○已說內院字門了。次說第二院。安布八文殊布位法。尊前南面。畫請召童子。次西南隅。畫計設尼童子。次西方右邊。畫救護惠童子。次西北隅。畫陽波計設尼童子。次後西北方。畫光網童子。次東北隅。畫地惠童子。次東方左邊。畫無垢光童子。次東南隅。畫不思議惠童子。如是八方。妙吉祥童子。眞菩薩。皆面向中尊。如奉教勢。皆坐蓮花上。一各乘師子。二手各有執持。標幟印契。畫須如法。在於圓滿外四角。中畫四忿怒明王。東南角。畫降三世金剛。青色八臂。當前二手結印。檀惠反相鉤。餘拳緊進力。左手執弓。右手把箭。架左一手執杆。一手執索。右一手執戟。一手把棒。三面口角現牙。坐火焰中。西北角。無能勝明王。四臂青色。三面火髮髻。上右一手作拳。緊頭指。一手執三股戟。一手施願。一手執棒。安坐蓮花。

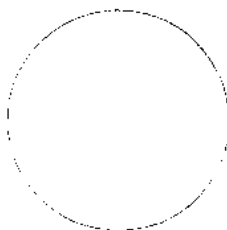


No. 31

西南角圓曼德迦金剛青黑色六頭六臂六足各執器械。左上手執戟。次下手執弓。次下手執索。右上手執劍。次手執箭。次下手執棒。乘青水牛爲座。東北角畫馬頭明王。面有三面。八臂各執器械。左一手執蓮花。一手執瓶。一手執棒。當心。二手結印契。右手上手執越斧。一手執數珠。一手執索。輪王坐在蓮花中。大忿怒相。現極惡猛利勢。餘皆依本法。次說第三院十六大天外護。當尊前鈎菩薩。左摩鈎次西焰魔后。次西羅刹主。當角燒香供養菩薩。次角北羅刹后。次北水天。西門索菩薩。次北龍天后。次北風天王。西北角花俱養菩薩。次東風天后。次東毘沙門天王。尊後北方金剛鎖菩薩。次東毘沙門后。次東伊舍那天王。東角燈供養菩薩。次南伊舍那后。次南帝釋天王。左方東門金剛鈴菩薩。次南帝釋后。次南火天王神。東南角塗香供養菩薩。大西本角西次火天后。次西焰魔天。已上第三院安布諸尊竟。四門及食道。四角同諸壇法。寶性草亦同。四門蓮花葉細如青蓮花云。

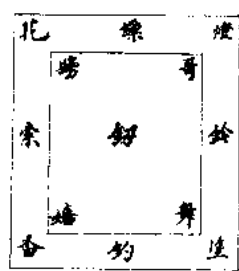
又云○圓如月輪。分爲四重。中心種子字。周匝八字真言。第二院中安布八文殊童子。第三院安布四門四攝四角四大忿怒明王。第四院四門香水蘇燈白花乳粥酪飯等供養。更若不辨。但第二院便布八聖。所謂四攝四明王等○壇內第二院外布烈十二大天。如熾盛光法。次第四院布二十八宿。第五院十二宮神外四明王。餘同諸法云々。

五字文殊曼荼羅十
金剛頂經曼殊室利菩薩五字心陀羅尼
品云於壇中心畫曼殊室利菩薩童子形
右手執金剛寶劍左手持摩訶般若梵夾
壇輪四周梵寫阿羅跋耆曩字云々
下文云於行者心月之中阿字當前餘四
字右旋次第而布一々思惟五字之義云
私云以此文坐位可得心之



No. 32

曼殊室利童子菩薩五字瑜伽法云不空
我今又說契印曼荼羅壇中畫金剛劍四
面各於八本方畫八俱養契及四攝契對
此壇念誦不久即當成就云云



私云此マタヲ以
印名印マタヲ也
相當三摩耶マタ
ラ也

No. 33

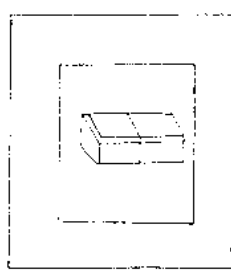
又云。我今說三昧耶曼荼羅。壇中畫五字及八供養四攝種子字云々



義今立三摩耶名也

No. 34

又云。我今又說羯磨曼荼羅。壇中安般若波羅蜜經夾云。



私問云梵夾是三昧耶
マタラ也。何名編磨
マタラ耶。答云。今以梵
夾名編磨マタラ者。梵
夾ハ是文殊事業成辨
之形也。出物智恵是文
殊事業故。梵夾表彼智
恵所以則是言編磨マ
タラ也。

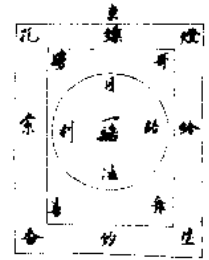
No. 35

又云。我今當說畫像法。或白帶。或黑索等。其中畫曼殊室利菩薩。坐月輪中。內輪周旋畫五字。四面畫八供養及四攝。如大壇法。



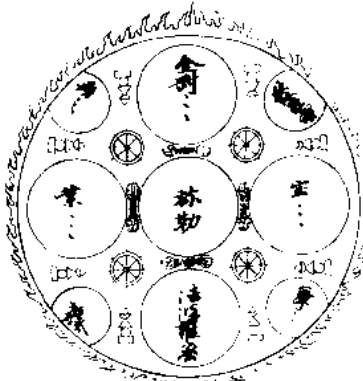
No. 36

一誓文殊曼荼羅 十一
一誓文殊室利童子陀羅尼念誦儀軌云
智剛我今復說受持此陀羅尼畫像道場
供養儀式求成就行法者應先擇願宿曜
吉祥之日畫人受持八戒潔淨於白牒上
或絹素上畫一誓文殊師利菩薩童子形
金色半跏坐千葉白蓮花上左手執青蓮
花上有如意摩尼寶珠右手指掌向外
垂下五指作滿願印然怡微笑種種珠璣
頭冠瓔珞莊嚴其身畫此像已於一淨室
塗拭方壇從內向外三院布位安置十七
尊具如五字瑜伽法中所說應以上妙香
餅菓子精誠供養置此像於壇東面行者
面向東對像云



私云觀文云三院布位
安設十七尊不云諸尊
名號但具如五字瑜伽
法中所說云知八供
因語者依師傳也寶部
中蓮花部也仍置之云

No. 37



私云曼荼羅依曼荼羅
依曼荼羅依曼荼羅
依曼荼羅依曼荼羅
依曼荼羅依曼荼羅
依曼荼羅依曼荼羅
依曼荼羅依曼荼羅
依曼荼羅依曼荼羅
依曼荼羅依曼荼羅

No. 38

彌勒曼荼羅 十二
慈氏菩薩略修瑜祿念誦法上云大圓明
內更有五圓明四隅四半月輪八寶塔四
金剛輪四金剛杵界道其中圓明本尊慈
氏菩薩大四面智波羅蜜多菩薩四隅四
內供養等菩薩其圓明外邊旋智火光焰
從空而降其聖者等皆頭戴五智如來冠
各執木印契半跏而坐其慈氏等尊亦如
上說七文云慈氏菩薩白肉色頭戴五智如來冠
大輪印上餘指散舒微屈風懷種種寶光於蓮花上
手執紅蓮花於花上置法界塔印右手大指指
左手執紅蓮花於花上置法界塔印右手
手作說法之印如上也是也莊嚴如上云

下卷云慈氏菩薩修慈識法畫像品第五
復次我今略說愈識者欲得速成就大悉
地者必須知法畫像人與受三昧耶灌頂
出入澡浴著新淨衣取白粉及細絹乃至
綖帛極令滿淨以龍腦香木和鹿膠水洗
之且所用綵色皆和龍腦香及香膠和之
不得用皮膠等大小任意取吉宿直日鬼
宿為勝依如上造像而求悉地者必獲成
就除不至心圖如左其畫像取白疊布絹
等隨意大小亦不得還價中心畫大圓明
就大圓明中更分為一杆中心五圓明四
隅畫四半月圓明中間用十二金剛界道
一如常法每金剛頭上安宰觀二波法界
之印中心置本尊慈氏菩薩首戴五如來
冠左手持蓮花於花上置法界塔印右手
作說法印結跏坐於本尊右圓明中畫
事業波羅蜜多菩薩○左圓明中畫七寶
波羅蜜多菩薩前圓明中畫法波羅蜜多
菩薩後圓明中畫金剛波羅蜜多菩薩東
北隅半月圓明中畫花波羅蜜多菩薩東南隅
半月圓明中畫燈波羅蜜多菩薩西南隅半
月中畫塗香波羅蜜多菩薩西北隅半月
中畫燒香波羅蜜多菩薩又大圓明下右邊
畫降三世尊明王半月輪曼荼羅中身色
與青二眼四牙大瞋怒狀屈左腳向前
右腳向後於輪中如走勢四臂兩手結三
昧耶心鉤印向胸前上左一手曲向耳上
把金剛鉤斧右手直向頂峻下把五股鐵
鉢羅合二周旋生火首冠五智冠閉口左邊

No. 39

A diagram of a 3x3 magic square, likely representing the Lo Shu Square. The square is enclosed in a rectangular border. At the top center is a vertical decorative element. At the bottom center is a lotus flower. On the left side, there is a decorative vase-like object. On the right side, there is a decorative object resembling a stylized animal or figure. The corners of the square are marked with circular symbols containing Chinese characters: top-left (乾), top-right (離), bottom-left (兌), and bottom-right (震). The central 3x3 grid contains the following characters in Chinese:

坤	震	坎
兌	離	震
坤	震	離

No. 46

云云。又善薩經上有寶珠者。明星出時。觀彼明星。法亦似前經云云。二經唯說西南二方。於一圓明。今准此經疏。有五大虛空藏菩薩。中更分爲五。一方五智五佛。五部各入虛空藏三摩地。故作五方色形持。五部三摩耶。現五部身。皆持寶成就富貴行者。亦用五部三昧耶印。入證五部虛空藏身。例如大樂金剛五秘密法。五方五佛各與四大菩薩。一皆入大樂五尊三摩地。然金剛頂十八會第一教王會。有四大輪。一金剛界輪。二十七尊皆持金剛界印。二降三世教令輪。三十七尊皆持降三世印。三反調伏法輪。三十七尊皆持觀世音印。四一切義成就輪。三十七尊皆持虛空藏印云云。今此五大虛空藏尊。卽一切義成就輪。蘇悉地法。通能成就一切義成就輪。五部求富貴法云云。於中圓畫白色虛空藏。左手執鉤。右手執寶。前圓中畫黃色虛空藏。左持鉤。右執寶。金剛。右圓中畫青色虛空藏。左持鉤。右持三瓣寶。放大光明。後圓中畫赤色虛空藏。左持鉤。右持大紺蓮花。左圓中畫黑紫色虛空藏。左持鉤。右持寶羯磨。若於青色或金色絹上畫之云云。



No. 11

五秘密曼荼羅十五
十八會指歸 不空云。普賢菩薩。復說秘密
中曼荼羅十七尊支分。各復入本尊身共
成五尊。同居一蓮花臺云。
金剛智五秘密口決云。金剛薩埵者。○以
五佛爲冠。背倚月輪。坐白蓮花。右手持五
智金剛杵。安於心上。左手執般若波羅蜜
金剛鈴。按於膀上。其身白色。以四明妃同
一蓮花圍繞而坐云。
理趣經十八會曼荼羅。禪林請來出之



No. 42

金剛頂瑜伽金剛薩埵五秘密修行念誦
軌云。不空。若有人禮拜供養尊重讚嘆者。
則同見一切如來及金剛薩埵。當住此智
印。則於身前想金剛薩埵智身如自身觀
以四智印圍遶。同一月輪同一蓮花。各住
本威儀執持標記。各戴五佛寶冠。瑜伽者
專住身前金剛薩埵。心不散動云。



No. 43

理趣釋下云。今說修行曼荼羅像。同一蓮
花座同一圓光。中央畫金剛薩埵菩薩。右
邊畫二種明妃本形。左邊亦畫二種。具如
金泥曼荼羅像東南隅也云。



No. 44

惠叶圖梨五秘密圖像抄云。金泥曼荼羅
樣在東南隅云。



No. 45

此會二手可持。左手法。右手
三。如旋舞之便。作花勢。勢歟。

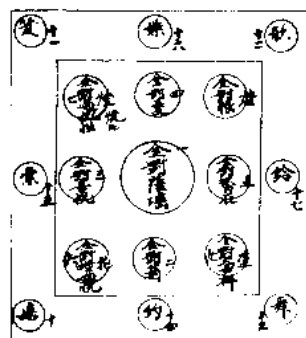
可持矢。若寫失歟

五秘密軌云。先想月輪然觀形色。次說五
秘密。金剛薩埵色若素月。具諸嚴飾。首戴
五佛寶冠。身佩赤焰。坐白蓮臺。端嚴而處。
常住大印。金剛箭赤色。居於前而持弓矢。
金剛喜悅白色。在右抱三昧耶體。金剛愛
諸事並青。處後持摩竭幢。金剛欲自在色
黃。居左。二拳各當膀。其頭向左少傾。次說
四隅內供養。金剛妙適悅潔白。供養以花。
金剛適悅性色黑。爐焚來香。金剛眼形服
尙赤。供養以燈。金剛大吉祥色黃。捧持塗
香。次說四隅外供養。金剛嬉戲金剛笑金
剛歌金剛舞。其四外供養並作純金色。○
四門承旨。金剛鉤在前而作青色。金剛索
居右而作黃色。金剛鎖處後而作赤色。金
剛磬在左而作綠色。種種供養具法界
所有物皆悉滿其中云。

圖像 No. 42. 五秘密曼荼羅 (其一) (cf. p. 78 參考圖像 No. 44) 圖像 No. 43. 五秘密曼荼羅 (其二) (cf. p. 77, 參考圖像 No. 45) 圖像 No. 44. 五秘密曼荼羅 (其三) (cf. p. 78 參考圖像 No. 46) 圖像 No. 45. 五秘密曼荼羅 (其四) (cf. p. 79 參考圖像 No. 47, p. 80 參考圖像 No. 48)

上文云。自如是五智金剛。則又變成本尊身。有四臂。上二住端。勢下。右手仰。當心。金剛。作下。左手。爲金剛拳。安左。腕側。持金剛鈴。額。眉。口。微。笑。白。色。戴五。佛冠。緋。裙。天。衣。半。跏。坐。月。輪。中。蓮。花。上。云。

金剛王曼茶羅 十六 聖賢開架說五。金剛王菩薩念誦法云。次於壇中師子座上。上月輪中觀字成本尊。於本尊前安。羅字爲意生金剛。右安。賀。爲計里。羅金剛。後安。蘇。爲愛樂金剛。左安。何。爲意氣金剛。於西北隅安。轉。爲意生金剛。女。東北隅安。日。爲計里。相。剛女。東南隅安。月。爲愛樂金剛。女。西南隅安。恒。轉。爲意氣金剛。女。東門中安。弱。爲色。菩薩。南門中安。呼。爲聲。菩薩。西門中安。錢。爲香。菩薩。北門中安。解。爲味。菩薩。外院西北角安。素。爲時。春。薩。東北角安。羅。爲時。雨。菩薩。東南角安。多。爲時。秋。菩薩。西南角安。有。薩。但。錢。合。爲時。冬。菩薩。次於畫像心安。噫。字。此字兩邊安。弱。字。成本尊云。



金剛喜悅
如三昧體
右抱三昧體
如何答云左

No. 46

理趣會曼茶羅 十七 大樂金剛薩埵修行成就軌云。不空曼茶羅內諸坐位。先想月輪然觀形色。次說五秘密。金剛薩埵坐白蓮臺。端嚴而處。形貌如前所成身法。當住大印。金剛箭赤色。居於前而持弓矢。金剛喜悅。白色。在右抱三昧耶體。金剛愛諸事。並青處。後持摩竭幢。金剛欲自在。色黃。居左。二拳各當膝。其頭向左。少傾。次說四隅內供養。金剛妙適悅。潔白。供養以花。金剛適悅。性色黑。爐焚。香。金剛眼形。服尚赤。供養以燈。金剛大吉。祥色黃。捧持塗香。次說四隅外供養。金剛嬉戲。金剛笑。金剛歌。金剛舞。其四外供養。並作純金色。次說四門承旨。金剛鉤在前。而作青色。金剛索居右。而作黃色。金剛鎖處後。而作赤色。金剛磬在左。而作綠色。以上十六尊。皆以適悅目瞻。仰金剛眼。隨其身色云。



No. 47

普賢金剛薩埵念誦法云。不空次當於曼茶羅中位。想圓滿月。於月中有普賢菩薩。住金剛蓮印。次大聖前。想欲金剛。形服色皆赤。衣冠璎珞。種種嚴飾。目瞻大聖。住金剛弓箭印。次於大聖右。想計里計囉尊。色白。以二金剛拳。交臂住抱印。於大聖後。想愛金剛。形服皆青。豎左臂。執摩竭幢。以右金剛拳。承其肘。亦共持於幢。於大聖左。邊想金剛。豎尊。形服皆黃。以二金剛拳。各安膝。頭向左。少低。此五聖尊。皆住羯磨印。次是春金剛。菩薩印。當想聖者。居中。院東南隅。色服俱白。捧花以爲印。次結雲金剛焚香印。想此尊在道場內。院西南隅。形服皆黑。持香爐以爲印。次結秋金剛。菩薩燈燭印。想此尊在內院西北隅。形服皆赤。次結金對霜雪菩薩印。當想此菩薩。住內院曼茶羅東北隅。形服皆黃色。次結外供養諸尊。東南喜戲菩薩。以二金剛拳。常於心。西南金剛笑菩薩。以二拳。各在口。傍向後散勢。西北金剛歌菩薩。左手作拳。豎臂展頭。



私見菩薩云
金剛軌位供養
不之薩依位不養
達說金木薩云
之相軌賢見菩薩

No. 48

指向身。持蓮華爲印。右手作彈絃勢。東北金剛舞菩薩。以二手拳旋轉結舞印。此四尊形服皆作金色。○次結四門菩薩印儀。初東金剛鉤菩薩。居曼荼羅東門中青色。南門中金剛索菩薩。色黃持索爲印。西門中金剛鎖菩薩。赤色持鎖爲印。北門中金剛鈴菩薩。綠色持鈴以爲印。此四菩薩各具冠髻種種嚴麗云。



No. 49

金剛頂勝初瑜伽普賢菩薩念誦法經云

依前觀滿月 皓白現境中
大聖處於間 契住金剛慢
復陳四尊位 眼箭在其前
色赤衣服然 冠髻以嚴飾
二羽彎弓矢 瞻瞻薩埵儀
計里計羅尊 色白居其右
金剛拳二羽 交把三昧耶
於後愛爲名 形服皆青色

二拳豎惠臂 共執摩竭幡
色黃拳在膝 次陳內供養
捧花形服白 金剛適悅性
金剛服獻燈 未爲塗香位
形質皆以黃 四隅又存想
二拳以當心 二羽口傍散
彈執其變模 四承旨居門
初持鉤青色 南携索皆黃
其北名爲馨

肘以定羽承 於左右爲慢
向左小低頭 初起東南隅
金剛妙適悅 色黑執香爐
色赤嚴飾爾 金剛大吉祥
外供養諸尊 東南名嬉戲
笑處於西南 歌居於西北
東北舞爲名 形儀復常演
嚴麗處於間 西執鎖尚赤
其綠色冠髻云



No. 50

金剛頂勝初瑜伽經中略出大樂金剛薩埵念誦軌云不空譯
私云。次上說一不違。仍不圖之
理趣釋云。次說安立次第分曼荼羅位。中
央九位外院更加一重。中央安金剛薩埵
依薩埵菩薩前安慈金剛。右邊金剛悅喜
後安愛金剛。左安金剛慢。右邊前隅安意
生金剛。右邊後隅安髻離吉羅。左邊後隅
安愛金剛。左邊前隅安傲金剛。以次外院
如前次第安布四隅。初安春金剛。次安雨
金剛。次安秋金剛。次安冬金剛。外院前安
色金剛。右安聲金剛。後安香金剛。左安味
金剛。既安布已云。



No. 51

馬鳴曼荼羅 十八 十卷抄有之
馬鳴六臂白肉色乘白馬。口二人
室後三人。即上諸雲。馬前一人。啓請弟
子

持世菩薩曼荼羅
持世菩薩曼荼羅
持世菩薩曼荼羅



No. 52

曼荼羅集下

持世菩薩曼荼羅	大輪明王
安鎮	十二天
十天	降三世
軍荼利	大威德
金剛夜叉	聖觀音
千手	如意輪
七星如意輪	
阿嚕力經	妙見
毘沙門	吉祥天
太元	

持世菩薩曼荼羅一

持世陀羅尼別行功能法云。凡作此法必須默然無言。無說自滿已。然後即取白疊長七肘。又取白檀香汁。帶金香汁相和。以浸白疊。經一宿。其疊全織成。不得有刀割截處。綠色中不得用皮膠。又令畫師持八戒齋。然後遣如法畫此持世之像。其像身容青色。黃色。坐蓮花座上。結跏趺坐。身作種。環路。頭冠環釧。種。莊嚴。於右手中執頭羅菓。此云大石。左手當作施無畏手。其像面當作微笑之容。以觀呪師之勢。其形狀如梵天王。美貌可喜。畫之。其蓮花座下畫二龍王。以兩手捧七寶箱。一龍王執寶瓶。其龍王作人身。頭上畫作一龍蛇頭。上帶寶珠。其龍王身半在水中。其像右邊畫

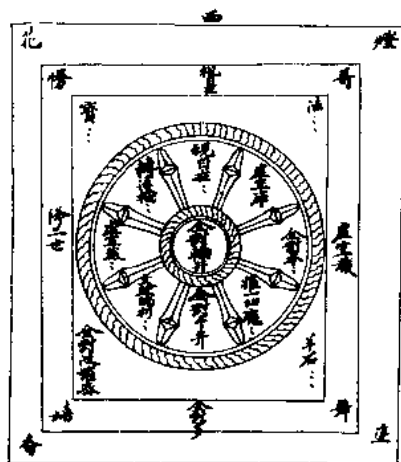


No. 53

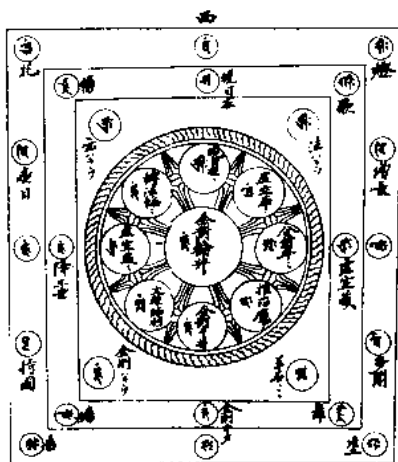
大勝天。其天一手執蓮花。一手作招携呪師赴相。其大像上兩邊作二天仙人。雨嚴七寶滿虛空中。其像左邊畫宰堵婆塔。大勝天上更畫一天人。作捧寶珠之勢。仍須合掌。又向大勝天下畫呪師。手執蓮花。云

大輪明王曼荼羅二

理趣釋云。若修金剛輪菩薩三摩地。應建立曼荼羅。畫八幅輪形。輪中畫金剛輪菩薩。於八幅間畫八大菩薩。如前布列。文上云。金剛手菩薩。觀自在。虛空藏。金剛拳。文殊師利。維摩。心轉法輪。虛空藏。毗一。切。外四隅畫四波羅蜜菩薩。內院四隅安四內供養。外院四隅安四外供養。內院四門安四菩薩。東門金剛薩埵菩薩。南門降三世金剛。西門觀自在菩薩。北門虛空藏。云。



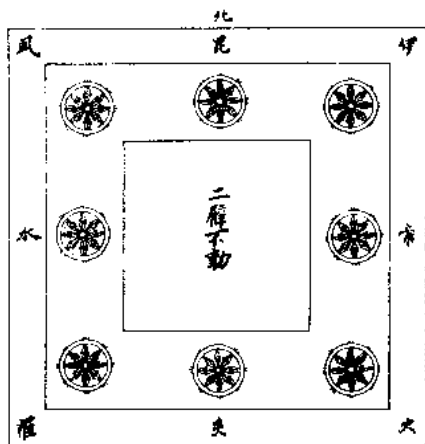
No. 54



No. 55

安鎮曼茶羅三
不動安鎮軌云。當須清淨造立不動尊明
王形像。如法修造。隨其自力。或金或銀
乃至銅鐵泥木彩畫。身長八指。其兩臂身
俱摩羅相。其身洪滿。其色如金。頭髮在垂。

威容極忿。右持智劍。左執網索。坐金盤石。
光焰熾然。其焰多有伽樓羅狀。此之形像
王宮中置。乃至百官黎庶人民所居屋宅
房舍。皆於中心取少分處安置。此像。其八
方鎮處。作四臂大忿怒身。紺青色。洪滿端
嚴。目口皆張。利牙上出。右劍左索。其上二
臂在口兩邊作忿怒印。身處八輻金剛輪
內。其輪四外現八三股金剛杵頭。輪復有
伽樓羅炎。坐四寶須彌山上。及八天王并
諸眷屬。及鑄金輪自有圖樣云。



No. 56

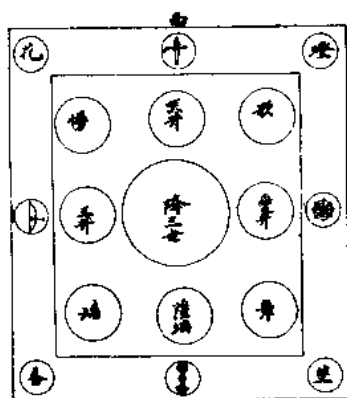
十二天曼茶羅四
供養護世八天法云。方出道場外。八隅塗
圓壇而爲十聖位。於帝釋左右置梵天地
天。或復於龍方梵地相對。置日月天位。
囉宿隨轉。中位觀四臂不動忿怒王。兩手
金剛拳。風地曲如鉤。以安口兩邊。右劍左
持索。須彌山爲坐。身外現八峯利銳金剛
輪。洪滿紺青色。蓬頭垂髮索。威焰如劫燒。

勢如葉嚙拳。赫奕無能對云。



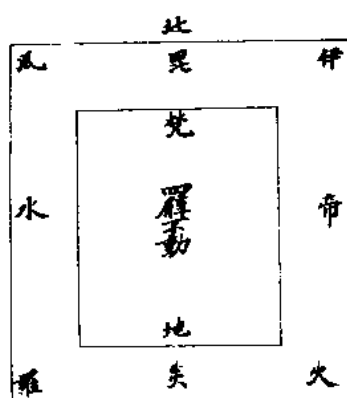
No. 57

十天曼茶羅五
金剛頂瑜伽護摩軌云。即出道場外。於道
場八隅敷茅。或蓮葉。或餘青草。或塗圓壇
爲十位。於是東方帝釋左右置梵天地天。
若道場內無置處。即於道場前別爲方界。
即於中作八方。於中作兩位。置梵天地天。
中心置四臂不動尊。青肉色。二手各別作
金剛拳。頭指小指各曲如鉤形。安口兩邊
角。想如牙。右手持刀令豎。左手持索。牛脚
右押左。坐盤石上。威焰光明遍身如火云。
疏五云。復次行者應知護方八位。凡所造
作漫荼羅。隨此而轉。東方因陀羅。南方焰
摩羅。西方囉嚨拏。北方毘沙門。東北伊舍
尼。東南爲護摩。西南涅哩底。西北爲囉庚
其上方諸尊多依帝釋之右。下方諸尊多
依龍尊之右。上謂空居。下謂地居也云。



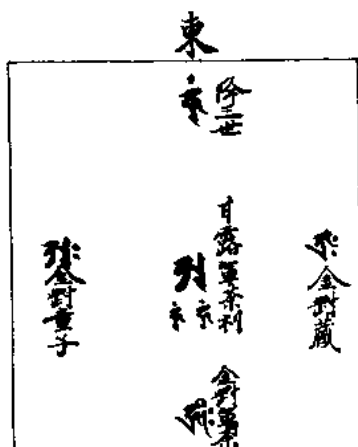
No. 59

降三世曼荼羅 六
理趣釋云○五種無戲論智成降三世曼
荼羅中央安降三世前安忿怒薩埵菩薩
後安忿怒善哉菩薩右邊安忿怒王菩薩
左邊安忿怒愛菩薩四內四隅安四忿怒
內供養於外四隅安四忿怒外供養東門
安弓箭畫契其南門安鈎西門輪北門三
股叉一一皆如前四種曼荼羅皆以降伏
以爲三摩地云々



No. 58

軍荼利曼荼羅 七
軍荼利軌云於寶樓閣中央觀到劍字於
兩邊觀到劍字是甘露軍荼利法身種子
字次於東方觀到劍字是降三世法身
種子又南方觀到劍字是忿怒金剛
藏法身種子又於西方觀到劍字是
金剛軍童子法身種子次於北方觀到惡
字是金剛羯拏古譯名金法身種子云々



No. 60

軌云當於室中安本尊像面向西。瑜伽者面向
東云々

大威德曼荼羅 八 但轉法輪

曼殊室利焰曼德迦萬愛祕術如意法云
先說像其身六面六臂六足乘水牛所謂
六面頂上三面中面菩薩形柔軟也其面
頂有阿彌陀又六臂所謂左一鉞二輪索
三弓右一劍二寶杖三箭以彼弓鐃勢也
又六足左三足立輪右三足上彼輪下有

水牛四足立花座復像背有火輪如虹
又如吠瑠璃其火中當像右足下有寅神
次第第十二神但未申對面復次壇外圓壇
其壇中置輪○外院東方召請童子其形
如童子髻上生登以弓矢東南方計設尼
童子如上形左拳右把三角鉞左拳置腰
南方救護惠童子如上形左投輪右施無
畏右足上西南方烏波計設尼童子如上
形○花鉞西方光網童子左拳置腰右捧
孔雀尾西北方地惠童子右手把三拏如
金剛藏王北方無垢光童子如上形左拳
置腰右索上東北方不思議童子左拳置
腰右劍把上物打勢也一一身五色立輪
下一一有師子云々



No. 61

金剛夜叉曼荼羅 九
瑜祇經云若作曼荼羅及畫或觀成當觀
畔一字成大羯磨輪放光焰金色復於臍

圖像 No. 58. 十天曼荼羅 (cf. p. 94 參考圖像 No. 59)
參考圖像 No. 64

圖像 No. 60. 降三世曼荼羅 (cf. p. 96 參考圖像 No. 63)

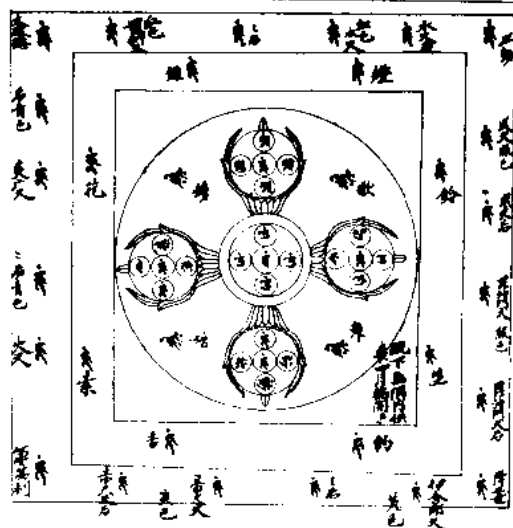
圖像 No. 60. 軍荼利曼荼羅

圖像 No. 61. 大威德曼荼羅 (cf. p. 98)

輪中當鈎於五分。觀五大月輪。一輪安五
尊共一爲二十五。用金剛界字。羯磨印安
布。次於輪四隅放種。色光。一隅四忿怒
四隅十六護。各持五峯杵。作金剛擲步。皆
從吽字生。身作四方色。最中圓佛處。四隅
內供養。次西方面前左右安二尊。所謂鈎
等四及香花等四云。

疏下云。若作曼太羅。及畫或觀成。當觀吽
一字。成大羯磨輪。連續十字成大圓輪。放
光焰金色。復於輪中。當貼於五分。觀五
大月輪。一輪安五尊。共爲二十五。用金剛
界字。羯磨印安布。用金剛界羯磨會五佛四波羅
印真言。
十六菩薩種子成之。即用其

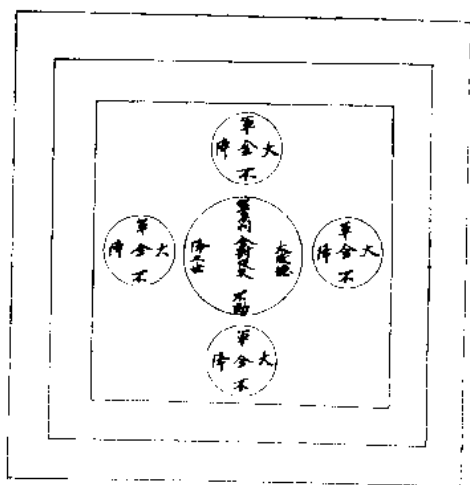
次於輪四隅放種。色光。一隅四忿怒。四
隅十六護。各持五峯杵。作金剛擲步。皆從
吽字生。身作四方色。文殊八字法云。第三
院十六大天外護。南焰魔后。次羅刹主。次
角羅刹后。次北水天。次北龍天后。次北風
天王。次東風天后。次東毘沙門天王尊。次
東毘沙門后。次東伊舍那天王。次南伊舍
那后。次南帝釋天王。次南帝釋后。次南水
天神。次火天后。次西焰魔天。此經四隅各
四大護。當分四方之后。加於四維以爲四
隅。各四大護。唯五大虛空藏。五方色。中白
東黃。南青。西赤。北綠。次五大勝品。東白
南黃。西紅。北綠。以五大品爲定作十六色。
最中圓佛。下云。亦云。行人自爲佛處。於輪中。即以
又四隅內供養。輪間。次四方面前左右安
二尊。所謂鈎等四。及香花等四。四輪前左右
左。右。供云。



No. 62

疏下云。當例此中五月輪壇。並作五大明
王輪壇。各以五大明王轉變各作五。二
十五尊云。若欲以五大尊同安一壇者。
當准仁王儀軌修之。如彼文云。於壇中心
畫十二幅輪。東畫五股金剛杵。南邊畫金
剛寶。西邊畫金剛劍。北邊畫金剛牙。此上
五事。即是五方菩薩手中所執祕密之契。
東南隅畫三貼金剛杵。西南隅畫寶冠。西
北隅畫篋篋。東北隅畫羯磨金剛杵。當四
角上置四寶瓶。金銀銅鍍。新瓦亦得。受一
斗已下。瓶滿盛水。插枝條花。用四色。繪各
長四尺。青黃赤綠。如上次第。繫四瓶項。次
第三重東門畫金剛鈎。南門畫金剛索。西
門畫金剛鎖。北門畫金剛鈴。東南角畫香
爐。西南角畫荷葉。於中畫雜花。西北角畫

燈。東北角畫塗香器。所畫杵等皆有光焰
三重壇外一重界道云。



No. 63

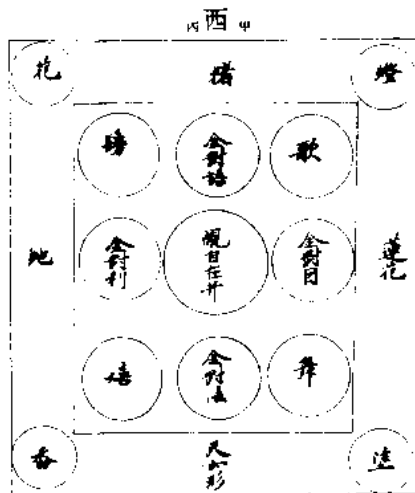
聖觀音曼荼羅十
理趣釋云。得自性清淨法性如來者。是觀
自在王如來異名。則此佛名無量壽。若於
淨妙國土現成佛身。住維摩五濁世界。則
爲觀自在菩薩。○修行者持觀自在菩薩
心真言。欲求成就。般若理趣。應建立曼荼
羅。中央畫觀自在菩薩。如本儀形。前安金
剛法。右安金剛利。左安金剛因。上緣後安
金剛語。於四內外隅各安四內外供養。於
東門畫天女形。表貪慾。南門畫蛇。表瞋形。
西門畫猪。表癡形。北門畫蓮花。表淫。癡形
云。



之難必師
無可說
經有云
文之偽
加傍

No. 65

千手曼荼羅 十一
千手執云。千手千眼觀自在菩薩。具無量
相好熾盛威德。十波羅蜜菩薩周匝圍繞。
八供養各住本位。於寶樓閣四隅。有白衣
大白衣多羅毘俱胝等大菩薩。各與無量
○蓮花部衆前後圍繞。諸天八部以爲眷
屬。如是觀想無量聖衆及本尊。極須分明
勿令妄失云。

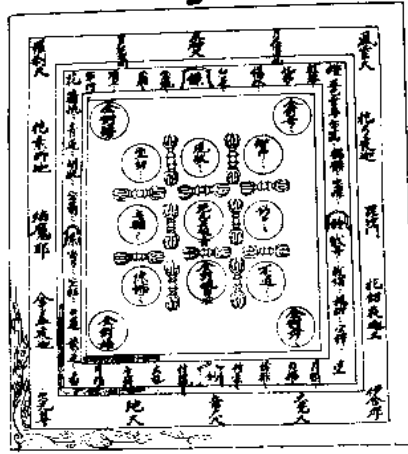


No. 61

千光眼觀自在菩薩祕密法經云。李行沙門
譯。佛知大眾心。住無礙三昧。演說觀自在
大曼荼羅相。第一內心地。有九淨月輪。中
央月輪中。安置施無畏。妙色超三界。金色
具輝曜。首持髮髻。寶冠紺髮垂。頂上十
一面。皆如上述。說上文云。頂上十一面。當前三面。作
上三面。如來相。後一面。如菩薩相。三面。如菩薩相。左
安住化佛身。菩薩於身上。具足四十手。一
手掌中。各有一慈眼。隨諸衆生類。執持
雜寶物。住於蓮花臺。放大淨光明。左定持
日輪。右惠淨月輪。左理持寶殿。右智五色
雲。左定執戟鎧。右惠持錫杖。左理霸索形。
右智寶劍印。左定寶弓形。右惠寶箭形。左
理紅蓮花。右智紫蓮花。左定白蓮花。右惠
青蓮花。左理鐔持瓶。右智執胡瓶。左定執
玉環。右惠持金輪。左理寶篋形。右智寶經
典。左定鐵鉤形。右惠鐵鐙形。左理金剛杵。
右智持三釵。左定寶螺形。右惠蒲桃形。左
理白拂形。右智楊柳枝。左定寶鈴鐸。右惠
寶智印。左理如意珠。右智施無畏。左定化
佛尊。右惠頂上佛。左理寶鏡珠。右智髻髻
杖。左定榜排形。右惠持念珠。理智持寶鉢。
定惠蓮花合。各々妙寶臂。猶如尼羅枝。鑲
銅爲臂下。大衣及瓔珞。莊嚴大悲體。圓光
微妙色。跏趺右押左。妙相服不及。次當前
月輪。金剛觀自在。南方月輪中。與願觀自
在。西方月輪中。現敬觀自在。北方月輪中。
鉤召觀自在。本尊及四尊。表五智五部。除
怖觀自在。在於東南輪。寶劍觀自在。在西

南月輪。智印觀自在。於西北輪。不轉觀
自在。東北月輪。是四大觀音。表法利因
語。行者應知之。已上九月輪。五智杵以界
亦有四月輪。離九輪住隅。金剛舞菩薩。在
於東北輪。金剛嬉菩薩。在東南月輪。金剛
聖菩薩。住於西南輪。金剛歌菩薩。住西北
月輪。已說內院竟。今說第二院。東門金剛
鉤。南門金剛索。西門金剛鎖。北門金剛鈴。
東北金剛燈。八供四攝智。本形如金界。於東
門南邊。有持杵觀音。次大勢觀音。次寶鉢
觀音。次日精觀音。次於東門北。有持索觀
音。次榜排觀音。次白拂觀音。次月精觀音。
於南門東邊。有寶弓觀音。次寶經觀音。次
白蓮觀音。次紫蓮觀音。次於南門西。安寶
箭觀音。次胡瓶觀音。次青蓮觀音。次蒲桃
觀音。於西門南邊。安寶鏡觀音。次玉環觀
音。次頂上觀音。次軍持觀音。次於西門北。
安紅蓮觀音。次錫杖觀音。次化佛觀音。次
數珠觀音。於北門西邊。安寶螺觀音。次髻
髻觀音。次寶篋觀音。次五色雲觀音。於北門
東邊。安鐵斧觀音。次戟鎧觀音。次楊柳觀
音。次寶鐙觀音。已上五八尊。形像如上說。
第二院說竟。次說天等院。東北伊舍那。東
方帝釋天。東南火光尊。南方焰魔耶。西南
羅刹天。西方水神天。西北風雲天。北方毘
沙門。於伊舍那南。安於大梵天。於帝釋南
邊。有下方地天。次於火天。西。有傘蓋夜迦。
於焰摩天。安把索野迦。日天。照衆聞。在

於羅刹北。月天清涼光。在於水天北。於風
 天東邊。安把弓夜迦。把劍夜迦王。在於多
 門東。已上二六天。及毘那夜迦。形像及印
 明。如餘部法說。既說尊色位。今說地色等
 內院地紺青。而散金色花。從內至次間。獨
 鉤杵爲界。第二院地色。淺黑散銀花。至第
 二院間。以白銀三鉤。而界於院。第三天
 等地。如虛空色界。於地外方地。蓮花以爲
 嚴。既說壇場相云。

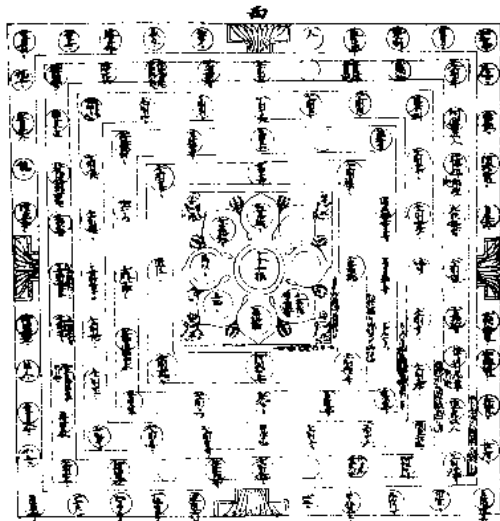


No. 66

攝無礙大悲心大陀羅尼經云。新度譯。今說
 初城界本尊微妙相。第一內心地。有八葉
 蓮花。其妙色青黃。妙寶金剛華。八葉具鬘
 藥。能開現三寶。衆寶自莊嚴。常出無量光。
 百千種妙花。續紛以嚴地。紺琉璃爲地。黃
 金界紺場微妙無等倫。從此花臺心。出現
 大月輪猶妙秋滿月。中有本尊像。號千手
 千眼。妙色超三界。金色具輝曜。首持髮髻

冠。寶冠紺髮。頂上五百面。具足眼一千。
 諸頭寶冠中。安住化佛身。相千百臂。其
 中操雜寶。左定日精珠。左理宮殿珠。左定
 戟銷珠。左理榜排珠。左定寶弓珠。左理鐔
 持珠。左定網索珠。左理紅蓮珠。左定白蓮
 珠。左理寶篋珠。左定玉環珠。左理寶鏡珠。
 左定蒲桃珠。左理化佛珠。左定寶螺珠。左
 理金剛杵。左定鐵鉤珠。左理白拂珠。左定
 寶鐸珠。左理如意珠。定惠十蓮合。理智入
 定印。右惠月精珠。右智色雲珠。右惠錫杖
 珠。右智寶劍珠。右惠寶箭珠。右智胡瓶珠。
 右惠數玉珠。右智紫蓮珠。右惠青蓮珠。右
 智寶經珠。右惠金輪珠。右智獨體珠。右惠
 楊柳珠。右智頂上珠。右惠寶鉢珠。右智三
 鉤珠。右惠鉞鋒珠。右智無畏珠。右惠寶印
 珠。右惠妙寶臂。猶如尼羅枝。銀釧爲臂玉
 珠。各妙寶璣。妙璽及天衣。莊嚴殊妙體。救
 世圓滿光。難勢住三昧。踰跏右押左。安住
 妙寶蓮。妙相無倫匹。既說中台像威儀好
 相。竟令說八葉上。大菩薩種子。○八葉蓮
 花臺。始從東北。起右旋。云。今說四種蓮。開遠
 地形色。東方青蓮花。南方赤蓮花。西方白
 蓮花。北方紫蓮花。蓮花地東北西南西等隅
 內。各有一寶瓶。妙色無有喻。炎熒蓮花座。
 瓶攝大蓮花。次說四蓮花。四方蓮華門。其
 色鮮赤白。常放無量光。次從紺青地。至第
 二院間。以黃金爲地。有一鉤杵形。次從第
 二院。至第三院間。白銀以爲地。有三鉤杵
 形。次從第三院。至第四院間。以黃金爲地。

有獨鉤杵形。次從第四院。至第五院間。白
 銀以爲地。有日羅形。次從第五院。至第
 六院間。黃金以爲地。有五鉤杵形。次內院
 地色。紺青散金花。第二院地色。淺黑散銀
 花。第三院地色。淺紫散金花。第四院地色。
 深紫散銀花。第五院地色。淺青散金花。第
 六蓮花地。深赤頻婆色。此曼荼羅深懸從
 黑流布。其中諸尊等。住大月輪中云。
 私云。中台之尊。次說諸尊坐位形像。依
 其廣不書文。坐位如左。委旨可見經
 千眼千臂觀世音菩薩陀羅尼呪經云。千
 眼千臂觀世音菩薩十肘曼荼羅法門。
 凡作一切曼荼羅法門。謹案梵本云。此國
 土無有作曼荼羅地。如彼中天竺國。皆取
 上勝福德之地。以爲壇場。婆羅門國別有
 擇地方法。不能廣說。且論漢地。第一山居
 閑靜之處。掘地去其石礫及瓦器惡物。然



No. 67

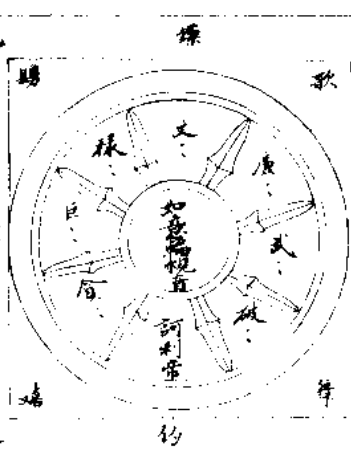
輪間安七星象及訶利母位。一、象前安燈蘇香等種、供養所爲人姓名出於本星、阿闍梨座於輪外云。



阿闍梨座

No. 71

小野本 先師法務御傳



No. 72

阿闍梨經曼荼羅十區 多羅曼荼羅也
阿闍梨多羅曼荼羅尼阿闍梨力品第十四 不空
云、我今說畫像之法、取淨麗木會割截童
女織者最上、中畫阿闍梨如來、長六寸、手
住說法印、於蓮花臺結跏趺坐、身純金色
作白焰光、佛右畫觀自在菩薩、左畫大勢
至菩薩、皆純金色作白焰光、二菩薩右手

各執白拂、左手各執蓮花、大勢至身稍少
於觀自在、皆種、寶莊嚴其身、著寶璣珞
手釧、皆衣白衣、髮並上結、不得披下、於白
在之右畫聖者半拏羅悉爾菩薩、白衣觀白
髮亦上結、寶冠種、寶衣以爲莊嚴、著白
色衣、天衣爲黑、左手持棒或持網索、右手
執於般若梵夾、於大勢至近下應畫行人
手執花冠或紅蓮青蓮、瞻佛尊顏、佛座正
下爲蓮華池、中畫寶蓮、之右廂畫難陀
龍王、左畫跋難陀龍王、皆立而半身出水、
各出一手捧佛座、託蓮花、面白欣悅、以寶
嚴身、作赤色、池之左右各爲天女、身服
寶衣、一手執花、仰奉如來、佛後應畫如意
寶樹、上掛種種寶衣及諸珍寶、乃至音
樂作舞歌鳥、當於樹上畫諸天等、以手散
花雨於佛上、畫像畢云。

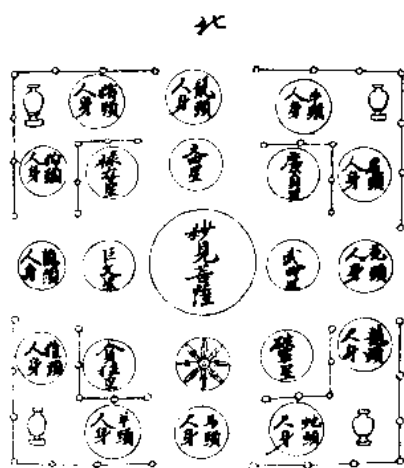


No. 73

妙見曼荼羅十區
妙見菩薩神呪經云、當於中央畫一大月
輪、中畫作菩薩像、左手持蓮花、上作
北平七星形、右手作說法印、五指並舒向
上、以大母指捻頭、以手掌向外、天衣璣珞
耳環環釧莊嚴其身、五色雲中結跏趺坐、
又圍遶於菩薩畫七小月輪、中畫作北
斗七星神形、以爲內院之衆、西南第一月
輪畫貪狼星、小赤黑色、左手持月、次西月
輪畫巨文星、身而小白黃色、右手持月、次
西北月輪畫存星、小赤青色、左手持火珠、
上上火焰起、次北方月輪畫文曲星、面而
小青黑色、左手掌向外、五指垂下、掌中流
出水、流下形東北月輪畫廉貞星、面而黃
色、右手持玉衡、東方月輪畫武曲星、面而
青色、左手持柳枝、次東南月輪畫破軍星、
其色小白赤色、右手持刀、是諸星皆作樂
叉形、頭髮赤色、天冠璣珞莊嚴其身、菩薩
像前置輪寶形、次外院東方寅位畫甲寅
將軍、虎頭人身、右手持棒、次卯位畫丁卯
從神、兔頭人身、左手持棒、次辰位畫甲辰將
軍、龍頭人身、手持鐵鏈、次巳位畫丁巳從神、
蛇頭人身、手持戟、次午位畫甲午將軍、馬頭人
身、持戟、次未位畫丁未從神、羊頭人身、持槌、
次申位畫甲申將軍、猴頭人身、持刀、次酉位
畫丁酉從神、雞頭人身、持刀、次戌位畫甲戌將
軍、狗頭人身、持槌、次亥位畫丁亥從神、猪頭
人身、持鐵鉤、次子位畫甲子將軍、鼠頭人身、
持鉤、次丑位畫丁丑從神、牛頭人身、持槌、此

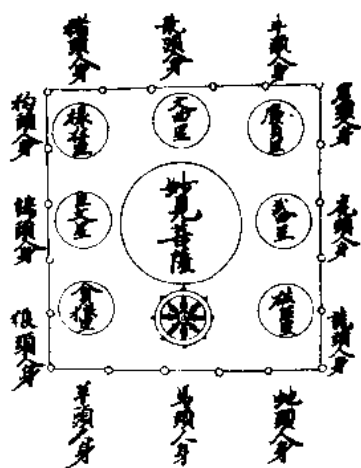
圖像 No. 71 七曜知色輪曼荼羅(其一) p. 106 參考圖像 No. 74 圖像 No. 72 七曜知色輪曼荼羅(其二) p. 107 參考圖像 No. 75 圖像 No. 73 阿闍梨經曼荼羅(其一) p. 108 參考圖像 No. 76 圖像 No. 77 阿闍梨經曼荼羅(其二) p. 109 參考圖像 No. 78

諸神等皆著天衣瓔珞坐磐石上四維四門以星爲界四維空處應畫花瓶云



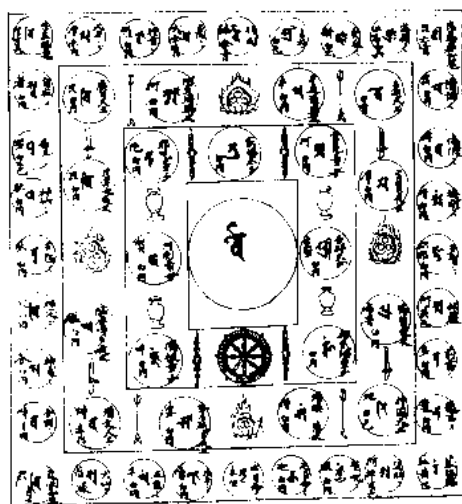
No. 74

異本



No. 75

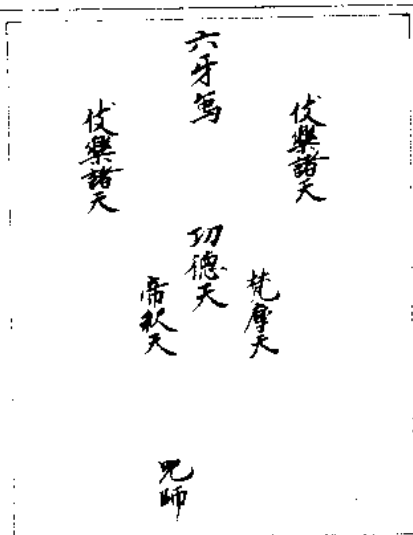
毘沙門曼荼羅 十六
圓樂寺本安養房傳云、不知說所可勘之



No. 76

吉祥天曼荼羅 十七
集經十云其像身長一肘一尺三寸五分除其光座更須高大亦彌精好○其功德天像身端正赤白色二臂畫作種種琉璃耳環天衣寶冠天女左手持如意珠右手施無畏宣臺上坐左邊畫梵摩天手執寶鏡右邊畫帝釋天如散供養天女背後各畫一七寶山於大像上作五色雲、上安六牙白象鼻紋馬腦瓶、中傾出種種寶物灌於功德天頂上天神背後畫百寶花林頭上畫作千葉寶蓋、上作諸天伎樂散花供養其像底下右邊復畫作呢

師形著鮮白衣手把香爐踞跪供養於白素細上坐云



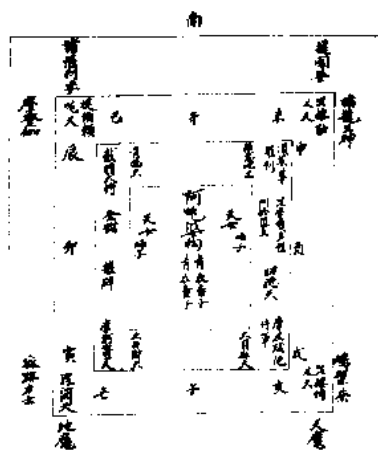
No. 77

太元曼荼羅 十八
阿吒婆拘元帥大將軌失譯云若有人欲得法成就者應造畫其形像○說一面四臂者左上手執千幅火輪左下手作大怒印以大母指押無名指中指中指上節小指頭指直堅安於膝上右上手執跋折羅右印手託膝著七寶冠瞋眼如懸鈴上唇齒下舉身皆青黑與色以大蟲皮爲褌其脚著鞋踏二藥叉
次曼荼羅相明之者
一面四臂大元帥大明王左右畫二天女戴七寶冠著嬌奢耶衣一人執筆一人執劍足下畫二青衣童子、執案左右侍者左右各作一大師子尾豎立勢又左右畫四人金剛使者摧碎金剛青面大王

蘇悉地王。炎髮逆生。皆作四臂。四臂執輪
杵棒鉞。次畫散指大將。著袈裟著甲執鉞。
或右手執索。左手執劍。住立座上。次畫毘
摩質多羅阿修羅王。其足六臂。謂執日月
斧鐏杵索。次畫須葉花羅刹王。其足八面
六臂。前面具六目。左面作猪頭。右面作馬
頭。頂一面如端正女人。餘面如羅刹。吐於
雲火。大張其口。亦六手執戎器寶刀劍輪
越斧寶棒。次畫四人龍王。人身著龍冠著
甲執叉。次畫沙摩將軍。著於衣甲。以手腰
相叉。怒目者下張口大廣。次畫四人天王。
著金光甲。執杵執旗幡。次畫摩尼跋陀大
鬼神王。著衣甲執弓箭。次畫大辨才天女
功德天女摩訶迦羅天大自在天。其形如
餘說

大明圖位者

其曼荼羅向南安置。中央安阿吒婆狗。下
安二人青衣童子。左右安二天女。之下
左右安師子。東南散脂大將。西南須葉花
羅刹。西北摩尼跋陀將軍。東北摩訶迦羅
天。已上第
二重角
面蘇悉地王二人安之。西方毘摩質多羅
阿修羅王功德天二人安之。北方大自在
天大辨天此二天安之。已上第二重大四
角安四天王。四方安十二神將。已上第二重
次第四重安密跡力士魔登伽諸羅刹婆
捷闍婆諸龍神王鳩槃荼天魔地魔等。是
等一切冥衆諸天大元明王鬼眷屬也。云



No. 78

阿闍木云

今此抄三卷。先師理明房阿闍梨興然
往年雖集之。諸尊色像未圖之。且守彼
遺命且為散衆霧。仰兩三之畫云。圖諸
尊之形像而已。有所違者後覽添削之
權大僧都光寶

天福元年十月之比。年來所持本書制
圖像畢
定真本也

此抄三帖依師命書之。油紙圖像同寫
之
大法師隆聖二十三歲
藏

此集三帖頗希也。尤可為祕藏焉。弟子
僧覺惠即應勵志修補經營訖。後葉勿
容易。且不可許他見矣

延享第五戊辰歲五月十八日

時定額僧首
勸修寺淨土院
僧正賢賀
法親五十六

甲本與書

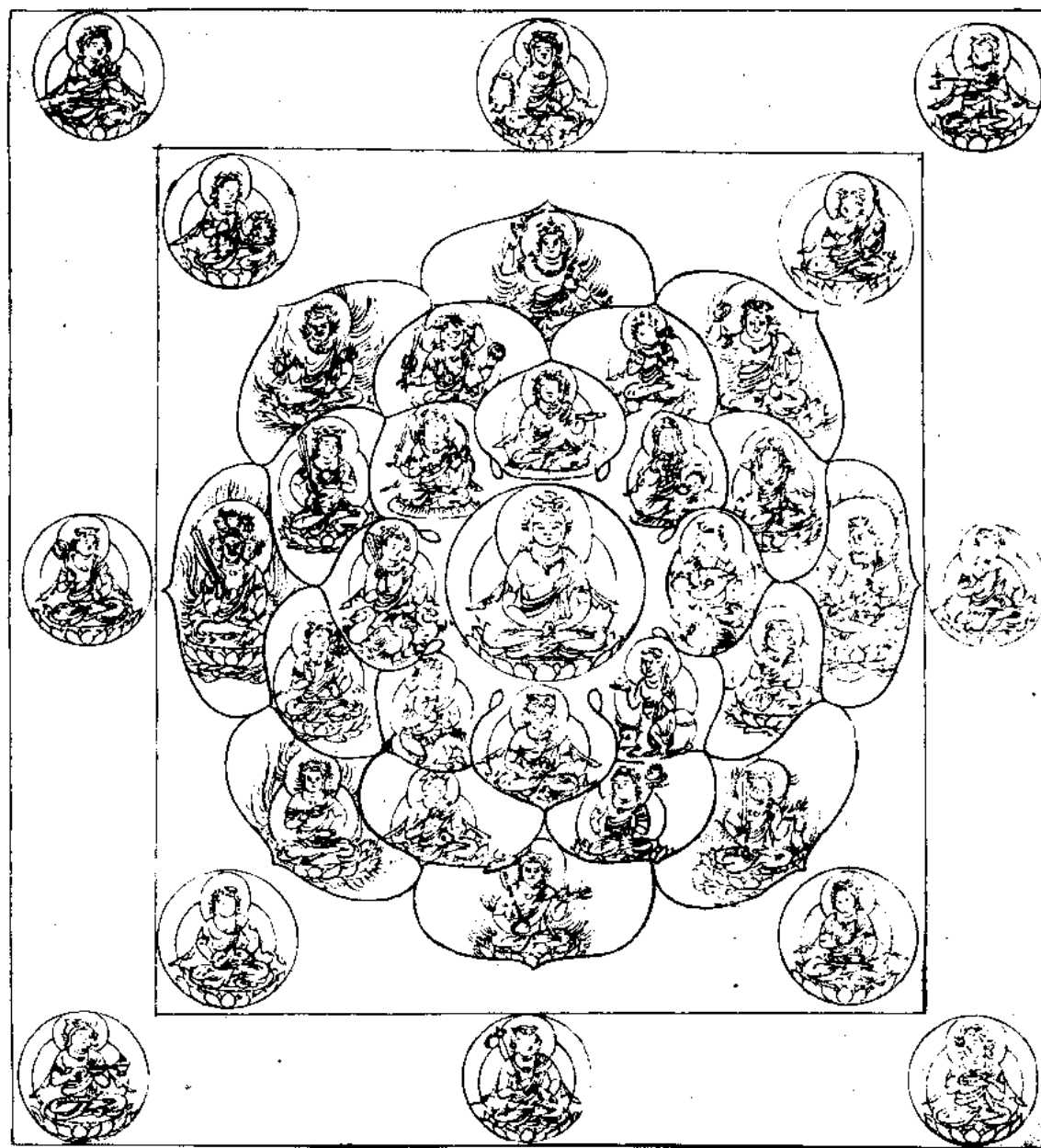
嘉元元年商中甸之候於西郊龜山仙
洞西公卿座以祖師理明房自筆草本
書寫之時也。多寶院不斷愛染王供
開白御修法中也而已

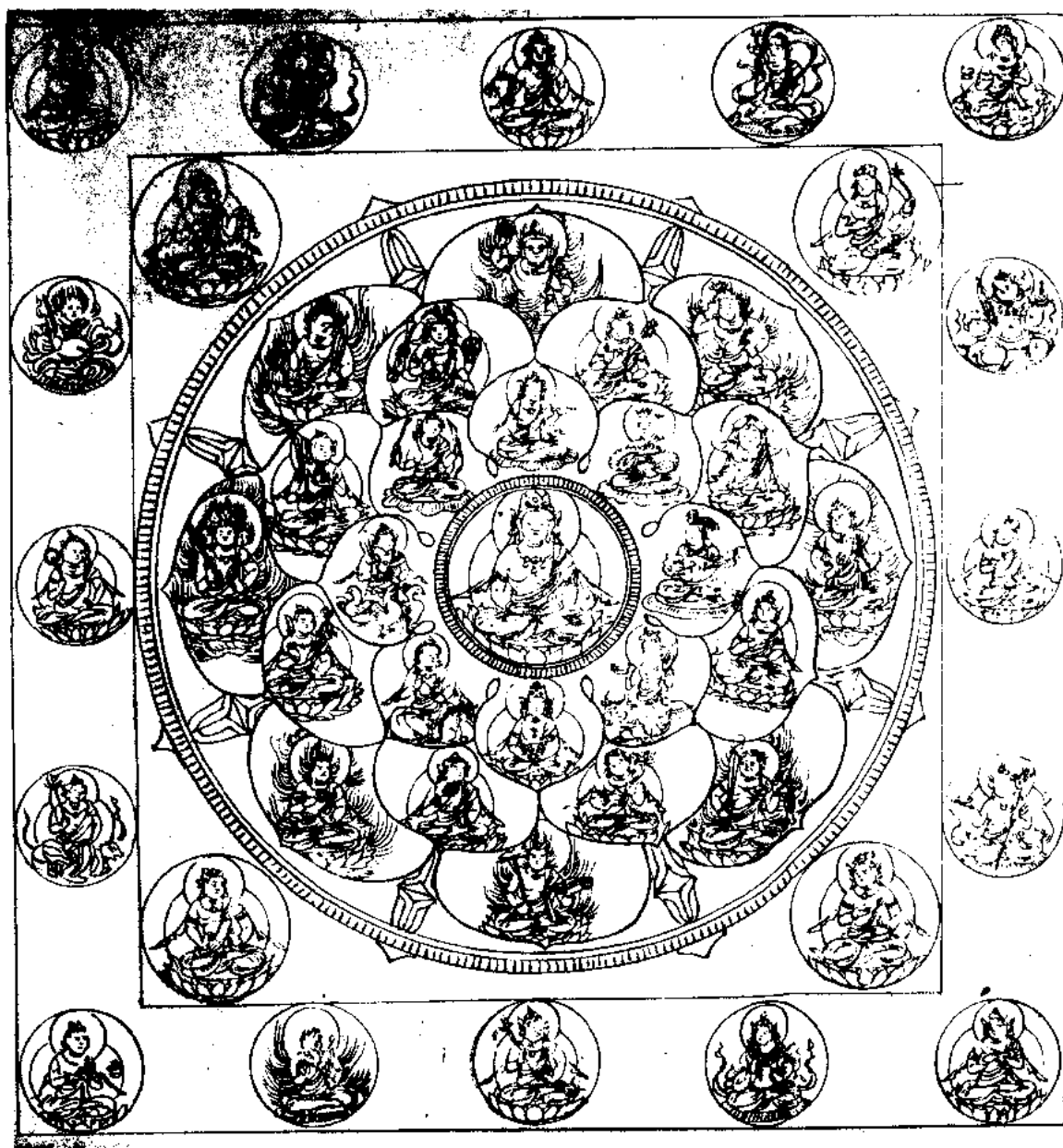
權律師公嚴

小倉山鈔
小倉山鈔
小倉山鈔

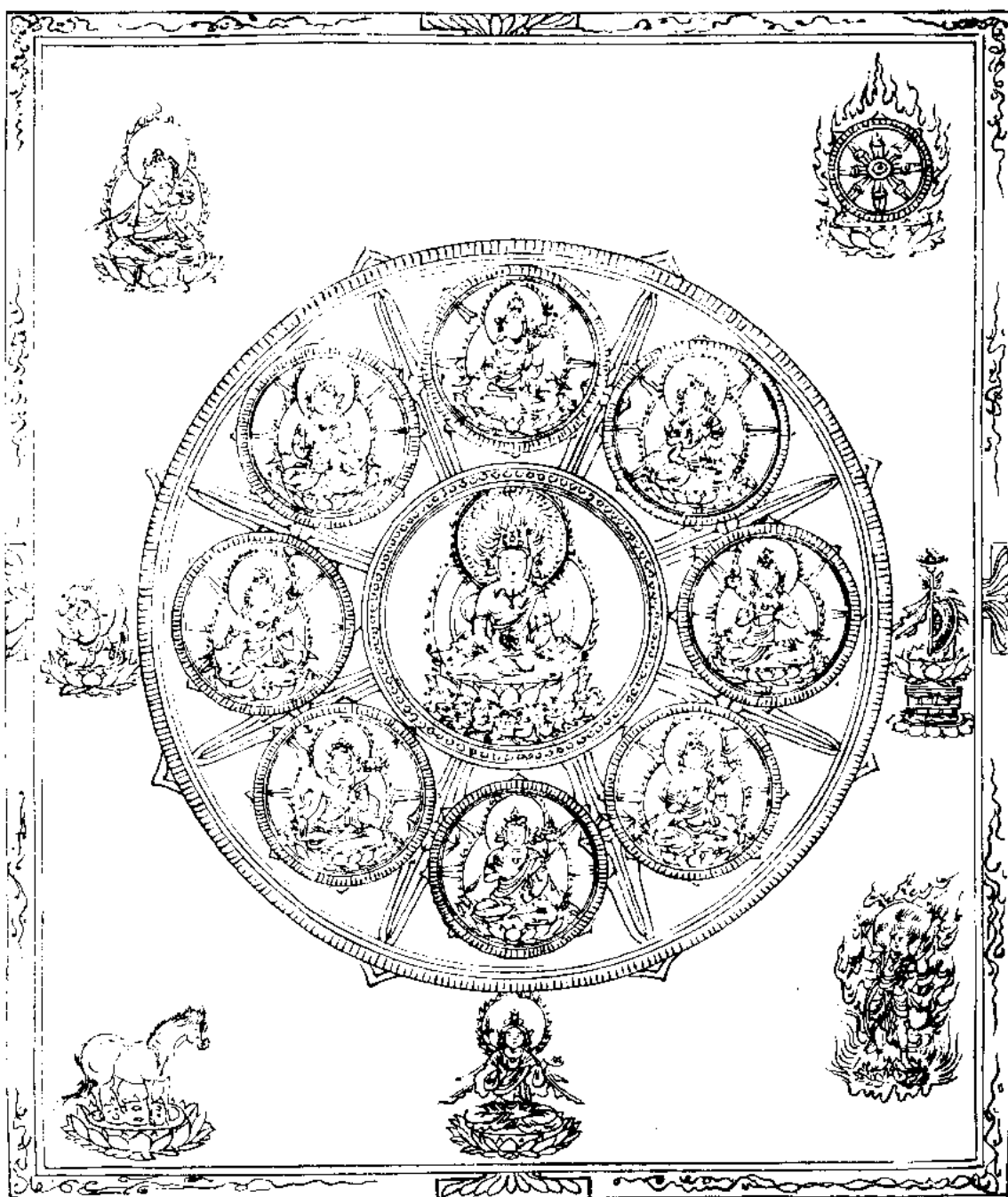
丙本與書

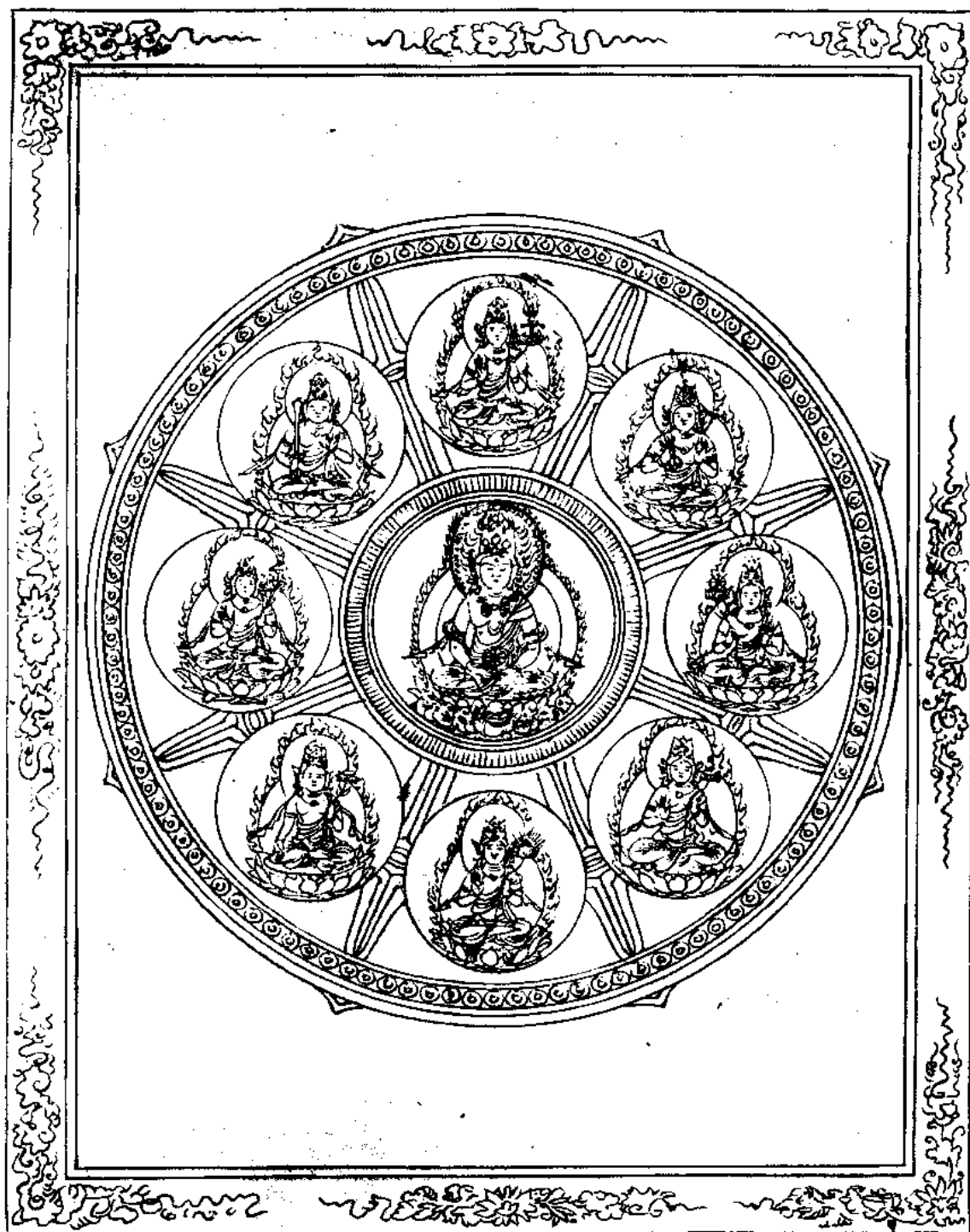
文治三年八月比上卷下卷但馬之筆也
於中卷覺禪書之西明院抄也

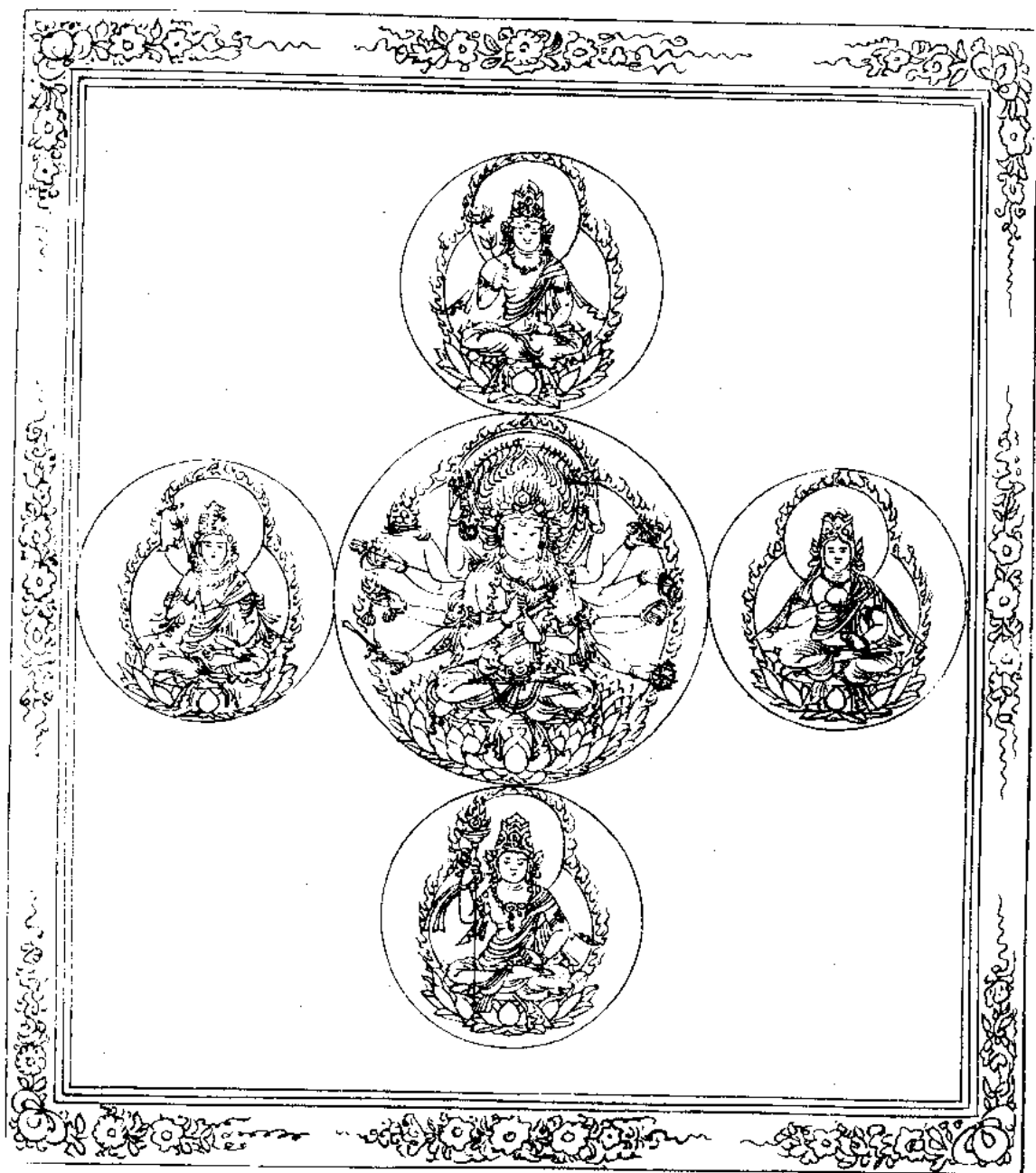


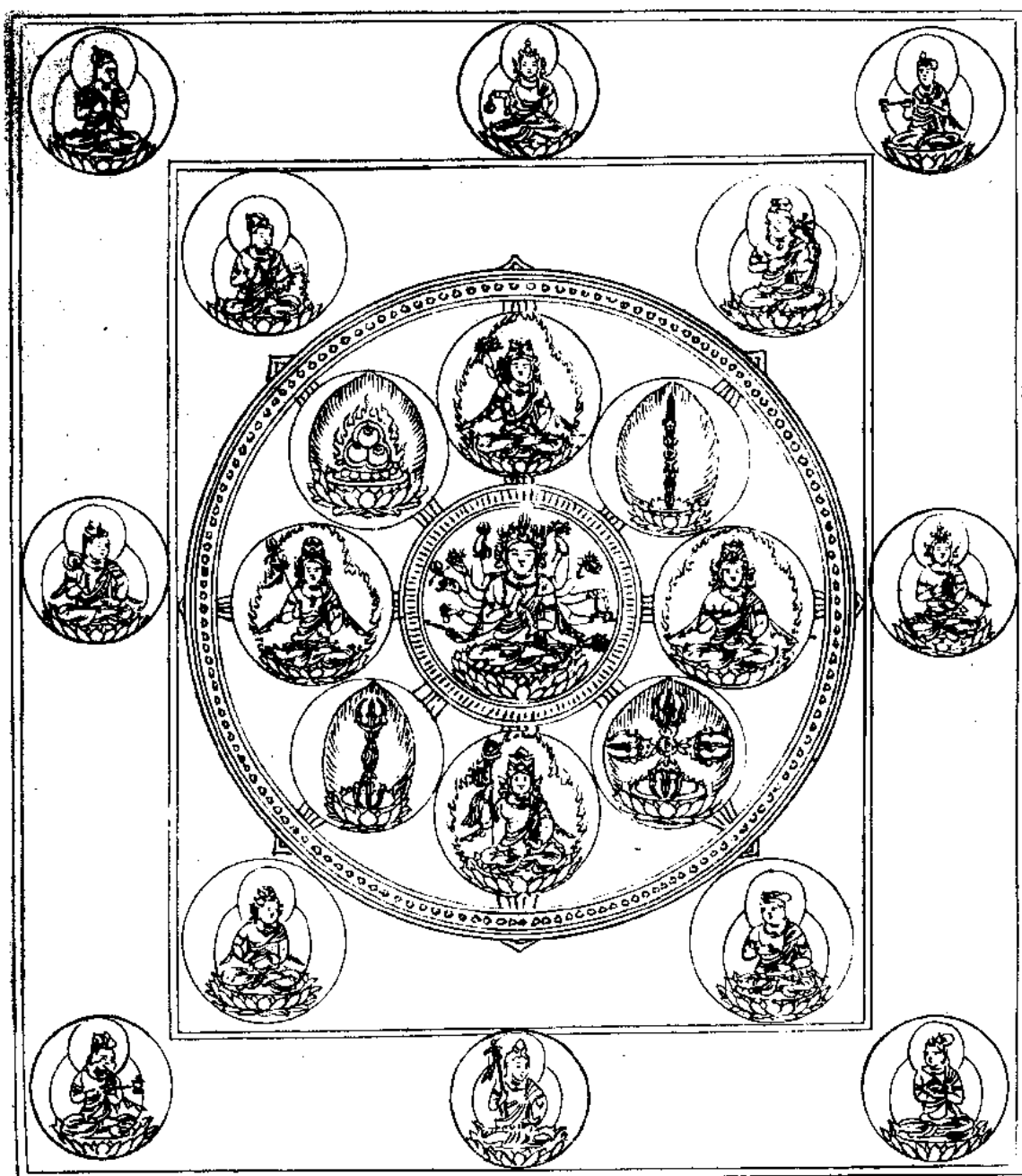


參考圖像 No. 2. 佛眼曼荼羅 (其二) cf. p. 2 No. 2

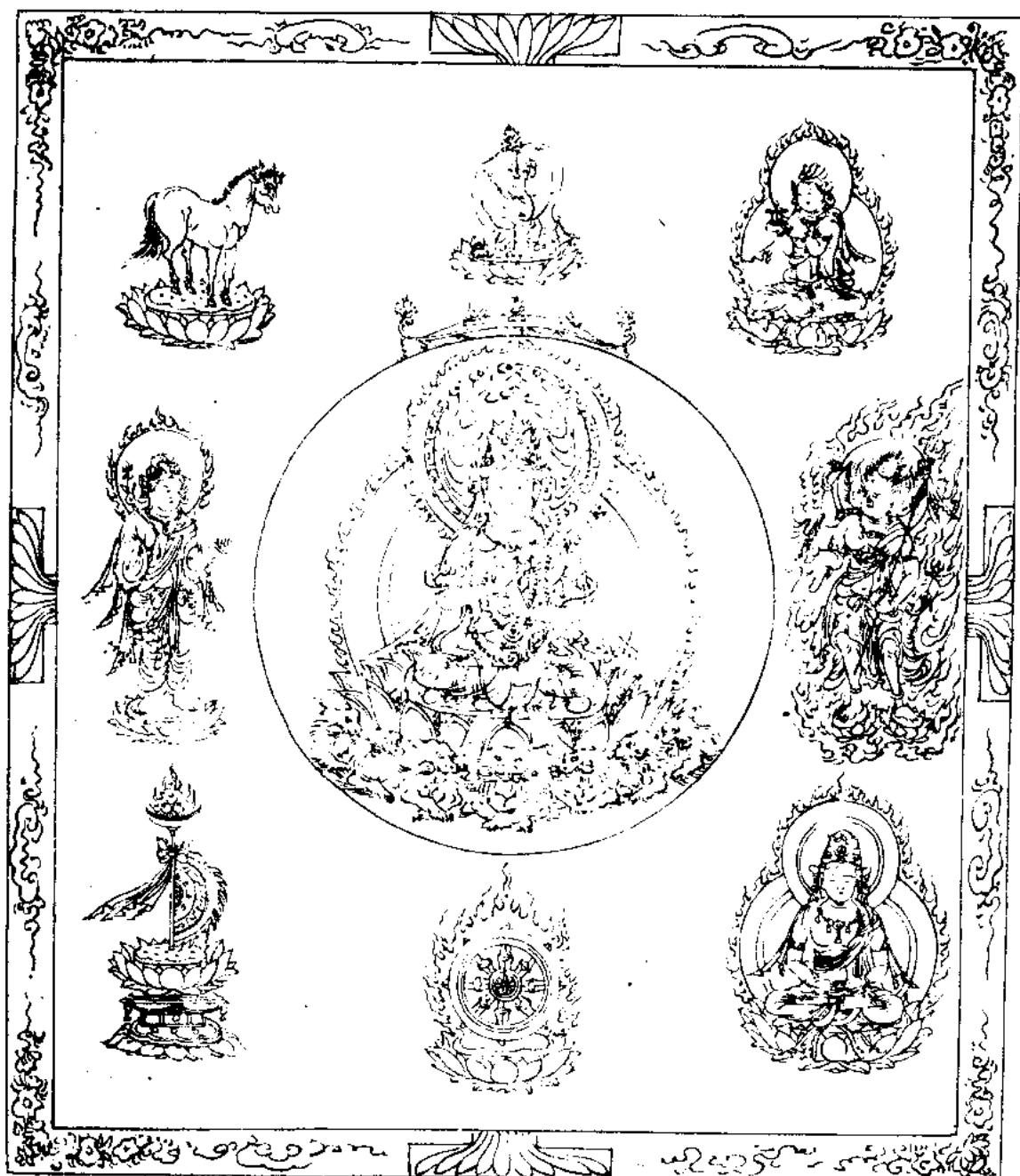


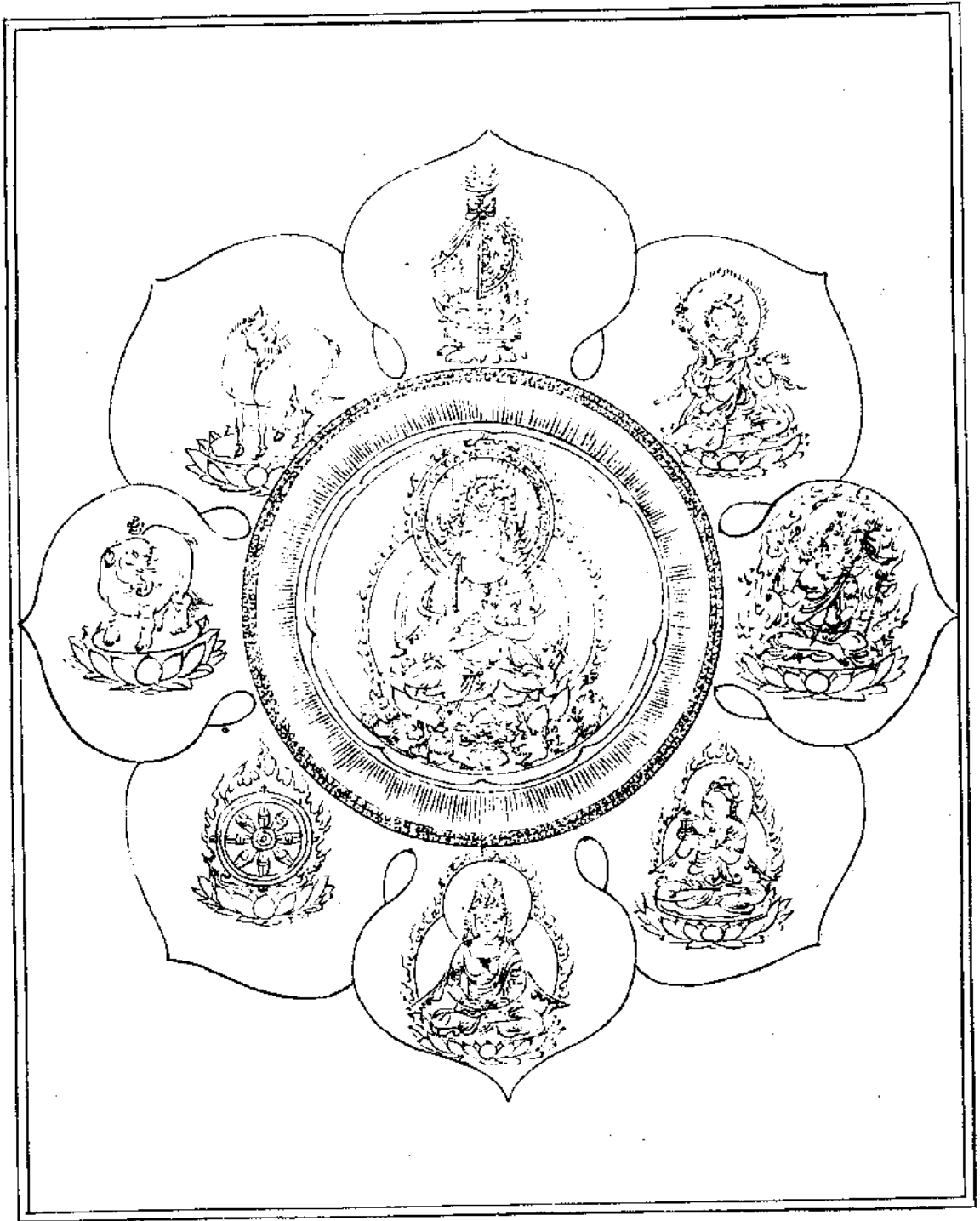




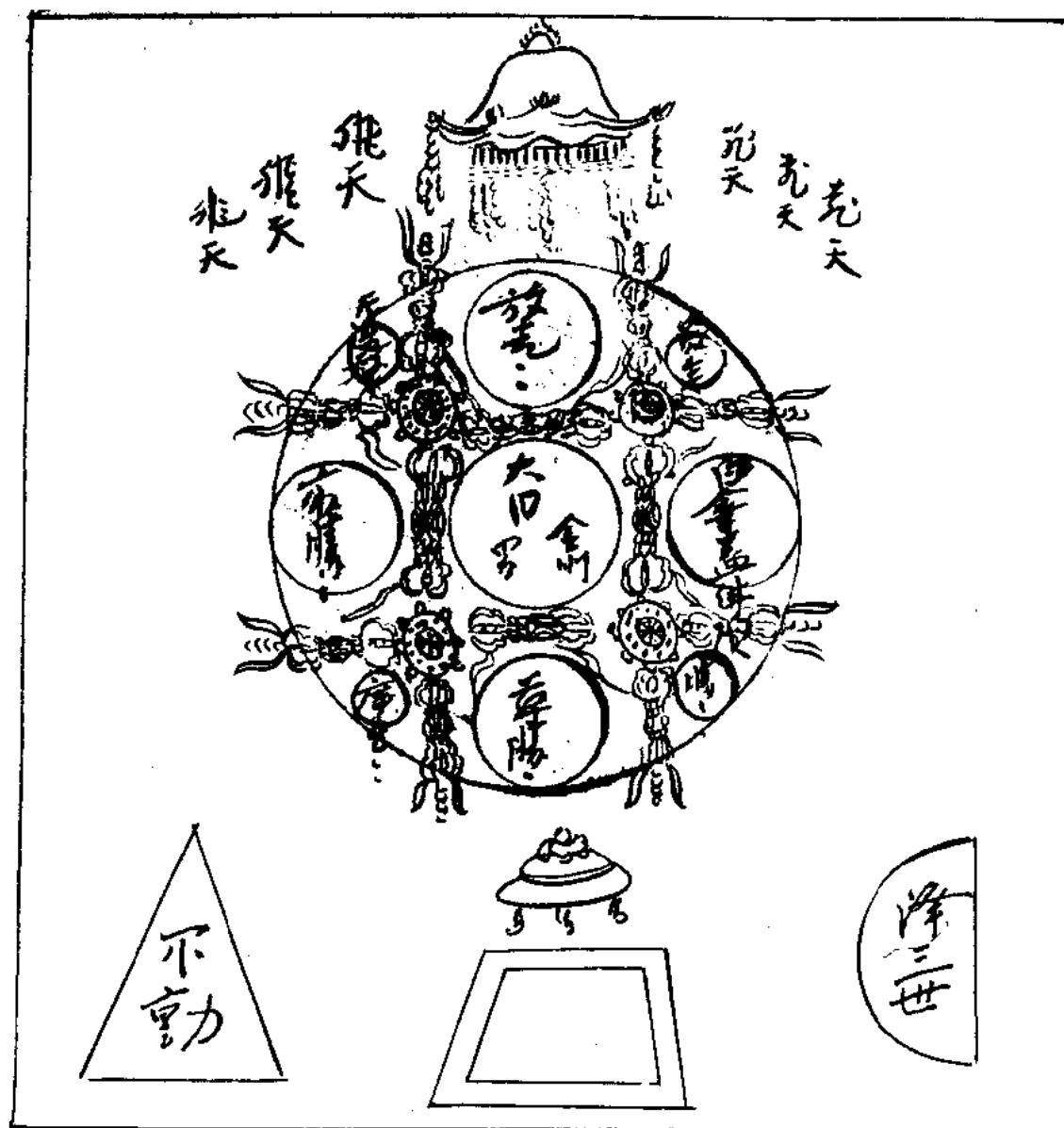


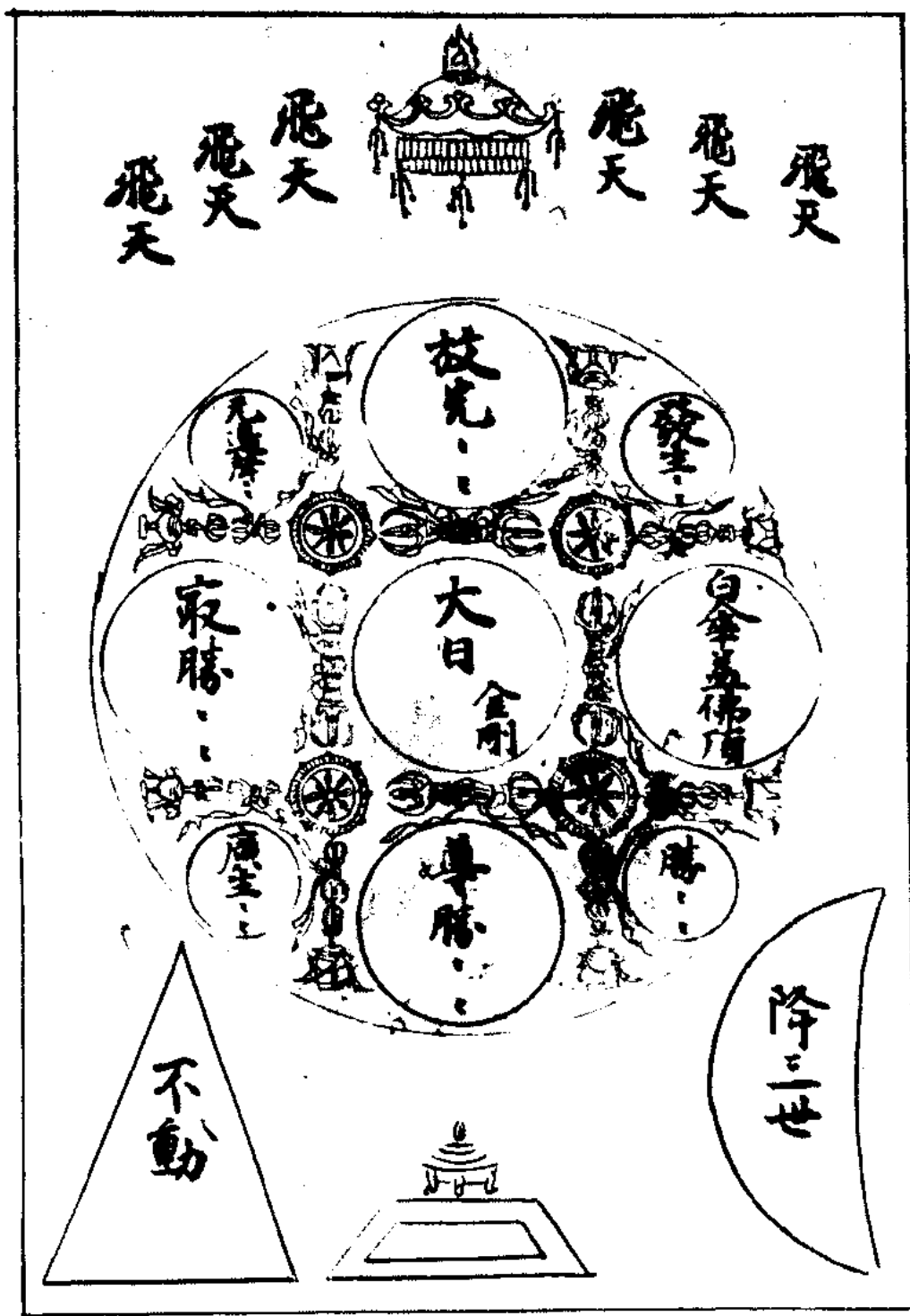
參考圖像 No. 6. 大勝金剛曼荼羅(其二) cf. p. 3 No. 6

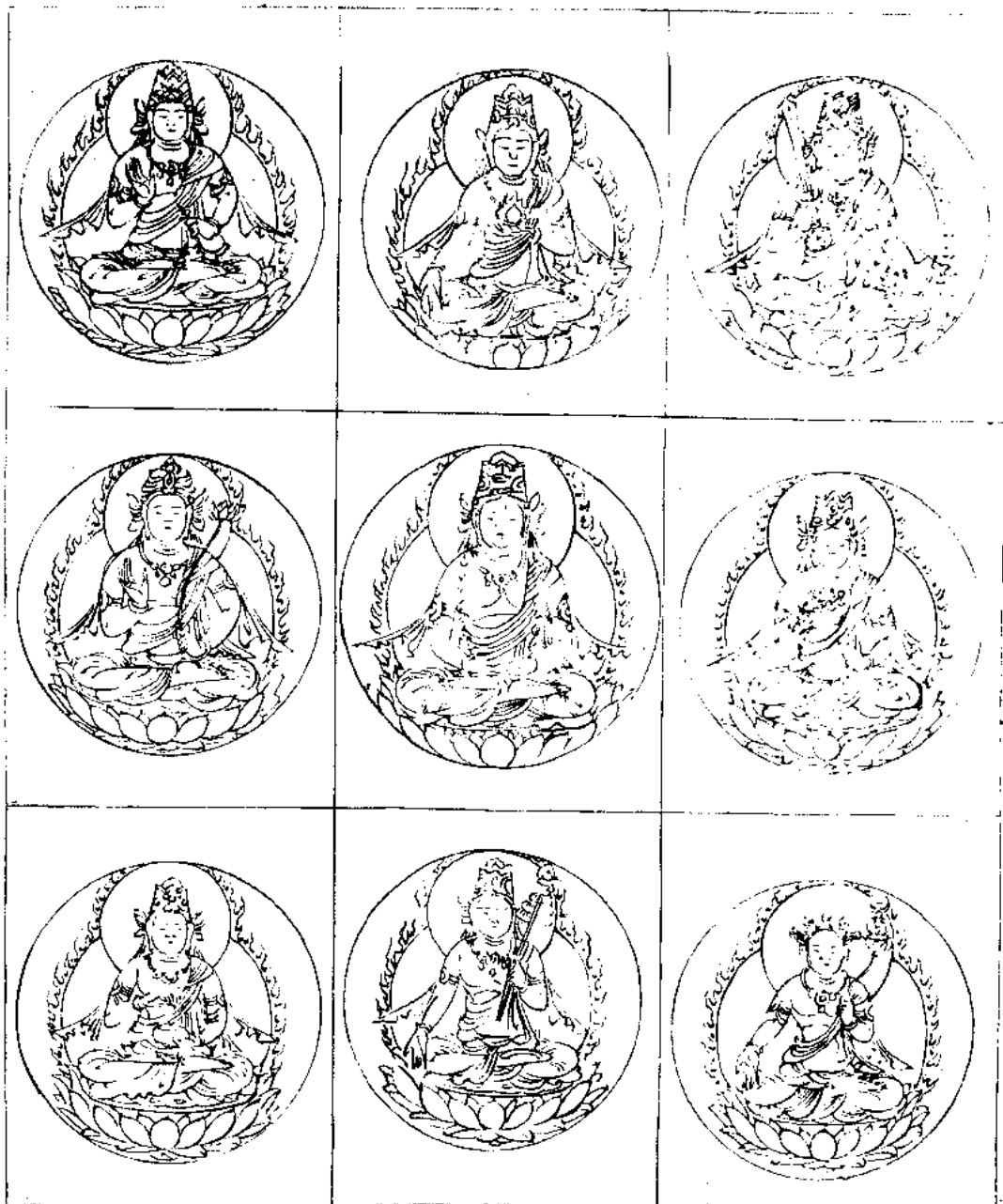


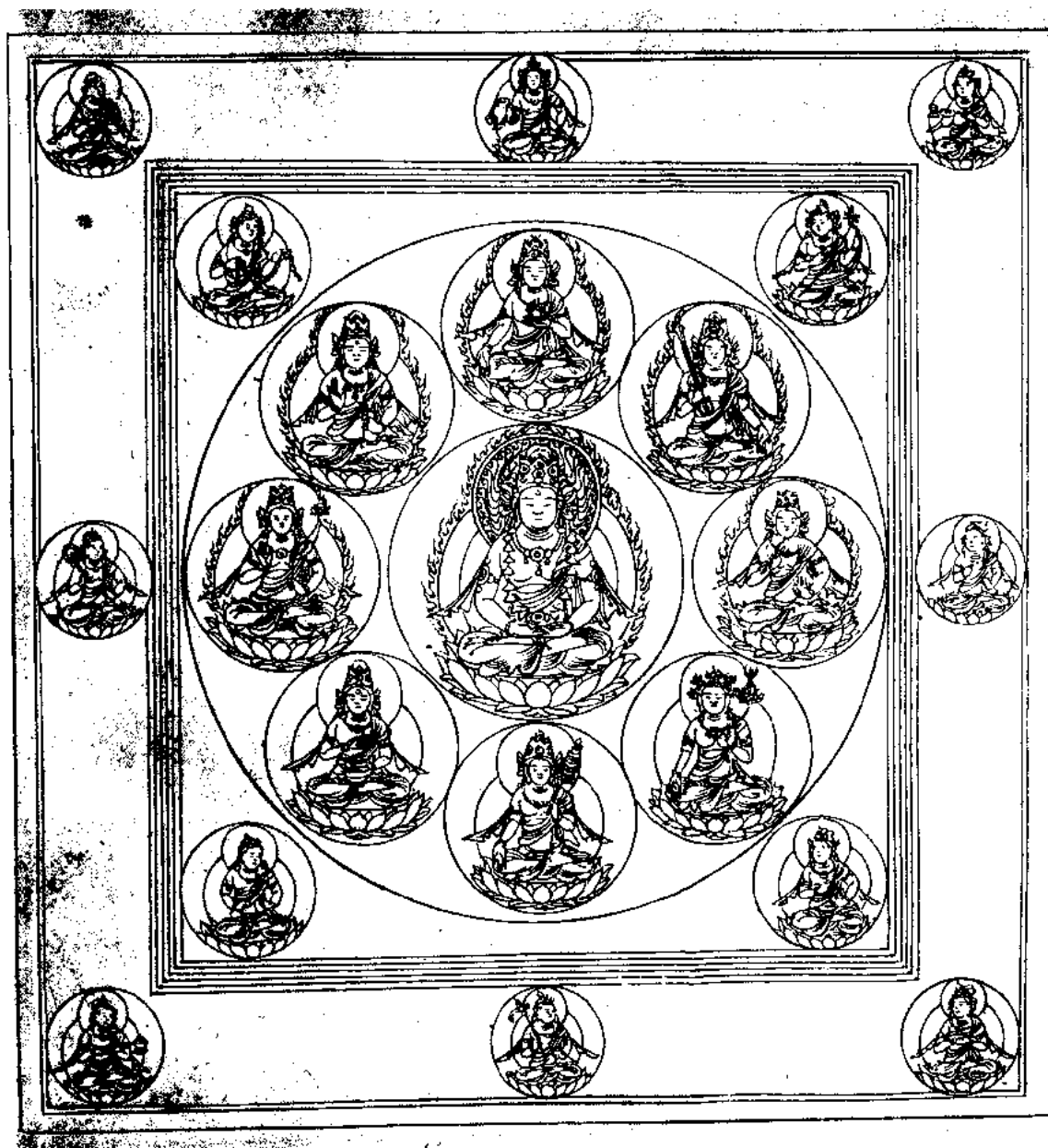




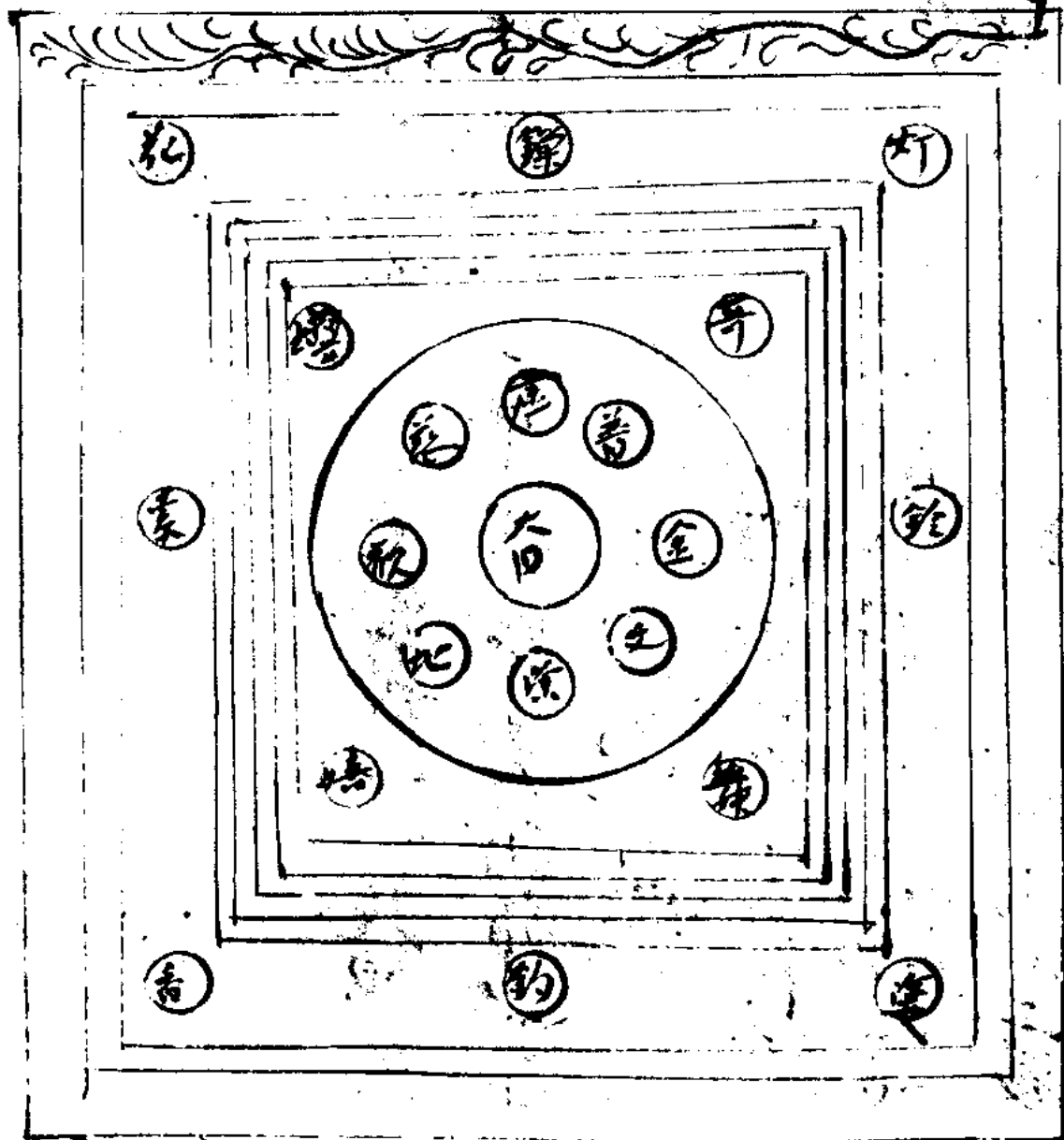




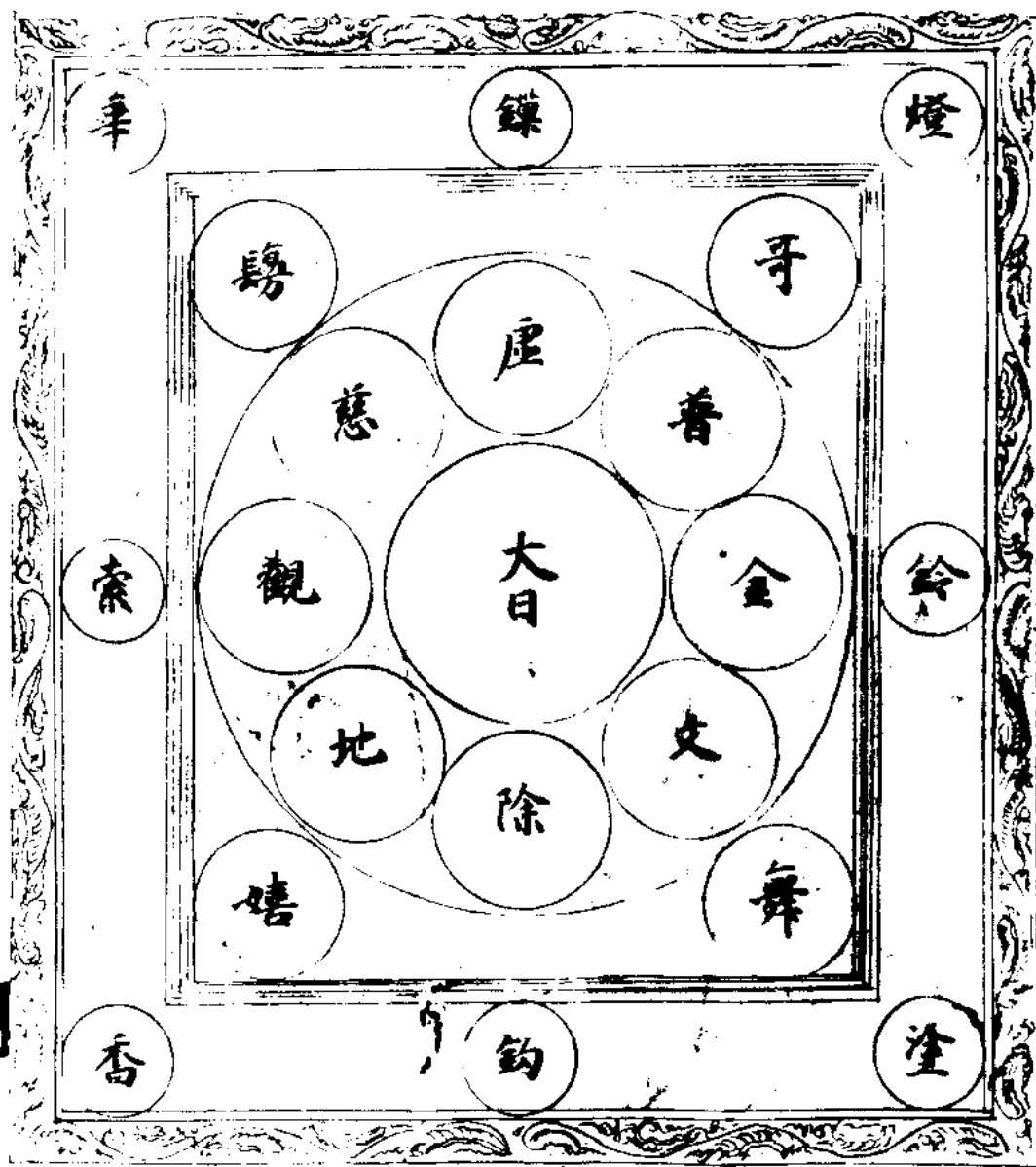


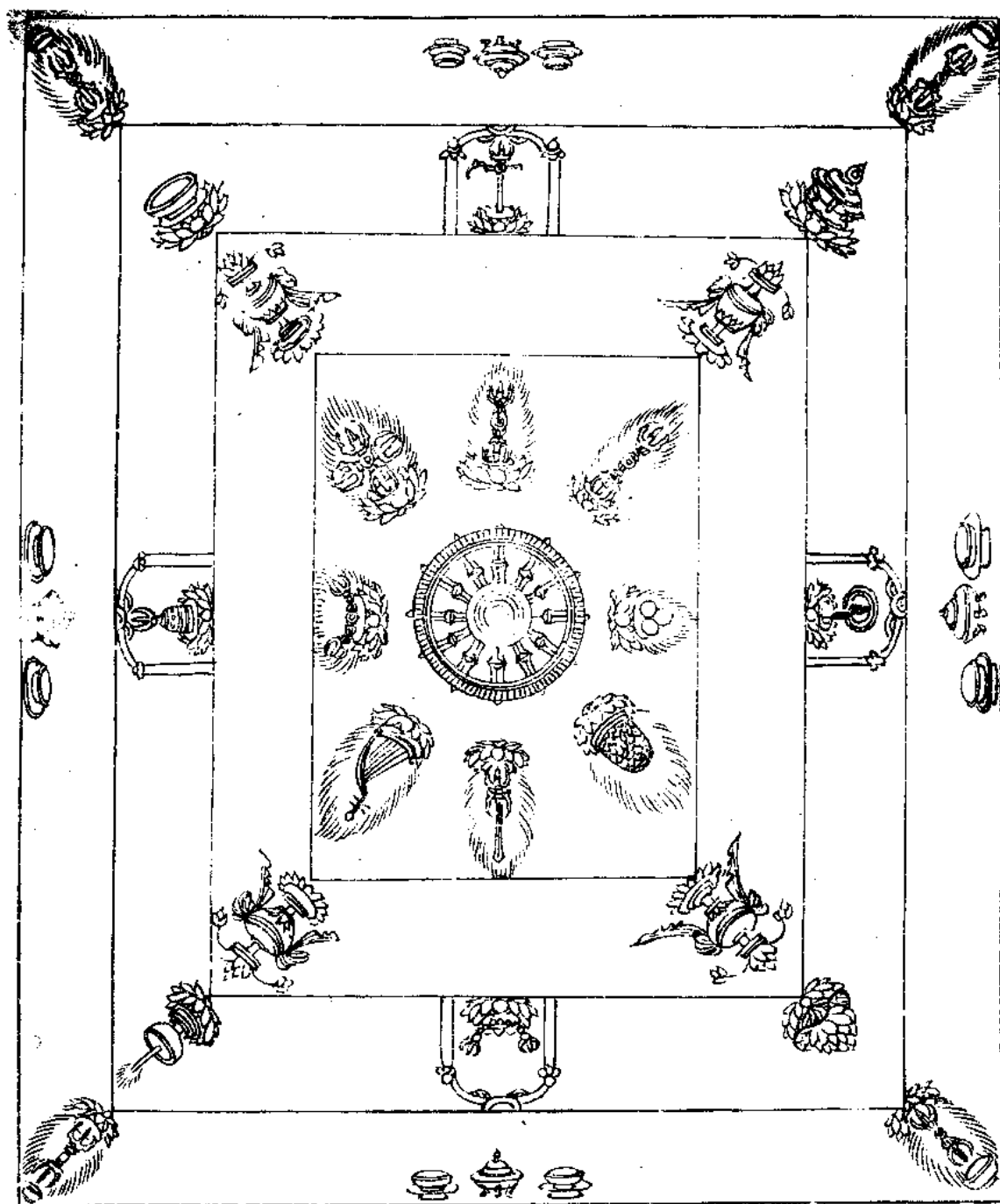


右

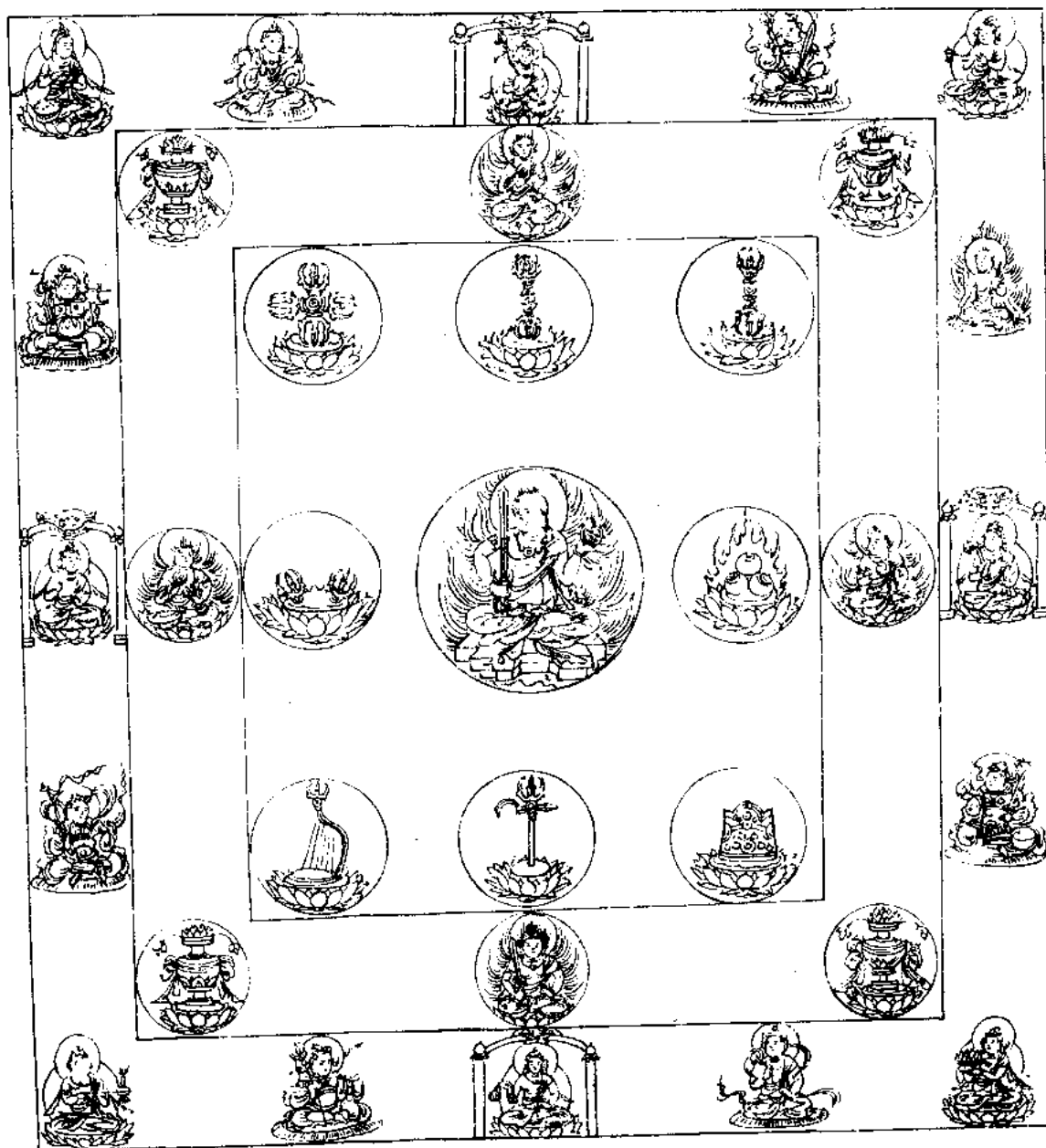


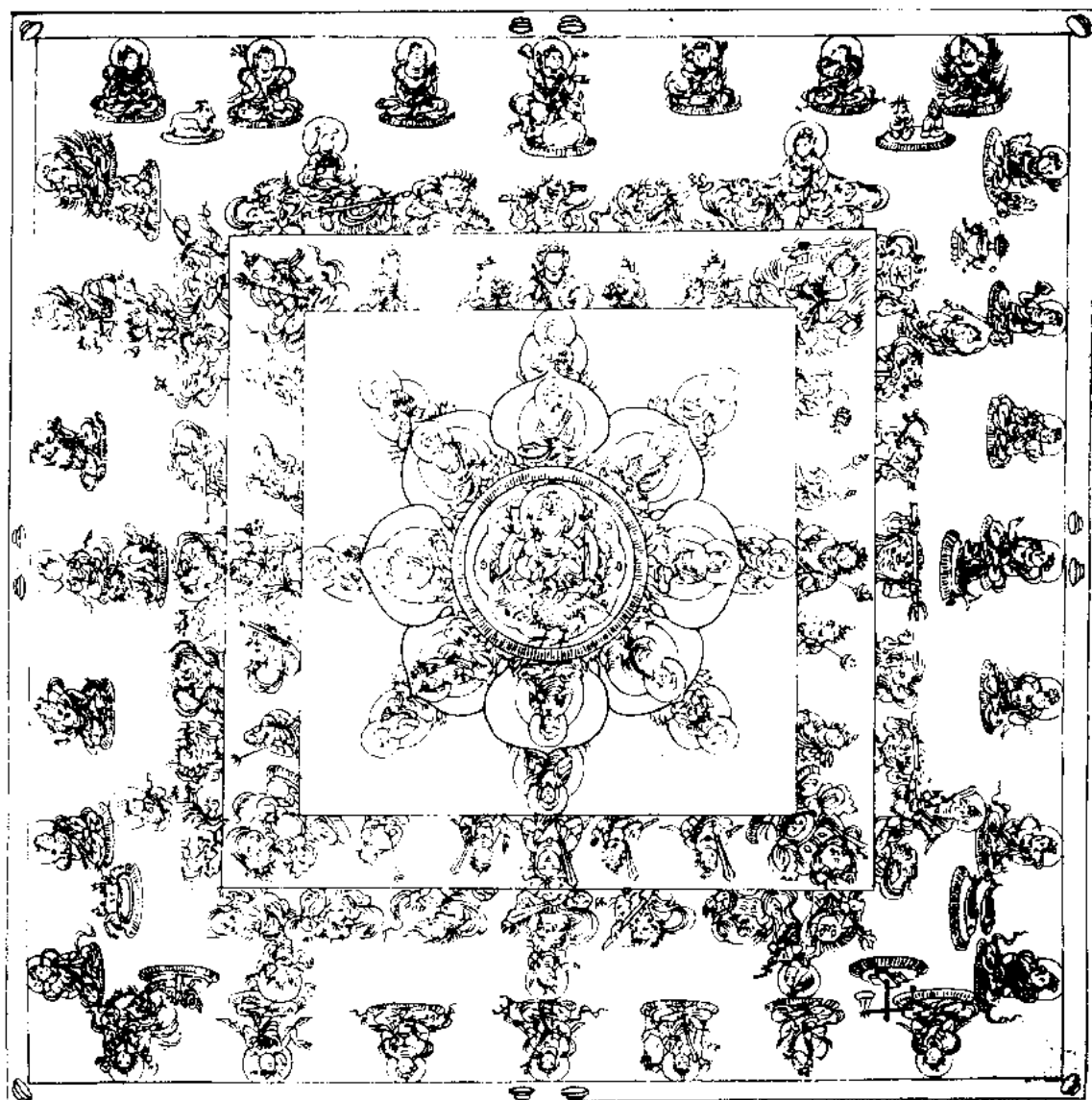
右本

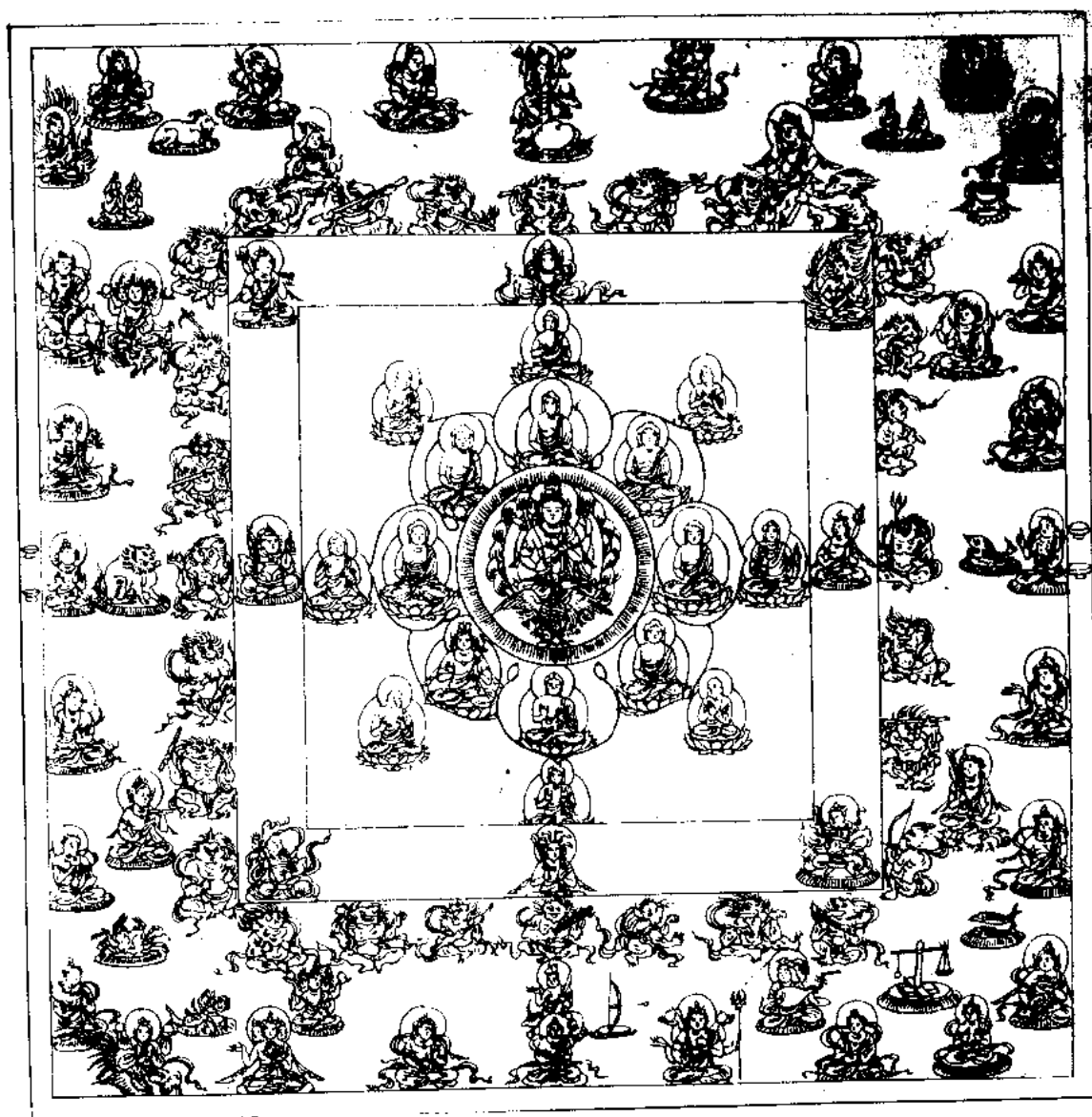




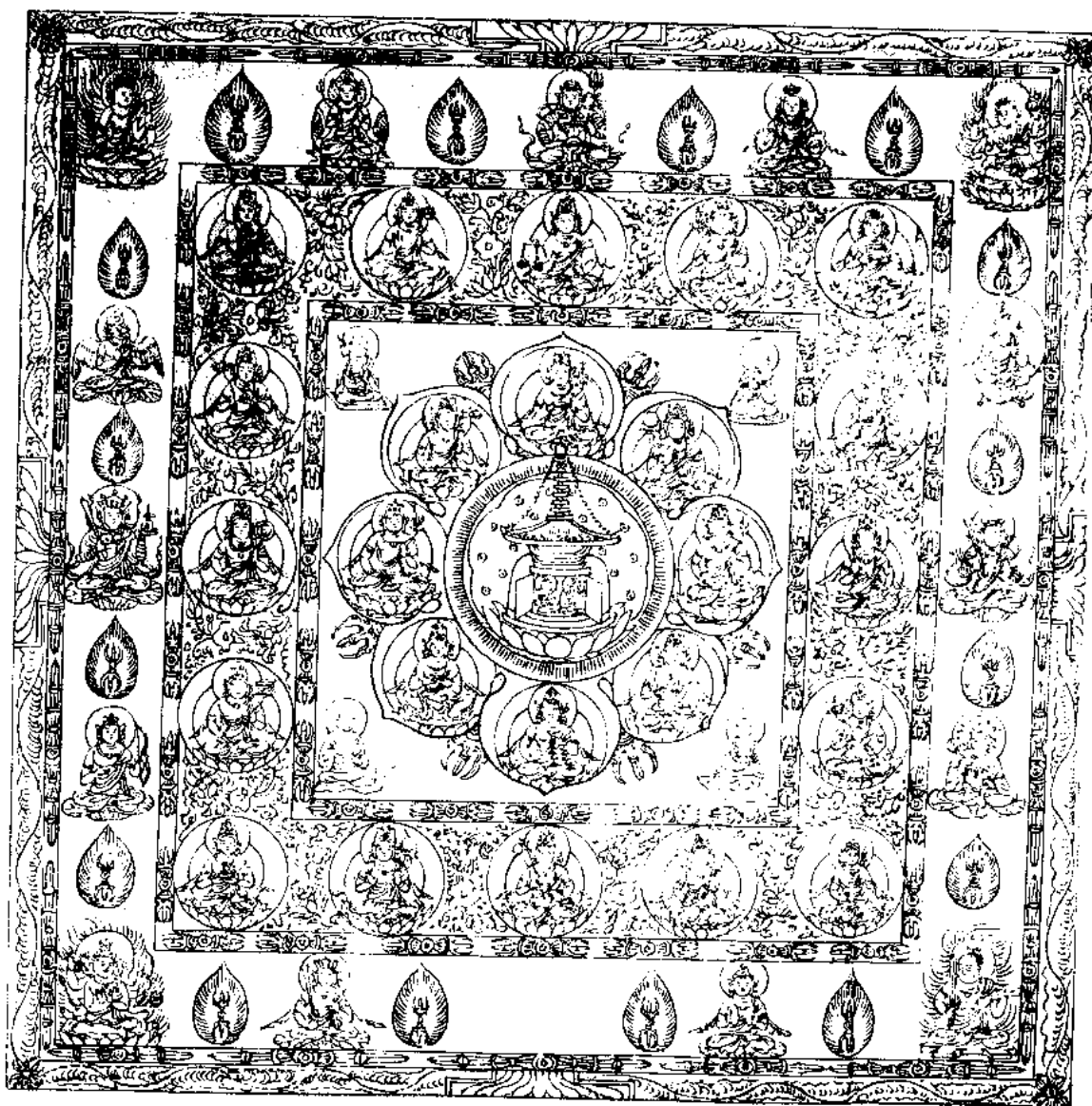
參考圖像 No. 16. 仁王經曼荼羅(其一) cf. p. 6 No. 14

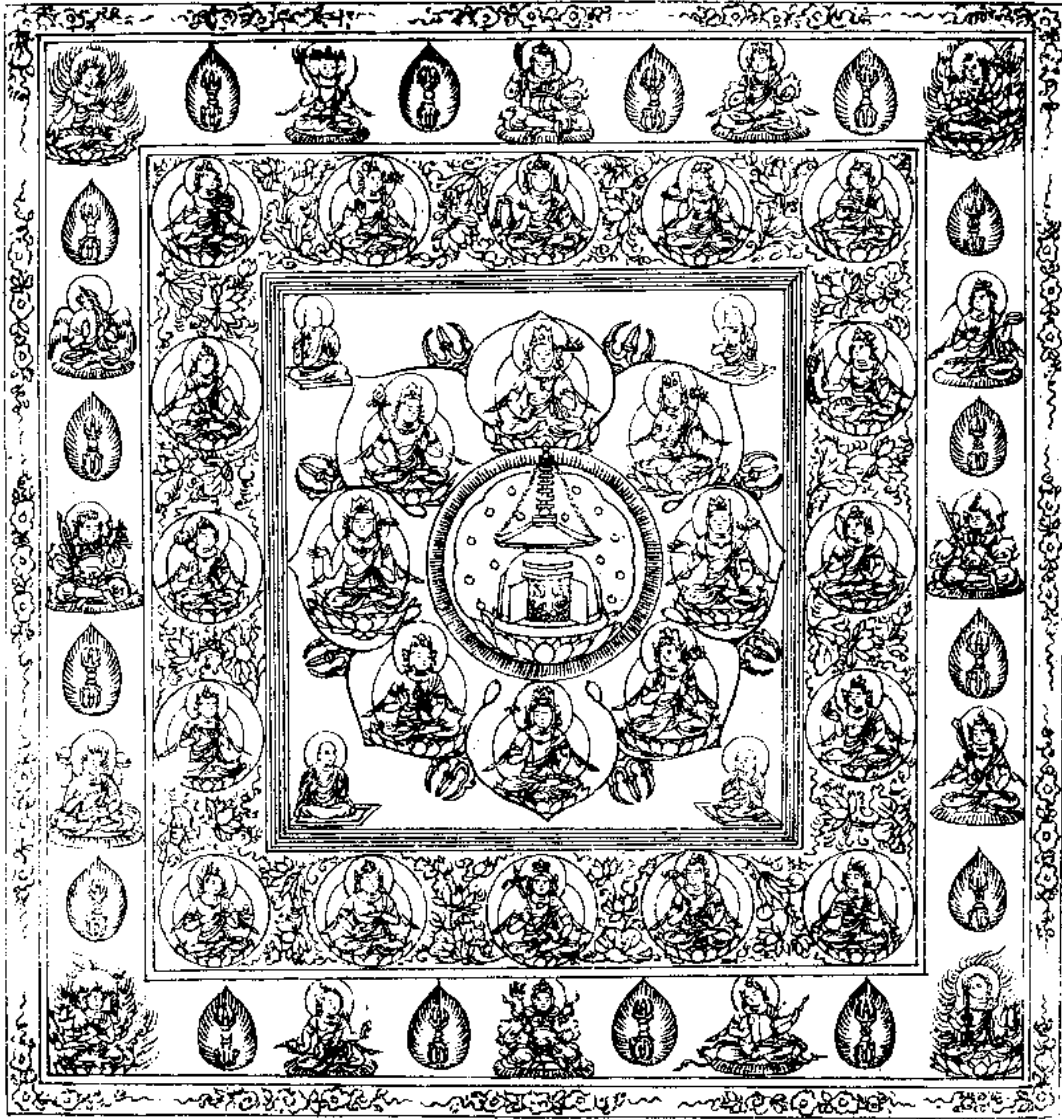


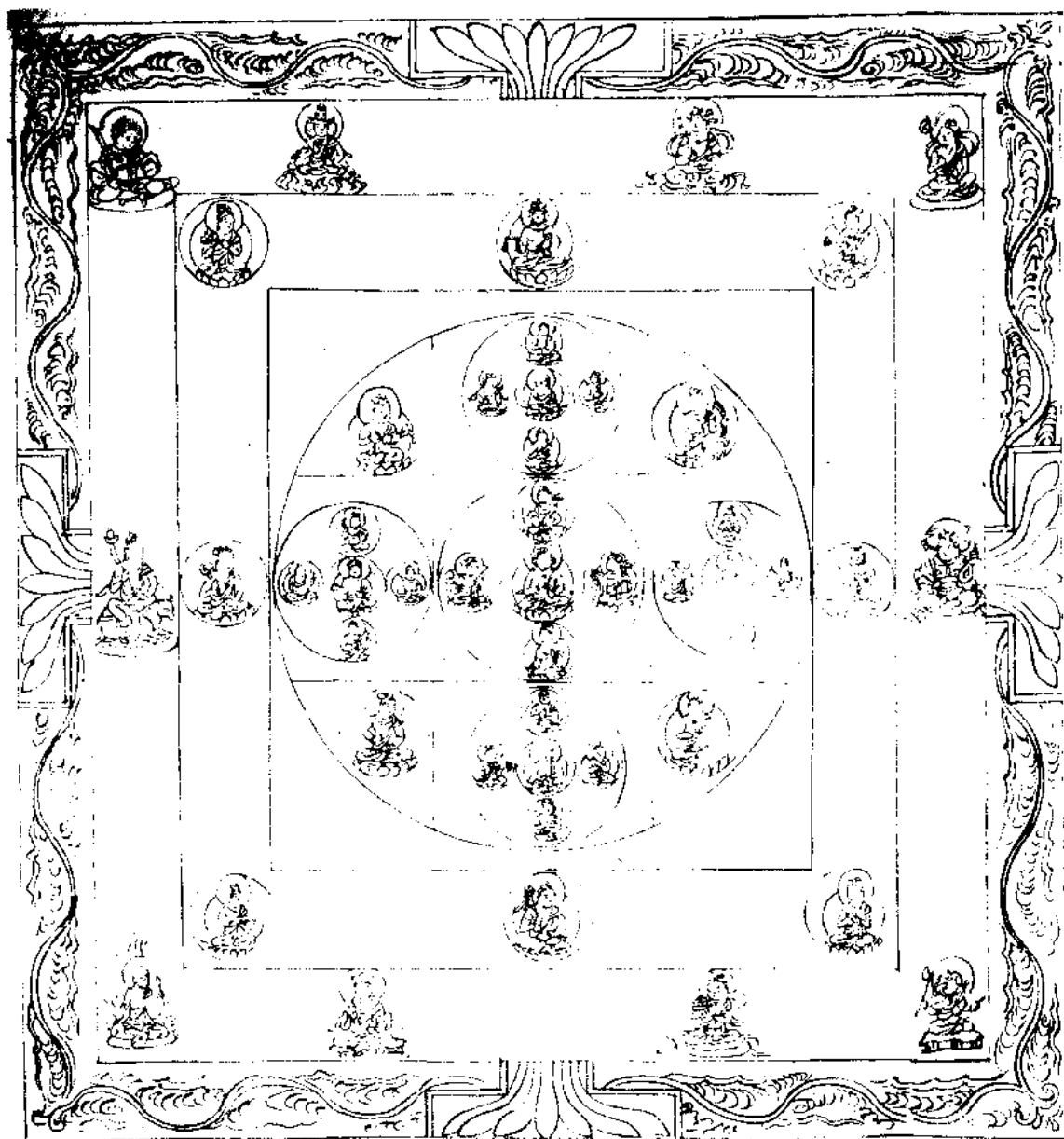




參考圖像 No. 19, 孔雀經曼荼羅(其二) cf. p. 8 No. 18









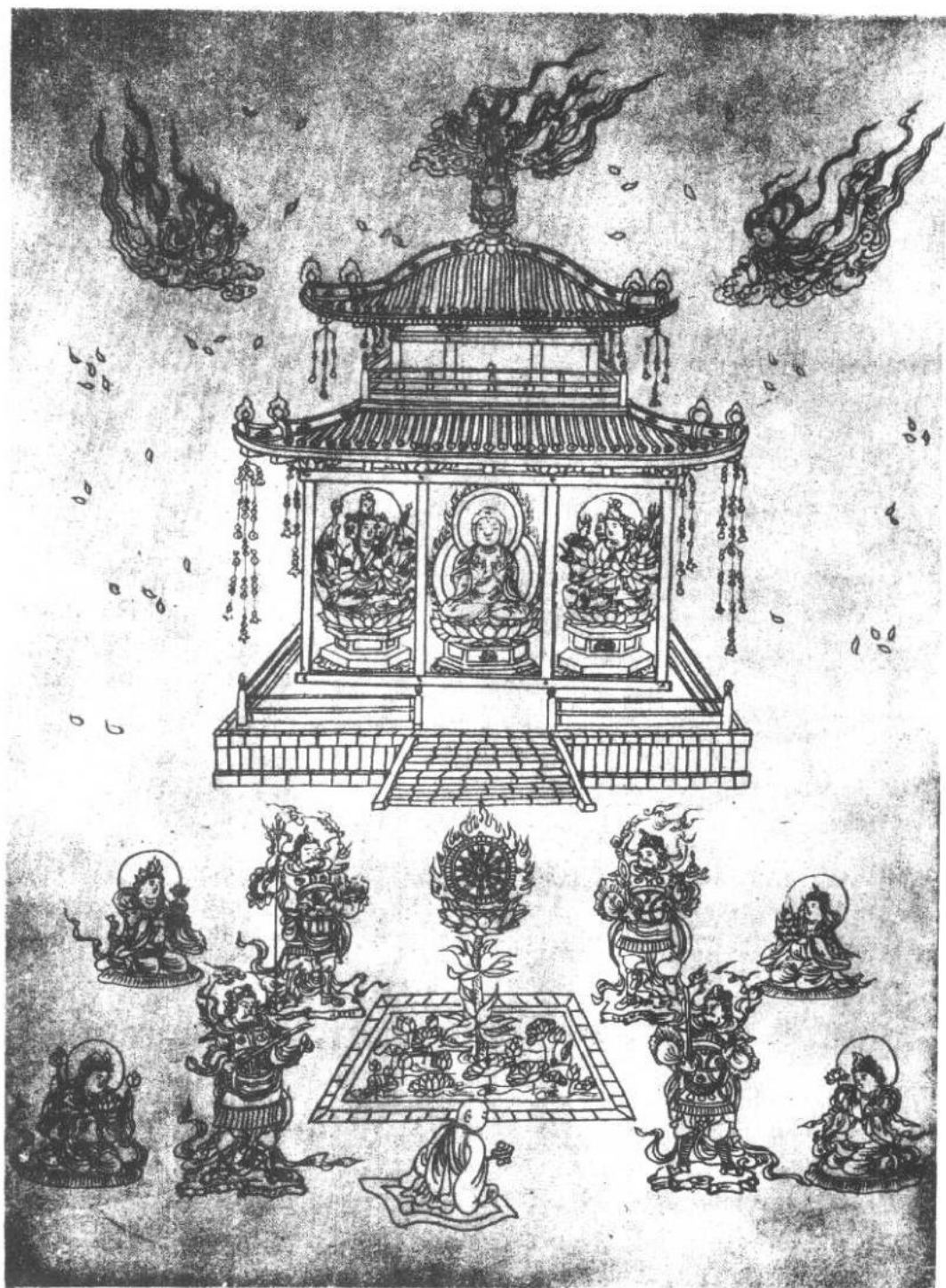
參考圖像 No. 23. 菩提場莊嚴經曼荼羅(其一) cf. p. 14 No. 23



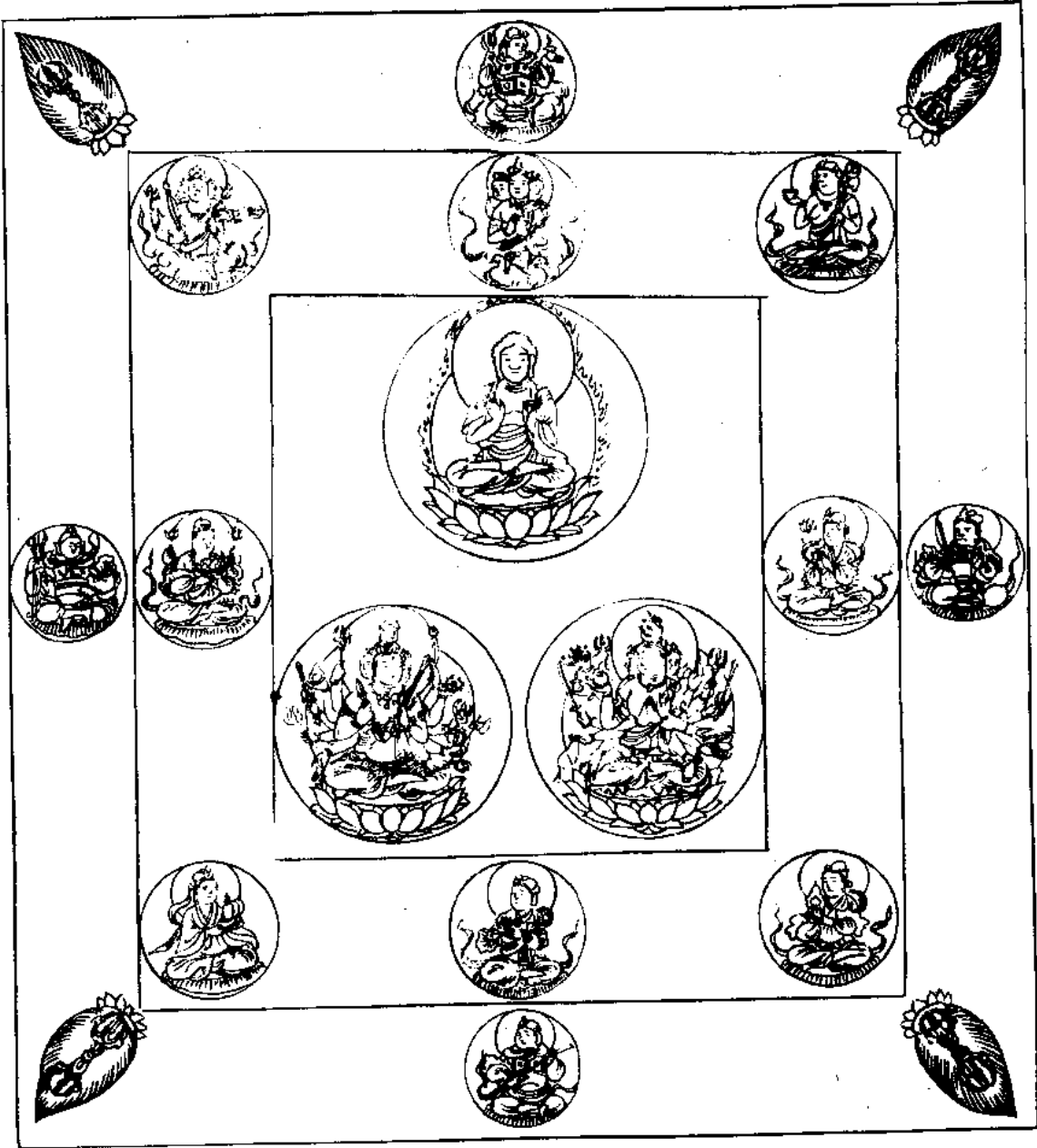
參考圖像 No. 22. 菩提樹莊嚴經曼荼羅(其二)(甲本) cf. p. 14 No. 23



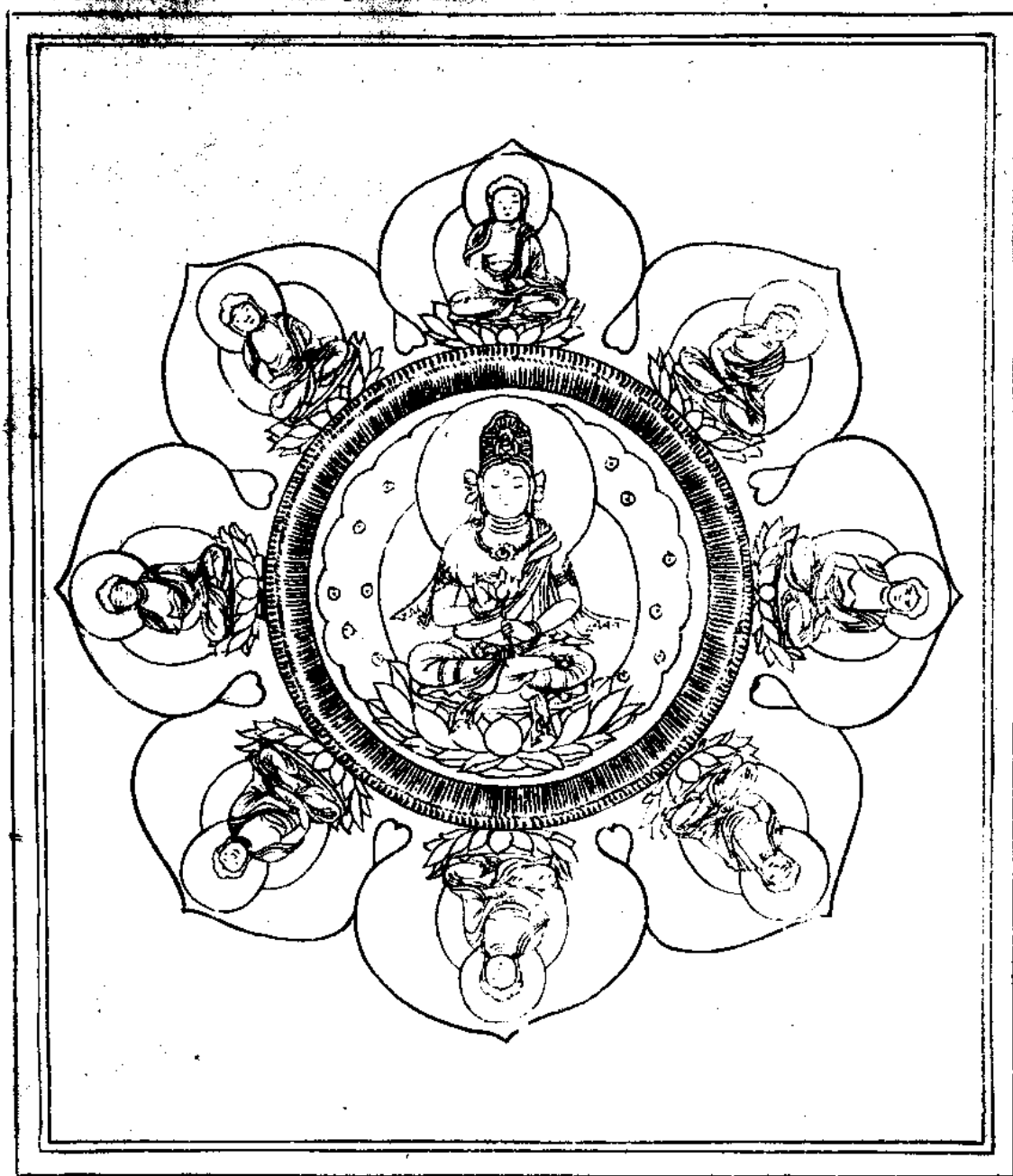
參考圖像 No. 25. 菩提場莊嚴經曼荼羅(共三)(乙本) cf. p. 14 No. 23



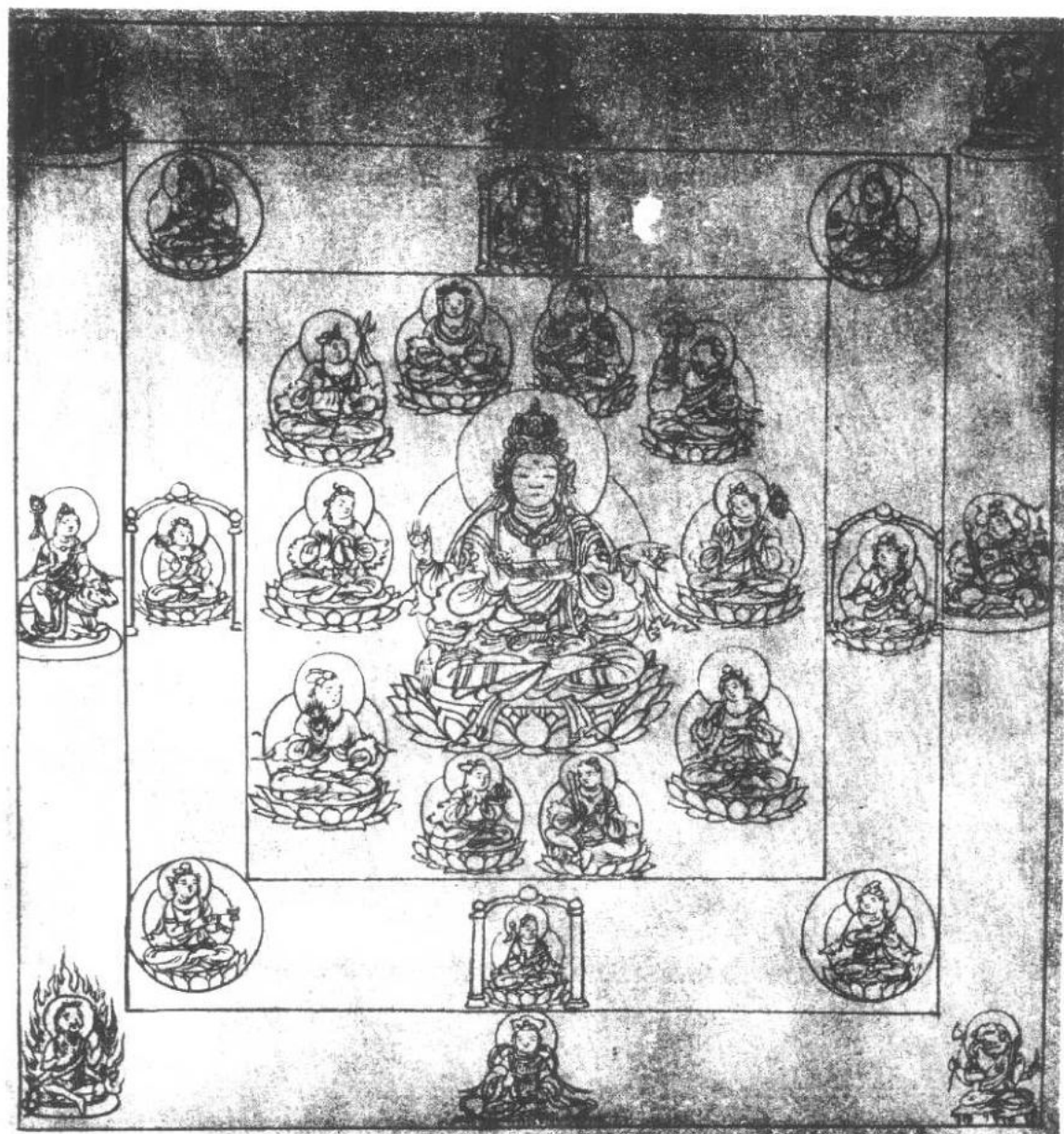
參考圖像 No. 26. 寶樓閣經曼荼羅(其一) cf. p. 15 No. 25

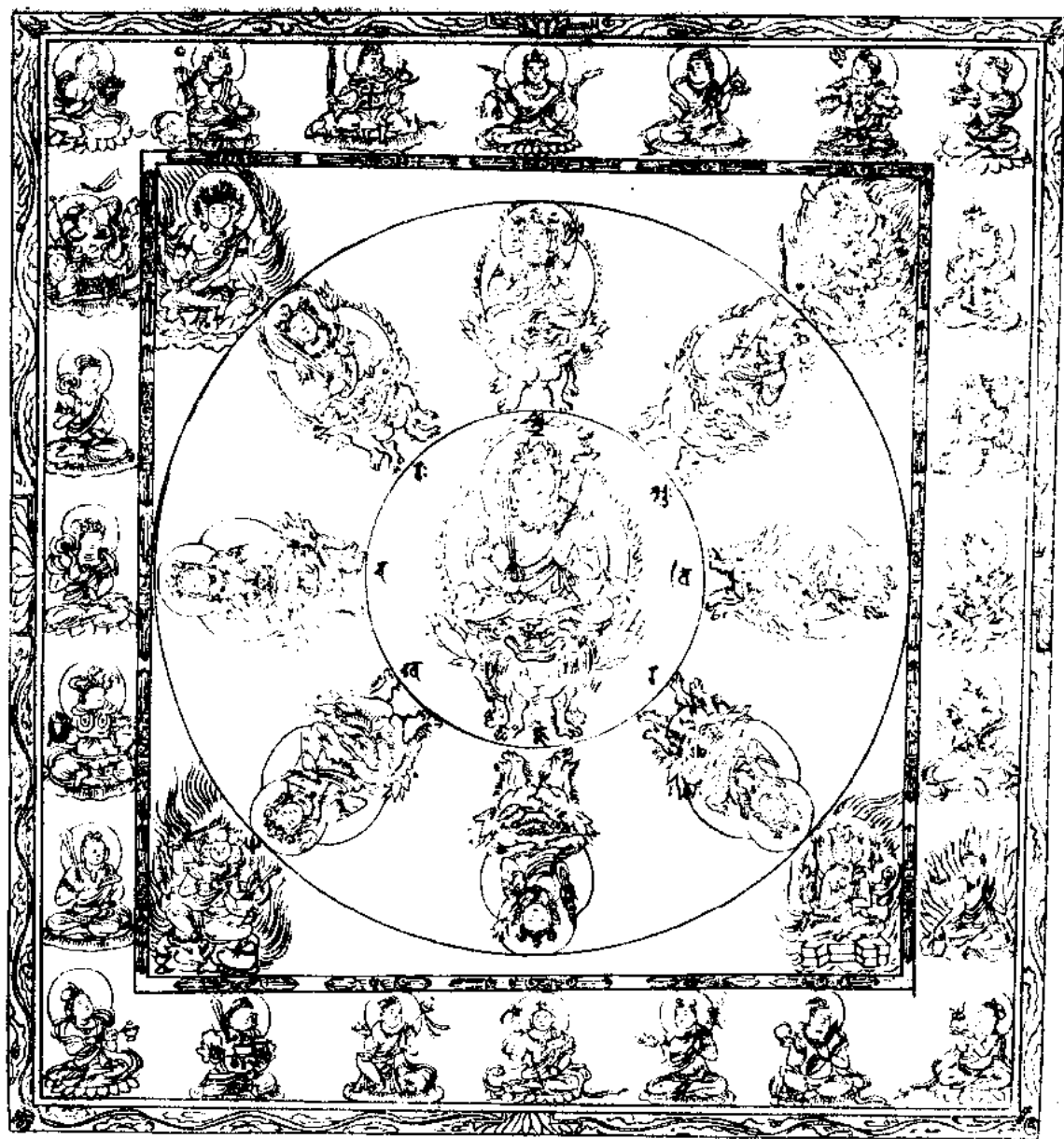


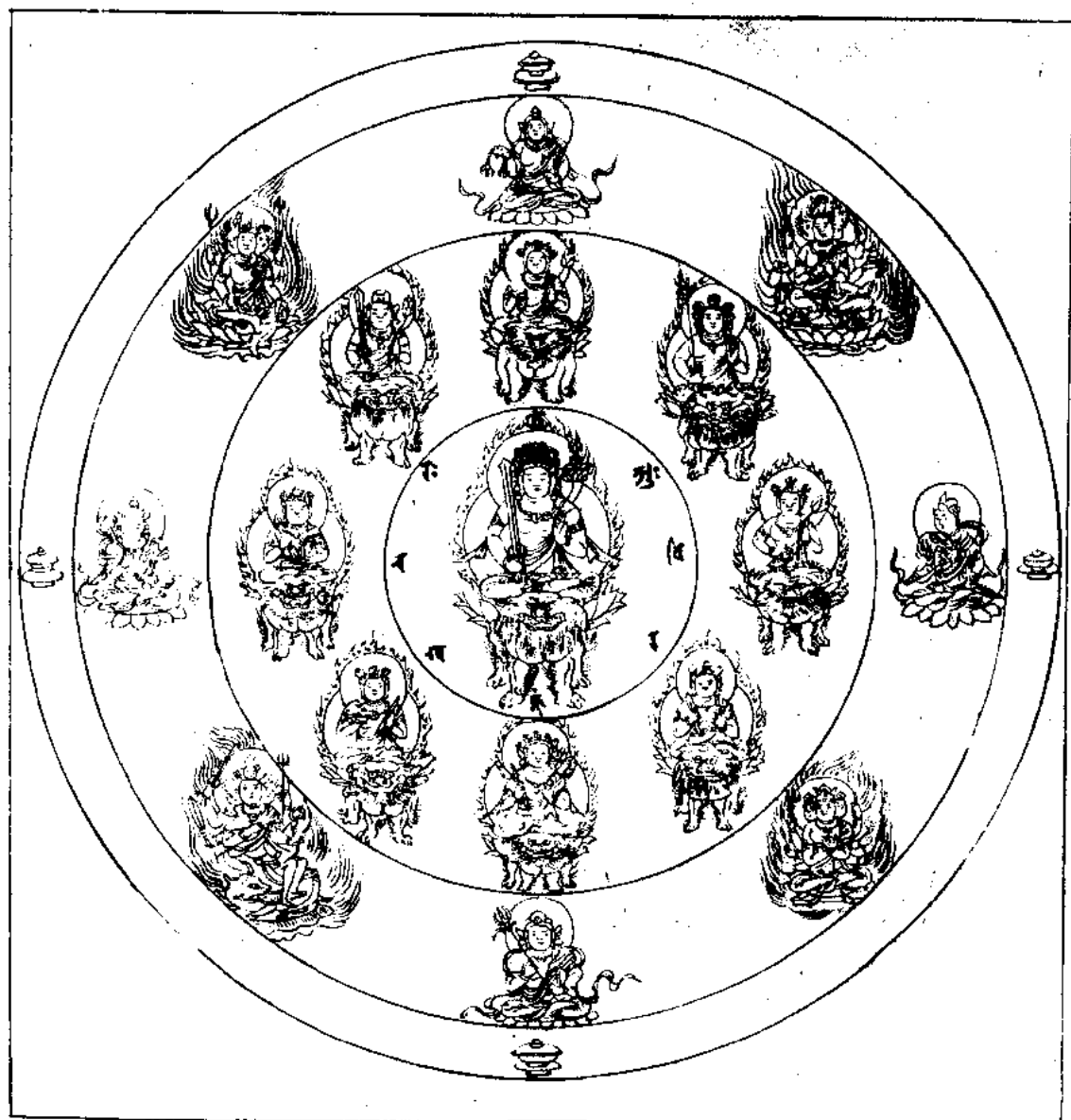




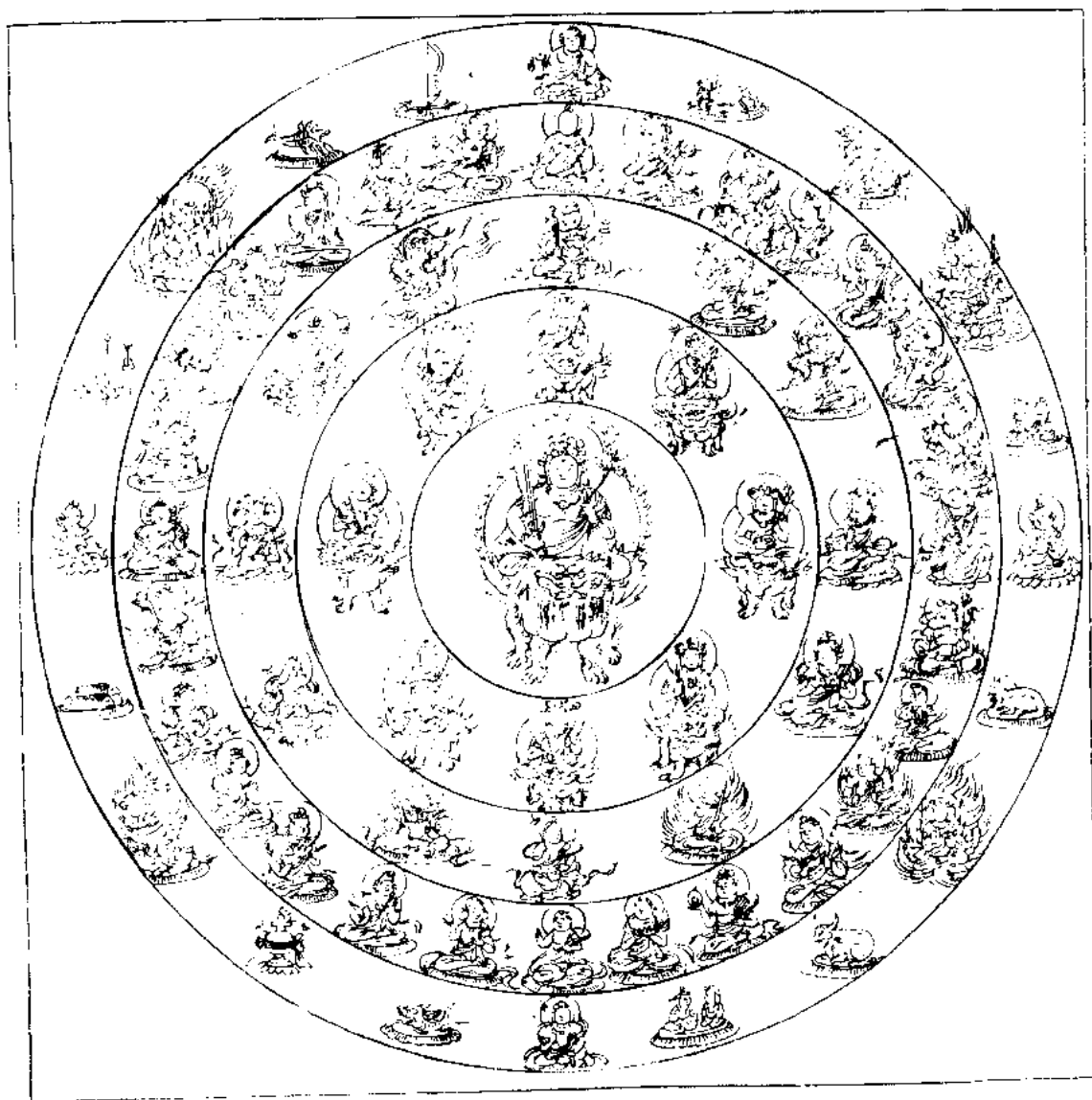




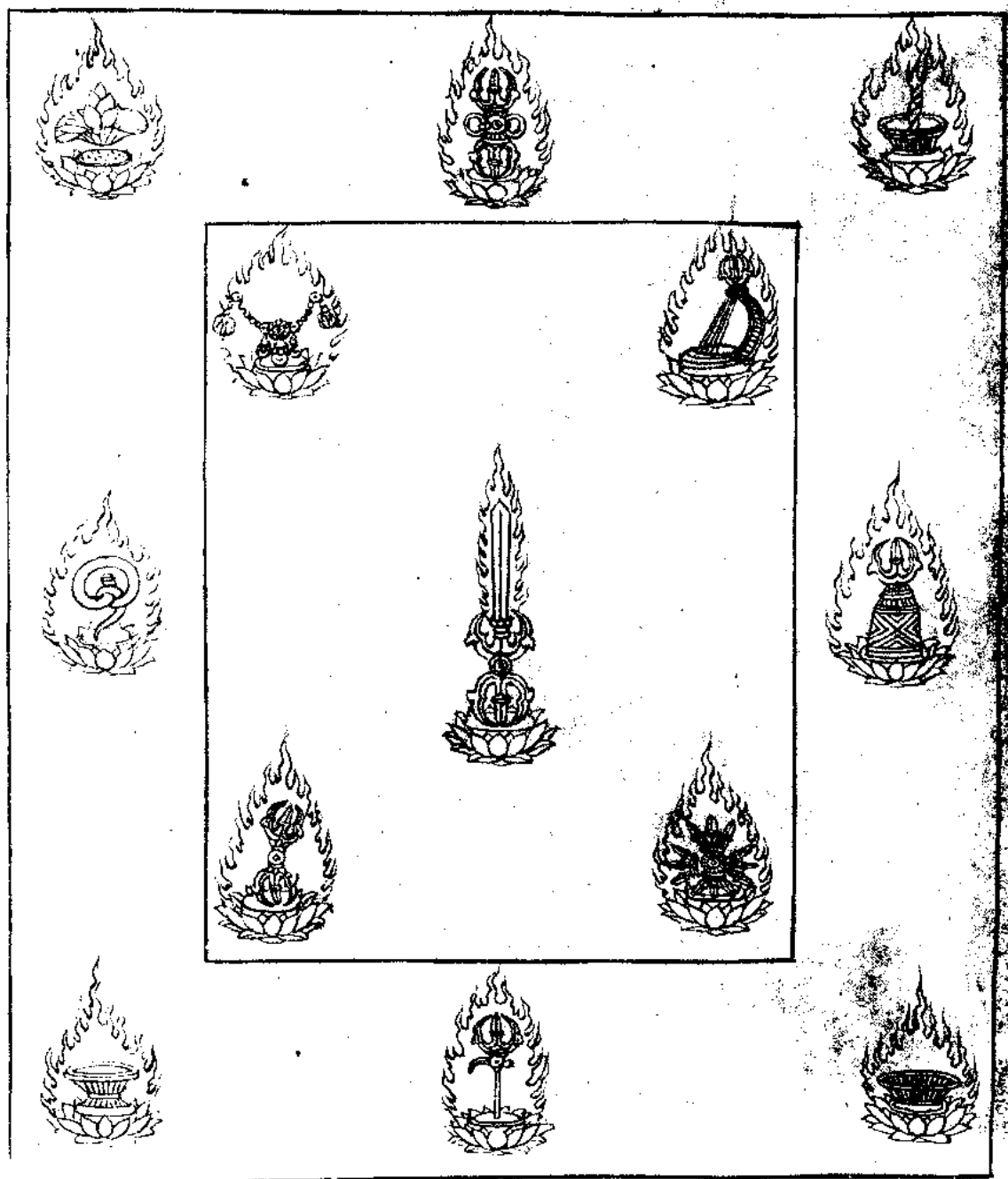


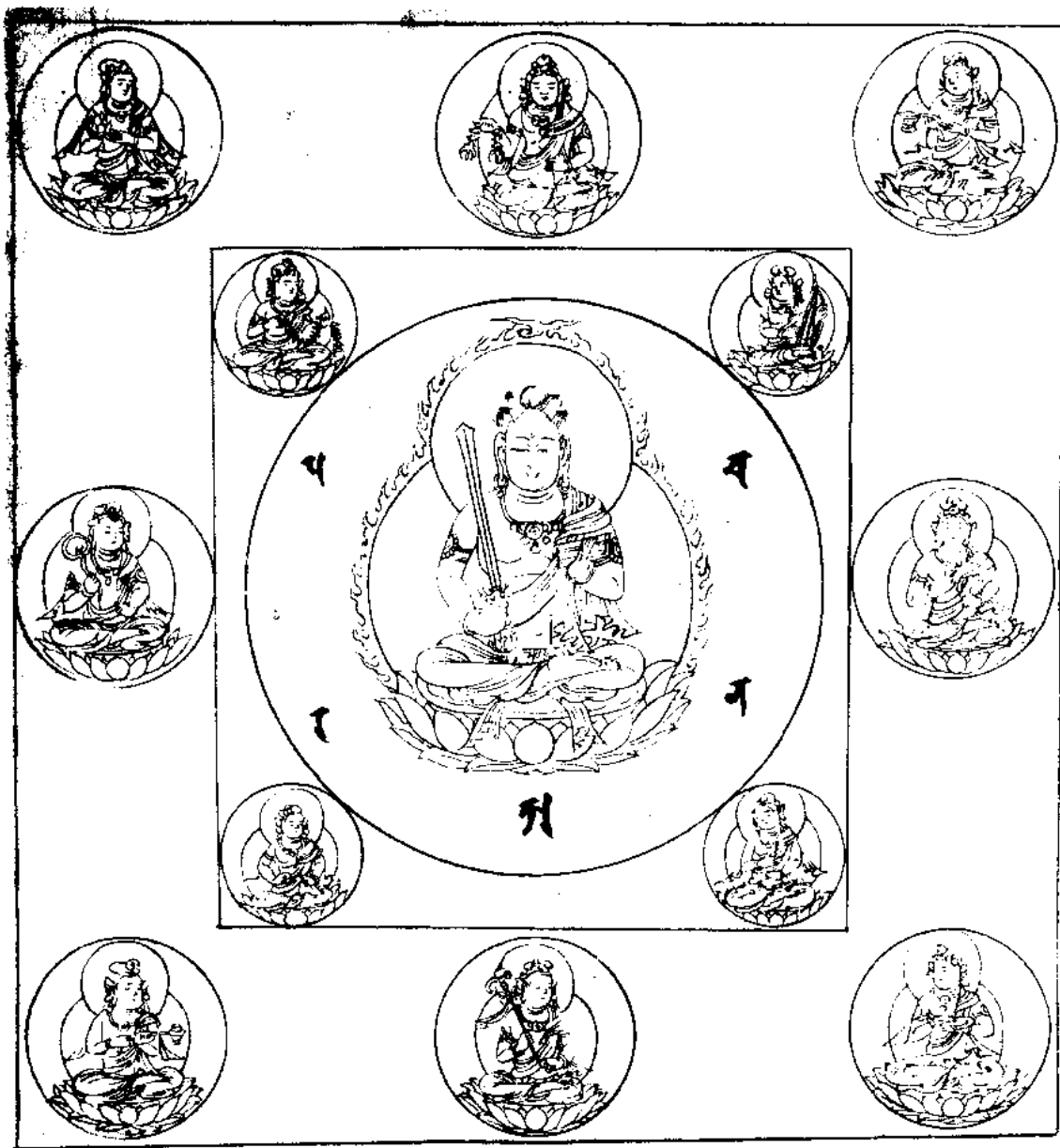


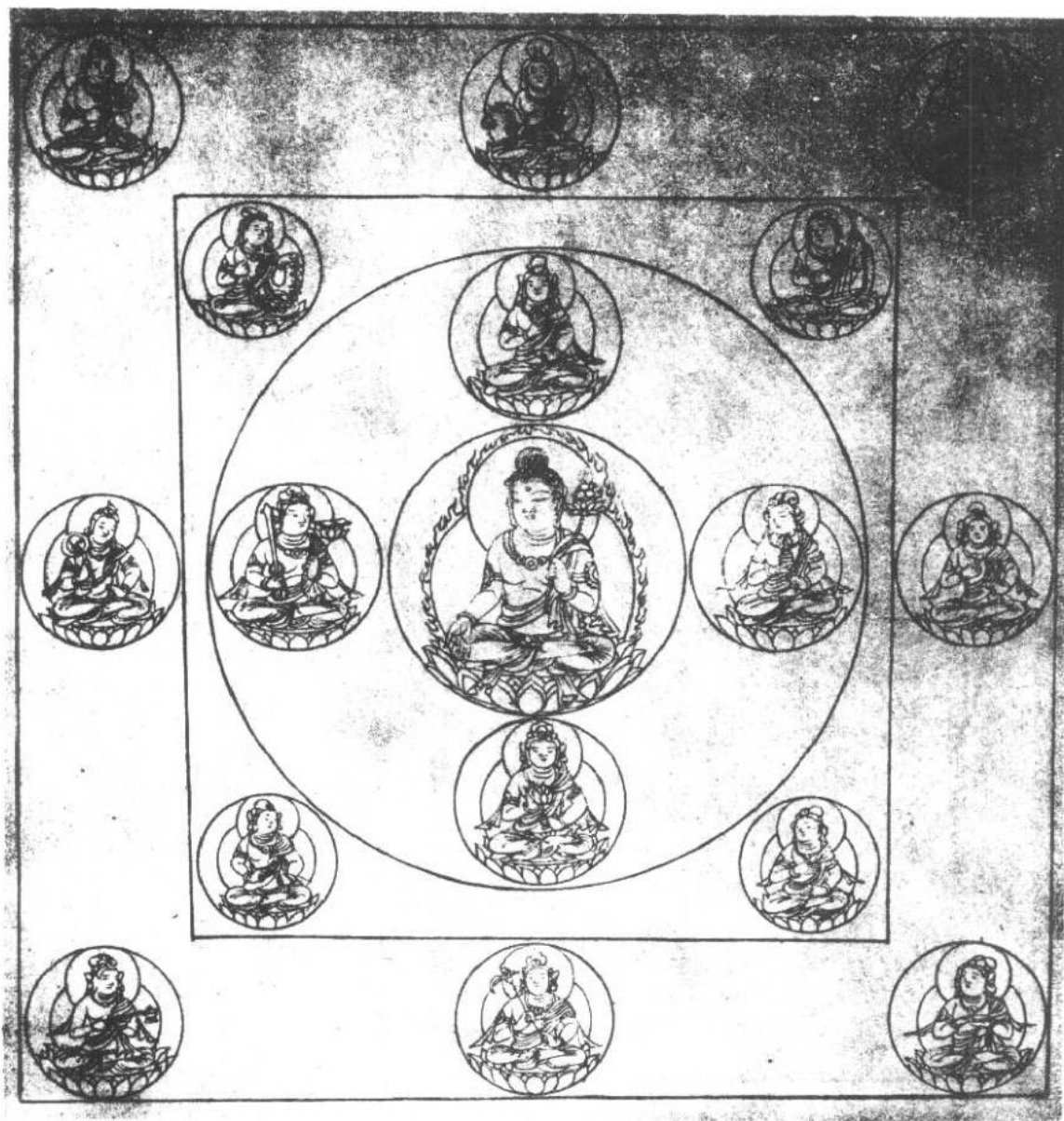










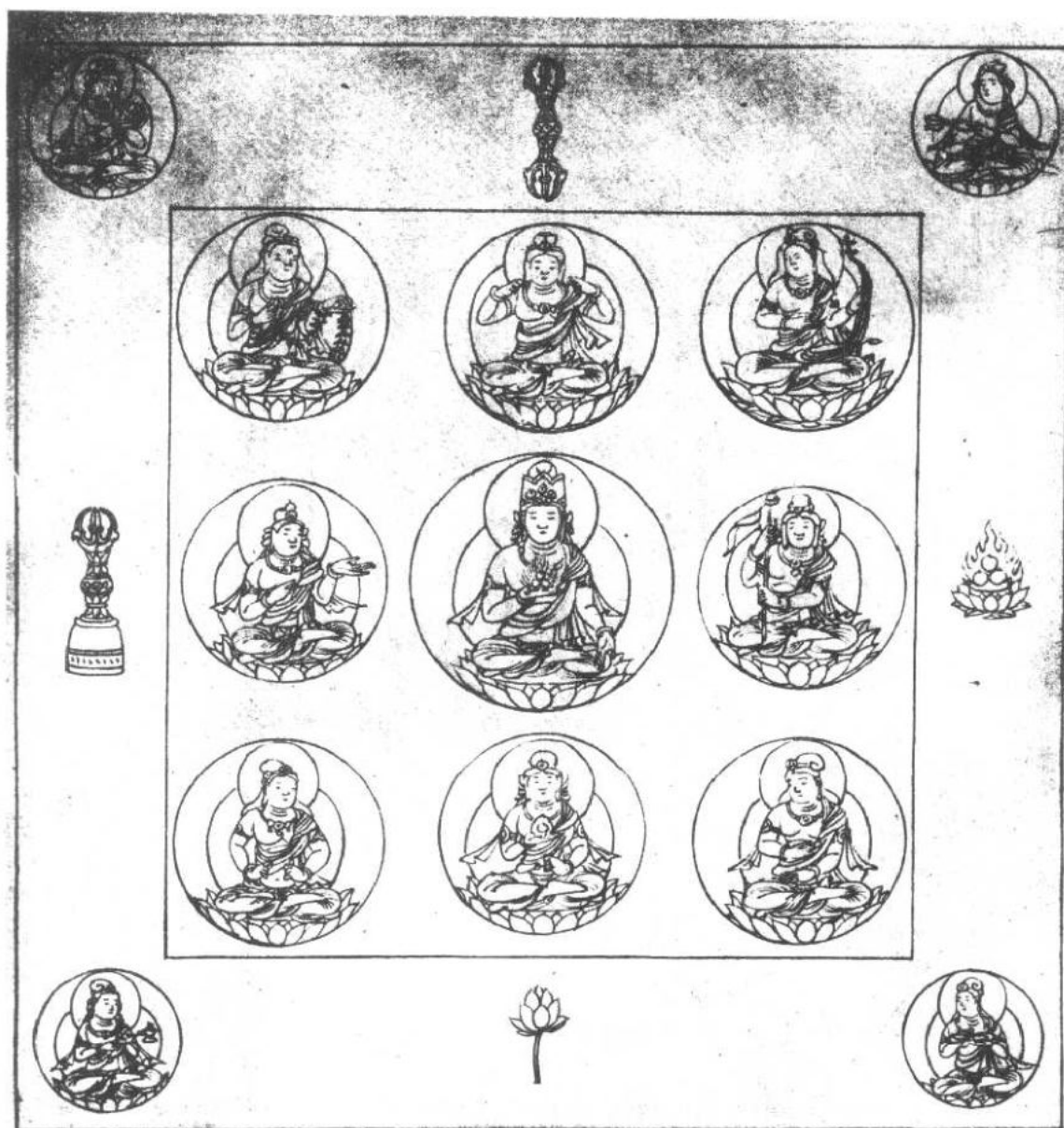


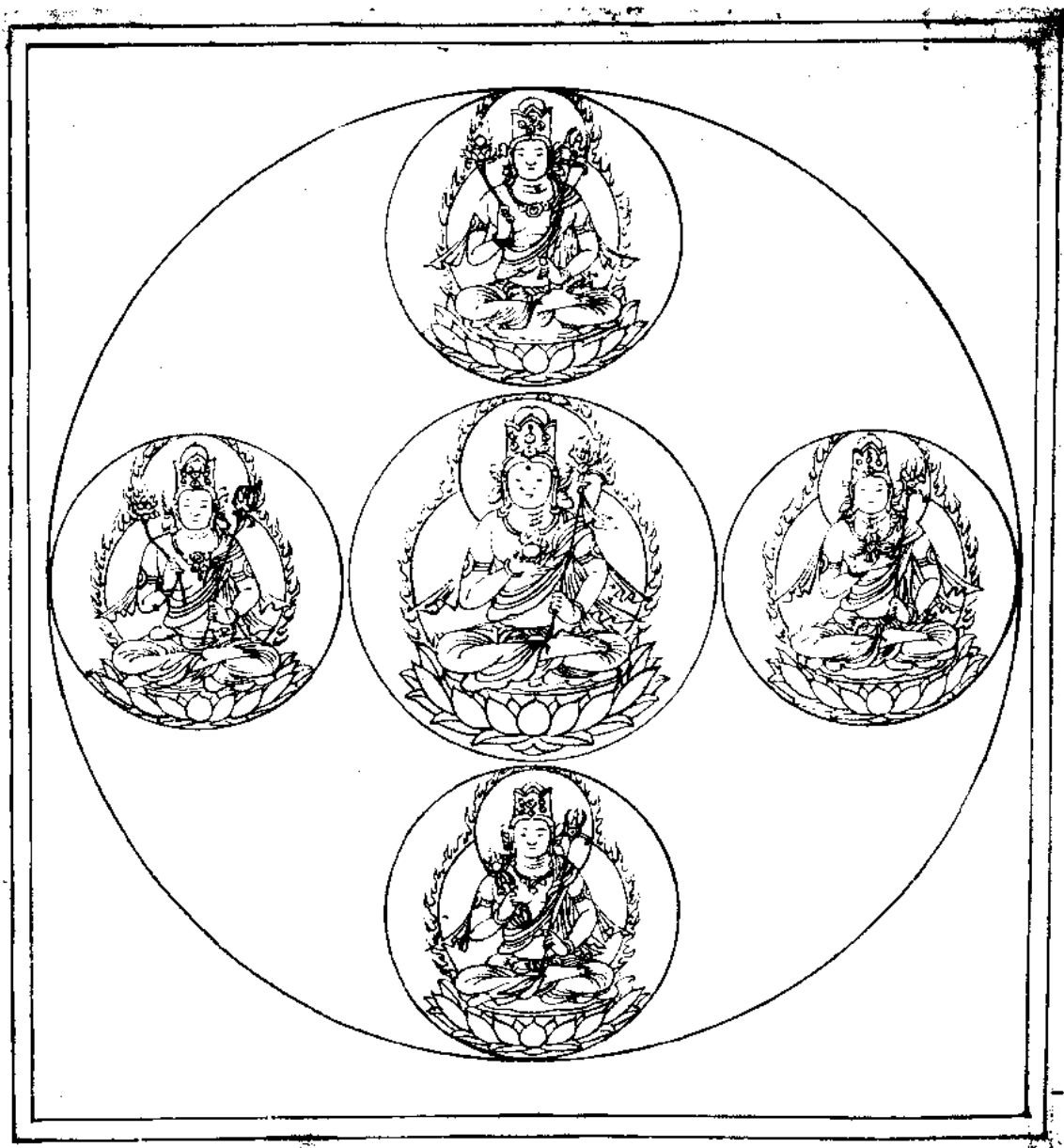


參考圖像 No. 40. 彌勒曼荼羅(其一) cf. p. 18 No. 38



參考圖像 No. 41. 彌勒曼荼羅(其二) of. p. 19 No. 39





參考圖像 No. 43, 五大虚空藏曼荼羅 cf. p. 19 No. 41



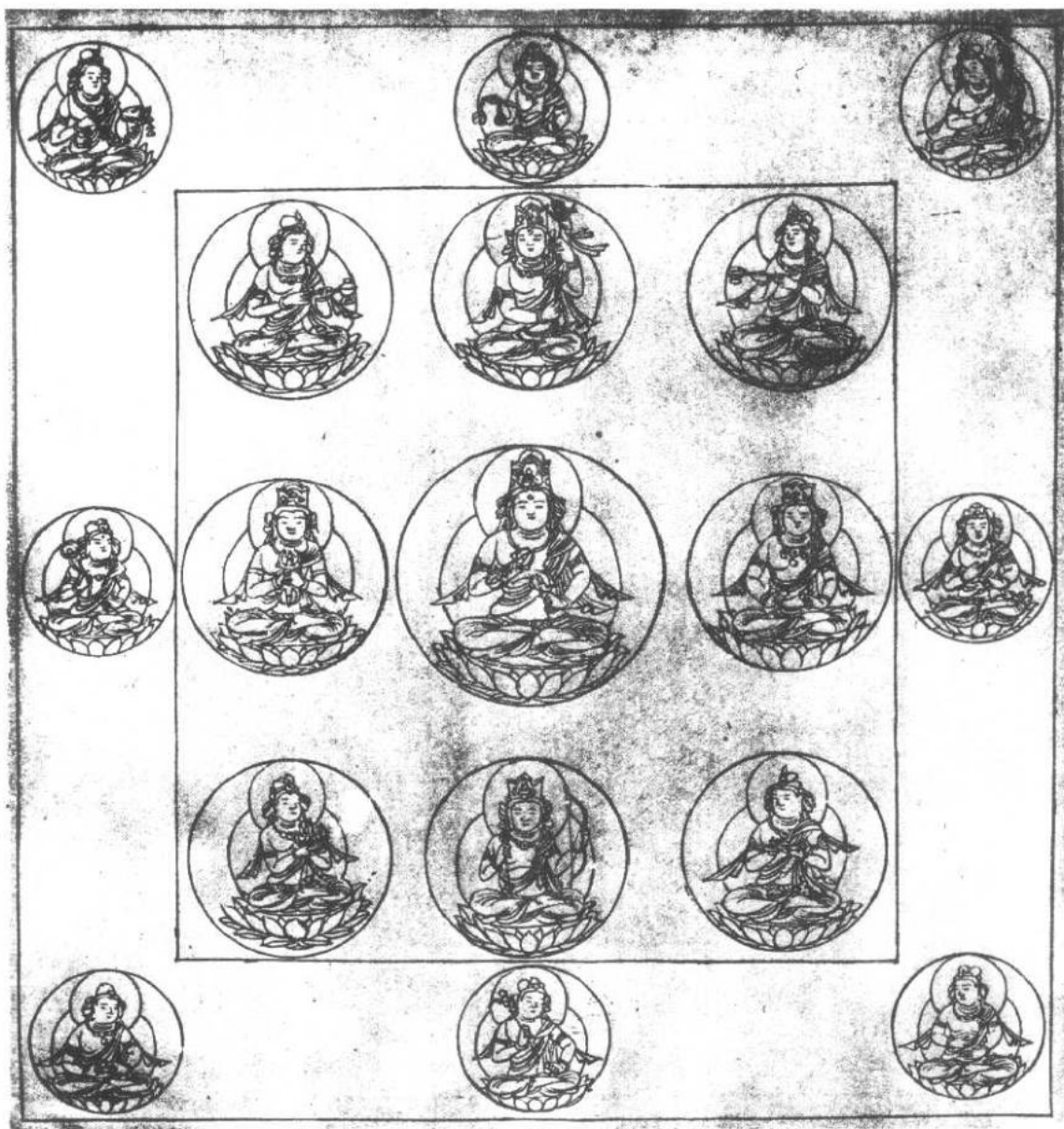


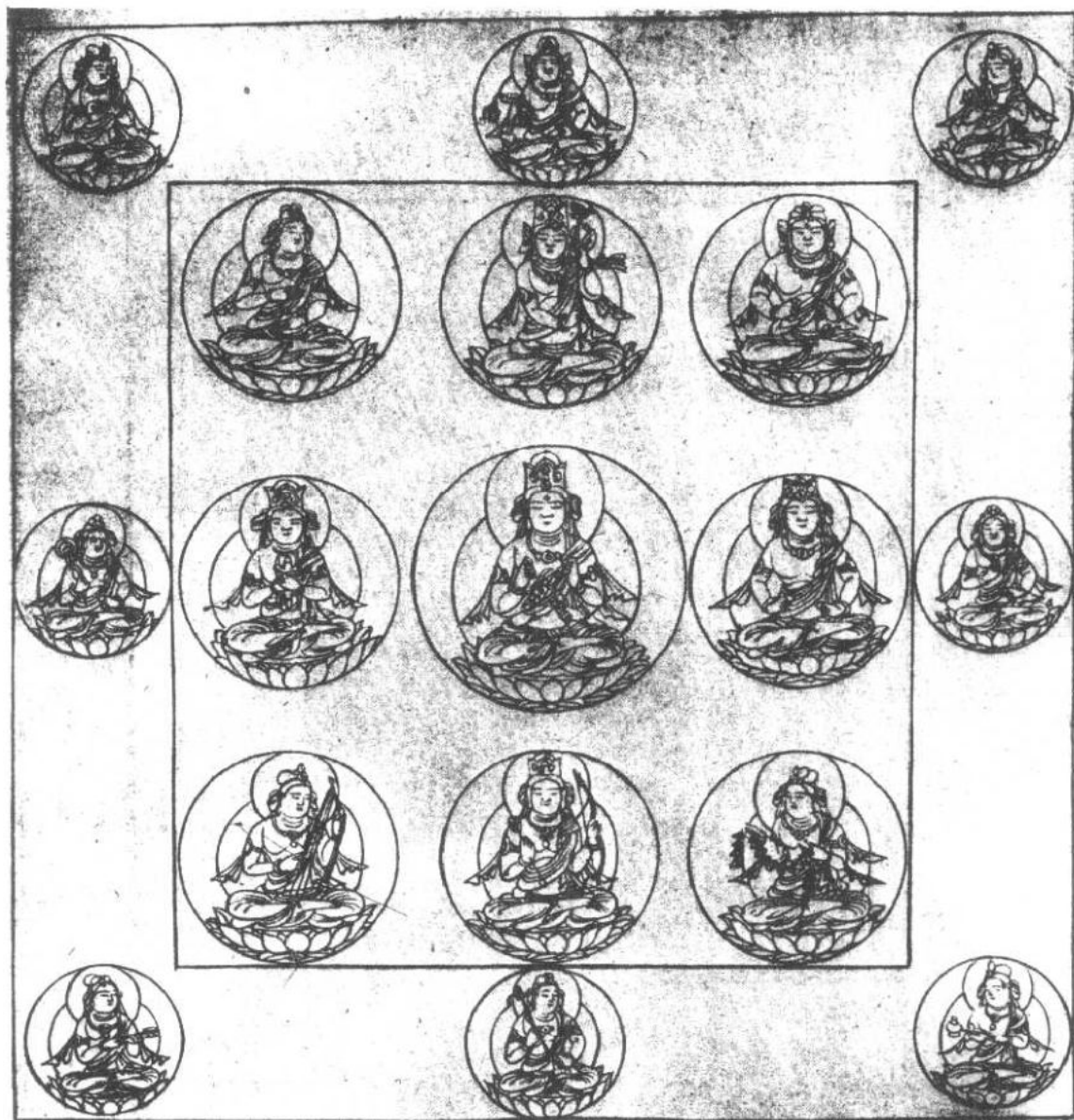


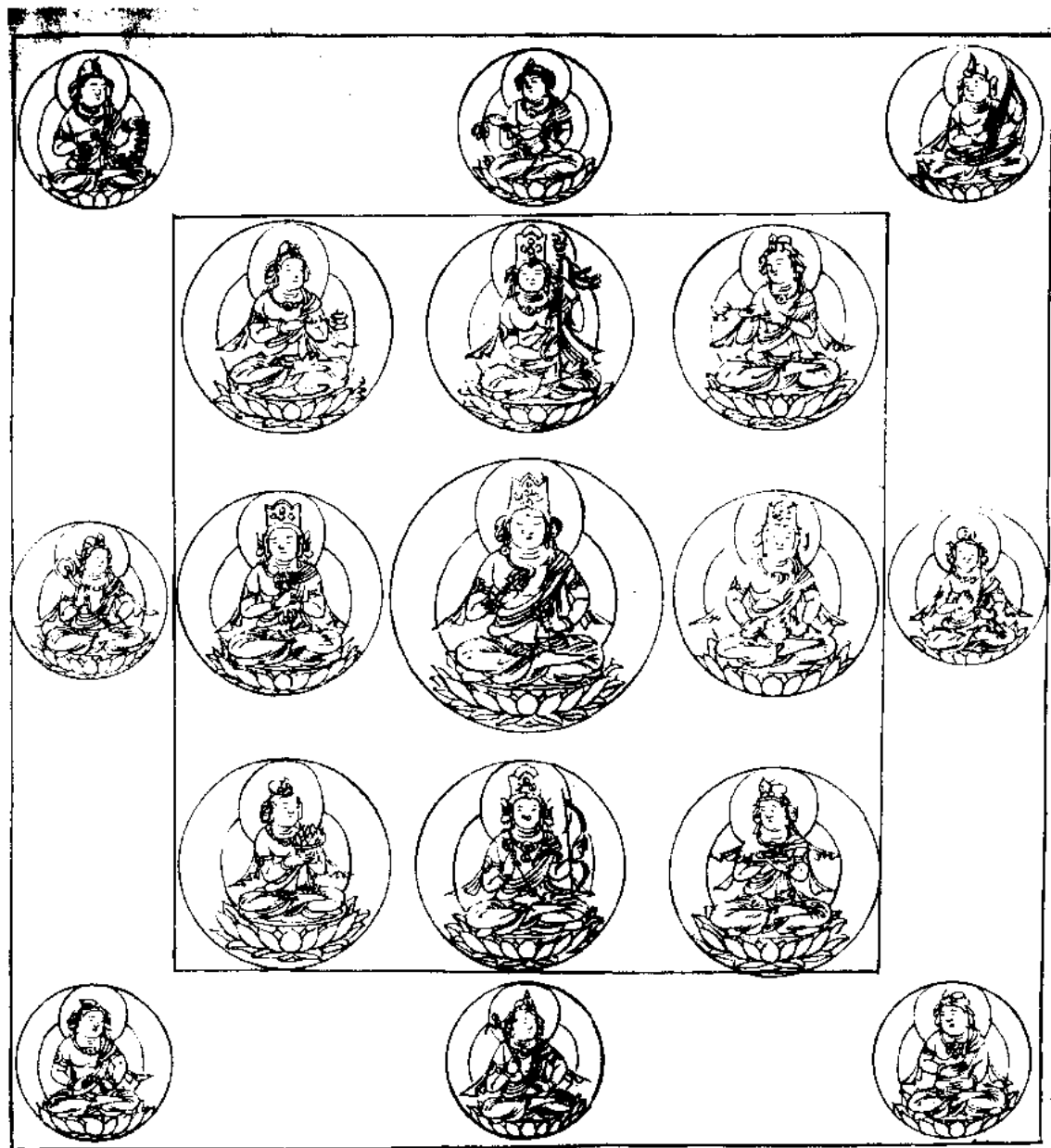


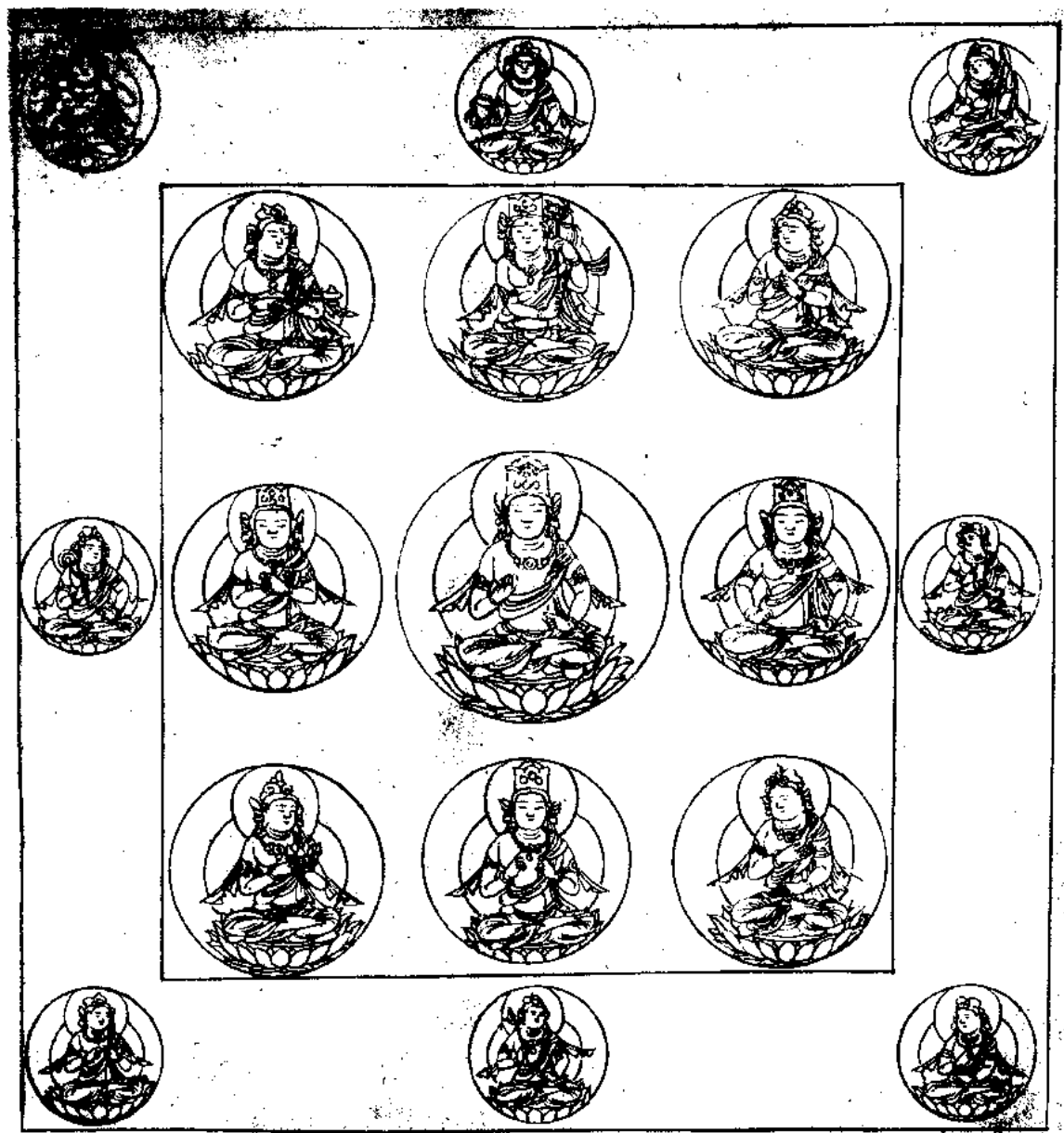


參考圖像 No. 48. 五秘密曼荼羅(共五)(甲本) cf. p. 20 No. 45



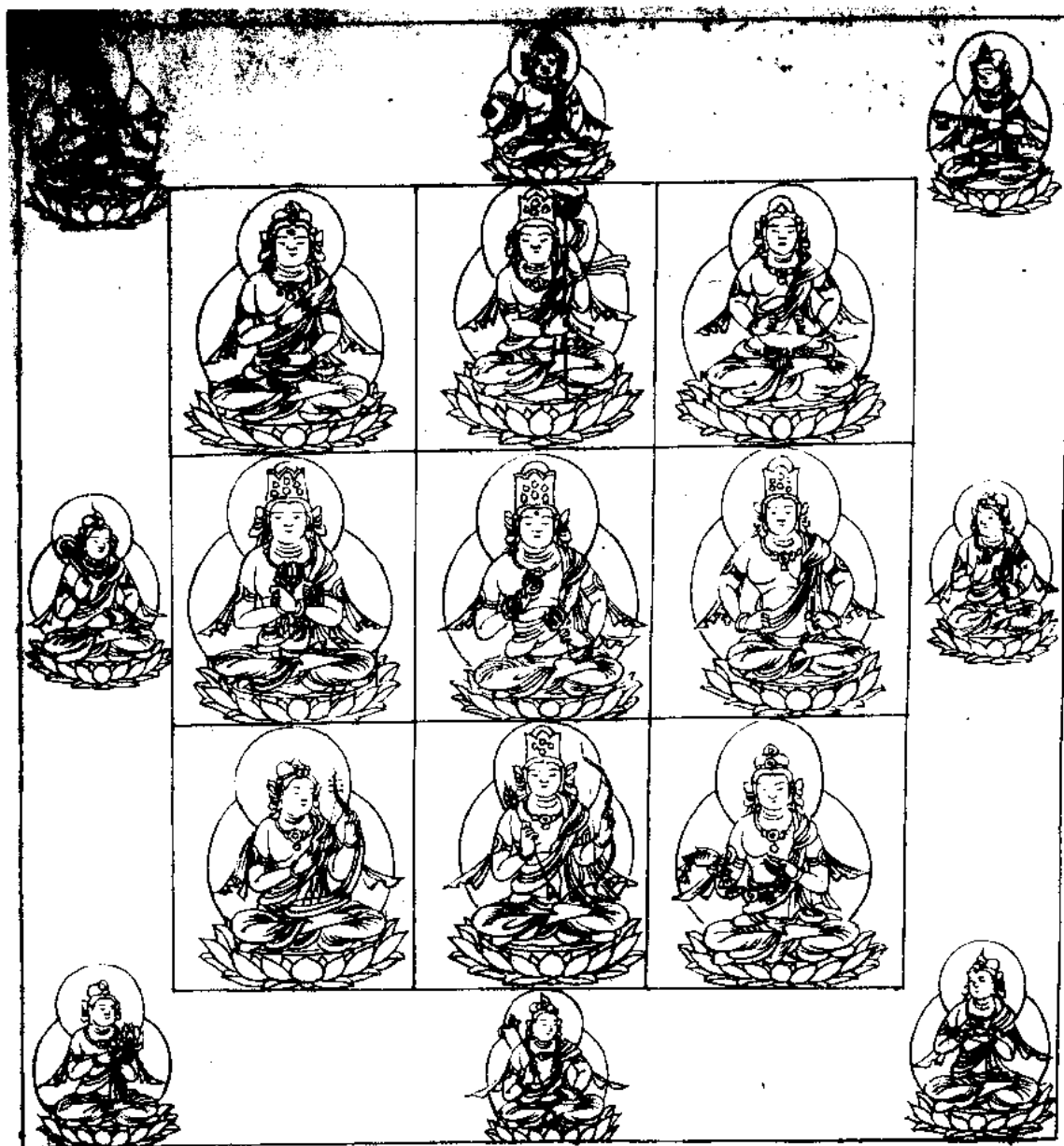








參考圖像 No. 55. 馬鳴曼茶羅(甲本) cf. p. 23 No. 52



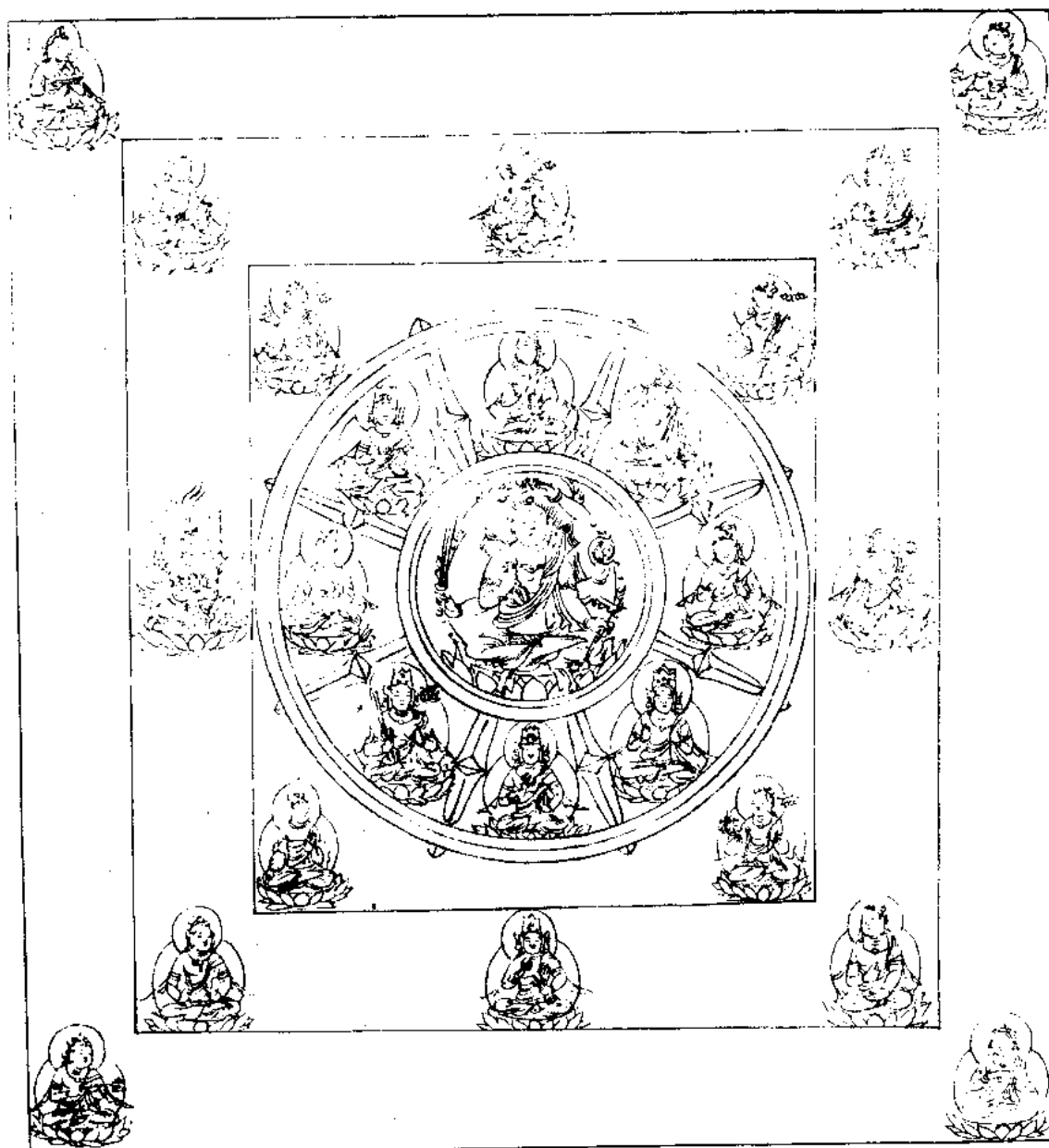
參考圖像 No. 54. 理趣會曼荼羅(其四) cf. p. 22 No. 51

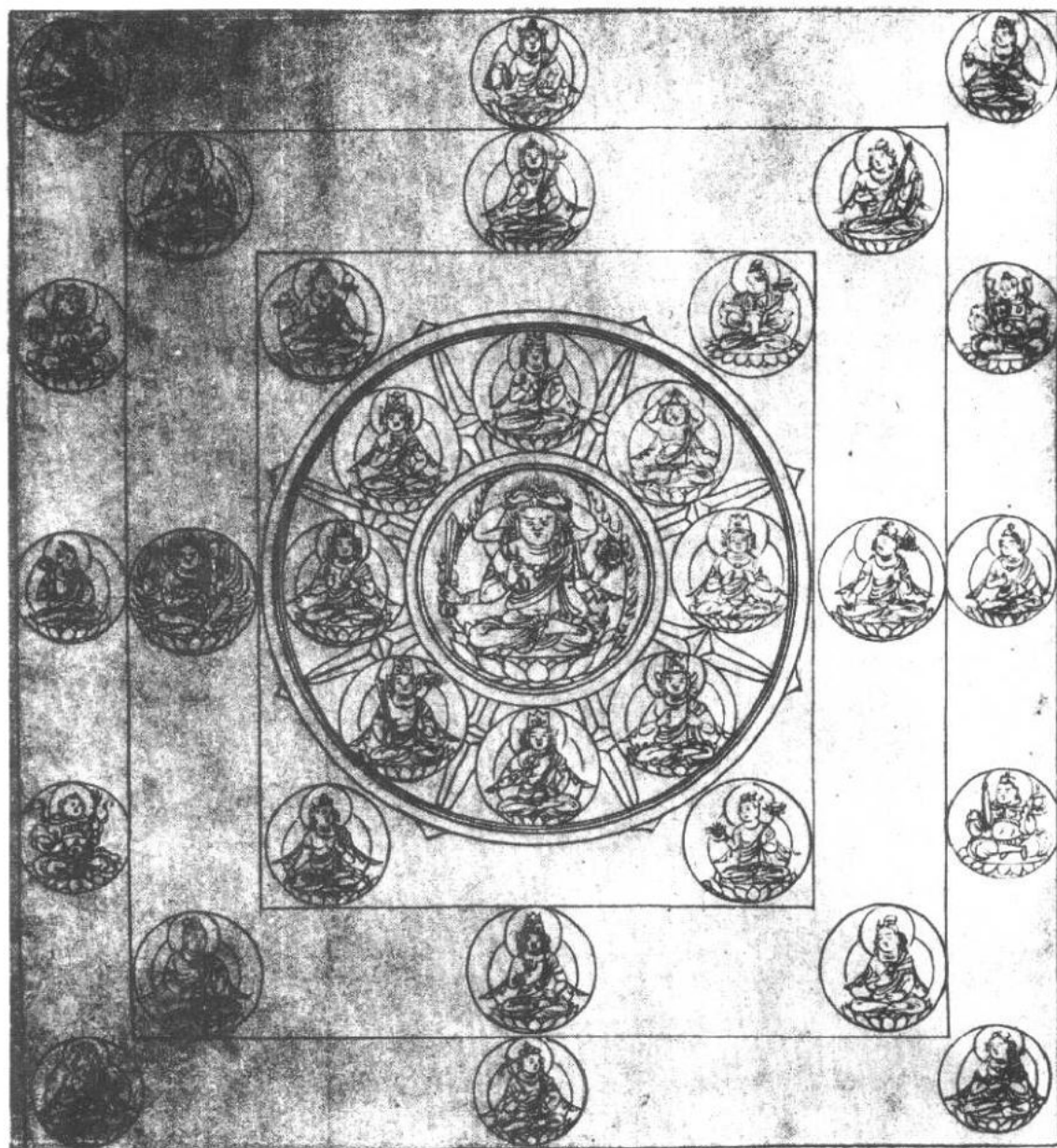


參考圖像 No. 57. 持世菩薩曼荼羅(其二)(丙本) cf. p. 23 No. 53

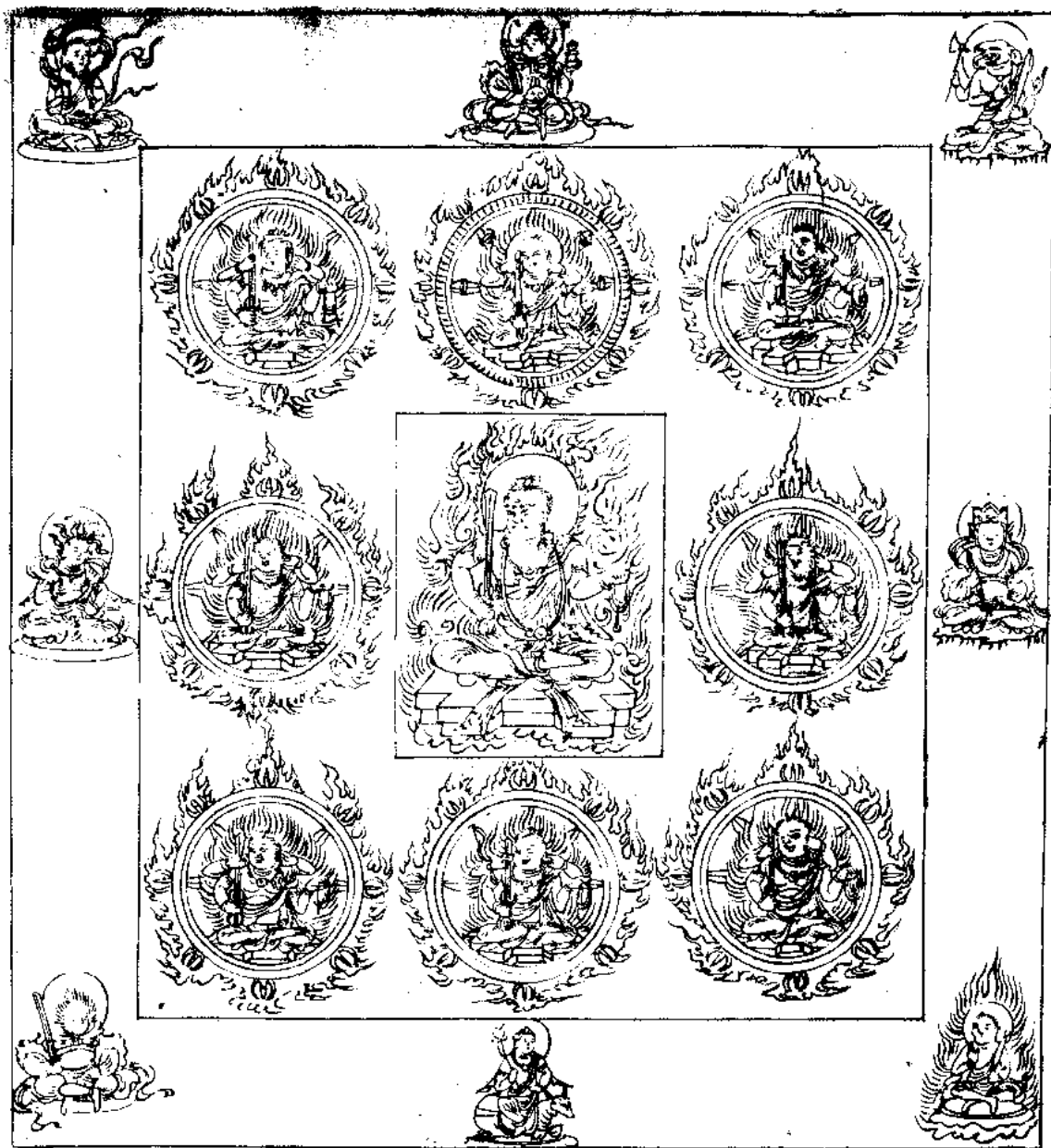


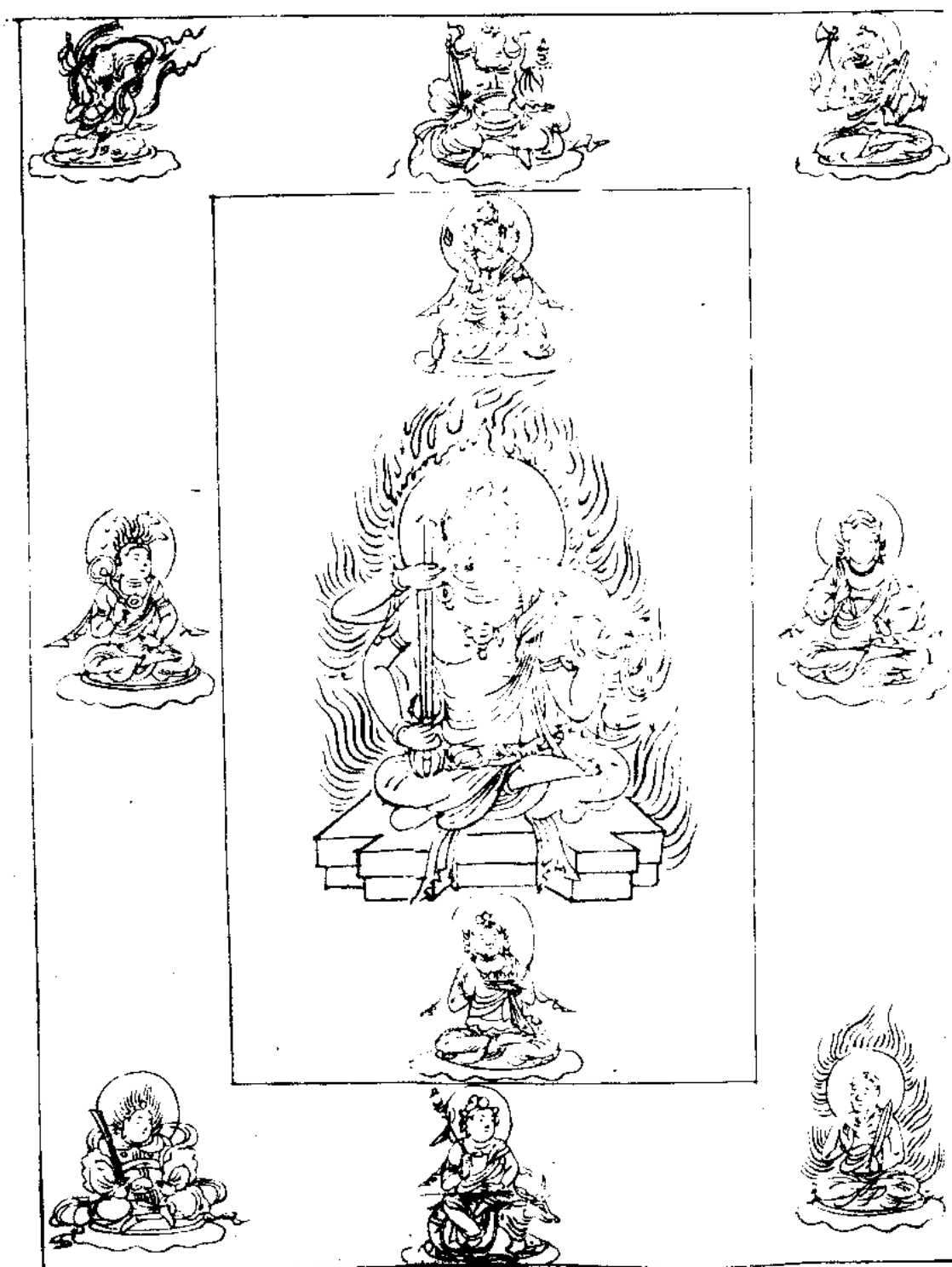
參考圖像 No. 56, 持世菩薩曼荼羅(其一)(甲本) cf. p. 23 No. 53

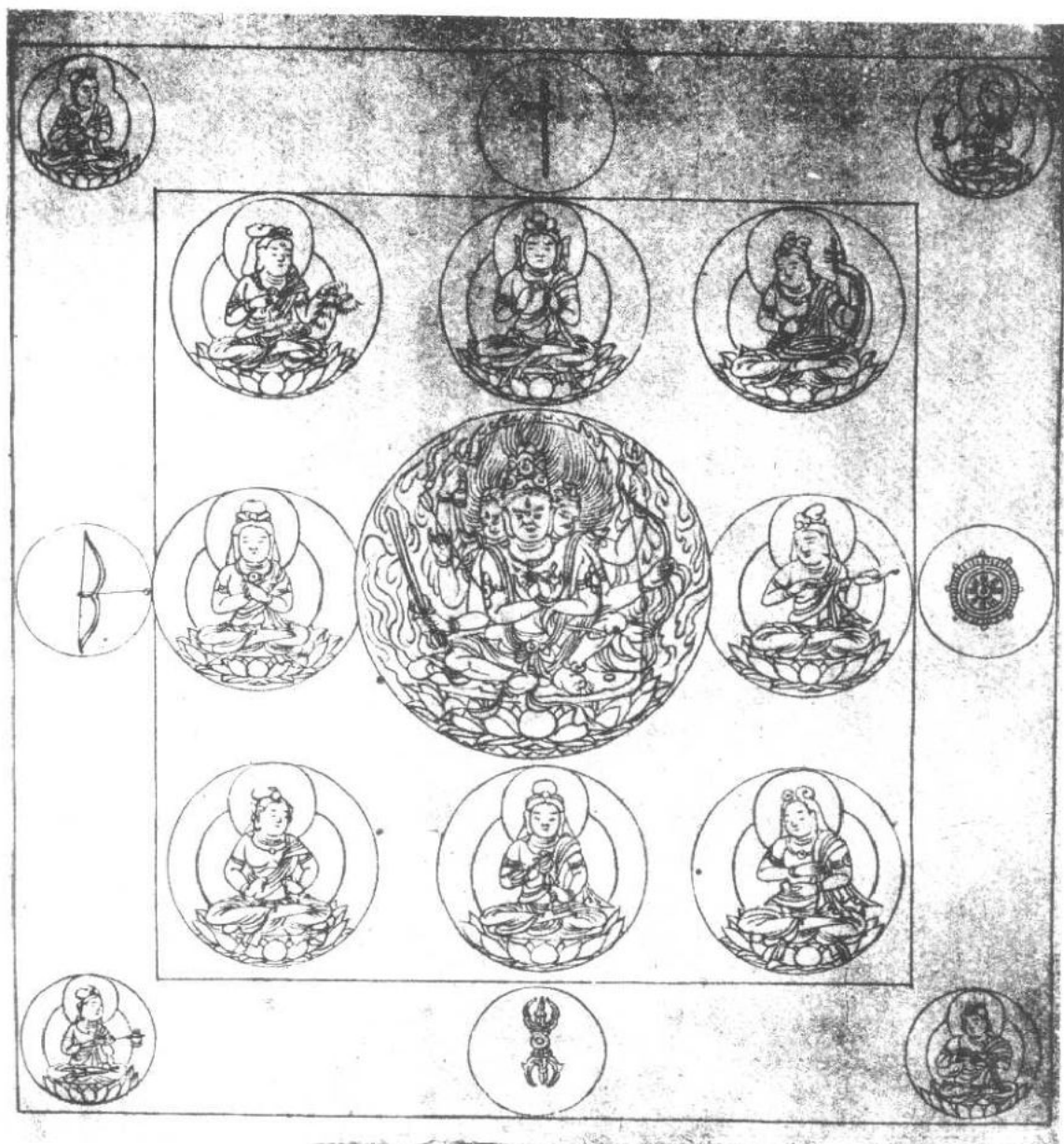


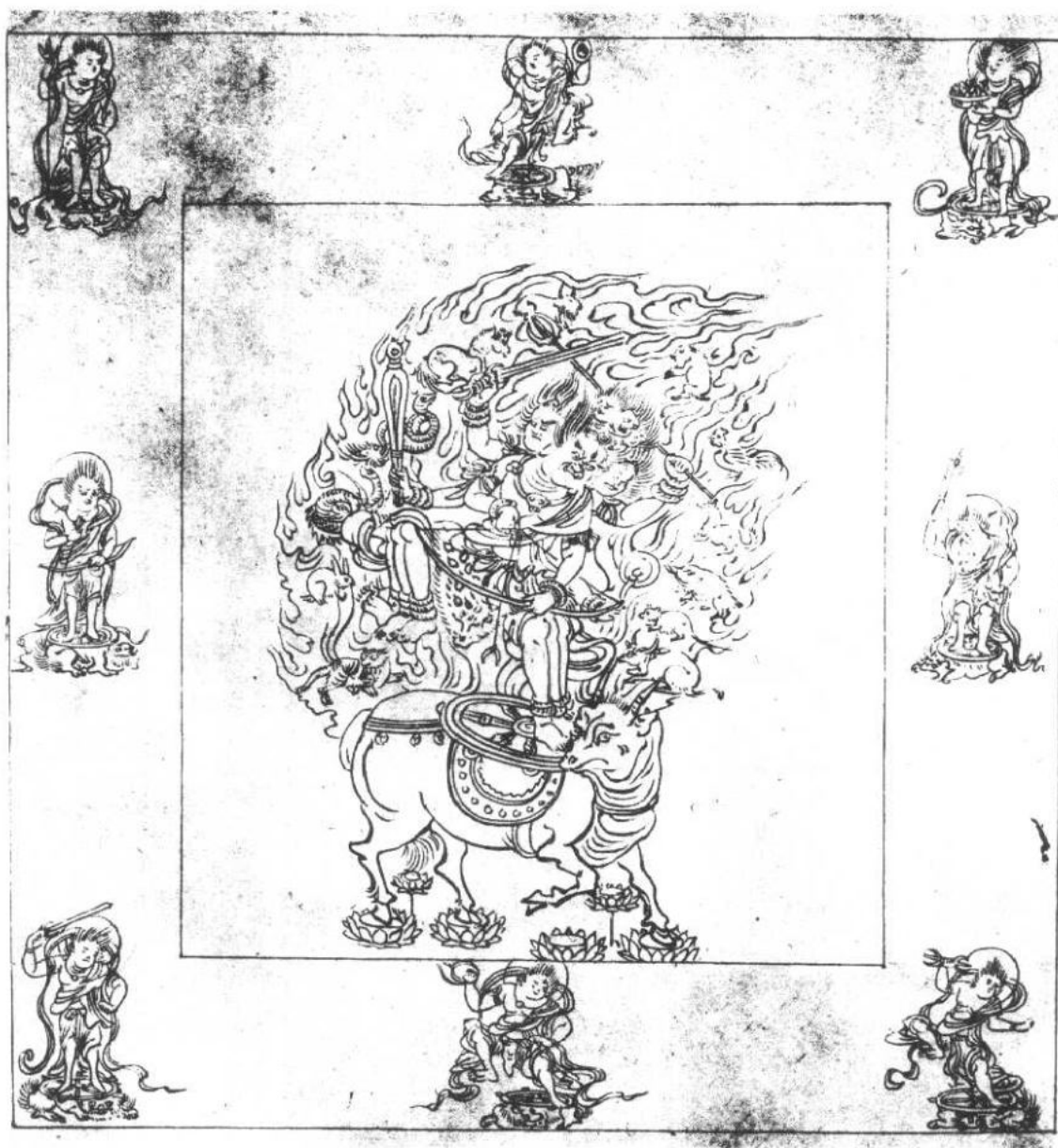


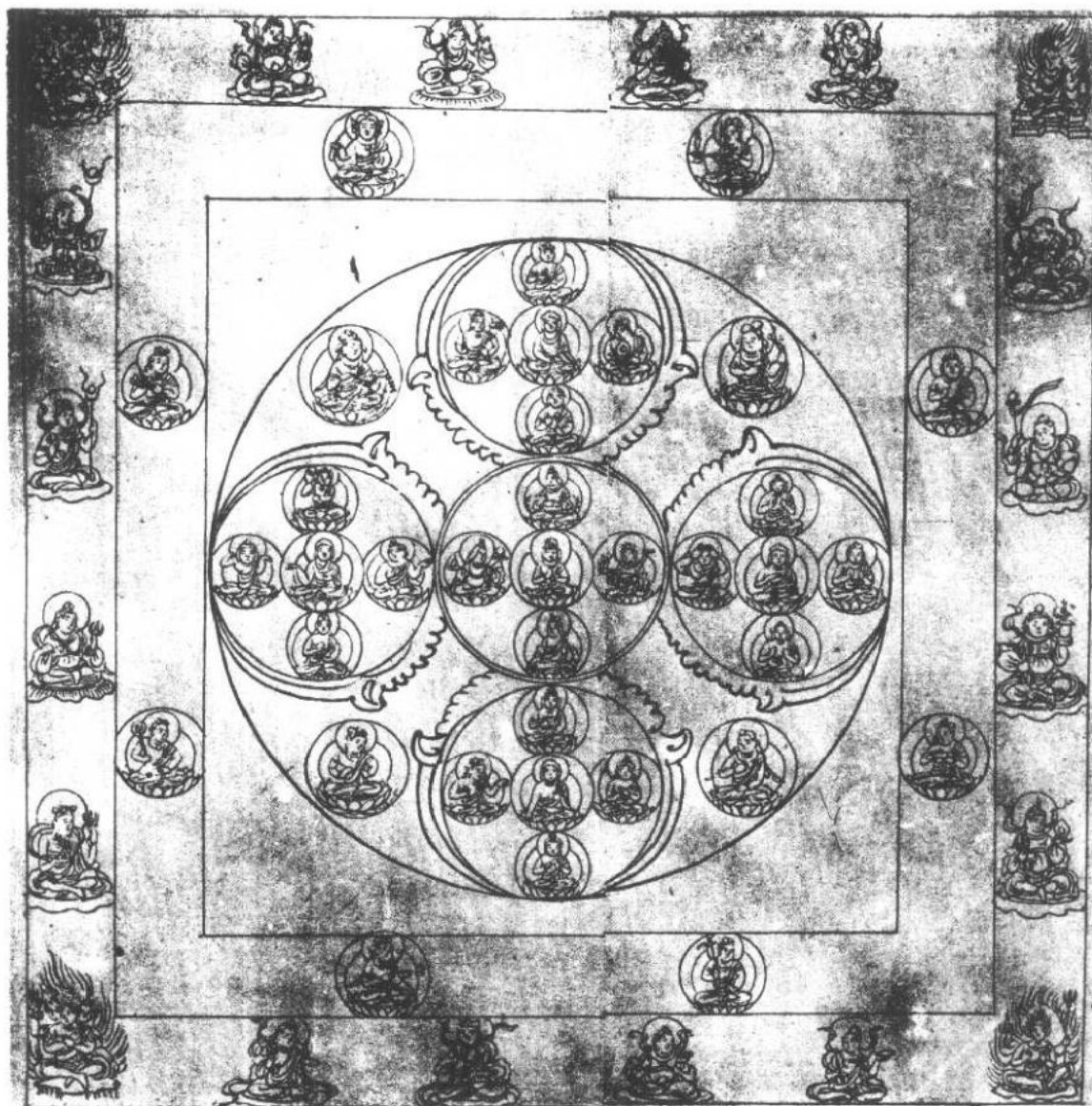


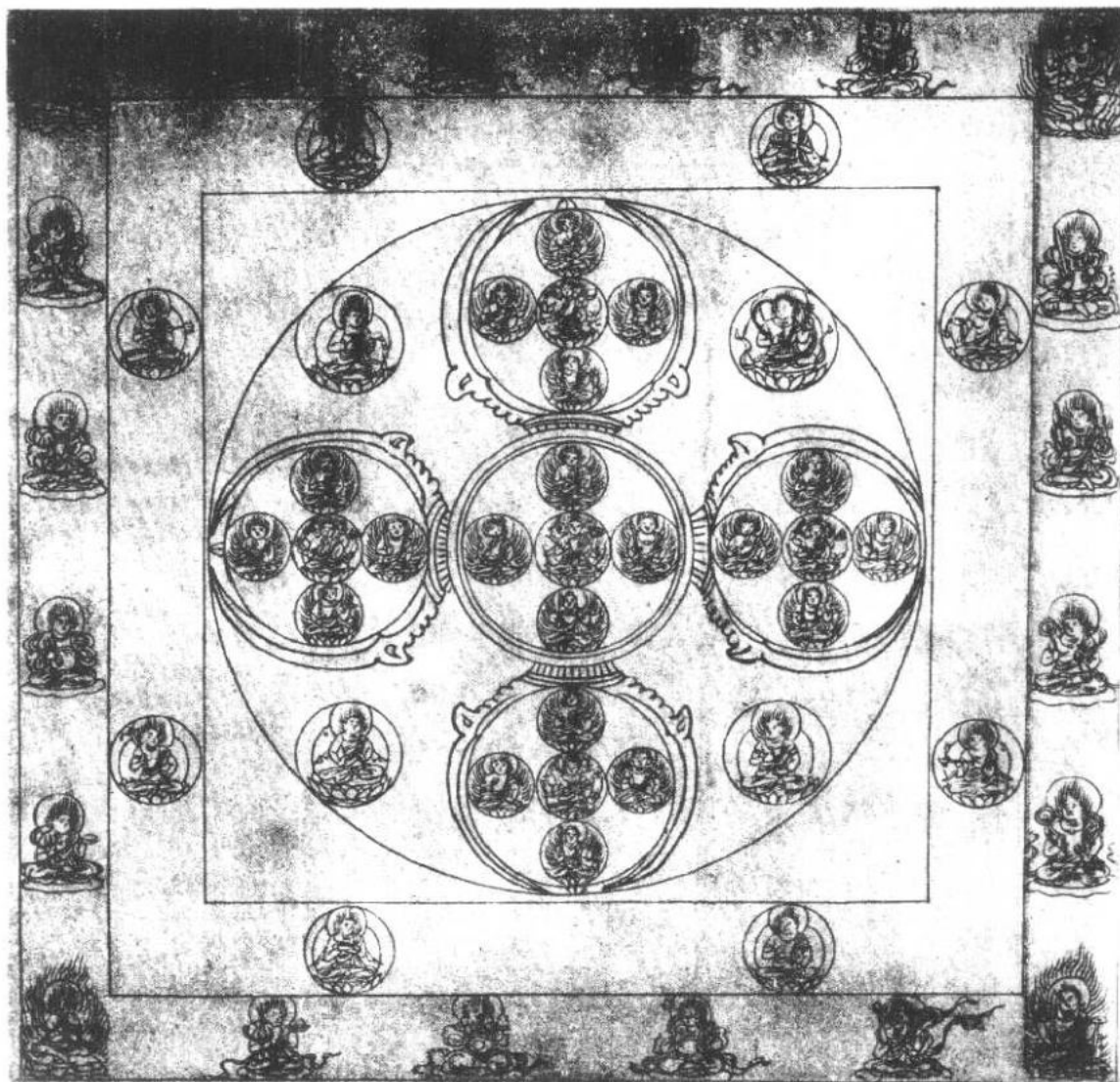




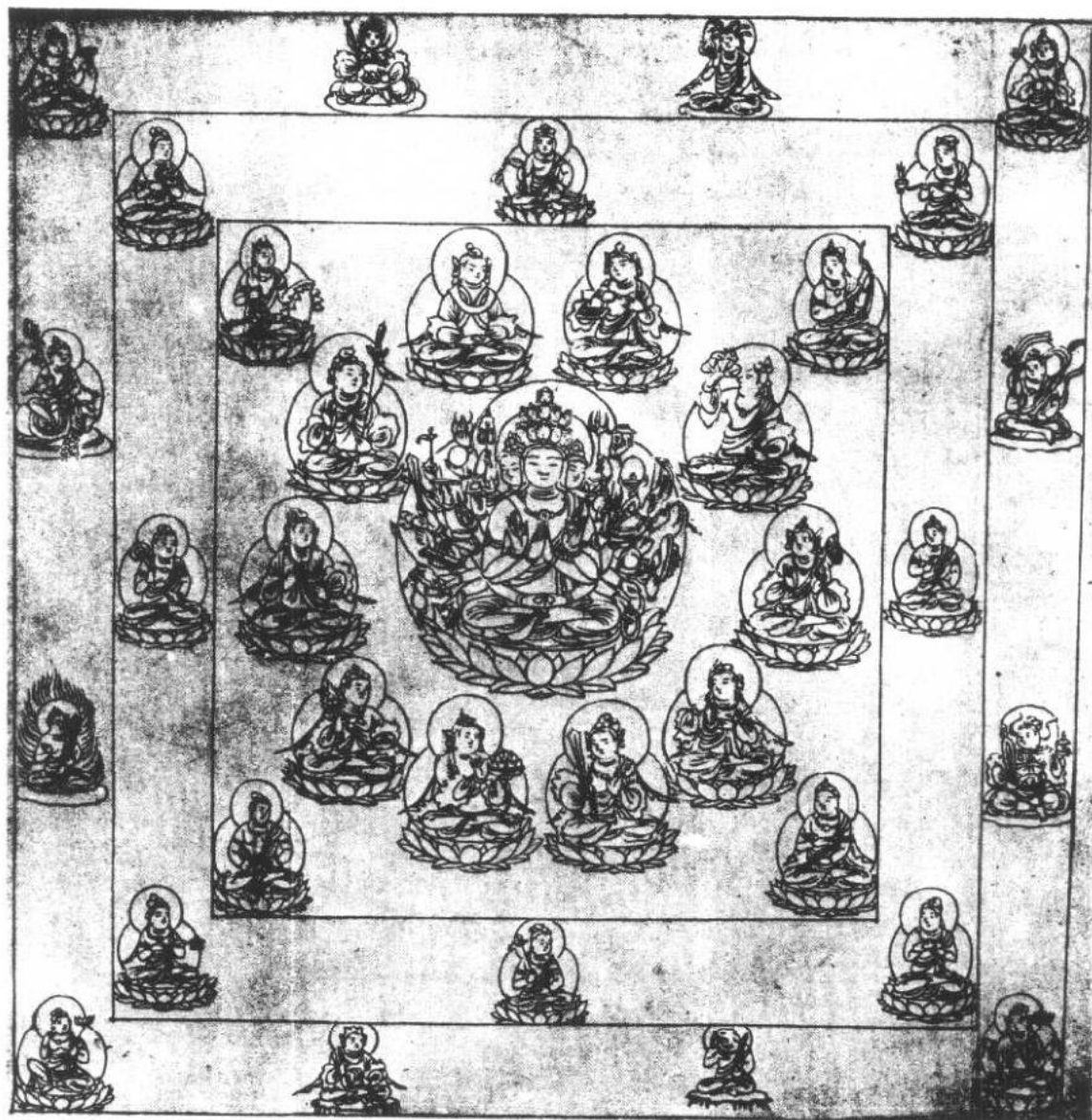




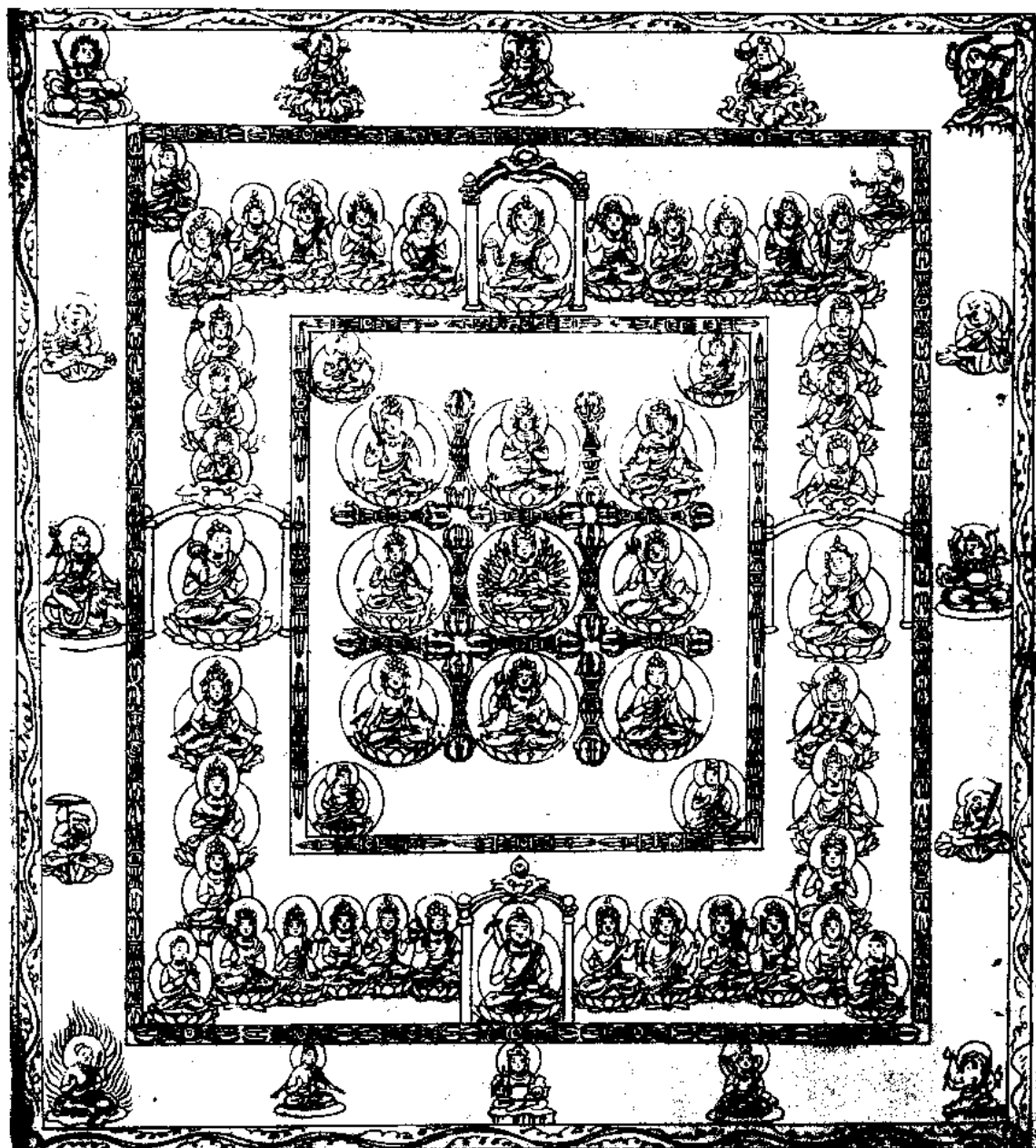


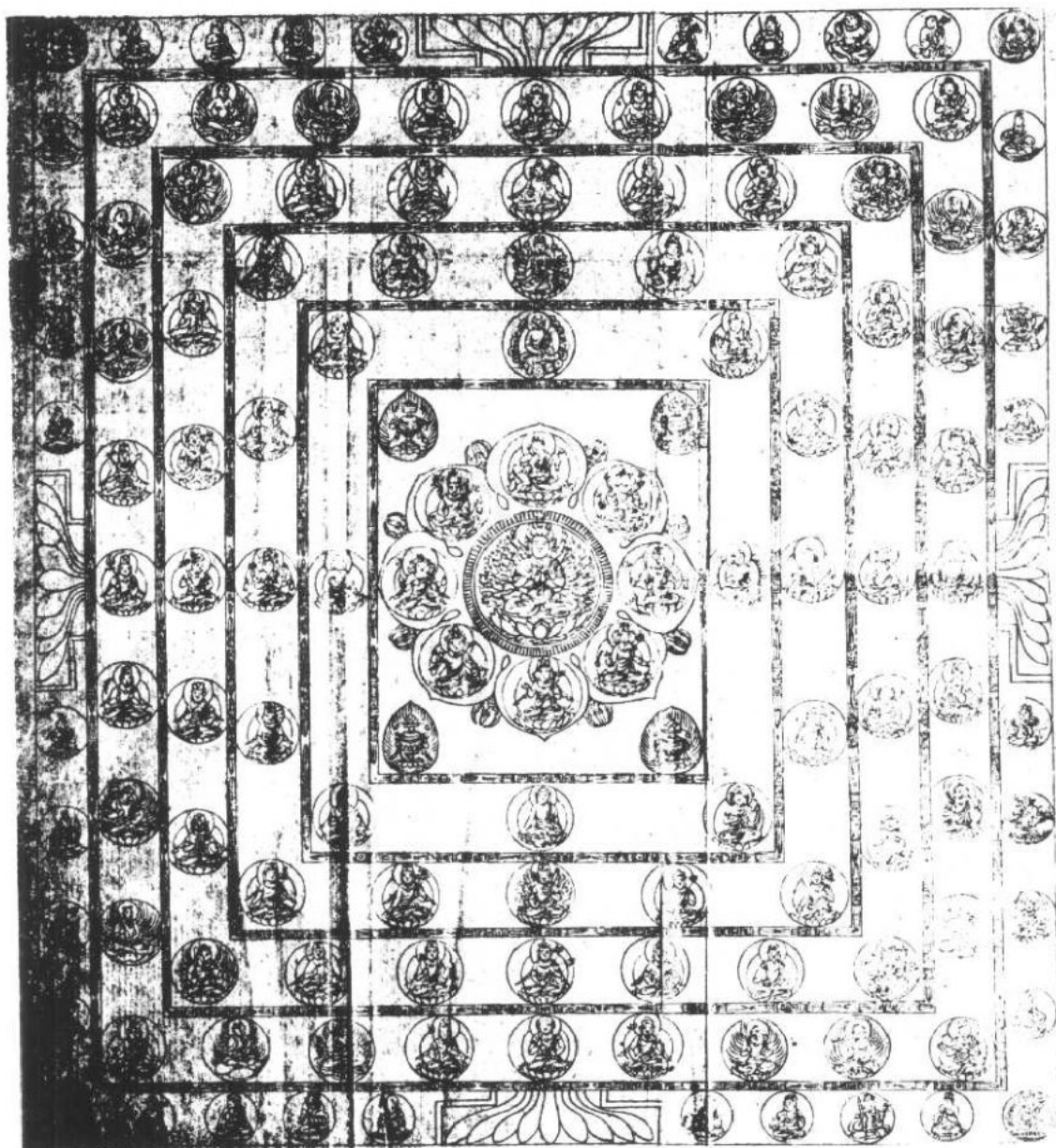




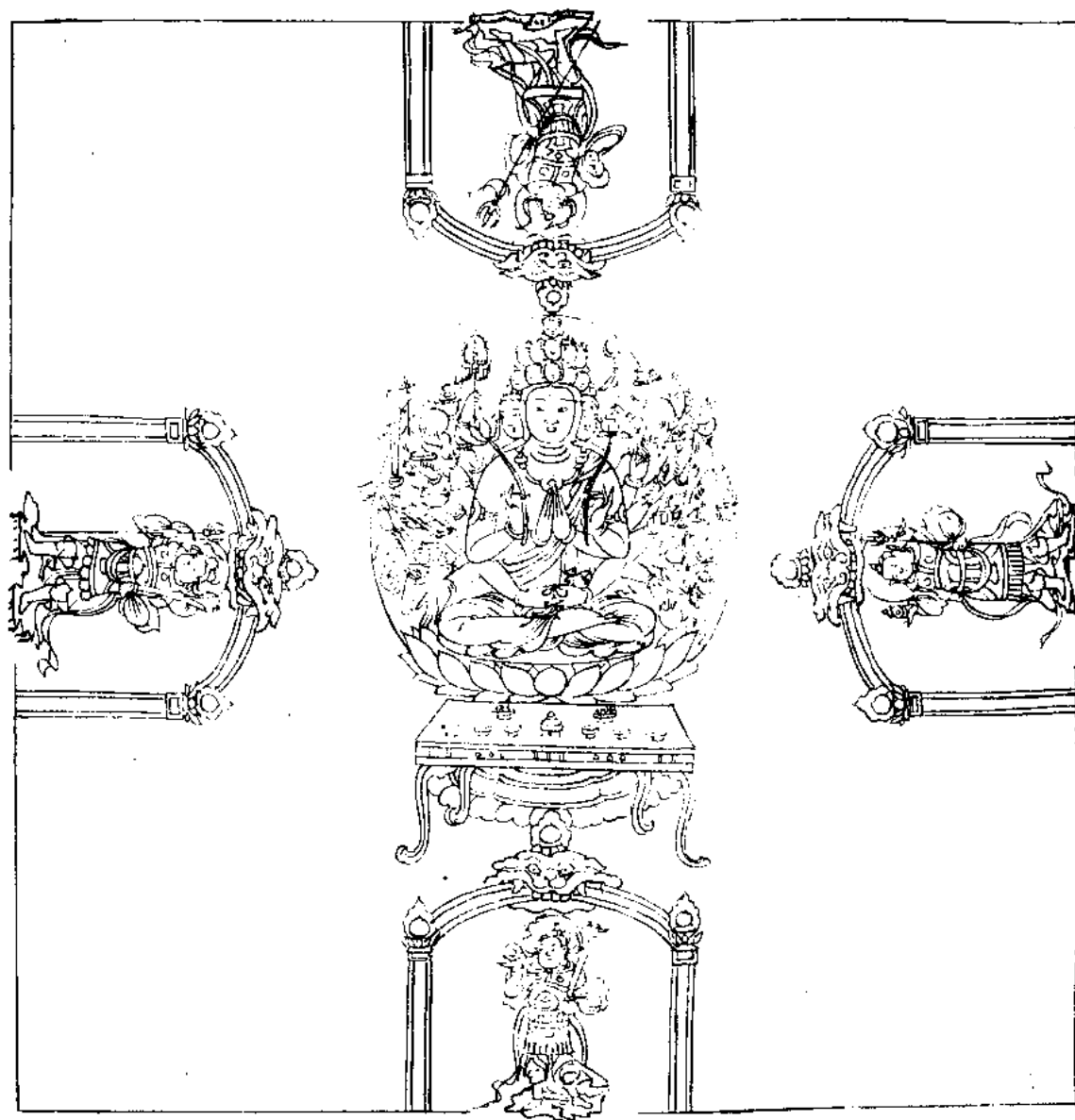


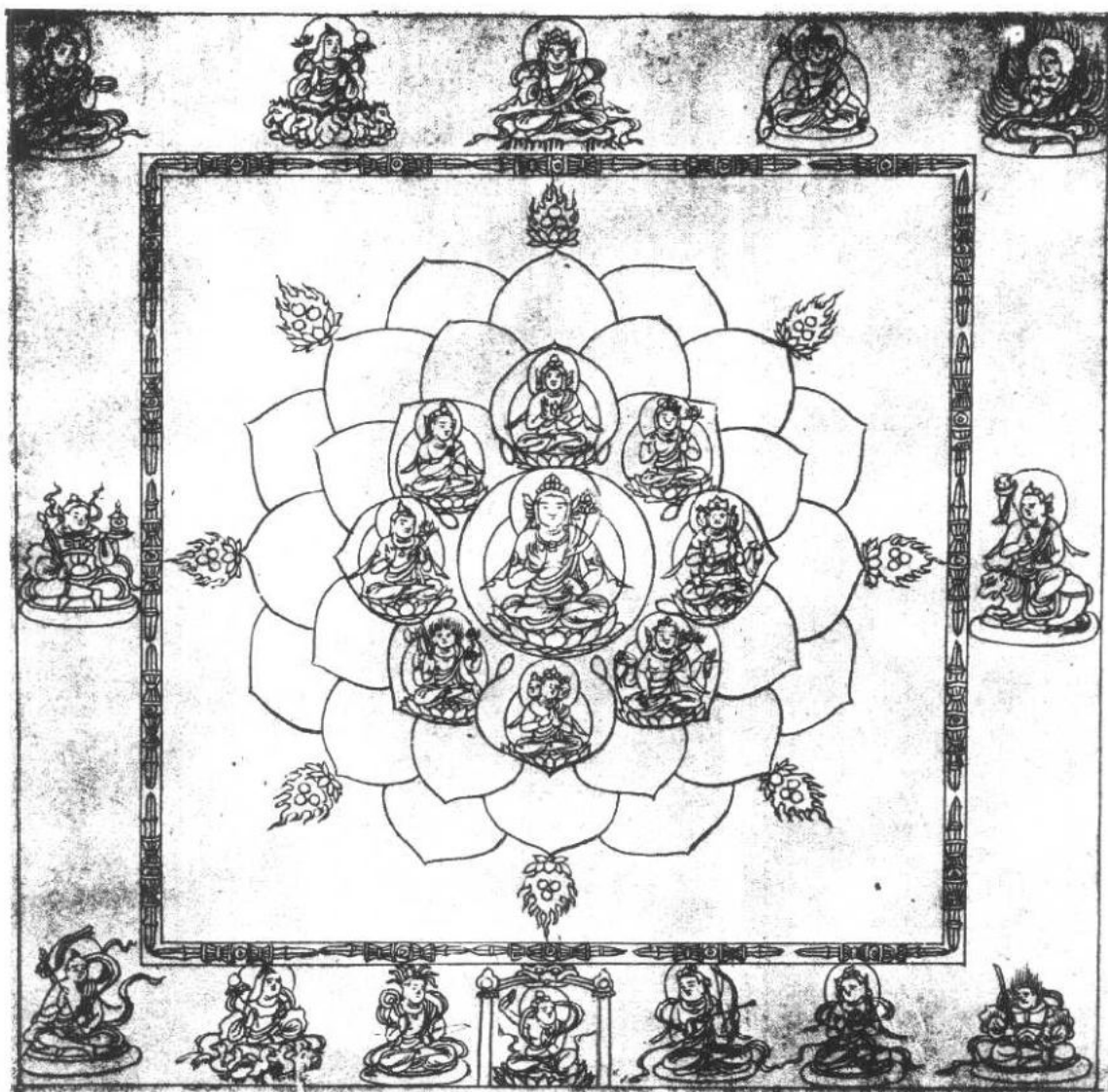
參考圖像 No. 68. 千手曼荼羅(其一) cf. p. 27. No. 65



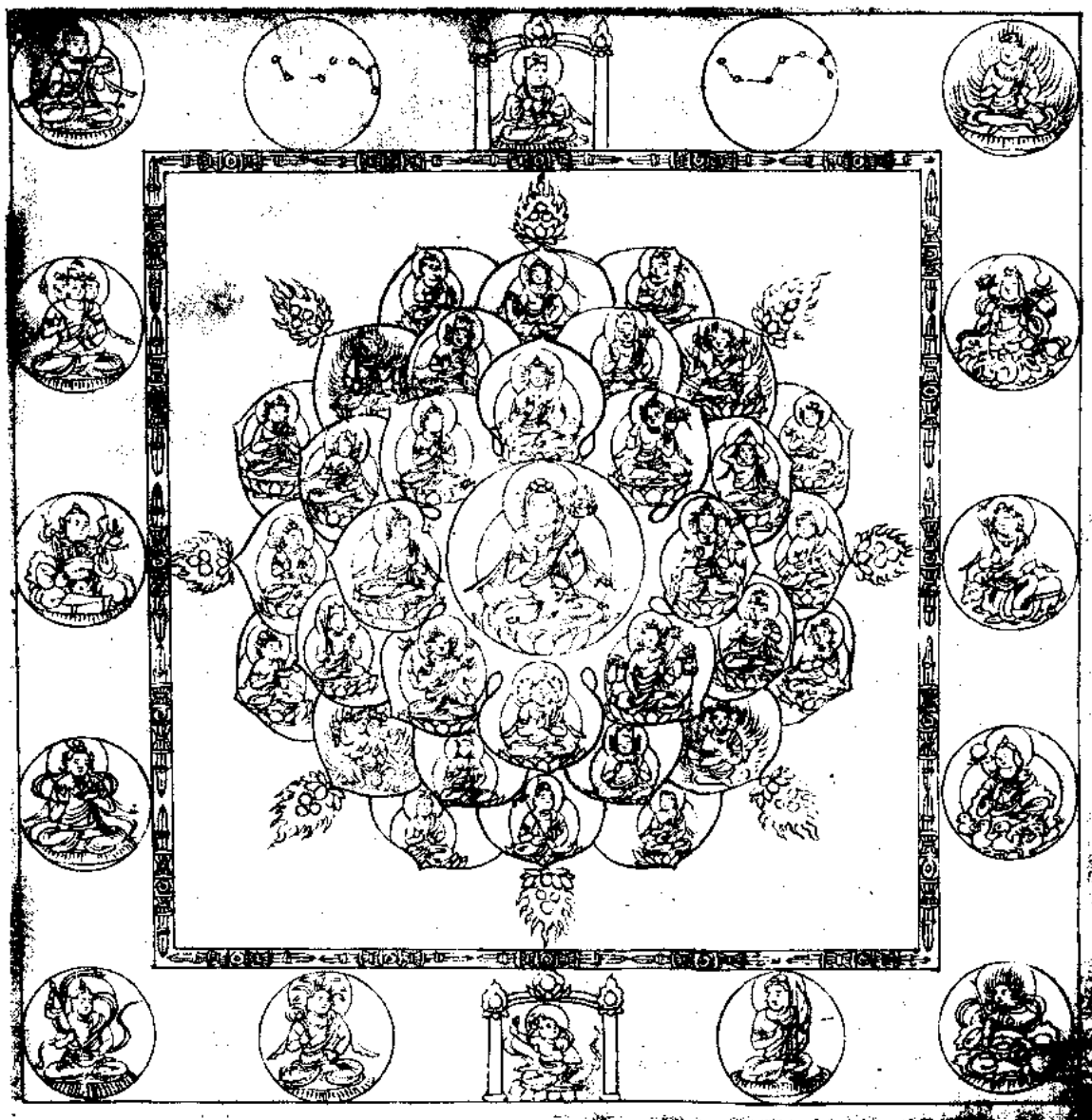


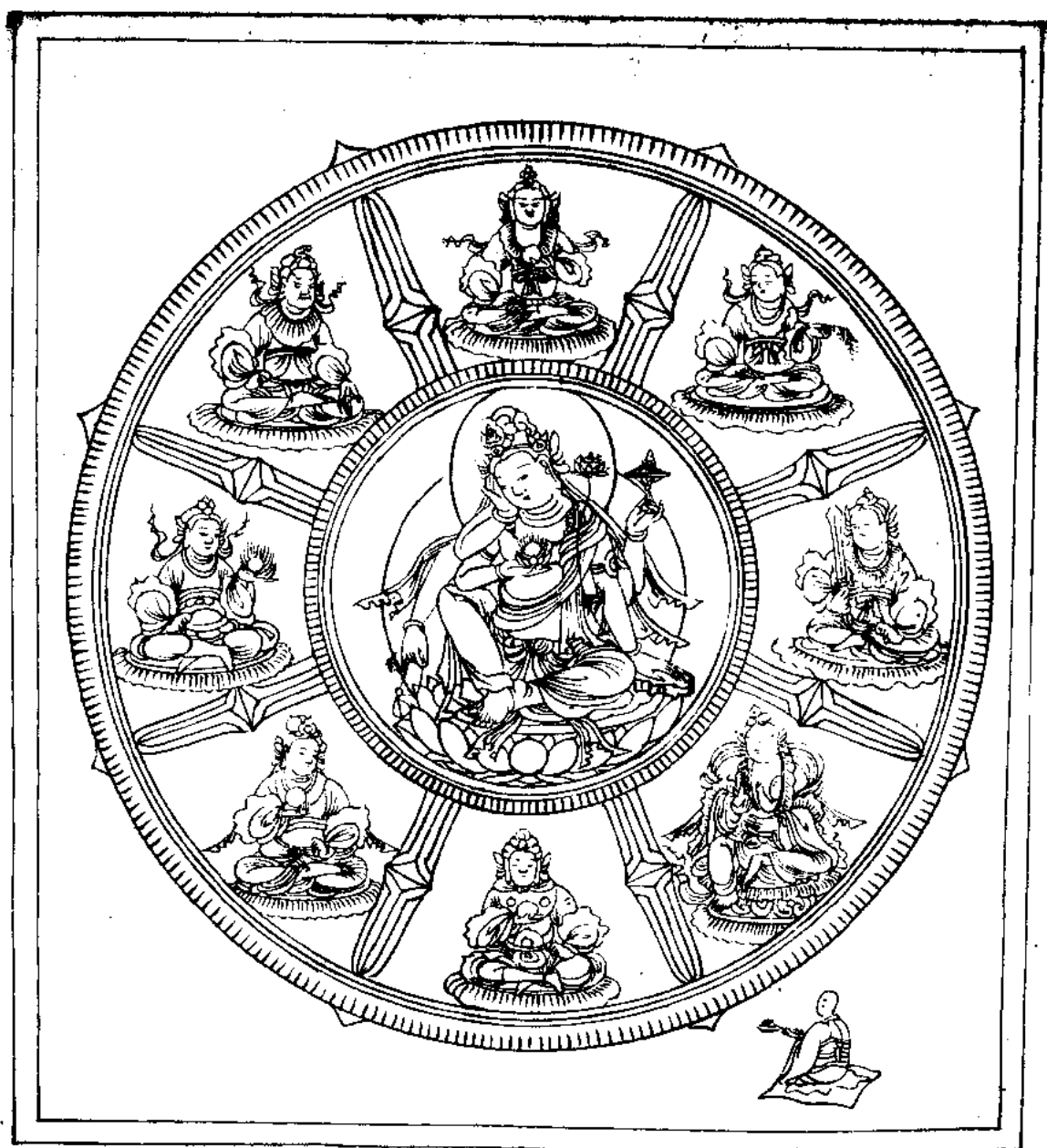
參考圖像 No. 70. 千手曼荼羅(其三) at. p. 28 No. 67

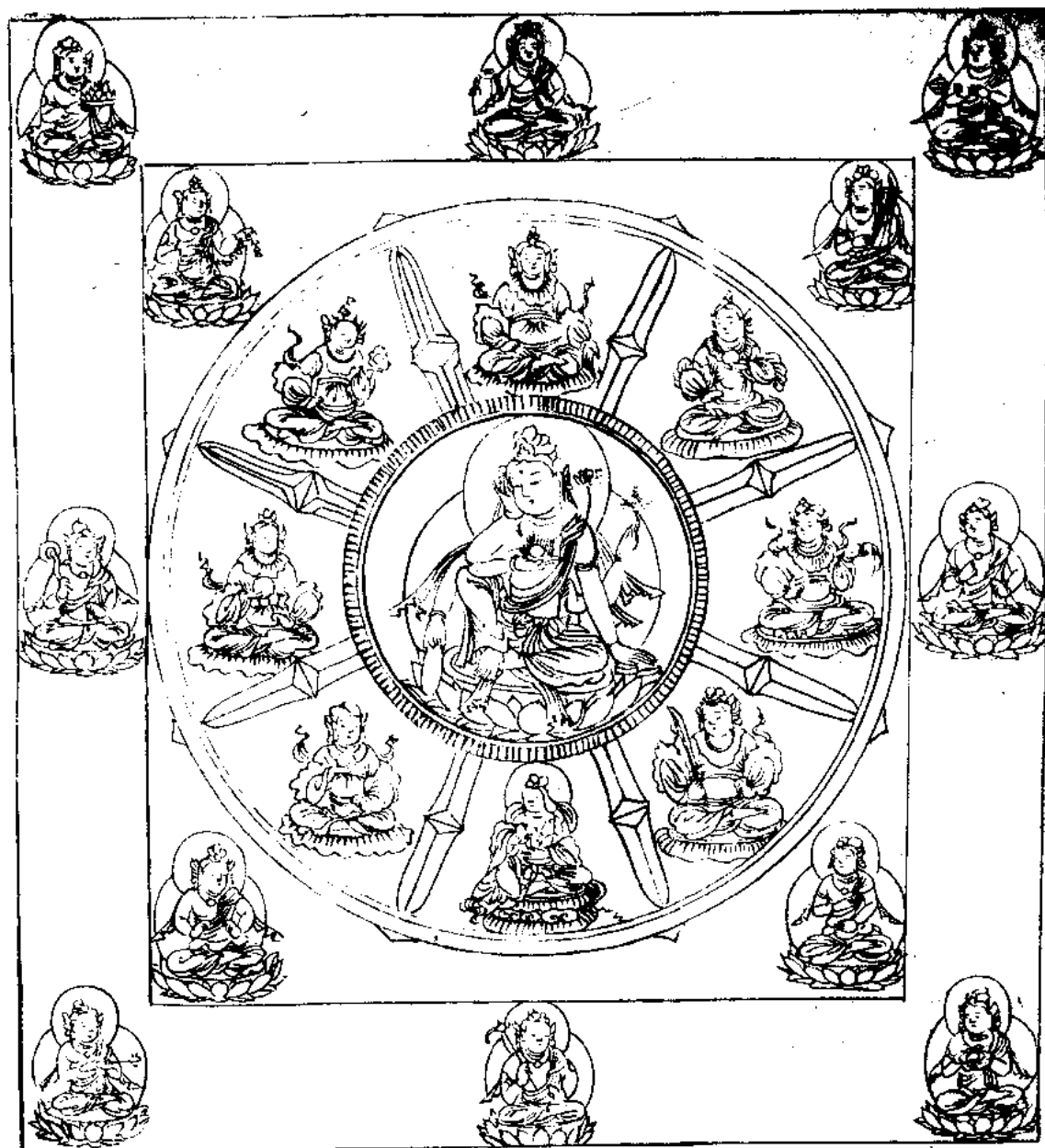


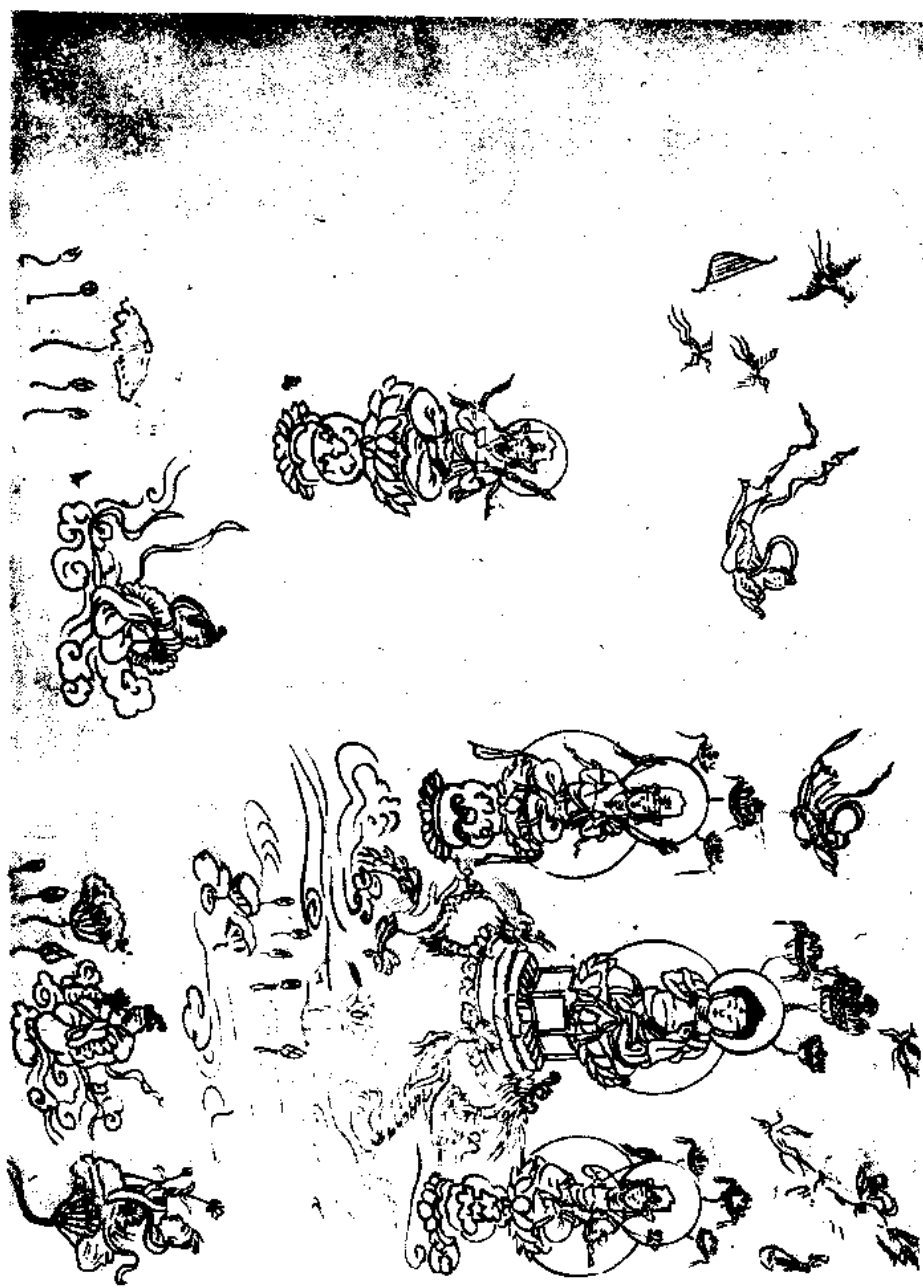


參考圖像 No. 72. 如意輪曼荼羅(其一) cf. p. 29 No. 69

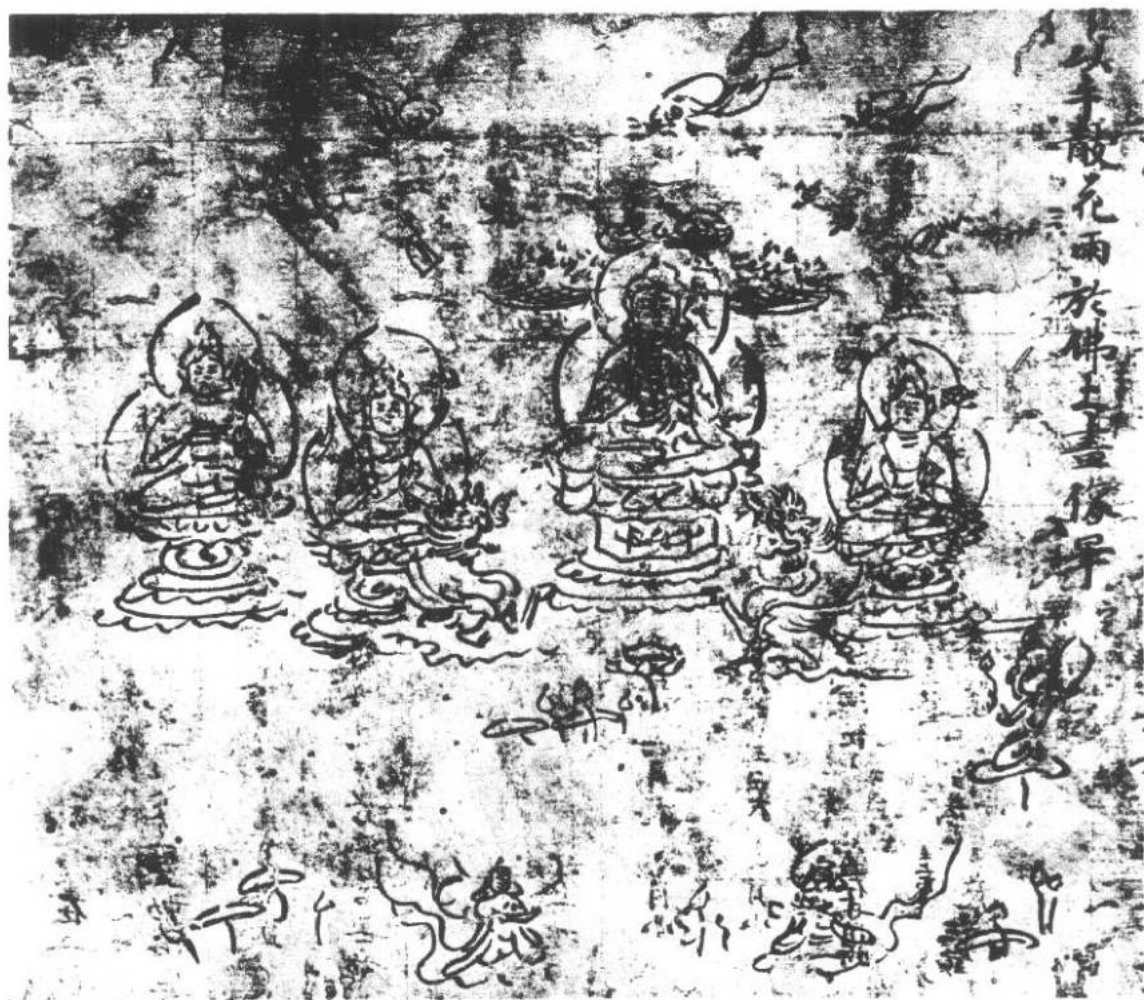


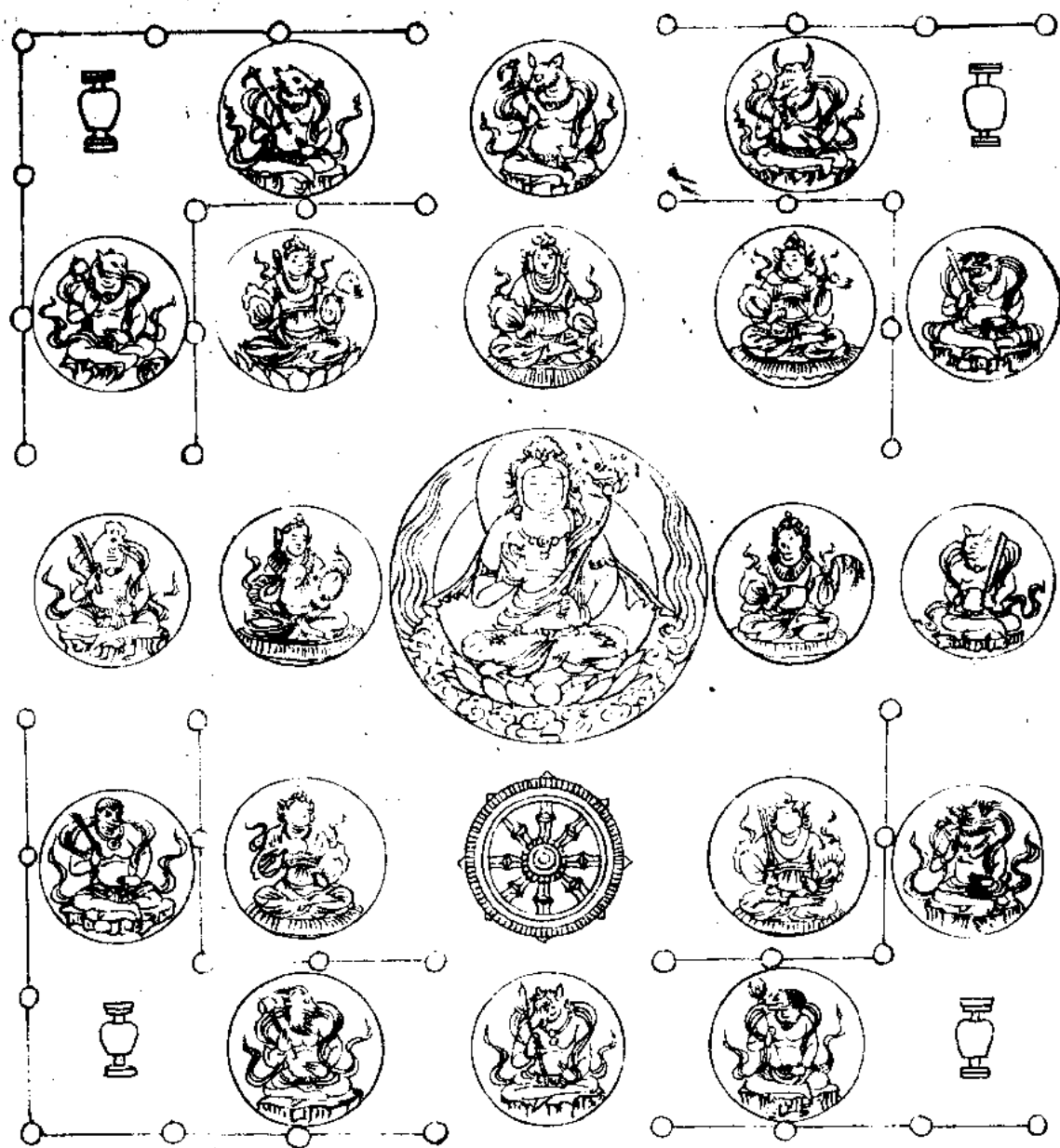


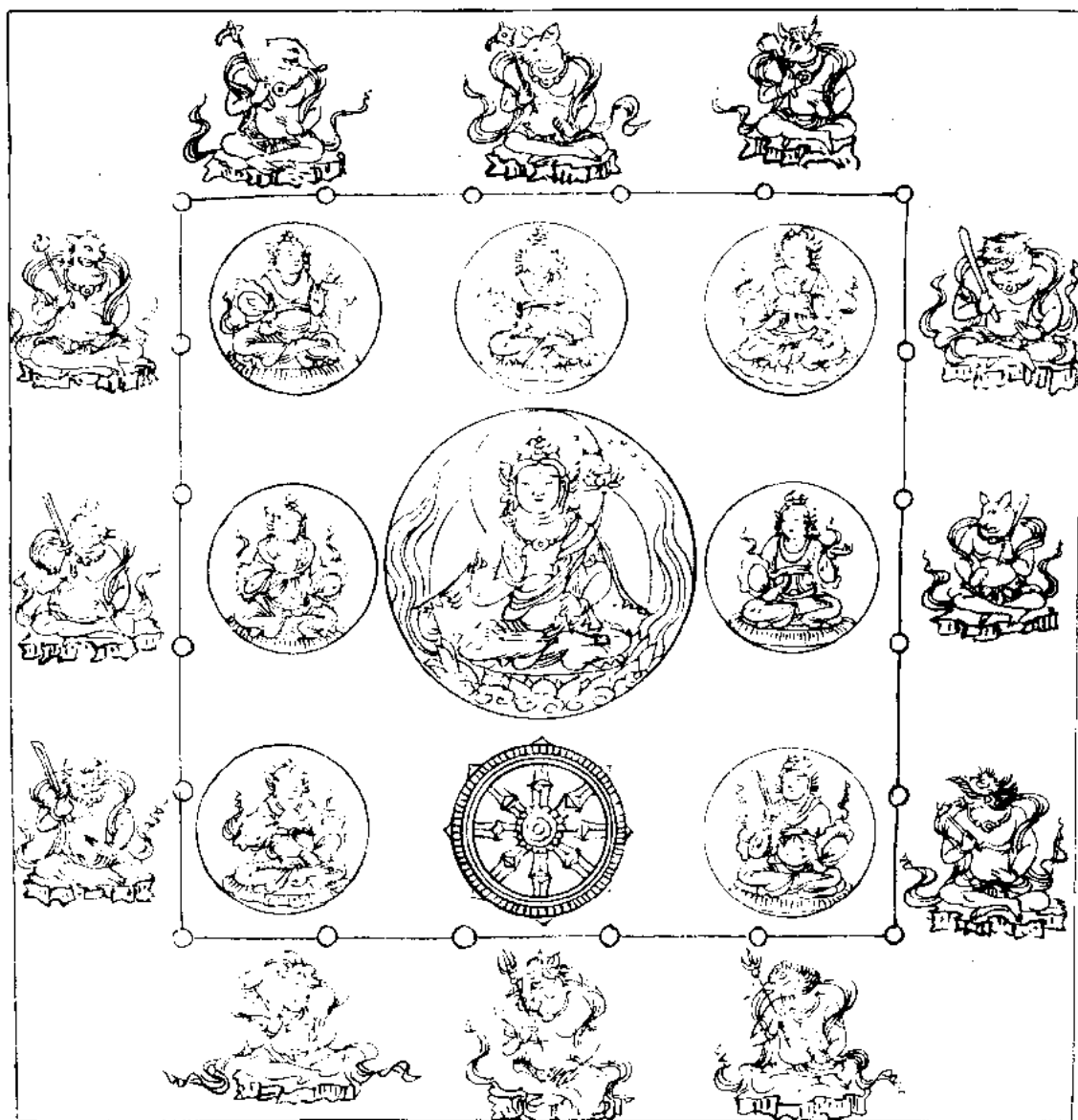




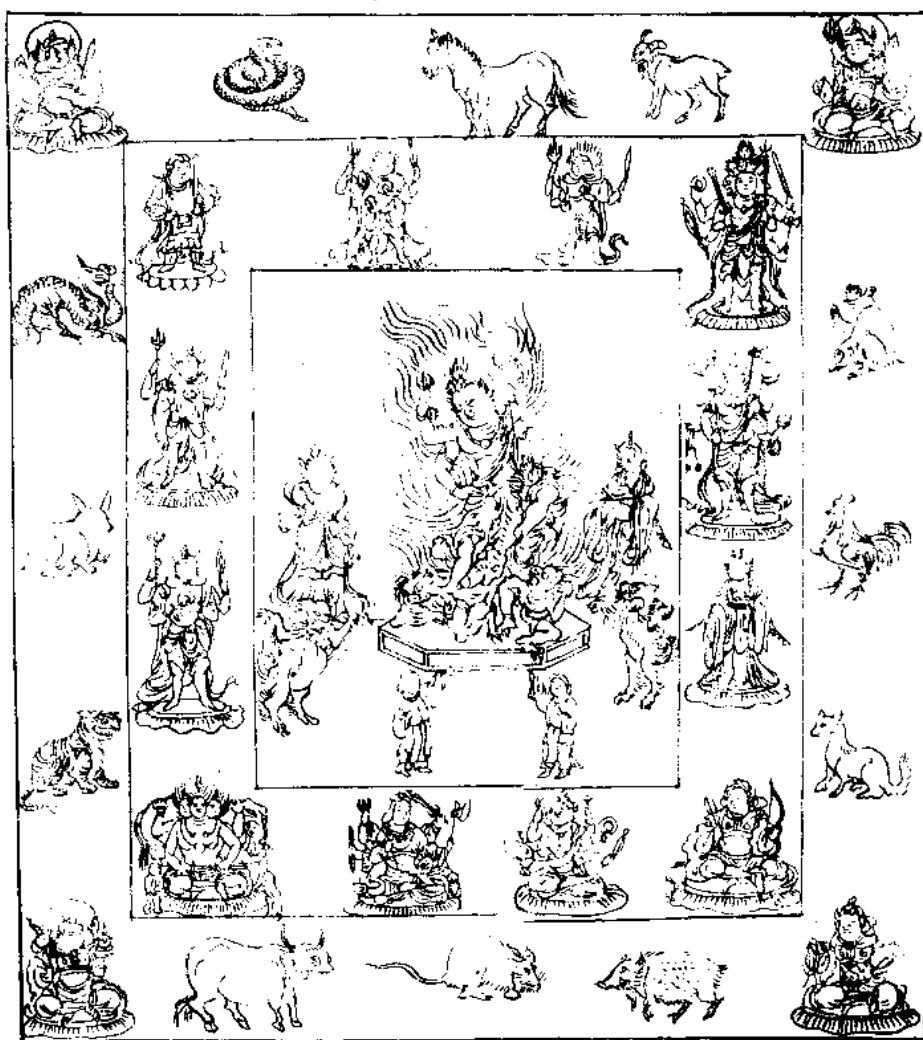
參考圖像 No. 76. 阿魯力經曼荼羅(其一)(甲本) cf. p. 30 No. 73











玄證筆曼茶羅集

一	持世菩薩曼茶羅	別紙二—三
二	大輪明王曼茶羅	尊位 (其一) …… 三
三	大輪明王曼茶羅	尊位 (其二) …… 三
四	安鎮曼茶羅	尊位 …… 四
五	十二天曼茶羅	尊位 …… 五
六	十天曼茶羅	尊位 …… 六
七	降三世曼茶羅	尊位 …… 七
八	軍荼利曼茶羅	尊位 …… 七
九	大威德曼茶羅	尊位 …… 八
十	金剛夜叉曼茶羅	種子 (其一) …… 九
十一	金剛夜叉曼茶羅	尊位 (其二) …… 十
十二	聖觀音曼茶羅	尊位 …… 十一
十三	千手曼茶羅	尊位 (其一) …… 十二
十四	千手曼茶羅	尊位 (其二) …… 十四
十五	千手曼茶羅	尊位 (其三) …… 十六
十六	千手曼茶羅	尊位 (其四) …… 十七
十七	如意輪曼茶羅	尊位 (其一) …… 十八
十八	如意輪曼茶羅	種子 (其二) …… 十九
十九	七星如意輪曼茶羅	尊位 (其一) …… 二十
二十	七星如意輪曼茶羅	尊位 (其二) …… 二十
二十一	阿嚕力經曼茶羅	別紙三—十二
二十二	妙見曼茶羅	尊位 (其一) …… 三
二十三	妙見曼茶羅	尊位 (其二) …… 三
二十四	毘沙門曼茶羅	種子 …… 三

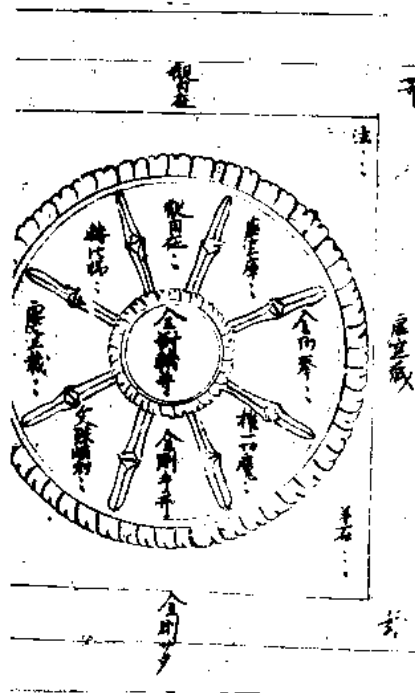
三	吉祥天曼茶羅	尊位 …… 二五
天	大元曼茶羅	尊位 …… 二六

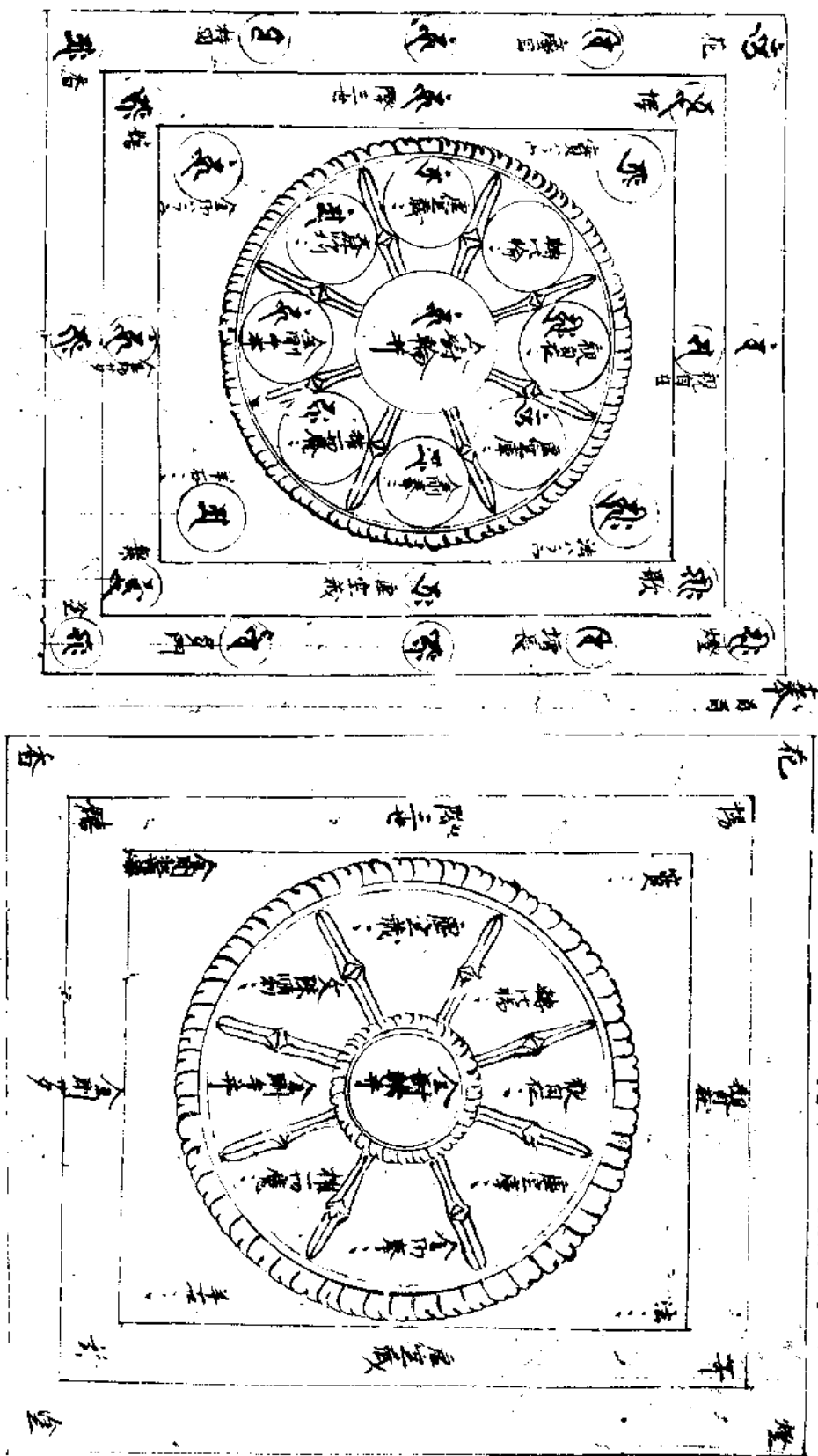
持世明王昇茶經

持世明王昇茶經
 元說自滿已杜度所取白墨長七肘又取白種香
 汁新金香汁相和以浸白墨經一宿其墨全變
 或不得有刃刺或履絲毛中不得有皮膠又金素
 師持八奇珍法造如法畫山持世之像其像身容
 青色黃色生蓮花座上結跏趺坐身作種種
 顯冠深銅種一莊嚴於右手中執願羅華
 手當作施元界手其像面高作發以之容以視
 其龍王作人身上畫作一龍蛇頭上帶
 其龍王身半在水中其像右邊畫大陽天其天一
 手執蓮花一手作招搖咒師起相其又係士
 像作三天仙人兩嚴七寶滿屋室中其像左邊畫
 寧堵塔塔大勝天上更畫一天人作捧寶珠身
 合掌又向大勝天下降畫咒師手執蓮花

大輪明王昇茶經

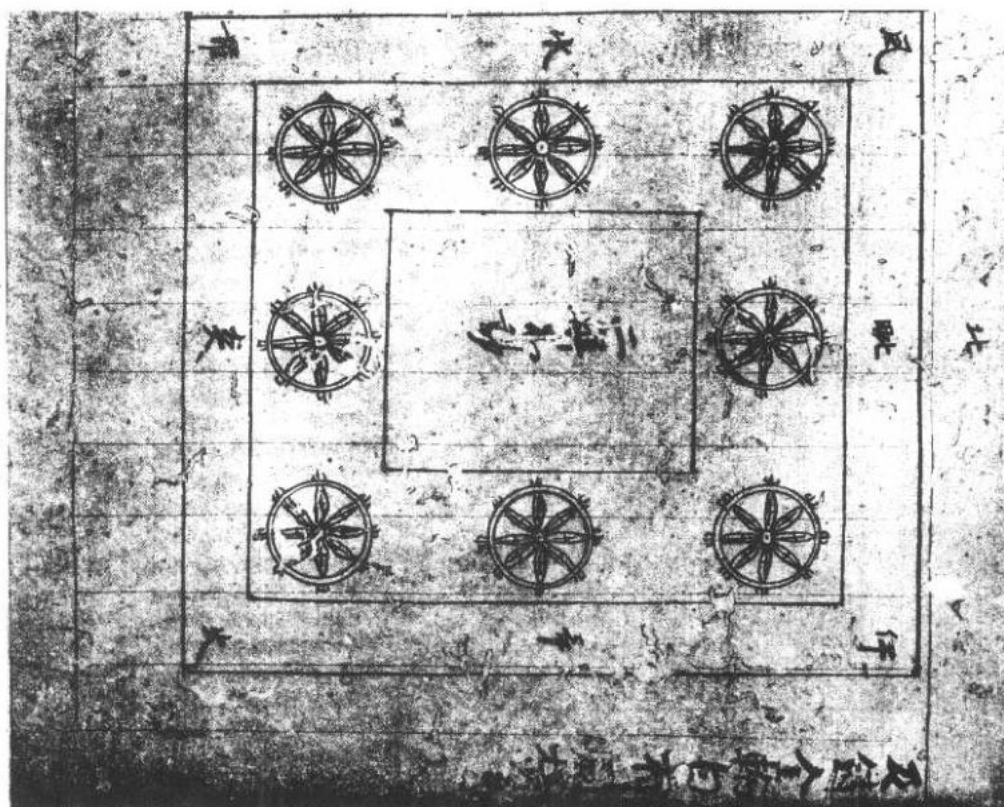
大輪明王昇茶經
 理趣釋云若依金剛輪并三摩尼應達三昇茶
 羅畫八輪輪形者中畫金剛輪并於八輪間畫八
 六共如前所列上文金剛輪并手觀自來應宜於金
 推一輪外四隅畫四收羅密并內院四隅畫西
 供養外院四隅畫四外供養內院四隅畫四并東
 金剛薩滿并南門降三世金剛西觀自在并北
 門屈宜藏云



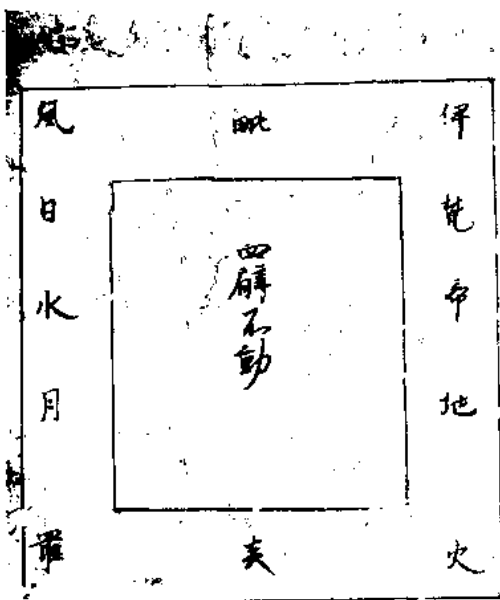


圖像 No. 2. 大輪明王曼荼羅(其一) 圖像 No. 3. 大輪明王曼荼羅(其二)

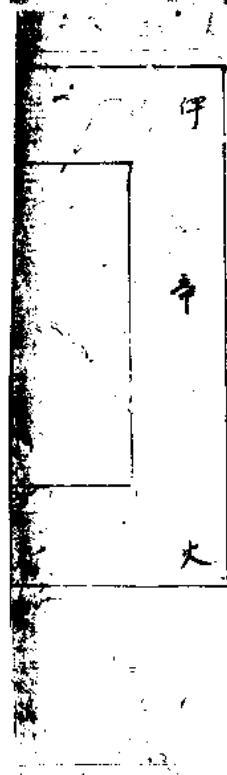
圖像 No. 4. 玄觀筆墨茶羅



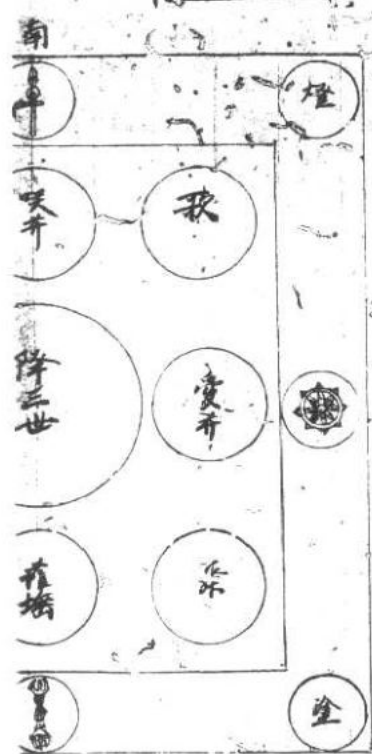
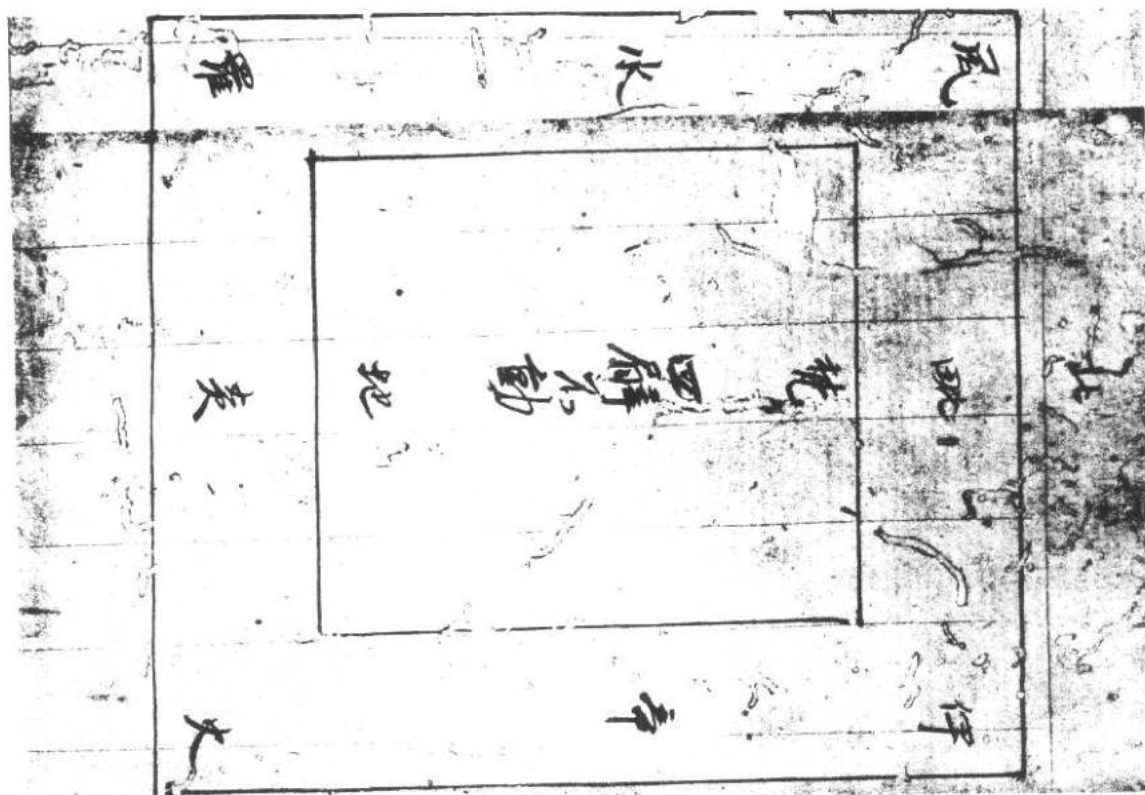
玄觀筆墨茶羅
不動筆銀軌。玄觀筆墨。清造。三不動。專明。王叔倫。
如法修造。隨其自。或金。或銀。乃至銅鐵泥木。教
畫身。長。相。其。兩。肩。身。俱。齊。羅。相。其。身。滿。毫
如金。銀。鐵。瓦。等。威。名。者。若。志。若。智。若。智。若。智。
金。銀。石。光。地。城。煙。耳。地。有。如。特。筆。狀。此。之。最。像。
宮。中。畫。乃。至。古。官。家。聚。聚。人。民。門。戶。畫。之。亦。有。
於。中。取。少。多。處。筆。畫。此。係。其。之。銀。像。生。神。父。
志。若。身。劍。市。色。陰。滿。路。最。目。口。皆。利。牙。上。出。其。
如。在。宮。中。上。稱。在。口。而。邊。作。之。想。中。身。度。人。能。
金。剛。輪。門。耳。輪。四。外。腹。之。三。腹。全。圖。行。頭。案。頂。有。
如。特。羅。失。生。因。實。頂。依。山。上。及。八。天。王。等。諸。尊。也。



十二天曼茶羅
 儀容諸世八天法方出通境外八隅空四境而為
 十聖位於帝人左右並梵天地天或復於龍方梵
 地相對置曰天月天位曜宿隨轉中位觀四解不
 動忽忽王兩手全剛拳屈地曲如釣以安口而右
 動无持索須弥山為坐身以通八帝利銳人剛轉世
 滿紺色青蓮頭垂髮索威能如劫燒勢如摩竭尊
 轉變元能對



十二天曼茶羅
 全剛頂輪伽羅摩身中道境外八隅空四境而為
 或道業或金青草或空四境而為十位於東方而
 左右置於天地天若道境內无置慶即於道境所
 別為方界即於中作八方於中作兩位最梵天此
 天中心置四解不動尊青肉右三手各別作全剛
 拳頭拍少拍各曲如釣形半口兩邊角想如牙石
 手持刀今堅左手持索索點右押花坐盤石上
 威焰光明遍身如火
 既云度次行者應知諸方八位九可造作湯茶
 壇隨此而轉東方曰陀羅南方曰摩羅西方曰
 摩北方曰少門東北曰得舍居南東為諸廣西南濕
 聖底西北為轉度其上方諸尊多依帝教之右下方
 諸尊多依龍尊之右上方諸尊下諸地居也

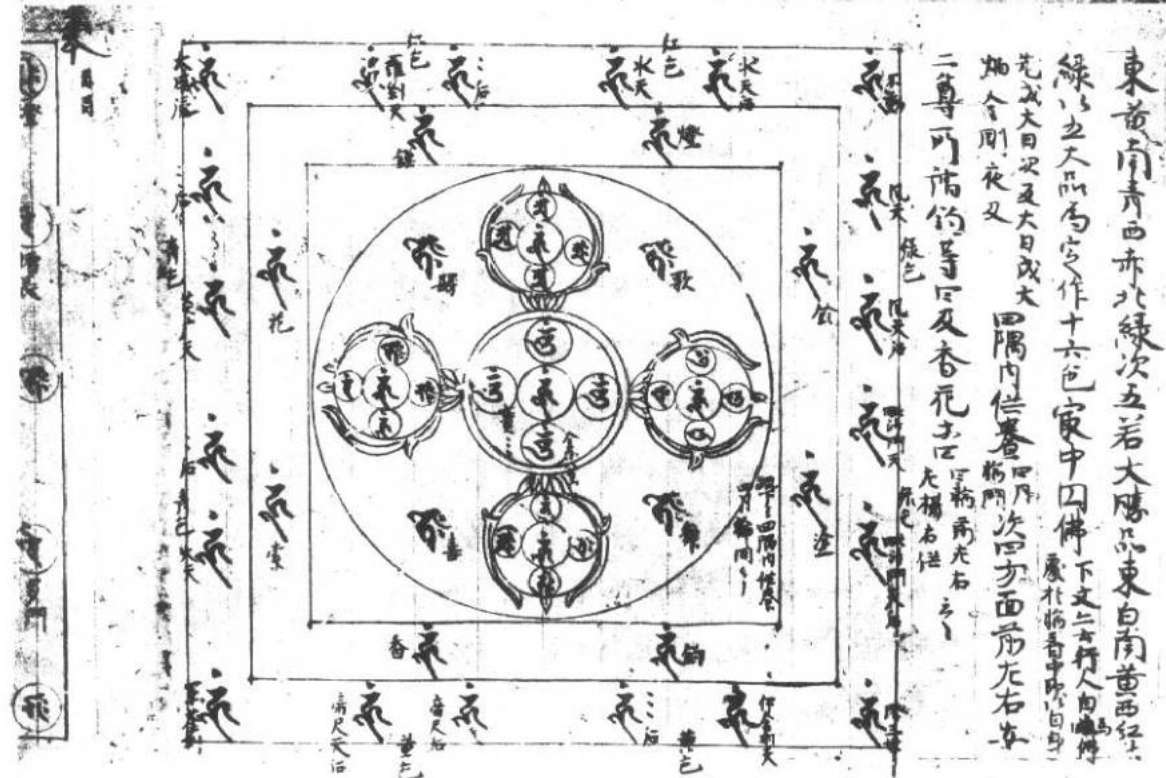


降三世曼茶羅
 理趣釋云五種元獻論有成降三世曼茶羅中天
 安降三世前安忿怒薩埵并後安忿怒善哉并
 右邊安忿怒王并左邊安忿怒心愛并西四隅安
 口忿怒內供養於外四隅安四忿怒外供養東門
 安弓箭並舉其南門安約西門輪此門三股互
 一皆如前四種曼茶羅皆以降伏以為三摩地



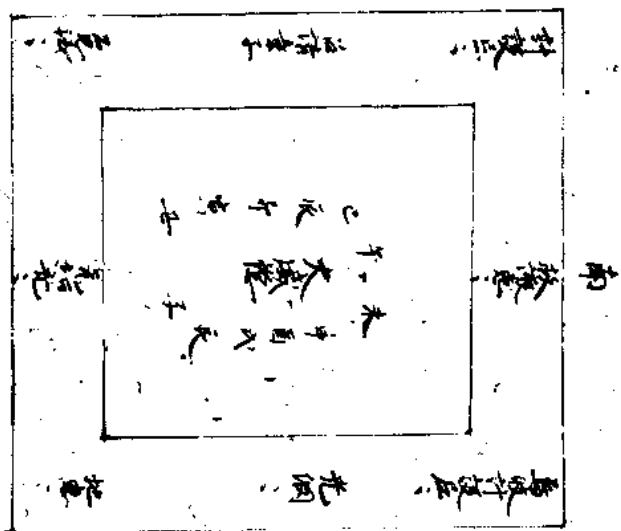
圖像 No. 6. 十天曼茶羅

五色光一隅四名總四隅十六護各持五拳持
作金剛擲步時後呼字主身作四方形取中
同佛威四隅內供養次四方面左右左右二尊
西結竹木一及香花亦一
或大平石輪連續十字或六四輪放光烟金
復作金輪中當摩於五分觀大月輪一輪等事
共名五用金剛家字華石中安有 用金剛家字
四起起四隅十六護各持五拳持作金剛擲步皆
從則字主身作四方形文殊八字法第三院十六
大天外護南燭魔后次羅刹主次南羅刹后炎
水天次北龍天后次北風天王次東風天后次東風沙
門天玉尊次東風沙門后次東伊舍那天王次南伊
舍那天后次南帝人天王次南帝人后次南大天神次
天后次燭魔天此經四隅各曰大護當四四方之后架
如維馬四隅各曰大護惟五大虛空藏之方也中白



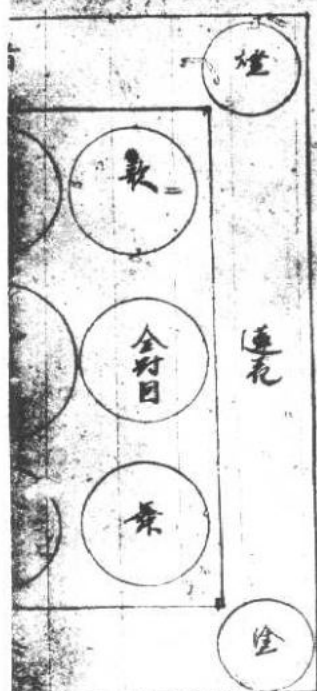
圖像 No. 10. 金剛夜叉曼茶羅(其一)

四足三元戶復倚背有大烟如女又如吹臨諸王
中當假心足下有宜神決畢十二神復走申討西
度於煙水因煙亞煙中量輪及院東方出諸重
子重而如童子語上生登奴弓矢東南方討賊足
童子如上升左拳右把三角對左拳量腰南方故
談其重子如上升左握輪右把光長右且上區角
為假討賊足童子如二升二手花錢西光個重子
左拳量腰左棒孔雀尾西北方地惠重子
右手把三胎如金剛截王北方元振光弄子如
上如左拳量腰右凌上東北方不思職重子
左拳量腰右把上微打勢也己第五
也三輪下一有師子

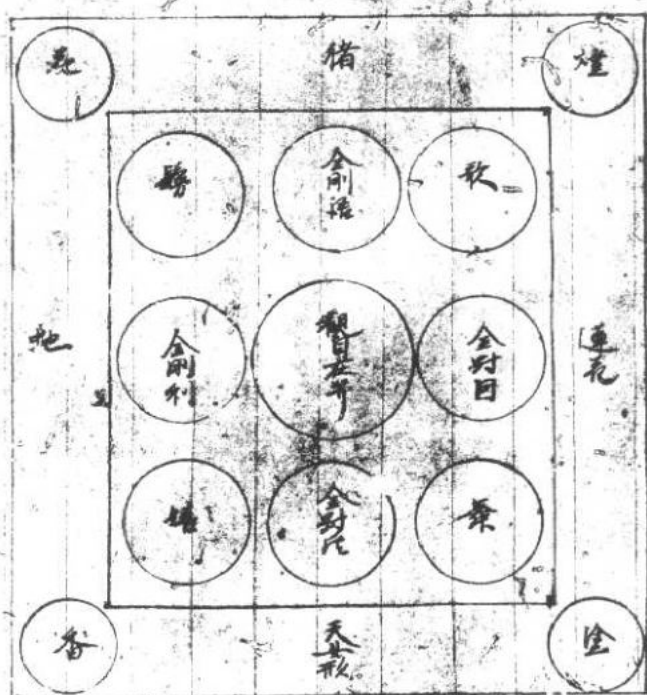


金對花又号秦羅
瑜猗娃，号作号秦羅及畫或觀成而觀主
一字成，又平右輪放光端金也度於右輪中
高點於五，分觀五，大月輪一輪五，五等六為

理趣教之得自性清淨行性如來者是觀自在王如來
吳名則此佛名元壽壽君於淨妙四土現成佛身
非淨之國也事則王親自在并口以行者持觀自在并
心與言欲火成就般若理趣應達是厚矣至第十卷
親自在并如來儀形前安人則以安人全對利安
全對目上係後安人全對語於口內外隔安口內外供
養於東門盡天女孔安人負語南門盡地裏顯形西
門盡猶未顯形此門盡蓮花裏涅槃形也



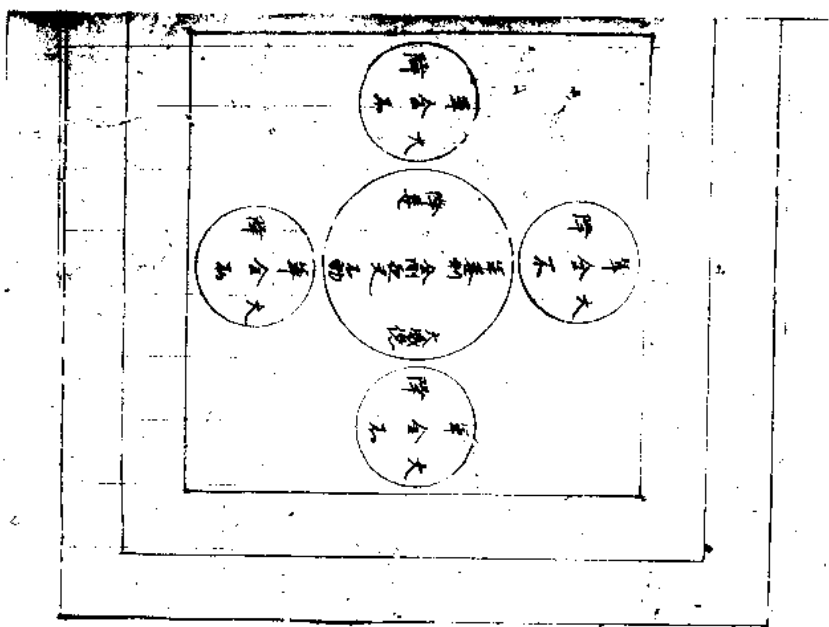
千手執云千手千眼觀自在并具元量相好威威
唐十波羅蜜并周匝圍繞八供養各位本位於寶
樓閣西隅有白衣大白衣多羅毘藍等大并各与
元量蓮花部众前後圍繞诸天八部以馬眷屬如
是觀想元王聖王及本尊拉須分明今今安共



圖像 No. 12. 聖觀音曼荼羅

圖 11. 金匱夜叉神像(其二)

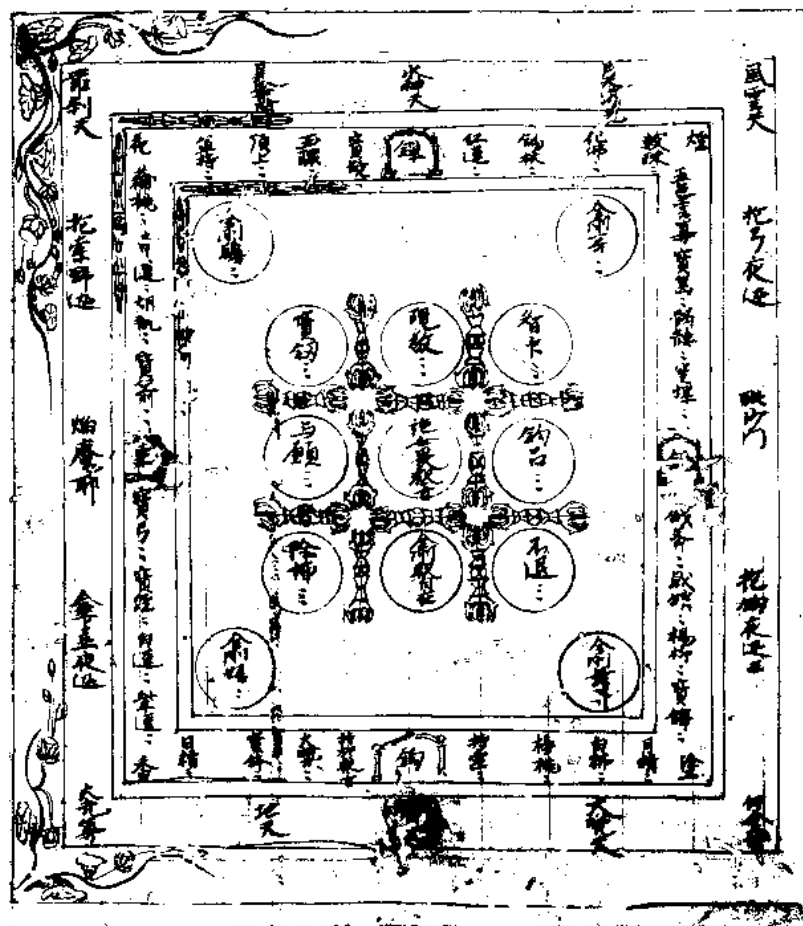
觀下古畫似此中五月輪壇並作大明輪壇各五
大明王轉寶各作五十二尊尊若欲以之入尊則
一尊者仁王儀軌之於壇文在壇中畫十極
東畫五股人廟村南畫畫八廟寶西畫畫八廟
北畫畫金剛牙此五畫身是身并子中可說
密之與東南限畫三股人廟村南限畫寶窟西
北限畫寶窟東北限畫手石人廟村南上畫寶
瓶金銀銅泥新瓦等寶二斗以下瓶滿盛水拂拭
惟花用五色絹各長四尺青畫赤線如土泥等紋
瓶與次第三重東門畫金剛南門畫金剛南
門畫金剛限畫金剛餘東南門畫香壇東南
門畫南門中畫報華四門用畫燈東門畫
燈香門畫村寺皆有走炮三重壇外重壇



在東南月輪全周畢吉度任東南輪全周取度
 任西北月輪已就內院竟今就第三院東門全周
 南門全周索西門全周錄北門全周餘東北全周
 東南全周香西南全周花西北全周燈八供四攝
 本形和人事東門南邊持符觀音次文勢觀音
 次寶鈴觀音次白樹觀音次東門北有持索觀音
 次楊排觀音次白樹觀音次月精觀音持南門東邊
 有寶弓觀音次寶經觀音次白蓮觀音次紫蓮觀
 次於南門西安寶持觀音次胡瓶觀音次青蓮觀
 次補瓶觀音於西門南邊安寶鏡觀音次玉環觀
 次頂上觀音次軍持觀音次於西門北安紅蓮觀
 次寶經觀音次寶珠觀音於北門心
 次寶經觀音次寶珠觀音次寶珠觀音次五色雲
 次於東邊安鐵斧觀音次鐵鎗觀音次楊柳觀音
 次寶鈴觀音已上五八尊形像也今就第三院說竟
 次說天等院東北有舍那東方廣尺天東南火光尊
 南方焰摩訶西南羅刹天西方水神天西北凡宮天
 北方毗沙門持符舍那南安持大梵天於南方南邊

有下方地天於大天西淨人拿蓮夜邊於燭魔天
 安把索野迎日天聖辰開在於羅刹北月天清涼
 在於水天北於風天東邊安把弓夜迎把釣夜迎上
 在於多門東已上二天及毗耶夜迎形像及中明
 如餘部法說既說尊色位今說地色十內院地色
 而最上地色花徑內至次間獨結持為界第二院地色
 淺黑散銀花至第二院間以白銀三點示界於院
 第三天等地如虛空界色於地外方地蓮花以五藏
 既說壇場相



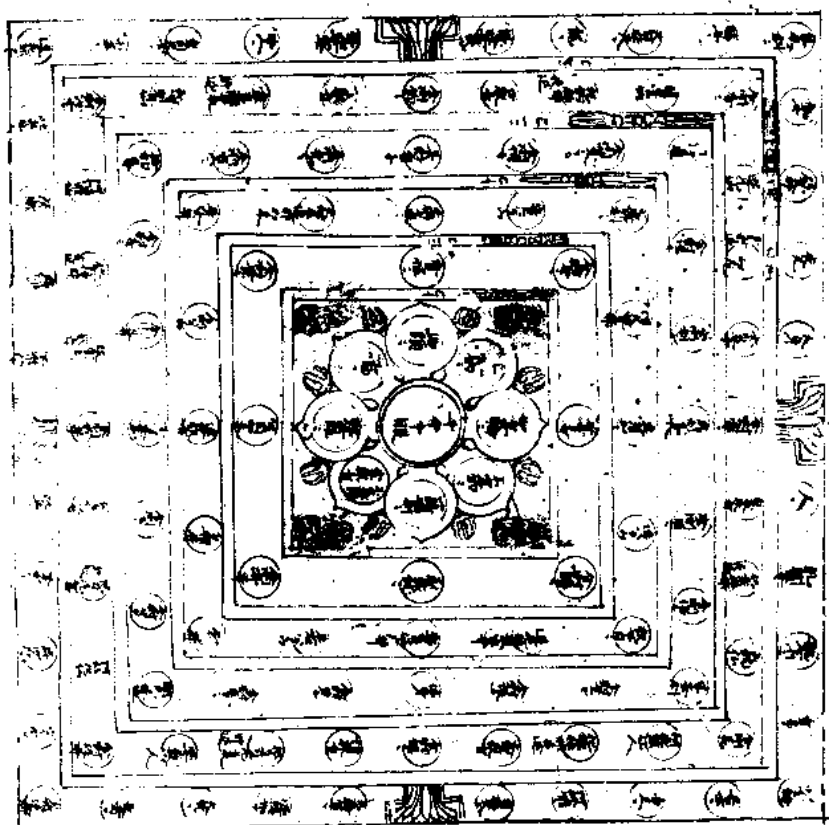


圖像 No. 14. 千手曼荼羅(其. 2)

妙相第二時還有八葉蓮花其色青黃妙葉
 全開葉八葉具輪重葉莖開現三級象寶自在
 嚴密出元量光百千種妙花續以嚴密純脫
 清為地量金象樹嚴妙場元等倫後此花基心
 出現大月輪猶如秋滿月中有本尊像号十千十
 千妙色五三象八色是時囉囉指發結冠寶冠已
 紺珠系頂上五百面具眼一千滿胸寶冠中安住化
 佛身相十百肩其中操雜寶光定日精珠左理寶
 殿珠左定戰動珠左理榜排珠左定寶弓珠左
 理鐲持珠左定寶索珠左理紅蓮珠左定白蓮珠左
 理寶寶珠左定玉照珠左理寶鏡珠左定寶梳珠左
 理化佛珠左定寶螺珠左理金剛杵左定鐵鈞珠左理白
 拂珠左定寶鐲珠左理如意珠左定惠十蓮合蓮金蓮
 右惠月精珠右智色雲珠右惠錫杖珠右智寶鈎珠右
 惠寶箭珠右智胡瓶珠右惠歡珠右智紫雲珠右
 惠青蓮珠右智寶經珠右惠金輪珠右智寶離珠右惠
 寶柳珠右智上珠右惠寶鈴珠右智三級珠右惠

鐵鈴珠右智元畏珠右惠寶下珠各妙寶勝獨如
 尼瞿杖錄劍馬肩五百寶寶路妙勝及天衣五
 妙妙寶寶妙推元倫近既說中台像威儀妙相克今
 說八葉上大并種子八葉蓮花量 妙從東北既右旋
 今說四種蓮口遠地北地東方蓮花南方蓮花
 西方蓮花北方蓮花蓮花地東北南西第隔內各
 有寶瓶妙色元有箭英驛蓮花座瓶樹大蓮花次
 說四蓮地四方蓮花門其色鮮赤白青故元量光定
 紺青地至第三院間以黃金為地有一劍杵形次從第
 二院至第三院間以黃金為地有一劍杵形次從第三院
 至第四院間以黃金為地有一劍杵形次從第四院至
 第五院間以銀以為地有一白羅瓶次從第五院至第
 六院間黃金以為地有一劍杵形次從第六院地色紺青散
 金花第三院地色淺黑散銀花第三院地色淺紫散
 金花第四院地色淺紫散銀花第五院地色淺青散
 金花第六院地色深赤頻散色此曼荼羅法懸從
 黑布布其中諸尊六位大月輪中

此曼荼羅之古本在法華院經之經云之經云之經云



此曼中白之尊次諸尊坐位飛仙其座不者之
坐位如左表向可見經

圖像 No. 15. 千手曼荼羅(其三)

千眼千臂觀世音菩薩壇城咒經云：千眼千臂觀世音
并十肘曼荼羅法門

九作一切曼荼羅法門經云：梵本云：此國之元者曼荼羅
鬼比知彼中天竺國皆取上勝福處之比以爲壇場曼荼羅
河國有持比方法不能應說且滿淨比第一山后廟靜
之度極比古其石像及元器器物外於平淨比以明位
摩義和香法比經廣一丈六尺壇開正西東方而
其授頭顱呢天乙而方門其授頭顱又天玉西方門其授
博又天玉北方門其授沙門天玉次天玉左右各其
屬各居今信曼荼羅中心其千眼千臂觀世音言
薩像、前置案、上置咒法燒種、香案種、飲食
燈、花、水、供養唯除雜物並事

千眼千臂觀

提頭陀天玉

香風

千眼千臂觀

動供于千手堂
此無花但四天王堂用示
曼荼羅東南角至千手東北角若依此法

如意

二葉曼荼羅

如意輪陀羅尼經

曼荼羅

古云：三院內院當心畫

二葉曼荼羅蓮花於花臺上畫如意輪觀自在并西面
結跏趺坐觀面照身人色相首戴寶冠有發

并大手執開蓮花當其臺上畫如意寶珠右手

作陀羅相天諸衣服珠璣七寶寶器種種

嚴身放衆光東面畫圓滿喜顰明王左畫白衣

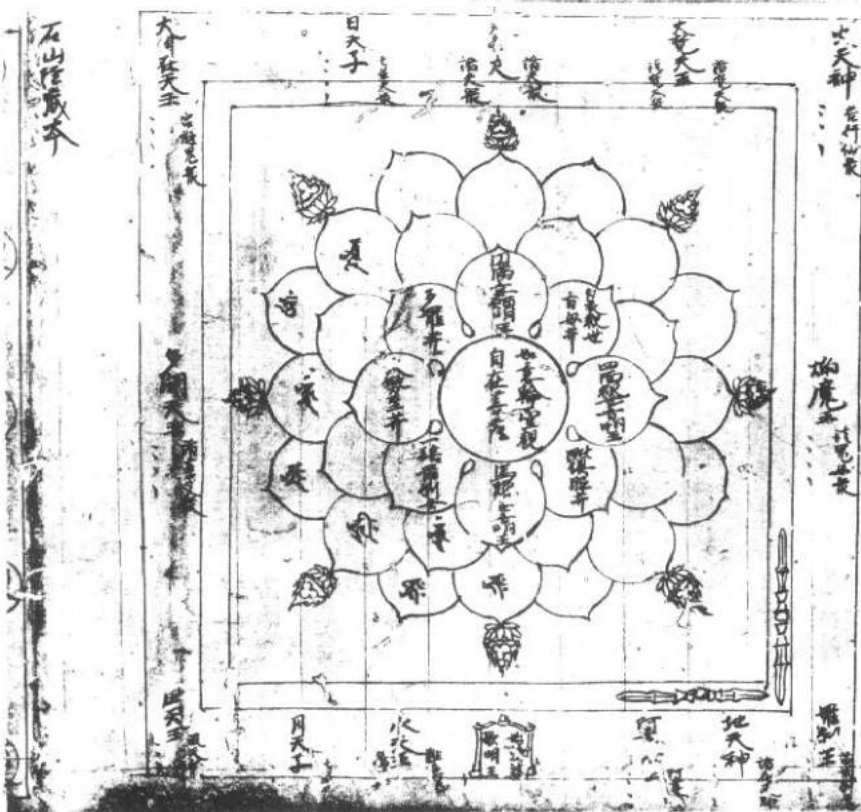
觀世音并其面畫大勢至并左畫多羅并

西面畫馬頭觀世音明王左畫二菩薩并其面

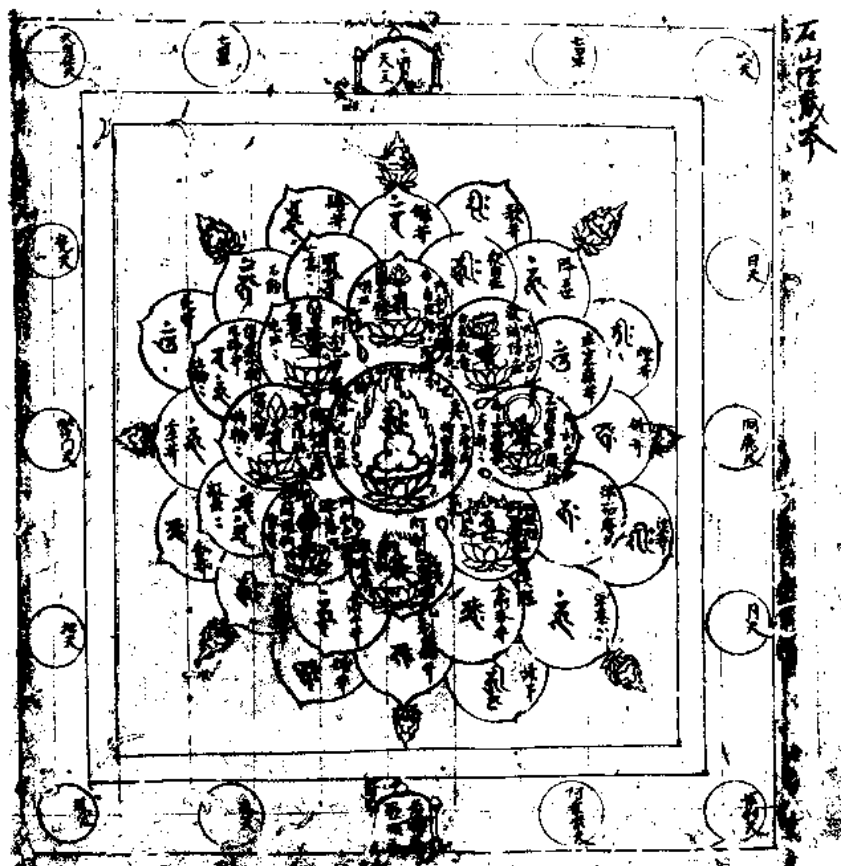
圖像 No. 16. 千手曼荼羅(其四)

畫四面觀也。言明王尤畫以俱服并是等并寶
冠珠璣耳飾。陳劍天諸衣服種。茲嚴坐蓮花
止半跏趺坐外院東面。畫天帝。尤右畫諸天長
圍繞南面。畫焰魔王。^{太閼}尤右畫諸鬼。女衆圍
繞西面。畫水天。王尤右畫難陀龍王。海波難陀
龍王及諸主衆圍繞北面。畫少同天王。尤右畫諸
藥叉衆圍繞東南面。畫火天神。尤右畫諸行小
衆圍繞西南面。畫羅刹王。尤右畫神諸羅刹女
圍繞西北面。畫風天王。尤右畫風天衆圍繞東
北面。畫大自在天王。尤右畫宮幪鬼衆圍繞又
東面。畫日天子。尤右畫七星天衆圍繞又西面。畫
月天子。尤右畫七星天衆圍繞又西面。畫地
天神。尤右畫諸藥叉神衆圍繞又東面。畫大梵天
左右畫諸梵天。天國遠又西面。畫阿素洛王。尤
右畫阿素洛僕從圍繞又西面。畫諸歌。^{神歌}
明王是。尤天神右執器仗種。衣服如法。嚴華
鉢。主內外院衆。畫寶所。道內院衆上。遍畫
種種。色如意寶珠。繞畫大焰外院衆上。遍畫

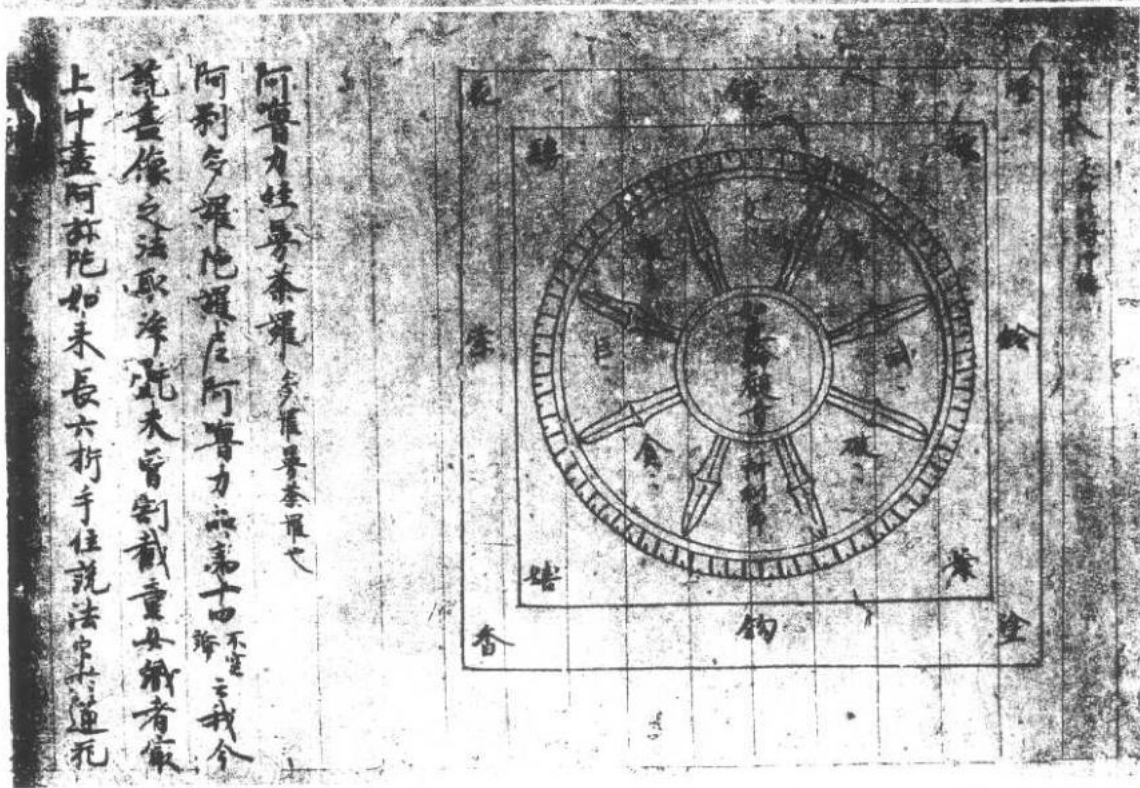
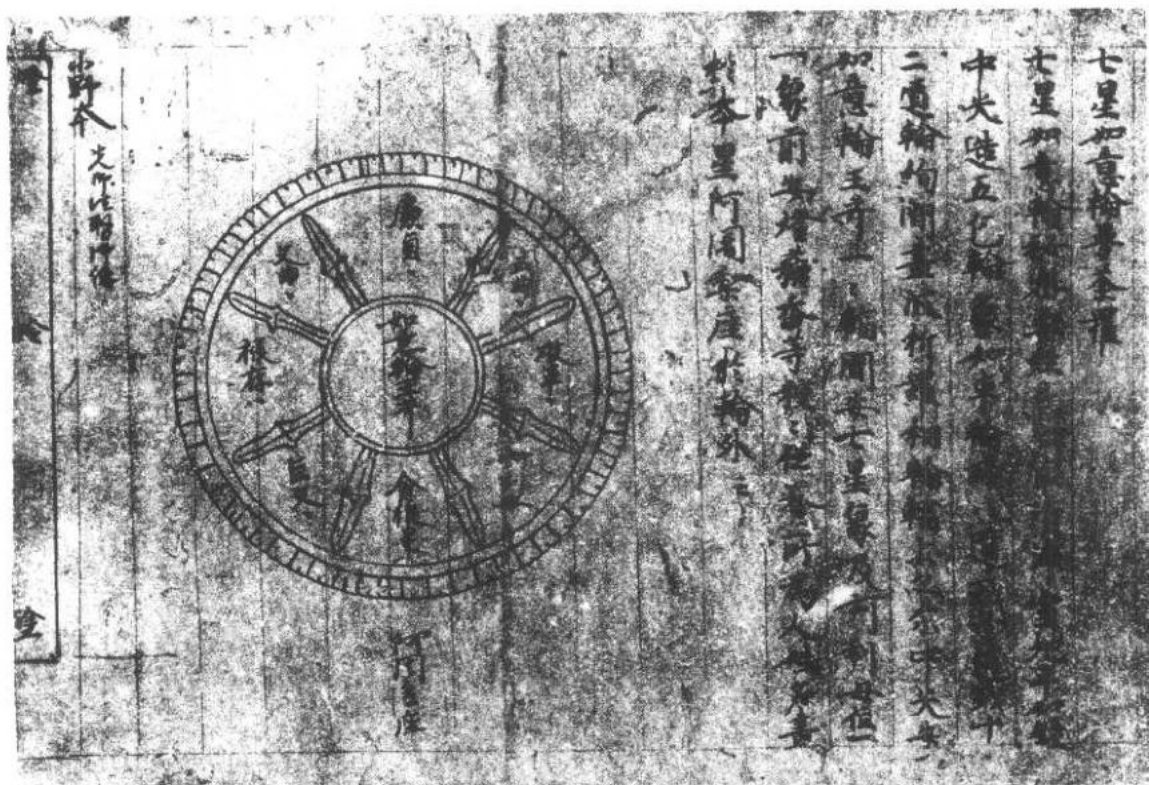
股全則杆令頭相次繞畫大焰。此秘密等。竿羅
三昧耶力不逮者。但畫座位。各於位上題書。
字作法供養。



圖像 No. 17. 如意輪曼茶羅(其一)

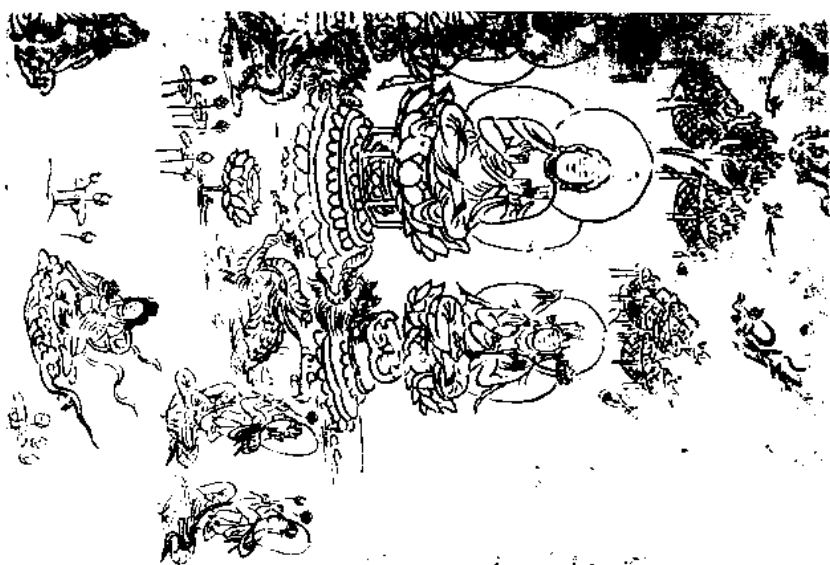


圖像 No. 18. 如意輪曼荼羅(其二)



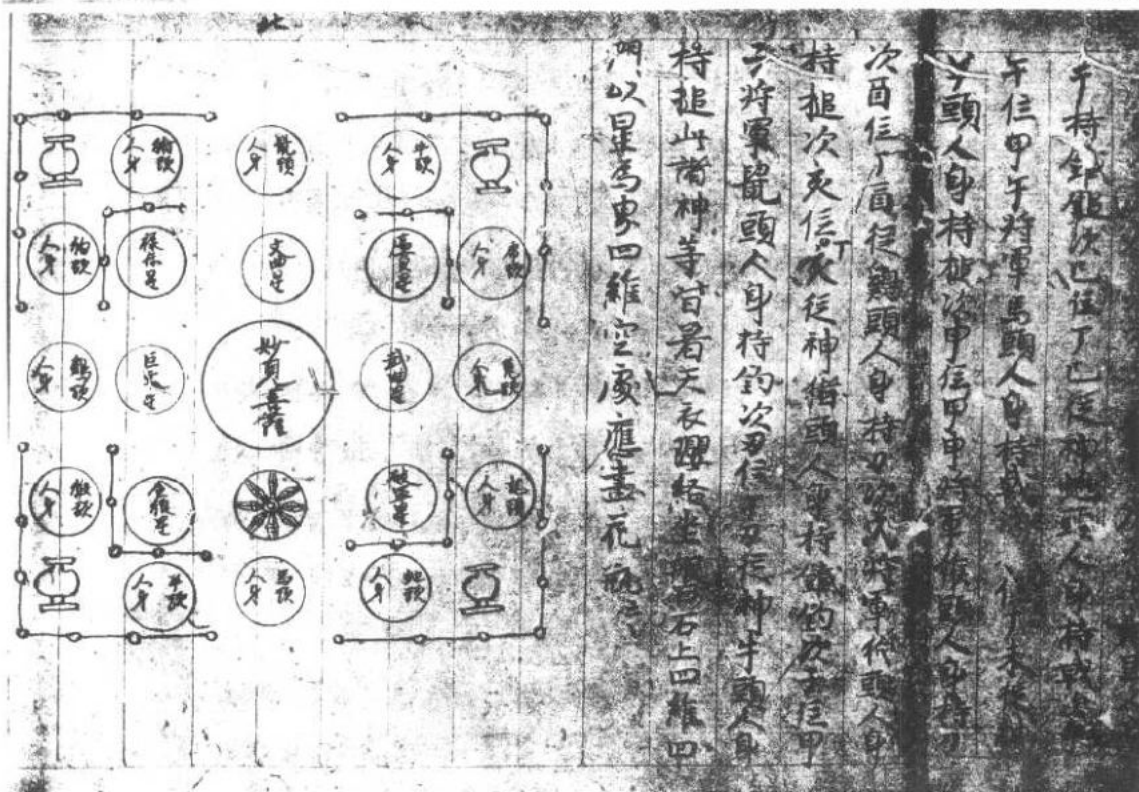
圖像 No. 19. 七星如意輪曼茶羅(其一) 圖像 No. 20. 七星如意輪曼茶羅(其二)

臺結跏趺坐身純金色作白焰光佛如畫觀自在
 并尤畫大勢至并首純金色作白焰光二并右手
 各執白拂左手各執蓮花大勢至身稍少於觀音
 在阿耨；密身莊嚴其身著寶璽踏寶劍皆衣白
 雲綾並上結不渴根下於自在之右畫聖者半擊
 羅志作半白毘藍上結寶冠種種寶衣似為法
 嚴者白色衣天衣為黑九手持持持持持闍婆右
 手執於殿若梵天於大勢至也下應畫行人手
 氣花冠或蓮花青蓮華佛身顯佛座中石
 蓮花池中畫寶蓮，之右廟畫羅陀龍王左畫
 羅陀龍王皆三而半身出水各出二手持持座就蓮
 花面白悅似寶璽嚴身，作赤色池之左右各受
 女身服寶衣二并執先佛手如文神度應畫如畫
 寶樹，上樹種種寶名及諸莊嚴乃至音樂作
 伴歌鳥畫於樹上畫諸天寺以手蔽花而於錦上
 畫像畢。



妙見曼茶羅

妙見并神咒經云當於中央畫一大月輪中畫
 像并像左手持蓮花之上佐伴一星形右手
 作說法下之右至斜向上以大心指於頭側手
 掌向外天衣璽路珞珠網莊嚴其身五色雲中
 結跏趺坐又圍繞於并畫七日月輪中畫作此手
 七星神咒以為內院之象西南第二日月輪畫金身像
 星小赤黑色左手持日次西月輪畫巨文星身小
 白黃色右手持月次西北月輪祇存星小赤青
 色右手持大珠之上火焰起次北方月輪畫文星
 面色小青黑色左手掌向外五指垂下掌中湧出
 水流下形果八月輪畫虛負星身面黃色右手
 持玉衡東方月輪畫武曲星色下色青左手持柳
 枝次東南月輪畫破軍星其色小白赤色右手持
 刀是諸星皆作藥叉形頭戴赤色天冠璽絡莊嚴
 其身并像前置輪寶飛次外院東方宣位畫帝
 宣將軍肩頭人身右手持棒次右佐畫丁字夜神
 光頭人身左手持棒次左佐甲辰將軍龍頭人身

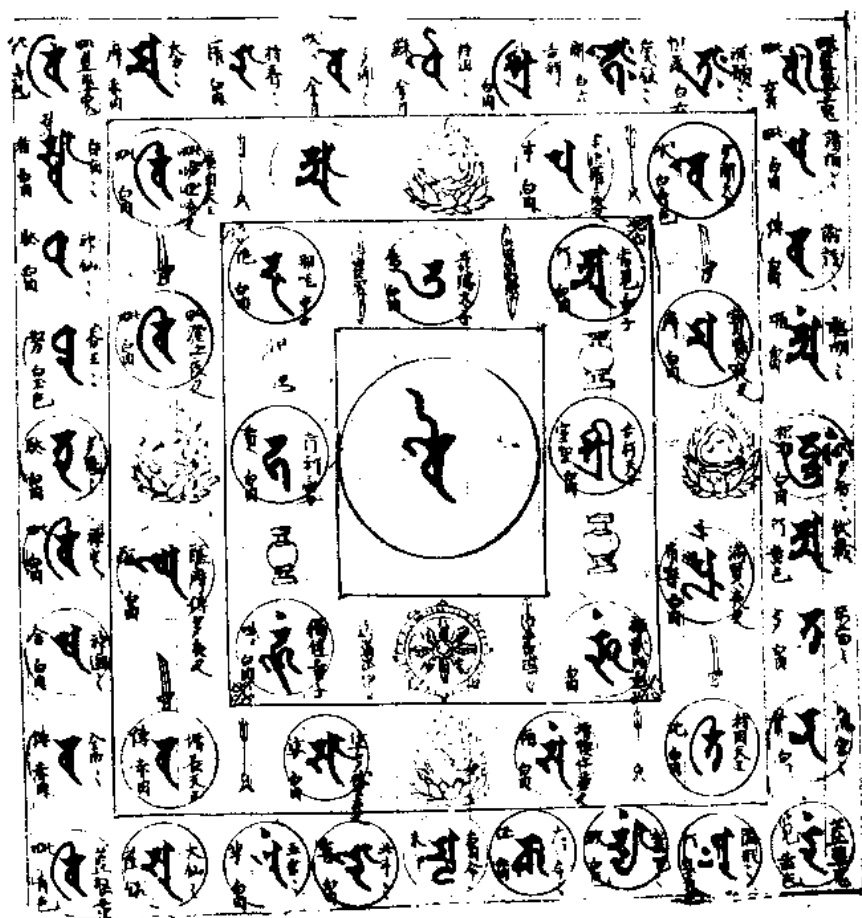


圖像 No. 22. 妙見曼荼羅(其一)

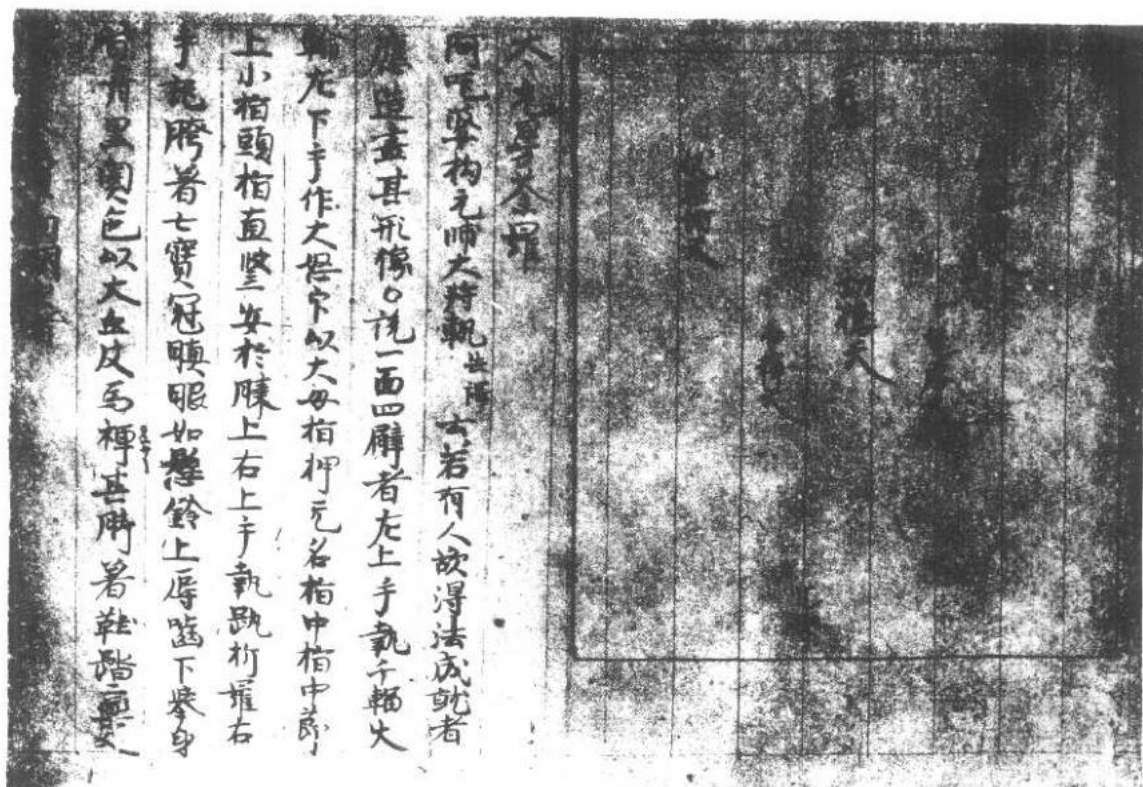


吉祥天曼荼羅
集經十二其像身長一丈二尺三寸五分其光
更顯高大二林精妙。其功德無量。其法
二臂畫作種。正玉璫珠耳。諸天寶冠。足下
手持如意珠。右手施元畏。宣臺上坐。左
摩天手執寶鏡。右邊畫帝尺。大如散供香天
女。背後各畫一七寶山。於足像上作五色雲。上
六牙白馬。鼻似龍形。中頭出柱。寶物滿
功。居天頂上。天神行後。畫白雲花林。頭上畫作
其寶蓋。蓋上作諸天。其寶蓋花。世尊像。座
左邊。後畫作咒師。其尊白衣。手執香爐。新
供養。其白雲。向上畫。

圖像 No. 23. 妙見曼荼羅(其二)



圖像 No. 24. 毘沙門曼荼羅



公學茶羅相明之者
一面四臂大九師大明至左右畫三天十數七寶者
嬌奢耶衣二人執筆一人執硯足下畫三青衣者
一執案左右有侍者左右各作天師子尾豎畫
又左右畫四人全剛青面大王稱惠比王炎歟運生
皆作四臂四臂執輪杆棒等次畫殿相大時著
沙衣者甲執錫或右手執索左手執鉤住三座上
次畫毗摩買多羅阿佞羅王具足六臂而執日月
各持餅杆索次畫須菩提花羅刹王具足八面六臂
前面具六面左面作猪頭右面作馬頭頂一面如猪
女人全面如羅刹臥於雲火大張其口立六手執我器
寶刀鉤輪越斧寶棒次畫四人龍王人身著龍
冠著甲執刃次畫沙摩將軍著於衣甲以手執
相又怒目者下張口大廣次畫天人王著金光甲
執杆執旌幡次畫摩尼跋陀大鬼神王著衣甲執
弓箭次畫大弁才天女切庵天女摩訶迦羅天女
自在天具兩如後次明當位者其身茶羅向南

圖像 No. 25. 吉祥天曼茶羅

圖像集第一 母獸 瑟尼沙 佛母

胎大日 金大日 大勝金剛

阿闍 藥師 十二神將 寶生

阿彌陀 不空成就 釋迦 多寶

攝一切佛頂 白傘蓋

勝 最勝 熾盛光

一字金輪 大日金輪 釋迦金輪 廣生

光聚 尊勝 廣生

發生 無邊聲 廣生

准胝 佛眼 孔雀明王

請來錄云密藏深玄翰墨難載更假圖畫
開示不悟種種威儀印契出自大悲一觀
成佛經疏秘略載之圖像密藏之要實繫
乎茲傳法受法棄此而誰矣海會根源斯
乃當之也云

白氈 (裏書一)

廣韻云細毛布徒合反徒協反毛布也云

二四字云毛作布云

一切經音義十一云玄應白疊字體作氈

古文氈同徒頗反毛布也經文作氈知立

反繁絳也繁非經旨云

木綿

都家四帖引吳錄地理志云交趾定安縣
有木綿樹高大實如酒杯中有綿如蠶之
綿又可布名白縹一名毛布羅浮山記云
木綿正月則花天芙蓉花落結子子內有

綿甚白蠶成則熟西人以爲溫絮廣志云
綿木赤花爲房氈法花釋云氈徒協反慈
恩云切韻細毛布也今謂不然別有氈花
織以爲布今白氈是也毛作者褐也疊摺
作疊重也積也今案尊貴疊賤豈以疊覆
尊上乎故知疊字非也
毘奈耶律二十三云給孤獨園中長者妻
賢首以細縷令織之奉佛織師作鉢吒
者謂大疊梵本皆曰鉢吒也此云縷縷
淨白素縷
縷者布也亦名木綿者木名也在大
唐取此木之中綿織爲布其色淨白也大
宋商客多所持來也其色多染黃雖然本
色白也都家集醫書等云縷布也一名木
綿云和名社中木木綿云是非說也木綿
此朝所無也他經軌等中白氈者大唐本
朝無之唯天竺有之云
已上勝定房說
毘醯經中云其畫尊法總爲三種隨取一
法作漫荼羅一者畫尊形像二者畫作其
印三者但置其座若畫像者阿闍梨極須
好能畫其形貌一一如法身分支節必應
相稱分明顯現與院相稱隨其本法說形
像噴喜座立一一相應具足而作勿令闕
少其楮聖尊像貌安置此名畫形像法若
不絕妙畫者應置契印假使能畫一切諸
相一一具足難可得成縱欲作者淹滯時
分多作形像亦復不善相貌不具即無靈
驗及不成就云
等身量可畫佛事

瑜祇經云凡一切瑜伽中像皆身自坐等
量畫之云
又云行者應畫五大金剛虛空藏於一圓
明中等自身量畫之云
又云常觀遍照王自身悉同等云
隨意畫像
一字頂輪王經二云金剛手如來世尊及
大威德菩薩無量種種色隨意而畫或縷
或素或於板上或牆或壁亦無過失或使
畫匠或復自畫或巧畫匠隨自意形狀而
畫之或畫菩薩形或畫眞言聖天乃至於
經夾上畫或樺皮上畫或畫最勝像或一
標量或一小標量或一大指量或隨意樂
處應畫亦無過失云
義釋三云金剛手如來世尊及大威德菩
薩以下至亦無過失者總說一切隨意畫
像或縷或素或板牆壁上畫無過失自畫
使人隨意形狀或畫菩薩或聖天等於經
夾上乃至或標量等悉如文也云
不用膠皮事
最勝王經云於白氈上畫佛形像常用木
膠雜彩莊嚴云
妙臂菩薩所問經云所用彩色須求最上
第一好者無用皮膠用諸香膠調彩色畫
像云
勝佛頂軌云先須畫像○應彩色中不得
用膠須用香汁云
集經十三云功德用薰陸香沈水香白檀
香乳汁和彩色不得用諸皮膠云

仁王經軌云：莫用皮膠，用諸香膠。如無香膠，煎糯米汁用和彩色云。

持世軌云：又取白檀香汁、鬱金香汁相和，以浸白疊經一宿，其疊全織成，不得有刀割截處。綠色中不得用皮膠，又令畫師持八齋，然後造如法畫此持世之像。

一字頂輪王經二云：彩中不應用皮膠云。同義釋三云：不得用皮膠者，法花疏云：後婆塞戒經不許用膠，得失意罪等。古時師云：外國用樹膠耳。光宅云：有處必須於像

聽許用牛皮膠。若有他物，即不得用也。有言：大豆汁可代膠。清然牛膠終是不淨物。後得不淨果報云：今文所制與優婆塞戒經同云。

用鹿膠事

慈氏軌下云：愈識者欲得速成就悉地者，必須知法。畫像人與受三昧耶灌頂，出入澡浴著新淨衣，取白疊及細絹乃至綾帛，極令清淨，以龍腦香末和麝膠水洗之。且所用綠色皆和龍腦香及香膠和之，不得用皮膠等，任意云。

以牛毛筆可畫事

蘇摩呼經上云：其所尊容，綵畫調刻或以鑄成。○復香水灑所畫綵色，不應和膠，置於新器，牛毛為筆，其綵畫人澡浴清淨，應受八戒如法畫之云。

可三長齋月畫佛事 私云：三長齋者，正五九月也。

菩提場一字頂輪王經二云：其畫像應用佛神通三長齋白分，取其諸根畫匠淨信。

三寶者，先令澡浴清淨著新淨衣，受與八戒，然後令畫云。

畫像法事

集經二云：○坐壇外面向西，畫師面向東，呪師前著一香爐燒種、香及散諸花，夜即燃燈，呪師作阿彌陀身印，誦陀羅尼，呪日云。

通印事

慈氏儀軌下云：第二院置十方諸佛雲集之像，皆執袈裟、角印。第三院置諸大菩薩雲集之像，其佛皆左手執袈裟、角印，為金剛拳置臍下，右手曲臂向額上，展五指，顯掌雪佛。

南海傳第四云：又復凡造形像及以制底，金銀銅鐵泥漆磚石或聚沙雪，當作之時，中安二種舍利。一謂大師身骨，二謂緣起法頌。其日諸法從緣起，如來說，是因彼法，因緣盡，是大沙門說，要安此二，福乃弘多云。

緇佛

慈氏軌下云：復次我今略說成就慈氏大三昧耶像法。一依莽賀三莽耶像法。一、如法或畫或繡，或鑄金銀或刻白檀，隨取一色，如法而造，其像頂上安七粒舍利骨。一依如法持誦依法作成，就云。又云：復有二法，取前畫像及繡像等，欲求成就大悉地法者，依上云。

畫作佛像成佛事
法花經一云：綵畫作佛像，百福莊嚴相。

自作若使人，皆已成佛道，乃至童子戲，若草木及筆，或以指爪甲而畫作佛像，如是諸人等，漸、積功德，具足大慈心，皆已成佛道云。

胎藏大日
大日經一云：行者次於中定意觀大日，處白蓮華座，髮髻以為冠，放種、色光，通身悉周遍云。

疏四云：大日如來身如闍浮檀紫磨金色，如菩薩像，首戴髮髻如冠形，通身放種、色光，被綃縠衣，此是首陀會天成最正覺之標幟也。彼界諸聖天衆衣服輕妙，乃至無有銖兩，本質嚴淨，不復假以外飾，故世尊俯同其像也。若作深秘釋者，如來妙嚴相法，爾無減，非造作所成，故不以外寶為飾。乃至十住諸菩薩，猶因承佛神力得見，加持身，其於常寂之體，如在羅縠，故以為況也。闍浮金亦是自然性淨也。又最深明，佛金剛智體最為深妙，通身放種、光，即是普門開示大惠明也。

大日經三云：造大日世尊，坐白蓮花，首戴髮髻，鉢吒為冠，上被綃縠身相，金色周身增瑩云。

疏十三云：其像本形坐於白蓮花座上，以髮為冠，不加綃縠，用極細絹為下裙，更用極細羅縠輕紗用為上服，令肉色相映，內現也。身作闍浮金色，色之深金，極光瑩者是也。其佛緣身皆生光焰，相合為髮連環。

不斷而遍身也云、

經七云。次當轉阿字成大日牟尼。無盡利塵衆普現圓光內。千界爲增數。流出光焰輪。遍至衆生界。隨性令開悟。身語遍一切。

佛心亦復然。闍浮淨金色。爲應世間故。跏趺坐蓮上。正受離諸毒。身被綃縠衣。自然髮髻冠云、

同疏下云。次當轉阿字者。次者本不生法。絕言相寂。心行亦滅。假言強道。大悲之法。應機顯現。謂即能現阿字也。次應兩足衆生爲兩足故。即轉阿字成兩足尊。故言次當轉阿字成大日牟尼也。圓光者大日圓光。猶如明鏡。於明鏡中皆現萬物。何況塵垢本不生如來圓光。千界者三千大千世界也。增數者大千爲一數。乃至不可說不可說。光焰謂所致法也。流出者大日所放也。輪者具德義。謂降伏煩惱能生善芽故也。輪者具德義。謂降伏煩惱能生善芽故也。名輪也。光明者身業也。令開悟者口業。故言身語遍一切也。闍浮金色者從闍浮池出金。此池近在闍浮樹側。由此得名。於金中最勝也。跏趺坐者。凡坐法聖善之寺。三藏和上邊面受。左足先著右膝上。右足次著左膝上。名爲蓮花坐。單足著左膝上。名爲吉祥坐也。別此坐者非聖坐也。若欲求菩提。學佛坐爲得。正受者入定相也。諸毒者三毒相也。綃縠衣者金羅文也。自然髮髻冠者非從人作云、

大毘盧遮那佛說要略念誦經云。金剛智八葉妙白花中觀一阿字。○轉成盧舍

那。諦觀如來結加趺坐作三昧相。如闍浮檀微妙金色。素疊被身髮髻垂肩。以爲頭冠。於圓光內無量佛刹及諸佛會。皆於中現。光明遍照盡衆生界云、

廣大軌上云。次當轉阿字成大日遍照尊。導師成正覺。以八曼荼羅種子字圍遶。各執持標記。隨性令開悟。身語遍一切。佛心亦復然。闍浮淨金色。爲應世間故。跏趺坐蓮上。正受離諸苦。身被綃縠衣。總持髮髻冠。字門轉成佛。普利諸衆生云、

青龍軌上云。次當轉阿字成大日牟尼。清淨離諸垢。妙色超三界。綃縠嚴身服。寶冠紺髮垂。寂然三摩地。輝焰過衆電。猶如淨鏡內。幽邃現真容。喜怒哀樂形。操持與願等。正受相應身。明了心無亂。無相淨法體。應願濟群生。以八曼荼羅眷屬自圍遶云、

金剛界大日略出經三云。想毘盧遮那尊首坐於壇中央。結跏趺坐有大威德。色如白鵝形。如淨月。一切相好皆悉圓滿。頭具寶冠垂髮。以紺綃輕妙天衣繞腰。被綃而爲上服。一切明呪以爲其體。能作無量神變云、

攝真寶經二云。毗盧遮那○頂有五寶天冠。天冠之中有五化佛結伽趺坐云、

三摩地軌云。毘盧遮那如來身色如月。首戴五如來冠。垂妙紗縠天衣。瓔珞嚴身。光明普照。無量無數大菩薩衆前後圍遶。以爲眷屬云、

理趣釋上云。毗盧遮那佛背月輪。頭冠瓔珞。身著軟綃衣。結智拳印。坐師子座。身如月殿云、

大樂金剛薩埵軌云。毗盧遮那白色。二拳舒左大指。以右拳握初分當心前云、

尊勝軌上云。大毘盧遮那如來頭戴五智寶冠。坐七師子座上。結跏趺結法界印云、

私云法界印者智拳印也

略出經一云。又想四面毘盧遮那佛。以諸如來真實所持之身。及以如上所說一切如來師子之座而坐云、

金剛頂義訣云。四面毘盧遮那者。釋云。所謂錢字盧輪中法身如來四面圓滿。向四方作三昧王相也云、

或記云。東大寺大佛金銅盧舍那結跏趺坐像。高五丈三尺五寸。左手舒五指仰置膝上。右手舒五指掌向外舉臂。其掌中有印文。以朱圖之。以八輪之形爲本。有種種印文。巧匠從四位下兼造東大寺次官國中連公。所作也。眉間白毫以銀瑩之。納大如斗。髮尺三螺髮九百六十箇。徑六寸。凡面輪手尺寸法見緣起。仍不細註載矣。抑此像寺家皆謂大日是誤歟。若爲花嚴教主者。著寶冠可服瓔珞也。而已螺髮之形也大日之義尤以難思。伏惟胎藏界釋迦院之釋迦。其脇士者左觀世音右虛空藏。以之推之。此佛脇士已爾也。定知葉上大釋迦而已。亦其座蓮花葉之以堺多打化佛之

像矣。但是則一端之難也。或文云。歸命摩訶毗盧遮那如來亦名釋迦牟尼如來妙法教主。云依此文以釋迦號大日有何難哉。亦釋迦稱大日見普賢觀經矣。

大勝金剛像

瑜祇經云。遍照薄伽梵復現種種光明。於頂上放金剛威怒光明照諸菩薩。金剛手等皆各默然。復現身具十二臂持智拳印。復持五峰金剛連華摩尼羯磨鉤索鎖鈴。智劍法輪。十二大印。身住千葉大白蓮華。身色如日五髻光明。其光無主遍於十方。面門微笑。云。上臂所持物左右次第不審也。可有沙汰。

阿閼像

守護經二云。次復入於不動三昧。面向西方。亦作如前金剛結跏。端身正坐。應以左手所被衣服兩角交過繞其手腕。以拳執之。上出兩角。右手按地。

大樂金剛薩埵軌云。無動如來青色。左拳持衣角當心。右手舒指覆掌於右膝上。指頭觸地。云。攝無礙經云。阿閼如來身相赤白色。朝日初出相。左定結拳印。右惠摩膝相。身被僧伽梨。安住月輪中。閻浮淨金色。白象以為座。不空羂索經九云。阿閼如來左手覆伸臂。下。把袈裟角外垂。右手揚掌結跏趺坐。云。

藥師像

(要書三)

藥師如來念誦儀軌。云。藥師如來像。如來左手令執藥器。亦名無價珠。右令作結三界印。一著袈裟結跏坐。令安蓮花臺。臺下十二神將八萬四千眷屬上首令住。又令須蓮花臺。如來威光中令住。日光月光二菩薩。三印印施無畏。印無時尋之。

或記云。藥師寺金堂藥師丈六像。須彌坐。身光中半出。刻付七佛藥師像。又緣光雕飛天十九體。其須彌炎刻寶塔一基。彼塔立三柱之九輪。云。

惠什闍梨云。世流布像有二種。一者揚右手垂左手。是東寺金堂并南京藥師寺像也。但以左足押右膝坐像也。

二者左手持藥囊。以右手作施無畏。或右手曲水指。或火空相捻。

又有唐本持鉢錫杖。或左手持鉢。其鉢十二角。右手作施無畏。云。

十二神將像。妙見菩薩神呪經云。東方寅位畫甲寅將軍。虎頭人身。右手持棒。次卯位畫丁卯從神。兔頭人身。左手持棒。次辰位甲辰將軍。龍頭人身。手持鐵錘。次巳位丁巳從神。蛇頭人身。手持戟。次午位甲午將軍。馬頭人身。手持戟。次未位丁未從神。羊頭人身。手持槌。次申位甲申將軍。猿頭人身。持刀。次酉位丁酉從神。雞頭人身。持刀。次戌位甲戌將軍。酉從神。雞頭人身。持刀。次戌位甲戌將軍。

狗頭人身持槌。次亥位丁亥從神。豬頭人身持鐵鉤。次子位甲子將軍。鼠頭人身持鉤。次丑位丁丑從神。牛頭人身持槌。此諸神等皆著天衣瓔珞坐磐石上。云。

寶生如來。守護經二云。復於南方面向北坐。亦作如上金剛結跏。端身正坐。左手如前執衣兩角。右手仰掌。云。

大樂金剛薩埵軌云。寶生如來黃色。左拳如前持衣。右仰掌施願。云。

攝無礙經云。寶性如來身相黃金色。左定結拳印。右惠開外方。屈無名小指。叙中頭大指。身被福田衣。金色。曜曜光。寶馬以為座。云。

阿彌陀像。金剛頂經觀自在王如來修行法云。無量壽佛身紅頗梨色。放大光明結三摩地。印坐金剛蓮花。云。

無量壽軌云。結定印。以二手外相叉。二頭背相著。從中節已上直豎。二大指捻二頭指。即成。云。

守護經二云。復於西方面向東坐。亦作如上金剛結跏。端身正坐。左手仰掌當於臍上。右手仰掌重左手。以大姆指令頭相柱。云。

不空羂索經九云。阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

狗頭人身持槌。次亥位丁亥從神。豬頭人身持鐵鉤。次子位甲子將軍。鼠頭人身持鉤。次丑位丁丑從神。牛頭人身持槌。此諸神等皆著天衣瓔珞坐磐石上。云。

寶生如來。守護經二云。復於南方面向北坐。亦作如上金剛結跏。端身正坐。左手如前執衣兩角。右手仰掌。云。

大樂金剛薩埵軌云。寶生如來黃色。左拳如前持衣。右仰掌施願。云。

攝無礙經云。寶性如來身相黃金色。左定結拳印。右惠開外方。屈無名小指。叙中頭大指。身被福田衣。金色。曜曜光。寶馬以為座。云。

阿彌陀像。金剛頂經觀自在王如來修行法云。無量壽佛身紅頗梨色。放大光明結三摩地。印坐金剛蓮花。云。

無量壽軌云。結定印。以二手外相叉。二頭背相著。從中節已上直豎。二大指捻二頭指。即成。云。

守護經二云。復於西方面向東坐。亦作如上金剛結跏。端身正坐。左手仰掌當於臍上。右手仰掌重左手。以大姆指令頭相柱。云。

不空羂索經九云。阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

阿彌陀佛以右手背押左手掌。結跏趺坐。云。

攝無礙經云。無量壽如來身相赤金色。結三摩地印。目閉視下相。丹光袈裟衣。安住大月輪入定拔苦體。紫磨金色光。孔雀以爲座云。

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要云。金剛智冠坐自在王住於說法相云。不空絹素經八云。阿彌陀○作說法相結跏趺坐云。

觀自在菩薩最勝王心經云。不空畫阿彌陀如來坐白蓮花。右手住施願云。

大樂金剛薩埵軌云。無量壽如來赤色。左拳慢執蓮花莖。以右開敷云。

三尊付丈六
觀無量壽經云。若欲至心生西方者。先當觀於一丈六像。在池水上如先所說。無量壽佛身量無邊。非是凡夫心力所及。然彼如來宿願力故。有憶想者必得成就。○阿彌陀佛神通如意。於十方國變現自在。或現大身滿虛空中。或現小身丈六八尺。所現之形皆真金色。圓光化佛及寶蓮花。如上所說。觀世音菩薩及大勢至。於一切處身同衆生。但觀頂相知是觀世音。知是大勢至。此二菩薩助阿彌陀佛普化一切云。

第十三
觀文

阿嚕力經云。我今說畫像之法。取淨氎未曾割截。童女織者。最上中畫阿彌陀如來長六。垢手住說法印。於蓮花臺結跏趺坐。身純金色。作白焰光。佛右畫觀自在菩薩。左畫大勢至菩薩。皆純金色。作白焰光。二菩薩右手各執白拂。左手各執蓮花。大勢

至身稍小於觀自在。皆種寶莊嚴其身。著寶瓔珞手釧皆白衣。髮並上結不得披下云。

私云。或人云。依鳥羽院。宣佛師法印康助奉造立彌陀三尊。大勢至身小於觀音。備叙覽之處。院宣云。於脇士大少不同如何。康助即進此本文。仍叙感及再三云。

又云。我今復說刻像法。取一白檀木。中央刻阿彌陀佛。右觀自在。左大勢至。各執白拂。衣裳瓔珞等並如法云。

又云。我今更說別畫像法。○正中畫阿彌陀如來。或坐蓮臺。或師子座。結加而坐。住說法相印。右自在。左勢至。執拂。嚴身等如上像法。但佛及菩薩等上各畫白傘蓋。以種種寶網莊嚴於蓋正上。明仙持諸寶花散而供養。花如雨足。亦作種種香樂奉獻云。

十一面經中云。行者觀想軍荼利金剛駕御七寶車。輅至於極樂世界。想請無量壽如來。昇七寶車。中央無量壽如來坐。左大勢至。右邊觀自在。想阿彌陀佛前本尊坐云。

觀自在菩薩最勝明王心經云。○中畫阿彌陀如來坐白蓮花。右手住於施願。左畫觀自在菩薩。身相白色。虎皮爲裙。白頗梨寶以爲腰縵。以黑鹿皮角絡而披。住白蓮花。左手持白蓮花。右手施願。無瓔珞臂釧。左畫金剛手菩薩。身赤白色。著種種寶瓔

珞。手持白拂。作拂如來勢。佛菩薩等皆願視行人於佛下畫。右膝著地。手執香鑪瞻仰聖者云。

集經二云。大畫師畫佛像法用。中央著阿彌陀佛。結跏趺坐。手作阿彌陀佛說法印。左右大指無名指頭各相捻。以右大指無名指頭壓左大指無名指頭。左右頭指中指小指開。豎佛之右相作十一面觀世音菩薩像。左相作大勢至菩薩像云。

又云。阿彌陀佛前左右作二菩薩各作音樂。○其佛左邊大勢至菩薩結跏趺坐。左手覆掌於左膝上。右手屈臂節柱右膝上。豎臂向上。以大指捻無名指甲上。頭指中指小指。攢緊。掌側當前。其佛右邊畫十一面觀世音菩薩結跏趺坐。屈左臂向肩。上掌覆向背。手把蓮花。右臂節柱右膝上。手把白拂。拂尾向右出云。

不空成就像
守護經二云。復於北方面向南坐。亦作如上金剛結跏趺端身正坐。左手如前執衣兩角。右手展掌。豎其五指當肩向外云。

攝無礙經云。不空成就如來身相赤金色。左定結拳印。右惠舒五指當右胸臆上。身被福田衣。安住滿月輪。黃金周遍光。迦嚕羅爲座云。

大樂金剛薩埵軌云。不空成就如來綠色。左拳如前持衣角。右大指頭指相捻。濟勢揚掌近乳云。

勝初大樂軌云。又如無動佛。智羽三幡相。如拔濟有情。揚掌於乳傍。不空成就印云。

釋迦像

釋迦文佛軌云。畫釋迦牟尼像。金色之身。具四八相。被服袈裟。應身說相。智手吉祥印。理手向上置臍前。於白蓮花臺結跏趺坐云。

大日經三云。畫釋迦牟尼王。被袈裟衣三十二道師相。爲說最勝教。施一切衆生。無畏放云。疏十

疏五云。釋迦牟尼身真金色。并具光耀三十二相。所被袈裟作乾陀色。坐白蓮花作說法之狀。謂以左手執袈裟角。如今之阿育王像。右手豎指以空水輪相持。是其標幟也云。

大毘盧遮那佛說要略念誦經 金剛智云。○觀釋迦牟尼佛者。○諦觀佛身猶如紫金。三十二相八十種好。被赤袈裟加趺而坐云。

不空絹索經二十五云。釋迦牟尼如來身檀金色。結跏趺坐。師子寶座說種種法。右手揚掌。左手伸施無畏。放金色光云。

九云。釋迦牟尼佛以右手背押左手掌。面西結跏趺坐云。

三十云。釋迦牟尼如來作說法相。結跏趺坐云。

威儀形色經云。釋迦如來。膩沙紺青鬚。眉間白毫光。照東方八萬身相。黃金色。左定

結拳印。右惠開外方。屈無明小指。叙中頭大指。跏趺左押右。垂下右輻輪。被服袈裟衣。安住白蓮花云。

或記云。興福寺金堂釋迦眉間安少佛事。更不似普通之例。私案依觀佛三昧經第四文。歟。如來眉間光明。爲此後世諸衆生。故時時眉間即放白毫光。分爲八萬四千支。乃至一一光色化金山。一金山有無量龕窟。中有諸化佛。皆放白毫光。乃至亦皆號釋迦文。是等化佛眉間光明。還入釋迦牟尼眉間云。爲表此義。以小佛置眉間內。歟。或人語云。祇陀林寺釋迦文佛眉間安銀小佛像云。

釋迦三尊事 顯宗二八彌勒文殊云。（真書四）集經一云。金輪佛頂像法。欲畫其像。取淨白裝若淨絹布。闊狹任意。不得裁割。於其裝上畫世尊像。身真金色。著赤袈裟。戴七寶冠。作遍身光。手作母陀羅結。加趺坐。七寶莊嚴蓮華座上。其座下豎著金輪其金輪下畫作寶池。繞池四邊作鬱金華。及四天王各隨方立。其下左邊畫作文殊師利菩薩。身皆白色。項背有光。七寶纏結寶冠。天衣種種莊嚴。乘於師子。右邊畫作普賢菩薩。莊嚴如前。乘於白象。於其師子白象中間畫大般若菩薩之像。面有三目。莊嚴如前。手把經匣。端身而坐。於佛頂上空中畫作五色雲蓋。其蓋左右有淨居天雨七寶華云。

不空絹索經七云 漢志 ○師子座上觀轉幡字爲釋迦牟尼如來。身真金色。結跏趺坐。頭冠衣服。貫飾莊嚴。放妙光明。遍無邊界。右觀觀世音菩薩。左觀執金剛秘密主菩薩。其諸種族大菩薩衆前後圍繞。跏趺而坐云。

多寶如來像威儀形色經云。多寶如來。烏瑟紺髮冠。眉間素毫光。普照於一切。身相黃金色。定惠智拳印。跏趺右押左。垂下左輻輪。身被袈裟衣。安住大蓮花云。

法花經四云。即時一切衆會皆見多寶如來。於寶塔中坐師子座。全身不散。如入禪定云。

諸佛頂像 八大佛頂次第依大日經第一。但便加餘佛頂攝一切佛頂。

大妙金剛大甘露軍荼利焰鬘熾盛佛頂經云。爾時世尊身現作攝一切佛頂輪王之相。手持八輻金輪。處七寶師子座。身放無量百千光明。及大火焰頂旋傘蓋云。

白傘蓋佛頂 青軌下云 真金云。尊勝軌上云。白傘佛頂王。頭戴五智冠。左手執蓮花。於蓮花上安置白傘蓋。右手揚掌。半跏趺坐。其身光及頭光如五色車輪形云。

一字頂輪王經二云。畫白傘蓋頂王。如大

王形其身金色坐在蓮上手持蓮花云、
 不空羅素經九云、白傘蓋佛頂菩薩、左手
 持蓮花臺上傘蓋印、右手揚掌把蓮花半
 跏趺坐云、
 大妙金剛大甘露軍荼利焰鬘熾盛佛頂
 經云、白色輪中現白傘蓋佛頂輪王、手持
 白傘蓋放白色光明、坐大白色蓮花云、
 勝佛頂青軌下金
 尊軌上云、畫勝佛頂、左手執劍、右手揚掌、
 五佛冠種種莊嚴、輪光明等亦如上說云、
 一經二云、畫勝佛頂身形金色、左手持寶
 右手施願云、
 不經九云、勝佛頂菩薩、右手持蓮花、臺上
 堅劍印、左手持青優鉢羅花半跏趺坐云、
 大妙經云、維巧色輪中現勝佛頂輪王、手
 持利劍、放維巧色光明、坐維巧色蓮花云、
 最勝佛頂青軌下金
 尊軌上云、畫最勝佛頂輪王、頭戴五智冠
 種種莊嚴、背圓光及以通身光狀如車輪、
 具種種色、右手持蓮花、於蓮花上安八幅
 寶輪、火焰圍遶於蓮花上結跏趺坐、左手
 揚掌云、
 不經九云、最勝佛頂菩薩、左手持蓮花臺
 上堅輪印、右手揚掌半跏趺坐云、
 大妙經云、綠色輪中現一字最勝佛頂輪
 王、手持八幅金輪放綠色焰、坐大綠色蓮
 花云、

一字金輪像

大日金輪

金輪軌云、○即觀此智輪變成金輪王、遍
 照如來身、形服如素月、以一切相好用莊
 嚴法身、戴金剛寶冠、輪鬘爲首飾、衆寶莊
 嚴具種種技飾身、持智拳大印、處於師子
 座、日輪白蓮臺、智拳印、所謂中小各握拇
 頭、指柱大背、金剛拳乃成、右握左頭指一
 節面當心、是名智拳印云、

釋迦金輪

瑜祇經云、○應畫三層八葉蓮花、中畫我
 身、當於我前一蓮花葉上畫一切佛頂輪
 王、手持八幅金剛寶輪云、

奇特佛頂經上云、我今說畫像、○應畫聖
 者從大海踊起須彌盧山王四寶所成於
 上坐白蓮花、身白金色正受一切三摩地
 最勝王三摩地結跏趺坐、從一切身遍滿
 出輪熾盛光明、於上應畫山峰、其峰以種
 種寶成、持誦者在佛右邊、本色形持香爐
 觀如來面、右膝著地、下應畫蓮花池、從佛
 頂出光明、其光青黃赤白云、

熾盛光佛頂像

除災教令輪法云、熾盛佛相儀、毛孔飛光
 散、首冠五佛相、二手如釋迦云、

光聚佛頂青軌下金

尊軌上云、畫放光佛頂、○左手執蓮花、於

花臺上畫佛頂印、於佛頂上放光、五智寶
 冠光明等一如上說、右手揚掌云、
 一經二云、畫光聚頂王、坐白蓮花上、種種
 光明圍繞、在熾盛光明中坐、身作金色、手
 持眞多摩尼寶云、
 不經九云、光聚佛頂菩薩、左手執蓮花臺
 上佛頂印、右手當胸半跏趺坐云、
 大妙經云、赤色輪中現光聚佛頂輪王、手
 執如來頂印、放大光聚座大赤色蓮花云、
 尊勝佛頂青軌下金
 尊軌上云、畫尊勝佛頂、○於蓮花臺上結
 跏趺坐、白肉色、兩手膝下如入禪定、掌中
 承蓮花、上置金剛鉤、如上頂輪王等種種
 光明五智冠等一依瑜伽圖、皆於白蓮花
 座結跏趺坐云、
 不經九云、摧碎佛頂菩薩、左手執蓮花臺
 上寶印、右手揚掌半跏趺坐云、
 尊軌下云、畫尊勝佛頂輪王、乘金翅鳥王
 爲座、張翼忿怒舉一足、欲投諸龍頭腦勢
 其龍等皆合掌低頭、其本尊把金剛鉤、怒
 形向前塔勢云、祈雨像也
 大妙經云、紅色輪中現除一切蓋障佛頂
 輪王、手持紅色蓮花、花上有鈎放紅光明
 坐紅色蓮花云、
 疏五云、此是釋迦如來五智之頂、於一
 切德中猶如輪王具大勢、其狀皆作轉
 輪聖王形、謂頂有肉髻形、其上復有髮
 髻、即重髻也、餘相貌皆如菩薩令極端

嚴歡喜所持密印如圖也。又云其五種如來頂有五種色。所謂真金色、鬱金色、淺黃色、極白色、淺白色。是中真金鬱金、二色相似。然真金光淨、鬱金色稍重也。云。

廣生佛頂

尊軌上云：畫廣生佛頂王，左手持縛日羅，右手揚掌，五智寶冠輪光焰，瓔珞等依上諸尊等例。云。

一經二云：畫高頂王，形如大王坐白蓮花上，手持俱緣果。云。

大妙經云：青色輪中現黃色佛頂輪王，手持三股縛日羅，合二放青色光明，坐青色蓮花。云。

發生佛頂

尊軌上云：發生佛頂王，左手執開敷蓮花，右手安右膝上半跏趺坐，輪光瓔珞同如上說，皆大仁慈悲相。云。

大妙經云：黃色輪中現發生一切佛頂輪王，手持黃色蓮花，放黃色光明，座黃色蓮花。云。

無邊聲佛頂

又云：畫無邊聲佛頂王，右手持蓮花，於蓮花臺上畫商伽，左手當嬭房上揚掌，五佛冠輪光莊嚴等，隨意種種莊嚴。云。

手揚掌半跏趺坐。云。

下文云：是等諸佛菩薩，○面目熙怡，天妙衣服寶冠瓔珞珠璫，鑲種種莊嚴，坐蓮花座，佩身光焰。云。

疏五云：形相皆同五頂。○三佛頂則有三色，謂白色、黃色、赤色，此是兼具寂災，增益降伏色，此八佛頂皆周身有光，光極厚，以諸瓔珞嚴身。云。

大妙經云：赤色輪中現無邊音聲佛頂輪王，手持白螺，放紫色光焰，坐紫色蓮花。云。

佛母像

准抵 十八臂

准抵軌金剛智云：說七俱胝佛母准泥畫像法，取不截白疊清淨者，擇去人髮，畫師

受八戒齋，不用膠和色，用新梔盛綵色而用畫之，其像作黃白色，種種莊嚴其身，腰著白衣，衣上有花，又身著輕羅綿袖天衣，以緩帶繫腰，朝霞絡身，其手腕以白螺爲釧，其臂上釧七寶莊嚴，一手上著指環，都十八臂，面有三目，上二手作說法相，右手第二手施無畏，第三手把劍，第四手把數珠，第五手把微若布羅迦葉，漢言子滿葉，此問無西國有。第六手把鉞，第七手把鉤，第八手把跋折

羅，第九手把寶鬘，左第二手把如意寶幢，第三手把蓮花，第四手把澡罐，第五手把索，第六手把輪，第七手把螺，第八手把賢瓶，第九手把般若波羅蜜經夾，菩薩下作水池，池中安蓮花，難陀拔難陀二龍王扶

蓮花莖，於蓮花上安准提菩薩，其像周圍安明光焰，其像作憐愍眼看，行者在下坐，手執香爐，面向上看菩薩，於菩薩上畫二淨居天，像法如是。云。

准抵軌不空云：次說准抵佛母畫像法，取不截白氈，去毛髮者，於淨壁先應塗壇，以闍伽飲食隨力供養，畫師應受八戒齋，清淨畫其像，其彩色中勿用皮膠，於新器中調色，應畫准提佛母像，身黃白色，結跏趺坐，坐蓮花上，身佩圓光，著輕縠如十波羅蜜菩薩衣，上下印皆作白色，復有天衣角絡瓔珞頭冠，臂著螺釧，檀惠者寶環，其像面有三目十八臂，上二手作說法相，右

第二手作施無畏，第三手執劍，第四手持寶鬘，第五手掌俱緣果，第六手持鉞斧，第七手執鉤，第八手執金剛杵，第九手持念珠，左第二手執如意寶幢，第三手持開敷紅蓮花，第四手軍持，第五手縛索，第六手持輪，第七手商伽，第八手賢瓶，第九手掌般若梵夾，蓮花下畫水池，池中難陀龍王，場波難陀龍王，拓蓮花座，左邊畫持誦者，執香爐瞻仰聖者，准抵佛母，持誦誦人眼下顧視，上畫二淨居天子，一名俱素陀天子，手持花鬘，向下承空而來，供養聖者，○於像下應書法身緣起偈，將像於精室秘密供養，以帛覆像，念誦時去覆帛瞻禮供養，念誦畢却以帛覆，慎勿令人見，何以故，從師受儀軌畫像法，若轉與人呈像，被魔得便，當須秘密。云。

持明藏瑜伽大教尊那菩薩大明成就儀軌經三云

新法寶譯

說尊那菩薩畫像法持

誦行人若欲畫本尊尊那菩薩像者先求

新帛清淨純白者求得帛已即令畫師預

前潔淨至起首日令受八戒然後令用新

器調上好彩色畫尊那菩薩身如秋月色

面有三目有一十八臂著白衣種種裝嚴

以阿毘爲天衣碑礫寶爲手釧十指有寶

環上二手作說法印右第二手作施無畏

印第三手執劍第四手執寶鐸第五手執

尾惹布羅果第六手執鉞斧第七手執鈎

第八手執金剛杵第九手執數珠左第二

手執如意寶幢第三手執蓮花第四手執

軍持第五手執網索第六手持輪第七手

執螺第八手持寶瓶第九手持般若波羅

密多經於菩薩下面畫蓮花池於彼池內

出生一大蓮花畫難陀烏波難陀二龍王

手持蓮花莖花上畫尊那菩薩有大圓光

熾盛遍滿菩薩面前畫持誦人手執香爐

作瞻仰本尊相於上面畫淨居天人作雨

花雨寶相如是畫像唯以潔淨專志爲上

於此像前作法者無不成就云

佛眼像

瑜祇經云金剛薩埵對一切如來前忽然

現作一切佛母身住大白蓮身作白月暉

兩目微笑二手住膝如入奢摩地云

大日經一云次於其北維導師諸佛母是

曜真金色縞素以爲衣遍照猶日光正受

住三昧云

疏五云於大勦勇北至於北維置虛空眼

即是毘盧遮那佛母也○真金是如如實

相之體畢竟淨句是彼教門之外飾故曰

縞素以爲衣一切戲論滅時心日光明無

所不照故曰遍照猶如日光恬怕一心人

乃能見此故其標幟猶如天女住於正受

之像也云

不空羂索經九云虛空眼佛母菩薩以右

手背押左手掌伸置臍下結跏趺坐云

菩提場一字頂輪王經二云應畫佛眼明

妃形如女天坐寶蓮花種種莊嚴身如金

色目視衆會著輕縠衣角絡而披右手持

如意寶左手施願圓光周遍熾盛光明身

儀寂靜云

疏十六云作佛母形者宜如天女像云云

一字頂輪王經二云左手仰右脚上施之

無畏結跏趺坐云

除災教令法輪云當前佛眼尊身相紅蓮

色左持五眼契右作如來拳云歸口云五眼契者五古杵云云

五佛頂經云畫佛眼菩薩兩目慈軟仰視

會衆左手執開蓮花於花臺上畫佛心印

於印兩側各畫一眼右手把如意珠云

不空羂索經九云佛眼菩薩左手執蓮花

臺上佛眼印右手揚掌半跏趺坐云

孔雀明王像

二臂

佛母大孔雀明王畫像壇場軌云別本若

有衆生求人愛者畫本尊大慈像右手執

白蓮花左手持如意寶珠乘金色孔雀王

身色如日光能成就大染法云

大孔雀王天秘要法云若復有衆生願無

病者畫一像右執三五莖孔雀尾左當心

持金輪身白色住慈悲相乘孔雀鳥若有

衆生持念此像能除百病萬惱壽命長久

見百秋獲大利益身心安樂云

秘藏記云孔雀王母菩薩左手持用數蓮花右手孔雀初云

胎藏漫荼羅諸說不同記六云現圖在不

空供養寶之左右手豎開肘掌拳向身持

孔雀尾左手豎掌屈頭中名指執蓮面向

左微仰視山圖豎右膝云

四臂

佛母大孔雀王畫像壇場軌云於蓮花胎

上畫佛母大孔雀明王菩薩頭向東方白

色著白縞輕衣頭冠瓔珞耳瑠璃釧種種

莊嚴乘金色孔雀結跏趺坐白蓮花上住

慈悲相有四臂右邊第一手執開敷蓮花

第二手持俱緣葉其葉狀似木葉右邊第一手當

心掌持吉祥葉第二手執三五莖孔雀尾

壇場畫像法式云義淨畫摩訶摩瑜利大

神赤白色著白色裙披白縵絡膊身有四

臂諸莊嚴具皆以金作於蓮花上立或於

金座上立右邊一手持柚子一手執蓮左

邊一手持吉祥果大如菰葉黃赤色此方所無一手執孔

雀尾三莖云

大孔雀王天秘要法云不空畫大孔雀天

有頭上一響住童子相。右第一手執孔雀尾。左第一手執金輪。右第二手執吉祥葉。左第二手執寶馬頭。身青色。乘青色孔雀。王安住寶山云。

大孔雀明王軌云。佛母孔雀明王四臂白色。右臂一持開敷蓮。二持俱緣葉。木瓜左第一手常心持吉祥葉。二持五莖孔雀尾。白輕衣頭冠鬘帶環珞嚴飾瓔珞寶釧。座白蓮花乘金色孔雀云。

康曆二年十月日命書生終寫功了予自加一校了

權大僧都賢寶生 四十八
寶永三年八月日令修復之了 未資呆快

一 繪綵事

一切經音義二云。繪綵在綾反。說文繪布也。謂帛之總名云。

白氎事

松室法花音義仲算云。氎徒協反。慈恩毛布也。今謂不為別有氎花。緣以為布。今白氎是也。毛作褐也。

惠什闍梨云。白氎本朝所無也。諸儀軌經說也。白縹唐云。本縹是也。縹經縹者布也。亦名木綿。者木名也。唐國取此木之中綿織為布。其色淨白也。大

宋商客多所持來也。其色多染黃。雖然本色白也。都家集醫書等云。縹布也。一名木綿。和名社中木云。木綿者是非說也。木綿此朝所無也。他經軌等中白氎者。大唐本朝無之。已上說翻梵語集云。劫具沙花。此花蘇悉地經上云。作燈炷法。白氎花作翻梵語集云。舍摩梨。此云木綿。利順和名云。社中一名木綿。此云木綿之多白糸也。

智證大師釋品。號花。闍底蘇摩末那花。白氎花。白色大似。紅藍花。

二

大原抄十一云。四面毘盧遮那者。唯顯隨向不背德也。兩界俱何妨耶。或胎藏數曼荼羅。四箇大日各向四方畫之。四寶冠在一所云。

三

私云。東寺像光上付七佛藥師像。下付十二神將像云。

四

釋迦三尊。彌勒文殊顯宗說也。釋迦三尊。普賢文殊秘宗說也。表觀之。

圖像集第一本 觀音本

聖觀音 六字明王 千手 十一面 如意輪

聖觀音像 二臂

聖觀音軌云。聖觀自在菩薩。結跏趺坐。身如金色。圓光熾盛。身被輕縠。綵衣著赤色裙。左手當胸執未敷蓮花。右手當胸作開花葉勢。具頭冠瓔珞。首戴無量壽佛住於定相云。

大毘盧遮那佛說要略念誦經云。○花座之諦觀。索反。字。光如素月。轉成觀音大悲聖者。坐白蓮花。身相亦同。於天冠中現無量壽自在如來云。

無量壽軌云。於蓮花臺上有觀自在菩薩。相好分明。手持蓮花。右手作開花葉勢。作是思惟。一切有情身中。具有此覺悟蓮花。清淨法界。不染煩惱云。

千手軌云。瑜伽者。作是思惟。我今此身同觀自在菩薩。想左手當心執蓮。右手作開敷花勢。住圓滿月輪中。了了分明云。

又云。觀自在菩薩。身紅頗梨色。坐花臺上。首戴寶冠。冠中有化佛。了了分明。以決定心如是觀已云。

十一面軌中云。自身成觀自在菩薩。等無差別。左手金剛拳置左膝。持蓮花。右手當

自心如開敷蓮花勢○身背圓光冠有無量壽如來身披紫寶璣步踐八葉蓮花

云云所觀像也

嚴勝明王心經云畫觀自在菩薩身相白色虎皮為裙白頗梨寶以為腰帶以黑鹿

皮角絡而披住白蓮花左手持白蓮花右手施願無畏瓔珞臂釧云

又云聖觀自在菩薩右手住安慰即相以風空引手勢左手持蓮花身如秋箭也云

阿嚕力迦經云右畫觀自在菩薩○右手執白拂左手執蓮花云阿彌陀脇士

又云觀自在執白佛云同脇士

又云我今更說刻雕像法或用金銀或用香木已六指量刻觀自在像左手執蓮花

右手施無畏云

又云略本淨瓶上畫觀自在菩薩手執蓮花於蓮花上立應為黑色以寶莊嚴髮結

向上以細白疊博著二肩云

不空羼索經九云觀自在菩薩右手仰掌

膝上半跏趺坐云

瑜伽蓮花部念誦法云觀自在菩薩寶冠璣珞相好莊嚴放大光明遍周法界冠上有無量壽佛本尊左手執白蓮花右手作

辯開蓮花勢云

念誦結護云觀自在菩薩身輝煌如紅蓮花色頂上髻中有觀自在王如來寶冠璣

珞莊嚴其身左持青蓮花當心上右手如

辯蓮花葉云

授記經云應畫觀自在菩薩坐蓮花上瞻

仰合掌持白蓮花身白紅色嚴飾瓔珞首

戴寶冠左絡白神索云

又云畫觀自在菩薩身淺紅色髮戴寶冠

化佛帶白神索於蓮花上踞跪而坐左手

執蓮花右手於頂上作敬禮勢種種瓔珞

莊嚴其身作微咲貌云

又云觀自在菩薩大悲聖者從東方來手持杖身衣白服妙寶璣以為莊嚴以黑鹿

皮於右膊交絡臂戴寶冠云

菩薩提場一字頂輪王經三云畫觀自在虎

皮以為裙應畫忿怒形持拂并念珠頂髮無量壽肅然具三目著蓮花色衣慈念諸

有情云

理趣釋上云觀自在菩薩左手持蓮花右手

開敷花勢亦半跏而坐云

集經五云畫觀世音菩薩像法一切觀世

音菩薩像通身白色結跏趺坐百寶莊嚴

蓮華坐上頭戴七寶莊嚴花冠而有重光

其花冠中有立化佛其花冠後作簪篸光

其光之內總作赤色其像背倚七寶繡枕

其像左手屈臂當心又屈中指向上直豎

右手屈臂向左手上屈頭指與大指相捻

而柱左手中指之上其像頸有寶珠瓔珞

左右臂腕各有寶釧又以寶花莊白紫絡

膊身著花莊白紫之裙其裙腰作青色赤

裏又以寶綰繫其腰上云

同經六云畫觀世音像其身白銀色纓絡

天衣莊嚴身分極令花飽蓮花坐上結跏

趺坐左手執白拂云

攝無礙陀羅尼經云觀世音菩薩頂上大

寶冠中現無量壽身相白肉色十度開敷

蓮天衣妙袈裟萬億妙瓔珞莊嚴黃金色

安住月輪中跏趺右押左云

又云金剛法菩薩頂上大寶身相白肉色

定惠承蓮花嚴身如上說云

威儀形色經不空觀世音菩薩寶冠嚴頂

上中現無量壽紺髮垂兩肩十度開敷蓮

銀釧為臂玉細綾為腰巾服裳染赤色莊

嚴慈悲體圓光遍世間寶花承兩足安住

月輪殿云

大日經一云北方大精進觀世自在者光

色如皓月商佉軍那華微笑坐白蓮髻現

無量壽云

廣軌中云次大日右方精進觀世音普遍

四方相中吉祥商佉出鉢頭摩花開敷含

果實上表金剛惠承以大蓮印觀婆上字

光輪輪現觀自在微笑坐白蓮頂現無量

壽云

青軌中云北方觀自在秘密曼荼羅佛子

一心聽普遍四方相中吉祥商佉出生鉢

曇花開敷含果實承以大蓮印光色如皓

月商佉軍那花微笑坐白蓮髻現無量壽

云

四臂

一切法功德莊嚴王經云右邊安觀自在

菩薩以諸嚴具而莊飾之於蓮花上立身

有四臂右邊上手執梵本經下手執數珠

左邊上手執白蓮花下手把持

蓮輪士

授記經云應畫觀自在菩薩坐蓮花上瞻

仰合掌持白蓮花身白紅色嚴飾瓔珞首

戴寶冠左絡白神索云

又云畫觀自在菩薩身淺紅色髮戴寶冠

化佛帶白神索於蓮花上踞跪而坐左手

執蓮花右手於頂上作敬禮勢種種瓔珞

莊嚴其身作微咲貌云

又云觀自在菩薩大悲聖者從東方來手持杖身衣白服妙寶璣以為莊嚴以黑鹿

二 尊像

阿喇多羅阿嚕力經不空又畫觀自在像
如前法右廂加畫阿喇多嚕菩薩立於蓮
臺上。身色如檀木。以寶莊嚴。髮向上結戴
蓮花冠。著白衣。合掌恭敬作禮自在狀云

三尊

阿嚕力迦經云。我今更說別畫像法。○中央觀自在菩薩。左手執紅蓮花。右手直下與餓鬼水。髮上結身著白衣。如前珍寶瓔珞莊嚴。天衣爲黑。於蓮花上結加趺坐。左廂畫大勢至菩薩。右廂畫普賢菩薩。各執白拂。

六字明王像

莊嚴寶王經四云○於佛左邊安六字大明王。四臂肉色。白月色種種寶莊嚴。左手持蓮花上中安摩尼寶。右手持數珠。下手結一切王印。

私云。一切王印可尋之。

千手觀音像

十一面四十臂

千光眼經云。演說觀自在大曼荼羅相。第一內心地。有九淨月輪。中央月輪中。安置施無畏。妙色超三界。金色具輝耀。首持髮髻冠。寶冠紺髮垂。頂上十一面。皆如上所說。上文云。頂有十一面。當前三面作菩薩相。右邊三面。白牙出上相。左邊三面。忿怒相。當後一面。暴咲相。頂上一面。如來相。菩薩諸頭寶冠中。安住化佛身。本面而有三目云。

上具足四十手。一一手掌中各有一慈眼。隨諸衆生類。執持難寶物。住於蓮花臺。放大淨光明。左定持日輪。右惠淨月輪。左理持寶殿。右智五色雲。左定執戟鎗。右惠持錫杖。左理綱索形。右智寶劍印。左定寶弓形。右惠寶箭形。左理紅蓮花。右智紫蓮花。左定白蓮花。右惠青蓮花。左理鐔持瓶。右智執胡瓶。左定執玉環。右惠持金輪。左理寶篋形。右智寶經典。左定鐵鈎形。右惠鉞鏐形。左理金剛杵。右智持三釵。左定寶螺形。右惠蒲桃形。左理白拂形。右智楊柳枝。左定寶鈴鐸。右惠寶智印。左理如意珠。右智施無畏。左定化佛尊。右惠頂上佛。左理寶鏡珠。右智觸髻枝。左定榜排形。右惠持念珠。右智持寶鉢。左定惠蓮花合。各各妙寶臂。猶如尼瞿枝。銀釧爲臂玉。天衣及瓔珞莊嚴大悲體。圓光微妙色。跏趺右押左。云

一面千臂付兩臂

千手千眼觀世音菩薩姥陀羅尼身經

疏志云。畫千手千眼觀世音菩薩。像變譯者。當用白氎縱廣十肘或二十肘。是菩薩身作閻浮檀金色。面有三眼。臂有千手。於千手掌各有一眼。首戴寶冠。之有化佛。其正大手有十八臂。先以二手當心合掌。一手把金剛杵。一手把三戟叉。一手把梵甲。一手把寶印。一手掌寶珠。一手把寶輪。一手把開敷蓮花。一手把網索。一手把楊枝。一手把數珠。一手把澡罐。一手施出甘露。一手施出種種寶雨。一手施之無畏。又以

二手當臍。右押左仰掌。其餘九百八十二手。皆於手中各執種種器械等印。或單結手印。皆各不同。如心經說。手腕一一各著環釧。身服天妙寶衣。咽垂纓絡。其彩色中。勿銷皮膠水相和。當用香乳香膠調和。又一本云。此土無好白氎者。但取一幅白氎。亦得。圖畫其菩薩身。當長五尺。而有兩臂。依前第五千臂印法。亦得供養。不要千手千眼。此依梵本。唯菩薩額上復安一眼云。

上文云，千手千眼觀世音菩薩千臂總攝印第五。起立並足，先仰右手掌五指，各相附，復以左手掌仰押右掌上，當心著，此印力能摧伏三千大千世界一切魔怨。呪曰：

2 云

千眼千臂觀世音菩薩陀羅尼神呪經一

又畫千眼千臂觀世音菩薩像法

謹案梵本造像皆用白疊廣十肘此丈六尺二十肘此土三丈二尺菩薩身作檀金

色。面有三目。一千臂。一一掌中各有一眼。

綠色中不得著膠。以香乳汁和綠色。菩薩

頭著七寶天冠。身垂纓絡。又一本云。此無

好大白蠶。但取一幅白蠶。菩薩身長五尺。

作兩臂依前第五千臂印法亦得俱養不

要千眼千臂此亦依梵本唯菩薩額上更

安——眼即得。

上文云千眼千臂觀世音菩薩千臂總攝印第五云云一如

千眼千臂經云次說畫像造像法謹案西國梵本造像皆用白疊廣一丈六尺長三丈二尺菩薩身赤檀金色面有三眼一千臂一掌中各有一眼采色中不得著膠已香乳和采色頭著花冠身垂瓔珞又一本云此無好白疊大都取一幅白疊菩薩身長五尺作兩臂依第五印法亦得供養不要千眼千臂此亦依梵本唯菩薩額上更安一眼即得云

上文云千眼千臂觀世音菩薩千臂總攝印第五起立並足先仰右手掌五指各相附復以左手掌仰押右掌上當心著此名總攝印云

觀音集長安云或千手經上卷云謹案西國梵本造像皆用白疊廣一丈六尺長三丈二尺菩薩身作檀金色面有三眼一千臂一掌中各有一眼正前面前身有十二臂及左右兩傍總一千臂中二臂一手把鐵釵與身齊一手把蓮花莖亦如釵長一手把滅罪印一手把澡罐一手把羅索兩手合掌常心又申一手向下施如意手更一手出無盡寶施貧人又一手出甘露施餓鬼前十二手中各各把物作法擬拔濟衆生菩薩一手臂手復各執文仰印降魔菩薩頂上著花冠身垂瓔珞又有一梵本云此處無好大白疊但取一幅白疊長五尺前兩臂傍無千臂亦得供養不要千

臂此亦依梵本說菩薩額上必須安著一眼若不安梵本云夫菩薩相好若安額上一眼作像法用即得具足相好云可考本書也

二十七面千臂

秘藏記云千手千眼觀自在菩薩二十七面其千手千眼黃金

或經云行者於頂觀置二十七面十波羅蜜所成就云

成就院抄云法三胎藏記云千手千眼觀自在通身黃色有二十七面正面上五面次上七面次上七面次上五面次上五面次上三面各三面左邊一面現齒二牙上

出右邊面出齒爲微咬形手掌各有一眼然四十二手執持種種器械右手青蓮次兩手合掌次二手定印次鉢次三貼次寶印次補桃次梵篋印次劍次鏡次月次錫杖次施願次珠數次胡瓶次箭次五色雲

次開白蓮花次燭雙次鈎次化佛左手開敷紅蓮次經篋次一貼杵次二貼鈴次索次錄珠次商估次錢錢次輪次三叉次玉環次澡瓶次弓次榜排次開紫蓮次柳枝

次白拂次日次宮殿結跏坐寶蓮花項下瓔珞內繫著白珠瓔珞外有青珠瓔垂至臍云

觀音集長安云圓堂本云黃金色二十七面所持之物如經所說坐寶蓮花也後本坐蓮花云

又圖云黃金色二十七面五重正面之

左面忿怒相右如例次二重各七面次二重各五面每首有髮髻冠鬘最上正中一面其面有肉髻四十二臂印執器仗等九百五十八臂半掌舒出重輪環宛似圓光每掌有一眼云

左第一手當脇持紅蓮花右第一手對左持青蓮花次左右二手當心合掌次左右第三手仰膊前結妙觀察智印從左第四手執持寶篋玉環如意寶螺

網索軍持弓榜排鉞斧紫蓮三股鈴一股杵楊柳金輪白拂日輪戟稍宮殿等十八物從右第四手執持寶鉢第五手施無畏

梵篋蒲桃數珠胡瓶箭劍有柄五色雲白蓮花寶印三股杵觸轆有柄鏡鈎有柄花月輪錫杖化佛等十七物云云已上四十二臂

千手經四十一臂如文四十一臂無妙觀察智二上加頂上化佛手歟可尋云已上觀音集文也文字極惡可見古本私云爲見可圖二十七面之樣所書此文凡重不得心能有可沙汰

三十面 惠什圖梨抄云頂上面說有多 十一面 二十七面 三十面 或五百面 云云 云云 三十面像可考之

五百面千臂 攝無礙陀羅尼經云第一內心地有八葉蓮花○從此花臺心出現大月輪中有本尊像號千手千眼妙色超三界金色具暉

瞿首持髮髻冠。寶冠紺髮垂。頂上五百面。具足眼一千。諸頭寶冠中。安住化佛身。身相十百臂。其中操雜寶。左定日精珠。左理宮殿珠。左定較銷珠。左理榜排珠。左定寶弓珠。左理彈持珠。左定羅索珠。左理紅蓮珠。左定白蓮珠。左蒲桃珠。左理化佛珠。左定寶螺珠。左理金剛杵。左定鐵鈎珠。左理白拂珠。左定寶鐸珠。左理如意珠。定惠十蓮合。理智入定印。右惠月精珠。右智色雲珠。右惠錫杖珠。右智寶劍珠。右惠寶箭珠。右智胡瓶珠。右惠數玉珠。右智紫蓮珠。右惠青蓮珠。右智寶經珠。右惠金輪珠。右智獨體珠。右惠楊柳珠。右智頂上珠。右惠寶鉢珠。右智三釵珠。右惠鐵鐸珠。右智無畏珠。右惠寶印珠。各、妙寶臂。猶如尼瞿枝。鐵釧爲臂玉。百千寶璣珠。妙璣及天衣。莊嚴珠妙體。救世圓滿光。離熱住三昧。跏趺右押左。安住妙寶蓮。妙相無倫匹。云、又云。千臂千眼觀音。五百諸頭冠。各、住佛身。千眼千臂體。身相黃金色。左定開敷蓮。左理持網索。右惠大蓮花。右智寶數珠。定惠合掌印。理智三摩地。滿願法千縷。所求皆滿。○百億妙璣珠。天衣及寶璣。嚴飾上妙身。圓光遍法界。住鉢曇摩花。跏趺右押左。云、千光眼經云。觀自在菩薩。照微咲。放大光明。頂上顯現五百頭面。具足千眼。每於天冠各有化佛。亦放光明。菩薩身上現出一千寶臂。各執寶物。云、

十一面像

二臂

十一面神呪心經云。玄奘譯若欲成立此呪者。應當先以堅好無隙白旃檀香刻作觀自在菩薩像。長一椀手半。左手執紅蓮花。軍持。展右臂以掛數珠及作施無畏手。其像作十一面。當前三面作慈悲相。左邊三面作瞋怒相。右邊三面作白牙上出相。當後一面作暴惡大咲相。頂上一面作佛面。像諸頭冠中皆作佛身。其觀自在菩薩身上具璣珠等莊嚴。云、十一面觀世音神呪經。耶闍多闍云須用白旃檀作觀世音像。其木要須精實不得枯饑。身長一尺三寸。作十一面。頭當前三面作菩薩面。左相三面作瞋面。右相三面作菩薩面。狗牙上出。後有一面作咲面。頂上一面作佛面。其十一面各戴花冠。其花冠中各作阿彌陀佛。觀世音把澡瓶。出蓮花。展其右手。以串璣珠。施無畏手。其像身須刻出璣珠莊嚴。云、已上二經同本異譯集經二云。畫十一面觀世音菩薩。結跏趺坐。屈右臂向肩。上掌覆向背。手把蓮花。右臂節柱右膝上。左手把白拂。尾向右出。云、同經四云。用白旃檀作十一面觀世音像。其木要須精好堅實不得枯饑。其像身量長佛一肘。若人肘量若不得者一尺三寸。作之亦得。作十一面。當前三面作菩薩面。左相三面當作瞋面。右相三面似菩薩面。狗

牙上出。後有一面當作咲面。其頂上面當作佛面。其十一面各戴花冠。其花冠中各安一阿彌陀佛。其像左手把一澡罐。其澡罐口挿一蓮花。右臂垂下。展其右手。以串璣珠。施無畏手。其像身上刻出縷絡種種莊嚴。作其像身若以金銀鍍石畫等悉皆得之。云、四臂十一面軌上云。若欲成就者。以堅好無隙白檀香彫觀自在菩薩。身長一尺三寸。作十一面。四臂。右邊第一手持念珠。第二手持軍持。其十一面。當前三面作寂靜相。左邊三面威怒相。右邊三面利牙出現相。後有一面作笑怒容。最上一面作如來相。頭冠中各有化佛。觀自在菩薩身種、璣珠裝嚴。云、攝無礙陀羅尼經云。十一面觀音諸頭髮髻冠。中住佛身。正面淺黃金。救世哀愍。相。左右青黑面。左三忿怒相。右三降魔相。當後暴咲相。頂上如來相。四臂兩足體。左定執蓮花。左理握鐸持。右惠施無畏。或結拳印契。右智持數珠。被璣妙璣珠。天衣及上裳。商佉妙色光。安住千葉蓮。跏趺右押左。云、秘藏記云。十一面觀自在菩薩。有十一面。左色在四手。右上手蓮花。天一手鐸持瓶。右上手施無畏契。夫一手係數珠。云、不同記云。現圖在一臂羅刹。左有十一面。正面兩邊各有面。次上五面。次上三面。四

臂右手豎掌屈無名指或圓豎掌如施無畏次手下仰垂掌向右屈頭中指執珠數次手下仰垂掌屈四指執澡瓶云

如意輪像

二臂

如意輪陀羅尼經云○於花臺上畫如意輪聖觀自在菩薩面西結跏趺坐顏貌黑怡身金色相首戴寶冠有化佛菩薩左手執蓮花當其臺上畫如意寶珠右手作說法相天諸衣服珠璫銀釧七寶瓔珞種種莊嚴身放衆光云

除災教令法輪云次明觀自在亦號如意輪左掌摩尼珠惠舒施願印身皆白紅色住大蓮花中云

如意摩尼金輪呪王經云其畫像菩薩身首皆並白紅色頭上化佛坐白寶蓮花上菩薩頭上作寶冠瓔珞手上作環釧左手執一寶蓮花上安寶珠有火焰右手屈臂在乳房下仰掌把如意寶珠結跏趺坐縵紗絡膊朝霞鬘跨坐大寶蓮花腰緣帶垂下兩邊頭復有兩重圓光其菩薩身在白月圓光內座兩邊各有三道光起云又云畫二臂菩薩白色莊嚴結跏趺坐白蓮花左脚踏右又押左又手押右並仰相押其手安脚上菩薩心中畫一化佛左手把右手頭指餘三指各把拳當心下其佛著緋色袈裟坐寶華上菩薩頭後有三重光身在大白月圓光內坐像兩邊各

有一含蓮華及有荷葉其菩薩膊上有兩條白帶垂下至肘云

四臂

又云又別畫像法取白氈若淨布絹如前法重呪已亦如前取畫像人及綵色法即於物上從下先畫一水池上有山紅蓮華無空竅在山頂上下平正菩薩處之而坐身色赤白相好端嚴迴面向西纒似低頭先垂左足右挾左上足著草履頭有寶冠中有一化佛下有寶如仰半月中復有寶蓮華佛處花中跏趺而坐菩薩頂著寶冠臂有天衣身佩瓔珞腰著輕赤裙四臂左上第一手下至繫腰處捉蓮花莖於虎口中上出掌向下提其花出於當身座下池中上長過項下去水一尺許分出一花未開向東一葉向西次上五寸許又分出一葉向東此葉在座蓮花下於項齊又分出一葉向東一葉向西最上有開敷蓮花之中有一化佛相好如前第二手於第一手後向上可至取母指與食指頭捻珠白色右上第一手屈上肘去右膝上一寸許母指與中指頭作相捻勢相去如豆許不相著眼作低視食指長指中似有少曲無名指稍曲多於中小指少曲多於食指此手共捻珠手俱現掌有輪又次第二手亦第一手後曲向上比肘稍高二寸許執方梵匣其四手腕各著劍二道於前蓮花莖兩邊各一蓮花作欲開勢莖可長一尺許次前花莖東有龍女人

身色著赤裙天衣項有生花鬘於頂近好有鬘并有垂下髮至肩二手捉大蓮花左莖手在右手向上二手掌俱在下項著寶冠臂有環釧又於大花莖西有龍男人身闊肉色口角有鬘與前女相對合掌而立於池水中水至膝已下龍女亦如是立著赤裙天衣腕有釧無鬘有髮垂下二俱項有圓光各有一白色龍其龍蛇頭菩薩左足前有一人肉色著衣甲左手垂下曲上執稍著地右手曲下至臍執金剛杵豎左右肩手指側承在杵下腰有胡祿頭身傾向有頭著七寶冠中現一白馬頭及項菩薩左有一人似女面肉色與前著衣甲人齊作行執著天衣赤裙七寶冠頸釧右手垂下向上執梵篋方作右手下至繫腰處執一蓮花上過於項有鬘并有垂下髮至肩菩薩執梵篋下一毘那夜迦人身象頭白色兼有少肉色著天衣皮褲以脚皮向前繫腰左手向前把青蓮花一莖欲開右手又腰著頸釧立於石上其石歪牙非山菩薩左與毘那夜迦當有一婆羅門肉色鬘髮並白色髮垂兩腋已下被赤衣著赤褲子於胸前及脇脾並露左手執軍持肘前臂上絡一鹿皮並頭脚並足右手五指向前於虎口中撥數珠舉脚作行勢向菩薩菩薩頭上有七合佛中心佛像跏趺作說法容於右有一佛五低頭右手向前作說法勢左手垂下向前作捻衣容於右又有一佛跏趺加入定

坐於右又有二佛。五覆肩披衣。右手持盃。
右手於盃邊作似說法手。如上四像並立。
蓮花。三佛像同。次上三佛像相對而畫如。
意輪菩薩。左外邊畫佛像。書云。即現佛身。
而為說法。次下畫沙門。髮肩及身上並白。
如入禪定。又次下畫帝釋身。書云。現帝釋。
身而為說法。又次下畫天大將軍身。衣甲。
執刀低身。題云。現天大將軍身而為說法。
菩薩外右邊佛像。題云同上。次下畫沙門。
如入禪定。題云。現聲聞身而為說法。又次。
下畫梵王。髻髮身分似佛。披紫色衣。執經。
一卷。題云。現梵王身而為說法。次下畫小。
王。執笏著衣冠曲身。題云。現小王身而為。
說法云。

六臂

如意輪念誦法不空云。次應思惟想。於身。
中正當胸間如滿月形光明晃曜。月上八。
葉蓮花。上有如意寶珠。如紅頗利色。光明。
赫赫。光明至無量世界。於光明中想。自身。
如本尊像。六臂相好起大悲心云。
觀自在如意輪菩薩瑜伽法要云。金剛智則。
六臂身金色。皆想於自身。頂髻寶莊嚴。冠。
坐自在王。住於說法相。第一手思惟。愍念。
有情故。第二持意寶。能滿一切願。第三持。
念珠。為度傍生苦。左按光明山。成就無傾。
動。第二持蓮手。能淨諸非法。第三手持輪。
能轉無上法。六臂廣博。能遊於六道。以。
大悲方便。斷諸有。行者如是觀。坐於。
月輪中。身流千光明。頂背皆圓光云。不。
空釋如。

意輪如大同小
異付之七集用之

如意摩尼金輪呪王經云。又畫像法。其菩。
薩圓滿端正微妙。上好有六手。頭上有一。
化佛。坐寶華。及有通身光。菩薩髮髻紺青。
作螺。身著瓔珞。手臂上安環釧。其菩薩絡。
膊及裙。並是朝霞。綬帶繫腰。左上手仰掌。
大母指中指。把一開敷寶蓮花。上有一如。
意珠。珠上有火焰。第二手下曲向膝上。五。
指作拳。把一天聲。口向下。唇金色。第三。
向膝下。以中指頭。指捻一紅蓮花。似開少。
許。右上第一手屈於脇前。大指頭指無名。
指。小指並舒展。中指直豎。指頭上立豎一。
跋折羅。上有火焰。第二手下垂覆作降。
魔印。五指舒展。第三手向膝下。花上作捻。
花勢。以無名指捻之。其菩薩結跏趺坐。寶。
蓮花。及頭光。並在白月光內。左右各有三。
道光。明。菩薩上有二天仙散花。地碧色云。
不空絹索經九云。如意輪觀世音。身有六。
臂。一手執輪。一手持數珠。一手執如意寶。
珠。一手折右頰。一手把蓮花。一手按地。結。
跏趺坐云。有觀音。
不空絹索經十二云。如意輪觀世音菩薩。
一手執輪。一手執蓮花。一手掌如意寶珠。
一手掌頰。一手膝上執持數珠。一手按地。
結跏趺坐云。
攝無礙經云。次如意輪觀音。微妙大寶冠。
頂上住佛身。一面愍念。相身相淺黃色。六。
臂兩足體。左定按明山。左理執蓮花。左定。
持金寶。右惠思惟相。右智如意寶。右惠持。

數珠。被髮妙瓔珞。袈裟天衣裳。圓光蓮花。
色。安住大蓮花。仰左跌承右云。
觀音集云。圓堂圖云。金色六臂。右一手思。
惟相。次手持寶。次手持珠數。左一手按光。
明山。次手持蓮花。次手捧金輪。左足上立。
右足也。坐赤蓮花。後本坐白蓮花云。
私云。舉世用此圖像。六臂持物。叶金剛。
智不空兩軌。但左足上立右足事。上所。
勸諸文不見之。若次上攝無礙經文。仰。
左跌承右云。若相叶此圖歟。
十臂
如意摩尼金輪呪王經云。取白氎布一丈。
五尺。分為兩段。別長七尺五寸。縫相著。
以安悉香薰。呪一百八遍。其像通身華座。
及蓋。總長七尺五寸。若欲大作者。准前法。
用三幅為之。長一丈八尺。作亦得。其畫像。
人須每日與受八戒。洗浴清淨。著新淨衣。
一出浴。不得雜穢。觸淨三。道各須如法。
其畫像。綵色以薰陸香薰。呪一百八遍。然。
後入用唯通香膠。餘盡不得。於前盤上畫。
作一菩薩像。身安十手。上第一手左右於。
頂上合掌。第二手左當把日。右當把月。第。
三左手把如意珠。左手把輪。第四左手執。
澡罐。口著青蓮花。右手執跋折羅。第五左。
手執呪索。右手執數珠。其像頂上放大光。
明。照十方大地。身上天衣頭項兩手並有。
七寶瓔珞。其像足下盡一十地菩薩。從地。
踊出。像踏膊上。十地菩薩。擎手捧足。其像。
左邊畫帝釋。提頭。賴吒毘樓勒。又二天王。

各領諸衆二部鬼神。右邊盡梵天王毘沙門毘樓博叉天王。各領諸衆二部鬼神。各執器仗。其當部鬼神各於神脚下畫之。如無疊布。取未嫁女兒織絹等宛之亦得。

十二臂

又云。如意輪蓮花峰王十二手像法。如意輪王與一切衆生滿願自在。不思議神力。身畫像法不問淨不淨。乃至白疊布絹種。皆不擇時日。辨即作法。其菩薩圓滿相。好甚妙端正。頂上有一化佛。結跏趺坐。一蓮花上。佛右手作說法。左手在腰。臍下仰掌。菩薩著頭冠。環珞頭光通身光。身長一丈五尺五寸。不限大小。悉皆普得。上左右二手在頂上作合掌勢。左上第二手少曲託金輪。右第二手捉拔折羅作擬勢。左第三手仰掌向上。屈無名指大指捻一寶花。蓮花內有一如意珠。上有火焰。右第三手執色如意杖。左第四手作歡喜印。大指捻無名指第三節上。向前擬勢。右第四手把一三股叉。左第五手向下垂執深鉢。右第五手下申作施無畏手。左右第六手當心作自在神通如意神力印。左右二小指二無名指反相叉入掌中。二中指頭相跏。二頭指第二節曲。以二大母指押中指第二節文。其菩薩身白紅色。緋絡膊。朝霞曼勝。紅紗爲裙。脚踏白蓮花。其蓮花在水池中。上有二天散花供養。下左相畫一金剛藏王菩薩。右手屈向脇前執一青蓮花莖。其花在頂前。蓮花上有跋折羅。上有

火焰。左手執白拂。身著種種衣服。立於青蓮花。右相畫一軍荼利菩薩。六手青面青色身。左上第一手執輪作擬勢。右第一手執跋折羅亦作擬勢。左第二手作斷其一切煩惱印。大母指捻中指第二節側文。無名指中指小指急把作拳勢。右第二手向下作施無畏手。左右第三手左押右交在胸前作身印。大母指押小指甲上。三指並豎散如八字。立一青蓮花上。菩薩足下畫一呪師。手執香爐。胡跪瞻仰菩薩。呪師身著白衣。

康熙三年三月日命書生令寫了。即以寫本自加校點了。竟祖師迴冥勝令成弟子之心願給。

權大僧都賢寶四十九年

所引勘文謬字多之。追披本文可糾之也。

寶永三年八月中旬加修復之了。

杲快

卷五

有人云。滅罪印者。非云手印。是器仗印也。把理趣經也。施如意手者。別本云。施無畏手也。施無畏手有二樣。一覆掌。二仰掌。五頂王經中。第一卷主兵神印。右手覆掌。置右膝上。是名施無畏印。又勝佛頂。

右手仰掌置右膝上。是名施無畏印。故有仰樣。又如意輪金輪聖王經中。伏掌垂下置膝上。名降魔印。以降魔印名施無畏印。是施無畏者是降魔之義也。又智人傳云。覆掌是降魔印也。仰掌是施無畏印。

圖像集第二末

觀音末

不空羅索 多羅 毗俱低
耶輸多羅 得大勢 白衣
大白衣 葉衣 青頸 阿麼羅
一髻羅刹 忿怒鉤 馬頭
隨求 三十三身

不空羅索像

二臂

經二菩薩提云。聖者觀世音菩薩。真金色身。顏貌熙怡。左手當胸執金蓮花。右手掐珠結跏趺坐。一切莊嚴。身放種種奇特光明。云其像。羅索三昧耶。以金或銀鑄。不空羅索觀音。身長八指量。取手兩。把是。三面兩臂。正面慈悲。左面大瞋。怒目張口。右面微瞋。順眉合口。首戴寶冠。有化佛。左手執羅索。右手揚掌。七寶瓔珞。銀銅天衣而莊。

嚴之坐蓮花座云

四臂

不空絹索陀羅尼經云李無諂說造像之法與其畫師授於八戒令淨持齋當於不截淨白氈上畫觀自在菩薩形像諸彩色中不得著膠作髻髮色如蓮花藏面上三眼白綬絡身披黑鹿皮綬帶繫腰身有四手左上一手執持蓮花左下一手執持澡罐右上一手執持數珠右下一手垂於向下作施無畏著天妙衣一切嚴具以爲嚴身立蓮花上百千光明莊嚴頭冠并散雜花令有威德半月環珞々々其身耳璫臂釧及以手釧而爲莊嚴作歡喜面其頂上持阿彌陀佛云々

又云於其壇中心作觀自在頭戴天冠紺髮垂下一切嚴具莊嚴其身常頭上作阿彌陀佛作水精色菩薩四臂左上一手執蓮花瓶寶也左下一手施無畏手右上一手把於數珠右下一手作施無畏端正殊妙悅可衆心作歡喜狀圓光圍繞天妙花光以爲莊嚴正當胸前作於萬字西國字也眼如低視當於蓮花臺坐上立云々

不空陀羅尼自在王呪經上寶也畫聖觀自在菩薩形像其身黃白首戴花冠紺髮分披兩肩前後慈顏和悅放百千光清淨殊勝面有三目以純白綬交絡肩臆以翳泥耶鹿王皮而覆肩莊嚴寶帶以繫其腰尊者四臂左邊上手執持蓮花下手執持操瓶右邊上手施無畏下手執數珠皆

以珍寶而嚴飾之身著天衣立蓮花上有大威德環珞短長交轉垂下耳璫臂印及以環釧皆寶飾之頂上畫作無量壽於其楨內畫種種花云々

同經下云畫聖觀自在菩薩形像其像立蓮花座中頂上螺髻紺髮垂下首上寶冠畫無量壽佛其尊者身一切莊具而嚴飾之形狀白色如顏脂應作四臂右邊二手持蓮花一持澡罐左邊二手持持數珠一施無畏面貌端嚴熙怡寂靜圓光之上畫作天花而嚴飾之於其胸前作萬字印俯身低視云々

又云○應畫不空絹索呪王其形色相非赤非白衣服赤色頭髮動搖面有三目赤色赤光耳璫垂下口出四牙二上二下兩眉或嘖下唇時動身有四臂長短環珞交垂胸臆於尊者前雙膝著地曲躬瞻仰側耳而聽云々

私云四臂所持物不云之可相尋經八云不空絹索觀世音香像成就三昧耶等數當以白栴檀香沈水香鬱金香甘松香龍腦香麝香一切諸香相和未治等數當以熏陸香白膠香乾闥婆香和煎取汁和合香末眞言加持一百八返又重搗治圖畫不空絹索觀世音菩薩一面四臂面目熙怡首戴寶冠寶冠有化佛一手執蓮花一手持絹索一手執三叉戟一手揚掌結跏趺坐天諸衣服珠璣環珞銀釧而莊嚴之被鹿皮衣云々

同第十五云不空絹索觀世音菩薩一面右一手把絹索二手合掌首戴寶冠有化佛種々莊嚴坐花坐上曲躬瞻仰云々

又云觀世音菩薩身持大梵天相一手執蓮一手執戟一手持索一手彈指云々在蓮云々

又云不空絹索觀世音菩薩一面四臂著天衣服銀釧珠璣狀大梵天面有三目首戴寶冠有化佛一手把蓮花一手把三叉戟一手把絹索一手施無畏結跏趺坐云々

又云第二十同之

十六云清淨如法作銀蓮花以一寸鏡爲蓮華面寶珠花鑿四緣莊嚴如法銀造一尺二寸不空絹索觀世音菩薩一面三目身有四臂一手執三叉戟一手持絹索一手執蓮花一手掌如意寶珠結跏趺坐首戴寶冠有化佛像腹內空舍利百粒龍腦香白栴檀香安內腹中花冠環珞耳璫銀釧天諸衣服種種莊嚴置鏡心上云々

十七云觀世音○大光明中千葉蓮臺即於臺上出現寶帳○帳中現○觀世音菩薩大梵天相面目熙怡三眼四臂具以衆寶環珞天服而莊嚴身首戴寶冠有化佛一手把索一手執寶蓮花冠一手把寶杖一手執金剛杵結跏趺坐云々

三十云不空絹索觀世音菩薩身色相好如大梵天面有三目首戴寶冠有化佛身有四臂一手執三叉戟一手把絹索一

手執蓮花。一手揚掌。半跏趺云。

十一云。欲受持悉地王真言三昧耶者。以

好白氈不截斷者。方量四肘。圖畫悉地王

像。畫匠畫時。前淨沐浴。著淨衣服。勿用皮

膠。調和彩色。中畫海水。補陀洛山七寶宮

殿。圖畫不空。悉地王觀世音。三面四臂。身

真金色。結跏趺坐。正面。慈悲。怒目。右面。微怒。合

口。顯眉。怒目。左面。可畏。奮目。帳口。狗牙上

出。首戴月冠。有化佛。一手執蓮花。一手

把三叉戟。一手把不空梵甲。一手施無畏。

佩身光焰云。

十九云。根本蓮花。畫根本蓮花頂觀世音

菩薩。大梵天相。三面四臂。面目。慈悲。當

正面。眉間。一眼。首戴七寶月冠。有化佛。

右第一手。把三叉戟。右第二手。把蓮花。貫

索。左第一手。把七寶開敷蓮花。於花臺中

出。觀世音菩薩。面首。頭戴寶冠。繞頭冠上

發大光焰。左第二手。下舒五指。雨出七寶

手上。繞發火焰。衆寶環。耳瑠瓔。釧。天諸

衣服。種種莊飾。結跏趺坐。寶蓮花座。身圓

光焰云。

二十一云。白旃檀香像。成就三昧耶。量十

六指。真言。加持。影圖。不空王觀世音菩薩

三面四臂。結跏趺坐。正中。大面。眉間。一目

三面。目慈悲。怒目。首上。各戴衆寶月冠。有

化佛。左一手。持網索。一手。執開蓮花。右

一手。把三股金剛杵。一手。伸施無畏。結雨

衆寶。天諸衣服。珠瑠瓔。釧。種。莊嚴。坐寶

蓮花。師子之座。身佩光焰。左旃檀香多羅

菩薩坐蓮花座。右旃檀香濕廢多菩薩坐

蓮花座云。

二十八云。觀世音菩薩。說是明王真言之

時。光明。溥照。一切。如來。種族。秘密。心陀羅

尼。真言。曼荼羅。印。三昧耶。佛前。蓮花。卽自

開敷。臺中。出現。不空。網索。心王。清淨。蓮花

明王。三面。四臂。首戴寶冠。有化佛。當

正面。圓滿。慈悲。眉間。一目。左右。二面。如不

空。網索。觀世音。左右。面。目。一手。持開蓮花。

一手。執網索。一手。持寶幢。一手。把三叉戟。

衆寶。環。耳瑠瓔。釧。天諸衣服。種種莊嚴。

相好。殊特。踰於。諸天。無量。億千。蓮花。臺上

結跏趺坐。放。億。俱。抵。百。千。光明。云。

攝無礙。經云。不空。網索。觀世音。頂上。五髻。冠。

安住。化身。佛。具。三面。九眼。正面。白。肉。色。微

咲。慈。悲。相。左右。大。青色。瞋。怒。降。魔。相。身。被

妙。瓔。環。繫。鹿。皮。袈。裟。百。福。嚴。寶。身。四。臂。兩

足。體。左。定。開。蓮。花。左。理。持。網。索。或。執。持。數

珠。右。惠。說。法。身。或。持。金。剛。鎖。右。惠。執。鐺。持。

妙。寶。瓔。瓔。光。住。千。葉。蓮。花。跏。趺。右。押。左。云。

六臂

經八云。若提。清。潔。如。法。純。金。造。像。三。面。六

臂。正。面。慈。悲。怒。目。左。面。慈。悲。怒。目。張。口。狗。牙。上

出。右。面。顯。眉。怒。目。合。口。首。戴。寶。冠。有。化

佛。一。手。執。蓮。花。一。手。執。網。索。一。手。把。三。叉

戟。一。手。執。瓶。一。手。施。無。畏。一。手。揚。掌。結。跏

趺。坐。蓮。花。座。其。座。山。上。天。諸。衣。服。寶。瓔

瑠。瓔。釧。種。莊。嚴。像。復。內。空。以。白。旃。檀。香

末。龍。腦。香。末。和。佛。舍。利。內。像。腹。中。於。像。左

邊。作。真。言。者。踞。跪。而。坐。手。執。香。鈺。瞻。仰。於

像云。

二十二云。白旃檀香多羅囉香。凡有十

略。量。等。精。治。取。吉。宿。日。蠟。和。真。言。加。持。千

遍。圖。素。不。空。王。觀。世。音。身。量。橫。量。十。六

指。數。三。面。六。臂。正。中。大。面。慈。悲。怒。目。如。大

梵。天。面。肩。間。一。眼。首。戴。天。冠。有。化。阿。彌

陀。佛。左。面。怒。目。可。畏。眉。間。一。眼。髮。髻。聳。豎。

首。戴。月。冠。有。化。佛。左。面。顯。眉。怒。目。狗。牙

上。出。極。大。可。畏。眉。間。一。眼。髮。髻。聳。豎。首。戴

月。冠。有。化。佛。一。手。持。網。索。一。手。執。蓮。花。

一。手。持。三。叉。戟。一。手。執。鉞。斧。一。手。施。無。畏。

一。手。把。如。意。寶。杖。結。跏。趺。坐。佩。身。光。焰。衆

妙。天。衣。珠。瑠。瓔。釧。種。莊。嚴。坐。蓮。花。座。左

素。濕。廢。多。白。觀。世。音。菩。薩。半。跏。趺。坐。右。索

多。羅。菩。薩。半。跏。趺。坐。花。冠。衣。服。寶。珠。瑠。瓔

耳。瑠。瓔。釧。如。法。莊。嚴。又。右。邊。素。真。言。者。胡

跪。而。坐。一。手。把。蓮。花。又。手。指。數。珠。瞻。仰。菩

薩。三。像。以。金。彩。色。綺。飾。肉。色。頭。冠。環。瓔。耳

瑠。瓔。釧。衣。服。花。座。云。

又云。金造不空王觀世音。三面六臂。正

中。大。面。慈。悲。怒。目。肩。間。一。眼。左。面。顯。眉。怒

目。可。畏。眉。間。一。眼。右。面。顯。眉。怒。目。狗。牙。上

出。極。大。可。畏。眉。間。一。眼。三。首。寶。冠。有。化

阿。彌。陀。佛。髮。髻。聳。豎。一。手。持。網。索。一。手。執

三。叉。戟。一。手。持。鉞。斧。一。手。把。如。意。杖。一。手

持。澡。罐。口。咄。蓮。花。一。手。施。無。畏。結。跏。趺。坐。

佩。身。光。焰。衆。妙。天。衣。寶。珠。瑠。瓔。耳。瑠。瓔。釧

種。莊。嚴。像。腹。內。空。白。旃。檀。末。香。龍。腦。末

香和佛舍利一百八粒內像腹中滿填如法左銀濕廢多菩薩右銀多羅菩薩其半跏趺坐花冠瓔珞鑲釧衣服金寶莊嚴云

二十五云 廣大明王 不空廣大明王觀世

音菩薩結跏趺坐三面六臂身真金色正面微嚔右面微嚔狗牙上出左面大嚔三首月冠有化佛三頭鬘髮髻焰赤帶左第一手執金剛鉤并持蓮花右第一手持三叉戟并持金剛杵左第二手執霸索并持金剛鉤右第二手執金剛杵并持金剛鉤左第三手伸雨衆寶右第三手向外揚掌安慰摩頂寶珠瓔珞耳環鑲釧天諸衣服種種莊嚴坐寶蓮花師子座上佩火焰

光如鉤相云
二十七云 大可畏明 不空大可畏明王觀世音菩薩結跏趺坐三面六臂身檀金色

當中正面微嚔微笑首戴寶冠左顯怒齒咬下唇右面可畏狗牙上出三首寶冠有化佛寶焰赤帶當中頭上出大可畏明王半身一面兩臂面狀青色作大笑面狗牙上出首戴寶冠有化佛髮髻赤色鬘

焰赤帶一手持劍一手執鎚繞劍鎚上出火光焰天妙衣服珠瓔珞鑲釧具莊嚴身遍身火焰右第一手持開蓮花鬘屈如鉤右第二手伸施無畏雨下衆寶右第三手持三叉戟左第一手持鉤左第二手執索

左第三手執把金輪是六手上放種種光衆妙花綵羅縠天衣珠瓔珞鑲釧具莊飾之

身放大光云

八臂

不空霸索陀羅尼儀軌經上不空云圖畫不空霸索觀世音菩薩如大自在天首戴寶冠有化阿彌陀佛被鹿皮衣七寶衣服珠瓔珞鑲釧種莊嚴執持器杖云不空霸索經一云不空霸索觀世音菩薩如大自在天首戴寶冠有化阿彌陀佛披鹿皮衣七寶衣服珠瓔珞鑲釧種莊嚴執持器杖云

不空霸索神呪心經 玄非 云欲受持者以新白疊應長一丈而闊五尺總一段成勿斷經緯畫作佛像所用彩色應和香膠自外諸膠成不得用佛像右邊應復畫作觀自在菩薩似大自在天頂有鬘髮首冠花冠鑲聖邪皮被右肩上自餘身分璽路環

鑲面爲莊嚴畫師應須澡浴香潔著新淨衣離雜穢食等精齋戒淨處畫之云
寶志和尚傳云昔新羅國有一沙彌名曰元考神通智慧能化衆生說法無礙所行難量或俱時現所高座或異時家設齋爾時唐國有王名太宗文皇帝于時太宗發願云我爲衆生欲作三身一體之觀音像傳聞新羅國有化身之沙彌神變自在今請彼人欲問可造作菩薩體故差使於新羅國屈請彼沙彌于時新羅國王請件沙彌述事山矣沙彌語唐朝使云我詣唐國而不可赴御願矣何以故我大師寶

志和尚是觀音之化身即在長安市化度衆生大使早還可奏其由即作消息之書寄使手呈大師使手還朝具奏件事矣于時國王即出勅使令持沙彌文書與市官共求件和尚曾不知在所于時有人申云年來市門有賤陋乞食夫聖人者和光同塵暗跡混俗是故凡夫難知其變恐若是人歟于時勅使并市司等至於乞食之所禮拜具陳勅旨并獻新羅沙彌之信乞者即取信披讀其辭云弟子元考啓若波羅福日元考蒙恩敢以啓達當國有緣度了今所遣者無緣者耳伏乞和尚化緣若了來入此境度難化人元考無化發念之至謹具拙狀敢以啓達謹啓云于時勅使早還奏具旨此時國王行幸乞者之所敬陳禮拜曰願大和尚被救度朕和尚答云不敢罪過國王即陳上大願之旨和尚云若然者得三人造工令造三身一體之身國王歡喜歸蹕差送三人好手佛師和尚即以右大指之爪從眉間至額裂開令見佛師一人見三日八臂不空霸索其長一丈魏端正一人見十一面觀自在菩薩一棟手半相好圓滿一人手千手眼觀音長六尺放光照曜三人異見各圖一體于時乞者忽然不現但其住所文書盡解說圖通之理也禪門學人無不學習十四科是也

或記云興福寺南回堂不空霸索

金色丈六不空羅索觀音坐像口傳云：頂上化佛地，蓋著菩薩之子細可尋之云。

惠什圖梨云：三本經但言三日八臂，不說八臂持物。依何可畫乎？爰尋往古像，可爲證本。昔長岳右丞相被造丈六像，其像安置興福寺南圓堂，弘法大師以是爲本，尊修行不空羅索法，靈驗揭焉。

藤氏于今仰崇彼堂，故付彼本可畫之。三目八臂，冠中有立化佛，於眉間白毫上，豎有一日。左右二手合掌當胸，左次手持蓮花，次手於膝上持羅索，第四手作與願印，右第二手持錫杖，第三手於跏上持白拂，第四手作與願印，垂諸指仰掌。左右相對作同印，不持物，二足以左安右，上不着袈裟，又東大寺羅索院右京龍蓋寺金堂，皆有三月八臂丈六不空羅索金色立像，與南圓堂本八臂持物頗有不同。又鎮西觀世音寺安丈六觀音像三體，謂如意輪爲中央，其西方立不空羅索丈六像，頭上有十一面，身具八臂，其持物以南圓堂像爲本尊者，依玄并，不空所譯經可修行也。其行法儀式具載經文云。

私云：不空等所譯三經之外，寶志和尚傳文，依爲八臂所書加之。持明藏瑜伽大教尊那菩薩大明成就儀軌經三云：然新畫不空羅索，四面八臂，以虎皮爲衣，復爲絡腋，復以鹿皮爲天衣，而有三日，頂戴寶冠，髮鬘下垂，右第一手

作施願印，第二手持數珠，第三手執羅索，第四手作施無畏印，左第一手持白蓮花，第二手持經，第三手作拳，豎立頭指，作期梵印，第四手執鉤，光焰遍身，照耀嚴盛，下面畫難陀烏波難陀二龍王，皆有七頭，手執佛座及蓮花莖云。

十臂

二十一云：當以白氎或絹布上方量八肘，當中畫不空王觀世音菩薩，三面十臂，身真金色，常中正面，眉間一目，三面熙怡，首戴月冠，有化佛，右一手持羅索，一手執蓮花，一手把三叉戟，一手持持，左一手指如意珠，一手把寶杖，一手伸施無畏，一手捻念珠，二手當胸合掌，被鹿皮衣，頸白瓔珞寶璫環釧種々，天衣而莊彩之，結跏趺坐，衆寶蓮花師子之座云。

十八臂

經八云：不空王像三昧耶，當以白氎或細布上，或復絹上，方圓四肘，或方八肘，畫匠畫時，一出浴以香塗身，著淨衣服，食三白食，寂然斷語，受八齋戒，蓋筆彩色，皆令淨好，勿用皮膠調和彩色。當中畫七寶補陀洛山，其山腰象須彌山腰，山巔九寶猶若蓮花，當中背狀如蓮花臺，山上畫諸寶鳥之類，當中背上七寶宮殿種種莊飾，其宮殿地衆寶所成，殿中置寶蓮花師子座，其上不空羅索觀世音菩薩，一面三日，一十八臂，身真金色，結跏趺坐，面貌熙怡，首

戴寶冠，有化佛，二手當胸合掌，二手當臍側垂合掌，以二大指指雙屈掌中，二手心下合腕，左手五指各散微屈，象開蓮花，右手大指與中指頭相捻，其頭指無名，指小指各散微屈，二手臍下結羅索印，一手把三叉戟，一手執寶幢，一手持開蓮花，一手持不空梵甲，一手把羅索，一手執金剛鉤，一手施無畏，一手執持，一手持寶瓶，一手掌寶花盤，被鹿皮衣，七寶瓔珞天

諸衣服寶珠環釧而莊飾之，佩身光焰云。二十云：不空王觀世音菩薩，○一面三目，一十八臂，身真金色，顏貌熙怡，相好殊特，首戴寶冠，有化阿彌陀佛，二手當心合掌虛掌，二中指頭相柱，二大指指二頭指，二無名指二小指各微伸屈，頭相去半寸，一手把三叉戟，一手持羅索，一手執澡罐，一手把如意珠，一手持寶蓮花，一手執如意寶幢，一手把樣子枝柯葉果，一手安慰仰垂兩寶，一手捻數珠，一手把鉤，二手合掌大虛掌內，二中指頭指相去三分，二手當臍，以右手背押左手背，以右大指指又入左小指指岐間相又，以左大指指又入右小指指岐間相又，二手合掌，二中指二無名指二小指右押左相又，屈入掌中，二頭指頭相柱，其二大指指右押左屈入掌中，天諸妙綺羅縠衣服，七寶瓔珞珠璫環釧種々莊嚴，以白羅索衣上絡膊，結跏趺坐，寶蓮花座，身放無量種種光明，十八臂像，如可考之。

授記經云。畫多羅菩薩。妙寶莊嚴身綠黃色。合掌捧青蓮花。半跏而坐。作恭敬曲躬之相云。

授記經云。多羅菩薩。左手持青蓮花。右手仰安臍上。如坐禪勢。眼亦如是。嚴飾瓔珞。披紗縠朝霞衣。怡然而住云。

攝無礙經云。多羅菩薩。頂上髮髻冠。身相青白色。中年女人狀。定惠青蓮花。圓滿周遍光。暉發猶淨金。微咲鮮白衣。嚴身無有極云。

毘俱胝

四臂

大日經一云。左邊毘俱胝。手垂數珠鬘。三目持髮髻。尊形猶皓素。圓光色無主。黃赤白相入。

疏五云。

左邊畫聖者。毘俱胝。其身四身。右邊一手垂數珠鬘。一手作施願印。左邊一手持蓮花。一手持軍持。面有三目。如摩醯首羅像。首戴髮冠。如毘盧遮那髮髻冠形云。

不空羼索經八云。毘俱胝觀世音菩薩。肩間一目。身有四臂。一手把開蓮花。一手執澡罐。一手臍下仰掌。一手把數珠。半跏趺坐云。

菩提場一字頂輪王經二云。畫毘俱胝。身白色。三目四臂。右第一手持杖。左第一持瓶。右第一手持念珠。左第二手持蓮花。身儀寂靜云。

五佛頂經一云。畫毘俱胝菩薩。身白紅色。三眼四臂。一手把如意寶枝。一手把君持。一手把數珠。一手把蓮花云。

授記經云。畫三目四手毘俱胝菩薩。身著素衣。左第一手執蓮花。第二手執軍持。右第一手作無畏印。第二手執數珠云。

除災救令法輪云。毗俱胝白玉而爲色。前定惠二羽。定執未敷蓮。惠手上無畏。後二定惠手。定執於念珠。惠手執軍持云。

攝無礙經云。毘俱胝觀音。頂上大寶冠。身相白肉色。具一面二眼。慈怡慈悲相。四臂兩足體。左定執蓮花。左理持軍持。右惠握數珠。右智與願印。妙寶青蓮花。彼髻及衣。瓔珞上妙裳。安住千葉蓮。跏趺右押左云。

三尊
集經五云。畫毗俱知像法。若用白鬘若於絹上畫作其像。畫師先受持八戒齋。畫釋迦佛像。左相畫金剛。右相畫觀世音菩薩。其佛金色。金剛身面勿黑勿白。形狀如年十六童子。一切身分猶如莊嚴菩薩身法。其觀世音面及身分。頭冠纓絡天衣莊嚴。錦綺羅裙皆如餘處畫觀世音菩薩之法云。

耶輪陀羅像
二臂
大日經一云。明妃住其側。號持名稱者。一切妙瓔珞莊嚴。金色身。執鮮妙花枝。左持鉢。鳳遇云。摩揭青玄軌同之。

疏五云。畫明妃耶輪陀羅。身真金色。以諸瓔珞莊嚴。令極端嚴。如天女之像。右手持鮮白妙花枝。果葉相間。長條茂好。其花或有初苞。或有欲開。或有正開。敷者若五若十。乃至數十。左手持鉢。鳳遇。亦是西方勝上之花云。

得大勢菩薩像
二臂
大日經一云。畫得大勢尊。被服商估色。大悲蓮花手。滋榮而未敷。圍繞以圓光云。諸軌同之。

攝無礙經云。得大勢菩薩。頂上五髻冠。中住錫持。身相白肉色。左定白蓮花。右惠說法印。妙髮寶瓔珞。嚴身如觀音。安住月輪中云。

不空羼索陀羅尼經云。李無諱作大勢至菩薩。形像容儀寂靜。應說天冠。以天嚴具莊嚴其身。被天妙衣。偏袒右肩。合掌云。

蓮花。右手揚掌結跏趺坐云。

集經二云。大勢至菩薩結跏趺坐。左手覆掌於左膝上。右手屈臂。節柱右膝上。豎臂向上。以大指捻無名指甲上。頭指中指小指。蹠蹠掌側當前云。

七集云。圖肉色。左手持蓮花。右手常胸屈地水火三指。坐赤蓮花云。

白衣觀世音像
師曰云。白衣觀世音像也。

（實書八）

二臂

大日經一云。近聖者多羅。住於白處尊。髮冠襲純帛。鉢曇摩花手云。
疏五云。多羅之右置半拏羅縛悉寧。○戴天髮髻冠。襲純素衣。左手持開敷蓮花云。廣大軌中云。次近多羅右。臺中觀半字。放白淨光輪。圓明現白處。髮冠襲純帛。持鉢曇摩花云。
青龍軌中云。近聖者多羅。住於白處尊。髮冠襲純帛。鉢曇摩花手。軌同之。
攝大軌中云。次近聖者多羅。當觀白處尊。髮冠襲純衣。鉢曇摩花手云。
不空羣索經八云。白衣觀世音母菩薩。左手搏脇。膝上仰掌。執不開蓮花。右手側揚掌。半跏趺坐云。
九云。白衣觀世音母菩薩。左手執開蓮花。右手仰伸膝下。半跏趺坐云。
又云。白衣觀世音母菩薩。左手執蓮花。右手仰押膝上。半跏趺坐云。
二十云。次半拏羅婆。從作白衣觀世音菩薩。手執蓮花云。坐蓮花坐。觀音集可勘經。
二十七云。觀世音母菩薩。身素白色。面目熙怡。手執蓮花。微少低頭。半跏趺坐。以諸羅穀天妙衣服。珠璣瑠璃。而莊飾之。坐蓮花座云。
三十云。白衣觀世音母菩薩。顏貌熙怡。左手執蓮花。右手仰申膝上。半跏趺坐云。
善提場一字頂輪王經二云。畫白衣觀自在。以蓮花髮莊嚴其身。以寶綰角絡被。右

手把真多麼尼寶。第二手施願。此菩薩是蓮花族母。應於蓮花上坐云。
五佛頂經一云。畫半拏羅婆。拏觀音母菩薩。身白色。相。右手執開蓮花。於花臺上。畫如意寶珠。左手仰左膝上。施於無畏云。
阿喇多羅阿嚕力經云。畫聖者半拏羅婆。悉伽菩薩。在母也。髮亦上結。寶冠種。寶衣以爲莊嚴。著白色衣。天衣爲黑。左手持棒。或持羣索。右手執於般若梵夾云。
攝無礙經云。白處觀音。髮冠襲鈍色。身相白黃色。左定鉢曇摩。右惠垂拏印。百千種。瓔珞嚴身如上說云。
惠什闍梨白衣觀音抄云。
次明宋朝所闡像者。左手持念珠。右手執寶印。以白綰綵覆首而垂下。肩。衣服身色所坐圓光等皆悉白色。銘曰行道觀音。我朝皆云白衣觀音。
又有宋本。右手垂下。把念珠。左手覆掌。地風二指舒之。少屈水火安於右腕上。頭冠有一立化佛。冠上覆以白綰。其端垂下。肩。上。空中有一聚雲。上在化佛。右手作說法印。左手仰安。跏上坐月輪。菩薩立二蓮花臺上云。
大白身觀音
二臂
不空羣索經八云。大白身觀世音菩薩。左手把開蓮花。右手膝下仰掌。半跏坐云。
攝無礙經云。白身觀音。頂上大寶冠。身相

淺黃色。大悲救世間。左定說法印。右惠執蓮花。嚴身如上說云。

葉衣像

二臂

葉衣觀自在菩薩陀羅尼經云。不空若國內疫流行。應取白疊。闊一肘半。長二肘。先令畫人潔淨齋戒。以羅摩夷汁和小青綠。以香膠和勿用皮膠。取鬼宿日畫葉衣。觀自在菩薩像。其像作天女形。首戴寶冠。有無量壽佛。瓔珞環釧莊嚴其身。有圓光火焰圍繞。像有四臂。右第一手常心持吉祥果。第二手作施願手。左第一手持鉞斧。第二手持羣索。坐紅蓮花上云。
又云。又法。應畫本命宿直。每月供養。若作如是法者。惡宿直轉成吉祥。以白檀香。作葉衣觀自在菩薩像。○帶云。
千手標熾曼荼羅軌云。頂上大寶冠。髮現無量可勘之。

披葉衣觀音像

二臂

攝無礙經云。披葉衣觀音。頂上大寶冠。髮現無量壽。身相白肉色。左定說法印。右惠未開蓮。商佉軍那光。微咲坐白蓮。跏趺右押左云。

青頸觀音像

二臂

不空絹索經九云。青頸觀世音菩薩。左手執蓮花。右手揚掌。結跏趺坐云。

四臂

青頸觀自在菩薩經云。次常說此青頸觀自在菩薩畫像法。其像三面。當前正面作慈悲熙怡貌。右邊作師子面。左邊作猪面。首戴寶冠。中有化無量壽佛。又有四臂。右第一臂執杖。第二臂執把蓮花。左第一執輪。左第二執螺。以虎皮爲裙。以黑鹿皮於左膊角絡。披黑蛇以爲神線。於八葉蓮花上立。環珞臂釧。環珞光焰莊嚴其身。其神線從左膊角絡下云。

阿摩醯像

四臂

觀自在阿摩醯法云。阿摩醯觀自在菩薩像。如波羅蜜菩薩形。三目四臂。乘白師子座。頭向左膝下。首戴寶冠。以白蓮花嚴飾。前二手執鳳頭笠篋。左一手掌摩竭魚。右一手持吉祥鳥白色。左足屈在師子頂上。右足垂下。嚴以天衣。纓絡通身。光焰面貌慈悲。向左諦觀云。

一髻羅刹觀音像

四臂

一髻尊陀羅尼經云。不空畫像法。右手執劍。右手執三股叉。左手斧左索。身立云。攝無礙經云。次一髻羅刹觀音。頂上火髻冠。一面青黑色。甚大忿怒相。四臂兩足體。

右定執三劍。左理持絹索。右惠執寶劍。右智鉞斧鉤。被髮及環珞袈裟天衣裳。圓光百寶色。跏趺右押左云。

秘藏記云。一髻羅刹菩薩。忿怒形。赤髮。身色三股。折羅叉一手。索叉一手。鉞斧鉤一手。鈎叉一手。鈎叉一手。鈎叉一手。

七集上末云。圖青色忿怒形四臂。右第一手持劍。次手持鉞斧鉤。左第一手持索。下垂。次手持三股杵。坐赤蓮花云。

私云。經云。七。左右所持相違如件。

忿怒鉤觀音像

四臂

攝無礙經云。忿怒鉤觀音。頂上火焰冠。四面明王像。正面白肉色。眼目丈夫相。左右綠碧色。極大忿怒相。四臂兩足體。左定軌蓮花。左理持絹索。右惠執鐵鉤。右智與願契。嚴身妙環珞。被髮天衣裳。千色蓮花光。安住大寶花。跏趺右押左云。

馬頭

總明形像

馬頭明王軌上云。其蓮花變成觀自在菩薩身。紅顏梨色。坐蓮花臺上。首戴寶冠。中有化佛云。

大日經一云。於聖者前作大力持明王。晨朝日暉色。白蓮以嚴身。赫奕成焰鬘。吼怒牙出現。利爪獸王髮。阿耶揭利婆。諸軌同之。

疏五云。馬頭其身非黃非赤。如日初出之

色。以白蓮花爲環珞等莊嚴其身。光焰猛盛。赫奕如鬘。指甲長利。雙牙上出。首髮如師子項毛。作極吼怒之狀云。

善提場一字頂輪王經二云。畫賀。〇。唵。二。縛。大明王。身如火色。作忿怒形。鼻如猿猴。以蛇莊嚴環珞。臂釧。膊釧。繫蓮花鬘。作瞻睹輪王勢云。

二臂
五佛頂經一云。畫馬頭觀世音大明呪王。身赤紫色。面目瞋怒。左手胸側。堅執鉞斧。右手屈上。把蓮花。蓮葉華等。蛇爲環珞。腕著寶釧。臂著襪。首戴花冠。腰著衣服。坐寶蓮花云。

不空絹索經九云。馬頭觀世音菩薩。左手執鉞斧。右手持蓮花。華葉。半跏趺坐云。

集經六云。畫作馬頭觀世音像。其像身高如來一磔。等。一。畫作四箇歡喜之面。左邊一面畫作黑色。眼精綠色。狗牙上出。右邊一面畫作赤色。名喫呪面。當中前面作菩薩面。極令端正。畫作白色。離像頂上懸於空中。畫作青面。口吐寶珠。其四頭上各戴寶冠。其寶冠上皆化佛坐。菩薩左手把蓮花。屈肘向上。捧在膊前。右臂垂下。五指皆中施無畏手。兩手腕上皆作寶釧。其像項下著寶纓絡。身分莊嚴如餘處說觀世音身莊嚴之法。其像立在寶蓮花上云。

又云。〇。於此壇內。畫作菩薩。其菩薩身長佛一磔。長。知。正。當。總。有。四。面。中。菩。薩。面。極令端正。作慈悲顏。色赤白。頭髮純青。左邊

一面作大瞋怒黑色之面，狗牙上出，頭髮

挺堅如火焰色，右邊一面作咲顏，赤白端

正似菩薩面，頭髮純青，三面頭上各戴天

冠及著耳環，其天冠上有一化佛結跏趺

坐，中面頂上作碧馬頭，仍令合口，菩薩頭

下著寶纓絡，項背圓光數重色作，左手屈

臂，手當乳前把紅蓮花，其蓮花與菩薩頭

齊正，臨左膊，其花臺上作一化佛，著緋袈

裟，結跏趺坐，項背有光，右手仰掌，五指皆

申臂肘平屈，其手掌擎眞陀摩尼珠也，如

其珠圓圓，如作白色，赤色火焰圍繞其珠

於其右手正當珠下兩種，寶其左膊上

著弊耶二迦羅者摩二合唐如著祇支，當

右腋下掩皮結帶，更用虎皮縷其跨上，以

外臂銅天衣裙等，皆如餘處畫菩薩法，如

令菩薩端身，正立紅蓮花上，空懸寶傘蓋

菩薩頭，其上空中畫作種種天香樂具，兩

邊空中須陀會天舞蹈供養云

四臂

攝無礙經云，馬頭觀音，頂上寶馬頭，三面

三眼，正面寶冠中，安住化佛身，相赤

肉色，甚大瞋怒相，利牙現，臂上四臂兩足

體，定惠結印契，左定先結拳，屈攢戒忍輪

舒進禪如背，右惠亦如是，定惠進合頭當

膝稍下垂，左定拳印相，右惠持鉞斧，被璽

妙璽珞，天衣微妙衣，妙色琉璃光，安住大

蓮花，跏趺右押左云此像

觀自在菩薩授記經云，四臂馬頭菩薩，

二手結根本印，右手持鉞斧，左手執蓮花。

丁字而立，作忿怒相云

六臂

觀音集云，圓圖云，肉色三面，四臂結印，立

右足也，左跌翻向外也，後本一面四臂，二

手結印，右手持三鈎，左手持未開蓮花，坐

赤蓮花云

八臂

八字文殊軌云，畫馬頭明王，面有三面，八

臂各執器械，左一手執蓮花，一手執瓶，一

手執棒，當心二手結印契，右手上手執鉞

斧，一手執數珠，一手執索，輪王坐在蓮花

中，大忿怒相，現極惡猛利勢，餘皆依本法

云

秘藏記云，馬頭觀音菩薩，相并三面，在上

牙頭在白馬之形如

馬頭明王軌下云，若有惡人怨家於善人

起惡意相危害者，應當鑄作一金銅威怒

王像，隨意大小，其像形現四面八臂，每四

口上下利牙出現，八手把金剛器械，正面

頂上現一碧馬頭，髮如螺焰，大暴惡形，

乘青水牛，其牛背有蓮花形，其花形上而

蹲坐，遍身火焰洞然，逾劫災焰，大威怒王

降伏三世說吐，噓妙形如是云

又云，次復說賀野紇哩嚩像法，更有畫像

法，取淨白帛，不得裁割，請一畫師最功能

者，勿還其價，香湯洗浴，著新淨衣，與授八

戒，日如是，於清淨處作一水壇，縱廣四

肘，持誦者護身結界畢已，與彼護身，於其

壇中燒種種香，散種種花，供養已說，於此

壇內畫作大威怒王像，總有四面皆忿怒

每四口狗牙上下出現，頭髮挺堅如火焰

四面頂上各戴天冠，及著耳環，其天冠上

有化佛結跏趺坐，中面頂上作碧馬頭，

頂下著諸寶璽，身色赫奕如日輪，遍身

火焰逾劫災火，有八手，左右二手結根本

馬口密印，右方一手執金剛鉞，左方一手執

金剛棒，右方一手執金剛鉞，左方一手

執金剛寶輪，右方一手作施無畏，左方一

手執念珠，安坐寶盤石上，青蓮花臺，其盤

石山色赤黃青色，每八手腕上各皆作寶

釧，身分莊嚴如餘處說云

大隨求菩薩像

八臂

秘藏記云，大隨求菩薩，深黃之色，并有八臂，左

手執天寶輪，次手執寶索，右上手五股，拔折屢，次

手執寶天寶輪，次手執寶索，右上手五股，拔折屢，次

私云，胎藏七集同之

三十三身像

攝無礙經云

佛身，四八紫金色，牟尼善逝相，左定舒安

膝，右惠說法印，顯祇商佉光，住頭頭摩花

婆羅門身，面門赤肉色，首比丘僧狀，被白

素俗衣，定惠執錫杖

摩睺羅伽身，蛇頭貴人相，定惠把笙笛，或

以投擊鼓，威儀如天衆

聲聞身，相白肉色，熾年比丘相，執持三

衣，面身被僧伽利

比丘尼。肥膚白肉色。執持紅蓮花。耆老女人相。身被福田衣。

比丘身。皮皺赤肉色。威儀大德相。頭巾袈裟衣。執持鉢草座。

紫那羅王身。相赤肉色。龜鹿馬頭面。執持音聲器。身相赤肉色。

毘沙門身。頂上大寶冠。面門深黃色。忿怒降魔相。左定捧寶塔。右惠杵寶劍。身被甲冑衣。袈裟寶璣。天衣莊相身。

宰官身。面門赤肉色。定惠合掌印。身被禮服衣。大勢官人相。

優婆塞身。面門白肉色。白冠百結衣。執持修行器。白衣俗人相。

非人身。相本青色。左定執張弓。右惠持天箭。惡旃陀羅狀。

童目天女身。相白肉色。定惠執紫蓮花。憐愍一切故。示相天女相。妙寶璣。嚴飾殊妙體。

小王身。面門赤肉色。妙寶殊鬘冠。定惠共合掌。身被深赤色。

優婆夷身。面門白肉色。長髮女人狀。半齒愛敬相。執持蓮花函。

龍身。相大青色。頂上現龍頭。瞋恚忿怒相。定惠握黑雲。

大自在天身。頂上妙天冠。面門紫蓮色。定惠握利鋒。乘大黑水牛。天衣飛衣服。上妙寶璣。嚴身微妙色。安住月輪中。

婦女身。面門白肉色。諸天采女狀。愛敬重相。嚴身微妙身。

天身。相紅蓮色。左定蓮花函。右惠妙寶花。天衣萬福身。

夜叉身。頂上火焰冠。身相赤肉色。眼目雷電光。定惠持三銅。

辟支佛身。皮膚白肉色。中年比丘相。定惠十蓮合。身被福田衣。

童女身。面門珂雪色。小年女人狀。執持青蓮花。安住妙寶花。

人身。面門白肉色。身相貴人相。執持妙蓮花。身被百福衣。

乾闥婆身。頂上八角冠。身相赤肉色。耳如大牛王。左定執簫笛。右惠持寶劍。具大威力相。

執金剛身。相赤肉色。忿怒降魔相。髮鬘焰鬘冠。左定拳押腰。右惠金剛杵。金剛寶璣。天衣獸皮服。嚴身妙寶色。

童男身。面門白肉色。幼年少儻狀。定惠執蓮花。身被妙寶衣。

天大將軍身。面門赤肉色。定惠共合掌。容儀如帝釋。嚴身妙寶色。

迦樓羅身。相青黑色。面門妙翅鳥。威勢裸形相。人身具羽翼。左定拳著腰。右惠金剛鉤。

大梵身。頂上妙天冠。面門白肉色。四面三目相。八臂兩足體。左定握三銅。左理持蓮花。左定執鐔持。左理持白拂。右惠結拳印。右智持利鋒。右惠四智鏡。右智施無畏。身被妙璣。天衣及袈裟。莊嚴上妙身。圓光座白蓮。

長者身。面門白肉色。執持如意寶。身被禮服衣。大富貴人相。

自在天身。面門白肉色。執持紅蓮花。寶冠天帝釋。具足帝釋相。

阿修羅身。三面青黑色。忿怒裸形相。六臂兩足體。定惠合掌印。左定火願。左理執刀杖。右惠水願。右智持鐔印。

帝釋身。頂上寶冠中。戴縛日羅杵。面門白肉色。左定結拳印。右惠一銅杵。百千種璣。天衣及飛衣。莊嚴妙寶身。圓光月輪中。安住妙高座。

居士身。面門白肉色。執持摩尼寶。身被禮服衣。大家長者相。以上三十三身云。

私云。此千手使者也。

如意摩尼金輪呪王經云。

水德元年四月日命寫生令書之。予自加校合了。權大僧都賢寶四十九年。

寶永三年仲商中旬於觀智院令修復了。

呆快

〔圖〕六

大智度論第二云。如摩醯首羅天。秦言大自在。八臂三眼騎白牛云。

經王經疏二同之。

〔圖〕七

大日經疏五云。鉢胤遇花是淡黃色。

也。或如綠寶，是綠鉢羯寶，猶如虛空顯色也。云々

【表書八】

大日經疏十五云。三藏說。西方蓮花有多種。一者鉢頭摩。復有二種。一者赤色。即此間蓮花也。二者白色。今此間有白蓮花。是非芬陀利也。云々法花開題云。蓮花有多種。一鉢頭摩。此有二種。赤白二色。是今此間所有者。即是也。云々略抄之。
私云。此尊可令持白蓮花也。

圖像集第三 諸菩薩

普賢 金剛薩埵 金剛手
祕密主 金剛王 般若菩薩
文殊 彌勒 虛空藏 同求開持
地藏 香王菩薩 除蓋障
羯磨菩薩 持世菩薩 普賢延命
馬鳴 八大菩薩 三十七尊
聲聞 緣覺 妙幢

普賢菩薩像
普賢金剛薩埵念誦法云。不空普賢菩薩戴五佛冠。身如水精月色。右手持五鉗。金剛杵。左手持金剛鈴。身處在滿月輪中。云々成就妙法蓮花經王瑜伽觀智儀軌云。復

觀此金剛杵轉成普賢大菩薩身。光明皎潔。猶如月殿。戴五佛冠。天衣瓔珞。而自莊嚴。身背月輪。白蓮花王。以爲其座。右手持普提心五鉗。金剛杵。按於心上。左手持般若波羅蜜金剛鈴。用按於胯。一切相好具足。圓滿。云々
菩提場所說一字頂輪王經二云。佛右邊應畫普賢菩薩。手持白貓拂。云々
不空絹索陀羅尼經云。李無應作普賢菩薩。身相端嚴。如蓮花色。戴寶天冠。紺髮垂下。一切嚴具。莊嚴其身。而有兩臂。歡喜顏狀。偏袒右肩。合掌。云々
不空絹索經九云。普賢菩薩。左手揚掌。右手執劍。結跏趺坐。云々
集經六云。畫普賢菩薩像。其身金色。纓絡衣服。莊嚴。身分極令花飾。蓮花坐上結跏趺坐。右手執白拂。云々
攝無礙經云。普賢菩薩。頂上妙髻冠。身相白肉色。大悲愍念。相。左定蓮上劍。右惠拳押膝。白千種瓔珞。珠髮及天衣。一切妙寶色。莊嚴慈悲體。圓滿蓮環光。大寶蓮花座。安住滿月輪。云々
威儀形色經云。普賢菩薩。妙冠嚴髮髻。紺續垂耳側。身相淺紫色。左定蓮上劍。右惠拳押膝。大悲憐愍。相。珠鬘及袈裟。天衣妙瓔珞。銀釧爲臂。玉千色爲腰中。妙裳赤光色。身光如虹色。寶蓮以爲座。安住月輪海。云々

金剛薩埵像

大樂金剛薩埵。修行成就軌。不空又想。月輪上涌成五股。跋折羅。光明瑩徹。其跋折羅乃變同金剛薩埵。色若素月。具諸嚴飾。首戴五佛寶冠。身佩赤焰。處白蓮花上。○印相。右脚踏左。半跏而坐。二手各結金剛拳。左置胯。右輪擲勢。按於心上。云々
五祕密口決云。金剛薩埵者。○以五佛爲冠。背倚月輪。坐白蓮花。右手持五智金剛杵。安於心上。左手執般若波羅蜜金剛鈴。按於胯上。其身白色。云々
理趣釋上云。金剛薩埵菩薩。背月輪。戴五佛冠。右手持金剛杵。左手持鈴。半跏而坐。云々
正觀音軌云。觀自身如金剛薩埵菩薩。左手執金剛鈴。置於左胯上。右手持五股杵。當心作跳擲勢。身如白月色。頂戴五佛冠。坐月輪中。云々所觀尊也。

金剛手菩薩像

除災教令法輪云。金剛手。身貌白紅色。右持仰蓮花。上立五智。左手執鈴。契半跏坐蓮上。云々
最勝明王心經云。畫金剛手菩薩。身赤白色。著種種寶瓔珞。手持白拂。作佛如來勢。佛菩薩等皆願觀行人。云々

祕密主像

不空絹索經八云。執金剛祕密主菩薩。左

手執獨股金剛杵。右手把白拂。結跏趺坐云。

同十五云。金剛祕密主菩薩。身狀青色。一手把白拂。一手掌金剛杵云。

金剛王像

金剛王軌云。○成本尊身。有四臂。上二住端箭勢。下右手仰當心持金剛杵。下左手爲金剛拳。安左腰側。持金剛鈴。嚙眉口微笑。白色戴五佛冠。緋裙。天衣。半跏坐月輪中蓮花上云。

般若菩薩像

二臂

仁王念誦法云。其菩薩像結跏趺坐。白蓮花上。身黃金色。衆寶瓔珞遍身莊嚴。首戴寶冠。繫冠白絹。兩邊垂下。左手當心持般若梵夾。右手當乳作說法印。以大姆指押無名指頭云。

集經一云。○畫大般若菩薩之像。面有三目。莊嚴如前。手把經匣。端身而坐云。

上文云。項背有光。七寶瓔珞寶冠。天衣種。莊嚴云。

集經三云。畫大般若像法。畫大般若菩薩像。可取八月十五日。以細好絹兩幅。三幅亦任意用。高下闊狹必須相稱。於精舍中作水壇。竟於其壇中誦大般若呪。絹一百八遍已。請喚畫師。最好手者。令受八戒。一上廁一洗浴。著新淨衣。與作護身。其綵

色中用熏陸香。安悉香汁和。不得用膠。於其壇上日。三時散雜色花。燒沈水香。誦呪供養菩薩。夜別燃燈。用七盞。然後可畫菩薩。其菩薩身。除天冠外。身長一肘。人畫時。通身白色。面有三眼。似天女相。形貌端正。如菩薩形。師子座上結跏趺坐。頭戴天冠。作簪篸光。其耳中著直珠寶瓔。於其項下。七寶瓔珞。兩臂作屈左臂屈肘。側在胸上。其左手仰五指申展。掌中畫作七寶經函。其中具有十二部經。卽是般若波羅蜜藏。右手垂著右膝之上。五指舒展。卽是菩薩施無畏手。菩薩身上著羅綺繡作襠襠。其腰以下著朝霞裙。於上畫作黃色花襲。天衣籠絡。於兩臂腋間交出。其兩腕俱向於上微屈。曲如飛颺勢。其兩手腕皆著環釧。菩薩右相安梵摩天。通身白色。耳著寶瓔。其項上著七寶瓔珞。立體像上。右手屈臂向於肩。上著白拂。左手申臂手執澡罐。其腰以下著朝霞錦。以羅綺繡嚴飾衣服。其梵天身被紫袈裟。頭戴花冠。作簪篸光。其手脚腕皆著環釧。菩薩右相安帝釋天。通身白色。耳著寶瓔。其項上著七寶瓔珞。立體像上。右手屈臂向於肩。上著白拂。左手申臂手執白拂。左手掌向腹仰。掌中豎著一跋折羅。跋折羅頭向外著之。火焰圍繞。跋折羅身。其帝釋像從腰以下著朝霞錦。以羅綺繡嚴飾衣服。天衣籠絡。頭戴花冠。作簪篸光。其手脚腕皆著寶釧。菩薩光上兩相。皆畫作一須陀會

天。而散雜花。及寶瓔珞。而爲供養。其像坐下。畫作香爐供養之具。其供養具左右兩相。各畫布置八神王像。其神王色青黃赤白各爲一色。面作威怒。一神王著五色金銀細甲。各執器仗。威嚴而立。五色石上。次下右相畫呪師像。跏趺而坐。兩手捧持香爐供養。面仰向上。如似瞻仰菩薩尊顏云。

六臂

廣大軌下云。次當大日前。般若波羅蜜明妃契。六臂三目皆圓滿。定羽掌梵夾。惠羽堅印護。以定仰臍輪。惠羽垂與頤。二羽定惠手各結根本印。身被堅甲冑。是名諸佛母六波羅蜜印云。

文殊像

一臂

一臂文殊師利童子陀羅尼念誦儀軌云。於自牀上。或絹素上。畫一臂文殊師利菩薩童子形。金色半跏坐。千葉白蓮花上。左手執青蓮花。上有如意摩尼寶珠。右手指掌向外。垂下五指作滿願印。然怡微笑。種。珠鬘頭冠。瓔珞莊嚴其身云。

五臂

曼殊師利菩薩五字心陀羅尼品云。曼殊室利菩薩。身紫金色。頂有五髻。項背圓光。左手執青蓮花。右手執金剛藏梵夾云。

無字心陀羅尼品同之

又云。卽於壇心。畫曼殊師利菩薩。作童子

形。右手執金剛寶劍。左手持摩訶般若梵夾。壇輪回周梵寫阿羅跋者那字云。

曼殊室利童子菩薩五字瑜伽法云。於曼

拏羅中畫曼殊室利五髻童子形。身如鬱

金色。種々環瑤莊嚴其身。坐月輪。右手執

金剛劍。左手當心作金剛拳。持青蓮花。上

有般若波羅蜜經夾。於月輪四面周旋畫

五字真言云。

文殊師利菩薩儀軌供養法品云。不空文

殊師利童真菩薩。具大威德。身著種々環

瑤。頂想五髻。右手持智劍。左手執青蓮花

。上有般若波羅蜜經夾。身色如鬱金云。

金剛頂瑜加文殊師利菩薩經云。畫文殊

師利五髻童子形狀。右手抱金剛劍。左手

把梵夾。坐於月輪中。於月輪四面周匝書

五字陀羅尼云。

大日經一云。先圖妙吉祥。其身鬱金色。五

髻冠其頂。猶如童子形。左持青蓮花。上表

金剛印。慈顏遍微笑。坐於白蓮臺。妙相圓

普光。周匝互輝映云。

疏五云。畫文殊師利。身鬱金色。頂有五髻

作童子形。左持泥盧鉢羅。是細葉青蓮花

。上有金剛印。極熱怡微笑。坐白蓮花。此

其秘密轉轍也云。

大日經三云。作施願金剛童子形。三昧手

持青蓮花。上置金剛惠杵。以諸環瑤而自

莊嚴。上妙綃縠爲裙。極細者用爲上服。

身鬱金色。頂上有五髻云。

疏十三云。東方作施願金剛童子形。即文殊

也。名左手執青蓮華。上置金剛。經三云。金剛

一切縷絡嚴身。上妙細綃以爲下裙。極微

細縠以爲上服。又令細於下裙身色映現

也。身作鬱金色。頭上有五髻子云。

疏五云。其金光淨。體

大日經七云。當知聖者妙音尊。身相猶如

鬱金色。頂現童真五髻相。左伐折羅在青

蓮。以智惠手施無畏。或作金剛與願印云。

大毘盧遮那佛說要略念誦經云。文殊色

如鬱金。首有五髻。加跌而坐。以左手持青

蓮華。於其上豎拔折羅。以其右手作施

無畏。名施願手云。

文殊師利菩薩八字三昧經云。菩薩流

殊勝法。能伏兵力。更畫文殊像。五髻童子

身。騎乘於孔雀。安置於幢頭。或遣人手執

使令軍前行。諸賊遙望見自然皆退散云。

法寶藏經

又云。佛右邊畫文殊師利童子像。身佩縷

絡。頭戴寶冠。種々妙服。裝嚴其身。童子色

相如鬱金色。合掌踰躍。瞻仰如來。作請法

勢云。釋迦脇士。法寶藏經

不空羅索經九云。文殊室利菩薩。左手執

青優鉢羅華。右手揚掌。半跏趺坐云。

除災教令法輪云。右方文殊尊。首戴五智

髻。左執青蓮華。上立智杵。右持大惠劍。

半跏坐蓮華云。

攝無礙陀羅尼經云。文殊師利菩薩。頂上

五髻冠。身相黃金色。左定青蓮華。其上有

三劍。右惠執梵函。嚴飾妙寶身。圓光商估

色。安住月輪中云。

威儀形色經云。文殊師利菩薩。頂上五髻

冠。紺髮以垂肩。身相黃金色。左定青蓮花

。其上有三劍。右惠執梵篋。跏趺右押左。慈

悲引接相。身被袈裟衣。花鬘妙環瑤。環釧

爲臂玉。微妙寶天衣。綵綾以腰巾。著裳赤

光色。嚴飾上妙身。光如秋虹。寶花以爲

坐。安住月輪中云。

念誦結護云。文殊師利菩薩。身色黃金。頂

有五髻。禪執青蓮。智執般若梵夾。坐月輪

中。金剛杵四面圍遶。聖者於中乘雜色寶

花。放赤光明云。

六字

集經六云。文殊師利之像。蓮花坐上結跏

趺坐。其右手畫作說法手。左手正當胸上

仰著。畫其像。身作童子形。身黃金色。白色

天衣。遍膊以下。餘身皆露。首戴天冠。身佩

縷絡。臂印釧等。衆事莊嚴。身分。極令華飾

蓮花坐上結跏趺坐。左手執白拂。其右相

畫普賢菩薩像。其身金色。縷絡衣服莊嚴

身分。極令華飾。蓮花坐上結跏趺坐。右手

執白拂。正當文殊師利之上。於虛空中兩

邊各作蘇陀會天。手執花鬘。在空雲內唯

現半身。手垂華鬘。於其文殊師利像下右

邊。畫作授持呪者。右膝著地。手執香鑪。其

文殊師利等下邊作池水。其菩薩像兩邊

各畫作山峰形云。

六字功能法云。畫文殊師利菩薩。於蓮華

上座說法之像。一切莊嚴具足。作童子形。

天衣裙左肩云、

八字

八字文殊軌云、至誠起慈敬、觀想於本尊、金色放光明、乘師子王坐、操持智惠劍、左執青蓮華、花臺立智杵、首誓八智尊、暉光遍十方、如對行仁目云、

私問云、此尊左執青蓮花、臺立智杵

云、智杵者指何杵哉、答云、誠智杵者金剛杵總名也、何杵難知之、但杵者智惠表幟也、三五兩杵不可有差異、然者此法三形青蓮花上三古或、五古先德同被用之、仍所持杵又可然歟

又尋云、若然者可有勝劣之義哉、答云、不可有勝劣、同智之表幟故、又問云、可有證文哉、答云、於三古者可有證文、大日經第三說文殊印云、復以定惠手作空中心合掌、火輪水輪交結相持、以二風輪置二虛空輪上、猶如鈎形、餘

如前、是聖者文殊師利印云、私案云、此二水二火者青蓮花也、以二風輪置二虛空輪上、猶如鈎形者、此作三古形也、豈非青蓮花上三古哉、以此印可爲證據歟、於五古者未見之、猶可相尋之

八大童子像

八字軌云、如是八方妙吉祥童眞菩薩、皆面向中尊、如奉教勢、皆坐蓮花上、一各乘師子、二手各有執持標幟印契、畫須如法云、

救護惠童子

除災教令法輪云、復次救護惠、身相如白蓮、惠羽掩其心、空端直舒上云、

光網童子

大日經三云、光網童子、一切身分皆悉圓滿、三昧手執持寶冠、惠手持劍云、疏同之

不思議童子

除災教令法輪云、次明不思議、面貌赤金色、二手內合掌、風屈相對令甲背相著、向文殊奉勢云、

彌勒像

二臂

慈氏軌上云、慈氏菩薩白肉色、頭戴五智如來冠、左手執紅蓮花、於蓮華上畫

法界塔印、右手大姆指押火輪甲上、餘指散舒微屈、屈風幢、種、寶光、於寶蓮花上半跏而坐、種、璽、珞、天衣、白帶、銀釧、莊嚴、下云、本尊慈氏菩薩、首戴五如來冠、左手持蓮花、於華上置法界塔印、右手作說法印、結跏趺坐、同之、上像

又云、本尊慈氏如來、結跏趺坐、如入三弄地形、有兩臂、又從手掌持一寶蓮華臺、於蓮華臺上畫駝嚙左、龔佛塔、於佛塔上畫

大日如來、通身寶光、皆從光中又化出諸佛世尊、如鉢囉合、譯佛母菩薩像、以諸佛爲光、上下莊嚴一如前云、

私云、建久三年之秋之比、法皇御料醍醐權僧正、勝賢如法被奉造立此像、但無蓮華、定印之上被安置塔、若於此像被省除蓮華歟

翻權僧正、勝賢如法被奉造立此像、但無蓮華、定印之上被安置塔、若於此像被省除蓮華歟

攝無礙經云、慈氏菩薩、頂上妙寶冠、身相白肉色、左定紫蓮花、其上有鐸持、右惠摩膝相、一切妙璽、嚴飾救世身、安住月輪海云、

威儀形色經云、彌勒菩薩、頂上妙寶冠、紺髻垂兩肩、身相赤肉色、左定紫蓮花、其上有鐸持、右惠按摩膝、跏趺右押左、大慈大悲相、身被袈裟衣、珠璣寶璽、鑲釧爲臂、玉千色妙天衣、細軟以腰巾、妙裳赤朱色、莊嚴相好身、具相三十二圓光、商佉色、其光無不遍、寶花以爲座、住大月輪中云、

菩提場所說一字頂輪王經二云、佛左邊畫慈氏菩薩、手執白拂云、

三十臂

慈氏軌下云、觀一生補處菩薩、最勝大三昧耶像、○端正微妙第一、色如瞻部州檀金色、畫像深赤黃色是也、首戴五佛智七寶冠、種、璽、珞、莊嚴、天衣、環釧、璽、華、呢、索、真珠、綬帶、白帶、髮袋等、於大圓明中畫大百寶蓮花、於蓮花上結跏趺坐、入三昧、凝定、面貌慈軟含笑、三十臂各執寶蓮花、於蓮花上皆執本印契、各表三昧耶不同、有種、身光、項背亦耳、初左第一手執蓮花、於蓮花上畫法界塔印、右第一手執金剛拳、舒風幢、指右頰、令不至三分許、次左第二手持蓮花、於蓮花上畫七寶金輪、次

右第二手作金剛拳。亦舒風。旋橫弄三股。股趾羅合。左第三手。准右手。豎旋弄五股。金剛作。右第三手。執金剛劍。次左第四手。執蓮花。於蓮花上。置金剛網索。右第四手。倒畫寶輪。如旋弄五股杵形。次左第五手持寶幢輪。右第五手。執蓮花。於蓮花上。畫七寶宮殿。次左第六手。執數珠。右第六手。執蓮花。於蓮花上。置羯磨金剛。次左第七手持蓮花。於蓮花上。置寶金剛。次右第七手。執蓮花。於蓮花上。置法金剛。次左第八手持蓮花。於蓮花上。畫如來豪相三昧耶。右第八手。執蓮花。於蓮花上。畫如來眉形三昧耶。次左第九手。執蓮花。於蓮花上。畫如來眼三昧耶。右第九手。執蓮花。於蓮花上。畫如來鼻三摩地。次左第十手。執持如來耳根三昧耶。及三摩地印。右第十手持蓮花。於蓮花上。畫如來舌根三摩耶。次左第十一手持如來口三摩地。右第十一手。持蓮花。於蓮花上。畫佛心三昧耶。次左第十二手持蓮花。於蓮花上。畫如來臍三摩地。右第十二手。執蓮花。於蓮花上。畫如來馬陰藏三摩地。次左第十三手持蓮花。於蓮花上。畫如意摩尼。次右第十三手持如意棒。次左第十四手。執如來寶劍。右第十四手。執如來寶鏡。次左第十五手。執蓮花。於蓮花上。畫寶師子。右第十五手。把金剛鐸。已上如是三十手。皆以金剛拳。執寶蓮花。於蓮花上。置印契。皆以繁天帶。光焰繞之。及以天衣種。莊嚴像。左右皆

盡十鉢囉合。譯波羅蜜多菩薩。前後復畫內外八供養菩薩等。各執本契。住於圓明。皆向慈氏本尊。而恭敬相。上下諸莊嚴供養具。并畫持真言者。皆如常法云。

三尊

吽迦陀野軌中云。金剛智。又作隨心曼陀羅。中夾彌勒菩薩。左方法音輪菩薩。右方大妙相菩薩。四方四大天王云。

吽迦陀野別傳相應軌云。一面十臂天言。我大師補處彌勒菩薩。雖盡如死者。由念我汝弘誓。故三日如生。況於餘善願不圓滿乎。若行者欲成此事者。當作隨意曼荼羅護摩供養。其隨意曼荼羅相者。中安藥師佛像。左觀自在菩薩。右彌勒菩薩。藥師後安菩薩。所謂後左法音輪菩薩。右大妙相菩薩。次外院四方作四天王。所謂東方提頭賴吒天王。南方毘樓勒叉天王。西方毗樓博叉天王。北方安我一面十臂天云。又云。次說作像法者。藥師佛坐寶蓮花座。其形金色。烏瑟相也。左手取寶印。置左膝上。右手取補荷。次觀自在。左手執青蓮花。右手作施無畏印。次彌勒菩薩。左手執三鉤。右手持獨鉤。次法音輪。其形黃金。面貌甚端嚴。左手作金剛拳。安腰。右手持金剛輪。次大妙相菩薩。左手取金剛劍。右手令取白筆。以環珞莊嚴其身。若依或人說者。法音輪菩薩。黃金身。以左手作說法印。右手持輪。坐蓮華臺云。

私云。吽迦陀野軌者。天台所用本書也。

仍法性房抄有八帖。於別傳相應軌者。若於我朝私作是書。歟。妄恣可問天台明師。先師法勢。實勝福院之佛。後壁彌勒。後令圖繪法音輪大妙相之二菩薩。給遙異此文。可相尋之。

虛空藏菩薩像

大日經一云。次復於龍方當畫虛空藏。勤勇被白衣。持刀生焰光云。

疏五云。次於西方畫虛空藏菩薩。被鮮白衣。左手持蓮花。上有大刀印。刀印上遍生焰光云。

大日經三云。龍方虛空藏。白色白衣身有光焰。以諸嬰珞莊嚴。手持渴伽云。

疏十三云。西方虛空藏菩薩。亦以諸嬰珞莊嚴其身。白色著白衣。其白衣色映身作肉身有光焰。執大刀云。

理趣釋上云。虛空藏菩薩背月輪。右手持金剛寶。左手施願半跏而坐云。

念誦結護云。虛空藏菩薩。身如紫金色。頂戴五佛。左施無畏。右持青蓮花。中有紅頗梨寶菩薩。於中垂青蓮花。坐月輪中云。

祕藏記云。虛空藏菩薩。肉色。左手持開敷蓮花。持寶玉劍云。

虛空藏院

觀虛空藏菩薩經云。爾時當起是想。是虛空藏菩薩。頂上有如意珠。其如意珠作紫金色。若見如意珠。即見天冠。此天冠中有三十五佛像。現如意珠中。十方佛像現虛空藏菩薩。身長二十由旬。若現大身與觀

世音等。此菩薩結跏趺坐。授如意珠王。其如意珠演衆法音。○若此菩薩憐愍衆生。故作比丘像及一切色像云。

觀無量壽經云。應觀世音菩薩。此菩薩身長八十萬億那由他。由身云。若現大身與觀世音等者。此說歟。

求聞持虛空藏像

求聞持帆云。求聞持者。當於紺素白氎或淨板上。先畫滿月。於中畫虛空藏菩薩像。其量下至不減一肘。或復過此。任其力辨。菩薩滿月增減相稱。身作金色。寶蓮華上。半跏而坐。以右押左。容顏殊妙。作無怡喜。悅之相。於寶冠上有三十五佛像。結跏趺座。菩薩左手執白蓮花。微作紅色。於花臺上有如意寶珠。吹琉璃色。黃色發焰。右手復作與願印。五指垂下。現掌向外。足與願印相云。

私云。現圖像五佛寶冠也。

十波羅蜜形像

祕藏記云

後左在惠波羅蜜菩薩 肉色。右手取寶劍。
次方便波羅蜜菩薩 肉色。右手取寶劍。
次願波羅蜜菩薩 肉色。右手取寶劍。
次力波羅蜜菩薩 肉色。右手取寶劍。
次智波羅蜜菩薩 肉色。右手取寶劍。
後右在檀波羅蜜菩薩 肉色。持寶珠。
次戒波羅蜜菩薩 肉色。持寶珠。

次忍波羅蜜菩薩 肉色。取金盤。左手。
次精進波羅蜜菩薩 肉色。左手取寶劍。
次禪波羅蜜菩薩 肉色。左手取寶劍。

地藏像

地藏菩薩軌云。善無畏。說其像法。作聲聞形像。著袈裟。端覆左肩。左手持盤。花形。右手施無畏。令坐蓮花云。

又云。復作居士坐。大士像。頂著天冠。著袈裟。左手持蓮花。右手如先令安座。九品蓮臺云。

金剛頂經地藏菩薩念誦法品云。不空若復有人欲供養者。當畫地藏菩薩像。內祕菩薩行。外現比丘相。左手持寶珠。右執持錫杖。安住千葉青蓮花云。

大日經一云。次復捨斯位。至於北勝方。行者以一心憶持。布衆綵而造具。善忍地藏摩訶薩。其坐極巧嚴。身處於胎胎。雜寶莊嚴地。綺錯互相間。四寶爲蓮花聖者所安住云。

疏五云。次於北方畫地藏菩薩。於種々間飾雜寶莊嚴地上。以金銀頗瓶。水精四寶爲蓮花座。亦令最極巧麗。其菩薩在花座上。光焰周遍其身。如在胎藏。故云處於胎胎也云。
疏十三云。北方作地藏菩薩。色如鉢孕。花。西方出此花。如此間粟穀之色。花房亦如穀穗。甚香也。此菩薩手執蓮花。以諸璎珞莊嚴其身。五向之。

不空絹索經九云。地藏菩薩。左手執蓮花。臺上寶印。右手揚掌。半跏趺坐云。
不同記六云。現圖在第二重北方中央。右手仰掌。持月輪。山圖蓮上黑珠。左手作拳。常腰側執蓮。上立幘帽。上寶著幡。向左云。

香王菩薩像

香王菩薩陀羅尼呪經 義淨云。須畫香王菩薩於絹綿上。其畫匠不得過中食。須受八齋戒。其畫像法。任其大小。身肉皆白。面貌端正。頭戴天冠。頸有瓔珞。右臂垂下。五指皆中。施無畏手。其五指端各兩甘露。施於五道衆生。手下并黑鬼三五箇。左臂屈肘。手當左脇。以把蓮花。其花從脚下蓮花坐出。其花白紅色。足下蓮花赤白紅色。項背圓光。上有傘蓋。五色錦綺。以爲衣服。重珠條絡於膊上。一赤色。一黃色。其像當日須成。不得皮膠云。

私云。祕錄云。地藏法六 加香王菩薩法。

地祕真言一紙 運大集大集地藏十輪經十卷。貞元四。 香王菩薩陀羅尼經一 卷。貞元四。

尊云。香王菩薩法者。與地藏法同法歟。爲當別法歟。答云。若是別法歟。故祕錄云。加香王菩薩法云。又尊云。若別者。只可爲別法。何加地藏法哉。如何。

又問云。惠什闍梨抄觀音法中入之。若觀音法歟。答云。

除蓋障菩薩

大日經一云。次作大名稱除一切蓋障。執持如意寶云々。

疏五云。除蓋障菩薩。左手持蓮花。上置

摩尼寶珠。右作施無畏手云々

疏十三云。畫除一切蓋障菩薩。金色髮冠。

左手執真陀摩尼珠。在蓮花上也云。

羯磨菩薩像

理趣釋上云。金剛羯磨菩薩。一手作旋舞
置於頂上勢云。

持世菩薩像

持世陀羅尼別行功能法云。畫此持世之
像。其像身容青色黃色。坐蓮花座上。結跏
趺坐。身作種々環珞。頭冠環釧種々莊嚴
於手中執頗羅_{此云大石櫛}。左手當作施無
畏手。其像面當作微笑之容。以觀呪師之
勢。其形狀如梵天王。美貌可喜。畫之云々。

普賢延命像

二 腎

普賢延命經云。須臾畫普賢菩薩。如滿月童子形。五佛頭冠。右手持金剛杵。左手持召集金剛鈴契。髮纒綬帶。坐千葉寶花。下有白象王。象有三頭。鼻卷獨股杵。各具六牙。其象四足。踏一大金剛輪。下有五千群象。各負其輪。於菩薩身放百寶光。

外畫白月輪。衆彩莊嚴云々

二十臂

普賢延命口決云。此尊通身黃金色。著五
智寶冠。具足二十臂。而執持十六尊并四
攝三摩耶標幟。右方薩王愛喜寶光幢喉鈎索。
右方法利因語業讓牙掌鎖鈴。

被殊妙經衣。鬘綵綬帶。坐千葉寶花。下有四大白象。其象各向外方立。象頂上有四大天王。向外方立。誓護世界云々。

攝無礙陀羅尼經云。東門延命觀音。頂上
大寶冠。其中住佛身。相深黃色。慈悲柔
軟相。救世二十臂。引接群生類。兩足輻輪
相。化導諸有情。左定承寶珠。左理把寶劍
左定握金輪。左理金剛振。左定持榜排。左
理金剛鐸。左定金剛鈴。左理大蓮花。左定
持數珠。左理結拳印。右惠執戟鎗。右智金
剛鉤。右惠化佛像。右智金剛寶。右惠持寶
鏡。右智金剛索。右惠施無畏。右智跋折羅
右惠五鐏杵。右智縛日羅。百千種瓔珞。妙
鬘及天衣。莊嚴上妙身。圓光靡不遍。住頗
頭摩花。安住大月輪云。

馬鳴菩薩像

馬鳴軌云金剛智譯畫作菩薩像。色相白肉色而合掌坐白蓮花。乘白馬著白衣。以嬰珞莊嚴身。首戴花冠。垂右足。云々

八大菩薩像

八大菩薩曼荼羅經云。卽是曼荼羅中。相
於如來眞金色身。三十二相坐蓮花臺。

聖觀自在。赤身色。左手持蓮花。右手施願。

頭冠中有無量壽如來

慈氏菩薩。金色身。左手執軍持。右手施願。

畏冠中有宰都婆半跏坐

虛空藏菩薩。左手持寶安於心。右手施流

出無量寶

普賢菩薩。戴五佛冠。金色身。右手持劍。左

手施願半跏坐

金剛手菩薩。右手執金剛杵。左手安於胯

戴五佛冠。身青。半跏坐。

曼殊宰利童眞菩薩五髻童子形方手執

青蓮花、中

除蓋障菩薩。金色身。左手持如意幢。右手施願。半跏坐。

地藏菩薩頭

一切有情。左手安臍下。拓鉢。右手覆合掌。向下。大指捻頭指。作安慰一切有情云々。

寶波羅蜜。頂上五髻冠。身相白肉色。左定執蓮花。其蓮花上寶。右惠四角輪。袈裟妙璎珞。莊嚴相好身。安住月輪中。

法波羅蜜。頂上五髻冠。身相白肉色。定惠入定印。承蓮上梵。兩袈裟妙璎珞。莊嚴萬德身。圓光遍法界。安住月輪中。

羯磨波羅蜜。頂上五髻冠。身相青碧色。左定執蓮花。其蓮上梵。兩右惠羯磨杵。袈裟妙璎珞。莊嚴妙寶身。安住月輪中。

金剛薩埵菩薩。頂上大寶冠。身相白黃色。左定金剛拳。右惠三鋼杵。

金剛王菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。定惠共舉印。嚴身如上說。

金剛愛菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。左定執寶弓。右惠持寶箭。金剛寶璎珞。天衣及花鬘。嚴飾妙寶身。月輪光蓮座。

金剛喜菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。定惠結拳印。即著胸臆上。嚴身猶如愛。身光遍圍遶。十六大菩薩。威儀皆同體。已上東四菩薩

金剛寶菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。左定與願契。右惠金剛寶。

金剛光菩薩。頂上大寶冠。身相赤肉色。左定結拳印。右惠日精珠。

金剛幢菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。定惠寶幢幡。嚴身如上說。

金剛咲菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。定惠合掌拳。揚耳側勢耳。已上南四菩薩

金剛法菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。定惠承蓮花。嚴身如上說。

金剛利菩薩。頂上大寶冠。身相黃金色。左定蓮上。兩右惠金剛劍。

金剛因菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。左定金剛拳。右惠握金輪。

金剛語菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。定惠如來舌。嚴身如上說。已上西四菩薩

金剛業菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。定惠合掌印。

金剛護菩薩。頂上大寶冠。身相青碧色。左定舒頭指。自餘指皆屬。揚之附掖側。右惠亦如是。

金剛牙菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。定惠拳當臆。嚴身亦如上。

金剛拳菩薩。頂上大寶冠。身相大青色。定惠金剛拳。揚印當胸臆。腕稍屈垂心。嚴身猶說上。已上北方四菩薩

金剛嬉菩薩。頂上大寶冠。身相大青色。在定拳押膝。右惠。嚴身如觀音。威儀如說上。

金剛鬘菩薩。頂上大寶冠。身相大青色。執持蓮花。嚴身如觀音。

金剛歌菩薩。頂上大寶冠。面容白肉色。定惠執樂。妙寶諸璎珞。嚴身如觀音。普放圓滿光。安住寶蓮花。跏趺右菩薩。

金剛舞菩薩。頂上大寶冠。身相大青色。左定舒膝右。惠舒上。嚴身如觀音。一切相皆同。已上內四菩薩

金剛香菩薩。頂上大寶冠。身相大黑色。定惠持香爐。嚴身如上說。

金剛華菩薩。頂上大寶冠。身相淺黃色。定惠持鮮花。嚴身如上說。

金剛燈菩薩。頂上大寶冠。身相鮮肉色。定惠持燈幢。嚴身如上說。

金剛塗菩薩。頂上大寶冠。身相大青色。定惠塗香爐。嚴身如上說。已上外四菩薩

金剛鈎菩薩。頂上大寶冠。身相顰顰色。左定結拳印。右惠金剛鈎。百千寶璎珞。嚴身如上說。

金剛索菩薩。頂上大寶冠。身相白黃色。左定金剛索。右惠拳押膝。百千種璎珞。嚴身如上說。

金剛鎖菩薩。頂上大寶冠。身相白肉色。左定結拳印。右惠金剛鎖。百千種妙璎珞。嚴身如上說。

金剛鈴菩薩。頂上大寶冠。身相大青色。左定結拳印。右惠金剛鈴。一切寶璎珞。天衣及袈裟。莊嚴妙寶身。圓滿如紅色。住分荼利花。大滿月輪中云。已上四菩薩

私云。已上三十七之次第經異例。然而私如金剛頂經次第書烈之也。本經次第以味付之。

聲聞緣覺像

疏六云。聲聞緣覺一同比丘儀式。是中緣覺小差別者。謂或有肉髻等大人之相。云妙幢菩薩像。

最勝王經二云。世尊。我於夢中見婆羅門。

以手執桴擊妙金鼓出大音聲云、

永德元年五月十一自命寫生事功記
一交了 權大僧都賢寶

寶永三年仲秋中旬令加修復了

杲快

九

般若寺上綱疏抄云、文殊院疏云、東
方作施願金剛童子形、左手執青蓮
花、上置金剛云、

圖像集第四 忿怒

大輪明王 不動俱力迦羅、八大童子、蓮花童子、藥師、兜率、使者

降三世 軍荼利 大威德

金剛夜叉 八大明王 烏菟沙摩

愛染明王 障者 金剛童子

無能勝 金剛藏 麼莫計

金剛隨心

大輪明王像

二臂

八大菩薩曼荼羅經云 下在八大明王所

六臂

不同記六云、現圖在蘇悉地之右、身青黑

色、面忿怒相、火髮向上、三目六臂、右手緊
拳當胸、持三貼、次手、下向、右持劍、次手
兩手作拳、頭小相、鉤反印、置於頂上、左手
垂向、左屈、鉤頭、指執、獨結、持頭、次手、豎肘
向、左持輪云、

不動像

二臂

金剛手光明灌頂經云、次說無動尊畫像
儀作法、於袈裟上畫聖者無動尊、左垂一
索髮、左目而現、眇、右手操銳劍、左手執絹
索、安坐寶盤山、現叱咤暗喝、作怖三界相、
其身遍青色、上言袈裟畫、或赤或乾陀褐
色等、繪綵、是名為袈裟云、 (東傳一〇)

底哩三昧耶經下云、次說畫像法、畫無動
尊、身著赤土色裙衣、左垂髮、眼斜視、手
執劍索、坐寶蓮花、頓眉、噴面、作怖三世狀
本云、一卷

廣攝不動云、此同前經第一畫像
前云、安立寶盤山云、

使者軌云、畫不動使者、著赤色衣、斜被、揮
子亦赤色、左邊一髮下垂至耳、左眼微斜
看、左手把絹索、右手把劍、直豎、劍首如蓮
葉狀、劍靶寶鈿、於寶石上坐、曲眉、噴目、身
赤黃色、怒狀、令一切衆生皆怕懼相云、

廣攝不動云、此同初經第一畫像 前云、
通青、其身

金剛手光明灌頂經云、復次畫像法、取死
人衣服、畫聖無動尊、相貌如前說、刺取自

身血、畫無動尊像、安像而於西、眞言行菩
薩、面東對像坐、云、云、云、如前說、考、云、
底哩經云、又取尸陀林、用畫不動尊、以己
血、塗作肉色、像面西向、行者面東云、
使者法云、復次作別法、於尸陀林中、取死
人衣裳、畫不動使者、取行人已身上血、開
解之畫像、面西向、行人面東云、

廣攝不動云、此同初經第二畫像云、

金剛手光明灌頂經云、復次畫像法、於袈
裟上畫、應作青黑色、髮向左邊垂、作童子
形狀、手操鑠訖底、或執、日羅、眼青色、微
赤、威焰光赫、突、坐於盤山上、其山色赤黃、
著青色衣服、作孩子相貌云、 (東傳一〇)

底哩經云、又畫不動尊、著赤土色衣、左垂
髮、眼斜視、童子形、手執金剛杵及寶棒、
服微赤、坐蓮花上、頓怒、遍身火焰、一、卷本
底哩經下云、說無動尊金剛畫像法、身著
赤土色衣、左垂髮、眼斜視、童子狀、手執
金剛杵及寶棒、眼微赤、坐石上、頓怒、遍身
火焰云、

使者軌云、當畫不動使者、身赤黃色、上衣
斜被、著青色、下裳赤色、左邊一髮、黑雲色、
童子相貌、右手執金剛杵、左手把絹索、口
兩角微有牙出、怒眼赤色、火焰中坐、在石
山上云、

廣攝不動云、此同初經第五畫像 初云、
黑色著青色衣服後
云、坐蓮花也、

大日經一云、依濕哩底方不動如來使、持
惠刀、絹索、頂髮垂左肩、一目而諦觀、威怒

身猛焰安住在盤石面門水波相充滿童子形如是具惠者云云青軌

疏五云依濕哩底方畫不動明主如來使者作童子形右持大惠刀印左持羂索頂有莎髻屈髮垂在左肩細閉左目以下齒嚼右邊上唇其左邊下唇稍翻外出額有皺文猶如水波狀坐於石上其身卑而充滿肥盛作奮怒之勢極忿之形是其密印標幟相也云

廣軌中云不動如來使五寶盤石上觀含字法門放大火光明三角現青身惠刀定羂索頂髮垂左肩一目而諦觀威怒身猛焰面門水波相充滿童子形住火生三昧

一字頂輪王經四云畫不動使者面目瞋怒左手把羂索右手當胸邪豎把劍云

尊勝軌上云右邊三角赤光中畫無動尊於盤石上半跏趺坐一目怒出一目合咬下脣一邊反出赤髮交鎖垂下左邊身復肥滿如童子形右手把劍左手執索云

慈氏軌下云左邊畫三角形漫摩羅於中畫不動尊頂有七髻垂一髻於左耳輪咬右邊脣怒開左目相似合頭稍底向右半跏趺坐盤石七寶金山右手把金剛刀周旋生三昧火焰屈於右膝上左手屈臂向外執金剛索身上周圍生三昧火焰○以

天衣朱縷璎珞白帶莊嚴云

疏十六云不動尊漫荼羅風火俱者風謂半月火謂三角謂於半月壇中畫三角三

角中作不動尊也云

攝無礙經云東南無動尊髮上八葉蓮頂髮垂左肩一目而諦觀面門水波相大忿怒白牙左定握羂索右惠把寶劍金剛寶璎珞威怒身猛焰云

威儀形色經云西南不動尊髮上八葉蓮頂髻垂左肩一目而諦觀面門水波相大忿怒白牙左定握羂索金剛寶璎珞一切寶嚴飾威怒身火覺住七寶盤石云

立像

大毘盧遮那佛說要略念誦經云不動威怒法○想於自身如不動尊八字邪立作拔刀勢左轉辭之右繞結之是名結護

疏九云息障○時不動明王即持彼以左足踏其頂半月月中右足踏其妃首半月上

云云威哩

底哩經上云時不動明王即持彼以左足踏其頂半月月中右足踏其妃首半月上

三尊像

金剛手光明灌頂經云又法畫釋迦牟尼如來像右邊畫文殊童子之形像左畫金剛手菩薩微笑形於下畫無動大忿怒金剛著種種璎珞嚴飾身支分

同之第四像

佛像左畫曼殊童子像右畫執金剛菩薩像作微笑面手執金剛杵於執金剛下畫

不動尊即種之莊嚴云云卷本已上

廣攝不動云此同前經第四畫像云云殊

底哩經下云又畫像法先畫釋迦牟尼佛像傍畫文殊師利童子像畫執金剛菩薩

作微笑面手執金剛杵於執金剛下畫無動聖者種種莊嚴云

使者軌云先於中心畫釋迦牟尼佛右邊畫文殊師利童子菩薩形像左邊畫執金剛菩薩作美笑容右手執金剛杵底下畫不動使者寶璎珞莊嚴云

右畫金剛

剛云云

師口云中央釋迦不動尊右邊文殊制吒迦童子左邊金剛手矜羯落童子也此三尊表三部也同云若存此義者底哩經左文殊右執金剛說如何 答

四臂

金剛手光明灌頂經云若止諸冤敵畫黃色大身四面手亦四口出現利牙作大暴惡形遍身成火焰作吞他身相所有戰陣時置像於軍前猶如以羂索作攝縛彼相令使他歸降

云云第三像底哩

護摩軌云中心置四臂不動尊青白

色二手各別作金剛拳頭指小指各曲如

鈎形安口兩邊角相如牙右手持刀令立左持索半跏右押左坐盤石上威焰光明

遍身如火云云私云此像

六臂

聖無動尊軌云金剛智次說畫像法取白甌

或淨衣畫本尊一面忿怒身色如黑雲具足六手足有頭上七髻一髻垂左肩右手

執利劍左把索。次右持寶棒。左執金剛箭。次右持鐵斧。左執錫杖。安坐盤石。左右恭敬息災等使者侍。復四角圍繞本尊。所以有歸敬使者。一降三世尊。二軍荼利金剛。三六足尊。復號能摧金剛。三世之中最勝尊。四名金剛藥叉明王。如是威怒等持念者。生處。被加護。不受三惡道業。現生得安樂。證得普賢位云。

大聖無動明王守護國界法。譯不空云。復次說畫像法。取白氎或淨衣畫聖尊。四面忿怒。身色如日輪。火髮聳上。六臂各執器械。右手持利劍。左把索。次右手持金剛箭。左執寶弓。次右手持金輪。左手執金剛杵。乘金色師子王爲座。左右八大童子使者侍立。圍繞本尊云。

私云。已上二書不入諸家錄。難知真偽。可相尋之。但惠什闍梨記云。二臂四臂六臂。不空金剛智等軌可見之云。廣攝不動第二云。○此三文中都有五像。即是五楨。唯有三像。一者作一切事皆得成。辨通行之像。即灌頂經第四畫像。三昧耶經第三畫像。使者法乃第二畫像。中心釋迦佛。右邊文殊童子。左邊金剛手。下不動明王。同經第一畫像相貌。左垂索髮。左目現眇。右操銳劍。左執繩索。坐寶盤山。其身青色。是一像也。二者結一切印。皆得成就通行之像。即灌頂經第五畫像。三昧耶經第四畫像。使者法乃第三畫像。身青黑色。孩子相貌。右鑠訖底或嚙日羅。

左把繩索。坐盤山上。是二像也。使者法云。身黃赤色。三昧耶云。坐蓮花上也。三者無動尊。現身得三摩地。成別行之像。即三文中第一畫像。與初像同。使者法云。身亦黃色。即兩經就持明仙得爲仙中王。別行之像。中第二畫像。使者法乃第五畫像。與初五者所有戰陣時。令使他歸降。別行之像。即灌頂經第二畫像。黃色大身。四面四手。口出利牙。於三昧耶經使者法中。缺此像。三也。象三三三像。頗有不同。當隨所樂。如文作之。灌頂經三昧耶經使者法外雖出諸文。以此三三三爲本。仍書此文也。

使者眷屬

俱力迦羅像
蛇形

底哩經下云。又於壁上畫劍契。又畫勾律迦大蛇。纏劍上。其劍周圍有火焰云。立印軌云。又法壁畫劍。以俱哩迦龍纏交於劍上。迦持一千遍云。

使者軌云。若欲使古力迦龍王。於壁上畫一劍。以古力迦龍王。繞此劍上。龍王形如蛇云。

聖無動尊決祕要義云。四行次說矩里迦身金色。繫如意寶。三昧焰起。四足蹴踰之形。背張堅七金剛利針。額生一支三角。纏繞劍上。書阿字。兼用觀心。一一分明。考本說

人形
使者軌云。○心念不動。使誦一百八遍。一日三時。滿六箇月。多誦益好。善。月滿已後。

古力迦龍王自現其身。現作人形狀。恒常相隨。逐行人。任所驅使云。

決祕要義云。若作人相者。面目喜怒。遍身甲冑。猶如毘嚩囉叉王。左手託腰把索。右臂屈肘。向上執劍。頂上置龍王蟠立金剛山。又別本云。迦里迦龍王如天神。熙怡之相。頭上畫出七頭龍。胡跪仰視如來。令捧寶蓮花。考本說

八大童子像

一字出生八大童子法云。次說像法。行者點取一清靜處。勿令見人及非人。即行者與工人共清淨著新淨衣。取白氎或淨板或淨衣。令畫本尊與八童子。本尊通用經中像。

惠光之形。少忿怒。著天冠。身白黃色。右手持五智杵。左手蓮上置日輪。袈裟瓔珞種種莊嚴。

次惠喜菩薩。形似慈面。現微笑相。色如紅蓮。左手持摩尼。右手持三銀鉤。

阿耨達菩薩。形如梵王。色如真金。頂戴金翅鳥。左手執蓮花。右手持獨鈷杵。而乘龍王。

指德菩薩。形如夜叉。色如虛空。而有三目。著鉤鎖。左手持輪。右手三銀鉞。

烏俱婆。識戴五鈷冠。現暴惡相。身如金色。左手執嚙日羅。右手作拳印。

清淨比丘。剃除首髻。而著法袈裟。於右肩結垂。左手執梵夾。右手當心持五鈷杵。左

肩現露於腰纏赤裳其面貌非若非老目如青蓮其口上牙於下顯出

矜羯羅形如十五歲童著蓮花冠身白肉色二手合掌其二大指與頭指間橫一枯杵天衣袈裟微妙嚴飾云

制吒迦亦如童子色如紅蓮頭結五髻一結頂上之中一結額上三結頭左右頂後表五方五智左手轉日羅右手執金剛棒順惡性之者故不著袈裟然以天衣纏其頸肩云

制吒迦像

不動尊二童子法云畫像法其像垂白馬作驢勢頂下懸鈴子童子頂有五髻身著緋衣形如十五歲兒也現喜怒相執表狀云

決祕要義云若制吒迦難造畫其像面目忿怒其四臂七結髮垂左肩頂置八葉蓮花色似白在右二手結縛日囉合二惹里印當胸胸前恭敬聖者之勢次左手持弓右手持箭令著袈裟裙身色青黑將立盤石上云

考文

類祕抄云陀羅尼經品六若欲受持制吒迦者彼人應作不空羼索制吒迦像作童子形歡喜相貌頭上五髮一切嚴具以為莊嚴○或用木作亦以白檀或紫檀香栢木天木亦用金銀或畫絹上著緋赤衣以胡烟脂不得著膠以朱沙共和鬱金銀及鬱金香薰其身相○歡喜笑面黃白色而作兩臂其一手把阿摩羅菓一手把花云

矜羯落像

二童子法云其像形如喜見童子作慈悲貌頂有蓮花左手持杵右手執蓮花或行者作降魔時童子即作瞋形額現皺文左手執索右手把劍大體如聖尊而乘師子王影向壇前云

決祕要義云次聖無動尊成就使者法品云若畫矜羯落者童子者大體如正尊頭髮迴毛不聳莎髮不壞出面目喜怒左持索右執斤刀被袈裟著裙裳足趺石上身赤黃色云

考文

類祕抄云陀羅尼經品五若欲受持緊羯羅者聖者不空羼索緊羯羅一切作事悉皆成辦作於夜叉童子之形瞋面怒目髮赤黃色向上聳豎猶如火焰鼻作扁鼻拘牙上出吐舌抵脣身有兩臂著赤色衣一手持索一切嚴具以為莊嚴葛麻布上畫其形像云

蓮花大吉祥天

決祕要義云次說蓮花大吉祥天像天身端正赤白色二臂畫作種種璽珞環釧耳璫天衣寶冠天女左手持如意珠右手施無畏寶臺上坐云

藥剎捉使者

立印軌云若底花蓮摩補一十萬遍持藥剎捉使者伏從持明者云

又云次無動尊藥剎捉使者像一身四手左邊上手把三股叉下手持棒右邊上手掌柘一輪下手持索其身青色而大張口拘牙上出眼赤如血而有三眼頂戴燭髻頭髮聳豎如火焰色頂纏大蛇二

膊各有倒垂一龍頭相向其像腰纏二大赤蛇二脚腕上纏大赤蛇所把棒上亦纏大蛇虎皮綬跨獨轡璽珞像二脚下各安一鬼其像左右二邊各常作一青衣童子髮髻兩角手執香爐其像右邊作二夜叉一赤一黃執刀執索其像左邊作二夜叉一白一黑執稍執叉形狀並皆甚可怖畏手足並作夜叉手足其爪長利畫作像已云已上二文可考本說

降三世像

總明形像

略出經二云復依法住瑜伽號為跋折囉咤迦羅即說此咤三摩地法復想自身微有堅牙以嚙怒面而笑又想以左脚押大自在天以右脚押大自在妻乳房云

略出經四云本修瑜伽者凡入道場時應想己身有二堅牙作瞋怒王而現咲相以左脚押大自天王面以右脚折押大自在天妻胸乳房間云

二臂
瑜祇經云以成三世大誓身兩臂青色薩埵儀云

瑜祇經疏下云以成三世大誓身先變薩埵非金剛頂四面八臂云

八大菩薩曼荼羅經云降三世金剛明王放青色光明口現二牙阿吒入吒笑聲以右手擲五股金剛杵云

四臂

慈氏軌下云。畫降三世尊明王。半月輪漫
拳羅中。身色與青。三眼四牙。大瞋怒狀。屈
左腳向前。搜右腳向後。於輪中如走勢。四
臂。兩手結三昧耶心鈎印。向胸心上。左一
手曲向耳上。把金剛鈎斧。右手直向頂峻
下。把五股鐵咤囉。周旋生火。首冠五智冠
○以天衣朱裙。瓔珞白帶莊嚴云。
掌軌上云。畫降三世尊。於半月輪邪立走
勢。青色。狗牙上出。四手。兩手結三昧耶印。
定手結心印。惠手執縛日羅云。

八臂

金剛界軌云。行者以應結降三世大印。二
羽忿怒拳。檀惠背鈎結。進力二背豎。身想
忿怒王。八臂而四面笑。怒怖形。四牙熾
盛。身。右足宜左直。踏大天及后云。
壽命經軌云。入忿怒三摩地。○流出四面
八臂。○降三世金剛菩薩身云。
仁王經軌云。現作威怒降三世金剛。四頭
八臂。摧伏一切摩醯首羅大自在天摩軍
衆云。良寶疏云。
三頭八臂云。

千手軌云。即入金剛忿怒威光熾盛。三世
勝三摩地。此菩薩有四面。皆忿怒。八臂各
執器仗。左足踏自在天。右足踏烏摩天。如
丁字勢立。遍身火焰。如劫火云。
廣軌中云。次結降三世。二羽忿怒拳。檀惠
背鈎結。常於寶石上。心想昨字門。成大忿
怒王。八臂而四面笑。怒怖形。四牙熾盛
身。執持諸器仗云。
青龍胎軌中云。勝三世金剛眞言注云。右

上三胡杵。次箭。次劍。當心三昧印。左下索。
次弓。次鏑云。
極深密門云。吽迦羅金剛。○遍體玄青色。
大自在天王妃烏摩爲座。○即起平身。立
舉右足左旋。攝彼傲慢者。大自在欲王。撲
至於地。已定按於彼頂。惠踐彼王妃烏摩
乳房上云。
又云。降三世瑜伽。二羽印當心。惠手持五
鈎。怒臂如下。握次箭。劍直執。定上五鈎。鈴。
次弓。次執索。皆直引臂持。四面正青色。右
黃左綠色。後紅。皆忿怒。自在天王妃。爲座
如前說。吽迦羅金剛。作如是相好云。
轉法輪菩薩法云。行者次當入三世勝金
剛忿怒三摩地。觀威德熾盛。四面八臂。左
踏塢摩天后。右腳踏摩醯首羅天云。
降三世忿怒王。念誦儀軌云。○則時
示現四面八臂。極黑大威怒形相云。
下又云。爾時忿怒王。皆令得安穩。則向右
足下踏大自在魔王。左足下踏摩婦人。於
國上有情。皆令得快樂云。
八字文殊軌云。畫降三世金剛。青色八臂。
當前二手結印。檀惠反相鈎。餘拳緊進力。
左手執弓。右手把箭。架。左一手執杵。一手
把索。右一手執戟。一手把棒。三面。口角現
牙。坐火焰中云。
威儀形色經云。西北聖降三世。獨體火髻
冠。夏時雨雲色。三面三目。呵吒。微咲。
極大忿怒相。八臂兩足。左定執戟。錯。左
理把寶弓。左定金剛索。右惠跋折羅。右智

持寶箭。○理智救世印。先以左定腕。押右
惠腕上。以右禪地輪。又左禪地輪。猶如懸
連鈎。左定進水輪。及以忍火輪。相屈入掌
中。亦以戒風輪。檀惠輪直豎。各々相附頭。
譬如鳥兩臂。右惠亦如是。金剛寶瓔珞。莊
嚴上妙身。光輝靈色。焰燄靡不遍。摩醯
及后妃。兩身以爲座云。
攝無礙經云。西南降三世。獨體火髻冠。夏
時雨雲色。三面三目。阿吒。微咲。具足
百千臂。操持衆器。拭。示現八臂。相滿願。弘
誓故。左定執戟。錯。右理把寶弓。左定金剛
索。右惠金剛鐸。右智持寶箭。右惠握寶劍。
理智救世印。先以左定腕。押左惠腕上。以
左禪地輪。又右禪地輪。猶如懸連鈎。左定
進水輪。及以忍火輪。相屈入掌中。亦以戒
風輪。檀空輪直豎。各々相附頭。臂如鳥兩
臂。右惠亦如是。金剛寶瓔珞。以爲嚴身。寶
身光輝靈色。焰燄靡不遍。左足踏大天。右
足踏大后。度脫其惡心。令歸佛法像云。
大輪金剛修證瑜伽理趣三昧祕密儀軌
眞言法云。次降三世明王印。○先想自身
同前三世尊。三目四牙。白作黑色。坐寶蓮
華。左膝答右膝上而坐。想二手胸前結三
世印。次左手把劍。次手把弓。次手把索。
其索頭以獨股金剛爲頭。右邊次手把三
股金剛。○次手把刀。周匝火焰。想成已云。
私云。如說文者。八臂像也。然左一手落
歟。不然者。何可有七臂像哉。
私云。忿怒王轉法輪已上二軌。以右踏

大天。以左踏天后云。極深密門仁王千手攝無礙經等四說。以左踏自在天。以右踏烏摩后云。
尋云。以右踏天。以左踏后。事尤可然。定惠配當故。極深密等說。何以右踏后。以在踏天云哉。豈不定惠相違哉。如何
答云。本軌意尤可然。定惠無違。但千手軌意斷惑偏惠力。然大自在天是煩惱障。烏摩后是所知障也。煩惱障芭易斷。所知障細難斷。仍以惠斷之歟。本軌意以惠定足踏天后。常途事也。二文無相違歟

勝三世明王像

二臂

大日經疏五云。具緣品復次於下方西北隅際作降三世忿怒持明王尊。首戴寶冠。持五股金剛印。瞻仰毘盧遮那。如請受教勅之狀。偈云。不顧自身命者。謂應圖作至極怒奮不顧命之容。謂欲攝口法界衆生皆使順從法王威命。此亦是成辦諸事真言也。爲此如來智大自在力之所離除摧滅者。皆悉至於果地莊嚴。非唯無所障礙。偏證但空而已。是故持五股印。首戴寶冠。而在風輪之中。卽法花經諸有所作皆爲開佛知見。使得清淨之意也云。
青龍軌中云。風方忿怒尊。所謂勝三世。威猛焰圍遶。寶冠持金剛。不顧自身命。專請而受教云。
(東書一一)

降三世金剛像。青龍軌中云。降三世金剛。大日經一云。於執金剛下忿怒降三世摧伏大障者。號名月繫尊。三目四牙現。夏時雨雲色。阿吒笑聲。金剛寶瓔珞。攝護衆生。故無量衆圍遶。乃至百千手。操持衆器械。如是忿怒等皆住蓮華中云。
疏五云。於執金剛下置忿怒持明降伏三世一切大作障者。號月繫尊。面有三目。四牙出現。如夏水雨時雲色。作大笑之形。以金剛寶爲瓔珞。此是持金剛者。以無量門大勢威猛攝護衆生三昧也。以無量眷屬而自圍遶。皆悉卑而充滿。作忿怒形。乃至一身具百千手。操持種種器械。豎立森然。若不可盡盡者。要作一二使者。乃至五六皆應住蓮花上。意明此蓮花心中法爾成就一切勇健大精進力。不從餘處來也云。
胎藏解釋云。問。金剛手院有降三世尊。今此院中有勝三世。亦名降三世。此外亦有。凡三處有。同歟異歟。答。一云。各別也。別人同名。其印眞言亦各異故。別體同名。部。非一。如金剛針。在金剛手院亦有。虛空藏院之末。執杵菩薩亦名金剛針等也。一云。一人一名。隨本誓故處。出現。如地藏等。二義俱得。取捨任意耳云。
三密抄料簡覺起云。問。金剛手院有降三世。亦名月繫。第五院風方有勝三世。經疏名降三世。不動北般若。亦有降三世。凡此三尊。同異云何。答。難詳。然有人眞與云。一云。別體同名。其印眞言亦各異故。加私

云。身形亦異。金剛手院三目四臂。不動北般一人。隨本誓故處。出現云。今私問且就別人義。此三尊中何者是五大尊中降三世耶。答。今檢曼荼羅圖。不動北般若南有一尊。名吽迦羅。八臂四面云。同彼降三世軌也。然瑜祇經疏其如金剛曼荼羅。勝三世外更置吽迦羅及遍婆等非也云。可決云。
(東書一一)

軍荼利明王像

二臂

不空絹索經九并提流云。次車吒利金剛童子。左手執獨股金剛杵。右手持三叉戟。半跏趺坐云。

四臂

軍荼利軌云。說本尊身相。應觀四面四臂。右手執金剛杵。左手滿願印。二手作羯磨印。身佩威光焰鬘。住月輪中。青蓮花色。坐瑟。盤石。正面慈。右第二面忿怒。左第三面作大笑容。後第四面微怒開口云。
下文云。結本尊羯磨印。智押惠度甲。餘如三股形。惠手亦如是。右押左交臂云。

六臂

如意摩尼金輪呪王經云。畫一軍荼利菩薩。六手青面青色身。左上第一手執輪作擬勢。右第一手執跋折羅亦作擬勢。左第二手作斷其一切煩惱印。大母指捻中指。第二節側文。無名指中指小指急把作拳勢。右第二手下作施無畏手。左右第三

手左押右交在胸前作身印。大母指押小
指甲上。三指並豎散如八字。立一青蓮花
上云。

八臂

仁王經念誦軌云。依教令輪現作威怒甘
露軍荼利金剛。示現八臂。摧伏一切阿修
羅衆眷屬云。

集經八云。若欲受持軍荼利法。先畫其像。
遍身青色。兩眼俱赤。攪髮成髻。其頭髮色
黑赤交雜。如味火燄。張眼大怒。上齒皆露
而較下。臂作大顯面。有二赤蛇。兩頭相交。
垂在胸前。頭仰向上。其兩蛇尾各穿像耳。

尾頭垂下至於肩。其二蛇色如黃候蛇。
赤黑間錯。其像有八臂手。右最上手把跋
折囉。屈臂向上。下第二手把長戟柱。屈臂
向上。其戟上下各有三叉。皆有鋒刃。一頭
向上。一頭柱地。下第三臂押左第三臂。兩
臂相交在於胸上。右手中把兩箇赤蛇。其
蛇相交各向像面。左手亦把一頭赤蛇。兩
手各作跋折囉印。兩手大指各捻小指甲。

餘指皆申。即以左手押右腋前。次以右手
押左腋前。即是身印。第四臂仰垂向下。勿
著右跨。五指皆申施無畏手。左上手中把
金輪形。屈臂向上。輪有八角。數轉成具。下
第二手中指以下三指各屈向掌。大指捻
中指上節側。頭指直豎。向上申之。屈其臂
肘。手臂向左。下第四手橫覆左跨。指頭向
右。八手腕中皆著金釧。以紫色蛇散華錦
天衣。絡膊項背。令其天衣頭分。左右各垂

向下。將以綠表肉紅裏帶。用繫其腰。虎皮
與錦。其兩跨。其兩脚脛各有赤蛇。絞其
脚脛。其兩蛇色赤黑間錯。仍令其像立於
七寶蓮花上。其右脚指還向右邊。其左
脚指還向左邊。其像左邊踝子以下。畫一
鬼王。身似人形。軀貌龐大。作白象頭。屈膝
跪坐。舉頭向上。瞻仰像額。其鬼右手把蓮
高根。屈臂向上。左臂平屈。展手仰掌。把歡
喜團。其手兩腕皆著金釧。其鬼頸下著金
璎珞。將以綠帶繫其腰上。以朝霞錦。其
兩跨云。

威儀形色經云。東南聖軍荼利。髮髻鬘
冠。雲雷玄雲色。三目怖畏相。八臂操器械。
左定握金輪。左理持戟鎗。左定金剛劍。右
惠執三釧。右智拳押脇。先作金剛拳。直豎
戒風輪。當右脇之下。右惠施無畏。定惠大
瞋印。先以右惠腕。押左定腕上。各作金剛
拳。定惠戒風輪。忍火進水輪。各直豎當臍。
金剛寶璎珞。在八臂八蛇。遶八臂爲珠。二
蛇遶二膊。二蛇遶二身。獸王皮爲衣。白蓮
承兩足。威怒身焰燄云。

攝無礙經云。西北軍荼利。髮髻鬘冠。雷
電黑雲色。三目怖畏相。八臂操器械。左定
握金輪。左理持戟鎗。左定金剛鉤。右惠執
三錫。右智拳押脇。先作金剛拳。直豎戒風
輪。當右脇之下。右惠施無畏。定惠大瞋印。
先以右惠腕。押左定腕上。各作金剛拳。定
惠戒風輪。忍火進水輪。各直豎當臍。蚊跋
爲臂環。金剛寶璎珞。鑲釧嚴臂。獸王皮

爲衣。白蓮承兩足。二蛇圍遶身。二蛇左頸
垂。二蛇遶兩膊。八蛇遶八臂。其大怖畏相
云。

一字佛頂輪王經一云。畫軍吒利金剛。菩
薩。八臂三目。狗牙上出。半跏趺坐。身作青
色。一手把三股金剛杵。一手執三戟。又。一
手把輪。一手把鉞斧。一手施於無畏。一手
把網索。二手結印云。

大輪金剛修證瑜伽理趣三昧祕密儀軌
眞言法云。次結甘露明王轉諸難印。想身
爲軍荼利金剛。通身青色。髮髻向上。面有
三目。左右口角有牙。頭戴甘露瓶。以蛇繞
之。蛇頭向瓶口上。以二蛇交盤。胸前舉頭
像面。各將尾穿兩耳。垂尾至頰。二手把
胸。作三股金剛印。母指捻小指甲上。餘三
指直豎開。即是。右次手把輪。次手把長槍
戟。次手垂五指。下施無畏。左次手。○把刀。
觀想成已云。

私云。如說文者。八臂像也。其故。二手結
印。右第二手把輪。第三手把戟。第四手
作施無畏。左第二手取刀云。然者左
第三第四手落歟。可勘他本也。

千臂
本軌云。軍荼利身色。瑩如碧頗梨。威光逾
劫焰。赫奕佩日輪。頤眉笑怒容。虎牙上下
現。千目視不瞬。日光曜威如日。千手各操
持。金剛諸器仗。首冠金剛寶。龍璎虎皮裙。
無量忿怒衆。金剛及諸天。圍遶作侍衛云。

（卷四 一三）

（卷四 一三）

玄法胎軌云。忿怒軍吒利。瑩如碧頗梨。威光如劫火。赫奕背日輪。嘖眉笑怒容。虎牙上下現。千日視不瞬。威曜威如日。千手各標持。金剛諸器仗。首冠金剛寶。龍璽虎皮裙。在於月輪中。坐瑟盤石云。
攝無礙經云。或示現千臂。號千臂甘露。或示現八臂。名聖軍荼利。或示二臂。曰蓮花軍荼。如是現萬身云。
本軌云。隨意所樂。觀念四臂八臂乃至兩臂千臂云。

大威德像

總明形像 說手臂

立成軌云。聖焰漫德迦怒王。身乘水牛。持種種器仗。以觸饑餓。為瓔珞。頭冠虎皮為裙。其身長大無量。由旬遍身。火焰如虹。如劫燒。應觀四方。如師子奮迅云。
又云。應當鑄一金銅威怒王像。其像隨意大小云。

又云。畫大威德明王身。作玄雲色。遍身生火焰。執持諸色器仗云。

青龍軌中云。般若右邊置焰曼威怒王。乘青水牛座。持種種器仗。觸饑餓。為瓔珞。頭冠虎皮裙。遍身火焰。應觀於四方。如師子奮迅云。

耶曼德迦法云。不論吉凶日。亦不著星宿直。或黑月十四日。或八日。取屍陀林中死人衣。或得婆羅門衣。更甚良。取血染之。於後更洗曬乾。請一畫人。令畫其像。其像自

畫最為第一。容顏甚迅。令人畏懼。於屍陀林中畫之。於三日內須畫了。其像六面六手六脚。黑色。腰細。劫波瓔珞。其面貌。如虎皮。縷手執棒。及種種器仗。而有三眼。其身烟色。或黑雲色。作可畏相。身騎水牛。能令一切衆怖畏。畫此像時。用血為綵色。赤牛脂。人脂。內劫波頂骨中。調和綵色。取死人髮為筆。畫像了。首酬其功。直。勿令畫人置怨。須多與財物。於後呪師持呪連成就。畢得圓滿云。

立成軌云。聖焰漫德迦怒王。六面六手足。黑色。肚如狼。持種種器仗。捧手而可畏。眼赤暴惡形。三目為標。髮如熾光。或黑烟色。亦如安善那。夏雨玄雲色。其狀如劫燒。應畫乘水牛。忿怒暴怖。事能壞。應亦斷。應命。忿怒常為業。恐怖極。應怖中。極凶怖。能放諸有情。應畫忿怒。自血以為色。調和色。暉淡。大脂和牛酥。盛以觸饑餓。死人髮作筆。管以犬骨為。斷食而應畫。自作或使人。廣獻食花等。赤髮紫檀香。大肉為焚香。人脂燈莊嚴。正畫像之時。初中後供養。畫像應分明。酬賞畫人功。廣多與價直。令彼心歡喜。無間應作之。大猛利事業。買所用諸物。勇士不酬價。所作尅成就。以種種供事。實彼畫像人。令喜斷希望。應當護彼身。不爾損於彼。并其家眷屬。亦應護自身。念誦應畫之。是則為儀軌云。

仁王經念誦軌云。依教令輪現作威怒六足尊金剛。手臂頭各六。坐水牛上云。大日經疏六云。降閻摩尊是文殊眷屬。具大威勢。其身六面六臂六足。水牛為座。面有三目。色如玄雲。作極忿怒之狀。當依文殊梵本。具足圖之云。

八字文殊軌云。閻曼德迦金剛。青黑色。六頭六臂六足。各執器仗。左上手執戟。次下手執弓。次下手執索。右上手執劍。次下手執箭。次下手執棒。乘青水牛為坐云。
曼殊室利焰曼德迦萬愛祕術如意法云。先說像。其身六面六臂六足。乘水牛。所謂六面。頂上三面。中面。菩薩形。柔軟也。其面頂有阿彌陀。又六臂。所謂左一。鉞二。輪索三。右一。劍二。寶杖三。箭以彼弓。鎗勢也。又六足。左三足立輪。右三足上彼輪下。有水牛。四足立花座。復像背火焰如虹。又如吹琉璃云。
廣軌中云。大結大威德。身作玄雲色。遍身生火焰。執持諸器仗。六手身六足。坐於水牛上。想身安三字。唵字安口上。唵字安心上。吽成就尊身。執劍戟。捧索。左持弓。右箭云。
攝無礙經云。東北閻曼德迦。頂上火鬘髻。電雷玄雲色。六面十八眼。極大忿怒相。六臂六足。體手乘檀摩印。左定執鎗。鎗。左理握金輪。右惠執寶劍。右智執鎗。鎗。金剛寶瓔珞。嚴身不可量。輝焰過衆電。水牛以為座云。
不同記第四云。現圖在般若菩薩左。通身

青黑火髮令立。作忿怒相。當前一面。開口大笑。四牙並出。左右各有一面。頂上有三面。上齒咬下。六臂六足。當前兩手內又合。豎中指。或圖無名指外相。又。右一手開肘。下垂拳。向右手持棒。一手舉臂。豎肘。向身持劍。左一手開肘。而豎舉。向左手持輪。一手舉臂。向身執三貼戟。或圖戟著青絹。兩端飛上。豹皮為裙。不著冠。纒坐盤石。垂右三足。著環。膝脛皆露。耳著環珠。云（畫一四）

六頭兩臂兩足

八大菩薩曼荼羅經云。明王在勝三世右

台藏解釋下。其與次大威德在勝三世右。○古儀軌云。身作玄雲色。六手。身二足。即出大呪也。云。可考說所。

金剛藥叉像

四臂不說所

仁王經念誦軌云。依教令輪現作威怒淨身。金剛示現四臂。摧伏一切可畏藥叉。云

六臂不說

金剛藥叉軌云。○現三面六臂大威忿怒毒形。以七珍瓔珞莊嚴身。其身長大無量。遍身火焰。然如劫火。威猛顯視四方。如獸王勇猛。云。

瑜祇經云。我今更說。祕金剛藥叉形。六臂持眾器。弓箭劍輪印。及薩埵羯磨。五眼布忿怒。三首馬王鬚。珠寶遍嚴飾。云。

八大明王像

大妙甘呂軍茶利經大同少示異

八大菩薩曼荼羅經云。降三世金剛明王。放青色光明。口現二牙。阿吒人吒笑聲。以右手擲五股金剛杵。兩臂六頭兩足。金剛明王。放青色光明。齒咬下脣。豎兩目及眉。手持利劍。

大笑。金剛明王。放灰黑色光明。口現大笑。二牙上出。以左手柱一青棒。右手把繩索。

大輪金剛明王。遍身黃色。放大火。右手持八輻金剛輪。左手柱一獨股金剛杵。

馬頭金剛明王。○碧色。放赤色光明。以右手高於頂上。橫把一蓮花作打勢。左手把軍持印。

無能勝金剛明王。遍身黃色。放大光焰。以右手擲一金剛杵。左手作擬印。開口。云。不云左手也。

不動尊金剛明王。遍身青色。放火光焰。以右手執劍。左手把索。左垂一髻。

步擲金剛明王。以右手把一旋蓋。左手把金剛杵。遍身作虛空色。形火光焰。云。已上說也。

步擲金剛修行軌云。畫像法。用應肘量。縱如儀清淨。圖畫本尊。遍身青色。右顧。舒右足。屈左膝。右上手垂下。屈大指入掌中。名指握之。舒餘二指。手背向外。次手持排垂。

下。次手舒掌向下。掌中有火焰。次手鉞斧。次玉環。次豎擬指。上有輪。次拳。大指押頭。指側。次繩索。次舒五指。甲長而利。仰掌。

末牛持弓。左近上手三股杵。舒臂向上。次

劍握圓右。次短柄槌。如重輪。次兩隻箭。次杖。次獨股杵。次舒掌。仰頭。指大指相捻勢。次寶棒。上龜近把處。漸細。末舒掌向下。掌有焰。髮背散豎。赤色。以龍馬冠。髮環。手足。劍及腰。紹等。頤眉。猛視。利牙出。現。赤色。方裙。赤色。傘蓋。魔王波旬。俯伏在地。而有四臂。通身青色。迴面向上。求哀請命。舒右手五指。指側。近額。以作歸命勢。左手拓地下。二手有一龍。自肘後縛之。髮赤色而散。如有大恐怖之狀。頭近大聖左足。本尊左右。有一金剛童子。並通身赤色。形體光碩。右傍者。右手持桃。左執劍。向下。斫魔王勢。髮向後垂。而作赤色。左傍者。左挽弓射魔王頭勢。髻似赤紗色之云。

烏鶻沙摩像

二臂

烏鶻沙摩明王經。無能上云。畫像法。取兩肘。縱畫大威力。烏鶻。髮明王。身赤色。怒形。狗牙露出。密目。如是也。髮黃色。上衡。左持杵。右娜拏。云。正文云。雞拏。唐云。棒云。下文說。形像同之。但以蛇為璎珞云。

下云。畫像大威力明王。通身黑色。露出狗牙。髮黃色。上衡。忿怒。舉身焰起。左持杵。右擲拳印。云。

四臂

上云。畫大威力烏鶻。髮明王。大忿怒形。目赤色。通絕黑色。舉體焰起。而有四臂。右上手執劍。次下。繩索。左上打車棒。下三股叉。器仗上並焰起。云。

又云於肘量縹上畫大威力明王。左上手掌觸膝。下手豎頭指擬勢。右上手持娜拏。下手杵像前畫一毘那夜迦。蜺跪合掌。右足下踏毗那夜迦立云。

諸天散花之像。其上作雲如電光色。其金剛像底畫作海水。中有蓮花。於其花上立金剛著海中。畫作八阿修羅王。左邊四箇右邊四箇。其八王形皆作低頭禮拜之形。其金剛底右邊復畫呪師形像。手把香爐。蜺跪供養云。

手持彼。右蓮如打勢。一切惡心衆。速滅無有疑。以諸花鬘索。絞結以嚴身。作結跏趺坐。住於赤色蓮。蓮下有寶瓶。兩畔吐諸寶云。

同五指量

又云。又令彼攝伏。取白檀香刻。金剛愛染王。五指爲量等。長帶於身藏。一切有情類及諸刹利王。攝伏如奴僕云。

（裏書一五）

又云。畫像法。用絹索素畫大威力明王。通身黑色。焰起忿怒形。右目碧色。髮黃色。上緊。咬下唇。狗牙上出。衣虎皮。揮蛇爲環。瓔珞。左上手持杵。下絹索。右上手並屈豎頭指擬勢。下手施願。眉間瞋蹙。其目可怖。

攝無礙經云。烏鵲摩摩菩薩髮髻。遶白蛇。身相長大青色。金剛寶瓔珞。甚大忿怒相。左定執絹索。左理寶數珠。右惠執三錫。右智滿願印。以惠方願屈。智力直如黃。以獸皮爲衣。左肩二赤蛇。蟠結垂胸臆。令瞻本尊面。亦四臂兩膊有一蛇遶之。其色甚白。住池蓮上云。

玄法胎軌下云。忿迅俱摩羅。住於青蓮花。身作黃金色。髮亦上撩亂。瓔珞釧嚴身。虎皮用縵跨。惠杵定無畏云。

而有一肘。二尺三寸半。除其光坐。○其像色青。而有四臂。右手向膊把跋折囉。左手向肩而把赤索。其索盤屈狀似盤蛇。右手舒下仰。大指伸頭指直下舒。其餘三指纖屈向上。左手屈臂向上。手把數珠。用中指頭而指其珠。面貌端正。極令殊妙。畫二龍王。絡左膊上。其二龍頭相鉤。仰視在於胸前。尾在背上。俱純赤色。又四龍王並作青色。各綰一臂。又二龍王亦皆青色。各綰脚脛。其像頭上一白龍王。綰盤豎頭。其像腰下虎皮。縵跨。頭髮火焰悉縱豎。非但頭上頂背亦有火焰之光。其頭光上左右各畫一蓮花坐。左蓮花上作阿閼佛像。一本云。結跏趺坐。左手仰掌橫在臍下。右手仰掌在右膝上。指頭總垂。右蓮花上作阿彌陀佛像。結

玄法胎軌下云。次烏鵲摩摩作大忿怒形。黑色光焰起。右劍下絹索。棒及三股叉。器械皆焰起云。

玄法胎軌下云。忿迅俱摩羅。住於青蓮花。身作黃金色。髮亦上撩亂。瓔珞釧嚴身。虎皮用縵跨。惠杵定無畏云。

而把赤索。其索盤屈狀似盤蛇。右手舒下仰。大指伸頭指直下舒。其餘三指纖屈向上。左手屈臂向上。手把數珠。用中指頭而指其珠。面貌端正。極令殊妙。畫二龍王。絡左膊上。其二龍頭相鉤。仰視在於胸前。尾在背上。俱純赤色。又四龍王並作青色。各綰一臂。又二龍王亦皆青色。各綰脚脛。其像頭上一白龍王。綰盤豎頭。其像腰下虎皮。縵跨。頭髮火焰悉縱豎。非但頭上頂背亦有火焰之光。其頭光上左右各畫一蓮花坐。左蓮花上作阿閼佛像。一本云。結跏趺坐。左手仰掌橫在臍下。右手仰掌在右膝上。指頭總垂。右蓮花上作阿彌陀佛像。結

玄法胎軌下云。次烏鵲摩摩作大忿怒形。黑色光焰起。右劍下絹索。棒及三股叉。器械皆焰起云。

玄法胎軌下云。忿迅俱摩羅。住於青蓮花。身作黃金色。髮亦上撩亂。瓔珞釧嚴身。虎皮用縵跨。惠杵定無畏云。

而把赤索。其索盤屈狀似盤蛇。右手舒下仰。大指伸頭指直下舒。其餘三指纖屈向上。左手屈臂向上。手把數珠。用中指頭而指其珠。面貌端正。極令殊妙。畫二龍王。絡左膊上。其二龍頭相鉤。仰視在於胸前。尾在背上。俱純赤色。又四龍王並作青色。各綰一臂。又二龍王亦皆青色。各綰脚脛。其像頭上一白龍王。綰盤豎頭。其像腰下虎皮。縵跨。頭髮火焰悉縱豎。非但頭上頂背亦有火焰之光。其頭光上左右各畫一蓮花坐。左蓮花上作阿閼佛像。一本云。結跏趺坐。左手仰掌橫在臍下。右手仰掌在右膝上。指頭總垂。右蓮花上作阿彌陀佛像。結

玄法胎軌下云。次烏鵲摩摩作大忿怒形。黑色光焰起。右劍下絹索。棒及三股叉。器械皆焰起云。

玄法胎軌下云。忿迅俱摩羅。住於青蓮花。身作黃金色。髮亦上撩亂。瓔珞釧嚴身。虎皮用縵跨。惠杵定無畏云。

而把赤索。其索盤屈狀似盤蛇。右手舒下仰。大指伸頭指直下舒。其餘三指纖屈向上。左手屈臂向上。手把數珠。用中指頭而指其珠。面貌端正。極令殊妙。畫二龍王。絡左膊上。其二龍頭相鉤。仰視在於胸前。尾在背上。俱純赤色。又四龍王並作青色。各綰一臂。又二龍王亦皆青色。各綰脚脛。其像頭上一白龍王。綰盤豎頭。其像腰下虎皮。縵跨。頭髮火焰悉縱豎。非但頭上頂背亦有火焰之光。其頭光上左右各畫一蓮花坐。左蓮花上作阿閼佛像。一本云。結跏趺坐。左手仰掌橫在臍下。右手仰掌在右膝上。指頭總垂。右蓮花上作阿彌陀佛像。結

玄法胎軌下云。次烏鵲摩摩作大忿怒形。黑色光焰起。右劍下絹索。棒及三股叉。器械皆焰起云。

玄法胎軌下云。忿迅俱摩羅。住於青蓮花。身作黃金色。髮亦上撩亂。瓔珞釧嚴身。虎皮用縵跨。惠杵定無畏云。

而把赤索。其索盤屈狀似盤蛇。右手舒下仰。大指伸頭指直下舒。其餘三指纖屈向上。左手屈臂向上。手把數珠。用中指頭而指其珠。面貌端正。極令殊妙。畫二龍王。絡左膊上。其二龍頭相鉤。仰視在於胸前。尾在背上。俱純赤色。又四龍王並作青色。各綰一臂。又二龍王亦皆青色。各綰脚脛。其像頭上一白龍王。綰盤豎頭。其像腰下虎皮。縵跨。頭髮火焰悉縱豎。非但頭上頂背亦有火焰之光。其頭光上左右各畫一蓮花坐。左蓮花上作阿閼佛像。一本云。結跏趺坐。左手仰掌橫在臍下。右手仰掌在右膝上。指頭總垂。右蓮花上作阿彌陀佛像。結

玄法胎軌下云。次烏鵲摩摩作大忿怒形。黑色光焰起。右劍下絹索。棒及三股叉。器械皆焰起云。

玄法胎軌下云。忿迅俱摩羅。住於青蓮花。身作黃金色。髮亦上撩亂。瓔珞釧嚴身。虎皮用縵跨。惠杵定無畏云。

而把赤索。其索盤屈狀似盤蛇。右手舒下仰。大指伸頭指直下舒。其餘三指纖屈向上。左手屈臂向上。手把數珠。用中指頭而指其珠。面貌端正。極令殊妙。畫二龍王。絡左膊上。其二龍頭相鉤。仰視在於胸前。尾在背上。俱純赤色。又四龍王並作青色。各綰一臂。又二龍王亦皆青色。各綰脚脛。其像頭上一白龍王。綰盤豎頭。其像腰下虎皮。縵跨。頭髮火焰悉縱豎。非但頭上頂背亦有火焰之光。其頭光上左右各畫一蓮花坐。左蓮花上作阿閼佛像。一本云。結跏趺坐。左手仰掌橫在臍下。右手仰掌在右膝上。指頭總垂。右蓮花上作阿彌陀佛像。結

玄法胎軌下云。次烏鵲摩摩作大忿怒形。黑色光焰起。右劍下絹索。棒及三股叉。器械皆焰起云。

玄法胎軌下云。忿迅俱摩羅。住於青蓮花。身作黃金色。髮亦上撩亂。瓔珞釧嚴身。虎皮用縵跨。惠杵定無畏云。

立化佛
黃云童子已上

聖迦拏忿怒金剛童子菩薩成就軌上云
我今說畫金剛童子像法○畫菩薩身種
、環塔以爲莊嚴身如火色遍於身上流
出火焰以右手持金剛杵斜攀向上左手
作施願手脚爲阿里茶立踏盤石上於施
願手下畫持誦者右膝著地手執香爐云
阿里茶者
了字也

六腎

又云，於海中畫一寶山像，以左足踏於寶山，上有妙蓮花以承其足，右足在海水中立，沒其半膝。右第一手持底里商估金剛杵作擲勢，右第二手持母娑羅棒，謂棒一頭如鐵杵形，右第三手執於鐵斧，左第一手把棒，左第二手如擲勢，作金剛拳舒頭指，左第三手持劍，以一大蛇於身上角，絡結繫，又以一切毒蛇作膊劍臂，劍腰條，腰絡及耳璫繫髮，又以一大蛇繞腰三匝，身背圓光火焰圍繞，於焰外有其雲電，以相輔翼。

云已上
青童子

上文云。其像獨身從海涌出。住大海中。身如吠瑠璃色。身有六臂。膊腕停相。貌充滿。面有三目。其目赤色。首戴寶冠。狗牙上出。口咬下脣。顰眉威怒。

無能勝像

二一臂

八大菩薩曼荼羅經云
上在八大明王
 四臂

四臂

八字文殊軌云。無能勝明王。四臂青色。三

面火髮聾。上右一手作拳。豎頭指。一手執三股戟。一手施願。一手執棒。安坐蓮花。云菩提場一字頂輪王經二云。晝無能勝忿。

怒王身白色四面四臂。頰眉面頤怒虎皮爲裙。蟒蛇爲耳璫。得叉迦龍王以爲腰條。婆蘇枳龍王以爲神線。角絡披耽肚身形短。以毒蛇莊嚴髻冠。咬下臂。偏身火焰熾盛。光明圓光。右第一手持金剛杵。第二手作期克勢。左第一手持三戟。又第二手持鉞斧。正面作阿吒。賀婆唉聲勢。從口出火焰種種色相。右邊面瞻觀輪王。左邊面觀持誦者。頭上面觀一切衆會。住於寶蓮花上。無能勝忿怒王。應如是畫。

一字頂輪王經一云畫難勝舊怒王四面四臂身白色相示耽肚相。繼如侏儒腰畫虎皮蛇爲耳璫。德叉迦龍王以爲腰繩。婆修吉龍王以爲絡膊。諸惡毒蛟遍莊嚴身。編髮爲冠身火焰。立寶蓮花。右第一手把金剛杵。次第二手以中指無名指把拳。大指押上。頭直申。屈肘向上。左第一手把三戟叉。次第二手把鉞斧。正中。大面怒目張口。出衆光。目觀於佛。右邊側面觀頂輪王。左邊側面觀目呪者。頂上面觀如來會衆云。

類戰掉一切星罐 云

私云。此經不云手數。若可同歟。可尋之。

金剛藏像

11

觀自在菩薩授記經云。畫金剛藏菩薩。左手持金剛杵。身淺綠色。

集經七云。金剛藏菩薩像法。一切金剛藏菩薩像。通身黃色。而以左脚偏加。邪垂右脚。欲似下坐。而復起形。在於百寶蓮華坐上。如令邪身面向右視而坐。頭戴七寶莊嚴華冠。身有重光。其像背倚寶綰枕上。其像左手屈臂覆左膝上。右手屈臂在右膝上。以手大指頭指相捻。而屈中指及無名指。在於掌中。小指直豎。其像頸下有寶珠纓絡。像兩臂腕各著寶釧。以單素白纓絡其膊上。兼二色綰附其繫上。復以寶綰繫臍腰上。其綰當肚結。綰之上作一黃色圓如錢大。以朝霞錦綬其袴上。著黃白色華繫之裙。其裙青裏脚脛。趺露寶綰爲帶。以繫其腰。

集經一云。作金剛藏菩薩像。右手屈臂向肩。上。手執白拂。左手掌中立金剛杵。其一端者從臂上向外立著云。

如意摩尼金輪呪王經云畫一金剛藏王
菩薩右手屈向脇前執一青蓮花莖其花
在頂前蓮花上有跋折羅上有火焰左手
執白拂身著種種衣服立於青蓮花云云
大輪金剛修證瑜伽理趣三昧祕密儀軌

眞言法云、金剛藏菩薩身青色、面有三目、
申左臂掌中豎矚日羅、右手掌植云、坐蓮花
尊勝軌下云○次南面中心畫執金剛藏
王祕密王菩薩、手持矚日囉二結跏趺坐

一百八臂

不同記六云、現圖在曼荼羅菩薩之右、身
青黑色、十六面一百八臂、執持種種器仗
械未詳其物、座下有牡丹蓮花、或圖黃色
三目云、

摩莫計像

二臂

一字頂輪王經一云、畫摩莫計金剛母也、
身靚白相、亦七寶瓔珞衣服具莊嚴之、右
把般若經甲、左手把寶施之無畏、身勢頭
面一如般若波羅蜜菩薩坐寶蓮花、此菩
薩乃是一切諸佛菩薩金剛母故云、
菩提場一字頂輪王經二云、應畫摩莫枳
菩薩、淡紫青色、種々瓔珞莊嚴坐於蓮花、
身儀寂靜住般若波羅蜜自性、右手持梵
夾、左手持眞多摩尼作施願勢、是一切佛
菩薩之母、大聖般若波羅蜜多住、摩莫枳
形、則此尊是金剛族母、相似童女形、不太
高、顯極令悅意、應作如是相云、
不空羼索經流志云、摩莫積金剛母菩薩、
左手仰伸膝下、右手執三股金剛杵、半跏
趺坐云、
軍荼利軌云、瑜伽者即觀此聖者在本尊

前坐蓮花臺、頭冠瓔珞如天女形、左手持
五股金剛杵、右手施無畏勢云、
青龍軌中云、部母忙莽鷄亦持堅惠杵貼三
嚴身以瓔珞云、

金剛隨心像

(裏書一六)

不空羼索經九云、次隨心金剛菩薩、左手
執三股金剛杵、右手揚掌半跏趺坐云、

永德元年五月日命寫生書功了爲令
法久住也予自加校合了

權大僧都賢寶四十九生年

聖佛母般若波羅蜜多九頌精義論上德勝
赤衣菩薩造像梵大律師譯云、復從惠生金剛界中摩
枳菩薩相○其菩薩者身相青色八臂三
面、正面青色、右面黃色、左面白色、右第一
手執劍、第二手執箭、第三手執鈎、第四手
執金剛杵、左第一手執輪、第二手執弓、第
三手執繩索、第四手執鈴、而彼菩薩理智
相合、諸所施作皆順方便、衆相莊嚴、頂戴
阿闍佛冠、現於熙怡可愛之相、加跌而坐
○此菩薩身即如來身從惠方便之所出
生(裏書一七)

大日經統第五云、次於金剛部主之右置
忙莽鷄、所謂金剛部母、亦持金剛智杵、以
諸瓔珞嚴身云、觀云、此尊阿闍所變也、頂戴阿闍冠相似觀音冠中彌陀可思之

寶永三年仲商日加修復了
僧正杲快

裏書一〇

疑云、袈裟畫尊者、三衣等爲御衣、絹
可畫之、歟、爲當可用別物、歟、答、可有
二義、非以三衣等云、用御衣、絹、只以
紅色等染絹、於其云畫之歟、故南海
傳一云、袈裟乃是梵言、卽是乾陀之
色云、況又軌文、單或赤或乾陀褐
色等、縹緋是名爲袈裟云、知非三
衣等也其一

或云、此尊相從行者有暫時不捨離
願、仍畫三衣等上表其義也、於或赤
乾陀等文者、乾陀等色袈裟上云畫
尊像也其二

俱舍論光記云、褐色不定、隨其所應
青黃等攝、此等諸色隨所應餘色相
雜更立異名、據本正色皆青等攝云、

裏書一一

高雄像四面八臂、第一手左右結印、
右二劍、三箭、四三古、左二索、三弓、四
戟

裏書一二

大原記第十一云、師曰、胎藏現圖、
有、降三世二尊並坐、謂風方勝三
世及四面八臂降三世也
師傳云、降三世有多數忿怒身顯之
也、一降三世、二不動、三勝三世、四月
繫也云、

今私案云、現圖、有、意、廣普攝諸
尊、又爲廣觀法也、是以金剛界中、降

三世為菩薩事尊。即此一尊攝三十
七尊。一一尊皆入降三世三摩地。三摩地
世會。故此尊為最也。故此現圖。意也

中。安此四面八臂降三世。攝金剛
界三十七尊也。又又喻伽護摩軌中。
以藥王愛喜為降三世四種忿怒。文

一三

高雄像一面八臂。第一左右手結印。
右二施無畏。三印。四三古。左二戟。三
斧。四輪。

一四

高雄像第一左右結印。右二棒。三劍。
左二戟。三輪。

一五

障者形像

瑜祇經云。○時障者忽然現身作金
剛薩埵形。於頂上現一金剛輪。足下
現金剛輪。兩手中各現一金剛輪。又
於心上現一金剛輪。遍身放光照觸
會中諸大菩薩。云

愛樂外箭印者。有說云。表頭愛樂
王也。其像右面白。左面赤。色。手
持五古杵。云一說云。左手持人
形杵。云二古方向上。三古方向
下也。手三古杵向上。二古方向下
也。三古是頭左右手也。二古是二
足也。指合即成五古也。云
又岳東院愛樂王兩頭二臂白色。
左鈴右五古。

吒枳王像青色三面六臂。上左右
作印。四左弓右箭。次左持經。次
右持一古杵。

一六

隨心金剛像。三寶院樣源真入寺所持
太元堂茶羅中有此像

赤色如金剛力士。左捧卜。杵。自首
猶高捧之。右手開掌向外。五指端反
之。

一七

賢寶私云

忙莽鷄

八臂持物內。劍輪弓箭鈴杵六種。與
金剛藥叉六臂所持同也。加鈎索為
八臂也。胎藏曼荼羅像二臂也。

圖像集第五本 提婆本

東方天 南方天 西方天

北方天。什五太子
八大夜叉雙身毗沙門
十臂毗沙門。什十羅刹那羅延天
摩利支天 吉祥天 辨才天
吒羅佉天

四天王像

東方天

集經十一云。提頭賴吒天王像法。其像身
長量一肘。作身著種。天衣嚴飾。極令精

妙與身相稱。左手申臂垂下。把刀。右手屈
臂向前。仰手掌中著寶。上出光。云青龍
把刀。右手掌寶。上出光。云

威儀形色經云。持國天王。寶冠嚴髮
髻。面門青肉色。左定執利鋒。右惠著腰相。

身妙嚴瓔珞。袈裟及天衣。金剛寶甲。背。顯
怒威德相。跏趺右押左。蓮葉以為嚴。云

五佛頂經一云。次於佛左。東北角邊。面畫
提頭賴吒天王。左手執槃。右手側揚掌。云

不空絹索經十二云。東面。面上提頭賴吒
天王。左手把槃。右手揚掌。半跏趺坐。云

同經二十七云。提頭賴吒天王。半跏趺坐
捧諸寶花。云

普賢延命金剛智口決云。東方持國天王。
其形忿怒。露齒。首髮聳上。猶如夜叉。髮際

有金環。身色綠青。著金剛甲冑。左手五指
端微曲。恰如持物。右手執刀。橫胸臆前。双

下首。左如切物勢。云
尊勝軌下云。東方提頭賴吒天王。手執毘
毘。并四侍者。云

天王念誦法云。又次金剛手。示現大力身。
號曰持國天。左手持戟稍。右手執五古。云

南方天

集經十一云。毗嚩陀迦天王像法。其像大
小衣服准前。左手亦同前。天王法。申臂把

刀。右手執稍。根著地。云
形色經云。毗樓勒又天王。寶冠嚴髮髻。面

門赤肉色。左定拳押膝。右惠金剛劍。云

門赤肉色。左定拳押膝。右惠金剛劍。云

門赤肉色。左定拳押膝。右惠金剛劍。云

天魔相云

北方天

五佛頂經一云。次於佛左東南角邊面畫毗嚩佉迦天王。左手執槩右手側揚掌。云云不空羼索經十二云。南面葉上毗嚩託迦天王。左手執槩右手揚掌。半跏趺坐。云云同經二十七云。毗樓勒叉天王。半跏趺坐捧諸寶花。云云口決云。南方增長天形如前。但身色赤火不露現齒。二手外縛二大指並立當心前。云云

西方天

集經十一云。毗嚩博叉天王像法。其像大小衣服准前。左手同前。唯執劍異。其右手手中而把赤索。云云形色經云。毗樓博叉天王。寶冠嚴髮髻。面門白肉色。左定拔折羅。右惠持羼索。云云五佛頂經一云。次於佛右西南角邊面畫毗嚩博乞灑天王。左手執槩右手掌金剛杵。云云不空羼索經十二云。西面葉上毗嚩博叉天王。眉間一目。左手持槩右手掌獨股金剛杵。半跏趺坐。云云同經二十七云。毗樓博叉天王。半跏趺坐捧諸寶花。云云口決云。西方惡目天。其形如此。但身色白。二手腕相交。右押左。持刀索。或云不持天王念誦法云。次文殊菩薩。又現大力相。是名惡目天。左手執戟。右手作劍印。如是等二目。身色皆赤色。能攝衆生界降伏。

集經十一云。毗沙門天王像法。其像大小衣服准前。左手同前。執劍拄地。右手屈肘擎於佛塔。云云形色經云。毗沙門天王。寶冠嚴髮髻。面門白黃色。左定捧寶塔。右惠持寶劍。云云天王念誦法云。大菩薩現毗沙門天身。左持寶塔。右執利劍。云云

五佛頂經一云。次於佛右西北角邊面畫多門天王。左手執槩。右手執金剛杵。是等護世天王。各以衣甲被飾莊彩。半跏趺坐。云云不空羼索經十二云。北面葉上多聞天王。左手執槩。右手把獨股金剛杵。半跏趺坐。云云同經二十七云。多聞天王。半跏趺坐捧諸寶花。云云摩訶吠室羅末那野提婆喝囉闍陀羅尼經云。先須畫像。其畫像時。彩色中輒不得著皮膠。唯用香汁。白月一日。請匠清潔澡浴。持齋受八戒。出人時須三具衣。若上廟即香湯沐浴。亦莫論手功多少。便取細白疊。若無白疊。好細絹亦得。一丈五尺。畫天王身。著七寶金剛莊嚴。其左手執三叉戟。右手托腰。又一本云。其脚下踏三夜叉鬼。中央名地天。亦名歡喜天。左邊名尼藍婆。右邊名毗藍婆。其天王面作可畏猛形。

怒眼滿開。一本云。怒眼見其右邊畫五太子及兩部夜叉。羅刹眷屬。左邊畫五行道天女及妻子眷屬。廣如大經說。云云

毗沙門藏呪云。通譯行者受持此呪者。先須畫像。於綵色中。並不得和膠用。於白疊上。畫一毗沙門神。七寶莊嚴。身著衣甲。左手把戟。右手託腰。其神脚下。畫二夜叉鬼神形。並作黑色。其毗沙門面作甚可畏之相。惡眼視一切鬼神狀。云云毗沙門天王別行軌云。若能每日。中時。面向北對像前。誦我心真言。滿三十萬。洛又遍。我示現大將身。手持戟劍。現前。或於夢中現身。或於他山。遠頂示汝。云云又云。入陳刀戟。相害無能知者。云云金剛頂瑜伽護摩軌云。北方毗沙門天。座二鬼上。著甲冑。左手掌塔。右手執寶棒。身金色。二天女持寶花等。云云普賢延命金剛智口決云。北方多聞天。身著甲冑。帶刀。左手持寶塔。右手執三股戟。云云安鎮軌云。北方。畫毗沙門天王乘鬼。右手持花棒。左手叉腰。云云佛說毗沙門天王功德經云。毗沙門天王。身被金甲。左手捧寶塔。右手取如意寶珠。左右足下。跌羅刹毗闍鬼。云云毗沙門天王秘密藏王呪經云。或云。我今說天王畫像。若有行者。造作天王像時。如紺瑠璃并金色。而令示忿怒。於當知以左。

手令押腰以右手令執持降伏大跋折羅
杖然左足邊造毗婆像右足邊造毗婆婆
像而天王座者如大智平等須彌山并大
覺降伏壇但細應見儀軌云已上二

最勝王經六云王品世尊若持呪時欲得
見我自身現者可於月八日或十五日於
白疊上畫佛形像○於佛左邊作吉祥天

像於佛右邊作多聞天像并畫男女眷屬
之類安置坐處咸令如法布烈云
或人云元興寺吉祥堂有三尊像頂上

畫世尊三體右畫多聞天像左畫吉祥
天像若依此文歟可尋之

毗沙門天王經云彼持誦者當於白月八
日及十五日令畫人受八戒澡浴著新淨
衣取不截白氎畫像其彩色中不用皮膠

中心畫釋迦牟尼佛作說法相佛右邊畫
吉祥天女形眼廣長顏貌寂靜首戴天冠
瓔珞臂銅莊嚴其身右手作施願手左手

執開敷蓮花云此經文無
左邊侍者如何

毗沙門天王功德經云毗沙門天王○又
有二鬼名藍婆毗藍婆左脇有女號大
吉祥女右脇有一童子禪賦師童子云

五太子像

最勝太子

二臂

天王念誦法云次最勝太子左持寶蓮花
右手作劍印身色白肉色能滿所願相云

四面八臂

毗沙門王最勝太子那吒代羅甘露如
意王神呪經云畫像法畫如意王像者可
長六尺八寸精好絹上勿用膠和彩色當

取糯米汁及香汁勦陸香汁和彩色其像
八臂四面當前正面作平正圓滿之相猶

如菩薩之相左廂面青毒黑色大張口虎
牙相又眼圓大眉角豎右廂一面作自在
天相含咲不已赤白色當前上面作樂叉

極惡相眼如血色牙齒長利舉身赤黑色
髮作紺青色頂上有七日並曜雙龍絡背
瓔珞備天衣散垂踏大盤石山左右二手

背堅持刀左右二手雙持縛折羅叉左右
二手合掌當心左右二手下俱持槍其身
雄壯迅極可畏以五色雲散垂為蓋諸天

亂飛雨散天花左有日月天梵天自在天
四天王供養著白色衣冠履立於毘藍上
右有樂叉大將二十八部備堅甲而為隨

侍前有童子擎香花次有二青衣童子持
香而立其畫人不得食五辛一切穢惡輒
不過往不爾慎之造像訖勿使惡人不淨

人視之其神無効安在如意室中朝夕求
願皆悉滿足終無乏少一切衆生見者歡
喜處無障礙云

吽迦陀野軌上云北方最勝太子有正面
端正好相具足左右面長相左方面赤右
方面黑頂上赤色面喉啞細長髮燃狀形

有正手合掌左第二右第三手取大刀次
左右第三手取三結次左右第四手持鉞
左右手中間大龍王太子與等劍輪於當

口尾長至于太子足半垂此太子如是居
石上五云文字惡
可交正本也

獨健童子
天王念誦法云又馬頭大士現獨健童子
左持大利劍右執能縛索身色赤光色摧

伏魔王相云
那吒童子
毗沙門隨軍護法儀軌云先須畫像於彩
色中並不得和膠於白疊上畫一毗沙神

其殊那吒天神七寶莊嚴左手令執口齒
右手託腰上令執三戟稍其神足下作一
藥叉女作跌坐並作青黑色少赤加云

天王念誦法云次十一面尊現那吒童子
左手持寶棒右手與願印身色青光色能
除定業相云

常見童子
又云次又羅索尊現常見童子左手執寶
弓右執金剛箭身色日光色成就愛念相

禪賦師童子
又云寶王如意輪示現禪賦師二手蓮花
合身色如日光愛念行人相云

最勝王經六云世尊我若見此誦呪之人
復見如是盛興供養即王慈愛歡喜之心
我即變身作小兒形或作老人苾芻之像
手持如意末尼寶珠并持金囊云

毗沙門天王經云毗沙門天王見持誦者
此真言及供養如來慈念行者則為現身
作童子形或居士形右手持如意寶左手

持金篋。顏貌寂靜云。
私云已上二文不知由續可尋之

八大夜叉像

大日經疏五云○於北門當毗沙門天王
於其左右置夜叉八大將一名摩尼跋陀
羅譯曰寶賢二名布嚕那跋陀羅譯曰滿
賢三名半只迦舊曰散支四名婆多那哩
五名醯麼嚩多即是住雪山者六名毗灑
迦七名阿吒嚩迦八名半遮羅云
青軌下云八藥叉摩尼跋陀羅一布嚕那
跋陀羅滿賢二半只迦散支三婆多那哩
四醯麼嚩多五毗灑迦六阿吒縛迦七半
遮羅八云毗沙門真言注也
疏六云北方之夜叉八將圖中闕少者其
形大抵相似皆被甲冑持伽藍印身相圓
滿端正云

雙身毗沙門

毗迦陀野軌上云又八牙相者背立面色
赤衣色黑目各面三若半三目若半二目
牙上方指短白下方長白牙袖脇下方各
臆當指一處手下方合掌一所手上方合
掌下方合掌持獨站上方合掌持金剛輪
圓座上居頭上方冑相女髮登返垂相也
各面甚可怖畏相見人可迷惑云

十臂毗沙門

又云次觀法入曼荼羅尊體瑜伽像即一

面十手大王身即由此身則多開天王究
竟身則同等大日世尊諸尊先其體樣色
赤衣紺袈裟青目白牙二下方三寸指正
手印被根本護身之印左方第二手捧寶
塔次手持鉗杵鈴次手持金輪次手持箭
與索右第二手持寶劍次手持大刀次手
持弓次獨站與鉗須彌上居山下有鬼形
左方膝立右方膝臥云

大原長宴僧都云本尊身赤色衣紺著
青色袈裟具三目表三秘法身般若解
脫也白牙出現上方至目際下方三寸
或胸臆至上方二牙表色無色利益下
方二牙表界外山川鬼畜利益也十臂
即十波羅蜜也一面即三身即一也正
手根本印二中指末合是則二天相也
左第二手捧寶塔表法身也次手持獨
站鈴表不空尊相次手持金輪表金輪
佛頂次手持箭表降伏魔相右第二手
持寶鐮爲斷衆生三毒煩惱次手持大
刀爲退衆生見使怨賊次手持弓表降
伏魔王相次手持獨站與鉗強難化
衆生誘爲令一實眞如即十臂又十婆
羅蜜右膝立上求菩提也左膝臥下化
衆生也居須彌山頂者十法界頂法界
花王座如普賢衆伏頂此尊三界尊王
而同大日尊金剛薩埵變化也又山下
有三鬼表三身三界魔鬼攝領相云

十羅刹像

毗迦陀野軌上云次下十羅刹女等有形
體端正其姣諸相具各手持刀杖沙門眷
屬也即見此軌

兜跋毗沙門

兜跋藏王呪經上云復告無畏菩薩是如
意藏王能變萬像度諸衆生其威德自在
具足種種變現之相而即現十種降魔之
身具十種雄猛之名令衆生起廣大福聚
云何爲十身十號○七者兜跋藏王其威
德自在亦如毗沙門天王身相而貌忿怒
降魔吉祥圓滿有無量福智光明權現兜
跋國大王形像盡解脫急難不離人身不
伐人體唯所具足威光飛翼翔天遊變最
有自在帶持大刀橫劍摧折一切忿敵掃
除災害於諸衆生令無驚怖依此藏王廣
大威德大地神女自然涌出化坐蓮葉以
掌承大如意藏王足安靜結坐具如是大
勢威力普濟衆生種心願悉令滿足云

那羅延天像

二臂

不空索經二十七云那羅延天半跏趺
坐捧諸寶花云
授記經云盡毗紐天持輪而住云
二十天真言軌云那羅延執輪羅刹形云
四臂

迦樓羅密言經云盡尾惹野天王即毗紐
天王也通身赤色而有三首正面作天王

形。右現師子相。左如猪頭。鬚髮寶冠。首光
綠色。四臂。左上手散花向本尊。下持盤貝。
右上手柱金棒。下手緊頭指。指上有一金
盤盛樂妙花。天衣瓔珞依位而立。云。此大
即那延

教王經疏二云。夾紐天。四臂投貝持輪
騎金翅鳥。云。大論第
二說同之

摩利支天像

二臂

摩利支天經云。不空若欲供養摩利支菩薩者。應用金或銀或赤銅或白檀香木或
紫檀木等刻作摩利支菩薩像。如天女形。
可長半寸或一寸二寸已下。於蓮花上或
立或坐。頭冠瓔珞種。莊嚴極令端正。左
手把天扇。其扇如維摩詰前天女扇。右手
垂下揚掌向外。展五指作與願勢。有二天
女。各執白拂侍立左右。作此像。或戴於頂
上。或戴臂上。或置衣中。以菩薩威神之力
不逢災難。於怨家處決定得勝。鬼神惡人
無能得便。云。

末利支提婆華嚴經云。不空作天像法。其
像二手。左一手屈臂向上。平橫左乳前把
拳。中把拂形。如講法師高座上所把形。
於其拂中作西國萬字文。亦如佛像胸
上字。四曲內各作日形一。著之。著
四箇日形。其拂上作焰形。右一手申臂及
指垂下。其作像法畫像一種無別。其像身
量長一寸二寸乃至一肘。云。

又云。末利支白佛言。世尊。我有別法。今欲
說者。用好紫樹木廣三指長三寸。其木一
面刻作末利支天形。作女天。其像左右各刻
作兩末利支侍者。亦作女形。復以別紫檀
木作蓋。之。作此像已。欲行遠道。將於此
像不離自身。隱著之。莫令人知。云。

集經十云。若人欲得供養摩利支天者。應
用金若銀若赤銅若白檀若赤檀等。隨力
所辦。作摩利支天像。其作像法。似天女形。
其像左手屈臂向上。手腕當左乳前作拳。
中把天扇。如維摩詰前天女把扇。於
扇當中作西國萬字。如佛胸上萬字。
四曲內各作四箇日形一。著之。其天扇
上作焰光形。右手申臂并申五指。頭垂
下。身長大小一寸二寸乃至一肘。其中最
好者一二寸好。其像左右各作一侍者。
其侍者亦作天女形。種。嚴飾。云。
又云。摩利支天白佛言。世尊。我有別法。今
欲說之用。紫檀木廣二指長三寸。其木一
面刻作摩利支天像。似天女形。其像左右刻
作摩利支侍者。亦似天女形。復以別紫檀
木作蓋。之。於像。云。

攝無礙經云。摩利支天。吉祥天女形。面門
桃花色。定惠白蓮花。百千種瓔珞。嚴身微
妙色。救世現天膝。云。

吉祥天像

二臂

不空絹索經十一云。又法。心錫鐵造功德

天像。半跏趺坐。手執蓮花。衣服鑲釧七寶
瓔珞而莊嚴之。卷十五
云。同之
毗沙門天王經云。畫吉祥天女形。眼廣長。
顏貌寂靜。首戴天冠。瓔珞臂釧莊嚴其身。
右手作施願手。左手執開敷蓮花。畫像得
已。於清淨處安像供養。云。

天王念誦法云。上首聖觀世。示現天女形。
左持如意寶。右作與願印。身色赤白色。號
曰吉祥天。云。
大吉祥天女念誦法云。欲作此法。先須造
像用花木。其形像。左持寶珠。右作與願印。
身白色。如十五歲女。以種。天衣微妙莊
嚴。現天女形。故不著法衣。以天衣纏其身。
左邊畫妙見天女。其形像。左捧寶鉢。右作
施無畏。右邊畫功德天女。左手鉢盛花。右
手掌向外。復左邊畫辨才天女。左手持三
劍。右手執利劍。右邊畫大光天女。左手持
白輪。右手與願印。復次四方畫四天王。率
無量眷屬恭敬圍繞。云。

集經十云。其像身長一肘一尺三寸五分。
除其光座。更須高丈。亦彌精好。其功德
天像。身端正赤白色。二臂。畫作種。瓔珞
鑲釧耳環。天衣寶冠。天女左手持如意珠。
右手施無畏。宜臺上坐。左邊畫梵摩天。手
執寶鏡。右邊畫帝釋天。如散花供養天女。
背後各畫一七寶山。於天像上作五色雲。
上安六牙白象。鼻紋馬腦瓶。中傾
出種。寶物灌於功德天頂上。天神背後
畫百寶花林。頭上畫作千葉寶蓋。上作

諸天伎樂散花供養其像府下右邊復畫作呪師形著鮮白衣手把香爐踟躕供養於白素綉上坐云々又之又云一像法切實木作一天女形身長一寸云

辨才天像

二臂 大吉祥天女念誦法云畫辨才天女左手持三劍右手執利劍云

八臂 最勝王經七云聰明勇進辨才天○依高山頂勝住處茸茅爲宅在中居恒結栗草以爲衣在處常翹於一足云

最勝王經玄樞九云○謂德有四種一聰進德是智惠嚴○四與願德行又有四一空寂行離城市故二離慢行非好室故三離嫉行常披草衣無人欲故四慈悲行恒爲利物翹一足故隨云常被草衣一脚立者結集家正序陳如苦行容儀也云

又云常以八臂自莊嚴各持弓箭刀稍斧長杵鐵并網索云

玄樞云爾下第二述呪讚有二初述讚法後勸修行初有七頌即分七德○五一頌現身德如師子者謂無畏狀本稍異云乘師子上現人形八臂各持弓箭等八與云既證八真開前八行故樂八臂云

吒羅佉天像

吒羅佉天女法云次說作天女像法其長二尺五寸頭戴花冠左手把如意右手把蓮花此天女極須端政額上點花身著紫袍金帶烏靴威儀美麗世間無比面目端嚴諸相具足人中第一云

寶藏天像

如吒羅佉天

訶利帝母像

訶利帝母經云應取白髀或一肘或一標手半或長五寸或隨意大小畫訶利帝母作天女形像金色身著天衣頭冠璽瑠坐宣臺上垂下右足兩邊畫二孩子傍寶臺立於二膝上各坐一孩子左懷中把一孩子於右手中持吉祥菓云

三子

大藥又女歡喜母并愛子成就法云先於白壇上或絹素上隨其大小畫我歡喜母作天女形極令姝麗身白紅色大繪寶衣頭冠耳璫白螺爲釧種種璽瑠莊嚴其身坐寶宣臺垂下右足於宣臺兩邊傍膝各畫二孩子其母左手於懷中抱一孩子名畢哩孕迦極令端正右手近乳掌吉祥菓於其左右并畫侍女眷屬或執白拂或莊嚴具云

七子

寶樓閣經中云菩提流於其東門外畫鬼

子神有七鬼子圍遶

九子

訶利帝母眞言法云不空應取白髀或一肘或一標手或長五寸或隨意大小畫訶利帝母作天女形像金色身著天衣頭冠璽瑠坐寶臺上垂下右足兩邊畫二侍女各執白拂復有八孩子各執吉祥菓左懷中把一孩子於右手中持吉祥菓云

十子

大日經統六云訶栗底母男五女五

五百子

愛子成就法云有大藥又女名曰歡喜母○是娑多大藥又將之女王名曰支迦大藥又將古云散胎生五百子云
孔雀經中云半支迦藥叉羯濕彌羅際其足五百子有大軍大刀長子名肩目住在支那國諸餘兄弟等僑尸迦國住云

千子

私云此云五百子者若是人間五百子歟
鬼子母經云鬼子母○有千子五百子在天上五百子在人間千子皆爲鬼王一子者從數萬鬼如是五百鬼王在天上繞諸天五百鬼王在世間繞帝王人民云

水迦羅天像

二臂

水揭羅天童子經云不空其像用白檀香水長六指作童子形狀左手把菓右手垂作滿願掌向外云

愛子像

二臂

訶利帝母真言法云。以白檀香橫量六指作童子形。具足兩手。各把菓子與人。頭上作三髻角子。云。
大藥叉女歡喜母并愛子成就法云。我今復說畢哩。孕迦刻像法。取好白旃檀香木無瑕隙者。長六指或一櫟手。令巧匠彫作童子形。頂上有五朱茶髻子。相好圓滿。以種。璽路莊嚴其身。荷葉上交脚而坐。又右手掌吉祥果作與人勢。左手揚掌向外垂展五指。此名滿願手。云。

養慶梨童女像

二臂

常觀利毒女經云。釋多三須畫常觀利形作一童女。百福相好莊嚴其身。鹿皮爲衣。著嬌奢那衣。大神車輪髻。右手執降毒劍。左手把管毒木印。遍身璽路毒蛇相縛環。則毒蛇。面前畫一青衣童子。把水碗及香案。百種毒菓子及諸毒藥。普在常觀利面前。遍四面各畫山。兩邊畫虎狼獅子。蛇毒龍蝦蟇諸惡毒蛇四面周圍。云。
常求利毒女蛇羅尼經云。世尊告諸比丘。言。我於一時在雪山北住香山中。見一童女。百福相好莊嚴其身。鹿皮爲衣。將諸毒蛇而爲璽路。蟒蛇蝦蟇諸惡毒蟲以爲伴。

四臂

養慶梨童女經念誦軌云。釋不空觀想自身爲養慶梨童女。身綠色。狀如龍女。具足七頭。項有圓光。應想四臂。右第一手持三戟叉。第二手執三五莖孔雀尾。左第一手把一黑蛇。第二手施無畏。又想七寶璽路耳璫。鑽鋼臂脚。鋼莊嚴其身。并以諸蛇用爲璽路。想從一毛孔流出火焰。云。

聖天像

二臂

大聖天歡喜雙身毗那夜迦法云。釋不空若欲作此天法。先須畫像。或用白鐵銅木等及花木。若鑄若刻並得其像形。夫婦二身令相抱立。各長五寸或七寸皆得。並作象頭人身。造像不得還價。其像成。云。
集經十一云。先須造像。或用白臘及銅木等。灌若刻作其形像。夫婦二身令相抱立。各長五寸七寸亦得。二身並作象頭人身。其造像直不得還價。云。
雙身毗那夜迦天形像品軌云。其雙身天王形像。夫婦二天令相抱立。其長七寸或五寸作之。二天俱象頭人身。但男天面繫女天右肩。而令視女天背。亦女天面繫男天右肩。而令視男天背。足踵皆俱露現。手足柔軟。猶如壯肥端正女人。男天頭無花鬘。肩係赤色袈裟。女天頭有花鬘。而不著袈裟。手足有璽路環。亦用其兩足踏男天足端。此二天俱白肉色。著赤色裙。各以二手互抱腰上。其右手覆左手背。二天右手

中指端合至左手中指中節背上。云。

識那鉢底瑜伽秘要云。又像二形如先相抱正立。唯以男天面繫女天之右肩。而視女天背。亦女天面繫男天之右肩。而視男天背也。目細牙短爲婦天。其二天並不著法衣天冠。而現本毗那夜迦身。云。
便呪法經。廣本云。若欲作法。香口誦呪不息。誦尅相好。安女手擎歡喜丸。男手把蒸餅。男左手身相女。女右手把男。以面相視。口鼻俱白似金剛形。然須有男女相。男象鼻長曲。女鼻微短。眼長身肥。皆如喜笑。著拂塵衣。亦名搭揮。如諸用著令慢。此部不用男衣窄女衣慢。脚踏蓮花。脚手臂膊皆有璽珠。造像成。云。
使呪法經。略本云。可作白鐵若金銅若花木。又石上生百歲花木。先取三七日加持。而見好相味尅作七寸又五寸五分。其形頭象頭。身者如人身。夫婦二身相向令抱之立。左手令取羅蔔。右手令取歡喜團。云。
私云。已上二文像不得心。若文字惡。更有沙汰。
識那鉢底瑜伽秘要云。又像有二天身相抱正立。雙象頭人身。左天著天花冠。鼻牙短。其目亦細。著赤袈裟。福田相衣。身白肉色。右天面目不慈。鼻長目廣。不著天冠及福田衣。身赤黃色。唯以黑色衣而纏其頸。此天以面相著前女天面。作愛惜相。是像顯權實相。云。
私記云。是像雙面相抱正立也。成典僧正於仁和寺與橋本求得木像聖天。長

七寸形同上文之像也。仁和寺圓樂寺立所建在于今。予拜見之。橋本像號之。又有金銅像。號舌鳴像。不慮相傳勸修寺法印雅寶許在之云。以有人說記之。

又云。今就毗那夜迦形有多種。或似人天。或似婆羅門。或現男女端正之貌。即分四部攝衆多類云。
有人云。童子形聖天有之云。若依此等文歟。

四方毗那夜迦

二臂

大型歡喜天形像品儀軌云。復次明四方六部毗那夜迦形像者。東方摧碎天亦無憂大將。其形如天人。天冠之上安象頭。左手執傘蓋。右手持劍。南方飲食天亦名嚴誓大將。其形如天人。天冠之上安象頭。左手執索。右手執花鬘。西方衣服天亦名頂行大將。其形如天人。冠上安龍頭。左手執弓。右手把箭。北方象頭天亦名金色伽那鉢底。其形象頭人身。左手持白瑠璃珠。右手執寶棒云。

四臂

使呪法經略本云。復有四臂像。其形象頭人身。具足四臂。所謂右第一手執鉞斧。第二手把歡喜團盤。左第一手把牙或執。第二手執寶棒云。
又云。復依不空奮怒王觀自在菩薩經明

四臂天相者。此毗那夜迦金剛。其形象頭人身。具足四臂。左一手執金剛杵。次手持鉞斧。右一手執網索。次手持三叉戟云。使呪法經廣本云。若欲作此法及像法。取白月四日作。即是成就日。取阿伽木如一白檀木。節長。冠作四臂。著大蟲衣。頭戴七寶冠。右手託越斧。又上手把歡喜團盤。左手執棒。下手執牙。其頭如象頭。左邊牙折此臂邊。取歡喜團勢。項底著種。璽珞。白繩。右脇上角絡披。脚踏金山上。云云。下文云說。

太元像

二臂

元帥大將上佛陀羅尼經中云。若欲得一切所求。皆吉者。即畫菩薩形。一作虛空藏菩薩形。頭戴七寶花冠。二手一把蓮花。一手施無畏。面目長作唯須大慈悲作。侍者四人侍者八人。作前金剛四侍者。散脂阿修羅二龍王。一執刀。修羅依前。散脂執弓箭。一神後有一鬼執旗幡。不用天女。作二人狀。如飛天仙形。擎花盤立供養云。

四臂

又云。復次畫像法。凡欲救衆生病與一切所求。先畫作一鋪神將像。上。好絹高八尺。作大怒形。四臂。左上手執千輻火輪。右手執作大怒印。以大母指押中指無名指中節上。小指頭指直豎於膝。左下手託膝。右上手執跋折羅。七寶冠璽珞。結髮鬘。

黑。眼白怒。看如懸鈴。上臂嚙下臂。舉身皆青黑。與色。大蟲皮作褲。脚踏二藥。又著鞋。唯須作大雄壯迅殺命可畏之。左右畫二天女。七寶冠璽珞。著嬌奢耶衣。一執筆。一執硯。足下畫二青衣童子執案。左十六侍者。右十六侍者。左右各作一師子尾豎立勢。左右畫四金剛。大青面火頭摧碎蘇悉地。皆作四臂。手執輪杵棒鉞。次畫天魔波旬。白衣冠面作青黑色。噴相。左手執輪。右手倒拔阿梨樹。繞臂三重。次畫散脂大將軍。著衣甲頭鐸。右手執索。左手執劍。住立。次畫毗摩質多阿修羅。六手掌日月。餘四手斧鐮杵索。須葉羅刹十六手八面。前三眼。餘二眼。左作猪頭。右作馬頭。餘羅刹頭吐雲火。悉大張口。手悉執戎器。仗刀劍輪槩鐵棒。次龍王四箇。悉龍冠著甲執叉。次須作鬼神藥叉羅刹四。毛衣齒如刀。目赤如血。爪利可畏之。次作四金剛密迹軍荼利金剛。六臂。手頭悉火焰。上。二手作印。執杵執棒執跋折羅。杖。次作沙摩將軍。著衣甲。以手相叉。怒目下看張口。次須作四箇天王。著金光甲。執杵執旗幡。次作摩尼跋陀。著衣甲。執弓箭。次作四藥叉王。披大蟲皮。髮亂如蓬。五眼。牙相又至鼻。眼白。爪如虎爪。長利。一執鎗。一執火。一執叉。一執刀。次作摩訶迦羅。二手作二眼。執伏突。脚踏毗那夜迦。悉須雄壯可畏。作七寶花蓋。左右作大辨天功德天乘雲功德天盤內安櫻桃。大辨天蓋內散七寶花。二

青衣童子。中央作七寶香爐。綵色上。好者用之云。

阿吒婆拘元帥大將執失譯云。若有人欲得法成就者。應造畫其形像。○說一面四臂者。左上手執千幅火輪。左下手作大怒印。以大母指押無名指。中指節上。小指頭指直。緊安於膝上。右○手執跋折羅。下右手託勝。著七寶冠。順眼如懸鈴。上唇。下舉身皆青黑與色。以大蟲皮爲褲。其脚著鞋。踏二藥叉云。

八臂

元帥大將上佛陀羅尼經中云。若行此法者。先畫一鋪大刀神將。或二幅三幅四幅上。絹起八月一日畫。若自畫教人畫。皆先齋七日。即著上妙之衣。淨洗浴。即受齋戒。於一淨室懸幡花。作一大火壇高一尺。壇上燒則炭火。即取白汁木一千八十段。取胡麻梗米蜜酪及香花誦呪。一呪燒盡此物。即已用上。好彩色。安壇上呪一百八遍。勿用膠和。白檀汁及薰陸香汁和之。一上廁一洗浴。畫阿吒元帥。身黑青色。身長丈尺。四面。當前作佛面。左面虎牙相。又三眼。眼赤如血。右面作神面。順相赤虎牙相。又三眼。左右安牙。髮鬚。頭上一面作惡相。亦三眼。虎牙相。又眼赤如血色。最上頭用赤龍纏髮。火焰連轡。頭上。身懸蛇。八臂。左上手執輪。次執槃。次左右第三手當前合掌。作供養印。次下手執案。右上手執跋折羅。次下手執棒。次下手作印。次下手執

刀。即腕臂上皆纏蛇。著七寶絞絡。甲膊上皆龍。王胸胸前出二面。皆赤黃。二眼四口。其左上面皆青黑與色。上面黃白色。右面白色。右面赤黑色。前面青白色。手皆青色。象頭皮作行纏。脚著履。踏二藥叉。皆黑色。其神作極惡相。可畏雄狀。如前迅形作。左右作四侍者。左畫提頭。順吒毗樓勒。又右畫毗樓博。又毗沙門。皆大噴相。七寶花冠。身著細金甲。龍頭劍臂。天衣七寶行纏。及履脚踏藥叉。右赤依此提頭。順吒毗樓勒。之毗樓勒。又執叉。毗樓博。又按劍。毗沙門執杵。四天王各領眷屬。東方天王領毗樓勒。婆將軍執鐸鈴。南方天王領鳩槃荼王執弓箭。西方天王領龍王執劍。北方天王領藥叉王執伏突。其神頭上赤黑雲起。四方天王足下作二童子。青衣作之。右執紙筆。左執硯盤。神前一人頂戴香爐供養。極須鮮明淨潔作之。所求如意云。

阿吒婆拘元帥大將執失譯云。若有人欲得法成就者。應造畫其形像。○先說四面八臂者。身青黑色。其足四面。中面作佛面。青白色。左面忿怒出虎牙。青黑色。具三目。其眼赤如血。右面作神將貌。順怒相出虎牙。赤黑色。亦具三目。頂上有一面暴惡相。黃白色。亦出虎牙。具三目。亦有八臂。左上手輪。次手執叉。左右第三手當前作合掌供養印。次下手執案。右上手執跋折羅。次下手執棒。次最下手執刀。即其臂上皆纏絡蛇。膊上有龍。面出左右其色赤黃。其脚著履踏二藥叉。其藥叉皆黑色。極惡相。此阿吒婆拘大元神王有七十二大將。二十八部鬼神眷屬。亦一一各領二萬五千眷屬。隨侍太元帥。畫此太元帥像者。受五戒。八戒。造畫其像云。

迦樓羅天像
二臂
金剛光焰止風陀羅尼經云。說數變。○於山頂上安藥嚕拏像。其像或於一肘白鬚上。畫或鑄金銅。如無應以香泥濕素。可高十指。或一標手。其像金色。半身已下作金翅鳥王。鼓翼如飛。立於山頂上。半身已上如天人形。身赤金色。作鳥鵲吹琉璃色。二手當心。十指相叉。頭冠纏絡種。莊嚴。面貌威怒。作可畏之狀云。

又云。又法。引密蠟捏大身藥嚕拏王。結跏趺坐。身量八指。鼓張兩翅。首戴花冠。面如天神。口如鷹嘴。右手把九頭龍王。左手執三頭龍王。純金莊嚴。彩色間飾。身諸衣服如四天王云。

惠什闍梨云。法成寺寶藏有此左右手取龍之像。又足下踏龍。在須彌山頂。月輪書迴梵字。伴像裔然。自唐所渡也。凡裔然佛像法門皆被納法成寺云。

四臂
迦樓羅王維密言經云。迦樓羅畫像法。畫迦樓羅像者。應肘量。潔善圖畫之。其匠清淨沐浴。色不用皮膠。當作尊儀。其身分白

記也。深秘箱底。輒不可披露。繼祖劬勞之功而已。 僧正杲快

圖像集第五末 提婆末

自在天 鳩摩羅 青目 帝釋 火 炎魔 羅刹 水天 風 梵 地 月 大黑 僧慎爾耶 正了知 阿修羅 龍王

十二天像

大自在天 法則軌云。次說造像法。若作此法者。或白月四日。或黑月四日。此日作是成就。日取阿伽木。如一指節。長刻作四臂像。著大蟲皮衣。頭戴七寶冠。右下手把鉞斧。右上手把歡喜團盤。左上手執棒。左下手執牙。其頭如象頭。左邊牙折以嘴繞取。歡喜團勢。項底種々環塔。著白縹朝霞。右脇上角絡披。脚踏金山云。又云。復說像法。取象牙。或取苦練木。依前刻作臂。或金或銀鑄成。一如前法作。即得成就云。形色經云。大自在天。頂上妙天冠。面門紫蓮華。定慧把利鋒。乘大黑水牛。上妙寶璽。

兩手腕上各有銀釧。左手向上捧一天花。右手向下作捻裙勢。身形可畏三尺。或隨大小任取稱量云。

妙見像

妙見菩薩神呪經云。畫作菩薩像。左手持蓮花。上作北斗七星形。右手作說法印。五指並舒向上。以大母指捻頭指側。手掌向外。天衣瓔珞珎瑤環釧莊嚴其身。五色雲中結跏趺坐。云云。下文云。菩薩前大吉祥天女念誦法云。畫妙見天女。其形像左捧寶鉢。右作施無畏云。

七星像

妙見菩薩神呪經云。畫作北斗七星神形。○畫貪狼星。小赤黑色。左手持日。畫巨文星。身面小白黃色。右手持月。祿存星。小赤青色。左手持火珠。上火焰起。畫文曲星。面小赤黑色。左手掌向外。五指垂下。掌中流出水。流下形。畫廉貞星。身面黃色。左手持玉衡。畫武曲星。小青色。左手持柳枝。畫破軍星。其色小白赤色。右手持刀。是諸星皆作藥叉形。頭髮赤色。天冠瓔珞莊嚴其身云。

女形北斗

北斗七星儀軌。云。北斗八女云。

寶永三年仲秋日。令修復之。理明房集。

臍已上如天王形。喉鼻若鷹。背而作綠色。白臍已下。亦如於鷹。鬚鬚。寶冠髮髻披肩。臂腕皆有寶環釧。天衣瓔珞。通身金色。翅如鳥而兩向舒。其尾向下散。四臂。二正手結大印。兩手指頭相交。左押右。虛心合掌。以印當心。餘二手垂下。舒五指。施願勢。其背經及爪皆是綵金。剛珍所成。金山上有一金架。上覆以錦囊。本尊於囊上正立。作忿怒形。露出牙齒。以傘覆之。首有圓光而戴寶冠。面上當中有法數二字。左耳中有囉佉森二字。有耳中有囉佉識三字。額有囉佉沙二字。左乳次上近肩有佉使二字。右乳次上近肩有跋字。擠有佉索二字。左膝婆縛字。右膝賀字。此十字此畫像畢。任墨書之。若不達梵文者。不必書字也。云。

文殊師利根本大教王金翅鳥王品。不空

云。又法。以白檀香列作展翅金翅鳥王形。一切瓔珞嚴具。其背及爪極令銳利。作恐怖可畏形。立於蓮花臺上。作向下視勢。或以別木。或於牆壁上。畫亦得。○其大小可一折量云。

伎藝天像

二臂

伎藝天女念誦法云。大自在天女畫像法。先畫摩醯首羅天王。三面六臂。顏貌奇特。端正可畏。從其髮際化生一天女。殊妙可喜。天上人間能勝者。著天衣服。縷絡嚴身。

珞天衣及飛衣嚴身微妙色安住圓輪海

教王經疏二云摩醯首羅天秦言大自在

八臂三眼騎白牛云云大輪第

金剛頂瑜伽護摩軌云東北方伊舍那天

舊云摩醯首羅天亦云大自在天乘貴豐

牛左手持劫波羅杯盛血右手持三戟

淺青色肉色三目忿怒二牙上出獨雙爲

璽瓊頭冠中有二仰月二天女持花

安鎮軌云東北方畫伊舍那天乘犍牛右

手持三股叉左手叉腰云云不動明王推恩敵

尊勝軌下云東北角伊舍那恒喇首羅左

右各二侍者隨執本方印契

迦樓羅及諸天密言經云譯若力惹野天

王即大自在天王也通身青色三面正面

作天王形右邊頭如夜叉形而見忿怒相

露出牙齒左邊頭作天女形美貌紅白三

面皆具天眼鬘髮寶冠首圓光而作赤色

四臂左上手持三股叉下掌金君持瓶右

上手持花供養本尊下持數珠當心嚴以

天衣璽珞儼然而立

摩醯首羅天說迦婁羅阿尼奢法云行者

應自身爲摩醯首羅天三目頭冠璽珞

莊嚴頭冠上有仰半月頂上有十八臂手

持種種器械以龍爲神線角絡繫又披塗

血象皮須臾頃觀自身也

六臂

使呪法經云若欲修調和法除障難者應

者所謂左上手把刀次手把果盤下
手把輪右上手把棒次手把跋折羅下手
把索云云
議那鉢底瑜伽秘要云次說像法象頭人
身左牙出右牙折曲少向左其鼻向外瘦
身色赤黃有六臂左上手把刀金剛智次
手把菓盤言金剛智下手把輪右上手把棒
次手把索下手把牙云云
大聖天歡喜雙身毘那夜迦法云造像法
其像形端立象頭人身左牙出右牙折面
少向左其鼻向外瘦有六臂其左上手把
刀次手把菓盤下手把輪右上手把棒次
手把索下手把牙造此像不得還價足數
付之若鑄若尅若畫並得觀云云私云右山道場
云云

青目天女像
青目天別行法云說此呪時變作一身其
形青色頭髮火赤狗牙上出有二龍在頭
上盤臥其頭上有二劫波羅足下有四劫
波羅身有四足亦有四眼亦有四手通身
共有二十一箇劫波羅左上手掌一劫波
羅左下手把索右上手把叉下手把棒
以劫波羅爲璽珞其身長五尺
又法喜身其身長三尺五寸極端正面有
三目身有二手二足亦無劫波羅唯頭有
一身著天衣惡身無衣唯虎皮作一小衣
上文云青目天於須彌山頂上向大自
在天邊立有無量諸天共誦青目天女
欲爲夫婦此是摩醯首羅第三女云云
帝釋
疏五云○當盡因陀羅釋天之主坐須彌
山天衆圍繞首戴寶冠身被種種璽珞持
伐折羅及餘諸眷屬謂舍脂夫人及六欲
天等帝釋也
廣軌中云東門帝釋天安住妙高山寶冠
被璽珞手持獨股印天衆自圍繞云云
不空羂索經二十五云天帝釋面有三眼
一手執金剛杵一手揚掌繞身光焰云云
形色經云天帝釋寶冠嚴頂上戴持三釵
杵面門白黃色左定結拳印右惠持一銅
百千種璽珞袈裟天飛衣安住妙高座云
護軌云東方帝釋乘白象坐五色雲中身
作金色右手持三股當心左手托左膀左

脚垂下。三天女各手持蓮花盤盛青蓮花。或以盤盛雜花等。云、

集經三云。如般若善薩左相

安軌云。東方○畫帝釋天王。右手持獨股杵。左手叉腰。乘六牙白象。云、

尊軌下云。護法天帝釋王。手持日羅合各領四侍者。云、

霸索經二十七云。帝釋跏趺坐。捧諸寶花。云、

迦樓羅密言經云。畫鵝羅羅。二唐云。天帝釋。通身黃色。面有三目。鬚髻寶冠。首有赤光。乘兩牙白象。作走勢。覆以袈裟。半跏據上。左手執獨股金剛杵。當左膝。右手頭指及大指捻一紅蓮花。供養本尊。具金寶環釧。云、

火天像

四臂

略出經四云。火天白色髮黃。三目四臂。左邊二手。一手執君持。一手執杖。右邊二手。一作無畏相。直前舒掌。一捻數珠。想火天身遍生火焰。云、

不空羅索經七云。流志○囉字變為火天。一面三目。身白四臂。黃髮冠髮。左二手一持君持。一執寶杖。右二手一施無畏。一拈數珠。半伽趺坐。放大火焰。云、已上白色也。忌火天。無

青龍軌下云。行者於東隅。而作火天像。住於熾焰中。三點灰為標。身色皆深赤。心置三角印。惠珠定操瓶。掌仰定持杖。青羊以

為座。妃后侍左右。云、廣攝玄三軌同之迦樓羅密言經云。畫火天。四臂。右上數珠。次手施無畏。左上執君持。次執寶杖。於火聚中坐。身火色。云、已上赤色。忌火天。無

安軌云。東南方○畫四臂火天。乘白羊。遍身火焰。右手作施無畏。第二持念珠。左手持仙杖。第二持操瓶。云、

護軌云。東南方火天。乘青羊。赤肉色。遍身火焰。右二手。一持青竹。一持軍持。左二手。一揚掌。一持念珠。有二天女持天花。左右置苦行仙。垂左脚踏足。云、十天供文同之

疏五云。東南隅布列諸火天衆。住火焰中。額及兩臂各有三灰畫。即婆羅門用三指取灰。自塗身象也。一切深赤色。當心有三角印。在焰火圖中。左手持數珠。右手持操瓶。此是普門之一身。為引攝火祠章陀梵志。方便開示佛國陀法。故示此大惠火壇。淨修梵行之標幟也。云、

佛母大孔雀明王畫像壇場軌云。不空東南方畫火天王。左手執軍持。右手施無畏。與五通苦行仙衆圍遶。云、

羅索經二十七云。火天跏趺坐。捧諸寶華。云、

尊軌下云。火天神。在於火焰中坐。手持操瓶數珠。左右各二侍者。云、

炎魔天

疏五云。作焰魔法王。手執檀拏印。相。猶

如棒形。上有人首。作極忿怒之狀。以水牛為座。身作黑玄色。○閻魔之西作閻魔后及死后。亦是閻魔后也。東邊作黑夜神及七慶里。譯云。七母。皆女鬼也。其形悉皆黑色。云、

廣軌中云。南門閻魔天。手秉檀茶印。水牛以為坐。震雷玄雲色。七母并黑夜。死后妃圍繞。云、攝青玄三軌同之

護軌云。南方閻魔天。乘水牛。右手執人頭幢。左手仰掌。有二天女侍。二鬼侍者持刀持戟。赤黑色。垂右脚。云、

安軌云。南方○畫焰魔羅天。乘水牛。右手持焰摩幢。左手叉腰。云、

五佛頂經一云。○畫焰摩王。坐於牛上。牛臥畫之。云、

尊軌下云。南面畫閻羅王。手執死王節印。閻羅后及判官鬼類等眷屬。左右畫之。云、

天王念誦法云。次地藏菩薩。現焰魔天身。左持如意寶。右執檀茶印。身色如日光。愍念罪人相。云、

羅刹天

西方羅刹主天王念誦法云。不空金剛火

天王畫像法。乘金色師子王。身著甲冑。右手持利劍。左手大指押中小二指。身赤肉色。八方天王及十羅刹鬼女。各執利劍侍立。云、

大日經疏五云。西南隅畫濕底鬼王。執刀

作怖畏形。是護方羅刹主云。

廣軌中云。次於西南隅。名大羅刹方。執刀

恐怖形。身印同揭識。是名羅刹婆云。攝軌同之。青玄

軌身印同揭識句無之。

護軌云。西南方羅刹主天。乘白師子。身著

甲冑。右手持刀令豎。左手大指押中少二

指。赤肉色。二天女侍。左右二羅刹鬼。持三

股戟云。

安軌云。西南方○畫羅刹主。乘師子。右手

持劍。左手叉腰云。

尊軌下云。西南角畫羅刹王。手把劍。各有

二侍者。手執刀而坐云。

水天

攝大軌中云。龍方縛嚕拏。西門執絹索。天

形女人狀。龍光龜爲座云。

私云。青龍軌此偈之了。龍衆自圍遶之

一句有之。自餘軌皆同之。經疏無別說

文。

護軌云。西方水天住於水中。乘龜。淺綠色

右手執刀。左手持龍索。頭冠上有五龍。四

天女持妙花云。

安軌云。西方○畫水天。乘龜。右手執蛇索。

左手叉腰。其天頭上有七龍頭狀如蛇形

云。

不空羼索經二十七云。水天。半跏趺坐。捧

諸寶花云。

集經十一云。造水天像法。以白檀木刻作

天冠。身著天衣。纓絡莊嚴。以兩手捧如意

寶珠。身高二寸半。作亦得。造此像已安木

函內。以錦囊盛繫於左臂。諸願悉隨云。

尊軌下云。西方水天神。披甲。頭上蛇頭。手

把龍索。四侍者左右。兩膝跪坐。合掌而住

云。

迦樓羅密言經云。水天。紅色。兩臂。左絹索。

右持刀。乘龜云。

風天

護軌云。西北方風天。雲中乘鸞。著甲冑。左

手托膝。右手執獨股頭劍。上有緋幡。二

天女侍之。并樂叉衆云。

迦樓羅密言經云。風天兩臂。右持幡。青色

云。

安軌云。西北方○畫風天。乘鸞。右手持旗

左手叉腰云。

絹索經二十七云。風天跏趺坐。捧諸寶花

云。

毘沙門天 在四天所

梵天 四臂

疏五云。大梵王。戴髮髻冠。坐七鵝車中。四

面四手。一手持蓮花。一手執數珠。已上是

右手。一手執軍持。一手作唵字印。已上是

左手也。印當稍屈頭指。直申餘指。側手案

之。而作語狀。是名淨行者吉祥印。所餘四

禪諸天皆列其左。無熱等五淨居天列在

其右云。

廣大軌中云。坐於七鵝車。四面髮髻冠。四

手。惠持花。次惠持數珠。定手執持。次手

下側掌屈風。餘申直。淨行吉祥印。名爲印

庵字云。攝軌同之。

不空羼索經二十七云。大梵天。半跏趺坐。

捧諸寶花云。

集經三云。私云。如般若持

形色經云。大梵天王。四面髮髻冠。面門白

肉色。每面三目。相四手。惠持花。次惠持數

珠。定上執鐸持。定下手側掌。屈風餘申直。

身散妙瓔珞。袈裟及大衣。圓光遍寶身。座

於七鵝車云。

二臂像

迦樓羅密言經云。畫沒羅合摩二唐云

梵天。三首並作天王形。衣白披漏袒右肩

合掌當心。掌中持一紅蓮花。蠶髻無冠。首

圓光綠色。於雙白鵝上交脛而坐。其鵝首

相背尾相近耳云。

地天

堅牢地天軌云。可畫堅牢地神像。男天肉

色。左手持鉢盛花。右手掌向外。女天白肉

色。右手拘當心。左亦拘當股云。

菩提場一字頂輪王經二云。畫地天。身白

色。以二手持寶花籠子。二膝跪地云。

疏五云。地神常捧持寶瓶。虔恭長跪。其瓶

尊軌下云。下方地神阿修羅王。手把寶瓶。四侍者亦如是云。

觀自在菩薩授記經云。畫地天。捧寶盤。踞跪瞻仰云。

迦樓羅密言經云。畫地天。通身金色。兩臂持花供養云。

日天
疏五云。南置日大衆。在八馬車輅中。并二妃在其左右。所謂誓耶微誓耶。譯云勝無勝也云。

私問云。誓耶微誓耶者。可畫何天形哉。答云。迦樓羅密語經云。惹野天王即大自在天王也。尼惹野天王即毗紐天王也。云然者可畫大自在那羅延二天歟。毗紐那羅延別名也。

尊軌下云。日天子并后。乘五馬車。兩手把開蓮花。坐圓輪。七曜各其本色。手執本印。在日左右閑遶云。

迦樓羅密語經云。日天作天王形。被甲於金車上。交脛而坐。以四足花驢馬駕之。馬首兩左兩右。日天左手持越斧。下撫左邊青衣童子頭。右手持三股長柄叉。下撫右邊傍青衣童子首。車廂內日天前有一小童子。而作金色御馬也。天王髮黑色。蟬鬘寶冠。身首皆有圓光。外以日輪環之。日輪赤色。文如車輪。二青衣童子并御馬。於車廂內立。出胸已上。日天首光青。身光綠色也。車但有廂及輪轂而無轅也云。

絹索經二十七云。日天踞坐。捧諸寶花云。

曼荼羅
大日經疏五云。日天眷屬布諸執曜。益伽在西。輪伽在東。勃陀在南。勿落薩鉢底在北。沒伽沒遮在東南。羅睺在西南。銀婆在西北。計都在東北。又於南緯之南置涅槃多。謂天狗也。北緯之北置嚙迦破多。謂流火也云。

仁海僧正胎藏圖云。北緯之北置三昧耶不謂流星也。五緯者五星也。故知北緯者辰星。南緯者熒惑云。

東
十曜
水曜
羅睺
金曜
日天
火曜
計都
木曜
銀婆
西

月天
迦樓羅密語經云。月天形貌類日。左手拄錢斧。右手拄柱。面二股叉。下二手又撫左右二朱衣童子頭。月天身首光外如日輪環之作黃色。有車輪文。又已初月從車廂兩傍起。向環外繞之。月作淺青色。其月之二尖處。於環上當半而相柱也。有四蒼鵝繞車而飛。但有廂及輪轂而無轅也云。

曼荼羅
疏五云。應置月天。乘白鵝車。於其左右置二十七宿十二宮神等。以爲眷屬云。

尊軌下云。月天子并后乘五鵝車。手執風幡上伏。坐白月輪中。二十八宿各執本契。隨本方色狀。若天女遶月天而坐云。

大黑天神像
二臂
南海傳一云。義淨又復西方諸大寺處。咸於食厨柱側。或在大庫門前。彫木表形。或二尺三尺爲神王狀。坐抱金囊。脚踏小林一脚垂地。每將油拭。黑色爲形。號曰莫訶哥羅。即大黑神也云。

大黑天神法
嘉祥寺神祇記
吾體作五尺。若三尺若二尺五寸。亦通免之。膚色悉作黑色。頭令冠烏帽子。悉黑色。令著袴。斷褰不垂。令著狩衣。裙短袖。細右手作拳。令收右背腰。左手令持大袋。從背令懸。肩其袋之色爲鼠毛色。其垂下程餘臂上云。裏書一八。觀自在菩薩最勝明王心經云。摩訶迦羅

觀自在菩薩最勝明王心經云。摩訶迦羅

天○大黑天也。被象皮。橫抱一槍。頭穿人頭。一頭穿羊云。

六臂

胎藏諸說不同記云○身青黑色。火髮上。豎。極忿怒形。三面三目。開口二牙。上出。有六臂。以獨樓爲冠。環珞。以蛇爲髮。耳端臂。銅。右手垂下。向內。執劍。橫在膝上。次手持人髮。其人裸合掌長跪。次手舉臂向前。持象皮。左手垂下。向前。執劍。端。次手執羊角。投持。次手舉持象皮於臍。有人頭向上。或圖當前兩手持三肘戟。開口四牙俱出。云。胎藏七集云。摩訶迦羅。青色。三面六臂。前左右手橫執劍。右次手執人形。取髮也。左次手執羊角。取二。次左右手象皮張背後。以獨樓爲環珞也。後本黑淺色。云。已上二文可考之。

僧慎爾耶像

二臂

僧慎爾耶密法云。行者受持此呪。先須畫像於綵色中。並不得和膠用。於白疊上畫其身。七寶莊嚴。著衣甲。左手把戟。銷。右手託腰。兩足令五色雲跡。其神形作甚可畏相云。

最勝王經八云。畫一鋪僧慎爾耶樂叉形像。高四五尺。手執鉞鐵云。

正了知像

毗迦陀野軌上云。次金剛密跡正了知大將。有其形力士裸形。甚可怖畏相。正了知諸瓔珞莊嚴持器械。云。文字惡。可考正本。

私云。僧慎爾耶正了知同體異名。可見最勝王經等。

阿修羅神像

四臂

廣聚陀羅尼經四云。樓閣宮殿之上。畫阿修羅神。其神四臂。右手把日。左手把月。下左手把棒。右手下把蓮花云。

難陀跋難陀龍王像

二臂

疏五云。右曰難陀。左曰跋難陀。首上皆有七龍頭。右手持刀。左手持網索。乘雲而住。說同之。云。成六。

不空羂索經三十云。右難陀龍王。左跋難陀龍王。各一手掌寶花盤。一手散花。云。中央也。

形色經云。難陀龍王。頂上九頭龍。身相白肉色。左定結。拳印。右惠持。網索。瞋怒降伏相。蓮花以爲座云。

網索經二十九云。新雨法。畫大龍王。狀如天神。顏貌熙怡。面如法結。跏趺坐。一手掌寶珠。一手把龍索印。其神頭上出九龍頭。四面四角。圖諸龍而爲僕從。頭皆向內瞻輔龍王。云。私云。中央頭上出九頭云。水天像。若難陀敷。

本云。寶治元年九月五日。於神護寺西上菴室祖師。御草本書之。沙門聖譽。

永德元年七月。日命宗海。園梨寫功了。全部五卷。七分爲七帖。理明房集記也。

權大僧都 賢實生年四十九

校了

萬治二年八月上旬。命如運。令修補者也。

呆快

卷一八

和名云。臂。徒軍反。俗云。并佐良以。

覺禪筆仁王經法

一	五方曼荼羅(東方).....	別紙	四—五
二	五方曼荼羅(南方).....	別紙	四—五
三	五方曼荼羅(西方).....	別紙	六—七
四	五方曼荼羅(北方).....	別紙	六—七
五	五方曼荼羅(中方).....	別紙	六—七
六	敷曼荼羅.....	別紙	八—九
七	天蓋圖.....	別紙	八—九
八	堂莊嚴圖.....	別紙	一〇—一一

請書 請文 請度 方寸 夫益 敬文 貴族

行法 高 禮 樂 廣 義 德 義 本 善 事

律情 請文 中 夫 樂 義 德 義 本 善 事

三年 二月 三日 三 寶 佛 像 時 禮 三 寶 佛 新 神

增所 於 侍 從 人 利 便 於 仁 王 經 法 之 日 內 侍 生 活 法

實 覺 當 年 維 多 利 亞 皇 后 生 年 共 雅 元 告 同 願 保 局

嚴 重 初 日 許 泰 勤 侍 候 同 為 聖 天 任 阿 爾 德 佛 八 流 經 義

帝 物 法 大 信 公 王 三 度 大 信 都 之 分 度 法 中 乘 海 三 度 經 義

法 今 法 被 初 於 也 八 色 情 各 一 流 被 用 以 實 運 信 佛 於 之 實

院 勅 修 同 律 律 所 以 壽 永 元 年 六 月 十 五 日 於 三 寶 佛 永 之

通 告 有 於 今 有 律 所 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

仁 王 經 法 一 天 仁 王 經 法 一 天 大 信 經 義

請書 院宣律近言定慶慶示天下不靜或勝

德善能封惠者南米其日率甘伴信勤於仁王

院法可被祈 天下泰平五穀豐稔之由依

天乳既達如付

年 月 日 某

其 律 房

請文 院宣事

院宣之狀謹所請如件

但 首 雅 入 明 師 之 室 耶 采 習 仁 王 經 法 於 老 毛

之 身 起 后 不 輒 何 以 不 自 之 概 質 勤 嚴 重 之 師

原 亦 雅 然 倫 有 是 重 不 欲 欲 嚴 矣 以 此 有 丁 令

奏 國 隆 其 謹 言

年 月 日 某

其 律 房

請文 院宣事

院宣之狀謹所請如件

但 首 雅 入 明 師 之 室 耶 采 習 仁 王 經 法 於 老 毛

之 身 起 后 不 輒 何 以 不 自 之 概 質 勤 嚴 重 之 師

原 亦 雅 然 倫 有 是 重 不 欲 欲 嚴 矣 以 此 有 丁 令

奏 國 隆 其 謹 言

年 月 日 某

其 律 房

請文 院宣事

院宣之狀謹所請如件

但 首 雅 入 明 師 之 室 耶 采 習 仁 王 經 法 於 老 毛

之 身 起 后 不 輒 何 以 不 自 之 概 質 勤 嚴 重 之 師

原 亦 雅 然 倫 有 是 重 不 欲 欲 嚴 矣 以 此 有 丁 令

奏 國 隆 其 謹 言

文度

仁王護國神咒法一七〇日支度事

合

五色糸二流 若三文五天
大壇廣度

廣 密 若香 沈 芥子

廣 金 銀 水精 瑪瑙 真珠

廣 沉 白檀 薰陸 安息 龍腦

廣 五藥 蓮花 蓮葉 蓮心 蓮子

廣 穀 稻 胡麻 大麥 小麥 苽豆

廣 供米九石 淨明油六斗三升

天蓋一 青色 八色幡各一 口紅黑煙
依法內

壇四面 大壇四面 護摩壇四面
三層四面 聖天壇四面 脇机六前 大壇前 護摩前 聖天前
三層前 聖天前

礼盤三脚 半座四枚 任机廿前

燈臺三十三本 高七本 燈臺新
經廿个 讀經新

壇敷布四匹 供蓋布四匹

臘燭布一匹 大幡二估

壇敷布四匹 供蓋布四匹

臘燭布一匹 大幡二估

阿闍梨 伴讀廿 行事一人 兼任六人

淨衣白色 布十二匹 兼任 見下淨衣新

保延六年正月廿七日行事大法師

阿闍梨大僧宇法中大師住定海

一寺奉准

不觀鈴有東寺誨堂為此即今法界奉准

三寶院表之 又先平以次或師說傳之尤可

秘藏 五方曼荼羅 今法界之依為所集品之 又有深意

仁王合誦軌 第一東方人剛半并 任東方人剛半

并序河陸手持人剛持故青色先與西現旺并往護

其國 解其剛半者依三藏經持梵本人剛持論經

固固則其二義也 依彼經者是五并依二經觀見

國利月... 有共一者云法輪現其境身所行續故...
 教人輪示威怒身由起大惡現威猛故人剛半...
 手持人剛者表起云有痛楚則能新我法...
 以依教人輪現威怒降... 八解摧伏一切魔...
 准大自在天諸魔軍眾假云云法極害衆者大
 調伏以放青色光者除遣魔軍東方持國天及時
 乳園遊龍眠舍園坑馬春屬... 俱脫并往諸其國



第三面方人剛寶者... 降南方人剛寶并摩訶...
 手持人剛者表起云有痛楚則能新我法...
 以依教人輪現威怒降... 八解摧伏一切魔...
 准大自在天諸魔軍眾假云云法極害衆者大
 調伏以放青色光者除遣魔軍東方持國天及時
 乳園遊龍眠舍園坑馬春屬... 俱脫并往諸其國





第三西方金剛并，住西方金剛并并摩訶薩手
持金剛鉤放金龜光與俱股并往護其國，解言
金剛利如彼住之文殊師利并也，依前法輪現勝妙
身自有圓滿得自在故手持金剛鉤者示其所作能辦
向他俱安障成教令輪現住威德六足尊金剛手所領
者生火牛上推伏一切諸惡毒龍興惡風雨損害有
情者令調伏故放金龜光者顯能降遣惡龍等意
故西方廣目天王元童諸龍雷電那衆而為眷屬
不俱股長降往護其國

第四北方金剛藥叉并，住北方金剛藥叉并摩訶薩
手持金剛鈴放琉璃色光與俱股藥叉往護其國，解言
梵藥叉此威德又翻為盡能盡諸惡故如彼住
推伏一切魔怨并也，依前法輪現勝妙身事有圓滿
得自在故手持金剛鈴者鈴音震聲覺悟有情表以
般若警群迷故係教令現住威德淨身金剛示現
推伏一切可畏藥叉常於晝夜伺求方便棄人精
氣富有情者令調伏故放琉璃色光者顯能降遣藥
叉等也與彼北方多聞天王及持元量藥叉元龍利
而為眷屬與俱股長降往護其國





金剛聖父并六臂各執器械

同天法與及雅利為其底

第五中方人剛波羅密多并住中方人剛波羅密多
并序前陰手持金剛輪放五色光与俱照并後護
其國 解曰言金剛波羅密多者此到序也如彼
經轉法輪并也依前法輪現勝妙身行願因滿住
等覺位也手持金剛輪者即金那初成三覺
轉法輪以表示故又以法輪化尊有情令元教大至
彼序故依教令輪現作威怒不動金剛摧伏一切魔
惑亂諸障恒著令調伏放五色光者顯其威德破
前諸障也与天帝釋及將元童諸天而為眷屬与四
俱足意隱性護國 文



金剛聖父并六臂各執器械



不動尊

右五方身金羅者大所許業也付金金金
路山田寺在德太寺法取之祇特 其後佛所
傳之漢奉渡三并時之祇特 以付金三并院
信心寫奉奉女置陰藏了但南方國金海信林接
祇化而 口五并五息慈非普通祇特受大所
青龍口傳金羅所改有甚深義
所五并五并大明天五并天等皆守讚在方
信也仍為鎮護國家大所金為此身金羅所
教身金羅

金誦凡於壇中如法敘盡人沐浴著新淨衣受
進住戒其壇三重要用膠用諸香膠如先香膠也
糯米叶用和彩色於壇中下盡十二輪輪東盡五
金剛新南盡盡金剛寶西盡盡金剛北盡盡金剛
宋此上五事即上五并并手中所執祇特之契東
南隔盡三股金剛杆西南隔盡寶冠西北隔盡璧
寶東北隔盡玉羯磨金剛杆首口面上置口首觀金



曼荼羅

曼荼羅地畫曼荼羅金剛杵首而止畫一曼荼羅金
 銀銅瓦瓶凡六等受一鉢之下滿瓶水鉢枝葉花
 下色隨各長三尺青黃赤綠如土沃茅草一鉢項茅
 三重東門畫金剛杵南門畫金剛杵西門畫金剛杵
 北門畫金剛杵東南角畫香爐西南角畫香爐
 中畫雜華西方角畫燈東北角畫香爐
 行等皆有光焰三重壇外一重東道一面畫門面
 入東道於壇內角行法陀羅木板鋪板此壇
 木板
 右文說曼荼羅也非當同故不說也

曼荼羅仁王降法有曼荼羅者 曼荼羅者法
 之時祖師曼荼羅者大德為阿闍梨中請所如
 今曼荼羅本也 門趾相束以伴曼荼羅為本專行
 此法所資相束息定伏之
 或人小野信云曼荼羅者蓋也 曼荼羅者蓋也
 息定曼荼羅者蓋也 曼荼羅者蓋也
 清信傳小野信云曼荼羅者蓋也 曼荼羅者蓋也
 王之外水火風三天被加世間定難免過此三仍此三
 夫為和陸狀
 仁王降法國品大火大水及大風等是諸難起皆應
 受持誦誦此般若波羅蜜多文

一、天竺并情事

仁王念誦法於壇上張青色蓋稱壇大小 自觀
 統壇懸幡二十口 文
 仁王念誦法於壇上張青色蓋稱壇大小 自觀
 統壇懸幡二十口 文

疏增懸情二十言文

新祥任。汝等諸王。應佐寶幢。及以幡蓋。

古譯下應佐九色幡長九丈丈

瞿瞿陰中，凍蒼內晴，東南江情，而黑情西南烟色。

情西言赤色情西北方水色情正北黃情東北未白情

如是八色隨方而量集頸上

卷之八 邑捐叶日博校刊之卷 鎮輒出八邑

市口傳言懸大壇天蓋青色消張口角懸播流

其色白如土烟未水黃也

將此茅由來實此器用

東南角
江白
南西角
洞星
北東角
水來
內茂

三寶院傳云神龍攝長六尺許

天益局



清傳三寶院僧形相播於西後被用益甚後

大信弄大信都法中系海各在為定故用

又以白色自東北角懸橫有一鏡也

壽天年中泰三寶院奉傳法開業最有功

贈傷風所傳利三寶陽金之附新舊任補官

羅果記之從性信。又云。當時真海難此定。

注疏體原

一張文

上番

一海已集

澄覽

寬泉：

勝海

實海

仁果阿闍梨

慶豪

覺鏡：蜀

理海

金海

下毒

尊基大法師

有輝

定宗

聖宗

乘中

元信

良以

元勝

乘覺

嚴仁

一紙文字大書大壇讀摩壇同大藥而張之上信
云元勝本以木釘打之

一賞莊嚴等

係延三丁六月十八日大信公建於白河和泉殿所被
勤濟仁王法息定也仍向此所前西也此所大壇
之間一同次大壇以同讀摩壇次同十三天批聖天
壇讀摩壇末之鈴五古三古村量之即天并十三天
壇同不立鈴杆 已上信云記

所傳儲大壇事可隨便耳也此所東十八其方寸
儲也

大壇

大佛供八條 小佛供八條 目中
草子十六條 第八條 後夜

所前

大阿闍梨座

所傳有教易茶不用之大壇中央仁王座 合
殿前信法自筆 數方茶莊息也

文殊師利并法 不堂障

我今又說羊石万陀羅壇中未設若設罪案佐夫
目讀誦念誦以經供養而供養之不久當成就

水作後日引

又清以八海言貴大壇內奉入佛舍利并大所勝茶
靈驗小伴寺

一行法次第 不備記

剛時時二十口伴信皆奉 大阿闍梨香珠者奉
宋始自普礼表自五悔勸請普供養

所傳信表者奉此信也

但倘全有後上番十人讀誦 此時下番十人
退出

退出

次時大阿闍梨香珠者五信 受神分時先全三度打
余時上番中堪能者迴向其詞

所供功德 迴向三寶境界 迴向天衆地類

禮佛功德 四向三寶境家 四向天衆地類

可修功德 四向國仙仙院 玉皇殿 廣長寶壽

恒受快樂 元運神顯 光同滿 四向諸官

四向諸官 諸人收樂 四向諸官 四向諸官

下座四向 大阿闍梨人三持神等 如常

次四一字人青束仕打鏡下番首 廣長寶壽

全備終可惟馬用盡也

次後供養四向方便 金一打下番上高 廣長寶壽

大衆

志念願 轉諸般苦 四向諸官 廣長寶壽

四向諸官 廣長寶壽 四向諸官 廣長寶壽

早利益

衆生元道轉願度

法門元道轉願度

元上善提提願度

大阿闍梨并上番退公大阿闍梨 廣長寶壽

程諸廣長寶壽 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

次三度禮拜 廣長寶壽 廣長寶壽

天地使更勝。衆聖或稱如意珠。思而可寶。故梵
頂戴之。廣限千聖。消難。恭敬轉讀之。圖生七福。隨心
就中。說國王。父。每奉。龍王。將。演。聖。朝。法。樂。高。長。寶。廣
依之。唐。代。宗。宣。威。慶。宣。於。講。讀。之。處。自。城。特。使。奉
出。其。泉。於。泰。敬。之。砌。方。人。佛。說。不。宜。百。年。人。寶。寶。非
先。取。有。誠。心。海。老。女。德。人。

一種子等

種子 到

三形 輪 十二輪

清江生家流轉運。滅偏星。係十二回。係生也。故用

十二輪。輪新。似心也。

本尊

今剛波雅密 清傳以今剛波雅密為本尊

即股若長薩也

念誦軌 今剛波雅密并口持輪。此到序

小野尊奉。法中。尊殊有。得此。到序。并也。

五佛頂。薩股若。并。左手。持。摩。在。法。事。中。方。長。薩

依。又。如。此。

執。說。為。求。并。以。五。佛。為。本。尊。為。調。伏。可。為。明。主

本。尊。且。薩。股。若。當。身。可。思。以。寶。生。尊。寶。寬

竟。說。法。此。為。了。見。元。降。今。時。法。事

私。出。法。股。若。并。身。金。象。智。惠。股。雅。密。共。見。用

寶。生。尊。中。股。若。寶。生。尊。可。言

今。法。雅。密。經。以。指。益。為。本。息。定。行。儀。中。思。定。也

以。身。奉。雅。密。寺。僧。受。僧。益。身。奉。雅。密。高。隆。奉。在。東

中。法。曼。印。指。上。薩。股。若。梵。寫

念。誦。法。法。股。若。以。雅。密。根。本。印。滿。手。背。相。附。收。二

頭。指。二。小。指。屈。於。掌。中。以。大。拇。指。各。押。二。頭。指。直。上。口

以。天。押。三。頭。示。凡。薩。覺。觀。經。系。妙

薩。雅。尼。集。法。三。股。若。元。盡。藏。中。同。之。股。若。抄。如。高

坐。上。五。量。薩。股。當。心。看。之。當。誦。咒。時。專。想。薩。念。三

切。法。薩。股。當。心。出。印。志。入。中。心

今。印。法。念。真。言。又。名。元。盡。藏。心。秘。習。軌

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

修習般若真言 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

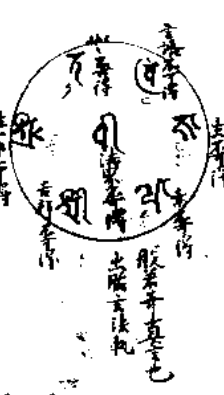
道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言

道場觀 又名五蓋般若真言



護摩

書卷數儲藏三大壇東

柳修法

奉供

大禮供二十一箇度

諸摩供二十一箇度

十二天供一七箇度

寶天供一七箇度

諸神供三箇度

奉讀

仁王般若經七百萬部

奉念

佛眼真言五百遍

大目真言五百遍

仁王般若經隨處一萬遍

不動明王真言五百遍

降三世明王真言五百遍

軍舍利明王真言五百遍

太歲明王真言五百遍

合明藥及重寶等香通

一萬人輪具二千香通

奉奉馬

太上皇玉躬奉德信長寶壽德受收樂怡自今月
二十日開車二十日停供

十七日送三合并一七箇度夜之間車二十日停供
致精誠奉一紙牌

長庚二十五月廿日阿闍梨師大德信海

一法厥作法

作大阿闍梨沙衣手袈裟衣前用信長香線伴信

永新五指若有賤賈者看法服年如長庚衣

今剛持通札之後令二打出要海次伴信如常

次後供養了阿闍梨令一打次日夜之行法信

當此時仍日未之回令誦教通來敬初次信

次事由丁匠不神系系次後令金如常

信能目後夜日中有印和持但月中二十人伴信皆奉

教能後有五大能

一布施 大阿闍梨祇物一重

信長一重

伴信各一最

兼海下勤城布施如是

思若物小於手者而後旁承之
 平持鉤右手持生輪輪動時有只得
 之度若者者者生少今則以雁容并也
 不視於今則以雁容容者并
 所以得今則以雁容容者并
 身同齊隊後今輪內收輪今形身也仍執今則以雁
 容到序
 身同齊隊後今輪內收輪今形身也仍執今則以雁
 容到序
 身同齊隊後今輪內收輪今形身也仍執今則以雁
 容到序

轉法輪并今明... 聖賢事時... 如來復來也... 賢覺妙... 般若今... 般若者... 般若并也... 龍樹人論... 聖人陰般若... 或傳以... 古降下... 之神本... 佚之... 入之... 斯翻下... 般若行...

座文

右譯下是段常放千光明令千難不

難千常失度二張大光同為三難大水同為百性為四難

女故為五難天地圖六元陽為六難言言成未同為七難

或人仁王服若可同寶最若新德也

左手持寶若手外向下 面有神

新譯注能應輪王若如意珠能令難難陀

右譯上名如意珠一名護國珠

新譯初年月八日今天家將妙三再化

右譯人金剛智又述中左佛初年月日自方坐地入大

寶室三昧 亦以此段同映

般若切能

親佛三昧後是時金剛智三昧現前名最發

大相顯般若沒相安重金剛元是元元元元元元元元

實不度待轉法當成佛因今阿毗羅自並退散

住是種時於屋室中有一時靈驗故內然而

下阿毗羅上阿毗羅耳靈平之一時靈驗令大

海水未如降計時阿毗羅可難而通走元處入

編五孔

住是種時於屋室中有一時靈驗故內然而

下阿毗羅上阿毗羅耳靈平之一時靈驗令大

海水未如降計時阿毗羅可難而通走元處入

編五孔

一核

身永年夏以十之一為日向度 介佛之

佛覺輝

東晉書卷之五

或人語之於釋

合則之并也

之時如元不待之

前方俱是合則之

居為廣如何

全不見之何

亡何謂之

件論義而傳

是宗太事也

理趣之

語又

後又

諸左藥及後奉

七美理趣

合則之

罪尊於後

安而尊執

安而尊執持花

六波羅密

法花經

成就院

現轉輪并身

即轉輪并

并於不動

傳受集

是覺後

道理證

有以

被也

小并

一、凡欲入廟者名馬腰若渡滌雲能直達一切仙

金寶大舍所輪用守輪

集後三北院取石有大佛像若能至亦法受持隨桶一遍出生

一萬八千餘步。距藏。即是屬耕田。生元量元盡。既多。距藏。

此城名爲瓦蓋城隋置

是十方三世諸佛元盡計蘇一切般若波羅蜜過未未來諸仁

并常所供炭薪數口至極可貴每值白而千五

恒河新初生孔雀罪障淨盡現大悟心

不親吟

實賢之 元嘉祿二年人創金堂屋二楹以奉之

॥ श्रीगणेशाय नमः ॥

良真
惠力
河内
雁丘

同。惠乃无所受中。者大目所愛也。

三氣萬

又禮字
三力
中真口

今輪時度軌，若不依前例作事，遂至前不對理，今則非特處不許報供，今特建覺報供存。

暗項：給疏萬金。

今實：五輪有口仁。

今輪軌：供養時花。

同軌：青末日五口於此，而前飯量等，如上供養。

一、存信子：三寶凡續一初及用。

此張文：嘉慶二年二月廿一日於國院內，實當今。

所折案：海行下，以狀時文，名七初，至今日於內，實行之，次七口日。

取：所便藏人二人，跪二人。

實：連由於時，衣使，藏人。

壇敷：淨衣供養寺院，淨沙汰，碧色腰諸國役，但次七日，長。

一、私沙汰。

今實抄：八色播甘，流。

白色播：二流，東，紅色播：二流，東南，黑色播：二流，南，烟色播：二流，西南。

八色攝甘露

白色攝甘露 紅色攝甘露 黑色攝甘露 烟色攝甘露

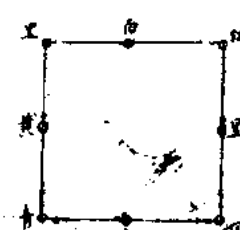
赤色攝甘露 水色攝甘露 黃色攝甘露 肉色攝甘露

江淨紅和星



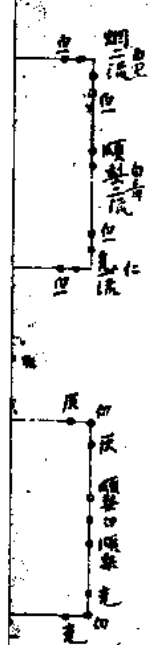
今寶妙以所見之字見其文不列通 聖德信文而引之 運通房并寶賢不遠方

寶賢妙天五公去石蓮 花每美回在牛三古



眼若初於攝色新修中難曉不之付舊記用之 是為所抗新傳切用九色攝甘露也 深經說也

九色攝用有二傳 此面以眼初本源觀圖要焉之 以勢道場觀九色攝十六之引之



凡以此面之也迎來不用之 同處十五方五色懸信 攝真寶所說改



此面有教身全證也但五天身全證上顯身全證用改 或人此耳不之引輪處今輪合之 防只

五頂輪王位之盡廣莫積并沒些青色之於蓮花 亦靜住眼若彼心而住者手持梵夾在手持摩多 梵勢是一切佛身之母大聖觀前波心之住摩多 則此尊是八剛族之精似重七形未合高顯於今悅意相 眼若手信實修證以

牟利勇奎雅注：第九阿摩羅識注東勝性智即應歸
善賢不動第八阿賴耶識大因鏡智阿闍世降三世著
法那平等性智實生虛空藏軍奎利第六意識妙
觀空智阿闍世觀世音大威德此五識辨成所作智之
又不空成就金剛量今則變又取意

五件 自性輪 五并 云法輪 五大明王 義今輪 執五
件注

終藏記自性輪并見 名行

律清請書

雅請 凡信請定下書

雅大信都

自來 其 目於 其 殿板彩仁玉像中此件信

月 月 月

請文

自來 其 目仁玉像法像打之泰動之由後所請

加傳

月 月 月

覺禪鈔 兩部大日

金剛界大日

名號

(裏書二)

義決云。毘盧遮那。此翻最高廣明如來。毘
者最高顯。盧遮那者廣明。有翻遍照王如
來。又翻大日如來。亦名佛菩薩最上廣
明諸佛菩薩母。亦名諸佛菩薩最上廣
博清淨藏也。又大日常住滿虛空法界
量諸佛身相無中邊。毘盧遮那。大經說為
無盡莊嚴藏三昧也。文

名無始無終

教王疏云。無始無終者。毘盧遮那。於三際
中無生滅故。大日經。三業云。於一切
處起滅邊際不可得。又經末金剛薩埵云
無始無終也。又毘盧舍那法然道理。過去
久遠邈無萌始。現在利那無邊際。未來永
劫展轉不窮。故云無始無終。舉初後兼中
間。可知寂照俱時。非佛所成。非佛所增。天
魔外道不能滅。於一之際無大小。生住異
滅故無始終。一行云。無量佛得道成就。法
界不增。無量衆生滅度。法界不減。若衆生
勝進破煩惱。無所損。然大日一切諸法本
所初。一切世間所依。常恒說法寂然。大日
經三文云。

廣博身如來

祕藏記云。廣博身如來。中大法界智用。周
遍法界身。既聽授妙法。可使其咽喉開寬

身體廣大故。廣博身如來。文

飲水儀軌云。廣博身如來大日云。
理趣釋云。無量無邊究竟如來者。是毘盧
遮那異名也。文

形像

略出經三云。想毘盧遮那尊首坐於壇中
央結跏趺坐。有大威德。色如白鵝。形如淨
月。一切相好皆悉圓滿。頭具寶冠垂髮。以
紺綵輕妙天衣繞腰披綬而爲上服。一切
明呪以爲其體。能作無量神變。文

略出六本云。爾時佛言。次應諦想己身。相
好端嚴如摩訶菩提薩埵身。妙服紺綵綺
麗交絡以一切如來冠而灌其頂。爲欲超
過諸天色相堅牢故。應誦此陀羅尼。文

三摩地軌云。毘盧遮那如來。身色如月。首
戴五如來冠。垂妙紗縠天衣。瓔珞嚴身。光
明普照。無量無數大菩薩衆前後圍繞以
爲眷屬。文

理趣釋云。毘盧遮那佛背月輪。頭冠瓔珞
身著軟綵衣。結智拳印。坐師子座。身如月
殿。文

中尊也

尊勝軌云。大毘盧遮那如來。頭戴五智寶
冠。坐七師子座上。結趺結法界印。

上文云。法界印相。以定手各作金剛拳。智
手執定風幢。文

大樂金剛薩埵軌云。毘盧遮那。白色二拳
舒左大指。以右拳握初分當心前。文

又像左拳印。
裔然法橋在唐記云。入毘盧舍那院禮大

日尊。件尊智拳印。以左拳安上。退出之。次
日參詣三藏房。奉問遠說文之由答云。左
有惠名。仍所作也。文
唐本大日三尊奉圖。左拳金剛薩埵并同
弟爲脇士也。有別

種子書

(裏書三)

略出經一云。以鐵亡九字於虛空中想爲
毘盧舍那佛。文

口傳云。羯磨會大日以十字爲種子。智
種子也。

大原云。金界果位之上大日。以十字大
智水灑一切衆生阿字理性地。令生長
佛種芽莖等。故十字爲種子。依果位云大
悲水。言語不可得。義故爲法界體性智
種子字。文

私云。成身會以十字爲種子。鐵字本體
顯字。爲金剛部種子。自性離言說。一切
戲論不壞金剛亦如是。萬總不壞故爲
金剛界。金剛智惠稱。即智法身也。文

勢

爲三昧會種子。今會平等本誓。是一大
事之因緣。盡以方便爲宗。故以方便字
爲種子。以是會知深意也。文

金界軌三摩
會言了字也

私云。理趣經第三段。毘盧遮那理趣會
智拳印大日也。以十字爲種子。云云
已上成身會十字。三摩耶勢字。顯理智
不二之義。有深意歟。

三形塔

略出經一云。次說畫印法。於鑊輪壇中畫蓮花臺。座上置率都波。此名金剛界自在印。俱有圓光云。

教王經云。於月輪中觀金剛杵云。眞實經云。滿月中見五貼金剛。○五方佛入我身云。

印言 智拳印 金剛界軌云。應結金剛拳等引而兩分。右羽金剛拳以握力之端眞言曰

唵縛日羅駄引觀鏡引 出梵本金界軌

略出經三云。結金剛縛契已。以定心分掌爲二。次後結諸印。並准此。以止羽金剛指。以觀羽手應執之。此名菩提最上契。能授與佛菩提。○故能入佛智文呪有上或人左拳云

事也

教王經三云。次則說結縛持作金剛指。右手安於左。○由結智拳故。能遍入佛智文。守護經二云。以右手作金剛拳當心。握於左手頭指。本師毘盧遮那印。陀羅尼曰

唵吽惹護平姿

一字時處軌云。智拳印。所謂中小名握指。頭指挂大背。金剛拳乃成。右握左頭指一節。面當心。是名智拳印。當誦此密言

毒

勃嚕唵三合以此圖無字同故以三字聲成一字。念呼之

或師大日眞言云。

三密纔相應。自身同本尊。能遍入佛智。成佛猶不難。○現證大菩提。若修此瑜伽。設現造無量極重諸罪障。如超惡趣。尅疾證菩提。○十方利土中。唯有一佛乘。如來之頂法。等持諸佛體。是故名智拳文

尊勝軌下云善無用大日法界印。加持五處具五分法身。具萬德身。○以權智各作金剛拳。以智手執權風幢。加持五處當心。已身想爲毘盧遮那身文

眞實經云。結堅牢金剛拳印。先以左右大母指入左右掌內。左右四指堅握。母指作拳。○次豎左頭指。其左拳背當安心上。其掌而轉向左邊。以右拳小指握著左拳頭

指一節。以右拳頭指頭挂著右拳母指一節。安心前。○緣此印。加持行者。授無上菩提最勝決定記。毘盧遮那大妙智印。行者結此印。十方世界無三惡八難苦果。悉受用第一義樂

眞言曰

唵一吽二惹大聲 窮四 佐五 文

大原云。右拳能照智。左拳所照境。顯境智不二義。故二拳相累也。即示境智冥合。他受用身現十地前身印也云。

又云。理上智冥時。成等正覺而所示印。故名智拳印。羯磨身印理不變三世常住。不冥時遂不成佛。若智冥即成等正覺。故成佛時智是最也

又云。左右拳面向自身

一說 又右拳向身。左拳向左

一說 又右拳向身。左拳向身。但右拳以火水二指把大指甲。以頭指甲首挂大指初節上云。

見一字軌。依之結云。

智拳印異名 智拳印金界軌教王經 大智拳印理趣經一字軌 菩提引導第一智拳印堅固金剛拳印 能滅無明黑暗印。毘盧遮那如來大妙智印已上眞實經

引導無上菩提最第一印。毘盧遮那如來無盡福聚大妙智印。能滅無明黑暗大光明印已上心地觀經

覺勝印一字軌 金剛拳印法界印 勝軌已上覺 大智印。大金剛印。毘盧遮那如來無盡福聚大妙智印。毘盧遮那如來大智拳印降密法要

諸佛智拳印利軌

能與無上菩提最尊勝印出法寶三藏經大樂不空三昧經 三摩耶會印言

金界軌云。合金剛掌便成金剛縛。忍顯如劍形。進力付背。眞言

縛日羅二合 枳惹二合 南阿引 略出三云。作金剛縛契已。中忍顯屈初分相挂爲刀曲。進力付刀傍。此毘盧遮那金剛界自在契。眞言

唵跋折羅哆尾已合 攝二合 頤哩跋爾哩

二合

二偈呼引

教王云。中指於交合。頭指附中指。名為第五佛。○我今說法印

喇日羅惹南

供養會印言

金界軌云。人供養契供養諸如來。應結金剛縛。印相從心起。初結遍照尊。羯磨之印儀

唵薩囉怛他。引藥多囉日羅。二昧。引怛囉

合二努多羅布惹。引婆發。合二羅拏婆摩曳。呼

三摩耶印。羯磨言用事。別尊軌

金剛頂修習毘盧遮那三摩地法云。定惠

二羽金剛縛。忍願如刀。進力付

唵摩折羅駄觀。二輪

胎五字言金大日。用事

念誦結護云。金智。復觀錢字成。摩都婆。及

成本尊毘盧遮那。身金色如圓浮檀。○誦

密言。阿尾羅呼欠

行人觀自身。心中有毘盧遮那如來。想一

阿字。由如滿月。放白色光。如來於中坐。白

蓮花。身作赤金色。便結大日尊三昧耶契。

二肘作金剛拳已。堅進度以觀。羽執之。真

言曰

唵縛日羅駄都錢。便宜

圓城八卷之金界次第云

正念誦

阿尾羅呼欠。或本尊真

我。可。有。何。因。也。有。漏。種。子。也。我。之。亦

有。加。行。之。點。故。法。性。種。子。無。漏。也。圓。壇。義

金界。大日五字真言云。祕

摩訶毘盧遮那。要略念誦經云

阿錢覽。初以含伏。帶依

破地獄軌意云

東。阿闍金剛地觀

西。彌陀金剛水作蓮花觀

南。寶生金剛火作日觀

北。不空成就金剛風作月觀

上方。大日金剛空作空觀

右五部真言。是一切如來無生甘露之珍

漿。醍醐佛性之妙樂。一字入於五藏。萬病

不生。況修日觀。月觀云。

又云。金剛頂五部真言。受持讀誦。觀照。○

永無災障。及諸痛苦。攝養長壽。五智髻珠

五佛肝心。十方三世諸佛。能寂智母。一切

衆生養育父母。十法界庫藏也云。

軌云。此五字誦一遍。當如轉一切經一百

萬遍。○大千界內。爲一切衆生。說八萬四

千法藏。正教文。見兩部通

大樂薩埵軌。大日真言云。

修習軌。一切如來寶冠言云。

大師。三昧耶戒三歸真言云。

不空菩提心戒同之

時處軌。毘盧遮那三字真言云。

四面二臂大日

略出經一云。又想四面毘盧遮那佛。○以

諸如來真寶所持之身。及以如上所說一

切如來師子之座而坐云。

金剛頂經義決云。四面毘盧遮那者。釋云。

所謂錢字輪中法身如來。四面圓滿向四

方作三昧相也云。

八卷次第云。毘盧大日有四面。故略出經

并三摩地法等。且說金剛面而多作法云。

或云。金剛現薩埵身。非東方金剛薩埵云。

祕決抄云。問。大日何有四面耶。答。世間大

梵王尚有四面。隨所應說。四吠陀論。羅金

曼荼羅義乎云。

六波羅蜜經云。大梵身四臂四面。蓮花

生。演說四圍陀。增長於邪見云。

長宴云。四面毘盧遮那。唯顯隨向不背德

也。兩界俱用何妨。故或胎藏數曼荼羅四

箇大日。各向四方。蓋四寶冠。在一所二臂

也。又作三昧耶相者。可相應相分。在安祥

寺云。

又云。大日是諸佛本也。○又四方佛各現

大日身。今此大日。北方釋迦不空成就所

現大日也。阿闍佛國所現大日。阿闍所現

也。諸方例爾也云。

私云。法勝寺九重塔坐四面大日云。

又蓮花王院塔。大日四體四方被奉居

金界二體也

或云。高野山龍光院經藏。五面二臂大日

有是云。

寶冠五佛

攝真實經中云。毘盧遮那佛頂有五寶天

冠。々々之中。有五化佛結跏趺坐云。

金剛智口決云。以五分法身為寶冠云。

雜抄云心兼意記云東寺講堂金界大日於寶冠有四佛今一佛不見恐寶冠後方在之歟其中尊作法界定印兩界大日寶冠俱安五佛然金大日載定印大日胎大日可載智拳印大日歟

師云興建久年中高雄聖人東寺講堂

御佛修理之間大日寶冠五佛奉拜見

中尊胎界大日云

槍尾僧都台次第云大寶冠大僧正云五

胎五阿云

法皇次第云寶冠印

寶冠印

大日師子座

略出經一云如來部輪中想三種子字中

央心字左右想阿字以其三字成就天

之微妙四面方等師子之座云

又云毘盧遮那師子座而坐文初四面大

義決云師子歌中王遊行無畏故盧遮那

佛亦復如是諸法王變化無礙故據師子

座文

大日疏一云菩提身為師子座云

又云如師子於獸中獨步無畏佛又如如是

於九十六種外道中一切降伏無畏名人

中師子云

玉篇云師子日行五百里

尊勝軌云毘盧遮那乘七師子云

又金輪乘七師子云

口傳云表七覺支云

大日疏十四云悉如師子王在深窟中安住不動

有時出穴頻中奮動故也佛如是安住甚深密藏中若非如來加持神力則微妙寂絕不可得示現今示現無盡身口意種種形聲遍滿法界即佛頂佛會也

私云大日當退時乘物歟

忍海記云玄靜云八師子座印八葉開敷印也

金界五佛獸并種子事便宣（真書四）

大日坐師子阿闍坐象打

寶生坐馬無量壽孔雀

不空迦樓羅略出經意

大師御筆本云得大寺法印持本

大日坐師子打象白象

大原云金界五獸座可得意也以師子

為中台座暫可爾也世間法師子次象

是最也故東方次馬世法重也故南也

孔雀金翅可得意見云

菩提心義意云錢字輪變為師子座者諸

獸中王遊行無畏故盧遮那諸法中王

變化無礙故據師子座呼字變為象座其

象力用諸獸力無能過者金剛部王以堅

力無量礙故恒羅字所變為馬座世間尊

貴吉祥莫先馬有惠用世為寶灌頂法王

為之座灌頂具吉祥故續哩字變孔雀座

世間為瑞鳥具種種色有明惠轉法輪王

以之為座轉大法輪阿字輪所變迦樓羅

座者此鳥威力四大海中此鳥所向方諸

龍降伏無不歸者不空業王為座以智用

隨方羯磨攝引人天佛菩薩隨攝無有違

者應深知之五部中菩薩座可准知之五獸即法界自性實相智用表示也云

胎藏大日名號

疏一云梵音毘盧遮那者日別名除暗遍

明義然世間日有方分若照其外不及內

明在一邊不至一邊唯在晝光不燭夜如

來智惠日光○遍一切處無有內外方所

晝夜別復日行圓浮提一切卉木叢林隨

其性分得增長世間衆務因之成如來日

光遍照法界能平等開發無量衆生種

菩提根出世間殊勝事業得成辨如重陰

昏蔽日輪陰沒非壞滅猛風吹雲日光顯

照亦非始生佛心日亦如是雖為無明○

戲論重雲覆障無滅究竟諸法實相三昧

○世間日不可喻取其少分相似故加以

大名曰摩訶毘盧遮那也文

疏十六云毘盧遮那者日也如世間日能

除一切暗冥生長一切萬物成一切衆生

事業今法身如來亦如是文

仁王般若釋云吠路者娜野遍照義亦云

大日義世間日照一邊不照一邊照豈不

照夜照一世界不照餘世界大日色身法

身○若人歸命禮拜○法界諸佛菩薩賢

聖八部悉加持護念也文

法自在牟尼

疏十八云法自在牟尼謂於一切破諸無智暗如日輪普現云

又云一切法自在牟尼此即毘盧遮那之別名也此真言惠方便之光能破一切無智暗猶如大日出時衆冥自滅普謂一切衆生頓除一切無明之暗云

形像

大日經三云造大日世尊坐白蓮花首戴髻鉢吒爲裙上被絹縠身相金色周身焰鬘云

疏四云以阿字門轉作大日如來身如閻浮檀紫摩金色如菩薩像首戴髻髮猶如冠形通身放種種色光被絹縠衣此是首陀會天成最正覺之標幟也彼界諸聖天衣服輕妙乃至無有鉢兩本質嚴淨不復假以外飾故世尊俯同其像也若作深祕釋者如來妙嚴之相法爾無減非造作所成故不以外寶爲飾乃至十住諸菩薩猶因承佛神力得見加持身其於常寂之體如在羅縠文

疏十三云其像本形坐於白蓮花座上以髮爲冠不加綵飾用極細絹爲下裙更用極細羅縠輕紗用爲上服令肉色相映內現也身作閻浮金色色之深金極光瑩者是也其佛緣身皆生光焰相合爲髮連環不斷而遍身也文

義釋云大日如來身如閻浮檀金摩如菩薩像首戴髮髻猶如冠形通身放種種色光被絹縠衣此是首陀會天成最正覺之

標幟也文

青軌云遍照猶日光正受住三昧云

十卷抄云黃金住法界定印首戴五佛冠

○坐寶蓮花云

後本身肉色著赤衣

或唐本作無所不至印當心云

種子

疏二十云次即入中惡長聲字是方便也是毘盧遮那本地之身花臺之體唯佛與佛乃能知之云

其

經三云在於內心造大日世尊○或以字句謂阿字門云

經七云轉阿字成大日牟尼云

疏四云觀作寶蓮花臺寶王宮殿於中敷座之上置白蓮花臺以阿字門轉作大日如來身云

疏十六云總作字曼荼羅即於此置佛之處但畫作阿字即是如來之體也青龍廣大軌同之

供養疏下云次應兩足衆生爲兩足故即轉阿字成兩足尊當轉阿字成大日牟尼也云

大原云胎藏界證理故以阿字本不生之理爲種子字即因位之中一切衆生所具理性之法門也即阿字理之一切萬行功德皆有其種子猶如彼本地耳

疏十七云欠大勁種子也佛坐道場伏諸

魔故一切天人號爲大勤勇也即毘盧遮那法是空義上點是大空以大空淨一切空也云

供養法疏下云問此阿字是種子前第三

品中是大勤勇種子即疏云是大日種子其義云何答阿字是生甚提果欠字是現

果涅槃是故二俱種子亦是無妨也云

五字真言修習軌同之又破地獄軌非軍荼利軌可見

昨字義云麼字者大日種子經云麼字化身義云唯有大日如來於無我中得大我也云

大日經供養儀式云不動真言曰南麼三曼多囉折羅救饒劍印大日疏十云慈救饒也○饒字麼是我義人阿字門即無我也文

私云又字者一音有之呼一音時加空點故ハムト成也心覺說

三形

不同記二云或率都波云

十卷抄云可阿例塔也

古本如此

大日經三云在於內心造大日世尊○或以如來頂印云

印眞言

聖觀音軌云次結大日如來劍印以二手當心合掌屈二頭指中節橫相抵以二大

母指竝押二頭指上節如劍形眞言曰

歸命惡明呢囉吽欠

安然胎對受記六云諸觀音儀軌用無



花嚴探玄記三云。毘盧遮那。占來譯

或云三業海。或云淨滿。或云廣博嚴淨。今更勘梵本具言毘盧遮那者。此翻名光明照。毘者此云遍。是謂光明遍照也云。

或云。智拳印。左豎中指。以右拳握之云。文可尋。

或云。大日種子也。沒。即六大之中識大也云。

大原云。金界五部獸座種子。每方三字也。但中心一字正獸種子也。左右字表本部意。非座種子云。

阿三昧耶大日種子。座中心。

金界五相觀用法。界定印事。略出經二云。結跏趺坐。置右手於左手。舌拄於上齦。住意於鼻端等。守護經二云。阿彌陀左手仰掌。當於臍上。右手仰掌。重左手。以大拇指合頭相柱。名爲第一最勝三昧之印。

覺禪鈔 佛眼

佛眼法。或云。降伏修之云。

具書

金剛吉祥大成就品經一卷。出。祇經一品。

佛眼佛母曼荼羅要集一卷。珍和尙與高大夫共集。

梵字八大菩薩真言一本。仁。

幡般義結使波法一卷。唐云。步。金剛。

梵字七曜名號一本。錄外。

梵字二十八宿名號一本。錄外。

梵字三九祕法名號一本。佛眼法所用也。

已上祕錄。

佛眼儀軌一卷。一行。錄外。

佛眼七成就品一卷。唐書。

四種護摩事

佛眼軌云。欲作寂災事業。作本尊身。住圓

曼荼羅。作增益住方曼荼羅。作調伏即住

三角曼荼羅。若作攝召事業。住半月曼荼

羅。若欲出生種。莊嚴住雜色曼荼羅。云。

大日疏云。佛母。金色四方以金剛

爲界云。

依瑜祇經者敬愛法歟

相應宿事

經云。說作成就法。於心宿直日。柳宿直日。昂宿直日。牛宿直日。不簡日月吉凶。但於此宿直日。於一日之中。不食誦滿一千八

十返。所有心願。應時便遂。獲大悉地云。

盡珍財可受法事

七成就品云。如是文句。唯得是者。永住四

無量。只盡珍財。供養阿闍梨。若貧窮。類爲

奴僕。先從師十二年。然後可受是文句。不

如是者。不得真言靈驗。又云。供如佛供養。

不可惜七珍。如是人。如來真實子。

四種人不可授事

七成就品云。我今說是祕密門。唯莫傳四

種人。云。四種者。一者貪愛珍寶。二者爲師

懈怠。三者無慈悲。四者兩舌。飯色。文

本身事

大師口決云。佛眼尊有二。一者大日變

或抄云。大日經普通真言藏品見

二金剛薩埵變。瑜祇經云。時金剛薩埵對

一切如來。前忽然現。作一切佛母身云。

七成就品云。爾時普賢菩薩。在毘盧遮那

佛大集會中。合掌恭敬。不起座。不動身。經

般若僧正云佛眼如來云：

五眼互融事

五眼者佛眼、慧眼、法眼、天眼、肉眼也。

注云：五眼互融，第五肉眼具佛眼能也。自餘眼亦如此云。

或經云：學大乘者雖有肉眼，名為佛眼。

又云：六自在王法清淨故云。

智論云：導肉眼能遠見名天眼云。

天台云：佛眼中理之理，眼見世間一切事，眼見衆生生死此後，肉眼見世間一切事。

息災

略出經意云：亮惠引之。

慈悲眼其眼不胸。

諸部要目云：除毒慧災敬云。

增益鈎召

熾盛眼明目者踊動眼暖足。

諸部要目云：敬愛法寶部又羯磨部第一層云。

敬愛

金剛眼以愛重心歡悅之眼也。

諸部要目云：敬愛法蓮花部第二層。

瞋怒舉目誅目。諸部要目云：降伏心以殺害煩惱瞋怒眼舉目誅目。

諸部要目云：降伏心以殺害煩惱金剛部第三層。

聖賢口云：五眼者佛眼、金剛眼、寶眼、蓮華眼、羯磨眼，是五部眼也。

亮惠云：佛眼尊自惠眼出生八大明王，自法眼出生八大菩薩，自天眼出生七曜，又伏實類若計之不祥，行者與吉祥，自佛眼金輪出生肉眼自本有之，肉眼上遠見名天眼云。

天眼云：

（裏書八）

形像

（裏書九）

瑜祇經云：作一切佛母身，住大白蓮，身作白月輝，兩目微笑，二手住臍，如入奢摩他。

大日經云：次於其北維導師諸佛母日光曜真金色，縹素以為衣，遍照猶日光，正受住三昧云。

疏五云：於大勤勇北至於北維置虛空眼，即是毘盧遮那佛母也。○真金是如，實相之體，畢竟淨句，是彼教門之外飾，故曰縹素以為衣，一切戲論滅時，心日光明，無不所照，故曰遍照，猶如日光，恬怕一心人，乃能見此，故其標幟猶如天女住於正受之像也云。

不空羂索經九云：虛空眼佛母菩薩，以右手背押左手掌，仰置臍印，結跏趺坐云。

七成就品云：捨血肉身得如來金色身。

愚案云：身色依大日經并疏者，金色也。瑜祇經作身日月輝云，此云金色歟。

同經異本，本身作白月輝云。

小野僧正白肉身云：東寺圖同之。

覺意抄云：身色水精色，首戴五佛寶冠云。

七集云：肉色，大谷云：御身白色，著五佛寶冠。

或云：佛眼與胎藏大日全同也，但師子冠為異云。

信與云：台大日也，在師子冠云。

又像

菩提場一字頂輪王經二云：應畫佛眼明妃形如女天，坐寶蓮花，種々莊嚴，身如金色，目視衆會，著輕縵衣，角絡而披，右手持如意寶，左手施願，圓光周遍，熾盛光明，身儀寂靜云。

疏十六云：作佛母形者，當如天女云。

又像

除災教令輪法云：當前佛眼尊，身相紅蓮色，左持五眼契，右作如來拳云。

師云：五眼契者，五智杵云。

如來拳者，金剛杵也。

曼荼羅

經云：說畫像曼荼羅法。○於中應畫三層八葉蓮花，中畫我身，當於我前一蓮花葉上畫一切佛頂輪王，手持八輻金剛寶輪，於此次右旋布七曜使者，次第二花院當頂輪王前畫金剛薩埵，次右旋畫八大菩薩，各執本標幟，次第三花院右旋各畫八大金剛明王，又於花院外四方畫八大供養及四攝等使者，皆戴師子冠。

法將阿闍梨云：八大菩薩如理應經八大金剛如理應一七曜形。

佛頂輪王經說：又八大供養及四攝等標幟，如金剛界別授。

（裏書一〇）

圖像 三

圖像 二

又像

除災教令輪法云：當前佛眼尊，身相紅蓮色，左持五眼契，右作如來拳云。

師云：五眼契者，五智杵云。

如來拳者，金剛杵也。

（裏書一〇）



瑜祇經云白蓮
蓮七葉
赤蓮云





曼荼羅

(曼書一一)

勝眼毒女云。於大圓明月輪中三層八葉大白蓮臺

私云。流布本赤蓮也。尤白色可作也聖賢云

第一層金輪七曜自佛眼出生。天眼見彼障細遠色

第二層八大菩薩自法眼出生。緣衆生第三層八大明王自惠眼出生。斷或障緣眞如

大原云。三層八葉花是花藏世界也。須彌爲菰云。

又云。八葉角三古義釋云。三十六智印云諸尊略頌聖賢

歸命三紺八葉蓮臺上。諸聖衆願垂加被如理解。滅罪生善成菩提。佛眼佛母尊頂輪王。日月火水木金土金觀虛空拳文。博庫摧魔降成大笑輪馬能不動步。內嬉鬘歌舞。外香花燈塗。攝鈎索鎖鈴云。

七曜置內事

或問云。八大菩薩等內置七曜事如何。法務答云。佛眼法懷災本法也。星宿人與禍福。仍其料殊置內院敷。外部天等。今法宗方取故也。法花曼荼羅。四大聲聞。內院置心也

(曼書一一)

或云。莊嚴了表三部。中台大日佛部也。胎藏理法身也。住定印。八大菩薩蓮花部。八大明王金剛部也。三重八葉卽台藏八葉也。外院八供四攝表金剛界四智也

可行大法事

醍醐定賢法務支度。壇四面內十二天壇。聖賢覺法眼美福門院御祈久壽年中修之。伴僧八人云。

聖賢云。大法修之云。

天變可修事

師云。天變怪異。曜宿凶惡之時。尤可行。凡閻浮衆生。以天災爲極難。佛眼殊哀衆生。故表天眼之利物云。

經云。所作事業悉成就。急難之中如日昇空。一切宿業重障。七曜二十八宿。不能破壞。得大安樂云。

隱人顯事

師主權僧正。文治三年三月比。依宣旨義顯尋出料。何法可修。被召尋。佛眼法可被修。山答被申畢。其後於本寺被行之

有法驗義顯九郎判官改名也。二七日被殺。三七日被行也。請書

被院宣云。近日頻示天變。每聞此告。怖畏不少。仍始從明日一七箇日夜之間。引率六口伴侶。殊致精誠。可被修佛眼法。縱雖季末之災異。何若練行之祈禱。依御氣色上啓如件

年 月 日 左少辨 某

某御房

謹請

佛眼修法事

右從明日修佛眼法。可奉祈天變怪異。消除解脫之由。但某惠日不照身。行業不積功。不肖之者。尤其憚候歟。雖然依院宣難背。不願殊驗之有無。懇所請如件

月 日 某

注進

佛眼御修法支度事

女院御祈同之

合

蘇蜜 名香 白檀

五寶 金。銀。琉璃。眞珠。水精

五香 白檀。薰陸。白膠。沈。丁香

五藥 白朮。人參。甘草。遠志。苟杞

五穀 稻穀。大麥。小麥。菜豆。胡麻

壇一面 桶在壇 臨机二前

燈臺四本 禮盤一脚 疊在半

壇敷布一端 大幕一帖 已上

壇供井御用 自餘雜具等 如常

見丁

淨衣 白色

阿闍梨 作僧 承仕 駢仕

右注進如件

保延二年二月八日

阿闍梨權少僧都寬信

壇莊嚴

大師口決云。從東北維起。請置金剛杵及數茅安瓶。歷糸線。泥除掃淨等也。末以本押末敷也。

佛供十六坏 大八。小八

汁八坏

菓子十六坏

佛眼修法事

謹請

佛眼修法事

佛眼修法事

已上開白又每日、中如此

後夜粥八坏

初夜無供物

壇木二十一支

長八寸、無毒甘味木用之
櫟木、柏、樟、栗等木也、松木

乳木二束

一百八十一、二十一也、長十二指六寸也。
其端圓、桑木、柏木、櫟木、五加子通用

藥種、甘草、遠志、荷杞

加持物、胡麻

蘇油、一器、蘇、蜜胡麻油
和合用之

房花、用也

辨供、加持不動、始行初夜
付金剛界可修、道供時十八

佛眼軌云、若三時若四時云、

念誦法云、夫欲修習佛母真言法要者、五

輪投地、虔誠普禮一切如來、復對本尊恒

沙聖禮以淨三業、悔除罪障、勸請諸佛轉

妙法輪、隨喜三業所修福智、以斯妙善迴

向菩提法界衆生、圓階佛果云、

表白

佛眼如來者、一切之諸佛能生悲母、三世

之薩埵成正覺父也、兩部之諸尊莊嚴祕

藏、十方之諸佛本地心王也、因茲五部聖

衆、乞法樂於此尊、八葉諸尊、借化道於此

法、八大金剛拳智印而禮尊顏、七曜星宿

住本方而隨教令、凡舉動支節皆成印契、

金剛薩埵摩頂所出言音悉成真言、諸佛

菩薩衛護、設身破三摩戒、口誦散亂數遍、

此呪誦七遍、部母加持力故、敢不虛棄、令

得悉地、經云、若有人常持此明王者、身如

金剛山、如金剛杵、如金剛峯、如金剛界、所

作事業、皆同諸佛、一切見者、咸成父母之想、

願報如輪王、具足七寶、

勸請句、開白初夜

(要書一四)

佛眼佛母大覺尊、八大菩薩諸薩埵

金剛吉祥佛眼尊

發願句、本尊界合佛眼尊

殊勝金剛、此密號義、

又云

本尊界會、佛眼佛母、一字金輪

七曜使者、八大菩薩、八大明王

兩部界會

口傳、大師御傳

種子、

五眼契、口云五股杵

印、

虛空合掌、二大入月、二頭指、二小指立

開如五貼杵形

真言如經

已上靈驗傳、大師御流也

仁濟云

三形五古、口云、各

五古杵印者、五眼印云、

亮惠云

五古崎皆具、眼故五眼契云、

又崎觀五寶珠、其中觀

除災、云、五古即佛眼持物也、

又傳

種子、傳集一金寶抄、并二四字皆同

三形佛眼頂、此頂眼有師、說多之

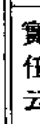
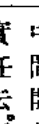
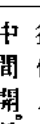
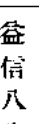
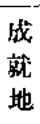
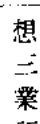
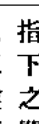
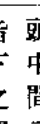
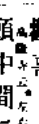
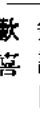
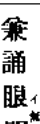
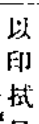
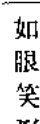
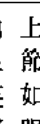
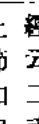
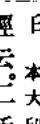
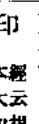
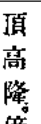
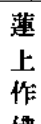
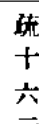
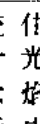
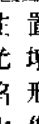
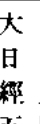
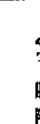
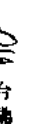
金寶云、師主秘說



後入唐傳、圓光中五眼



長慶台云、五眼、在圓光內



又樣

二小分立云、

(裏書一五)

或云結五眼印加持五處。自身開五眼、

眞言經云名根

(裏書一六)

眞言本明王

眞言經云名根

眞言經云名根

他薩引駄爾曳娑婆賀祇出經

又印師云表三眼

(裏書一七)

時處軌云佛眼印言當心誦七遍印或五

處額左右肩心喉頂上散其印金剛合掌

已就屈二頭指甲合就豎大各押頭指側

誦佛眼密言但無歸命句

莫莫三滿路沒駄引南唵沒駄引路者倆

娑縛二詞出金輪

又傳顯采金寶抄云祇傳云

種子

三形 寶珠



覺意云法三

口云寶眼也光榮佛頂寶持之或佛

印言根本印

次時處軌印言

次虛心合掌二小二頭開立二大入掌

百八名讚末一句也口傳也深

次金剛吉祥成就一切時用之

又傳大谷

種子

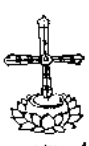
疏十云嚴虛空眼也佛是去來離去來法

即同大空故加點也

三形 金剛眼四傳集



石山內供



耶會不空眼三形獨古十文字

印 用獨古印大教院

又說諸師雜

種子

大日經三云伊舍尼方一切如來母虛空

眼應書伽字疏十三師云胎藏佛母院

大師御口決云佛眼種子取初嚩字用之

又方取竟寧字用之云



覺意云

寶心云

三形

或傳云

智拳印

又合掌二頭二大如彈指

念誦法云加用金輪七曜并八大菩薩

八大明王等云

金寶抄云八大菩薩印言

用胎藏諸菩薩

八大明王印言台藏一切持

定賢法務道場觀云

八大明王總呪以不動呪爲之義說耳

大底慈救呪也

一金輪裏書一九

八幅金輪形像手持八幅輪處七寶師子

座上安輪釋迦抄也

一七曜

日曜

月曜

火曜

水曜

木曜

土曜

金曜

水曜

火曜

木曜



圖像 No. 4. 佛眼曼荼羅

金曜 大白伏左掌大指頭指相

土曜 鎮星左作觸地勢右大指頭

一。八大菩薩言等

念誦法云

(裏許二一)

金剛手 咤 文殊 咤 虛空藏 恒藍

緣發心轉法輪 咤 觀自在 云利

虛空庫 咤 金剛拳 惡 摧一切魔 郝榮

同種子三形等寶覺說

金剛手 五占

身色 如水青 右持五占當右

印 外五占印

文殊 利劍

身金色 右持梵摩左執

印 外縛堅忍願如劍形

虛空藏 寶珠

身肉色 右與胸左

印 外縛二頭如寶形二大竝立

轉法輪 輪

身肉色 左持蓮花上安輪

印 二手兩拳頭指合輪壇印也

觀自在 未敷蓮花

身肉色 左持蓮花當

印 外縛禪智進力蓮葉

虛空庫 錫磨

身肉色 右作拳安腰左執

印 六指交叉覆大捻小甲

金剛拳 二金剛拳

身青色 拳當心

印 外縛大捻小根進力挂大背

摧一切魔 牙形

身白黃色 右拳安腰左執

印 二手縛進力極惠開地堅風微屈如

一。八大明王

步擲 三股

身青色 右手把一寶蓋左把金剛

印 左拳以大押頭指側想執三古右大

指入掌以中指握之頭小舒向外利

牙出現

降三世 五占

身青色 右手持五占

印 如常

大威德 寶棒

身青色 有六面右持劍

印 二手金剛縛堅忍願如針

大咬 三股

身青色 右持索左執

印 右金剛拳當胸想持三股杵左作拳

舒肘持索

大輪 輪

身青色 右持輪左執一

印 言 可用小金剛輪印言

馬頭 馬口

身色 三面皆有白馬頭右持

印 如常

無能勝 三股

身青色 右持三古左拳舒頭指於火焰中

印 八指右押左掌內各交合大指開微

屈小離頭指側

不動 劍

身青色 右持劍左持索住

印 劍印

三種印真言

修行法云此三真言○皆同成就佛眼

佛母云

金剛吉祥成就一切明

二羽金剛掌以檀惠內相鉤戒方雙屈入

掌忍願相合如峯屈進力各捻忍願上節

以禪智各捻忍願初文是名金剛吉祥印

力雙之從微惠上入掌中手指已多可余多爾佐之

安佐ヘテ無名指ヲ小指
上ヨリ入掌押之云々

唵囉日羅室哩摩訶室哩阿彌底也室哩
素摩室哩益誡羅迦室哩陀室哩沒羅
賀婆跋底室哩戌羯囉室哩舍伽始者羅
始制帝室哩摩賀三摩曳室哩婆婆賀
口云

唵縛日羅室哩金剛摩訶室哩阿彌底也
室哩素摩室哩阿彌底也室哩阿彌底也
母陀室哩沒羅賀沙跋底室哩木囉戌羯
羅室哩舍伽始者羅始制帝室哩陀室哩
賀三摩曳室哩婆婆賀
已上石山七集出之小野次第同之
師云大師御傳云但末除字給
羅計呪

唵囉尸室哩○計都室哩
已上二呪師傳也但熾盛佛頂經有此
說又無本有歟
此呪即佛眼真言也即七曜總呪也一
切災難皆星宿所爲也破彼難令吉祥
故呪畢皆置字此吉祥種子也佛眼
諸星主也

修行法云成就一切明是金剛吉祥七曜
吉祥明及佛母成就一切明是云
又云一金剛吉祥明如一切佛眼大金剛
吉祥一切佛母心法中云七曜二十八宿

不能破壞

又云八葉前畫一切佛頂輪王次右旋布
七曜使者即由於此故此像前誦七曜明
是佛母尊破七曜明云金剛吉祥大吉
祥日月火水木金土吉祥吉祥大平等吉
祥
(裏書二三)

妙吉祥破諸宿曜印明

經云內縛指節並通堅二空是名破七
曜一切不祥印
當觀妙吉祥而作降伏事結印誦百返不
久即成

唵薩縛怛囉三摩曳室哩曳婆縛賀

修行法中云二妙吉祥菩薩破諸宿曜明
中如印中云此印名破七曜一切不祥印
當觀妙吉祥而作降伏事
又佛眼法文云

第二花院前畫金剛薩埵次右旋畫八大
菩薩

經云法將云八大菩薩如理趣經其八菩
薩中文殊即妙吉祥五佛頂經說文殊是
般若佛母故於佛眼佛母法中云作吉祥
破七曜法故對像前誦破諸宿曜明是
妙吉祥破七曜明云一切平等吉祥
曳字是歸命詞云

成就一切明

師云印表理智不二云
經云以定惠手作不動尊刀印以刀又互
插掌中即成

瑜祇總行記云師曰云覺平五年九月二十六日夜
夢想云仰左刀覆右刀以指末互插之者此於神日
意也云

經云時本所出生一切佛母復於頂上放
百千道雜色光明於一光中出生無量
金剛杵勇健熾盛於足下亦然即說成就
一切明真言曰

唵吒吒烏吒烏置智置智吒烏吒烏吒

烏吒烏吒日羅婆怛囉弱咩錢殺顯哩郝
唵吒吒烏吒
梵漢出
經云此真言能成就一切明能攝伏一切
天能成辦一切事若欲知未萌之事即結
印安於左脇誦真言一百八返隨即便睡
本尊阿尼奢即於夢中見一切吉凶之事
又云若欲誦一切真言先誦此明三七返
一切速得成就云

法務御抄云王愛染
疑云此三印明偏爲佛眼法之加用小
野前賢何加用愛染王法乎
私云佛眼愛染王共爲佛母故此品說
佛眼功能云
或云一切有情見者如父母母想
或云一切見者皆悉歡喜云
修行法釋此第二明云文殊爲佛母仍
用佛眼法云

此亦可然呪於一經之內其誓全同也
此義頗出遂者歟

唯
庭
邊
望
賀

次塗香三
蘇油大三
乳木百八
飯三

佛眼御修法所

大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

諸神供三箇度

奉念

大日真言一萬五千遍

本尊真言一十五萬遍

金剛吉祥成就明二千一百遍

妙吉祥破宿曜明二千一百遍

成就一切明二千一百返

不動真言二千一百返

降三世真言二千一百返

護摩真言二千一百遍

一字金輪真言五萬遍保安二千一百遍

右奉爲 國母仙院御息災安穩增長寶

壽御願圓滿始自今月十九日至于今日

并一七箇日夜之間率六口伴侶殊致精

誠奉修如右

保延四年十二月六日

阿闍梨前少僧都法眼和尚位寬

結願作法

先書卷數一通付枝立壇右本尊左也

又案文一通置左脇机同机置佛布施供

養法如常但前方便無祈願等也後供養

燒香之次供佛布施

次闍伽 次取念珠金二 次讀卷數丁金

次事由餘如 行者遊行觀丙山

口云行者暗所行若遠遊行時吾身佛眼之種子三形可觀也

次步時二十八宿始角宿ヨリ次第彼宿

踏可想前太字即太字踏也 經云若欲往諸方所想前宿形在足下按

之觀自身如本尊即得一切方處無礙無

障所作皆得成就云成就明所也

功能

成就一切真言事

抄云若持餘真言不成就者常於此尊像

前加此真言而持誦之必得成就云

又云餘尊呪念一字明時餘尊皆隱沒

者實體不失但失威勢譬如日光現衆星

光沒若念一字後念佛眼呪時隱沒尊威

光出現如本成就云

大師御說云諸尊念誦最後誦佛眼明意

云何一切真言返數須付屬佛眼尊部母

故授之諸呪乃至成佛時不令散失故早

成就云

一字頂輪王經云

修眞言者必須初後誦此佛眼真言十地

菩薩尚不能堪忍此輪王威德何況餘天

王小類有情文

經云佛眼大金剛出生一切法成就一切

明能滿一切願除一切不祥生一切禍滅

一切罪令一切有情見皆歡喜文

又云常持此明者所作事業皆同一切佛

若常持此明金剛薩埵及諸菩薩常隨衛

護得大神通文

佛眼金輪同體事 經云從一切支分出生凝識沙俱抵佛一

佛皆作禮敬本所出生於剎那間一時

化作一字頂輪王皆執輪印頂放光明

做目視現大神道還來禮敬本所出生一

切佛母云

佛眼頂并足下有輪事

經云爾時頂輪王各以金剛輪置本所出

生一切佛母足下合成二輪一承其足一

覆頂上或曰云下輪蓋障難者而

兼意云由結印誦眞言及佛眼加持故

諸摩是那夜迦不得使從初作行時至

求成就時念誦返數小乏功不虛獲悉

地或有惡人無事作唱難者想彼人在

瑜伽者是下誦眞言二十一返作留難

者悉皆消除慈心相向不能障礙云

諸尊通用事

軌云常安住如來種性之中無所違故一

切諸眞言王無不法而行之以爲性平等

戒而不敢犯

引先佛爲證明事

佛眼軌云當證事甄明其知性分乃至十

方三世諸佛一切秘密藏中設不說者亦

當通用此意以起相應事業故引先佛爲

證明法爾通用同非我出滅于世獨作如

是說也

持受者爲佛體事

經云有金剛子等常持此明者身如金

剛杵如金剛界如來如彼薩埵金剛如

千俱胝○佛設利攔。如佛真身○所作事業皆同一切佛云、

又云若持百萬返得大涅槃處云、

行者言音等爲印言事

經云所出言語便成眞言舉動支節成大印契目所觀處便成大金剛界若常持當得是金剛之用云、

增長福壽事

經云當須先誦此明一千遍一切諸佛○悉歡喜一切有情見者如父母想福如輪王七寶具足壽命長久千萬俱胝云、

滅五逆等罪事

(裏書三四)

七成就品云眞言續誦一返滅身中十惡四重五無間罪一切業障皆消滅若苾芻尼犯根本罪誦七返得戒品

今法、摩尼事

又云若有金剛弟子持此眞言現世成悉地當生證菩提果我遺婆娑世界雨此摩尼一者名佛文句二者名廣大不空摩尼文句此則我全身舍利此則我眼若有持念正等於我神力無有異

洗日時可誦呪事

高雄口決云次洗日時以佛眼眞言加持洗之呪曰

曩莫三滿多勃多南拏陀婆盧舍那○以此眞言加持水洗日時目眼無病所見分明遂得見十方諸尊等也云、

現佛母身事

經云對像壇前作法即得佛母成就現身

念珠事

或師云今法用金剛子念珠云、
經云復次行者應用金剛子爲珠以綠金剛線穿之對像前誦三百返一切希願皆悉滿足
成就一切明所也 (裏書三五)

寫本云

元久二年七月二十九日校了以草本令書寫了 貞玄

文治三年五月二十六日撰集之折紙各別所見極有煩仍一卷集之後見有耻勞不可他見

同七月三日於綾小路壇所書之

金剛弟子覺禪生年四十五

勝俱胝院云尊勝佛眼一佛變作也
地中云愛染王佛眼佛母也云、
元文四紀年九月五日加修復補虫損之闕如了

淨土院末資生年十七

裏書六

三部、主部母

佛眼、金輪佛部蓮花

白衣、馬頭蓮花

慳云降三世金剛

金剛界八卷次第六五部法部主
尚有部母加持眞言皆少異云、

裏書七

愚案云品題云金剛吉祥大成就品者於一切衆生令成就大吉祥故云

裏書八

三眼事

演密抄云三眼者惠眼法眼佛眼也

私云三部眼歟惠眼金剛部也

瞳爲文殊事內山

玉篇云瞳徒公切目珠子也

口云文殊云童子有眼云童子一切菩薩皆俗形也文殊童形也

大經云見佛性猶如妙德云、妙德即文殊也軍荼利軌云兩目童人上

觀云、此多羅敷

觀音目出故云字成青蓮變成文殊、、瞳也五古サキ寶有其中理

母肉眼中智母觀諸法見云、

佛肉眼即寶珠也相應經意法利因語調伏也故佛眼觀文殊與吉祥用

否可存也不動心

裏書九

或云、自佛眼身流出十恒沙佛遍滿虛空後同一姓體成金輪佛、

、我母佛眼恭敬獻二輪故佛眼頂一輪并御座一輪座輪下障難者置

眞言二十一返誦障難者悉摧破云

法將事

私問云相應經法將所指一切佛頂輪王經未度此國付之

又云我國所有諸佛頂經衆本衆釋未見此中八大金剛故知應有別部攝一切佛頂輪王此中所謂成就一切明者如蘇悉地經云

勝俱胝院僧都云實運法將云指甘露經譯者也即達摩柄義也達摩法柄義將也

私云指彼譯者更無要法將云八大金剛如勝一切佛頂經云○彼經云譯者不可云法將言又法將イハ

コソ彼經得心就中或云不空譯又甘露經八大菩薩同說何同不用乎

賢覺圖

三層八葉也說所見略出經又大論見云

方刻了了事

大日經五云先說曼荼羅諸佛菩薩母安置壇形像方世眞金色金剛手圍繞最勝曼荼羅

疏十六云說佛母曼荼羅若布置曼荼羅形先應知此謂金色但列名未辨尊形及印今列之也先作曼陀羅金色四方以金剛爲界圍之此最上者尊形

注進

佛眼御修法七箇日支度法定實

五色糸二筋大壇并護摩壇料各三丈五尺

蘇蜜名香各少

五香白檀薰陸白膠沈丁子

五藥白朮人參甘草遠志苟杞

五寶金銀琉璃眞珠水精

油四斗二升一斗大壇料一斗六升護摩壇料九升聖天壇料七升十二天壇料

米二十九石七斛大壇供九石護摩壇供三斛五斗聖天壇料八石雜器直三石五斗十二天壇供

大壇護摩壇十二天壇聖天壇

禮盤二脚脇机六前

燈臺十二本淨衣 白色

勸請大鈎召結果不動

獻座八葉印

大原云佛母印只左右二拭之除內外之障云

安悉駄此云路左寧此云薩縛羅他

住駄此云安縛賀此云圓寂亦有十

同句義七成就

曼謨囉伽婆都拜命三世諸佛蓮形壽禮

烏瑟囉婆耶苦衆生拔苦成慈入

羅衆一切佛母從事爲一切底悲他無病無

悲成悉多寶珠成就如意魯婆囉成就提薩

縛羅他無邊淨土成生安他倆曳成就

師云佛眼眞言諸尊法金輪印言後必可用之步適明王軌可見之散念誦前後可誦也

仁和寺方二說云

散念誦時印必可結歟

顯呆云外五古印

亮惠云金界吉祥鉢印胎藏經印

小原云八字眞言五字眞言其佛眼眞言亮惠云破諸宿曜印寶珠也二大文殊也佛眼言三昧耶印云內縛二大立印也

本尊印言

大日經四云以定惠手合爲一相地水向下由火輪二峯屈二風置第三節○如三目形是如來頂印也佛菩薩母文



三層八葉也說所見略出經又大論見云

表書一二

方刻了了事

表書一五

大原云佛母印只左右二拭之除內外之障云

表書一六

佛眼眞言除祇經疏

婆誡縛帝此云有聲亦有六義其如常明

拈二酒此云字是三字身

娑菩嚩此云入縛羅光炎

娑菩嚩此云入縛羅光炎

疏十三云

佛眼印作三補陀屈地水入掌豎二火如針二風捻二火第三節上如眼形二空稍屈當二中下如豎眼即三眼也

南麼三曼多勃駄喃伽去那囉囉落吃囉合二不伽去那穆迷三薩婆親聖藥合二多引避安去羅三婆吠五入縛合二羅耶引謨阿上目伽引難莎訶云

虛空眼真言曰南麼三曼多勃駄喃嚴云輕呼又印言

一字頂輪經三云二手密合掌屈二頭指安中指背上五指屈入掌名爲佛眼印

金輪略念誦法同用法用同之如兩眼云又祇印同之但真言餘句異也

曼莫薩囉他他藥帶羅羅易合二昆藥合二三藐三沒弟昆藥咄嚕合二塞普合二嚕入嚕合二攝底瑟姪合二志俱作駄嚕左倆薩囉囉他合二娑怛倆娑囉引合訶云

熾盛光大略同之法朱同用又印言集經一云釋迦佛眼印呪反又二小二無名指於掌中直豎二中指頭相拄并豎二大指屈二頭指押二大頭相拄呪曰唵一毘嚩支反伊倆莎訶三

作佛眼印誦前大呪得身清淨眼根清淨至誠受持具足五眼見者歡喜私云

上印面上三月胎藏三部也三形等依之金剛界五部也即五眼契云已上三箇印言儘不傳也

本尊加持前大勝金剛可用事內山用否可隨人不堪心本尊加持前結定印心月輪觀大勝金剛種三火佛眼六箇印結理智冥合也

又大勝金剛法時互可觀佛眼云佛眼大勝金剛不冥合時五古上但五眼也佛頂許也冥合時五佛頂也五佛頂必五眼備云

金寶抄云本尊加持時金輪印大呪印小呪印八大菩薩八大明王已上五箇印可用師主儘說云

七曜總印呪合掌開二風二空

八大菩薩總印呪金剛合掌歸命迦薩縛他尾摩底合二尾枳羅縛

四達羅摩合二駄略涅佐多五三訶六莎阿薩印明也

八大明王持地印合掌

阿闍梨位品印言

大原傳云金剛薩埵所變故阿闍梨位印言佛眼法用眼色妙三摩地故又壺坂傳佛眼印名傳法藏印灌頂時結此印真言千返誦加持受者開五眼故阿闍梨位印也云

經云攝一切如來大阿闍梨位品第三爾時金剛界如來復入一切如來眼色妙明照三摩地復說攝一切阿闍梨行位真言曰

唵囉日羅素吃史麼三麼賀引娑怛縛咤屈肘向上合掌屈戒忍方願入掌佛母說胎藏八字言事

經云爾時佛母金剛吉祥復說成就大悲胎藏八字真言曰

阿引入尾羅咤欠咤囉利瑟短呼若誦一千萬返得大悲胎藏中一切

如此等阿闍梨作意也云、

八

振鈴兼意取五古三度擲逆三遠印

五處振之振了後如先各三返邊印

五處置金剛盤左耳三胸五右耳

可振云、

真書二九

寶心不可含那呪用之用也加持物

真書三〇

聖賢云諸尊段大日三四佛滅惡趣

三釋迦三准胝三餘尊隨意

次普供養印言三十七尊供云、

真書三一

寶心云施天段四臂不動十

次七曜加供南無日曜下明之條六如

六段護摩事

覺意云第三諸尊段與第五施天

之間第四有北斗七星供是秘密

觀爐中七處字變成北斗七星本命

星中心

合掌啓詞云

至心奉啓 北斗七星 貪狼巨門

祿存文曲 廉貞武曲 破軍尊星

爲某甲 災厄解脫 壽命延命

明見百秋 今作護摩 唯願垂哀

降臨此處 納受護摩 擁護某甲

悉地從心

次召請 護摩供了

次撥遣

初夜時七曜之蠟燭供可行仍支度

未油布載之

又日本國諸神勸請之災魔天邊令

坐之

真書三二

賢覺法眼卷數初云佛眼御修法三

七箇日御卷數事

真書三三

以佛眼觀般若波羅蜜事

悉檀抄云大論六十九云佛告須菩

提譬如母人有子若五若十若二十

若三十若四十若五十若百若干中

得病諸子各々懇求救療○須菩提

佛常以佛眼觀是般若波羅蜜○能

示世間相○生諸佛與諸一切智云

意取

真書三四

滅逆罪事

一字頂輪王經二云依法持密印若

不得成就應用頂輪王加持成就復

用心隨心相共而誦誦若如是不成

用佛眼眞言相和而誦之世尊佛眼

明一切佛所說先佛亦稱讚我今而

宣說求成佛頂者應當誦持與彼

相和誦誦作五無間不久亦得成云

真書三五

具書

四種法 相應 珍財事

四種人 本身 名號 五眼 形

像 不可 大法 天變 陰人

請書 請文 支度 壇圖 表白

勸請等 諸師口傳 加用印言

道場觀 讚等 護摩 卷數 結

願 遊行觀 一切呪成就事 佛

眼金輪同事 足下輪 諸尊通用

持者佛體 行者遊意 增福壽

滅五逆 法即摩尼 洗目呪 本

尊現身 念珠事 不可 寶覺

三部母 障事 不可 寶覺 法

將軍 諸尊略頌 方不可 支

度定賢法 眞言句義 本尊印

言等 大勝金剛 八字言 阿闍

梨位 五相觀 百八讚 護摩段六

滅逆罪

俊寬云人授法之時必可用佛眼印

言若不爾者得罪障許可灌頂不行

此印言者得罪云、

或云佛眼佛母衆生甘露アタヘテ

令安穩云

佛眼不可一鋪持之古像

國王宮中迎七日供養○彼王他日

作調象戲滅三藏、々々結佛眼印住

慈心定誦眞言以却之其象顯作不

能前進某驚而舉指醉象有何殊哉

覺禪鈔 藥師法

藥師法

小野增益又息災 或云依四種法云々
新請集云延命法除病除災可修之云々

本書

藥師瑠璃光七佛本願功德經二卷

圓貞

淨譯

藥師瑠璃光如來本願功德經一卷

圓貞

梵譯

藥師如來本願經一卷

實多 貞

舊藥師經一卷

貞元不入藏中云仙遊維
那離經第十三卷

藥師如來本願殊勝隨願即得陀羅尼經

一卷 貞元今行於世是
滿頂經第十一卷

藥師法一卷

澄和上集仁珍和上
多依阿闍儀軌傳之

唐代翻藥師經疏一卷

藥師經疏一卷 靖遠
梵

已上秘錄

諸家云儀軌有多種不空譯依十八道
善無畏譯依胎藏金剛智譯依十八道

加他印契天壽寺本依金剛界或本別
印契真言或本有印或符禁或經等又

出行法儀式或云依阿闍法修之云々

藥師瑠璃光如來消災除難念誦儀軌一
卷無譯者

藥師如來念誦儀軌一卷 不空
金剛智

藥師如來念誦法一卷 依十八道

藥師如來念誦儀軌一卷 不空

極略

惠什云諸家目錄中全無藥師儀軌仍

何本難指南但消災儀軌雖請來日淺

文相似佛說隨先德多分用之但與法

印呪已下集經文也於唐朝書加歟可

尋之又此軌世間多分齋然請來云如

何答祚一阿闍梨請來也祚一齋然弟

子也即同時入唐人也相齋之然歟又

二三丁不空有儀軌偽書也全不可用

云

安養記云消災軌師云不空譯

或人云金剛智譯然筆體似不空譯與

十二神將呪後人書入云々

彼軌與云大宋國左衛天壽寺惠文阿

闍梨口請傳端拱二年正月八日庚寅

日求尋得寫了日本國人唐五臺山巡

禮賜紫沙門祚宣將來云々 (裏書三六)

諸佛同體

一胎藏大日藥師智故祕說用法界定印

千手寶鉢手 究竟傳也東寺金堂安樂師講

堂安金剛界大日是即安置兩部大日心

歟

又小野本佛藥師是胎藏大日也兩僧正

御建立頗有深義云々

又日野號法界寺或云大日如來入滅除

一切衆生苦惱三摩地給云々

一隨聞記云藥師台界有佛頂中七佛經

意於肉髻中大光中演說云々 (裏書三七)

或抄云此尊攝佛頂部成覺之時頂肉髻

中放大光明々々中演說大陀羅尼故也

依之先德或用光聚佛頂印或金輪佛頂

印

兼意聖賢傳云此尊一字金輪也仍佛慈護辦事佛

頂者通佛頂加行之云々

或云白毫功德百千倍成肉髻々々功德

百千倍成梵音聲佛頂者肉髻佛頂功德

殊勝號真言即梵音聲所成就也

經云釋迦白毫光內有聲云我功德殊勝

也汝可說云々 (即一字 裏書三八)

一釋迦藥師同體異名佛也故無能勝真

言藥師呪無能勝釋迦也又釋迦藥師形

像印契全同也云々

或云鳥羽院以通兼爲御使式部僧都

令尋御故白河院木造釋迦銘藥師佛

被書如何偕都申曰釋迦藥師一佛異

名云々古人所造皆不持云々

大教院律師云觀山中堂像釋迦印像

云

惠什云善名稱吉祥如來七佛第一也

中堂藥師揚右掌垂左掌此佛也云々

平救道場觀爲別佛

大原云先師密口云釋迦院無能勝者藥

師佛是也亦釋迦即藥師也其東方七佛

併釋迦分身故大師東塔安樂師像西塔

釋迦安之同一佛故也所以俱名釋迦俱

名藥師有何妨乎一義也 (裏書三九)

小野抄云釋迦藥師二尊以左足置右膝

上結跏餘尊不然云々
或云胎藏東方淨菩提心門釋迦即藥師

可知也

中堂藥叉供云。三世常住大日如來。亦名釋迦妙法教主。憶念誓願像法轉時稱號藥師琉璃光佛云。

七佛抄云。別尊法有本經觀說會儀式云。釋迦院樂音樹下。即大日成釋迦。依曼殊師利請。可觀藥師經說。七佛經從七佛本土此也。尤至要觀也。又胎藏東方初門置藥師。一以不。皆藥師佛土也。中台是藥師法界身也。八葉四智四行也。外金剛部藥師隨類化身云。

或師云。無能勝藥師一佛。其世間無能勝云。藥。塗鼓打之。兵衆悉却。藥師名號如此。經云。一經其耳衆病悉除。說三種病怨敵也。聞此呪音聲退散衆病云。得金說花嚴經云。善男子。海中有香。名無能勝。若以塗鼓及諸螺貝其聲發時。一切敵軍皆自退散云。

一東方阿閼云。藥師事。雖無指本說。諸家口傳有其趣。就中先師法務以阿閼種三印言用之。又中堂法花最勝仁王等長講御傳教皆禮阿閼佛云。

愚案云。兩界中不坐藥師。以先德口傳習之。胎藏大日并釋迦存藥師。金剛界阿閼位攝藥師云。然不可用阿閼種三。不言不空成就事非東方故也。五佛融通時。何尊可攝藥師也。凡祕家趣。一切諸佛無出兩界故。爲此僻見也。

惠什問答。藥師阿閼同異如何。答。信師云。異佛也。問。先德皆藥師道場觀以象爲坐。種金剛杵三形也。又安然錄仁珍和尚多依阿閼軌傳之云。 (裏書四〇)

又高野中院大御堂。以阿閼爲本佛。藥師即大師爲御本尊故也。此等皆同佛證據也。信闍梨此等義。破云。諸道場觀說。全不可信受。阿閼種子三形不可用也。顯教意。阿閼南方妙喜世界佛。藥師東方佛也。淨土全別。何云一佛乎。諸家目錄。請來各別也。

種。三形佛頂印。或有祕說印又別也。次安公之義。必不可依用。仁珍和尚依阿閼軌傳之者。法則作法許歟。以此文一佛。難得心也。就中金剛藥叉法以不動法行之云。

然一明王可得心。次高野本佛事。阿閼降魔殊勝佛。金剛部上主也。爲伏末代魔緣。大師中院所安置藥師云。無記文。難知事也云。金堂阿閼祕事也。可聞口傳。 (裏書四一)

形像等
三尊像
藥師經疏一云。如餘經云。過去無量劫前此娑婆世界五濁障重。如我時。爾時佛出於世。號電光如來。說三乘法。而教衆生。爾時有一梵士。養育二子。見濁亂而發菩提心。白佛言。在世尚爾。何況世尊滅度後。我發願當利諸衆生。救苦與樂。作此言已。脫身上衣。供養佛而白言。我教化此界諸苦衆生。於淨土當得菩提。佛讚善哉。次二子供養佛發願。佛言。汝發大慈願。欲利重病衆生。改汝號爲醫王。汝二子皆饒益幽冥衆生。長名日照。幼名月照。爾時醫王者。東方藥師如來是。二子彼二大菩薩次第補處。日光菩薩。月光菩薩是也。當知彼佛發心已來。誓願度生有感應。於此土此界衆生有機緣。於彼佛明機感。自受彼教。興矣云。

本願經云。有二菩薩摩訶薩。一名日光遍照。二名月光遍照。無量無數菩薩之上首。能持彼佛正法寶藏云。 (裏書四三)
灌頂經十二云。有二菩薩。一名日耀。二名月淨。是二菩薩次補佛處云。
類抄云。法花義疏一云。月光者。慧能破闇如月之光云。以之思之。藥師脇士月光菩薩。非月天祇師云。藥師像無說所。世流形像。左手持藥壺。右手施無畏也。身色黃金云。
二菩薩同無說文

圖像 五

或云。中堂像。右施無畏。左施願。不持壺。代住像多分如此云。
慈氏軌下云。十方諸佛雲集之像。皆執契。藥角云。私云。印像不審。佛可造釋迦形歟。

又三尊。以古本圖之。 (裏書四四)
瞻西上人云。久米寺中尊。手印破失。住僧云。藥師佛云。而脇士爲觀音勢至。仍存僻



事由之處。往古像多以觀音勢至爲脇士云

勸修寺抄。或云藥師脇士觀音勢至。小乘經目六見云。私云無之。

圖像 六

(裏書四五)

八菩薩曼荼羅 古本也安養云世流布可尋

本願經云。臨命終時有八菩薩乘神通來示其道。路云。

淨土論中云。加才如藥師經云。有八菩薩。

文殊師利菩薩。觀世音菩薩。大勢至菩薩。寶幢花菩薩。無盡意菩薩。藥王菩薩。藥向菩薩。彌勒菩薩。皆當飛往迎其精神。不逕

八難生蓮花中。自然音樂而相娛樂云。

第九拔除過罪生死得度經八菩薩名全同也。

灌頂經八云。舉八大菩薩。毘陀和羅菩薩。薩羯菩薩。橋日兜菩薩。那羅達菩薩。須深彌菩薩。摩訶薩和菩薩。因互達菩薩。和輪調菩薩。是爲八菩薩云。

靖邁疏如灌頂經說。

圖像 七

(裏書四六)

十二神將

本緣

本願經云。衆中有十二藥叉大將。俱在會座。此十二藥叉。一各有七千藥叉。以爲眷屬。同時舉聲白佛言。世尊我等今者

蒙佛威力。得聞世尊樂師。如來名號。不復更有惡趣之怖。我等相率皆同一心。乃至盡形歸佛法僧。誓當荷負一切有情。爲作義利。饒益安樂云。

三寶感通傳道宣述云。有天竺婆摩城。又遠來東夏禮育王塔。承蜀之塔。又往禮拜至懸大石寺所敬事已訖。欲往成都。宿兩女驛。將旦聞左右行動聲。又曰。是何人耶。妄相恐動空中。應曰。有十二神王。從本國來所在擁護。明日當見成都塔。今欲西還與師別耳。

又曰。免能遠近何現形。神即現形。又爲人善盡便一貌之。既遍形隱。及至成都。禮大石塔訖。誦律師乃依圖刻木爲十二神像。莊飾在於塔下。今見在云。

大集經二十四云。東方海中有瑠璃山。高二十由旬。中有虎兔龍。南方海中有頗梨山。高二十由旬。中有蛇馬羊。西方海中有白銀山。高二十由旬。中有猴雞犬。北方海中有黃金山。高六由旬。中有猪鼠牛。所住之窟。經各有名。東方樹神。南方火神。西方風神。北方水神。一方各有二羅刹女及五百眷屬。隨其方面各自供養其方三神。其窟是菩薩住處。一獸皆修聲聞慈云。

晝夜常行閻浮提內。人天恭敬已。曾於過去佛所發心。一獸每一日夜遍閻浮提餘十一獸安住修慈。從七月一日鼠爲其首。

二日牛。乃至十三日還從鼠起。是故此土多有畜獸。能行教化他方恭敬云。同委細有二十卷

本地一行阿闍梨集

北金毘羅者是微明 即亥神。彌勒

西和耆羅者是阿魁 即戌神。得大勢

西彌伽羅者是從魁 即酉神。阿彌陀

西安陀羅者是傳送 即申神。觀音

南摩尼羅者是小吉 即未神。摩利支天

南宗藍羅者是勝先 即午神。虛空藏

南因特羅者是太一 即巳神。地藏

東婆耶羅者是天剛 即辰神。文殊

東摩休羅者是大衡 即卯神。藥師

東真陀羅者是功曹 即寅神。普賢

北照頭羅者是大吉 即丑神。金剛手

北毘伽羅者是神后 即子神。釋伽如來

已上軌出 或陀羅尼菩薩

大集經云。十二神所住者。菩薩所住也。此十二獸或成鬼或成鳥行閻浮提。同類權化也云。

或傳云。十二神將者。藥師如來分身也。非眷屬。十二時分形守護給云。

本願經云。此法門名藥師如來本願功德。亦名說十二神將饒益有情結願神呪云。

私云。大陀羅尼即有神名句義

名號

亥宮毘羅大將 禁毘魯神王 金毘羅

戌伐折羅大將 拔折魯神王 和耆羅



圖像 No. 6. 藥師三尊(其二)



圖像 No. 7. 藥師八大菩薩

西迷企羅大將 年闍魯神王 彌佉羅
 申安底羅大將 鈍徒魯王 安陀羅
 未額彌羅大將 阿彌魯神王 摩尼羅
 午珊底羅大將 娑彌魯王 素藍
 巳因達羅 印陀羅 因達
 辰婆夷羅 婆姨魯 婆耶
 卯摩虎羅 摩休魯 摩休
 寅真達羅 眞陀魯 眞持羅
 丑招杜羅 提徒魯 照頭羅
 子毘羯羅 毘迦魯 毘伽羅

已上名號本願經說也注集經十六善
 神之中神名并大呪句義付之

形像 出妙見神呪經北
辰別行法同之

東方寅位畫甲寅將軍持棒
 卯位丁卯從神 兔頭人身左棒
 辰位甲辰將軍 龍頭人身持鐵鎚
 巳位丁巳從神 蛇頭人身持戟
 午位甲午將軍 馬頭人身持戟
 未位丁未從神 羊頭人身持槌
 申位甲申將軍 猴頭人身持刀
 酉位丁酉從神 鷄頭人身持刀
 戌位甲戌將軍 狗頭人身持槌
 亥位丁亥從神 猪頭人身持鐵鈎
 子位甲子將軍 鼠頭人身持鈎
 丑位丁丑從神 牛頭人身持槌

此諸神等皆著天衣瓔珞坐盤石上女

圖像 八

圖像 九

- 圖像 一〇
- 圖像 一一
- 圖像 一二
- 圖像 一三
- 圖像 一四
- 圖像 一五
- 圖像 一六
- 圖像 一七
- 圖像 一八
- 圖像 一九
- 圖像 二〇
- 圖像 二一

世流布像 圓心樣采見本文并天本
珍海寫之以件本圖之

（裏書四七）

圖像 二二

- 圖像 二三
- 圖像 二四
- 圖像 二五
- 圖像 二六
- 圖像 二七
- 圖像 二八
- 圖像 二九
- 圖像 三〇
- 圖像 三一

請書

不豫之氣近日殊倍增與藥施藥各雖盡
 祕方敢無其驗衆病悉除之利益藥師本
 誓殊勝也仍自來十二日可令修件法給
 之由所存候也若有免容者尤所望也謹
 言

十月 日

請文

（裏書四八）



圖像 Nos. 8 - 13. 藥師十二神(寅,卯,辰,巳,午,未)



圖像 Nos. 14—19. 藥師十二神(中, 酉, 戌, 亥, 子, 丑)



圖像 Nos. 20 - 25. 藥師十二神世流布像(子,丑,寅,卯,辰,巳)



圖像 Nos. 26—31. 藥師十二神世流布像(午, 未, 申, 酉, 戌, 亥)

御不豫之事殊爲歎。抑樂師法者。祕家之
甘露醫王之妙藥也。小僧乘戒共闕智行
無備。設依嚴命之惟重。愁雖捧領狀効驗
恐難顯歟。雖然適承嚴旨不能默。恐。謹
言

月 日 某

支度 兩人

注進
藥師御修法一七々日支度事

合

蘇 蜜 名香 各少

五香 白檀。沈。丁子。安息。薰陸

五藥 伏苓。枸杞。石菖蒲。遠志。白朮

五寶 金。銀。眞珠。琥珀。水精

五穀 如常

九大幡一 流 若一丈六尺。五色絲五
丈五尺以下四十九尺

乳木 白膠木者
又手也

布一段 壇敷
料

油一斗 五合 升五合
日別一石

阿闍梨 伴僧 承仕一人

駝仕二人 見丁一人 黃色

右注進如件

年 月 日 阿闍梨

已上權僧正

右支度。定賢法務并勝覺僧正御支度
也。共略定仍二通合載之。猶壇脇机燈
臺禮盤半疊大幕桶杓關伽棚等。可有

用意也

道場莊嚴

建立壇場安置本尊 壇四種法各別
新寫樂師經一卷置壇中 本願或隨
造五色幡懸五方 高四尺 願七佛等
造七層車輪燃四十九燈 (裏書四九)

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

造七層車輪燃四十九燈

三形 藥壺 或鉢。食器云。中有丸藥云。
印 法界定印 如鉢或壺印云。小野僧正御傳。
左手仰掌於跏趺上。以右手仰於左手上。
禪智二申相跏 已上三種三印鳥羽僧
傳授集云極密印也。或云。療病印也。法務
院注進之 (裏書五二)

御口云。印上想有壺。想有藥云。

或云。印上壺。次說也。印卽鉢也

千手經云。爲腹中病當寶鉢手云。

寶鉢手祕印故置別鉢云。

鉢中有十二大顯妙藥。療治像法轉時
衆生一切病云。

二四字云。印上觀壺。香隆寺傳云。

惠什云。香隆寺傳。先從右頭指至小指。

四指相動一次第折也。左四指亦如是。

次又右四指動之。凡三四十二。宛十二

大願。誦眞言十二返。薄伽婆帝呪。遍照

寺僧正祕事。大御室傳云。

大陀羅尼 出集經第二。名藥師琉璃光佛大陀羅尼。
亦名結願神呪。當途名十二神將呪是也。

那謨羅怛那 二路羅合。二夜耶。一那謨金

那謨 二和普羅 三彌佉羅 四安陀羅 五

毘羅 六素藍羅 七因達羅 八婆耶羅

摩尼羅 九摩休羅 十眞特羅 十一照頭羅 十二毘伽

羅 十三那謨毘舍闍羅 十四毘留離耶 十五

羅 十六那謨毘舍闍羅 十七毘留離耶 十八

羅 十九那謨毘舍闍羅 二十毘留離耶 二十一

羅 二十二那謨毘舍闍羅 二十三毘留離耶 二十四

羅 二十五那謨毘舍闍羅 二十六毘留離耶 二十七

羅 二十八那謨毘舍闍羅 二十九毘留離耶 三十

羅 三十一那謨毘舍闍羅 三十二毘留離耶 三十三

羅 三十四那謨毘舍闍羅 三十五毘留離耶 三十六

羅 三十七那謨毘舍闍羅 三十八毘留離耶 三十九

羅 四十那謨毘舍闍羅 四十一毘留離耶 四十二

羅 四十三那謨毘舍闍羅 四十四毘留離耶 四十五

羅 四十六那謨毘舍闍羅 四十七毘留離耶 四十八

鉢羅羅羅闍耶六十路姪他七十庵尼舍是

毘舍是八毘舍闍九娑摩揭帝十二莎苛

鉢印用十二神將呪烏羽僧正正御傳

御口云此呪爲本尊大呪爲說最祕傳

也

或傳義淨大呪七返云

小呪出集經二名藥

一呼盧二戰駄音利三摩橙祇四

莎苛五

大呪出七佛本願經下義淨名大陀羅尼

經下云藥師○如來得菩提時由本願力

入定已於肉髻中出大光明光中演說大

陀羅尼呪曰

南謨薄伽伐帝鞞殺社寶嚩瑠璃鉢刺

婆曷羅闍也咀他揭多也阿羅嚩帝三藐

三勃陀也咀姪他唵鞞殺逝々々鞞殺

社三沒揭帝莎訶

安然記載之或云光明眞言名之云

私云小野花藏院用此呪石山勸修寺

惠什等記似消災軌之言

心呪諸家名之云

又傳付阿闍梨

種子

三形金剛杵或三五古

二羽內縛禪智立來去

本山云五寸計去散頂上云

師云佛部心印也出集經

亮惠云藥師心像也即丸藥形也以十

顯果云召三度開蓋心也

私云壺形歟若寶珠形歟別譯軌云左

手持無價珠云

眞言

唵惡乞葛昆夜吽

已上理趣房傳法務御口傳也

又說

佛頂印

小野云瑠璃三形歟

傳受集四云吹瑠璃

實勝云吹瑠璃阿迦陀樂吽反

秘抄云喜見藥不死藥不老藥不直珠

或云瑠璃壺也

和名云瑠璃梵語瑟漢語云可尋

之

最勝王經音義云信行吹瑠璃此云遠山

寶云

一切經音義云○謂遠山寶遠山者蘇迷

盧山也○鬼破之以責與人也云

玄樞云毘瑠璃者梵音訛也正吹瑠璃○

是青色寶也燒不可壞有鬼神力者能

破爲器是金翅鳥卵也

守護經抄云御作菟云梵言吹瑠璃耶此

名不遠山謂四域有山去波羅奈城不遠

此寶出彼故以名之花嚴音義

印言異說口傳最上

集經二云以左右手頭指以下八指反叉

入於掌中右壓左兩腕相去五寸計以二

大指來去

智證大師御傳云不離腕只佛部心印

也眞言同前

觸地印

金剛縛忍願直立眞言用阿闍呪

大呪出消災軌經釋同

義謨引婆識縛帝佩殺紫野合二嚩嚩吹

喝二帝三藐三沒駄野但爾也合二他

佩殺爾曳合二佩殺爾曳佩殺紫野合二磨

舒藥帝娑縛合二賀

大呪句義

下下藥師

王也 不可如也 打不來也 有 應供也 有
 身義德相德也 有 即說齊也 有
 有 自度他度 有 速疾發義云云

小心說

又小呪 石山
 又小呪 石山
 又小呪 石山

德說難指南矣云云
 海僧正本云云 已上常寂院集

惠什云 伴呪出集經二 彼無利字 仍先

私云 今法諸師口傳不同也
 惠什云 大師御流無儀軌 以口傳行之云

鉢印 但クボミタリ ハイセイシ呪
 已上醍醐之法務三形持物云云

壺 寶山印 戶嚕々々呪 大谷
 三形有口 鉢印用大小呪

內縛印 十二神々呪 已上成就院
 金剛杵 內縛印 義淨呪 石山

壺 寶山印 理趣房
 五古 內縛印 阿闍呪

已上法務御傳成就院之五古云云
 五古 觸地印 阿闍言

已上醍醐法務并平教說 (裏書五四)

覺禪鈔卷第三 (藥師法)

佛頂印 諸傳

金寶抄云 內五古印 大呪 祕說云云
 顯呆已講 鉢印 大呪 畢 用也
 存略注之 可開口傳也

道場觀 理趣房

壇上有 打字 變成象 上有 成蓮花臺
 上有 打字 成月輪 上有 成字 變成

金剛杵 變成藥師如來 相好具足
 眷屬圍繞 日光月光十二神將左右侍衛

結如來拳印 加持七處 嚕步入欠
 又樣 小野 (裏書五六)

大海中有七寶山 上有宮殿樓閣
 中有八師子座 上有八葉蓮臺 上有

種子字 變成三昧耶形 變成本尊
 藥師琉璃光如來 七佛 八供養 四攝菩薩

日光月光 觀音 彌勒 普賢 文殊 虛空藏等
 諸大菩薩 金剛軍荼利等諸大金剛 天龍

八部 十二神將 各領七千眷屬 前後圍繞
 字輪觀 顯果 (裏書五七)

字輪觀 顯果

勸請印言

內縛禪智向身招之 本尊印也
 唵 爾 養 爾 迦 翳 醯 曳 嚩 婆 誑 囉 妬 瑟 拏
 舍 野 娑 囉 合 可 已 上 石 山 用 之

大谷 此印用 戶魯々々呪 法務同令用

或傳大呪之奧用之
 或傳大鈎召印言云云

供物加持不動
 部母莽莫計 結界無能勝 或 辨事佛頂云云

十二上願 薄伽梵 日光月光諸薩埵
 大藥師佛二臥 大神實勝

發願
 本尊界會 十二上願 醫王善逝

諸大眷屬 兩部界會
 密號 不動金剛

梵號
 可 呼 喚 也 有 不 可 呼 喚 也 有 不 可 呼 喚 也

多 不
 曩 誤 佩 殺 紫 野 虞 嚕 吠 女 里 也 薩 他 多 藥

金寶抄云 禮佛名號可唱云云
 天台禮不禮二說也

正念誦
 十二神將呪 小野金寶心呪 大呪奧也

唵 戶 魯 々 實 勝 聖 賢 闍 梨 義 淨 大
 呪 加 歸 命 句 二 十 一 反 計 云云

覺禪鈔卷第三 (藥師法)



小野傳用十二神將呪

印

實

出賃

之通印也

陳侯且蘇。范吉餘可准知之。後

賢覺云。內縛二地。二水。豎合用彼呪云。
十二神印也。

惠什云。結大鈎召印。誦同明。十二皆來云。

戊呪 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ 娑婆苛

酉 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

申 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

未 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

午 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

巳 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

辰 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

卯 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

寅 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

丑 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

子 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

先德云。天等并夜叉呪梵號用之。有本說也云。

十二布字付十二

頂右耳 左耳 額 右肩 左肩 右肘 左肘 右膝 左膝 右足 左足 下

此十二支生句。入忿怒三摩地。成十二神

將監十二年十二月十二日十二時擁護

一切衆生。爲除不祥與十二因緣。即起十

二大願也

護摩

部主 降三世

小野 或無能勝。大日 金寶抄

延命 寶覺 金輪 祿實任 佛眼 聖賢

本尊段 芥子呪戶
諸尊段
以普供養眞言本尊二菩薩十二神將可加行也

或說云。十七尊。日光月光本尊段可供

金寶抄云。八大菩薩云。

信運云。東方四親近供云。

實任云。南方四親近寶光幢喚加供云。

私云。顯經付歟

賢覺云。十二神世天段供之云。

卷數 脫開仁和合載之

奉供 藥師御修法所 (裏書六〇)

大壇供 護摩供

諸神供 奉念

佛眼眞言 大日眞言

本尊眞言 延命眞言

降三世眞言 護摩眞言

一字金輪眞言 已上仁和

右奉爲 女大施主消除所惱息災安

穩增長福壽恆受快樂始自三月九日

至于今月今日并一七々日夜之間殊

致精誠奉修如件

保延五年三月七日 阿闍梨大法師
結願作法

先書卷數付枝。立壇石方。安文置左脇

同机。有布施。行法如例

但前方便無祈願等。後供燒香次供佛

布施。次闍伽。次取念珠金三。讀卷數

安金一打事。山餘如常

末法利益 像法轉時故也 (裏書六一)

本願經云。世尊讚曼殊師利。言善哉

汝以大悲勸請我說諸佛名號本願

功德。爲拔業障。所纏有情。利益安樂。像法

轉時。諸有情故。汝今諦聽。爲汝說。隨願經云。曼殊師利。白佛言。唯願世尊。

像法轉時。爲利有情。故說如來名號。陀羅

尼神呪云。彼識還來。付四十九日

本願經云。衆中有一菩薩。曰救脫。合掌

白佛言。世尊。像法時。有諸衆生。爲種々患

之所困厄。長病羸瘦。不能飲食。喉唇乾燥

見諸方暗。死相現前。父母親屬。朋友知識

啼泣圍遶。然彼自身。臥在本處。見琰魔使

引其神識。至琰魔法王之前。然諸有情。有

俱生神。隨其所作。若罪若福。皆具書之。盡

持授與琰魔法王。爾時彼王。推問其人。算

計所作。隨其罪福。而處斷之。時病人親屬

知識。爲彼歸命樂師。如來請衆僧轉讀此

經。或經七日。或二十一日。或三十

五日。或四十九日。彼識還時。如從夢覺。皆

七佛經下云。病人親屬知識。若能為彼歸依諸佛。種莊嚴如法供養。而彼神識或經七日或二七日乃至七。日。如從夢覺。復本精神。皆自憶知善不善業所得果報。奪精氣。

本願經云。橫為非人奪其精氣文。

同疏云。衆生心孔中有七滴甘水。取一滴令人頭痛。取二滴令人心悶。四滴已上令人死。以彼七滴水為精氣。又人身有五藏。肝筋骨精。其氣通眼。肺氣出鼻。腎氣出耳。心十二兩中七孔三毛感精法。脾藏為味。身精也。氣出為初。氣入為死。終鬼奪彼精氣。故人死也云。

問。何四十九日為蘇生限乎。答。七。滿數限也。故經下云。一。像前各置七燈。○乃至四十九夜光明不絕。彼七佛各七日利益歟。仍四十九日七佛願也。

或只一佛願限四十九日義可有也。本願經歸依琉璃尊。七佛經歸依諸佛云。

俱生神事

(裏書六二)

同疏云。俱生神者。若約實而云。神即識也。俱生神者。即阿賴耶識。○或是瑛魔王為令罪人無有妄極伏本所故。化作俱生神。從生已來。書其罪福。或是藥師如來及經威力。現俱生神。書其罪云。淨度經云。同生同名俱生。在人左右。記其善惡。

有疏云。閻羅使者是四天王所領眷屬。故大集經云。地藏菩薩為閻羅王也。使者五官神也。是閻羅領神為人。也。引其神識者。病人第六意識為神識也。如夢境。○置王前也。有俱生神者。五官中一神。此神常護此人。故云俱生神也。○此神病人一切所作善惡。皆符記錄。授與炎王也。又灌頂七云。人自下產生時。以有五神屬相人。故曰俱生神也。一青色神左方住。一赤色神前住。一白色神右方住。一黑色神背住。一黃色神央住。是五神各守護於人。隨所作悉錄也。○病人所作善惡也。或經七云。乃至四十九日者。以病資病人。故。此四十九日不死也云。

仁和寺御室息災令行給。御加持大呪秘抄說。

勸修寺法務女房土佐殿祈光保。被修之。手替興然。賢覺法眼權僧正祈修之。病惱平癒有法驗。承保二年正月比。於右衛門陣屋深覺僧都若宮御祈行之云。

七禪師說

已上大略法務御房御口傳也。少。他家勘入之。寬運開梨云。藥師法池上。寬忠僧都撰之。祕道場觀被注之。

文治五年春比撰集之。

佛子覺禪 生四十七年

祇園精舍療病院藥師像事

藥師經四卷疏云。如來成道第三年。次建立祇園寺。於療病院中有藥師等身立像。此釋迦如來自與聖衆所造像。滅度見彼像。諸病皆除。寺同爐時像還真佛土。或云。龍王請入海中。或云。帝釋請入切利天。在世尚為療病造此像。況滅後乎云。後十一日入。

寬保元辛酉年六月十一日。溽暑難堪。以古本遂校雙補虫損欠闕了。每歲之曬軸等勿忘云。

其言一宗勸學院金剛乘末資賢賀春秋又勸修寺淨土院

仁談

御融院

素一愛宕山行者私云。仁談素一歟。可尋。

七佛

藥師抄云。以藥師可置遍知院一切佛心衆之處云。藥師即熾盛光也。無間頂相或肉髮相云。

大原

云。藥師是佛頂部攝也。故陀羅尼集經有佛頂之中。又其陀羅尼是肉髻光中演說大陀羅尼也。即是佛。

頂光明陀羅尼也

安然和尚說佛頂光明真言

〔表書〕二九

大原抄二十四云釋迦藥師同尊也釋迦忿怒無能勝明與藥師明同也。想東門釋迦藥師也。同台曼荼羅修藥師法。大日即藥師智處身。東門即藥師教流布身耳云。

〔裏書〕四〇

勝定房阿闍梨惠什云。勘安然總錄云。傳教大師藥師依阿闍法傳之云。五大院八家總錄云。藥師法一卷。和澄向集仁珍和尚多依阿闍軌傳之。

口傳云。阿闍佛之位東方諸佛悉可攝也。

理趣釋意云。五佛者盡虛空遍法界無盡無餘佛聚成此五尊云。

小野僧正奏狀云。

大塔五佛 中尊大日 藥師 寶生 無量壽 釋迦

已上

大和國多イマ寺 五佛內。東方阿闍佛。手持壺給云。

已上

大佛頂陀羅尼云

敬禮阿闍如來

敬禮藥師如來

敬禮藥師如來

敬禮藥師如來

敬禮藥師如來

敬禮藥師如來

竊案大佛頂經意別々尊也。諸家依阿闍軌者。修行法則歟。十卷抄有之。心覺引之。

釋迦無能勝事

台次第法三無能勝釋迦忿怒身也。攝無礙經云。無能勝釋迦牟尼佛忿怒自性輪慈氏。

疏十云。無能勝言即釋迦眷屬也。亦入寶處三昧如上而說。眞言是釋迦化身。隱其無量自在神力現忿怒明王々之形。謂降伏衆生而盡諸障也。

台軌下云眞言無能勝可破壞。隱德而化。吽字是釋迦如來忿怒師子震吼聲云。

集經一字頂輪經等以無能勝呪爲藥師眞言云。

又無能勝呪。降三世呪。又釋迦呪云。又無能勝彌勒也。八大菩薩經地藏化身也。

〔裏書〕四一

祇園天王 如藥寶賢童子

神農藥師所變醫師說

〔裏書〕四二

所變身

或云。水曜藥師也。藥者必以水爲本云。

〔裏書〕四三

西域三云

戰達羅鉢刺婆。唐言月光

〔裏書〕四四

大師御本尊

仁和寺北院藥師像

白檀六寸像。光中造七佛藥師。日光月光座邊十二大將

件像。大御御持佛云。

或云。大師入唐時。爲除風波難奉造立給像也。北院燒失時。自瓦下奉求出云。

心覺云。大御室傳見

件傳。同房卿撰也

傳教本尊

傳教大師傳云。延曆二十二年閏十月二十三日。於大宰府龍門山寺爲迴船平達敬檀像。造藥師佛四軀。高六尺餘。其名々號無勝淨土善名稱吉祥王如來云。

或云。件像持寶珠。義釋中通佛所持云。

別譯軌云。藥師像。左手令執藥器。亦名無價珠。右令作結三界印。一著袈裟結跏趺坐。令安坐蓮下十二神將云。

醍醐左手以大指三界印。可尋

〔圖像〕三二

〔裏書〕四五

藥師像事



覺禪錄卷第三
持鈴錫杖

昨迦陀野軌云。藥師佛坐寶蓮花座。其形金色烏瑟相也。左手取寶印置左膝上。右手取葡萄云。

藏書四六

灌頂經十二云。鬼神有十二神王。○名金毘羅神和耆。一安陀。一摩尼。一宋林。一因持。一彌佉。一婆耶。一摩休。一真陀。一照頭。一毘伽。一藥師經疏。十二神事可見理抄也。七千藥又。

十二神將一體別領七千藥又都合八萬四千藥又也。八萬四千鬼病。即八萬四千煩惱云。

疏云。當察十二時。何時數來。隨其來時。即此將也。若寅是虎。乃至丑是牛。又一時爲三。十二時即三十六將。○更於一中開三。即有一百八時云。或記云。行基菩薩造印佛軌其法。始以十二神爲諸聖化。西神西。阿彌陀左右有戊申神。戊觀音申勢至云。卯神有東藥師云。餘方准之可知云。地心經偽經也。十二神爲佛菩薩云。

十二神將事

大集經二十五云。善男子。閻浮提外。東方海中有瑠璃山。名之爲湖。高二十由旬。具種種寶。其山有窟。名種種色。昔菩薩所住之處。縱廣一由旬。高六由旬。有一毒蛇。在中而住。修聲聞

慈。復有一窟。名曰無死。縱廣下如是。菩薩昔所住處。中有一馬。修聲聞慈。復有一窟。名曰善住處。廣高如是。菩薩昔所住處。中有一羊。修聲聞慈。其山樹神名曰無勝。有羅刹女。曰善行。各有五百眷屬。圍遶。是二女人常供養三獸。鳥南方海中有頗梨山。高二十由旬。○有窟。曰上色。廣高如是。菩薩昔所住處。有一猴。修聲聞慈。復有一窟。曰誓願。廣高如是。菩薩昔所住處。中有一雞。修聲聞慈。復有一窟。曰法林。廣高同。菩薩昔所住處。中有一犬。修聲聞慈。有羅刹女。曰眼見。各五百眷屬。是二女人供養三鳥獸。西方海中有一銀山。名菩提。高二十由旬。一窟曰金剛。廣高同。菩薩昔所住處。中有一猪。中有一窟。名香功德。廣高同。菩薩昔所中有一鼠。修聲聞慈。有一窟。廣高菩薩本所。有一牛。○山有風神。曰動風。○二女供養。北方海中有金山。名功德相。高二十由旬。有一窟。爲明星。高廣同。菩薩昔所住。有一師子。聲聞慈。有一窟。曰淨道。廣高有一兔。一。有一窟。曰喜樂。有一龍。山有水神。是十二獸。晝夜常行閻浮提內。人天恭敬。功德成就。○一日一夜。常令一獸遊行。餘十一獸安住。修慈。○復七月一日。鼠初遊行。以聲聞乘教化一切鼠身衆生。令離惡業。勸修善事。○

次第至十三日。鼠復還送行。如是。乃至盡十二月。至十二歲。亦復如是。云初文云。

娑婆世界惡土地

釋迦在中宣說法

若欲獲得無量利

應當往彼娑婆界文

藏書四七

面十二神將形者。雖違持物本說。相叶形像。故圖之。書本記云。斯圖者。良因寺別當宣譽公。於山階寺天井上附見之。依好此業。更被傳授。雖不知誰筆。甚以獲麟也。仍不勝感悅。速加修補。爲後代規模而已。

永保二年戊戌八月十三日記

藏書四八

或人記云。保延三年。御讀經童子經

寶月如來御念誦三口

易產陀羅尼三口

寶月如來何尊乎

諸僧迷惑請書。通憲沙汰也

七佛中。寶月智嚴光音自在王如來

文

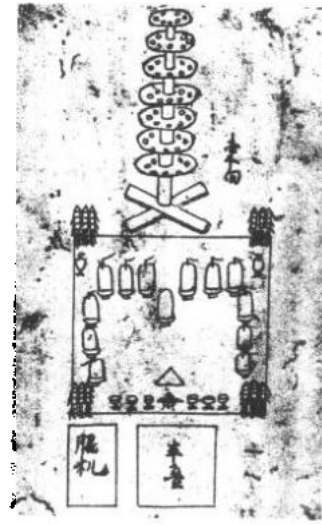
八大願之中第三願歟

藏書四九

三五色幡燃四十九燈
佛供十五坏七坏本尊十二坏十二神一坏
七千藥又除本尊餘有臘燭

【藏書】五〇

賢覺法眼勤修圖。每幅續命神幡書付云、



【藏書】五一

實勝云。鼻上愛點得官位。三縛日杵左引點○得富饒。三○藥。右膺點○得長壽。鉢印大呪云、金剛智軌云。此即如意寶成諸事業云、

【藏書】五二

口云。藥師之定印無說所云、後日尋之處或抄云。藥師印定印也。七佛經下卷見入定云、

本尊印 醍醐

左手以大指捻頭指端置臍。右手如左立臂向外、

【藏書】五三

阿伽陀藥方 實勝
囉婆善那人莧菜根名取二兩。杭米

汁及蜜和為丸。以馬頭心呪二十一返分血小丸如梧子服之。男女鼻凡恒出血者服之除愈。婦女止月水云、

三藥

或云。舉三藥者。謂以理智教三藥除衆生業病鬼病四大病之三也。以善根藥治業病。以呪藥治鬼病以醫藥治四大病。又以三身藥治三病。可知之

十二願妙藥 亮惠

第一願藥。阿說陀樹。此云無罪樹。菩提樹也。遶三匝滅罪障。又觀佛經云。雪山有樹名殃伽陀。其菓甚大。凡夫食之成阿羅漢云、

第二藥。琉璃中現衆生骨魚骨等髓見病。所授藥灸瘡之

第三藥。如意珠。一百由旬中離痛苦

第四藥。淨莊嚴香。若燒一丸令諸天心念佛云、

第五藥。蓮花藏香。如麻子重閭浮者離一切罪戒品清淨云、

第六大願藥。阿伽陀等種、藥草

第七藥。大菩薩藏經云。雪山有大藥

王名毘伽摩。聞其聲毒熱消。諸惡毒

皆無勢力。但聞塗鼓之聲。諸毒消滅

第八藥。雄黃等胎女帶之腹中女子

轉成男子云、

第九藥。象藏香。離諸憂苦意清淨云。又阿盧那香。其心決定離染著云、

第十藥。滅除藥塗鼓具一
首楞嚴經說也。世間神藥其力如是。況佛法願力乎。發聲衆生身中拔箭等

玄贊要集云。波斯匿王鼓名甘露。國人有病苦擊之皆愈。一佛法如鼓名○佛宣說時如杖擊之、

第十一藥。諸仙藥

第十二藥。願奪意香。燒之普雨諸莊嚴具云、

【藏書】五四

定賢法務御口云。金阿闍胎般若菩薩。金字胎到云、

賢覺法眼云。種。三鐵鎖。印轉法輪印也。依無能勝歟

眞言如常

伴僧御加持。戶魯、呪云、柿袋云云。可尋

【藏書】五五

心前有咒字。變成淨琉璃世界。其上有大宮殿。以七寶莊嚴。其中有大曼荼羅壇。中云。成就院

【藏書】五六

師子座

大原云。藥師行者向東。種子金色。大海中有寶山。上有樓閣。內師子座。上有八葉蓮花。中有種

〔表膏〕
五七

藏書
五八

五九

裏書
六〇

年
月
日
大法師

表六 一

法轉釋者之約末

如來名號云

裏書 六二

作惡。男天筆常乾。女天筆常濕云々

二者方寸相變，靈在寸竹，故無曲之或失容相。

又唐本持鉢錫杖

又左手持鉢十二右手施無畏已上什說
理性房法眼覺中堂藥師立像左手與願右

又勝定房阿闍梨口傳云古京像右施
無畏左與願不持壺與釋迦同從古所傳

私云中盤佛與西塔
釋迦同即事可尋

（裏書六五）

印明

二羽內相又兩腕稍相去五寸許二大
來去散頂什說

香隆寺僧正記云左手開置臍下以右
手重上二大指相柱觀者掌上有針中有十

大御室御說大旨同上但法界定印上
想有藥壺云

私云香隆寺印上觀鉢若爾者以針可
用三昧耶敷

賢覺法眼云小野僧正傳云法界定印
上想有藥壺是大師御傳也云內府法眼

已上大御室香隆寺小野僧正惠什闍
梨等用根本呪

消災軌云根本之密印

二羽內相又兩腕稍相去開張二三寸禪
智而來去用根本呪

彼軌批記云大宋國左街天壽寺惠文阿
闍梨口請傳瑞拱二年正月八日庚寅求尋

得寫了日本國入唐五臺山巡禮賜紫沙
門祚壹將來或人云愛宕山之祚一阿闍梨

或記云慈覺大師云左右頭指以下八指
反又入於掌中兩腕相去五寸許二大來

去云
智證大師云佛部心印也即前印不離腕
也云

有云鎖印云有云轉法輪印云
私云師曰慈覺大師傳是陀羅尼集經之

說也兩腕相去者左右掌相離也八指反
又者以內縛云反又也兩三處有之

今案其意指本直申而屈之云反敷非必
二手相背云反又最秘云（裏書六七）

先德或云轉法輪印或云鎖印等者恐不
得反又之文意致其誤敷

有云用金輪佛頂印隨願陀羅尼藥師佛
從頂放光中說之故用佛頂印也有向難

醍醐大僧都玄海抄云或云無能勝藥師
釋迦藥師種三形五古印佛部明戶

喻々是無能勝々釋迦々鉢印等
用之是釋迦藥師敷已上（裏書六八）

齊抄云藥師印定惠開仰二水相鉤二火
背立合以二空押二地甲二風端柱成三

角或金龜
或云以金剛鎖菩薩印明為藥師印明胎如

或云此尊攝何部耶謂佛頂部攝成覺時
於頂肉髻中放大光明々々中演說大陀

羅尼故也是故師云用光聚佛頂印
先德云可用金輪佛頂印云

私云是惠什闍梨記敷

或云或唐書云藥師呪其等印合二

陀羅尼集經第二云藥師琉璃光佛印呪
第二十五以左右手頭指以下八指反又

入於掌中右押左兩腕相去五寸許以二
大指來去呪曰

唵一呼盧々二戰駄音利三摩橙祇四

沙訶五
是法印呪若有人等多諸罪障及諸婦女

難月產厄願欲轉禍求福并患鬼神病難
差者以五色線而作呪索用繫病人項及

手足腰腹等處
藥師琉璃光佛大陀羅尼呪曰前印用

那謨囉但那二路羅二夜野一那謨金毘
羅二和耆羅三彌伽羅四安陀羅五摩陀

羅六素藍羅七因達羅八婆耶羅九摩休
羅十真特羅十一照頭羅十二毘伽羅十三那謨

毘舍闍瞿留十四留離耶十五鉢羅頗闍音去

耶六路姪他七唵毘舍是毘舍是毘舍闍
八娑摩揭帝九莎奇

是法印呪佛在維耶離樂音樹下與三萬
六千人俱及十二神王○是即名為結願

神呪文
七佛藥師經下云義淨藥師琉璃光如來

得菩提時由本願力○入三摩地名曰滅
除一切衆生苦惱既入定已於肉髻中出

大光明光中演說大陀羅尼呪曰
南謨薄伽伐帝轉殺社寶嚕嚕鉢刺

婆曷囉闍也咀姪他唵轉殺逝轉利逝轉
利社三沒揭帝莎哥

爾逝 爾逝

曳合 曳文

佩韓 陪

殺利 麗

紫杜 爾

野合 迦文

三三 三三

摩沒 母

帝揭 識

娑莎 娑莎

賀引訶 訶

日光月光印明事

日光菩薩印明

月光菩薩印明

已上先師成蓮院說也

云如月天印明用月光菩薩事且可然如

光菩薩印明用日光菩薩頓荒冷事歟

私出證云攝真實經中卷云復次觀金剛

威德菩薩行者自想我身是日光天子文

彼經光菩薩名金剛威德云愛知金剛

界光菩薩即日光天子也以本迹之義可

會其異同歟

私云日光菩薩也光鉢羅婆月寶鈴

惠什記云

日光不啻蘇利耶波羅嚩耶ソハカ

月光不啻戰戰羅波羅嚩耶ソハカ

或人云

日光 南無勃陀羅耶迷一南無達磨莫

誦南無僧伽多也泥底哩部畢薩

反沒咄咄反沒擔平納摩

尼經與有之

因低帝屠蘇吒阿惹密吒烏都吒

具耆吒婆賴帝吒耶彌惹吒烏都

吒陀羅帝吒耆摩吒莎奇私云三井

十二神將總印

尼集經

攝真實經云俱誑平羅引野婆婆訶

玄非經云此法門名說藥師琉璃光如來

本願功德亦名說十二神將饒益有情結

願神呪私云以之為結願

又云十二神將呪用前大陀羅尼印同什說又

已上成就院僧正

徽岳延懷開梨云十二神將內縛地水合

堅或說用諸藥又呪

用大陀羅尼底俱魯ソハカ是無動寺和尚示給

三昧和上傳歟已

現第五十二以右手四指向下鉤左手四

指其二指直怒二大來去呪曰

唵一俱毘羅二莎訶三

十二神將在藥師淨土歟在釋尊說法之

座歟

兩卷下云爾時衆中有十二藥又大將俱

在會坐○各有七千藥又以爲眷屬○白

佛言我等今者蒙佛威力得聞七佛名號

於諸惡趣無復畏文

私云無藥師之淨土歟

結願神呪事

私云七佛藥師經以十二神呪爲

智證大師說云結願神呪者青龍和尚云

以五色線作索即書十二大將名一一結

於線中限若干日要期滿願了稱意訖便

解結也丁餘一度餘可爾

長宴僧都口決云陀羅尼集經以呼盧

一呪爲結願神呪本願經以十二神呪爲

結願神呪新渡軌以大陀羅尼神將爲結

願神呪小軌同之不空軌以婆伽婆帝呪

爲結願神呪已上四十帖

壇場莊嚴等卷數支度功能等在別

本尊

陀羅尼集經云一軀諸軌等同之

玄井譯云藥師七軀

義淨譯二卷經云七佛若隨一

轉經等

本願經云如法書寫安置壇中云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

消災軌云。日轉經四十九遍

集經云。轉經四十九遍

本願。七佛兩經同集經

續命幡

本願經云。五色續命神幡。長四十九

探手

成院云。幡立成五。以黃色為中。又說黃亦白。青黑。但是五色。成院式。三丈四尺五寸。

寶覺云。五色幡可寄付續命神幡也。

七佛經云。長幡四十九尺。集經同之。

成院云。長五尺餘。許也以五色絹二丈作道場四面圍懸之。

小幡

七佛經云。造新綵幡四十九首。并一長幡。

本願。并集經不說小幡

輪燈

燈

集經云。四十九燈作七層形如車輪。安置像前。

本願經云。燃四十九燈。七層像前各置七燈。一燈量大如車輪。

成院云。即七佛藥師別行也。

七佛經大旨同之

五色線

本願經云。十二夜又白佛言。讀誦此經。以五色線結我名字。得如願已。然後解結。

兩卷經同之

集經二云。作呪索法。得線未搓。即燒名香。發願已。呪四十九遍。香烟薰竟。搓線作索。呪聲莫絕。搓作索已。以印柱之。更

呪其索四十九遍。然後復結作四十九結。一呪一結。數足即止。應將此索繫彼人身。

私云。印者前所出之二大來去印。呪者十二神將呪歟。

繫身者。項及手足腰腹等也。具見經文。

放生

本願。七佛集經全同。謂放四十九生。

消災軌云。放水陸衆生日滿四十九。

日時

本願經云。晝夜六時禮拜供養彼藥師琉璃光如來。四十九日光明不絕。

佛經大旨同。但四十九夜云。

不空軌云。像前念誦四十九日間。若三七日。請來。

集經云。若一日夜三日七日若七。日以晝兼夜。

修僧員

消災軌云。須請七僧。

或人云。七口。一人大阿闍梨。二人讀經。四人念誦云。

護摩壇。小壇等

成就院云。護摩壇小壇等隨宜壇樣

消災軌云。方圓隨本意

賢覺云。忌災增益修之

供養物

集經云。種。香花飲食蘇蜜胡麻人參

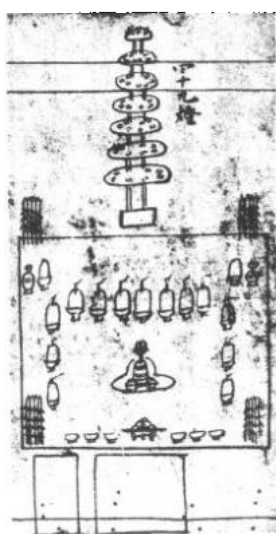
等抄

賢覺法眼云。佛供十五。二坏本尊。十二坏

總供也

本尊二坏之外可有臘燭

淨衣



理性房法眼

賢覺傳云。藥壺根本密印。大師結法界定印。觀如

明

讚。滿月界等云。

壇樣如右

五色幡。每幡可寄付

四十九燈。佛供十五。二坏本尊。十二坏。除本尊二坏餘十三坏可有蠟燭云。

權僧正。勝覺。先年御不例時。如此圖樣令

修。殊有法驗。除病延命云。以宗命法眼

私云。藥師法用蠟燭事。可尋先

讚

歸命滿月界

法藥救人天

慈悲弘誓廣

我今申讚揚

已上漢語讚。出消災軌

淨妙瑠璃尊

因中十二願

願度諸含生

志心頭面禮

又讚
薩喇勃駄囊薩喇爾奈入迦盧恒麼合二
羅訶引都迷俱嚕吠呌里也合入嚕羅引
合二、、但他讚多摩訶捺耶就辨才成養
謨悉羯羅羅命
已上名結讚別渡也
是延後說也

阿闍藥師同異事大佛頂如上

（裏書七五）

理趣釋云其五佛者即盡虛空遍法界無
盡無餘佛聚成此五身也
仁海僧正奏狀云大塔五佛中尊大日
四佛藥師寶生無量釋迦已上

七佛藥師事

△問云前六佛不名藥師何云七佛藥
師法乎悉依玄昇譯之經意歟

藥師琉璃光七佛本願功德經上卷 義
淨

（裏書七六）

一善名稱吉祥王如來世界名無勝東方
去此四兢伽沙佛土初發心時發八大願
第一大願○若有衆生爲諸病苦逼切
其身熱病諸瘡癰道癰魅起屍鬼等之
所惱害若能至心稱我名者由是力故
所有病苦悉皆消滅乃至證得無上菩
提

第二大願○若有衆生盲聾瘡癰白癩
癰狂衆病所困若能至心稱我名者由
是力故諸根具足衆病消滅乃至菩提
第三大願○若有衆生爲貪瞋癡之所
纏逼造無間罪及諸惡行離誹謗正法
不修衆善當墮地獄受苦若至

心稱我名者由是力故令無間罪及諸
業障悉皆消滅無有衆生墮惡趣者常
受人天殊勝安樂乃至菩提
第四大願○若有衆生少乏衣食瓔珞
臥具財貨珍寶香花伎樂若能至心稱
我名者由是力故所乏資生皆得充足
乃至菩提

第五大願○若有衆生或被枷繫縛其
身及以鞭撻受諸苦惱若能至心稱我
名者由是力故所有苦皆得解脫乃至
菩提

第六大願○若有衆生放險難處爲諸
惡獸熊羆獅子虎豹豺狼蛇蠍蠚之
所侵惱欲斷其命發聲大叫受此苦時
若能至心稱我名者由是力故所有恐
怖皆得解脫諸獸等悉起慈心常得安
樂乃至菩提

第七大願○若有衆生鬭諍言訟因生
憂惱若能至心稱我名者由是力故訟
解散慈心相向乃至菩提

第八大願○若有衆生入於江海遭大
惡風吹其舫無有洲渚而作歸依極生
憂怖若能至心稱我名者由是力故皆
得隨心至安穩處受諸快樂乃至菩提

二寶月智嚴光音自在王如來世界名妙
寶五恒沙八大願
三金色寶光妙行成就如來世界名圓滿
香積六恒沙四大願

四無憂最勝吉祥、、世界名無憂七恒

沙四大願
五法海雲音、、世界名法障八恒沙四
大願

六法海勝惠遊戲神通、、世界名善住
寶海九恒沙四大願
七藥師琉璃光、、世界名淨琉璃十恒
沙十二大願

晝夜六時恭敬禮拜七佛如來○造彼
如來形像七軀○若於此七佛之中隨
其一佛稱名供養者得如是無量功德
所求願滿何況盡能具足供養

玄昇譯一卷經云爾時曼殊室利○白言
世尊唯願演說如是相類諸佛名號及本
大願殊勝功德令諸聞者業障消除爲欲
利樂像法轉時諸有情故

曼殊師利彼世尊藥師琉璃光如來本行
菩薩道時發十二大願令諸有情所求皆
得○晝夜六時禮拜供養彼世尊藥師瑞
璃光如來誦誦此經四十九遍燃四十九
燈造彼如來形像七軀一、像前各置七
燈

私云如是相類諸佛名號乃至造彼如
來形像七軀之文吉可思之又十二光
佛一異之文在別可見之

私問傳教大師爲渡海所造佛藥師歟
吉祥如來歟
又弘法大師御造立佛又可尋之

國史云延曆二十二年潤十月二十三日
最澄和上於太宰府龍門山寺爲渡海四

船平達敬造檀像藥師佛四軀高六尺餘其
其名號無勝淨土善名稱吉祥王如來文
什闍梨記云傳教造立善名稱佛持寶珠
云、御筆書云七佛藥師法

彼經曰若有人稱念藥師佛名七難九橫
皆悉消滅十二藥叉晝夜守護文
大御室御傳云匡房弘法大師渡海之時

爲祈風波自造立白檀藥師像今仁和寺
喜多院佛是云、

或人參入故宇治入道殿申請大師御筆
之像給額一面藥師如來長四寸許

七佛陀羅尼事

義淨經下云有神呪名曰如來定力瑠璃
光○時七如來以一音聲即說呪曰

咀姪他具謎具謎翳尼謎賦綱上末底末
底敷須怛他揭多三摩地頌提瑟毗帝頌

帝末帝波例波跋輸但爾薩婆波跋耶世
也勃啼勃圖唱答謎郎謎短謎佛譯器恒

羅鉢哩輸但爾曇謎呢曇謎、嚕謎嚕謎
嚕尸竭嚕薩婆哥羅密栗頌丁尼婆嚕爾

勃提蘇勃勝佛陀頌提瑟住泥娜曷路叉
親謎薩婆提婆三謎頌三謎三曼媛和漢

園親謎薩婆佛陀善提薩埵苦謎苦謎鉢
喇苦曼親謎薩婆伊底鵠婆達婆薩婆里

何大也薩婆薩埵難者輔闍泥哺嚕泥上
哺嚕也謎薩婆阿舍薛琉璃也鉢嚕底細

薩婆波跋差揭羯囉莎奇

善名稱等七佛皆坐師子座事

七佛經下云爾時釋迦牟尼如來入鷲名

一切如來深禪寄彼七如來○各從其國
來至索訶世界○各、自於天寶莊嚴師
子座上隨處安座文
消災軌云師子座眞言曰云、

私云阿闍軌云境中師子座云、
五佛之儀式以象爲座令居中臺之時
坐師子座歟

療瘡病呪事

義淨經下云爾時執金剛菩薩釋梵四天
○自立要誓即說呪曰

恒姪他惡婆莫婆哩羅婆麼、婆具嚕訶
呼去薩去末羅末羅末羅緊樹嚕布嚕莎

若有淨信男子女人國王、子大臣補相
中宮姪女誦七佛名及此神呪讀誦書寫

恭敬供養現世皆得無病長壽離諸苦惱
不墮三途得不退轉乃至菩提○苦患鬼

瘡等病當書此呪繫之時後病若差已置
清淨處文

或人云男左肘女右云、
弘法大師御筆本云瘡病呪曰其本在小野經藏

𑖀𑖡𑖣𑖤𑖥𑖦𑖧𑖨𑖩𑖪𑖫𑖬𑖭𑖮𑖯𑖰𑖱𑖲𑖳𑖴𑖵𑖶𑖷𑖸𑖹𑖺𑖻𑖼𑖽𑖾𑗀𑖿𑗁𑗂𑗃𑗄𑗅𑗆𑗇𑗈𑗉𑗊𑗋𑗌𑗍𑗎𑗏𑗐𑗑𑗒𑗓𑗔𑗕𑗖𑗗𑗘𑗙𑗚𑗛𑗜𑗝𑗞𑗟𑗠𑗡𑗢𑗣𑗤𑗥𑗦𑗧𑗨𑗩𑗪𑗫𑗬𑗭𑗮𑗯𑗰𑗱𑗲𑗳𑗴𑗵𑗶𑗷𑗸𑗹𑗺𑗻𑗼𑗽𑗾𑗿𑘀𑘁𑘂𑘃𑘄𑘅𑘆𑘇𑘈𑘉𑘊𑘋𑘌𑘍𑘎𑘏𑘐𑘑𑘒𑘓𑘔𑘕𑘖𑘗𑘘𑘙𑘚𑘛𑘜𑘝𑘞𑘟𑘠𑘡𑘢𑘣𑘤𑘥𑘦𑘧𑘨𑘩𑘪𑘫𑘬𑘭𑘮𑘯𑘰𑘱𑘲𑘳𑘴𑘵𑘶𑘷𑘸𑘹𑘺𑘻𑘼𑘽𑘾𑘿𑙀𑙁𑙂𑙃𑙄𑙅𑙆𑙇𑙈𑙉𑙊𑙋𑙌𑙍𑙎𑙏𑙐𑙑𑙒𑙓𑙔𑙕𑙖𑙗𑙘𑙙𑙚𑙛𑙜𑙝𑙞𑙟𑙠𑙡𑙢𑙣𑙤𑙥𑙦𑙧𑙨𑙩𑙪𑙫𑙬𑙭𑙮𑙯𑙰𑙱𑙲𑙳𑙴𑙵𑙶𑙷𑙸𑙹𑙺𑙻𑙼𑙽𑙾𑙿𑚀𑚁𑚂𑚃𑚄𑚅𑚆𑚇𑚈𑚉𑚊𑚋𑚌𑚍𑚎𑚏𑚐𑚑𑚒𑚓𑚔𑚕𑚖𑚗𑚘𑚙𑚚𑚛𑚜𑚝𑚞𑚟𑚠𑚡𑚢𑚣𑚤𑚥𑚦𑚧𑚨𑚩𑚪𑚫𑚬𑚭𑚮𑚯𑚰𑚱𑚲𑚳𑚴𑚵𑚷𑚶𑚸𑚹𑚺𑚻𑚼𑚽𑚾𑚿𑛀𑛁𑛂𑛃𑛄𑛅𑛆𑛇𑛈𑛉𑛊𑛋𑛌𑛍𑛎𑛏𑛐𑛑𑛒𑛓𑛔𑛕𑛖𑛗𑛘𑛙𑛚𑛛𑛜𑛝𑛞𑛟𑛠𑛡𑛢𑛣𑛤𑛥𑛦𑛧𑛨𑛩𑛪𑛫𑛬𑛭𑛮𑛯𑛰𑛱𑛲𑛳𑛴𑛵𑛶𑛷𑛸𑛹𑛺𑛻𑛼𑛽𑛾𑛿𑜀𑜁𑜂𑜃𑜄𑜅𑜆𑜇𑜈𑜉𑜊𑜋𑜌𑜍𑜎𑜏𑜐𑜑𑜒𑜓𑜔𑜕𑜖𑜗𑜘𑜙𑜚𑜛𑜜𑜝𑜞𑜟𑜠𑜡𑜢𑜣𑜤𑜥𑜦𑜧𑜨𑜩𑜪𑜫𑜬𑜭𑜮𑜯𑜰𑜱𑜲𑜳𑜴𑜵𑜶𑜷𑜸𑜹𑜺𑜻𑜼𑜽𑜾𑜿𑝀𑝁𑝂𑝃𑝄𑝅𑝆𑝇𑝈𑝉𑝊𑝋𑝌𑝍𑝎𑝏𑝐𑝑𑝒𑝓𑝔𑝕𑝖𑝗𑝘𑝙𑝚𑝛𑝜𑝝𑝞𑝟𑝠𑝡𑝢𑝣𑝤𑝥𑝦𑝧𑝨𑝩𑝪𑝫𑝬𑝭𑝮𑝯𑝰𑝱𑝲𑝳𑝴𑝵𑝶𑝷𑝸𑝹𑝺𑝻𑝼𑝽𑝾𑝿𑞀𑞁𑞂𑞃𑞄𑞅𑞆𑞇𑞈𑞉𑞊𑞋𑞌𑞍𑞎𑞏𑞐𑞑𑞒𑞓𑞔𑞕𑞖𑞗𑞘𑞙𑞚𑞛𑞜𑞝𑞞𑞟𑞠𑞡𑞢𑞣𑞤𑞥𑞦𑞧𑞨𑞩𑞪𑞫𑞬𑞭𑞮𑞯𑞰𑞱𑞲𑞳𑞴𑞵𑞶𑞷𑞸𑞹𑞺𑞻𑞼𑞽𑞾𑞿𑟀𑟁𑟂𑟃𑟄𑟅𑟆𑟇𑟈𑟉𑟊𑟋𑟌𑟍𑟎𑟏𑟐𑟑𑟒𑟓𑟔𑟕𑟖𑟗𑟘𑟙𑟚𑟛𑟜𑟝𑟞𑟟𑟠𑟡𑟢𑟣𑟤𑟥𑟦𑟧𑟨𑟩𑟪𑟫𑟬𑟭𑟮𑟯𑟰𑟱𑟲𑟳𑟴𑟵𑟶𑟷𑟸𑟹𑟺𑟻𑟼𑟽𑟾𑟿𑠀𑠁𑠂𑠃𑠄𑠅𑠆𑠇𑠈𑠉𑠊𑠋𑠌𑠍𑠎𑠏𑠐𑠑𑠒𑠓𑠔𑠕𑠖𑠗𑠘𑠙𑠚𑠛𑠜𑠝𑠞𑠟𑠠𑠡𑠢𑠣𑠤𑠥𑠦𑠧𑠨𑠩𑠪𑠫𑠬𑠭𑠮𑠯𑠰𑠱𑠲𑠳𑠴𑠵𑠶𑠷𑠸𑠺𑠹𑠻𑠼𑠽𑠾𑠿𑡀𑡁𑡂𑡃𑡄𑡅𑡆𑡇𑡈𑡉𑡊𑡋𑡌𑡍𑡎𑡏𑡐𑡑𑡒𑡓𑡔𑡕𑡖𑡗𑡘𑡙𑡚𑡛𑡜𑡝𑡞𑡟𑡠𑡡𑡢𑡣𑡤𑡥𑡦𑡧𑡨𑡩𑡪𑡫𑡬𑡭𑡮𑡯𑡰𑡱𑡲𑡳𑡴𑡵𑡶𑡷𑡸𑡹𑡺𑡻𑡼𑡽𑡾𑡿𑢀𑢁𑢂𑢃𑢄𑢅𑢆𑢇𑢈𑢉𑢊𑢋𑢌𑢍𑢎𑢏𑢐𑢑𑢒𑢓𑢔𑢕𑢖𑢗𑢘𑢙𑢚𑢛𑢜𑢝𑢞𑢟𑢠𑢡𑢢𑢣𑢤𑢥𑢦𑢧𑢨𑢩𑢪𑢫𑢬𑢭𑢮𑢯𑢰𑢱𑢲𑢳𑢴𑢵𑢶𑢷𑢸𑢹𑢺𑢻𑢼𑢽𑢾𑢿𑣀𑣁𑣂𑣃𑣄𑣅𑣆𑣇𑣈𑣉𑣊𑣋𑣌𑣍𑣎𑣏𑣐𑣑𑣒𑣓𑣔𑣕𑣖𑣗𑣘𑣙𑣚𑣛𑣜𑣝𑣞𑣟𑣠𑣡𑣢𑣣𑣤𑣥𑣦𑣧𑣨𑣩𑣪𑣫𑣬𑣭𑣮𑣯𑣰𑣱𑣲𑣳𑣴𑣵𑣶𑣷𑣸𑣹𑣺𑣻𑣼𑣽𑣾𑣿𑤀𑤁𑤂𑤃𑤄𑤅𑤆𑤇𑤈𑤉𑤊𑤋𑤌𑤍𑤎𑤏𑤐𑤑𑤒𑤓𑤔𑤕𑤖𑤗𑤘𑤙𑤚𑤛𑤜𑤝𑤞𑤟𑤠𑤡𑤢𑤣𑤤𑤥𑤦𑤧𑤨𑤩𑤪𑤫𑤬𑤭𑤮𑤯𑤰𑤱𑤲𑤳𑤴𑤵𑤶𑤷𑤸𑤹𑤺𑤻𑤼𑤽𑤾𑤿𑥀𑥁𑥂𑥃𑥄𑥅𑥆𑥇𑥈𑥉𑥊𑥋𑥌𑥍𑥎𑥏𑥐𑥑𑥒𑥓𑥔𑥕𑥖𑥗𑥘𑥙𑥚𑥛𑥜𑥝𑥞𑥟𑥠𑥡𑥢𑥣𑥤𑥥𑥦𑥧𑥨𑥩𑥪𑥫𑥬𑥭𑥮𑥯𑥰𑥱𑥲𑥳𑥴𑥵𑥶𑥷𑥸𑥹𑥺𑥻𑥼𑥽𑥾𑥿𑦀𑦁𑦂𑦃𑦄𑦅𑦆𑦇𑦈𑦉𑦊𑦋𑦌𑦍𑦎𑦏𑦐𑦑𑦒𑦓𑦔𑦕𑦖𑦗𑦘𑦙𑦚𑦛𑦜𑦝𑦞𑦟𑦠𑦡𑦢𑦣𑦤𑦥𑦦𑦧𑦨𑦩𑦪𑦫𑦬𑦭𑦮𑦯𑦰𑦱𑦲𑦳𑦴𑦵𑦶𑦷𑦸𑦹𑦺𑦻𑦼𑦽𑦾𑦿𑧀𑧁𑧂𑧃𑧄𑧅𑧆𑧇𑧈𑧉𑧊𑧋𑧌𑧍𑧎𑧏𑧐𑧑𑧒𑧓𑧔𑧕𑧖𑧗𑧘𑧙𑧚𑧛𑧜𑧝𑧞𑧟𑧠𑧡𑧢𑧣𑧤𑧥𑧦𑧧𑧨𑧩𑧪𑧫𑧬𑧭𑧮𑧯𑧰𑧱𑧲𑧳𑧴𑧵𑧶𑧷𑧸𑧹𑧺𑧻𑧼𑧽𑧾𑧿𑨀𑨁𑨂𑨃𑨄𑨅𑨆𑨇𑨈𑨉𑨊𑨋𑨌𑨍𑨎𑨏𑨐𑨑𑨒𑨓𑨔𑨕𑨖𑨗𑨘𑨙𑨚𑨛𑨜𑨝𑨞𑨟𑨠𑨡𑨢𑨣𑨤𑨥𑨦𑨧𑨨𑨩𑨪𑨫𑨬𑨭𑨮𑨯𑨰𑨱𑨲𑨳𑨴𑨵𑨶𑨷𑨸𑨹𑨺𑨻𑨼𑨽𑨾𑨿𑩀𑩁𑩂𑩃𑩄𑩅𑩆𑩇𑩈𑩉𑩊𑩋𑩌𑩍𑩎𑩏𑩐𑩑𑩒𑩓𑩔𑩕𑩖𑩗𑩘𑩙𑩚𑩛𑩜𑩝𑩞𑩟𑩠𑩡𑩢𑩣𑩤𑩥𑩦𑩧𑩨𑩩𑩪𑩫𑩬𑩭𑩮𑩯𑩰𑩱𑩲𑩳𑩴𑩵𑩶𑩷𑩸𑩹𑩺𑩻𑩼𑩽𑩾𑩿𑪀𑪁𑪂𑪃𑪄𑪅𑪆𑪇𑪈𑪉𑪊𑪋𑪌𑪍𑪎𑪏𑪐𑪑𑪒𑪓𑪔𑪕𑪖𑪗𑪘𑪙𑪚𑪛𑪜𑪝𑪞𑪟𑪠𑪡𑪢𑪣𑪤𑪥𑪦𑪧𑪨𑪩𑪪𑪫𑪬𑪭𑪮𑪯𑪰𑪱𑪲𑪳𑪴𑪵𑪶𑪷𑪸𑪹𑪺𑪻𑪼𑪽𑪾𑪿𑫀𑫁𑫂𑫃𑫄𑫅𑫆𑫇𑫈𑫉𑫊𑫋𑫌𑫍𑫎𑫏𑫐𑫑𑫒𑫓𑫔𑫕𑫖𑫗𑫘𑫙𑫚𑫛𑫜𑫝𑫞𑫟𑫠𑫡𑫢𑫣𑫤𑫥𑫦𑫧𑫨𑫩𑫪𑫫𑫬𑫭𑫮𑫯𑫰𑫱𑫲𑫳𑫴𑫵𑫶𑫷𑫸𑫹𑫺𑫻𑫼𑫽𑫾𑫿𑬀𑬁𑬂𑬃𑬄𑬅𑬆𑬇𑬈𑬉𑬊𑬋𑬌𑬍𑬎𑬏𑬐𑬑𑬒𑬓𑬔𑬕𑬖𑬗𑬘𑬙𑬚𑬛𑬜𑬝𑬞𑬟𑬠𑬡𑬢𑬣𑬤𑬥𑬦𑬧𑬨𑬩𑬪𑬫𑬬𑬭𑬮𑬯𑬰𑬱𑬲𑬳𑬴𑬵𑬶𑬷𑬸𑬹𑬺𑬻𑬼𑬽𑬾𑬿𑭀𑭁𑭂𑭃𑭄𑭅𑭆𑭇𑭈𑭉𑭊𑭋𑭌𑭍𑭎𑭏𑭐𑭑𑭒𑭓𑭔𑭕𑭖𑭗𑭘𑭙𑭚𑭛𑭜𑭝𑭞𑭟𑭠𑭡𑭢𑭣𑭤𑭥𑭦𑭧𑭨𑭩𑭪𑭫𑭬𑭭𑭮𑭯𑭰𑭱𑭲𑭳𑭴𑭵𑭶𑭷𑭸𑭹𑭺𑭻𑭼𑭽𑭾𑭿𑮀𑮁𑮂𑮃𑮄𑮅𑮆𑮇𑮈𑮉𑮊𑮋𑮌𑮍𑮎𑮏𑮐𑮑𑮒𑮓𑮔𑮕𑮖𑮗𑮘𑮙𑮚𑮛𑮜𑮝𑮞𑮟𑮠𑮡𑮢𑮣𑮤𑮥𑮦𑮧𑮨𑮩𑮪𑮫𑮬𑮭𑮮𑮯𑮰𑮱𑮲𑮳𑮴𑮵𑮶𑮷𑮸𑮹𑮺𑮻𑮼𑮽𑮾𑮿𑯀𑯁𑯂𑯃𑯄𑯅𑯆𑯇𑯈𑯉𑯊𑯋𑯌𑯍𑯎𑯏𑯐𑯑𑯒𑯓𑯔𑯕𑯖𑯗𑯘𑯙𑯚𑯛𑯜𑯝𑯞𑯟𑯠𑯡𑯢𑯣𑯤𑯥𑯦𑯧𑯨𑯩𑯪𑯫𑯬𑯭𑯮𑯯𑯰𑯱𑯲𑯳𑯴𑯵𑯶𑯷𑯸𑯹𑯺𑯻𑯼𑯽𑯾𑯿𑰀𑰁𑰂𑰃𑰄𑰅𑰆𑰇𑰈𑰉𑰊𑰋𑰌𑰍𑰎𑰏𑰐𑰑𑰒𑰓𑰔𑰕𑰖𑰗𑰘𑰙𑰚𑰛𑰜𑰝𑰞𑰟𑰠𑰡𑰢𑰣𑰤𑰥𑰦𑰧𑰨𑰩𑰪𑰫𑰬𑰭𑰮𑰯𑰰𑰱𑰲𑰳𑰴𑰵𑰶𑰷𑰸𑰹𑰺𑰻𑰼𑰽𑰾𑰿𑱀𑱁𑱂𑱃𑱄𑱅𑱆𑱇𑱈𑱉𑱊𑱋𑱌𑱍𑱎𑱏𑱐𑱑𑱒𑱓𑱔𑱕𑱖𑱗𑱘𑱙𑱚𑱛𑱜𑱝𑱞𑱟𑱠𑱡𑱢𑱣𑱤𑱥𑱦𑱧𑱨𑱩𑱪𑱫𑱬𑱭𑱮𑱯𑱰𑱱𑱲𑱳𑱴𑱵𑱶𑱷𑱸𑱹𑱺𑱻𑱼𑱽𑱾𑱿𑲀𑲁𑲂𑲃𑲄𑲅𑲆𑲇𑲈𑲉𑲊𑲋𑲌𑲍𑲎𑲏𑲐𑲑𑲒𑲓𑲔𑲕𑲖𑲗𑲘𑲙𑲚𑲛𑲜𑲝𑲞𑲟𑲠𑲡𑲢𑲣𑲤𑲥𑲦𑲧𑲨𑲩𑲪𑲫𑲬𑲭𑲮𑲯𑲰𑲱𑲲𑲳𑲴𑲵𑲶𑲷𑲸𑲹𑲺𑲻𑲼𑲽𑲾𑲿𑳀𑳁𑳂𑳃𑳄𑳅𑳆𑳇𑳈𑳉𑳊𑳋𑳌𑳍𑳎𑳏𑳐𑳑𑳒𑳓𑳔𑳕𑳖𑳗𑳘𑳙𑳚𑳛𑳜𑳝𑳞𑳟𑳠𑳡𑳢𑳣𑳤𑳥𑳦𑳧𑳨𑳩𑳪𑳫𑳬𑳭𑳮𑳯𑳰𑳱𑳲𑳳𑳴𑳵𑳶𑳷𑳸𑳹𑳺𑳻𑳼𑳽𑳾𑳿𑴀𑴁𑴂𑴃𑴄𑴅𑴆𑴇𑴈𑴉𑴊𑴋𑴌𑴍𑴎𑴏𑴐𑴑𑴒𑴓𑴔𑴕𑴖𑴗𑴘𑴙𑴚𑴛𑴜𑴝𑴞𑴟𑴠𑴡𑴢𑴣𑴤𑴥𑴦𑴧𑴨𑴩𑴪𑴫𑴬𑴭𑴮𑴯𑴰𑴱𑴲𑴳𑴴𑴵𑴶𑴷𑴸𑴹𑴺𑴻𑴼𑴽𑴾𑴿𑵀𑵁𑵂𑵃𑵄𑵅𑵆𑵇𑵈𑵉𑵊𑵋𑵌𑵍𑵎𑵏𑵐𑵑𑵒𑵓𑵔𑵕𑵖𑵗𑵘𑵙𑵚𑵛𑵜𑵝𑵞𑵟𑵠𑵡𑵢𑵣𑵤𑵥𑵦𑵧𑵨𑵩𑵪𑵫𑵬𑵭𑵮𑵯𑵰𑵱𑵲𑵳𑵴𑵵𑵶𑵷𑵸𑵹𑵺𑵻𑵼𑵽𑵾𑵿𑶀𑶁𑶂𑶃𑶄𑶅𑶆𑶇𑶈𑶉𑶊𑶋𑶌𑶍𑶎𑶏𑶐𑶑𑶒𑶓𑶔𑶕𑶖𑶗𑶘𑶙𑶚𑶛𑶜𑶝𑶞𑶟𑶠𑶡𑶢𑶣𑶤𑶥𑶦𑶧𑶨𑶩𑶪𑶫𑶬𑶭𑶮𑶯𑶰𑶱𑶲𑶳𑶴𑶵𑶶𑶷𑶸𑶹𑶺𑶻𑶼𑶽𑶾𑶿𑷀𑷁𑷂𑷃𑷄𑷅𑷆𑷇𑷈𑷉𑷊𑷋𑷌𑷍𑷎𑷏𑷐𑷑𑷒𑷓𑷔𑷕𑷖𑷗𑷘𑷙𑷚𑷛𑷜𑷝𑷞𑷟𑷠𑷡𑷢𑷣𑷤𑷥𑷦𑷧𑷨𑷩𑷪𑷫𑷬𑷭𑷮𑷯𑷰𑷱𑷲𑷳𑷴𑷵𑷶𑷷𑷸𑷹𑷺𑷻𑷼𑷽𑷾𑷿𑸀𑸁𑸂𑸃𑸄𑸅𑸆𑸇𑸈𑸉𑸊𑸋𑸌𑸍𑸎𑸏𑸐𑸑𑸒𑸓𑸔𑸕𑸖𑸗𑸘𑸙𑸚𑸛𑸜𑸝𑸞𑸟𑸠𑸡𑸢𑸣𑸤𑸥𑸦𑸧𑸨𑸩𑸪𑸫𑸬𑸭𑸮𑸯𑸰𑸱𑸲𑸳𑸴𑸵𑸶𑸷𑸸𑸹𑸺𑸻𑸼𑸽𑸾𑸿𑹀𑹁𑹂𑹃𑹄𑹅𑹆𑹇𑹈𑹉𑹊𑹋𑹌𑹍𑹎𑹏𑹐𑹑𑹒𑹓𑹔𑹕𑹖𑹗𑹘𑹙𑹚𑹛𑹜𑹝𑹞𑹟𑹠𑹡𑹢𑹣𑹤𑹥𑹦𑹧𑹨𑹩𑹪𑹫𑹬𑹭𑹮𑹯𑹰𑹱𑹲𑹳𑹴𑹵𑹶𑹷𑹸𑹹𑹺𑹻𑹼𑹽𑹾𑹿𑺀𑺁𑺂𑺃𑺄𑺅𑺆𑺇𑺈𑺉𑺊𑺋𑺌𑺍𑺎𑺏𑺐𑺑𑺒𑺓𑺔𑺕𑺖𑺗𑺘𑺙𑺚𑺛𑺜𑺝𑺞𑺟𑺠𑺡𑺢𑺣𑺤𑺥𑺦𑺧𑺨𑺩𑺪𑺫𑺬𑺭𑺮𑺯𑺰𑺱𑺲𑺳𑺴𑺵𑺶𑺷𑺸𑺹𑺺𑺻𑺼𑺽𑺾𑺿𑻀𑻁𑻂𑻃𑻄𑻅𑻆𑻇𑻈𑻉𑻊𑻋𑻌𑻍𑻎𑻏𑻐𑻑𑻒𑻓𑻔𑻕𑻖𑻗𑻘𑻙𑻚𑻛𑻜𑻝𑻞𑻟𑻠𑻡𑻢𑻣𑻤𑻥𑻦𑻧𑻨𑻩𑻪𑻫𑻬𑻭𑻮𑻯𑻰𑻱𑻲𑻳𑻴𑻵𑻶𑻷𑻸𑻹𑻺𑻻𑻼𑻽𑻾𑻿𑼀𑼁𑼂𑼃𑼄𑼅𑼆𑼇𑼈𑼉𑼊𑼋𑼌𑼍𑼎𑼏𑼐𑼑𑼒𑼓𑼔𑼕𑼖𑼗𑼘𑼙𑼚𑼛𑼜𑼝𑼞𑼟𑼠𑼡𑼢𑼣𑼤𑼥𑼦𑼧𑼨𑼩𑼪𑼫𑼬𑼭𑼮𑼯𑼰𑼱𑼲𑼳𑼴𑼵𑼶𑼷𑼸𑼹𑼺𑼻𑼼𑼽𑼾𑼿𑽀𑽁𑽂𑽃𑽄𑽅𑽆𑽇𑽈𑽉𑽊𑽋𑽌𑽍𑽎𑽏𑽐𑽑𑽒𑽓𑽔𑽕𑽖𑽗𑽘𑽙𑽚𑽛𑽜𑽝𑽞𑽟𑽠𑽡𑽢𑽣𑽤𑽥𑽦𑽧𑽨𑽩𑽪𑽫𑽬𑽭𑽮𑽯𑽰𑽱𑽲𑽳𑽴𑽵𑽶𑽷𑽸𑽹𑽺𑽻𑽼𑽽𑽾𑽿𑾀𑾁𑾂𑾃𑾄𑾅𑾆𑾇𑾈𑾉𑾊𑾋𑾌𑾍𑾎𑾏𑾐𑾑𑾒𑾓𑾔𑾕𑾖𑾗𑾘𑾙𑾚𑾛𑾜𑾝𑾞𑾟𑾠𑾡𑾢𑾣𑾤𑾥𑾦𑾧𑾨𑾩𑾪𑾫𑾬𑾭𑾮𑾯𑾰𑾱𑾲𑾳𑾴𑾵𑾶𑾷𑾸𑾹𑾺𑾻𑾼𑾽𑾾𑾿𑿀𑿁𑿂𑿃𑿄𑿅𑿆𑿇𑿈𑿉𑿊𑿋𑿌𑿍𑿎𑿏𑿐𑿑𑿒𑿓𑿔𑿕𑿖𑿗𑿘𑿙𑿚𑿛𑿜𑿝𑿞𑿟𑿠𑿡𑿢𑿣𑿤𑿥𑿦𑿧𑿨𑿩𑿪𑿫𑿬𑿭𑿮𑿯𑿰𑿱𑿲𑿳𑿴𑿵𑿶𑿷𑿸𑿹𑿺𑿻𑿼𑿽𑿾𑿿𑀀𑀁𑀂𑀃𑀄𑀅𑀆𑀇𑀈𑀉𑀊𑀋𑀌𑀍𑀎𑀏𑀐𑀑𑀒𑀓𑀔𑀕𑀖𑀗𑀘𑀙𑀚𑀛

反又二小指二無名指於掌中直豎
二中指頭相拄並豎二大指指二頭
指押二大指頭相拄文
又云釋迦佛頂身印第一反又左右
二無名二小指等文

〔義書〕六八

私云陀羅尼集經印即無能勝印之
事

一字軌見真言且用

〔義書〕六九

惠什闍梨云花藏院真言集出藥師
小心真言曰

唵俱嚕俱嚕旃陀梨摩登闍利莎奇

集經利字無甚難指南

〔義書〕七〇

私勘字書云晴視利又翻梵語云耆
婆可々々々時婆々々耆命也

〔義書〕七一

佛說灌頂拔除過罪生死得度經卷
十二吊尸梨密多羅譯

有八菩薩其名曰文殊師利菩薩觀
世音菩薩得大勢菩薩無盡意々々

寶檀花々々藥王々々藥上々々彌
勒々々是八菩薩欲命終之日有八

菩薩皆當飛往迎其精神不經八難
生蓮花中自然音樂而相娛樂文

義淨經云臨命終時有八菩薩乘神
通來示其去處文

笈多玄并兩經文意同之

〔義書〕七二

梵語雜名云琉璃吹努瑠野
全真記云琉璃吹努瑠野

〔義書〕七三

禮言梵語雜名云

日阿彌底也合二

月蘇哩也合二又婆薩迦

月燥引合二又婆薩迦

玄并譯經云於其國中有二菩薩○

一名日光遍照二名月光遍照是彼
無量無數菩薩之上首悉能持彼世

尊藥師琉璃光如來正法寶藏文

義淨經文意同之

密多羅譯經云一名日曜二名月溪
是二菩薩次補佛處文

〔義書〕七四

七佛藥師下云此十二藥又大將一
々各有七千藥又同時舉聲白佛言

若有此經流布○或復受持七佛名
號○我等眷屬衛護是人令脫衆難

○亦讀誦此經以五色線結我名號
得如願已然後解結文

玄奘譯經云此法門名說藥師琉璃
光如來本願功德亦名說十二神將

饒益有情結願神呪文

私云集經以十二神呪名結願神呪
歟可前後消與軌同之

〔義書〕七五

阿閼佛國經云阿閼菩薩受無上道
決時是三千大千世界中諸藥樹木

一切皆自屈低向阿閼菩薩作禮○
又云東方去是千佛刹有世界名阿

比羅提其佛名大日○爾時大日如
來授阿閼菩薩無上道決當來作佛

號名阿閼如來今現在阿比羅提世
界取意

翻梵語集云阿毗羅世界此云不作
文

普賢觀經云東方阿閼佛及妙喜國
文

〔義書〕七六

七佛經下云佛告阿難陀此經名爲
七佛本願功德○亦名曼殊室利所

問亦名藥師王山光如來本願功德
○亦名淨除一切藥障○亦名十二

大將發願護持文

覺禪鈔 七佛藥師

七佛藥師法 息災 近來增

尊同體

本願經一佛七佛經各別尊一體分身也。仍一卷二卷經題同置藥師琉璃本願經。即第七琉璃光佛名號也。又兩經見始終更無差異也。本願經形像七軀者。二卷經所說七佛也。或七佛抄云。七佛同是一體分身。隨機緣取七佛淨土成佛利生云云。七佛經云。七佛中隨其一佛稱名供養。得無量功德。何況盡能具足供養。又云。若能彼歸諸佛云。

七佛淨土

二卷經云。第一佛土曰無勝。東方過四恒不退菩薩所圍遶。安住七寶勝妙莊嚴師子座云。彼國土清淨嚴飾。廣正等百千逾那由他。蓮花化生淨信善男善女。彼佛國土云。第二妙法。過五恒伽。第三曰圓滿香積。恒河第四無憂。過七恒伽。彼佛土如西方極樂世界功德莊嚴。第五法幢。過八十恒伽。莊嚴第一佛土同之。第六善住寶海。過九恒伽。第七名淨琉璃。過十恒伽。沙佛土。藥師如來行菩薩道時。發大願。彼佛土功德莊嚴。若一劫若劫餘。說不能盡。一向清淨。無有女人。亦無惡趣。及苦音聲。琉璃為地。金繩界道。皆七寶城。亦如西方極樂世界功德莊嚴等。無差別。七佛經同之。(裏書七七)

七佛名號 付願

一善名稱吉祥王如來。發八。二寶月智嚴。

光音自在王如來。發八。三金色寶光妙行成就如來。發四。四無憂最勝吉祥如來。發四。五法海雷音如來。發四。六法海勝惠遊戲神通如來。發四。七藥師琉璃光如來。十發二大。

藥師名號

念誦法云。由本願大悲力為衆生煩惱病與法藥。故稱藥師。發菩提心勤精進。得福智莊嚴身。內外清淨如明珠。故名琉璃光。乘如實道無虛妄。真實無去來。常住不變名如來云。

藥師經疏云。藥師者是譬名藥師。隨病設藥。能令除滅一切病痛。此佛亦爾。以世出世二種妙藥。滅除衆生心身病。故言藥師云。或云。世法藥治煩惱業病。琉璃內外澄徹。四面明照云。

疏云。拔除生死之病。故名藥師。照度三有之闇。稱琉璃光。乘如實道。來成正覺。故名如來也。文。

或釋云。藥師者。應身功德也。○知衆生病與藥利益。○琉璃是法身也。光者報身也。光智惠云。

或云。藥師假觀。琉璃者。空觀。光者。中觀也。法花經六云。若持法花經者。其身其清淨如彼淨琉璃。衆生皆喜見。又如淨明鏡。悉見諸色像。菩薩於淨身。皆見世所有。○三千世界中。一切群萌。類天人阿修羅地獄鬼畜生。如是諸色像。皆於身中現。文。七佛形像。康助傳。

圖像 三三

七佛悲願

第一善名稱如來。第三願云。衆生為貪瞋癡所纏逼。造無間罪及諸惡行。傍正法。不修衆善。當墮地獄。至心稱我名者。無間罪諸業障皆消滅。常受人天勝樂。乃至菩提云。第八願云。若衆生入江海遭大惡風吹船。妨無有洲渚。○至心稱我名。至安隱處受諸快樂云。

第二寶月智嚴王如來 (裏書七八)

第一願云。若衆生為營農業及商估事。令心擾亂。廢修菩提善法。於生死中不能出離。各受無邊苦惱。至心稱我名。衣服飲食金銀珍寶。隨願宛足。善根增長。不捨離菩提心。咸蒙解脫。乃至菩提。第三願云。於十方界。若有女人貪姪煩惱。常覆心。相續有娠。深可厭惡。臨產時受大苦惱。若我名號。字暫經耳。稱念。衆苦皆除。捨此身。已常為男子。乃至菩提。文。或云。鳥羽。御新被唱寶月。如來寶號云。

第三金色寶光如來 續上說

第四願云。若有衆生。貪欲嗔恚愚癡所纏。若出家在家男女七衆。毀犯如來所制學處。造諸惡業。當墮地獄。聞我稱念。惡業消滅。斷諸煩惱。敬奉尸羅。於身語心善能防護。永不退轉。乃至菩提。文。



第四最勝吉祥如來

第四願云。若有衆生。常爲藥叉諸惡鬼神之所燒亂。其精氣受諸苦惱。若聞我名。至心稱念。由是力故。諸藥叉等悉皆消散。各起悲心。解脫衆苦。乃至菩提。

第五法海如來

第二願云。若衆生在邊地。由近惡友造諸罪業。不修善品。三寶名號不經耳。命終之後墮三惡趣。彼衆生暫聞我名。業障消除。遇善知識。乃至菩提云。

第四願云。衆生由先業惡。闢諍作不饒益。弓箭刀杖互爲傷損。若聞我名。稱念。各起慈心。不損害。不善念不生。況於前人欲斷其命。常行喜捨。乃至菩提云。

第六遊戲神通如來

第一願云。有衆生造衆惡業。種植耕耘損諸生命。或復興易欺誑他人。戰陳兵戈常爲殺害。若聞我名。至心稱念。資生具不假營求。隨心滿足。常修衆善。乃至菩提。

已上七佛經上卷略抄之

第七藥師如來

發菩提心發十二大願事

止觀云願者誓也

或藥師經疏云。案十方諸佛現前授記經云。瑠璃光佛昔在凡位。名曰法藥。於提羅

山逢青龍光佛。初發心後。將入第二無數劫時。逢藥王佛。發十二上願云。

七佛藥師經疏云。阿修羅經云。瑠璃

光佛於大通智勝如來所初種善根。逢電

光如來發十二誓。此佛先生受獼猴身。獻

蜜大通佛。故第二生化生勝佛所。爲第一王子。母名分宿夫人。出家修行名密羅比丘云。

十二大願生起

本願經云行菩薩道時所發十二微妙上願云。

(藥書八〇)

藥師經疏第二云。初六對份十二者。一饒益淨穢門。即初二願淨土一切如我身故。穢土幽冥衆生皆遂意故。二世間出世間。即三四願。世間以人天乘無所乏故。出世安住三乘皆以大乘而安立故。三具戒存身門。即五六願具戒具種戒故。存身具諸根故。四除內外苦門。即七八願。外除逼切苦門。轉女身故。五解內外縛門。即九十願。內解惡見縛。外出行縛。故六至食與衣門。即十一十二願。以食法味而建立之。以妙衣等而令滿足故。第一願來世得菩提時。身光明照曜無邊世界。三十二相莊嚴其身。令一切有情如我無異。第二來世得菩提時。身如瑠璃內外明徹。光明廣大過日月。幽冥衆生悉蒙開曉。隨意作諸事業。第三得菩提時。以智惠方便令諸有情皆得無盡所受用物。皆得無盡。第四〇行邪道者。悉念安住菩提。若行聲聞獨覺乘者。以大乘安立之云。第五得菩提時。修行梵行。一切皆令得不缺。或具三聚戒。設有毀犯。聞我名已得清淨不墮惡趣云。

(藥書八一)

第六得菩提時。諸有情身下劣諸根不具。盲聾瘖瘂。種種病苦。聞我名已。一切皆得端正。無諸疾苦云。

第七〇若諸衆生衆病逼切無救無歸無

醫無藥無親無家貧窮多苦我之名號一經其耳衆病悉除身心安樂家屬資具悉皆豐足乃至證得無上菩提云。

第八〇若有女人爲女百惡之所逼惱。願捨女身。聞我名已。轉女成男。乃至得菩提云。

第九令諸有情。外道纏縛。若墮種種惡見稠林。皆當引攝。令修菩薩行。速證正等菩提云。

第十〇諸有情王法所縛。繫閉牢獄。及餘災難。凌辱身心受苦。若聞我名。以我福德威神力。故皆得解脫。一切憂苦云。

第十一〇若諸有情飢渴所惱。爲求食故造諸惡業。我名專念。上妙飲食飽足其身。後以法味畢竟安樂云。

第十二〇諸有情貧無衣服。寒熱晝夜逼惱。我名專念得種。上妙衣服。隨心令滿足云。

已上本願經說也。七佛經大略同之。

見七佛身

七佛經云。若欲見我問善惡者。應當書此經造七佛像。并執金剛菩薩像。皆於像身安佛舍利。於像前種。供養禮拜。起慈心受八齋戒。日別三時澡浴清淨。三時衣別。從白月八日至十五日。每日誦呪一百八

遍心無散亂我於夢中即自現身共爲言說隨所求者皆令滿足云

減重罪^{十二神咒功能}

集經二云若有受持能拔身中過去生死一切重罪不復還曆三途免離九橫超越衆苦十萬世界隨處安樂自在無礙若受持者日夜精勤香湯洗浴著新淨衣諸禁戒如法誦滿十萬遍若一日夜三日七日若七、日、以晝兼夜數滿百千萬遍所求從心無量獲果文又云除不至心^{別譯軌}同之

除病至菩提^{大光明功能}

七佛經下云若見男子女人有病苦者應當一心爲彼病人清淨澡漱或食或藥或無蟲水呪一百八遍與彼服食所有病苦悉皆消滅若有所求至心念誦皆得如意無病延年命終之後生彼世界得不退轉乃至菩提云

木像功能

本願經云若有淨信善男善女欲供養藥師如來應先造立彼佛形像敷清淨座散花燒香以幢幡莊嚴此處七日七夜受八齋戒澡浴香潔著新淨衣應生無濁心無害心於一切有情起慈悲平等心○右邊佛像復念佛誦經思惟其義隨所願求長壽得長壽求富饒得富饒求官位得官位求男女得男女

書寫讀誦功能

同本異譯云佛言我說是藥師琉璃光如來本願功德可得聞何呪得見亦難得說

難得書寫亦難得讀誦文殊師利若有善男子善女人能信是法受持讀誦書著竹帛復能爲他人解說中義此皆先世以發道意今復得聞此微妙法開化十方無量衆生當知此人必當得此無上正眞道也^{悉檀抄云餘本此功能不出云}

除惡夢怪鳥難

本願經云若有人得惡夢或怪鳥來集或於住所百怪出現此人恭敬藥師如來惡夢諸不吉祥悉隱沒或有水火刀毒惡象師子○毒蛇等怖至心意念彼佛一切怖布得解脫云

除產苦

又云有女人臨當產時受極苦若至心稱名禮讚恭敬供養彼如來者衆苦皆除所生之子身分具足形色端正見者歡喜利根聰明安穩少病無有非人奪其精氣云藥師驗記云潯州有女人有身十二月不得產身體疫苦骨髓痠痛舉行啼哭沙門過公教稱藥師名夢佛自來救彌信隨唱苦漸息產男子人皆謂希有矣云

求子

又云若有淨信善男善女○念彼如來本願功德讀誦此經思惟其義演說開示隨所樂願○求男女得男女云七佛經同之

返呪咀

又云若諸有情○惡業展轉常爲不饒益事互相謀害告召山林樹塚等神殺諸衆

生取其血肉祭祀藥叉羅刹婆等害死入名作其形像以惡呪術而呪咀之○令數彼命若聞藥師如來名號諸惡事不能害一切展轉起慈心利益安樂云

四天王守護

(裏書八三)

又云爾時四天王與其眷屬及百千天衆詣其所供養守護若此經法流行之處有能受持以藥師如來本願功德及聞名號當知此處無復橫死不惡鬼奪其精氣還身心安樂云

伏惡人

別譯軌云若降伏惡人者作一印以噴心誦一百八遍遙打一切外道破滅云

又云若人遠去怨家加持苦棟子一百八遍一呪一燒投火中其人即遠去

除心病

又云若人心痛者加持青木香塗心除癒云

癒頭痛

又云若人患頭痛者加持桂皮二十一遍服之除癒

愈腫

又云若人患腫者加持鬱金香一百八遍塗之除癒

滅惡報延壽

又云若每日早朝以水一掬大呪也呪七遍飲之在身所惡報消滅無諸災厄者及諸三業者亦謂愈并得壽命長遠云

治瘧病

又云。若人或患瘡病。持此呪者。祝患瘡人。誦此呪一千八遍。其患即除愈云。
七佛經云。瘡病止呪。
但姪他惡。莫莫恒羅。莫莫。莫具。囉訶呼。
去。醯未羅。々々。堅樹。囉布羅。莎訶。奉誦。
七佛名。並十二神將名。唱書此呪。繫之肘。
後。若差已置清淨所云。

感應緣

南岳法門傳下云。釋智珍。清諦人。俗姓張氏。普永嘉遷居臨海。祖先秀梁倉部侍郎。臨海內處父文環。陳中兵將軍。珍自小言行無怙。親隣奇之。年十七。父母俱喪。珍因累年說疾。醫藥無効。因靜夜策杖至庭中。向月而臥。專心念月光菩薩。願慈悲救護。如此數夜。而無散亂。忽於夢中見一人形。色甚異。從東方來。謂珍曰。我今故來爲治汝病。便以口遍珍身。吸潮日而漸差云。
義淨三藏傳云。帝。睿宗真皇帝。以昔居房部。幽尼無歸。祈念藥師。遂蒙降禮。駕慈澤重。闢洪猷。因命法徒更令翻譯於大內佛光殿。譯成二卷。帝御法苑手自筆受云。
續高僧傳三十云。釋真觀。字聖達。吳郡錢唐人。俗姓范。代祖匠丞給事。薰內侍郎。父先通。眞散騎常侍。母恒氏。瑤良有德。嘗憐憤無胤。潔齋悲誓。誦藥師觀音金剛般若。願求智子。○依藥師經七日行法。於三夕覺遊光照身。因余心性非恒。言輒訟達。豈非天託人寄。范弘釋者也。及甚誕育。奇相不倫。左掌仙文。右掌人字。從幼至終。未嘗

病渴。○雖老不衰云。
弘教類聚吉備大云。余年三十有六之時。稍煩身病。○即余參藥師。寺敬禮藥師丈六瑞像。而申云。依余身病。老母悉苦。伏願欲痊。○至七日夜夢見自天降下短籍一枚。長一尺計。廣二寸計。即余持取其籍。而見者記云。七八八九十年。實是雖知余命之遺數。而猶或七八八九。爾時空上教云。四十年哉。○今余至七十有六云。

極樂往生

本願經云。若有四種持八分齋戒。或經一耳。或經三月。以此善根。願生西方極樂世界。無量壽佛。所聽聞正法。而未定者。若聞世尊藥師琉璃光如來名號。臨命終時。有八菩薩乘神通來示其道。路即於彼界種。雜色衆花中自然化生云。
宋本云。佛言。四輩弟子。比丘々々。尼清信士。清信女。常修月六齋。年三長齋。或晝夜精勤一心苦行。願往生西方阿彌陀佛國者。憶念晝夜。若一日。若二日。若三日。四日。五日。六日。七日。或復中悔。聞我說是藥師。○本願功德。盡其壽命。欲終之日。有八菩薩。皆當飛往迎其精神。樂運以難生蓮花中。自然音樂而相娛樂云。
通疏云。或經一年者。謂一年中月別六日。常持八分齋戒。謂白月八日。十四日。十五日。黑月亦爾。此白黑兩月。則當此間上中二氣。或復三月者。謂或有不能一年。常持

月六。但能一年持三長月。○以彼國法。一年但三時。別四月亦爲十二月。三時之中。各於初月齋云。
○若復得聞藥師。○名號。便得。乃於正定。聚中故。臨命時。極樂國中有八菩薩。乘神通而來示極樂界。則於彼界衆寶花中。自然化生云。

義師疏云。初中四衆等。即修善業人也。宋本略無及餘淨信善男子善女人。八戒即所修善也。宋本云。常修月六齋。年三長齋者。異也。

○問曰。八戒。非僧尼所受。何故言四衆乎。文中且舉八戒。理實應舉諸戒。隨本受持諸戒。以此爲正。問。八戒。但是日夜。何故言年月乎。曰。受之至年月也。亦復時分諸論不定云。
堂莊嚴具。此內少一佛時可用歟。

本尊事

陀羅尼集經云。令作藥師像一軀。本願經形像一軀。經云。建立壇場。安置本尊。山所修十二大願藥師七體云。
成就院云。本尊像增益息災。可隨時云。

經事

本願經云。若自書教人書。又云。讀誦此經四十九遍。七佛經云。寫藥師經一卷。同之。又云。轉四十九遍云。灌頂經云。能以好素帛書取是經。又云。四十九遍讀此經典云。
消災軌云。轉經四十九遍云。口云。新寫

藥師經一卷置壇中本願或隨成就云藥師經一卷如法書寫置壇中經本願或本願經入經箱壇上爐與瓶前置也以此經為本尊也或云新寫藥師經一卷置脇机云

大幡神變命

本願經云懸著五色續命神幡云又云五色綵幡長四十九揲手云七佛經云一長幡四十九尺云集經云造幡一口以五色成四十九尺云灌云神幡五色四十九尺云口傳云五壺幡從下壺以五色配之地黃水白火赤風黑空青之五大也又足五筋各屬一色黃色屬中心足云長四丈九尺或二丈五尺云



此幡長四丈九尺廣一丈五尺

本願經疏云標者尺也七佛經疏標手即應一尺云知諸經四十九尺四丈九尺也智證御記云一桁者六寸歟四十九桁之所當二丈九尺四寸也一師云標五寸二丈九尺四寸四分一切皆四十九為滿數

小幡

七佛經云造雜綵幡四十九首云餘經軌口云小幡四十九流成就院云長五尺以五色綵異說以一色綵幡交雜懸之又慈惠僧正圖云中草左方小幡皆青色右方皆白色云

輪燈

本願經云燃四十九燈七佛經同之又云一一像前各置七燃○乃至四十九日光明不

絕云集經云燃四十九燈作七層形如車輪安置像前灌經云七層之燈一層七燈如車輪云

口云造七層車輪一本立壇與本尊之間燃四十九燈一層七燈也成就院云本願經形像七軀一一像前各置七燈即是七佛藥師別行也云

私云自宗傳依集說歟但用否可隨時或云七轉師用車輪有何事但承保年中勝覺勤修時不用也又仁和寺御室勤修不被用之云（蓋書八四）

五色線事

口云以五色線四十九結繫病人頸諸傳同之天台口云結線如一佛法中記云

結願神呪

或云結願神呪者青龍和尚曰以五色線作索即書十二大將名一一結於線中限若干日要期滿願稱意訖便解結之供養了拜發遣云寂山長宴僧都云集經以呼盧云呪為結願神呪私云十二本願經以十二神呪為結願神呪名號無呪新渡軌以大陀羅尼十二神將為結願神呪軌小之同

不空軌以婆誡婆帝呪為結願神呪已上軌口決集經二云是法印呪若有人等多諸罪障及諸婦女難月產厄并患鬼神病難差者以五色線而作呪索用繫病人頭及手足

腰腹等所有罪障皆得解脫臨產之時一命延壽長鬼神之神之病立即除斷呪功能或云大陀羅尼集經出結願神呪云私云十二神將句有之

解結

本願經云或有疾厄求度脫者亦應讀誦此經以五色續結我名字得如願已然後解結云

放生

本願經云應放雜類衆生至四十九云七佛經云放四十九生云集經云又赦放生四十九頭云消災軌云放水陸生命四十九頭日滿四十九云口云所修之間每日放生四十九頭有精成就院云但可得過度云

伎樂

本願經云鼓樂歌讚右邊佛像上文云續蓋七佛經云鼓樂絃歌稱讚功德右繞佛像

師云開白結願行道誦四智讚打鼓鈴如曼荼羅供作法如初前後五天供時可奏音樂也天台

經囊

本願經云若於此經受持讀誦為他演說開示自善教人書尊重以種種香花幡蓋伎樂為供養以五色絲作囊盛之掃灑淨處敷設高座而用安處云

勤修記天台

天曆十年五月十一日九條右丞相於坊

門第爲子孫繁昌屈請慈惠大僧正時阿闍梨

七日七夜之間引率六口伴侶被修七佛藥師法我勸勸修最初也首時七佛開眼經題明故花

戊戌修法發願諸事如例修法三時行之堂莊嚴不似近來佛與輪燈之間各有壇

每壇小幡七流立三方四角各一流懸北方無之十二藥叉供許行之作法普通如

十二天供餘小壇大壇不被用每夜讀經有發願諸事息災法也讀經夕座也十八

日辰尅結願云云慈惠僧正勤修圖慈覺大師御傳

伴僧交名明請呪覺忍順乘惠法增康倫

靜安華亮惠相傳之慈惠記興福寺文殊院

書之云云或記云九條殿北面延喜年中宅一品

康子內親王產所云云請書

近日損心地身心不快雖加療治有增無減仍自八日尋右丞相之先跡引率六口

伴侶可令修七佛藥師法給之由所存候也謹言

月 日

謹辭 仰事

右七佛藥師之法者天台無雙之秘法也依之從古以來預其請者上乘之龜鏡秘密之宗匠也小僧任官位之次第雖居座主之職云行云修共闕無備然者効驗難

顯敷仍固辭如件

支度 月 日

注進 七佛藥師御修法七箇日支度合

藥師佛像七體大原云等身本願藥師經四十九卷

大幡一流四丈九尺或說二丈四尺五寸五色

小幡四十九流許五色五色經袋 五色線一丈五尺結線

五寶 五香 五藥 五穀 稻 大麥 小麥 大豆 菜豆

名香 蘇金 白檀 蘇蜜 御明油一石六升四合日別一斗四升七合燈別三合三升五合

輪燈七本 各一層 大壇一面方六尺 護摩壇一面方六尺 脇機四面

花机七前 禮盤二面加半疊壇供米十五石四斗兩樽

七佛御佛供二石一斗 壇敷布二端 佛供覆布二丈 并子袋

七箇日之間放生可有之 恭二帖 阿闍梨一口淨衣 助修八口 淨衣

承仕三人 駝仕六人 見丁一人已上各淨衣 桶杓雜具等

夜叉供 十二天壇 聖天壇可有之 右注進如件

康和二年五月十六日出鳥羽殿御佛三尺皆金色有佛小幡被新縫之長三尺五寸許也私云近來勤修本尊等身又大小幡用

舊持物敷 道場圖近代樣小幡堂四面懸之

久安二年四月一日日蝕御祈爲公家妙高院法印勤修記略載之有靈

驗云云

行法 如常胎藏悉地 種子引七佛通用或云引下不引或云引下不引

問七佛藥師各別種子有本說乎惠什答未知本說仍先年之比或人爲光鏡切

各別種子被尋乞時各名號初字梵字書與之耳但有同字者取中間字也又七佛

皆用引字尤吉也諸佛通用字故也 三摩耶形 佛頂印

明七佛同音呪七佛經下云彼七如來見此相已各從其國來至索訶世界與釋迦

牟尼佛共相問訊爾時曼殊室利白言世尊唯願爲說大力神呪能令來世

薄福衆生病惱所經日月辰星等所有厄難疫疾怨惡及行險道遭諸恐怖爲作歸

依令得安穩時諸如來讚曼殊室利言○有大神呪名曰如來之力瑠璃光○時

七如來以一首聲即說呪曰 咀姪他具謎具謎醫尼謎賦四上末底末

底駁額但他揭多三摩地頰提瑟毗帝額帝末帝波例波跋輪但爾薩婆波跋耶世

也勃睇勃圖瞋答謎陽謎矩謎佛鐸器恒羅鉢里輪但爾曇謎壇曇謎嚕嚕謎嚕

嚕戶揭薩薩婆哥羅密栗觀丁尼波喇爾勃提蘇勃睇佛陀頰提瑟佉泥娜曷路又

觀謎薩婆提婆三謎類三謎三曼樓叔和
漢蘭觀謎薩婆佛陀菩提薩埵苦謎鉢喇
苦曼觀謎薩婆伊底鵬婆達婆薩婆昆何
大也薩婆薩埵難者喃蘭泥喃蘭泥去喃
蘭也謎薩婆阿舍薩瑠璃也鉢喇底婆綱
薩婆波跋差揭羯囉莎訶

或云此七佛呪人多不暗誦故只用頂
上光明真言也云或付奉五古云

請本尊事

(裏書八六)

口云天以兩界修別尊有三說一以大日
居寶幢佛傍以本尊居中台淺說有怖此事
即本尊可觀想無動寺座主用第三義云
或云依胎藏以藥師七佛可置遍知院一
切佛心衆之處若釋迦院云又金界時
五相成身可有用意也

唱禮

南無三身佛眼次七佛名號可禮有別開
唱禮主兩座主通途藥師一卷經梨本教

次文殊執金剛四天王禮

正念誦先大日三摩地觀并根本印明後
本尊可入三摩地也大日諸尊本故也

或說大日念誦同用
散念誦文殊金剛手結線委有別
伴僧呪光明呪或七佛

後加持先三部被甲地結天結

迎請印本尊印言

次馬頭金剛網火院次發願殿口云

以下五大願開白

結願許用之加持呪十二神將言也云

護摩 本尊段 七荷葉投之

卷數

御修法所 謹奏二字公家用之

奉讀

本願藥師經卷 不斷經等藏之

奉念

大日真言 一字金輪 佛眼佛

母真言 藥師真言 不動尊勝千 護衛

本尊真言 護摩真言 三部諸尊

奉供 火天曜宿

大壇供 護摩供 十二天供

藥又供 聖天供 諸神供(裏書八七)

右依仰旨始自今月十七日至于今日并

九箇日夜之間七口僧綱大法師等相共

勤修上件教法抑所修御願如法如說造

彼如來形像七軀書寫經典四十九卷四

十九燈晝夜恒明每日放生都二萬三十

唯爲續命神幡四十九尺五色神幡四十

九首以五色縷結願神呪鼓樂歌讚恭敬

供養而殊致精誠奉祈大施主御惱消除

之由如件勤行事謹言奏可書

治曆三年五月二十六日 權律師

千燈法 大原云此壇藥師一佛千燈供也內外

藥師千燈儀式 傳教大阿闍梨出集經

集經云○平治地竟以淨牛糞和檀香湯

以手掌摩隨日而轉摩地已竟地上布置

千燈又一隔道兩頭著燈重隔各

別著灌頂印言燈數滿千盞云

續驗灌頂印 出集經安養抄

二大指屈於掌中捻二無名指甲無名指

中節相背二小指頭相捻二中指直豎頭

相柱二頭指屈各捻中指背節上節呪曰

一步三昧羅二蘇摩塩三莎訶四若欲續

驗每日平旦於水罐上結印誦呪二十一

遍自灌其頂還復如舊安寶瓶寶樹香花等

文撰集之二 護摩行之委細有別大略注之

文治五年正月比撰之同四月二十五

日書之 佛子覺禪

延德二年庚戌七月二十四日於高雄神

護寺地藏院書寫之

延寶九年辛酉七月三日於吉祥園院書

寫之

於寫本者從高野寶性院借渡之畢

沙門榮佳

第七佛土

疏云此土免與十八種功德圓滿莊

嚴故知是受用土

寶月如來念誦事

或記云保延三年御產御讀經等童

子經五口寶月如來御念誦五口易

產陀羅尼五口

寶月如來第三願文可見面也

寶月如來第三願文可見面也

寶月如來第三願文可見面也

寶月如來第三願文可見面也

寶月如來第三願文可見面也

寶月如來第三願文可見面也

寶月如來第三願文可見面也

寶月如來第三願文可見面也

寶月如來第三願文可見面也

傳教大師渡海折善名稱如來造給

國史云延曆二十二年潤十月二十

三日最澄和上於太宰府龜門山寺

爲渡海四船平達敬造檀像藥師佛

四軀高六尺餘其名號無勝淨土善

名稱吉祥王如來傳文歟

惠什園梨記云傳教大師造立善名

稱佛左手當心持寶珠右手施無畏

云善名如來渡海加護願第八願云

大原云鎮西在藥師像傳教大師入

唐願故奉造給也其像持寶珠中如所

也持

大御室傳云藥師弘法大師渡海之

時爲祈風波自造立白檀藥師像今

仁和寺喜多院佛是也云

佛壽命

或抄云此佛御壽九十二億一十六

歲也此佛發十二大願度一切衆生

云

十二大願事

疏云願雖十二而不過上求下化但

初二願中通上求下化第三願後唯

有下化云

犯戒人聞名號不墮惡趣事

經云或有毀犯怖墮惡趣若能專念

彼佛名號恭敬供養者必定不受三

惡趣生文

百惡事

疏云女人百病者但是女人之身愛

欲等過其惡衆多不可別列故但總

言百惡其由百姓百病等非止百也

云

七難消滅事

經云若利帝利灌頂王等災難起時

所謂人衆疾疫難他國侵逼難自界

叛逆難星宿變怪難日月薄蝕難非

時風雨難遇時不雨難及彼如來本

願力故令其國界即得安穩云

疏云若信此法者七災退於千里之

外萬福集於此國之內故十二神將

王八萬四千眷屬常來衛護也

大原云七重車輪七本用之七十九

輪也一輪百燈計歟云近代

最略也

相傳鈴杵

大僧正初勤行時鈴五古本覺房相

傳之寶物也雅照內供慈念僧正慈

惠僧正退賀座主良光律師光尊阿

闍梨相命僧都實行白檀三尺如意

輪彼僧正自筆大般若相具云

諸尊事

大原決云曼荼羅界緣道請安隨方

之佛謂東方界緣藥師善德等也餘

皆准之而猶多內二重緣可安歟最

外頗聊爾耳云又凡聖同居土一

切教主多請安外金剛部中如釋圖

私勘義釋云凡獻中台供具當置台

外一重空界中若獻無名諸尊當置

三重界緣之內云准此文則不可

中無名體尊於第三界緣之內請供

無妨歟

義釋四云次當入中先定中胎外界

○次第一重外界亦同中台第三重

○復於一一重分爲三分其最向

裏一分是行來周匝○次一分安置

供物次外一分○尊位○次於此外

復作周匝界緣於此空中運心觀察

隨其方面分位相應諸尊皆都請供

養所以爾者爲阿闍梨臨事有所忘

設安置諸尊或不周悉其應請召而

無位者皆當運心於此中供養云

爲他人護身法事

山門只三部被甲計用之三井寺地

結天結馬頭上綱火印等彼人皆令

結印云

覺禪鈔 阿彌陀上

名號三字 同名號等 一尊像

三尊像 不可等 敬愛等

可向方 請書 請文

支度 壇面 表白

種三印言 決定印 道場觀

護摩 散心念佛 臨終知佛

名號功德 諸佛護 彌陀青色

上品上生 下品下生

裏書

勢至小身 勢至印 三尊呪

表白 小呪配八菩薩 滅罪印

四方淨土印 許可印 三身印

九品往生印 四十八願印 加句言

印言異說 愛染彌陀變 道場觀等

阿彌陀法

名號三字事

十因云阿彌陀名號之中即彼如來從初發心乃至佛果所有一切萬行萬德皆悉具足無有缺減非唯彌陀一佛功德亦攝十方諸佛功德文

或云阿彌陀三字是三身功德也云云

或書云天台阿彌陀與阿彌三字空假中

三諦阿者本不生義報身智慧彌者我不可得義應身慈悲陀者如不可得義法

身如常住也云云

法相義云以阿彌陀三字配遍計依他圓成三性即是三身也遍計化身依他報身或先德云阿彌陀三字可攝四十二字初

阿字也後陀茶字也中間彌四十二字

功德也即四十二位也後唱阿彌陀三字

即唱因位果位無量功德也念佛功莫大

良有以哉故法花玄第五云初阿字門具

四十二字後茶亦爾文

寶志和尚云我彌陀勢至不觀音三寶

即菩提心體云云

裏書八九

一阿彌陀事

金剛界儀軌云阿彌陀云

胎藏青龍軌云彌陀小阿彌陀經云彼佛

何故號阿彌陀光明無量照十方國無

所障闇是故號為阿彌陀壽命及其人

民無量無邊阿僧祇劫故名阿彌陀

一名無量壽無量光

彌陀軌云無量壽如來不捨悲以無量光

明照行者業障重罪三途苦處見光明

無苦云云

大日經疏四云西方觀無量壽佛是如

來方便智以來生界無盡故諸佛大悲方

便亦無終盡故名無量壽

攝真寶經云無量壽如來云云

勝初瑜伽普賢軌云無量光云云

私云十二光初名也

有八萬四千光明一一光明遍照十方世界念佛衆生攝取不捨云云

雙觀經云無量光佛威神光明最勝第一

諸佛光明所不能及有佛光明照百佛世

界或千佛世界取要言之乃照東方恒河

沙佛刹南西北方四維上下亦復如是云

或云無量光橫利益無涯際意也無量壽

豎利益無盡期義也云云

法花人記品云壽命無有量以愍衆生故

云云王佛壽命自在通

或明德阿彌陀光明無量壽命無量配釋

法花本迹二門無量光顯迹門之利益序

品佛放白毫光照萬八千國土即無量光

利益也壽量品有顯本遠壽之說即無量

壽利益也文

一觀自在王如來

理趣釋云觀自在王如來云云

教王經疏三云無量壽佛是觀自在王如

來亦名爲法即金剛法

一得自性清淨如來

理趣釋云得自性清淨法性如來者是觀

自在王如來異名此名無量壽云云

一大安忍

教王經一云大安忍云云

同疏二云大安忍無量壽也清淨意識與

妙觀察智相應證得諸法本性清淨以大慈忍能轉法輪利樂衆生故云安忍

仁勝者

大日經一云西方仁勝者是名無量壽云

疏四云梵音爾爾名爲仁者又以降四魔故爲勝者故偈具翻其義謂之仁勝者云

一甘露王如來

飲水軌云甘露王如來云

祕藏記云甘露王如來西方無妙觀察智

用說法身也甘露是妙法故既受妙果堪爲法器便可授法故以甘露王如來居第三云

三云

演密抄七云有甘露義者天中甘露有十六分以十五分施衆生已從餘一分還生如故故稱不死即勝生也

形像

守護經二云復於西方面向東坐亦作如上金剛結跏端身正坐左手仰掌當於臍上右手仰掌重左手上以大拇指合頭相拄云

不空羼索經九云阿彌陀佛以右手背押左手掌結跏趺坐云 高維曼荼羅

又像

略出經一云蓮花部中有三種子字於其中央想摩含二字左右想誦唎異二字以此三種子字所成蓮花部中以孔雀爲座云

又云孔雀座想阿彌陀佛與坐其上云

義訣云續哩輪中種子所變孔雀座者世間以孔雀鳥爲瑞禽此禽麗狀具種色

復有明惠善應時宜轉法輪王以之爲座表以轉大法輪不非器故云

舊圖定印像也

(裏書九二)

顯果云常途妙觀察智定印爲本尊云

(裏書九三)

又像

不空羼索經八云阿彌陀作說法相結跏趺坐云

如意輪瑜伽法要云金剛冠坐自在王住於說法相云

又像

觀自在最勝明王心經云不空畫阿彌陀如來坐白蓮花右手住施願云

又像

大樂金剛薩埵軌云無量壽如來赤色左拳慢執蓮花莖以右開敷云

勝初瑜伽軌云無量光勝印定拳慢執蓮惠拳似敷花皆用心密語

三尊像

(裏書九四)

觀自在最勝明王心經云畫阿彌陀坐白蓮花右手住施願左畫觀自在菩薩身白色虎皮爲裙白頗黎寶以爲腰條以黑

鹿皮角絡而被住白蓮花左手持白蓮右手施願右畫金剛手菩薩身赤白色○手持白拂作拂如來勢佛菩薩皆願視行人

於佛下畫右膝著地手執香爐瞻仰聖者云

又三尊

阿嚕力迦經云取淨氈割截○畫阿彌陀長六搩手住說法印於蓮花臺結跏坐身純金色作白焰光右畫觀自在菩薩左畫勢至皆純金色作白焰光二菩薩右手執

(裏書九五)

白拂子右執蓮花勢至身稍小於觀自在

○白衣髮並上結不得披印云

又云畫阿彌陀或坐蓮臺或師子座○佛菩薩上各畫白傘蓋正上畫明仙持諸寶花散供養花如兩足亦作種種音樂奉

獻云餘大略上文同之

又三尊

集經二云畫佛像法用中央著阿彌陀佛結跏趺坐手作○說法印左右大指無名

指頭各相捻○左右頭中小指開緊右作十一面觀音左作大勢至文

又云勢至結跏趺坐左手覆掌於左膝上右手屈臂節挂右膝上緊臂向上以大指

捻無名指甲上頭指中指小指攥緊掌側當耳右十一面觀音結跏趺坐屈左臂向

肩上手掌覆向背手把蓮花右臂節挂右膝上手把白拂云

(裏書九六)

曼荼羅

無量壽軌云觀自在菩薩三摩地○於蓮花臺上有觀自在菩薩相好分明左手持

蓮花右手作開花葉勢○於八葉上各有如來入定結跏坐面向觀自在菩薩圓光

身金色文

降三世大儀軌云毘盧遮那大會之中圍繞觀自在菩薩分爲八葉花是色應用朱

中胎觀自在於彼一葉圖畫大覺形文

彌陀觀音同體

觀經云阿彌陀佛神通如意於十方國變觀自在或現大身滿虛空中或現小身丈

脇机二前長二尺二寸廣一尺
燈臺四本 高二尺 爐桶一口

壇供米八石四斗 壇敷布一段或大

御明油一口 伴僧 承仕二人

阿闍梨一人 見丁二人 淨衣 赤色

右注進如件 年 月 日 權小僧都範俊

佛供十六坏 大小 汁八坏 菓子十六坏 中白并每日

後夜粥八坏 初夜無供物 用一切之物皆 蘇油 和合用之 器 檀木 用云長八寸小野云花木

乳木 二束 長十指四寸也 或四指刻合歡木 藥種 或赤箭 人參 鹿 口云一切木用 加持物 藥用之 云 粉 赤染丸也 又白米 米 小野云 或與呼召用 壇樣可有圖也 依所無

行法 付金剛界 (裏書一〇〇)

開白有表白 其詞云

諸佛雖滿法界彌陀我等有緣佛也淨土

雖多十方極樂者易往無人之上也應知

諸佛大悲彼此平等因位之本誓彌陀殊

勝之事是以求滅罪生善之計者先仰來 迎引接之本願尋證大菩提之道者皆期 往生極樂之前途自往古至今當時更無 異途自天竺至于日域願念未改是以自 今日限七箇日就祕密上乘之儀則修彌

陀護摩之行法燃上乘之智火燒煩惱護 摩之煙擬西方之淨業期引接於來迎之 雲十惡五逆猶預引接況於宿福甚慶之 人乎三心十念無漏利益況於七日瑜伽 之行乎然則一生之終百年之夕永別娑 婆之古鄉昇極樂之蓮臺依彌陀之本願 預觀音之引接云

種子 口傳 或帥云種子形印觀文皆 同一蓮花也 深義云

無量壽軌云想壇中放大光明如紅顏 梨色遍照十方世界其中有情遇此光皆 得罪障消滅云

觀自在王軌云於面前觀極樂瑠璃為地 功德乳海於海中觀云

法花密號云於法字於三昧耶八葉蓮 花於人觀自在菩薩 在法如來云

此人法蓮俱名妙法蓮花諸佛智慧名佛 知見此人法蓮本來在一切衆生心中心 佛衆生三種一體異名故經云心佛及衆 生是三無差別云

父念字誦一部法花功德無異云

彌陀觀音法花經同一異名也 法處

理趣釋字慈義○具無漏善法故蓮花 部亦名法部由此字加持極樂世界水鳥 樹林皆演樂得法音若人持此一字真言 除一切災禍疾病命終已生極樂得上品 上生云 密教文 同之

三昧耶形



師主權僧正 勝賢 傳云八葉蓮花常途傳 以獨鉗為華橫立五古上所傳以鉗為華 有證據云於用否可隨行者之意以五 古為蓮事有由緒蓮花理五古智以理智 和合體為常住佛性形今以此我性心蓮 為彌陀三昧耶身意見理趣釋云

觀自在王軌云變開敷蓮花為觀自在王 如來云

略出經三云龍方輪壇中畫橫拔折羅上 畫蓮花此名花法仗印有圓光置蓮花上

印名根本印 (裏書一〇二)

無量壽軌云結根本印二手外相又作拳 豎二中指相拄如蓮葉形結成契已誦無 量壽如來陀羅尼七返以印於頂上散云

觀自在王軌云結根本印堅固縛以忍願 相拄如蓮花葉形云

略出三卷文大略同之

彼經云彌陀三昧耶契云

金剛界軌云忍願堅如針○稍屈如蓮花

大呪 軌云根本陀羅尼

曇謨引羅怛曇二怛羅二夜引耶一娜莫 阿去哩野引二合弭路引婆去耶二怛他 藥路引夜引囉喝合二帝三去貌三沒駄引 耶怛囉也合二他四唵阿密囉合二帝五阿密 囉三妬引能婆二合阿密囉合二多帝際反十 三去婆上吠准七上阿密囉合二多帝際反十 密栗合二多悉弟九阿密囉合二多帝際反十

敬愛句也。鈎召同用之。

入護摩時。本尊等印明結之。

部主正觀音

小野法務之最祕事云。後寬傳云。實任

云。千手聖賢同

本尊段

加持物。會無量壽真言用之。

觀念

此團丸供入從本尊御口至心蓮花臺。成

無量蓮花箭雲海。流第一云。毛孔供養盡

虛空法界諸佛菩薩。便還來射佛我及施

主。彼此等憎惡。隔別厭離。菩提心。彼此一

體和合。互令起無二敬愛之心云。

芥子明

諸尊段

或云。依金剛界三十七尊。胎藏八大菩

薩云。

世天段。可觀赤色。

伴僧。大呪用之。

或云。於家成卿堂修阿彌陀九壇護摩

中

御加持

同用大呪境賢覺法眼。二口依施主。今

有後加持云。聖賢一說羯磨呪云。

彌陀青色事

疏六云。青是無量壽色。既到金剛實際。

即加持方便。普現大悲曼荼羅。如淨虛空

中具含萬像。故第四云。

又云。青大空三昧義名定色云。

或云。彌陀佛乘青蓮花云。可尋

(要旨一一〇)

散心念佛。可尋

觀佛三昧經九云。若稱名者。除百千劫煩

惱重障。何況正心修念佛定云。

觀無量壽經云。汝若不能念者。應稱無量

壽佛云。

臨終知有佛往生

法鼓經云。若人臨終之時。不能作念。但知

彼界有佛。作往意。亦得往生云。

名號功德

花嚴經云。稱聞彌陀名。必免三途業。何況

稱名者。決定生極樂云。

八十花嚴十四云。若能如法供養佛。則能

念佛心不動。若能念佛心不動。則常親見

無量佛云。

雙觀經云。諸佛世界衆生之類。聞我名字

不得菩薩無生法。忍諸深總持者。不取正

覺云。

優婆塞戒經五云。淨戒者。修念佛。心若修

念佛。是人離內外諸惡云。

十二佛名經云。若人持佛名。衆魔及波旬。

行住坐臥。處不能得其便云。

又云。若人能至心七日誦佛名。得於清淨

眼。能見無量佛云。

思惟要略法云。至心念佛。亦念之云。

佛菩薩諸天護念佛者事

賢恩經三云。常爲一切諸天龍藥叉人非

人四王忉利天梵王等。一切菩薩諸佛

○所愛念云

上品上生發三心事

觀無量壽經云。上品上生者。若有衆生。願

生彼國者。發三種心。即便往生。一者至

誠心。二者深心。三者迴向發願心云。

下品下生事

又云。下品下生者。或有衆生。作○五逆十

惡諸不善。○經歷多劫。受苦無窮。如此愚

人。臨命終時。遇善知識。種々安慰。爲說妙

法。令念佛。彼人苦逼。不遑念佛。善友告之。

汝若不能念者。應稱無量壽佛。如是至心

令聲不絕。具足十念。○於念中。除八十

億劫生死之罪。命終之後。見金蓮花。猶如

日輪。住其人前。如一念頃。即得往生。極樂

世界。於蓮花中。滿十二大劫。蓮花方開云。

元文五

申庚年林鐘二十二日。令修補了

淨土院權僧正賢賀

七十

實字八八

實字往生事

若欲生極樂淨土。唯實字滿一落又。

即轉三界六道業。決定往生也。

實字八九

三尊配阿字

彌陀月輪勢至蓮花觀音

配三寶

○

成就抄云。天台說云。我三世諸佛金剛不懷之身。胎藏阿摩訶般若畢竟空理也。金剛不如此義。即第一義僧也。兩部同體。

已上一體三寶義也。

名號九〇

青頸觀音軌云。觀音如來胎藏界云。蓮花藏云。

〇

觀自在王名。安然菩提心義五云。彼佛壽命無量。光明無量。眷屬無量。一切皆無量。故立諡號。而本名曰觀自在王佛。文本文可尋。

〔要書〕九一

或云。孔雀鳥為瑞禽。世人禽麗狀具種々色。復有明惠文。

孔雀座

攝無礙經云。無量壽身赤金色。結三摩地印。〇住大月輪入定拔苦體。此座金色孔雀以為座云。

權僧正勝賢戴五智寶冠坐孔雀鳥像。小野傳云。

道場觀右三

〇

寶冠

心覺開樂云。五佛寶冠事。惠什云。未見本說云。

〔要書〕九二

法界定印

攝真寶經中云。結除散亂心印。先舒左五指安臍。〇前。次舒右五指安左掌上。結此印已入西方無量壽如來三昧云。

〔要書〕九三

妙觀察智印事

實任云。我。以妙觀察智印為祕印。伴印是。此字。四。字合。風大頭指也。空也。中指也。小指也。以五指宛五佛時。小指不空成就也。故也。

〔要書〕九四

白檀三尊像

阿嚨力迦經云。說刻像法。取一白檀木。中央刻阿彌陀佛。左右各執白拂。

廣隆寺彌陀像左右以大指押二無名甲。右面合云。

人圖三尊除勢至盡地藏事如何。隨聞記二云。勢至除地藏具不有。

〔要書〕九五

二菩薩左右事

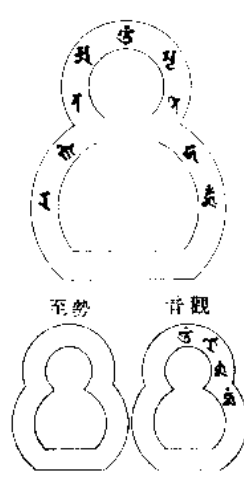
十一面中云。左大勢至。右觀自在。阿嚨力迦經云。右觀音。左勢至。集經云。右十一面。左勢至。觀無量壽經云。左觀音。右花座大勢至云。

至云。

不空絹索經五云。左觀音。右勢至。最勝明王經云。左觀音。右金剛手。鼓音經云。二菩薩侍立左右。觀音右。多羅彌陀為姊妹。大日疏第十云。如大本中有五百多羅尊。皆從觀音眼生。皆阿彌陀姊妹三昧也。

傳受集第四

阿彌陀



惠什云。造彌陀三尊普通說。觀音左持蓮花。勢至右持蓮花。以之為差。但佛師同方令持蓮花者。以頂上可見。又云。勢至觀音短造之本說也云。或人云。鳥羽院御宇。依院宣法印康助所奉造立阿彌陀三尊。勢至身少於觀音奉造。所經御覽院宣云。於脇士大少不同如何。康助進覽本文。仍感再三云。惠什說有之。鼓音聲經云。阿彌陀佛於大覺寶花結跏趺坐。有二菩薩。一名觀世音。二名大勢至。是二菩薩侍立左右云。佛左邊想一觀世音菩薩。坐左花座。得大勢至菩薩坐右花座云。

又云。佛身高六十萬億那由他恒河沙由旬。觀世音菩薩身長八十億那由他由旬。勢至身量大小如觀世音云。

或云。觀音十六相觀第十六故觀法成就義云。

卷九六

勢至印名梵篋事

大日疏十三云。勢至印作三補吒合掌相拄合。周圍如來部之蓮也。此未開蓮卽如來寶篋云。

師云。般若菩薩未敷蓮花下梵篋歟云。

卷九七

八葉八佛

心覺闍梨之大軌云。一切如來蓮花大曼荼羅品□□□或通佛云或大日云。

或云。大覺者佛也。推之大日歟云。或師云。八佛習彌陀非說也。此胎藏八葉也。一切有情心中有此覺悟蓮花。八葉上各有如來。入定結跏趺坐云。

卷九八

本有禮事

彌勒軌云。圓明外佛向外。禮十方本有法身佛云。

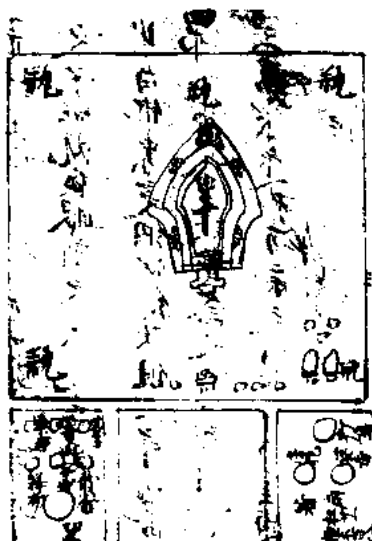
私云。此文意也。彌陀。我本有禮。觀音向給也。

卷九九

口決云。法菩薩妙觀察智性。利菩薩妙觀察內。因語是妙觀察智外用也。

表白 一〇〇

或云。自此西方過十萬億佛土有世界。名極樂。在佛號彌陀如來。三途八難總削跡。四苦八苦不聞名。唯無量清淨喜樂在。萬善諸法併微妙。視聽所觸。心言不及者也。ラン猶ヲ網張七重行樹。寶池構四方。孔雀鸚鵡音。轉根力覺道法。覺鴈鴛鴦。皆唱念住正行響。伎樂歌詠之曲。聞者消滅煩惱惡業。衆花映飾之。又見人增功德。善根。鳥非惡趣鳥。彌陀如來化作也。花樹非水土之潤樹。自慈悲喜捨流出。加之五分法身妙香薰七寶檀林之曉嵐。六波羅蜜落花八功德池之曉流。未聞能化如來四辯八音法前。依風音鳥轉開解得益境也。



卷一〇一

尊者

尊勝三悉地法云。字西方阿彌陀如來云。

眞實經中云。入西方無量壽如來三昧。當觀翳字色云。

婆縛傳受集云。報能傳。大谷傳也。云。

口云。根本印蓮花一葉之形也。非未敷蓮之形歟。中指以如來能義也。故頭指印觀音印也。

本軌云。用二印事。因果不二之意云。南方寶尊如是。

仁濟云。生死法轉自泥中自性清淨蓮開當云。此意未敷蓮歟。

私云。八葉蓮以一古爲華。橫五古置事大師御筆心也。金寶抄。

又大谷傳。以一古爲三形。平救同之。

字事

理趣釋云。具四字成一眞言。一切法因不可得義。一切法離塵義。塵五塵。自在不可得。二點惡字義。爲得涅槃。悟諸怯本不生二種執遠離得法界清淨云。

或云。字無明。癡煩惱也。轉之爲無癡善根大智。字是座勞義。依染癡起慳貪。轉也。成無貪善根。是大福聚。字災禍義。起災源依多願志。轉之。

字災禍義。起災源依多願志。轉之。

成無瞋善根。是忍辱大悲。其字涅槃
義。本性清淨理也

表一〇二

師傳印呪等事

合掌。二頭指開。眞言小呪已上師主
海拜願果說

五古印

口云。中指蓮葉彌陀五智印也

眞言一字
心也

或外五古印

又印

又印

左手拳左腰安。右手五智申外向。

羯磨會不空成就印似。出大樂不

空身軌

眞言 縛日羅達摩顯果說

又印眞言摩利支天印似胎
般若薩印也 顯果傳

左右大指折右上合呪寶號

南無阿彌陀佛云々

大御室授教決聖人給云々

決定往生印云々

或傳云。號梵篋印九品往生總印

也呪小但大指ヲラス

或傳云。塔印用無所不至眞言云

聖賢說定印羯磨合言八
葉印胎藏呪

根本印

縛日羅達摩呪

小呪

延懷云。大佛頂廣聚陀羅尼經并
儀軌異本與在之云々

小野集云

表三身到觀自在彌勒菩薩
不虛空觀菩薩

普賢菩薩金剛手
文殊
除蓋障

地藏菩薩

不墮寒氷

私云。以八大菩薩曼多羅經八菩

薩被配當之歟

圓行 佛眼印

二火二水間法界宮。二大阿彌陀。

二頭二小四親近也。眞言小呪此
已上實

印集經滅罪印云々任說也

表一〇三

智證些々疑問云。無量壽經法中

千轉眞言其意未明千轉

帝釋賀羅眞言有印者垂示

十甘露眞言名義不垂其大意

已上三箇條出彼疑問中

○

阿密栗妬事

青龍胎軌云。如來臍○阿沒嚩甘露

々々者之別名。能除身心熱惱得而

服之不老不死長壽之身文

○

寶樹觀

觀經云。觀寶樹者○作七重行樹至乃

亦於中現三千世界云々

古筆云

文選云。勁松顯於年寒。貞信見於國

松勝餘木也。春夏秋餘木綠也。至寒

冬餘木葉盡松綠サカリ也

貞信忠信也。天下無畏之時不見。國

傾時顯其忠云々

彌陀悲願此樣也。末世利益殊勝

也

表一〇四

八大菩薩已上常喜院集在之

中央阿彌陀。周匝八葉安八大菩薩。

謂觀自在一慈氏二虛空藏三普賢

四金剛手五文殊六除蓋障七地藏八

是不空譯八大菩薩曼多羅經心

也

或金剛手所替安金剛藏菩薩

是善無畏譯八大菩薩已上經

意也

或金剛手所替安勢至

是爲彌陀脇士故歟。但未見大經

等說

表一〇五

決定往生印

二手二水二火屈以二大押二水二

火之甲。二風二小舒立二大指之背

相付向外

實任云。高野南院授寶生房

或抄云。決定往生眞言誦一返。如

念阿彌陀佛九十萬返。命終必往

生極樂云々

頂阿彌陀佛觀音菩薩兩肩不盡除有金
手不觀音菩薩妙手或虛空藏
或行成吉祥或虛空藏

滅罪印 川集經二。實任

合腕左右中指無名指直豎合節更
相當著開二小指直豎開二頭指當
中指背上。勿著頭少曲。二大指豎
頭押中指第二節行者坐禪時作此
印誦結界呪云、

師口曰。二頭二小四親近也。法。利。
二中二無名二大彌陀也
私案云。二頭二小光也。如寶幢佛
印。滅罪印尤可光明也

○
實任傳。大身印。大心印。頂印。隨類
說法印。放光印。許可印。三身印。九
品印等。有之。彼折紙可見

四方淨土往生印 實任傳
臨命終時。金剛弟子一切諸佛左右
圍遶來迎引攝隨意 四方淨土往
生印

虛合屈二風相捻二空面端卽成。呪
曰
唵摩爾跋社黎吽阿、暗噫嚧娑婆
二合 訶

祕中深祕也。不可授非器云、
彌陀許可三印

二手以二大指捻二無名指左掌仰
右掌覆誦小呪 胎藏

二手合掌指頭下垂。二小指開散。同
用心呪 金剛界

彌陀三身印

二手各二大指二頭指捻。左仰右覆
常喉
次大指中指相捻當心。次大指無名
指相捻當臍。明日
曇莫三曼多沒駄南阿。三身同用之
明

實任云。仰左掌置心上。伏右掌置
左掌上。二掌相去二寸計 法身
堅實合掌十指末下向 報身
同合掌十指末向上 應身
呪決定往生呪云、

三途八難等之一切群生垂大慈
大悲也

九品往生印 略說
上品上生印
二手各大指頭指捻。左右口側向
外置

上品中生印
二中二大捻
上品下生印

二無名二大捻
中品上生印
二手二大指二頭指捻。胸前左仰
右覆二寸離

中品中生印
大指中指捻

中品下生印
大指無名指捻

下品上生印
左右腕互相替。右內左外。二大指
二頭指捻

下品中生印
二中指二大捻
下品下生印
大指無名指捻

眞言歸命。或云。慈覺大師密傳九品下言有
之。印時文不分明。衆色大指也。黑
道風指也。炎中指。大力大指也。水
自在無名指也。眞言大呪九分之
別有之。可見實任傳云、

兼意云。上品上生 定印
中品中生 先印捻中指
下品下生 先印捻無名指 已上皆用

九品往生總印
左手安臍上。手空屈入月。右掌上覆。
九指各搖動用小呪。實任云。平等房
說。在九品印。皆定印也。上三生二頭
指。中三生中指。下三生二水也云、

持明房同意之。眞言七返。合二十一
返

四十八願印
左右作拳空申立端直并二地申開
立即成。眞言曰

唵 嚧 嚩 訶 大呪 用

前印

二火開立彌陀即身成佛印云、實任印略之

兼意云、四十八願印、二手內縛大指

小指合端、眞言曰

我阿彌陀

真言一〇六

加句言

俊覺云、安祥寺流、羯磨會大日呪終

加彌陀小呪用也云、

或云、三摩耶會印

或云、訖惹南會

聖賢云、三摩耶會

或云、三摩耶會

○

小呪印事、心覺說、獨一法身想云、

安養房芳源閑梨口傳云

或云、三摩耶會

二手各當胸、各火空相捻相向其間

相離芥子計、是彌陀迎接印也、伴眞

言先德多用金剛界三摩耶會彌陀

印、是依祕本印通用之也、印相雖普

相知、此眞言之印事、人未多知、極祕

事也、妄勿傳之、已上

○

勝論義事

集經二云、輪印○若欲說法輪義之

時、日日作此法、一切歡喜死生阿彌

陀佛國云、

金寶抄說

根本印小呪或大略同之

又定印大呪同也

顯果云、根本印小呪或大呪或已上

八葉印 胎藏呪云、

○

用印言次第

師主口傳正勝

先三昧耶會法菩薩印

外縛二頭指圓立合二大竝立

眞言羯磨會法菩薩

或云、三摩耶會

次三摩耶觀自在王印

外縛二中指圓立合 眞言大呪

次八葉印

胎藏蓮花藏印也 眞言曰

或云、三摩耶會

問、已上三種皆彌陀印明歟、法菩薩

觀音也、何用彌陀乎、答、三種皆彌陀

印明也、第二第三不及左右、初至法

菩薩印者雖爲觀音印、言彌陀用之、

是相傳師說之上非無證云、

私云、彌陀觀音一尊事有面

○

蓮花三昧耶印

彌陀用之、惠運請來書見云、

私云、兼意四十八願印者、若此意歟

付兩界行事

他師云、向東曼荼羅行之時、八葉中

尊即阿彌陀也、仍爲本尊、而金剛界

金剛大日心月輪觀衆字、奉入彌陀

三摩地爲本尊云、

又供養會之勝上三摩地即胎藏大

日云、

○

彌陀愛染同體 三寶院說云、

寬祐云、愛染王阿彌陀所變也、蓮花

部、主者是也

瑜祇經意、衆字爲種子、蓮花爲三形、

即是意也

卷一〇七

道場觀小野

壇上有六字、變爲孔雀座、上衆字

成蓮花臺、上有衆字、成月輪、中

有衆字、變成獨古杵、變成彌陀如

來、身色紅顏梨放大光明相好圓滿

住三摩地手印云、

淨蓮房云、付金剛界修之道場觀大

日次可觀彌陀、大日如來即入妙觀

察智門、然者法界宮即極樂世界也

七卷抄云、道場、初面前觀安樂世界

云、

兼意云、道場觀了即變三千大千世

界成極樂刹土云、

卷一〇八

本尊加持顯果

先大日加持 次本尊加持 次正觀音 勢至 白衣 馬頭 佛眼

實任云。本尊大日彌陀行者觀音彌陀可觀。道場觀可用意云。

梵號 芳源 大佛頂云
不可打不可打不可打不可打不可打

或云。三力偈了往生安樂刹云

覺真內供云。正念誦縛日羅達摩念呪用之

青蓮花

疏五云。文殊○左持泥盧鉢。是細葉青蓮花文

三六集云。曼鉢羅花此云青蓮花○此花無

葉奉蓮青行者疾感得其果。奉上時名因

大論云。觀中以空觀爲第一。花中以青蓮爲勝取云

私云。花內空歟

要決云。青蓮花無花實故疾飛

覺禪鈔 阿彌陀下

本書等 十二光名 惠雲云云

五尊云云 善光寺佛 五十二像

智光云云 造丈六往生 三寸像

三尊往因 又彌陀因行 本願多少

勸極樂 末法利益 娑婆有緣

西方禮拜 不信除罪 供勝諸佛

兼豆念佛 孝生極樂 五常往生

菩提心生淨土 逆非往生 臨終取幡

引接甘露 念佛殊勝 念佛見佛

念終念佛 念佛大善 十念功德

十念成就 三尊船 過十萬上

極樂殊勝 水鳥樹林 彌陀父母

報佛土 同居土 報應二身

極樂對都率 大呪功能 小呪功能

專修淨業

哀書

本書等 十二光 惠雲事

二十五菩提種 光種子 正像末

智光云云 因位願 大小便

易往無人 十五日 法照清冷山

臨終頌 五色絲證文 一念成就

念佛五緣 小善根 心供養

二菩薩日月 劣應身 法照事

慈惠行等

阿彌陀法

本書 小野云。無量壽經軌卷八觀自在土

無量壽如來念誦儀軌一卷 觀行供養儀軌

大佛安智慧如內題頁 觀行供養儀軌

金剛頂經觀自在王如來修行法一卷 不

大慈智貞 六枚 安

無量壽如來十甘露眞言一卷 安

梵字阿彌陀佛眞言一卷 大師

梵漢兩字阿彌陀經一卷 禪林

雙觀經二卷 已上

唐梵對譯阿彌陀經一卷 已上

阿彌陀鼓音聲王陀羅尼經一卷 眞觀梵

阿彌陀經二卷 內云佛說諸佛阿彌陀經三耶

眞觀梵經

無量壽經二卷 眞觀梵經

觀無量壽佛經一卷 亦云無量壽觀經良耶

阿彌陀經一卷 亦云無量壽經良耶

稱讚淨土佛攝受經一卷 亦云稱讚淨土經

後出阿彌陀佛偈經一卷 眞觀梵經

小無量壽經一卷 眞觀梵經

隨願往生經一卷 眞觀梵經

已上二卷有祕錄

十二光佛名號 慈覺傳云。一佛

大佛頂經五云。大勢至法王子其同倫五

十二菩薩。即從座起頂禮佛足而白佛言

我憶往昔恒河沙劫有佛出世名無量光

十二如來相繼一劫其最後佛名超日月

光。彼佛教我念佛三昧。云云。慈

雙觀經疏上云。無量壽佛號無量光佛。無

邊光佛。無礙光佛。無對光佛。光焰王佛。清

淨光佛。歡喜光佛。智慧光佛。不斷光佛。難

思光佛。無稱光佛。超日月光佛。云云。

問。何故有十二不同耶。答。羅什讚阿彌陀

偈云。智慧光明不可量。故佛又號無量光。

解脫光輪無限齊。故號無邊光。雲無礙

如虛空。故號無礙光。清淨光明滅有對。故

號無對光。佛光耀最第一。故號光焰王。道

光明朗色超絕。故號清淨光。慈光遐被。施

安樂。故號歡喜光。佛光破無明闇。故號智

惠光。明一切普照。故號不斷光。其光除

以莫能測。故號難思光。神光離相不可名

故。佛又號無稱光。明照耀過日月。故號

超日月光。云云。

唐本曼茶羅 （要書一一三）

惠雲僧都請來九品曼多羅。中台有八葉

蓮臺。上有上品上生阿彌陀佛。八葉安

餘八品阿彌陀。內院四隅法利因語。第二

院十二光佛并四攝外四供。第三院二十

四菩薩。一方有六箇菩薩合二十四也。但

加內院法菩薩為二十五菩薩。云云。

惠什說

五尊曼茶羅 心覺說。右印相等

問。觀音勢至加地藏龍樹四為彌陀五佛。

出何文乎。答。未見本說。但大唐并州一國

人皆念彌陀。其國人命終時。阿彌陀佛觀

音勢至地藏龍樹皆來引攝。云云。

隨聞記二云。彌陀五佛。中尊阿彌陀觀音

勢至地藏龍樹也。地藏同於過去發大誓

願。當於時也。指極樂國供養問辭。

又龍樹菩薩生佛滅後。現身證歡喜地。修

往生業。說種種伽陀妙偈。勸極樂土。遂自

生彼。又令他人往彼佛國。云云。

【圖像】三四

善光寺像

彼緣起云。廣庭天皇治十三年。十月十

三日。從百濟國彌陀三尊浮浪來。著日本

攝津州難波。其後經三十七年。始知有佛

法。佛像最初也。推古天皇十年。四月八

日。依佛之託。宣下綸旨。奉移信濃國水內

郡。靈驗揚焉也。○釋尊在世之時。天竺毘

沙離國月蓋長者。隨釋尊教。向西方致體

拜。一心持念彌陀。觀音。勢至。役身一槩。手

半現月蓋門闢。長者面見以金銅奉鑄。寫

之。月蓋遷化之後。佛像騰空。飛到百濟國。

經一千餘年。浮來本朝攝津之後。經五十

一年。安置善光寺。佛飛後二十一年。正

月一日。聖德太子誕生。云云。

【圖像】三五

五十二身像

見唐傳記。有阿彌陀曼茶羅。天竺鷄頭摩

寺有五通菩薩。現身往極樂。問佛云。娑婆

世界衆生念彌陀佛。無其所據如何。佛言。

汝還娑婆。彼國可示現。於是菩薩速還本

寺。其寺樹木葉上。畫佛菩薩像。採集此樹

葉。數之有五十。二體佛菩薩像。以之唐胡

圖。繪人以爲本尊。云云。

【圖像】三六

智光曼茶羅

拾因云。元興寺智光。賴光從少年同室修

學。賴光及暮年。與人不語。似有所失。智光

怪問。無所答。數年後。賴光入滅。智光歎曰。

賴光多年同學也。頃年無行。徒逝去。二三

月間。至心祈念。夢到賴光所見之似淨土。

問曰。何處乎。答。極樂。以汝懇志。示我生所。

早可歸去。智光云。我願生淨土。何可還耶。

賴光曰。汝無行業。不可暫留爾。汝生前無

所作。何得生乎。答。汝不知我往生因緣乎。

我昔披見經論。欲生極樂。靖而思之。知不

容易。是以捨人事。絕言語。四威儀中。唯觀

淨土莊嚴。多年積功。今纔來也。汝心散亂。

善根微少。未足爲淨土業。智光聞斯言。悲

泣不休。重問曰。何爲決定可得往生。賴光

曰。可問於佛。即引智光白佛言。修何善業

得往生此土。佛告智光。可觀淨土莊嚴。智

光重白佛言。此土莊嚴微妙廣博。凡夫何

觀。佛即舉右手。掌中現小淨土。智光夢覺

忽命畫工。令圖夢所見淨土相。一生觀之。

圖像 三七

(裏書一一五)

造丈六像往生

往生傳上云。戒珠沙門顓品者。不知何處人。居住并州淨土寺。晝夜觀丈六阿彌陀像。晝夜思慕眞佛。夢感胡僧云。若見若造丈六八尺彌陀影像。必脫惡趣。三生自往生安養。何以故。彼國土中。若寶樓閣。若池花上。若寶樹下。充滿其中。諸化佛身。丈六八尺。皆紫金色。故覺悟落淚千行。彌固其念。觀像行年七十八歲。正月十五日晡時。語弟曰。西方化佛菩薩百千萬衆。住立近空。汝見不。弟子言不見。又汝濁惡眼。隔聖容。吾今往生淨土。語已向西方而卒。見聞莫不隨喜矣云。

觀經云。欲生西方者。先當觀於一丈六尺像。在池上。無量壽佛身。無量無邊。非是凡夫心力所及。又云。或現大身。滿虛空中。或現小身。丈六八尺云。

梅檀三寸像

瑞應傳云。隋朝僧道暕。於開覺寺念阿彌陀佛。造梅檀像長三寸。後道暕忽死。經七日却蘇云。初見一賢者。往生至寶池邊。賢者遣花三匝。花便開敷。遂入坐。喻邊花三匝。花不爲開。以手披花。隨萎落。阿彌陀佛告言。汝且還彼國。懺悔衆罪。香湯沐。明星出時。我來迎汝。造我像。因何大小。喻白言。心大即大。心小即小。言說像遍於虛

空。即依香湯沐浴。一心懺悔。白衆人曰。爲喻念佛。明星出時。化佛來迎光明。衆皆聞見。即便命終。時開皇八年矣云。

九像

集經二云。若欲得生彼國者。亦更以泥作阿彌陀佛像十萬體。滅罪死生。阿彌陀佛國云。

三尊往昔因

往生佛土經云。釋迦佛成道三十七日。在鷲峯山。爲菩薩說本緣。阿難白佛言。爲我說觀世音願行云。我爲汝略說少。往昔無量劫。南天竺摩奪吒國。有一梵志。名長那。有妻曰摩紫羅女。有二男。兄名早離。弟名速離。兄七歲。弟五歲。間母沈重病。二子摩頂流淚。不哺乳。房經日夜。病彌重。命終。兄提母手。弟含母乳。悲泣。長那他女爲妻也。世飢宅內無物。父告二子。世人遭飢苦。我聞從此南方。往七日程。有壇那羅山。有微妙菓。名鎮頭迦。往取令食。汝等又語妻云。拾菓來。我子勞。還來問。能哀憐。給千度。往還。又摩二子頂。往彼山後。二日後。母語二子云。父山去。諸共出海邊求食。率二子致大海濱。求小船。二子共我指船渡絕島。下船。母云。其求食。我東行。二子西行。二子不堪憂惱。發願。吾等於此島。修大悲行。生世。具菩薩大悲。救無父母貧乏之人。爰父取菓。返來問二子。母答云。只今食了。遊出。父東西南北走求。隣人云。汝入山後。二日後。母放海中絕島。父悲泣。

乘小船往島求不得。白骨發願云。我生世。求得佛道。先度別子人。救無財寶人。又此島究佛道。度孤獨輩。悶絕臥地。命終了。父長那。今月藏佛是也。母摩紫羅女。阿彌陀佛是。早離觀音。速離勢至。島南方海岸。彌陀落山是也。南天竺摩奪吒國。南方海濱。在西南在嶺。中有金剛寶石。觀音坐之。說大悲法門。無數菩薩衆坐寶石云。

彌陀因行

(裏書一一六)

觀經云。爾時有佛。名世自在王如來。時有國王。聞佛說法。心悅興懷。尋發無上眞道。意棄國捐王。行作沙門。號曰法藏。本願多少。

九品往生義。慈惠釋云。大寶積。無量壽經。同說四十八願。大阿彌陀經。清淨覺經。同云二十四大願。此等之經。同本異譯。而發願多少者。弘決釋云。發願不同。部異見別。不須和會。

對十方淨土勸極樂

要集云。問。十方有淨土。何唯願極樂耶。答。天台大師云。諸經論唯勸衆生念彌陀。令求極樂。迦才師三卷淨土論引十二經七論云。

又云。諸顯密教中。勸極樂不可稱計云。

末法利益

(裏書一一七)

經下云。當來之世。經皆有得度云。廣可見義記下云。釋迦正法有五百年。像法一千歲。末法萬年。一切皆過。名爲滅盡。佛以慈悲憐苦衆生故。法滅後。獨留此經百歲。

濟度○法滅盡○後百年間者當得利益
往生淨土。況今聞者何有不生云。

西方要訣云。如來說教。潤益有時。末法萬
年餘經。悉滅。彌陀一教。利物偏增。大聖持
留百歲。時經末法。滿一萬年。一切諸經。竝
從滅沒。釋迦恩重。留數百年云。

南岳發願云。入末法過九千八百年後。月
光菩薩出真丹國。說法大度衆生。滿五十
二年。入涅槃後。首楞嚴經。般舟三昧。先滅
不現。餘經次第滅。無量壽經。在後得百年
住。大度衆生。然後滅去。至大惡世。我今誓
願。持令不滅。爲化衆生。至彌勒佛出云。

娑婆有緣

般舟三昧經云。阿彌陀佛。以此佛與娑婆
衆生有緣。先於此佛。專心稱念三昧。易成

云

悲花經云。意往昔無邊劫時。此娑婆世界
名册提嵐國。佛出世。名寶藏如來。有國王
名無上。念王有大臣曰寶海梵士。時無上
念王三月之間。以四事供養如來。○身上
置十一燈。竟夜供養云。

西方禮拜

（裏書一一八）

要集云。一心五體投地。遙禮西方阿彌陀
佛。不論多少。用誠心念觀佛三昧經文。我
今禮一佛。即禮一切佛。若思惟一佛。即見
一切佛。一佛前有一行者。接足爲禮。皆
是己身。一切佛者。彌陀分身也。
發記云。一明見前阿彌陀佛身相事者。即

見十方一切諸佛。體同故得見一即見
一切云。

一花香供勝諸佛

陀羅尼集經二云。若四部衆將持七寶滿
世界中。布施十方一切諸佛。不如一錢一
花香。好心布施阿彌陀佛。先若作此功德。
一切諸佛。皆讚諸大等。皆悉歡喜。死生阿
彌陀佛國云。

須知家老女也

某豆念佛

廣清涼傳上云。昔有僧念阿彌陀佛。一念
擲一某豆。在十肘範圍內。念滿此甕。乃見阿
彌陀佛。來迎因而化去云。

孝養等之三業生極樂

觀經云。爾時世尊告耆提希。汝今知不。阿
彌陀佛。去不遠。○欲生彼國者。當修三業。
一者孝養父母。奉事師長。慈心不殺。修十
善業。二者受持三歸。具足衆戒。不犯威儀。
三者發菩提心。深信因果。讀誦大乘。勸進
行者。如此三事。名爲淨業云。

（裏書一一九）

發菩提心生淨土

要集云。大經云。欲生淨土。要發菩提心。云
何菩提。乃是無上佛道名也。若欲發心者。
此心廣大。遍周法界。○離二乘心。淨土論
云。發菩提心者。正是願作佛心。○
者。即是度衆生心。度衆生心者。即是攝取

發菩提心生淨土

義疏有此意

衆生。有佛國土心云。
又云。願作佛心者。名上求菩提。下化衆生。
別謂之四弘誓願。無緣慈悲也。一衆生無
邊。誓願度。○此念一切衆生。悉有佛性。長持令無斷。
因三法門。無盡誓願。知此佛性。法身菩提。因
四無上菩提誓願。證此願。佛果菩提。由具前
普於法界衆生。起大慈悲。興四弘誓名。順
理發心。是最上菩提心云。

觀經云。中品中生。若有善男善女。孝養父
母。行世仁慈云。

無量壽經疏下云

問。孝養父母者。此是恩
田。供養者。得大果報。行世仁慈者。仁義禮
讓等行。想爲往生。因也

（裏書一二〇）

要集云

要集云。妻子朋友一切恩所。一切智識。○
隔六趣四生。不知何處。○若生極樂。智惠
高明。恩所知識。隨心引接云。

逆罪人往生

觀佛三昧經云。諸凡夫等。謗方等經。作五
逆。○姪比丘尼。○作種種邪見。至心一日
一夜。觀如來一相好者。罪障悉滅云。

（裏書一二一）

義記下云

若依此方修習。斷除先斷見惑。
離三途。因滅三途果。後斷修惑。離人天。因
經天人果。漸次斷除。不名橫截。若得往生
彌陀淨土。娑婆五逆一時頓捨。故名橫截。
五惡趣截五果也。惡趣自閉。其因也

逆罪人往生

（裏書一二二）

要集云。一心五體投地。遙禮西方阿彌陀
佛。不論多少。用誠心念觀佛三昧經文。我
今禮一佛。即禮一切佛。若思惟一佛。即見
一切佛。一佛前有一行者。接足爲禮。皆
是己身。一切佛者。彌陀分身也。
發記云。一明見前阿彌陀佛身相事者。即

臨終取幡

(要書一二一)

花嚴經探玄記四云。依西國法有欲捨命者。令面向西臥。猶前安一立像。亦面西。以一幡頭封像手指。令病人手提幡脚。口稱佛名。作隨佛往生淨土之意云。

念佛殊勝

(要書一二二)

觀無量經云。汝若不能念者。應稱無量壽佛云。又云。極重惡人無他方便。唯稱念佛故得往生云。

鼓音聲經云。若有四衆。正受持彼佛名號。臨終時。阿彌陀佛與大衆往此人所。令其得見。已生慶悅。增功德。以是因緣。離胞胎穢欲之戒。寶蓮花中自然化生。具大神通云。

雙觀經上云。十方衆生聞我名號。係念我國。願諸德本。至心迴向欲生我國。不果遂者。不取正覺。二十願。

同下云。其佛本願力。聞名欲往生。皆悉到彼國。自到不退轉云。

十住毘婆沙云。若人願作佛。心念阿彌陀佛。應時爲現身。是故歸命禮云。

淨土論云。三業造多罪。應墮地獄中。纔聞彌陀名。猛火爲清涼。文出懺悔滅罪經。

念佛見諸佛

文殊般若經下云。若善男善女。欲入一行三昧。應處空閑。捨諸亂意。不取相貌。繫心一佛。專稱名。隨佛方所。端身正向。能一

佛念。相續念中見過去未來現在諸佛云。

念佛三昧經九云。若欲盡見一切佛現在未來及十方佛。或復求轉妙法輪。亦先修習此三昧云。

十二佛名經云。若人能至心七日誦佛名。得猶清淨眼。能見無量佛云。

念佛必得菩提

十住毘婆沙云。若人念我稱名自歸。即必定得阿耨菩提。是故常應憶念。偈曰。阿彌陀等佛及諸大菩薩。稱名一心念得不退轉。等取過七佛普花等。百餘佛云。

命終勸念佛

群疑論懷感云。命終人偏勸念佛。以七義勝不勸餘法。一者一切凡聖。若人若法。無過佛最尊最勝。○學行圓滿悲愍衆生。過

踰一子。是故至誠稱念佛。二少者。諸修善中念佛言辭最少。餘法門皆多。臨終實修多法。三易者。諸法門中念佛最易修。臨終

百苦纏身。念佛猶恐不成。說餘門誠難學。斯易法彼令修。四滅者。一念至誠能滅八十億劫生死重愆。永絕婆娑三途苦報。五

緣者。彌陀彌劫來苦衆生結緣。○乘此宿因。一心稱念。○永絕五燒。六迎者。以念佛罪垢滅除。彌陀乘本誓願與衆來迎。餘

法不然。故須念佛。七生者。如彼願言。乃至十念若不生。言不取正覺。以斯七義勝勸衆生命終時念佛云。

念佛爲大善

(要書一二三)

西方要訣云。阿彌陀經云。不可以少善根福德因緣得生彼國。疑云。淨土往生要須大善。具行諸業方可往生。但空念佛如何。生彼通曰。夫論善根多少。只約念佛以明。過去無宿善緣。今生不開佛號。但今得聞淨土。專心念佛。即是過去善因。想念西方方能決至此。爲大善根。難聞彌陀淨土發意願生。進退未恒不決定判爲少善不生淨土。○諸佛願行成此果名。但能念號。具包衆德。故成大善云。

十念功德

(要書一二四)

雙觀經下云。設我得佛。十方衆生至心信樂欲生我國。乃至十念。若不生者。不取正覺。唯除五逆。誹謗正法云。第十八願。觀經云。下品下生往生極樂云。

十念成就

(要書一二五)

秘藏記云。據密教十念成就謂十波羅蜜圓滿。或難云。經云十念成就得生西方淨土。七。七。七。者。初地菩薩所生之土。十波羅蜜者。於十地中地地修地。圓滿。若以

十念成就擬十波羅蜜論者。生淨土時。十地可究竟。何故云。初地菩薩所生之上。答云。是密教所謂橫義。初地與十地無高下

故。今卿所難次第義耳。十地自布施波羅蜜至智波羅蜜地。各有一波羅蜜。是顯

教所說。地。遷登之義。今密教所說。言菩薩地者是心也。法文也。佛也。菩薩也。凡異餘乘如此云。意也。

三尊大願船

(要書一二六)

無量清淨覺經云。彌陀與觀音勢至乘大願船。淨生死海。就此娑婆世界呼喚眾生。令上大願船。送著西方。若眾生肯上大願船者。並皆得去。此是易往也。又心地觀經云。眾生沒在生死海。輪迴五趣無出期。善逝恒為妙法船。能截愛流超彼岸。出要集中

西方十萬億過佛土

阿彌陀經云。從是西方過十萬億佛土。有世界名曰極樂。其土有佛。號阿彌陀。今現在說法。舍利弗。彼土何故名為極樂。其國眾生無有衆苦。但受諸樂。故名極樂云。雙觀經云。法藏菩薩今已成佛。現在西方。去此十萬億刹。其佛世界名曰安樂云。

極樂殊勝

往生要集云。極樂依正功德無量。百劫千劫說不能盡。○群疑論明三十種益。安樂妙標二十四樂。既知稱揚。只在人心。今舉十樂。聖衆來迎樂等也。○普賢文殊。彌勒常在極樂。涅槃花嚴說云。

又云。不用日月燈燭。冷暖調和。無有春秋冬夏云。

○凡八方上下無塵數諸佛國中。極樂功德最第一云。

水鳥樹林事

或云。第六意識。於因位分別諸法。自相無相。亦觀察諦理。轉之成妙觀察智。觀察三毒本性清淨之旨。了知煩惱即菩提。覺了生死即涅槃。塵染空故。誠極樂。無明空故。水鳥樹林說法。曠志空故。彼上草木井聖

衆柔軟也

阿彌陀父母

佛土章云。鼓音王經云。阿彌陀佛父名月上。母名殊勝妙顏。有子有魔。亦有調達。亦有王城。若非化身。寧有此事云。他受用身引之

極樂報佛土

(要書一二七)

法相有二釋。報身報上。化身化土。報身報土云。會二乘凡夫生云。說往生論文。引觀經十念往生者。別時意趣也。以十念為因。展轉具功德往生也。非生以十念順次生極樂也云。

同居淨土

但為眷屬圓滿。雖有二乘等。此化非實歟。維摩疏天台釋第一云。二明同居淨土者。無量壽佛國。雖果報殊勝。難可譬喻。然亦染淨凡聖同居。何者。雖無四趣。而有人天。何以知之。生彼土者。未必悉是得道之人。故犯重罪者。臨終之時。懺悔念佛。業障便轉。即得往生。若但聖生。凡夫何得願生彼土。故先雖具惑染。願力持心。亦得居也云。勸經疏云。天台凡聖同居上品淨土也云。義記云。若望賢首猶是下品。但此娑婆故云極樂云。

私云。觀經列九品往生。上品三生菩薩也。中品三生證果二乘也。下品三生造逆惡人也。若極樂世界實報土者。二乘凡夫不可往生。二乘凡夫既得往生者。凡聖同居淨土云。事維摩疏等在此意。

云

為報應二身

彌陀三身中。何乎法相一說。報身云。故天親往生論云。勝過三界道。究竟如虛空。女人及根缺。二乘種不生云。

觀經云。身量六十萬億那由他。恒河沙由旬。相好八萬四千云。

超過初二地等所見也。

私云。彼土女人二乘見不生。豈非報土乎。故教主以報身也。況八萬四千相好。又報身分量歟。

天台說云。四種佛土之中。同居土也。故教主應身也。勝過三界道。勝過娑婆三界云也。女人及根缺。生極樂時。為男質也。二乘種不生。二乘臨終之時。發大菩提心也。然生極樂。聞說樹苦空。宿習開發。證二乘果也。

觀經身量相好。應身具之。是婆尸佛。雖應身具八萬四千相也。故法華文句九云。實有量而言無量。彌陀是也云。(要書一二八)甫正記云。阿彌陀此云無量壽。彼是勝應之身。機息應謝。以觀音為甫處。即實有量云。無量也云。(要書一二九)

私云。報身如來者。何以觀音為甫處乎。付應身論甫處故也。仍勝應劣應之二身歟。可尋。

愚案云。諸宗存報應二身者。頗無其目。自宗意。猶一佛淨土。可有四身淨土。隨機見之故。文云。豈離伽那別求常寂。非寂光外別有娑婆云。

教時義云。釋迦有淨土如極樂。有彌陀穢土如娑婆。取意。

秘藏記云：花藏世界者，理也。理遍法界，藏諸法於其中。故曰花藏。是花藏世界最上妙樂在其中。故曰極樂。當知極樂與花藏雖名異而非異處。云：此等之文，意可察也。

安養對都率

要集云：問：玄井三藏云：西方道俗並作彌勒業，同欲界，其行易成。大小乘師皆許此法。○彌陀淨土，恐難成，如舊經論七地已上菩薩，隨分見報佛淨土。新論意：三地菩薩始見報佛土。豈容下品凡夫得往生？天竺既爾，何勸極樂耶？答：中國邊州處，異顯密教門，其理同。所引證據多明文。況祇洹精舍無常院，令病者在勸極樂，豈乖之耶？又群疑論極樂，兜率立十二勝劣。略取意稱彌勒名除千二百劫罪，稱彌陀名滅八十億劫罪。慈恩立十異。○第九云：西方佛來迎，兜率不爾。感師云：來迎同也。○西方生逆罪人，兜率不爾云：問：玄井所傳不可不會。答：西域行者，多有小乘。十五國學大乘，學小乘云：一國兜率大小共許。他淨土大許小，不許。○諸教興隆，不必一時云：○若有別緣者，隨意樂勿生異說。感師云：求兜率者，勿毀西方行人。願西方者，莫毀兜率之業。○任情修學，莫相是非，不生勝處輪轉三途云：取意

以信心成佛

(裏書一三〇)

又云：破音聲王經云：若能深信，○除不至心。佛陀心想云：觀無量壽經云：是心作佛，是心是佛云：

又云：諸如來是○從心想生云：第八佛菩薩觀文也。龍樹偈曰：若人種善根，疑則花不開。信心清淨者，花開則見佛云：

大呪功能

無量壽儀軌云：此陀羅尼，繞誦一返，則滅身中十惡四重五無間罪。一切業障悉皆消滅。若苾芻苾芻尼，犯根本罪，誦七返已，即時還得戒品清淨。誦滿一萬返，獲得不廢忘善，提心三摩地。菩提心顯現身中，皎潔圓明，猶如淨月。臨命終時，見無量壽如來，與無量俱，抵菩薩圍繞，來迎安慰行者。則生極樂世界上品上生，證菩薩位。

小呪功能

又云：誦十萬返，滿得見阿彌陀如來。命終決定得生極樂世界云：依正不二，我身極樂，心佛一體，我心彌陀。文云：若見己心，即見佛心，以彼佛心是我心故云：

專修淨業事

善導和尚立專修二修。雜修者，散漫修諸善業，無決定志，缺於迴向發願也。專修先身專禮彌陀，不禮餘佛。○專稱彌陀，不稱餘號。意專想彌陀，不想餘境。晝夜迴向發願往生。專修者，百即百生。雜修者，萬中一二。○努力進前，早求自度，無常迅速，不與人期。今日雖存，明亦難保。○古人云：非憑他力，截業惑以無期，不遇此門，脫死生而

無路勉之云：

御本云

一交了

憲)

元文五庚申年六月二十二日遂修複收大經藏了

權僧正賢賀五十歲

裏書一二一

阿彌陀經疏一卷沙門撰

安樂集一卷沙門撰

讚西方淨土一卷

淨土五會念佛略法事義讚一卷南岳沙門法照述

已上慈覺

阿彌陀經疏一卷大乘基師撰

阿彌陀經隨緣義鈔一部法師撰

觀念阿彌陀佛相海三昧功德法門一卷

已上靈巖

無量壽觀經記一卷德勝子撰

阿彌陀經一卷基公撰

已上智證

無量清淨平等覺經二卷委迦攬撰

阿彌陀鼓音聲王陀羅尼經一卷梁先

無量壽經論一卷留文撰

已上貞元

千光王佛威德要法一卷 晚錄

十二光佛事

觀無量壽經義記上云。無量壽佛光明第一。○有十二句。初無量光。無邊無礙。以此三種當相以嘆。無量長也。無邊廣也。無礙自在也。無對炎王。此兩種寄對顯勝餘光。不敵名無對光。此光勝餘名光炎王。清淨歡喜。智慧不斷。此四種當相以嘆。離垢禪淨。能令見者心悅名喜。於法善照名智慧。光普照不絕名不斷光。難思無稱。超日月光。此三種寄對顯勝過世心想。故曰難思。過世言相名為無稱。光過世色相名超日月。慈覺大師慈母料作阿彌陀次第。身觀衆右五指前供養。左五指後供養配之云。



後寬云。十二光種子。阿彌陀三字因行證入四點。一各加爲十二光佛云。

若聖賢說歟

覺禪云

覺禪云。所持安祥寺錄內題。憶惠雲字也。自證房義不指南。但僧綱補任可見。又大唐惠雲可尋。覺印圖梨記云。自證房惠雲者。誰人哉。若安祥寺先德惠運也。又件請來未見之。若從大唐來惠雲歟。僧綱補任云。延曆十七年任律師。不補僧都云何。已上心覺說也。

二十五菩薩者

觀世音菩薩 大勢至菩薩

藥王菩薩 藥上菩薩

普賢菩薩 法自在菩薩

彌子吼菩薩 陀羅尼菩薩

虛空藏菩薩 德藏菩薩

寶藏菩薩 金藏菩薩

金剛藏菩薩 光明王菩薩

山海惠菩薩 花嚴王菩薩

珠寶王菩薩 月光王菩薩

日照王菩薩 三昧王菩薩

定自在王菩薩 大自在王菩薩

白象王菩薩 大威德王菩薩

無邊身菩薩

二十五菩薩種子事

觀音 勢至 普賢

法自在 彌子吼 藥王

功德藏 寶藏 金藏

金剛藏 光明王 山海惠

莊嚴王 珠寶王 月光王

日照王 三昧王

定自在王 大自在王

白象王 大威德王

無邊身菩薩

十因云。如十往生經說。佛告山海惠菩薩。及以阿難。有人念西方阿彌陀佛。願往生者。○常使二十五菩薩影護行者。○無病無惱。不令惡鬼惡神惱亂行者。常得安穩。

覺禪云

字治僧正。發忠件像被奉寫之。以彼正本圖之。

元興寺以極樂房正本圖之。後白河院御宇。元興寺別當範玄都時。自彼經藏進覽之件本。板圖之。長一尺。廣一尺。寸也。

普通本。中尊合掌也。正本不然。大和國當麻寺西堂九品極樂曼荼羅上品上生教主。長三尺許。印相九品總印云。

印相可尋

因位願

無量壽經云

我建超世願 必至無上道

斯願不滿足 誓不成等覺

我於無量劫 不爲大施主

普濟諸貧苦 誓不成等覺

我至成佛道 必誓超十方

究竟靡不聞 誓不成等覺

觀經義疏云○法藏菩薩世自在王

佛時始發願造依正兩果云

或云

過去空王佛 眉間白毫相

彌陀尊敬禮 滅罪今得佛云

或云雙觀經心云乃往過去定光如

來出世相續五十四佛出世最後佛

號世自在王如來時有國王名不分明○出

家名寶藏比丘對世尊立四十八大

願云

末法事

慈恩大師釋此正像末三時教行證

三俱在云正法教行有證闕云像法

教法獨留行證俱闕如末法

○

易往無人事

惠遠大師無量壽釋云可見壽

天台大師臨終唱曰四十八願莊嚴

淨土花池寶閣易往無人逆罪人往生

無人云

○

十五日先跡

西天竺一人貧女有名留恰阿家中

無一塵物只每月十五日念佛行人

許行衣鉢洗水募膳備最後臨終首

西傾聲上往生極樂計申時紫雲霓

妓樂闌一輩蓮生云天親釋可尋

西方可向事

止觀二云隨一佛方面端坐正向稱

一佛名字○與稱十方佛名字功德

正等文

決云諸教所讚多在彌陀故以西方

而爲一准文

西方要決云慈恩行住坐臥不肯西

方啞唾便利不向西方文

○

大小便利不向西事付小角

悉檀抄云或云大唐并州人生僅至

七歲發菩提心不發三業罪惡住慈

悲一心念彌陀○一向求極樂無他

念大小便利向西不行之背東禮拜

小角豆計念佛一念移一豆仍彼國

男女老少臨終彌陀觀音得大勢地

藏龍樹等持大寶蓮花迎行者如力

士延臂間往生極樂空中天音樂自

聞牛頭栴檀香滿國聞者彌信修念

佛州人皆生極樂云

○

念彌陀念一切同事

懷感禪師云般舟三昧經說跋陀和

菩薩請釋迦牟尼佛言未來衆生云

何得見十方諸佛佛教令念阿彌陀

佛即見十方一切諸佛以此佛特與

娑婆世界衆生有緣先於此佛專心

稱念三昧易成文出群疑論六

要集中云問所言彌陀一身即一切

佛身者有何證據乎答大台大師云

念阿彌陀佛即念一切佛故花嚴經

云一切無礙人一道出生死一切諸

佛身即是一法身一心一智惠力無

畏亦然又觀佛三昧經云若思惟一

佛即見一切佛文一法一遣一乘法云

極樂不遠心中而近云請靈集三

四可見之

○

觀經文誘方等五逆者生極樂云事

不分明只罪障消滅許也可尋

五色線取證文

網索經五云阿彌陀左置觀音右置

大勢至以蓮花網索一頭置於阿彌

陀佛右手中一頭如法繫自耳瑣以

諸幡華周匝莊嚴云

私云上文釋迦右手網索同也無

極樂往生作法歟

○

臨終行儀

六卷抄遺宣云中國本傳云祇桓西北

角日光沒處爲無常院若有病者安

置其在中○來者極多，還反一二，卽事而求，專心念法，其堂中置一立像，金箔塗之，面向西，其像右手舉左手，中繫一五綵幡，脚垂曳地，當安病者在像之左後文

○弘決云：人命將終，聞鐘聲增其正念，唯長唯久，氣盡爲期，不空行狀云：浴香水換新服，至北面瞻望，東首倚臥，住大印身定中便去云

○唯識疏云：世親無性論皆云：善業從下冷，惡業從上冷，四生勝趣惡趣別故云

○葬事

六卷鈔云：宜葬有四，一水漂，二火焚，三土埋，四陀林文

五分律云：若火燒時安石上，不得草土，恐傷蟲故

四分律云：如來輪王二人悉火葬，餘人通前○後悉夏燒殺蟲故令埋之云

〔真書〕一二二

或云：法照禪師○登清冷山，普賢文殊共勸彌陀念佛，園提希牢逆子獄，釋尊教極樂業因云

念佛五緣事

懷感禪師釋云：念佛由五緣故滅罪，一發大乘心緣，二願生淨土緣，三阿彌陀佛大願緣，四念佛功德緣，五佛威力加持緣云

○散心念佛事
道寂禪師唐弟子道聖夢想頌云
西方教主 現神迎來
散心念佛 功德難識

〔真書〕一二三
寶積經云：由小善根生彼國者，不可稱計念佛

小阿彌陀經云：不可以小善根得生彼國云

群疑論并要集等意云：寶積經以念佛爲小善根，阿彌陀名號緣三字易唱故云小善根

小經云：大善根者，一稱滅八十億劫生死罪，故約功用云大善也，譬寶珠體微少廣出生財寶也

〔真書〕一二四
或云：十念者十方佛念云

又阿彌陀佛四字卽具十佛，阿三身，彌陀二字同具三身，佛字一佛也，合十佛歟

〔真書〕一二五

一念成就 後日小卷經文ヲ見
一念彌陀佛 卽滅無量罪，現受無比樂，後生極樂云

或云：慳無說所，就中後句人加歟云，觀經意云：乃至一念卽得往生云，可見經

〔真書〕一二六
三尊名號可稱事

觀無量壽經云：但聞佛名二菩薩名，除無量劫生死之罪，何況憶念文

○觀音勢至造日月宮事
須彌四域經云：天地初開時○人民

多生苦惱，於是阿彌陀佛遣二菩薩，一名寶應聲，二名寶吉祥○相議向

梵天取七寶造日月星辰二十八宿，照天下，定四時，春夏秋冬，日月星辰

西行，諸天人民盡稽首彌陀，傾心向彼西流云

〔真書〕一二七

諸經要集一云：智論云：釋迦牟尼佛文有清淨世界，如阿彌陀國，其彌陀佛亦有嚴淨不嚴淨世界，如釋迦佛文

胎青龍軌中云：阿彌陀佛發願爲因，十念成就，佛願爲緣，地勝闍萬行六度四攝等淨土有二，他受用土登地見，化土地前二乘凡夫見

〔真書〕一二八

劣應身事 天台
黑谷十疑云：第八疑云

他宗判阿彌陀是報身，今宗御意判

何身乎。答既云同居土。謂劣應身佛也。

問觀經說彌陀身量云六十萬億那由他恒河沙由旬。過超初二地等之所見。是以他宗判報身。付何邊可破乎。答雖有此人而猶不及臺上之寶滿如來。豈判云報身。故天台所釋云劣應身尤相順耳云。

〔纂書一三九〕

無量壽佛身量無邊。法性身。八萬四千相好。受用身。一丈六尺身。變化身。水鳥樹林成法音等流身也。

已上大軌等意能可思之。極樂即四佛土也。

〔纂書一三〇〕

佛法大海以信爲能入。

心供養事

大日經疏八云。經云。或以心供養一切皆作之者。如世尊說。諸供養中心最爲上。如前一。供物皆當運心遍及法界云。

○

或人云。慈惠僧正阿彌陀千日護摩終夢想告云。一僧有云。汝此護摩功德。依天台座主可成云。

僧正夢醒思。我此護摩功。依往生極樂。樂コソスヘケレ。心不得事也思慮。

程。稻半喻經說。見現世悉地叶往生。隨叶文此持心落居了云。

師主權僧正師語云。寬遍僧正至信心被修阿彌陀護摩。滿三七日時有悉地云。

○

法照禪師依文殊教修念佛事。

瑞應傳云。五臺山唐高僧法照禪師。大曆五年四月六日於大聖竹林寺。親觀文殊菩薩作禮致問。末代凡夫。知識淺劣。佛性心地無由顯現。○於何法門最爲其要。惟願大聖斷我疑網。菩薩曰。今正是時。○無如念佛。○一切諸法。般若波羅蜜多。○乃至諸佛正遍知海。皆從念佛生。照曰。當云何念。菩薩曰。此世界西有阿彌陀佛。彼佛願力不可思議。汝當暫念。令無間斷。命終之後。決定往生極樂淨國云。文多略之。

覺禪鈔 釋迦上

釋迦如來法

本師事

大日經疏一云。釋迦菩薩蒙定光授決之時。應成佛。何故具修方便。要待無師自覺。方名佛文。

法華義疏一云。燃燈復是釋迦師也云。

同十一云。燃燈。智度論云。太子初生。身光四邊似燈。故名燃燈。太子後成佛時。名燃燈佛。餘經云。錠光佛者是燃燈耳。有足者稱燈。無足者稱錠也。

本身大日

疏十五云。於東方初門中。先置釋迦牟尼。坐白蓮花。作說法狀。○此白蓮花。卽中胎淨法界藏。世尊爲令此教廣流布故。以此生身標幟。而演說之。然與本法界身無二無別故。云住彼而說法也云。

入寶所三昧

疏十云。釋迦入于寶處三昧。寶從彼出。名爲寶處。猶如大海出種種寶。若至彼州。隨意所須。無不足也。佛入此三昧。從面門出種種光。中現此眞言。普遍一切佛刹。文青龍軌下云。○三昧光中現此眞言。入寶處三昧。眷屬同入。乃至諸天等皆是如來所化之身云。釋迦眞言注也。

爲三界慈父

〔纂書一三一〕

法花經云。今此三界皆是我有其中。衆生悉是吾子。而今此處多諸患難。唯我一人能爲救護云。

又云。皆是吾子。我則是父。我皆濟拔令出三界云。

所變無能勝

疏十云。無能勝。釋迦眷屬。○此是釋迦化身。顯其無量自在神力。現忿怒明王形。降伏衆生。盡諸障云。

祕藏記云。無能勝釋迦忿怒。自性輪慈氏云。

八相門

生天

(裏書一三二)

梵網經上云。爾時釋迦從初現蓮花藏世界。東方來入天宮中。說魔受化經云。大論婆沙有多說。文意云。兜率壽命定四千萬歲也。即閻浮提人見佛開法緣熟。相當時分。但約釋迦一佛作此說也。第十滅劫彌勒數死數生云。古來難義云。

託胎

(裏書一三三)

佛本行經云。菩薩從都率下。淨飯王第一妃摩耶夫人右脇住。妃夢見有一六牙白象頭朱色。○乘空下入右脇。○即白王。喚波羅門占夢。○爲說偈言。若母人夢見日天入右脇。○所生子必作轉輪王。○白象人右脇。胎所生子三界特尊利諸衆生。○度脫千萬衆。時占夢波羅門師白大王言。○所產必生聖子。必成佛道。名聞遠至云。

梵網經云。釋迦自天宮下生南閻浮提迦夷羅國。母名摩耶。父字白淨。

或文云。釋迦於迦葉佛所得受記。已。即生都率天。經四千歲。年七月十五日。迦毘羅衛城主師子類王子淨飯王爲父。善覺長者女摩耶爲母。託彼胎中文。

疏五云。世尊北邊安置佛眼。釋迦牟尼佛母。此方譯爲能寂母。世間樂見端嚴無比之身。是如來出生隨類形三昧。○慈眼光無所不遍。故云遍體圓淨光云。

出胎

(裏書一三四)

因果經云。二月八日夫人往藍毘尼園。見無憂花舉右手摘。從右脇出云。

或云。明年甲寅四月八日。於迦毘羅衛國嵐毘園中。舉利叉樹下。而從母右脇生云。

義疏一云。四月八日佛生云。

或人壽百歲時出世云。

灌頂經云。十方諸佛皆用四月八日夜半明星出時生。

同經云。十方諸佛皆以四月八日誕生。春夏間萬物普生。不寒不熱。時潤云。

摩訶利頭經云。四月八日生云。

佛本行讚經云。二月八日菩薩右脇生。林珠頗多略之。

或人云。今案同四月八日夏二月八日也。

梵網經上云。吾悉達七歲出家云。義疏七云。十九出家。

長房錄云。年十九出家。又云。釋論引經二十九出家云。

西域六云。智度論云。太子生年二十九出家云。

又云。有率都波。無憂王所建。太子剃髮處。從闍釋迦取刀自斷其髮。接上天宮以爲供養。時淨居天子化作剃髮人。執持鉗刀徐步至。太子曰。能剃髮乎。幸爲我淨之。化人受命剃髮。踰城出家。時不定。菩薩年十九或二十九。以吠舍佉月後半八日。踰城出家。當此三月八日。或以後半十五日。當三月十五日。惠上菩薩所問經云。何故菩薩夜半出家。至于江流而自洗浴。感諸群生。爲現德本。悉當念言。所立之處。切自然白法。故由此夜半出家。無礙極妙樂事。皆當棄捨。清白之法。不可難也。文。

出家作法

(裏書一三六)

自誓三昧經云。詣具多樹。憶念先佛出家之法。以法爲師。天梵爲證。信根內固。宿習六度四等四恩四禪行五神通善權隨時三十七品具足。佛事發意已來。不捨一切。忽然自悟。帝釋便下。剃刀授之。於是菩薩左手執髮。右手持刀。心自念言。刈習苦垢。殞無著根。○刀未近髮。忽便自墮。完髮自然明顯。菩薩心念。先佛出家去髮。應有袈裟法服。檢心方興此念。淨居天子即取色界天劫。彼育自然袈裟。以上菩薩。○恒沙無量世界諸佛。○各送袈裟。○合成一服。○端坐六年。○六年後夜戒證。方現文。

又云此衣今在梵天供養云、

苦行

本行經云太子踰城獨成沙門至尼連禪河邊寂然閑居文

大善權經意云菩薩於熙連禪河邊寂然閑居六年勤苦每日服一麻一米文

降魔

(裏書一三七)

觀佛三昧經云魔有三女長名悅彼中名喜中少名多媚白父母王我能往亂願父

莫愁自莊飾著寶冠容媚離魔后萬億○璽路見曜光翳六天乘寶車王女侍御至

菩薩所下車合掌禮菩薩遠七匝白菩薩言太子○何棄大位來此樹下我天女顏

貌無雙奉上太子供給左右○即以寶器獻天百味太子寂然身心不動○天三女

自見身內膿囊○熱藏轉涌出諸虫有八千戶廣有九億小蟲遊戲身左生蛇頭右

生狐頭中首狗頭背負母抱死小兒女心酸苦○王大怒遍勅六天并八部往瞿曇

所諸鬼如雲起諸鬼或首如牛頭有四十耳○中生鐵赤炎高一由旬○或首如狐

頭有十羊眼口生熾火諸毛如劍復有諸鬼倒住空中有十二脚足跟有千刀頭如

大山○勅諸兵衆瞿曇上震大雷電雨熱鐵丸○其火前不近菩薩文取意

成道

付六年苦行 年二十五 (裏書一三八)

大善權經云菩薩往至熙連水邊閑居寂然思惟六年而大勤苦日服一麻一米結跏趺坐亦不傾動大雨雷電冬夏默坐未

曾舉手以自障蔽衆人怪之取草木投耳鼻中亦不棄去文

梵網經云悉達○三十成道號吾爲釋迦牟尼云

智度論云二十五成道文

義疏七云舊云如來三十成道云又云若十九出家非三十成道則二十五

成道言六年苦行故

又云若今依釋論引經云三十五成道云西域記八云如來以印度吠舍月後半

八日成等正覺當此三月八日上座部吠舍月後半十五日成等正覺當此三月十

五日時如來年三十或三十五云長房錄云年三十二月八日成道云

法花經三云我釋迦牟尼佛於娑婆國土成阿耨多羅三藐三菩提云

轉法輪

(裏書一三九)

或云初成道第二七日說花嚴經第三七日即趣波羅捺在路中爲提謂波利說人

天教至鹿園爲五比丘說四諦四阿含十二年於王舍城中爲大迦葉等說十二因緣教三十年王舍城中亦爲彌勒等諸菩

薩說大品等經四十九年後爲三根聲聞說法花經至第五十年說涅槃經云

天台宗云法花經八箇年說云

義疏云五十年說法

又云諸師并云四十九年今說法花事歟壽量品云四十餘年云

或云五十餘年云

長房錄云四十九年說法教化云

(裏書一四〇)

涅槃經云二月十五日入涅槃云

涅槃疏云二月是中春之時仲中也即表中道十五日日是月圓滿之時得表圓常故

以中時滿月日表中道圓明法云

涅槃後分云世尊於師子座以眞金手却所著僧伽梨衣顯紫摩黃金師子胸臆大

衆瞻仰目不暫捨○世尊示大衆已放無量無邊火災光普照十方世界日月無復

光明○汝等累劫截身手足盡修難行苦行人悲本願於五濁成阿耨菩提○具三

十二相八十種好無量光明遇光無不解脫○佛出世如優曇花○最後遇我化緣

畢欲涅槃汝等以至誠心修清淨業來世得此果報如是慍慍三告黃金色身從空

中下座師子床如是二十四反告大衆我欲涅槃著我金剛堅固無畏色身○爲是

最後見大衆瞻仰無復後悔○爾時世尊顯金色身還舉僧伽梨衣如常所被文取

意

法花義疏七云八十滅度文

涅槃後有自在

又云佛於大般涅槃中金剛不壞力自在一切茶毘火不燃自於心中出慈火焚燒

七日示現盡入天不燃滅此火如來大悲示應力帝釋來至火便滅妙兜羅綿繚佛身大火焚燒都不燃云

形像門

金像木像元起

（裏書一四二）

三寶感應錄上云。釋迦成道後八年。恩報母摩耶恩。從祇洹往忉利天。時摩耶出乳潤世尊臂。示子緣。佛爲說法。○時優填王欲作佛像。巧匠言。應用純紫檀檀木。○探斧破木。聲上徹忉利天。以佛力聞者。○皆得眼。貧得福。三途離苦。○高七尺。或五尺波斯匿王。○以紫摩金而作。○如來過九十日。已下閻浮。○木像從座起。如生佛。步虛空。足下雨花。放光來向世尊。○言木像言衆尊前進。尊言我入滅不久。汝在世久。利衆生。可在前云。

繪像先跡

又云。佛在竹林園時。○勝音城王名仙道。正法治國。王舍城王名影勝。○仙道王造五德上甲。令使送。一歲時清冷二刀所不入。三不寒。四不渴。五不病。六不憂。七不怒。八不喜。九不樂。十不哀。十一不懼。十二不怖。十三不驚。十四不恐。十五不疑。十六不惑。十七不亂。十八不迷。十九不誤。二十不謬。二十一不悞。二十二不誤。二十三不謬。二十四不悞。二十五不誤。二十六不謬。二十七不悞。二十八不誤。二十九不謬。三十不悞。三十一不誤。三十二不謬。三十三不悞。三十四不誤。三十五不謬。三十六不悞。三十七不誤。三十八不謬。三十九不悞。四十不誤。四十一不謬。四十二不悞。四十三不誤。四十四不謬。四十五不悞。四十六不誤。四十七不謬。四十八不悞。四十九不誤。五十不謬。五十一不悞。五十二不誤。五十三不謬。五十四不悞。五十五不誤。五十六不謬。五十七不悞。五十八不誤。五十九不謬。六十不悞。六十一不誤。六十二不謬。六十三不悞。六十四不誤。六十五不謬。六十六不悞。六十七不誤。六十八不謬。六十九不悞。七十不誤。七十一不謬。七十二不悞。七十三不誤。七十四不謬。七十五不悞。七十六不誤。七十七不謬。七十八不悞。七十九不誤。八十不謬。八十一不悞。八十二不誤。八十三不謬。八十四不悞。八十五不誤。八十六不謬。八十七不悞。八十八不誤。八十九不謬。九十不悞。九十一不誤。九十二不謬。九十三不悞。九十四不誤。九十五不謬。九十六不悞。九十七不誤。九十八不謬。九十九不悞。一百不誤。明裁勅書奉影勝王。○覽觀甲心商量。准直金鐵十億。我國如何酬乎。時大臣曰。國內有佛。人中妙寶。十方無等。白疊畫尊像。遣送。王曰。白佛。○卽白佛言。善哉。畫一鋪像。至國時。廣轉處懸幡蓋香花列。開其像。若問何物。答是世尊像。捨王位成正覺。○像具畫像。作勅書報仙道。開讀告大臣。未知彼國有奇異信物。王誦文還宮。依文思惟。至天明。不起座。得初果。○卽以書報影勝曰。我賴仁恩。見真諦文。

尊形

（裏書一四二）

青龍軌下云。第三院東方初門中釋迦師

子壇。○紫金光聚身。具相三十二。被服袈裟衣。坐白蓮花臺。住彼說法。智手吉祥印也云。

疏五云。釋迦牟尼身真金色。并具光耀三十二相。所被袈裟作乾陀色。坐白蓮花。作說法狀。左方執袈裟角。如今阿育王像。右手堅指。以空水輪相持其標幟。取意

圖像

三八

圖像

三九

高雄胎藏。釋迦院像也。軌文違之。欺可尋。

三尊像。如般若菩薩等。釋迦佛頂像。

集經一云。金輪佛。頂取淨白。裝若淨絹布。闍闍任意。不得截割。○畫世尊像。真金色。著赤袈裟。戴七寶天冠。作遍身光。作毘陀羅結。跏趺坐。七寶莊嚴蓮花座。下。豎著金輪。下。作寶池。四邊作鬱金花。及四天王。隨方立。其下。左。畫文殊菩薩。身白色。有光。七寶瓔珞寶冠。天衣莊嚴。乘師子。右。畫普賢菩薩。莊嚴如前。乘白象。師子象中間。畫大般若菩薩。有三目。莊嚴如前。手把經匣。端身坐。佛頂上空。畫五色雲蓋。左右有淨居天。雨七寶花云。

又云。其佛右手者。申臂及掌。仰當右腳膝上。指頭垂下。到於蓮上。其左手者。屈臂仰掌。向胸前橫著。

圖像

四〇

又樣。右觀音。左金剛藏。（裏書一四二）

觀自在授記經云。中胎釋迦佛座寶師子座。作說法相。右畫觀自在。坐蓮花。合掌持白蓮花。身白紅色。○戴寶冠。左。絕白神索。左。畫金剛藏菩薩。左。持金剛杵。身淺綠色。次。後。畫八大菩薩。彌勒。大勢至。曼殊師利。地藏。虛空庫。除蓋障。陀波耑。虛空藏。菩薩云。

圖像

四一

又像。右觀音。左金剛藏。（裏書一四二）

一切法莊嚴王經云。畫鋪中安釋迦佛像。處師子座。作說法儀。右。安觀自在。○蓮花立。有四臂。右。上手執梵本經。下手執數珠。左。上手執白蓮花。下手執金剛杵。其四邊安護世四天王云。

圖像

四二

曼荼羅

釋迦文佛軌云。若欲報世尊恩德者。作曼荼羅。中央畫釋迦牟尼像。金色身。具四八相。被服袈裟。應身說法相。智手吉祥印。理手向上。置臍前。於白蓮花臺。結跏趺坐。普賢文殊。觀音。彌勒。住四隅。如胎藏說。各坐蓮花座。半跏。居於佛前。有如來鉢。佛右邊有賢瓶。含花。佛後有錫杖。佛左邊有寶螺。各安蓮葉上。光炎圍繞。文（裏書一四四）

角如今阿育王像右平頭指以宣水輪相持其標

撒 取意



白蓮

高雄胎藏外下天入迦院







圖像 No. 41. 釋迦如來(共四)

一 安祥山世天王



圖像 No. 42. 釋迦如來 (其五)

圖像 四三

勤修門

請書

蓋聞釋尊者爲三界之慈父。施一子之悲哀。被孕娑婆世界者。殊可仰大悲之汲引。耆歟。仍年來畜宿願。近日常尊像。來十三日欲遂開眼。若被光臨者。本意可足。稽首和南。敬白

月 日

返事

釋迦如來開眼御導師可令參勤之由。謹承候畢。老耄隨日倍增。心神追年闇昧。嚴重之御佛事。不能啓白之仁。但依固辭。有恐。慙捧領狀耳。恐惶謹言

月 日

已上諸書等供養
導師也便宜載之

支度

注進

釋迦護摩支度事

合

蘇蜜 名香 白檀

五寶 金、銀、琉璃、青、琥珀、水精

五香 龍腦、鬱金、白檀、麝香、沈水

五藥 赤箭、人參、茯苓、甘草、檳榔子

五穀 稻穀、大麥、小麥、大豆、胡麻

壇一面 加爐桶

脇机二前

燈臺四本

禮盤一脚 在半盤

壇敷布一端

大幕一帖

壇供 御明已上三種
如常

阿闍梨

承仕一人

駟仕一人

見丁一人

淨衣黃色

右注進如件

年 月 日

壇莊嚴

佛供大小十六坏

汁八坏

菓子十六坏 開白并每
日中

初夜供物無之

後夜之時粥八坏

壇木

乳木二束 二百八、一長

藥種 加持物

行法付

開白有表白詞

敬白 三言今造立釋迦如來五尺之尊

容模寫妙法蓮花一部之眞文。開眼開題

供養供敬旨趣何者。夫釋迦如來者。五百

摩點寶成之如來。示非生於藍尼苑。

三千世界能化之教主。現非滅於拘尸

那城。世調機爲導婆娑之迷徒。希成

某

這只志濁世之化導。率爾開名號者。階菩薩之地位。剃頭著袈裟者。預三乘之記號。大恩教主之稱誠有以哉。是以就秘密瑜迦之儀則。設開眼供養之梵筵。刻五尺等身之尊像。擬九品蓮臺之妙因。然則一期月。願百年華萎時。預釋尊之化導。詣彌陀之淨刹。乃至法界平等利益。

道場觀

(裏書一四五)

樓閣中有金字。成迦樓羅座。四方相均等。上現波頭摩。周匝皆黃障。其上有月輪。中有八字。變成本鉢。變成釋迦牟尼如來。紫金光聚身。具三十二相。被服袈裟衣。坐白蓮花臺。爲令教流布。住彼而說法。智手吉祥入寶處。三昧眷屬圍遶。字輪觀 石山



已上常喜院傳
種子 不妄字



禮佛 三十七尊如常。
梵號用之。

結界部 註在裏。
讚師云用四智讚。

應身讚 心覺傳。

製謨郎婆迦引履 一應訶駄耶 二多演難

三母尼鑠引吃也 二合僧思 訶五鉢羅

鉢底丁以 驕日羅 合駄羅 七摩護 八忆哩

野九合 惹那 鉢利勿 二但寫 一係多

去也 二轉差率都帝

正念誦 師傳或用小呪

散念誦

佛眼 大日 本尊呪 同小呪

普賢 文殊 無能勝 金剛樂叉

一字金輪 護摩 (裏書一四八)

第一火天段 如常

第二部主段 大日 金 或金剛樂叉

第三本尊段 加持物。梵號呪用之

第四諸尊段 八大菩薩 端圖像所可見

或三十七尊

第五世天段 如常 四天王可加用

伴僧 用大呪

御加持 同但調伏時可用意。可開口傳也。

卷數

因位行

心地觀經一云 取意 慈悲喜捨恒無倦能

捨難捨趣善提。割身救鵠無悔。○昔在凡

夫。入雪山求佛道勤精進。爲求半偈捨全

身。○十二劫超生死苦。昔爲摩納仙布髮

供養燃燈佛。八劫超生死海。昔爲薩王子

時捨愛身投餓虎。十一劫超生死。因流水

長者大醫王。平等救衆生。故濟魚各得生

天上。○七日翹足。讀如來超九劫。昔爲白

象王。其牙殊妙。捨身命投獵者。求無上善

提。或作圓滿福智王。施眼求佛道。又作金

色大鹿王。捨身求佛道。爲迦尸國慈力王。

身施五夜叉。作大圓莊嚴王。妻子施無惜

惜。爲最上。菩薩頭目。隨腦施衆生。菩薩行

慈悲。皆願求證菩薩道文

八塔事 心地觀經一云

尸毘王因緣事 六度集經

須陀摩王事 智度論

忍辱仙人事 大論實惠經二

大施太子事 六度集經

尚闍梨仙人 大論見

劬賓大臣事 大論

五百盲人奉禮釋迦佛得眼事 實惠經六

快目王割眼與盲婆羅門事 實惠經六

慈力王刺血施五夜叉事 實惠經一

元文五 庚申年林鐘二十六日遂修複補

闕分令收大經藏竹目木底了

淨土院權僧正賢賀 五十

〔裏書〕 一三二

花嚴四十四云。一切世間設五欲除

我一人無能濟彼文

或云。釋迦如來立五百之願。名三界

之慈父云。

瑞應經云。十方七步。偈說云。天上天

下。唯我爲尊。三界皆苦。我當安立云。

〔裏書〕 一三二

八相事

或抄云。八相成道者。若經 一從天沒。

卽入胎相。二嬰兒。卽受生相。三童子。

卽受欲相。四苦行。五成道。六降魔。七

轉法輪。八入涅槃文

十相事

花嚴十相。前八中加二。是化身生因

所生成佛相也

〔裏書〕 一三三

佛鬼宿入母胎

或云。菩薩達太子。臨淨飯王城。

入提婆山。日相當見宿直口也。

佛本行經云。一生補處後身菩薩。欲

入母胎之時。凡鬼宿日曜。乃入於母

胎中云。

胎中說法事

因果經云。菩薩欲降母胎。乘六牙白

象。從兜率下。諸天作伎樂。放大光明。

照十方。四月八日明星出時。降神母

胎。時夫人眠寤之際。見菩薩乘白象

騰空來。從右脇入身。○晨朝於胎中

爲色界諸天說種種法。日中爲欲界

天說法。日晡爲諸鬼神說法。夜三時

亦如是。菩薩於胎中三千大千界衆

生善見。○如明鏡中見其像云。

周書告記云。四月八日。江河泉池。忽然流波。并水皆溢出。山河大地。震動。其夜五色光。遍於西方。畫作青色虹。佛初生龜鏡也。

普曜經云。太子滿十月已。臨產之時。現瑞相有三十二云。

涅槃經云。菩薩下時。色界天悉來。○發大音聲讚嘆文。

母懷聖子命不久。

佛本行經云。夫人父善覺長者遣使奏淨飯王。我女懷大威德聖子。產出命短不久。○欲迎淨飯王。聞迦毘羅城及提波陀河城兩中間道路。除一切荆棘香湯灑其地。妙花散左右。以花香瓔珞莊嚴夫人身。坐大白象王。

時象背上諸天化作微妙寶帳。坐帳裏詣父家。飯王一萬大力香象被金鞍。○戴諸采女。送夫人。一萬善好良馬皆青紺色。頭黑如烏。被真金鞍轡。鑾以雜寶嚴其身。二萬妙好寶車駕四馬。其車周匝張幡蓋及衆寶鈴。每車香如此。坐其上。持諸瓔珞種種衣服。莊嚴其身。圍遶夫人。○諸問父所云。已上本文字。願寫取意抄之。

太子誕生之後。經七日。摩耶夫人命終。淨飯王之弟摩訶波闍婆提女養育云。心憂抄。

釋迦依傍三寶報濁世成佛事。

大乘方廣經云。謗佛法僧。世人墮地獄。多百千劫不出。設得出生貧窮家。後時雖授記。五濁惡世成等正覺。如我今日。於是濁世成佛道云。

由我過去患癡無智。毀謗他故。受苦如是。以此業因緣。五濁世成等正覺云。

娑婆事。法花經義疏云。娑婆世界。此云雜惡。亦云雜會云。

新花嚴音義云。娑婆此云堪忍也。謂具足衆惡。境對堪行忍也。

一切經音義云。索訶娑婆返舊言娑婆。或作娑訶。此云堪忍。亦言雜會世界也云。

初生七步事。因果經云。太子生時。○樹下坐七寶七重蓮花。○自然七步。○一切天人中。最尊最勝。○四天王以天僧樓太子身。置寶机上。釋提桓因執寶蓋。梵天拂自侍立。左右難陀。○優婆難陀龍王。於虛空中出清淨水。一盥一涼灌太子身云。

瑞應經云。十方七步。偈說云。天上天下唯我爲尊。三界皆苦。我當安之云。

本行經云。生後四方面各七步蓮花承足云。

學書事。

瑞應經意云。太子七歲乘羊車。釋衆導從。往詣書師所。學習文筆云。見無常。

普曜經云。太子出城四門。見老病死之相。出家志菩提。父王不許云。

初發心事。付行勝。或書云。釋尊阿難同時發菩提心。釋尊進行。阿難學法。釋尊前成。阿難尚殘也。是以爲行勝也云。

出家事。佛本行經云。紺青優鉢羅色髻之髮。右手自持利刀。割取。以右手擎擲置空中。○帝釋生歡喜心。○爾時淨居諸天。○於太子不近不遠。有一花鬘名須曼那。○花下化一淨髮師執利髮刀者。於太子不近不遠。立太子見之作如是言。語淨髮師言。汝能爲我以不具淨髮師報太子言。其能即以利刀剃頭時。天帝釋生希有心。所發之髮不令一毛墮地。一悉以天衣承之。時將向三十三天而供養之。從此已來。今諸天上固之節名供養菩薩髮髻冠。節至今不斷文。

普曜經云。太子二十九。四月七日夜半出城云。

法花玄贊云。智論云。淨居天勸出家。四天王獻鉢。帝釋獻寶座。梵王請轉法輪文。

【卷一三六】

太子何人剃首乎

惠上菩薩經云。何故菩薩自剃鬚髮。三千世界諸天龍神捷香。非人與無能堪見菩薩頂者。況能爲世尊除鬚髮者。於是菩薩勸度衆生。自鬚髮。念白淨王當起恨意。誰剃子首。假使聞者自剃之耳。王即默然云。始著袈裟事。

佛本行經云。太子鬚髮已。淨居天化作獵師形。身著袈裟染色之衣。手執弓箭見之。語言。汝能與我此之袈裟不。我與女迦尸迦衣價直百千億金。後爲種種。栴檀香等之所重修。而說偈言。此是解脫聖人衣。若執弓箭不食著。汝發歡喜心。施我莫情。若我得天衣。爾時獵師報言。善哉。今實不惜時淨居天所化之人。從菩薩取迦微妙衣。飛上虛空。如一念頃還至梵天。爲欲供養彼衣故。菩薩見之。生歡喜。爾時菩薩剃髮。身得袈裟之形容。改變既嚴整。從口發如是。大施誓言。我今始名眞出家也。

調達逆罪事

調達自二手塗毒。佛二足取云。

又阿闍世王カタラフテ投象云。

【卷一三七】

降魔

本行經云。魔衆將長刀向菩薩擲刀。

自枯。或虛空將山時。右將樹槌鐵戟。截向菩薩擲。住在虛空不下。或下來自然碎。未墮餘處。或大雨。菩薩力故。皆變成物。勿頭花雨而下云。

【卷一三八】

成道

觀佛三昧經云。坐道樹下。形體羸瘠。唯有金色光明。吾寧可服柔軟食。平服其體。然後成佛云。

又云。菩薩眉間白毫相。端正。長一丈五尺。有十楞。現彌勒等菩薩天龍八部。化生蓮花。正等三十由旬。金色。金剛爲臺。化生三金剛座。佛坐此座。消除三障。成菩提道。說偈曰。往昔造功德。得速疾禪定。到涅槃岸云。西域記云。摩揭陀國正覺山西南行十四五里。至菩提樹東。西長南北狹。○正門東對尼連禪河南門大花池。西門沈澣。固此菩提樹恒正中有金剛座。賢劫千佛證道云。

菩提樹卽畢鉢羅之樹也。

大般若經云。傍生類入菩提樹院。或人非人等不能傷害。三世諸佛證得無上正等菩提。諸有情無恐無怖。身心安樂云。取大品經同之。

出家成道異論

梵網經上云。吾悉達七歲出家。三十成道。號爲釋迦牟尼云。

又經云。十九出家。二十五成道。或二

十五出家。三十成道云。

西域六云。踰城出家。時又不定。或菩薩年十九。或二十九云。

同記八云。如來成等正覺年三十或三十五云。

義疏七云。三十成道。八十滅度。其間五十年說法。○壽量品云。於伽耶成道。至今三十餘年。諸師三十九年說法。花必是三十九年。佛非十九出家三十成道。

私云。四十九年三十成道。何以知之。若十九出家三十成道。則出家已後經十二年。而經及釋論云。踰城之夜生羅云。若爾何以十二年耶。

又經皆言六年苦行。若十二年者。其間何所爲耶。以此推之。非十九年出家。三十年成道。○若必十九出家者。二十五成道。

壽量品應云五十年。不應三十餘年也。今釋論云。二十九出家。爾三十五成道也。而壽量品云四十餘年。

問。如來出家成道年。經疏文相違如何。

答。古來難義也。可尋之。或云。天台釋云。不同見別不須和會云。

流支三藏引經云。八年作嬰孩。七年作童子。四年學五明。十年受五欲。六年行苦行。三十五成道。四十五年下教化諸衆生云。

教化諸衆生云。

義疏云：青閣嶺山云：此言鷲頭山也。然此五峯各有所像。今一山似於鷲頭，故以名鷲頭。佛滅度後，阿育王見其山頂似鷲，使人鑿作兩翅兩足及尾，故全如鷲鳥。出陸澄地理記云：法花經云：有國名娑婆，是有佛名釋迦牟尼。今爲諸菩薩說大乘經，名妙法蓮花云。

一四〇

二月十五日入涅槃事

涅槃經云：二月名陽春之月，萬物生長。是時衆生多生常想，爲破衆常心，說一切法悉無常，如來常住不變於六時中不受樂，爲破世間樂，故說常樂我淨。爲破世間我淨說真實我常。初生出家成道轉法輪皆八日，何故涅槃獨十五？佛言：十五日無虧盈，諸佛復如是。入大涅槃無有虧盈，此義故十五日入涅槃云。

長阿含云：香姓婆羅門問阿闍世王曰：何時生涅槃？闍王答云：星出時生。佛星出，家成道，星出時滅度云。八日生，八日出家，八日成菩提。八日取涅槃。二月生，二月出家，二月成菩提，二月取涅槃。

僧伽梨衣事
或云：大雪山中梵摩衍國有九條僧

伽梨衣，商諾和修羅漢五百生間中有生有衣也。及其形得度之時，變爲九條袈裟，釋尊遺教滅盡之時，此衣兼先可滅也云。

遍學三藏向印度日，登雪山嶺，禮聖跡，商諾之衣半破。

涅槃時音聲并光明事

又云：跋提河邊雙樹間，世尊大比丘八十億。前後圍遶，二月十五日臨涅槃時，以神力出大音聲，遍至有頂。

○普告大衆，今日○欲涅槃，又從面門放種種光，青黃赤白頗梨瑪瑙照三千大千世界，十方亦如此。其中六趣衆生罪垢煩惱一時消滅除云。

入涅槃時摩耶來下事

摩訶摩耶經云：世尊已入般涅槃，摩訶摩耶從天來下至金棺，爾時如來爲復示不孝諸衆生故，從金棺出如師子王奮迅之勢，身毛孔中放千光明，一光明有千化佛，皆合掌向摩訶摩耶云。

雙樹間敷金砂事

經云：雙樹間以金沙布其他，周匝滿十二山旬，佛及僧敷置七寶師子之座，高大如須彌山。

頭北面西事

弘決七云：增一阿含表佛法久住北天。長阿含四○安我頭南首西向，此則佛法久住，此天機見不同，不須和

會。長阿含三云：雙樹間敷置於坐，頭北首面向西方。○我法流布當久住此方云。

菩提樹葉落事

西域記八云：菩提樹葉幹黃白，枝葉青翠，冬夏不凋，光鮮無變。每至如來涅槃之日，皆凋落云。

弘決云：涅槃時林變白猶如白鵲，因名鶴林云。

涅槃疏云：佛有樹下入涅槃，四大天王常護此樹云。

狗尸那城事

涅槃疏云：狗尸那城此無翻爲角城，有三角花城。○昔仙人壽長崇其人，狗尸國力士生地者，人中力士敵千人，凡三十萬共爲群黨。○跋提河此翻金河云。

涅槃云：跋提廣四丈，或八丈，在城此跋提城去百里，佛居其間涅槃云。

或云：若西二月十五日，住狗尸那城沙羅雙樹間，一日一夜說涅槃經，入泥洹也。

八相不同

諸經要集八云：摩訶利頭經亦名彌佛云：佛告天下人民，十方諸佛皆用四月八日夜半時生，皆用四月八日夜半時出家學道，皆用四月八日夜半時得佛道，皆用四月八日夜半時般泥洹，所以用四月八日者，爲春夏之

際殊罪悉畢萬物普生○毒氣未行

不寒不熱時氣和適是佛生日故諸

天下人民共念佛功德形像々々如

佛在時文

菩薩處胎經五云二月八日成佛二

月八日轉輪二月八日降魔八月八

日般涅槃文

〔藏書〕一四一

開皇三年造釋迦立像一軀高一丈

六尺功未畢寶昌寺僧大智死經三

日蘇治云々

〔藏書〕一四二

廣大軌云具三十二相袈裟錫杖等

大鉢具光焰住寶義三昧

私舊像鉢錫杖持之

佛御髮

觀佛三昧經云佛言昔我在宮沐頭

大受髮以尺一丈三尺五寸令右旋

成蠡文云々

佛眉

又云佛眉紫色云々

佛齒

又云齒上印文云々

僧伽羅刹經云如來齒四十上有千

輪相云々

佛舌

瓔珞經云佛舌長千葉蓮花文云々

圓光

賢劫經云釋迦圓光七尺云々

善戒經云佛常光一尋云々

〔藏書〕一四三

或說云胎藏釋迦院觀音虛空藏爲

脇士云々仍大佛胎大日之有口傳

其故天照太神仰示現云毘盧遮那

如來云々

〔藏書〕一四四

如來三衣錫杖事

金剛般若疏云言藏問佛涅槃之時

三衣在何處答說所不同胎經云時

涅槃手自性三衣置金棺中以據佛

身摩耶經說摩耶從切利天下不復

見佛唯見僧伽梨及錫杖而自悲世

著執此物以自度人今空無主以此

而推三衣猶在三藏々佛五學卽在

彌機一國七條在半遮尸國大衣及

錫杖在闍賓國尼師壇在迦毘羅國

大日經疏五云釋迦部中佛鉢錫杖

印等其類甚多云々

〔藏書〕一四五

道場觀石山

壇上有字成迦樓羅座々上有字成

蓮花臺々上有字變成鉢形變成釋

迦如來具三十二大人相備八十隨

好菩薩聲聞恭敬圍繞云々

種子台八葉院鉢釋迦院

三或寶鉢又羯磨

金界說或三阿迦陀藥

或云說法印爲三昧耶形

台八葉院說

私云已上心覺傳也印形有之

〔藏書〕一四六

智證大師胎記云取袈裟左方外頭

下垂角使自肘下迴入掌中把之又

取右肩向上向外垂下角同從肘下迴

入掌內把之佛毫相已下印依此儀

云々

心覺抄有之

〔藏書〕一四七

庵沒駄魯左備哥ソハカ

〔藏書〕一四八

結界明王事

釋迦文軌云以難勝忿怒爲結護明

又名無能勝

部母事

同軌云以佛眼尊爲部母云々

覺禪鈔 釋迦下

十號 自餘名號別、義成就

鬼宿初生 三十二瑞 初生

灌佛 浴像德 三十二相

佛髻 剃髮 無間頂

白毫相 光明 行步

佛壽 妻室 聞名號

見彌勒 釋迦因位 同賣柴

善根三分 施寶 聞名成佛

破魔 鬼守護 畜生利

見佛功德 滅五逆 替苦

同因位 赤目大魚 教散滅

十弟子別、 八部衆 五十二類

釋迦法

十號梵漢

(裏書一四九)

供養護世八天法云梵名歎如來十號云

但他識姪如來囉輸應供三藐三母狀正

遍知尾爾耶明合者羅行播拏足索識姪

善逝路迦解世間拏拏但羅二合捕嚕灑拏

耶此卜羅體御反下捨此卜路丈夫泥縛

天難者摩拏史耶人南者母度佛薄說錢

兩足尊

疏第十二云人天二足之中尊名兩足尊

法花義疏四云兩足尊者或以定惠爲二

足或以權實爲二足或以福惠爲二足或

以解行爲二足皆內德二足外形以人天爲二足佛天人二足尊也

釋迦牟尼

理趣釋云時調伏難調釋迦牟尼如來者

於五濁末法爲調伏九十五種外道現八

正成道皆受化致佛道○姓釋迦氏牟尼

寂靜義身口意寂靜故稱牟尼佛云

仁王經疏云言釋迦者舉其姓氏牟尼此

云寂默煩惱諍諍永寂默故云

莊嚴經音義云釋迦此云能牟尼寂默也

演密抄六云釋迦此云能寂云

度沃焦云

法花文句九云應身如來名釋迦文此翻

度沃焦云

記云沃焦者舊花嚴經名號品中及十住

婆娑中列大海有石其名焦萬流沃之至

石皆竭所以大海水不增長衆生流轉猶

如焦石五欲沃之而無厭足唯佛能度是

故也

釋師子

疏十六云釋師子曼荼羅即釋迦也

同四云世尊號爲釋師子能獨步無畏救

護世間云

微妙聲佛

集經第十云北方微妙聲佛云

不空成就

教王經疏二云北方不空成就號釋迦云

離怖畏如來

祕藏記云離怖畏如來北方釋迦成所作智

用變化身經六道四生內爲一切衆生作

諸事業無怖畏故離怖畏如來云

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

悉達太子

然泉水百味飲食給諸麻濁。十一諸龍宮中現半身。十二天萬玉女抱孔雀拂現宮上。十三諸天玉女移萬金瓶盛甘露住宮中。十四天萬玉女執萬瓶盛香水住行宮中。五天萬玉女執幢蓋侍。十六諸天玉女住數百千樂。十七四瀆江河清澄不流。十八日月宮不進。十九佛岩下侍諸星。二十寶帳普覆王宮。二十一明月神珠懸殿堂。二十二篋筒衣被。在遊架。○二十四善珠琉璃一切寶藏現。二十五毒蟲隱吉祥鳥鳴。二十六地獄皆休苦痛。二十七地爲大動皆平。二十八衢街巷平正散花。二十九諸染沈澁悉爲平。三十魚獵怨惡一時慈心。三十一境內孕婦產者悉男。三十二瘡癰百疾除愈。三十二一切樹身半身現首禮。是爲三十二瑞。○歎未曾有云：本字極惡文字多略之。取意抄之。

初生事

佛本行性經云。善覺大臣從城出迎妻。名嵐毘尼。作一蘭林。世間無比。有樹名波羅叉。其上下正等枝葉。布半綠半青翠。紫如孔雀項。花香聞者歡喜。行以菩薩威力。枝自然曲垂。夫人以手攀枝。二萬天女詣摩耶所。圍繞言。今生子能行生死輪。上下天人師。決定無有二肘。諸天王共持摩耶手。執叉樹枝。卽生菩薩。受大安樂。右脇出無痛無痛。帝釋天細妙香尸迦衣。襲白手擎菩薩身。四天王把持菩薩。生已無人扶持。卽行四方面各七步。舉足出大蓮花。視觀

四方自未曾聞。口自唱言。我生胎分盡。云彼國菩薩母前。忽然涌出二池水。一冷一暖。母取此水。隨意用。父宮中二水注。一冷一暖。取此水洗浴菩薩身。取意。

灌佛事

浴像經云。我今說浴像法。諸供養中爲殊勝。諸妙香入水浴誦偈。

我今灌浴諸如來。淨智功德莊嚴身。五濁衆生令離垢。願證如來淨法身。又云。以香水浴如來身。以寶蓋覆其上。○以牛頭栴檀多摩羅香。甘松。○沈香。麝香。丁香。○爲濁水。置淨器中。先作方壇。敷妙床。次第浴之。○各取少許洗像之水。置自頭上。燒種。香爲供養云。摩訶利頭經云。○念釋迦佛恩德者。以香花浴佛形像。求第一福者。諸天鬼神所明證知。四月八日。浴法時。取三種香。一都梁香。二霍香。三○鬱金香。○於水中按之。作赤色。以水清淨灌像。○白綿拭之。○其福第一也云。已上。取意。

依浴像成佛事

浴像經云。供養中爲第一勝。恒沙等七寶。布施。○汝等人天大衆。現受福樂。無病延年。眷屬安穩。長解八難。出苦源。不受女身。速成正覺云。

灌佛經云。浴佛形像者。如佛在時。所願悉得。可得轉輪聖王。○辟支佛。離三惡道。求生天上人間富樂。求長壽無病者。乃浴佛形像。○所生常得清淨。是因緣得成佛道。

文

三十二相事

（裏書一五一）

優婆塞戒經第二云。三十二相。○其業雖定。修時次第。不必定也。文。凡三十二相。業因可見。彼經第二云。

佛髻事

觀佛三昧經云。如來頂上有八萬四千毛。皆向靡右旋而生。分齊分明。四軀分明。一毛孔生五色光。前十四色光中。昔我在實乳母爲我沐浴時。大愛道來至我所。悉達生時。多諸奇特。人若問我。汝子之髮爲長幾許。我云。何答。今當量髮。知其人廣。卽勅我伸髮。母以尺量。長一丈三尺五寸。放已右旋。還成蠶文。欲妃後更量。長一丈三尺五寸。今者父母著如來髮。卽以手伸從尼。物陀精舍至更王宮。如紺環。繞繞城七匝。於以髮中大衆。皆見若干色光。不可具說。敘髮卷光旋。宛轉還住佛頂。卽成蠶文云。

剃髮爪事

僧祇律云。佛日時。每四月一剃髮。依薩婆多論。雖四月一。猶如凡人七日剃髮狀。又文殊師利問經云。凡人髮長二指。當剃。或二月。○若短而剃。是無學菩薩。若過二指。亦是無學菩薩。爪不得長。得如一橫教。何以故。爲搔癢。故四分律云。佛言。聽諸比丘。復次。剪爪。極長如一麥。應剪髮。半月一剃。極長兩指。若二月一髮。二月者。口黑各有十五。無間頂相事。優婆塞戒經二云。一切世間所有福德。不

鬼神常從守護文

畜生聞佛名得脫

慈心念佛經云。若有畜生類。得聞諸佛名。

水離生死苦。不入難處文

或抄云。一切智光明仙人慈心因緣。不食肉經有之云。

見釋迦得菩提

(裏書一五四)

法花提婆品云。智積菩薩言。我見釋迦如

來。○成菩提道文

滅謗方四重五逆

(裏書一五五)

觀佛三昧經云。謗方等所作五逆罪犯四

重禁。偷僧祇物。姪比丘尼。破八戒。作諸惡

事業種。邪見。如是等人。若能至心一日

一夜繫念在前觀佛如來一相好者。諸惡

罪障皆悉滅。是故如來名婆伽婆。名阿難

訶。名三藐三佛。名功德日。名智滿月。名

清涼池文

佛替苦衆生

華嚴經文殊師利讚釋迦云。一。地獄中

住於無量劫。爲度衆生故而能忍是苦。文

心地觀經第一師子吼菩薩偈云

衆生沒在生死海。輪迴五趣無出期

善逝恒爲妙法船。能截愛流超彼岸文

大般若經云

十方世界。無一有情。如來大悲

所不能照

釋迦因位替三途苦願 (裏書一五六)

悲花經云。寶海梵志發願言。有諸衆生。離

聖七財。諸佛世界所債棄作五逆罪。毀壞

正法。誹謗賢聖。行於邪見重惡之罪。猶如

大山。常爲邪道之所覆蔽。是故我今爲是

衆生專心莊嚴精勤修習六波羅蜜家。爲

一。衆生種善根故。於十與劫中人阿鼻

地獄。受無量苦。畜生餓鬼及貧窮鬼神卑

賤人中亦復如是文

作赤目大魚養飢人

(裏書一五七)

義疏四云。爲五比丘說者。第五句明所爲

人也。○迦葉佛時有同學九人。四人

利根前得道。五人鈍根自誓釋迦出世要

得道

又經云。釋迦過去於飢世作大魚身。自誓

云。前食我肉者當先度之。五人前來食之。

故前度也文

佛教散滅事

(裏書一五八)

俱舍二十九云。大師世眼久已閉滅。爲證

者多散滅。既知如來正法漸次淪亡。如

至喉文

法住記云。大迦葉與阿難結集法藏傳持

正法二十年。迦葉於根跡山中入滅。後阿

難商那和須等次第入滅。八十年中優婆

塞多出世說法勸化。無憂王廣起八萬四

千塔。二百歲有尸羅難陀比丘。說法度十

二億人。三百歲有蓮花眼比丘出世。四百

歲牛口比丘出世。五百歲寶天比丘出世。

六百歲邪見競起。興破佛法。時馬鳴出世

降伏一切七百歲龍樹出世。八百歲後。諸

比丘樂好衣。百千萬中有一兩得道者。一

千歲已諸比丘聞不淨觀不受。千一百歲

諸比丘如俗人。千二百歲比丘。尼非

梵行有男女子息。千三百歲袈裟變白不

交染色。千四百歲四衆如獵師。貧賣三寶

物。千五百歲俱胝彌國有三藏說法於十

五日布薩之時。阿羅漢比丘昇高座說戒。

三藏弟子殺阿羅漢。弟子亦殺三

藏。一切經藏悉流移置龍宮。此州佛法而

滅盡。佛正法如此。雖滅後十六阿羅漢分

段身久住世興法至七萬歲。唯有心者值

遇像末教法。不作聖人化利矣文

十大弟子事

(裏書一五九)

灌頂經八云。佛又告賢者阿難。我十大弟

子各有威德智惠齊等。悉皆第一。我今結

之。各現其威神護諸四輩。阿難。舍利弗。大

目犍連。大迦葉。須菩提。富樓那。阿那律。迦

旃延。優波離。羅睺羅。若四輩弟子爲邪惡

所中者。皆當呼其名號。爲人除憂去諸厄

難萬事吉祥云。

大日經疏一云。大智舍利弗。神通目犍連。

頭陀大迦葉。持律優婆離等云。

又云。大迦葉好頭陀。舍利弗好智惠。離婆

多好座禪。優婆離如毘尼。阿難好多聞等

云。

阿難

又云

(裏書一六〇)

教王經疏一云。正法念經明三阿難。云。

陀此云歡喜。持小藏阿難跋陀。此云歡喜

賢受持雜藏。阿難婆伽此云歡喜海。持佛

藏。阿含經有典藏。阿難持菩薩藏。蓋指一

人具於四德矣。云。三阿難略之

法花義疏一云。阿難云歡喜。一者形容端

正見之歡喜。二者佛得道夜生。謂歡喜日生名歡喜。三者過去發願云名歡喜。○又初果具足煩惱見天龍女不起染心。故云無染也。解飯王子。調達之弟。○難陀四月九日生。文調達四月七日生云。

舍利弗

(裏書一六二)

又云。舍利弗者。具足應言舍利弗羅。舍利言身。弗羅言子。略羅言弗。○有二因緣。一從過去誓願立名釋迦。過去作凡師。值釋迦發願。未來佛名釋迦。弟子名舍利弗。二者母眼似舍利鳥眼。故母爲舍利女。人中聰明第一。故從母爲舍利子。世人作名也。古經名驚路子。○取鳥名也。或舍利鳥似驚路。父名提舍。遂父爲名。故優婆提舍。星名。

星名

星名

西域曰。舊曰舍利子。又曰舍利弗。訛略也。阿毘達磨來供養舍利子云。

義疏五云。身子本仕外道。那闍夜爲弟子。○那闍夜去世。付屬門徒。故身子爲諸梵志師云。

經二云。舍利弗來世成佛。普智尊。號名曰花光文。

義疏五云。身子開法花經。最初領悟。故得佛時名爲花光。花即法花。光謂信解。

同疏九云。攝大乘論云。舍利弗等皆是化人云。

又云。如身子。八歲登坐說法。道俗讚揚。震名遐邇。文目連

目連

目連

義疏一云。目連者姓大目連也。其母性此云讚誦。亦云榮茂根。字俱律陀。父母無兒。禪俱律陀樹神。因生是子。故以樹爲名也。眞諦三藏云。應云勿伽羅。者此云胡豆羅。卽綠色豆羅是云。受合爲言。應云受胡豆。蓋是其性上古有仙人。名勿伽羅。不食一切物。唯食此豆。故名受胡豆。是仙人種。故爲名文。

新翻花嚴經。晉義下云。大日乾連。反焉。目連此云探菽氏。卽此尊者母性。又尊者有神通。卽將二事爲號也。然母本族採綠豆仙之苗。襲也云。

西域四云。沒特伽羅子。舊曰目乾。習定之徒。供養沒特伽羅子云。

大迦葉

迦葉闍浮

(裏書一六二)

義疏一云。摩訶迦葉者。文殊問經翻爲大龜。摩伽陀國大性。從性立名。別名必鉢羅者。在必鉢羅樹下生。故名必鉢羅童子。其家父母祈禱天神。有梵天下降。託以生之。如餘經廣說。十八部論疏說言。具足應云迦葉波。迦葉此云光。波此云飲。合而言之。故云飲光。云云。

其性上古仙人。名爲飲光。以此仙人身有光明。能飲諸光。令不復現。今此迦葉飲光仙人種。○從性立名。又此羅漢自有飲光事。其身有金色光明。似閻浮檀金。有水底而金光微出水上。轉輪聖王出世時。夜叉等取此金。將來人間傳易。故人間有此金。此金在人間。諸金不復現。此金猶不

及迦葉金色。是故名飲光也。文

花嚴晉義下云。摩訶迦葉具云摩迦葉波。言摩訶此云大。迦葉波此云飲光。此尊者上古無祖。是大仙人。身有光明。而能吞蔽燈火之光。時人異之。號曰飲光仙人。因此標此氏族焉。又以尊者有頭陀大行。故時與其大飲光名之耳。文

晉義二十五云。烏盧頻螺迦葉波。此云木爪林。在此林下修道。目以名焉。迦葉波是姓。舊言優樓頻螺。正法花經云。上時迦葉兄弟三人。居長者也。文

須菩提

義疏一云。須菩提者。此云空生。以其生時諸物皆空。相師云。此兒必解空第一。故名空生。亦言善吉也。舍衛國有長者名拘留無兒。請天神得之。後長大。請佛出家。因隨佛往祇洹。作比丘云。

仁王疏云。言須菩提者。此云空生云。

或云。善吉變及善現也云。

花嚴晉義云。須菩提此云善現。亦云善寶。舊云善吉者非云。

義疏九云。有經云。須菩提者。是東方世界青龍陀佛。則知皆是權行人也。文

去七生間

富樓那又云滿願尊者

義疏云。富樓那者。翻之爲滿願。王舍城婆羅門兒。其父母江邊。詞天乞兒。散香花供梵天。誦法呪。母夢見有人以寶器盛雜寶與之。置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

與之置腹前。器忽然入腹。覺夫述之。夫云。

是梵與兒寶器具足一切能知。因此遂生兒。大聰明遍學伎術。出家得羅漢。佛說法時。能誦持之。善解其義。以夢寶器所知二事名滿願也。

音義云。富樓那具云。富樓那彌多羅尼子。言富樓那者此云滿也。彌多羅尼者此云願也。滿願是尊者母稱子即尊者自身從母立名。故曰滿願子也。

阿那律

義疏云。阿那律者翻為如意。亦言無貧。過去以一食施辟支佛。十五劫中天上人中受於福樂。最後得羅漢。常得如意。無有貧窮。是甘露飯王之子也。

音義四云。阿泥律陀。舊云阿那律。或云阿那樓駄。此云無滅。

又云。如意往生曾施辟支佛一貧人。天受樂于今不滅。所求如意。故以名也。

同二十五云。○亦言阿泥盧豆。此云無滅。亦如意云。昔施辟支佛一食。於八十劫人天之中往來受樂。于今不滅。故云無滅。人所求如意亦名如意。即甘露飯王子佛堂弟也。

迦旃延

義疏云。迦旃延者。舊翻為肩乘。此兩字誤也。應言肩繩。其父畢早亡。母戀之不嫁。如繩繫肩。故名肩繩。三藏云。上古有仙人名柯羅。此言思勝。此仙人具足聞思勝於餘人。故言思勝。是仙人種故名思勝。注法花經云。性迦旃延。是門徒中之長。故稱爲大

今謂應如註釋。智度論云。有婆羅門道人。性迦旃延。不應亦有肩繩。喻用以爲名。但旃旃既是性。肩繩是名也。云。

優婆塞

律家法師註釋摩訶云。羅什云。長夜智願世。常作持律。故於今持律第一也。蓋云。優婆塞。秦言上者。弟子中持律第一。名義集云。即波離。翻上言。以其持律爲衆紀綱。故名優婆塞。或翻近執。以佛爲太子時。彼爲親近執事之臣。
（三藏法數引名義集）

羅睺羅

義疏云。羅睺羅者。此云覆障。以六年在胎爲胎所障。故云覆障。三藏云。本是阿修羅名。此阿修羅能以手障月。若具翻之。應云障月佛子。所以作此名者。是借喻爲因。佛自說。我正法如月。此兒障月。學出家學道。有兒則成障也。雖復是障。而如來能捨佛。自說過去世羅睺數。爲道作障。我亦數。能捨之。又名宮生者。佛出家後而耶輸。有身諸釋詰之。耶輸云。乞持生子。後當證驗。生子以後。耶輸燃大火聚。抱子而立。誓曰。若非佛兒。當母子俱焚。遂投火聚。便滅而母子無他。諸釋種曰。真是宮生。佛到迦毘城。七日即度之爲道文。

此兒爲羅睺羅也。與云。梵云。易羅。此云障月。障月。非天提月輪時而得生。故云。元興寺。羅睺羅。又云。羅雲。西域四云。羅怛羅。皆此略也。未受具戒者。供養羅怛羅云。

八部衆事

仁王經疏上云。此八部衆常隨佛故。文最勝王經玄樞三云。經云。世尊八部鬼神。以何因緣生惡道。常聞正法。佛乞以二種業。一以惡業生惡道。二以善業多受諸樂。此八部皆曰人非人。

天

又云天者。前身以車輿等供養三寶父母賢勝之人。猶偷誑嫉。日天故受此身。如普光淨勝天神樂云。

龍

又云。龍者。先世修建德本。廣行布施。不依正念。忘性好瞋。故此身如摩尼光龍王等云。

夜叉

又云。夜叉者。先世好本布施。或先損害。然後饒益。隨功勝負。故受此身云。

乾闥婆

又云。乾闥婆者。先世亦有瞋恚。常好布施。以青蓮花自嚴。作衆伎樂。今爲此神。常爲諸天奏諸伎樂。因名樂神。

阿修羅

又云。阿修羅者。志強不隨善友。所作淨福。好逐幻偽之人。作諸邪福。依傍耶師。甚好布施。又樂觀他闢訟。故受此身。

迦樓羅

又云。迦樓羅神者。先世修大捨施。常有高心。以陵於物。故受此身云。

緊那羅

又云。緊那羅者。昔好勸人發菩提心。未正其志。遂諸神師。故受此身云。

摩睺羅

又云。摩睺羅神者。亦布施護法性。好瞋恚受此身。

又云。問。此等皆是三界所攝。穢土無疑。超過三界淨土中。何有此等。如深密經及佛地等。十八圓滿淨土之中。眷屬圓滿。答。梁攝論十五云。於淨土中。實無如此天龍等衆。欲令不冥。故佛化作如此雜類。佛地論意亦同。具如彼也云。

五十二類

經云。有無量弟子。尊者迦旃延有八十比丘。比丘皆羅漢。爾時復有拘陀羅女。善現比丘尼。六十億比丘尼。復一恒河沙菩薩。復二恒河沙優婆塞。復三恒河沙優婆夷。復四恒河沙男女。復五恒河沙大臣長者。復毘沙離王及夫人眷屬。唯除阿闍世王。復七恒河沙諸王。復八恒河沙諸天女。復九。龍王等。復十。鬼神王。多門爲上首。復二十。金翅鳥王。復三十。乾闥婆王。復四十。緊那羅王。復五十。摩睺羅伽王。復六十。阿修羅王。復七十。陀那婆王。復八十。等羅刹王。復九十。樹林神王。

復千。持呪王。復一億。貪色鬼魅。復百億。諸婦女。復千億。地諸鬼王。復十萬億。天子。復十萬億。四方風神。復十萬億。雲雨神。

復二十。大香象王。復二十。師子王。復二十。飛鳥王。復二十。水牛。羊。復二十。恒河沙。四天下仙人。閻浮提一切蜂王云。

已上五十二類。注文不分明。唯一家意爲同聞云。

疏云。比丘。菩薩。一從二恒至千恒增數。衆二十一。同數衆八。無數衆一。中間衆四。六天六梵衆一。修羅一。魔天。大自在。四方。四合。五十二。又云。山林河海之神。羊牛蜂螫之類。爲同衆云。

建久九年八月二日。於金剛峰寺。往生院撰集書了此兩卷。殊前後文極見苦隨見出抄加故也。更不可他見。

佛子覺禪

弘長三年十一月十五日。於五條殿御念誦堂新院御祈之間。以餘暇書寫。

金剛佛子俊譽

一四九

文句云。佛名覺者。知者云。

記云。西云。佛陀此云覺者。知者對悉。

名知。對愚說覺云。

玄贊一云。梵云佛陀。此略言佛。唐云覺者。覺有三義。一自覺。二覺他。三覺滿文。

要委云。佛陀此云有惠之主。○十地菩薩名爲有惠。佛有惠人主文。

菩提心義云。沒駄古云浮圖。亦云佛陀。大日經沒駄。義釋佛陀云。

慈恩彌陀疏云。取意佛者。生死根本盡無餘。○號爲佛。

又云。於生死得覺悟者。名之爲佛。成論云。乘如實道來成正覺。故名如來云。

或云。從智名來從理名。如云。善德佛。身也。

觀佛三昧經八云。過去無量世時。東方善德佛。則我身是也。○西方無量明佛等。○如是十方佛世尊。因由禮塔一偈讚故。於十方而成佛云。

又云。昔宮王佛所。四比丘同學諸佛正法。○煩惱覆心。當墮惡道。宮中聲言。汝所犯無救者。汝等入塔觀佛。從聲入塔觀像。眉間白毫如大山崩。五體投地。懺悔諸罪。○從此復八十億阿僧祇劫。不墮惡道。生見十方諸佛。

佛。授記別。東方有國名妙喜。有佛號阿閼。第一比丘。南方有國名歡喜。佛號寶相。第二比丘。西方有國名極樂。佛號無量壽。第三比丘。北方有

國名蓮花莊嚴。佛號微妙聲。○說已各放光歸本國取意。

〔藏書〕一五〇

一切義成就菩薩者。悉獻子也。釋迦因位也。

因果經云。薩婆一切悉獻成就。是悉獻太子梵號也云。

大原抄二十云。一切義成就菩薩者。普賢是也。一切諸佛得登正覺最後之身。皆名一切義成就太子也。即薩婆悉達也云。

〔藏書〕一五一

陰藏事

往生要集中云。三十四如來陰藏平如滿月。有金色光。猶日輪如金剛器。中外俱淨。

大經云。見佛施衣服。故得陰馬藏相。大經云。多修慈憐及斷邪心。故得陰馬藏相。又食飲色者。即想如來陰藏相。若欲心即止。罪障除滅。得無量功德云。

舌相 ○ 毘盧遮那經指歸云。智證大。小乘佛出舌相覆面上。顯大乘佛覆三千界。祕密佛出舌相。覆十方世界云。

私云。上至梵天云。

妙樂云。面文口臂也。

一毛功德事

六波羅蜜經七云。於諸世間所有三

世一切衆生學無學人及辟支佛。是有情無量無邊。所有功德。法於如來一毛功德。百千萬分中不及其一。

一毛觀爲念行事

觀佛三昧經九云。若能繫心觀一毛孔。是人爲行念佛定。以念佛故。十方諸佛常立其前。爲說正法。此人卽爲能生三世諸如來種。何況具已念佛色身文。

涅槃後分云。安於衆生千輪輪。

〔藏書〕一五二

夫人子息事

抄云。太子以拘夷爲第一夫人。出瑞應經。以耶輸陀羅爲第二夫人。生羅喉羅。出法華經。以鹿野爲第三夫人。出普曜經云。

玄贊一云。經云。佛三子。一善星。二優婆塞耶。三羅睺羅。故涅槃經云。善星比丘菩薩在家之子文。

寶鑰中云。六君天授善星比丘。流行極多文。若佛御子歟。

〔藏書〕一五三

夢名號事

華嚴經云。若有衆生聞我名。於阿耨菩提不復退轉。乃至夢中見聞我者。亦復如是文。

〔藏書〕一五四

禮見功德

觀佛三昧經云

我今禮一佛 卽禮一切佛

若思惟一佛 卽見一切佛文

四十花嚴二云

則如水精珠 能清諸濁水

見佛亦如是 諸根悉清淨文

同經云。若有衆生。一見佛必使淨除諸業障文。

大日疏一云。譬如刀珠故水清。水清故珠現。定不從餘所來也文云。

不信者見佛功德

諸經要集十五引觀佛三昧經六云。老婢邪見仍未生信。由見佛故。却八

十萬億劫生死罪文。是須達長者家老婢也。

玄義云。須達長者跪佛往祇洹。月故曲躬。聖居門闕云。

〔藏書〕一五五

利強難衆生事

悲花經云。五百大願中。一大悲願云。娑婆濁惡衆生。煩惱重作五逆。謗正法行。諸惡積如山。十方佛世界所不容受。○賢劫諸佛所放捨者。我大悲不捨如是衆生。爾時得成無上菩提。能化強利難化衆生。方令開法得道云。

又願云。我無始來所積集大善根。一

分不留我施十方衆生。又十方衆生無始來所生作。捐重五無間等罪。合爲我一罪。入大地獄等。大悲代受苦云。

阿彌陀經中云。六方諸佛讚釋迦云。釋迦能爲希有事。濁世中得菩提。爲濁惡衆生說難信法。○我行難信事。是爲甚難云。

涅槃經云。一切衆生受苦悉是如來一人苦云。

一五六

因位超劫

心地觀經一云。爲半偈捨全身。十二劫超。供養燃燈佛。八劫超。投餓虎身。十二劫超。七日讚如來。以精進九劫超云。

一五七

成五色龍事

一五八

釋迦佛法久不住事

佛像經云。昔迦葉須記云。釋迦牟尼佛多受供養故。法常度滅。舍利弗實以多供養故當疾滅云。

○

正法滅五百年事

法住經記云。如來入涅槃後。正法住世一千年。許女人出家滅五百歲。何以故。如世間人家多女人廢家業。佛正法亦爾。若女人出家。與比丘煩惱

住廢正法家業。然教八敬法。懷悔得滿千年。其後像法千年。末法一萬年也。

正像末法事

或勘文云。仁王疏涅槃疏意云。正法八十年。涅槃疏一說正法一百年。大集經。摩耶智度論等。正法五百年。像法一千年。

悲華經正法千歲。像法五百歲。佛地論。俱舍等正像各一千年。善見論像法三千年。

仁王經。調度意。末法八千年。像法本內傳法一萬年。

寶鑰云。正法千年。像法千歲云。

○

釋迦法滅相事

摩竭陀國有金剛座。賢劫千佛成等正覺。床也。南北兩邊在觀自在菩薩像。沒不現釋尊佛法。隨可滅云。被像隱沒聖教

又大雪山中梵摩衍國有九條僧伽梨衣。商諾和修羅漢五百生間中有生有衣也。及具戒得度之時變爲九條之袈裟。釋尊遺教滅盡之時。此衣

先可滅云。

彼袈裟將來顯佛法滅盡期

或云。遍學三藏。涉流沙過鐵門。向印度。登雪嶺。禮聖跡。商諾之衣半破。詣道場拜觀音。萬字胸已隱云。

已及末法云。

○

釋迦不免金鏹事

涅槃經二十九云。如法句偈。非空非海中。非入岩間。無有他方所脫之不受業云。

記云。經云。如法句偈者。十誦律說。有一金鏹。從地穴於欲鏹佛足。佛作神通上昇虛空。至色究竟。鏹不捨佛入海。鏹遂入須彌。鏹還遂入周遍十方處。逃避恒不捨還復本座。鏹乃傷足自說此偈云。

一五九

或云。十大弟子悉入涅槃。但迦葉計者現在。又十六羅漢止以小教利衆生云。

一六〇

我聞事

法花義疏云。問。阿難是佛得道夜半生。年二十五方乃侍佛。則知前二十五年所說阿難不聞。後二十五年所說阿難得聞云。委可見文

○

阿難名具壽事

最勝王經一云。具壽阿若憍陳女云。同經略抄云。不知作者經其名曰具壽等者。此列名也。言具壽者。具福惠二命。右云惠命。今顯變成故云具壽也。

一六一

憍梵波提舍利弗弟子也

法花義疏一云。嬌梵波提者。此云牛
呵。無量壽經云。尊者牛王。過去世曾
作比丘。於他粟田邊。摘一草。粟觀其
生熟。數華墮地。五百世作牛償之。今
值釋迦得道。足甲似牛。食後猶呵。因
以為名。佛恐凡夫。笑之得罪。徒宜切
利。天上尸利沙樹下。即舍利弗。上足
弟子。解律竝於優婆離。佛滅度後。於
天上般涅槃也云。

迦葉付屬袈裟事

西域九云。摩訶迦葉波者。聲聞弟
子也。得六神通。具八解脫。如來化緣
斯畢。垂將涅槃。告迦葉波曰。我於曠
劫勤修苦行。為諸衆生求無上法。昔
所願期。今已果滿。我今將欲入大涅
槃。以諸法藏。屬累於汝。任持宣布。勿
有失墜。後母所獻金縷袈裟。慈氏成
佛。留以傳付。我遺法中諸修行者。若
比丘。尼。鄔波塞迦。唐言近事女。舊曰優婆塞。又曰優婆塞。又曰優婆塞。皆說。
皆先濟度。令離流轉。迦葉承旨。住持
正法。結集既已。至第二十年。厭世無
常。將入寂滅云。

覺禪鈔 光明真言

按察大納言實有
問。賢覺法眼云。光明真言法。何尊為本尊。
乎。答。有異說。或不空羂索為本尊。又以阿
彌陀為本尊。淺說也。深祕之習。以胎藏大
日為本尊云。
增益行儀也。
實任云。釋迦彌勒金輪等為本尊云。

口傳記

本書 勤修記 滅罪文 除病文
請書 請文 支度 壇圖
向西事 表白 種子 三形
本尊 印言 同異說 正念誦等
護摩 部主 諸尊段異說
卷數 二通 念誦 結願 土砂事

裏少、有異說

光明真言法敬愛息災為亡者敬愛者鈎召
為現在人息災可修之

本書

不空羂索毘盧遮那佛大灌頂光明真言
一卷二枚

不空羂索三十帖目錄注云。出不空羂索經二十八
有梵字。祕錄注同之大師經。

毘盧舍那佛說金剛頂經光明真言儀軌
一卷 但不空羂索來世

勤修記并本尊事

三寶院僧正云。勝。為祈圓光院聖靈之
御菩提。以遍智院僧都。被修光明真言
法之時。向東Q T胎藏大日為本尊也

私云。胎藏大日為本尊。優美也

小野秘傳云。胎藏大日為本尊。付胎界行。
傳受集二云。本尊胎藏大日也。或金剛界
大日云。

賢覺云。義入滅之後。鳥羽僧正先師。三寶
院僧正授云。凡今法有滅罪除病之文。為
亡魂滅罪修之。以金剛界為本尊。向西曼
荼羅修之云。

敬愛為除病延命增益行之。向東Q T

亮惠云。聖賢胎藏曼荼羅為本尊。賢覺以
金剛界大日為本尊。但理智不二習之時。
以兩界為本尊。深祕也

堀河院崩御時。惠什園梨於香隆寺勤修
光明真言法。奉懸成身會Q T云。

(裏書一六三)

金寶抄云。以金剛界大日為本尊。祕說云。
永曆元年十一月二十三日。美福門女院
御入滅。同自二十四日。御一周忌之間。於
鳥羽殿。光明真言護摩行之。付金剛界大
法云。

(裏書一六四)

源運僧都記云。
醍醐法印。自安元二年七月。比為建
春門女院御菩提。一周忌之間。於法住寺
北內裏裏給令行光明真言法給。向南被
懸兩界曼荼羅。諸事普通息災法也。爐形
圓也

滅罪事

傳受集云。以不空羂索為本尊云。

光明眞言儀軌云。若有衆生。隨處得聞此大灌頂光明眞言。二三七遍。經耳根者。即得除滅一切罪障云。文略之處。有土沙所

除病事

又云。復有衆生。連年累月。痿黃疾惱。苦楚萬端。是病人者。先世業報。以是眞言於病者前。一二三日。每日高聲誦眞言一千八十返。則得除滅宿業病障。若爲鬼燒魂識。悶亂失音。不語持眞言者。加持手一百返。摩捫頭面。以手按於心上。額上加持一千八返。則得除差。摩訶迦羅神作病惱者。亦能治遣。若諸鬼神。魘魅之病。加持五色線索。一百八結。繫其病者腰臂頂上。則除差。若諸癰病。加持白線索。一百八結。繫頭頂上。及加持衣著。即令除差。○若患一切鬼病。神病。癰病。瘡病。或毒藥中。或失音者。皆當以藥和水研之。加持一百八返。數點兩眼額上心。當怒加持。則便除。若作病鬼神。若不放捨。即當頭破如阿梨樹枝。若諸毒蟲蛇蝎螫者。以藥塗眼。即便差。文

請書

左大臣家政所

願請

某法橋

右被仰云。傳聞功能速疾利益莫大者。祕密瑜伽之教也。出離生死往淨土者。光明眞言之功也。仍故三品殿下御葬家之間。寵住殿中。可被勤修光明眞言護摩奉祈。故母儀大夫人三品殿下證大菩提之

由依仰執達如件

年 月 日 別當散位源朝臣 在判

請文

謹領

御請書一紙事

右光明眞言法者。滅罪之軌範也。出離之指南也。五住迷暗。憑消滅於光明之名。九品蓮臺。仰來迎於眞言之功矣。仍件法勤修之。御願尤可然者歟。以此等趣。可被言上狀。所請如件

月 日

支度

注進

光明眞言護摩一七箇日支度事

合

蘇 蜜 名香 白壇

五寶 金銀眞珠琥珀螺貝

五香 龍腦鬱金白檀丁子麝香

五藥 赤箭人參茯苓天門冬石菖蒲

五穀 稻穀大麥小麥大豆小豆

壇一面 加爐桶

脇机二前

燈臺四本

禮盤一脚 加半疊

壇供米三石五斗

御明油三升五合

壇敷布一段

大幕一帖

阿闍梨 承仕 駈仕 見丁

淨衣 赤色
右注進如件

年 月 日

壇圖

佛供十六坏 大八坏 小八坏

汁八坏 小豆可煮

菓子十六坏 餅八坏 餘隨有

已上開白并每日中可用也

後夜粥八坏

初夜無供物

供花等用檜

檀木 長八九寸 花本松檜通用

乳木 長十指五寸也 合欬木 桑木

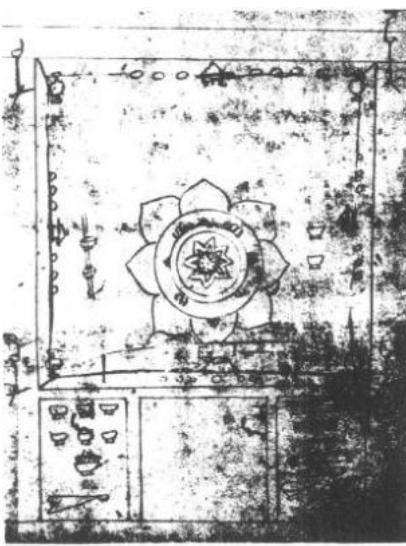
加持物 圓丸米赤藥用之 又白米赤藥用之

藥種 相思子 天門冬 紅花

金寶抄云。蟻丸事。蟻土 取藥種用之。相應物也。

嗽口香水 八少相應物。牛乳。蘇蜜。白芥子。

爐八葉花形也。色赤。口廣一寸。



行法 始終付胎藏 小野說 (裏書一六五)

夜始
後

前方便有表白其詞云

(裏書一六六)

師口云。光明眞言法。以胎藏大日爲本尊。有數。故眞言卽自羅索經出。是蓮花部法歟。胎藏卽蓮花胎藏故也。

剛光明遍照十方世界淨一切衆生大
菩提心云々
眞言
（裏書一六七）

印塔印
光口
祕云
印放
也五
色

又內五古印言私云五鉅也

師云。兩部合身印也。二界五古五智光
放各別利生云。

法界體性智光斷第九摩羅識惑障。放大圓鏡智光。斷第八識惑障。放平等性

智光。斷第七識惑障。放妙觀察智光。斷第六意識惑障。放成所作智光。斷前五

識惑障也
此法以五智光破九識所起惑障暗也

相應經云。於五智光明峰杵出現五億俱胝微細金剛。遍滿虛空法界。諸地菩

薩無有能見。俱不覺知。熾燃光明自在。威力常於三世不壞。化身利樂有情無

時暫息。以金剛自性光明。遍照清淨不

剛乘云：

蜂金剛菩提心三摩地智自受用故從
五峰金剛菩提心三摩地智中流出金

眞言

劍印不唐書遍照不空王如來真言

唵阿謨伽尾嚩左曩摩訶母捺羅二摩拏合

花藏院自筆本以朱注云。天下有石。合二鉢納磨合二入縛合二擢鉢羅合二轆多耶呼引

又言出毘盧舍那佛說金剛頂經光明

言儀軌
庵一何謨賀毘盧舍那二摩訶穆陀羅合二

三摩尼波頭摩 四蘇婆合二羅 五婆羅婆利
二合陀耶引件婆吒蘇婆二訶

六 附其七 口傳言也
小 說 說所有其

俊寛閑梨満足一切
智言用小呪云々

已上醱醱泔墨身傳之外野讀程三
之祕說也

廣澤口傳又同之通智院儲說也

種子 三形 率都婆

形像 金剛界大日 可見攝眞寶經
(裏書一六八)

印 智拳印 如常 加持四處云
心地觀經云亦名能滅無明黑暗大光

明印云

已上傳良雅閣梨奉授大僧正定云、廣澤同之

又印

右五指舒向外立放五智光明白濁黃赤綠金剛

界也上自有頂下至阿鼻城利益云、

左五指舒仰左膝上垂下放五智光明胎

藏界也左右五指

或左手作拳安腰秘云左掌安腰云

實任云惠手上有頂衆利之定手下利

益無間衆生云、

惠什云左手放五智光照五趣小指地

獄大指人也右手放五光明照天聲緣

菩薩佛小指天大指佛也

上印小野權僧正大御室令奉授給

羯磨會不空成就印也又文殊院無垢

光印歟

又用大日劍印內縛二中立合指端劍形

二風著中背三摩耶會大日契也

又印

虛心合掌或云二頭指第三節不相著

二大指入掌中廣澤傳

已上印皆用光明眞言

又傳秘云大理越房傳以阿彌陀爲本尊敬愛行之

種子

三形蓮花赤色未敷

印外五結或八葉若彌陀本尊

呪光明眞言

或彌陀本印用之

本尊阿彌陀習時事也或師云以彌陀爲本尊事具十二光故云

法務觀聽抄云爲本儀軌阿彌陀如來

三摩地云、

依之以彌陀爲本尊人有之仁和說彼書

極偽書也不可用之云、

惠什云不似三藏筆不可信用云、

又樣普通說秘云覺意僧都說以不空網索爲本尊（異書一六九）

種子

三形

印不空網索印運合進力禪智轉右轉入左虎口隨事作成就

眞言光明眞言

本尊付不空網索習樣也

又云雖爲不空網索本尊種種印塔印

可用云、

私云不空網索大日觀音歟

十卷抄云他宗廣學人不空網索觀音

爲本尊云、

梵號南無摩訶毘盧遮那佛

密號遍照金剛

字輪觀五大

正念誦光明眞言

散念誦秘云佛眼大日之本尊光明眞言大日阿彌陀尊勝一字

佛眼

不動一字

禮佛如胎藏但除五大明王

勸請偏如胎藏

部母佛眼

讚心略

私石山道場觀引之薩摩尾也二比婆去禪訖羅二訖里二也

素藥多地引鉢帝爾而以義但賴二合也

都迦摩訶攞佐吠嚕左養一謨婆觀諦

伴僧

誦光明眞言

御加持用光明眞言

源運僧都說用不動呪云、

秘云若御加持在可用光明眞言

後寬云不空網索法御加持用光明眞

言爲祕事三井成尊律師太殿不空網

索法伴僧誦光明眞言云、

護摩

相應句 嚩始迦魯拏斛

先初火天段如常

部主段

先嗽口三度灑爐口

次勸請尊結定印

觀我心上有眞字成月輪、中有眞字

變成蓮花、上有眞字變成五古、

變成彌陀如來相好圓滿作是觀了結印

加持心

頌頌頂

二手外縛二中指如蓮葉呪曰秘云三昧耶會所用無量

唵盧計濕嚩囉惹訖哩

即右手取一花誦呪三返加持投爐中想

成寶蓮花上有眞字變成五古、變成

彌陀如來相好如上

次結先印

啓白

我今奉請 彌陀如來 唯願大悲
以本願故 加持此處 受我微供

作是語已

唵盧計濕囉囉惹乾里_{作四}▽▽▽_{作三}唵

勸請曼荼羅本位尊令其會爐中如來。一

體無二

次嗽口三度

至心奉獻 嗽口香水 唯願部主

納受護摩 悉地圓滿

眞言如上_{未加敬}

次塗香三度

次蘇油三度

次乳木三枝_{二十一之內}

次飯三度

次五穀三度

次切花三度

次丸香三度

次散香三度

次蘇油大三小三

已上啓白准上

次普供養印言三力偈祈願 如常

次嗽口三度

次撥遣右手取一花誦眞言_{未加敬}

車_{未加敬}、移句結前印撥之三度即作金合

印 唯願部主 還著本座_{一拜}

本尊段 _{秘云諸供物光明眞言用之云}

先嗽口三度灑爐口

次勸請當部尊令坐爐中

先結定印觀我心中有_有字成月輪_有

上有_有字成百寶蓮花_有上有_有字成

五輪塔_有變成大日如來形服如素月戴

金剛寶冠住定印放大光明相好圓滿

次結塔印

誦_有了_有了_有呪

次右手取一花誦前眞言三返加持結定

印置薪上想成寶蓮花上有_有字成塔_有

變成大日相好等如前觀之

次結塔印稱

我今奉請 大日如來 唯願大悲

以本願故 加持此處 受我微供

作此語已

勸請曼荼羅本位如來令冥會爐中如來

身一體無二

次嗽口三度

次塗香三度

次蘇油三度

次百乳木

次飯三度

次五穀三度

次花三度

次丸香三度

次散香三度

已上啓白并眞言准上 右供物等次第供了切花器丸香散香

入合次飯器入之次器共取重置左机

次五穀飯等混屯_{承仕}

次蘇油大小杓各一度

次普供養印言

次六支乳木

次藥種三度_{光明眞言}

次加持物_{光明眞言}用無所不至眞言

觀念云

此團丸供入從本尊御口至心蓮花臺成

無量蓮花箭雲海流出一毛孔供養盡

虛空法界諸佛菩薩便還來射拂我及亡

者此等憎惡隔別厭離菩提彼此一體和

合互令起無二敬愛之心云

次普供養印言 三力偈并祈願

次嗽口三度

次撥遣取一花誦本尊呪投空想此花成

蓮花座即結塔印誦無所不至言未加藥

車_{未加敬}、移之句想本尊從爐中歸曼荼羅

本位撥遣之即作合掌云

唯願本尊 還著本座_{一拜}

諸尊段用八葉九尊以普供養眞言供之

又九尊各別眞言用之云

次世天段_{如常}

又說

部主 金輪_{小野}或寶願佛

又除障佛頂_{寶覺}或用不動并降三世

諸尊段_{心覺} 用十三大會部主 除外金剛部等

中臺 大日

觀音院 正觀音

持明院 般若菩薩

文殊 文殊

地藏 地藏

釋迦 釋迦

已上各三构供之

又說

三十七尊以普供養言三构或七构曼茶

羅尊供之 金寶抄

加持物呪

小野流加持物用光明真言云

護摩

勸請發遣共內五占印云

或召請時申五指以風指招之也

卷數

光明真言護摩所

奉供

供養法二十一箇度

護摩供二十一箇度

諸神供三箇度

奉念

佛眼真言二千一百遍

大日真言二萬一千返

光明真言二萬一千返

阿彌陀真言二千一百遍

不動真言二千一百返

大金剛輪真言二千一百遍

一字金輪真言六千三百遍

右奉爲

始自某日至今月今日三百餘箇日間殊

致精誠奉修如右

年 月 日

御念誦卷數

勸修寺或御念誦所

奉念

光明真言二萬遍

右謹依 院宣始自六月二十六日至于

今日并五箇日夜之間持念上件真言奉

祈 太上法皇御滅罪生善御願圓滿之

由仍勤遍數謹解

保延七年五月十六日

阿闍梨大法師行海

結願作法如常

上砂加持

淨取土砂置脇机以一占加持之散念時

作之左手持念珠念光明真言右手舒五

指放光明壇中土砂土砂放光成光明輪

照亡者等云

尊勝阿彌陀等可有此作法不可傳也

不用發願等歟

又說

加持土砂導師作法

三禮

一切恭敬 自歸依佛 常願衆生

大解大道 發無上意 自歸依法

常願衆生 深入經藏 智慧如海

自歸依僧 當願衆生 統理大衆

一切無礙

次如來唄

如來妙色身

無比不思議

如來色無盡

一切法常住

次發願

至心發願

眞言法樂

一切靈等

往生極樂

次五大願

衆生無邊誓願度

法門無邊誓願覺

菩提無上誓願證

次念誦

口云左手持念珠右手向外立光明真言

百遍誦之

軌云若諸衆生具造十惡五逆四重諸罪

墮諸惡道以是真言加持土砂一百八遍

尸陀林中散亡者尸骸或墓上彼所亡者

若地獄若餓鬼若修羅若傍生中以一切

如來大灌頂真言加持土砂力即得光明

身及除諸罪報往極樂國蓮花生矣我等

罪障多積生處猶疑仍以一匝之土砂永

置佛前之壇場念佛結願之導師別發五

大願諸賢各住三密觀誦此真言如說加

持。結衆之中。若有逝者時。以此土砂必置其屍。彼具諸罪者。既脫苦。矧不造五逆乎。散尸骸者。猶得功。矧常誦百返乎。夫有思之人。許分用之。

口云不空經索經出二十八云可見

寫本日記云

自生年十九歲至于四十二所尋習口傳并抄物要事略撰集之不可他見失多故也

元曆元年十月二十日申尅書之

金剛佛子

正治三年正月比西明院居住之間口傳授之

光明真言祕事三種印可用之

五胎印

智拳印

次左右施無畏

兩部通印合行意也云

已上三種印用光明真言一遍可用。正口傳可書

建仁四年正月七日於白河房書寫之

了

承久三年二月一日於大和國三輪書

了

元文五_{庚申}年九月五日遂修復補蟲損闕分焉。是偏擔淨上院家耳。真言一宗勸學院金剛末資賢賀_{俗五十七}

信濃阿闍梨自證房

攝津僧都

柿袋云。向北方修之云。合行意歟

安養抄云。仁和寺種實。三スイ可

又說

種實。放五色光

三塔印

塔印。光明真言

智拳印

內五古印

兩部極肝心祕法云

此外渡兩部數有異說可見彼次

第

又說

種實

三形。五胎

尊形。胎大日

印。五古印。寶冠舉手印。百光遍照

王印也

又云。金剛合掌。口受可問三十卷不空經。以兩部大日見爲本尊。或大日觀音金剛手三尊院云

或演金剛界五佛也

但胎藏勝云。俊寬闍梨同之

光明真言

醍醐傳光明真言加句有之云

三歸真言也

金剛

惠什云。呪有五部句義。又印并三

形皆五智也。即放五色光明。照燭

六道四生苦惱衆生拔苦與樂。儀

軌意也。加持所。用光明真言

信運傳云。若誦一遍能除行人一切

苦難。若兩遍除滅億劫生死重罪。若

三一三昧現前。若四一總持不忘。若

五一得成就。無上菩提。若一念誦滿

一月。已。曼殊。現其身。或於空中

演說法要。是時行者得宿命智。辨才

金剛法身云

祕藏記云。已上心覺

俊寬云。以金剛界大日爲本尊事淺

說也。以胎大日爲深祕云

持明云。金智拳胎法界定。金剛不壞真言。不_レ可_レソ_レ々

一從五指放光證文事

一光明眞言得名事

右施無畏印經云不空羼索

不空羼索神變眞言經第二十八灌

頂眞言成就品

爾時十方一切刹土三世一切如來

毘盧遮那如來一時皆伸右無畏手

摩清淨蓮花明王頂同說不空大灌

頂光明眞言曰

不空不被載此印言如何

廣澤云左拳臍上當右五指開叙橫

左拳上置之相去寸計想五指端五

色光放普照法界云

心覺云別有三印宛三身云

私云三身印有心覺抄可見又十

卷抄有之

○

智拳印功能事秘書有之

心地觀經云是名引導無上菩提第

一智印亦名能滅無明黑暗大光明

印以結此印加持力故十方諸佛摩

行者頂授大菩提最勝決定證是大

毘盧舍那如來無盡福壽

大妙智印云

諸佛境界經云是名菩提引導第一

智印亦名能滅無明黑暗印緣此印

加持諸佛與行者授無上菩提最勝

決定之證本是毘盧舍那如來大妙

智印云

見此印功能以金大日爲本尊非

無其理云

藏書一六九

心覺傳

軍持尊

三身

摩一大母

頭蓮花

轉法

大三古印

阿一乘斷

毘一如來

摩尼寶波

入一光明

正是金剛不壞義

已上

覺禪鈔 大佛頂

大佛頂法般若或息災增益法務御說備金輪法付云 (藏書一七〇)

具書

大佛頂廣聚陀羅尼經五卷

大佛頂如來密因修證了義諸菩薩滿行

首楞嚴經十卷貞元觀覺梵釋云大佛頂首楞嚴經十卷

大佛頂如來密因修證了義諸菩薩萬行

品灌頂部錄中出印契別行法門一卷仁

大佛頂如來大道場儀軌一卷運

大佛頂如來放光悉陀他鉢陀羅尼一卷

海運

注大佛頂陀羅尼一卷運

梵字大佛頂眞言一卷海不空譯

新譯梵漢大佛頂陀羅尼一卷金剛智釋

梵唐兩字大佛頂結護一本仁

梵唐語對註譯大佛頂眞言一卷忠和上梵

本注加漢字漢語

小佛頂眞言一本數

大佛頂碑一卷數

大佛頂玄贊三卷曉

大佛頂經疏三卷行曉云

大佛頂隨疏科文一卷仁

大佛頂疏隨文補闕抄一卷仁私云上四傍見之

大妙甘露經

利益事

大妙甘露經云時金剛手等言我若不持此法不度有情令盡成佛我誓不取正覺

文

又云爾時世尊輪王○不現身於虛空法界位有聲言金剛手

諸佛性無邊 色相共自在
聲色俱有實 迷者有分別
現色而無色 本來空寂然
汝恒持此法 廣度諸有情

大佛頂陀羅尼云

稽首光明大佛頂 如來萬行首楞嚴
開無相門圓寂宗 字々觀照金剛定
瑜伽妙旨傳心印 摩訶衍行總持王
說此祕密悉怛多 解脫法身金剛句
菩提力大虛空量 三昧智印海無邊
不持齋者是持齋 不持戒者名持戒
八萬四千金剛衆 行住坐臥每隨身
十方法界諸如來 護念加威受持者
念滿一萬八千遍 遍々入於無相定
號稱堅固金剛幢 自在得名人勝佛
八大佛頂八大菩薩八大明王
同體事

甘露經云時金剛手八大菩薩佛前而作此法一須臾間便與佛齊等時八大菩薩佛還以佛華歌詠讚佛欲歸本國時世尊言汝等雖成佛身未報佛恩時八大菩薩白佛言云何是報佛恩佛言成歸成佛已須廣度有情住寂自染寂時佛菩薩等聞是說已即却變身還成菩薩禮佛變足又云以持如來輪故爾時金剛手菩薩現作降三世明王○妙吉祥菩薩現兩臂六

頭兩足金剛明王云餘六尊略之
小野俗正略頌云

最勝觀音馬頭尊 無邊慈氏大輪尊
光聚虛空大吽尊 廣大普賢步擲尊
白傘金剛降三世 勝佛文殊大威德
尊勝除蓋不動尊 極廣地藏無能勝
八大佛頂異名

(聖書一七一)

最勝佛頂

大佛頂名最勝金輪頂

大妙經名一字佛頂輪王

無邊聲佛頂

尊勝軌說也

大妙經云名無邊音聲佛頂大日經疏同之

梵字台次第云無量音聲佛頂云

光聚佛頂

尊勝軌云名放光佛頂亦光聚

大日經名火聚佛頂

大妙經名光聚佛頂輪王

攝大軌云火光佛頂

廣大佛頂廣生

可尊奇特經高佛頂

大妙經廣色佛頂輪王

大日疏會通大佛頂

攝大軌極廣生佛頂玄法同亦云除障佛頂

白傘蓋佛頂

菩提場經名白花蓋佛頂

大妙經云白傘蓋佛頂輪王

大日疏云白微佛頂云

勝佛頂

尊勝軌殊勝佛頂

大妙經勝佛頂輪王

尊勝佛頂

尊勝軌說又除蓋佛頂亦除障佛頂日大經同

之經同

廣大軌云除業佛頂

菩提場經名摧毀亦云摧壞

大妙經名除一切蓋障佛頂輪王

極廣佛頂又發生

攝大軌說同軌名廣大發生佛頂玄法軌同之

大妙經云發生佛頂

大日疏云阿毘發生佛頂

私問甘露經八大菩薩現作八大明王

分明但八大佛頂中其佛頂其菩薩云

事不分明如何答不空譯一卷尊勝

軌說八大菩薩中央佛右邊安觀自在

菩薩云善無畏二卷軌迴八大佛頂中

央佛右邊安最勝佛頂知最勝佛頂即

觀音也餘各隨本位可思之

又甘露經佛頂次第分明菩薩次第可

相配之歟

曼荼羅異說

(聖書一七二)

大師御傳以金輪曼荼羅竹生井龍等電

爲大佛頂本尊云

又金輪曼荼羅云寬勝 兼意 寬勝等傳也
十卷抄今不銘大佛頂事

圖像 四四

圖考 一

信與云金輪曼荼羅竹等世間輪王宮殿莊嚴儀式也又曼荼羅

圖像 四五

圖考 二

圖像 四六

圖考 三

用本尊異說

(裏書一七三)

十七秘法云金輪佛頂爲本尊云大理應房同之靈巖傳云以白傘蓋爲摩訶頂傳云受集說

以云白傘蓋爲本尊傳云受集說或以攝一切佛頂爲本尊秘說也是有多種

傳受集云大佛頂是諸佛頂總名也或以八大佛頂云大佛頂又五佛頂云大佛頂

正傳云貞觀寺僧師云大佛頂法以御作次第可行彼次第

付甘露經云問件經惠運請來也非御請來何依彼經

或人云大師錄外云信與今法付大佛頂經七卷可修云

請書

被院宣云自來某日率八口伴侶可令勤修大佛頂秘法給之由所被仰下也是則應德年中奉爲堀河院母后被行此法今迫彼例付件門跡所被仰下也者依院宣執達如件

月日

謹請

御教書一紙事

右件法者利益雖揭焉勤行頗希有今尋應德之先蹤蒙勤修之院宣爲秘法爲門跡有眉目者歟仍所請如件

月日

注進 大佛頂御修法一七箇日

支度事

(裏書一七四)

合

五色糸各三丈五尺兩段料蘇蜜各香白檀沈水蜜

五寶黃金白銀珊瑚琥珀五藥赤箭人參伏苓石菖蒲大門冬五香蘇合零陵青木白膠雞舌

五穀大麥小麥小豆胡麻粳大壇一面護摩壇一面

壇敷布二端兩端燈臺八本脇机四脚禮盤二脚

半疊二枚經机三前燈臺三本油一斗五升五升大壇料

米十五石五斗兩壇供料各七斗芥子袋一口布四丈兩壇供料各二丈

阿闍梨一口伴僧八口云最略

承仕三人大壇一人護摩二人國各淨衣驅仕六人

見了二人淨衣白色

右注進如件

應德二年二月十九日 行事法師 阿闍梨權律師義範

堂莊嚴事

大壇護摩壇修之不行聖天十二天應德年中遍智院上綱勤修同此說云

大壇佛供十六杯餅八杯小八杯汁八杯小豆

菓子十六杯餅八杯已上開白并每日中可用也

後夜粥八杯 初夜無供物 供花等用格

兜樓婆香事

(裏書一七五)

師云今法鉢入水壇中置之其水都應婆兼意闍梨云兜樓婆香入金鉢若密置本

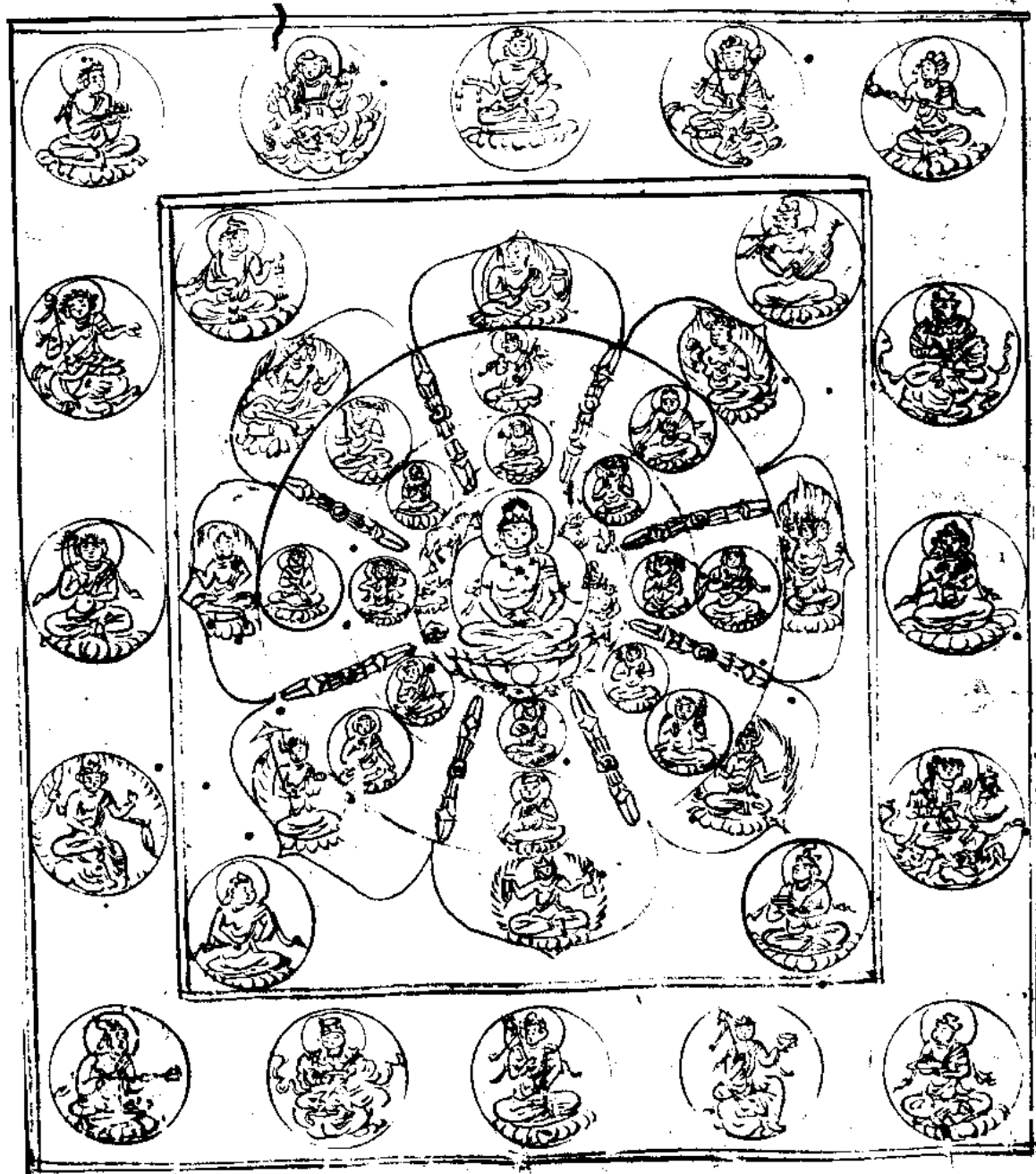
尊前結願之後灑施主若令服之悉地成就云若自行自服之又可灑也

大佛頂經七云壇心置一金銀銅木所造蓮花中心安鉢中先八月露水中

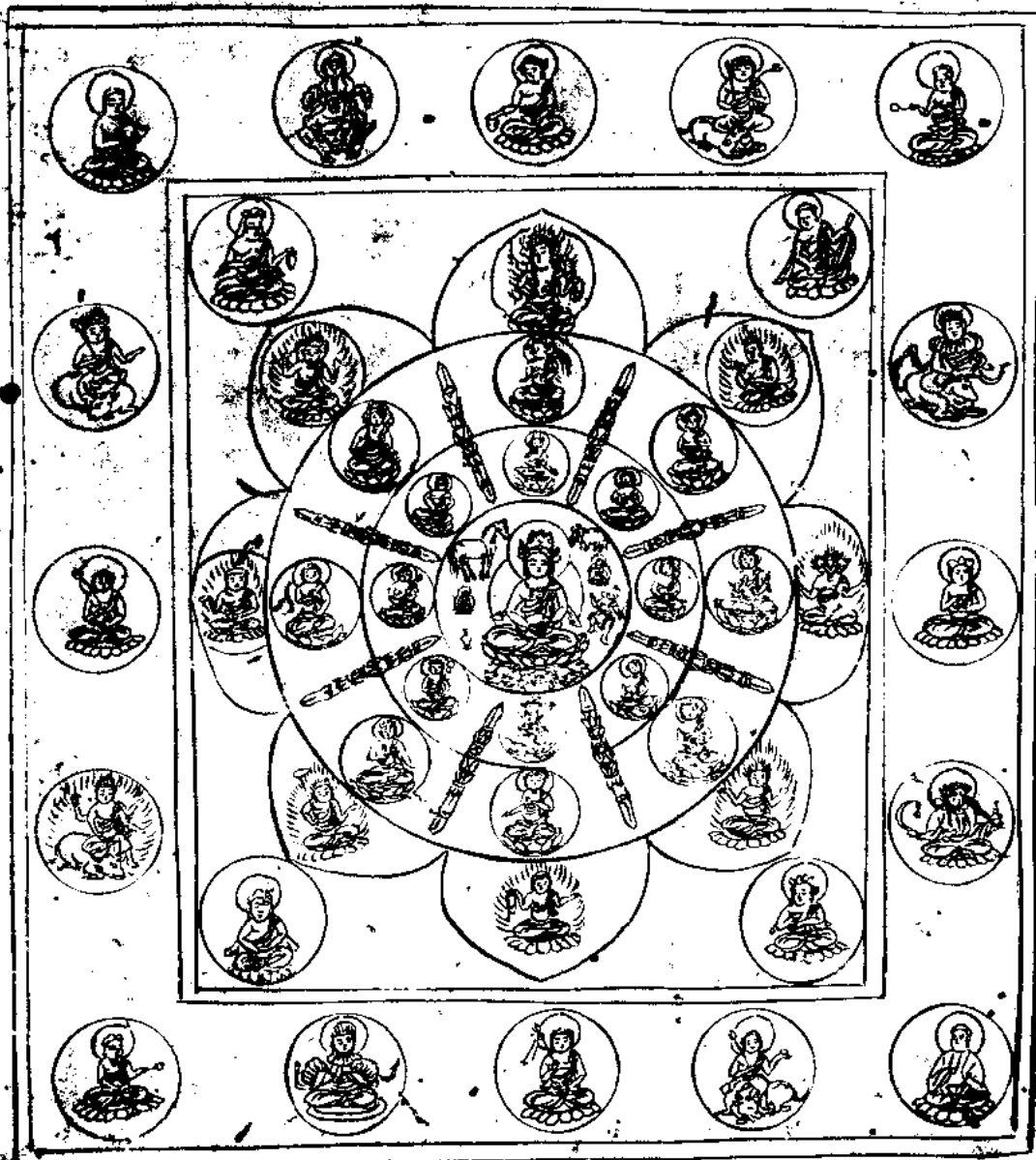
隨安所有草木葉文上文有餘壇作法可見之

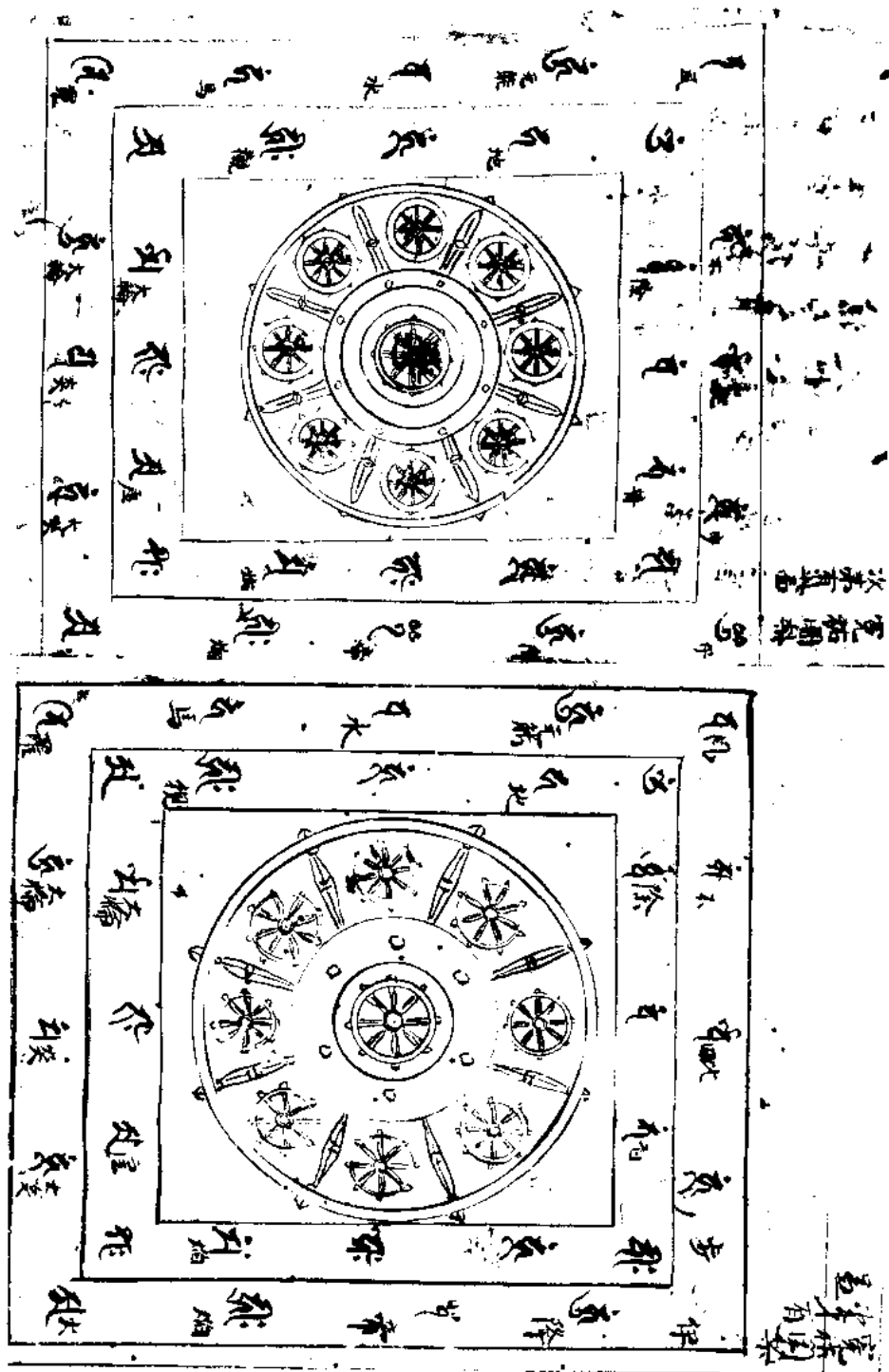
又云若於中夜取蜜半升用蘇三合於壇前別安文火爐以兜樓婆香煎取香水沐

浴云大佛頂軌云不知以蜜半升蘇三合以小火爐煎兜樓婆香取汁沐浴云

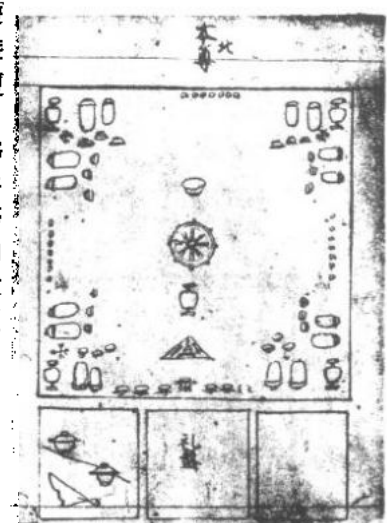


圖像 No. 45. 大佛頂曼荼羅(其二)





圖像 No. 46. 大佛頂曼荼羅(其二) 參考圖像 No. 3. 大佛頂曼荼羅(釋迦文院本) cf. No. 46



護摩壇 佛供等如大壇

乳木 長十指五寸也

檀木 長九寸花木

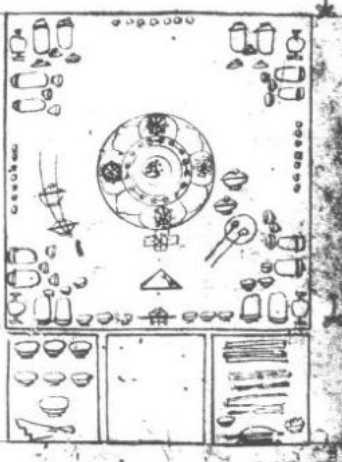
加持物 又白米粉赤染丸也

藥種 門想子紅花

嗽口香水 入紅花

相應物 牛乳酥蜜白芥子

或次第云撰法者爐底可書種子云



諸師皆用此圖第二延八幅輪書為秘云

私云今法敬愛為吉何爐形圖乎但應

德息災歟或本四方無

曼荼羅

甘露經云爾時世尊現作攝一切佛頂輪王之相手持八幅金輪處七寶師子座身放無量百千光明及大火焰頂旋傘蓋上出現一俱胝佛身放大光明一一旋轉坐傘蓋中如是世尊以印又八轉旋作八方八色輪中八種佛頂輪王花座持本標轍○即於東方如來面前赤色輪中現光聚佛頂輪王手執如來頂印放大光聚坐大赤色蓮花於如來右隅黃色輪中現發生一切佛頂輪王手持黃色蓮花放黃色光明坐黃色蓮花於如來右邊白色輪中現白傘蓋佛頂輪王手持白傘蓋放白色光明坐大白蓮花於如來後右隅雜巧色輪中現勝佛頂輪王手持利劍放雜巧色光明坐雜巧色蓮花於如來後紅色輪中現除一切蓋障佛頂輪王手持紅色蓮花於如來左隅青色輪中現黃色佛頂輪王手持三股縛曰羅放青色光明坐青色蓮花於如來左邊綠色輪中現一字最勝佛頂輪王手持八幅金輪放綠色焰坐大綠色蓮花於如來前左隅紫色輪中現無邊音聲佛頂輪王手持白螺放紫色火焰坐紫色蓮花於如來上方佛頂各放本方色光明各以八凝識沙俱胝佛圍繞各坐本方色蓮花各以一俱胝佛刹於頂上繫旋而作蓋形云

位各現八種佛頂輪王相已時世尊復現七寶眷屬女寶馬寶象寶主藏神寶輪寶如意珠寶兵寶周匝圍繞大輪四面云一字言與佛眼言加句

圖像 四七

(裏書一七六)

圖考 四

圖考 五

行法 附身

大佛頂法向西可修敬愛甘露經云於東方如來面前輪中置光聚佛頂云

先德云此法部主用阿彌陀云以之思敬愛尤可修敬云

表白

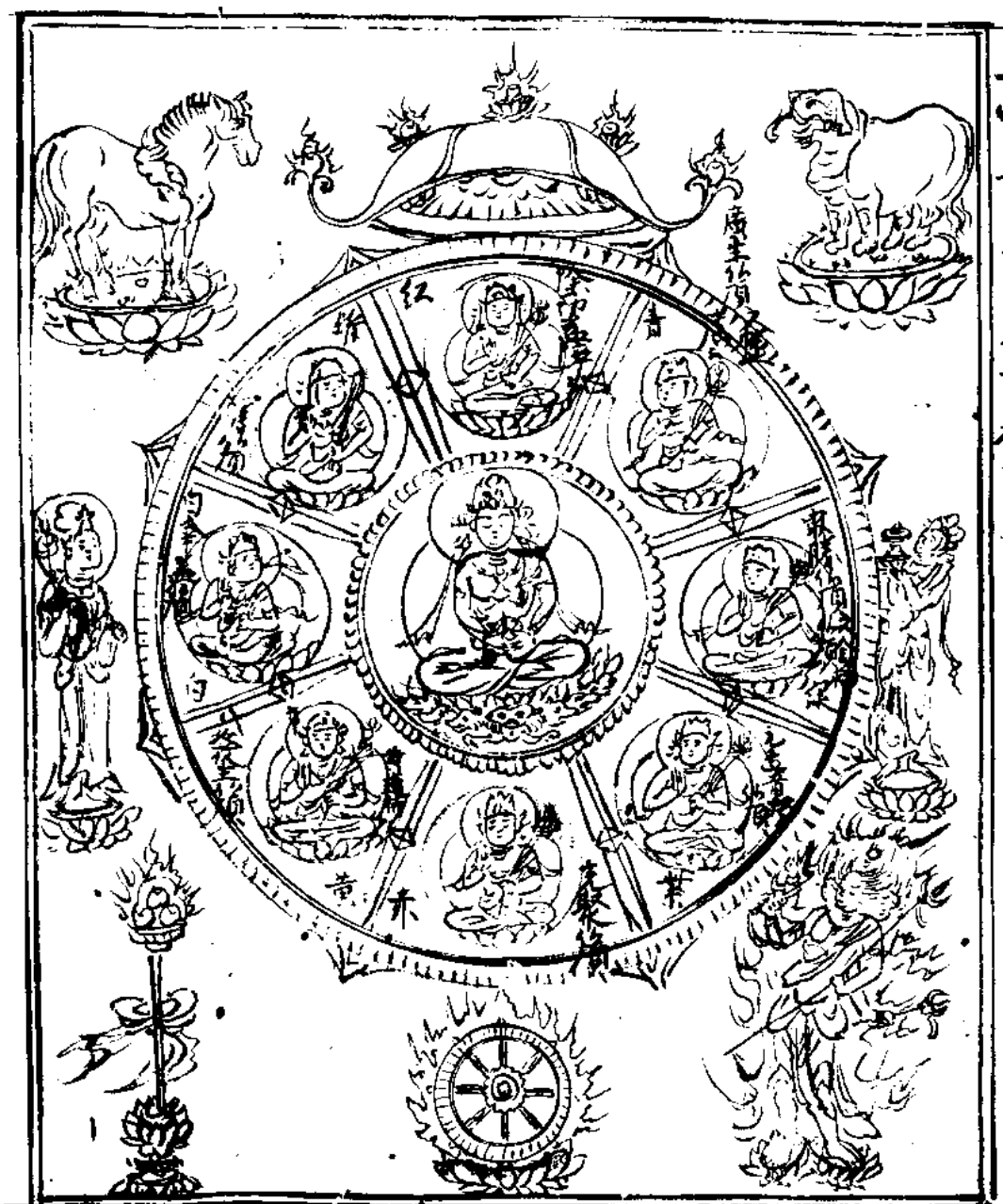
三密瑜伽之肝心八大佛頂之密語也文理真正早開無相門威德第一獨為總持王三世十方如來護受持之人八萬四千金剛隨行者之邊十惡深重之罪速疾除却無間最大之業剎那消滅瑜伽深密之大虛者除暗遍照月光朗總持究竟之性海如實菩提之水浪靜實是滅罪生善之良藥頓證菩提之妙術也

種子 三形 八幅輪

本尊攝一切佛頂輪王胎大

曼荼羅在端一

印 寶瓶印



圖像 No. 47. 大佛頂茶羅(其四)

शुद्धि

來輪故云

入我入觀

正念誦我心中有我成八幅金輪王其上
有字及八佛頂種子右旋住所謂

色光射十方佛利爾時十方諸佛以八幅
花輪擲行者頂上此輪放光明照行者身

心三業極重罪悉消滅忽成佛身不假結
護供養速得諸佛三昧十方諸佛不見自

身況餘菩薩乎如此觀出定

兩界不

次本尊印

次八大明王印

金剛手降三世

唵遜偈遜婆縛日羅吽發吒

妙吉祥六足

內縛立合二中指三字言曰

唵吽惡吽

虛空藏大唉

右空押地甲立肘左拳空風捻十字真

言曰

唵縛日羅吽賀婆耶吽發吒

慈氏大輪

輪壇印

唵縛日羅合二祈訖羅合二吽

小金剛六字心真言曰

唵縛日羅合二祈訖羅合二吽

唵縛日羅合二祈訖羅合二吽

唵縛日羅合二祈訖羅合二吽

唵縛日羅合二祈訖羅合二吽

觀世音馬頭

馬頭印十字心真言

唵賀耶訖里縛吽吽發吒

地藏無能勝

右手捻空風安心左手立肘五輪向立

外

十二字心真言曰

唵戶嚕嚕戰摩里摩登疑婆婆賀

除障不動

不動心印十七字心真言曰

唵阿左羅羯摩戰摩婆婆耶吽發吒

普賢步擲

右手三古印向外左拳上肘七字心真

言曰

唵訖哩吽

合三

合三

合三

合三

合三

合三

合三

合三

合三

合三

合三

合三

歸命怛陵帝儒羅施耶瑟尼二灑婆縛賀

發生佛頂

印八葉印真言

歸命輪嚕吽耶瑟尼二灑婆縛賀

白傘蓋佛頂

印豎惠風定拳覆如蓋形

歸命蓋悉怛多鉢怛羅耶瑟尼二灑婆縛

賀引

勝佛頂

印大惠刀印真言曰

歸命苦惹欲耶瑟尼二灑婆縛賀

除障佛頂

印內縛鉤智風真言曰

歸命訶林尾枳羅摩半祖耶瑟尼灑婆縛

賀

廣生佛頂

印內五古印

歸命吒嚕吽耶瑟尼灑婆縛賀

最勝佛頂

印轉法輪印真言曰

歸命旨施尾惹惹耶瑟尼灑婆縛賀

無邊佛頂

歸命旨施尾惹惹耶瑟尼灑婆縛賀

歸命旨施尾惹惹耶瑟尼灑婆縛賀

歸命旨施尾惹惹耶瑟尼灑婆縛賀

歸命旨施尾惹惹耶瑟尼灑婆縛賀

歸命旨施尾惹惹耶瑟尼灑婆縛賀

印。虛心合掌屈二風輪以二空輪絞之
如商估真言曰

歸命怱怱

石山內供傳云。八大明王一切持金剛

印言。金剛部三昧耶印也云。

護摩

相應句 縛始迦嚕拏○

初火天段如常

部主段

先嗽口三度灑爐口

次勸請尊結定印

觀我心上有字。成月輪。中有字

變成蓮花。上有字。變成五古。

變成彌陀如來。相好圓滿。作是觀了。結印

加持心額喉頂。二手外縛。二中指如蓮葉

云。

唯盧計濕囉囉惹

次右手取一花。誦呪三返。加持投爐中。想

成寶蓮花。上有字。變成五貼。變成

彌陀如來相好如前

次結先印啓白

我今奉請 彌陀如來 唯願大慈

以本願故 加持此處 受我微供

作是語已

唯盧計濕囉囉惹訖哩

勸請曼荼羅本位尊。令冥會爐中如來。一

體無二

次嗽口三度

至心奉獻 嗽口香水 唯願部主

納受護摩 悉地圓滿

真言如上

次塗香三度 次蘇油三度

次乳木三枝 次切花三度

次五穀三度 次散香三度

次蘇油三度 已上啓白呪准上

次普供養印言三力偈祈願如常

次嗽口三度

次撥遣

右手取一花誦真言末加藥車。移

句。結前印撥之三度。即作金合印。唯願

部主還著本座一拜

本尊段

先嗽口三度灑爐口

次請當部尊。令坐爐中。先結定印。觀我心

中有字。成月輪。上有字。成百寶

蓮花。上有字。成五輪塔。變成大

日如來。形服如素月。戴金剛寶冠。住定印。

相好圓滿

次結瓶印誦歸命

次右手取一花。誦前呪三返。加持置薪上。

結定印。想成寶蓮花。上有字。成輪。變

成大日。相好等如前可觀

次結瓶印稱

我今奉請 大日如來 唯願大悲

以本願故 加持此處 受我微供

作是語已

歸命曼荼羅本位尊。令冥會爐中如來

勸請曼荼羅本位尊。令冥會爐中如來

身一體無二

次嗽口三度 次塗香三度

次蘇油三度 次百八乳木

次飯三度 次五穀三度

次花三度 次九香三度

次散香三度 已上啓白

上供物畢切花器丸香散香入合次飯器

入之。器共取重置左机。次五穀飯等二器

混屯

次蘇油一度 次普供養印言

次六支乳木 次藥種三度 先呪

次加持物 真言如前

觀念云。此團丸供。入從本尊御口。至心蓮

華臺。成無量蓮華箭雲海。流出一毛孔。

供養盡虛空法界諸佛菩薩。便還來射拂

我及亡者彼此等憎惡隔別厭離菩提心。

彼此一體和合互令起無二敬愛之心。

次普供養印言 三力偈并祈願

次嗽口三度

次撥遣

取一花誦本尊呪投空。想此花成蓮花座

即結瓶印。誦歸命。曼荼羅。想本尊

從爐中歸。曼荼羅本位撥遣之。即作合掌

唯願本尊 還著本坐一拜

諸尊段 八大佛頂

世天段如常

私云。今法滅罪勤修之。仍殊以彌陀爲部主。是師傳也

深祕說佛眼 或一字金輪云

(裏書一八五)

又以金輪爲本尊時。部主用孔雀明王云

人佛頂御修法所

奉供

大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

諸神供三箇度

奉念

佛眼眞言

大日眞言

本尊大陀羅尼尋可同小呪

無邊聲佛頂

光聚佛頂

廣大佛頂

白傘蓋佛頂

勝佛頂

尊勝

不動眞言

護摩眞言

一字金輪眞言

右奉爲 國母仙院御息災安穩增長寶

壽滅罪生善始自某日至于今日七箇日

夜之間率八口伴侶殊致精誠奉修如右

年 月 日

阿闍梨某

結願作法

先書卷數一通付枝。本尊左立之。案文一通書行者左机置之。又佛布施同机可置。供養法如例。前方便無祈願等。後供養之燒香之次。供佛布施。次阿伽次取念珠。讀卷數案金一打畢事之由餘如常

又說傳靈巖

五段五佛頂宛之

一。金輪佛頂印。同辨事佛頂印

以二輪竝二蓋平屈兩節頭相銖於二輪甲上結印當心。眞言曰

勃嚕唵三合

二。普通諸佛頂印

二手虛心金剛合掌如花在掌中。誦佛頂眞言曰

唵砂訖羅二韋底唵吽

三。白傘蓋佛頂印

以二大指各捻二名指甲上側相合。二頭屈如蓋形。二中指微屈相合。二小指各立相合。眞言曰

唵麼達反作翼

四。光聚佛頂印

准前白傘蓋印折開二指。眞言曰

入縛囉々々駄迦々々尾駄迦々々囉囉々々微囉々々眞囉々々頻囉々々吽々々發吒々々

五。一切辨事佛頂印

以二手內相叉。立二中指屈上節如劍形。左轉三匝辟除。右旋三匝成結界。眞

言曰

唵吒嚕唵三五處加持云

右口傳。大陀羅尼。五段分配五佛頂。範俊僧正授明算阿闍梨云

大內記下卷有此傳。但五尊次第相違也

也

本云

寫本云

元曆元年十一月一日集之

醍醐權僧正 勝賢春花門女院誕生時勤行之

同寺座主僧正成一

建治元年十一月本院御祈勤行之

正嘉元年四月六日於近衛殿御念誦堂書寫畢

今朝於染筆之砌聞郭公之音而已

同十七日如形一交了 權律師

此卷虫損欠闕爲焉寫誤不勘。今幸以東寺觀智院家之舊本補其闕略。以朱書副小字。後君訂正焉。是偏爲令法久住。且又擔淨土院室之薪而已

時元文第三年歲次戊午臘月六日寅

一點霜滿酷寒挑釭識之

權僧正賢賀俗齒五十五載

一七〇

聖賢云。諸事准金輪法云

覺禪鈔卷第十一(大佛頂)

三二

（一七一）

最勝又金輪 又攝諸輪王

無邊聲成無邊妙壽遍照

光聚或神通

發生廣大破魔

大轉輪

高佛頂

尊勝捨除 摧毀 除魔 摧碎

廣生極廣 最高 難都 勝事 難都

（已上朱書）

五佛頂事 五佛頂印菩提場經三。出

菩提場一字頂輪王經云。汝今諦聽

一字佛頂大明王及四大佛頂文

又云。大佛頂。白傘蓋佛頂。高佛頂。勝

佛頂。光聚佛頂文

尊勝攝五佛頂內否事

軌下云。除障佛頂輪王。即是五佛輪

王之一數。并通三佛頂。八大佛頂輪

王也文

五佛頂軌云。輪。蓋。光。高。勝。此五佛頂

不尊勝也

三佛頂出胎軌并大日經。發生。廣生。

無邊音聲也

金寶抄云。五佛頂經。并胎軌。出。要略

軌配五指輪。再光

十佛頂者。八佛頂加攝一切佛頂及

普通佛頂歟已上

信與云攝一切佛頂與佛眼加天云

十佛頂云。又除佛眼加釋迦金輪。四

佛色佛頂配

勝金剛寶者。即白傘蓋佛頂。阿闍

金剛蓮花鈎者。即光聚佛頂。南寶生

金剛寶大庫者。即勝佛頂也。北寶生

金剛大染蓮者。即高佛頂。無量壽

已上可尋

（一七二）

大日金輪。釋迦金輪。同異如何

大日金輪。七師子爲座。有寶冠。住智

拳印。釋迦金輪。螺形。須彌山爲座。定

印上持輪云。

信與云。大佛頂。不可。大日坐須彌

山頂。以日輪爲光。日輪書百光遍照

呪云。

（一七三）

大佛頂經七云。大佛頂陀。佛告阿難。是

佛頂光聚悉。但多般。但羅祕密伽陀

微妙章句文

或傳以光聚佛頂爲本尊。依此文

歟

十八會指歸云。大佛頂及光聚佛頂

眞言及契文

傳受集云。發生。攝一切佛頂云。

法務類祕抄云。廣生。攝一切佛頂云。

可尋

大陀羅尼題云。大佛頂如來廣放光

明聚摩訶悉。但多鉢。但羅祕勝金輪

頂自在力王無比大威德總集百千

旋陀羅尼性海都攝一切明王更無

有上最勝金剛三昧帝祖羅施十方

如來清淨海眼祕密伽陀微妙章句

金剛無礙大道場白傘蓋頂輪王大

陀羅尼曰

私云。此文。金輪。攝一切佛頂輪王。

又白傘蓋等佛頂。攝也。仍何尊可

爲本尊歟

（一七四）

注進 大佛頂御修法一七箇日支

度

合

蘇 蜜 名香各少。

五色糸五丈。各每色兩壇。敷布五端

方八尺八角壇一面大壇

六尺壇方一面 護摩壇

三尺五寸壇二面 十二天壇

脇机五脚 禮盤二面

半疊四枚 燈臺十六本

壇供米貳拾三石捌斗之中

大壇八石四斗。護摩壇八石四斗。

十二天壇三石五斗。聖天壇三石

五斗

御明油三斗五升之中

大壇一斗五合。護摩壇一斗五合。

十二天壇三升五合。聖天壇三升

五合。御讀經所七升

阿闍梨 伴僧十六人 承事六人

甄仕八人 見丁四人 各淨衣

淨衣白色 乳木白染長八寸

香藥並相應物等在別紙
右注進如件

永保三年七月二十一日

行事大法師源尊

注進 大佛頂御修法相應物支度

合

圓鏡十六面之中八枚在軸八枚如
常八金輪八枚八香爐五枚如

鉢一口八口徑一寸八寸小鉢三口口徑五寸

花瓶五口長八寸蓮花臺一座高八寸

已上六種金銅

蓮花座十六枚高五寸採色

天蓋橋一具鳥居二本已上木造

天蓋一枚廣一丈八尺幡八流大四流長八尺

已上白色絹

敷曼荼羅一楨方八尺

右注進如件

永保三年七月廿一日

○
中宮御祈禱河院女后源尊闍梨出此

支度一門人々嘲之云々

或人語云雖出此支度公家不被用

之其後遍知院僧都可被勅修有仰

云時源尊彼僧都御許參御支度可

有御用意之由申請處更無信受云

傳受集四云壇置十六面鏡云云

實勝云用鏡等行之有支度不用云

只例息災云教雙子云醍醐小野僧

正鏡香呂不被用源尊十六大鏡香
呂十六用之數以有之鏡懸天

蓋八枚置壇件法十日加驗云々

香呂餅事也火令云々

又火舍香呂火爐同名也

○
愛染王供所

奉供

供養法九十三箇度

奉念

佛眼真言二千遍

大日真言二千遍

降三世真言三千三百遍

本尊大呪九十三萬遍

同小呪三千

〔書〕一七五

愛染王供所

奉供

供養法九十三箇度

奉念

佛眼真言二千二百遍

大日真言三千三百遍

降三世真言二千三百遍

本尊真言三十三萬遍

同小呪三千三百遍

平等王真言三千三百遍

金剛吉祥明三千三百遍

破諸宿曜明三千三百遍

成就一切明三千三百遍

○
大金剛輪真言二千二百遍

愛染王供所

奉供

供養法九十三箇度

奉念

佛眼真言一千遍

大日真言一萬二千遍

降三世真言

〔書〕一七六

金寶抄有攝一切佛頂咒不可高野

本云

中尊金剛界大日一身四面住智拳

印八大佛頂如常前有七寶

師主被仰云右不可大略甘露經

歟但中尊四面大日也彼經不說之

云

石山內供圖云中央攝一切佛頂輪

王手持八輻輪

種子梵字也云

私云九尊皆如普通肉色可彩色

甘露經說非分明故歟

〔書〕一七七

又傳信蓮授

種子云云云云云云云

三形在各別

印瓶印大陀

又智拳印

云云云云云云云云云

大佛頂陀羅尼八大佛頂總呪云

大日如來大願力故入金輪三摩地身金色左持輪右無畏戴五佛冠四佛成四輪王已上

或師云大佛頂陀羅尼胎藏大呪云

大佛頂心明

或傳云正念誦加持物呪本尊種子上加了加在大內抄

二羽內縛立二中指劍形

金輪印也爲金輪本尊時可用云

信與云此印付瑜祇經說云眞言如經云

又內縛二中輪形

印異說

金寶抄云外五古印又率都婆印

傳受集云第二以右印大母指押中

指甲上餘指申之名爲如來集善印

第三復次右手大母指押小指無名

指甲上餘指申之名爲勸語印

第一以其頭指屈入掌中以大母指

押中節上合掌誦呪此名佛頂光陀羅尼印

或師云大佛頂法孔雀印可加用云

私云光聚陀羅尼經等印多也雖然不受師傳仍不載也悉可見

理明房抄也

信與云經七有三印通佛頂印等也眞言俱備他云

法務定賢說爲金輪佛頂無他事云

智拳印小呪又勝身三昧耶印用之

傳受集三大師御傳云

或云一字金輪轉輪王 三十七尊諸聖衆

兼意云南無摩訶一八〇

寬曜云一八一

又小呪唵麼拏縛日羅出金寶抄

信與云一字補闕處無歸命成就句只或一切佛菩薩眞言用云

或說用不動讚兼意同之

大妙經七箇明王呪始加唵然大威德呪改唵加吽如何

佛母引不羅集云智勝高夫記云

唵引吽引囉吽引小野花藏院集同之

八大菩薩印言出甘露經御作大第同之

私云是八大明王印言也然名號上置菩薩號意如何

答明王菩薩表同體歟仍今印言計用歟

佛眼事一八五

白傘蓋軌云結佛眼印一切佛頂中應此大印滅諸罪又決定得悉地不久必成就一切佛頂法文

依此文者部主尤可用佛眼也

覺禪鈔 熾盛光法

具書

熾盛光佛頂儀軌一卷 禪林秘錄題
光明真言
可作者
熾盛光佛頂印相一卷

卷數

謹言

奉開眼供養 熾盛光曼荼羅 二楨

奉念

大日真言 二字真言

熾盛光真言 佛眼真言

文殊真言 金剛手真言

救護惠真言 毘俱胝真言

峯教者真言 如意輪真言

烏鵲沙摩真言 不動真言

降三世真言 息災護摩二千

三部心真言 諸天總呪

九執天真言

二十八宿真言

奉供

花水供二十一箇度

飲食供七箇度

護摩供

五穀乳藥

神供三

每夜七十七杯

右謹依仰始自今月八日初夜至于今日
中七箇日夜二十一時間三口僧等殊

致精誠修上件祕法謹以奉祈法印大和
尚滅罪生善增長福壽御願圓滿之由如
件謹言

寬治二年四月十九日 心譽

本尊事

長宴云熾盛佛頂八佛頂中无其名即釋
迦也一字金輪是釋迦也故此三同也熾
盛八佛頂中最勝是也

又釋迦院最勝佛頂也若釋迦尊也云

舊人云光聚佛頂即熾盛光也大說

行法 依胎藏修之

種子

三形 三古 法性佛

皇慶云輪是三古也

道場觀 如胎藏觀但供養法時軌
中諸尊印明用之云

壇中有阿字變成白蓮花座上上有部嚕

字變成熾盛光佛頂疫病流行鬼神亂異

國兵賊侵境是時修法消除諸災難變獲

得一切吉祥亦災障決定消滅福德壽命

圓滿云

印

二手虛心合掌開二風指屈如鈎形各立

火背但合風端不令著火背也二空竝直

豎以端令著火指之內第二節即成名爲

三古印云

真言

娜莫三曼多勃駄喃一阿鉢羅底賀多捨

娑囊南二唵却々佉呬々々三吽々入縛

囉々々四鉢羅入縛囉々々々々五

底瑟姪々々六瑟置哩娑撥吒々々
八所底迦室里曳娑縛賀

又根本印言

內縛豎二中指頭相柱二頭指隨中指背

不相著而作鈎形如三杵形二大指捻二

中指中節文側也印身五處散頂 光佛呪三
返或七返

勸請之時以二頭指召之

或說以外縛三古印身三古佛身也四

指熾盛光也二大座也 左日天右月天隨應具
諸曜宿印三開散乍腕

右印言娑羅樹王佛真言印契云

熾盛佛頂大威德銷災大吉祥陀羅尼經

曰娑羅樹王印言同之

別本經無印有真言 呪末有增
加之句云

三昧云小呪亦印八葉蓮花 或云智拳印

法性熾盛記云圓滿器印云

念誦以珠 當額佛部 面蓮部 胸金部

或記云最後五供前誦不動呪二百返

計云

讚四智 後加持 不動呪

沙羅樹王事

長宴云熾盛光者沙羅樹王漢語歟即於

沙羅樹王所聞熾盛佛頂法門功德也即

娑羅樹王佛頂也云

經云我從過去無量劫中沙羅樹王佛所

聞此妙法我今說之云

又云爾時釋迦佛告諸天等今我說過

去沙羅樹王如來真言除災難法 云云別經
軌等同之

法性記云沙羅樹王佛爲熾盛光 云云中言
集同

之東

私云。經初我者文殊歟。故沙羅樹王即釋迦佛也。別本經印言。沙羅言見先德煩之。存異義深義有之歟。

皇慶云。今所授熾盛光軌始終文殊說也。經說異說也。釋迦亦於彼佛所必聞之。給故不可和會之云。

光曜事

安軌意。毛孔流光云。謂流熾盛光焰故云。

此尊掌教令日月星宿等光曜天等故放熾盛光明教令彼等。攝伏彼等云。

軌顯教令法論者。教令諸天作扇底迦曼茶羅法云。日月星宿等事。大集經。日。月。星。宿。等。事。見。云。

壇事

軌云。若為國王應須大作地壇。或十六肘二十四肘上至二十八肘。其數不同。凡庶之人恐王者生疑。構於紙上書一切諸天名字。帖於諸尊之下。令彼斷疑而生正信。

座事

悉經下云。隨部法取乳樹木用作床座云。

疏六云。用作床座者。謂卑。脚。牀。子。云。

法花軌云。卑。脚。牀。子。去地半寸。以淨茅薦用敷其上云。

相應物。白牛。瞿摩夷。白茅云。

曼茶羅事

大原云。曼茶羅。如軌說圖之。敷壇上。供養持念云。

又云。熾盛光修之時。不懸彼曼陀羅。祕故也。故大師曼茶羅納藏不出給也。或一忿怒尊也。若本尊。謂不動尊也。若餘忿怒尊也。若本尊佛頂一像等也。次曼茶羅不可顯露也。云字者。即熾盛佛頂也。一字頂故也。故種子字書法曼茶羅意也。後畫佛頂大曼陀羅現也。云字金手種為觀音種為若互違歟。

儀軌云。若欲將隨身遠行。即於白縹上或絹素上。綵色圖畫。或方一肘或二肘或大者不過三肘四肘。隨己力分畫七十餘尊佛及菩薩諸天形像。亦通從輪心中平仰畫一八葉白蓮花。及花心中。金或銀畫一金輪佛頂。一字陀羅尼字。呼喚合長聲。字後先畫熾盛光佛頂。身諸毛孔放大光明。當佛前相對隔真言字。當畫佛眼部母菩薩。紅蓮色。持標幟印契。佛右畫文殊菩薩。赤金色。佛左金剛手菩薩。白紅色。半跏坐。文殊右不思議童子菩薩。文殊左救護惠菩薩。金剛手右毘俱胝菩薩。於金剛手左邊畫觀自在菩薩。如前八大尊。各有色相標幟印契。顏貌以偈誦曰。熾盛佛相首冠五佛。相二手。如釋迦。文殊首戴五智髻。左青蓮。上立智杵。右惠劍。半跏坐蓮。佛眼。紅蓮色。左持眼契。右作如來拳。金剛手。身白紅。右蓮。上立五智左執鈴契。不思議貌。赤金色。二手內合拳。救護惠身如白蓮。二手印略之。

毘俱胝。白王色。定執未敷蓮。惠無畏。後二

定惠手定念珠。惠執軍持。如意輪。左掌摩尼珠。惠施願印。身白紅色。住大蓮花。諸天口云。本尊前觀佛眼。字道時本尊口入佛眼口。自佛眼口入行者故本尊前必安佛眼云。

長久四年正月二十八日於持明院熾盛光護摩被修之表白詞云。建立扇底迦羅火壇云。

延德二年戊戌九月三十日於高雄神護寺地藏院書寫之。

明曆四年孟夏八日於勸修寺長史御所依嚴命染禿毫訖。訖佛誕生日迴向倍增。

延寶八年十月十七日。以右本令勝寫。佛子 榮佐。

訖再落手書歡幸云。榮佐。

一交了

榮佐

覺禪鈔 尊勝上

尊勝法

名號

(裏書一八六)

經云。名淨除一切惡道。亦名能除一切業障。障破一切穢惡道苦云。

日照本云。名最勝佛頂陀羅尼淨除業障。呪經云。

義淨經云。名淨除一切惡道佛頂尊勝陀羅尼云。

大日經疏十云。一切佛頂調十方刹土微塵數佛之頂。是尊勝之義。最在身上的。

即是十八佛不共法之別名云。

尊勝義記上云。法崇初稱佛號。先標兩足之雄名。次說頂言。方敘一身之資相。教體彌高。立稱彰教體之彌高。勝以至妙受名。

表佛心之至妙。陀羅尼者梵語也。此翻總持云。

又云。釋經題目。有其三種。一名佛頂尊勝陀羅尼。二名延命。三名吉祥。言佛者大覺號。故名爲佛。頂者一身之勝立。故名頂尊。

者三世如來所共尊。故勝者二乘所不及。故云。

已上法務抄有之。

或云。尊勝者。最尊上義。頂上密號也。

三井大阿闍梨尊勝祕記云。大日即尊勝佛頂也。應數佛之頂也。頂即尊勝義也。畫像作法。

軌上云。從先須畫像壇法。如法畫之如文曼荼羅。八佛頂。(裏書一八七)

如上軌上卷交合了少。示異。所畫絹卷等至依如上圖云。

結法界印。注云。上文云。用大日法界印云。山云。皆掌印也。

廣生佛頂輪王。左手持縛折羅。右手揚掌云。

光聚佛頂輪王。右邊圓明中云。遂必可書入

軌意皆座白蓮。持白蓮花。最勝尊勝本文也。

法界印事。問。說大日像云。手結法界印云。彼何印耶。答。上五智品云。第五品用大日法界印。加持五處。即成具五分法身具。萬德之身。其印相。以權智各作金剛拳。智手執權風幢。加持五處。便住當心上云。法界印。智拳印也。

廣生佛頂像不同。問。世流布曼荼羅像。出廣生佛頂。或左執縛日羅。右揚掌。或右執縛日羅。左揚掌。如何。答。儀軌兩本不同。已今惠運本印。左執縛日羅。右揚掌。圓行宗。教本。左右翻之。仍有不同云。

二明王左右事。軌上云。下左邊畫降三世尊。○右邊○畫無動尊云。餘文如上。

儀軌或本畫圖。左不動。云。但件文左降三世。圖右降三世也。

或傳云。彼曼荼羅。不動。降三世。二尊左右不定也。或云。佛左右。或云。行者左右云。

又義釋中有此義。故左右無失云。

私云。左畫不動。無其謂。八大佛頂大日左右決定說之。二明王左右又可依之。何相違哉。御說已上法務。

寶波羅蜜事。軌下云。曼荼羅品。四角。香波羅蜜。寶波羅蜜。花波羅蜜。塗香波羅蜜云。

私問。寶波羅蜜者何乎。或傳云。寶者燈也。即摩尼燈故也云。已上法務。

善住滅罪相畫曼荼羅。軌下云。○其第二院。直東。釋迦牟尼如來結跏趺坐。作說法相。座下左右。天帝釋并善住。天千合掌恭敬。兩膝著地。瞻仰如來。請問世尊。云何除災。云何延壽。云何去七返畜生之身。如是請已。爾時世尊慈悲。愍念。便入除障三摩地。從如來頂上。發生慈耶三摩地。狀若輪王之像。白色首戴五佛手執金剛鉤。時十方世界六種振動。十方世界一切地獄七趣衆生。應墮惡道者。皆悉滅除。○便得生天。及以十方清淨國土。爲此善住天子七返惡道之身。一時消滅。是故號爲除障佛頂輪王。云。文甚廣見之。

或抄云。同軌云。七趣衆生。應墮惡道者。其七趣何。答。善住應七畜趣也。所謂猪狗野狂。獼猴。蟒蛇。鳧鷖等身云。當受七返

三三

覺禪鈔卷第十三(尊勝上)

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

三三

圖像 四八

勸行門

通五種法

師傳云。息災又增益修○云。

勸請集同之

傳受集一云。儀軌說增益云。

金寶抄云。一卷軌云。本尊之像安東壁云。

增益也。雖然又行息災也。又除病滅罪云。

興師云。爲亡者尤可修鈎召。懺說也云。

行者沐浴

一卷軌云。念誦人應淨沐浴法。如蘇悉地

中說。或以法沐浴。觀法實相。以爲澡浴。或

以在家出家護持大律儀。或無所毀犯。以

爲澡浴云。

行人座

又云。於壇前安庫脚床子。去地半寸。或茅

草薦。或籍以淨物。念誦者坐之云。

或師云。庫脚床子者。繩床也云。

時限多少

又云。每日入道場念誦。定其時限。或二時。

謂早朝黃昏。或三時。加午時。或四時。依瑜

伽加中夜云。

十五日行法

經云。波利佛告四天王。○受持此陀羅尼

法。亦爲短命諸衆生說。白月圓滿十五日

時。持齋誦陀羅尼。滿千返。令短命衆生得

增壽。永離病苦。業障悉消滅。一切地獄諸

苦。永得解脫云。

經云。日照後。若有一切苦難衆生。罪極重

者。○於白月十五日。洗浴著淨衣。受八戒

齋。於菩薩像前。正心。右跪誦此陀羅尼。呪

滿一千八返。○業障悉消滅。得總持。○門

云。

又云。若人生來。具造十惡五逆四重根本

等罪。○必定當墮阿鼻地獄。○若墮畜生

類。修羅惡道。無救護。當白月十五日。有菩

薩像前。以金銀器。可受一升。盛好淨水。安

場內。受菩薩戒。於壇西畔。面向像。燒香

禮拜。右跪至誠。誦此陀羅尼。呪滿一千八

返。不得間斷。是水散四方上下。令一切得

清淨。惡業。○得解脫。一切罪報悉消滅。闍

羅放赦。伺命歡喜。若誓其報。生諸佛國云。

又云。若欲作此曼荼羅法者。於白月十五

日。以香水黃土。羅摩夷。作塗壇。方圓四

肘。爲量。梭伽五色。周匝三重。於壇四邊。作

一重眷屬。梭伽以白色。規界。於壇中。畫散

諸花。以四瓶水。安壇四角。畫蓮花上。其水

瓶。悉齊量。不得大小。持舍利瓶。和盛牛黃

中蓮花上。恭敬安置。又壇中。散種種。花。焚

種。香。龍腦。蘇合。沈水。等香。燃種種。燈。蘇

燈。油。燈。及以香。燈。獻種種。食。梗米。乳酪。蘇

油。石蜜。蒲桃。石榴。二種之漿。七寶器盛奉

於壇內。行人持菩薩戒律。清淨。齋。三白食。

著新淨服。於壇西畔。合掌。右跪。心祈。念作

佛護身印。作佛心。慕陀羅尼法。誦此最勝

佛頂陀羅尼。呪一千八返。一切惡業。十惡

等。悉皆消滅。當得阿耨○菩提。諸佛菩薩

親摩其頂。授菩薩記云。此文具餘詳

經云。若欲受持。當淨洗浴。著新淨衣。

始從白月一日。乃至圓滿十五日。時齋戒

一心誦陀羅尼。滿其千遍。令短命者。命還

增續。永離病苦。一切業障。悉能消滅。一切

地獄之苦云。

私云。舊譯者。白月十五日始之。義淨經

者。白月一日始之。至于十五日也。

一卷軌云。若於本教尊勝陀羅尼經。每於

白月十五日。除滅業障。增福延命。要期誦

一千返。證出世三摩地。得不忘陀羅尼云。

二卷軌上云。本尊真言品。復次我今略說修

尊勝真言法。每月十五日。自觀本尊心。誦

或遣人誦滿一千八返。能除一切災殃。長

壽增福。或每日三時。觀本尊心上圓明中。

或觀己身爲本尊。於心上圓明中云。

十五日行人食

經云。其日一日一夜不食爲上。或食三白

食。所謂乳酪梗米飯。或粥爲中。或如常齋

食爲下。身著淨衣服。心應虔誠。淨信心不

猶豫云。

王子誕生先跡

清和天皇降誕事

李部王記云。天慶七年十二月十八日。詣

大相府問云。病之次。謁右大臣。語及古事。

大臣云。故蓮丹律師傳說云。忠仁公奉染

殿太后于文德天皇之後。久無娠。大臣患

之。話真雅僧正令祈之。依尊勝法修之。清



圖像 No. 48. 尊勝佛頂曼荼羅(其一)(釋迦文院本)

和天皇誕生。仍貞觀之間。敬重彌深。於是
創建貞觀寺云、

祕法由

法務御口云。尊勝法并法花法是兩部通
法也。凡究竟祕法。皆大日爲本尊云、此
宗尊勝法花最極祕法也。有通告最祕也。後
視聽抄法務尊勝法者。世間所傳習後入
唐二卷軌之說也。大師說付一卷軌。曼荼
羅祕說等有之。故僧正勝、被傳受。又受
之云、

已上聖賢闡梨申之

法務仰云。此說可信哉

請書

頃者天變。荐呈地祇。又示爲消其微祥。自
來十五日。可被始行尊勝御修法也。尤可
有御用意。寶位無搖。玉膳如例之由。能、
可令祈請給。宜抽無貳之精誠。早獲未兆
之災孽也。者。依關白殿御氣色。執達如件

建久三年十月 日 左中辨某

請文

謹請

御祈禱事

右天變示上地震呈下。專抽懇誠於一心。
盡蒙冥助於三寶候哉。仍自來十五日。可
勤行尊勝法兼又玉膳如例。聖體泰平之
由。同抽信力。可仰誓願候也。以此旨可令
披露給也。恐、謹言

建久三年十月 日 某

支度

法務二條鳥丸御所。自二月四日。七箇日修之。
十一日。結願奉行。右兵衛督願頓云、

尊勝御修法支度事

合

蘇蜜 名香沈

五寶 金、銀、琉璃、琥珀、真珠

五香 黑沈、白檀、安息、薰陸、丁子

五藥 檳榔子、訶梨勒、桂心、人參、伏苓

五穀 稻穀、大麥、小麥、菉豆、胡麻

壇一面 在壇桶 脇机二前

燈臺四本 禮盤一脚 在半疊

壇敷布一段 大幕一帖 已上如常

壇供并御明 自餘雜具等 已上如常

阿闍梨 伴僧六口

承仕二人 駝仕四人

見丁二人 淨衣 白色 類聚抄黃色云、

右注進如件

長承二年二月三日 權律師宣信

堂莊嚴

一卷軌云。道場四邊。晨朝奉獻乳糜。齋時
獻酪飯并脆食。及以諸漿。莫諸菓子。四門
安四香爐。四隅安四淨瓶。盛香水。插花。或
青葉樹枝。以爲供養。四角燃四盞蘇燈。道
場前於念誦者座前。安置闍伽香兩碗。所
盛供養。取金銀熟銅瓷器。或新瓦器螺盃。
或新淨葉云、

壇圖

開白佛供十六杯 小八
汁八杯 菓子十六杯 已上每日、
中此定也、

後夜粥八杯 初夜無供物

檀木三十六長 風絲

乳木二束 長一云百八 一云二十一

加持物

藥種 花橘

自餘供物如常



行法付金剛界

表白 法務筆

尊勝陀羅尼者。三密教中。威德獨勝。八大
佛頂。內利益尙超。依之須臾。聽聞除千劫
之障。利那頂戴。消三世之業。諸佛護持。增
無量福德。大神侍衛。却一切厄怪。轉決定
之業報。得長遠之壽命。故善住天子之延
壽。振感應於天上。佛馱波利之傳。弘功
能於人中。爰以太上法皇。深憑効驗。久致
薰修。佛語無疑。必持百年之寶算。呪力不
空。早滿無邊之御願

又云。今此陀羅尼者。功德超三乘賢聖。威
力勝諸大佛頂。集功德殊勝。名尊勝佛頂。



五
天



圖像 No. 50. 尊勝佛頂曼荼羅(共三)(釋迦文院本)

最勝佛頂真言二千一百返

光聚佛頂真言二千一百返

勝佛頂真言二千一百返

廣生佛頂真言二千一百返

無邊聲佛頂真言二千一百返

發生佛頂真言二千一百返

不動真言二千一百返

一字金輪真言一萬三千返

右奉爲 太上天皇御息災安穩增長寶

壽御願圓滿始自今月四日至于今日并

一七箇日夜之間率六口伴侶殊致精誠

奉修如右

長承二年二月三日

阿闍梨權律師寬信

今法用本尊頗有異說

傳受集二云房說本尊辦事佛頂真言

恒洛呼發吒曳莎賀

俊寬闍梨云尊勝法以光聚佛頂爲本尊

以之爲秘事云三寶教

私云上說可指南乎如何

類聚抄云故良雅闍梨修此法之時以金

剛波羅蜜爲本尊云

大原口決云同不空尊勝軌以金剛波羅

蜜爲成用身心何答未詳但是彼軌意

爲依兩界意故金剛意耳例如無畏軌依

兩界意也但金剛波羅蜜是金剛部母也

今佛頂尊勝是佛部尊也此意未和會之

耳可尋以金剛母尊有爲佛部尊耶大師上綱說別

亮惠云尊勝摧毀除障降魔名故以摧破

之義金剛波羅蜜爲母也

俊寬云權僧正被授故靜闍梨云可爲部

主歟何爲本尊哉云

又云尊勝法兩部合行法也祖師法務御

口傳明

實任云二卷軌中台金剛界大日八大佛

頂胎藏部尊也又二大明王同意也不動

淨菩提心體仍處三角月輪火焰直也降

三世淨菩提心用仍處半月輪風形之月

輪以風爲發火用也

亮惠云此法理智冥合法也大日金剛手

觀自在表三部胎藏也加除蓋障虛空藏

爲五部是金剛界也又爲金剛波羅蜜爲

母是金剛界也云母即金剛界也本尊即胎藏大日也云亮惠

實任云尊勝本誓前樂人今果報既盡衰

損如本令在給云

亮惠辭見云大日如來攝一切佛頂也而

人除障三摩地摧一切蓋障故入金剛部

門依之以金剛波羅蜜爲母是息災也又

降伏也又增益也此法以增益爲本依天

帝釋王請問如來說此陀羅尼延善住天

子短命摧七返畜生業也抑命根於生有

初一剎那第八識新薰種假立之而轉有

漏第八識成大圓鏡智此智即金剛部門

也故爲延命用金剛部母也尊勝佛頂入

甘露瓶三摩地母入金剛智三摩地故益

壽滅障也

結願作法

先卷數案一通佛布施一裘儲置左脇机

苦卷數一通付枝本尊左立之行法如例

但五悔以前不神分等後供養燒香

次供佛布施次闍伽

次取念珠金二打次事由

嘉祿二年戊戌三月二十六日中時書了

元文五年庚申九月十五日遂修復了

淨土院權僧正賢賀生五十七年

表書 一八六

除業佛頂疏云除障佛頂云

疏五云第五微古羅拏譯云捨頂是

棄捨一切煩惱義亦是摧碎義也云

表書 一八七

又引了

善無畏軌云中心大圓更分爲五圓

四隅半月輪每圓畫九尊其半圓輪

畫六尊大圓四面畫八瓶四輪十六

繞大圓其柱等皆纏綿其中台畫大

圓明々々中又分爲九圓每輪中

處分爲九圓其圓畫九聖者中心圓

中畫毘盧舍那如來四面尊勝等四

頂輪王四隅波羅蜜菩薩四半月

心各畫四大頂輪王各畫四供養波

羅蜜等

普通遠故書之

圖像 四九

八大佛頂、八菩薩、八大明王略頌
小野僧正略頌也。如常但極光地藏

無能勝

私云一卷軌八大菩薩此土之利益

殊勝歟

大妙經即却身變還成菩薩文可思

地畫曼荼羅八大菩薩

一卷軌云

復即於山間空閑處

至四面懸幡也○法務云私云是座

曼荼羅

法務問云陀羅尼像如何金寶抄陀

羅尼形者五輪塔也

秘說也云

地畫不可懸不可用一證據也

大菩薩不可事也

○

須陀會天事

二卷軌云畫須陀會童子半身滿五

色雲中云

別佛之乾闥婆兒名容貌端正狀如

菩薩云

寶雲經云有須陀會說之以魔醯

首陀爲上首云

須陀者淨義也聖者皆生五淨居

天蒙佛恩佛親近隨佛爲化度化

萬行也

已上寶深

○ 中尊法界定印事

石山道場觀之中台大日結法界定
印云

傳受集三同之

或說現圖八大佛頂不可中尊法

界定印也

○

八大菩薩不可以古本圖之但高

野之古本方也又與師同九尊座位

方也又聖賢圖圓也此不可儀軌

奧旨也



西五月

乙上

俊寬云小野僧正御傳云聖賢說

寬祐云一卷軌無二明王以口傳圖

之

私云觀音大日右也軌說頗違歟

可尋已上

大日經疏五云釋迦佛頂所第二尊

耶譯亦爲勝頂云

法務此令引

尊勝不可

三井本 不動如常
智拳印 降三世
五月輪 御本云
石五古

圖像 五〇

種子不可傳受集三云藥王寺御本云

圖像 五一

圖像 六

圖像 七

金寶抄云一二等次第依二卷軌注
之小野僧正最勝爲始廣生爲後是
從右方順迴次第歟 內供說注之
本說可尋云

圖像 五二

圖像 八

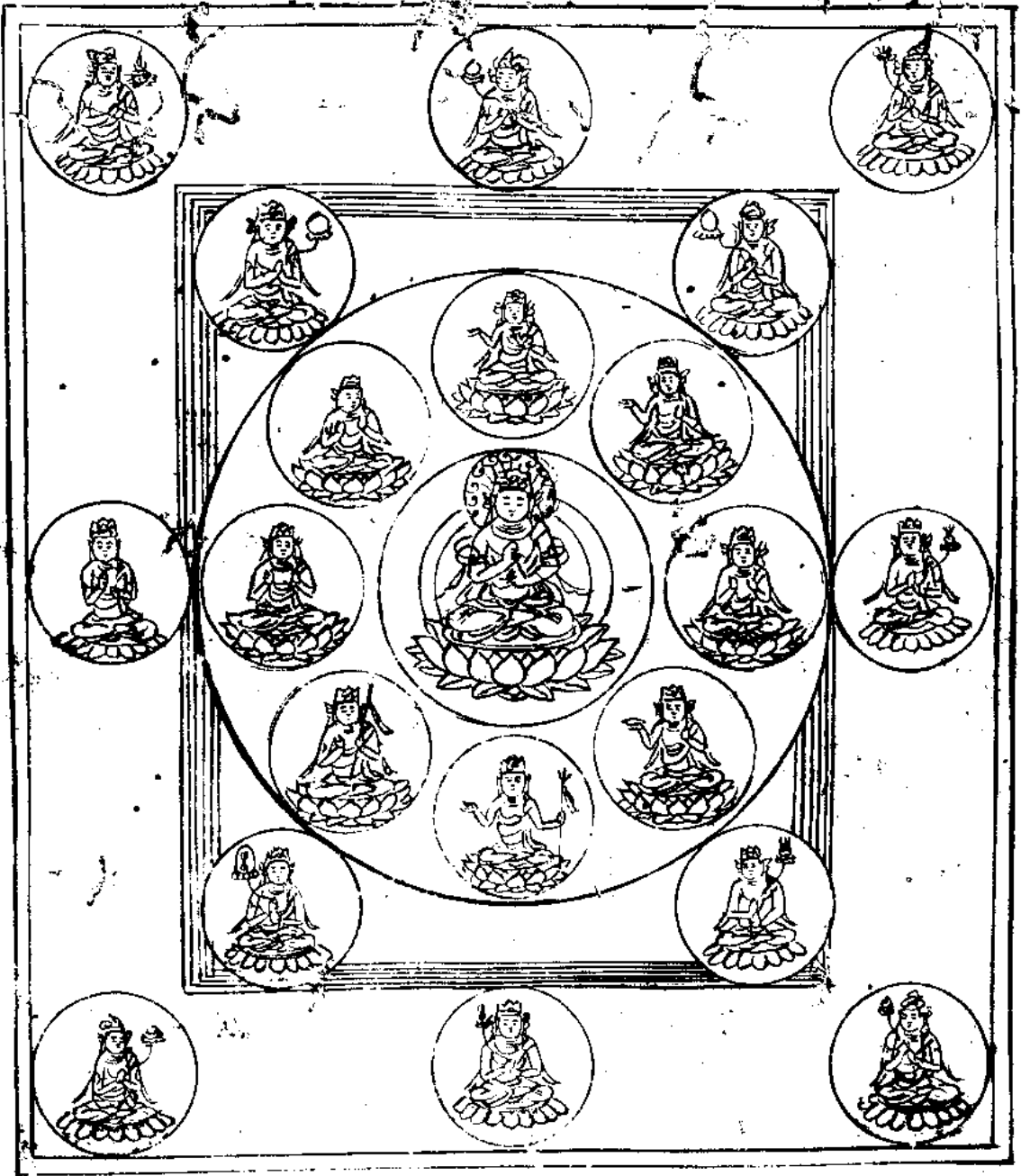
一八八

受用變化證據

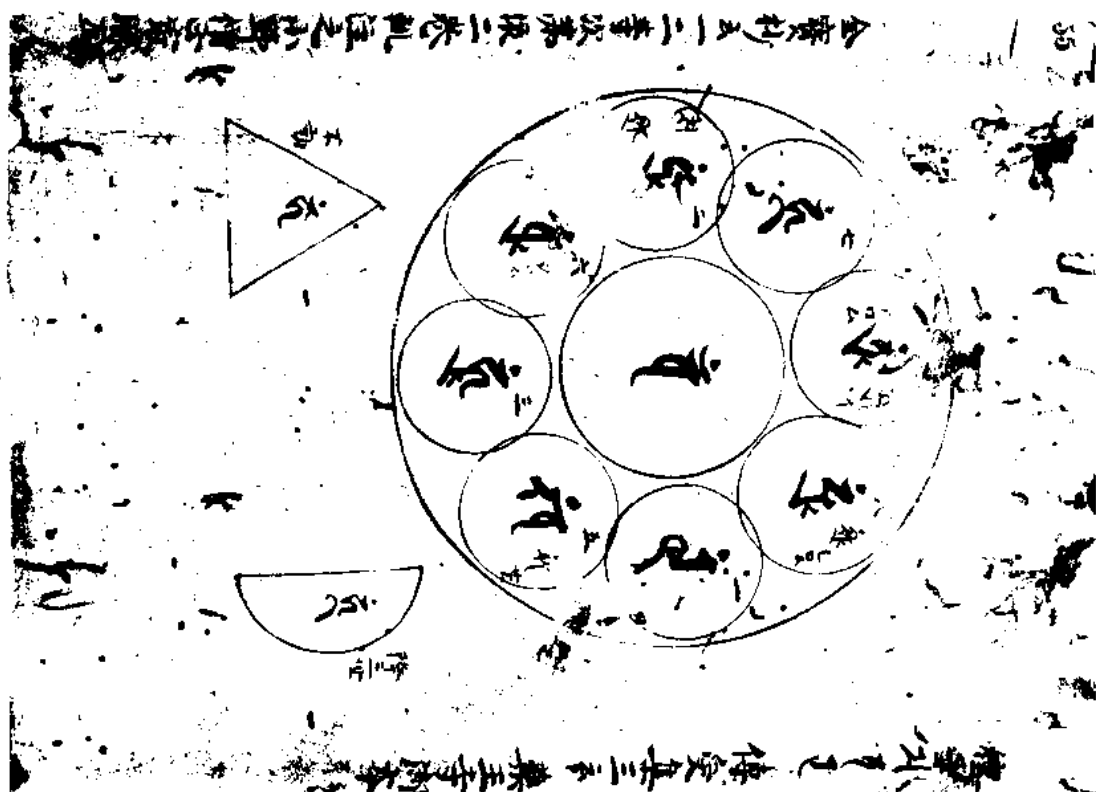
或云依大妙甘露經說大日如來名

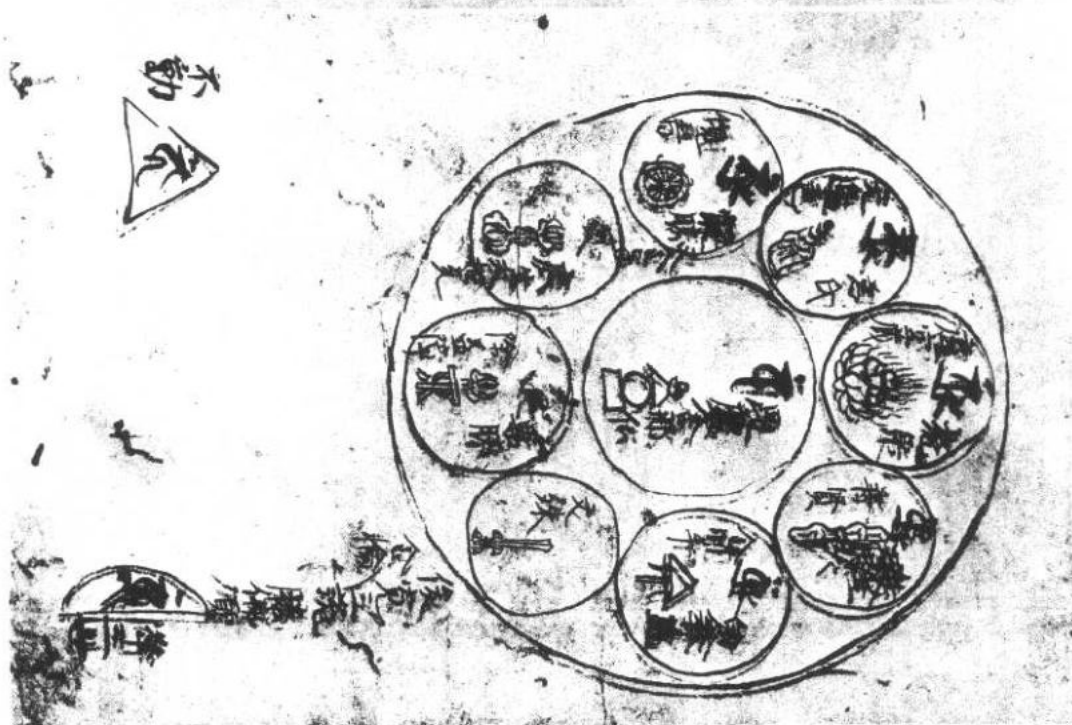
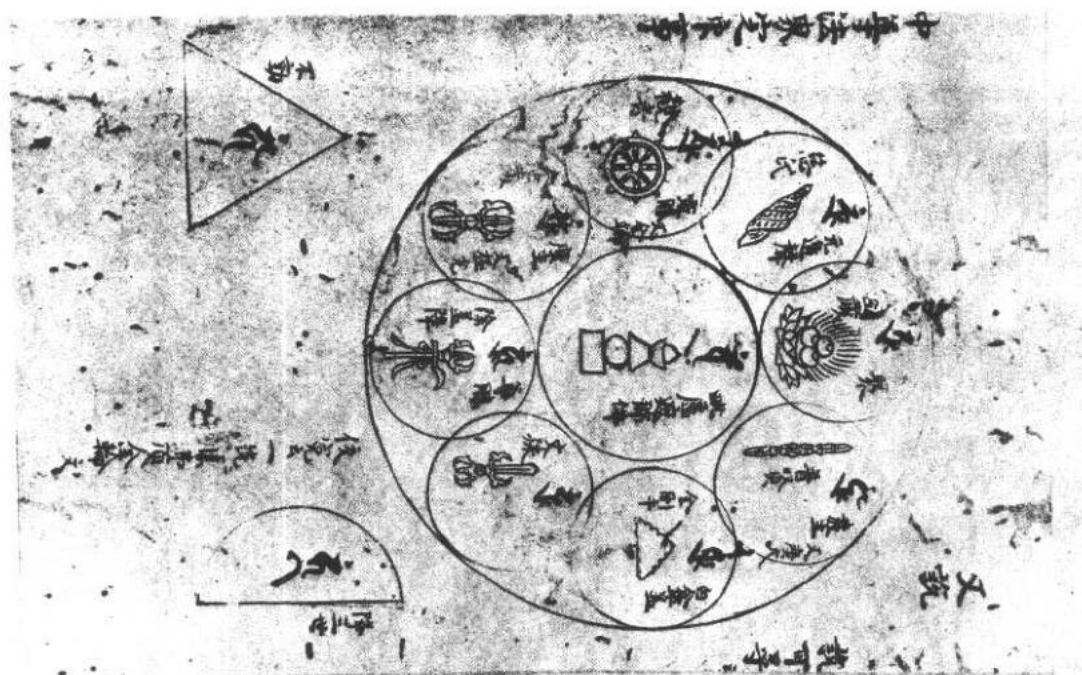
攝一切佛頂云

又云瑜祇經云一切佛頂最上遍尊



圖像 No. 49. 尊勝佛頂曼荼羅(其二) (釋迦文院本)





圖像 No. 52. 尊勝佛頂曼荼羅(共五) 參考圖像 No. 8. 尊勝佛頂曼荼羅(釋迦文院本) cf. No. 52.

王文

受用身攝一切佛頂也

以之案之。以大日名尊勝。或名金輪。名餘佛頂也

奇特經云。釋迦○如來入攝一切佛頂能摧一切魔三摩地。文化身攝一切佛頂證也

檜尾井貞觀寺口傳云。轉受用身大日金輪可入化身金輪三摩地云云

私云。有受用變化二身金輪。尊勝尤可有受用變化二身也

亮惠云。智水種子也。能洗衆生蓋障故爲吉

一八九

五相成身

通達菩提心如常。次修菩提心如常。次成金剛心。如教誦眞言能令心月輪圓滿明顯。諸佛復告言。菩提爲堅固。復授心眞言。卽觀心月輪上有其變成率都婆。誦眞言曰

唵チシユタ沒駄

次廣金剛

想淨月輪上塔漸舒漸大遍滿小千界中。大。乃至法界。利益安樂一切有情。眞言曰

唵ソハラ沒駄

次斂金剛

想此塔漸斂漸小還收如故。誦眞言

曰

唵ソウカラ沒駄

次證金剛身

應當知自身法界塔婆也。卽遍法界諸佛入自身蓮花。如鏡現萬像。誦眞言曰

唵ハサラ合沒駄但摩合二句含引

次佛身圓滿

自身爲塔。清淨無染著。復白諸佛言。我爲蓮花身。時彼諸如來。便勅行者言。觀身爲本尊。復授此眞言。如是觀已。誦眞言曰

唵野他薩縛但他引識多薩但合二他含

正念 顯果

唵阿彌哩都トハヘイ莎賀出勝佛頂軌

弘法大師在唐之日。惠果阿闍梨所授多羅葉大也。七佛及觀音梵號載于此中。異他梵本也。有陀羅尼末。那智證源持經者所持本有此事。爲後寫之

口傳云。此法不觀器界。唯法界宮中可觀圓明見軌云云

軌云。五大所成法界宮中有大圓明月輪云云

類聚抄云。可觀儀軌上云曼荼羅。理趣房次第別有云云

種子

疏十云。訶林。訶是行。囉是垢。卽是三昧。點是大空。此是除障佛頂云云。鈎印證文

經四云。如前鈎印。惠手爲拳。舉其風輪而少屈之。是除業佛頂印云云

疏十三云。除業佛頂如前鈎印卽是。謂作向內相又合掌。而屈右手風指。令如鈎形。二空亦右絞壓左。令單手卽右手爲拳。豎風指稍屈上節

廣軌云。惠手風輪鈎之云云

問。如本文者。金輪印也。何爲尊勝印云云。答

大原說

尊勝根本印。大鈎召印用之。但軌文印似無所不至印。先師如無所不至印。下二風甲頗屈殆合甲也

又三悉地印明加結之。爲勝破地獄法中三悉地眞言卽是。爲尊勝小呪也。先師說云。隨一誦之。謂阿尾羅吽欠可也

容靜供奉說。平好闍梨受云。謂三呪ツ、ケテ誦之云云

悉地印。或軌中印爲根本印。但此印普通佛頂印也。鈎印猶佳矣。護摩投供之時。或誦訶林呪。或誦阿尾羅吽欠云云。非灌頂人勿謂示之

後日開院供奉說。結無所不至印。誦尊勝陀羅尼七返。是根本印明

也。丹州說也云。

亮惠云。瓶印三摩耶印也。

實任云。軌印出大佛頂經七卷。在口。

金剛鎖菩薩之印也。如台。

或說。勝身印真言事。

庵僕欠。

金剛合掌以中指為蓮形。以二頭指

各中指背副之。密印也。

金剛界對受記七云。

又有勝身三摩耶印。圓行阿闍梨

稟惠果阿闍梨以為傳法極密契也。

一字軌云。次結頂輪王勝身三昧耶

印。心額喉頂其印如前作。堅金剛合

掌。即竝堅中指。由如青蓮花。屈頭指

各安中指背上節。○常誦此密語。

庵僕欠云。

真言。義記下出。

佛頂尊勝大心真言。

庵阿密里多鉢羅薩微布攏薩陸鉢

羅菩提婆咩悉提摩訶薩陸觀嚕。

娑縛賀。

尊勝小心真言曰。

庵阿密哩多諦惹縛底娑縛賀。

尊勝心中真言曰。

庵薩婆悉底鷄輪陀羅尼莎賀。

已上三種真言出義記之云。

增益鈎召印。

勝範傳用增益印。

軌下云。喻伽五智蓋。兩手內叉合掌為。

拳曲勾右風輪。即加持五處。增益時

用。或左手作攝召時用云。

息災降伏印。

勝範說。除災降伏共用之。

又云。又注中所說。以兩手合掌。以右

手大指押左大指上。除災時用。若降

伏念誦時。以左押右即是云。

又印。

又云。本尊真言印相者。以左右二手

無名指及二小指又入掌。右押左。二

中直豎頭相著。二大指竝屈押二無

名中節側文。以二頭指當中指側中

節屈相拄云。或本此文無。

大原口決云。問。尊勝上卷。根本大呪

後有印明。是何耶。答。此又根本印明

也。如文云。

其印從觀教僧都御弟子利慶君受

之。其印佛頂印耳云。

此傳三形瓶印也。

實任云。我心月輪上。有種子三昧耶

形。為本尊。我同本尊。總諸尊同

成一體也。最秘。

又印。

金剛合掌。以中指為蓮葉形。以二頭

指各中指背副也。

又印。

勝佛頂軌云。尊勝印法。屈其頭指以

大母指押合掌當心。頭指屈入掌中。

以大母指押中節上。合掌即成。最勝

真言。心中心通一切念誦長受持用

身印。明日。

錢莫三曼多勃駄南庵卓。下反。魯合

併泮吒云。

又印。三密。

日照云。二手合掌以右大指押左大

指。除災若調伏時以左押右。云。已上。僕寬二

守護經二云。應以右手作金剛拳。

當心握於左手頭指。此名能與無

上菩提最尊勝印。即是大師毘盧

舍那如來云。

亮惠。

五古印。

或用五古印。陀羅尼。願采。

軌上云。五古印形如五古金剛。

以此一印通用五智。後乃用大日法

界印。加持五處。○己身為毘盧舍那

如來之身云。

庵度嚕咩。二。三泮吒。四。

金寶抄云。外五古印用歸命。

我。三。悉地。三寶院權僧正傳秘說也。

三悉地真言。

尊勝破地獄軌云。由此當知。尊勝頂

者。即是毘盧舍那如來身。是三部佛

頂身。

下品悉地。我。三。可。是名出悉地。

中品悉地。我。三。何。是名人悉地。

上品悉地。我。三。何。是名秘密悉

地。亦名成就悉地。亦名蘇悉地。

後夜發願句 金寶抄

至心發願	唯願大日	本尊聖者
尊勝佛頂	八大佛頂	諸大轉輪
兩部界會	諸尊聖衆	外金剛部
護法天等	還念本誓	降臨壇場
所設妙供	哀愍納受	護摩薰入
護持消除	增長恒受	無邊決定
殿內諸人	天下平等	

畫像作法 野山釋迦文院本補載之

軌上云 畫像 先須畫像 擇取吉善好同時 日辰朝起畫好月者正二三四五八十二 月等此爲最上好月其好日時者日月融 時地動時鬼宿日此爲上好勝日或取白 月十五日或二十三日等已擇取日月時 節喚畫師沐浴與三昧耶灌頂每出入洗 浴換衣食三日食不雜穢食等亦不還價 其畫物白疊或好細布絹等物中如法畫 之云

曼荼羅 八佛頂

又云其所畫絹疊等大小隨意中心畫大 圓明白色又大圓明內分爲九圓八方置 寶瓶於瓶口中插以花上置三股轉折羅 中心圓外四隅安四寶輪皆以轉折羅相 挂寶瓶及縛折羅腰綵帶垂之中圓畫毗 盧遮那如來頭戴五佛冠種々寶花光於 七師子上結跏趺坐手結法界印上文云

用大日法界印云 和云 左圓明中畫白 傘佛頂王頭戴五智冠左手執蓮花於蓮 花上安置白傘蓋右手揚掌半跏趺坐其 身光及頭光如五色車輪形右圓明中畫 最勝佛頂輪王頭戴五智冠種々莊嚴背 圓光及以通身光狀如車輪其種々色右 手持蓮花於蓮花上安八幅寶輪光焰圍 繞於蓮花上結跏趺坐左手揚掌中圓明 前畫尊勝佛頂亦名除障佛頂輪王於蓮 花臺上結跏趺坐白肉色兩手膝下如入 禪定掌中承蓮花上置金剛鉤上頂輪王 等種々光明五智冠等一依瑜伽圖皆於 白蓮花座結跏趺坐大日如來後圓明中畫 放光佛頂或名光聚佛頂輪王左手執蓮 花於花臺上畫佛頂印於佛頂上放光五 智寶冠光明等一如上說右手揚掌其尊 勝佛頂左邊圓明中畫勝佛頂左手執劍 右手揚掌五佛冠種々莊嚴光明等亦如 上說其尊勝佛頂右手畫廣生佛頂王左手 持轉日羅令右手揚掌五智寶冠輪光焰 環瑠等一依上諸尊等例光聚佛頂右圓 明中畫無邊聲佛頂王右手持蓮花於蓮 花臺上畫商伽左手當額房上揚掌五佛 冠輪光莊嚴等隨意種々莊嚴光聚右圓 明中畫發生佛頂王左手執開敷蓮花右 手安右膝上半跏趺坐輪光環瑠同如左 說皆大仁慈悲相下左邊畫降三世尊於 半月輪邪立走勢青色狗牙上出四手兩 手結三昧耶印右手結心印惠手執縛日

羅令右邊三角赤光中畫無動尊於盤石 上半跏趺坐一目怒目一目合暖下好一 邊反心赤髮交鎖垂下左邊身復肥滿如 童子形惠手執劍定手執索兩明王中間 修瑜伽者坐前安香爐其像上畫寶蓋兩 邊畫六箇乘雲首陀會天童子形半月踊 出各執花寶鬘等一依如上圖云 皆坐 白蓮云但白傘最勝尊勝本文體也

前畫尊勝佛頂亦名除障佛頂輪王於蓮 花臺上結跏趺坐白肉色兩手膝下如入 禪定掌中承蓮花上置金剛鉤上頂輪王 等種々光明五智冠等一依瑜伽圖皆於 白蓮花座結跏趺坐大日如來後圓明中畫 放光佛頂或名光聚佛頂輪王左手執蓮 花於花臺上畫佛頂印於佛頂上放光五 智寶冠光明等一如上說右手揚掌其尊 勝佛頂左邊圓明中畫勝佛頂左手執劍 右手揚掌五佛冠種々莊嚴光明等亦如 上說其尊勝佛頂右手畫廣生佛頂王左手 持轉日羅令右手揚掌五智寶冠輪光焰 環瑠等一依上諸尊等例光聚佛頂右圓 明中畫無邊聲佛頂王右手持蓮花於蓮 花臺上畫商伽左手當額房上揚掌五佛 冠輪光莊嚴等隨意種々莊嚴光聚右圓 明中畫發生佛頂王左手執開敷蓮花右 手安右膝上半跏趺坐輪光環瑠同如左 說皆大仁慈悲相下左邊畫降三世尊於 半月輪邪立走勢青色狗牙上出四手兩 手結三昧耶印右手結心印惠手執縛日

一卷軌云不空從即於山間閑處於淨室 畫本尊尊勝陀羅尼像安於東壁持誦者 以面對之其念誦處地掘深一肘半若地 中有瓦礫乃王飯等物除之若無還取 本土填滿策令平正土若有餘其地吉祥 又取罪摩夷和好土泥地面令平正又取 罪摩夷和水誦無能勝陀羅尼二十一遍 加持罪摩夷其無能勝真言日略之加持已 從東北隅起首右旋塗之塗已蜀葵葉或 蓮子草葉楷拭令其先淨於上取白粉和 水以繩分九位〇其九位者中央安毗盧 遮那位右邊安觀自在菩薩位觀自在後 安慈氏菩薩位毘盧遮那位後安虛空藏

菩薩位。此菩薩左邊安普賢菩薩位。毘盧遮那佛位左邊安金剛手菩薩位。金剛手菩薩下文殊師利菩薩位。文殊右邊安除蓋障位。除蓋障右邊安地藏菩薩位。是名九位。竝用白檀香塗之云。以為延請賢聖之位耳。上安張蓋。四面懸幡云。

法務云。私云。是座曼荼羅。修法支度。鳥羽正。

注進 尊勝御修法一七箇日支度事合

蘇蜜 名香 沈

五寶 金銀琉璃琥珀真珠

五香 沈香白檀丁香鬱金麝香

五藥 人參茯苓甘草桂心石菖蒲

五穀 如常

壇供米八石 御明油一斗五合

壇敷布一段 佛供覆布二丈

阿闍梨一口 伴僧二口 承仕二人

斷使四人 見丁二人 淨衣 黃色

右依仰注進如件

康和二年三月四日

行事 大法師經禪 範俊僧都

供支度 勸修寺

注進 尊勝供七箇日略支度

合

蘇蜜 名香 白檀

壇一面 三尺五寸 脇机一前

燈臺二本 半疊一枚

壇供米三石五斗 御明油三升五合
阿闍梨 承仕一人 斷仕一人
淨衣 黃色

右注進如件

大治元年五月二十二日 寬信

尊勝陀羅尼供養表白

書寫尊勝陀羅尼。々々々々遍擇良辰恭

敬供養事。御願大意者。劫厄增命偏出經

教護國利人。只任佛力。爰佛頂尊勝陀羅

尼者。三部諸尊頂中之祕術。十方大聖掌

內之妙藥。靈驗無疑。感應速疾也。依之太

上法皇為一年之御勤課百千人之結緣。

當三春之迎來。寫數萬遍之總持。三槐九

棘合掌恭敬。尊卑男女低頭書寫。則莊嚴

院內。設三密之供養。祈請佛界。到諸僧之

懇誠。年序久積。薰修難量。實此陀羅尼者。

須臾聽聞。除千劫罪障。書寫呪返算數不

及。御願圓滿。豈有邊際乎。加之如來親見。

其人。天神擁護。其家云。射山安穩。久持

千秋之玉。卒土豐饒。遙為萬民之快樂。佛

語非虛。決定何疑耶。一々御願各々成就。

三寶境界。垂知見矣。

供卷數

大治年中。為國母二七箇日被行卷數有別。又天養二年。為禪定女院五十日修之。載八佛頂呪。

尊勝供所

奉供 供養法四十二箇度

奉念

佛眼真言四千二百遍

大日真言四千二百遍
尊勝陀羅尼一千五百遍
同小呪四萬二千遍

延命真言四千二百遍

不動真言四千二百遍

一字金輪真言四千二百遍

右奉為 禪定仙院消除御惱寶壽長遠

恒受快樂。御願圓滿。始自今月十一日至

于今日。并二七箇日夜之間。殊致精誠。奉

修如右

久安元年十二月

日 大法師寬信

尊勝御念誦所

奉供 供養法一箇度

奉念

佛眼真言一百遍

大日真言一百遍

尊勝陀羅尼一百遍

降三世真言一百反 （即本延命云）

一字金輪真言一百反

右奉為 大施主殿下御息災安穩增長

福壽。御願圓滿。五口大法師等殊致精誠

奉念如右

保安三年九月十五日

行事宗照

御念誦所 或勸修寺

奉念

尊勝陀羅尼二千返

右奉爲 太上法皇御滅罪生善御願圓
滿始自今日并七箇日夜之間五十口大
法師等異口同音殊致精誠奉念如件
康治二年五月二十一日

寫本云

建久七年五月十七日於觀音寺草菴
撰集了後見人無嘲

佛子覺禪生十四年

元久二年六月七日於理趣院學窓以
草本之書寫了 此尊多歲爲本尊也
雖然其與旨甚暗今向此抄如向日光
頗冥助也尤可自愛

末學貞玄

寬元三年正月八日於法花山寺興慈
院書寫了 金剛佛子賴賢

于時正應三年九月十一日於釋迦文
院書寫了

德治二年三月十六日於利生護國寺
以釋迦文院之本書寫之畢

同十九日點交了 同卯月三日一見
交合了 金剛末資禪覺

元亨三年正月十二日於海龍王寺書
寫了 同年十二月六日爲興隆密教

利益含識二校畢

金剛末資了性四十六歲
二十四夏

覺禪鈔 尊勝下

本經等 梵本事

苦薩不知 頂除煩惱

近悉地 三悉地

善住先世 同命盡

同延壽 末世益

國王供養 除疫病

除惡鬼 除逆賊

結嫁娶 和夫婦

得福智 離惡趣

烏利益 生極樂

得苦薩 行人同本尊

凡夫微善 焰王護行者

葬禮 免諸苦

雪山陀羅尼 七夢

裏書 具書事

尊勝法

本經等

佛頂尊勝陀羅尼經一帖

儀鳳四年正月五日 第一譯

佛頂尊勝陀羅尼經一帖

詞釋 唐云日照 第二譯

佛頂尊勝陀羅尼經一帖

第三譯

佛頂尊勝陀羅尼經一帖

義淨譯 大唐

注云加呪字 第五譯

最勝佛頂陀羅尼淨除業障經一帖

日照

諸佛說

滅罪相

遠年藥

同呪說

祈雨事

除諸病

得兒子

轉定業

一經耳益

生諸佛國

初發成覺

土砂

生天

成所作智等

尊勝祈雨

(藏書一九二)

杜行願譯

貞一圓覺

日照譯 貞一圓

中天竺三藏地婆

佛陀波利譯 貞圓

梵大唐國寶沙門

義淨譯 大唐

三藏 貞圓覺

再日照

第四譯

大佛頂尊勝陀羅尼經一卷 實又密多羅譯

尊勝菩薩所問一切諸法入無量門陀羅

尼經一卷 或直云尊勝菩薩所問經亦云入

佛頂尊勝念誦法一帖 羅念誦儀軌又一帖

真圓大行智慈安經字也

尊勝佛頂真言修瑜伽經一部二卷 靈應迴

安祥法云

經林除其言字儀軌云私三部六帖諸之二帖安二

卷靈二帖言無長也或喜字譯私云執上善無畏

弟子真無畏錄外悉指抄喜無畏

尊勝佛頂修瑜伽內別行成就三十四法

一卷 安祥

佛頂尊勝陀羅尼別行法一卷 龜茲國僧者

加句靈驗佛頂尊勝陀羅尼一帖 龜茲本錄加

佛頂尊勝陀羅尼一卷 慈錄外

佛頂尊勝陀羅尼一卷 加字具足本

注佛頂尊勝陀羅尼一卷 三字譯安祥

佛頂尊勝陀羅尼注義一卷 不空慈安

梵字佛頂尊勝真言傳一本 傳慈

梵字尊勝佛頂真言一卷 大師

梵字尊勝真言一本 慈藏林云一卷

梵字佛頂尊勝陀羅尼一卷 慈

梵字漢字佛頂尊勝陀羅尼一卷 慈

佛頂尊勝陀羅尼傳序一卷 大師

佛頂尊勝陀羅尼經珠林一卷 波密行威

已上秘錄但別錄無經等私除之

佛頂尊勝心陀羅尼一卷 金剛智譯說滅罪除

三藏林

唐梵對敵尊勝真言勅天下本一卷 曉

注尊勝陀羅尼 初有可等六行梵真言後

意○一行餘長行云、

尊勝陀羅尼緣起驗記一帖 天台尊勝經、三十帖錄出之

尊勝佛頂真言瑜伽法一卷 私云世人一卷軌定之極辭見軌上也

佛頂尊勝真言根本讚一、慈

佛頂尊勝陀羅尼經疏一部二卷 福林

梵字佛頂尊勝真言一卷 傳

佛頂尊勝壇像一鋪二幅 前慈

大摧碎明王續子三幅 秘錄碎摧碎佛頂真名

梵本子細

傳受集三云此陀羅尼凡有九本所謂杜行鎧日照三藏義淨三藏佛陀波利善無畏三藏金剛智三藏不空三藏等所譯本及法崇注釋弘法大師所傳梵本等也之中今以弘法大師梵字本與金剛智譯加字具足漢字本所雙書也件梵本是弘法大師在唐日惠果阿闍梨所授多羅葉本也七佛及觀音梵號載于此中異他梵本也有陀羅尼末那智澄源持經者所持本有此事為後寫之云

經序云波利尊勝陀羅尼經者婆羅門僧佛陀波利儀鳳元年從西國來○到五臺山五體投地向山頂禮日如來滅後衆聖潛靈唯有文殊師利於此山汲引若生教諸菩薩波利所恨生逢八難不親聖容遠涉流沙故來敬謁伏乞大慈大悲普覆令見尊儀言已悲泣雨淚向山舉頭忽見一老人從山來遂作婆羅門語僧日法師遠尋遺跡然漢地衆生多造罪業出家之輩

亦多犯戒律唯有佛頂尊勝陀羅尼經能滅除惡業未知法師願將此經來不僧日

貧道直來禮謁不將經來老人日既不將經空來何答縱見文殊亦何必識師可到

向西國取此經來流轉漢土即是遍奉衆聖廣利群生拯濟幽明報諸佛恩也師取

經來至此弟子當示師文殊師利菩薩所有僧聞此語不勝喜躍遂裁抑悲淚至心

敬禮舉頭之忽不見老人其僧驚愕倍更虔心繫念傾誠迴遠西國取尊勝陀羅尼

經至永淳二年迴至西京其以上事開奏大帝○略之其僧將向西明寺訪得善梵

語漢僧順貞案其翻譯僧將梵本向五臺山入山於今不出云

諸佛所說

經云波利此陀羅尼八十八種伽沙俱祇百千諸佛同共宣說隨喜受持大如來智

印云

菩薩等不知呪 又勝一尊勝頂又除煩惱

軌下云○唯佛乃能說之餘一切菩薩聲聞所不能知何以故一切佛頂心最為勝

故一切佛頂中尊勝佛頂能除一切煩惱業障故號為尊勝佛頂心亦名除障佛頂

云

滅罪相

又云 殊伽羅 若燈焰自然或一尺二尺已上

先不燒香、蠟忽有焰起或幡無風自動

或微雨或天花等亦或齒落更生或白髮

鬚皆變黑更生牙齒或先有病患自然除

差或先無福德、增加或先愚癡加以德惠○如是等事皆是滅罪除障之相未是成就眞言之法云

近悉地相

又云或見諸佛國土或見自身為諸佛國遍滿法界如是等事不可具說欲成就眞

言近悉地之相更勤功念誦必得成就非但得長壽增福如法持誦必獲無生悉地

又云悉地有三種下悉地者長生不死地

仙中爲王○智惠福德無不具足住壽萬

歲中悉地者隱形悉地中爲轉輪聖王

住壽一劫上悉地者所加持藥物器仗三

相具現得證五地已上八地之來菩薩之

身○如是說者名爲有相悉地之法其念

誦藥物○者光明砂羅黃牛黃中還大小

還丹龍腦香水精珠寶珠眞珠等○其器

仗者縛折羅五股三股獨股輪鈎數珠及

寶冠等物○其無相悉地者前三種悉地

爲下悉地○中悉地者或得本尊身若得

應化身乃至十地位菩薩之身上悉地者

三業即是三密、即是三身、即是

大毘盧遮那如來智○一念之頃越三妄

執度三僧祇行初發心時便成正覺云

問中還大小還丹者何物耶答或傳云

還年藥是也云

重愚案云中還者中年還年大小還者

老年小年還年賦但探分會釋也

之云

三

三

三

三

三

文句九云品補出指百歲人去。辟上所化甚多意也。准北諸所。以辟釋臂。父服還年藥。貌同二十五。子不服藥。形如百歲。若知藥力不疑子父。不知者怪之。如來橫服垂迹之藥。示伽耶始生。諸菩薩直論本地久發道心。今住不退。若佛及佛快知此事云。

種智還年藥

又云。寂場少父寂光老兒。示其藥力咸令得知。故言從地涌出品。

記云。寂場者。第一義者。寂場舍那示始成。故父少寂光菩薩行久著。故兒老。臂藥力者。父何以少。子何以老。准文父子臂意。父久先服種智還年之藥。父老而若少。子亦人久稟常住不死之方。子少而若老。雖各有服餅之功。而父子久定云。

善住天子先世業

淨除業障經云。後譯乃往過去有佛號毘婆尸。於像法中婆羅奈國有婆羅門。唯誕一子。身遂捨壽。其母孤養貧母求食。時稍晚。其子罵母。我母不如畜生。我見獨野干獼猴烏鷲之類。猶養兒子未久之間。母求食來。于時見一獨覺行於空中。敷座供養。其子於後出家作維那知事。施主送多蘇油。維那不施。諸客僧。問曰。檀越所施何故留之。維那罵言。何不食屎尿。汝等眼盲。見有蘇我送之乎。佛告帝釋。爾時婆羅門子。今善住天子是也。將畜生母。今招一返作畜生身。又由作維那出食穢言。常食不淨。慳僧食故。地獄受苦。罵盲瞎故。七

百生中常無兩目。由供養辟支佛故。今受天福。其人發心仰於空中。由是功德。今賴空中。神聲預報。其報之者。即是善住守殿神也。文多

善住天子命盡

經云。波利三十三天於善法堂會有一天子。名曰善住。○即於夜分聞有聲言。善住天子。却後七日。命將欲盡。命終之後。生瞻部州。受七返畜生身。即受地獄苦。從地獄出。希得人身。於貧賤所。於母胎。即無兩目。同之譯

佛為善住說陀羅尼

經云。善住。爾時帝釋。○求初夜分。杜行譯云。後夜分。以種種花香。天妙衣服。白莊嚴。執持花香。往迦多林。詣世尊所。○而白佛言。善住天子。聞有聲言。却後七日。命終而受七返。傍生惡趣之身。○云何令得免斯苦耶。○爾時世尊告帝釋曰。天帝有陀羅尼。名為如來佛頂尊勝。能淨一切惡趣。生死苦惱。又能淨除一切地獄。墮魔王界。傍生之苦云。

善住天子延壽命

經云。波利。爾時善住天子。受此陀羅尼已。滿六日六夜。依法受持。一切願滿。應受一切惡道等苦。即得解脫。口照後譯云。滿七日後。自受罪報。一切悉滅云。住者。提道。增壽無量。甚大歡喜。高聲歎言。希有如來。希有妙法。希有明驗。甚為難得。令我解脫云。

末世利益

淨除業障經云。如是最勝佛頂陀羅尼。呪

於末法時。若有比丘。比丘尼。優婆塞。優婆夷。及國王。國母。王子。王母。太子。妃后。百官。宰相。人非人等。○能作是曼荼羅法。清淨塗地。若以土。以水。若以香水。及摩夷。而嚴飾之。散花香。幢蓋。幡燈。若以種種珍寶。飲食。供養之者。是即名為波羅蜜。戒。廣營壇之時。有憍不順。是即名為毘梨耶。蜜。修壇勤勇不懈。不忘。是即名為毘梨耶。波羅蜜。專明法則。一心不亂。是即名為禪波羅蜜。有置端正。不喝不斜。善知分齊。可與不可。是即名為般若波羅蜜。文。

祈雨

(裏書一九二)

軌下云。祈雨品。為利群品。略說祈雨之法。天氣亢旱。甘澤不調。赤旱千里。苗稼不生。萬類惶惶。國土不寧。火災競起。水陸衆生命。在朝夕。修瑜祇者。見如是衆生受苦。起大悲。即略作祈雨曼荼羅云。文多略之

國主等供養

經云。口照後。若有國王。子女太子。百官宰相等。為供養故。書此陀羅尼。呪安七寶塔中。或寶師座上。若金剛臺中。若舍利摩都婆內。若高樓頂。若有四生衆生。造十惡五無間業。及四重禁。一切重罪。乃至六趣墮處。受苦是罪人等。若於此陀羅尼塔邊。往來。塔上。微塵落其身上者。如上諸罪。悉得除滅。或有風過。吹其身。塔等。而復吹人。少清身分。即得生天。受勝妙樂。亦隨意樂。往生淨土。若有持是陀羅尼者。過欲洗手。以水灌掌。其水墮地。諸灑蟲蟻。是諸蟲等。即

得生天。是故有能齋戒清淨六時不闕持此陀羅尼者。是人三世所有五逆四重十惡根本一切重罪。悉常消滅。若復有人能於四衢道中造諸寶塔。或立高幢。安此陀羅尼。而爲供養。是人功德無量無邊云。

安門戶除疫病

三十四法云。第七法者。若有國內被鬼病所著。及時氣疫病流行。當於四城門以青紙寫呪。用白檀木作函盛之。鎖函以蠟。函以蠟印兩常於四城門上懸之。以五色傘蓋。函門別安一本。即得諸鬼及疫病等即皆消滅云。

除諸病

經云。彼利佛言。若遇大惡病。聞此陀羅尼。即永得離一切諸病。○等云。經云。日。若有四生衆生。一聞是陀羅尼者。現生一期更無他疾。諸苦惱事云。

除惡鬼入國

三十四成就法云。第二法者。若有飛騰羅刹鬼。神入國恐怖惱亂一切衆生者。稱南謨佛心。憶念誦此陀羅尼一百八遍。即得如上諸難皆悉消滅云。

除逆賊內難

軌下云。曼荼羅。○若國難除災者。第三院中畫五岳四瀆。若王軍兵衆地界國內神祇等。如法畫之。若起逆賊者。臨時改變。第四院畫賊徒失度之狀。半入壇下鎖之云。得兒子

三十四成就法云。第二十三法者。若有女

人。欲求男女者。於一百日辨香美飲食。與貧病人喫施食之時。口常誦呪。念。莫斷。如此作法。必獲福德。男女兒子云。

結嫁娶

又云。第二十五法者。若有女人。嫁娶不結者。取好淨鹽。不限多少。呪之二十一返。施與現前僧。喫。即便女得嫁處云。

和夫婦

又云。第二十四法者。若有夫婦相憎者。將絹帛呪之二十一返。即將作衣。與夫穿著。即得和順云。

轉定業延壽

經云。彼利若人命欲將終。須臾憶念此陀羅尼。還得增壽。得身口意淨。身無苦痛。隨其福利。隨處安穩。一切如來之所觀視。一切天神恒常侍衛。○一切菩薩同心覆護云。

一卷軌云。每日入道場。○或二時。○等於本教尊勝陀羅尼。經每於白月十五日。除滅業障。增福延命。○誦一千返。○得不忘陀羅尼云。

軌上云。我今略說修尊勝眞言法。○自誦或遣人誦滿一千八遍。能除一切災殃。長壽增福云。

三十四法云。第一法者。若人欲得壽命長遠。不墮地獄。餓鬼。畜生。修羅。及滅諸罪者。每時至心誦。○二十一返。起大慈悲。憐愍一切衆生。得四惡趣罪業消滅。即此第一法耳云。

經云。彼利此呪。短命薄福。無救護衆生。樂造難染惡業。衆生故說云。

義記云。經曰。短命薄福。無救衆生者。述曰。第六轉報受樂言。此陀羅尼能轉現世之苦云。

又云。○阿密多鼻。灑刷。唐云。甘露。解白藥中。最上者。無過甘露。著毒之者。服乃必除。闍提不信。謗法尤深。灌頂加持。定當不死。○云。

又云。第六壽命增長門。鉢羅底。類載多野。阿欲秣弟。諸命皆得。解曰。眞言力大。持即報深。壽命延長。故得清淨。又解命欲將終。還得增壽云。

得福智

義記云。○大廣智三藏。○解。我誦此一切如來心。所持大印。我身心。所有罪障皆得消滅。如來是智印。由如是火一發之後。草木俱焚。觸斯光者。罪無不滅。如經說。罪從心生。還從心滅。火從木生。還木滅。持誦功力。福智無邊。悉地皆名。爲安縛賀矣云。

書寫功德離惡趣

經云。彼利若人能書寫此陀羅尼。安高幢上。或安高山。或安樓上。乃至安置卒都婆中。若有苾芻。尼。優婆塞。優婆夷。族姓男。女。於幢等上。或見幢。或與幢相近。其影映身。或有風吹陀羅尼上。幢等上塵落在身上。○彼諸衆生。所有罪業。應墮惡道之苦。皆悉不受。亦爲罪垢。所染汚。爲一切

之

諸佛之所授記云：

義記云：安置處所有其四處。一幢上。二山上。三樓上。四卒都婆中安置此四處有其二意。一高顯。二清淨云。

一經耳利益

經云：後照天帝若人。雖未誦持。但得聞此陀羅尼音。一經耳者。即能勸其賴耶。為佛種子。譬如少許金剛墮於地上。即能穿入其地。雖厚不能留礙。決至本際。方乃當住。此呪亦爾。一經耳者。即能勸其習性。要成正覺。煩惱雖重。亦不障蔽。設復墮於地獄。畜生。餓鬼。終不為諸業報。令其沈沒。要乘是呪力。任運增終。至于佛地云。

經云：波利若人。須臾得聞此陀羅尼已來。積造惡業。重罪應受。種種流轉生死地獄。餓鬼。畜生。閻羅。王界。修羅。夜叉。一切諸鳥。乃至蟻子之身。更不重受。即生。一生補處。菩薩。同會處。或最勝家王云。

鳥獸利益

經云：波利諸飛鳥。畜生。含靈之類。聞此陀羅尼。一經於耳。盡此一身。更不復受云。

往生極樂

經云：波利若人。能日誦此陀羅尼二十一遍。應消一切世間廣大供養。捨身往生極樂世界。若常誦念。得大涅槃。復增壽命。受勝快樂。捨此身已。即得往生種。微妙諸佛刹土。常與諸佛俱會一處。一切如來。恒為演說微妙之義。一切世尊。即授其記。身光照曜。佛土云。

往生諸佛國

經云：日無復告天帝。若有男子。女人。比丘。尼。能受持者。若讀若誦。是人功德。百千萬劫。十惡五逆。悉得消滅。即得苦提。不轉此身。獲宿命智。從一佛國。生一佛國。常蒙普賢。文殊。觀音。勢至。摩頂授手。受菩薩記。常是在道場。聞持正法。增其壽。身口意。淨不遭橫死。臨終時。念此陀羅尼者。即得往生諸佛國土云。

得大菩提

經云：波利佛言。若誦此陀羅尼法。於其佛前。先取淨土。作壇。隨其大小。四角。作以種種。草花。散於壇上。燒香。名香。心常念佛。作慕陀羅印。即本屈其頭。指以大母指。押合掌。當心上。誦此陀羅尼一百八返。訖於其壇中。如雲王雨花。能遍供養八十八俱胝。阿僧祇。那由他。多百千諸佛。彼佛世尊。咸共讚言。善哉。希有。真是佛子。即得無障礙。智。三昧。得大菩提。莊嚴三昧。持此陀羅尼法。應如是云。

軌云：悉地品。復次如是。畫上中下。曼荼羅。如法供養。作法念誦。十萬返。必得上悉地。若一百二百三百四百萬返。不作法。亦得成就。一切世間。所求勝事。無不隨意。除違天逆事。背恩德等。餘皆成就。若十萬返。必獲無上悉地。即同本尊之身云。

初發心成覺

軌上云：尊勝陀羅尼法印。即除一切障滅。一切地獄。傍生等身。故號尊勝。佛頂之義。是故如來。為善住天子。說除七返畜生之身。即是修禪祇者。初發心時。便成正覺云。

令堅固凡夫微善

記云：阿賀羅。云云。唯願攝授。云云。又解曰：重攝授者。至誠發願。懇切。辭。為是真言行者。持誦策勸。祈願加持。速攝受諸佛慈念。救護。獲災得脫。苦。因名。獲災也。又解曰：夫二乘念真言。谷差。念誦。持心功微力淺。若本尊攝受。得入瑜伽。二心恬然。名曰。獲災。攝受也云。

始魔王護持者

經云：波利爾時。閻魔羅法王。於後夜分來詣佛所。到已。以種種天衣妙花。塗莊嚴。供養佛。已。饒佛七匝。頂禮佛足。而作是言。我聞如是。演說讚持。大力陀羅尼者。我常隨逐。守護。不令持者。墮於地獄。彼隨順如來言教。而護念之文。

救亡者苦月主

經云日照若人初亡及亡已久有人以此陀羅尼呪之黃土或利云土一把滿二十一匙散其骸上而是亡者即得往生十方淨土若亡者魂識已入地獄畜生餓鬼閻羅趣者呪土當骨使得解脫即捨惡趣而得生天云餘本同之

義記云第三淨除惡趣門一婆頗羅摩唐言舒通〇〇者以陀羅尼先無有障礙觸斯光者皆得淨除若有先亡所在之所淨土一把誦此真言二十一返散其亡者人身骨之體即得離苦云

葬禮唱名號

齊然記云〇見德州節度使張太保葬送或送作法異本別僧等唱尊勝佛號步送墓所云

免諸苦難

加句記云元和十四年已丑歲前朝散大夫行通事令人張承福及百濟僧各受持尊勝陀羅尼有功曾為冥司所迫以真言威力不可思議遂不受諸苦兼濟拔受苦群生有傳韻琳於都府古經藏中得之時如意二年三月二十三日

出惡道生天

又云開元二十六年冬有都陰憚長吏自少孝養父母〇〇歿後沈淪惡道乃虔心懷濟度入山持尊勝陀羅尼志願見亡父母得安樂處日夜勤誦不絕朝暮懇誠六年念〇中不曾見父母疑呪無驗欲生退

心忽見一老翁儀容甚異語云非是呪無靈驗亦非君不盡心斯乃去聖時遙翻譯多致〇老人曰授令抄錄一本依此文句持誦斯滿七日必當見父依口決禮拜舉頭失老人〇誠具〇大地獄中遭諸苦〇精誠功力近得生天今從上界下來與汝相見威光稍別示相云〇取意

雪山陀羅尼事

極樂寺最初座主增全和尚傳云時有貞益者為人謹厚之士也夢見有一大路〇指南行見有一人被排背著班衣長八尺許形體環異也同行三四人皆相知人也異人指同行入云彼人來月十六日死夢中念知死生者也則進行問死生彼曰汝來年二月十二日死夢驚問曰以何方術得免生死彼曰汝誦持雪山陀羅尼者得免夢覺汗流戰經月餘同行死彌恐馳驟尋彼寺智德求雪山陀羅尼都無知者〇暮山捻持院增全和尚戒行證明則到山頂禮足下陳夢事法師曰覽諸經無之但雪山第一高山極契之雲結雪飛寒風凜凜鳥度不得飛嶺外纔舒六關瞻部州中嶺岳高無過之陀羅尼中解佛頂尊勝所告雪山陀羅尼豈非尊勝真言乎貞益深信伏〇法師授尊勝真言〇晝夜誦持至二月重到山日和尙月十二日下臨私宅誦尊勝真言法師受請至其宅十二日五更燒香散花念誦中梵宅中女人出門忽死又騎用馬一疋同時達貞益彌恐其女

靈魂託小年曰代主人死貞益年七十二

尊勝儀軌七夢事

問此七夢者顯何事耶 答若五部灌頂

重間前四夢者如次佛部蓮花部金剛部

寶部其文分明也第五夢者羯磨部文如

何

又問第六七同羯磨部歟

爾者分三種有何故耶

又其三差別如何若云非羯磨部者又何

者哉進退不審也

又問付前四夢摩尼名唯可限第四前三

部何又有摩尼名若過四部有此名者何

非第五部哉如何

保延六年閏五月二十四日寬信問光

明山重譽上人

尊勝儀軌七種夢事 重譽勘文

是說五部灌頂事也此中以前四種如次

為佛部蓮花部金剛部寶部其文分明也

第五以下三夢俱說羯磨之一部謂第五

不退轉第六等正覺第七轉法輪是顯羯

磨義也就中一部所以分三種者羯磨者

是事業成辦也於真言行法之事業成辦

雖有多種取要言不出三種一者入不

退位二者證佛菩提三者說法利物誠免

退位入不退是悉地中最勝也故初說之

事業成辦此因行滿成德是修行本懷故

次說之第六夢三世諸佛成菩提皆為轉法

門之

第五夢即此

事業成辦此

第六夢

三世諸佛成菩提皆為轉法

輪度衆生故後示之第七夢此即事業成辨

次第也。後三夢想雖同。今開三種意

如是矣。前同夢通有摩尼名事未審其意

但今愚案云。今儀軌心說增益法故。不空

所譯軌云。蓋本尊、勝陀羅尼像安東壁

持誦者以面對之云。

此即顯增益。又別行成就有三十法中

多說增益。是故今軌意。顯五部皆有增益

義。故部、有摩尼名。寶部是增益功德故

也。但第五以下羯磨部三夢無摩尼名者

文言存略歟。次第七夢之結文云。汝得眞

言寶堅固解脫等云。

此意於第五以下羯磨部亦示有寶名歟

又第一夢中如意廣大之文。非必顯摩尼

歟。若爾此義又難存者歟。若得愚案候後

日可注進。此摩尼之言定意趣候歟

成所作智後說妙觀察智事勝軌

五智品於平等性智後說成所作智。次說

妙觀察智。次第違常途次第如何。依彌勒

莊嚴論歟

彼論云。四智鏡不動三智所依。八七五六

識次第轉得故文了義燈云。一、莊嚴不

依次說。非言轉六得成事智故不相違。二

疏外別解云。莊嚴論中據第六識能作神

通等諸成業。得事智。五識因位能不觀

察。果位方能之得觀察云。

有多會釋。可尋習之上軌五智次第是伏

莊嚴論也。先德多讀亂脫頗謬說也

已上往生院閣梨兼意勘文也

弘長二年六月十九日於柏森蓬屋以

御本書寫了 金剛佛子俊譽

元文五十年庚申二月令修復了

賢賀 五十

佛頂祈雨法一 無人名釋林

尊勝陀羅尼驗記唐書經辨可尋

尊勝佛頂次第第一、理傳 傳受本

尊勝祈雨事三密

付此法行祈雨法。本尊令乘金翅鳥

王四佛。四波羅蜜。十六八供養。四攝

同皆乘金翅鳥皆舉右足。令提諸龍

頭腦勢。八佛頂等諸菩薩諸明王諸

天等。具可觀之。大體如請雨經法云

諸俱具等著荷葉中供養。已令

荷葉裏。送河流水中或龍池中。加持

白芥子。每日打龍王心上。一千八十

返。以柏青葉花瓶挿之。大壇護摩壇

等立之

勝佛頂軌云。壇四角瓶口挿柏枝云

又云。壇上安四十九尺幡。帳屋四懸

四天王幡

覺禪鈔 如法尊勝 同異說

如法尊勝法。天仁以前仁和寺覺意

僧都修之云。增後開

覺意嚴覺舍弟也。仍護摩壇勤仕給

歟。可尋。大仁二年八月十八日。僧正

範俊於烏羽壇所被修之。嚴覺手替

云。

依老爛歟。伴僧八口增後云。二七

六年。法務雖被出度延引歟

康治二年六月十二日。法務烏羽

院御祈被修之。伴僧十二口二七

久安三年十月十四日。同院御祈。重

被修之

伴僧二十口三七

醍醐大僧都玄海於本寺被行云。

但結願眞言院。伴僧八口二七

修日。請書等。文度。敷曼夕

由來。修日。請書等。文度。敷曼夕

ラ。塔。天蓋。幡。普賢延命。僧

交名。道場。表白。種子等。護摩。日

口香。卷數。結願。本尊。寶珠。延

命。骨路草。道場觀。五相成身已上

如法尊勝法增益

行法由來事

三十四成就法云。第二十一法者。若有國

土衰禍欲至。當以雜物作一百八箇浮圖

相輪。即得衰禍消滅福祚延長

(表書一九三)

行法修日

經云 波利 佛告四天王○我當為汝宣說受持此陀羅尼法亦為短命諸衆生說白月圓滿十五日時持齋誦此陀羅尼滿千返令短命衆生還得增壽永離痛苦一切業障悉皆消滅一切地獄諸苦永得解脫云經異譯儀軌等皆同之

三十四成就法云○畫像法者○從黑月一日起首畫像滿七日○可見七日作道場七日之中於道場內誦呪數須滿一萬返說佛頂放大光明云

私云行法結願之日當晦日問經并儀軌等諸本皆說自月十五日作法今何說黑月畫像行法乎答大日經疏四云○自月十五日衆行圓滿喻成菩提黑月十五日衆行皆盡喻般涅槃中間與時昇降喻方便力○云

私云以此文可會兩說歟

問十五日作法何爾耶答此供物等須充每日護摩也而貴木多數每日難備十五日者此法成就日也仍設如法供養歟或此護摩品雖不指其日經并儀軌傍文等以十五日爲作法日仍護摩行法可存十五日歟 委細記處

一請書等 依院宣讀

(裏書一九四)

範俊僧正引率數口伴僧立兩壇又立塔壇上行尊勝法之由所聞食也件法寬信定傳習候歟然者勤修候乎早相尋可令申給候者依御氣色言上如件

五月二十一日

兵部權大輔時延文

進上師中納言殿院宣如此件法候歟如何○いかさまにも可勤仕之由可令申給也我君々々謹言

僧都御房

已上

申尅顯頼

私申

件法令立大壇之塔有一百八之空輪每輪書尊勝陀羅尼兼日沙汰可候事歟被尋仰尊勝法如形雖傳習候爲無止之行法不肖之者尤其憚候歟但左右可隨御定候可然之樣可令計奏給恐々謹言五月二十一日 寬信請文 一支度範俊僧正少異也

注進

尊勝御修法一七箇日支度事

合

一蘇 蜜 名香 白檀

五寶 金銀琉璃 青琥珀水精

五香 龍腦鬱金白檀麝香沈香

五藥 赤箭人參伏苓甘草檳榔子

五穀 稻穀大麥小麥大豆胡麻

一每日護摩料

黑沈香 白檀 安息 薰陸 丁子

檳榔子 天門冬 訶梨勒 人參

桂心 伏苓 骨路草 檀香 或用檀木

一月十五日護摩料

沈 白檀 紫檀 煎香 安息 丁子

薰陸 甘松 蜜香 苓陵香

乳頭香 龍腦 荳蔻 白芥子

蘇 蜜 已上二種 乳酪

一敷曼荼羅一鋪 方六尺繪佛

多寶塔一基 天蓋一面 彩色

幡九流 淺黃色 一流長三丈 八流長各

一壇二面 脇机四前 燈臺八本

禮盤二脚 在各壇敷布二端 已上大壇

爐桶一口 大幕一帖

一壇供米十六斛 已上兩

御明油一斗五升 壇料

雞穀鹽合七斗

阿闍梨 伴僧 承仕二人

駝仕六人 見丁二人 淨衣 黃色

自餘供所雜具等如常

右注進如件

保延六年五月二十三日

行事大法師信舜

阿闍梨前少僧都法眼和尚位寬信

雖奉支度四箇年延引今度康治二年被行歟

一敷曼荼羅 方六尺天仁并

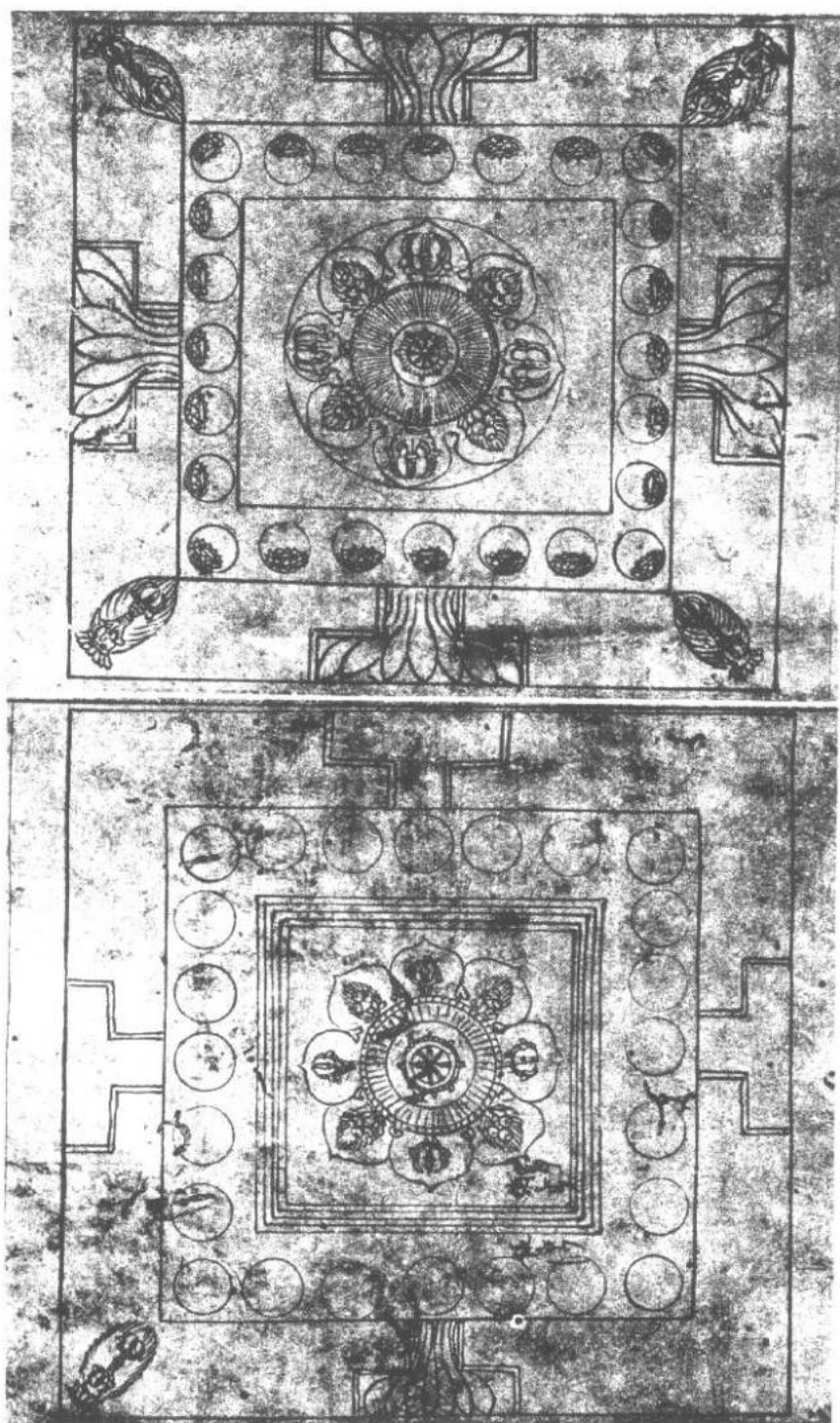
法務勤修時佛師御衣絹參本寺圖之時

信奉行云

圖像 五三

(裏書一九五)

國參 像考 九



圖參像考 一〇

增俊云、天仁修法被用占曼茶羅云、
 法務寬一云、月輪不書梵字諸尊觀置降
 臨座也、三十四成就法說敷曼茶羅異此
 圖、師件曼茶羅不可用云、
 私云大師御筆卷物中有之
 一、相輪樣、大仁御修法、塔長三尺許
 (裏書一九六)

圖像 五四

圖參像考 一一

圖參像考 一二

如本說者、百八相輪打金薄、葉書呪一本、
 盛遂各置一、相輪云、
 師說云、以銅薄作相輪百八枚、於三押金
 薄、每輪表裏以梵字書迴、不空譯尊勝陀
 羅尼、有梵本、天仁御修法閉裏十二枚成一
 輪、凡為九輪云、 (裏書一九七)
 法務記云、木造多寶塔、高三尺、銀造之、金
 塔內有蓮臺、銅地盤、覆鉢、寶珠、張綱如常、
 塔康治塔、扉被圖、八大菩薩、院自御意發
 被圖云、
 相輪弘三寸大定也
 陀羅尼始加梵字題目、此非見
 二卷軌

天蓋幡
 電數可隨輪也、以始可爲上



天蓋幡 (裏書一九八)

一卷儀軌云、上安帳蓋、四面懸幡云、
 又軌云、安漫天帳、蓋用青物作之云、
 三十四成就法云、以五色綵帛作幡、懸壇
 場外四邊云、
 師說云、天蓋、紫色
 蓋懸幡九流、淺黃
 一流長三丈、中央懸之上、結八流者、長各
 九尺、或八尺、四隅各懸二流也、幡形如例、
 但牽手足緣、香黃色也
 蓋面圖方七尺
 法務勤修時、四角幡足被結上云、四面
 羅網無之、蓋縱方七尺、燈臺不障、幡程可
 量也
 或人傳云、幡長三尺許云、

圖像 五五

同蓋裏

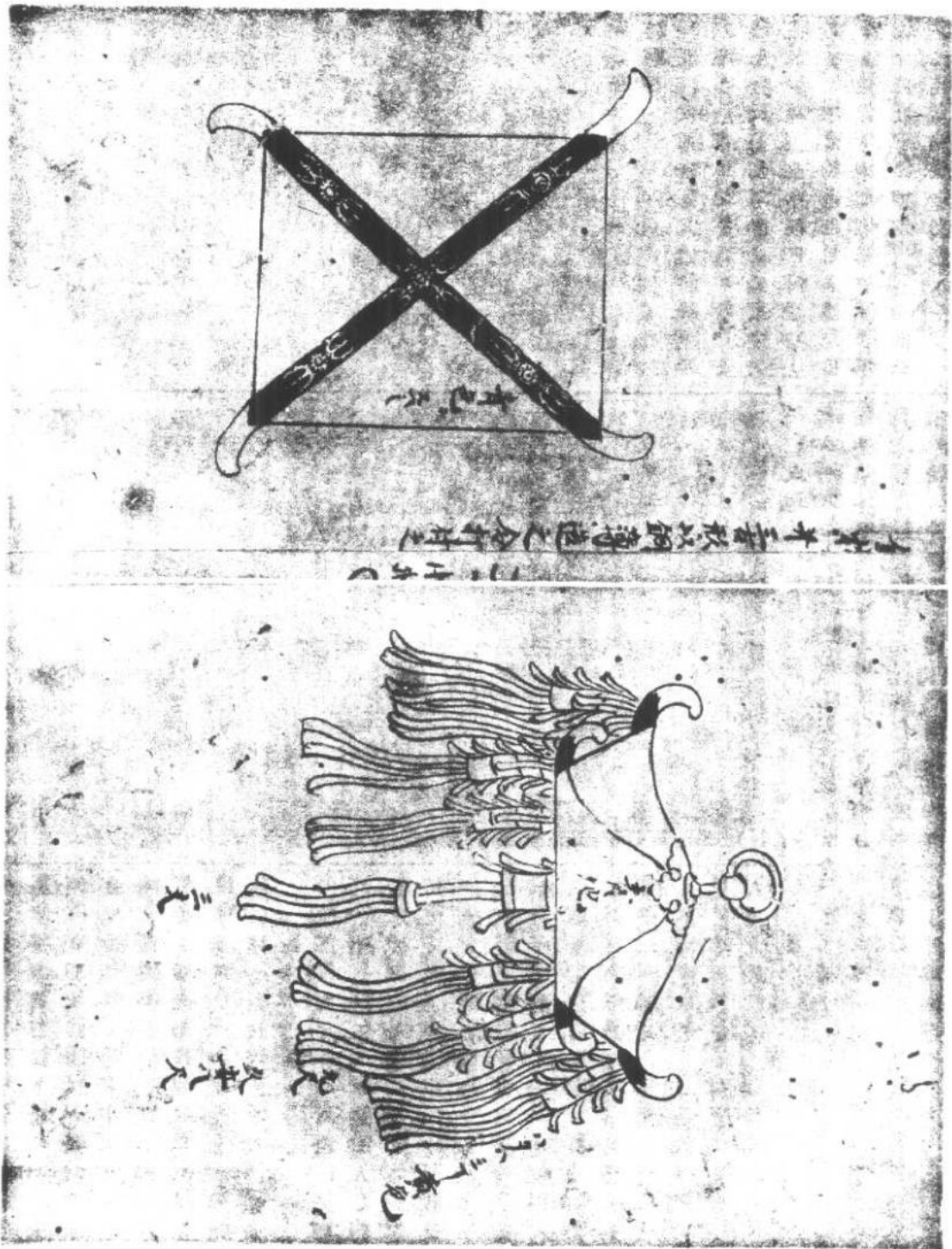
天蓋裏以銅箔輪、并三古彫押之、骨緣黑
 塗也、藏形有金物
 增俊園梨云、天仁二年御修法自
 院給古蓋、僧正輪、并三古形以銅箔造
 令打付之云、
 前修此法云、若件蓋、天仁以

圖像 五六

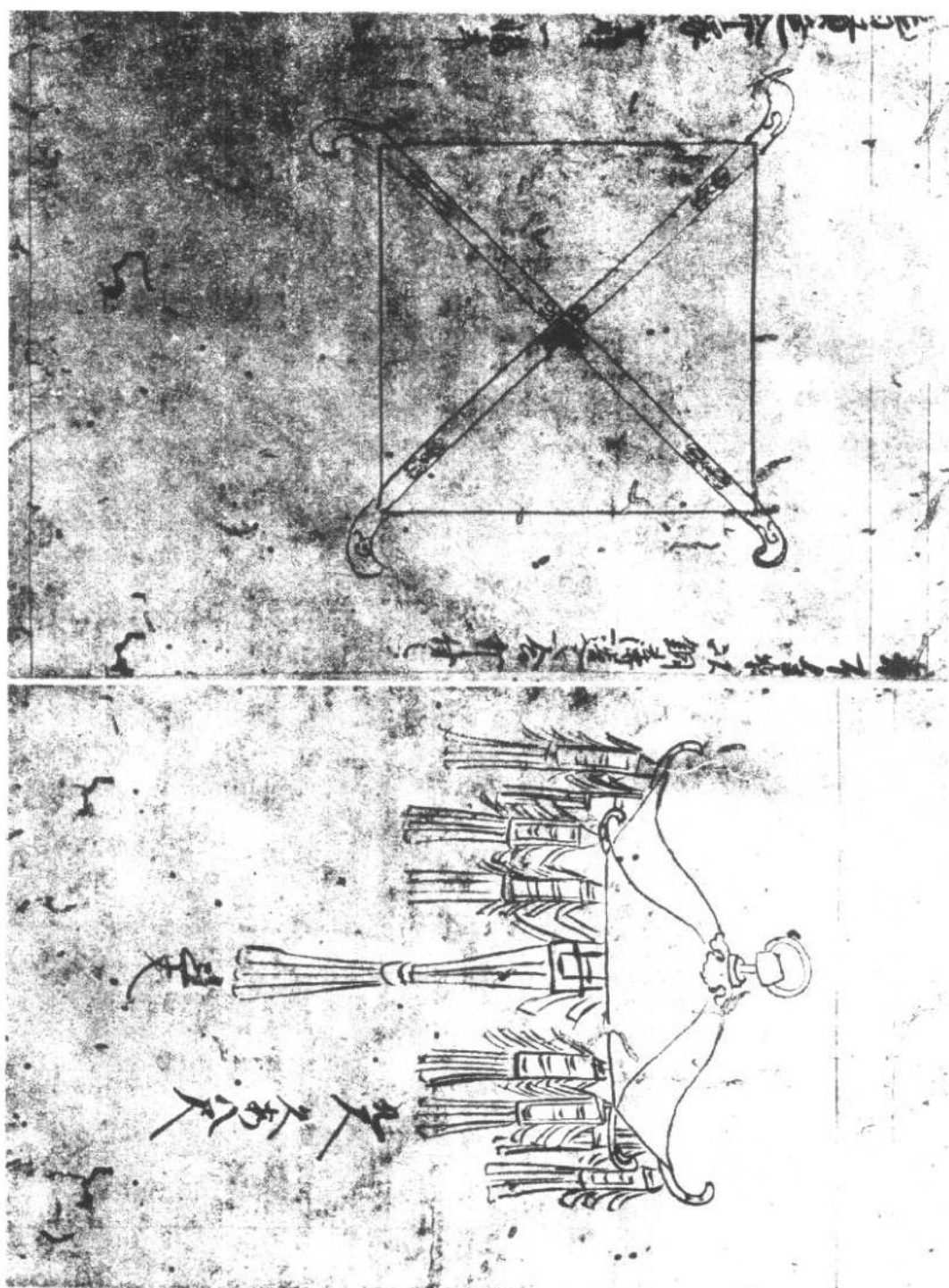
圖參像考 一三

圖參像考 一四

善賢延命像、二十臂
 口傳云、善賢延命、即金剛薩埵、
 即大日也、大日即尊勝佛頂云、
 法務勤修時、護摩壇被懸、今延命像、天仁
 修法不用之云、 (委細記與)
 一勤修記
 久安三年十月十四日、天於白河金剛勝
 院、美福門、鳥羽院御祈被行之、當日辰、大
 行事信、率承仕等參壇所、未尅請取壇
 具等、中尅參仕、大阿闍梨并伴僧等
 衆僧交名
 大阿闍梨法務、權大僧都寬信
 伴僧二十日、私云、康治作
 院嚴已講、僧十二日、賊
 明海已講、護摩壇



參考圖像 No. 14. 天蓋井蓋裏圖(釋迦文院本) cf. No. 55, 56



參考圖像 No. 13. 天蓋井蓋裏圖(勸修寺乙本) cf. No. 55. 56

增俊阿闍梨

念範手書

玄海

隆賢

尊雅

祐源

寬紹

尊覺

淳觀已上有職

增仁

快勝

行俊

滿覺神供

寬緣居新持

賢嚴

信助

智海

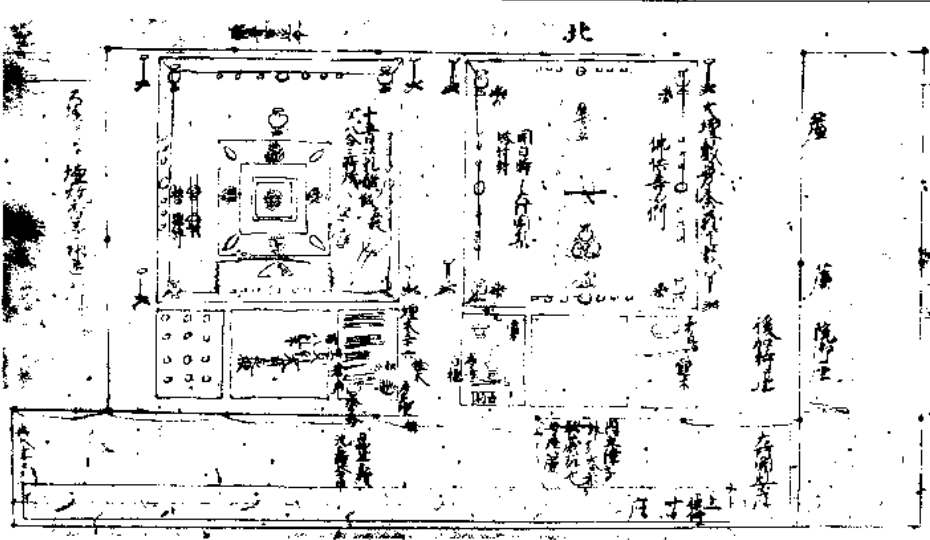
隆榮

大行事從儀師信舜

堂莊嚴事

仰淳觀

開梨莊嚴道場有大壇護摩壇無餘小壇大壇不懸本尊以塔爲本尊內安彼物大壇上鈞天蓋數百八葉中央立相輪塔八幅輪上立中瓶四隅怒杵上立四角花瓶中置羯磨四枚食道居闕伽等器極五色佛供等如例修法護摩壇懸普賢延命像爐形塗增益天仁燒白餘皆同例增益法但脇机支分有差委細與圖之



開白亥剋承仕打金伴僧皆參著五帖

次大阿闍梨上堂著平居箇入三衣每時隨身白壇所者從僧持參伴僧中可然人取之置左脇机開白之時香呂宮隨身次御幸依仰法務參著御加持座給彼物著禮盤開塔門令罷畢即被始初夜時伴僧

三力偈之後誦佛眼眞言振鈴之後誦尊勝陀羅尼也次及正念誦程護摩壇師立座步寄壇前先禮大壇方三度次禮護摩壇次著禮盤修護摩次及護摩末神供師立座行神供一還著本座次護摩了還本座次阿闍梨金一打伴僧誦一字眞言後供養了參後加持座發願次助修共誦尊勝陀羅尼次大阿闍梨著本座次還御次隆榮塔令付法務封承仕等番番守護之

表白法務筆

(興壽一九九)

南贍部州大日本國太上天皇莊嚴祕藏道場有勤修如法尊勝法大願旨趣者世屬末代佛力未空人無強信我志清潔久持福祐彌崇佛法尊勝佛頂者比之三世如來消難轉之業第一也禪之五部諸尊延欲盡之命殊勝也故切利善住天子持呪全壽支那大聖文殊教利人方今如法尊勝行法者限奉守國主福祐必增長爰以捧八幡微妙之供具登七寶莊嚴之塔婆五千爛栴色相映光百八相輪影設莊蓋懸幡燒香散花天帝釋衆蒙降臨授百壽閻羅王起誓影向除病落款文字

種

三形塔

本尊

師云以塔爲本尊內安佛舍利天仁御修法安置相傳寶珠云寶珠大日三形也塔爲本尊故置三昧耶

身歟。大日滅衆生罪障。增福延命。卽是尊勝佛頂也。委記典

印 塔印

陀羅尼 最祕 或智拳印

無所不至次

正念誦

唵阿蜜哩多帝惹波底婆婆賀

散念誦

伴僧陀羅尼

勸請句

尊勝佛頂轉輪王 八大佛頂諸轉輪

發願句

本尊聖者 尊勝佛頂 八大佛頂

諸大轉輪

禮佛

南無摩訶毘盧遮那佛 乃至

南無四攝智已上如例

南無怛隸魯迦烏瑟尼沙怛他藥多三返

南無悉多他半怛羅烏白傘

南無惹野烏勝佛

南無尾惹野烏最勝佛

南無帝儒羅施烏光聚

南無尾枳羅拏半祖烏

南無吒魯呬烏廣生

南無輪魯呬烏廣生

南無呬惹欲烏發生

南無金剛界無邊聲

南無大悲胎藏界讀四智

次不動。但四智之後微音可誦之。石山內供

後加持胎界用除障佛頂言云。小野說法務。勤修之時。キリト云。辭事也。カロムト可證也云。

一護摩壇事

部主 寶生尊

本尊段 尊勝佛頂供物眞言

諸尊段 八大佛頂中略大日

壇木三十六 桂木用之

二卷軌下云護摩品以檀木爲柴。長一肘。以本押木順押累之云。

乳木。師說云。乳木用骨路草。無件草者。代

用舌樓草。又用栢木或松木云。

又云

骨路草者。用二十一支。栢木者。百八支。角

骨路草。天仁修法。白高野山被用取

法務同被山被用取云。

蘇油器。乳酪蜜五種和合之

加持物。白芥子二十一粒。并梗米一器

可入和之

已上每日可用之

一每日香藥

黑沈香 白檀 安息 薰陸 丁子

已上五種。可用丸香散香等。可通諸段者

不足者。可限本尊段。尤香以蜜丸可用也

檳榔子 一天門冬 二訶梨勒 三人參 四

桂心 五伏苓 六

已上可用藥種。小器六口入。各三度可供之云。



一十五日合樂

沈。白檀。紫檀。煎香。荳蔻。白芥子。初度

已上六種。以蜜和一器。三度供之

安息。丁子。薰陸。荳蔻。白芥子。二度

已上五種。以蘇和一器。三度供之

甘松。藿香。荳蔻。白芥子。三度

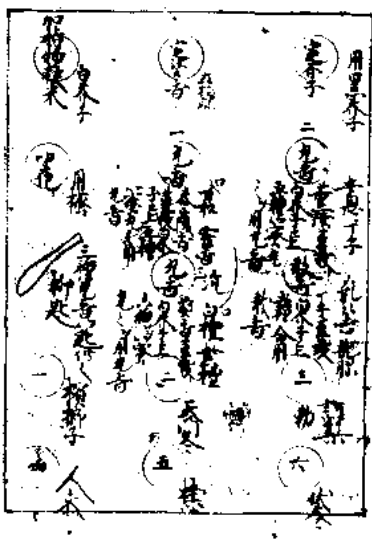
已上五種。以蜜一器和。三度供之

已上皆用匙

乳頭香。龍腦香。丁子。荳蔻。白芥子

已上一器。末。三度供之。散香也。諸段

可供之。但不足者。本尊段計可供也



集經九云。取稻穀花和好牛蘇。○以柳七策呪一返也。火中燒之云々。此合藥等。始自十五日。後夜至于初夜。三時共可供。以乳酪入飯器同供之。

(藥書二〇二)

藥種并加持物乳木等如每日。此日大阿闍梨并伴僧同心陀羅尼一千返云々。

依軌說

右香藥等。久安圖并以根本口傳記之。或人云。此法以月十五日為相應日。仍結願可相配十五日也。設結願雖不當望日。十五日香藥可供之云々。

若又三七日勤修之者。第二七月初後日中三時供之。陀羅尼一千遍誦之。私云。久安勤修月十五日三時供之。又結願一時令供給云々。但結願無數遍敷。

尊勝御修法所

奉修

大壇供六十三箇度
護摩供六十三箇度
諸神供九箇度
奉念

佛眼眞言五萬二千返
大日眞言六千三百返
普賢延命眞言六千三百返
尊勝陀羅尼五萬二千返
同小呪六萬三千返

白傘蓋佛頂眞言六千三百返

最勝佛頂眞言六千三百返

光聚佛頂眞言六千三百返

勝佛頂眞言六千三百返

廣生佛頂眞言六千三百返

無邊音聲佛頂眞言六千三百返

發生佛頂眞言六千三百返

不動眞言六千三百返

降三世眞言六千三百返

一字金輪眞言十二萬五千返

右奉為禪定仙院御息災安穩增長寶壽

御願圓滿。始自六月十二日至于今日。并

三七箇日夜之間。率十二口伴侶。殊致精

誠奉修如右

康治三年七月三日

阿闍梨權大僧都法眼和尚位寬信

結願作法

書卷數付枝立大壇東邊。安文一通置左

脇机。金剛持遍禮後。金二打。出五悔神分等略之

行法如常。次後供養。闍伽之後。金二打。讀

卷數。次金一打。結願事由云々。三七箇日。

行法結願當時。次神分。祈願等如常。次後

鈴。餘如常

修法三七日之間。御幸連々。客人濟々。見

者驚目云々。

滿三七日了當結願日。午尅伴僧皆參次

御幸。次大阿闍梨上堂。結願了開塔門戶

取彼物。下自禮盤。參後加持座令進給了。

次後加持了還本座。其後被置布施

大阿闍梨。被物一重。裹物一。御馬一疋

助修裹物各一。布施取二十餘輩。奉行兵

部大輔時延云々。

次還御

次阿闍梨伴僧出堂及申尅御入寺云々。

大略。久安三年勤修如此。但卷數康治

也

大壇本尊事

以除障佛頂為本尊。無論事也。師說以大

日為本尊。曼荼羅中心畫大日。故大日即

尊勝法身也

先觀本身。次觀其末云々。

自他宗前賢

或智拳印。大日言石山內供說

或用三種悉地印。眞言天宮秘說

或云。結遍法界無所不至。諸尊勝陀羅尼。

此等傳。以大日為本尊也

二卷軌下云。其第二院置東釋迦牟尼如

來。○作說法相。○爾時世尊。○便入除障

三摩地。從如來頂上發生三摩地狀。若輪

王之像。白色首戴五佛。手執金剛鉤云々。

為本一卷軌云。道場中須彌山。○上毘盧

遮那佛與八十俱胝十地滿足菩薩摩訶

薩以為眷屬云々。

重問。大日為本尊已有文證。但望法身

言之者。何尊何法不然。別為此法本尊。

其義如何

答。大日經疏五佛頂云。此是釋迦五智之頂。猶如輪王具大勢力云々。

同十云十佛刹土佛之頂是尊勝之義也云、諸佛之頂豈非大日乎故尊勝者大日破重罪生勝福之德門也其二又通用灌頂印尤有其心灌智水於頂上即顯得佛頂也其印如下

三十四成就法數曼荼羅圖佛頂形三其大日經疏五云第五微吉羅摩譯云捨頂是棄捨一切煩惱義亦是摧破義也此是釋迦如來五智之頂於一切德中猶如輪王具大勢力其狀皆作轉輪聖王形謂頂上有肉髻形其上復有髮髻即是重髻也餘相貌皆如菩薩云

同疏十云次一切佛頂者一切佛頂謂十佛刹土微塵數佛之頂是尊勝之義最在身上也

安寶珠事

問塔中安寶珠心如何

答此法付增盆行之故以寶生尊爲部主之心歟此傳無妨

又遺告云如意寶珠○自然如來分身惟眞實如意寶珠也○密之上密轉不注儀軌云

此文寶珠爲大日三摩耶形大日滅衆生罪障增福延命即是尊勝佛頂也故儀軌下所言悉地成就七種夢者說五部灌頂而五部皆云尊勝佛頂大摩尼寶大日既攝五部也七夢記有別又疏五云眞陀摩尼通諸佛菩薩三摩耶形云又此心歟

一護摩壇尊事

師說奉懸延命像但天仁不問護摩彼尊奉懸其意如何

答尊勝法者專有延齡之功仍通延命法故

或傳云爲延命塗延命爐云

又一卷軌印契作法極略也而金剛波羅蜜之次說甲冑印延命爲本尊也況此如法尊勝法者遍祈國王衰禍奉延寶算故以骨路草爲乳木仍懸延命像表延命之功也重問若爾如或傳可塗延命爐何用增益爐哉

又懸延命可用其印乎答此是增益法之中延命之行也仍塗總法爐懸延命像表其中延齡之術也

或小野傳延命法以尊勝爲部主故尊勝法以延命爲部主有其謂奉懸云

一骨路草勸文

五佛頂經五云以骨路草寸截和藥一呪一燒滿一洛又則轉正業福命逾壽云五佛頂經四云以舌養草和蘇燒一洛又則轉正業令更得壽云

此文小野并大原抄引之與前經文同異可尋之

一字頂輪經五云燒屈蔓草護摩令得增壽云

護摩軌云若欲延命燒屈蔓草其延命爐如前增益爐外作甲冑形其梗米屈蔓草比餘物按十倍多云

金剛頂經義決云若欲長命以甘美木及

俱盧草和蘇及菓子等以左手執金剛棒印右手燒之云

已上延命文許略引之猶息災增益等本文多也可見抄

五佛頂經古譯云骨路草同經新譯云屈蔓草知同草也今諸家釋此草唐和云代用活蔓草云○小野僧正仁勸文云骨路草者似烏瓜但有深山者也其實黃色味美也下人食之無害以根爲仙藥件草叵得故或用烏瓜號括樓草近代諸阿闍梨遍芝草也可被問證文傳用人云若無骨路草者可用甘松香云

近來唐人多持來云

次可用牛膝草云多在世間云私云小野口傳云骨路草者ウリネ云件草在高野山花色黃人爲汁食之云

元文第四年九月六日遂修復深藏篋底是偏爲密教糾隆而已

淨土院末資權僧正賢賀生年五十六

真書 一九三

大原云可隨所求云或延命又滅罪可修息災云

真書 一九四

屈請凡僧請定可書律師云々

右自來某日於某內裏被始行如法

圖像 五七

大壇不懸佛像。有數曼荼羅。曼荼羅中央安置一百八相輪塔。每輪各以梵字書迴尊勝陀羅尼。

譯不空一過塔中安置舍利。

阿哩野 烏悲捉灑 尾惹耶

曼摩 馱羅尼

圖像 五八

護摩壇懸延命像。但天仁御修法不被懸之

乳木 骨盧草。若無之者。用烏瓜。又用松

柏四角可削之云。

相應物等

黑沈香。白檀木。紫檀木。柏木。構枝

煎香。安悉。丁子。薰陸香。甘松

霍香。荖陵香。乳頭香。龍腦香。荳蔻。白芥子

蘇蜜和香料 乳酪燒供料

已上二卷軌文

沈淺 蘇合 白檀 龍腦闍伽料

別軌文

供養次第

蘇油三度 次燒供三度 飯也

次五穀粥三度 次五穀三度

次沈香 次白檀 次乳木

次又沈香 又白檀 次安息

次丁子 次薰陸 次甘松

次薰香 次荖陵香 次乳頭香

次又安息 次龍腦 次又丁子

次荳蔻 次白芥子

加持物處先投白芥子二十一粒

次供便米云。

沈一 白檀二 紫檀三香

已上三種塗香

沈 白檀 紫檀 煎香已上和蜜爲

安悉 丁子 薰陸已上和蜜爲

甘松 霍香 荖陵香已上和蜜爲

乳頭香 龍腦二 荳蔻三已上和蜜爲

檳榔子 一天門冬二 訶梨勒三 人參四

桂心 五 伏苓 六

已上爲藥種

乳木 二十一 支 或烏瓜 百八支

柏或松 皆十二度

已上

注進 尊勝御修法一七箇日支度事

合

一。蘇 蜜 名香 白檀

一。五寶 金。銀。琉璃。青。琥珀。水精

五香 龍腦。鬱金。白檀。麝香。沈香

五藥 赤箭。人參。伏苓。甘草。檳榔子

五穀 稻穀。大麥。小麥。大豆。胡麻

一。每日護摩料

黑沈香 燒香料 白檀 塗香料

乳木 骨路草無件草者代用活

安息 薰陸 丁子

檳榔子 天門冬 訶梨勒

人參 桂心 伏苓

一。每月十五日護摩料

沈 白檀 紫檀 煎香 安息

丁子 薰陸 甘松 霍香 荖陵香

乳頭香 龍腦 荳蔻 白芥子

蘇和香料 蜜和香料 乳燒供料 酪燒供料

一。天蓋 空色 幡九流 之巾一流長三丈淺黃色

八流長各八尺 淺黃色

數曼荼羅一鋪 方六尺給佛

多寶塔一基

一。壇供米十二石

御明油一斗五升

雞穀鹽合七斗

壇敷布二段

阿闍梨一口

伴僧八口

驅仕六人

承仕二人

見丁二人 淨衣 黃色

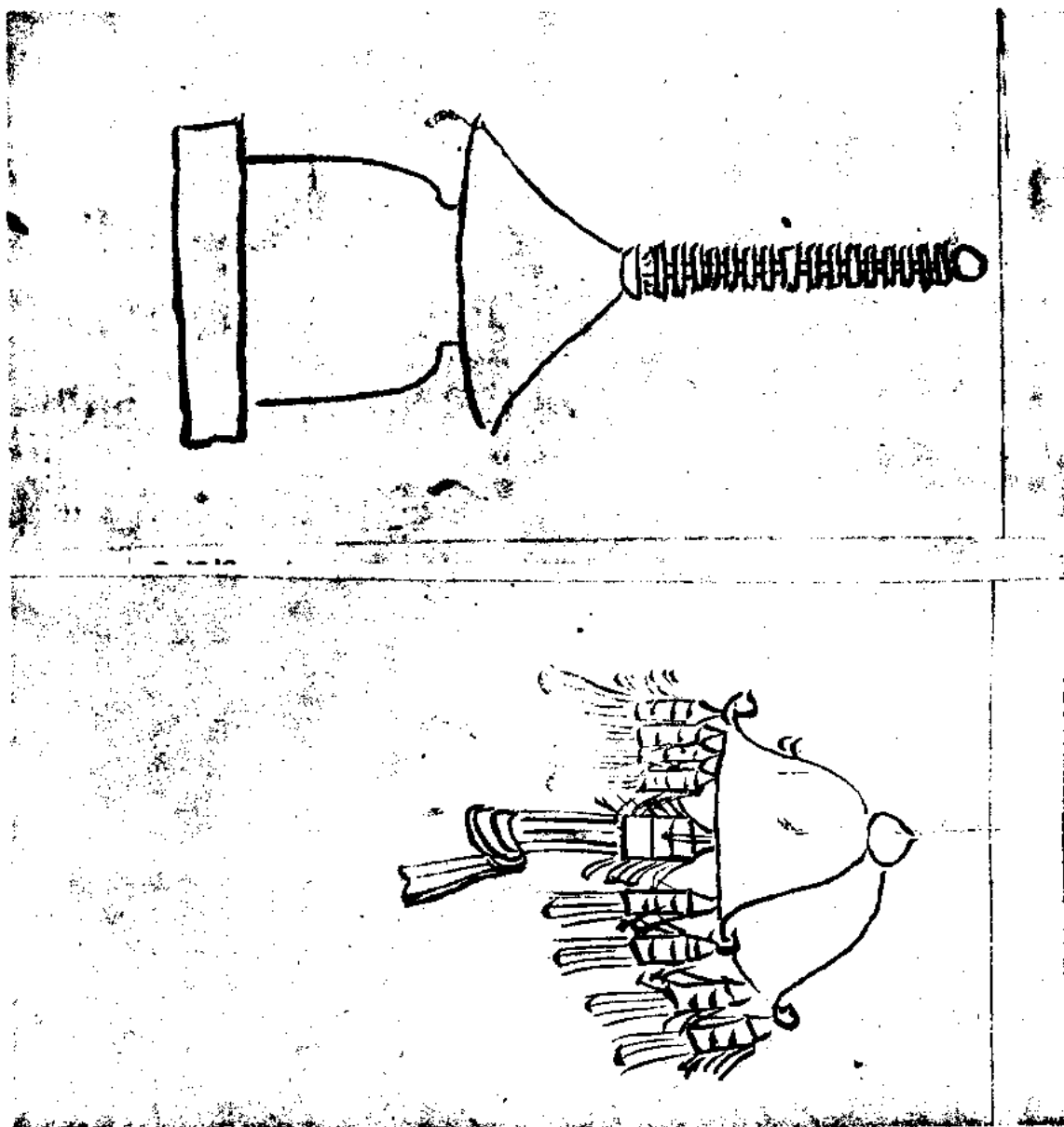
右注進如件

天仁二年八月十二日 行事大法師

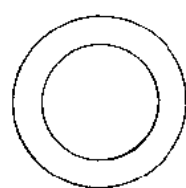
阿闍梨權僧正法印大和尚位範俊

增後闍梨云。件法自八月十八日被始行

三七日歟。五七日歟。不分明云。



圖像 No. 57. 天蓋圖 圖像 No. 58. 相輪樣圖



相輪寸法三寸計以銅薄作之押金薄不空譯尊勝陀羅尼兩面書之凡一百八枚每枚書陀羅尼也閉裝十餘枚爲一輪云

增俊闍梨云天仁天仁二御修法天蓋數曼荼羅用古物先年覺意僧都仙院御祈奉仕此法之令儲法物具云

元文五庚申年十月十六日遂修復補虫損之缺闕了

淨土院末資權僧正賢賀五十才

覺禪鈔 大勝金剛上

大勝金剛法 息災敬愛金寶抄或云付愛樂王法修之口云金剛頂部法皆可修也

祕法生起

惠什闍梨云十二臂大日瑜祇經專殊勝說之彼經肝心品是也仍大師以件佛爲本尊殊作次第也於形像者三井寺有唐本像先年所奉尋拜見也彼寺爲究竟祕事云

或云實任凡今法最極甚深究竟祕法也而近代絕事歟

私云一切諸經諸軌之題目者付其中深祕事置題字也然瑜伽瑜祇兩句依五瑜伽法歟五部也

或抄云瑜伽瑜祇梵語也此云相應因果圓滿故名成就始終相應故名瑜伽也又瑜伽男聲是智瑜祇女聲是定也此題是理智冥合之總稱也

又云發心修行菩提涅槃四種名瑜伽即指金剛乘教一切瑜伽中最尊最勝故云

尊勝軌云我今禮瑜祇是是大日尊云依此文者瑜祇即十二臂大日也故經始終偏依今尊也

惠什云十二臂大日現彼經十二品文或云補四行品爲此尊法文

延壽先跡

惠什云近大和國有聖人多遇賢哲學祕法件聖人殊爲祈壽命百日修此法有夢

想告保九旬遐算親竭之云

除刀兵部

瑜祇經云若末法世人長誦此真言刀兵不能容水火不焚漂文

或人爲除刀兵厄以實任多年修此法云行者爲尊

又云誦百八滅百劫罪誦千遍滿意願若誦一洛叉得大金剛身誦一俱胝得成遍照尊千佛來共護決定無有疑文

具諸佛德

又云此人如金剛諸惡不壞○如光聚破三界冥此人如蓮花諸塵不染○如羯磨作諸佛事身如遍照尊諸佛不捨身如妙吉祥能成無量惠文

名號

經云大勝金剛頂文

指事云一切如來大勝金剛頂最勝真實大三昧耶品三十七大勝金剛心成就現證十二臂最勝佛頂轉輪王故稱此品號一切如來大勝金剛頂也又能摧諸佛頂故云大勝金剛也

大日所變

經云爾時遍照薄伽梵復現種種光明於頂上放光明住千葉大白蓮花梵網經下云我今處舍那

抄云序品光明遍照王文

瑜祇經疏云此法亦以大日而爲本尊乃至變成大勝金剛自身爲曼荼羅發生三十七尊供養持誦能就五部悉地此大勝

金剛智拳印。亦是大阿闍梨位者之行法也。大阿闍梨者大日也。

類聚抄云。愛染王即大日。大日十二臂也。金寶抄云。大日所變十二臂也。

總案云。序品云。中尊大日十二臂。無說品說今品歟。

攝佛頂輪王

經云。十方淨妙國。三世及三界。最尊獨無比。此大轉輪王。能摧諸佛頂。能攝諸等覺。親近為眷屬。速成大悉地。

大師御傳。一字金輪佛頂。靈巖口傳。或云。經第六品題一切佛頂最上遍照王。

抄云。本體灌頂智故號遍照佛。文。又攝一切佛頂輪王。文。

愛染王同體。(裏背二〇四)

烏羽僧正云。大勝金剛十二臂愛染王習事。仁和寺祕事。文。

視聽抄云。十二臂大日愛染王法本尊也。宇治入道殿被仰。文。

實任云。十二臂尊愛染王也。文。

十二持物攝諸尊

今法者。遍照尊一身具十二臂攝四攝菩薩等。於經序品云。受持此深密瑜伽金剛一切如來大勝金剛心瑜伽成就三十七尊。自覺聖智。此名普賢金剛薩埵三十七智深密相應。大阿闍梨應作此法。文。

又云。纔誦此密言。十六大菩薩從法界出生。文。

又云。以此甚深祕密心地普賢自性常住。

法身攝諸菩薩。文。又云。攝諸等覺。文。

指事云。普賢一字心加悉地句。一字心發心根本。三十七智圓滿。即證大覺位。欲登此位。漸根本無明地。現薩埵形。文。

經云。時四大菩薩同聲告金剛界如來言。我今現此神通。為欲鉤召一切有情令入法界。以索引至金剛場。以鎖堅諸藏識。以鈴通悅彼性。令快樂故。文。

又序品云。四攝方便。即是方便究竟位故。文。

形像

經云。薄伽梵。於頂上放金剛威怒光明。照諸菩薩。金剛手等皆各默然。復現身手具十二臂。持智拳印。復持五峯金剛蓮花。摩尼羯磨鉤索鎖鈴智劍法輪十二大印。身住千葉大白蓮花。身色如日。五髻光明。其光無主。遍於十方。而門微笑。文。

曼荼羅

又云。復次祕密主。我此心最心更說祕密法。佛名五瑜伽。當觀遍照主。自身悉同等。復當於自前。觀勝金剛寶。住於熾盛日。執妙大寶幢。次右復當觀金剛蓮花。鉤住於黃色輪。執鉤。次左復當知金剛寶大庫。住於綠色輪。執持大圓鏡。次復當於後金剛大染蓮。住於紅色輪。執持大紅蓮。

圖像 五九

口云。中尊傳也。寬祐五佛身色經無。古本有肉色。師說。

又云。是名五瑜伽。祕密最上味。一切所希願。皆悉得圓滿。常作此瑜伽。誦前八大明。及以密印力。皆悉成所願。不假請召印。及誦香花。明得最上成就。現世速獲之。時會諸菩薩。一切執金剛。一心觀佛心。歡喜而安住。文。

已上經說

又曼荼羅 古本

圖像 六一

支度 注進

大勝金剛護摩一七箇日支度事

合

蘇蜜 名香 白檀

五寶 金銀。瑠璃。真珠。水精

五香 白檀。薰陸。白膠。沈。丁子

五藥 白朮。人參。甘草。遠志。苟杞

五穀 稻穀。大麥。小麥。菜豆。胡麻

壇一面 加爐。桶。脇机。二前。燈臺。四本

禮盤一脚 在平盤 壇敷布一段

大幕一帖 壇供米 御明已上二種如常

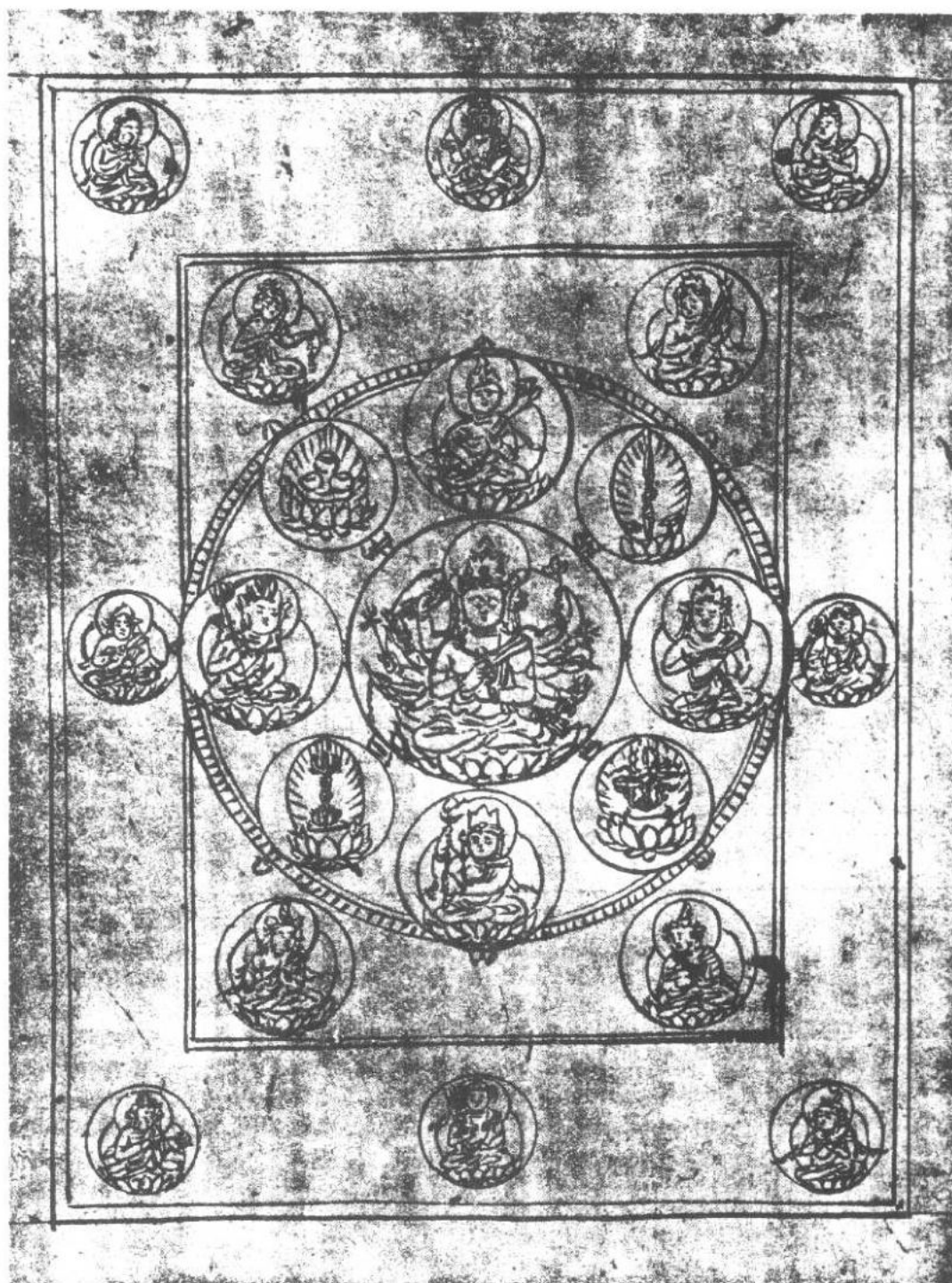
阿闍梨 承仕一人 驅仕一人 見丁



十支の智徳清浄
像也斗々
或有寶冠

大勝金剛





圖像 No. 61. 大勝金剛曼荼羅(其二)

淨衣 白色
右注進如件

年 月 日

某

壇圖

五色佛供等自東北角始之
五寶等爐底可埋之

日中佛供十六杯小八

汁八杯 菓子十六杯同白時

後夜粥八杯 初夜無供物

壇木 八寸枳殼乳木 六寸一端圓枳殼

藥種 荷杞 加持物 胡麻 蘇油蘇油和合加之

白色花供之

行法附金剛界

表白

今信心大施主抽唯一之丹誠專有餘懇
念合十指之爪掌啓兩部之諸尊而言代
及未法兵革起于天下時屬澆季波旬亂
於國土殺城石動朝食不脫胃常山蛇驚
夕休常荷戟闔靜堅固之說在今取信者
歟大勝金剛薩埵者大日如來入五瑜伽
三昧耶所現之尊形也手持十二大印身
住千葉白蓮五髻光明遍照十方界八大
明呪能成百千事殊於兵亂之時與靜證
之功能專當闢靜之時施無畏之利益刀
兵不能害憑金言於無貳心能成滿意願
仰本誓不橫見養由之弓獎會之楯只禦
一旦之怨賊定惠之弓總持之楯盡退煩
惱之惡賊大勝之得名良有以哉御願意
趣專在于茲委旨奉讓本尊照見焉
已上五事爲用意私載之

種子 藏

三形 輪或鈎又五結
印經云名根本心最勝轉輪印

經云內豎十度縛忍屈如頂文口云忍順二

如劍形實任云頂者劍形也法三御子度忍初

印相如頂者謂劍形也藏祇經疏云三摩耶印忍順屈

經云若常結此印金剛薩埵尊蓮花摩尼

主毘首羯磨尊一切諸聖尊咸來增覆護

文

眞言經云名大勝金剛頂最勝眞言大

三摩耶印三摩耶印最勝共出經

摩摩賀縛日羅瑟提麗吽但洛續喇惡吽

經云想隨作皆成就一切願皆滿疏云

是五佛種子合爲一眞言

已上深祕傳也寬祐

靈巖傳云

千輻金輪口云二字金

印 金輪根本印又二種印明如經文

以上大師御流也

亮惠云靈巖二種印明者一智拳印

吽轉日羅沙但縛弱吽變殺出四攝品祕藏

二前本尊印言

私云序品 五結印如何

又傳 實任并諸傳

種 藏

三形 智劍

印言 如前

又用智拳印最祕說文法三記云師口云

或五結印餘十箇大印如金剛界羯磨會

也八供四攝如用輪小金剛輪印

兼意云小野僧正用種藏

三 五結金寶同之咒惠云五

高野僧正次第云蓮花文已上

賢覺傳云先師授云

種 藏

三 率都婆所持器杖隨

寬祐云云可然者願不甘心文

小野云云大勝金剛印二羽內縛出

二中國合實覺

冒地心品眞言

最勝眞言三昧耶品印言

已上寬祐

大金剛輪印用小金剛輪呪

又二手外縛立二中指劍形二頭指背置

二大指竝立已上實

勸請句勝內供

本尊聖者大勝尊 蓮花部中諸聖衆寶金

發願句

本尊聖者 大勝金剛

四大瑜伽 諸大眷屬

道場觀定印

壇上有梵字成七寶樓閣中有梵字

成千葉大白蓮花上有梵字成淨滿

月輪上有梵字成千輻輪變成大

勝金剛身色如日現十二臂智拳印五古

唵縛日羅跋納摩塞佈吒錢
成就金剛鈴最勝者令喜三昧耶
唵縛日羅羯磨健吒穀

經云由持八大明能成百千事印如金
剛界眞言者當知四佛八大明者

復次金剛鈎密語應當知三昧耶會
唵縛日羅沙怛縛底引乞央挈吒

能壞無智城能生諸佛惠印同妙吉祥
羯磨三昧耶

復次金剛輪密語應當聽
唵縛日羅祈羯磨咩弱咩錢斛咩

二手金剛拳檀惠與進力四度互鈎結是
名祕密印若眞言行者不作曼拏羅但持

印明即同大安立一切曼拏羅自身一切
支悉成諸佛聚無比不思議更無過上味

師云已上本尊成就諸尊印明也
私云四佛四攝三昧耶形加劍輪二本

尊所持之爲十種三昧耶形此即本尊
成就義也

亮惠以下四瑜伽印明文
復次四攝明密語應當說

師云四佛四波羅焉和合相應尊也故帶女聲
唵薩縛怛他誦黨句勢咩弱

唵薩縛怛他誦多播勢咩
唵薩縛怛他誦多塞佈離咩錢

唵薩縛怛他誦多阿吠捨咩解
師云已上用金剛合掌

機誦此密言十六大菩薩從法界出生各
持本標幟

次誦八供養及以四攝明即成大圓境次
誦本尊句八供及四攝密言次當說
唵薩縛布惹曳弱咩錢穀

安然云初金剛手四佛四攝次諸佛四
攝次菩薩四攝文

私云但第二重四攝四波羅蜜四攝也
是皆女聲四攝故也

已上本尊加持次可加用之眞言經說
印師傳也

略次第
著座 塗香 淨三業
三部 被甲護身 加持香水軍荼利

加持供物三古印 字觀 淨地
觀佛 金剛起 普禮

表白五悔等 普供三力 四無量觀
勝願 地結 四方結

道場觀定印或如 大虛空藏 送車
請車 大鈎召諸五部 四明

拍掌 結界辨事佛頂 虛空網
火院 大三昧耶 闍伽

蓮花座 振鈴 次本尊印言
次十六尊加用上 禮佛 部母定印

入我入 又本尊印言等 正念誦
字輪觀 又本尊印言等 散念誦

後供養理事 禮佛 迴向
解界 撥遣 三部被甲

出堂

文治五年自二月二十五日始同三月

十一日撰集之畢同潤四月二日於觀
音寺邊書寫之了

金剛佛子覺禪生年四十七

元文五庚申年初冬下旬加修復補蟲
魚之缺闕了且爲令法久住且爲御經
藏傳頌而已

淨土院末資權僧正賢賀生年五十七

〔實書〕二〇三

宗房妻所 實任多年行之

宗明 高松女院御所保元年中百

箇日修之 美福門院仰也

有法驗除障御前御病惱云

卷數有之

〔實書〕二〇四

或云大勝金剛并愛染王佛頂部尊

也眞言瑟尼沙者佛頂云也

〔實書〕二〇五

小野實書私云實書可

〔實書〕二〇六

禮佛

南無摩訶毘盧舍那佛

南無一切佛頂最上遍照王如來

南無勝金剛寶如來

南無金剛蓮花鈎如來

南無金剛大染蓮如來

南無金剛寶大庫如來
南無金剛吉祥母如來
南無兩部界會諸尊聖衆

部母結定印

我心上有月輪、上有蓮花、上有
有觀字、成五古杵、變成佛眼佛母、
右手持寶珠、左作施願勢、形如天女、
坐寶蓮花

出菩提場一字頂輪王經

二〇七

大勝金剛供御祈願所

奉供

供養法七百二箇度

奉念

佛眼眞言七萬二百遍

大日眞言同

本尊眞言二百三十五百遍

阿闍梨位眞言一萬五千七百五

十二遍

冒地心品眞言同

愛染王眞言二十三萬五千返

金剛吉祥成就一切明一萬五千

七百五十三返

妙吉祥破諸宿曜明同

成就一切明、同

一字金輪眞言七萬二百返

右奉爲關白前大相國殿下御息災
安穩增長福壽無邊御願決定成始

自久安六年十月十七日至于今月
今日并二百二十四箇日夜之間殊
致精誠奉祈如件

仁平元年五月四日

大法師仁靜靜如房

又源運 院御祈修也

覺禪鈔 大勝金剛下

或人云、抑於此尊何故三十七尊中以智

劍法輪之二別爲二臂哉

答、智劍是攝一切如來佛智斷、以法輪攝

一切如來壇場也云、

大興善寺不空智阿闍梨云、非法失師位、

由建立此輪壇、則復本阿闍梨位、修一切

三摩地眞言、速得成就云、

師口云、此如來陰密也

外四供養內四供養何佛菩薩攝之耶

內供養攝中、外四供養可

攝四佛其印明經說分明也

大師御作云

我依祕密瑜伽教 建立心地曼荼羅

大勝眞實金剛頂 是勝無比三昧耶

早離世間塵穢鄉 速入練若古佛住

安住平等薩婆若 法界心地淨月輪

若不入此祕密教 何以得覺心月佛

甚深、極無比 不能妄傳非機者

集諸說成一法、所謂本經 同疏 安然

瑜祇總行 法王 一、別部抄 玄靜 味傳

或傳 正傳等是也

疏品、內各成七分、謂行願分、三摩耶

分成身分、曼太羅分、供養分、作業分、三

摩波多分也、別部抄一經內總成七分、

謂阿闍梨行願分、四無量三摩耶分、除

誦分、作業分也

今別部抄七分攝諸品云、
次第文云

一、阿闍梨行願分第一

此內阿闍梨位品、次冒地心品

已上兩品攝行願分

二、四無量三昧耶分第二

此內四攝法品全文在之

次瑜伽成就品自初文至于金剛一爲
乘不壞諸法教

已上兩品攝三昧耶分

三、除障結護分第三

瑜伽成就品時會中忽一障者至于此
障速除滅不得少親近文了、次染愛王
品大真言、次愛染品之一字心出之、次
同品之五古印說文出之、次能滅無量
罪能生無量福文
次瑜伽品常於自心中觀一吽字聲至
于瑜伽品終文

已上瑜伽品染愛王愛染王等三品

攝除障結護分

四、成身分第四

大勝金剛三昧耶品初文爾時遍照薄
伽梵至于一切難勝者應用此印明文
次復次金剛鉤密語應當知○印同妙
吉祥羯磨三昧耶文

已上以大勝一品攝成身分

五、觀行分第五

大勝品復次金剛輪密語應當聽至于

從法界出生各持大標幟文、次序品爾
時普賢金剛手等十六大菩薩至于時
不間斷三十七圓滿品終文

已上兩品攝觀行分

一、供養持誦分第六

大勝品次誦八供養及以四攝明至于
一心觀佛心歡喜而安住品終文

已上攝供養持誦分

二、作業分第七

抄文云、金剛吉祥成就品有三法、佛眼
母法大悲胎藏八字真言五大虛空藏
法是也、又上愛染王兩品別修之、是作
業分所攝也

次內護摩品內作業灌頂悉地并大焰
口魔怨品者、如經文、次第修之、別行之
云

私云、抄文初阿闍梨行願分出二真
言、謂阿闍梨位品真言、并冒地心品
真言也、印明出之

次四無量三昧耶分出三真言、謂四
無量品二真言、瑜伽成就品一字心
真言也

私云、瑜伽成就品有真言無印也、瑜
祇總行用五古契

其文云、五結契也、愛染王品印也、所謂
祕印也云、

私云、四攝品印無經文也

安然疏云、其印相不說經文、今准可用
四攝四印云、

相應總行云、初真言用羯磨會四攝印
是也

次壞二乘心真言用金剛合掌契云、
壞二乘是淨三業也云、

次除障結護分出二真言、謂染愛王
品并愛染王品真言也

相應總行云、時自生障聞此語已、忽然
不現

次愛染王結界護身印、出一切如來金
剛最勝王義利堅固染愛王心品第二
云

私云、根本印也、大呪

次復愛染王一字心明、出金剛峯樓閣
一切瑜伽祇經愛染王品第五云、

私云、五古契也、一字明

安然疏云、胎藏中以不動三世爲除障
法、蘇悉地中以軍荼利爲結護法、今此
法中以愛染王一字爲除障法、若於悉
地成就之時、大小諸障內外競起、若治
根本枝末自去、故以愛染王一字心真
言印降伏、本有自性障者、然此障者當
以權實二義釋之、此法通用經中一切
法中云、

私云、安然以成就品大真言一字心
真言用愛染王真言也

次成身分

大勝品文云、爾時遍照薄伽梵復現種
、光明於頂上放金剛威怒光明、照諸
菩薩、金剛手等皆各默然、復身手具十

二臂持智拳印復持五峯金剛蓮花摩

尼羯磨鈎索鎖鈴劍輪十二大印身住

千葉大白蓮花身色如日五髻光明

安然疏云此法是總攝五部蘇悉地法

十二臂十二大菩薩印中二手持智拳

印是大口尊名大轉輪王本尊十手持

八大菩薩二大菩薩三昧耶形初四印

是四部蘇悉地法王印也即金剛手虛

空藏觀世音金剛業也亦名金剛薩埵

摩尼薩埵蓮花薩埵羯磨薩埵

本抄云經文云即說大勝金剛頂最勝

眞實大三昧耶眞言曰

唵摩訶縛日羅合二瑟拏灑呬路合二訖

哩合二惡呬引

說此明已復說頌言

十方淨妙國

最尊獨無比

能摧諸佛頂

親近爲眷屬

若末法世人

刀兵不能害

若誦一俱胝

千佛來共護

我今更說印

內證十度轉

是名根本心

若常結此印

蓮花摩尼主

一切諸聖尊

相應總行云

師口云所說印相如頂者謂劍形是

也當用念誦之時云

安然疏云其眞言瑟拏沙者此云頂是

金剛頂也亦名金剛是五佛種子合

爲一眞言云

同云金剛最勝心印是大日尊三昧耶

印也云

次本抄成就等四種眞言出之經文云

成就最勝尊

金剛頂明曰

成就金剛手

最勝摩尼曰

成就金剛手

蓮花最勝心

成就金剛手

巧業最勝心

安然疏云初四印是四部蘇悉地法王

印也即金剛手虛空藏觀世音金剛業

也大羯磨部亦是三昧耶印也例如愛

樂王法五峯羯摩印亦名三昧耶印其

四明題並云成就金剛手者此四菩薩

同成就金剛手也如下文云觀勝金剛

寶蓮花鈎金剛寶大庫金剛大染蓮並

是金剛手變作也云其四眞言並云

成就最勝尊金剛頂

外縛立二中指以二頭鈎之出智界等軌

明曰金剛部 金剛薩埵

次成就金

明曰 寶部 寶菩薩

外縛二中實以二風鈎之出虛空藏軌

明曰 寶部 寶菩薩

外縛二中成蓮以二風鈎諸儀軌無說鈎相

但延命院仁王等圖中國蓮五結并而已仍准

餘部印作之無失軌

明曰 蓮花部 法菩薩

又樣二手蓮花合以二風召之出千手如

等軌

明曰

成就金剛

外縛二中入交舒二地二空頭合以二

中鈎之 出大樂等儀軌也

明曰 羯磨部 業菩薩

私云已上或傳也上四眞言皆有

我句之上四攝品文結四種鈎印云

依之用四種鈎印敷但出諸儀軌說

旨尤難指南之歟

大勝品文云印如金剛界眞言者當

知云故相應總行引略出經之文

云

金剛頂明印 出念誦經

金剛頂明印

金剛頂明印

金剛頂明印

金剛頂明印

金剛頂明印

金剛頂明印

金剛頂明印

金剛薩埵本文同

結二金剛拳止羽當心觀羽如弄跂折羅勢云

寶菩薩印

本文云以二拳置額

次最勝摩尼曰出悉誦經

如本縛堅智定度候屈進力度面相跂

師口云金剛縛進力禪智如寶形是也

法菩薩印本文同

次蓮花最勝心印 出念誦經

想止羽如駒勿頭以觀羽臂開之

師口云左拳想執持蓮花葉以右拳頭指大指如開敷花葉之勢

業菩薩印本文同

已上私比交經文何末之

次巧業最勝心印 出念誦經

金剛舞兩手相繞觸兩乳兩頰置於頂上

師口云金剛拳相繞

私云已上略出經說四菩薩印也味傳云用金界三昧耶會四佛印云

次四攝印言經文云

成就金剛鉤 最勝無能鉤

成就金剛索 最勝者

成就金剛鎖

成就金剛鎖

成就金剛鎖

成就金剛鈴

由持八大明 能成百千事

乍如金剛界 眞言者當知

安然疏云

次四印是鉤索鎖鈴大羯磨印也亦名

三昧耶印其眞言有四部號者亦是成

就四部金剛手鉤索鎖鈴眞言也通能

成就五部悉地此八大明准初遍照尊

可用金剛界三昧耶會八印

相應總行用羯磨會四攝印云

或傳用三昧耶會四攝印

味傳云已上四波羅蜜言也用前四佛印云

次本抄云經文云

復次金剛劍 寶語應當知

能壞無智城 能生諸佛惠

印同妙吉祥 羯磨三昧耶

安然疏云次智劍印是文殊印其眞言云

底乞瑟拏此云劍其印文云印同妙吉祥羯磨三昧耶者義准可云尊手持羯

磨印行者用三昧耶印金剛界軌羯磨印云左想持花右手如把劍今三昧

耶印云由縛堅忍願屈上節如劍云

總行云次金剛劍印 出念誦經

用左置於心上如煩惱障以右爲劍想

以殺之

師口云左拳如前相右拳以爲劍如打切

之云

正傳云經文印同妙吉祥云

同妙吉祥者有深義歟可思之云

已上成身分

次觀引經文云

本抄引經文云

復次金剛輪 密語應當聽

二手金剛拳 檀惠與進力

四度互鈎結 是名彼密印

若眞言行者 不作引

但持此印明 即同大安立

一切引 自身一切支

悉成諸佛聚 無比不思議

更無過上味文

安然疏云次法輪印是金剛持輪菩薩羯

磨印其眞言云祈羯羅手印如文是金剛

界輪壇印是三昧耶與金剛因羯磨三昧

耶印竝意亦非大輪金剛菩薩印也此三

菩薩印同一菩薩皆是輪壇印也而隨用

處有此三意云

此二印劍印破無智城生諸佛惠輪印一

切身分成諸佛聚以十二尊爲內身

了猶如醍醐衆味是足故云無比不思議

更無過上味大日經以大日尊五輪成身

名爲無比味無過上味

大日經疏云醍醐妙果故以無比無過上

味爲醍醐味云

正傳云此印又可有深祕義歟經文云能

金剛寶大庫印

內供養天女使者○同聲說四種一字

或傳云。印用金剛合掌。

方位次第條如何。答。中方尊金界大日也。金界是西。可也。可向東方。依之先以東方。前尊為最初。次南北。列表中尊左右定惠義歟。次西方中尊之後也。依之最後列之也。

終索等歟

問。其文證有哉。答。有證文也。

問。其證據如何。答。四攝上文云。世尊此四攝法。於一切處。一切事。世間。染愛及世間。一切法。皆生四攝行想。皆起慈。悲。喜。捨。等。於一切事。處。皆生四行攝法。又云。結四種。鈎。印。所謂四種。鈎。者。以眼起慈。於一切。以眼起悲。於一切。以眼起喜。於一切。以眼起捨。於一切。真言行者。常起此四種。心。文云。是等文。其證據也。

問。東面之方位。前後可然。以南北配定惠。所以如何。答。南方金剛蓮花。鈎。是虛空藏也。北方金剛寶大庫者。即虛空庫。菩薩也。即羯磨部也。大悲利生。豈非羯磨事業之德乎。序品。西方四親近菩薩種子。用其法斷疑之語。言。音聲是羯磨業之所攝也。將其字。北方羯磨部之種子也。初觀音種子。即因也。終羯磨部種子。即果也。因果一體也。故菩提心論云。發心畢。竟二無別云。依之觀音持圓鏡。是虛空金剛寶大庫。同持圓鏡也。是表同一之義。故以北方配大悲定惠。依之任定惠。對方南北列歟。四方次第相列之所以見下生起中。

疑云。以此證文者。還增難勢也。何者。已結四種。鈎。印。云。將四真言中。同具鈎。句。爰知大勝品。四真言。不。句。與四攝品。四種。鈎。印。其文意。是相應歟。依之上。或傳出四部。鈎。印。不存餘索等也。答。此難者。未料見經文深意也。結四種。鈎。印者。結鈎。索等。四種。印云也。唯非云。結同四箇。鈎。印。計。上引文云。起慈。鈎。悲。引。喜。捨。捨。等云。又云。起慈。於一切。起悲。於一切云。以此等文。可得心也。存慈之鈎。許可。乘餘三種。哉。如何。祕經。蘭脫文字。前後。或加。或省也。偏存鈎。義。許無餘索等者。何成四攝之行。互。四行。不成者。豈有。瑜伽。之義乎。

句。次四攝真言。各具四部。號也。是表互相涉入之義也。問。第二四攝真言中。各具他。他。他。他。句。并。太。字。何所以乎。答。太。字。本尊大勝金剛種子也。初四攝之言。惠也。次四攝之言。定也。定惠四攝行。滿。能。所。同。涉。入。本。尊。色。身。故。佛。果。圓。滿。云。恒。他。藥。多。證。入。本。尊。之。一。身。置。太。字。也。夫。今。法。大。意。者。四。部。法。王。各。入。四。攝。三。昧。以。定。惠。四。攝。各。入。一。切。衆。生。於。本。尊。一。身。故。定。惠。相。應。之。能。所。不。二。是。五。瑜伽。之。義。也。

問。然者四真言中。各具鈎。索等。四種。句。何唯具鈎。句。計乎。答。四部真言。各可具四攝。句。也。然而祕之。故省文。唯置初鈎。句。略。

問。四部真言。每一部。各可具四攝者。何。次。四攝。四真言中。各別具四部之號乎。答。四攝。四種。真言。各具四部之號者。初鈎。真言。具縛。日。羅。句。次。索。言。具。羅。怛。囊。句。等。也。已。四攝。真言。各攝。四部。號。爰。知。一。部。之。中。將。具。四。攝。之。功。德。云。故。初。四。部。真。言。共。具。鈎。

問。大勝品文云。常住此瑜伽。誦。前。八。大。明。及。以。密。印。力。皆。悉。成。所。願。云。前。八。大。明。者。指。何。明。乎。答。初。四。攝。真。言。功。能。之。由。持。者。指。何。明。乎。答。初。四。攝。真。言。功。能。之。由。持。八。大。明。能。成。百。千。事。印。如。金。剛。界。真。言。者。當。知。云。如。此。文。者。初。成。就。金。剛。手。等。四。真。言。次。四。攝。真。言。以。此。八。明。可。云。八。大。明。歟。故。安。然。疏。云。前。八。大。明。者。即。四。部。至。及。部。主。四。攝。印。明。也。云。

問。然者四真言中。各具鈎。索等。四種。句。何唯具鈎。句。計乎。答。四部真言。各可具四攝。句。也。然而祕之。故省文。唯置初鈎。句。略。

問。然者四真言中。各具鈎。索等。四種。句。何唯具鈎。句。計乎。答。四部真言。各可具四攝。句。也。然而祕之。故省文。唯置初鈎。句。略。

問。然者四真言中。各具鈎。索等。四種。句。何唯具鈎。句。計乎。答。四部真言。各可具四攝。句。也。然而祕之。故省文。唯置初鈎。句。略。

尊八手所持三昧耶眞言故。別用上八明
敷。將初四攝瑜伽也。第二四攝瑜祇也。定
惠和合故。初明中攝第二明功德歟。兩樣
會釋云：

五瑜伽祕密生起

品文云。佛名五瑜伽當觀遍照主。自身悉
同等。復當於日前

觀勝金剛寶。住於熾盛日。執妙大寶幢文

私引大日經疏文云。東方觀寶幢如來
如朝日初現。赤白相輝之色也。寶幢是
發菩提心之義也。譬如將軍統御大衆。
要得幢旗。然後部分齊。能破敵國。成大
功名。如來萬行亦復如是。以一切智願
爲幢旗。於菩提樹下降伏四魔軍衆故。
以爲名也。色如朝日。亦彼相應之義也
云：

又云。此印是法界之標幟也。以此印故。
亦同如來法界之體。即名法界幢也。

私云。一切衆生之本有不生之性。與諸
佛內證之淨菩提心一體不二也。故今

尊持一切衆生之自性菩提之寶幢。頓

破生死苦輪。勝煩惱之敵軍。故名勝金

剛寶。持妙大幢也。

次右復當觀金剛蓮花鈎。住於黃色輪執

鈎大微笑

私云。序品南方四菩薩寶光幢笑種子

如次。次觀四攝明用之略之取意

文云。時四大菩薩同聲告金剛界如來言。

我今現此神通爲欲鈎召一切有情令入

法界以索引至金剛場。以鎖堅諸藏識。以
鈴適悅彼性令快樂故云。

私云。衆生自性淨心與諸佛淨菩提心

同一故。今謂以定惠四攝鈎召一切有

情引入佛界故名金剛蓮花鈎。持鈎也。

金剛惠也。蓮花定也。

文云。次左金剛寶大庫住綠色輪執持大

圓鏡

私云。庫者藏義也。大日疏釋毫相藏云。

如來無量功德之集成。即寶處三昧中

一種滿願如意珠也云。

又釋蓮花藏文云。青是無量青色以加

持方便普現大悲。如淨虛空中

具含萬像故云。

今謂含是藏義也云。故以定惠四攝

鈎召一切衆生。集成如來大悲之庫藏

中。如淨鏡之按微顯現萬像。故名金剛

寶大庫。執持圓鏡也。

文云。次當復於後金剛大染蓮。住於紅色

輪。執持大紅蓮

私云。愛染王品云。能成大染法云。可思

之。大染者敬愛義也。違背本覺無明令

歸本覺。是敬愛義也。一切衆生出真如

之路。入生死之泥。輪迴六趣四生。今以

如來內證之功德祕密印言之威力鈎

召一切衆生。集成如來三密庫藏中故

成佛界衆生。界不二平等。是大染敬愛

之義也。蓮花者是蓮花部大悲也。大悲

敬愛也。赤色亦是同義也。故名大染蓮。

持赤蓮花也。以前四瑜伽尊是中尊大

日能德金剛薩埵所變也。二手住智拳

者。是表自性法身法界智。次四手持四

智三昧耶者。是成就金剛手之四部法

王。表大勝金剛頂之一德。次四手持四

攝三昧耶者。是四部金剛手各表入定

惠相應四攝之三昧也。次二手持劍輪

者。一切衆生召入如來大輪壇。以如來

大智之劍。表破無智之惑障之義。是五

瑜伽之功德也。

已上法爲自行集諸傳抄之。爲知法深

義。私成問答。并示生起。若百萬之一有

叶佛意者。順次生離生死證菩提。不可

外聞。不可外見。是祕中之祕故。

寬保元辛酉年六月十五日補蟲損關失

令收大經藏。且爲密教興隆。且爲後昆

卷舒耳。

淨土院權僧正賢賀 五十八

覺禪鈔 一字金輪

一字金輪法 息災禪部法也 大日金輪云

具書

金輪王佛頂要略念誦法一卷 大慈智

奇特最勝金輪佛頂念誦儀軌法要一卷 大慈智

慈安

金輪佛頂抄一卷 安

遍照佛頂等眞言一卷 慈安

金剛頂瑜伽佛頂心眞言 安祥祕錄題也即安祥別錄內題也安別錄云 大妙金剛大甘露軍荼利壇城薩婆佛頂經文

熾盛佛頂威德光明眞言儀軌一卷 安祥祕錄題也即安祥別錄內題也安別錄云 大妙金剛大甘露軍荼利壇城薩婆佛頂經文

禪林別題大妙金剛經文

一字佛頂輪王經五卷 傳教錄云五佛頂輪王經五卷一百一十卷 亦名五佛頂經云梵釋云四卷云

菩提場所說一字頂輪王經五卷 師慈智

奇特佛頂經三卷 內云一字奇特佛頂經現成德品不空眞大 慈智云一字奇特佛頂經云下題同本經

一字頂輪王瑜伽經一卷 不空大師慈

瑜伽翳迦訖沙羅烏瑟尼沙訖訖羅眞言

安世那儀則 一字頂輪王瑜伽經一卷 慈安

一字頂輪王瑜伽經一卷 內云瑜伽經云私云上題同也 不空眞大慈智云已上三同經云

大陀羅尼末法中一字心呪經一卷 眞

大陀羅尼經一卷 傳

金剛頂經一字頂輪王瑜伽一切時處念

別二本持之內題各

金剛頂經一字頂輪王瑜伽一切時處念

別二本持之內題各

金剛頂經一字頂輪王瑜伽一切時處念

別二本持之內題各

金剛頂經一字頂輪王瑜伽一切時處念

誦成就佛儀軌一卷 不空

一字佛頂輪王念誦儀軌一卷 不空眞

一字佛頂輪王印一卷 傳

一字頂輪王佛頂要法別行一卷 慈

一字頂輪王印一卷 傳

一字梵字一卷 傳

梵字一字頂輪王儀軌一卷 大師

梵唐兩字一字呪王陀羅尼一卷 傳

金輪同用法一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

金輪佛頂輪王像一卷 安

又云敬仰阿闍梨如諸佛世尊所有言教

誨應當盡奉行不尋師短○

又云於諸同學處不生嫌恨心敬如執金

剛乃至諸含識亦不應輕惱云

行人現身成佛

又云一時頂輪王殊勝祕密法修此三昧

者現證佛菩提云

依此尊諸佛智生

又云三世諸如來皆因入此法速獲一切

智云

滅諸罪得菩提

一字頂輪王經一云若修此瑜伽設現造

無量極重諸罪障必能超惡趣尅疾證菩

提云

永呪護書

又云應以牛黃於樺皮上寫此陀羅尼安

頭髮中若是苾芻尼繫在袈裟中若

塢波索迦塢波斯迦繫在手臂或在頭下

若國王帶不被他敵之所侵擾晝夜臥安

覺安大威德賢聖諸天而常擁護及餘有

情若能持此者一切處無礙安樂一切人

天供養恭敬天龍鬼等不敢逼近離惡趣

怖略抄

除惡病等

末法中一字呪語經曰若有人貪諸毒藥

者取孔雀尾誦呪十萬返禁毒及諸惡病

皆得除差文

金輪呪弊帝殊羅施呪

陀羅尼集經一云爾時會中復有無量諸

大菩薩四道果人及諸緣覺并諸天衆一切鬼神諸仙外道皆悉雲集各獻神呪。言我曾過去諸佛所說我皆授持。爾時觀世音菩薩即現何耶揭哩婆身。馬頭說神呪時即現神映弊於前一切菩薩諸天神等所現神悉令不現。爾時世尊○即於頂上肉髻相中放五色光其光明中有菩薩名帝殊羅施○口說神呪多者名曰大佛頂呪少者爲小佛頂呪。帝殊羅施說呪等現威神時映弊於前何耶揭哩婆身及呪神悉不被現。爾時世尊告觀世音菩薩我有心呪名曰金輪最尊爲極更無過者唯佛乃能知之是呪能滅帝殊羅施并呪等法。誦者聽者若能至心隨誦一返一結於耳塵沙衆罪若輕若重悉皆消滅無願不果速當成佛此陀羅尼悉能破壞一切諸法更無有上。法說金輪法之處

五百由句內弊一切呪。(裏書二一二)

一字頂輪王經一云若有人誦持此轉輪王眞言處五百由句內一切世間出世間眞言不流通不成就若纔憶念此眞言一切眞言悉皆成就唯除佛眼眞言七返誦之其身寂靜若不然者其威德無能堪忍其修眞言者必修初後誦此佛眼眞言十地菩薩尚不能堪忍此輪王威德何況餘天等小類有情。

修行諸尊者 五百由句內
尊皆不降起 亦不賜悉地
以輪王威德 斷壞諸法故

軍吒利軌云如金輪王等佛頂經說若有人誦持頂輪王等佛頂五百由句內修餘部密言者請本所尊念誦聖者不降起亦不與悉地由一字頂輪王威德攝故云。末法中一字心呪經云斯轉輪王如來頂髻之法能令他法速即毀壞能令自法速得成就一切菩薩所共讚歎念誦之處於四方五百驛內一切惡鬼皆自馳散一切呪師行其本法聞此呪皆悉摧壞一切諸天所有神通皆悉退失。此文四方五百由句賦

法起

一字頂輪王經一云釋迦牟尼佛纔說是輪王一字眞言○三千大千世界六種振動須彌靈山大動大海○山谷一切魔宮○悉恐怖魔衆諸天皆不安歸依於佛世尊於一切世界中那洛迦趣有情悉皆獲得安樂爾時世尊作如是神力加持爲令顯現輪王佛頂故自身作轉輪王形功德相莊嚴七寶成就○大輪師子座而坐○一切圓光如輪周匝○所有慈氏等諸大菩薩彼皆剎那頃亦不能不瞬目而瞻視爾時觀自在菩薩金剛手菩薩○以佛威力悶絕躡地○彼大威德摩醯首羅天帝釋○風天○緊那羅摩呼羅伽等一切器械悉皆墮落○一切菩薩憶念菩提遊戲三摩地一切天龍夜叉乾闥婆等歸依佛世尊悉戰慄如芭蕉葉身毛悚豎不能堪忍觀大輪王眞言色形爾時世尊隱輪王色形剎那頃說此一切如來所說大明

妃能息一切難調有情能成就一切佛頂輪王能息闍諍言說一切如來部眞言母一切菩薩母觀自在菩薩金剛手菩薩祕密主爲令起故說此佛眼○說是佛眼陀羅尼已觀自在菩薩等○悉皆而起乃至一切天等衆會各復得本神通各執本器仗皆歸依佛世尊心大歡喜。取心

(裏書二一三)

一字名號

或抄云一字頂輪王大日如來祕號法身衆德相稱也一字中攝無盡祕法一印內含恒沙密印依之一念淨信拔贖劫罪報三密相應得常住色身唯佛一體勝絕不共故得一字名教勅法論頂自流出故立頂輪王之稱云。

名金輪

(裏書二一四)

小野說云四輪王之中金輪王殊勝也故譬此尊云金輪王云。又國主寄之稱金輪聖王金輪有二種印言各別渡。

仁海云大日金輪釋迦金輪云。大日金輪身法釋迦金輪也。金寶抄說又云光明輪雲海者金輪也云。時處軌云如世金輪云。

曼荼羅事

(裏書二一五)

要略念誦法云想曼荼羅中有香水大海於海中心有妙香山七重金山周匝圍繞於妙高頂上有八葉白色蓮花於一葉上右旋布列輪王七寶所謂金輪象馬珠

女兵及主藏。當前第八葉想安佛眼尊。十
佛頂眷屬前後圍繞云、
一字頂輪王念誦儀軌之文意同之。仍略
之

圖像 六二

一五

惠什書狀云。八葉蓮花中作畫定印大日
也黃金定印上之在金輪。八葉周匝七寶圖
畫之

法務仰云。要略念誦法文叶歟。實勝云。內院
舞第二院四角外供四方
四攝第三重八方天也。

又說

時處軌云。心中日輪齊現一字金色。舌端
亦如是。則是字爲輪。其輪爲轉輪。加持色
金色。備七珍圍繞。寶輪在前。餘寶右旋置。
珠寶與無量摩尼衆圍繞。次寶女亦與無
邊深女俱。馬寶及像寶。主軍藏神寶。各領
自眷屬。無量衆侍立。兵寶持金剛無能勝
爲師。佛眼如來母。共寶居八方。如世金輪
王具七寶眷屬。如來頂輪王以佛無上寶
爲眷屬圍繞云、

圖像 六三

一六

右引云。古本之紙形。銘云大師御筆文
師并巧匠深存此旨。然惠什闍梨法務中
云。智證大師請來。日輪內畫智拳印大日
師上。上有天蓋。左右前有七寶云、

私云。如惠什說非大師御筆歟
覺願云。若釋林請來。可見諸錄尤可有沙汰

或云。大佛頂引云云、十卷抄銘同之

圖像 六四

一七

惠什云。金輪曼荼羅有三樣。私云。要略軌時
處軌說爲二
一畫須彌山大海山上坐大日印。上方

畫釋迦金輪。有七寶并二龍王云、件本
故範俊僧正大佛頂被借給候。而義範僧
都懸其佛被行金輪法歟。通用之歟。唐本
拜見不書其銘。仍不審也云、

七寶出生

(裏書二一七)

涅槃經十二云。取意過去世人壽無量時。
有王名善住。其王爲童子身太子治事。及
登王位各八萬四千歲時。王頂上生一肉

疱。其疱柔軟如兜羅綿。漸々增長。○滿
十月。疱即開割。生一童子。其形端正奇異
○人中第一。見王歡喜。字之頂生。時善住
王即以國事委付頂生。棄捨宮殿妻子眷

屬。入山學道。滿八萬四千歲。爾時頂生於
十五日處在高樓。沐浴受齋。於東方有金

輪寶。千輪寶。是念我昔曾聞五通仙說。若利王於十
生王作是念。我昔曾聞五通仙說。若利王於十

五日處在高樓沐浴受齋。若有金輪千幅不滅。殺輪具
足。非工匠造。自然成就。而來應者。當知是王即當得作
轉輪聖帝。復作是念。我今當誠。即以左手摩此輪寶。右
執香爐。右膝著地。而發誓願言。是金輪若實不虛。如過
去轉輪聖王所行道。作是誓言。已足金輪寶。我今當
遍十方。已還來住在頂生左手。爾時頂生心生歡喜。踊
躍無量。復作是言。
我今定當作轉輪王

其後不久復有像寶。狀貌端嚴如白蓮。七
枝柱地。頂生見已。復作是念。○是白象寶
從且至夕

其後不久復有象寶。狀貌端嚴如白蓮。七枝柱
地。頂生見已。復作是念。○
是白象寶。從且至夕。周遍八方。盡大海際。還住本處。爾
時頂生心大歡喜。踊躍無量。復作是言。我今定是轉輪
聖王。私云。昔

其後不久次有馬寶。其色紺藍。距尾令色。○是
方盡大海際。還住本處。爾時頂生大歡喜。
踊躍無量。我今定是轉輪聖王。昔事略之

不久復有女寶

形容端正。微妙第一。不長不短。不
黑不白。蓮花其目。遠視見一由旬。其口開。身如香。口氣
清香。廣大出能覆面。形色細薄。如赤銅。葉心聰。微。有
安樂病患。諸衆生常有濡語。以手觸王衣時。即知王身
心。即是女寶

其後不久於王宮內自然有寶摩尼珠。純
瑠璃大如人。照能於闇中照。一由旬。勿過此。大雨不令
下。過○得此寶

不久有主藏臣。自然而出。多饒財寶。巨富無量。庫藏
之。爾時頂生微見一切地中。所有伏藏。隨王所念。皆
今欲得珍異之寶。藏臣聞已。即以兩手。繞大海。隨王意。我
指頭出十寶。藏臣以奉聖王。而白王言。父王所須。隨意用
之。其餘在者。當投大海。爾時頂生心大
歡喜。踊躍無量。○我今定是轉輪王

其後不久有主兵臣。自然而出。勇健猛略。策謀
其則現聖者。若不退。不令現。未推伏者。能摧伏。已
摧伏者。知定是轉輪王。文

小野口傳云。輪寶者。金輪具千幅自東來。象寶者。自南來。有六牙。金銀交飾。飛虛空。馬寶者。自西來。毛青尾朱行不移。動飛虛空。珠寶者。如意珠也。自東來。八角四面有火光。長一尺六寸。或云三肘女寶者。王女端正。面如桃花。王左右不失時節。主藏寶居。出身體紅色。得天眼通。兵寶四兵自然來。如此寶。輪王出現共有命終一時滅文。

寶積經。菩薩摩訶薩。為轉輪王。威加四域。以法治世。名為法王。七寶來應。皆悉成就。所謂輪寶。象寶。馬寶。女寶。末尼珠寶。主家藏寶。主兵臣寶。千子滿足文。

勤行門

先跡
後三條院御願。仁和寺圓宗寺金堂安置金輪。恒例歲末也。御修法被修之云。
金寶抄意云。圓宗寺御修法。三寶院權僧正令勤仕給歟。
(裏書二一八)

四種法事

時處軌云。若有本尊像。室內而西。安瑜伽者。面東。每初入道場。想佛常住世。以五輪著地。加教歸命禮云。
一字頂輪王經五云。欲得敬愛成就者。白芥子和油麻油。三時護摩。滿一七日。則得羅惹及大小王。皆得敬愛云。
又云。欲令婆羅門敬愛。取白花護摩。赤花利利黃花。昆舍里花。輪陀羅。以鹽糞婦人。以摩沙婆羅門小豆云。

師云。金輪法修也。與小野說也。

金寶抄云。立往生所望天變可行云。或云。求兒易產。又帝位立后行云。或抄云。日月星辰之凶害事。偏此尊本誓云。

齋然法橋。請來胎藏軌云。金輪王流出諸星曜宿之故。星宿曼荼羅中央置金輪云。

寒祈

決疑抄云。平治元年冬。依不寒不水居祈。仍一長者。寬遍僧正奉修金輪法。修中寒氣殊甚。水室重疊。靈驗顯然也云。

間。今為居水令修金輪法。條如何。或人答云。金輪即表輪王。今水不居者。王

法劣時也。依之為令殊勝。王報修金輪王法。欺世間國王云。金輪聖王者。借輪王號也。修輪王法。令增長王報條。尤有道理。或云。五卷經四季調有文。云可引。或人云。金輪寬遍年來本尊云。

請書
被輪旨云。自去年冬。天氣和暖。宛如春節。時節反逆。是七難之其一也。依之付主水司自處。水室所訴申也。早任先例。自來十九日。修一字金輪祕法。寒風更扇。水室重疊之山。可被祈請之狀。執達如件。

謹請

(裏書二二〇)

宣旨事
正月 日
某

右四序代謝。著往寒來。是則天然之理也。而小僧雖假名於密宗。非智非行。今奉嚴重之御祈。難顯効驗歟。雖然。百皇之御運未盡。三寶冥助。猶新若凝。信心致祈。請者何無感應乎。輪旨難遁。不能固辭。仍自來十九日。可令修金輪法之狀。謹所請如件。

支度

(裏書二二一)

於白河之押小路。御所三七日被行之。自七月二日始。奉行別當顯賴云。

摩支度。同之作。僧無之。

注進

一字金輪御修法支度事

蘇蜜 名香沈

五寶 金。銀。瑠璃。琥珀。真珠

五香 沈。薰陸。白檀。丁香。龍腦

五藥 檳榔子。遠志。人參。桂心。甘草

五穀 稻穀。胡麻。大麥。小麥。菽豆

壇一面 桶在爐 脇机二前 燈臺四本

禮盤一脚 桶在牛 壇敷布一段

自餘雜具等 如已上

阿闍梨 伴僧 承仕 驅仕 見丁

淨衣 白色

右注進如件

長承三年七月一日 阿闍梨權少僧都寬信

壇莊嚴

實勝內供云。此法用二壇云。

時處軌云

證據有之
尤有與敵

法務云餘尊法行時一字金打後用此
印言文
（裏書二二七）

又傳

智拳印

小野十七秘法云左手面向心為異文
成就院傳同之
師云金剛大日羯磨印云

時處軌云

智拳印所謂 中小名握撮
頭指柱大背 金剛拳乃成
右握左頭指 一節面當心
三密機相應 自身同本尊
成佛猶不難 故名覺勝印
設現造無量 極重諸罪障
必能超惡趣 尅疾證菩提
堅固不散失 能成一切印
右執左頭指 十方刹土中
唯有一佛乘 如來之頂法
等持諸佛體 是故名智拳

真言
歸命云

私云智拳印亦用事本文不分明也軌
文云呪次智拳印并勝身印說次僕欠
言說也
金寶抄云三寶院權僧正用智拳印義
範傳也大教院僧
都同之

又說

根本印 小野傳
傳授集云根本印文
法務為羽院注進

口云內縛二火立如劍形二風屈二節二
大指竝立押二風文
要略軌意歟口傳與
本文等二頭小違也

要略念誦法云結本尊印即前辨事佛頂
印以二輪普豎二蓋平屈兩節頭相跼於
二輪甲上當心誦真言七返或一百返加
持身五處與本尊為一體○陀羅尼曰云
呪如前云言說頂事佛
頂印佛部心印二中劍
形文

佛眼軌文全同也

彼軌云一字頂輪王印加持身五處一切
惡鬼不敢近文

金輪同用法云大日劍合掌以左右二無名
印全同

二小指右押左相又入掌中二中指直豎
屈第一節頭相柱如劍形二大指竝豎直

申二頭指平屈押二大指甲相跼名頂輪
王根本印頌曰

此印摩訶印 所謂如來頂
適機結作之 即同於世尊

真言劍印出之
劍印用法并

金寶抄云真言加句究竟結說也

囊莫三滿多母默南引唵

若有祈請所求事於此應加孔雀王陀羅尼

部嚕唵三合
文

口傳云
唯摩廣引羅引訖關二帝悉姓名所求加句等

若以尋常持念一字頂輪王真言須別孔
雀明王真言亦須別誦此加句法親於阿

闍梨所以口傳授之修瑜伽者知耳文

此事出通一切佛頂軌又出真言集小
野傳大師御本歟
已上注法務記也

又印言

法務云內縛為祕尤秘印云

外縛豎二中指劍形以二頭指押二中指
上節二大指右押左云

真言

云

金寶抄云金剛界五佛灌頂之中遍照尊印也與然
闍梨云三昧耶會大日印也大日劍印小異也云

劍印云二手合掌屈二頭指中節橫相跼
以二大母指並押二頭指上節如劍形云

又傳醍醐顯果已講

種三如常

印言用三種

先智拳印有口傳

真言

歸命云

次勝身印

真言曰

梵字出勝初瑜伽軌
唯僕引欠漢字出金輪時處軌

步無量壽

時處軌云此毘盧遮那三字密言共一字

無異云

金剛薩埵軌云名毘盧舍那真言云

無量壽軌云如來拳真言由結此印及○
此真言加持威力故即變世界成極樂刹

土文

胎藏青龍軌云。名地神持次第眞言云。十一面軌云。名淨地眞言云。不空三藏菩提心戒威儀并大師三昧耶戒序名三歸眞言文。

已上二印言大日金輪也。出時處軌次根本印。

前小野第三印也。出要略軌隨身印云。

眞言

一切佛菩薩呪用之

已上三箇印明本

道場觀集第二同

壇上有香水海。中有妙高山。頂有白色蓮花。一葉上右旋布烈輪王七寶輪。

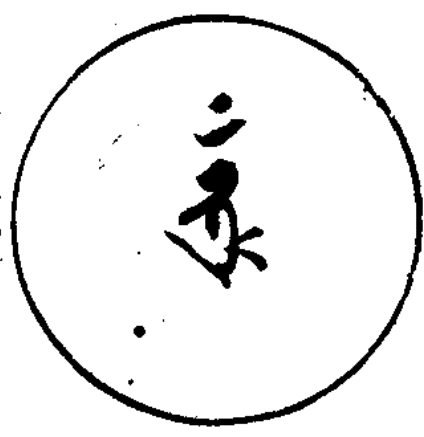
兵主殿中臺有勃嚨唵字。則爲輪。變成

大日如來一字頂輪王。前第八葉想佛眼尊。十佛頂眷屬圍繞文。



傳受集第二有之

寂圖傳彼集云。此字輪觀無本說。但先師被書異本。仍後日書加之。



傳受集三說賢覺用之

軌云。思惟其字義。諸法本無壞。無塵亦無染。清淨如虛空。如是順逆可觀文。

或傳用

勸請句小野

一字金輪轉輪王 八大佛頂諸輪王

發願句小野

本尊聖者 一字金輪 八大佛頂

諸大轉輪

禮佛句小野

南無一字金輪佛頂 三反餘如常

或梵號

金寶抄云。三寶院傳云。

又傳集第二四句。梵號有略之

實任云。五大尊梵號用之云。

正念誦

歸命

金寶抄云。加用呪云。或云千返

散念誦

佛眼 孔雀 本尊 光聚 白傘

伴僧呪

歸命

讚 四智 實勝云。不動

後加持呪

用辨事佛頂呪

婆訶

小野云。辨事佛頂呪

傳受集四云。加歸命句誦之云。

金寶抄云。權僧正圓宗寺御修法本呪

被用云。

又賢覺 聖賢同之

或云。醍醐流用大佛頂小呪。恒爾他言文

結果

勝身印

實勝云。辨事佛頂印

內縛二大入掌。二中指立如劍形。順逆

旋轉。心成結果。破一切佛頂天龍八部

怖走

同說云。辨事軍荼利文

又云。教令輪無能勝文

七寶之中主兵神是也。故大僧正降三

世吉也文

三官法印說云。

護摩

初火大段 如常

次本尊段

實任云五佛頂本尊段修太古祕事文
或孔雀明王七曜加供云

次部主段

孔雀明王

加持物加句呪文法務傳。小野祕說可祕藏也

又佛眼

普通習

又金界大日

嚴覺說 實勝云孔雀非說大日爲好
亮惠同 實任云祿藏大日爲部主

又准胝文

又愛染王 實任傳
聖賢云系大事文

次諸尊段

八大佛頂

小野以普通佛頂明可供云
實任云十佛頂用文
八大佛頂加大日金輪釋迦金輪也

或五佛頂 頂用五佛
又三十七尊金寶抄

實任云供四大明王文

又云無能勝可供文

次施天段 如常

聖賢云此段是宿之之後可供七寶文

卷數

（裏書二三二）

依宇治入道殿下仰慈左府所三七箇日被修
之作卷數大略同之御手整理明房但謹摩也
一字金輪御修法所

奉供

大壇供六十三箇度

護摩供六十三箇度

諸神供九箇度

奉念

佛眼眞言二萬五千返

孔雀王眞言六萬三千返

本尊眞言一百二十萬返

白傘蓋佛頂眞言六千三百返

光聚佛頂眞言六千三百返

高勝佛頂眞言六千三百返

勝佛頂眞言六千三百返

不動眞言六千三百返

大日眞言一萬九千返

右奉爲 太上天皇御息災安穩增長寶

壽御願圓滿始日今月四日迄至今日并

三七箇日夜之間率六口伴僧殊致精誠

奉修如右

長承三年七月二十五日

阿闍梨權少僧都法眼和尚位寬信

結願作法

先書卷數一通付枝本尊左立之案文一

通書行者左机置之又佛布施同机可置

供養法如常但前方便祈願等無之後供

養之燒香次供佛布施

次闍伽 次取念珠打金二

讚卷數案金一打

申事由自餘 如常

（裏書二三三）

自文治四年正月一日觀音寺始之同年

夏比於高野山東別所撰集功了爲興

隆撰之後葉莫咲

建久五年七月二十二日書寫了

佛子覺禪

實勝云金輪大佛頂法同樣行也

或云同法云即大師御傳云

大陀羅尼不讀也

師云予實任受法最初以金輪法被授

了仍承安三年十一月一日於觀音寺

最初奉習今法了由緒可尋轉輪聖王

法故歟

正行時慈尊院作次第可見也灌頂

加行百箇日護摩勤仕件時彼次第

申請也

（裏書二三四）

右依令舊損加修補札缺闕了是偏傳

淨土院室之薪耳

權僧正賢賀 七歲

時元文四年九月十六日

裏書二〇八

頂輪王大曼荼羅儀軌一卷

沙門吉祥集譯請來可尋

金輪王通諸佛頂念誦 實覺抄引

頂輪王經義釋五帖安然

裏書二〇九

小野勸請集云一字軌云光明心者

菩提心也文

裏書二一〇

奇特佛頂經二云嬰孩爲魅所持以

樺皮上書一字頂輪眞言繫頂下即

驗文

法性寺殿下以俗體令行今法被尋
俊寬闡梨云金輪功能可離惡趣有
文乎答無之云

源運云

日月蝕時以孔雀尾對金輪
像前供養誦真言加持孔雀尾以手
把揮曜能現種種幻化被毒中者令
蘇能成辨種種事等文

金輪佛眼同體事

瑜祇經云從一切支分出生十凝識
沙俱抵佛一一佛皆作禮敬本所出
生於利那間一時化作一字頂輪王
皆執輪印頂放光明偈傲目視大神
通還來禮敬本所出生一切佛母文
理智冥合事

亮口云勝身印理法身也成五智故
理智冥合也

又云三寶印也又具一切如
來身口意三密功德佛頂身最上頂
也故功德勝諸佛威力超諸尊依之
諸佛閱絕諸呪隱沒然誦佛眼呪威
光如本文

時處軌云作前智拳誦一字密語身
觀如前心月輪現一字金色舌端
亦如是則是字爲輪其輪爲轉輪
口云智拳印也又二印理智習事
可有云

又云三字頂口意三處布之

文

文云又一切如來同一聚密合成此
法身更無有二相

私云餘尊是一三摩地所變或一相
或一好所變也

自性身又法界身
受用身又佛口通

意金輪也合衆即淨

身上相好舌功能教法

心本誓之吾我也同聲也

舌所作真言故加身口意空點

佛眼金輪呪加用事

菩提場一字頂輪王經云出佛眼若佛
頂真言不得成就彼應以此大明妃
真言相和誦之決定有大應驗速疾
成就文

亮惠云奪餘尊威力時用要略念誦
事文

金輪不被罰法 佛眼真言 又大
三昧耶印言

軍荼利軌云結大三昧耶印○印言
由此印密言加持故如金輪王等佛

頂經說○五百由旬文

又云若結此大界設隣近持誦頂輪
王人不能阻礙不奪威力所持餘部
密言皆速得成就文

金輪呪止他軍事

奇特佛頂經二云一字頂輪王真言
加呬字能禁止他軍文

雜抄云鳩鳥入海泉若河時其中大
小有情皆死此鳥毒勝餘鳥故也若
犀角入水時有情皆蘇生此用藥力
強故文

一字功能處何況如來呪力乎

實勝云今所修大日金輪也文

小野抄云金輪佛頂定印上有輪
金輪○不可金輪金色身戴五佛
冠仰左掌當心於輪右施無畏文

形像 二二五

胎藏圖云黃色左手取蓮花上有金
輪右手屈水火立地風空當胸坐赤
蓮花文

尊勝軌上云畫最勝佛頂戴五佛冠
○右手持蓮花上安八輻寶輪光焰
圍繞○左手揚掌文

陀羅尼集經十二云第三坐主名釋
迦金輪佛頂文

七師子事 二一六

七覺住故坐七師子寶座又七覺寶
皆師子王義歟

光種子金輪光中金輪種子左右八
大佛頂種子出云

圖像 六五

疑問云。如此圖者。以七寶更置何處耶。若又不畫七寶。唯圖佛眼。八尊者偏違餘軌說云何。若御披軌文字脫落歟。依流布本。以朱加九箇字也。邪正自顯歟。但御所覽軌證文若有垂示其文
右圖

圖像 六六

和泉殿五宮大御室紫金臺寺金輪安置後仁和寺被渡文
又曼茶羅私云有異儀

圖像 二一七

七寶本地寶覺 輪因普珠寶善 女愛善
象普寶 馬光善 藏護善 兵無能
七寶種子亮惠 女等藏

七寶次第相違

略念誦法云。輪象馬珠女主藏主兵

時處軌云。輪珠女馬象主藏兵小野付此說

圖像 二一八

圓宗修法事

私問。圓宗寺金輪御修法年始歲末何乎

或人答云。年越行之見不知定說

問。古記年始云。如何答。古卷數。永保二年十二月二十八日云。

圖像 二一九

息災增益事
亮惠云。轉輪聖王。サタハラハマ言。以四事。顯
涅槃經見一字金輪。一字言。以息災等四事。顯云。
寬祐云。佛頂法皆增益行云。
儀軌云。磨白檀香泥。拭曼茶羅。方圓隨大小羅列諸星位云。
又云。有本尊像。室內面西安。瑜伽者面東云。可通息災增益

圖像 二二〇

住臨終正念事

一字金輪印明

二手內縛二中指合立端如劍形。二大指直立其端二頭指如此印言。是三身印一印也。空風法身。中指報身。水地應身也。呪誦此呪處。於四方面五百驛內一切惡鬼皆馳散云。臨命終時。念阿彌陀佛。欲生極樂心。數々散亂。佛法不現前。誦一字呪明。王本誓助行者心。令住正念。令生彼界云。
弘法大師爲法成就修此法耳。已上實在
雜抄云。一字呪前不成就法門一時成就。若人命終時。念彌陀佛。欲生極

樂淨土。心不散亂得生。又佛法不現在前者。誦一字呪者。明王誓助行者心住正念。生彼界文
智拳印云

圖像 二二一

修法異說

仁和寺古支度。五穀等次。蘇蜜。書。又佛供覆有之。
又醍醐賢覺支度。初五色糸三丈五尺。又壇敷。次芥子袋。佛供覆半段。長櫃一合云。
注進

一字金輪供支度事

合

蘇蜜 名香 沈

壇一面 五三寸 脇机一前

燈臺二本 半疊一枚

壇供米三石五斗

御明油三升五合

阿闍梨 承仕一人 駢仕一人

淨衣白色

右注進如件

年 月 日 某

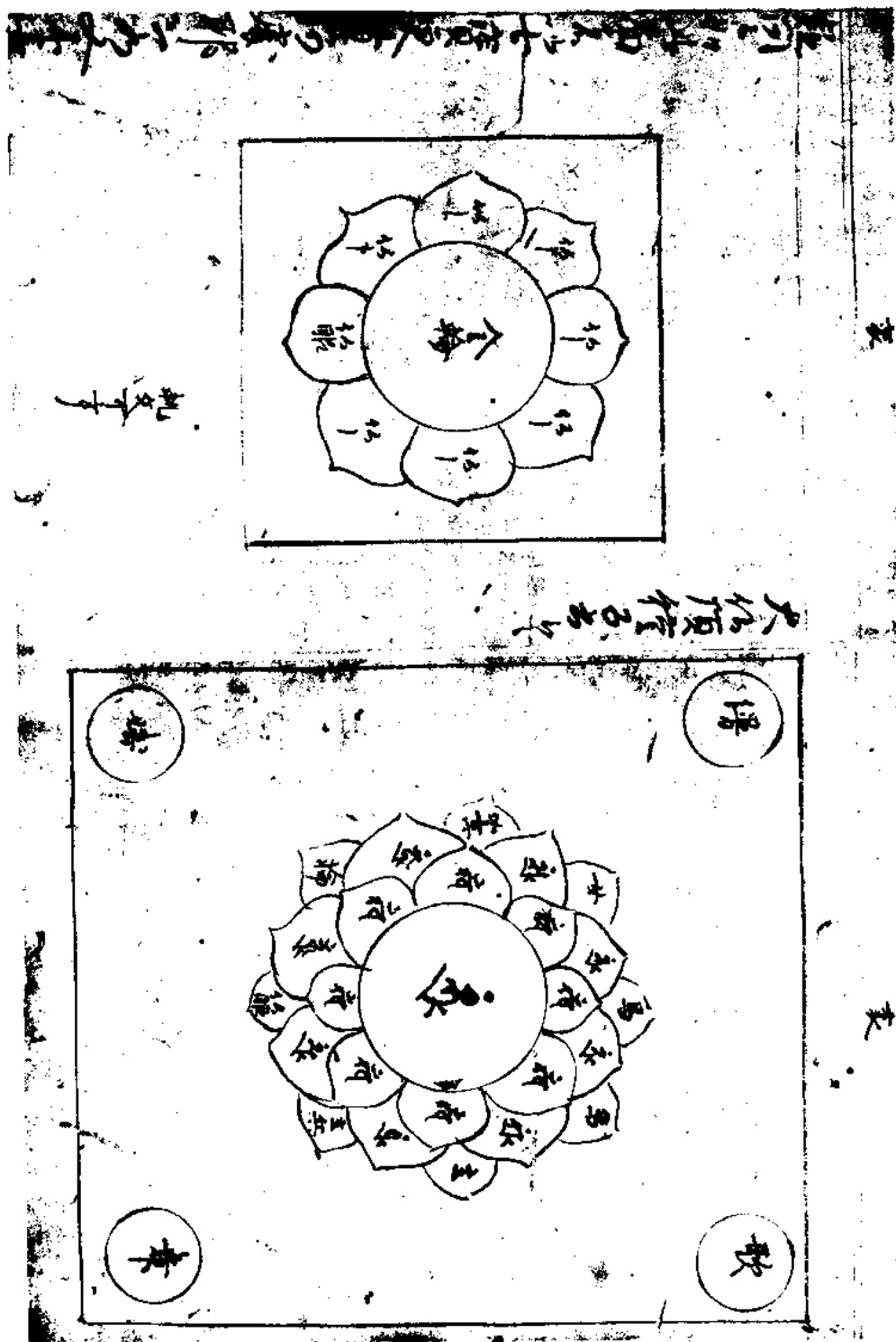
圖像 二二二

集聯 一字軌文。加持物。胡麻。總十七持。誦人先坐。持等。御跌半膝云。

圖像 二二三

坐事

亮惠次第云。坐如前全跏。或作輪王



圖像 No. 65. 一字金輪曼荼羅(其四) 圖像 No. 66. 一字金輪曼荼羅(其五)

座交脚或垂一乃至獨膝豎輪王三種坐或作普賢跏左掌承右眼右跌鎮左趾
勸請集云小野一字軌云持誦人先座茅草是也云

表白

一字頂輪王者舍那心地之秘要如來肉髻之法文也字雖多含唯有一乘爲本頂是尊勝義圓滿諸佛頂折輪王是統化自在之號攝化衆生轉正法輪猶如世間輪王自在四州無邊福聚轍轡深奧也身色如月威光逾日照無餘之有情以眞珠頗梨爲瓔珞以琉璃沙鼓爲衣服八幅花輪現光常轉法輪八大佛頂旋座悉仰威光然者輪實伏千里魔界遙退珠寶雨萬法一門豐依之增福延命悉地成就無疑已上

表白

私云大日法身也永釋迦應身也實通云十二輪總後傳云四合字也
三形事
瑜祇經云前葉畫一切佛頂王手持八幅金剛寶輪文
奇特佛頂經一云結印安於頂即想十二幅金輪文

表白

佛地經云有五種法攝大覺地所謂

清淨法界大圓鏡智平等性智妙觀察智成所作智
唯識論號眞淨法界此軌號虛空法界身云

表白

一字言與佛眼言加句源運僧都

佛眼呢加一字言樣

一字明加佛眼呢

自下至于其印亦覺也

佛部百字結三昧耶

成就院僧正云一切法一字眞言畢誦是成就義也云

有功眞言事

三密房來語云有抄物云寺弘法

大師御卷數載有功眞言云

者一字金輪眞言也云

表白

本尊印

此印大佛頂念誦法有之宗大事云

二手合二頭寶形二大竝立

口云二大寶幢也二頭指如意寶思

無量無邊甘露雨思也

種眞言

又智拳印

又上實任

又說

左右作拳中風指左拳中入右拳頭

指即成

眞言曰

唵吽惹三摩上佐

依或祕書抄之頗密印階合少有相違可尋之云

又無所不至用之云

又本尊加持

次七寶印明可用之云

理明房可隨人云私云印明可尋

又傳

或祕書云一字金輪最極祕印可用本

手虛空合掌以二頭指入於掌中以

二大指押之結是根本一字心密印

安於心前從印出生十種識沙俱抵

微塵數佛刹被圍繞莊嚴云

眞言曰

歸命一

又說

本尊印

內縛二中寶形或輪形云

又云佛慈護印言金輪并孔雀明王

印言也云

十佛頂印事

十指上各觀十佛頂種子

可

可

可

可

左中指 左名指 左小指

已上各種子了加沒駄々句也

歸命赤不_{見除}

歸命赤不_{今中者迷}

歸命赤不_{行不}

已上聖賢閣梨

加用印

大三昧印_{實任說}

一字法結大三昧印加持本尊云

口云今法殊勝故佛菩薩不安穩也

仍用此印施主行者安穩也云

五佛頂印_{加本尊}

光聚佛頂印_{理明房}

地水入掌勿紋二火堅合二風付火

背二空竝豎

眞言曰

曇莫三滿多沒駄引南引世陵_{二帝}

白傘蓋佛頂印

定掌覆如蓋惠拳舒風指柱定掌也

傘蓋之印

眞言曰

曇莫三滿多沒駄引南引吒嚕_{二合}

瑟尼灑婆縛_{二賀引}

勝佛頂印

大惠刀印眞言曰

曇莫三曼多沒駄引南引苦惹欲郎

瑟尼灑婆縛_{二賀引}

道場觀要事

傳受集三云器界觀如常宮殿如常

次結如來拳印

花日輪等云

同集四云形服如素月戴金剛寶

冠輪變爲首飾持智拳大印

一字金輪遍照尊

八大佛頂諸轉輪寶覺

或云最勝佛頂轉輪王云

仁和寺傳

佛眼大日 本尊 不動 降三世 護摩

賢覺云散念誦可加用八字文殊并

無能勝眞言云

傳受集三云佛眼次本尊例一字之

處一切佛菩薩眞言云

法務云此事見五卷經永林院

一切佛菩薩呪

或云報身眞言云

實勝云用胎藏大日眞言快解說

金寶抄云三寶院權僧正金剛界大

日眞言云尋源閣梨同之

或云大日與金輪同故也云

又前御室如例只一字呪也

顯果云大阿闍梨例一字處小呪用

之祕事也云

一字後觀

或口傳云一字金打之後我心月

上觀眞字月輪成月輪上有字蓮

上金輪種子三形觀吾身金輪成觀

次金輪印結誦眞言云

供卷數

左大臣殿所卷數大略同之惡左府也

一字金輪供所

奉供

供養法一百七十七箇度

奉念

佛眼眞言一萬七千七百返

孔雀明王眞言十七萬七千返

本尊眞言十七萬七千返

辨事佛頂眞言_{左府卷}

光聚佛頂眞言一萬七千七百返

白傘蓋佛頂眞言一萬七千七百返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

返

廣生佛頂眞言一萬七千七百返

勝佛頂真言一萬七千七百返

不動真言一萬七千七百返

大日真言一萬七千七百返

右奉爲 儲武殿下御息災安穩增

長寶壽御願圓滿。始自九月九日至

于今日并五十九箇日夜之間。殊致

精誠奉修如右

永治元年十一月八日

阿闍梨前少僧都寬信

奉修

大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

諸神供三箇度

奉念

佛眼真言三千九百返

大日真言一萬八千九百返

一字金輪真言一十八萬九千返

藥師真言一萬八千九百返

延命真言一萬八千九百返

不動真言一萬八千九百返

護摩真言一千一百返

右奉爲

聖朝安穩增長寶壽兼天下安樂萬

民豐樂。始自今月二十一日至于同

二十八日七箇日夜之間。率八口僧

侶殊致精誠奉修如件

永保二年十二月二十八日
行事威儀師傳燈大法師恩紹

阿闍梨僧正法印大和尚

極略念誦事

時處軌云。先結智拳印。即勝身加持。

次陳供養儀。但作智拳印。誦密言七

三。執珠記數。百八未滿。中間不語。要

語了於舌上縱語不爲間。或結勝身

念誦亦得。支分皆不闕。結智拳能攝

諸如來入住愛隨順。勝身印以結

一印時。一切已成。十方三世佛所說

密印盡在此中。又一切如來同一聚

密合成此一法身。更無有二相。諸佛

皆隨喜菩薩盛敬奉。天龍人非人攝

伏而歸命。由如是義故不待諸印助。

一成一切印文

〔義書〕二三四

五種印明

智拳印 勝身印

根本印 內轉中指劍形欠

總相明 內轉中指劍形欠

一字心 歸命寶塔印

已上聖賢流也。用否如何

覺禪鈔 請雨法上

請雨經法

一支度

注進

請雨經御修法一

合

一。大壇所

佛御服衣料青色絹一疋 張料三疋

青色幡四十一流 一洗長一丈六尺十二尺 各一丈二十八尺各五尺

五寶 金銀琉璃真珠水精

五香 安息薰陸白檀蘇合龍腦

五藥 人參伏苓天門冬甘草白芥子

蘇七合 蜜七合

大壇一面 禮盤一基 燈台四本

脇机二前 壇敷布一端

青瓷瓶十口 三升納

同大鉢三十二 盤五十六

袖二斗五升 米十石五斗 經机十前

阿闍梨一口 伴僧二十口 承仕二人

駝仕四人 見丁一人 淨衣青色

一。護摩壇所

壇一面 布一端 壇敷料

禮盤一基 脇机二脚

油一斗五升 米八石四斗

一。十二天壇

壇一面 燈臺二本

油七升 米二石一斗

一。聖天壇

壇一面 燈臺二本

油七升 米二石五斗

右注進如件

康平八年六月十三日

行事 大法師如眞

阿闍梨大法師成尊

追申加事

護摩壇

見丁一人

白膠木 乳木料 代楞木 奴天之木 一丈六尺 十二本一丈六尺

幡竿十三本 十二本一丈六尺

青幕 大袈裟

已上見于闍梨書狀行事藏人賴仲記

等

永久五年勝覺僧都支度

一大幡一流 相具一丈 五尺棒

八尺青幡二十八流 相具一丈 棒十二

六尺青幡十二流 相具一丈 棒十二

名香 白檀 沉香 水磨 大豆 胡麻 稻穀

五穀 大豆 胡麻 稻穀

金青七兩

紺布三端 壇敷料 大壇一、護摩、

半疊四枚 燈臺十本 紺幕一帖

青瓷瓶十四 蠟燭料布 佛供覆布

行事一人 承仕四人

駝仕八人 見丁二人

自餘大略同前仍不注加之

處、所課

五寶 五香 五藥 從御前下給

淨衣幡料絹 從納殿下給

御佛御服衣 內藏寮所進

青幕 大藏省所進

青瓷瓶鉢 內藏寮所進

米油 從御前所下給

乳木檼花 召仰見丁

經机 召仰見丁 所課青色

已上見于康平八記

一壇場 付堂莊殿

大雲經祈雨壇法云。若天亢旱時。欲祈請

雨者。於露地作壇除去瓦礫及諸穢物張

設青幕。香泥塗拭作一方壇云。

大雲輪請雨經下云。那連提耶。若天旱時。欲

請雨者。當露地實淨土上除去沙礫無

諸蘗草。方十二步以爲道場中起壇。譬方

十步壇高一尺。用秦牛糞取新淨者。周匝

塗壇。於壇處內施一高座。上敷設新青

淨褥。張新青帳云。

下文云。昇高座時。先禮十方一切諸佛

私云。高座歟。呪師座歟

大雲經請雨品六十四云。若請大雨及止

雨法。於室露地應張青帳懸十青幡淨

治其地。牛糞塗壇。請誦呪師座青座上云。

陀羅尼集經第十一云。祈雨。若欲乞雨可

就國中四望勝地。及好地泉有龍之處。近

其地側修理平淨方面。各取正五十步。著

淨衣服。置立道場。當中心作十二吋壇

八肘又得其壇四方皆將皂布幕幃繞之上方亦覆於其幕內多懸皂幃又以色粉過四畔其壇界畔唯作一重而開四門云

門戶事

集經云其壇前畔唯作一重而開四門云

除文如上

又云若欲出入來去之時皆從西門出入來去其餘三門不得輒入幃幕以外四門各別而開一門別各懸雜色幃門別張幕多數氍毹供給香油飲食臥具又請有德有行精進衆僧及白淨齋香湯洗浴著新淨衣入幃之內轉大雲經孔雀王經大雲輪經六時過壇行道禮拜助祈雨人云今案壇四方以皂幕幃繞之而開西門幃幕以外又開四門上是壇場四門幃幕以外四門呪師等宿房歟文意之師口云教從西門出入來去餘三門不得輒入者如何

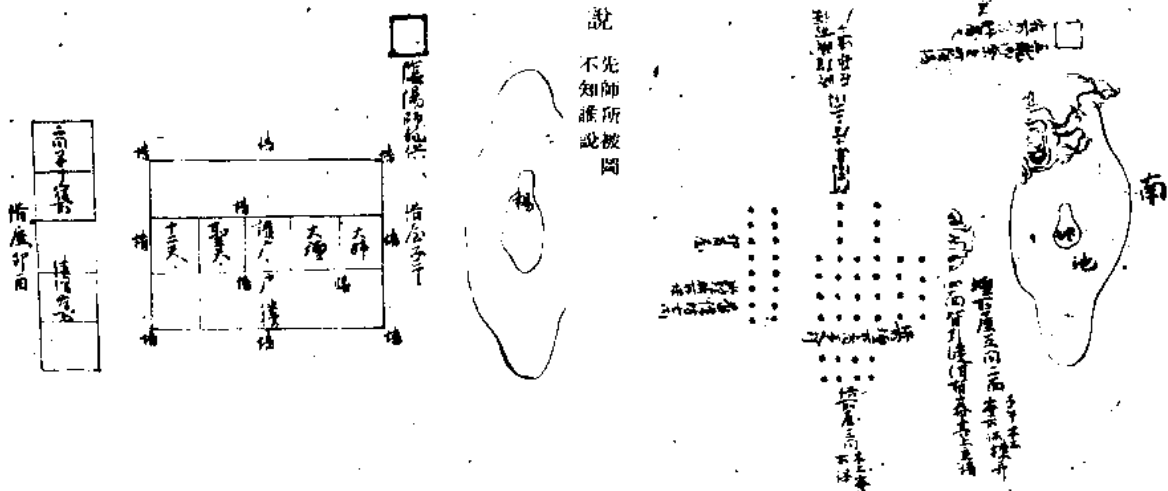
答依龍方者也云

神泉假屋事

康平八丁成尊閣一様彼書狀云人許假屋四字可候也一字五間二面壇所一字三間阿闍梨宿所一字七間番僧宿所一字三間供所也壇所假屋子午可立給僧房者壇所北與東可候供所者壇所西方爾五丈計相去可令作給也壇所云上井四面純以青幕可令蓋過給

有說

先師所被問不知誰說



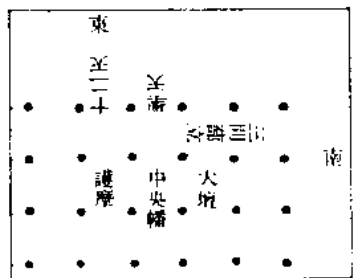
有說

覺意僧都傳濟延上綱二四字說歟

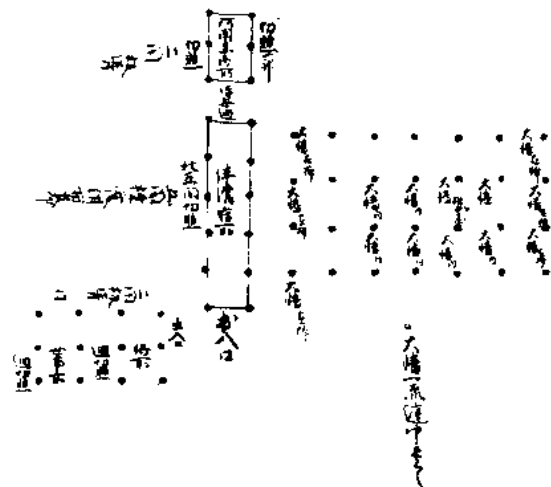
卯酉借屋五間三面也以青幕四方并屋上等引張西端三間壇南北底伴僧座東端母庇等阿闍梨宿所也總以青幃每間數立屋上幃長八九尺計也云壇所作卯酉條異于常說亦同之

寂圓入道說

永保二年範俊阿闍梨様



南
學
東
南
高
株
有
而
皆
利
和
容



佛帳事

已上兩說以佛言注之定有相違歟不可爲指前

康平八一支度云。帳料絹三疋云。
同。園梨書狀云。佛御帳絹三疋。早々可給云。

私亭云。如此說者。假屋之內。又作佛帳。
見
本文。又近代作法。無之。如何。
畫曼多羅事。

覺禪鈔卷第十九（請雨法上）

大雲經祈雨壇法云。於壇中畫七寶水池。中畫海龍王宮於龍宮中有釋迦如來住說法相。佛右畫觀自在菩薩。佛左畫金剛手菩薩等侍衛。於佛前右畫三千大千世界主輪蓋輪蓋龍王。佛前左畫難陀跋難陀二龍王。於壇四方用瞿摩夷汁各畫一龍王。於東方畫一龍王。一身三頭。量長三肘。并脊屬圍繞。又南方畫一龍王。一身五頭。量長五肘。并諸眷屬。又於四方畫一龍王。一身七頭。量長七肘。并脊屬圍繞。於北方又畫一龍王。一身九頭。量長九肘。并脊屬圍繞。皆在雲霧黑雲中。半身已下如蛇形。尾在池中。半身已上如菩薩形。皆合掌從池涌出云。

大雲請雨經下云：「耶舍，從高座東量三肘外用牛糞汁畫作龍王。一身三頭。畫彼龍左右脊屬圍繞龍王。從高座南量五肘外畫作龍王。一身五頭。亦畫諸龍左右圍繞。從高座西量七肘外畫作龍王。一身七頭。亦畫諸龍左右圍繞。從高座北量九肘外畫作龍王。一身九頭。亦畫作龍左右圍繞。」云。

請雨品六十四云：「法座四面各用純新淨牛糞汁畫作龍形。東面去座三肘已外畫作龍形。一身三頭。并龍脊屬。南面去座五肘已外畫作龍形。一身五頭。并龍脊屬。西面去座七肘已外畫作龍形。一身七頭。并脊屬。北面去座九肘已外畫作龍形。一身九頭。并龍脊屬。」云。

集經云。壇之東門將以泥作一龍王身。長三肘。一身三首。其龍立地。龍身一肘在於壇內。二肘在外。次於南門。又以泥作一龍王身。長五肘。一身五首。其龍立地。龍身一肘在於壇內。四肘在外。次於西門。又以泥作一龍王身。量七肘。一身七首。龍身立地。龍身長一肘在於壇內。六肘在外。次於北門。又以泥作一龍王身。長九肘。一身九首。龍身立地。一肘在內。八肘在外。次壇中心。又以泥作一龍王身。長八肘。一身一首。龍頭向東云。

曼荼羅有兩種。一者大曼荼羅。龍宮之中畫釋迦觀自在金剛手輪蓋難陀等。二者數曼荼羅。畫五龍王云々。

數曼荼羅

圖像 六七

圖像
六八

師曰云谷本尊釋迦護摩本尊差大刀是龍勢伏者也云又云比丘形持長刀本尊但懸護摩壇大壇懸沙竭羅曼荼羅在經云

大雨



圖像 No. 67. 請雨經曼荼羅(其一)

教
曼
茶
羅



圖像 No. 68. 請雨經曼茶羅(其二)

當日畫曼荼羅事

康平閣梨書狀云。拂曉可參仕御佛明日可奉顯候。且可令召儲早筆之佛師給云。行事侍中記云。當日以佛師四五人相副。御服衣遣神泉云。

師口云。野曼荼羅當日圖繪。只墨繪也。如丹不用之。是如法故不用膠也云。

諸物青色事

祈雨壇法云。道場中所用物皆青色云。全云。又云。飲食菓子等。皆染作青色云。如下云。

師口云。佛供淨衣等。一切物皆用青色云。

座色事

請雨品六十四云。誦呪師坐青座上。云。全云。如上云。

天蓋事

師口云。野中央幡。○天蓋下懸之云。

幡事

祈雨壇法云。張設青幕。懸青幡十流云。成本無十流字。

請雨品六十四云。應張青帳懸十三幡云。請雨經下云。耶。四角各懸青幡七枚。

合二十八幡。各長一丈云。

私云。上文其壇四角安四花瓶云。文。大有此。

次文云。道場四門各置一香爐。文也。

集經云。於其幕內多懸青幡云。

康平八。一度云。青色幡四十一流。一丈六尺。十二。各一丈。

彼閣梨書狀云。幡只如常也。以青色爲異。

殺縫可令存略給。手足乃端。なとはそく。

ひして可令付給也云。

勝覺僧都支度云。一丈青幡一流。相具十丈。八尺青幡二十八。六尺青幡十二。相具一丈。

師口云。野幡十二流。中央長幡書金輪三。

摩耶形。輪也。件幡借屋內天蓋下懸之。其

幡長仍足末結上之。餘十二流以梵字書。

十二天眞言。此內八方天幡。長一丈。懸二。

丈計。棒。八方立之。梵天地天日。月。四。

幡。隨其尊位。借屋內立之。件幡等出。借屋。

上之云。

水久五年。勝覺修法。件長幡當壇所西。

庭中央立之。彼門跡人云。

有說云。二十八流。幡書二十八宿眞言云。

大教院傳云。借屋五間三面。○總以青幡。

每間數立。屋上幡長八九尺計也云。

其文如上。

問。本文等。或說幡十流。或說二十八流。

或唯多懸幡云。

師說之所。用四十一流。依何說乎。答。

安經事。付不斷經。

祈雨壇法云。案上置大雲經。於一切有情。

起大慈悲心。至誠精一切。佛菩薩加持。晝。

夜。虔誠讀此大雲經。或二人三人。乃至七。

人。更替讀誦。誦經聲不應間斷。

幕事。

師口云。野青色幔。釋迦像圖。迴下令降雨。

之件。體在小野。

祈雨壇法云。於壇四角置四清水瓶云。

請雨經下云。耶。其壇四角安四花瓶。各。

容三升。又以金精。或復石黛和水。令青。悉。

使瓶滿。種。草木諸雜花。藥。挿著瓶內。云。

私云。勝覺僧都支度。被申請。紺青七兩。

若此料歟。

請雨品六十四云。復以淨水。置新瓶中。安。

置四維云。

集經十一云。五龍王前。龍別各安一大瓦。

瓶。口。略之一。瓶。口中。滿著新花。○其壇。

四角。各別安一赤銅水罐。其罐。各受可一。

斗者。滿盛淨水。○其口。挿柳栢枝。竹枝。亦。

得。中用。○云。甚廣。

入換瓶水事。付。

請雨經下云。其菓。飲食。及以瓶水。日別使。

新。不得隔宿。師口云。理。每日。花瓶水。新入。

換之云。

諸供具事。

祈雨壇法云。隨其力分。飲食菓子等。皆染。

作青色。以懸淨心。布烈供養。燒香。散青色。

花云。

請雨經下云。那。道場。四門。各。置一大妙。

香爐。燒種。香。薰陸。沈水。蘇合。栴檀。及安。

息等云。

又云。燃蘇油燈。亦隨幡數。設諸新菓。蘇酪。

乳糜。安置四面云。

又云。諸龍王前。散花。燒香。勿令斷絕云。

請雨品六十四云。○供養一切諸佛。○隨。

其財。辨。作種。食。供養諸龍。後以香花。散。

道場中。及與四面云。

集經云。五龍王前各以種、餅菓飲食。一大瓦盤盛而供養。其食日別換新好者。作是壇法。乞雨之時。每日以煮五穀一石散施地上。鬼神等食云。

供物辨備時尅

請雨經下云。以晨朝日出時。施設供具。

一祈雨人作法

用心受戒

祈雨壇法云。祈雨之人。若是出家。必薊應其律儀。若俗士。應受八戒。○於一切有情起大慈悲心云。

又云。如下伴僧處抄之

請雨經下云。其請雨主。必於一切衆生等起慈悲心。若有比丘及比丘尼。必須戒行本來清淨。若會違犯。尼薩耆罪。乃至衆學皆須已前七日七夜。慙重悔。若在俗人。亦須於前七日七夜。日別須受八關齋戒。乃至請雨行道之日。悉須清淨。無得懈慢云。

又云。其誦呪者。於諸衆生。恒起慈心。勿生惡念。又願以此禮佛念誦及諸功德。迴施一切諸天龍王并及含識有形之類云。

請雨品六十四云。其請雨主。於一切衆生起慈悲心。受八戒齋。○誦呪師坐青座上。若在家。人受八戒齋。若比丘。應持禁戒云。

又云。其誦呪者。於一切衆生起慈悲心。勸請一切諸佛菩薩。憐愍加護。迴此功德。分施諸龍云。

尋云

請雨品請雨主與誦呪師各別也。請雨主者。檀越。誦呪師者。闍梨。餘譯其二人不明。如何可得文心乎。答云。如請雨品可有師壇兩人之別。能可見前後文。

師口云。野發大慈悲心。慈念一切衆生。應修此法。國王同發此心。令修者必有驗云。

沐浴事

祈雨壇法云。每日香湯沐浴云。

請雨經下云。那。讀經之日。一日三時。香湯沐浴。○若大小便。又須沐浴云。

集經十一云。香湯洗浴。○一上廁時。一度洗浴云。

淨衣事

祈雨壇法云。著新淨青衣云。

請雨經下三那。著新青衣云。

請雨品六十四云。皆著清淨衣云。

集經十一云。著新淨衣云。

燒香事

請雨品六十四云。燒好名香。又以末香散法師座云。

飲食事

祈雨壇法云。作法之時。喫三白食。

請雨經下云。持齋靜思。唯食蘇酪及乳糜等。粳米菓菜云。

請雨品六十四云。應食三種白淨之食。所謂牛乳酪及粳米云。

集經十一云。其作法人等。唯令得食乾秬米飯。秬米乳粥餅菓子等。不得喫菜云。

有人云。小野僧正八旬餘。修此法之時。斷食云。

同權僧正。奉仕之時。唯食乳。不食餘物。件乳每日召人。下。驚躍持來云。勝覺僧正持齋被行云。

伴僧事

祈雨壇法云。於一切有情起大慈悲心。至誠精。一佛菩薩。加晝夜虔誠讀此大雲經。或二人三人乃至七人。更替讀經。聲不應間斷云。餘文如上。

私云。此文唯說轉經僧衆。未必伴僧歟。

集經十一云。作法時。共八弟子伴。悉會經入都道場者。令人驅使。以外餘人不得輒入云。

師口云。教八弟子者。伴僧也。但諸說不同也云。

護摩師事

集經十一云。遣一呪師。坐於壇內。多燒雜香。至心誦呪。如是八人。更互入壇誦呪。不得令其壇內空虛。日夜誦呪。聲莫絕云。

師口云。教遣一呪師者。護摩阿闍梨也。云。

私云。此文未必見護摩師。可思之。

請衆僧事

集經十一云。又請有德有行衆僧。及自清齋。香湯洗浴。著新淨衣。入幃之內。轉大雲經。孔雀王經。大雲輪經。六時遶壇行道。拜禮助祈雨人云。餘文如上。

行儀作法

日時勘文事

陰陽寮勘申行事奏之云：

關梨參向事

當日拂曉關梨參向神泉苑令圖曼茶羅莊嚴壇場云：

普禮事

請雨經下云那昇高座時先禮十方一切諸佛燒香散花奉請十方一切諸佛諸大菩薩及以一切諸天龍王云：

增益修事

師口云野付增益修之增益配東、春方也草木萌時也故祈雨增益行之云：

結界有無事

集經云遣一呪師坐於壇內多燒雜香至心誦呪直護身作莫作結界云：

請雨經下云其誦呪人為護身故或呪淨水或呪白灰自心繼念以結場界或於一步乃至多步若水若灰用為界畔云：

請雨品六十四云其誦呪師應自護身或呪淨水或呪自灰自心憶念以結場界或盡一步乃至多步若水若灰用為界畔或呪續繫頸若手若足呪水灰時散灑頂上

若於額上應作是念有惡心者不得入此界場云：

師口云即不引五色糸不結界云：

先師云理趣房之說問申故權僧正範之處此說僻事也引五色結界云：

今勘本文兩經之說也不同歟

甘雨觀行事

大方等大雲經二三昧品大雲密藏菩薩摩

言○如來今日說此經藏即是衆生無盡之藏降大法雨所謂如來常住不變

三昧總持所言雲者謂諸菩薩摩訶也震大雷者謂破煩惱諸結業等電光明者

爲衆生故說有爲法無常無樂無我無淨有電者所謂此經能壞聲聞辟支佛心是

即名爲雨大法雨充飽衆生飽虛渴乏所謂如來常住不變是名甘雨云：

龍王印有五種出集經可見之

三世諸佛悉共宣說眞言

唵鳴俱隸一母俱隸二度帝尾度帝三

答只娑婆賀

若不降雨者有龍頭破作云：

出大方等大雲經但此功能不分明可考之

師口云教道場觀之時五龍之中至于中心龍王者釋迦前之云：

本尊事

觀音金剛部金剛手云：

本尊壇

印 袈裟印 專用鉢印 野設

諸尊壇

觀音 印言種三如常

金剛薩埵 印言種三如常

輪蓋印合掌

難陀等印如胎藏

世天壇

五龍印言 如胎藏

水天供事

永久五勝覺僧都御修法聖賢伴僧內修之非公家御沙汰私備供物是先例云：

神供

師口云野每日修之借屋南池側有大立石於伴處南向供之作法如常但十二天

中央勸請三千界龍王主輪蓋大龍王其左右請難陀跋難陀龍王云：

又說云丑寅泉神供云：

龍供

遺告云神泉園池邊御願修法祈雨靈驗其明上從殿上下至四元此池有龍王名善如元是無熱達池龍王類有慈爲人不

至害心以何知之御修法之比託人示之即敬眞言與旨從池中現形之時悉地

成就彼現形業宛如金色長八寸計蛇此金色蛇居在長九尺計蛇之頂也見此現

形弟子等實惠大德并眞濟眞雅眞紹賢惠眞曉眞然等也諸弟子等敢難覽者具

注言心奏聞內裏少時之間勅使和氣眞綱御幣種々色物供奉龍王眞言道崇從

爾彌起也若此池龍王移他界淺池減水

美天

美天

美天

美天

美天

美天

美天

美天

美天

美天

薄世乏人。方至此時。須不令知公家。私加祈願而已云。

師口云野 第五日於中嶋北向供之。其處

嶋辰巳子細在別紙

又說谷嶋戌亥有坑。龍穴也。同嶋辰巳有

平石龍石也。同供云。

又云。池良方池底入有石。伴石龍現。仍其

石云。

又西有石

又說理大師於東北角水出處供給。小野

僧正於中嶋被行之云。

又云。中嶋良方有楊。其邊有彼石。水出時

沈。無水時現云。

又說教龍供之處。非一說也。但道場建立

前之池邊云。

茅龍事

師口云教私造龍王之形。用茅其如遺告供

養種。妙供放池中。即大師御時。龍王出

現處也。但當東門有池中

師口云理茅龍九寸作。紙卷押金薄。額入

舍利池中放之云。

禮拜事

師口云野初夜時。西向禮拜。大師并善如

龍王云。

永保二年御修法。伴僧結番。不斷禮拜

人別百遍。

又說理大師像東庇南妻北向奉願云。數向西禮拜

水天。其詞云。

南無甘雨普潤成五穀云。

又說谷初後夜終禮拜。其詞云。

甘雨普潤。五穀成就。大輪蓋龍王云。

用水事

師口云谷北井供物料

西北井。阿伽料云。

又云。池北有泉。閼伽井也云。

五龍祭事

康平八。閼梨書狀云。五龍祭始從大師

之當初。每被修此法之度。必候之由云。

自御修法第五日三箇日。所被行也云。

同年主稅助。有行書狀云。五龍御祭。被行

請雨經。御修法之時。必相副所令行給也。

但被始之日。無定。只其七箇日之間。擇宜

日。所被行歟。又可令問日時給也。

又同書云。長久四。五。八。被行請雨

經法。同十一日奉仕五龍祭。始行事。定日

不可候云。

同年藏人賴仲記云。成尊申云。祖師被修

此法。及第五日龍王顯現。仍十九日去十

被行。可被行伴祭。又不可擇日時云。伴

十九日。陰陽雖不甘心。申。偏就閼梨書狀

被行之云。

一靈驗日數

祈雨壇法云。亢旱之時。如是依法讀此大

雲經。或經一日二日。乃至七日。定降注甘

雨。若災重不雨。更作必降甘雨。假使大海

或有過限越潮。依此經作法。轉讀無不應

効云。

請雨經下云那。昇法座時。高聲讀誦此

經。及呪晝夜不絕。若一七日。若二七日。遠

至三七。必降甘雨。除不專念無慈心及穢

渴者。佛告龍王。海水潮來。尚可盈縮。此真

言真。實決定不虛云。

請雨品云。若時無雨。讀誦此經。一日二日

乃至七日。音聲不斷。亦如上法。必定降雨。

大海水潮。可留過限。若能具足。依此修行

不降雨者。無有是處。唯除不信不至心者

集經云。若能如是作法。乞雨三日得雨。若

不得者。一七日內必得大雨云。

修法先跡付

大師

天長元年甲辰。於神泉苑修之月日不

敏大德。取諸龍呪入水瓶。雖經七日

全無雨氣。延修二箇日。勸請善如龍王

雷鳴四方。急降膏雨。任少僧都出傳

眞雅僧正

貞觀十七。六。十五。丙寅。嘯十五

僧於神泉苑修大雲輪請雨經法私云

正祈雨也。十六日丁卯申時。黑雲四合。

俄而微雨。雷聲數聲。小選開霽。入夜小

雨即晴。三代實錄結

觀賢僧正

年月二十四日癸丑。今日少僧都觀賢

爲阿闍梨於神泉苑院令修法。依重祈

雨也

二十七日丙辰戌二尅。黑雲遍閉。微雨

降。刻子一尅雨脚滂沱云：
通霄雨不休。二十九戊午。今日神泉苑
院御修法結願了。音先足丙辰夜旱雲
變甘雨。潤莫不人。賀雨稱有法相應
者。公家歸依實語之不虛。差歎之有誠。
勒二十口僧徒每以度者一人云。殿
上記

延喜十。九。十一日。此日已尅神泉苑
修法結願。召大僧都語談。又召仁昭法
師。令侍。仁昭僧都弟子爲修諸天供。阿
都及仁昭衣被即退出。但僧都內藏寮
於御壇下房。加夜絹綿以久侍可歸山
也。御記

觀宿僧都
延長二。六。二十八日。令時望朝臣
仰民部卿。類有奉幣事。未有雨氣。爲之
如何。又七月一日。可行御修法事。令仰
律師觀宿。三日午三尅。暴雨雷電。及四
尅止。七日仰淑光朝臣。神泉修法可延
二日事。依降雨潤少。莫可祈五穀成就
也。御記

寬空僧正
村上御代修此法。修中不降雨。至結願
日。奏遍數。天陰降雨。成算記

救世律師
應和三。一。七。九。於神泉苑令救世
律師限五箇日。修請雨經法。十二日壬
戌。雷始鳴。及午終聲止。雨不及濕物。晴
。十四日甲子。救律師申云。請雨經法

始限五日。而七箇日可修之。由啓日已
。令縮日數。如何者。有公卿僉儀。仰令
延二箇日。十六日丙寅。入夜雲起。雨漸
八月二十九日。令仰云。請雨經法結願
日降雨。依天曆十年例。阿闍梨救世及
伴僧同。可給度者。御記。殿上記等

元某僧都。御記。私云。寬和元年。祈雨。實可任僧正。由雖有
奉修此法。三箇度。每度雨降。初任律師。
次任少僧都。第三度。賜大僧都職。贈私
師元方。仁海記。上記。一云
右金吾。宣記云。寬和元。一。七月五。一。戊
申。已尅參內。午後大水潦汎。溢神泉。御
修法。今日結願。與依膏澤未降。延一二
箇日。今以如此法之有驗。此時而知昔
空。一。今元某。誠是得請雨之法。人歟。同
七月七日。庚戌。天晴。遣右近小將任輔
於神泉苑。仰御修法僧等。依有御修法
之感。應各給杖。取一人之由云。

元真僧都。御記。私云。寬和元年。祈雨。實可任僧正。由雖有
永延元。一。元真內供。於神泉苑。勤修祈
雨法。全無氣。萬民愁。田水殞命。
正曆二。一。五六兩月。大旱。魃。元真內供
於神泉祈雨。不降也
成算記云。一度修之云。

仁海僧正
寬仁二。一。六。一。二。一。奉宣旨。辭退三箇
度。依重宣旨。從同四日。奉修。子時。阿。自此
日。天陰雷鳴。第六日。雨降。七日。陰。八日
黑雲。遍滿。雨至夜半。賀雨。勅使。勘解。由

次官家業奉宣云。今二日可延行者。十
三日結願。雨降。八月十四日。任權律師。
萬壽五。一。四。一。十三日。始修之。子時。第
六日。雨降。長元五。一。五。一。一日。始修之。
僧都。大。七日之間。小雨三度。延修二箇
日。一日夜之間。雨注。猶今五箇日。延修
十五日。夜降雨。十四日結願。罷出。間大
雨降。注

同六。一。五。一。十四日。始修之。子時。大
十八日。廿雨。普潤。二十三日。結願。
長曆二。一。六。一。日。法印。始修之。第七日
終日。雨降。
長久四。一。五。一。八。一。僧正仁海。於神泉
苑修請雨經法。十三日午後。雨脚快降。
十四日。廿雨。猶降。十五日。修法了。賜度
者。仁海。依召參內。被聽。羣車。又賜封戶
七十五烟。

已上於神泉修之云。
寬德二年七月。日始修之。子時。同二
十七日。結願。
祖父但州。行。被奉僧正。綸言云。七月十
明日以後。御修法。七箇日。可被延修者
今日。被行也。
僧正九十有餘。老爛。不向神泉。今度於
小野住房。被勤修云。

成尊僧都
康平八。一。六。一。十五。一。癸酉。始修之。子
阿。十七日。申時。晴天。忽陰。甘雨。潤地。以
有靈驗。被延修二箇日。殿下。依無許

容不蒙勸賞

範俊僧正

九日第十日結雨不雨

永保二一七十六乙未始修于時阿闍

二十三日二箇日延行二十五日至夜半結願不雨

義範僧都

三十一日結雨不雨

寬治元一八一十一己丑始修之申尅

雨降仍雖辭申猶可奉修者所勤仕也

十三日雨降類以辭延不滿七日之條

被聞人々何事有哉者今日結願勅使

藏人辨爲房向神泉仰云大嘗會以前

依無謂事追可有恩賞者

勝覺僧正

七十一日結雨不雨

永久五一八一十四日辛未始修之時

少僧十七一從未尅至于酉雨降鳴三

箇度十八日以後不雨炎旱如元二十

一日結願勅使頭辨顯隆向神泉仰勸

賞以定海闍梨補權律師結願後入夜

大雨其後又以旱魃

表白

敬眞言教主大日如來四方四智四波

一十六尊四攝八供殊分大恩釋迦牟尼

佛觀音金剛薩埵等諸大菩薩摩訶薩三

千界之主輪蓋龍王難陀跋難陀等之諸

龍王并五大龍等之不可說々々若干

大少龍王等總兩部界會諸尊聖衆外金

剛部護法等御前從申云

勸請

歸々々々々々四方四智々々々

十六八供々々々教令輪者々々々

大恩教主釋迦尊觀音普賢諸薩埵

輪蓋龍王難陀等五大龍王諸眷屬

兩部界會諸如來

以下如例

五大願末句

諸大龍王增法樂護持國主成御願

發願

至心發願眞言教主大日如來

四方四智四波羅蜜十六菩薩

八供四攝大恩教主釋迦大師

觀音普賢輪蓋龍王難陀跋難

五大龍王諸大龍王兩部界會

諸尊聖衆外金剛部護法天等

還念本誓降臨壇場所設妙供

哀愍攝受護持國主消除不祥

消除災難增長寶壽恒受快樂

甘雨普潤五穀成就或三返

國土安隱萬民豐樂天下法界

平等利益

禮佛

南無摩訶々々々

々々阿闍々

々々寶生々

々々無々々

々々不々々

々々四波々

々々十六々

々々八供々

々々四々々

々々沒駄々

々々釋迦牟尼

々々觀音菩薩

々々金剛薩埵

々々輪蓋龍王

々々難陀跋難陀

々々五大龍王

々々諸大龍王

々々金剛界

々々大悲胎

々々迴向

所修功德迴向三寶願界々々三界

天人々々輪蓋龍王々々難陀跋難

々々五大龍王々々諸大龍王倍增

法樂離業證果々々國內明神

々々行疫神等々々一切神等

々々聖朝

々々二返

唯願本尊大恩教主釋迦牟尼佛

觀音普賢輪蓋龍王難陀跋難

五大龍王諸大龍王兩部界會

諸尊聖衆外金剛部護法天等

還念本誓同心加持同心加護

消除不祥消除災難增長寶壽

恒受快樂除災早魃二返

甘雨普潤五穀成就此二句二返

國土安穩萬民豐樂々々天下安穩

迴施法界迴向大菩提

建曆元年七月十八日以淨土院御本書寫之了

同交點

木云
大法務御抄也云々

寛保元年辛酉年六月遂修復補其磨滅令收箱底了

佛子賢賀 卷十八秋

覺禪鈔 請雨法中

右成尊戒光不照身惠日不入舍者成怖畏且恥先師所辭退申也但於今者皇情破五府勅宣込三半誠知運拙報盡乎早任宣旨率二十口伴僧從明日於神泉古跡之地可勤修請雨經法之狀請定者謹奉如件誠惶誠恐謹言
五月十二日午尅 大法師ム請文
一付領狀副進支度事

支度有其員今附永久注之餘別紙注之

注進

請雨經御修法一七箇日支度事

大曼荼羅二頌

御素衣絹七丈 青色

蘇七合 蜜七合 名香 白檀沈水香等

五寶 金銀瑠璃眞珠水精

五香 薰陸白檀蘇合龍腦安息

五藥 人參茯苓天門冬甘草白芥子

五穀 稻穀大豆小豆大麥胡麻

金青七兩

油五斗三升八合

壇供米二十五石二斗

一大青幡一流 相具一丈 五尺桿一丈

八尺青幡二十八流

六尺青幡十二流 相具一丈桿十二

壇四面之內尺大壇一面方六尺 護摩壇面方六尺 十二天壇一面三尺五寸

聖天壇一面三尺五寸

脇机六前 大壇二前 護摩壇二前
燈臺四十本 經机二十前

禮盤二基 半疊四枚
壇敷料紺布三段 料之內一段 大壇料一段 護摩壇

蠟燭并供蓋料布一端

大青瓷器百口

小青瓷器百口 可居器料

青瓷瓶十四口 花瓶料

紺幕一帖 雜器直料米五石

阿闍梨 伴僧二十口 行事一人

承仕四人 駝仕八人 見了二人

淨衣 青色

於人供者 如常大法 但能米定

右注進如件

永久五年六月十日

行事大法師賢圓

阿闍梨權少僧都法眼和尚位勝覺

私考云

寶樓閣經祈雨品云

七種穀子 大麥小麥稻穀菜豆油麻芥

子白芥子云々此內五穀支度可載之歟

中央大幡長一丈六尺 小野僧正次第并成尊

十二天幡長一丈 同師用之

賢覺云屋上幡短見目見苦ト云々仍

可順之歟

一請定番僧并行事承仕駝仕等差定事

請定

座主定海阿闍梨謹啓

澄成々々々十二天供 禪惠々々々

公親々々々々 琳覺々々々々 供神

賢覺々々々々 定明大法師

廣圓々々々々 範賢々々々々

琳勝々々々々 禪寬々々々々

源意々々々々 院嚴々々々々

聖賢々々々々 良勝々々々々 水天供

寶心々々々々 聖海々々々々

元海々々々々 眞勝々々々々

賢尊々々々々

右始自來某日 於神泉苑被行祈雨御

修法伴僧請定如件

永久五年五月 日

一。借屋壇所造營事

永久記云。相具琳覺賢覺兩闍梨。向神

泉苑。點定假屋所。小舍人國友。引率修

理職下部相儲沙汰之。又當日行事大

法師賢圓來出納某甲 小舍人相交沙

汰。又行事藏人式部丞清能來去萬事

沙汰被始行。初夜之時後退出云。

一。出入門事

北大門出入也。餘門不可開之。門內立

札云。穢氣之人。赤色之物。不可來入之

大雲請雨經云爾那 有惡心者不得入

此界境云。

二。四字云。東并北道邊立簡其文云

親疎上下不可來結界內。依懈怠障礙

所制止也云。

今云。大道可立札歟

陀羅尼集經云。若欲出入來去之時。皆

從西門出入來去。其餘三門不得輒入

云。壇所西門出入。其外大櫓北門可出入

歟

屋內幡事

大雲輪請雨經下耶連提 云。道場○四角

各懸青幡七枚。各二十八流。各長一丈

云。

大方等大雲請雨經品第六十四闍多那

云。道場○四面各懸青幡七枚。合二十

八。幡長一丈云。

屋上立幡事

立幡雨下事

尊勝儀軌上卷云。第十八法者。若國內

五穀不熟。風雨不時。當以白絹作幡書

呪。於上書作佛頂印。懸於一百八十尺

上。向剎正面著之。即得風雨調適。五穀

熟。成人民安樂。即得惡龍迴心作善。阿

修羅王不能障礙云。

問。於大幡立樣。庭中屋上。二說分之。依憑

何傳哉。答。屋上可立之。先師口傳之上

祖師次第等明鏡也云。

然則小野僧正次第并二四字傳受集照類

覺意傳又東要記聖賢等私記相同之。但

權僧正永久度賢覺阿闍梨爲壇行事。大

幡庭立之。同伴僧聖賢難之云。頗違舊儀

歟云。

賢覺陳云。大輪中云。庭立大幡者。金翅鳥

來降雨云。可考之

聖賢云。金翅鳥降伏諸龍。更不可來此砌。

尤可被取捨云。

彼聖賢門人申云

永久度伏理修中庭幡取捨之云。

賢覺門人云。且依本說。且任舊儀。彼庭幡

不被捨之。則齊衡年中常曉於神泉苑爲

祈雨修太元法。其時大幡庭立之云。

又金翅鳥來降諸惡龍下雨何苦哉

尊勝儀軌等其說分明也

又彼賢覺門人云。永久度屋上中央并庭

中立之云。

又範俊僧正勤修之時。大幡支度雖載之。

庭并屋上不立之。卷之置壇之傍下。頗不

知子細。仍不雨歟

幡數等異說事

小野僧正長久四年支度

二十一一流 二四字同之

小野次第云。四十一一流 成章 權僧正同之

中央大幡。長一丈六尺小野僧正次第并支度。

長一丈小野僧正抄并權

十二天幡。長一丈仁海次第并支度。

長七八尺計二四字

長六尺權僧正支度出之

長四尺小野僧正抄

長八尺賢覺抄

大幡竿。長一丈五尺或一丈八尺

小野竿。長一丈

屋內幡二十八流。長一丈仁海次第并抄

二十八流。長五尺成算

八流一丈長久四年屋內懸八流

二十四字云七八尺許云、

二十八流八尺續僧正支度

幡梵字一流上坪書大坪次坪八幅輪

次坪五古小野次第出之

上坪一字金輪種子次坪八幅輪云、

上坪勝院次次次次次次次次聖賢閣梨

上勝院次次次次次次次次聖賢閣梨

二四字云一字眞言并八幅輪形書之

云、永久度樣如上

小野次第云各可書十二天梵號

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

○勝院次次次次次次次次

或屋上立幡八流青色書八大龍王名號
梵字傳受集
第三覺後傳
一、大受茶羅敷曼茶羅圖繪事
水久記云以畫工賴秀法師圖繪曼茶羅
以賢覺圖梨啓白事由伴畫工本名賴通

也依忌日點改秀秀字卿有師云先佛師當
日早旦臨神泉苑香湯洗浴著淨衣青色
令授八齋戒戒師施行事
次三幅青御素衣付張形作所沙汰也墨
畫也不加綵色墨眞牛黃可摺加之御經
藏現本御口許以朱綵之云
御佛本自本寺可被渡之或公家在之
理正房記云墨畫之上以牛糞薄綵之龍
鱗以牛糞綵之云
或人以金青畫之云
寬信法務記云代々祈雨マタラ不綵色
只墨畫也云
一切功德莊嚴王經云總淨令畫師受八
戒齋身口淨潔而畫其像於其鋪中安釋
迦佛像右邊安觀自在菩薩四臂左邊安
執金剛神此等尊像皆以繪帶盛佛舍利
刺在身中云
私云繪帶事可思之
一、雨曼茶羅形像事
大雲經祈雨壇法云作一方壇於壇中畫
七寶水池、中畫海龍王宮於龍宮中有
釋迦牟尼如來住說法相佛右畫觀自在
菩薩佛左畫金剛手菩薩等侍衛於佛前
左畫三千大千世界主輪蓋龍王佛前左
畫難陀跋難陀二龍云
又云於壇四角用壘摩夷汁各畫一龍王
於東方畫一龍王一身三頭量長三肘并
眷屬圍遶又於南方畫一龍王一身五頭
量五肘并諸眷屬圍遶又於西方畫一龍

王一身七頭量長七肘并眷屬圍遶於北
方又畫一龍王一身九頭量長九肘并諸
眷屬圍遶皆在變變青黑雲中半身已下
如蛇形尾在池中半身已上如菩薩形皆
合掌從池涌出云
一、持齋事
舊記云遍智院僧都持齋麥粥修之權僧
正御房持齋令食修之中間一日齋食
闌那幡多譯經云唯得食蘇酪糜便米菓
菜云
舍那耶舍經云三種白淨之食云
牛乳酪便米或云ヒツチ
蘇悉地經上云六十日熟便米飯○不種
自生梗米飯云乾秬米ヒタル
東要記云七箇日間大阿闍梨全斷穀漿
用三白食也是偏爲道爲國不捨命財故
也於伴僧者各持齋云
一、諸僧裝束事
師云大阿闍梨每時可著青七帖袈裟
白平袈裟臨期可染青色敷
若別縫之者定有煩敷
淨衣青色自公家被下之
袈裟指貫等如常
番僧者青淨衣也開白結願時可著常青
甲袈裟敷
中間者白五帖袈裟也不及染青色袈裟
等如常
開白結願時行事青淨衣也上可著白平
袈裟不承仕駝仕等如法可著青淨衣
云

自 公家被下淨衣料、絹六疋、青色大阿闍
人行事一人料、
每人三丈云、
料布九段、承仕四人、驅仕八人、見丁二人

或云、大阿闍梨青平袈裟并淨衣又裳皆
青色自公家被下云、

闍那伽多譯經云、香湯浴著新青衣云、
御經藏古青裳并七帖袈裟在之、又青五
帖袈裟青紙ヒネリムスヒタリアリ、仍
可用之歟

一、諸壇供米并油等下行事
壇供能米二十五石二斗之內

大壇十石五斗

護摩壇十石五斗

十二天二石一斗 日別三斗

聖天二石一斗 日別三斗

現下

大壇八石

護摩壇八石 各一夜一石

十二天一石四斗 日別三斗

聖天一石四斗 日別二斗

現下定十八石八斗、殘六斗四斗

雜器直五石

人供五十七石七斗六升之內

四石 大阿闍梨
日別五斗
四十八石 伴僧二十口各二石四斗

二石四斗 同前

一石四斗 承仕六人各二斗
日別四升 四升日別三升

一石六斗 驅仕十人各一斗六升
日別二升 見丁二人各一斗六升

三斗二升 日別二升

已上八十七石九斗六升但能米定
比米料三十石之內

伴僧二十人行事一人 或時者各一石或時
御明油六斗三升 日別九升

一升二合 大壇時別四合

二升一合 護摩壇
御明一升二合 蘇油九合

三合 十二天
御明二合 蠟燭一合

二升四合 聖天
御明四合 供料一升 溶油二升

三升 護經料
燈別二合

但六斗三升之內、一七箇日料三斗五
升 夜別承仕下之、房油并伴僧宿所等
料加副定也、而久安六年御修法之時、
依不足訴令五升加下之、若五斗三升
八合者減可准之

一、饗膳事

國當饗朝夕在之 不委之

寺家沙汰在之 不委之

一、青瓷器二百口 大百支配
小百支配

大青瓷百口之內

大壇佛供飯十六 汁八

護摩飯十六 汁八

飯五穀等器六 火舍十

十二天十六

聖天六 三壇灑水三

合八十九口

殘龍供并水天供等可用之

小青瓷百口之內

大壇闍伽器二十四

護摩同器二十四

十二天六 聖天六
護摩小器八 三壇塗香三
神供四 龍供十

合八十五口

又菓子器兩壇三十二 十二天一

聖天八 合四十二 水天壇十

若無青瓷者可塗金青也

青瓷瓶十四口之內

兩壇各五瓶 聖天壇一口

一、燈臺四十本之內
十二本 四燈料 切燈臺二十本 經所料
合三十二本 護可用大阿闍梨等也

一、轉讀不空譯經事

右件經阿闍梨伴侶等各隨身、自公家不
賜之

同具書

大雲輪請雨經二卷 那連提耶合譯
貞元圓覺

大方等大雲請雨經一卷 闍那伽多譯

大雲請雨經一卷 不空譯 請來表云一卷、表制
集二卷云、一卷二卷譯卷

不同也此經轉讀也

大方等大雲經六卷 最無謬譯
或四卷或五卷

大雲經祈雨壇法一卷 不空譯

不空譯請雨經奧也

祈雨壇法一卷 闍那伽多譯
陀羅尼集經第十一出之

寶樓閣經上卷 不空譯

尊勝儀軌下卷 善無畏譯

不空網索經第二十九 善提流志譯

守護國界經第九 般若三藏譯

一、大壇南壁向北奉懸大師御影事

前机一前香花備之。半疊敷之。賜机金等

安之。每時替花。又御佛供等備之。

大阿闍梨入場之時。先於大師御前殊致

祈念。禮拜。迴壇前。又傍護法料花二前可

備之。前善如龍王
前清達大明神

一。東庇於大壇後奉懸孔雀明王事

備供養法具。於其前十二口淨侶晝夜不

斷可轉讀孔雀經。每時三人許云。

陀羅尼集經云。又請有德有行精進衆僧。

各自清齋香湯洒浴著新淨衣入幃之內。

轉讀大雲經。孔雀王經。大雲輪經。六時繞

壇行道禮拜助祈雨人。若能如是作法乞

雨。三日得雨。若不得者。一七日內必得大

雨云。

守護經第九云。若有國土。亢陽無雨。○轉

讀大孔雀王經。起大悲心。發大誓願。爲諸

衆生祈降甘雨云。

一。於壇所可行靈所誦經事

永久記云。高野并金峯山修誦。各布三

段。高野使。清得快實兩法師。金峯山使。清

羅良滿等也。向彼方作禮拜。出立使等其

後入場始行。初夜時子尅云。

又第三日以米三斛獻東大寺大佛殿。令

行誦經云。

專繫憑神社佛寺。能可祈請也。殊當寺

本堂并鎮守權現能可祈之。

一番僧上下番并讀經等作法事

張文案

上番

護摩 十二天

聖天

神供

下番

發願

水天供

年 月 日

上下結番幕布便宜所推之。上番末座

程歟。結願之時。放取結番相具。硯筆。始

自阿闍梨書付經卷數。都合之後。書入

御卷數二通。案一通置
脇机云。

先道場莊嚴畢。開白時。承仕鳴金。聞其音

二十人伴僧皆參。次大阿闍梨著禮盤。新

佛開眼表白等。如常。但三力偈之後。金一

度打之。次伴僧各讀經始之。下番退出也。

大阿闍梨正念誦之程。護摩壇阿闍梨進

昇。其次餘小壇同進行之。大阿闍梨散念

誦之間。護摩小壇等行畢。下座云。

又大阿闍梨讀經畢。催下伴金以鐘木
鳴脇机打金

之間。下番漸參云。次一字金打之。以下

如常。次後鈴。次讀四智孔雀經。大阿闍梨出

之。或下座誦之。自餘如常。時了後。大阿闍

梨金二度打之。下番上薦取經發願。四弘

一切。大阿闍梨金一度打退出。上番同退

誦誦

出了。下番不動座讀經也。次。時。阿闍梨

著禮盤。望神分時。先金一度打。爾時上番

伴僧下薦。迴向申。或下番發願
人迴向

迴向了後。大阿闍梨金二度打。令法久住

等如常。下番伴僧退出云。

下番發願

至心發願 轉讀經王 功德威力

天衆地類 倍增法樂 諸大龍王

聞法得益 七日修中 甘雨普潤

五穀成就 護持國主 御願圓滿

及以法界 平等利益

上番迴向

所修功德 迴向三寶境界

迴向天衆地類 迴向一切龍神

迴向善如龍王 甘雨普潤

決定成就 迴向護持國主

玉體安穩 增長寶壽

迴向天下 迴施法界

迴向無上大菩提

祈雨壇法云。晝夜虔誠讀此大雲經。○更

替讀誦經聲不應間斷。尤早之時。如是依

法誦此大雲經。或經一日二日乃至七日。

定降注甘雨云。

集經云。八人更互入壇誦呪。不得令其壇

內空虛。日夜誦呪之聲莫絕。每至夜燃一

日二十盞燈云。

六時繞壇行道禮拜助祈雨人云。

文云。以讀經功德迴向諸龍祈請雨也。

東要記云。伴僧各結十人爲上下番。轉經

云。

之香晝夜不斷也。上番二尅許終承仕金打催下番之上。一人發願轉經。大阿闍梨上番十人退先休息。次及二尅終打金。阿闍梨上番十人上堂。下番上薦一人迴向退出云。

二四字云。大師御傳伴僧上下相分不斷轉讀經云。

一。大阿闍梨讀經事

散念誦後。乍著禮盤。讀經大僧正 大僧都 勝權僧正 御房老 堀之後 孔雀經 法下 禮盤讀經。了登禮盤。大金剛輪。一字金丁後供養云。

凡大法時極長。上番下番同程可行也。

一。開白時已前作法事

小野次第云。開白時已前引率大阿闍梨并伴侶等行至壇所。其間諸衆讀心經等。奉令法樂龍王等云。

一。阿闍梨殊可護身事

集經云。至心誦呪。直護身莫作結界云。闍那耶舍譯經云。其誦呪師應自護身。或呪淨水。或呪白灰。自心憶念以結場界。或盡一步乃至多步。若水若灰。用爲界畔。或呪縷繫頸若手若足。呪水時散灑頂上。若於額上云。

舍那彌多譯

那連提耶舍已上三經同之

隨求經上云。善遊城豐戈長者持誦世天所說密言。以持明力故。鈎召德叉迦龍王。忘不結界護身。其龍瞋怒齒損。是人受大苦痛。命將欲絕。多有諸持明者無能救濟。

於其城中。有一憂婆夷。名無垢清淨。○以此陀羅尼加持。繞經一遍。其毒消滅。平復如故云。

私云。能可作護身。又以隨求呪可加持身歟。

一。阿闍梨登座事

陀羅尼集經云。昇高座時。先禮十方一切諸佛云。

一。無御加持事

一。初夜時庭中禮拜事

大教院傳云。初夜時畢。大阿闍梨并伴侶庭立禮拜水天方。其詞云。

甘雨普潤。五穀成就云。

覺後闍梨云。初夜後夜共作之云。

今云。壇所之前兼儲敷設。初夜時了。大阿闍梨并上番伴僧向水天方禮拜。百返許云。

或又後夜同作之歟。

道場莊嚴事

一。大壇口中佛供十六杯。大八小八。計八杯。菓子十六杯。後夜粥八杯。

永久記云。大壇方六尺。結布壇敷。其上敷茅草。上敷曼荼羅。上調供具云。

布茅草法

槍尾護摩抄云。一用生茅鮮潔。不用枯干白萎。二周匝廣厚。勿令露地。三邊爐右旋而鋪。勿以左旋。謂布東方已次行南方。次西方。次北方。四當以順布。不得逆布。謂布東方時根在北。苗在南方。時根布東。苗在

西。布西方時根在南。苗布北。布北方時根在西。苗在東方。應以苗裨勿以根裨。苗禮盤上并諸壇敷茅草事。

祈雨壇法云。於壇西面以青物爲座云。大方等大雲請雨經云。座上敷新青草。陀羅尼集經云。多數氈褥云。

師云。近來半疊下用茅薦也。神供龍供等又用之。

大壇上不張天蓋事

尊勝儀軌下云。張青傘蓋。四面懸幡云。

祈雨品文也。師口云。雖然此法不用傘蓋也云。

敷曼荼羅事圖如

不立檝不曳五色糸事

二四字云。大壇之四角非例金剛檝。立箭引五色糸。染ソヤノ三羽ヤハスノ程懸糸。護摩壇不引糸。此法不須引糸。而大壇許會釋所被引也。仍不立金剛檝。以劣箭替檝用箭。不無所見見寶幢。是在勸請壇上。爲供養也。總不用地結天結等結界。阿闍梨伴僧各自身可護身結界云。

寶樓閣經云。於壇四角插四伎箭。以五色線纏於箭。周圍其壇云。

師云。二四字說。長久之度者。祕修寶樓閣經法也。當途此法不引五色也。仍不可立檝。

不置輪羯磨事

五瓶事清亮

大方等大雲請雨經云其壇四角安四花

瓶各容三升以金精若黛等和水令青悉

使滿瓶種々草木花葉挿置瓶內云

陀羅尼集經云五龍王前別各安一大瓦

瓶上各以白粉塗之其瓶身上以真牛

黃各畫四箇須菩提像結跏趺坐一々瓶

中口滿著雜花若無生花以綵花宛其瓶

頂上花鬘交絡其壇四角各別安一赤銅

水罐其罐各受可一升者滿盛淨水不須

畫飾其口挿柳栢枝竹枝亦得中用各業

取云某經意用九瓶歟

又云各以生五色綵帛繫其枝上共成一

束其綵色別各長五尺云

尊勝儀軌祈雨品云五箇瓶其瓶青瓷瓊

又五色綵可繫枝上歟

四面不斷香事師云可燒安悉香云

准祇獨部灌頂法云若大旱可於中夜燒

安悉香結印勅五方龍速令降雨云

寶樓閣經上云燒四種香所謂安悉薰陸

白檀蘇合云

大方等大雲請雨經云四面諸龍土前散

花燒香不令斷絕云

又云道場四門各施一大香爐燒種々香

薰陸沈水蘇合栴檀及安悉等云

師云已上香和合四方可燒之云

灑水器香水事

石山金剛界次第云香水後夜取井花水

也云灑水入綠育也

總靈驗奇異物等云

如此事只為奉懸馮所置也

私云靈驗佛經等何經可安之歟

壇中央檜木造蓮華莖長一尺餘莖下

返花荷葉也蓮華上瑠璃壺納佛舍利

蓮華青也實心記也

又大曼茶羅前比丘形事私須菩提增益爐三昧耶形寶珠蓮華上畫之

一護摩壇事

壇敷茅草敷附禮等

不立檜不引五色不張天蓋五瓶四面不

斷香香水散杖名香供花佛供瓶水莊嚴

等

已上皆同大壇

不懸曼茶羅

不懸曼茶羅

一行法次第

一堂觀

開道場觀

辨供

塗香

淨三業

加持香水

淨地

淨三業

後被甲

金剛起

表白

敬白真言教主大日如來四方四智四波

羅蜜十六八供四攝薩埵教令輪者五大

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

忿怒殊別大恩教主釋迦牟尼如來觀音

金剛手等諸大菩薩三千世界主輪蓋龍

王難陀跋難諸大龍王并五大龍王等不

可說々々若于大小龍王大雲經中諸

尊聖衆總兩部界會九會四重外金剛部

護法天等御前每驚言某

神分 五悔

勸請 歸命摩訶毘盧遮那佛

四方四智四波羅蜜 十六八供四攝智

教令輪者降三世 本尊聖者慈悲尊

大雲經中諸聖衆 輪蓋龍王難陀等

五大龍王諸眷屬 兩部界會諸如來

外金剛部威德天 護持國主成御願

增長寶壽恒受樂 甘雨普潤成五穀

國土萬民令安穩 以下如例

發願 至心發願 眞言教主 大日如來

四方四智 四波羅蜜 十六菩薩

八供四攝 教令輪者 降三世尊

本尊界會 大慈悲尊 大雲經中

諸大聖衆 輪蓋龍王 難陀跋難

諸大龍王 兩部界會 諸尊聖衆

外金剛部 護法天等 還念本誓

降臨道場 所設妙供 哀感攝受

護持國主 消除不祥 消除災難

增長寶壽 恒受快樂 二句一返

甘雨普潤 五穀成就 或三返

國土安穩 萬民豐樂 天下法界

平等利益

次五大願 如常諸大龍王增法樂

四無量 勝願

大金剛輪

道場觀

境中有字成七寶水池中有其字成

海龍王宮即大威德大摩尼藏大雲輪殿

寶樓閣宮中有三對字成三月輪々々上

各有字變成八葉蓮華中央蓮華上有

字變成寶鉢口決鉢變成釋迦牟尼如

來身黃金色光明赫奕具三十二相住說

法相請雨經增諸龍等威德令降甘雨成

就五穀右邊蓮華上有字變成蓮華々

變成觀自在菩薩左持蓮華右作開敷

契左邊蓮華上有字變成三古杵々變

成金剛手菩薩左作拳著腰右持三古常

心本尊前有字變成荷葉座上上有

字變成龍索變成輪蓋龍王尊前左有

其字各變成荷葉座上上有字各變

成龍索々々變成難陀跋難陀二龍無量

大菩薩諸龍眷屬前後左右圍繞云々

口傳云種子三形像等一切皆青色可觀之

或輪蓋左難陀右跋難陀觀之云々

大虛空藏 寶車輪 大鈎召用意

請車輪 四明 拍掌 花座并荷

關伽 振鈴 五供印明 普供印明

現供 讚 四智 孔雀經

普供養三力 祈願

禮佛 三十七尊如常

南無設駄目地沙多他讚多

南無釋迦牟尼佛

南無觀世音菩薩

南無金剛手菩薩

南無輪蓋龍王

南無難陀跋難陀

南無五大龍王

南無諸大龍王

南無金剛界々々

南無大悲胎藏界々々

部母加持 若能殺母

入我々入 本尊加持

智吉祥印明 如胎藏

大鉢印 不空成就明或

正念誦 胎藏經明或

本尊加持 如前

字輪觀 五大

大日加持 本尊加持二種如前

又鉢印 眞言命命

菩提莊嚴陀羅尼經云二手平展以右

手押左手仰掌安心上云々

又云文殊鉢盛舍利奉佛云々

根本相承秘密口傳云重定印 左右即

鉢印也 明我々我々尊眞言也胎即天鼓雷

音佛也

禮儀云作變化身釋迦牟尼佛云
北方水方也水方佛也水性主也
次觀音印明 金界三摩耶印

明 手印明 三摩耶印明

金剛手印明 同金剛薩埵
輪蓋龍王印明 三摩耶印明
明 手印明 二頭拾

難陀跋難陀印明 用攝大
說

左手仰展其上右手覆著 唵難陀曳莎
賀次右下上 唵跋難陀曳莎賀

諸龍印明 如胎
部母印明 能寂母
若佛眼

次散念誦

佛眼 大日 本尊 三 觀音 金剛
手 輪蓋 難陀 跋難陀 諸龍

能寂母 大雲經呪二種 除五雨障呪
寶珠 讀經 大金剛輪 一字

後供養

五供印明 普供三力

現供 普供養三力 讚四智 孔雀經讚
禮佛 如前 小祈願

迴向

所修功德迴向三寶願海 迴向三界天

人 五大龍王 諸大龍王 倍增
法樂 離業證果 或三返 一切神等

神 登霞 行役神等 貴賤 一切神等
聖朝 二返

唯願本尊 大恩教主 釋迦牟尼如來

觀音普賢 輪蓋龍王 難陀跋難陀

五大龍王 諸大龍王 兩部界會

諸尊聖衆 外金剛部 護法天等

還念本誓 同心加持 消除不祥

消除災難 增長寶壽 恒受快樂

除災早魃 甘雨普潤 五穀成就 三返

國土安穩 萬民豐樂 迴向天下安穩

迴施法界 迴向大菩提

至心迴向 次迴向方便

撥遣 護身

或云神分之所○輪蓋并八大龍王五
龍王等諸龍可法樂云

又大鈞召真言終如轉法輪法謹請云
輪蓋八大龍王五龍王諸龍王等乃至

清瀧權現等可奉召請也懇懇可祈乞
雨云

一所用真言事

三世諸佛共說呪曰 出大經第四
唵烏俱隸一母俱隸二度帝尾度帝三
南僧答真婆婆賀 五駄南頓帝六駄
善男子四大之性可令變易誦持此呪
天不降雨不有是處云

羅波沙羅 摩文闍遮羅低遮羅

低波遮羅低波 波遮羅低三波

羅遮羅低比提嘻利嘻利薩隸薩隸

薩富囉囉囉

若有諸龍聞是神呪不降甘雨頭破七分

大方等大雲請雨經 闍那羅云除五雨障真

多姪他婆羅 徙利 素路 於闐

浮提降雨ソワカ

雨五障者仁王經測法師疏云早來有

五一地領若鬼神噴以土雨空中以風

吹雨向餘處二風領以風消雨三火領

以熱氣消四修羅噴故無雨一指廣半

闍浮二指合廣皆廣四天下五主雨天

子放逸忌雨云

大雲請雨經云摩阿鉢羅若波羅低沙阿

大雲請雨經云不空復次龍王有陀羅尼
各施一切衆生安樂汝諸龍等常須讀誦
繼念受持能滅一切諸龍苦惱與其安樂
彼諸龍等既得樂已於瞻部州即能依時
降注甘雨便令一切樹大叢林藥草苗稼
皆得增長爾時龍王復白佛言何者各爲
施一切樂陀羅尼句爾時世尊即說陀羅

尼曰

但爾也二合他歇羅捉歇羅捉二咽謬羅

捉三三鉢羅二合底瑟恥路引四尾惹野

羅羅五合薩底也二合鉢羅二合娜積

二合六薩賀積二合發羅底七咽答播

十合八尾噲引賀類九阿鼻灑左類

阿鼻已二合賀羅輪婆去引底十

引惹摩底十二噲囉禁婆引路底十三

賀引詞羅訖禮二合鈎度發引十四播

跋戊引賦野十五沫引獻囉哩引迦達摩

引十秣駄路引迦十七尾底銘羅賀羅

惹索十八耨佉上捨摩幾十九薩囉母歇

引二驢路引迦幾引地瑟恥二合積囉二合

發引霓娑縛賀二十三

師案云施樂陀羅尼真然傳應身說法

印第二卷呢宗觀傳應身說法印三世

共說呢宗觀傳化身說法印可用之

釋迦三身說法印

真然僧正傳云定惠各舒五輪空火相檢

左仰心右覆左上勿相著是應身云

宗觀云二手當胸前中指大母指各相檢

是應身二無名指各檢大母指頭是化身

也云

一尋云輪蓋龍王者誰人哉

小野次第云輪蓋即水天也云

孔雀經云無熱惱池婆嚕那云

疏第十七云又縛嚕摩是水龍由主水故

即是具大悲水能遍灑一切也如月長養

世間一切物佛亦能長一切衆生菩提心

也云

胎執下云水天真言龍王諸龍王同此真

言左右手作大海大龍王一切智水大法

雨而得自在名爲主也

歸命引阿羅種子播水天輔鉢多某也曳助聲

口傳云水天三千界龍王之主輪蓋龍

王也

一此五方龍王者與大灌頂經等所說五

龍王同異何

大灌頂經第九云東方青龍神王南方赤

龍神王西方白龍神王北方黑龍神王中

央黃龍神王云云取意

最勝王經云五龍王末那斯龍王慈心雷

光龍王無熱池龍王雷苦龍王妙光龍王

我今有如意寶珠陀羅尼能遮惡電除諸

惡恐怖乃至○利益一切衆生云

五龍王同異可悉之

一諸龍印明等別書之

一護摩次第增修行之

大阿闍梨正念誦時護摩師先護身法次

赴壇場入幕內於護摩壇前先禮大壇本

尊三度

次壇前一禮

次著座

次淨三業

次灑淨嗽口

次補闕

次字觀

次淨身

次金剛起

次普禮

次加持芥子

入寶

初火天段如常

第二部主段

釋迦金輪 加持勸請根本印供物一字

明 發遣 准召

第三本尊段

勸請 本尊印明以右頭指召之

供物 不空成就真言 或本尊呪

加持物 不空成就呪 或一字心

發遣 准召

第四諸尊段 三十七尊

觀音 金剛手菩薩 各五杓

第五世天段

不動 十二天 水天加勾 次輪蓋 難陀

拔難陀 諸龍王 加供

輪蓋 五杓

難陀 三杓

拔難陀 三杓

諸龍 五杓

小野僧正云加供難陀拔難陀無熱惱

池囉嚕吒云

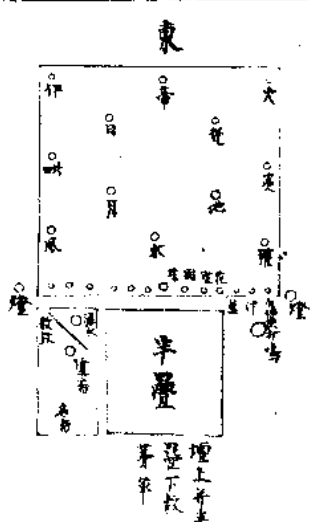
此善如龍王云

善如龍王并清瀧大明神又日本國伊勢

大神宮八幡大菩薩賀茂春日等神祇冥

衆可加供之

一。十二天壇十二天壇佛供交飯蠟燭指之。



此法初夜一時行之。但求久度二時行之

初夜

開白時微音有表白神祈願等。以火舍

蓋為打鳴。或別用之。後夜粥二坏備之。此

法花瓶不立也。又不懸本尊

一。同類次第

護摩師著禮盤時。供師同進壇前大壇方

三度禮之

次壇前一禮

著座普禮

三密

三部被甲

供物加持

淨地

金剛起

表白神分等

發願

普供三力

勝心

著座辨供

塗香

淨三業

加持香水

字觀

觀佛

普禮

五悔

五大願

四無量觀

大金剛輪

大金剛輪

道場觀

有寶宮殿。中有曼荼羅。於其中央有慈

座。上有字成蓮華。上有字成

利劍。變成四臂不動尊。青肉色。二

各別作金剛拳。頭指小指各曲如鉤形。安

口兩角相如牙。右手持刀令豎。左手持

半跏坐盤石上。威焰光明。次四方四角及

內四隅有字。成荷葉座。東北座上有

字。成三戟槍。變成大自在天。乘黃豐牛。左

手持劫波羅盛血。左手持三戟槍。淺青肉

色。三目忿怒。二牙出。觸體為環。頭冠中

有二仰月。二天女持花。東方座上有

成獨胎杵。變成帝釋天。身乘白象。住五色

雲中。身金色。右持三貼當心。左手托左

跨。左腳垂下。東南方有字。成賢瓶。變

成火天。乘青羊。赤肉色。遍身火焰。四臂。右

第一手持青竹。二手持軍持。左手揚掌。

二手持念珠。南方有字。成檀茶印。變

成炎魔天。乘水牛。右手執人頭幢。左手仰

掌。西南方有字。成劍。變成羅刹天。乘

白師子。身著甲冑。左手持刀令豎。左手大

指押名小二指。赤肉色。西方有字。成

網索。變成水天。住於水中。乘龜。淺綠色。右

手執刀。左手持龍索。頭冠上有五龍。日天

女持妙花。西北方有字。成風幢。變成風

天。雲中乘變著甲冑。左手托跨。右手執獨

古頭劍。上有緋幡。北方有字。成棒

變成毘沙門天。座二鬼上。身著甲冑。左手

掌塔。右手執寶棒。內東北座有字。成

蓮華。變成梵天。肉色。具四面四臂。右手仰

掌置脚上。一手一古戟。左手一臂。一手

蓮花。乘三鵝上。內西北座上有字。成鉢

變成地天。身肉色。左手持鉢。右仰掌當心。

內東南座上有字。變成日輪。變成日天。

身肉色。二手持蓮華。乘四馬上。內西南座

上有字。成月形。變成月天。肉色。左手作

拳當腰。右手月形。乘三鵝上。諸天各有無

量眷屬圍繞

次大虛空藏

次送車轆

次大鈎召

次四明拍掌

次入佛三昧耶

次闍伽

次花座荷葉

次五供

次現供但燈明供次用蠟燭。

次讚四智隨天次第誦明用之。

次禮佛三十七尊。

次不動印明

次十二天印明

次念誦

佛眼

但水天增返數千返

寶珠真言

次五供

次普供

次迴向

次禮佛

次撥遣

次三部被甲 次禮佛

十二天各別印明

伊舍那天 戴印

毘莫三曼多沒駄南庵伊舍毘曳沙阿

帝釋 獨古印

庵因捺羅野々々々

火天 定手印火空相持惠堅

庵阿誑那曳々々々

炎魔天 檀茶印

庵吠縛娑嚩多野々々々

羅刹天 左刀印

庵地里底曳々々々

水天 內縛二風圓

庵阿嚩鉢鉢多曳々々々

風天 定拳竝堅地水舉臂

庵縛耶吠々々々

毘沙門天 捧印

庵吠室羅摩拏也々々々

梵天 定以空持水取花瓶

庵鉢羅惹鉢多曳々々々

地天 鉢印

庵畢哩體微曳々々々

日天 輔智顯現印

庵阿彌底々々々

月天 伏寬印

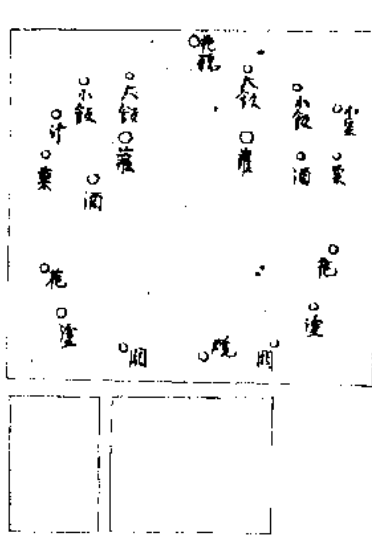
庵戰捺羅也々々々

私云十二天供中央不動種子三昧耶

形俱哩迦羅大龍王可觀之尤可降雨

也屋上幡等可思合之可尋師說耳

一。聖天壇 日中佛供居樓也以火舍蓋



此法後夜日中二時修之開白有表白神

分祈願等如常多羅下敷紙杓折敷之上

置小土器置之油氣爲不散也天像裏紙

也供時天ヲヒ取去之交飯也菓子油

物伏施等也函蓋四丸許盛之後夜粥二

坏蘿酒團許居之

一。同頸次第

先取去天覆 次壇前普禮 著座

著座普禮 塗香 三密 淨三業

三部被甲 灑水

次取壇上之浴油居火加持之以小印大

呪百八返加持也印右手小名二指屈入

掌中指直豎頭指著中指背以大指著頭

第一文側呪曰 大呪或心

加持供物 以前印明

次取油置壇之中心取像放著油中 紙クハミ

文字觀 觀佛 金剛起 普禮

表白 神分 祈願 發願

本尊界會 歡喜大天 鷄羅山中 諸大眷屬

五大願 普供三力

大金剛輪 地結

四方結

道場觀

觀五輪世界其上有劍字成毘那耶迦山

上有寶字成寶宮殿中有白色圓壇

中有清淨油海中有寶字變成荷葉座

上有作字變成箕變成歡喜天男女

二像共象頭人身相向互抱而立無量眷

屬前後圍繞云々

大虛空藏 小金剛輪 送車轆

請車轆 召請印 根本印如執大指來

眞言曰 根本印如執大指來

庵鉢迦羅二合主拳縛縛多野 二合

四明 拍掌 虛空網 火院

闕伽眞言曰

庵呬渡哩惹野娑嚩 二合 賀 普通眞言

荷葉 五供印明 普供三力 現供

一。捧供但蘿葡萄酒時此不供之

四智讚 本尊讚

庵誑那鉢底扇底娑婆底摩訶誑那鉢底

扇底迦羅 此句隨法 娑婆 二合 賀

普供三力 祈願等

禮佛

南無誑那鉢底提婆 不

入我々入

次身印

內縛二中指豎相二頭各附中後二大

竝附之 二大開付左右頭指也

佛慈護印

○ 呼
○ 呼
○ 呼

摩軌云。水天位。水中乘龜。淺綠色。右手

半畝

執刀左手持龍索頭冠上有五龍云云

言曰 歸命轉嚕拏野莎阿

陀羅尼集經第十一云天女形有三眼頭著天冠身著天衣璎珞莊嚴以兩手捧如意珠云

又云水天印起立並脚合掌當眉間屈二頭指押二大指頭作此印者水天身觀云水天呼召印呪曰一千八返滿祈雨先滿

集經第一云其壇北方面安水天坐安十六盤飯食供養燒薰陸香呪師面向北坐云

一、行法次第

道場觀 壇中有字變成甘露水其水上有字成龜其上有字變成龍索轉成水天其身淺綠色右手執刀左手持龍索頭冠上有五龍后妃天女諸天龍王等左右前後圍繞

印 鉢印 如飯食印但大指來去有觀念召請印明同用之

次龍索印 內縛二風圓合

又印 右拳申風少屈

次諸龍印 二羽散舒五輪二空相又真言曰

以右仰左三度搖動也

散念誦

佛 大 廣 水天 三種 諸龍

法施 大 一

廣目真言 又如胎藏左右掌背合風空或金掌

本尊界會 縛嚕拏天 難陀拔難 諸龍王等 梵號 南無 一、御卷數事

神泉苑御修法所

奉供

大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

十二天供十五箇度

聖天供十五箇度

諸神供一七箇度

奉讀

大雲輪請雨經六百部

奉念

佛眼

大日

本尊

大金剛輪

一字金輪

右依輪旨始自今月十四日至于今日為甘雨普潤五穀成就引率二十口大法師等殊致精誠奉修如件

永久五年六月二十二日

行事大法師賢圓

阿闍梨權少僧都法眼和尚位勝覺

一、御卷數令進事

一、感雨勅使面謁事

水久記云降雨之時感雨 勅使來仰其由恒規也而于今無其事只頭辨之返事被感其甘雨之由許也因之伴僧等頗不甘心云

一、勸賞被仰下事

一、道具本尊等奉渡本寺事

此祈雨抄者先師僧正勝賢依仁和寺宮仰所集祕本也門弟之中書寫之人無之云尤可祕藏也

東寺沙門成賢

寫本云

建長二年八月十五日書寫畢

東寺末葉薩劍四十三

建長七年乙卯三月十五日策窺馬參

山科奉謁上人拜領斯法授賜之時慙

懃仰云斯記者一宗之骨目一門之髓

腦也相承之人惟少正統之家纔留返

之推知猶可怖自流之漏闕頗為痛必

行先考之舊蹟寫先賢之祕書列三寶

其請之外者自身殆莫再見一染筆端
永隱箱底雖爲我文不任我意譬如龍
王之乍持寶珠不任龍意云凡有甚
深之契約及再三之誓言畢仍同十六
人夜乘月取桂爲松於舊里翌日自旦
及晚假三輩筆終一卷功了剩
類貧女之懇志勵貧僧之微力求一燈
令一校于時漏刻漸闌曉鐘幽響雨音
頻聞境節增祝指圖馳筆畫圖頗荒爲
終不日功如忘後代醜而已

求法假名比丘 嚴杲 四十

弘安元年 戊寅 八月二十一日交點之
一人之外不可傳之旨以起請文申請
之況餘人見知之哉

永仁二年 甲午 八月七日書寫一校畢
依多年懇望蒙一卷恩者也于時雨時
灑耳 權大僧都教嚴四十

於此書者最後閉眼之時一人之外雖
不可授諸事申談上者奉傳受畢
法印權大僧都能嚴七十五歲

覺禪鈔 請雨法下

請雨經法

由來

遺告云帝經四朝奉爲國家建壇修法五
十箇度神園池邊御願修法祈雨靈驗其
明上從殿上下至四元此池有龍王名善
如元是無熱池龍王類也有慈爲人不
害心以何知之御修法之比託人示之即
敬真言與旨從池中現形示之時悉地成
就彼現形業宛如金色長八寸許蛇此金
色蛇居在長九尺計蛇之頂也見此形現
弟子等實惠大德并真濟真雅真照堅惠
眞曉眞然等也諸弟子等敢難覽者具注
言心奏聞 內裏小時之間勅使和氣眞
綱御幣種々色物供奉龍王眞言道崇從
爾彌起也若此池龍王移他界淺池渡
薄世乏人方至此時須不令知公家私加
祈願而已

右請書請文案文康平永久

被 綸言云天災迫人民地天亡國內九
穀種痘七道飢渴之間捧幣驚社頭讀經
乞誓水雖然蒼天無應堅地無感受眞言
最上乘之中有祈雨祕法也祖師修之留
利生於後代先師行之納靈驗於一室誠
廣大之慈悲何等過於斯哉仍任師跡率
二十口伴侶於神泉苑可被勤修祈雨法
者 綸旨如此全莫辭退可悉之

康平八年云

五月十一日 左中辨源爲信兼

謹奉 成尊闍梨御房

謹奉 祈雨法 宣旨狀事

右須任 宣旨參修也而成尊才能不聞
者蠶齡已過半言行無取者傍人已越頂
也然者三々急修之法粗雖傳老身無力
一九上乘之行頗雖習隱士無好就中代
末而人無信時落而供物存略三業不同
五體旋病勞案之不堪勤修仍辭退如件
○誠惶誠恐謹言
五月十一日 申尅 大法師人請文

重被 綸旨云法形以利生爲宗以慈悲
爲事古今常法也加之有 皇應時佛陀
利生蒙勅定時菩薩譯經云何況和尚
足下所居既 皇預之地得度已天皇之
恩也有何由背 宣旨狀哉然者任囑請
趣叶先師意者 綸旨如此以一悉萬耳
五月十二日 辰尅 左中辨源
謹奉 成尊闍梨座

重奉

祈雨法 宣旨事

右成尊戒光不照身惠日不入舍者且成
怖畏且恥先師所辭退申也但於今者
皇情破五府勅宣込三半誠知遲拙報盡

乎。早任 宣旨。學二十口伴侶。從明日於神泉古跡之地可勤修請雨經法之狀請定者謹奉如件誠惶誠恐、

五月十二日午尅 大法師公謹文

被 綸旨云。自今日學二十口伴侶。於神泉苑可勤修請雨經○之由宜遣仰者綸旨如此悉之謹言
永久五年六月十四日。左大辨顯隆奉謹奉 東大寺別當僧都御房

謹預

御請書事

右病痾之後。無力無術之旨。度々雖申。猶可勤修之由。頻被仰下者。知法而仕朝。何不肯聖主之仰。出家而歸佛。豈不預法力嚴事。仍慈所請如件

六月十四日

注進

請雨經御修法一七箇日支度事

曼陀羅二顆 御衣紺七丈。青色

蘇七合 密七合 名香 白檀 沈水香等

五寶 金、銀、琉璃、眞珠、水精

五香 薰陸、白檀、蘇合、龍腦、安息

五藥 人參、茯苓、天門冬、甘草、白芥子

五穀 稻、大麥、小麥、小豆、胡麻

金青七兩

油五斗三升八合

壇供米二十五石二斗大壇十石五斗。護摩壇十石五斗。天壇各二石

一斗

一丈六尺青幡一流相具一丈八尺棹一支

一丈二尺青幡一流相具一丈五尺棹一支

八尺青幡十二流相具一丈一尺棹十二支

五尺青幡二十八流

壇四面

大壇一面方六尺

護摩壇一面同前在爐桶

十二天壇一面方三尺五寸

聖天壇一面同前

脇机六前大壇料三前。護摩壇料二前。天壇各一前

燈臺四十本

經机二十前

禮盤二基

半疊四枚

壇敷料紺布三段大壇一段。護摩壇一段。天壇一段

蠟燭并供蠟料布一段

大青瓷瓶百口

小青瓷瓶百口關佛器料 可具尻居

青瓷瓶十四口花瓶料

雜器直料米五石

紺幕一帖

阿闍梨 伴僧二十口

行事一人 承仕四人

驅仕八人 見了二人

淨衣青色 人供如常

右注進如件

年月日

行事大法師 阿闍梨々々

可用意曜宿事

大日經云。畢宿好雨月行入畢宿則雨降文

五龍祭事

小野僧都奏狀云。康平八年自大師御時每被行此法。必有此祭。自御修法第五日三箇日所被祭也云々

御修法間大阿闍梨經奏聞自公家仰

陰陽寮令祭事也

陰陽口傳云。以茅作五龍形。其中用龍

梵字。即件梵字阿闍梨書之云々

借屋事

壇所一字。子午屋五間三面東西南

阿闍梨宿所一字。卯酉屋二間二面南北

伴僧宿所一字。卯酉屋五間一面南在庇

佛供所一字。子午屋二間

人供所一字。卯酉屋二間

五字之內。壇所并阿闍梨宿所。以青色

幕覆屋上。引迴四面也。伴僧宿所。南面

許曳互之

此事。公家被備之。依伴僧行事等下知

官人等令造也

大雲經祈雨壇法云。若天亢旱時。欲祈

請雨者。於露地作壇。除其瓦礫及諸穢

物。張設青幕文

集經十一云祈雨法壇四方皆將皂布幕緯

繞之。上方亦覆。於其幕內多懸皂幡

天蓋事

蓋如常。以青色爲異。上有寶珠形。但先例

不必用天蓋敷。永久之時又無之。是依急略歟云。

又小野僧正或度支度云。天蓋一面。方六尺。青色。幡五流。長六尺。白赤黃青黑各一流。天蓋料。

今案。天蓋尤可用之。大法皆在之。至此法何略之哉。就中見本文應張青帳。

或張設青幕云。此等文。借屋上所張之幕證據也。但以此思之。彌天蓋何可略之哉。尤可用之。但五色幡頗可用意事也。今法首尾。青色物一切不用之。而至天蓋幡一流。赤色。定不叶物儀歟。僧正御支度。定有御存知之旨歟。深意誰可察之哉。然者只於此一事背先記。六尺青色幡五流。蓋料可載支度也。

幡事
壇所母屋上十三流立之。十二流者。書十二天梵號。各十方立之。一流書不動慈救呪。可立中央也。又大幡一流。壇所前庭立之。書金輪佛頂種子也。小野僧正長久四年御修法。屋上中央幡。一字金輪種子并輪形立之云。又道場內。二十八流幡懸之。各書諸龍梵號。所謂。各二流。是也。母屋四方四角柱十四本。各二流副懸之也。

幡大小皆青色。可綵色。寸法各可見支度。皆當日於壇所調之。幡尺如常。以青色。手足端懸幡引幕事。皆從東北角起首云。

請雨品六十四云。應張青帳懸十三幡。請雨經下云。四角各懸青幡七枚。合二十八幡。各長一丈云。

祈雨壇法云。張設青幕懸青幡。集經云。於其幕內多懸白幡云。

用幡事。此等文可思之。

幡書梵號等事。屋上幡也。

中央 慈救呪

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

伊舍那 帝釋

畢。礙等今在之。仍其後西門出入之義。不可有故付陰開北門歟。

此門之見入立札。其銘曰。不淨穢業。雖不可來入。又赤色物不可持入。

曼荼羅事 (裏書二三五)

二續。曼荼羅當日圖畫之。小野僧都時。可被召儲早筆佛師之由。被申送奉行人許。皆見彼書狀。無綵色。只薄墨畫之。佛御髮許奉塗紺青云。

畫工可令沐浴潔齋云。又同繪之時可作法也。

大雲經祈雨壇法云。於壇中畫七寶池。池中畫海龍王宮。於龍宮中有釋迦如來。住說法相。佛右畫觀自在菩薩。佛右畫金剛手菩薩。侍衛於佛前。右畫三千大千世界主輪蓋龍王。佛前右畫難陀跋難陀二龍。

文

已上懸曼荼羅

私云。此文不說僧形。現圖又有之如何。同經又云。於壇四方用羅摩夷汁各畫一龍王。於東方畫一龍。一身三頭。量長三肘。并眷屬圍繞。又南法畫一龍王。一身五頭。量長五肘。并眷屬圍繞。於西方畫一龍王。一身七頭。量長七肘。并眷屬圍繞。於北方畫一龍王。一身九頭。量長九肘。并眷屬皆在毘盧雲中。半身已下如蛇形。尾在池中。半身已上如菩薩形。皆合掌從池涌出。交陀羅尼集經十一云。壇之東門。將以泥作一龍王身。身長三肘。一身三首。其龍立地。

陀羅尼集經十一云。壇之東門。將以泥作一龍王身。身長三肘。一身三首。其龍立地。

陀羅尼集經十一云。壇之東門。將以泥作一龍王身。身長三肘。一身三首。其龍立地。

陀羅尼集經十一云。壇之東門。將以泥作一龍王身。身長三肘。一身三首。其龍立地。

陀羅尼集經十一云。壇之東門。將以泥作一龍王身。身長三肘。一身三首。其龍立地。

陀羅尼集經十一云。壇之東門。將以泥作一龍王身。身長三肘。一身三首。其龍立地。

陀羅尼集經十一云。壇之東門。將以泥作一龍王身。身長三肘。一身三首。其龍立地。

龍身一肘在於壇內。二肘在外。次於南門。又以泥作一龍身。身長五肘。一身五首。其龍立地。龍身一肘在壇內。四肘在外。次於西門。又以泥作一龍王身。身長七肘。一身七首。龍身立地。身長一肘在壇內。六肘在外。次於北門。又以泥作一龍王身。身長九肘。一身九首。龍身立地。一肘左內。八肘在外。次壇中心。又以泥作一龍王身。身長八肘。一身一肘。龍頭向東云。

又云。其壇內外。多以泥作小龍子形。以為眷屬云。

已上數曼荼羅私云。此等經文大略同之。但先祈雨壇法文。不說中心之龍王。今所用文現圖像。全叶集經說如何。

壇之事

壇所。母屋南第一間。奉懸大師御影。但向北懸之備香花等。

第二間。大壇

第三間。護摩壇

第四間。十二天壇

第五間。聖天壇

西庇五間。伴僧座

東庇北端二間。水天

供行者。

同庇南第三四間。孔雀經讀經所

水天供。孔雀經等。阿闍梨為用心。副行之。此外永久之時。廣天供修之。但上醍醐五大堂行之云。

後代之有無。可任阿闍梨之意。歟

孔雀經讀誦

陀羅尼集經云。請有德有行。精進衆僧。轉

讀大雲經。孔雀經。大雲輪經。助祈雨人。如是作法乞雨。三日得雨。若一七日內得大雨云。

守護經云。轉讀大孔雀王經。大悲心發大誓願。為諸衆生祈降甘雨云。

一。大壇

壇敷。用紺布。自餘三壇共用紺布。概五色。用不可口云。不結界。可勸請龍象故也。

五瓶。橘一枝。柏一枝。桂一枝。揮之。瓶水入紺青。

請雨經下云。壇四角安四花瓶。各蜜三升。又以金精或石黛和水。令青。悉便瓶滿。種々草木諸雜花葉。揮著瓶內云。

又云。瓶水日別使新。不得隔宿。又四面花事。用柏桂葉等。又闍伽器可入紺青。灑水器可入紺青。佛供菓子等。染青色可用之。

祈雨壇法云。隨其力分。飲食菓子等。皆染作青色。以懸淨心。布列供養。燒香散青色文。

請雨經下云。其菓飲食不得隔宿云。

香事

口傳云。燒香沈水香。殊安息香。晝夜不斷燒之。并小壇等同。可燒此等香云。

請雨經下云。燒種々薰陸。沈水。蘇合。栴檀。及安息等云。

寶樓閣經中云。以香膠和芥子油。於龍池邊護摩。一千八反。一切諸龍皆得敬

愛。降雨不損苗稼云。

准祇獨行。灌頂法云。若大旱可於中夜燒安息香。勅五方龍速令降雨。又云。諸龍前散華燒香。勿令斷絕云。

口傳云。凡一切供物。皆不可經宿。每朝新改備也。且是本文也。如前。

大壇中心奉安置佛舍利。入白琉璃甕。造蓮花臺其上安之。

口傳云。壇上安舍利事。龍王歸敬故也。餘尊法皆安之。自宗祕事也。今法殊相應歟。

並經箱。佛舍利西安之。奉入請雨經。以青色絹為打敷。

祈雨壇法云。壇上置此大雲經。於一切有情起大慈悲心。至誠請一切佛菩薩大火舍。舍利東安之。燒不斷香。

中瓶。經箱西立之。

一。護摩壇

兩壇上。壇敷布上。更以茅敷之。用清淨之青茅也。右旋布之。先東方根北末南。次南方根東末西。次西方根南末北。次北方根西末東布之也。應以末押根。勿以根押末。數茅草也。加持香水周遍灑上云。

又兩壇之半。疊下敷茅薦云。

薪。柏木。長九寸許。

乳木。用柳。長十指。五寸也。四角削之。

藥種。黃梗米。龍腦香。燒之。

加持物。白芥子。投千度云。

經下云。銅器中滿白芥子。誦呪加持一千反。○擲龍池。即降大雨云。

三

不空藕索經十九云。加持白芥子龍花稻穀花護摩。龍衆降大甘雨。苗稼滋盛云云。

嗽口。灑淨二器。可入金青也。

五色不用之如大。

一。十二天壇如常。

一。聖天壇如常。

靈驗日數事

軌云。亢旱之時。如是依法誦此大雲經。成經一日二日。乃至七日。定降注甘雨。若災重不雨。更作降甘雨。假使大海或有過限。越潮。依此經作法轉讀。無不應効云云。

請雨品云。若時無雨。讀誦此經一日二日。乃至七日。音聲不斷。亦如上法。必降雨。大海水潮可留過限。若能具足依此修行。不降雨者。無有是處。唯除不信不至心者云云。

集經云。若能如是作法乞雨。三日得雨。若不得雨。一七日內必得大雨云云。

慈悲心事

小野口傳云。發慈悲心。慈念一切衆生。應修此法。又國王同發此心。令修者必有驗云云。

經下云。其誦呪者。於諸衆生恒起慈悲心。勿生惡念。又願以此禮佛念誦及諸功德迴施一切諸天龍王。並及含識有形之類云云。

持齋沐浴事

口傳云。持齋可行。每日沐浴。如大便時必可香湯浴。

祈雨壇法云。每日香湯沐浴云云。

經下云。持齋靜思。唯食酪及乳麩等。粳米菓菜云云。

淨衣事

阿闍梨計。青色衣。青色平袈裟。青色裳。自公家可被調下。此皆可奏聞事也。伴僧淨衣二十一領。青色也。只衣計也。承仕。斷仕。見了等之淨衣者。青色布也。裝束事。先以別紙遂言上之云云。

行法事

請雨經下并祈雨壇法著新淨青衣云云。先行法以前。九條錫杖可誦之。諸龍法施也。開白初夜時以前誦之。後。後夜時以前可誦之。

口傳云

禮本尊并諸龍云云。軌云。昇高座。先禮十方諸佛云云。口傳云。不可用地結并天結四方結。諸龍來臨故云云。又不結界。

集經云。遣一呪師。坐於壇內。○至心誦呪。直護身莫作結界。

道場觀。本尊加持等在口決。

勸請句。本尊界會釋迦尊。以下不同之。

觀自在尊金剛手。大雲經中諸三寶輪蓋龍王難陀等。五方龍王諸眷屬。

聖朝安穩除不祥。甘雨普潤成御願。

發願。本尊聖者。釋迦如來。普賢觀音。難陀拔難。五大龍王。諸大眷屬。

兩部界會。諸尊聖衆。外金剛部。護法天等。還念本誓。降臨壇場。所設供具。哀愍攝受。護持國主。消除不祥。消除災難。增長寶壽。恒受快樂。除災早魃。甘雨普潤。五穀成就。此二句三返。國土安穩。萬民豐樂。天下法界。平等利益。

五大願。諸大龍王增法樂。護持國主成御願。

禮佛。南無釋迦牟尼佛三返必禮之。

觀金輪難拔。同可禮之。但自餘一禮。

讀四智。次孔雀經讚。

不斷經。永久讀二卷經。御請來錄一卷也。尤不審。可讀御請來經歟。

祈雨壇法云。晝夜虔誠讀此大雲經。或二人三人乃至七人更替讀聲不應間斷云云。

行法畢撥遣時。龍王可觀奉送虛空。此爲降雨也。

護摩事。集經云。遣一呪師。坐於壇內。多燒雜香。至心誦呪。如是八人更互入壇誦呪。不得令其壇內空虛。日夜誦呪。聲莫絕云云。

師口云。遣一呪師者。護摩阿闍梨也云云。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

火天段。如常。

部主段善如

種 三

龍索 形體如俗著冠

二手持寶珠如此可觀之

印 二手內縛二頭圓合

眞言

庵阿幡鉢多曳加補瑟底迦之句

啓白如常 但加甘雨普潤五穀成就之

句

本尊段如常 種子等如前

諸尊段普賢 觀音供之

世天段如常

五龍王供之 用諸龍印言云此
段殊可供龍王等也

神供事

壇所辰巳方頗高所有於此處可修之作

法如常但殊西方天加杓又幣四本可立

加四龍王料也輪蓋難陀拔難善如粥等

同可供之以諸龍眞言供之每夜修之也

龍供事

於龍穴修之件穴中鳥東石中北石南ソ

ヒ也石鳥角也作法大界如神供先淨土

變次大鈎召印言次本尊印虛心合掌也

眞言諸龍言也但可有加句曰

孔雀經上卷與祈雨稱是也件石上茅ヲ

アミテ如薦シテ敷之其上龍形向西居

之可修也以香花燈明五穀粥及種々供

具金銀幣等供之作龍形事以茅草如遣

告先九尺計龍作フトサヲ相計次第結

之上紙纏以薄型綵色入眼如法如蛇作

之其上也以茅草長八寸計蛇作之紙纏以金薄綵色之可入眼即書「字龍頭」供畢後以所敷之蘆簍之可埋彼穴能々不見之樣可堀埋也行者面向東居鳥龍石上居之此龍形善如龍女可觀也以親弟於閑所令作之不可令他見云々

神泉苑御修法所

奉供

大壇供

護摩供

十二天供

聖天供

諸神供

奉誦

大雲輪請雨經 部

奉念

佛眼眞言

大日眞言

本尊眞言

大金剛輪眞言

一字金輪眞言

右依 綸旨始自今月日至今日爲廿

露普潤五穀成就引率二十口大法師等

殊致精誠奉修如右

年號月日

抑行此法之時古皆青瓷器若無此者白

瓷器塗金青如闕伽器皆用之云々

水久如此云々

但小野僧正勤修時次第未分明今私案

云不似普通用此等之條甚不甘心都可停止金銅之類者鈴等不居之何至此法煩可有此義只例可金銅之道具也雖不用赤色之物未嫌金色之類甚無其謂金銅殊相叶祈雨法文等

大日經疏云五部五行相配時以金剛部配水云々金有水之精云々

集經云其壇四角各別安一赤銅水罐其罐各可受一者滿盛淨水○其口挿柳栢枝竹枝云々

今見此等文金色還相應色歟佛海以莊嚴爲本任例金銅之道具等尤優美也瓷

器其非莊嚴行法之間定可無骨歟注申公家頗其煩也凡理何法末代大阿闍梨

支度多可存略於不事闕者不可注中還陵怠之因緣也後人傳案之加之五行相

尅相生云金生水土尅水云々金色尤叶物儀瓷器豈非土之性哉尤可思惟但此

等條末代管見愚案有恐有悞今一重能可談話歟

本記云

承元第二之曆極月第八之天所習大

事口傳不殘一事書集畢一流以此可

存相傳之血脈努々不及他見

表白

敬白眞言教主大日如來四方四智四波

羅蜜十六八供四攝智殊分大恩教主釋

迦牟尼如來觀音薩埵二大菩薩三千界

阿闍梨々々

主輪蓋龍王。難陀拔難陀并五大龍王等。總兩部界會諸尊聖衆外金剛部護世威德天等。應申夫以南瞻部州大日本國金輪聖王合玉體之爪掌。驚三部聖衆。御事有其趣何者。時屬淺季三災屢現。代及末法七難競起。雖知時運之令然。源欲厄怪之災難。就中今年雨際天晴百姓忘農業之勤。霜月地乾萬民有菜色之憂。是即龍神之成。噴諸天之側目歟。不請救療於三寶者。爭拂災患。不致祈請於佛陀者。豈滿御願。是以尋大法之先規。訪祖師之舊跡。當良辰吉曜之日。修速疾祈雨之祕法。依之十二天含咲。忽拂災患於萬里之外。善如龍王振威。早降甘雨於一天之下。然者則金輪長轉。鳳曆運久。百穀滋茂。國有豐稔之幸。萬姓安穩。人誇稼穡之悅。

道場觀

先結大海印言。次結如來拳印。觀其字。變成宮殿樓閣。如難陀優婆塞難陀龍王。宮內大威德摩尼之藏。大雲輪殿寶樓閣中有蓮花座。上有蓮字。從此字流出甘露乳水。普灑法界。此字變成鉢。從中出甘雨。普潤國土。此鉢即無熱池也。此水即法性智水。善如龍王得此水。忽灑天下。普濟度群類。其餘諸龍降雨大小群龍依法緣利生功德。內外摩勞忽除。善提妙因此已熟。此鉢變成摩訶毘盧舍那應化身釋迦如來。爲龍衆令利益教化。觀音薩埵以下龍王如經文可觀想之。以大鈎召印言。令勸請本

尊等作法如常。其後又以鈎召印可請龍王等。不用別眞言。只以名號可誦。三千界主輪蓋龍王。難陀龍王。跋難陀龍王。善如龍王。五方龍王諸眷屬如是可唱也。可觀想自大海勸請也。
本尊釋迦大日所變

種子 𑖀 𑖩 𑖪 𑖫 𑖬 𑖭 𑖮 𑖯 𑖰 𑖱 𑖲 𑖳 𑖴 𑖵 𑖶 𑖷 𑖸 𑖹 𑖺 𑖻 𑖼 𑖽 𑖾 𑖿 𑗀 𑗁 𑗂 𑗃 𑗄 𑗅 𑗆 𑗇 𑗈 𑗉 𑗊 𑗋 𑗌 𑗍 𑗎 𑗏 𑗐 𑗑 𑗒 𑗓 𑗔 𑗕 𑗖 𑗗 𑗘 𑗙 𑗚 𑗛 𑗜 𑗝 𑗞 𑗟 𑗠 𑗡 𑗢 𑗣 𑗤 𑗥 𑗦 𑗧 𑗨 𑗩 𑗪 𑗫 𑗬 𑗭 𑗮 𑗯 𑗰 𑗱 𑗲 𑗳 𑗴 𑗵 𑗶 𑗷 𑗸 𑗹 𑗺 𑗻 𑗼 𑗽 𑗾 𑗿 𑘀 𑘁 𑘂 𑘃 𑘄 𑘅 𑘆 𑘇 𑘈 𑘉 𑘊 𑘋 𑘌 𑘍 𑘎 𑘏 𑘐 𑘑 𑘒 𑘓 𑘔 𑘕 𑘖 𑘗 𑘘 𑘙 𑘚 𑘛 𑘜 𑘝 𑘞 𑘟 𑘠 𑘡 𑘢 𑘣 𑘤 𑘥 𑘦 𑘧 𑘨 𑘩 𑘪 𑘫 𑘬 𑘭 𑘮 𑘯 𑘰 𑘱 𑘲 𑘳 𑘴 𑘵 𑘶 𑘷 𑘸 𑘹 𑘺 𑘻 𑘼 𑘽 𑘾 𑘿 𑙀 𑙁 𑙂 𑙃 𑙄 𑙅 𑙆 𑙇 𑙈 𑙉 𑙊 𑙋 𑙌 𑙍 𑙎 𑙏 𑙐 𑙑 𑙒 𑙓 𑙔 𑙕 𑙖 𑙗 𑙘 𑙙 𑙚 𑙛 𑙜 𑙝 𑙞 𑙟 𑙠 𑙡 𑙢 𑙣 𑙤 𑙥 𑙦 𑙧 𑙨 𑙩 𑙪 𑙫 𑙬 𑙭 𑙮 𑙯 𑙰 𑙱 𑙲 𑙳 𑙴 𑙵 𑙶 𑙷 𑙸 𑙹 𑙺 𑙻 𑙼 𑙽 𑙾 𑙿 𑚀 𑚁 𑚂 𑚃 𑚄 𑚅 𑚆 𑚇 𑚈 𑚉 𑚊 𑚋 𑚌 𑚍 𑚎 𑚏 𑚐 𑚑 𑚒 𑚓 𑚔 𑚕 𑚖 𑚗 𑚘 𑚙 𑚚 𑚛 𑚜 𑚝 𑚞 𑚟 𑚠 𑚡 𑚢 𑚣 𑚤 𑚥 𑚦 𑚧 𑚨 𑚩 𑚪 𑚫 𑚬 𑚭 𑚮 𑚯 𑚰 𑚱 𑚲 𑚳 𑚴 𑚵 𑚶 𑚷 𑚸 𑚹 𑚺 𑚻 𑚼 𑚽 𑚾 𑚿 𑛀 𑛁 𑛂 𑛃 𑛄 𑛅 𑛆 𑛇 𑛈 𑛉 𑛊 𑛋 𑛌 𑛍 𑛎 𑛏 𑛐 𑛑 𑛒 𑛓 𑛔 𑛕 𑛖 𑛗 𑛘 𑛙 𑛚 𑛛 𑛜 𑛝 𑛞 𑛟 𑛠 𑛡 𑛢 𑛣 𑛤 𑛥 𑛦 𑛧 𑛨 𑛩 𑛪 𑛫 𑛬 𑛭 𑛮 𑛯 𑛰 𑛱 𑛲 𑛳 𑛴 𑛵 𑛶 𑛷 𑛸 𑛹 𑛺 𑛻 𑛼 𑛽 𑛾 𑛿 𑜀 𑜁 𑜂 𑜃 𑜄 𑜅 𑜆 𑜇 𑜈 𑜉 𑜊 𑜋 𑜌 𑜍 𑜎 𑜏 𑜐 𑜑 𑜒 𑜓 𑜔 𑜕 𑜖 𑜗 𑜘 𑜙 𑜚 𑜛 𑜜 𑜝 𑜞 𑜟 𑜠 𑜡 𑜢 𑜣 𑜤 𑜥 𑜦 𑜧 𑜨 𑜩 𑜪 𑜫 𑜬 𑜭 𑜮 𑜯 𑜰 𑜱 𑜲 𑜳 𑜴 𑜵 𑜶 𑜷 𑜸 𑜹 𑜺 𑜻 𑜼 𑜽 𑜾 𑜿 𑝀 𑝁 𑝂 𑝃 𑝄 𑝅 𑝆 𑝇 𑝈 𑝉 𑝊 𑝋 𑝌 𑝍 𑝎 𑝏 𑝐 𑝑 𑝒 𑝓 𑝔 𑝕 𑝖 𑝗 𑝘 𑝙 𑝚 𑝛 𑝜 𑝝 𑝞 𑝟 𑝠 𑝡 𑝢 𑝣 𑝤 𑝥 𑝦 𑝧 𑝨 𑝩 𑝪 𑝫 𑝬 𑝭 𑝮 𑝯 𑝰 𑝱 𑝲 𑝳 𑝴 𑝵 𑝶 𑝷 𑝸 𑝹 𑝺 𑝻 𑝼 𑝽 𑝾 𑝿 𑞀 𑞁 𑞂 𑞃 𑞄 𑞅 𑞆 𑞇 𑞈 𑞉 𑞊 𑞋 𑞌 𑞍 𑞎 𑞏 𑞐 𑞑 𑞒 𑞓 𑞔 𑞕 𑞖 𑞗 𑞘 𑞙 𑞚 𑞛 𑞜 𑞝 𑞞 𑞟 𑞠 𑞡 𑞢 𑞣 𑞤 𑞥 𑞦 𑞧 𑞨 𑞩 𑞪 𑞫 𑞬 𑞭 𑞮 𑞯 𑞰 𑞱 𑞲 𑞳 𑞴 𑞵 𑞶 𑞷 𑞸 𑞹 𑞺 𑞻 𑞼 𑞽 𑞾 𑞿 𑟀 𑟁 𑟂 𑟃 𑟄 𑟅 𑟆 𑟇 𑟈 𑟉 𑟊 𑟋 𑟌 𑟍 𑟎 𑟏 𑟐 𑟑 𑟒 𑟓 𑟔 𑟕 𑟖 𑟗 𑟘 𑟙 𑟚 𑟛 𑟜 𑟝 𑟞 𑟟 𑟠 𑟡 𑟢 𑟣 𑟤 𑟥 𑟦 𑟧 𑟨 𑟩 𑟪 𑟫 𑟬 𑟭 𑟮 𑟯 𑟰 𑟱 𑟲 𑟳 𑟴 𑟵 𑟶 𑟷 𑟸 𑟹 𑟺 𑟻 𑟼 𑟽 𑟾 𑟿 𑠀 𑠁 𑠂 𑠃 𑠄 𑠅 𑠆 𑠇 𑠈 𑠉 𑠊 𑠋 𑠌 𑠍 𑠎 𑠏 𑠐 𑠑 𑠒 𑠓 𑠔 𑠕 𑠖 𑠗 𑠘 𑠙 𑠚 𑠛 𑠜 𑠝 𑠞 𑠟 𑠠 𑠡 𑠢 𑠣 𑠤 𑠥 𑠦 𑠧 𑠨 𑠩 𑠪 𑠫 𑠬 𑠭 𑠮 𑠯 𑠰 𑠱 𑠲 𑠳 𑠴 𑠵 𑠶 𑠷 𑠸 𑠹 𑠺 𑠻 𑠼 𑠽 𑠾 𑠿 𑡀 𑡁 𑡂 𑡃 𑡄 𑡅 𑡆 𑡇 𑡈 𑡉 𑡊 𑡋 𑡌 𑡍 𑡎 𑡏 𑡐 𑡑 𑡒 𑡓 𑡔 𑡕 𑡖 𑡗 𑡘 𑡙 𑡚 𑡛 𑡜 𑡝 𑡞 𑡟 𑡠 𑡡 𑡢 𑡣 𑡤 𑡥 𑡦 𑡧 𑡨 𑡩 𑡪 𑡫 𑡬 𑡭 𑡮 𑡯 𑡰 𑡱 𑡲 𑡳 𑡴 𑡵 𑡶 𑡷 𑡸 𑡹 𑡺 𑡻 𑡼 𑡽 𑡾 𑡿 𑢀 𑢁 𑢂 𑢃 𑢄 𑢅 𑢆 𑢇 𑢈 𑢉 𑢊 𑢋 𑢌 𑢍 𑢎 𑢏 𑢐 𑢑 𑢒 𑢓 𑢔 𑢕 𑢖 𑢗 𑢘 𑢙 𑢚 𑢛 𑢜 𑢝 𑢞 𑢟 𑢠 𑢡 𑢢 𑢣 𑢤 𑢥 𑢦 𑢧 𑢨 𑢩 𑢪 𑢫 𑢬 𑢭 𑢮 𑢯 𑢰 𑢱 𑢲 𑢳 𑢴 𑢵 𑢶 𑢷 𑢸 𑢹 𑢺 𑢻 𑢼 𑢽 𑢾 𑢿 𑣀 𑣁 𑣂 𑣃 𑣄 𑣅 𑣆 𑣇 𑣈 𑣉 𑣊 𑣋 𑣌 𑣍 𑣎 𑣏 𑣐 𑣑 𑣒 𑣓 𑣔 𑣕 𑣖 𑣗 𑣘 𑣙 𑣚 𑣛 𑣜 𑣝 𑣞 𑣟 𑣠 𑣡 𑣢 𑣣 𑣤 𑣥 𑣦 𑣧 𑣨 𑣩 𑣪 𑣫 𑣬 𑣭 𑣮 𑣯 𑣰 𑣱 𑣲 𑣳 𑣴 𑣵 𑣶 𑣷 𑣸 𑣹 𑣺 𑣻 𑣼 𑣽 𑣾 𑣿 𑤀 𑤁 𑤂 𑤃 𑤄 𑤅 𑤆 𑤇 𑤈 𑤉 𑤊 𑤋 𑤌 𑤍 𑤎 𑤏 𑤐 𑤑 𑤒 𑤓 𑤔 𑤕 𑤖 𑤗 𑤘 𑤙 𑤚 𑤛 𑤜 𑤝 𑤞 𑤟 𑤠 𑤡 𑤢 𑤣 𑤤 𑤥 𑤦 𑤧 𑤨 𑤩 𑤪 𑤫 𑤬 𑤭 𑤮 𑤯 𑤰 𑤱 𑤲 𑤳 𑤴 𑤵 𑤶 𑤷 𑤸 𑤹 𑤺 𑤻 𑤼 𑤽 𑤾 𑤿 𑥀 𑥁 𑥂 𑥃 𑥄 𑥅 𑥆 𑥇 𑥈 𑥉 𑥊 𑥋 𑥌 𑥍 𑥎 𑥏 𑥐 𑥑 𑥒 𑥓 𑥔 𑥕 𑥖 𑥗 𑥘 𑥙 𑥚 𑥛 𑥜 𑥝 𑥞 𑥟 𑥠 𑥡 𑥢 𑥣 𑥤 𑥥 𑥦 𑥧 𑥨 𑥩 𑥪 𑥫 𑥬 𑥭 𑥮 𑥯 𑥰 𑥱 𑥲 𑥳 𑥴 𑥵 𑥶 𑥷 𑥸 𑥹 𑥺 𑥻 𑥼 𑥽 𑥾 𑥿 𑦀 𑦁 𑦂 𑦃 𑦄 𑦅 𑦆 𑦇 𑦈 𑦉 𑦊 𑦋 𑦌 𑦍 𑦎 𑦏 𑦐 𑦑 𑦒 𑦓 𑦔 𑦕 𑦖 𑦗 𑦘 𑦙 𑦚 𑦛 𑦜 𑦝 𑦞 𑦟 𑦠 𑦡 𑦢 𑦣 𑦤 𑦥 𑦦 𑦧 𑦨 𑦩 𑦪 𑦫 𑦬 𑦭 𑦮 𑦯 𑦰 𑦱 𑦲 𑦳 𑦴 𑦵 𑦶 𑦷 𑦸 𑦹 𑦺 𑦻 𑦼 𑦽 𑦾 𑦿 𑧀 𑧁 𑧂 𑧃 𑧄 𑧅 𑧆 𑧇 𑧈 𑧉 𑧊 𑧋 𑧌 𑧍 𑧎 𑧏 𑧐 𑧑 𑧒 𑧓 𑧔 𑧕 𑧖 𑧗 𑧘 𑧙 𑧚 𑧛 𑧜 𑧝 𑧞 𑧟 𑧠 𑧡 𑧢 𑧣 𑧤 𑧥 𑧦 𑧧 𑧨 𑧩 𑧪 𑧫 𑧬 𑧭 𑧮 𑧯 𑧰 𑧱 𑧲 𑧳 𑧴 𑧵 𑧶 𑧷 𑧸 𑧹 𑧺 𑧻 𑧼 𑧽 𑧾 𑧿 𑨀 𑨁 𑨂 𑨃 𑨄 𑨅 𑨆 𑨇 𑨈 𑨉 𑨊 𑨋 𑨌 𑨍 𑨎 𑨏 𑨐 𑨑 𑨒 𑨓 𑨔 𑨕 𑨖 𑨗 𑨘 𑨙 𑨚 𑨛 𑨜 𑨝 𑨞 𑨟 𑨠 𑨡 𑨢 𑨣 𑨤 𑨥 𑨦 𑨧 𑨨 𑨩 𑨪 𑨫 𑨬 𑨭 𑨮 𑨯 𑨰 𑨱 𑨲 𑨳 𑨴 𑨵 𑨶 𑨷 𑨸 𑨹 𑨺 𑨻 𑨼 𑨽 𑨾 𑨿 𑩀 𑩁 𑩂 𑩃 𑩄 𑩅 𑩆 𑩇 𑩈 𑩉 𑩊 𑩋 𑩌 𑩍 𑩎 𑩏 𑩐 𑩑 𑩒 𑩓 𑩔 𑩕 𑩖 𑩗 𑩘 𑩙 𑩚 𑩛 𑩜 𑩝 𑩞 𑩟 𑩠 𑩡 𑩢 𑩣 𑩤 𑩥 𑩦 𑩧 𑩨 𑩩 𑩪 𑩫 𑩬 𑩭 𑩮 𑩯 𑩰 𑩱 𑩲 𑩳 𑩴 𑩵 𑩶 𑩷 𑩸 𑩹 𑩺 𑩻 𑩼 𑩽 𑩾 𑩿 𑪀 𑪁 𑪂 𑪃 𑪄 𑪅 𑪆 𑪇 𑪈 𑪉 𑪊 𑪋 𑪌 𑪍 𑪎 𑪏 𑪐 𑪑 𑪒 𑪓 𑪔 𑪕 𑪖 𑪗 𑪘 𑪙 𑪚 𑪛 𑪜 𑪝 𑪞 𑪟 𑪠 𑪡 𑪢 𑪣 𑪤 𑪥 𑪦 𑪧 𑪨 𑪩 𑪪 𑪫 𑪬 𑪭 𑪮 𑪯 𑪰 𑪱 𑪲 𑪳 𑪴 𑪵 𑪶 𑪷 𑪸 𑪹 𑪺 𑪻 𑪼 𑪽 𑪾 𑪿 𑫀 𑫁 𑫂 𑫃 𑫄 𑫅 𑫆 𑫇 𑫈 𑫉 𑫊 𑫋 𑫌 𑫍 𑫎 𑫏 𑫐 𑫑 𑫒 𑫓 𑫔 𑫕 𑫖 𑫗 𑫘 𑫙 𑫚 𑫛 𑫜 𑫝 𑫞 𑫟 𑫠 𑫡 𑫢 𑫣 𑫤 𑫥 𑫦 𑫧 𑫨 𑫩 𑫪 𑫫 𑫬 𑫭 𑫮 𑫯 𑫰 𑫱 𑫲 𑫳 𑫴 𑫵 𑫶 𑫷 𑫸 𑫹 𑫺 𑫻 𑫼 𑫽 𑫾 𑫿 𑬀 𑬁 𑬂 𑬃 𑬄 𑬅 𑬆 𑬇 𑬈 𑬉 𑬊 𑬋 𑬌 𑬍 𑬎 𑬏 𑬐 𑬑 𑬒 𑬓 𑬔 𑬕 𑬖 𑬗 𑬘 𑬙 𑬚 𑬛 𑬜 𑬝 𑬞 𑬟 𑬠 𑬡 𑬢 𑬣 𑬤 𑬥 𑬦 𑬧 𑬨 𑬩 𑬪 𑬫 𑬬 𑬭 𑬮 𑬯 𑬰 𑬱 𑬲 𑬳 𑬴 𑬵 𑬶 𑬷 𑬸 𑬹 𑬺 𑬻 𑬼 𑬽 𑬾 𑬿 𑭀 𑭁 𑭂 𑭃 𑭄 𑭅 𑭆 𑭇 𑭈 𑭉 𑭊 𑭋 𑭌 𑭍 𑭎 𑭏 𑭐 𑭑 𑭒 𑭓 𑭔 𑭕 𑭖 𑭗 𑭘 𑭙 𑭚 𑭛 𑭜 𑭝 𑭞 𑭟 𑭠 𑭡 𑭢 𑭣 𑭤 𑭥 𑭦 𑭧 𑭨 𑭩 𑭪 𑭫 𑭬 𑭭 𑭮 𑭯 𑭰 𑭱 𑭲 𑭳 𑭴 𑭵 𑭶 𑭷 𑭸 𑭹 𑭺 𑭻 𑭼 𑭽 𑭾 𑭿 𑮀 𑮁 𑮂 𑮃 𑮄 𑮅 𑮆 𑮇 𑮈 𑮉 𑮊 𑮋 𑮌 𑮍 𑮎 𑮏 𑮐 𑮑 𑮒 𑮓 𑮔 𑮕 𑮖 𑮗 𑮘 𑮙 𑮚 𑮛 𑮜 𑮝 𑮞 𑮟 𑮠 𑮡 𑮢 𑮣 𑮤 𑮥 𑮦 𑮧 𑮨 𑮩 𑮪 𑮫 𑮬 𑮭 𑮮 𑮯 𑮰 𑮱 𑮲 𑮳 𑮴 𑮵 𑮶 𑮷 𑮸 𑮹 𑮺 𑮻 𑮼 𑮽 𑮾 𑮿 𑯀 𑯁 𑯂 𑯃 𑯄 𑯅 𑯆 𑯇 𑯈 𑯉 𑯊 𑯋 𑯌 𑯍 𑯎 𑯏 𑯐 𑯑 𑯒 𑯓 𑯔 𑯕 𑯖 𑯗 𑯘 𑯙 𑯚 𑯛 𑯜 𑯝 𑯞 𑯟 𑯠 𑯡 𑯢 𑯣 𑯤 𑯥 𑯦 𑯧 𑯨 𑯩 𑯪 𑯫 𑯬 𑯭 𑯮 𑯯 𑯰 𑯱 𑯲 𑯳 𑯴 𑯵 𑯶 𑯷 𑯸 𑯹 𑯺 𑯻 𑯼 𑯽 𑯾 𑯿 𑰀 𑰁 𑰂 𑰃 𑰄 𑰅 𑰆 𑰇 𑰈 𑰉 𑰊 𑰋 𑰌 𑰍 𑰎 𑰏 𑰐 𑰑 𑰒 𑰓 𑰔 𑰕 𑰖 𑰗 𑰘 𑰙 𑰚 𑰛 𑰜 𑰝 𑰞 𑰟 𑰠 𑰡 𑰢 𑰣 𑰤 𑰥 𑰦 𑰧 𑰨 𑰩 𑰪 𑰫 𑰬 𑰭 𑰮 𑰯 𑰰 𑰱 𑰲 𑰳 𑰴 𑰵 𑰶 𑰷 𑰸 𑰹 𑰺 𑰻 𑰼 𑰽 𑰾 𑰿 𑱀 𑱁 𑱂 𑱃 𑱄 𑱅 𑱆 𑱇 𑱈 𑱉 𑱊 𑱋 𑱌 𑱍 𑱎 𑱏 𑱐 𑱑 𑱒 𑱓 𑱔 𑱕 𑱖 𑱗 𑱘 𑱙 𑱚 𑱛 𑱜 𑱝 𑱞 𑱟 𑱠 𑱡 𑱢 𑱣 𑱤 𑱥 𑱦 𑱧 𑱨 𑱩 𑱪 𑱫 𑱬 𑱭 𑱮 𑱯 𑱰 𑱱 𑱲 𑱳 𑱴 𑱵 𑱶 𑱷 𑱸 𑱹 𑱺 𑱻 𑱼 𑱽 𑱾 𑱿 𑲀 𑲁 𑲂 𑲃 𑲄 𑲅 𑲆 𑲇 𑲈 𑲉 𑲊 𑲋 𑲌 𑲍 𑲎 𑲏 𑲐 𑲑 𑲒 𑲓 𑲔 𑲕 𑲖 𑲗 𑲘 𑲙 𑲚 𑲛 𑲜 𑲝 𑲞 𑲟 𑲠 𑲡 𑲢 𑲣 𑲤 𑲥 𑲦 𑲧 𑲨 𑲩 𑲪 𑲫 𑲬 𑲭 𑲮 𑲯 𑲰 𑲱 𑲲 𑲳 𑲴 𑲵 𑲶 𑲷 𑲸 𑲹 𑲺 𑲻 𑲼 𑲽 𑲾 𑲿 𑳀 𑳁 𑳂 𑳃 𑳄 𑳅 𑳆 𑳇 𑳈 𑳉 𑳊 𑳋 𑳌 𑳍 𑳎 𑳏 𑳐 𑳑 𑳒 𑳓 𑳔 𑳕 𑳖 𑳗 𑳘 𑳙 𑳚 𑳛 𑳜 𑳝 𑳞 𑳟 𑳠 𑳡 𑳢 𑳣 𑳤 𑳥 𑳦 𑳧 𑳨 𑳩 𑳪 𑳫 𑳬 𑳭 𑳮 𑳯 𑳰 𑳱 𑳲 𑳳 𑳴 𑳵 𑳶 𑳷 𑳸 𑳹 𑳺 𑳻 𑳼 𑳽 𑳾 𑳿 𑴀 𑴁 𑴂 𑴃 𑴄 𑴅 𑴆 𑴇 𑴈 𑴉 𑴊 𑴋 𑴌 𑴍 𑴎 𑴏 𑴐 𑴑 𑴒 𑴓 𑴔 𑴕 𑴖 𑴗 𑴘 𑴙 𑴚 𑴛 𑴜 𑴝 𑴞 𑴟 𑴠 𑴡 𑴢 𑴣 𑴤 𑴥 𑴦 𑴧 𑴨 𑴩 𑴪 𑴫 𑴬 𑴭 𑴮 𑴯 𑴰 𑴱 𑴲 𑴳 𑴴 𑴵 𑴶 𑴷 𑴸 𑴹 𑴺 𑴻 𑴼 𑴽 𑴾 𑴿 𑵀 𑵁 𑵂 𑵃 𑵄 𑵅 𑵆 𑵇 𑵈 𑵉 𑵊 𑵋 𑵌 𑵍 𑵎 𑵏 𑵐 𑵑 𑵒 𑵓 𑵔 𑵕 𑵖 𑵗 𑵘 𑵙 𑵚 𑵛 𑵜 𑵝 𑵞 𑵟 𑵠 𑵡 𑵢 𑵣 𑵤 𑵥 𑵦 𑵧 𑵨 𑵩 𑵪 𑵫 𑵬 𑵭 𑵮 𑵯 𑵰 𑵱 𑵲 𑵳 𑵴 𑵵 𑵶 𑵷 𑵸 𑵹 𑵺 𑵻 𑵼 𑵽 𑵾 𑵿 𑶀 𑶁 𑶂 𑶃 𑶄 𑶅 𑶆 𑶇 𑶈 𑶉 𑶊 𑶋 𑶌 𑶍 𑶎 𑶏 𑶐 𑶑 𑶒 𑶓 𑶔 𑶕 𑶖 𑶗 𑶘 𑶙 𑶚 𑶛 𑶜 𑶝 𑶞 𑶟 𑶠 𑶡 𑶢 𑶣 𑶤 𑶥 𑶦 𑶧 𑶨 𑶩 𑶪 𑶫 𑶬 𑶭 𑶮 𑶯 𑶰 𑶱 𑶲 𑶳 𑶴 𑶵 𑶶 𑶷 𑶸 𑶹 𑶺 𑶻 𑶼 𑶽 𑶾 𑶿 𑷀 𑷁 𑷂 𑷃 𑷄 𑷅 𑷆 𑷇 𑷈 𑷉 𑷊 𑷋 𑷌 𑷍 𑷎 𑷏 𑷐 𑷑 𑷒 𑷓 𑷔 𑷕 𑷖 𑷗 𑷘 𑷙 𑷚 𑷛 𑷜 𑷝 𑷞 𑷟 𑷠 𑷡 𑷢 𑷣 𑷤 𑷥 𑷦 𑷧 𑷨 𑷩 𑷪 𑷫 𑷬 𑷭 𑷮 𑷯 𑷰 𑷱 𑷲 𑷳 𑷴 𑷵 𑷶 𑷷 𑷸 𑷹 𑷺 𑷻 𑷼 𑷽 𑷾 𑷿 𑸀 𑸁 𑸂 𑸃 𑸄 𑸅 𑸆 𑸇 𑸈 𑸉 𑸊 𑸋 𑸌 𑸍 𑸎 𑸏 𑸐 𑸑 𑸒 𑸓 𑸔 𑸕 𑸖 𑸗 𑸘 𑸙 𑸚 𑸛 𑸜 𑸝 𑸞 𑸟 𑸠 𑸡 𑸢 𑸣 𑸤 𑸥 𑸦 𑸧 𑸨 𑸩 𑸪 𑸫 𑸬 𑸭 𑸮 𑸯 𑸰 𑸱 𑸲 𑸳 𑸴 𑸵 𑸶 𑸷 𑸸 𑸹 𑸺 𑸻 𑸼 𑸽 𑸾 𑸿 𑹀 𑹁 𑹂 𑹃 𑹄 𑹅 𑹆 𑹇 𑹈 𑹉 𑹊 𑹋 𑹌 𑹍 𑹎 𑹏 𑹐 𑹑 𑹒 𑹓 𑹔 𑹕 𑹖 𑹗 𑹘 𑹙 𑹚 𑹛 𑹜 𑹝 𑹞 𑹟 𑹠 𑹡 𑹢 𑹣 𑹤 𑹥 𑹦 𑹧 𑹨 𑹩 𑹪 𑹫 𑹬 𑹭 𑹮 𑹯 𑹰 𑹱 𑹲 𑹳 𑹴 𑹵 𑹶 𑹷 𑹸 𑹹 𑹺 𑹻 𑹼 𑹽 𑹾 𑹿 𑺀 𑺁 𑺂 𑺃 𑺄 𑺅 𑺆 𑺇 𑺈 𑺉 𑺊 𑺋 𑺌 𑺍 𑺎 𑺏 𑺐 𑺑 𑺒 𑺓 𑺔 𑺕 𑺖 𑺗 𑺘 𑺙 𑺚 𑺛 𑺜 𑺝 𑺞 𑺟 𑺠 𑺡 𑺢 𑺣 𑺤 𑺥 𑺦 𑺧 𑺨 𑺩 𑺪 𑺫 𑺬 𑺭 𑺮 𑺯 𑺰 𑺱 𑺲 𑺳 𑺴 𑺵 𑺶 𑺷

權僧正賢賀
俗齡五十五歲

賢覺法眼流目運云々爲說法對揚
在此云々

口傳云曼荼羅前僧形須菩提也釋尊尤衆教化遣彼云
祈雨壇法云五龍王前龍別各安一大瓦瓶○瓶身上以牛黃各畫四箇須菩提像結跏趺坐云
此文在須菩提事如何廣可尋習事也

唐先跡	吞噉法	又傳	付不動
止雨封	付迦樓羅法		

止風雨法

唐先跡

廣付法傳云金剛智玄宗皇帝令和尙祈雨雷電地震霽然洪澍淹日不息皇帝恐其漂物更令止雨和尙又壇上布置荷葉誦真言須臾裹之荷葉懸之樹枝頃雨竭天晴明日和尙便記就樹頭卽解前所裹懸荷葉卽諸龍等雷鳴騰空神力難識率如此類也文

止雨法同本尊歟

金剛智別傳云。自正月不雨。至于五月有
詔請大師祈雨。於是用不空鉤菩薩法。文
或人云。金智祈雨。不空鉤菩薩指無證
文云。

私云。後日列傳文勘之。

白河院御時永保年中小野僧正範俊奉
修請雨經法而義範僧都爲怨敵故上醍
醐籠居令修止雨法仍雨不降件止雨法
異說有之
法務寬一記云惠什語云範俊僧正修請
雨經法之時義範僧都行止雨經法之由
在人口而故尋圓云不爾行大佛頂法祈
之其作法鉢盛水云々

今案云。大佛頂經有其說云。禪林請來書。佛頂祈雨法見云。

私云說所儘也。或件法義範殊信用云。

仁濟閣梨云醍醐之人聞此說云。頗僻事。

也云。其後座主法印乘海石間參籠之時。入堂之次談話此事。乘海云。吞毆法也。

相應經見歟

瑜祇經云降伏一切魔怨品有佛名金剛大藥叉吞

噉一切惡有情及無情等物三世一切惡穢觸染慾心○又云卽成藥嚼拏噉食龍

諸毒文
傳後聞之慄

又傳千心

口授云。五尊者。釋迦。金剛手。觀自在。火天。摩耶斯龍王也。以杖擊者。降伏惡龍等。打止惡風雨也。

大師在唐之日祈雨止雨共傳給相續來者也

釋迦 智吉祥印 ① 如常 婆 ② 沒馱鉢 ③ 曼荼

金剛手 左拳安腰右羽抽擲杵

唵 嚩 日 羅 二 合 薩 怛 嚩 二 合 阿 入 引

觀自在 以二頭指如蓮葉

唵縛日羅 二合 達麼頡利 入二合

右手向上以左手把右腕

唵阿譏曩曳娑嚩賀

摩那斯龍王

覆散掌二空相絞如蛇腹行迴胸前

唵摩那斯銘伽捨倆曳娑婆賀
略頌曰

息沈增白 降安敬蘇
西向定 南向定

支度 普通不動

治安三年三月二十六日 權律師仁海

大天 金剛

宗明圖 釋迦

摩那斯龍 觀音

決疑抄云。問止雨法本尊用何尊乎
答有兩傳。一傳用五尊。一傳用一尊。以
迦樓羅為本尊。是祕事也云。

一說不動為本尊。宗明云。止雨本尊。釋
迦中尊。左金剛手。右摩那斯龍王。以件
三尊奉為本尊。憶傳之

私云。諸尊皆祈雨止雨法說之。仍三尊
即祈雨本尊也。付此尊有止雨法歟。諸
經軌可察。與少載之。付不動行時。散
念誦釋迦等呪誦之。宗明不動法口傳

中五尊。圖也
小野口傳意。自性輪教輪。各可有二法。
止雨時教令輪尤相應歟。二樣之種子

付不動法事

祕錄云。安然。請雨經部中載止風雨經
私云。止雨經又祈雨事有也

長寬二年七月二十日。八條女院御堂供
養彼御祈宗明時法。同月自十一日修不
動供。自十六日至二十日。卯時降雨。自辰
天晴。無事供養畢。又自二十一日同至三
日降雨。有靈驗。由御感有云。

表白

夫以明鏡相一。隨物分影於千品。法身體
依會機施用於萬類。是故大日和遍明之
光。顯化用於三世。應月照機水之流。示分
身於十方。實沈溺之愚子。誰不訪願海之
濟度。擬聞之迷徒。豈不仰惠炬之英耀乎。

爰今禪定女院有御宿願。敕信。令建立伽
藍。可被致供養。齋筵之處。依聊障難令延
引事及二箇度了。倩此事靜案立心願。障
善成惡事者是。魔緣所好也。破惡進善術
者。佛法之大誓也。是大聖不動明王者。成

辦諸事之誓願者。獨勝金剛部明王。降魔
斷障之威力者。專承玉體之本誓。仍退障
難為遂供養之願。仰明王之生。加護願
隨逐之行者。誓撰今日美景吉辰。令勤修
不動之祕法所也。仰願巨細雖多。大概不
過之。仰願大聖明王。伏乞兩部諸尊。照覽
清淨之敕信。奉令成就。精舍供養之御願

給云。

行法

每日三時 後夜粥二杯 日中佛供十
二杯。八方天蠟燭有之。開白准之

種子

三形 火劍
本尊 持龍索執火劍
根本印 劍印 慈救呪私云火界呪故有歟
使者法以心印為祕印。常被甲印也。即
三尊作顯也

散念誦

釋迦等之五尊真言用之
千心御口傳有之
不動尊供所
奉供

花水供三十二箇度
飲食供十三箇度
燈明供三十二箇度
八方天蠟燭供十三箇度

奉念
佛眼真言五千返
大日真言五千返
本尊火界呪五萬返
同慈救呪十三萬返
同一字明五千返
降三世真言五千返
軍荼利真言五千返
大威德真言五千返
金剛藥叉真言五千返
五尊真言各五千返
自在天真言五千返
帝釋天真言五千返
火天眞言五千返
炎摩天眞言五千返

炎摩天眞言五千返

羅刹天真言五千返

水天真言五千返

風天真言五千返

多聞天真言五千返

成就一切明百五十返

一字金輪真言五千返

右奉爲 禪定仙院玉體安穩增長寶壽

無邊御願決定成就院內安穩諸人快樂

諸不吉事未然解脫始自七月十一日迄

于同二十三日二七箇日夜之間金剛佛

子殊致精誠奉修奉念如右

長寬二年七月二十三日

阿闍梨法眼和尚位宗明

底哩經云取棘刺和羅視迦油加持燒能

止大雨云

軌云又法以刺木作護摩事業能止大風

雨能成衆事云

使者法云作師子奮迅印真言誦七返伏

一切惡魔軍等以印應惡雲雨應時皆散

已解印若風雨不止者取棘針和白芥

子燒呪一百八返更誦根本呪百八返非

但風雨散止其龍神等却來擁護行者云

守護經云若不降雨當以忿怒尊陀羅尼

念誦加持我當自來以金剛杵而擬龍頭

令彼驚怖時龍雲中恭敬合掌下微細雨

普遍充洽龍亦歡喜唯除衆生有決定業

甘雨不降餘必應心

延命院云元呆私云此經文忿怒尊准

通用有何難乎云已上雨

私云降三世眞言歟

又不同金大日變此事通有何難乎

講堂金大日軌意教令輪不動歟

口云石口木東枝東指取散杖用云

承仕并餘人不可知云

止風雨經云加持石榴杖一千八十返

理趣一云若欲止雨當用萎花於水中作

護摩云

不動軌以刺木用壇木乳木云

毘沙門軌梧桐子火燒云

金剛童子軌白芥子投空寶樓閣經集經

同之

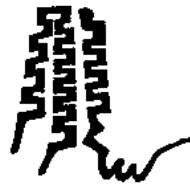
如意軌云蘇和白芥子散空委前後可見

也

止雨封事

勸修寺記云烏瑟沙廢微跡金剛法禁百

變法經云新度本內題



有大雨者書此符呪之一百八返向雨擲

之其雨立即空之云

惠什闍梨云此定行之兩度止云

迦樓羅法止雨

止風雨經云爾時世尊語具壽慶喜言汝

當取一新淨瓶滿中盛水以眞言攝逐此

婆修吉龍王及諸毒龍腦亂世間壞諸苗

稼花菓子實作災害者皆應攝逐俱入瓶

內止斯風雲雷電霹靂令禁禦之文

東方止雨眞言

南方止雨眞言西北如足呪略之

又十方止雨眞言四方止風呪有

於佛前○塗飾二肘曼荼羅置水瓶○手

執楊枝內水瓶中勵聲忿怒誦前眞言二

十一返加持此瓶○諸毒龍盡入瓶內能

止一切惡龍毒氣卒風霜雹瀑雨云四方

四風同

四肘曼荼羅有五方龍

又云起災氣惡風雨災難○高山頂或田

中作四肘方曼荼羅香水黃土聖摩夷和

泥如法塗開四門○於壇上東方安三頭

龍頭上出三蛇頭南方五頭龍○西方七

頭龍北方九頭龍王中央一頭龍王亦頭

上出一蛇頭此等龍王身長十二指量面

目形容狀如天神皆半跏坐大荷葉上抄

二季曼荼羅中尊釋迦

又法卷二月三月秋七月八月高山頂或

田中○或仰天樓上七日七夜如法清淨

塗飾八肘曼荼羅四面各豎一幢於四幢

上懸一丈六尺素帛長幡於幡掌中心各

畫釋迦牟尼如來形像佛右畫執金剛祕

密主菩薩佛左畫阿闍悉底云又仙人

幡掌向下寫此陀羅尼以紫檀木作金剛

概四枚○爲界除滅一切惡風暴雨○災

藥嚕拏曼茶羅事

又云。又法。於神通月白分一日或八日。高山○或於曠野。淨治其地。作四肘曼茶羅。○於壇上畫一大海。中現須彌山。於頂上畫藥嚕拏王。於海水中畫八龍王。皆現半身。念誦期限一七或二七。則一切災害無不殄滅。文

又云。欲調伏一切曩識者。可壇中穿作一水池。中心現出須彌山。於山頂上安藥嚕拏像。其像或於一肘白氈上畫。或鑄金銅。如無應以香泥濕素。可高十二指。或一掬手。其像金色。半身已下作金翅鳥王。鼓翼如飛。立於山頂上。半身已上如天人形。身赤金色。作鳥背。吹琉璃色。二手當心。十指相叉。頭冠瓔珞種。莊嚴面貌。威怒作可畏之形狀。於四方四維海水中。素濕八大龍王。從海中涌出。皆半身已下化。雖身在水中。半身已上形如諸天。寶冠瓔珞莊嚴其身。或獻寶珠。或捧蓮花。或二手合掌向藥嚕拏王作懼畏。瞻仰而受教命。頭上皆有蛇頭。或一或三乃至九頭。應如是作其壇安四門云。略抄

行人持龍止雨事

又云。持誦人。右手掌持大身藥嚕拏王像。觀雲雨電赴處。即安置是像於一淨處。懇懇求請。現大身藥嚕拏王形。飛空騰往。搏逐一切作災害者。惡風暴雨等。應時消滅。持誦者外現威怒。內起慈心云。
眞言事略之。可見經

像安城門止雨

又云。若數有大風大雨。○災殃卒起者。持藥嚕拏王像。安城門樓。或內門樓上。如法供養云。

諸天受止雨

又云。爾時復有大梵天王。那羅延天王。摩醯首羅天王。及四大天王。從座而起。詣如來前。一心合掌。右遶三匝。於一面立。同聲白佛言。世尊。我等諸天亦有如是金剛電光。焰真言。能摧一切惡風。水火暴雨。非時霜雹。亦能殄滅一切惡風。水火暴雨。非時霜雹。雷電霹靂。種。災厲。成就一切五穀苗稼。葉實滋味云。

已上止雨經抄了。迦樓羅法有別卷云。
（真言二三八）

諸經等止雨文

孔雀經上云。讀誦此經。諸龍歡喜。若滯雨即晴。若亢旱必雨。令彼求者隨意滿足云。孔雀王呪經下云。阿難。此大孔雀王呪。若時多雨。若時枯旱。應當讀誦。諸龍驚懼。若雨即晴云。

守護經九云。若雨過多。便誦止雨陀羅尼。曰。

唵。一阿密位。唵。低底。二吽。三底瑟吒。四合。

娑嚩。引二合。賀五引。

誦此陀羅尼七遍。或以鉢器或瓶缸等盛。

蜀蔡花。以鉢瓶等覆在池上。便晴明文。

大雲經云。○世尊說呪曰。呪略之。若有諸龍。

聞此神呪。不降甘雨。頭破七分云。

尊勝軌上云。第十九法者。若多雨不止。即以緋絹書呪二十一首。懸著正南刹土。即得雨止天晴云。

大佛頂陀羅尼經七云。復次有法。若雨多時。作一旃檀九頭龍。佛前供養。呪之七遍。

復作一金翅鳥王。呪師前著。呪滿二十一遍。不止。即告云。我今勅金翅鳥來入汝宮。

即止。若不止。更下即取一火爐。呪七返。告其龍言。今日不止。我當焚汝。更呪二十一

遍。即止。不止。即提取龍手中急把。誦呪一返。一告云。急晴。不經七返。即晴。實不得焚也。若焚即十二年不雨云。

廣聚佛頂經三。文金剛也。私云。義範僧都止雨有云。但大佛頂經有迦樓羅止雨可驗之也。

廣聚佛頂經二云。若雨多不止。取白芥子

呪二十一遍。向天散之。其雨即止云。

呪可經見。

寶樓閣經上云。若止雨。加持白芥子一百

八遍。擲龍池中。其雨即止云。

又云。若有惡風雹雨。取佉陀羅木作微釘

龍池邊。即得霜雹不可惡風即止云。

隨求陀羅尼經云。寫此呪安置轆頭。能除

惡風。非時寒凍。卒然黑雲。雨下霜雹。皆悉

止息云。

集經一云。即燒木羅香。唐云安薰陸香。供

養佛。○白芥子和鹽。呪一百八返。○呪一

返。一投火中。○其雨即止云。

經品呪可尋見也。

阿嚕力迦經云。更誦一萬返。燒濕摩落花。

於此境界。惡猛風雨停息。獻殘花也云。

千手經云若爲善神龍王常來擁護者當於俱尸鐵鈎手云

集經云十一崑崙梨印唐云最勝印○若時起大雲雨大風動者當作此印誦呪一百八遍將鹽味和白芥子一捻一呪投火中燒其雲風雨應時即止云

准抵軌云金智若須晴即仰面向天誦陀羅尼八十一遍即晴云作法新若多霖雨取護摩灰仰觀空雲明一百八十遍上散空中其雨即晴一百八返散之風雲即止云

觀世音如意摩尼○經云寶思求雨法以蘇和芥子三夜燒之諸龍下雨若雨過多即以其灰擲散空中雨便自止云

經云玄若遇惡風暴雨災雹呪清淨水提持白芥子水二十遍散灑四方或呪羯毘羅木支石文云二十一遍口誦仍呪向四方招風等便止云

經六云若霖雨者執持寶索於迴望處視天誦念眞言其雨即止云

又云若霖雨者執持龍索置高幢頭或置塔頭或置山頂其雨即晴云

又云若惡風雷電數起者高望迴處大瞋怒聲誦母陀羅尼眞言祕密心眞言一百八遍右輪索龍攝則於一年無惡風雹云

同七卷若有霖雨乘塗左手誦奮怒王眞言加持左手變擬十方雨則晴止云

同十三云若災風暴雨雷雹霹靂數起者高峰迴處把杖慈視風雨雷雹起處發

大慈聲誦縛遍印眞言旋杖擲之九方周圍十餘勝那則皆止之

又云若霖雨者高山峰上仰天樓上高大怒聲誦縛遍心印眞言旋杖擲之其雨則止云

諸經要集云文殊問經云若天雨不止於空閑處以火燒花令雨即止云

毘沙門藏王軌云欲止雨呪梧桐子有龍處火中燒云

寓本云
承元二年五月七日於勸修寺淨土院書之
覺禪

寬元三年十二月十三日
寬保元年辛酉年六月十五日苦炎熱補闕失收箱底後昆顧此志每歲轉軸猶莫倦

東寺勸學衆勸
修寺淨土院
金剛子賢賀咸四十九歲五十八

止雨讀孔雀經大般若事三不空
表制集五云質晴表一首○宣聖旨令京城諸寺釋門衆轉大般若孔雀王等經精勤止雨用副聖心者文

覺禪鈔 法花法

法花法增益 息災
勸請集云延命又滅罪 傳集四云曼荼羅向西可依增益狀依行者願求者息災等又無咎云
具書等

成就妙法蓮花經王瑜伽觀智儀軌一卷
不空眞圓大慈運珍三
十帖錄云有梵字云
梵字妙法蓮花經儀軌一卷 大師
梵唐對譯法花二十八品題目兼諸羅漢

名一卷慈覺
法花曼荼羅圖樣一楨慈已上祕錄
威儀形色經一卷持本云山王院
灌頂人可受事

觀智軌云應當於灌頂阿闍梨處親稟受擇若不從師稟受決而專擅作者是則名曰越三昧耶傳及受者俱獲重罪文

行人入初地事付日數（寶書二二七）
軌云若修行者爲求六根清淨滿足六千功德成就法花三昧現世入初地決定求證無上菩提者應一七日三七日乃至七日或三箇月應依儀軌隨其力分修行此經文

石藏云極遲三箇月內可有勝利也所以起勇猛心只先百日可修之

又云所志念者參大唐天台山五臺各百箇日爲修此法也云

延久二年四月十二日記也

澡浴事石藏云房中作法

軌云。每日四時浴澡。四時換衣。如其不及時別澡浴者。誦清淨真言三返又七返云。此即名為勝義澡浴云。

淨三業云。

付兩部行事

師云。付金剛界可行。五相觀同之。但道場觀可開口傳。

法務御抄云。雖依金界。道場觀依胎藏云。

或師云。軌意。真言依胎藏。有五相觀。尤合行法也云。

本教院云。五悔九方便共普賢行願云。

又遍照寺次第有兩帖。金一胎一

軌云。若修持法蓮花經。若男女。若依真言。

行。密行菩薩道。應先入大悲胎藏大曼荼。

云。

壽量品與兩界大日同事

或師云。壽量品釋迦之本門壽量也。當大

日三世常住之義。而為大日本尊此義相

叶云。

菩提心義三末云。大唐大興善寺阿闍梨

云。彼法花久遠成佛。只是此經毘盧舍那

佛。不可異解云。

兩部配本跡事

(裏書二三八)

以迹門配胎藏。迹門十界互具法門。胎藏

外部其義同也。本門配金剛界。是一傳也。

一義云。以胎藏對本門。本有顯理。顯本

也。

未聞委細

觀念在奧

轉經事

師云。讀經一部。若壽量一品云。

信運云。觀音一品云。

俊寬云。先室外誦壽量品偈。又入堂供養

法時轉經云。

石藏云。今品四無量觀云。

愚案云。軌澡浴言後誦壽量品。或思惟品

妙義云。

尤行法先可讀歟。一部一品軌奧也。

軌云。即入道場。瞻仰尊容。如對真佛。即

跏趺結坐。結定印。誦如來壽量品。或但思

惟品中妙義。深信如來常住在世。與無量

菩薩緣覺聲聞以為眷屬。處靈鷲山。常說

妙法云。

軌端文

又云。持經者隨其力分。或誦一品。或全一

部云。

軌奧文

壽量品略觀并決定如來事

石藏記云。九方便。次發願。次結定印。誦壽

量品。或諦觀初字門義也。或但思惟品中

妙義云。如來本壽非久近。隨機示有久

近量。一念非一念。即是久遠劫。無量非無

量。即此一刹那。妙故能無量。亦妙

又云。衆生一念心有如來壽量長遠。不退

菩薩不能知故。補處三請如來。久遠成佛

理。不出我一念。佛如衆生如。一如無二如。

願我於未來。長壽度衆生。取意廣

又云。深信釋迦文常在靈鷲山。為三乘衆

常說法花。無疑惑文

次結定印。誦無量壽決定如來真言。願一

切有情獲如來壽命。真言曰

唵 彌 嚩 唎 嚩 囉 訶 唵 彌 嚩 唎 嚩 囉 訶

曇謨引阿跋哩毘路引欲根娘二合尾類

室者二合也。羅逝引捺羅二合也。但他引藥路

引也。唵引薩摩僧去塞迦二合囉跋哩穢

詩律 駄達磨音鼻帝摩賀引曩也跋哩囉引

隸引娑囉二合賀引 出梵字軌

觀智軌云。行者每日六時誦此真言七遍。

能延壽命。能滅定天壽惡業。身心輕安。離

諸惱沈文

私云。四無量觀意也。此言出法天三藏

譯聖無量壽決定光明如來經。彼經云。

西方過無量佛土。有世界。名無量功德

藏。有佛名無量壽。決定光明王如來。今

現在彼演說妙法

又云。閻浮提人。壽命百歲。於中多有造

諸惡業。中天。聞決定如來名號。壽滿百

歲。若自書得長壽滿百歲。命終生功德

藏世云。

右記軌意同也

傳集四云。多寶無量壽決定如來云。

亦開題有之

敦雙紙云。開闢決定如來寶生尊多寶也。
安養口云。決定如來釋迦報身云。

七禪師云。當在靈山。
一切衆生分獲無量壽命。

實勝云。釋迦法身也。
又阿彌陀云。

愚案云。決定如來言。釋迦眞言歟。可思。
久遠義。諸師皆多寶文。
是又釋迦法身也。或報身女可見軌也。
又行法以前誦之。觀如來壽長遠。尤秘事也。涅槃之後。觀法頗有失歟。明師可問之。

彌陀義密號意歟

壽量品功能事

義疏十一云。說此壽量品時。十二種利。八種瑞相云。

又云。二世佛正果。及三世佛依果。皆爲開壽量而興。如多寶踊現。卽過去佛爲開壽量故。興分身佛卽現在。十方佛爲開壽量而集。踊出菩薩卽皆是一生補處。謂當來佛爲開壽量而現。故十方三世佛。皆爲壽量。則知壽量事大故。有如上功力云。

又云。若能解其義趣。生無盡之惠。長無邊之福。亦滅無量重罪。皆有數人。共乘船遭風餘伴。鼓溺死。唯一人。憑物獨濟。夜夢云。汝所以偏得脫者。皆曾聽法華壽量品故也云。

法華論云。說壽量品。顯有多人得道。釋迦從初發心。至後際等。一切化主。教門徒衆。處所時節。其中若事若理。若權若實。無不顯現。故得道者多也云。

法華經卽觀音密號事（見書二二九）

密號曰妙法。諸佛知見。衆生心性也。心性微細。言斷心滅。金剛已還。不能見聞。故名妙。據金剛頂經。亦奉人名妙法蓮華者。乃觀自在密號。此佛名無量壽。於淨佛國土。現佛身。住五濁世界。爲觀自在菩薩。○手持蓮華。觀一切有情身中如來藏性。自性清淨。一切惑不能染文。

或人云。曰一切平等觀自在。智印。若聞此名。讀誦思惟。設住諸惡。猶如蓮華。客塵不染文。

又云。其經梵語名蘇達摩。分陀利伽。翻云薩者。妙義正義。達磨者。法義。分陀利伽者。白蓮華義也。觀自在菩薩。往片成佛名號。蘇摩尼知耶。十具足。舊翻云正法明。新譯云妙法明。尼知耶明義也。

譬妙法華經。舊本云正法華。新本云妙法華也。新舊雖異。其義一也。知法華經有正法妙法舊新之號。觀自在名有正法妙法兩種之名。故法華經體。卽觀自在菩薩也。所以普門品中。唯勸觀音名。不顯法華理。是指觀音之德。卽法華之理故也。

私云。古來義云。觀音品。法華一品。彼前後全不載法華勝用。品題目計也。
一義云。說觀音利生卽法華勝用蓮華部主故。歸命蓮華王大悲觀音世云云。
一義云。品中說三十三身。明普現色身功德。卽十界互具法門也。方便品中。十如是。正諸法實相常住妙理也。普門品

普現色身無二無別云。
法華開題云。四種身觀自在。王之一種法門身。大日尊爲觀自在。則具此七尊及無量佛刹微塵身。大日則觀音之遍法界體性智。阿閼等如此。○釋迦則觀音之作業寂照智。分身則觀音之正覺差別身。普賢觀音菩提心如智。○乃至聲聞緣覺。天龍八部。國王長者身。亦復如是。
金剛頂經云。觀自在尊。有六種大曼荼羅。第一曼荼羅具三十七尊。第二三昧耶曼荼羅具三十七尊。第三法曼荼羅具三十七尊。第四羯磨曼荼羅具三十七尊。第五四印曼荼羅具二十一尊。第六一印曼荼羅具十三尊。皆是觀自在菩薩身也文。

乾里字眞言事
密號云。衆字云。慚義。若具慚愧。一切不著。具一切無漏善根。故蓮花部亦名法部。由此字加持。極樂世界水鳥樹林。演說音。若人持此一字眞言。除一切災禍。命終後生極樂。得上品上生妙法蓮花。又誦一部法花功德無異文。

又云。於法。衆字也。於三摩耶。是八葉蓮花。於人是觀自在菩薩也。
蓮。俱名妙法蓮花。亦名諸佛智慧。亦名佛知見。此人法蓮。本來在一切衆生心中。此心佛衆生三種一體異名。故經云。心佛及衆生。是三無差別文。

曼荼羅
觀智軌云。其境三重。當中內院。畫八葉蓮。
（曼書二四〇）

花於胎上置學都婆塔於其塔中盡釋迦多寶同座而坐塔門西開於八葉上從東北隅為首右旋布列安八大菩薩初彌勒次文殊藥王妙音常精進無盡意觀音普賢菩薩中院四隅初東北置摩訶迦葉東南須菩提西南舍利弗西北大目犍連次於第二院東門置鎖菩薩南門鈴菩薩塔前鉤菩薩北門索菩薩東門北得大勢門南置寶手菩薩南門東寶幢菩薩四星宿王菩薩西門南寶月菩薩北滿月菩薩北門西勇施菩薩東置一切儀成就菩薩東北隅花菩薩東南燈菩薩西南塗香菩薩西北燒香菩薩次於第三院東門持國天王南門毘樓勒叉天西門毘樓博叉北門置毘沙門天王東門北大梵天南天帝釋南門東自在西難陀龍王西門南妙法緊那羅王北樂音乾闥婆王北門西羅睺阿修羅王東置如意迦樓羅王東北聖烏鵲沙摩東南聖軍荼利西南聖不動尊西北置聖降三世金剛於壇四面盡飲食界道云

釋迦多寶事

(裏書二四一)

師云多寶定印報身也左理不生不滅也釋迦說法印應身也右智非滅現滅寶塔品云全身不散如入禪定師云依此文作定印云云普賢經云見多寶佛入普現色身三昧文委細在奧

八葉菩薩事

石藏云聖意難測誰知旨趣

一義云彌勒文殊序品問答藥王法師品對揚也妙音提婆品文殊山王院大師云常非文殊歟常精進以下四菩薩如經次第又以八大菩薩相對四佛四菩薩頗有義中臺是胎藏曼荼羅二院三院即金剛界也云云

或云因論生論法花有八萬大士云八葉菩薩八萬主歟又云為佛補處菩薩取之歟彌勒文殊有因緣經文分明也藥王妙音觀音普賢為一品大將常精進法花殊勝依六根淨而顯此菩薩為其對揚無盡意為不胸世界普賢如來補處故取之歟菩薩中一生補處殊勝也

四大聲聞事

石藏云四大聲聞居中央四隅四賢瓶故云私云大日疏意歟經云我等今者真是聲聞以佛道聲令一切聞云此意歟其次第發心修行菩提混繁其義相叶文

或口傳云花嚴般若等爾前教簡廢種二乘今法花時蒙當作佛之記別位已同佛也仍安內院云文句一云聲聞形出俗網迹近如來證經為親故列也

義疏一云取意列衆開三列一前列聲聞二列菩薩三後列凡夫若從大數應先菩薩次列聲聞後列凡夫若從小數應列凡夫次列聲聞後列菩薩今何先列聲聞次

菩薩後凡夫聲聞如華嚴法界品等○前列菩薩列聲聞依內德從勝至劣今前聲聞後列菩薩聲聞心具智斷形備法儀心形兩勝是故前列菩薩心雖會道形無定方或道或俗此則心勝形劣故在第二凡夫形心兩劣所以第二

同五云問授聲聞記與菩薩何異答法花論云授聲聞記者令聲聞得決定心非謂聲聞成就法性故以如來法身與聲聞法身無異故與授記非即具足修行功德故菩薩具足功德是故得記文

一切義成就菩薩

(裏書二四二)

大原記云南門一切義成就菩薩者普賢是也一切諸佛將登正覺最後身皆名一切義成就太子也即薩婆因緣經云薩婆一切悉悉歟成就是悉歟太子梵號云因位也云云

經序品十八大士事經一云文殊觀音得大勢常精進不休息寶掌藥王勇施寶月月光滿月大力無量力越三界跋陀婆羅義疏云寶掌守道日寶私道日守彌勒寶積導師菩薩文

義疏云問菩薩數多何標十八答雖明十八攝無不因賢守等在家大士文殊出家菩薩又彌勒等當成佛菩薩觀音等已成佛又彌勒是此土觀音他方賢守等是王城舊人寶積等是毘耶維客衆以此四雙

總攝八萬文烏鵲沙摩事

石藏云此法是觀染淨不二速得六根清淨故不淨金剛成辨其事業本經云若暫聞者一切事業皆成就一切密言皆得成驗所以軌最後說烏葛沙摩真言修行此法人最可持念也文

敷曼荼羅

請書

依宿願可勤修法花法之由雖深存于心中年來心事相違之間自然不遂本願候來十三日曜宿相應之吉日也自件日欲令勤修彼法若有御承引者賜支度可令調進也乞垂哀愍勿令辭退敬白

請文

法花法者祕宗之規模真言之極妙也深解二尊相貌速登三身之果德祕中之祕覺中之覺也東寺天台之間知法之碩德成林不肖之身勤行尤有憚歎然而依高命難背不能固辭仍自來十三日攀八口伴侶可勤修之狀如件

法花法一七日支度事 (兼書二四三)

合

一。大壇

敷曼荼羅一鋪輪佛師可合圖之

天蓋一面弘七尺八葉蓮花

幡二十八流四流長五尺二寸

竿四本五尺五寸可有龍頭

鉢蜜名香白檀

五寶金銀眞珠瑟瑟頗梨

五香 沈白檀丁子鬱金龍腦
五樂 赤箭人參伏苓石菖蒲天門冬
五穀 稻穀大麥小麥菜豆白芥子
壇一面 脇机二前 禮盤一脚在半疊
燈臺十二本四本讀經料 經机八前
壇敷布一段 大幕一帖

闕伽桶八口 壇供米如常

御明油一斗八升九合一斗五合御明料八升四合讀經料

供所雜具等如常

阿闍梨 伴僧八口 承仕二人

淨衣 白色 見丁二人

一。護摩壇

壇一面加爐桶

脇机二前

禮盤一脚在半疊

燈臺四本

壇敷布一段

米八石 油七升

一。聖天壇

壇一面三尺

脇机一前

半疊一枚

燈臺二本

壇敷布一段

米二石一斗

油三升五合

一。十二天壇

壇一面三尺

脇机一前

半疊一枚

燈臺二本

壇敷布一段

米二石一斗

油三升五合

脇机一前
半疊一枚
燈臺二本
壇敷布一段
米二石一斗
油三升五合
蠟燭布二丈
右注進如件
天治二年二月二十七日
天蓋幡圖
蓋
觀智軌云於其壇上張設天蓋云
形色經同之
法務御支度云天蓋一面弘七尺青色裏可畫八葉蓮花
遍智院支度云天蓋一面廣長各七尺青色裏八葉蓮花云
實覺云天蓋黃色方五尺五寸云
私云黃色依增益敷頗非說也淨衣同黃色云
實勝云蓋空色但用否可隨時云空色也
幡
軌云天蓋四面懸幡二十四口又云四角各懸幡云形色經同之
法務御口傳云天蓋四面各懸紫色幡六流長三尺
壇四角同幡各懸一流長五尺
同支度云幡二十八流四流五尺二十四流三尺四流二尺
義範云二十八流三尺二十四流五尺四流三尺
實勝云二十四流幡諸色南雜或八色云
賢覺云幡出二十四流幡暗之八色幡
各用一流赤白紅黑烟色綠青黃

也。染國絹可被裁縫云、
幃幡四本。長五尺。若三尺。歟。此四本有
無可隨狀也

廣澤次第云。二十四幡。三部各有八色。都
合爲二十四幡云、

石藏云。問。二十四幡有何所表。答。依方等
懺悔流轉還滅十二因緣。今私案也。十二
因緣不出三道。即三身如來。亦是三
部諸尊功德。此曼荼羅三部合行。故知三
部各有八色。都合是爲二十四幡歟云、

大壇事

軌云。於伽藍。或山林樹下。江河洲渚。或自
已舍宅。與法相應福德之地。掘深二肘。廣
四肘量。或六肘乃至十二肘量。炭稱其處
所作曼荼羅。取兩岸土填之

又云。或樓閣或磐石上。船上佛殿中。則不
應簡擇。但建四肘曼荼羅。乃至十二肘量。
如前所說。若廣十二肘。高厚可十二肘量。
文 (裏書二四五)

又取摩夷和香水三兩塗拭。印持蓮子
草。楷磨其境。又四角打伏陀木。如無鐵
銅作標

法務云。壇六尺

義範云。大壇一基。方六尺云、

私云。六尺四肘相叶也。建立護摩私記
云。一肘者。若長一尺五寸云、

賢覺方五尺五寸文 頗非說歟

五寶等事

軌云。五寶。金。銀。眞珠。瑟。頗梨。五藥。娑賀

者。羅。婆。彌。縛。建迦梨。擬哩。羯羅。拏。勿哩底。
若無此藥。以大唐所出靈藥。如赤箭。人參。
伏苓。石菖蒲。天門等代之。五香。沉香。白檀。
香。丁香。鬱金。龍腦香。五穀。稻穀。大麥。小麥。
菜豆。白芥子等云、

已上如本文先師被用之。賢覺同

五瓶事

軌云。於壇中央穿一小坑。置五寶五藥。○
五香五穀。如是妙寶香藥等。取少許。以
小瓶子盛。或小瓷器合盛之。處文

又云。於四角安四賢瓶。底不黑者。滿盛香
水。於瓶口內雜種種。時花枝條文

私問。四角四瓶。無中瓶如何。答。中瓶
入五寶等埋壇底文

燈臺事

軌云。四隅各置銅燈臺。蘇油爲明文

勤修記

天治二年三月十八日寅。藤中納言顯家
修法花法

阿闍梨寬信已講

當日未尅。先遣良勝行進。行事僧等。令飾壇
場。以三條亭西對爲其所。北第一間立大
壇。鈎青色天蓋。七尺。裏面赤。天蓋四面。各懸
衆色幡六流。長三其下。安壇六壇。四角。各立

龍頭竿一本。懸同色幡。長五尺。壇面敷曼荼
羅。如例曼荼羅。不圖尊。佛具等。如圖。載右。如恒

右脇机置經。宮壇東。奉懸曼荼羅。禮盤石
數圓座。爲阿闍梨轉經座

次護摩壇息災 次聖天壇

次護摩壇息災 次聖天壇

次護摩壇息災 次聖天壇

次十二天壇 次第立之

已上圖隨便宜之

傳受集四云。轉經相分上下番。不斷可奉

請之。是則大師御傳也 覺意

壇前引大幕。上張伴僧交名伴僧八口

上番

定勝

念範聖天供

有嚴十二天壇

下番

珍覺

延寬

西庇。幕北第一間。敷阿闍梨座。東西。其前
敷伴僧之座。南北。伴僧座前各立切燈臺

一本。置法花經一部

十二天

大式河法。一。系。供。奉。曼。荼。羅。場。

打鳥

十二天

打鳥

打鳥

打鳥

打鳥

打鳥

打鳥

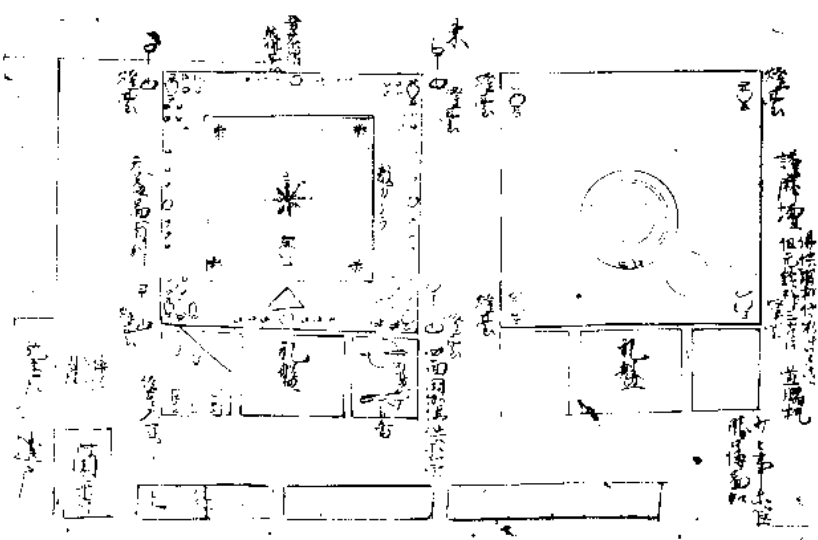
打鳥

打鳥

打鳥

打鳥

打鳥



申尅自新院境所參向中納言亭亥尅始
行先承仕打金之後參上壇所著幕外座
伴僧等參入
次阿闍梨著禮盤作法如恒三力偈了打
金下番退下七番同音轉經
次供養法了正念誦之程護摩壇師著座
聖天十二天壇同之事了各退著伴僧座
阿闍梨暫念誦之後下著幕內圓座轉經

了打金令催下番參上阿闍梨著
禮盤修後供養事了打金下番一人所作

發願

次阿闍梨打金退下行法了修御加持
後夜時承仕打金之後阿闍梨上番等參
進阿闍梨著座金剛持遍禮之後打金度一
下番迴向了阿闍梨打金度二次下番
退出阿闍梨行神分

行法

(裏書二四六)

依金剛界開白有表白其詞云
恭敬眞言教主大日如來金剛胎藏兩部
曼荼羅諸尊別本尊界會恩德廣大釋迦
牟尼無上大薄迦梵證明法花多寶世尊
十方三世應正等覺總靈山界會諸尊聖
衆乃至盡虛空遍法界佛法僧境界白言
今信心大施主黃門侍郎殿下合十指之
爪掌驚兩部之諸尊有給其旨趣者利生
速疾無先眞言上乘之利益功能揭焉者
無過瑜伽祕密之功能就中法花者是道
場所得之法門衆生成佛之直道也非時
者不說之故經四十年調熟非機不教之
故退五千人之枝葉無二無三之文儲寶
車於門外開示悟入之說得白蓮於胸內
界如三千之月利智身子墮疑網聯點五
百之霜補處之彌勒失智力是則性相體
力之十如是獨出此典發迹顯本三如來
求異諸經故也依之就祕密上乘之教引
率數口之伴侶勤修一乘之祕法上行安

立行影向道場證明衆王大樂說還念本
誓來臨然則靈驗無疑圓滿悉地于一念
誓願有馮成辨所願於二世

種子

三形 塔 塔中座二佛理智
不二顯一體云

印 率都婆印 率都婆印也

二大偃開事塔戶開意也觀云寶塔大
日三昧耶身周遍法界體也於中二佛
同座是表大日之理智功德開戶欲令
衆生知見三密三平等五智四身法界
之體本來常寂滅等相也云

(裏書二四七)

多寶、生如來平等性智釋迦成所作
智法性率都婆內二佛竝座云

眞言 歸命 正念誦用之或率都婆

眞言云 金剛界大日爲本尊之故法花三昧者
顯密俱許事也此三昧智智惠修得也
故以智身爲本尊爲最祕也云

大疏十二云此心之處即是凡夫肉心最
惠於中是訶栗駄心也亦於是處思蓮花
形一切衆生此心即是蓮花三昧之因以
未能令開蓮故爲諸煩惱等之所纏繞所
以不能自了其心如實之相也是故先當
觀此心處作八葉蓮花觀令開敷文以上小
金寶云若求法之志有切者金剛界大
日印此智拳印一字明可授之云

師主說也二佛共成毘盧遮那故雖二

佛即是一佛也。法身佛故。一切諸佛皆是大日如來也。十方刹土中。唯有一佛乘意也。故以金界爲本尊文。

又傳

種

三

印

眞言

已上

二并

又遍

法界

呢

此

八葉

持云

又對

至眞

我

小野

又對

於東

藏大

云

御加

法花

已上

醍醐

教造

紙說

私引

之云

云

賢覺云。鳥羽僧正傳。塔印用普賢一字明爲究竟。遍智院僧都。以智拳印用無所不至。言爲祕事云。

聖賢說同之也。

源運云。但此兩印。二明勝劣。全難判。故三密房以覺勝印爲勝云。

以上兩說。可開師傳也。

法花八葉尊。胎藏九尊同事。觀文有端

祕抄云。小野法花經。胎藏界功德也。故題日九字八葉九尊云。

金寶抄云。極祕說。八大菩薩。即八葉尊也。塔法界宮。一大塔也。是小野究竟說也。

或云。

妙寶幢。法普賢蓮花開。花文。經無字。

序觀音品。天鼓。第彈勸一大日。

不同記云。大顯露法花意也。胎藏祕密。

法花經爲二乘說。大日經爲菩薩說。爲二乘說。爲民宮爲菩薩說。臣祕書多寶如來。

非是釋迦。胎藏界中。大日即釋迦。開題云。大師八葉中有八佛。加中臺九佛。題目九字。彼佛種子眞言文。

又云。中央大日。四方葉現四佛。四隅四菩薩。此九種佛。爲諸佛根本。從此一智種。

各現十佛。微塵數差別智印。如是智印。一佛德也。故經中云。諸佛智慧甚深無量。

大日疏三云。今此中妙法蓮花曼荼羅義。毘盧舍那本地常心。即是花臺具體。四佛。

四菩薩。醍醐果德。如來實俱成文。

私抄云。胎藏大日爲本尊有其理。法身故最深祕處者。指胎藏曼荼羅也。

同五云。內心妙白蓮者。衆生本心妙法芬陀利花。祕密標幟。花臺八葉。圓滿均等。如開敷之形。此蓮花臺。是實相自然智慧。蓮花葉是大悲方便也。

同四云。即觀自心作八葉蓮花。阿闍梨言。

凡人汗栗駄心狀。猶如蓮花合而未敷之像。有筋脈約之以成八分。男子上向。女人下向。先觀此蓮。令其開敷。爲八葉白蓮花。

口傳云。道場觀等。傳受次第等可見。其外。

事。依金界五相同之。

大原云。五相成身。大阿闍梨替用金剛界成身耳。煩故也。

字輪觀。小野經傳集說同之。但種子所少有異。

正念誦

歸命

散念誦

佛眼

大日

釋迦

多寶

普賢

(真書二四九)

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云

云



藥王 勇施 多聞 持國 十羅刹
不動 一字
法務御房遍數也

誦讀觀念
御口云散念誦之後暫下禮盤著幕內圓
座轉經云
(裏書二五〇)

後寬云轉經時結印先誦真言而後讀經安
寶房傳云結普賢印入其三摩地可觀云
宗明定印云

軌云次應專住觀於舌端有八葉蓮花
上有佛結跏趺坐猶如在定想妙法蓮花
經一文字從佛口出皆作金色其光明
遍列虛空想一文字皆變為佛身遍滿
虛空圍遶持經者○不緩不急作是觀時
漸覺身心輕安調暢云

作是觀時即定中了得見一切佛說
甚深妙法得聞已思惟則入法身真如
觀一緣一相平等猶如虛空云

實勝云重用普賢印言入其三摩地云
(裏書二五二)
勸請 一代教主釋迦尊 多寶分身諸如來

發願 釋迦如來 多寶分身 兩部界會
諸尊聖衆 外金剛部 金剛天等

禮佛 南無摩訶毗盧遮那佛
南無四攝智菩薩
南無釋迦牟尼佛三返

南無多寶佛
南無妙法蓮花經

南無普賢菩薩
南無文殊師利菩薩
南無觀世音菩薩

南無彌勒菩薩
南無多聞持國
南無十羅刹女

南無金剛界一切諸佛摩訶薩
南無大悲胎藏界
讀四智
若金剛薩埵唐聲

後夜時 白衆等偈可誦金一打次迴向
奉送後觀念

軌云雖約眞言門聖衆奉送常思惟一切
聖衆同一法界無來無去常在靈鷲山禮
一切諸佛菩薩右膝著地誦普賢行願旋
行率都婆○住觀字觀門云

入勝義實相般若波羅蜜門云
護摩作法大原云結普賢三昧裏書二五二
護摩師正念誦間起座壇前普禮次著

座次普禮次塗香淨三業三部被甲
二器香水覽字觀大金剛輪眞言羯磨加
持部主印本尊印等

次入護摩
火天印言 次火天呪百返誦了 指環
次加持芥子結用 次闍伽等取却薪積

常餘如 次施天段 撥遣了 闍伽等本所
居座下普禮了
次就伴僧座

本尊段在口傳 加持物呪普賢一字明
部主段 釋迦 或不動金寶同之

小野口云增益行之時以寶生尊爲部
主息災行以釋迦爲部主釋迦者不空
成就也寶生多寶也

聖賢云仁和寺御室覺法依院宣成範
後僧正弟子又祕法御傳受鳥羽院彼
作記御說法花部主如上云

小野一說胎界大日爲本尊時爲釋迦
金輪部主文

諸尊段 曼荼羅諸尊顯
祕云五佛八供四攝
理趣釋云其五佛者盡虛空遍法界無
盡無餘佛聚成此五身也文

故觀八大菩薩在此中也又諸尊胎藏
八葉九尊但中臺金界大日可觀也
已上
祕傳

實勝云八大菩薩一切佛菩薩眞言聲
聞胎藏聲聞眞言云
施天段如何

但曼荼羅外部少可加供獻云
御加持

今度後加持用金剛界大日眞言日來一
門人入或制止或許容更迴愚案之處雖
爲祕事又此法遶外事也不可不用仍遂
用之也

私云通智院於三昧堂胎藏大日眞言
被用仍金大日不可有憚歟七禪師可
用無所不至言云

又慈救呪 小野傳 傳集二六用多寶眞

言若壽量品可用云、傳也

石藏云、或人用不動而誦

又大教院云、或傳發願可誦壽量品偈

者、是非明事也、或云、阿闍梨壽量品、伴

僧不動云、

賢覺阿闍梨不動呪、伴僧肝心眞言云

俊寬云、無量壽決定如來眞言用之祕

事也云、

金寶抄云、普賢眞言、或自我偈云、

實勝云、釋迦云、信運云、阿彌陀

法花經御修法所

奉供

大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

聖天供十四箇度

十二天供七箇度

諸神供三箇度

奉讀

法花經一百部

奉念

佛眼眞言二千一百遍

大日眞言二千一百遍

釋迦眞言二千一百遍

多寶眞言二千一百遍

普賢眞言二千一百遍

藥王眞言二千一百遍

勇施眞言四百三十遍

多聞天眞言四百三十遍

持國天眞言四百三十遍

十羅刹眞言四百三十遍

不動眞言二千一百遍

護摩眞言二千一百遍

一字金輪眞言二萬八千遍

右奉爲大施主殿下御息災安穩增長福

壽恒受快樂御願圓滿始自今月十八日

至于今日并一七箇日夜之間率八口伴

僧殊致精誠奉修如右

天治二年三月二十五日

阿闍梨大法師寬信

結願

二十五日午尅結願、阿闍梨著座之後、下

番退出、如例、修行法之末、下番參上、不打金

未時事了、歸院壇所云、

已上御日記

當日放取按名始大阿闍梨可付經部

數、次書卷數付枝立大壇左行者右方也

又案文一通書之左脇机

金剛持遍禮之後、金丁次出五悔、餘如

次後供養、闍伽後、金丁七箇日夜之行

法結願、

當此時仍日來之間、數遍卷數勒

次讀卷數

次事由可隨心、次神分等、餘如常

次御加持歟、次著座、次布施

本云

自文治元年十二月十二日至于同二

年二月比兩卷選集了諸師口傳別、

也爲常見委記之見者莫咲

金剛佛子覺禪一也、年四十

元文五庚申年十月二十四日加修復了

是偏擔淨土院室之稱號耳

東寺定額僧第二次

金剛佛子賢賀七歲

東北隅事

軌云、東北隅稍令盤下者、無指所見、

但推量云、境是世界也、東北是鬼門

也、世俗云、丑寅方、山高樹林茂盛者、

其所不吉、因之件方令盤下歟

開明房并大教院抄同之

蝕事

仁和寺方抄云、以日月蝕時爲行法

時云、

彼時下界無魔故菩提願成就云、

宗祕論云、三災火劫末、靈山佛常在、

人天悉充滿、號曰金剛界云、

心覺云、遍照寺御次第、一本依金剛

界在見故歟

法花統略云、二佛共成毘盧遮那佛

高祥釋也

小野流以大日爲法花法本尊、在其

謂云、

釋觀音字義。即是法花說。嘆釋觀音德亦是說法花文

或云爲顯經體。觀音自西方來文

觀音普賢法花理事

或抄云。法花理應有二意。一實相境界。即普賢菩薩。二百界千如是觀世音。彼初發品所說六牙白象。一實相理。普門品三十三身。是十界互具意也。即權而實。唯是一法。即實而權。三千寂然。大圓鏡智。常緣一理。離分別故。普賢實相一理。故住大圓鏡智。所變阿閼。妙觀察智爲衆會。分別諸法。即觀音。百界千如法。故住妙觀察智。所變阿彌陀也。以妙觀世音爲阿彌陀佛。正法於身。是性德也

○

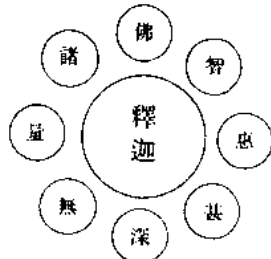
開題云。此經。觀音三摩地。妙義。即妙觀察智。此名轉法輪。所謂大悲發生胎藏大曼荼羅三重海會菩薩。大悲方便究竟之教也。一切衆生以有一乘之性。引外院向內證蓮臺止。即修因向果之義文

引字爲涅槃。諸法本不生。故能取所執。著遠離得法界清淨云

不可得義。一切法離諸塵義。一切災禍不可得義。一切法遠離不可得義。因者十二因緣等。塵垢者根塵等。准之可知文

義疏二四〇

或云。二聖者藥王勇施也。二天者多聞持國也



傳受集第二有此圖

觀智軌云。次應心觀三重曼荼羅。會衆初中央佛菩薩八大菩薩及四大聲聞僧。第二院諸菩薩無量無數。第三院諸天八部并四大威德菩薩。各於四隅并無量忿怒眷屬令一切諸魔退散無得使擾文

義疏二四一

多寶證明事

經四云。此寶塔中。有如來全身。乃往過去。東方無量千萬億阿僧祇世界。國名寶淨。彼中有佛。名號多寶。其佛本行菩薩道時。作大誓願。若我成佛。滅度之後。於十方國土。有說法花經

處。我之塔廟。爲聽是經故。踊現其前。爲作證明文

普賢經云。見多寶佛入普現色身三昧云

義疏二四二

觀智軌云。北門東一切義成就菩薩。左持輪。右持蓮花。身金色文

義疏二四三

法花御修法一七箇日支度

合

蘇蜜 名香白檀

五寶 金。銀。眞珠。琉璃。水精

五藥 石菖蒲。人參。茯苓。赤箭。天門冬

冬

五香 沈香。白檀。丁香。鬱金。龍腦

五穀 粳米。大麥。小麥。大豆。白芥子

壇供米八石四斗

御明油一斗五升

大壇并不斷經轉讀經王料

壇敷布一段

大壇一面 脇机二前

燈臺四本 禮盤一脚 在半疊

經机八前 小燈臺八本

阿闍梨 伴僧 承仕 旣仕

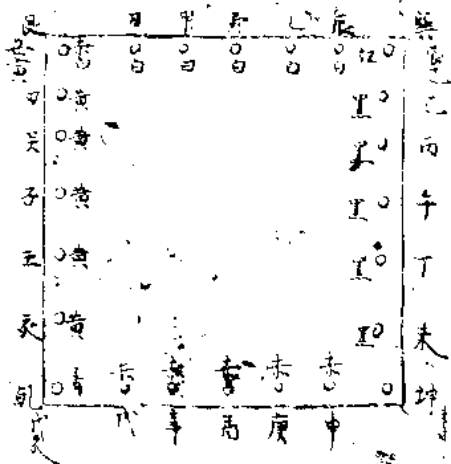
見丁一人 大幕一帖 淨衣白衣

右注進如件

長治二年八月日

大法師念範

卷二十四



實心圖也。四方四角。細分有二十四。方四方各五支。四隅四處各二十四也。每所懸。懸云。寶覺云。轉用否。隨時云。

卷二十四

大原云。河兩岸者。兩岸取外唯出淨土。謂之河兩岸也。故嚴盛光文殊八字法等。唯云河岸云。

卷二十四

長白法務御房

法花經者。道過四十年。說時經八箇歲。諸佛出世。唯依此經。一衆至極。始顯此文。故身子之拙二乘。珍得花光之記別。達多之沈五逆。更誇天王之名號。加之妙法蓮花四字。含開示悟入之白蓮。誠三部之中。演蓮花部之義。五佛之中。說彌陀佛之德。迭立無量壽。尤可供養此經。何況須臾聽受。成阿耨菩提。五十傳聞備六千功德。

二聖護如眼。十女敬替頭。今行五種之法。師何疑二世之大願乎。

開題云。八葉蓮花開敷。寶多之池。泛皆成之榮。三平日輪照曜。自性之空。放一如之光。

又云。此經諸佛出世本意。佛教究竟醍醐。令一切衆生開示悟入。終證無上菩提果。故經云。我本立誓願。欲令一切衆。如我等無異。如我昔所願。今者已滿足。文。

卷二十四

塔內事

或云。法花。以。了。塔婆內。納一切衆生之身骨。理智冥會也。即身成佛。此義也。文。

卷二十四

普賢經云。釋迦牟尼佛。名毘盧舍那。遍一切處。其佛住處。名常寂光。

雜抄云

釋迦牟尼

秘傳。傳法阿闍梨所學。四方佛如胎藏。兩部總合。行。

已上一定律師記

卷二十四

真言次第

大日金。大日胎。藥師。阿彌陀。

釋迦。尊勝。延命。普賢。文殊。

六觀音。六字。虛空藏。愛染王。

大小不動。大威德。大小尊勝。多。

聞天。雙身。毘沙門。吉祥天。北斗。聖天。

良勝云。此念誦法花法修中。施主顯隆申請云。

卷二十四

或云。誦經事是實相理也。表胎界理。曼荼羅。誦決定如來真言。表金界果。曼荼羅云。故今行法也。

卷二十四

勸請成建院

大恩教主釋迦尊

證明法花多寶佛云。

卷二十四

傳受集四云。護摩呪用經要文。大原云。投諸供物。芥子等三合物。與乳木三聚投之。後誦法花經云。要卷要品。偈等投之。即法花護摩本意也。每偈一句投也。

慈覺大師云。九條右大臣。於我滅度後。應受持此經。是人於佛道。決定無有疑。七卷神。三井慶祚阿。來世得作佛方便品。

諸法從本來。常自寂滅相。佛子行道已。來世得作佛方便品。

惠心僧都。是法住法位。世間相常住。於道場知意。導師方便說方便品。或人語云。尋惠慶祚各出文也。

於道場知意。導師方便說方便品。或人語云。尋惠慶祚各出文也。

覺禪鈔 法花法諸流

法花異譯 二十八品梵漢 曼荼羅
諸尊釋 本尊異說 口傳 壇場 五
寶等 壇上經 護摩 諸口傳陀羅尼
等 道場觀 末法利益 四種緣 勝
諸經 經舍利 女人生極樂 生都率
不墮惡趣 良藥 易產 書寫 受持
頭骨 小字 千部 血經 筆文殊
裏書
諸禪師靈異 種子 肝心印
實相印

法花經法

經同本異譯事

開題云 大師 此經同本異譯其數多
一方等法花經 沙門惠經譯 五卷
二薩曇芬陀利經 一部五卷 不出譯者
三正法花經 十卷 法護三藏譯
四秦代羅什三藏譯 九千三百八十四言也
五法花三昧教 沙門支謙譯 卷屬累在經末
又云名正法花 云 是安典善寺譯出云
正法花二十七品 合見塔提婆如品屬累
二十八品梵漢題名事 覺對譯二十八品
妙不可思議教也開觀智種種法
法 正體也東漢師 亦文殊補陀
法 法界十如實法理也亦文殊補陀
蓮 喻也自持經在經末
在水中間後得寶生

華 果也入法爾種子自受用五法身也
經 正教總名諸法如來三世
不改中央大日如來
方便品 摩訶婆耶
譬喻品 阿婆羅摩阿羅摩底
藥草喻品 阿婆多伊悉迦神摩婆尼耶
授記品 婆摩尼耶
化城喻品 阿輪物羅
弟子品 婆捨俱底蘇羅他日他羅
人記品 婆耶耶他阿制
法師品 達摩蘇祿
寶塔品 婆舍哩多阿羅他耶率都婆
天熱品 提婆達多
勸持品 婆哩耶波爾
安樂行品 婆舍哩迦耶婆羅
涌出品 婆舍底哩底婆婆
隨喜功德品 轉摩爾薩耶
壽量品 婆舍多婆羅多
分別功德品 轉摩爾薩耶
法師功德品 多摩爾薩耶
不輕菩薩品 婆舍底哩底爾
神力品 婆舍多婆羅多
屬累品 目哩多婆羅
本事品 阿俱輪阿羅意目地婆捨
妙音品 婆舍多婆羅
普門品 婆舍諸帝嚩嚩阿羅婆曼他含曼拿
總持品 多羅尼
嚴王品 婆舍哩多 羅同悉多羅
勸發品 毘輪婆多底哩耶婆羅婆迦哩

曼荼羅

(裏書二五三)

形色經云妙法白蓮花經王八葉蓮花上
涌出寶塔中兩足婆伽婆○紺瑠璃地黃
金界場微妙蓮花普散其上八葉華王鮮
白如雪葩間三銅寶塔高妙五百由旬縱
廣正等二百五十由旬五千欄楯千萬龕
室塔中師子座上釋迦多寶半跏趺座同
坐於彼八葉從東北隅右旋布列八大菩
薩初彌勒次文殊藥王妙音常精進無盡
意觀音普賢菩薩此內院四隅東北迦葉
東南須菩提西南舍利弗西北目連次第
二院東門鎖菩薩南門鈴菩薩當塔前鈎
菩薩北門索菩薩東門北得大勢南寶手
菩薩南門東寶幢西星宿王菩薩西門南
寶月北滿月北門西勇施東置一切義成
就菩薩東北花菩薩東南燈菩薩西南塗
香菩薩西北置燒香菩薩次第三院東門
持國南門毘樓勒叉西門毘樓博叉北門
毘沙門東北門梵天南帝釋南門東大白
在西難陀龍王西門南妙法緊那羅王北
樂音乾闥婆王北門西羅睺阿修羅王東
如意迦樓羅王東北烏菟沙摩東南軍吒
利西南不動西北置降三世云
具現成就妙法蓮花經王輪伽觀智儀
軌是法威儀形色及一方位云
既說○一層寶塔已又今說塔中二體聖
尊多寶烏瑟新髮冠身金色智拳印跏趺
右押左垂下左住大蓮花常遊滿月輪釋
迦賦沙紺青髮身金色右結拳印右開外
屈明小袂中頭人跏趺左押右垂下右住

白蓮恒遊月輪中說法

彌勒

如寶冠髮垂兩肩身亦肉色左紫蓮上有鐮餅右按摩膝脚跌右押左紫赤色寶花坐住月輪

文殊

五髻冠髮垂身如金色左青蓮上有三劍右執梵寶赤色身如彩虹右押左寶花坐住月輪

樂王

妙冠髮垂耳側身側日色左紫著膝右雲上凡右押左寶蓮坐住月輪紫赤綾

妙音

冠髮垂耳下身亦黃色左未開蓮右紫押膝寶蓮坐住月輪

常精進

妙冠髮垂兩耳身白肉色左摩膝右摩尼寶寶赤色光如彩虹右押左寶蓮坐住月輪

無盡意

冠五髮垂兩耳身亦肉色左蓮花寶右紫押膝寶赤色右押左寶蓮坐住月輪

觀音

寶冠現無髮髮垂兩肩千度明數蓮寶赤寶花承兩足住月輪

普賢

妙冠髮垂耳側身淺紫色左蓮上劍右紫押膝寶赤色光如虹寶蓮坐住月輪

四大聲聞

各白肉色北丘形已上內院

二院

鎖菩薩

頂冠身白肉色左摩印右金剛鎖脚跌右押左

鈴菩薩

頂冠身大青色左結拳印右鈴

鈎菩薩

頂冠身大黑色左拳印右鈎

索菩薩

寶冠身白肉色左索右拳押膝

花菩薩

寶冠身淺黃色定惠持鮮花

塗香菩薩

定惠持香定惠持香

燈菩薩

冠身白肉色定惠持燈燭燈身同彌勒

燒香菩薩

妙冠身大黑色定惠持香器

得大勢

五髮冠中鐮持身白肉色左白蓮未敷右說法印嚴身如菩薩

寶手菩薩

五髮冠身白肉色左說法印右大蓮花上藏折羅處寶珠焰影

寶幢菩薩

五髮冠身白肉色左大蓮上有輪轉右持寶珠焰影

星宿菩薩

五髮冠身亦黃色左拳押膝右蓮上鉢

寶月菩薩

五髮冠身淺黃色左海月鏡右拳押膝

滿月菩薩

五髮冠身深黃色左青雲月右施無畏

一切義成就菩薩

五髮冠身金色左握金輪右蓮

勇施菩薩

五髮冠身白肉色左蓮上鉢右拳押膝

已上第二院十六菩薩嚴身如彌勒

第三院

持國天

寶冠而青肉色左利鉢右著腰金剛甲胃腰怒相右押左蓮葉云

毘樓博叉

冠髮面赤肉色左拳押膝右劍

左按折羅石網索

毘沙門

冠髮面白肉色左握寶塔右持寶劍

帝釋

冠上戴持三劍作白黃色左拳印右持一結作白黃色左

梵天

四面冠面白肉色每面三目四手慈運大慈數珠定上鐮持下側掌屈風餘中直

大白在天

天冠面紫蓮定惠利鉢乘大黑水生住月輪海

難陀龍王

頂上九頭龍身白肉色左拳印右持網索降伏相蓮花為坐

妙法緊那羅王

持音聲器身赤肉色

樂闍婆王

頂八角冠身赤肉色耳如大牛王左露齒右寶劍

如意迦樓羅王

頂如意珠鳥頭鵝二翼身青黑色口吹螺咽笛

羅睺阿修羅王

頂冠身青黑色忿怒相左金剛定右修羅智印風絞空輪上

烏鵲沙摩

髮蓬白蛇身大青色天忿怒相左網索左數珠右三劍右智滿顯印惡方顯屈智力直加噴

軍荼利

臂三劍冠玄雲色三目八臂左金輪左戟劍左下右三劍右拳押膝金剛拳直豎威風輪右脇上各作

金剛力士

左八臂八蛇繞忍火進水輪各直豎當

耳獸皮衣白蓮承兩足身

不動
髮八葉連髮垂右肩一目諸觀面水波相照
白牙左索○身火七寶盤石
降三世

內院地 琉璃色 第二地 赤色
第三院 淺赤色 內院二院間 五寶璣地
二院三院間 紫地 三院蓮花門間 赤地
結四方蓮花門 白肉 四隅金剛木槩十字
跋折羅也四方四隅青蓮花圍遶云

又口傳曼荼羅 中川聖人不信用云
又口傳曼荼羅 中川聖人不信用云

圖像 六九

圖像 七〇

右曼荼羅 勸修寺口傳中在之但八葉尊
種子也
聖賢云最祕也胎藏八葉也但中臺智拳
印大日也此兩僧正御傳也近比上醍醐
崇僧房之自天井出見也伴房元呆僧都
御本房云八供四攝
私說云

八葉菩薩事

石藏云聖意難測誰知旨趣
一義云彌勒文殊序品問答藥王法師品
對揚也妙音提婆品文殊
山王院大師云智積同妙音云

私云妙音品妙音非文殊歟

常精進以下四菩薩如經次第又以八大
菩薩相對四佛四菩薩頗有義中臺是胎
藏曼荼羅二院三院即金剛界也云
或云因論生論法華有八萬大士云
八葉菩薩八萬主歟

又云爲佛補處菩薩取之歟彌勒文殊有
因緣經文分明也藥王妙音觀音普賢爲
一品大將常精進法華殊勝依六根淨而
顯此菩薩爲其對揚無盡意爲不徇世界
普賢如來補處故取之歟菩薩中一生補
處殊勝也

四大聲聞事

(裏書二五四)

石藏云四大聲聞居中央四隅四賢瓶故
云

私云大日疏意歟

經云我等今者真是聲聞以佛道聲令一
切聞云此意歟其次第發心修行菩提
涅槃其義相叶云

或口傳云華嚴般若等爾前教簡廢種二
乘今法華時蒙當作佛之記別位已同佛
也仍安內院云

文句一云聲聞形出俗網迹近如來證經
爲親故前列也

義疏一云

取意列來開三別一前列聲聞
二列菩薩三後列凡夫若從大數應先菩
薩次列聲聞後列凡夫若從小數應列凡
夫次列聲聞後列菩薩今何先列聲聞次
菩薩後凡夫

答如華嚴法界品等前列菩薩後列聲聞

依內德從勝至劣今前聲聞後列菩薩聲
聞心具智斷形備法儀心形兩勝是故前
列菩薩心雖會道形無定方或道或俗此
則心勝形劣故在第二凡夫形心兩劣所
以第三

同五云問授聲聞記與菩薩何異答法華
論云受聲聞記者令聲聞得決定心非謂
聲聞成就法性故以如來法身與聲聞法
身無異故與授記非即具足修行功德故
菩薩具足功德是故得記云

一切義成就菩薩事

(裏書二五五)

大原記云北門一切義成就菩薩者普賢
是也一切諸佛將登正覺最後身皆名一
切義成就太子也連也云

因果經云薩縛一切色悉獻成就也是悉獻太
子梵號云

寶覺云釋迦因位也云

經序品十八大士事

經一云文殊觀音得大勢常精進不休息
寶掌藥王勇施寶月月光滿月大力無量
力越三界跋陀婆羅日寶弘道日守彌勒
寶積導師云

義疏云問菩薩數多何標十八
答雖明十八攝無不周賢守等在家大士
文殊出家菩薩又彌勒等當成佛菩薩觀
音等已成佛又彌勒是此土觀音他方賢
守等是王城舊人寶積等是毘耶雜容衆
以此四雙總攝八萬云

烏鵲沙摩事

石藏云。此法是觀樂淨不二。得六根清淨。故不淨金剛成淨其事矣。
本經云。若聲聞者。一切事皆成。此一密言。皆得成驗。所以執最後說烏鵲沙摩。真言修行。此法人最可持念也云。

本尊異說

實任云。初重釋迦。二重西方中尊。三重東曼茶羅中尊。
凡秘法習。用本尊有重、淺深。或觀音、不動。普賢。又塔多寶釋迦。或兩尊。或兩部大日也。

或云。普賢釋迦多寶不顯秘事云。
一。以觀音為本尊。凡別尊法大日如來觀法界根緣現無盡身。人一乘法華三昧地。以觀自在尊可為本尊。

下品傳云。
聖賢云。仁和寺說云。
信運云。并傳云。
地師云。觀音作業以為釋迦。人出為觀音。法出為法華經。人法其為妙法云。

一。山傳以不動明王為本尊。信運傳
聖賢云。不動法華本尊云。
大日疏九云。以唯一眼鑒法界應度根緣。無不具字一乘理。故云無二亦無三。文

山王院記云。法華一部始終皆悉無不阿字。本不生之理。其體故
一傳受集四云。以普賢為本尊云。
金寶云。尤古也。大原同之。普賢法華人

故云

實心云。三井寺以普賢為本尊有三。習。初發品所說之普賢。二。各理普賢。三。各大日普賢也。以之為深秘云。
聖賢云。習普賢本尊事。即執意。大日普賢意歟。金界軌。本尊加持結普賢印。明。然諸家次第。以大日為本尊。可例知也。

八要書二五

山王院傳云。因緣悟入己心法。唯覺我心便普賢是大日。遍一切法界不生常心地。故顯妙法蓮華經云。

瑜祇經云。大日普賢如來云。

一。塔法身。多寶報身。釋迦應身也。塔三身。一。塔也。是可知本尊。非二佛所乘物。又現五大塔婆中。顯三部三身云。三身即一塔。五部諸尊何物不攝之乎。上座答傳山
一。傳受集四云。多寶為本尊。無量壽決定如來口云。多寶云。

同二云。決定如來為本尊云。
聖賢云。慈覺大師傳云。

信運云。增益多寶云。
一。以釋迦用本尊有二傳。或只靈山釋迦也。又大日所變釋迦也。

聖賢云。金界大日入釋迦三等地。大日心上釋迦三種之云。

佛相金色具三十二相。而八十種好。光中有無量化難化衆生。更過諸佛亦超餘尊。
一。法務御抄云。釋迦多寶合觀。云。傳受次第說也
石藏勝範座主并大教院同之。
又傳集第二二佛可觀云。

御室傳為大日本尊。可向兩部曼荼羅。理實。胎藏不金界故。雖普門應理曼荼羅。深秘之時。兩部曼荼羅可思也。也。不。改。也。
多寶胎藏也。改。云。
已上聖賢說

又云。中臺金剛界大日。八菩薩即胎藏八葉諸尊云。

法務云。妙法金界大日自證月輪蓮華胎藏八葉心蓮也。經云。定惠力莊嚴以此度衆生云。

地師云。法華法表兩部界。胎藏因。金界果也。日月心王心所住法界照給云。

亮惠云。此法理智不二因果一法也。寶塔理。多寶理之中理法身。釋迦理中智法身。如蓮華。實俱時以二顯不二法也。理法身之說法普賢聞之。他身之釋迦說凡夫行者聞之云。

口傳

承安四年二月十二日傳之顯果已講私云。座禪院僧都傳同之。實勝說但言金大日五字言也

種子。勢。口云。一字體。不。二字體。云。
三形。塔。兩部大日通云。
形像。胎藏大日

印。塔印。
口云。兩界不二印也。開二大內二佛觀。或二大入內。二大即觀二佛。兩說其秘事也。

金寶云。深秘印也。右釋迦。左多寶。二佛同座。妙法蓮華經觀演說給。是法界大

塔也。釋迦胎大日。多寶金大日云。

賢覺云。胎藏開小指。如寶幢印。金界開大指。果故唯佛與佛境界云。

眞言

我與此等 無所不至言也

師云。本說曰四字眞言。師傳加第五等。

方便義云。範後傳

金寶云。前四字開示悟入也。因行證入

義。第五惡字方便善巧智圓滿義也。此

五字眞言爲至極云。

大日疏云。釋阿字有五義。一阿菩提心。

二阿菩提行。三暗證菩提義。四惡般涅

槃義。五惡具足方便智義。又配法華開

示悟入四字。開字開佛知見。即雙開菩

提心。初阿菩提心義也。示字示佛知見。

第二阿菩提行義也。悟字悟佛知見。如

第三暗證菩提義也。入字入佛知見。

如第四惡般涅槃義。言之具足成就。第

五惡字方便善巧智圓滿義也。

又傳

種 苑

三 塔

印 智拳印

時處軌云。十方刹土中。唯有一佛乘。如

來之頂法等持諸佛體。是故名智拳云。

眞言 無所不至 平等大 (裏書二五七)

已上印言小野一傳也。有秘抄。傳受集

三井四同之 師云義範

又遍智院祕印言 實任口傳 實勝 實覺共祕事云々

法界定印 塔印也。火院印也。

呪 胎藏祕密八印 大羯磨眞言也

智智地。我左里耶。寶三。目多。與地。里波多

我々。莎呵

八葉印

我々。我々。我々

二印言用本尊加持持云。

義範東三昧堂是用云。

又我塔。大日 胎藏 印智拳印。用無所不至

眞言。無他事云。

我々。我々。我々 五種部字也。開示悟入佛之知見云。

又我々。我々。我々 都法合行。即觀也。於東三昧

堂故。御房御祈法華法。以胎藏大日眞言

如伴僧用之。俄成尊受傳云。

御加持同之

或不動眞言云。花法肝心之眞言。

散念誦之云。

已上醍醐教造紙說。私引之

賢覺云。烏羽僧正傳。塔印用普賢一字

明。爲究竟

遍智院僧都流以智拳印用無所不至

言爲祕事云。

聖賢說同之也

源運云。但此兩印二明勝劣全難判。故

三密房以疊勝印爲勝云。

已上兩說可開師傳也

大壇事 (裏書二五八)

軌云。於伽藍或山林樹下。江河洲渚。或自

已舍宅與法相應福德之地。掘深二肘廣

四肘量。或六肘乃至十二肘量。炭稱其處

所。作曼荼羅。取兩岸土填之

又云。或樓閣。或盤石上。船上。佛殿中。則不

應簡擇。但建四肘曼荼羅。乃至十二肘量。

如前所說。若廣十二肘。高厚可十二肘量

云。又取瞿摩夷和香水三兩塗拭。即搗

蓮子草。搗磨其境。又四角打佉陀木。如

無鑄銅作極

法務云。壇六尺

義範云。大壇一基。方六尺云。

私云。六尺四肘相叶也。建立護摩私記

云。一肘者。若長一尺五寸云。

賢覺方五尺五寸云。頗非說歟

五寶等事

軌云。五寶。金。銀。眞珠。瑟瑟。頗梨。五藥。娑賀

者。羅娑。彌。囉。建迦。梨。擬。哩。羯。羅。拏。勿。哩。底

若無此藥。以大唐所出靈藥。如赤箭。人參。

伏苓。石菖蒲。天門等代之。五香。沈香。白檀

香。丁香。鬱金。龍腦香。五穀。稻穀。大麥。小麥。

某豆。白芥子等云。

已上如本文。先師被用之。賢覺同

五瓶事

軌云。於壇中央穿一小坑。置五寶。○五藥

○五香。五穀。○如是妙寶香藥等。取小許。

以小瓶子盛。或小瓷器合盛之一處云。

又云。於四角安四賢瓶。底不黑者。滿盛香

水。於瓶口內雜掉種々時花枝條云。

私問。四角四瓶云。無中瓶如何

答。中瓶入五寶等埋壇底云。

燈臺事

॥ १ ॥

କ
ଓ
ଓ
କ
କ
କ
କ

伊提履 一
伊提泯 二
伊提履 三
阿提履 四

伊提履五泥履六泥履七泥履八泥履九

泥履十樓釐十一樓釐十二樓釐十三樓釐十四

釐十五釐十六釐十七釐十八釐十九釐二十

經云寧上我頭上莫惱於法師若夜叉若

羅刹云乃至夢中亦復莫惱

法花軌云由誦如上諸真言故於持經者

作大加持諸惡鬼神悉皆遠離不敢附近

行住坐臥乃至夢中亦不敢觸惱一切時

中皆得安樂上諸咒功能也

普賢菩薩陀羅尼

阿檀地餘檀陀婆地二檀陀婆帝三檀

陀鳩除隸四檀陀修陀隸五修陀隸六修

陀羅婆底七佛駄波釐八薩婆陀羅尼

阿婆多尼九薩縛婆婆沙阿婆多尼十修

利帝八薩婆薩埵樓駄橋舍略阿耨伽地

九平阿尼吉利地帝十

經云得是陀羅尼故無有非人能破壞者

亦不為女人之所惑亂我身亦自常護是

人又云世尊若有菩薩得聞是陀羅尼者當

知普賢神通之力

法花肝心真言

莫三曼多勃駄南

示引暗悟惡入薩縛勃駄

也知婆乞葛二見耶也見識

乞叉爾相也薩達摩也正法浮陀里迦

薩駄覽經也惹入也咩遍也鐵住也解

喜也縛日羅堅固羅乞叉給薩達摩也咩無相

婆縛訶決定也

一部誦已了

莫三曼多沒駄南

暗悟惡入薩縛一切沒駄

作乞葛二尾耶知二合

相薩哩妙達摩法浮陀哩迦

經惹入咩遍鐵住解

已上兩本花藏院集用之

延懷云法花肝心真言結八葉印迴轉

心上頂散之傳教大師口決傳受露地

和尚云

法花補闕真言

傳受集云於闍羅王宮傳讀經之

間散亂章句脫漏文補闕云

持經萬返滿了然而依漏闕至多冥官藏

冥官攝受此驗記有

已上勸修寺集載之。亦小野集出此呪。名地藏菩薩補闕真言。但字少異。以朱付之。又延懷記之文字少。違成喜院集有之。

道場觀表四佛土

石藏次第云。壇中觀鷲峯山。釋迦說妙法處。頗梨爲地。○妙寶塔中二佛坐。內聖賢衆圍遶。八方佛身有樹下。○供養諸雲海。又自見己身塔前供養。一。皆如是。自己在釋迦前聽聞法花經真義。表同居土。

又云。中央佛菩薩三部三身。塔胎大日佛部法身。多寶金界蓮部報身。釋迦蘇悉地金剛部應身也。三身即一理。現此曼荼羅故。法身塔中報應二佛坐。我身本成就。八大菩薩胎藏塔眷屬。四聲聞釋迦眷屬。第二十六尊三院四大尊八部等金界多寶眷屬。多寶爲塔主。

表虛空會方便土

又云。壇中佛菩薩聖衆身量同虛空。成報土。諸有情滅一相。密嚴中人一切同佛相。時我及衆僧俱出靈鷲山。我時語衆生。常在此不滅。

表報身土

次入眞如法性道場。此偈中思惟眞實勝義。偈曰

虛空爲道場 菩提虛空相
亦無等覺者 眞如故如來

大樹緊那羅經云。道場何所。菩提何等相。誰名爲如來。云何德佛明。虛空爲道場。

菩薩虛空相。亦無等覺者。如。故如來。文私云。即中道第一義空理。大日妙體無所不至。故坐虛空道場。諸法空爲座。遠離一切相。無知解開曉。唯心自證心。自覺心。萬法依淨心。無所依。○不依身心。如。故如來。故無等覺者云。一法二義。故明身土相云。

已上石藏記也。取意軌文同之。

師云。軌意有三身說法。靈山本應身土。頂上報身土。虛空會法身土也。虛空爲道場。文可思之云。

大師不同云。私引之法花經釋迦說也。雖云三身即一。於應身上詮法報云。又是同居土說。雖云四土不二。初後穢土也。開題云。雖有淨土穢土之說。龍宮虛空之會。總入靈山一處。統攝鷲峯一會故。一處一會云。

大原云。軌壇中靈山者。壇者道場地是也。不必木壇耳。即具於壇。地輪金輪上想靈山。即此山是實報土也。然則行者即坐實報土中也。是也。

亮惠云。常在靈山實報身土也云。

實心云。靈山與大唐相去十萬餘里。又大唐與我朝相去遠。靈山來此奉教。我身至靈山。

答靈山淨土廣無量四方淨土。皆靈山內也。是即法報應三身土也。常在靈山。具土也。寶樹多花。菓應土也。二土共有靈山如一器。盛多物。衆集會雖有廣略。觀行可自在。更無答歟云。

功能

末法利益

石藏云。末法時。修此法。可有巨益。末法勸持此現世獲得殊勝報於佛菩薩不退轉。若能受持此典。現於父母所生身。獲得神通淨六根云。

依四緣事

軌云。於未來末法時。流通宣說無惜惜文。軌云。如來方便。廣大乘經說一切衆生身中皆有佛性。具如來藏。一切衆生無非無上菩提法器。若欲成就如此法者。應當先具四緣。一者親近善智識。即是灌頂阿闍梨也。二者聽聞正法者。即是妙法蓮花經王。三者如理作意者。即是瑜伽觀智。四者法隨法行者。謂修奢摩多毘鉢舍那。則堪任證無上菩提文。

勝諸經事

法師品云。我所說諸經。而於此經中。法花最第一云。寶塔品云。我爲佛道。○從始至今。廣說諸經。而於其中。此經第一云。安樂行品云。此法花經是諸如來第一之說。於諸經中最爲甚深。○諸佛如來祕密之藏云。

經卽爲舍利事

法師品云。若經卷所住之處。皆應起七寶塔。極令高廣嚴飾。不須復安舍利。所以者何。此中已有如來全身云。

義疏云。不須復安舍利者。法花論云。此經具說三種佛菩薩故。十七名中名堅固舍。

利。如來真如法身於此經中不壞故。不須更安碎身舍利也云。

女人生極樂事

經七云。答如來滅後。五百歲中。若有女人。聞此經典。如說修行。於此命終。即往安樂世界。阿彌陀佛大菩薩衆圍繞。住處生蓮花中寶座之上。

往生兜率事

八卷云。若但書寫是人。命終當生忉利天上。是時八萬四千天女。作樂妓樂而來迎之。其人即著七寶冠。於采女中娛樂快樂云。

又云。若有人受持讀誦解其義趣。是人命終爲千佛授手。不墮惡趣。即往兜率天上彌勒菩薩所。有三十相大菩薩衆所共圍繞云。

不墮惡趣事

經云。若人聞花法經。淨心信敬。不生疑惑。不墮地獄餓鬼畜生。十方佛前所生之處常聞此經。若生人天中。受勝妙樂。若在佛前蓮花化生云。

經卽爲良藥事

經七云。宿王花汝當以神通之力守護是經。所以者何。此經則爲閻浮提人病之良藥。若人有病。得聞是經。病即消滅。不老不死。

易產事

經六云。若有懷妊者。未辨其男女。無根及非人。聞香皆能知。以聞香力故。知其初懷。

姪成就不成就。安樂產福子云。

書寫功德

經七云。若人得聞此法花經。若自書。若教人書。所得功德。以佛智慧籌量多少。不得其邊云。

受持功德

藥王品云。若復有人。以七寶滿三千大千世界。供養於佛。及大菩薩。辟支佛。阿羅漢。是人所得功德。不如受持此法華經。乃至一四句偈。其福最多云。

頭骨誦經事

山法花三昧堂最初傳教大師弘仁元年春。於一乘止觀院起始三部長講。夜宿堂中。谷頭有誦法花經之音。一兩夜尋音呼求。雖聞誦音不見人體。以燈求覓。有朽頭骨。手採捧之。尚誦經也。理不令踏。弘仁三年七月。建法花堂於此地。始三昧之行法。修四季之懺法。已上古記文。

小字經事

根本法花堂內。壇中心安寶塔一基。故觀音堂供奉源慶師三昧僧。奉造之。梨本座主。明快。御時以和尚爲導師。奉供養之。天喜康平之程。康平。塔中心奉安天台大師佛經。字一之。之。壇中心置經机一前。以件御經入。安。置。塔後有普賢乘象之像。前三昧僧依。夢。相。告。自。越。前。國。所。奉。送。也。寶塔安置與普賢安。後未詳云。

千部經證文 多有之

實四云。入新造崇德院。○有一切經藏。千部法花經藏云。

血經事

齋然記云。赴天台。山國清寺。○先禮智者大師真身堂。中玄帳。中懸大師真像。前置小字法花經一部。是大師自出血書經也。入函云。

譯經筆現文殊事

齋然記云。清涼寺常住院壁上。畫羅什三藏譯法花經時。從筆頭出白光。中現文殊像云。

文治年中抄之

元文五庚申年十月二十二日。遂修復補虫損之闕略。且爲佛法紹隆。且爲大經藏御傳領了。興言宗觀學院。勸修寺淨土院室。權僧正賢賀。生五十七年。

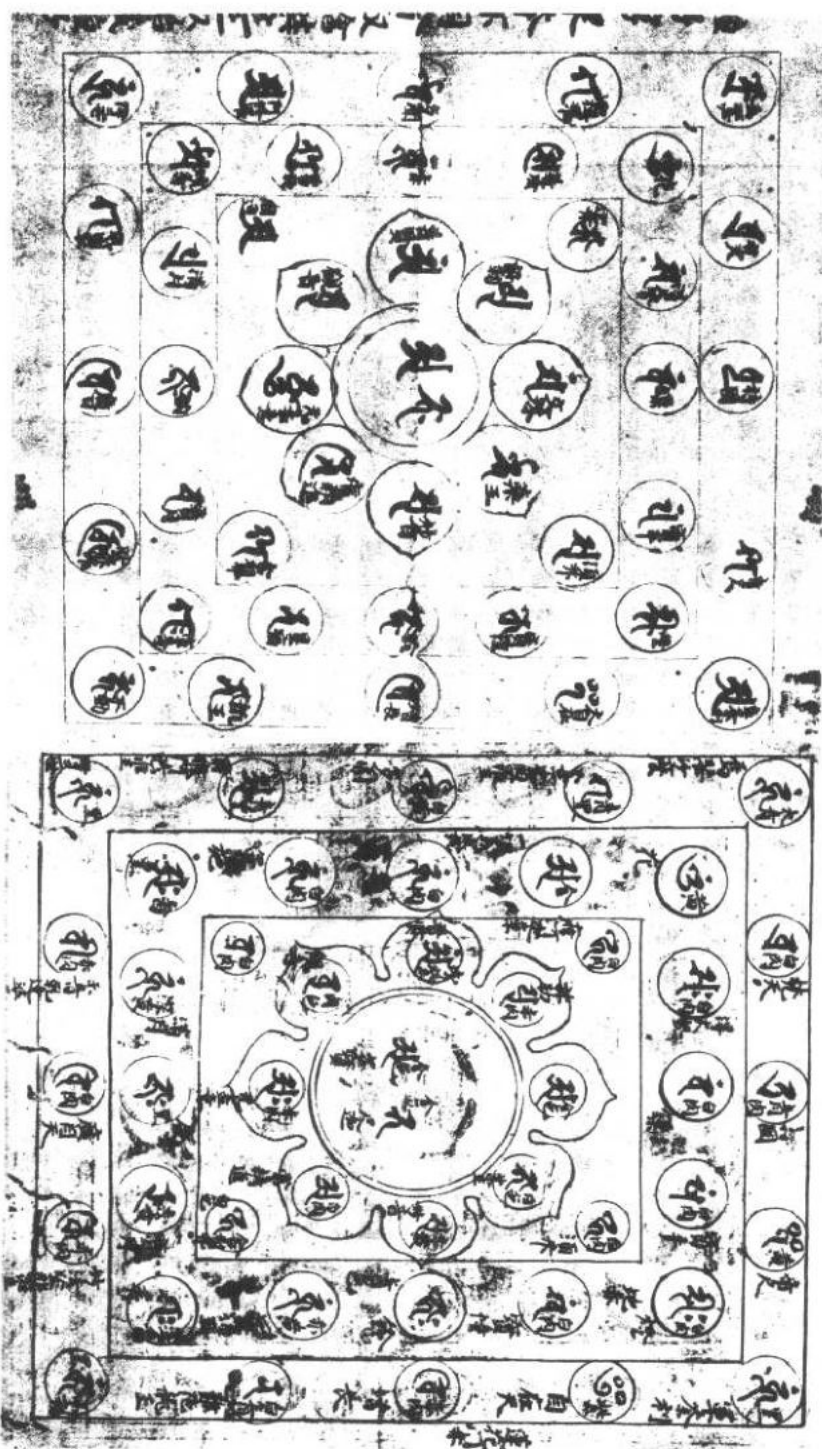
二五三

誦法花諸禪師靈前影九張。定禪師誦法花天童給事影一張。苗仁。

膜禪師誦法花善神來聽經影一張。苗仁。

法惠禪師誦法花口放光照室字影一張。苗仁。

惠斌禪師誦法花神人來拜影一張。苗仁。



圖像 No. 71. 法華曼茶羅 (其三) 圖像 No. 72. 法華曼茶羅 (其四)

涅槃令目契毘藥合二藥栗縛合他引
我與此共金寶說也。而トハ小男正念誦用之云。

法華經陀羅尼就小野僧都成尊即

授後三條天皇本也

以天皇御傳受本寫樣別有之第二傳云。世說高麗直云。

經七云若書是經卷花香乃至那婆

摩利油燈供養所得功德亦復無量

覺禪鈔 法花祕決

法花法祕口決

令此法以觀智儀軌為本軌威儀形色經同可用也云。或難者云。形色經非大師御請來新渡經也。不可用云。

此條尤可然。但雖新渡經。不空所譯也。此難不可然。不限法花法。餘尊法皆非御請來經軌。用事常習也。其故真言宗相承。師資相傳。自上大日如來下至弘法大師。諸尊瑜伽傳來者也。就中不空所譯經軌。其中淺略深祕之趣。一字一言不可漏。大師在唐日。青龍寺和尚示云。授法有在云。隨又大師請來經軌等。諸尊法肝心聚集。令請來給。自是後請來雖委細。先請來本。次。入唐祖師令請來。仍餘家請來用全。以無難。又或師云。大師御入唐時。後請年本經儀軌皆悉令加一見。其肝要令請來。御云。不知案內人。大師請來許用。他家請來不可用云。是僻事也。

壇場莊嚴作法

(裏書二六二)

勸修寺法務為藤中納言顯隆被修法花法。先師小野良勝阿闍梨。令飾壇場。以三條亭西對為其所。此第一間立大壇。鈞青色天蓋七尺裏圖赤色。天蓋緣四面各懸紫色幡六流八葉蓮花。其下安壇六尺。壇四角各立龍頭竿一本。懸同色幡長五尺。壇面敷曼茶羅如例曼茶羅不圖。佛具等。如圖左載如恒。

右脇机並經筵。壇東奉懸曼茶羅。禮盤右數圓座為阿闍梨轉經座。

次護摩壇息災。次聖天壇。

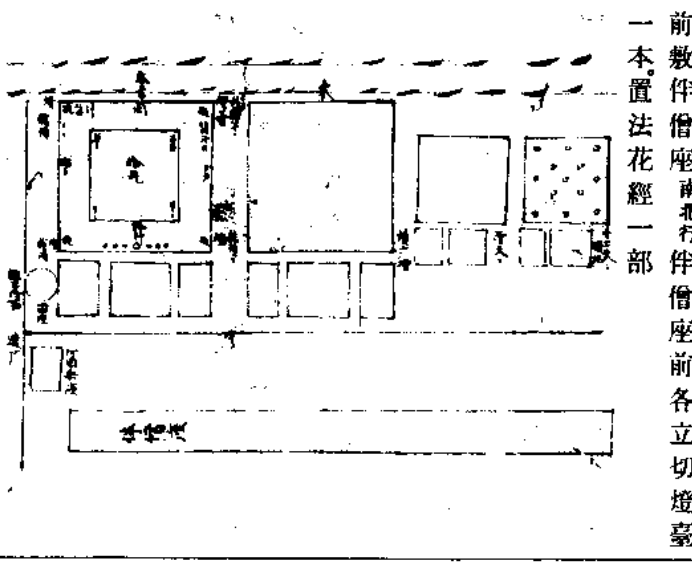
次十二天壇。

次第立之。已上西面隨便宜也。壇前引大幕。上張伴僧交名書左。

上番 定勝 良勝護摩壇 念範聖天壇 增兼 有嚴十二天 祐賢神供 下番

珍覺 延覺

西庇幕外 北第一間敷阿闍梨座。東西行其前。數伴僧座。南北行伴僧座。前各立切燈臺一本。置法花經一部。



始行作法

先承住打金之後。參上壇所。暫著幕外座。先是伴僧等參入。

次阿闍梨著禮盤。作法如恒。三力偈畢。打金。下番退下。上番同音轉經。

次供養法畢。正念誦之程。護摩師著座。其作法

次普禮

次塗香三部被甲。二器香水。字觀。大金剛輪陀羅尼。羯磨加持。部主本尊印等。

次入護摩。部主釋迦本尊在口傳。事了。退著伴僧座。十二天壇師與護摩師同時著座。十

八道行法前供養燒香之次。供蠟燭。供養法畢。退伴僧座。阿闍梨暫念誦之後。下著

幕內圓座。轉經。了打金。令催下番。參上。阿闍梨著禮盤。修後供養。事了打金。

下番一人所作

發願 護持大地上成御願

次阿闍梨打金退下。行法了修後加持。用金剛界大日真言。日來一門人。或制止

或許容更迴愚案之處。雖為祕事。又此法迴返事也。不可不用。仍遂用之。

後夜時。承住打金之後。阿闍梨上番等參進。阿闍梨著座。金剛持遍禮之後。金一度

下番迴向。了。阿闍梨打金。度

次下番退出。阿闍梨行神分

上下番發願迴向作法。每時如此

勸請本尊句

一代教主釋迦尊

多寶分身諸如來

發願

釋迦如來 多寶分身 爲後業委細記之。見者莫嘆之

已上勸修寺法務御傳

上件作法。壇場莊嚴不及左右。尤可然。此外師。傳多。也

最祕說云

或傳。天蓋幡等不用云。

或私云。是略定也。必不然歟。幡色皆不定。或八色。或種々色。或皆黃色。或皆白色。

雖然八色幡尤不用也。本說在之故也。天蓋四面各懸八色幡之內。六流合二十

四流也。幡懸次第在與。其天蓋下大壇一面立。壇四角各懸幡立。其壇上敷

敷數。座座也。座曼荼羅云。中央八葉大白蓮花。其迴月輪蓮花座計

圖也。此中央花實上寶塔安。塔中佛舍利二粒奉安置。其塔前花瓶。前輪置。壇四

角懸立。五色糸引。四面圓伽。火舍。花瓶。羯磨等。如常。四角燈臺。佛供菓子。後夜刺八

杯。皆如常。四角幢幡。上方天蓋釣也。幢龍頭。サキ天蓋當。ホトナリ

付儀軌說者。先建立壇場。安置本尊。布列供具。入堂觀行等。如觀智儀軌。於其壇上

張天蓋文

儀軌天蓋形色寸法等不說。以餘說用之。天蓋色淺青色。空色。淺青色也。裏八葉

赤蓮花圖也。東寺兩壇天蓋赤蓮花也。仍如此歟。廣七尺

勸修寺法務御傳。幡二十四流。并四角幡皆種々色。幡也

私云。種々色。幡云。一流種々色。幡和雜スルナリ。仍二十八流各種々色。幡也

四面懸幡二十四口文

儀軌形色長短不說

聖體經。依。其色八色也。所謂

東著白色 東南紅色 正南黑色 西南烟色 西方赤色 西北水色

正北黃色 東北赤白 正東白色 二流 東南紅色 四流 正南黑色 二流

西南烟色 四流 正西赤色 二流 西北水色 四流 正北黃色 二流

東北赤白 四流

赤白色。肉色。是ウスクス

水色。或綠色。水色。云。白色。キラ。トミ

カク也。又水色。云。ハナタ色

口傳云。紅色。赤色。相違事。紅花常紅色也。

赤色。蘇芳色也。烟色。黑色。相違事。黑色。常

黑色也。烟色。ウススミ色也。水色。白色。相

違事。白色。常白色也。水色。白色。上ヤウシ

キラメキタルヲ爲相違云。

私云。二十八流幡隨法。息災皆白色。增

益時皆黃色用之。如法尊勝幡九流皆

黃色。普賢延命黃色皆用。如法愛染王

之時九流皆赤色也

於四角各懸幡幡文

四角。云。大壇四角也。儀軌幡幡色不說

幢長五尺五寸可有金色龍頭、以下如常

黑塗也。幡色衆色也。衆色云八色和雜色也。種々色云同事也。

祕說云於四角各懸幡文

此種幡色可隨法。息災白色。增益黃色。幡也。是可有金色龍頭、以下色。幡色可隨也。

四角幡幡軍陣幡幡也。四隅東北

烏勢沙摩東南軍荼利西南不動西北降

三世等四大明王東門持國南門毘樓勒

又西門毘樓博叉北門毘沙門等四大天

王部類眷屬兵衆四方大將天王幢幡先

立一切衆生三世怨敵無始罪障降伏斷

除令時流轉生死業報頓滅盡證得無上

菩提是即遍照如來成道法門也外部四

隅四大明王住タマウ事諸天龍神等兵

衆トシテ罪障魔軍令降伏故自內證出

外院一切衆生利益スルナリ是方便爲

究竟也

或傳云問懸二十四幡有何意乎

答三部各有八色合爲二十四幡歟云

大壇可有三重敷、方位如儀軌說

當中內院畫八葉白蓮華於華臺上置率

觀婆塔於其塔中安釋迦多寶二佛此內

也釋迦入塔中演說妙法此塔變成大日

說成道法云

故儀軌云

歸命釋迦牟尼佛

爲諸菩薩而開示甚深最勝眞實教

我今依於大教王

遍照如來成道法

若能依此勝義修

現世得成無上道

現證無上遍照如來成道法云多寶世尊

全身不散證明法華願云

如我昔所願今者已滿足化一切衆生皆

令入佛道說是即平等大會一乘妙法肝

心也昔所願云多寶證明大願也已滿足

云釋迦出世攝化也多寶願釋尊行願

不具足衆生何得益故儀軌念々遍緣一

切有情三界六趣四生願獲得妙法蓮華

經王於聞思惟修習速證無上正等菩提

云

多寶即大日云祕而不顯之

觀智儀軌猶祕分明無說新渡經至說顯

之此經流布後諸家皆以付此說圖

遮那云

此釋意滅度釋迦又可名大日祕密教中

有憑據云云生與不生無非大日尊云

二佛共成毘盧舍那義自叶祕宗一義大

師云上從應化經下至論章統攝自證而

不說隨他病以垂訓雖云希有甚深而是

權非實傳法聖者非不知祕而傳顯知而

相議良所以也文義尤得事也

方便品云定惠力莊嚴以此度衆生說定

惠二佛共成利衆生意也

若人散亂心入於塔廟中一稱南無佛皆

以成佛道說一度奉拜多寶佛皆成道事

說也

深達非福相遍照於十方微妙淨法身具

相三十二文

微妙淨法身云當多寶全身具相三十二

云當釋尊應體同座云同體故不壞三十

二相應身即是微妙淨法身色相習也大

日經具三十二相座白蓮華臺文無畏三

藏然而本法界身無二無別釋給又法華

經云觀智儀軌說タマウ諸尊功能勝德

宣說諸文也此法彼人入法似異實相是

三

段妙法即流通分也。諸宗釋文，配當雖小異，不過遠成近成二重妙法。此上可有本地妙法。此名最深祕妙法。大日經說眞言妙法。金剛頂明法佛妙法。此即觀智儀軌說成就妙法蓮花 Q 也。以此軌意見經文。寶塔品即最深祕妙法也。

法華宗意。壽量品爲一經至極。說久遠壽量故也。觀智儀軌誦如來壽量品。或但思惟品中妙義。深信如來常住在世與無量菩薩緣覺聲聞以爲眷屬。處靈鷲山。常說妙法深信不疑。以當即誦無量壽命決定如來眞言。〇作是念言。願一切有情皆獲如來無量壽命云。此無量壽命決定如來云。一師說多寶世尊異名也。知以壽量爲法華至極者。說多寶全身壽量故也。サレハ本門妙法者。讀本地眞言妙法也。故大日經疏云。當知此經本地妙法蓮華最甚祕處也。

經云我土不毀常在靈山。正是此宗瑜伽意也云。智證大師廣達眞言止觀釋三。重妙法給遠成近成猶是方便也云。本地妙法證據。大日經。我一切本初號名世所依說法無等比本寂無有上文出。無畏三藏意大同也。應知本地妙法者。指寶塔像現虛空會儀式。再不可疑。如此得意。餘二十七品併讀寶塔一品功德也。法華一經沙法門。一代所說十二分教。併讀此平等大會寶塔功德。華嚴等諸經。皆讀此淨善。

提心功德釋即此意也。祕密以心爲佛塔。質多與制底。名異體同云。

大師釋言。法界心雲恒沙性德。無形不形。無像不像。以一切形像爲一法性塔云。

又中臺二佛顯三身總德也。出眞如大地。昇法性眞空。此即顯理智法身多寶如來。

一代出世應體。二佛同座受用變化兩足也。八大菩薩及三重方壇三摩耶眷屬等。

者是等流身也。儀軌虛空爲道場。菩提虛空相亦無等覺者眞如故。如來說四身皆法身故。眞如故如來注也。一衆生三世心。

所悉顯平等大會主伴。是名妙法蓮華。一佛乘曼荼羅。此平等大會云コトハ摩訶薩意處說名曼荼羅。說意處者第七識。

第七識轉平等性智成故。指一切衆生意處名平等大會。第九識理第八識智能顯。

蓋相應。能所一味故。此稱平等性智。人體顯金剛界號南方寶生。爲福德莊嚴德胎。

藏界名東方寶幢。爲菩提寶珠。今法華經當品東方寶淨世界說。提婆品南方無垢。

世界名。自當兩部大教東南二方義。祕傳云。數 Q 之華實中央安七寶妙塔。塔中安佛舍利二粒云。

或難者云。佛舍利安置事。儀軌并妙經不見。就中經不須復安舍利說。尤不可安舍利云。此難可然。只經說文前後委不見。

經云。不須復安舍利。所以者何。此中已有如來全身。如來全身舍利可得心歟。

又儀軌云。又於中想多寶世尊舍利寶塔。種。莊嚴。釋迦牟尼如來及多寶佛。於寶塔中同座而坐。文。

然則釋迦多寶二佛。至極肝心。舍利過事不可有也。就中眞言宗。殊東寺一門習。諸尊法安佛舍利爲至極。今法釋迦多寶爲本尊。舍利即釋迦遺身也。在世生身。滅後遺身。功德正等無差別。尤可安舍利。又舍利即多寶多寶即寶生。寶生即如意寶珠。寶珠即舍利也。法花法安佛舍利事。不及左右事也。

又數 Q 座 Q 云。內院畫八葉白蓮花。餘三重方位諸尊方位各蓮花上月輪圖也。此中央安置舍利塔也。

勸修寺法務御說法花法遺告法也云。可察也云。此法息災增益二法可行也。

醍醐小野共息災增益二法行之。故以釋迦爲本尊時。息災行之。舍利爲本尊以多寶爲本時。寶珠爲本增益也。是甚祕也。雖然本法增益可修之。以多寶佛爲根本本尊習釋迦多寶同座。此法肝心。多寶佛塔也。多寶寶生佛異名。寶生寶部尊主也。尤增益法可行也。隨儀軌修行者面向東方云。

又云。塔門西開云。依如此說文。建立壇場。 Q 方角。皆以東方也。醍醐勸修寺等支度息災增益雖異。五寶香藥穀等只同事也。全以不異。淨衣色計被改也。息白。增黃。部主用尊雖多。

種小野說大日爲部主息災增益皆以大日爲部主多寶釋迦皆共本地兩部大日故也本尊兩部大日用事先德習釋迦多寶本尊用最上習也如古說爲大日本尊法花經轉讀最極也法花經轉讀故也今法花經大日經淺略說習以釋迦多寶爲本尊此法淺略即深祕知釋迦多寶即大日也習也無左右以大日爲本尊本地妙法也雖然自淺至深釋迦多寶即大日也習也至極深祕妙法遍照如來成道法謂

此法中烏鶻沙摩用事染淨不二明王也釋迦教令輪身也法土藏土不二義妙法蓮花經者釋迦牟尼佛內證祕藏遍照如來成道法門也前段後段經中以寶塔品爲其說所三部五部法內以摩尼部爲其本尊

勸修寺法務御支度云

注進
法花法一七箇日支度事

合

一大壇

敷曼荼羅一鋪給佛師可令圖也

天蓋一面弘七尺可畫八葉蓮花青色

幡二十八流四流五尺二尺四流

竿四本五尺五寸可有龍頭

蘇蜜名香白檀

五寶 金銀眞珠瑟瑟頗梨

五香 沈白檀丁子鬱金龍腦

五藥 赤箭人參茯苓石菖蒲天門冬

五穀 稻穀大麥小麥菜豆白芥子

壇一面 脇機二前 禮盤一脚在半

燈臺十二本本讀經料八

經机八前 壇敷布一段 大幕一帖

關伽桶一口 壇供米如常

御明油一斗八升九合一斗五合御明料八升四合讀經料

供所雜具等如常

阿闍梨 伴僧八口 承仕一口

販仕四人 見丁二人 淨衣白色

一護摩壇

壇一面桶加爐 掖机二前

禮盤一脚在半 燈臺四本

壇敷布一段 米八石 油七升

一聖天壇

壇一面三尺 掖机一前 半疊一枚

燈臺二本 壇敷布一段

米二石一斗 油二升五合

一十二天壇

壇一面三尺 掖机一前 半疊一枚

燈臺二本 壇敷布一段

米二石一斗 油三升五合

蠟燭布二丈

右注進如件

天治二年二月七日

件法自同十八日始之

法花經御修法所

奉供
大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

聖天供十四箇度

十二天供七箇度

諸神供三箇度

奉讀

法花經九十一部

奉念

佛眼眞言二千一百返

大日眞言二千一百返

釋迦眞言二千一百返

多寶眞言二千一百返

普賢眞言二千一百返

藥王眞言四百三十返

勇施眞言四百三十返

多門天眞言四百三十返

持國天眞言四百三十返

十羅刹眞言四百三十返

不動眞言二千一百返

護摩眞言二千一百返

一字金輪眞言二萬八千返

右奉爲 大施主殿下御息災安穩增長

福壽恒受快樂御願圓滿始自今月十八

日至于今日并一七箇日夜之間率八口

伴侶殊致精誠奉修如右

天治二年三月二十五日

阿闍梨大法師

已上勸修寺法務御卷數支度

通知院僧都大殿御修法云
法華御修法七箇日支度

●若小野支度
趣可尋之度

五寶 金銀真珠琉璃水精

五藥 石菖蒲人參伏苓赤箭天門冬

五香 沈香白檀丁子鬱金龍腦

五穀 粳米大麥小麥大豆白芥子

天蓋一廣長各七尺畫八葉蓮花

幡二十八廣長各七尺流四畫八葉蓮花

懸幡竿四本 蘇蜜少

大壇一基方六尺

護摩壇一基方五尺

十二天壇一基方三尺

禮盤二基各在壇前

脇机四前 經机八本

壇料燈臺十本

伴僧前切燈臺八本

壇敷料手作布四段大壇二段護摩壇一段

十二天壇一段

油二斗七升二合大壇八升日別一升二合

護摩壇一斗五合日別一升

十二天壇二升 御燈明一升

蠟燭一升 阿闍梨料七合日別一合

伴僧八人料五升六合日別一合

壇供十七石

大壇護摩壇料十五石

十二天壇料二石

阿闍梨一人供四石日別五斗

伴僧八人供十九石日別二斗

承仕二人食八升日別一斗

斷仕五人食八斗日別一斗

見丁二人食三斗二升日別一斗

各淨衣白色

承保元年三月十七日

醴酬

注進 法花經御修法一七箇日支度事

合

五色糸二條各三丈五尺大壇

蘇蜜 名香

五寶 金銀真珠琉璃水精或藥梨

五香 沈香白檀香丁字香鬱金香蘇合香或龍腦

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲天門冬

五穀 稻穀人麥小麥大豆或菜胡麻芥子

壇供

御燈油

壇四面大壇一面向護摩壇一面

脇机六前大壇二面向護摩壇一面

禮盤二脚

半盤四枚大壇一枚護摩壇一枚

天蓋一

八色幡二十四流

赤白色四流 白色二流 紅色四流

黑色二流 烟色四流 赤色二流

綠色四流 黃色二流

幡幡四本長五尺

經机 前

燈臺 本

壇敷布三端大壇料一端護摩壇料一端

供物覆一端 蠟燭布一段

阿闍梨 伴僧 行事 承仕三人

斷仕八人 見丁二人 淨衣黃色

右注進如件

大治元年 月 日 行事大法師 阿闍梨

已上

注進

法華法一七箇日支度事此支度可用也

合

大壇

敷曼荼羅一鋪給佛師可令圖之

天蓋一面弘七尺青色

八色幡二十四流之內

赤白色四流 白色二流 紅色四流

黑色二流 烟色四流 赤色二流

綠色四流 黃色二流各長三尺

黃色幡四流各長五尺

竿四本各長五尺五寸

蘇蜜 名香白檀

五寶 金銀真珠琥珀藥梨

五香 沈香白檀丁子鬱金龍腦

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲天門冬

五穀 稻穀大麥小麥菜豆白芥子

壇一面 脇机二前 禮盤一脚在牛

燈臺十二本四本壇料

經机八前 壇敷布一端

大幕一帖或幕代 闍伽棚一脚或二

闍伽桶二口在內 闍伽折敷三枚

壇供米如常

御明油一斗八升九合一斗五合御明料

佛供覆布二丈

供所雜具等如常

阿闍梨 伴僧八口或十二口 四口也可隨地主心

承仕二人 駝仕四人 見丁二人

淨衣黃色

五寶香藥此定若息災行白色也又

一護摩壇

壇一面加爐 脇机二前

禮盤一脚在牛

燈臺四本 壇敷布一端

芥子袋或神供桶一口有約云々

米八石 油七升

一聖天壇

壇一面三尺 脇机一前

半疊一枚或火鉢一口

燈臺二本 壇敷布一端

米二石一斗 油二升五合

一十二天壇

壇一面三尺 脇机一前 半疊一枚

燈臺二本 壇敷布一段

米二石一斗 油二升五合

蠟燭布二尺

右注進如件

年 月 日 阿闍梨權僧正法印大和尚位

已上支度可用也此抄記後見極見苦付外不可
被露此法私次アリ此ヲ可用件次第以釋也
實爲本此記中所同事有之後見心得可也

寂極秘密口傳也

此法烏勢沙摩結印可誦眞言染淨不

二觀法爲宗教也此明王彼事業成辨

故也大佛頂經見仍曼陀羅列令坐給因

緣此故修行此經人得六根清淨之利

益也

圖像 七三

法花護摩 息災

作法等如常

火天段

次部主段

次灑淨香水等如常

次勸請部主不動尊令坐爐中先結定印

觀念我心月輪上有字變成寶劍我身

即變成不動尊身也具觀念尊儀已結根

本印誦一字明加持身四處即右手取一

花誦不動眞言加持三返已投爐中觀想

此花至爐中成蓮花座上有一字白色

變成寶劍寶劍變成不動尊相好威儀皆

悉分明作是觀已即結大鈎召印先作啓

白云我今奉請不動明王唯願大悲以本

願故加持此處受我微供作是語已誦鈎

召眞言眞言末加四字明召請想勸請曼

荼羅本位明王令冥會爐中明王身一體

無二其印相外縛立二頭指隨誦招之大

鈎召眞言曰
變莫三萬多母駄南引阿入薩縛多羅合二

鉢羅二底賀諦但他誡黨引俱捨冒地左
利耶二合婆哩步落迦翳呼鏤斛婆縛合二

訶

次金剛合掌可啓白

唯願部主 降臨此座 哀愍納受

護摩妙供一拜

已上啓白觀呪撥遣等如常

次本尊段

次灑淨香水等如常

次勸請當部尊釋迦多寶令坐爐中先結

定印端身正座合眼觀念我心月輪上有

字各變成法性塔婆我身舉體是塔

婆之相也即變成釋迦多寶身相好圓滿

也具念尊儀已結塔印誦五字明加持身

四處即右手取一花誦本尊眞言加持三

返已投爐中觀想此花至爐中成寶蓮花

座上有一字二字變成法性塔婆塔婆

變成釋迦多寶身相好威儀皆悉圓滿作

是觀已即結大鈎召印先作啓白云

我今奉請釋迦多寶唯願大悲以本願故

加持此處受我微供作是語已誦鈎召眞

言眞言末加四字明召請想勸請曼荼羅

本位如來令冥會爐中如來身一體無二

二頭指如鈎隨誦招印眞言曰

可也

已上兩尊眞言也

已下觀呪啓白等如常

次諸尊段

次灑淨香水等如常

次右手取數花以花座眞言加持投爐中又結定印觀此花至爐中成各蓮花座

座上有八箇寶字變成八箇蓮花蓮花變成八大菩薩次第安坐四隅有四大聲聞

四大明王內外八供四攝等圍繞如此觀已結大鈎召印

先作啓白云

我今奉請八大菩薩唯願大悲以本願故加持此處受我微供作此語已誦其眞言

眞言末加四字明召請即想勸請普賢文殊觀音彌勒藥王妙音常精進無盡意等

菩薩令冥會爐中諸尊以二頭指招之其印眞言如常

已下啓白觀呪等如常

次施天段

次灑淨香水等如常

次勸請不動明王及天等十羅刹令坐爐中右手取數花投爐中即結定印觀此花

至爐中成不動明王花座及十天七曜二十八宿十羅刹等荷葉座即花上有寶字

變成不動明王身四臂具足色相威儀執物分明也荷葉座上各有寶字變成十二

天七曜二十八宿持國增長廣目等天等十羅刹身其色相威儀皆悉分明也如是

觀已結大鈎召印先作啓白云我今奉請不動明王十二大天持國增長廣目等多

聞十羅刹等唯願大悲以本願故加持此處受我微供作此語已誦其眞言眞言末

或文云

加四字明召請即想勸請不動明王十天及曜宿十羅刹等令冥會爐中聖衆二頭如鈎隨誦招印眞言如常 (裏書二六六)

已下啓白觀呪等如常 (裏書二六七)

正念誦 一金剛界大日眞言 又普賢一字明 胎藏五心眞言 金剛界五智眞言 無所不至言 胎藏五

散念誦

佛眼 大日 釋迦 多寶 決定如來 不動 降三世 多聞 持國

一字 經 多羅尼等少誦滿之

圖像 七四

師說云

胎藏八葉院中臺居金剛界大日八葉四佛四菩薩云

四攝八供金剛界 此曼荼羅延命院祕本彼入滅之後於

峯僧房求出之彼僧都小野兩僧正海仁師也

中臺大日智拳印久遠實成如來本門壽量佛也是即自性法身毘盧舍那如

來也八葉四佛四菩薩妙經迹門教主也是即妙經開示悟入之四佛知見發

心修行菩提涅槃法門第五方便具足惡字常寂光土教主台藏大日也

兩部教主也受用身也總云之者本述二門佛金胎

或文云

常在靈鷲山號曰金剛界云以前之開示悟入方便具足五字悟入本門智拳印大日自性身

或文云 十方刹土中 唯有一佛乘如來之頂法 等持諸佛體

是故名智拳云本尊兩尊用之說

釋迦

三鉢理

印鉢印

眞言曰 曼莫三曼多沒駄南薩縛吃里捨涅槃婆

曼薩縛達磨縛始多鉢多識曼三麼薩婆呵

一字心明 可

多寶 三塔形像住定印

智印 眞言

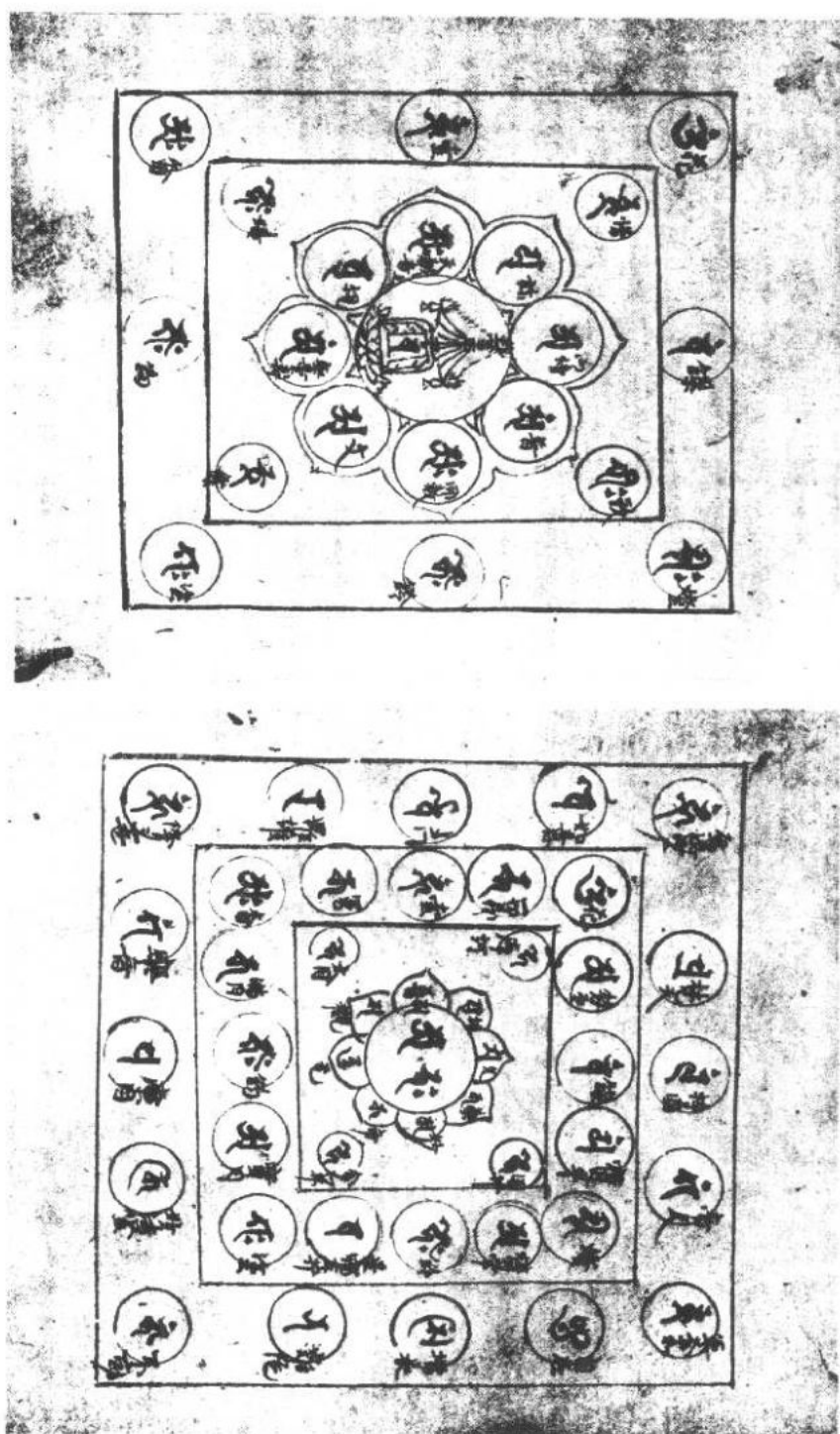
曼莫三滿多沒駄南暗薩囉沒駄冒地薩

但縛乾里捺野倆也吠舍倆曼莫薩縛尾

泥婆婆訶 又印

眞言 可

理智不二之總體其內有理法身智法身



圖像 No. 73. 法華曼荼羅(其一) 圖像 No. 74. 法華曼荼羅(其二)

印。準都婆印。大指。以頭指第一節。サ、

フルナリ。トヒラヲヒラクト想

文云。寶塔開戶。兩部大日顯現云。

眞言

唵沒駄沙利羅嚩日羅邏怛唵

此法用此眞言事。不載紙筆。最極秘密也

又云

以無量壽命決定如來眞言爲本尊言

軌云。無量壽決定如來云多寶佛也

或祕抄云

種子

三昧耶 五輪塔

祕說云。台藏大日爲本尊。八大菩薩即

八葉九尊也。又妙法蓮花經之題目。同

八葉九尊也云。

眞言

曇莫薩縛怛他 引 藥帝 引 毘庚 二合 尾濕

縛 二合 目契毘藥 二合 薩栗縛 二合 他 引

到野夷 齊 齊 齊

印 智拳印 金剛界大日印 此智拳

唵縛日羅駄都鐵

二佛共成名毘盧遮那。故雖二佛即是一

佛也。法身佛故。一切諸佛。皆是大日

如來也

十方佛刹中土文如前

祕說云。塔印之內觀二世尊。右釋迦。左多

寶。二佛同座演說妙法蓮花經給觀。印是

眞言

歸命到齊夷齊

前四字如火開示悟入也。又因行證入

義也。謂發心修行菩提涅槃四佛知見

是也

第五惡字是方便善巧智圓滿歸入中

臺大日。故此五字眞言爲至極究竟云

經文云。定惠力莊嚴。以此度衆生云。

故本尊即金剛界大日。眞言即台藏也

以定惠配兩界

又云。以普賢爲本尊。是即金剛界大日

也。小野流

又以不動爲本尊。是三井

本典云。仰云。此法是宗至極源底之大事也。故如何小野大

事。即此法本尊加持用之故也。而於此書佛底注載

之異。宗源底也。勢不可外見。若令外見者。密法

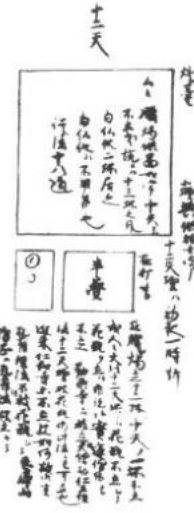
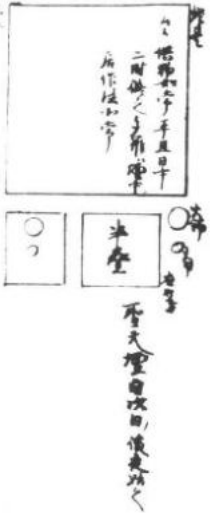
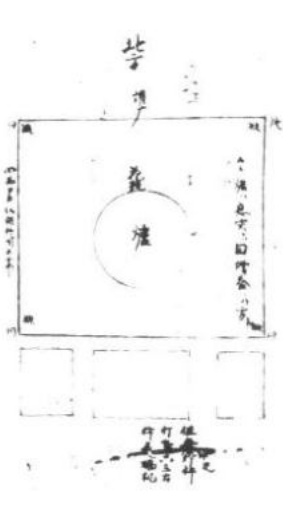
顯露之。有甚惡故也。云。

元文五庚申年十月二十二日遂修復了

淨土院末資權僧正賢賀 五十七

〔真書〕二六二

法花法壇所圖大略



○

大壇敷四四方中央花實上。七寶妙

塔中。佛舍利二粒安爲本尊。或法花

經安云。

此次習也。只佛舍利塔以爲最上。近

來十二天壇花瓶不安如何。若安瓶

非說云。尤不審事也。略定付行也。本

【真書】二六三

此法可行息災增益
但爲後世敬愛爲亡者鈎召此等甚
深祕說也。軌不載紙筆
部主段習

普賢不動阿彌陀。但可依事爲後
世阿彌陀。不動爲亡者阿彌陀。普
賢也。但至此法。行者觀普賢故不
可爲部主。又觀行者觀音習。至極
祕也。法花行者普賢也。觀音爲法
花行者事。總蓮花部尊中。以觀音
爲主。就中於此經者。觀自在王如
來。并觀世音菩薩三摩地法門故
也。
以釋迦本尊時。以多寶爲部主。以多
寶本尊時。以釋迦爲部主也。
又觀自在菩薩此法。門主也。阿彌
陀此法。肝心之體也。

【真書】二六四

本尊段
諸供物用西方法菩薩真言樣在之。
一說也

【真書】二六五

胎藏法菩薩真言也
若大鈎召真言。印也
此諸尊。皆兩部四佛四菩薩也。不動。
降三世。烏魯沙摩。軍荼利。諸尊段一
曼荼羅諸尊。但除中尊。餘諸尊供之。
或說可入大日云。

【真書】二六六

十羅刹總呪曰
唵阿帝伊利野婆婆訶

○
施天段四天王十羅刹等。用諸天總
呪

○
小野不用後火天段。用教令輪者。當
部主段
十二天之外持國增長廣目等也

【真書】二六七

誦經之時。先結普賢印。住普賢三摩
地畢。誦經時。可觀念云。
誦經畢。重可結普賢印。誦真言。住普
賢三摩地云。
同誦經之補闕真言。并教令輪一字
金輪等真言。可誦之
補闕真言

曇謨囉怛那怛囉夜耶唵佉囉々々
俱陸々々。麼羅虎羅吽賀々。索怛努
八未拏薩呵

此真言功能在別

正念誦。芥子可用之

最極祕事。正念誦。許也。摩都婆法
界普賢一字明云。

自性常住身也。此菩薩自性トイフ

ハ妙經也。仍正念誦。尤可用也。摩都
婆印。五字。塔印。若智拳印。此同摩都

婆也

ホロムトコソハ習ヒ傳フ。此ヲ
至極トハスレ。祕藏也云々

此法息災部主釋迦也。增益寶生也。
常息災可行也

御加持不動慈救呪也

決定如來。天台阿彌陀。東寺大日云
或經云。東方國有。其中佛在。其佛決
定如來也。此佛無他事。法華經三世
常住說。衆生利益給云。

息災增益。共部主普賢習。祕說也
サタラマフンタリキヤソタラム

此八葉九尊也

世人妙法蓮花經序品第一ヲ九字
トス。此モサモアリナム。サレトモ

頗不及指南事也

軌云。塔西門開云々

南坐多寶禮云々

然者。左歟習之

【真書】二六八

此二尊者。縱雖顯二尊。其實體者。久
遠實成妙理。智拳印大日也

最極祕事。不載紙筆者也

自觀後。可結各本印

燒供等。皆可用大日五字明。或說用
多寶明云。

【真書】二六九

初發。菩提心。體開佛知見。法門
第二發。菩提行。示佛知見。法門
第三發。證菩提。悟佛知見。法門

第四卷 入佛知見法門也

經開示悟入四佛知見此也

範俊僧正高野御室奉授樣眞言

四種異許也

○

妙法蓮花經最深祕處心蓮八葉也

此法曼茶羅也

最極祕事塔婆也

仍以塔印爲最極祕事云

○

アヒラムムケム

書已上此二也

儀軌云增益說之

○

トロハ香煎壇可置之

ヒリキ迦香宿木云同センシテ

可置之

施主行者可服之云

口傳在之儀軌文也

覺禪鈔 仁王經上

由來 請書 請文 支度 曼茶羅

天蓋 放文 堂莊嚴 行法次第

表白 種子等 護摩 卷數

結願 布施 本尊事

伴僧請書 同請文 印書

天蓋等異說 經文兩三

長治二年二月十日三寶院僧正覺禪時法

九公家御祈御所也壇所於侍從久利屋

勤修仁王經法二七日內鉢星出沒云

實無勤

賢覺云當年維摩堅義者也生年二十六

雖無學問暇依爲嚴重初七日許參勤伴

僧同爲聖天供阿闍梨 幡八流但實覺記

御物語云大僧正兩三度大僧都二箇度

實運僧都法印乘海二度初度實海今法被

勤修也八色幡各一流被用云

實運僧都於三寶院勤修日蝕御祈也

壽永元年六月十五日於三寶院承之

具書

仁王般若念誦法一卷仁珍

仁王念誦儀軌一卷在序

仁王般若陀羅尼釋一卷大師

修習般若儀軌一卷大

仁王經法軌云藏經四經法以息災爲

一由來

不灌鈴云眞言最初公家御祈大師始令

行之聖驗尤有之云

護摩壇僧都 十二天高雄

聖天眞觀寺

異本云師主云不灌鈴有東寺之講堂

圖彼銘云仁王經曼茶羅云

此即先德祕事自宗肝要也云

彼五佛五菩薩五忿怒五方天等爲五

方守護也仍爲鎮護國家第一祕法也

云

予於三寶院傳此事但先年以或師口

傳聞此說努力可祕藏

一請書

右被院宣傳近曾災變屢示天下不靜

天不勝德善能却惡者自來某日舉二十

口伴侶勤修仁王經法可被祈天下泰

平五穀豐稔之出依天氣執達如件

年月日 某

某御房

一請文

謹請院宣事

右院宣之狀謹所請如件

但某昔雖入明師之室聊受習仁王經法

老耄之身起居不輒何以不肖之微質勤

嚴重之御願哉雖然輪旨是重不能欲罷

矣以此旨可令奏聞給某謹言

年月日 某

一支度

注進

仁王經御修法一七箇日支度事

合

五色糸二流 各三丈五尺
大壇謹摩壇

蘇蜜 名香沈 芥子袋

五寶 金銀水精琥珀真珠

五香 沈白檀薰陸安息龍腦

五藥 荳蔻桂心遠志白朮甘草

五穀 稻胡麻大麥小麥菽豆

壇供米二十九石 御明油六斗三升

天蓋一青色 八色幡各一流 白紅黑黃
赤綠青肉

壇四面 大壇一面謹摩壇一面十
二天壇一面望天壇一面十

脇机六前 大壇二前謹摩壇二前
二天壇一前望天壇一前

禮盤二脚 四枚 經机二十前

燈臺三十二本 高十二本壇
短二十本謹摩壇

壇敷布四段 供蓋布一段

蠟燭布一段 大幔二帖

阿闍梨 伴僧二十口 行事一人

承仕六人 駢仕十人 見丁二人

淨衣白色 布十二段 承仕駢仕見
丁等淨衣料

保延六年正月二十七日

行事大法師

阿闍梨大僧正法印大和尚位定海

一曼茶羅

(裏書二七一)

不灌鈴有東寺講堂圖此即今法曼茶羅

即參三寶院承之又先年此以或師說傳

之尤可祕藏

五方曼茶羅 今流不用之依爲御
筆圖之文有深意 (裏書二七二)

仁王念誦軌云第一東方金剛手菩薩經

云東方金剛手菩薩摩訶薩手持金剛杵

放青色光與四俱胝菩薩往護其國解曰

金剛手者依三藏所持梵本金剛頂瑜伽

經云堅固利用具二義也依彼經者是○

菩薩依二種輪現身有異一者正法輪現

眞實身所修行願報得身故二者教令輪

示威怒身由起大悲現威猛故金剛手即

普賢手持金剛杵者表起正智猶如金剛

能斷我法微細障故依教令輪現作威怒

降三世四頭八臂摧伏一切摩醯首羅大

自在天諸魔軍衆侵害正法損害衆生者

令調伏故放青色光者除遣魔衆東方持

國天及將乾闥婆衆毘舍闍衆爲眷屬與

四俱胝菩薩往護其國

圖像 七五

圖像 七六

圖像 一八

第二南方金剛寶菩薩 (裏書二七三)

經云南方金剛寶菩薩摩訶薩手持金剛

摩尼放白色光與四俱胝菩薩往護其國

解云言金剛寶者彼經云虛空藏菩薩也

依前法輪現勝妙身修施等行三輪清手

持金剛摩尼者梵云摩尼此翻云寶體淨

堅密猶如金剛即是金剛如意寶隨諸有

情所求皆得依教令輪現作威怒甘露軍

荼利金剛現八臂摧伏一切阿修羅衆等

眷屬諸惡鬼神惱害有情行疾疫者令調

伏故放白色光者顯能除遣修羅等也與

彼南方增長天王及將無量恭畔茶衆薛

荔多衆而爲眷屬四俱胝者且一俱胝者

如華嚴經云百洛叉爲一俱胝即當此方

百億數矣餘三俱胝准此應悉與如是衆

生往護其國文

圖像 七七

圖像 七八

圖像 一九

第三西方金剛利菩薩

經云西方金剛利菩薩摩訶薩手持金剛

劍放金色光與四俱胝菩薩往護其國解

云言金剛利者如彼經云文殊師利菩薩

也依前法輪現勝妙身正智圓滿得自在

故手持金剛劍者示其所作能斷自他俱

生障故依教令輪現作威怒六足尊金剛

手臂頭各六坐水牛上摧伏一切諸惡毒

龍興惡風雨損害有情者令調伏故放金

色光者顯能除遣惡龍等也與彼西方廣

目天及無量諸龍富單那衆而爲眷屬與

四俱胝菩薩往護其國文



圖像 No. 75. 五方曼荼羅(東方) (其一)



圖像 No. 76. 五方曼荼羅(東方) (其二)



如來變身經





圖像 No. 78. 五方曼荼羅(南方)(其二)

南方 白色



圖像 七九

圖像 八〇

圖像 二〇

第四北方金剛藥叉菩薩

經云北方金剛藥叉菩薩摩訶薩手持金剛鈴放琉璃色光與四俱胝藥叉往護其國解曰梵云藥叉此云威德又翻爲盡能盡諸怨故如彼經云摧伏一切魔怨菩薩也依前法輪現勝妙身事智圓滿得自在故手持金剛鈴者鈴音震擊覺悟有情表以般若警群迷故依教令現作威怒淨身金剛示現四臂摧伏一切可畏藥叉常於晝夜伺求方便奪人精氣害有情者令調伏故放琉璃色光者顯能除遣藥叉等也與彼北方多聞天王及將無量藥叉衆羅刹婆衆而爲眷屬與四俱胝菩薩往護其國

第五中方金剛波羅蜜多菩薩

圖像 八一

圖像 八二

圖像 二一

經云中方金剛波羅蜜多菩薩摩訶薩手持金剛輪放五色光與四俱胝菩薩往護其國解曰言金剛波羅蜜多者此云到彼岸也如彼經云轉法輪菩薩也依前法輪現勝妙身行願圓滿住等位也手持金剛輪者毘盧舍那初成正覺請轉法輪以表示故又以法輪化導有情令無數天至彼岸故依教令輪現作威怒不動金剛摧伏一切鬼魅惑亂諸障惱者令調伏故放五色光者顯具衆德破前諸闇也與天帝釋及將無量諸天而爲眷屬與四俱胝菩薩往護其國文

圖像 八三

圖像 八四

圖像 二二

右五方曼荼羅者大師御筆也件正本金峰山路山田寺在德大寺法印取之被持云其後佛師傳之後奉渡三井覺禪僧正房以件本三寶院僧正寫止奉安置經藏了但南方闍玄海僧都以珍海被加圖口云五菩薩五忿怒非普通形像受大師青龍口傳令圖御歟有甚深義云師云五佛五菩薩五大明王五方天等皆守護五方給也仍爲鎮護國家大師令圖此曼荼羅御

敷曼荼羅

念誦軌云於壇中如法彩畫畫人沐浴著新淨衣受近住戒其壇三重莫用皮膠用諸香膠如無香膠煎糯米汁用和彩色於壇中心畫十二幅輪東邊畫五結金剛杵南邊畫金剛寶西邊畫金剛劍北邊畫金剛牙此上五事即是五方菩薩手中所執祕密之契東南隅畫三股金剛杵西南隅畫寶冠西北隅畫篋東北隅畫羯磨金剛杵當四角上置四寶瓶金銀銅鍍新瓦亦得受一升已下滿瓶盛水插枝條花用四色綰各長四尺青黃赤綠如上次第繫四瓶頂次第三重東門畫金剛鉤南門畫金剛索西門畫金剛鎖北門畫金剛鈴東南角畫香爐西南角畫荷葉於中置雜花西北角畫畫燈東北角畫塗香器所畫杵等皆有光焰三重壇外一重界道四面畫門當入界道於壇四角釘仗陀羅木槩如無此槩木鐵槩紫檀木槩亦得長十二指入地四指誦下第三金剛部眞言加持槩二十一返已然後釘也以五色縷令童女石合龜細如小指以繫槩頭周圍壇上於四門置四香爐燒沈檀薰陸蘇合等香於壇四角畫三股半金剛杵四角之上各燃一盞燈於四門外左右兩邊各置二盞碗銅等盛圓伽香水每時皆換其水灑於淨處不得踐踏文已上以異本右文說敷曼荼羅也非常用故不圖之

曼荼羅

軍刑兵而名者願與四侍即事普賢菩薩



圖像 No. 79. 五方曼荼羅(西方)(其一)



圖像 No. 80. 五方曼荼羅(西方)(其二)



參考圖像 No. 20. 五方曼荼羅(西方)(釋迦文院本) cf. Nos. 79,80

屬与四候耶善舊相訓其國

摧一切魔忍并

執十字跋打羅

金剛更又三面音六臂



北方
琉璃



金剛藥叉并六臂各執叉杖



圖像 No. 82. 五方曼荼羅(北方)(其二)

金剛藥叉并六臂各執器械



北方琉璃



摧一切魔悉并執十字鐵刺并



明大藥叉
其眷屬



金剛夜叉三面五目六臂



圖像 No. 83. 五方曼荼羅(中方)(其一)



圖像 No. 84. 五方曼荼羅(中方)(其二)



參考圖像 No. 22. 五方曼荼羅(中方) (釋迦文院本) of Nos. 83, 84

圖像 八五

(表書二七五)

圖考 二三

圖考 二四

般若抄云。仁王經法有曼荼羅。昔公家被修彼法之時。祖師受茶羅寺大綱。爲阿闍梨。申請佛師如照。令圖繪給本也。門跡相承。以件曼荼羅爲本尊。行此法。師資相承。息災修之。

或人云。小野僧正曼荼羅增益也。醍醐大僧正。海改息災曼荼羅被圖畫云。

右圖三寶院本寫之。曼荼羅文少。建之。

御口傳云。小野僧正曼荼羅。普通八天不畫。五方天等之外。火水風三天被加。世間災難無過此三。仍此三天圖加給歟。

仁王經護國品云。大火大水及大風等。是諸難起。皆應受持講說。此般若波羅蜜多。

天蓋并幡事

(表書二七六)

仁王經念誦法云。於壇上張青色蓋。稱壇大小云。

同軌云。繞壇懸幡二十四口文。

新譯經云。汝等諸王。應作寶幢及以幡蓋。

古譯下云。應作九色幡。長九丈文。

釋經中云。東著白幡。東南紅幡。正南黑幡。西南煙色幡。西方赤色幡。西北方青水色幡。正北黃幡。東北赤白幡。如是八色。隨方而置竿頭上。結繯鵲尾。極令端正云。安鎮軌等出八色。然傳受集第三。今經文。幡具數不分。明本方顯。然具色叶口傳。故引此經文。私云。右經文八色。相叶口傳。故引之。安鎮軌出八色。

御口傳云。懸大壇天蓋。青色絹張。四角懸幡八流。其色白紅黑烟赤水黃肉云。

懸幡次第。近來皆此。

東南角紅。西南角黑。西北角赤。北東角肉。三寶院僧正御說。幡長六尺許云。

天蓋圖

御口傳云。三寶院僧正。前用幡二十四口。後被用八流。其後大僧正并大僧都玄海。

法印乘海。各右圖定被用云。

又以白色自東北角懸樣有一說也。

壽永年中。參三寶院。奉傳御自筆圖。有別紙。勝俱祇院僧都。於三寶院日蝕之御祈。

自保元三年二月二十一日。始被修。今法日蝕三月二十七日。結願了。伴圖以白色寅方被懸云。

顯呆記云。被伴僧云。或人云。乘海時。

眞海懸此。定後一海改懸辰方云。

異本云。或云。用二十八伴僧三寶院僧正始之。鳥羽院御時。以寶法眼被奏云。

張文。乘海勤修。張文給之。數料如上。

大阿闍梨。仁呆阿闍梨十二天。一海已講。謹摩。

澄覺。聖天。慶豪。寬海。諸神。覺鏡。勝海。理海。實海。部三百六十。全海。下番。

尊基大法師。發願有禪。定宗。聖宗。乘印。元增。良以。元勝。乘覺。嚴仁。

一紙文字大書。大壇護摩壇間。大幕面張之。大僧正記云。幔木以木釘打之。

(表書二七八)

一堂莊嚴等

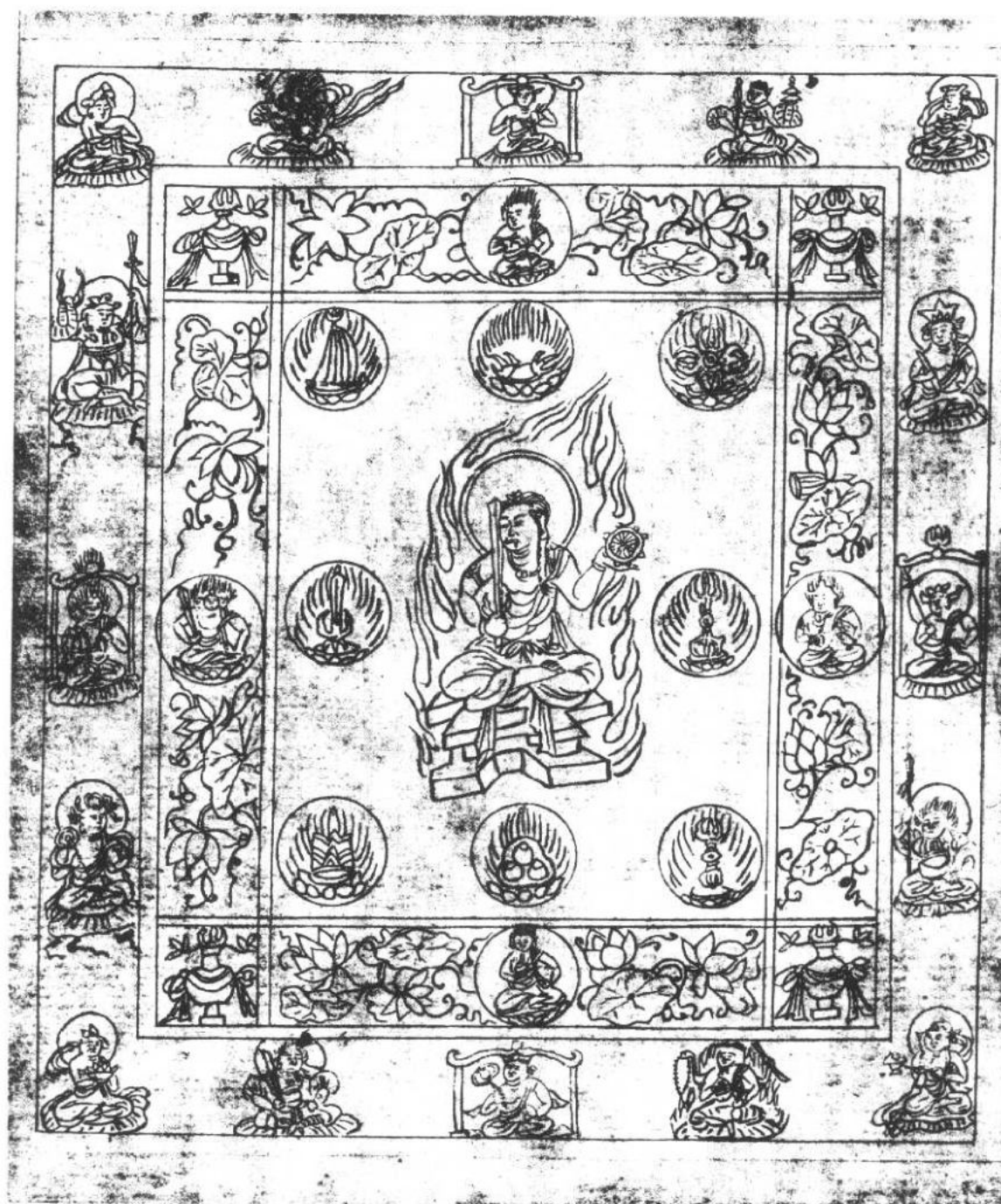
保延二年六月十八日。大僧正定海。於白河和泉御殿。御所。被勸修仁王經法。息災也。仍向北御前西也。御所大壇之間。一間。次。大壇次間。護摩壇。次間。十二天。批兼聖天壇。護摩壇。不立鈴五古。三古杵置之。聖天并十二天壇。同不立鈴杵。已上。大。師傳云。儲大壇事。可便宜也。御前東ナラハ其方可儲也。

大壇。大佛供八杯。小佛供八日中。第八杯。後。異本云。大壇釣天蓋。懸八色幡。

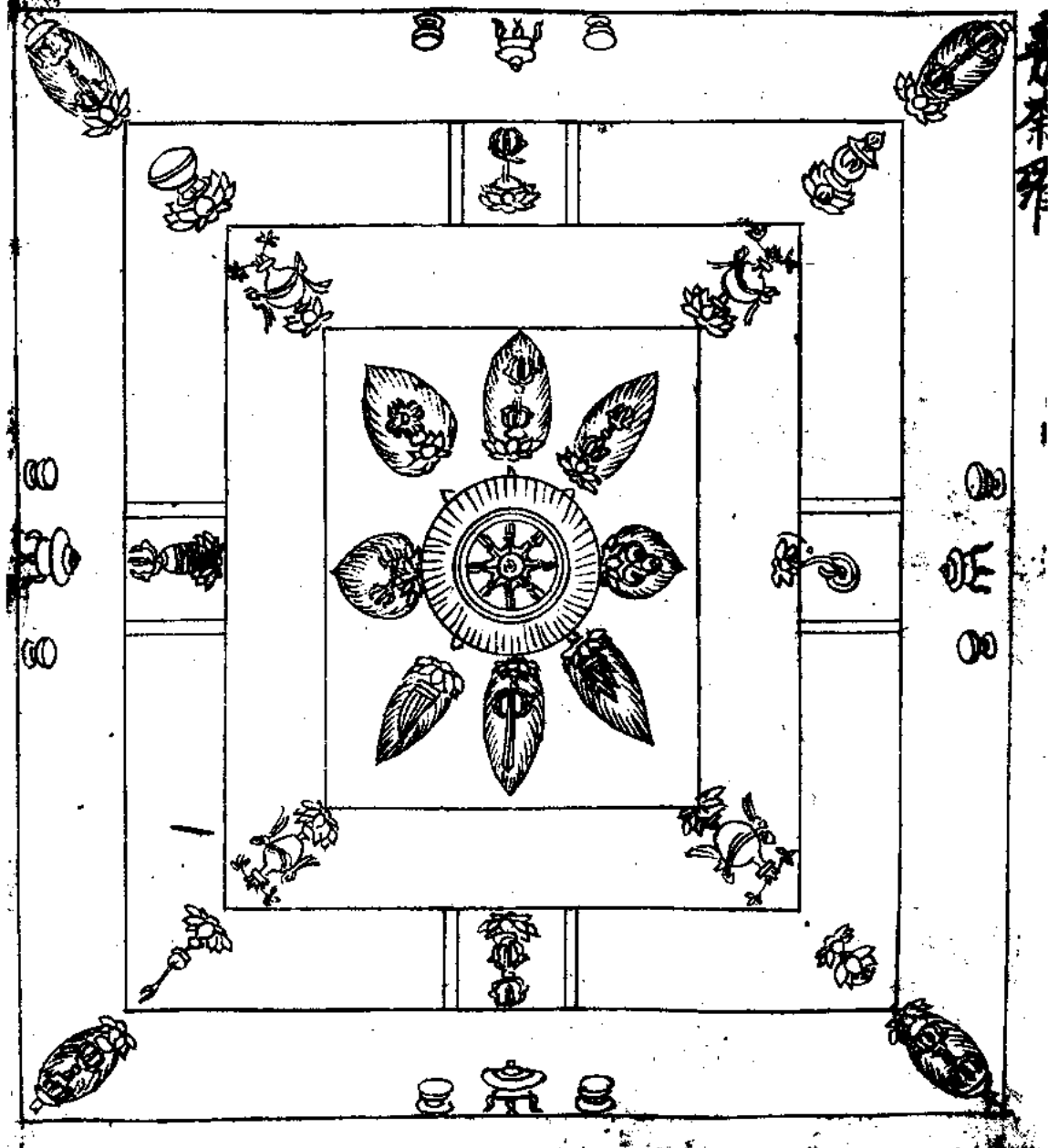
又云。保延記云。大壇方可隨御前便宜。中。央十二輻輪。四隅。佛方大火舍置之。

不斷香料也。花瓶。經筒。置之。左方脇机。置。居箱。灑水。塗香。如常。右方机。大鏡。部安之。

(表書二七九)



圖像 No. 85. 仁王曼荼羅





御口傳云有數曼茶羅不用之大壇中央
安仁王經入焉

次後供養迴向方便金一下番上腦發願
井五大願

戴之處限于里消難恭敬轉讀之國生七
福隨心就中稅國王父母奉護玉體演聖
朝法樂增長寶曆依之唐朝代宗皇感慶
雲於講讀之庭日域持統帝生甘泉於恭
敬之嗣方今佛說不空百年全寶祥先蹤
有誠四海悉安穩矣

般若僧正御自筆云、數曼茶羅意也
文殊師利菩薩法云不空譯

至心發願 轉讀般若 功德威力
大衆地類 倍增法樂 國母安穩

一種子等事
種子 智惠云、異本

我今又說羯磨曼茶羅壇中安般若波羅
蜜經隨日日讀誦念誦以種、供養而供

增長寶壽 院內安穩 諸人快樂
及以法界 平等利益

三形 輪 十二輪
仁王念誦法云於壇中心畫十二輪輪云、

養之不久當成就云、承仰後日引之
又御口云八角筒置大壇內奉入佛舍利

衆生無邊誓願度 福智無邊誓願集
法門無邊誓願覺 如來無邊誓願住

緣生也故用十二輪輪斷彼心也最秘
御筆銘云到岸菩薩云、(與告二八二)

并大師御筆靈驗小佛等云(與告二八二)
一行法次第大僧

無上菩提誓願證 一打
大阿闍梨井上番退出大阿闍梨振鈴已

御口云生界流轉還滅偏是依十二因
緣生也故用十二輪輪斷彼心也最秘

開白時二十口伴僧皆參淨衣大阿闍梨
御口傳云淨衣著袈裟香染著手袈裟始自

後念誦之程護摩壇師起伴僧座進壇場
行護摩大壇方三度禮拜進行之

御筆銘云到岸菩薩云、(與告二八二)

普禮表白五悔勸請普供養三力偈等如
常但偈金打後上番十人讀經不誦佛

次三部被甲 次塗香 次淨三業
次大金剛輪印言 次羯磨加持

御口傳云以金剛波羅蜜爲本尊即般若
菩薩也

下番十人退出云、
次、時大阿闍梨香染著五帖望神分時

次退下大壇方一度拜著本座
十二天聖供同起堂

本尊 金剛波羅蜜
御口傳云以金剛波羅蜜爲本尊即般若

先金一度打爾時上番中堪能者迴向其
詞云

神供上番中勤仕之
後加持用慈救呪御口傳云文字

念誦軌云金剛波羅蜜菩薩持輪○此
云到岸文

所修功德 迴向三寶境界
迴向天衆地類 所修功德

後加持初夜後夜上番十人參仕又開
白御加持發願之後有五大願無中間

小野曼茶羅中尊殊有口傳此到岸菩薩
也

迴向國母仙院 玉體安穩
增長寶壽 恒受快樂

一表白 法修寺
南瞻部州金輪聖王新開九禁之皇居更

五佛頂經般若菩薩左手持摩尼御筆中
方菩薩像又如此

迴向諸宮 迴向院內安穩
迴向諸人快樂 迴向天下

行法、是爲聖體安穩天下泰平也今此妙
典者內照無相妙理爲佛神之智現外現

私說云爲求菩提以五佛爲本尊爲調
伏可爲明王本尊且經題彼堂尊可思

迴施法界 迴向無上大菩提
下座迴向了大阿闍梨金二打神分等如

五方明王却國土之邪障或名天地鏡更
鑒衆願或稱如意珠忽由萬寶故持念頂

又以寶生尊習究竟說御此等義可見無
礙金剛大第

私云略出經般若菩薩并金界智慧波羅蜜共見用寶生尊印般若寶生義可尋今法雖說四種以增益為本息災行增益中息災也故曼茶羅寺僧正增益曼茶羅圖繪云

委在奧

印 經臺印 口云指上觀般若梵篋

念誦法云結般若波羅蜜根本印以兩手背相附收二頭指二小指屈於掌中以大拇指各押二頭指置心上

口云以二大押二頭二小慈覺軌般若抄不灌鈴等可見

陀羅尼集經三般若無盡藏印同之

般若抄云如高座上安置法藏常心著之常誦呪時專想繫念一切經藏皆從印出印悉入中心

異本云誦云三寶院流用無盡藏印言為最祕傳可見功能也

修習般若真言又名無盡藏出修習軌

金寶抄云至極甚深習云

祕云後僧正并法三記同用之已上異本

摩訶婆羅門帝鉢羅枳維播羅若珍曳

唵唎利地室哩囉嚨底尾惹曳莎賀

般若抄云集經三般若無盡藏陀羅尼此言少異彼經云有四種名一名般若無盡藏二名般若眼三名般若根本四名金剛般若心取意

(真書二八三)

又經臺印用陀羅尼奧一傳也

阿羅彌迦羅彌阿羅摩迦羅彌摩賀鉢羅

積攘播羅彌誦娑嚨賀漢出新仁王經

勸請句大僧正說務抄同之本尊般若持明王四大八大諸忿怒

禮佛句 後夜日中初夜皆用勸請云

發謨阿利也阿沙羅髮摩尼彌也羅惹返

道場觀三寶院僧正說

觀想地結上金剛塔內有寶樓閣無量莊嚴周遍懸列內有大曼荼羅

三重界道之外於壇四角有四賢瓶四門各有四寶香爐無量供具周匝深

列內院中心有蓮花臺上有字變成十二輪金輪變成金剛波羅蜜

多菩薩放隨方光普曼陀羅四大菩薩八

供四攝隨光顯現教雙無本字輪觀三返順逆觀字義

字輪觀三返順逆觀字義

供四攝隨光顯現

字輪觀三返順逆觀字義



儀軌云諦觀圓明鏡智縱廣一肘漸遍法界布字行列右旋次第觀一字光明徹

照從外向內至於地字從內向外漸觀諸字周而復始至第三遍心善家定了分

明觀所詮字義不生不滅一平等皆遍法界非動非靜定慧雙運永離諸相即是

般若波羅蜜多三摩地觀

依文者可用大呪依口傳以小呪為字輪觀自心字向外自外至地字云

正念誦 口傳云用般若無盡藏言云如端

又說般若抄云

此呪般若波羅蜜之肝心也故為正念誦真言弘法大師說般若心經是大般若苦

薩三摩地法門即此意也依之六波羅蜜多經中以此言為般若若菩薩呪也

大師親對般若三藏所傳給之甚深之密義也或說用經陀羅尼云

散念誦 佛眼 大日 般若無盡藏真言 不

動 大阿闍梨散念誦之後仁王經一部轉讀

之經之間不下禮盤脇機邊別立切燈臺

一時別一部云異本云轉經念誦之

讀四智 次不動讚 後夜誦偈

一護摩 壇墀息災爐但中

心十二輪輪書也

部主不動 諸尊段

口傳云以金剛護菩薩真言可用芥子呪

日羅羅乞叉憾

修習般若軌云又作是念我身與般若波

羅蜜菩薩無二無別即以金剛護菩薩真

言加持四處文

般若菩薩即金剛護菩薩也護即護國

土心也

口傳云疾疫祈行加持物呪用心經呪云

彼經殊除疾疫難最秘

表云弘仁九年春天下大疫爰帝皇自

染黃金筆端握紺紙於爪掌奉書寫心

經一卷○未吐結願詞蘇生族于途充

夜變而日光赫然是非愚身戒德金輪

御信力所為依仰引之

真本云有諸命句南談婆羅波帝云

或云云此呪出集經錄命句勝餘他一

般若抄云六波羅蜜經以此真言為般若菩薩呪

願吳云持此波羅蜜云云

本尊如持殊勝言也彼時用智摩印後印即金剛智

悲波羅蜜印也

一卷數

結願之前日放取校名始大阿闍梨白伴

僧一薦次第付經部數云御卷數同前同

書之書卷數付枝立大壇東案文一通置

左脇机御修法所奉供大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

十二天供一七箇度

聖天供二七箇度

諸神供三箇度

奉讀

仁王般若經七百五十部

奉念

佛眼真言五百返

大日真言二千五百返

仁王般若陀羅尼二萬五千返

不動明王真言二千五百返

降三世明王真言二千五百返

軍荼利明王真言二千五百返

大威德明王真言二千五百返

金剛樂又真言二千五百返

一字金輪真言二千五百返

右奉為

太上天皇玉體安穩增長寶壽恒受快樂

始自今月十七日迄于今日并一七箇夜

之間準二十口伴侶殊致精誠奉修如件

長承二年五月二十四日

阿闍梨法印大和尚位定海

一結願作法

仰云大阿闍梨淨衣平袈裟著用僧正香

染伴僧淨衣著五帖若有勸賞者著法服

平袈裟云

金剛持遍禮之後金二打出五悔次々作法如常

次後供養了阿伽後金一打七箇日夜之

行法結願當此時仍日來之間念誦數返

卷數勒次讀卷數次事由可隨心

大神分等次後鈴餘如常

結願日後夜日中有御加持但日中二十

人伴僧皆參發願後有五大願

一布施

大阿闍梨被物一重綾絹裹一五端

伴僧各一裹一端

乘海法印勤修布施如是

一本尊事

般若菩薩般若經彼同般若

般若抄云小野僧正圖給曼荼羅中尊青

黑色二臂右手持劍左手持十二幅輪此

圖殊有口傳

又云般若菩薩者是即金剛波羅蜜菩薩

也灌鈴云金剛波羅蜜即般若菩薩云

御口傳云金剛波羅蜜不動共為本尊

到岸菩薩者二身同體像教令輪自性

輪合形身也仍軌金剛波羅蜜云到岸

實勝云本尊不動但索手執輪般若空

寂之理摧破妄想戲論之界也故壇中

置十二幅輪

祕藏記云不動尊是廣舍那忿怒自性

輪般若菩薩文

軌云金剛波羅蜜多者此云到彼岸也

如彼經云轉法輪菩薩也○行願圓滿

住等覺位也手持金剛輪者是虛舍那

初成正覺轉法輪。以表示故。又以法輪化導有情。令無數天至彼岸故。

疏云。金剛波羅蜜多者。轉法輪菩薩也。相應經。初品西方四菩薩。第三菩薩即轉法輪菩薩云。

意轉法輪菩薩。即因菩薩也。是彌勒也。此宗意轉法輪菩薩。即金剛薩埵也。薩埵即般若菩薩也。

聖賢云。四波羅蜜菩薩。是般若菩薩。一分三摩地也。大日如來四種妻女也。

賢覺抄云。般若菩薩者。何菩薩耶。或云。一切菩薩。自初心學般若。念、增進至十地位。不離般若也。雖然般若。不窮極者。不名般若菩薩。至十地行滿時。般若窮極時。名般若菩薩也。即等覺位也。仍至佛果。可名般若歟。

龍樹釋論云。在聲聞心名道品。在菩提心名般若。在佛果名薩般若。此以文意可案也。

或傳云。以經為本尊。般若臺上安經也。古譯云。是般若波羅蜜。是諸佛菩薩一切衆生心識之神本也。一切國王之父母也。亦名神符。亦名辟鬼珠。亦名如意珠。亦名護國珠。亦名天地鏡云。

又云。作七寶案。以經卷置上。若王行時。常於其前足一百步云。

新翻下云。燒燈散花。廣大供養。寶雨盛經。置於寶案。若欲行時。常導其前所住處。作七寶帳。衆寶為座云。

占譯下云。是經常放千光明。令千里內七難不起。日月失度為一難。二十八宿失度為二難。大火燒國為三難。大水漂沒百姓為四難。大風吹殺為五難。大地國土亢陽為六難。四方賊來侵國為七難。新譯同之。

或人云。仁王般若。若可同寶。般若智慧也。御筆般若。若菩薩。即左手持寶。右手外向下端有。

新譯經云。能應輪王名如意珠。能令難陀跋難陀等云。

占譯云。亦名如意珠。亦名護國珠云。

新譯云。初年月八日。入大寂靜妙三摩地。

占譯云。金剛智。釋迦牟尼佛。初年月八日。方坐十地。入大寂室三昧云。即彼此經同歟。

般若功能 (卷廿八五)

觀佛三昧經一云。是時等釋坐善法堂。燒衆名香。發大誓願。般若波羅蜜是大明呪。是無上呪。是無等、呪。審實不虛。我持此法。當成佛道。令阿修羅自然退散。作是語時。於虛空中有四方刀輪。帝釋功德故。自然而下。阿修羅上。時阿修羅耳鼻手足。一時盡落。令入大海。水亦如降汁。阿修羅即驚怖遁走無處。入藕絲孔云。

嘉祿二年 丙戌 六月十三日書之

文永四年 丁卯 四月十七日於光明峯寺東谷邊書寫了 主

求法沙門教朝 文永五年三月日於隨心院誦弘誓院預賢譽人調卷了 權律師嚴寂

本書

仁王經二卷 新譯 不空

仁王經二卷 舊譯 羅什

仁王念誦儀軌一卷 有序

又一卷 無序 題云 仁王經 念誦法 已上 不空

仁王般若念誦法經一卷 不空

又一卷 智持經 字無之

仁王護國般若波羅蜜經陀羅尼念誦儀軌一卷 不空

修習般若波羅蜜菩薩觀行念誦儀軌一卷 不空 大慈智

卷 不空 大慈智 念誦字

仁王般若陀羅尼釋一卷 不空 大慈智

仁王經疏三卷 疏多之 良賈諸家

裏書云

仁王念誦儀軌一卷 內題云 仁王護國般若波羅蜜經陀羅尼念誦儀軌

李沙門惠遠序

仁王般若經疏四卷 傳教

同經疏三卷 天台

仁王護國般若經二卷 道液述

仁王般若經料文一卷 慈覺智

仁王經新翻開發一卷 良賈

仁王三部慈覺請來

仁王般若經疏二卷 液公

仁王般若經疏搜玄記二卷 起利

仁王般若經疏要記一卷 頭邊破異 部文據

仁王般若經疏要記二卷經記上

仁王般若經疏一部二卷經記上

奉爲

卷二七〇

伴僧請書

喇請凡僧六請定十可書

權大僧都一一

右始自來某日於某殿被行仁王經

御修法伴僧屈請如件

月日

請文

自來某日仁王經法伴僧可令參勤

之由謹所請如件

月日

卷二七一

東寺講堂不灌

多聞

牙

金剛波羅蜜即般自性輪

利法

寶

不空

阿闍

彌陀

寶生

金

不動

大

軍

增長

廣目

梵天

覺禪抄卷第二十六(仁王經上)

同繪曼荼羅八鋪之內
五鋪御筆樣 一鋪醍醐寺
一鋪勸修寺 一鋪上醍醐

卷二七二

私問大師五方曼荼羅何不五佛坐
乎答軌并經不說五佛又法三記意
云大會不見大日云

問講堂并智證請來曼荼羅何五佛

御乎答圖センニ何有之曼荼羅句

義有之文

問何五方圖之給哉答五種法殊可

修故也

問一曼荼羅何各圖二種尊乎答五

種又具五種法護摩料見或又理智

冥會爲守護也

卷二七三

牟利曼荼羅經云第九阿摩賴識法
界體性智毘盧舍那普賢不動第八
阿賴耶識大圓鏡智阿闍文殊降三

世第七末那平等性智寶生虛空藏

軍荼利第六意識妙觀察智阿彌陀

觀世音大威德前五識轉成所作

智釋迦不空成就金剛業金剛樂又

歟

五佛自性五菩薩正法五大明王教令

軌不說五佛

祕藏記自性輪菩薩見如何

卷二七四

五頂輪王經云盡摩竭界菩薩湊紫

青色○於蓮華身儀寂靜住般若波
羅蜜自性右手持梵篋左手持眞多
摩尼作施願勢是一切佛菩薩之母
大聖般若波羅蜜多住摩竭界則
此尊是金剛族母相似童女形不令
高顏極令悅意相云

般若菩薩持寶珠證歟

○

勸修寺法務抄云五大尊像圖加新
古兩經五大力覺猷僧正模正本南
方紛失又在仁和寺云惠什申狀

也

或云曼荼羅之五方次第新經列東

南西北中古經列中南東北西

○

或記云降三世伏天魔軍荼利毘那

夜迦集經見

伏鬼魔不動以前四明王力爲一身

云

仁王經意四方尊各放一光中央尊

放五色光云

卷二七五

私云大旨敷曼荼羅也但五大尊等

奉加普懸曼荼羅用歟

或人云此不可正法輪教令輪合

出云

卷二七六

金寶抄云八色幡二十四流義經傳

白色幡三流正東

紅色幡四流 東南
 黑色幡二流 正南
 烟色幡四流 南西
 赤色幡二流 正西
 水色幡四流 西北
 黃色幡二流 正北
 肉色幡四流 東北



金寶抄云、師主云、不可違本方賢覺、
 聖賢等說同之
 俊寬云、圓光院幡懸樣同之云、
 決疑抄云、白水同色也、但白常色、水
 白色、上ヤウシテキラメキタルヲ
 不相違不勘心、水青色用也
 信譽云、春色云、

般若抄云、於幡色新經中雖略不出
 之、付舊說用之、是為師說祕傳、仍用
 九色幡二十四流也、深祕說也
 九色幡用有二傳、此圖以醍醐本
 法務道場觀九色
 幡十六口云、
 用九色幡二十四流有二圖、醍醐圖後

凡如此圖多也、近來不用之云、
 同圖中五方五色懸幡、攝真實經說
 歟



吳本云
 師主云、實海天蓋張青色絹、四隅各
 懸二流幡、勝覺僧正慧星御祈度如
 經文、雖不違本方、保安年中懸之、其
 後定海僧正、玄海僧都、乘海法印各
 四隅說用之、本樣有三寶院經藏、
 壽永年中、於三寶院賜自筆御口傳
 圖之、東南角、白紅南、西角、黑烟、西北
 角、赤水、北東角、黃肉、保延記同之

圖參 二五
 圖參 二六

乘海法印記云

此張文、嘉應二年二月二十一日、於
 閑院內裏、當今法住寺院、御祈乘
 海法印被修時、交名也、初二七日、於
 內裏行之、次一七箇日、於本寺被勤
 行、依神事也、御衣相具入寺云、

結願被御衣迎御使藏人一人、瀧口
 一人云、實運動修時、御衣役主
 壇數、淨衣、供米等、院御沙汰、饗膳諸
 國役、但次七日、饗止畢、云、私沙汰

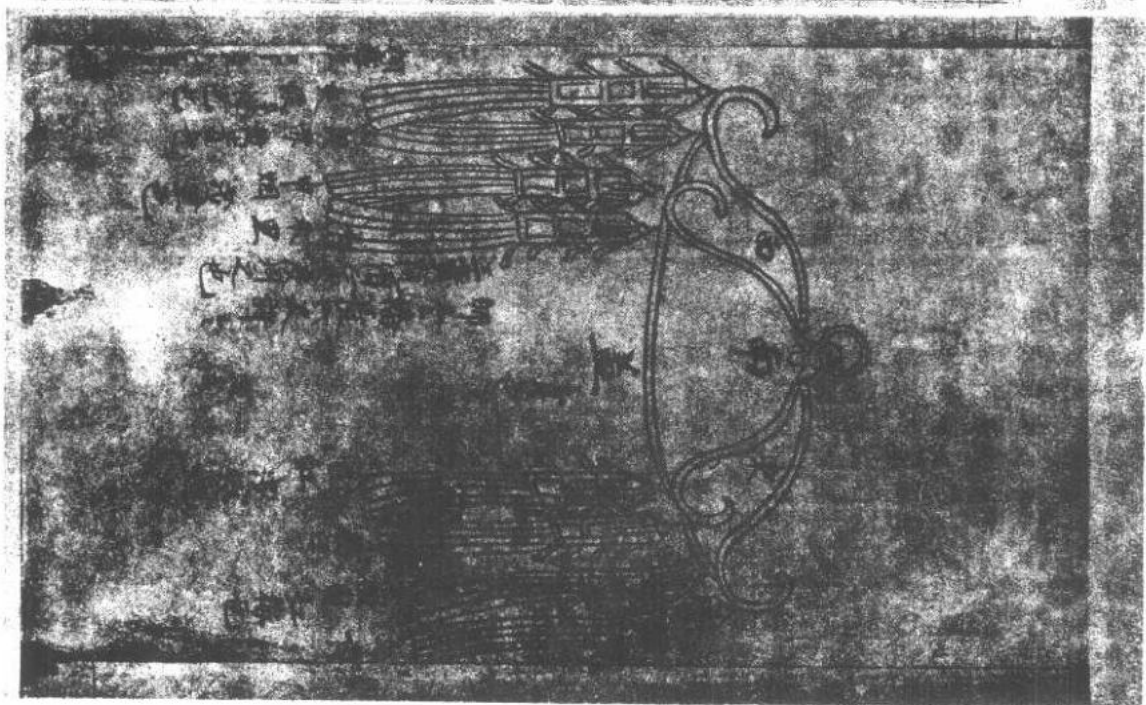
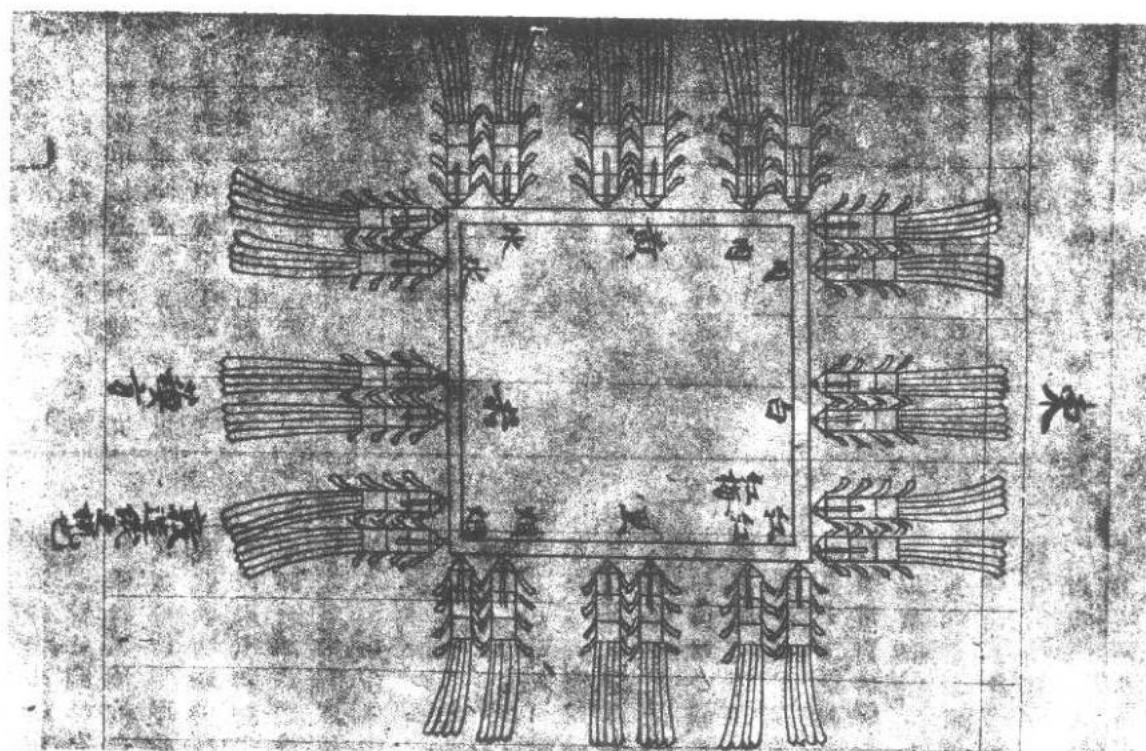
實海、三七日、百八十六部
 一海、八十一部

伴僧二十口、三寶院僧正初被用之
 法務道場觀十八人云、

念誦軌云、供養時花云、
 同軌云、每月十四日十五日、於此兩
 日、粥飯菓子等如上供養文
 略頌云、輪瓶饒舍香

梵饒
 師主云、此法雖說數曼茶羅、不用之
 大壇中心、安仁王經入符、般若僧正
 御自筆也、即敷曼茶羅義歟
 文殊師利法云、我今又說羯磨曼茶
 羅、壇中安般若波羅蜜經、日、讀
 誦、以種々供養而供養之、不久當成
 就云、

仁王經國王安置文有之
 般若經所在、小鬼不留事
 疏第三云、如西方八塔及三乘聖衆
 遺迹甚多、皆是大威德諸天、常所護



參考圖像 No. 25. 天蓋圖(釋迦文院本) 參考圖像 No. 26. 懸幡圖(釋迦文院本)



或三大師
繪給理
并通

指初則誦本尊真言七返真言曰
嚩嚩婆誦縛帝一鉢囉合 祇囉合 囉
引囉若 曳引囉 三 仡利地入室哩

四 祇囉合 底尾若曳五婆縛合 賀引
已上經軌文爲分明覺書之集經

印即仁王軌印也集經呪修習軌
言雖頗同軌云言可用也今流之

肝要也
私問軌說根本印名無盡藏印證有

乎答集經見
問然集經呪同可用何用修習般若

言乎彼言有無盡藏名乎答不灌鈴
無盡藏印言惠刀印云彼文案般若

若菩薩根本印彼軌惠刀印修習般若
若真言載之彼言即集經呪同了一

兩字違計也然法三說歟
問然刀印可用何本軌印用乎答無

盡藏印有二軌說殊勝也呪又有二
修習軌說爲本委細可開口傳也

無盡藏印言思之用心可
亮惠云合四指令成就四種般若若是

先壇上經印也
聖賢云有四種功能

一名無盡藏寶波羅蜜增進門也軍荼利
一名般若根本金剛波羅蜜息災一切

世三
一名般若眼法波羅蜜降門照見一切

一名金剛般若心禪波羅蜜破愛門
菩薩此四波羅蜜般若普薩一分
三摩地也大地如來四種婆女也

權僧正御房六條內裏面談令語給
事有之

仁和寺五經臺印合面後日權勘
云諸尊法抄云師云背合立甲合

非指面合也云
又云中名小六指立云

實勝六指立云
然甲合非也此事非用事也

或云和泉殿官五宮仁王經法令行
御修中信雄卿亂發壇所燒失

或云賢覺法眼習御云
高書二八四

五秘密軌云欲金剛者名爲般若波
羅蜜能通達一切佛法無滯無礙猶

如金剛能出生諸佛
般若菩薩像胎圖六臂

圖云肉色額上有眼左一手持梵
手仰掌安三手仰屈四指右一手屈

指屈四指二手施無畏三手指舒屈水
當梵掌上二手施無畏三手指舒屈水

著胃坐赤蓮花云
二臂像

軌云坐白蓮花身黃金色衆寶瓔珞
遍身莊嚴首戴寶冠左手當心持般

若梵篋右手常乳作說法印以大母
指押無名指頭云已上

傳受集第二御筆菩薩持寶珠二臂
尊也委細有圖可了處心覺開梨
說經臺印似燒香印二小指端開

六指背合二大押二頭云
又梵篋印有八萬法藏云

阿闍梨二品伴不動真言已上
寂圓傳云胎藏焚香印用之但小指

開或中指無名指各端開云
七禪師云小野說用說法印各外向

立大指以無名指甲押餘指舒散也
左仰舒心前置梵篋思文

亮惠云北方菩薩並般若菩薩也外
縛二頭指立合是甲冑印也三寶珠

祇印外縛二中寶形
於般若中有定慧事

文珠加男點加女點已上
道場觀聖賢

大日種子三形觀置次大日心上月
輪並蓮花觀之其上字云

勸請句兼意
三世佛母般若經

五菩薩等諸薩埵云
已上般若菩薩仁王經法修異說

也
高書二八五

東寺講堂五菩薩中方菩薩事
或人語云於釋王寺勝定房闍梨正

覺房上人人在諍論闍梨云金剛波
羅蜜菩薩也

上人難云爾者可持輪也
闍梨會云修理之時如元不令持之
是長者越度也

覺禪鈔 仁王經下

國王隨身 爲王父母 護國土

亂國讀誦 千里內除七難

得行人菩提 八部轉鬼身生天

諸佛菩薩 依般若得菩薩

讀誦功德 斑足王因緣

伏修羅軍

勤行門 請書 請文

修四種法 伴僧張文 曼荼羅

支度 三形 道場觀

種子 正念誦 散念誦

字輪觀 發願句 禮佛

勸請句 轉經 護摩

讚 注進 結願作法

卷數 以不動爲本尊 以大日爲本尊

寶生爲本尊 曼荼羅異說

仁王經法 爲公衆品與修之

國王隨身事

仁王經下云 古譯 作七寶案以經卷置上

君王行時常於其前足一百步云

新翻經云 燒燈散花廣大供養寶函盛經

置於寶案若欲行時常導其前所住處作

七寶帳衆寶爲座云

爲王父母事 經下云 古是般若波羅蜜是諸佛菩薩一

大日經金剛薩埵印轉法輪菩薩印者故知大日即金剛薩埵即法

輪菩薩即不動云

傳受集三云東寺講堂五菩薩中方

金剛手前方金剛薩埵餘方思之是

覺後闍梨傳云

已上七箇文等爲助成上人說私

勘載之但彼所被存道理證據委

不知及也

大師御筆五方菩薩忿怒木像可尋

見之是闍梨證據也

又後僧正無障金剛次第并法三宮

記等之

或云菩薩學般若佛果般若云

上人云中方菩薩前方但是金剛薩埵也云闍梨難云一曼荼羅一菩薩居兩所如何況彼中方菩薩印相古本金剛薩埵形像中全不見云何上人會云中方大日所現前方阿閼所現也印相可見金界羯磨會云中論義自傳法院金剛薩埵印相問答重也闍梨所存是宗大事也上人會釋亦是甚深難載紙筆理趣釋云曼荼羅中央畫觀自在菩薩前金剛法右利左因後語文又云又中央畫虛空藏菩薩前寶右光左輻後笑文又云又中央畫一切如來拳菩薩前業右護左藥叉後拳文七卷理趣經一云安外又內置八輻輪分別八尊位中位金剛手○先於中尊前安金剛薩埵於右邊安置枳里羅尊於後安念金剛大尊於左邊安置金剛拳大尊四隅安四尊執持花標幟蓮鉢與佛頂文六波羅蜜經四波羅蜜之中金剛波羅蜜名金剛薩埵云法華軌云次結金剛薩埵轉法輪印○昨字爲轉法輪大菩薩文成就院云金剛頂瑜伽經毘盧舍那如來現種種身一正法輪義現轉法輪菩薩身二教令輪身現不動明王身

切衆生心識之神本也。一切國王之父母也。亦名神符。亦名辟鬼珠。亦名如意珠。亦名護國珠。亦名天地鏡云。

護國土事

經上云。古是經復有無量功德。名為護國土功德。亦名一切國王法藥。服行無不大用。護令宅功德。亦護一切衆生身。即此般若波羅蜜。是護國土。如城塹墻壁刀劍鉞楯文。

亂國講讀事

經下云。古當國土欲亂。破壞劫燒。賊來破國。時當請百佛像。百菩薩像。百羅漢像。百比丘衆。曰。大衆七衆共聽。是經。請百法師。講般若波羅蜜。百師子吼高座。前燃百燈。燒百和香。百種色花。以用供養三寶。三衣什物。供養法師。小飯中食。亦復以時。大王一日二時。講讀此經。汝國土中有百部鬼神。是一、部復有百部。樂聞是經。此諸鬼神護汝國土文。

千里內除七難事

(裏書二八六)

經下云。古是經常放千光明。令千里內七難不起云。

得行人菩提事

經下云。新若有此誦持陀羅尼者。我及十方諸佛。悉常加護。諸鬼神敬之如佛。不久當得阿耨多羅三藐三菩提云。

八部轉鬼身生天事

教化品云。八部阿須輪王現轉鬼身天上受道文。

諸佛菩薩依般若得菩提事
父云。若一切諸佛及菩薩。無由此門得薩般若者。無有是處。何以故。一切諸佛及菩薩無異路故云。

讀誦功德事

(裏書二八七)

二諦品云。汝等大衆受持讀誦解說。是經功德。有無量不可說。於此經中起一念信。是諸衆生起百劫千劫十地等功德。何況受持讀誦解說者。功德即十方諸佛等無有異。當知是人即是如來得佛不久文。

斑足王因緣事

(裏書二八八)

經下云。斑足太子。爲外道羅陀師受教。應取千王頭以祭塚神。自登其位。已得九百九十九王。少一王。即北行萬里。即得一王。名曰普明王。白斑足王言。願聽一日。飯食沙門頂禮三寶。其斑足王許之一日。時普明王即依過去七佛法。請百法師。數百高座。一日二時。講說般若波羅蜜。八千億偈。竟受其第一法師爲普明王而說偈言。○時普明王即以上偈答王。聞是法得空三昧。九百九十九王。亦聞法。已皆證三空門定。時斑足王極大歡喜。告諸王言。我爲外道邪師所誤。非君等過。汝可還本國各請法師。講說般若。○名味句。時斑足王以國付弟。出家爲道。證無生法忍文。

伏修羅軍事

觀佛三昧經一云。是時帝釋坐善法堂。燒衆名香。發大誓願。般若波羅蜜是大明呪。

是無上呪。無等、呪。審實不虛。我持此法。當成佛道。令阿修羅自然退散。作是語時。於虛空中有四萬刀輪。帝釋功德故。自然而下。阿修羅上。時阿修羅耳鼻手足一時盡落。令大海水赤如降汁。時阿修羅即便驚怖。遁走無處。入藕絲孔文。

一勤行門

修四種法事

軌云。從爲國爲家至最爲上勝也。如文。

私云。軌雖說四種法。息災文殊多。小野先德圖增益。不可不給。雖然師資皆行息災。能修之法者。息災也。所修之本尊增益也。即扇底迦之中輔瑟底迦也。委可開口傳。

諸書

被綸旨。傳自季夏之比。玉體不豫。三千之術。百一之方。如無効驗。從來十一日。舉二十口之伴僧。可令修仁王經法。給也。夫仁王經者。依十六國王之請問。說攘災與樂之方法。除病延命之祕術。天上莫著之藥。恥德殊抽信力。令勤行者。感應何空者。依天氣執達如件。

右中辨 某

請文

(裏書二八九)

謹請 宣旨一紙

石護國妙文。金言未改。勤行僧侶。智行共
 闕。今以不肖之陋。質奉嚴重之大法。付冥
 付顯。有恐有恥。但 聖王之觀念至潔者。
 經王之功力何空。慙依 勅命難遁。捧領
 狀言上如件
 月 日

支度

注進 仁王經御修法一七箇日支度事
 合

一大壇所

蘇 蜜 名香 沈

五寶 金。銀。水精。琥珀。真珠

五香 沈。白檀。薰陸。安息。甘松

五藥 荳蔻。桂心。遠志。白朮。甘草

五穀 稻穀。胡麻。大麥。小麥。萊豆

壇一面 脇机二前 燈臺四本

禮盤一脚 在半疊 壇敷布一端

大幕一帖 經机二十前

切燈臺十一本 不斷經料

壇供米八斛 御明油一斗七升五合 七升御明等料一斗五合不斷經并房油

阿闍梨 伴僧二十口 承仕三人

駝仕六人 見丁二人 淨衣 白色

一護摩壇

壇一面 加爐桶 一脇机二前

燈臺四本 禮盤一脚 在半疊

壇敷布一端

壇供米八石
 御明油七升
 一。聖天壇
 壇一面 脇机一前 燈臺二本
 半疊一枚 壇敷布一端
 壇供米三石五斗
 御明油七升
 一。十二天壇
 壇一面 三尺二寸 脇机一前
 燈臺二本 半疊一枚
 壇敷布一端
 蠟燭布一端
 壇供米三石五斗
 御明油三升五合
 敷設供所雜具等如常
 右注進如件
 天養二年五月 日
 行事大師法嚴信
 阿闍梨權大僧都法眼和尚位寬信

伴僧張文

永久二年院御祈被用十二口

上番

明海已講 護摩

長朝阿々々 聖天供

念範阿々々 言海阿々々 十二天供

隆賢阿々々 尊雅阿々々 神供

祐源阿々々 寬治阿々々

下番

增仁 發願通向 快勝
 行俊 尊海
 源運 寬緣
 賢嚴 祐海
 信助 智海
 天養二年五月二十一日 天晴 法務寬一
 奉爲國王。於禁中昭陽舍內裏。被修仁王
 經御修法。大法師嚴信相具承仕等。參禁
 中請取壇具等。指定宿所等。申尅大阿闍
 梨引學伴僧出洛。以昭陽舍東端爲大阿
 闍梨宿所。以近邊局町定伴僧宿所
 (裏書二九〇)

曼茶羅事

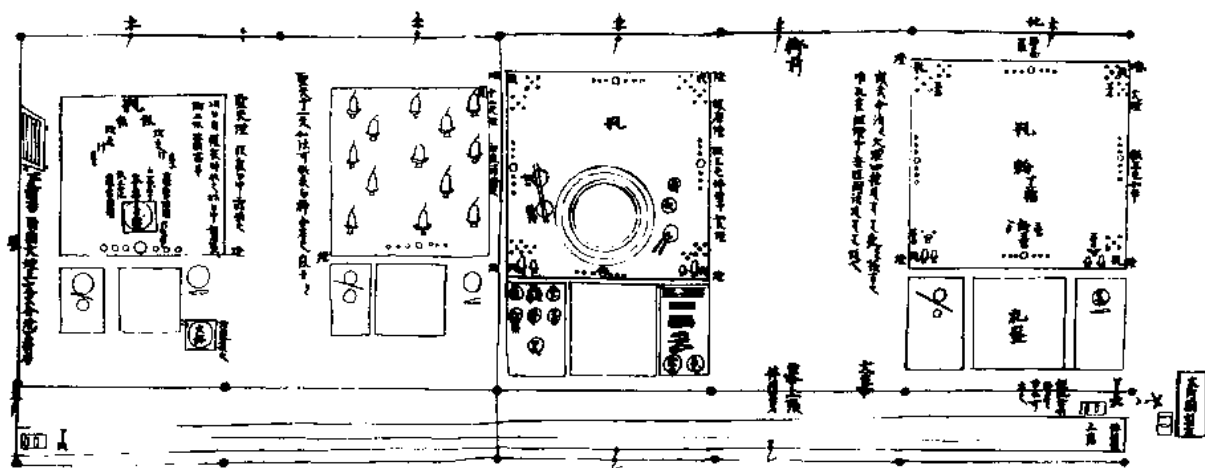
般若抄云。祖師曼茶羅寺大綱申請佛
 師如照令圖繪給本也
 私云。增益令圖之給。叶仍載軌文 可準知孔
 軌意
 軌云。從於壇中心。至皆有光焰 如文
 增益 不可也

圖像 八六

廣澤不動次第云。金剛薩埵爲聖不動
 身入衆生界中。斷其結使轉此法輪文
 或人不動持輪證文云。(裏書二九二)
 大壇懸曼茶羅。不用敷マタラ。開白并日
 中佛供等如圖。護摩壇同之。後夜粥八杯。
 初夜無供物
 聖天十二天壇供如圖
 (裏書二九二)

塗	伊奈那	釣	持回	香
多因	瓶	降三	瓶	火天
鈴	金剛	三古	三古	索
風天	瓶	鐵太	瓶	增長
煙	唐	鉢	水天	花

大自覺定海懷正
息災丁々々座居
不吳
第二重四方地色等
赤色
伴息災丁々々持回
增長座居心不畫



開白亥時承仕打金二十人伴僧著淨衣
五疊皆參於大壇方上薦次著坐各懷
中持經次大阿闍梨著淨衣平袈裟持五
古同之香呂宮并居皆具之計用云開白次
阿闍梨打金下番轉經退下之後率上番
十人參後加持云
已上開白作法行法間一時許云
次寅時始後夜時承仕打金催上番皆參
之後阿闍梨著禮盤
金剛持遍禮之後打金一度
次下番迴向但諸僧次第不取云
其詞云
迴向護持國主 玉體安穩
增長寶壽 恒受快樂 無邊御願
決定圓滿 決定成就 迴向宮內
迴向諸人 迴向天下 迴向大菩提
迴向了 下番退出
次大阿闍梨打金二神分五悔發願等如常
轉經等之作法如先 (裏書二九三)
後供養禮佛之後金一打後夜偈誦之金一打
次迴向等 如常
迴向方便之後大阿闍梨金一打
催下番發願五大願如先打金一退下
次後夜御加持但無發願
次日中時午時始之作法如開白但無後加持後之
一大壇行法付金剛界
師口云向禮盤殊至深心行禮拜三度云
儀軌云入道場五體投地禮三寶文
三衣皆每時隨身後加持同之或轉白開白至結願處

阿闍梨暫著幕外座即登禮盤作法如常
三力偈畢打金
次上下番同音經讀但不教下番少許讀退
出
次正念誦之程護摩壇師行之護摩末神
供行之初後三度也
十二天壇初夜一時聖天壇後夜日中二時供之諸段
師行法畢各著伴僧座
次大阿闍梨行法中間幕外座下暫念誦
云其後轉經畢
次承仕打金催下番參上時阿闍梨
著禮盤打一字金修後供養
次開後鈴上番止轉經
次阿闍梨出讚餘如常
迴向方便出上番上誦
次後供養了打金下番上薦發願五大願
音聲如時發願
助音取次第
其詞云
至心發願 轉讀般若 功德威力
天衆地類 倍增法樂 護持國主
玉體安穩 增長寶壽 恒受快樂
無邊御願 決定圓滿 決定成就
宮內安穩 諸人快樂 及以法界
平等利益
衆生無邊誓願度 福智無邊誓願集
法門無邊誓願學 如來無邊誓願仕
無上菩提誓願證 護持國主成御願云
表白詞法務筆誦白用之如別卷

種子口云：此非善不動之種子，即一字呪也。（裏書二九四）

立印軌云：打賊用根本印誦吽字真言云。

又法於忿怒誦吽字真言，能生雲雨，底里三摩耶經云：行者嗔怒結心印，稱吽字，一切惡靈退散云。

三形 十二輻輪 咸云：退十二月不祥云。

東 五古 降三世 金三月右持一古左付腰。

南 寶 軍荼利寶 右持三辨寶左付腰。

西 劍或鉤大威德利 六頭也，右持劍左付腰。

北 牙 金剛夜叉 右五古左鈴口云：護菩薩同。

不灌鈴云：**吽吽吽**輪上劍，不五古上劍降三古上劍，獨古上劍，大羯磨上劍，金總印，外五古云。（裏書二九五）

印 不動，獨古印

眞言 慈救呪

次經臺印 軌云：般若波羅蜜根本印云：慈覺軌同之經臺印云：事集經說也，委有別卷。

仁王經念誦法云：大師以兩手背相附收二指頭二小指，屈於掌中，以大母指各押二頭指置於心上，誦經中陀羅尼七返云。

傳受集第四云：師傳云：兩手背相附收二頭二小指於掌中，以大母指各押二

頭二小指，直立餘四指，想置焚篋云。但軌文相違，仍申案內，即被答云：如此相違，餘法皆同，究竟事者，只依師說者。

私云：此說僻事也。

出慈覺軌云：已上傳集說

仁王般若念誦云：慈覺以二手背相附收二頭指，以二小指屈於掌中，以大母指各押二頭指，置於心上，誦經中陀羅尼七返云。

陀羅尼 口傳云：本尊加持一返用之，最念誦之時，七返可誦也。

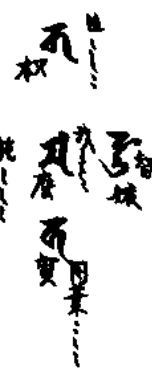
道場觀 舊次第有之。

觀想：前地結上，金剛塔內有寶樓閣，無量莊嚴，周匝懸列，內有大曼荼羅，々々，內有三重界道，々々，之外於壇四角有四賢瓶，四門各有四寶香爐，無量供具，周匝陳列，內院中心有蓮花臺，々々，上有字，々々，變成十二輻金輪，變成金剛波羅蜜多菩薩，放隨方光，普照曼荼羅，四大菩薩，八供四攝，隨方顯現云。

字輪觀 實任云：用不動字輪觀。云：仍以石山本書之。（裏書二九六）



或云：金界五大觀用之。傳受集第二有字輪觀可見之。



正念誦 用慈救呪，或用大陀羅尼云。

仁王念誦法云：住佛母三昧觀心，莫間斷，誦一百八返，或二十一返，誦真言云。

散念誦

佛眼 大日 大陀羅尼七返 別書左脇機置之。

般若菩薩 五大尊 護摩 一字

祖師云：阿闍梨正念誦等，并護摩了後，修字輪觀，下座讀經云。

勸請句

仁王般若深妙典 五大明王諸忿怒

聖朝安穩增寶壽 天長地久成御願

天養記云：初夜日中用勸請，後夜用發願也。

發願句

本尊聖者 大聖不動 仁王般若

甚深妙典

御加持發願，此定可用

禮佛句

阿利也阿沙羅義拏尾爾也羅惹 三返

阿沙婆尼

阿軍荼利

阿藥叉

讚 四智 次不動實任云讀伴僧出之云々

轉經事 大阿闍梨開白讀上卷上番每時一部不動人一卷
數位以他人卷數令讀云々下番隨讀云々
後加持用慈救呪念誦定云々(裏書二九七)

護摩

火天段 如常

次部主段 降三世或云不動忿怒王用云々即不動
本尊 五尊所變也云々不動一佛也見底里經云々
諸尊 若種子加諸命云々持用善供養印言云々
世天段 如恒或云本尊不動
諸尊 五尊不動

口傳云以鈎召印言大壇尊等護摩壇
勸請云

又撥遣花大壇方投也
已上法務御傳也

卷數

仁王經御修法所

奉供

大壇供六十三箇度

護摩供六十三箇度

聖天供四十二箇度

十二天供二十一箇度

諸神供九箇度

奉讀

仁王般若經 部

奉念

佛眼眞言六千三百返

大日眞言六千三百返

仁王般若陀羅尼七百三十五返
般若菩薩々々六千三百返

不動明王々々三十一萬返

降三世々々六千三百返

軍荼利々々六千三百返

大威德々々六千三百返

金剛藥叉々々六千三百返

護摩々々六千三百返

一字金輪々々三十二萬返

右奉爲金輪聖王御息災安穩增長寶壽

天變怪異消除解脫御願圓滿始自五月

二十一日至于今日三七箇日夜之間率

二十口伴侶殊致精誠奉修如件

天養二年六月十一日

阿闍梨權大僧都法眼和尚位寬信

注進

伴僧交名事

權大僧都 某

權律師 々々

大法師 々々

右注進如件

年 月 日

伴僧交名立文卷數橫挿可進也後

七日御修法定書云々

所作人計數 或說如卷數々々下

付樣有之非也

結願作法 異本云 先結願之前日放取

校名云々

大阿闍梨著禮盤金剛持遍禮之後打金一
下番迴向了下番退出打金二度出五悔神
分等略之行法如常

次轉經之間以大壇承仕幕所押放取結
番相具硯筆始大阿闍梨次第令付部數
其後以尊海公令書御卷數二通一通付枝
邊案文一通

置左脇机

次後供養闍伽後打金二度或人讀卷數打金

次結願事由并神分等

次後鈴其後如常

次後鈴其後如常

臨行法末下番參上但無

五大引率二十人伴侶於清涼殿二間後

加持畢其後還壇所未尅御入寺

以不動爲本尊事 (裏書二九八)

今法者用本尊有異說醍醐勸修寺同小

野傳習各別範後僧正流以教令輪身不

動爲本尊也祖師法務口傳云本尊五大

尊以不動爲本尊但不持索持十二輪輪

教令輪故也四大明王如次可迴觀之或

說般若菩薩爲本尊是傳不可也彼菩薩

者是正法輪身正法輪不可爲此法之本

尊事歟

私云五尊者爲

又法務俊寬授云○軌依正法輪現勝妙

身依教令輪現威怒身云々

故教令輪身尤妙也般若菩薩頗不得心

云

儀軌云依前法輪現勝妙身行願圓滿住

等覺位手持金剛輪毘盧遮那初成正覺

諸轉法輪 難得益 又云依教令輪現作不動金剛摧伏一切
鬼魅惑亂諸障惱者令調伏故○與天帝

釋及將無量諸天而為眷屬與四俱胝菩薩往護其國云

菩提心義云 安然 仁王般若五方菩薩眷屬依金剛頂瑜伽即是五佛現二種身一

者正法輪身現五方菩薩身二者教令輪身現五大尊身往護其國云

或云不動祕義云不動自性輪般若菩薩也故火界呪以般若四十二字為義云

私云二身一之呪歟

立印軌云成就法○塗拭曼荼羅置大般若經以妙花香散上文

底里三昧耶經云壇上置大般若經文不動為般若經通用證據也

愚案云此法者鎮護國家第一祕法即顯經題名軌文正法輪身同往說護國土教令輪尤殊勝也

古譯經五大力即忿怒形也是即護國王護國土尊形也

又小野引了五尊非正菩薩像歟就中後七日修法之息災護摩本尊也此亦一證也彼法五尊同並供之若為鎮護國家歟可尋

以大日用本尊事 亮惠云息災大日為本尊

種子 惠刀

三形 惠刀

印 大惠刀印

真言 無盡藏呪 正念誦同用之

實任云智拳印言了了源太主云付大日習歟

無障金剛次第云○有字成千葉大白蓮花上字成五古金剛杵變成無障金剛身色如素月住智拳印戴五佛冠○眷屬諸方住云

本尊印 五倍塔印 口決

次般若無盡藏印言

次梵篋印

已上

愚案云不灌鈴意者以五佛不可為本尊歟

不灌鈴講堂圖了次文云大會不見以大日如來可奉為本尊亦祕隱甚深義趣且說淺略曼荼羅也

次根本印說文略之誦經中了了七返不動一古印 慈教明

次無盡藏印言本刀

已上

寶生尊為本尊事

仁王經法者以寶生尊為本尊

或云此事玄海大僧都獲麟之時以使被授寶海僧都云

或人云仁王般若法通寶珠法寶即智惠故也大師御筆般若菩薩左手持寶珠云

亮惠云增益行時可用寶生尊印略出經寶生尊印般若菩薩印用之也

亦金剛界智惠波羅蜜印寶生尊印也

經云能應輪王名如意珠能令難陀跋難陀等文

古經下云般若波羅蜜者○亦名如意珠經云 新初年月八日入大寂靜妙三摩地

經云 古 金剛智釋迦牟尼佛初年月八日方座十地入大寂室三昧文 此等文通

師傳云 醍醐 仁王經法為求菩提可為五佛本尊為調伏以明王為本尊若為增益

金剛波羅蜜印本尊也即般若菩薩也 等此

亮惠云般若臺之上安經王今法為本尊

或說以五大為本尊 仁和寺

俊寬云以金剛鉤菩薩為本尊是不動尊也云

又摧魔怨菩薩為本尊云

私云大師御筆五方了了察之本尊

異說可知右所載本尊等用否可隨人

且為斷迷執書許也悉可開口傳醍醐

秘傳有別卷

曼荼羅異說

真然御傳 出無障金剛次第

(裏書二九九)

不空金剛業藥又多

阿闍金剛手降三世國

大日金剛(不動梵)

寶生金剛寶甘露增

彌陀金剛法利六足廣



元杲僧圖上醍醐華僧房



肥後已講之持佛也。內山園梨圖傳云、

右引不異說略載之。所持本五尊下五
大尊例書。或五方引不之尊等。極少一
鋪圖之。師主僧正今案也。

或聖賢園梨私調伏等引不圖之。雖然
恐繁略之。別持之可見尋歟。

正法輪身教令輪身事

牟利曼荼羅經云。第九阿摩賴識。法界體
性智。毘盧遮那。普賢。不動。第八阿賴耶識。
大圓鏡智。阿闍。文殊。降三世。第七末那識。
平等性智。寶生。虛空藏。軍荼利。第六意識。
妙觀察智。阿彌陀。觀音。大威德。前五識。轉
成。所作智。釋迦。又不空成就。金剛業。金
剛藥叉云。取意。

金剛頂經云。毘盧遮那佛現二種身。若正
法輪身。現轉法輪菩薩。即金剛薩埵菩薩
也。若教令輪身。現不動身有所立。依身密
故現普賢身。依口密故現不動尊。依意密

故現毘盧遮那身文

仁王經儀軌云。正法輪普賢。教令輪降三
世文。餘方皆准之云。

疏云。五方五佛。各現二種身。○正法輪身
轉法輪菩薩。教令輪身不動云。餘方准
之。

秘藏記云。不動毘盧遮那。餘方准之。

私云。軌秘記文相違也。普通說五佛自
性輪。菩薩正法輪。明王為教令輪云。

法務御記。般若菩薩。即正法輪云。
亮惠云。五佛。自性輪。五菩薩。王法輪。五明王
教令輪。

為興隆多年之間。撰集之。建久五年四
月二十二日。於東山草菴。書之。了有後
見。恥不可披露。佛子覺禪年十二

國本襲一度。公家御沙汰
本寺襲一度。
初夜粥。後夜米。曾水。阿闍梨所役云。
寬喜三年五月一日。書寫了。

於此卷者。覺洞院法印。為御自筆者也。
尤可為尊重而已。弘宣

右一卷者。先師前大僧正。增孝真跡也。
承應元年十月三日。加修復畢。

沙門榮嚴

七難

經云。日月失度為一難。二十八宿失
度二難。大小燒國為三難。大水瀾沒
百姓為四難。大風吹飯為五難。天地
國土亢陽為六難。四方賊來侵國為
七難。新經同之。

仁王經云。古。八十年八百年八千年
迦葉。阿難。末田地。商那和須。已上四人
持法。伴四人。佛在世人也。仍八十
年間。佛法繁昌也。憂婆闍多佛滅度
後八百年生。龍樹提婆同之。八千年
至佛法陵遲
又云。諦聽。聞惠。善思念思。思惠。如法
修行。修惠也。

修惠也

七難

經云。日月失度為一難。二十八宿失
度二難。大小燒國為三難。大水瀾沒
百姓為四難。大風吹飯為五難。天地
國土亢陽為六難。四方賊來侵國為
七難。新經同之。

仁王經云。古。八十年八百年八千年
迦葉。阿難。末田地。商那和須。已上四人
持法。伴四人。佛在世人也。仍八十
年間。佛法繁昌也。憂婆闍多佛滅度
後八百年生。龍樹提婆同之。八千年
至佛法陵遲
又云。諦聽。聞惠。善思念思。思惠。如法
修行。修惠也。

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

修惠也

救雙紙云、長延、シヒノ、偈、伴僧、令讀云、

〔義書〕二九一

仁濟閣梨被示云、先師法務御房令修仁王經法給時、於讀經座被仰云、醍醐用八色幡、尤可然也、然而先師不被用之、已數度被修了、今更難用之、眞言仰師範傳故也、
私案之、小野僧正度、被修此法、而依略定不被用八色幡歟、付件略樣、故嚴覺僧都不用幡、令修給歟、依之自然我流似不用幡云、
愚案云、古大僧都御房範俊信覺兩僧正弟子也、仍今法外作法依仁和寺說歟、十卷抄云、遍照寺傳、不用蓋幡云、

〔義書〕二九二

或圖大壇右方小壇亦置之、可隨便宜也、支度承仕三人云、
小壇大壇承仕可勤仕之歟、
又金寶抄仁王經法、護摩段次十二天、次聖天、仁和醍醐孔雀法、護摩次聖天、次十二天云、相違可尋、
問、下番發願迴向如何、答、讀經作法也、
問、然者可有上番之、答、大阿闍梨行法有之故也、

〔義書〕二九四

小野十七秘法說

〔義書〕二九五

實任云、本尊不動、種、三十二幅輪也、印經臺印、言慈救呪、
小野越前閣梨傳也、
亮惠云、不動爲本尊時、輪上立劍云、又云、五古印、慈救呪、口云、二印隨一用之、二印云、一古印、五古印、一古印用時、不可用五古印、
顯杲云、五古總印也、散念誦時、尤可用云、
金寶抄云、本尊加持時、五大尊各別印結之、
〔義書〕二九六

〔義書〕二九六

儀軌云、諦觀圓明鏡智、縱廣一肘、漸遍法界布字行列右旋、次第觀、一、字光明徹照從外向內至於地字、從內向外漸觀諸字、周而復始、至第三返、心善寂定、了、分明觀所詮字義、不生不滅、一、平等皆遍法界、非動非靜、定惠雙運、永離諸相、卽是般若波羅蜜多三摩地觀、
私云、依文、以大呪可用之、雖然以小呪字輪觀用之、自地字向外自外至地字也云、
已上亮惠

〔義書〕二九七

二四字云、詳延般若菩薩眞言用之、

兼意同之

傳受集二云、義範僧都誦陀羅尼其中同集一云、定賢法務後加持不動呪常事也云、

〔義書〕二九八

傳受集四云、不動所、晨朝十一面、持國天、日中釋迦、增長天、日沒阿彌陀、廣目天、初夜觀音、多聞天、半夜地藏、梵天、後夜虛空藏、帝釋、六時利益佛菩薩天等、
私推說云、以不動爲本尊、中夜長時護國土義歟、故不動也、經王得益同意也、講堂六天可察之、

〔義書〕二九九

曼荼羅樣

喜、曼、軍、慢

傳受集第四云、山本不降、不、衆大曼荼羅云、心覺用之、
中院云、

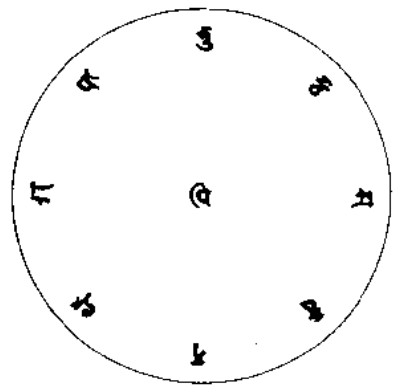
舞、其、歌

曼、其、茶、羅、云、

大、其、原、僧、都、五、大、力、爲、本、尊、是、常、事、也、云、

覺、其、禪、云、實、任、持、本、五、大、力、之、咒、不、圖、有、之、云、

繁、不、圖、也、



或人持此圖。即小野僧正御手跡也。覺禪推云。若此仁王經數。不可不意。歟。其故實任持本。似此圖有數。不可不。但五重界道有之。種子多。也。大略圖樣同。故載之。委可見彼本。有別也。

覺禪鈔 理趣經上

理趣經法 息災 或敬愛

本書

金剛頂瑜伽般若理趣經一卷 不空大師。貞安錄。般若理趣經一卷 不空大師。內題云。大樂金剛。不空真。實。三昧耶經。般若波羅蜜多理趣經一卷云。

理趣品別譯經傳

理趣般若決一卷 藏

理趣經述讚三卷 梵

理趣經幽贊一卷 梵釋。私云。

實相般若波羅蜜多經一卷 云。金剛智。貞元私。已上三卷在祕錄。

大曼荼羅十七尊釋一卷 不空大師。內云。般若波羅蜜多經。一十七尊。大曼。茶羅義。述。三帖錄。并。釋。林。我。內。題。慈。智。真。

祕錄他化自在天理趣會等軌文載之

梵字理趣道場十六菩薩三摩耶 三十帖。祕錄。云。仁。密。理趣經十八會曼荼羅十八。祕錄。云。二。之。錄。之。

漢土勤行

或書云。法界青龍寺惠果和尚請惠日寺。數口僧侶。五日之間。十五時修懺悔法。真。言教中大乘經轉讀之。并修祕法。祈滅罪。夢中不空三藏來云。真言中肝心。我殊以。此法為心。如是一兩度示之。

師云。口決云。表紙記是理趣三昧也。真。言教中大乘經者。是理趣經也。

祕法者。是此經法也。私云。法三御。諸經主事。

開題云。大師。金剛寶有能堅能摧不壞不。變之力。有難得難見忽貴之能。本有三密。亦復如是。○頂無上最勝之義。諸佛之中。大日為主。諸經之中。此經為主。於諸行斯。法無過上。於諸果此理更無比故。特得頂。號云。

理趣事

開題云。別。此理趣略有三種。謂心理趣。佛。理趣。衆生理趣也。云。

理趣釋云

又云。降三世伏大天。觀音不可。東門書。女形。皆理趣意也。

弟子加持事

或傳。三昧耶戒時。加持受者事。依。此說歟。

自在宮說事

遮那名報身事

行者同大日事

經文。自若能受持日。讀。誦。至。就。金剛位。讀。釋云。

得普賢位事

一聞得菩提事

三密初中後善事

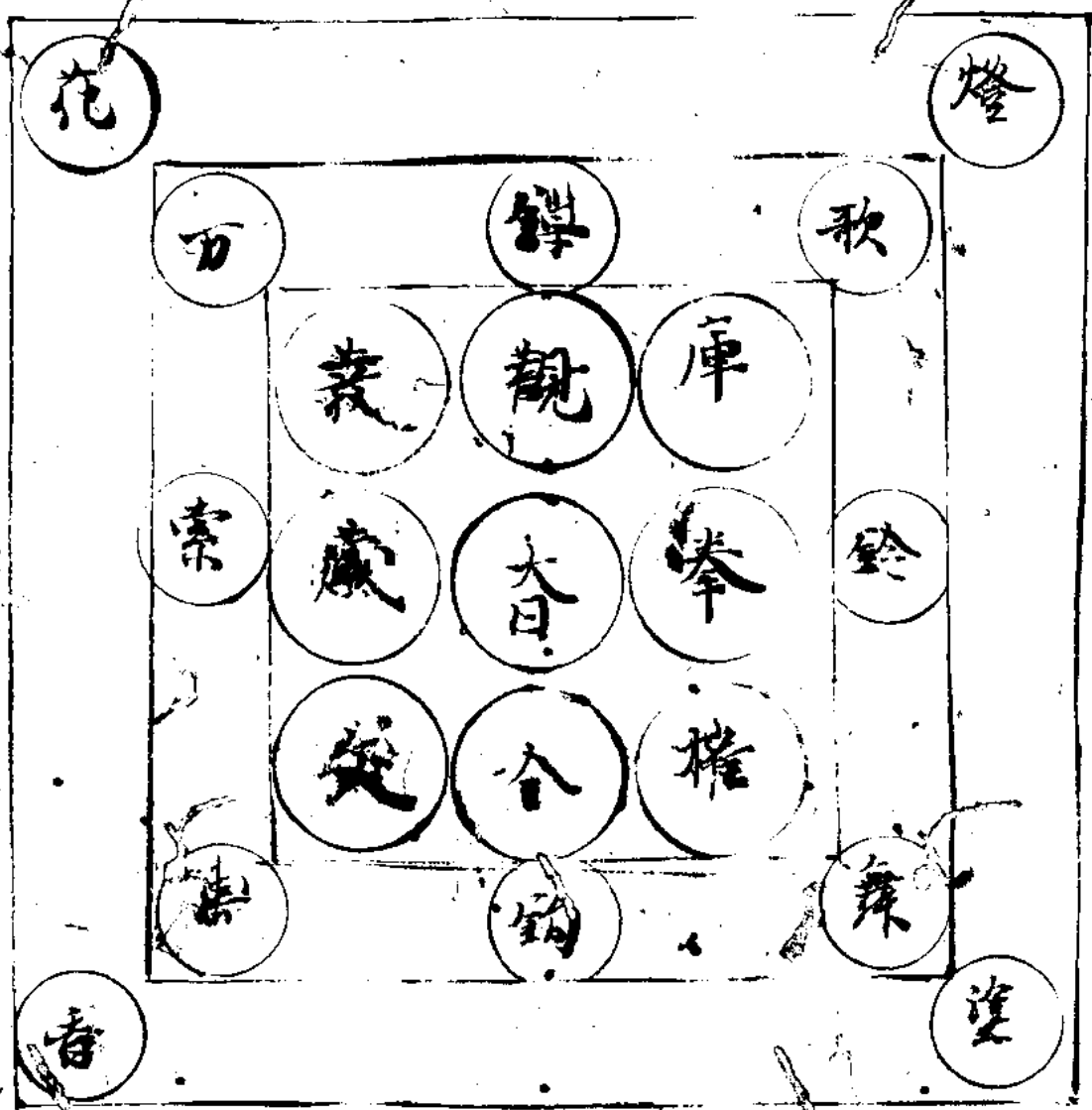
諸尊攝五佛事

一切曼攝四種曼事

經云。一切曼荼羅者。釋云。

一切智事

故誰真言曰



圖像 No. 87. 理趣經曼荼羅

Figure 88: A 4x4 grid of characters from the Sutra of the Eighteen Great Vows. The grid is organized by the four seasons (Four Symbols) and the four trigrams (Four Images).

春 (Spring)	兌 (Dui)	震 (Zhen)	巽 (Xun)
秋 (Autumn)	離 (Li)	坎 (Kan)	艮 (Gen)
夏 (Summer)	坤 (Kun)	乾 (Qian)	兌 (Dui)
冬 (Winter)	震 (Zhen)	巽 (Xun)	坎 (Kan)

Additional characters and symbols are present around the grid, including the Four Symbols (☰, ☷, ☵, ☴) and the Four Images (☰, ☷, ☵, ☴).

Figure 89: A 4x4 grid of characters from the Sutra of the Eighteen Great Vows. The grid is organized by the four seasons (Four Symbols) and the four trigrams (Four Images).

春 (Spring)	兌 (Dui)	震 (Zhen)	巽 (Xun)
秋 (Autumn)	離 (Li)	坎 (Kan)	艮 (Gen)
夏 (Summer)	坤 (Kun)	乾 (Qian)	兌 (Dui)
冬 (Winter)	震 (Zhen)	巽 (Xun)	坎 (Kan)

Additional characters and symbols are present around the grid, including the Four Symbols (☰, ☷, ☵, ☴) and the Four Images (☰, ☷, ☵, ☴).

圖像 No. 88. 理趣經十八合梵茶羅 圖像 No. 89. 理趣經曼茶羅

郝心云。一手作拳。左掌上置右掌。即頂散

第十一 段 經云。一切平等。釋云。普賢菩薩
異名也。又云。降三世教令輪品云云。
金剛手也。

金剛合掌 呼云。心云。印相如上。
第十二 段 經云。後說一切有情。釋云。普賢菩薩云云。外金剛會品云云。

五古印 恒順 二合 心云。普賢
第十三 段 經云。七母女天。釋云。七母女天集會品。
頭指來去

毘盧 二合 心云。合掌頭指來去也。又云。二手作拳。
招之。與師同之。或云。左掌置右掌。舒頭指。向身三度。稍
外轉。右風去來云云。

第十四 段 三兄弟品末度蓮羅天
金剛合掌 薩喇 二合 心云。同七母印

第十五 段 四姊妹女天
合掌 或金掌 心云。同七母印

已上印。以小野秘傳寫。注心覺開裂說也
第十六 段 經云。無量無邊。竟如來釋云。昆盧
大日。即云。可開口傳

小野書無印言 但圖所成身會。云云。或云。
金剛藥。又印。用之云云。心覺云。

第十七 段 經云。得一切。釋云。如來云云。釋
五種秘密三摩地也。五秘密金剛手

小野無印言。師云。大獨古印。委有始。
或云。後印。秘不載之。可習五秘密

實勝云。左拳置乳上。右仰置右乳上下。
或云。十七尊持物。其為三段云云。

或云。段。印。般若僧正傳。即大師御筆
之本云云。

或云。有台藏印集云云。

次八供養印言。用三昧耶會印言

次讚 金剛サタ 或善哉々々

亮惠讚有大樂軌

禮佛 三十七尊如常

義護 三十七尊如常

伊左哩 二合引縛日羅。欲金剛

皆離吉羅縛日羅 燭金剛

囉引識尾步底ハサラ 愛金剛

ハサラ 摩引攪 蜜金剛

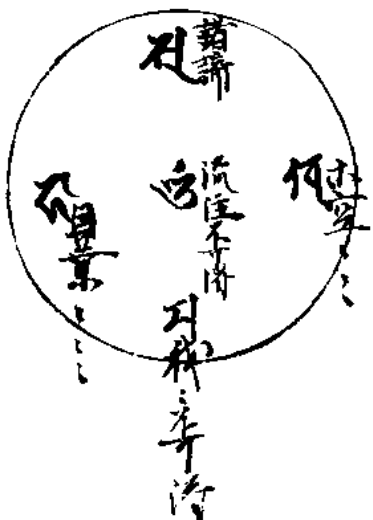
次佛母 或金剛波羅蜜云 (裏書三〇三)

次本尊加持 二印言如端

正念誦 用上羯磨印言

字輪觀 或云。到其與我

散念誦 次大日加持 次本尊加持



本軌云。復結本尊三摩耶大契。誦摩訶衍

百字真言。由是加持。無上菩提。尚不難得

何況諸餘成就。設犯五無間罪。續誦消滅

無餘。何以故。由本尊堅住己身故。真言曰

金剛部百字也。略之

又云。以縛印申忍願如針。心上掣開頂上

合掌。想聖主還本宮。私云。他化自在天也

觀名解脫印。真言

歸命唵ハサラ二合 薩埵穆云云

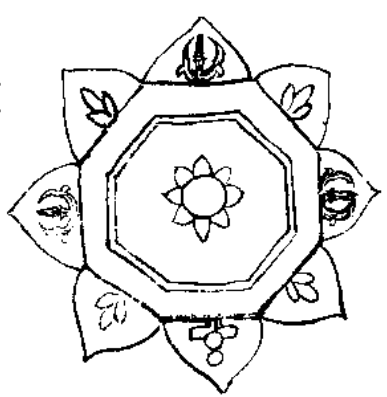
護摩

一。火天段 如常

二。部主段 愛樂王 或大日 亮惠般若菩薩 舉身觀

種子等 三形 箭 尊形 如常 自身加持印明。內五古印

言 吽 摘 枳 吽 箭 召請印 前印加勸請句四字明



藏印此經祕印云、

私云、塔印也。經臺印咒局

道場觀 初段大日咒觀也

五部具會云、彼口傳可見 已上

大日印事

二手金剛拳左置膝、右抽擲金剛杵

勢置心上、於五祕密軌金剛サタ大

智印云、

已上心覺說也、然聖賢云、大智印普

賢三昧耶印也、外縛立二中指云

私云、前正歎

印二手金剛縛禪入智虎口真言

即內五古 金剛手真言

即內五古 金剛手真言

出

出 梵本軌、金寶抄有之

三〇一

五相成身 妙觀智印

通達菩提心 軌云、前所說內心惡

言如常

修菩提心 真言如常

成金剛心 軌云、復於日輪中觀白

蓮、置本尊心、字素白光色、成本尊契

真言如常

證金剛身 次加持令堅固 真言

曰

唵 儺里 二 茶底 瑟陀 二 囉 日 羅 合 二

佛身圓滿真言曰

唵也他羯摩俱路合駄薩怛他德

次本尊加持 以三昧耶印四所加持云、

次五佛灌頂等云、

已上一樣、心覺說也

三〇二

軌云道場觀也

次於所居處復觀阿字門成妙高山

王、上有寶樓閣、於是宮殿內、復安本

尊身、眷屬皆圍遶、法界所有物、皆悉

滿其中云、

道場觀 又樣 心覺說也

壇上有我字、變成寶樓閣、中有

我字成蓮花、上有曼荼羅、

上有我字成蓮花、上有我字、變

成五古金剛杵、變成金剛薩

埵、身如水精月也、右手持五古金剛

杵、左手持鈴、欲金剛、計里計羅金剛、

愛金剛、慢金剛等十七尊、并無量眷

屬、前後圍遶云、

三〇三

口傳云、大欲大樂臺印無盡藏等印

可用之

覺禪鈔 理趣經下

理趣經法 付序品

勸請 剛金

發願 五相成身觀 剛金

道場觀

觀想、於壇上有我字成雲地、上有

字成大妙金剛、五寶所成金剛峯寶樓閣、

其曼荼羅四方八柱列八位四門、珠璣環

珞、半滿月等、而為莊嚴、中位有我字、成淨

月輪、中有蓮花、臺上有我字、

成三昧耶形、口決、成毘盧遮那

如來、身金色、住定印、戴五智冠、前月輪在

金剛手菩薩、後月輪在觀自在菩薩、右月

輪居虛空藏菩薩、左月輪在金剛拳菩薩、

東南月輪居文殊師利菩薩、西南月輪居

纒發心轉法輪菩薩、西北月輪居虛空庫

菩薩、東北月輪住摧一切魔菩薩、大院內

四供四攝、大院四隅外四供、東方魔醯首

羅天、南方七母女天、西方三兄弟天、北方

四姊妹天等、無量眷屬、前後左右圍繞

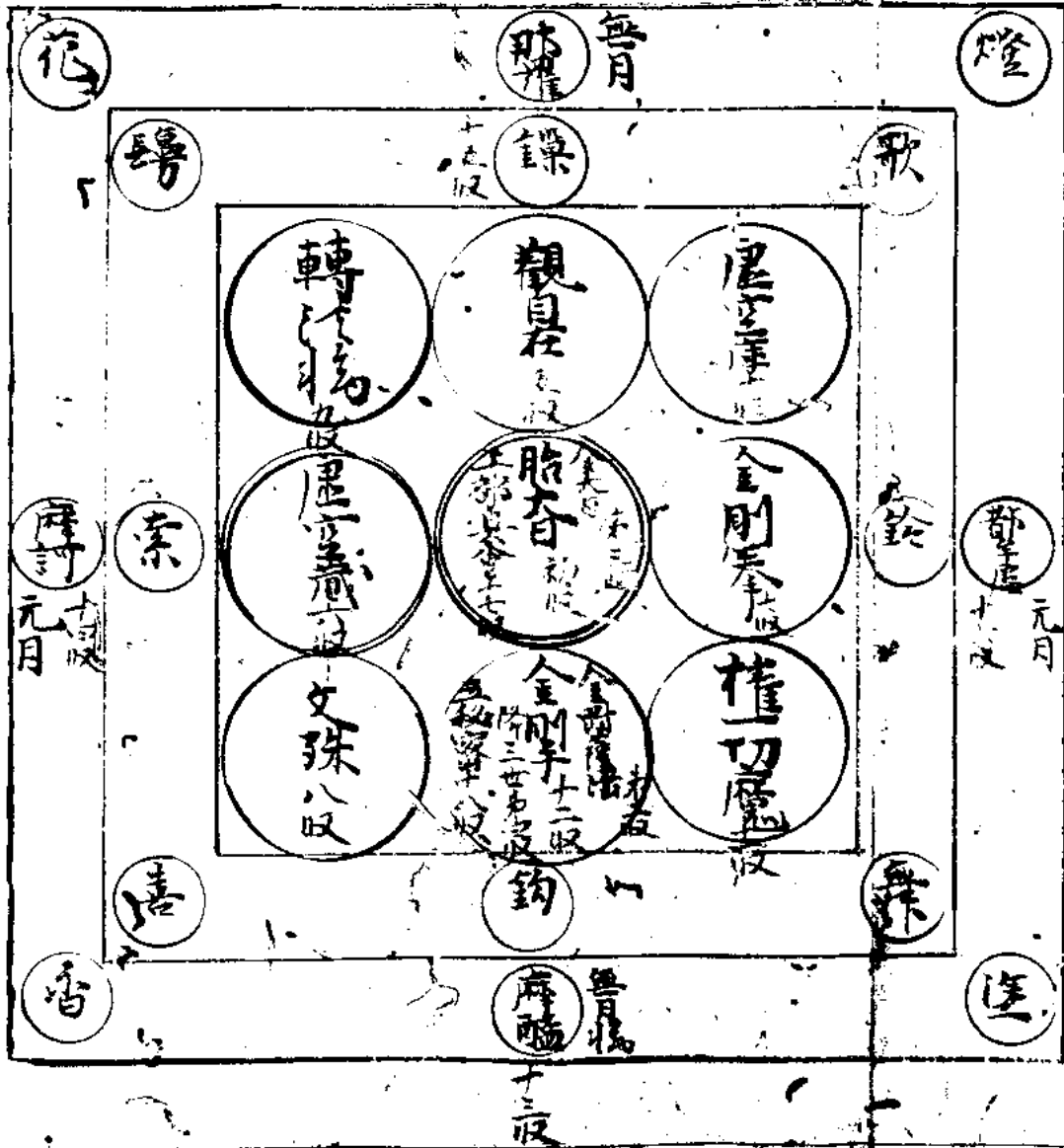
（裏書三〇四）

圖像 九〇

如是觀了、加持七處、真言曰、步欠

結界 不動

振鈴之後、結段、印



圖像 No. 90, 理趣經曼荼羅

金剛薩埵理趣會二 理釋云名大樂不空
金剛薩埵初集會品 (裏書三〇五)

圖像 九一

大日尊理趣會三 理釋云毘盧遮
那理趣會品 (裏書三〇六)

圖像 九二

降三世理趣會四 理趣降
三世品 (裏書三〇七)

圖像 九三

觀自在菩薩理趣會五 理趣釋云觀自在菩
薩般若理趣會品 (裏書三〇八)

圖像 九四

虛空藏菩薩理趣會六 理趣釋云虛
空藏品 (裏書三〇九)

圖像 九五

金剛拳菩薩理趣會七 理趣釋云金剛
拳理趣會品 (裏書三一〇)

圖像 九六

文殊師利菩薩理趣會八 理趣釋云文殊
師利理趣品 (裏書三一〇)

圖像 九七

金剛輪菩薩理趣會九 理趣釋云續發意
菩薩理趣品 (裏書三一〇)

圖像 九八

虛空庫菩薩理趣會十 理趣釋云虛空庫
菩薩理趣品 (裏書三一〇)

圖像 九九

摧一切魔菩薩理趣會十一 理趣釋云摧一切
魔菩薩理趣品 (裏書三一〇)

圖像 一〇〇

金剛手菩薩理趣會十二 理趣釋云降三世
教令輪品 (裏書三一〇)

圖像 一〇一

摩訶首羅天理趣會十三 理趣釋云外
金剛會品 (裏書三一〇)

圖像 一〇二

七母女天理趣會十四 理趣釋云七母
女天集會品

圖像 一〇三

三兄弟天理趣會十五 理趣釋云三
兄弟集會品 (裏書三一〇)

圖像 一〇四

四姊妹天理趣會十六 理趣釋云四
姊妹集會品 (裏書三一〇)

圖像 一〇五

五部具會十七

圖像 一〇六

五祕密會十八 (裏書三一〇)

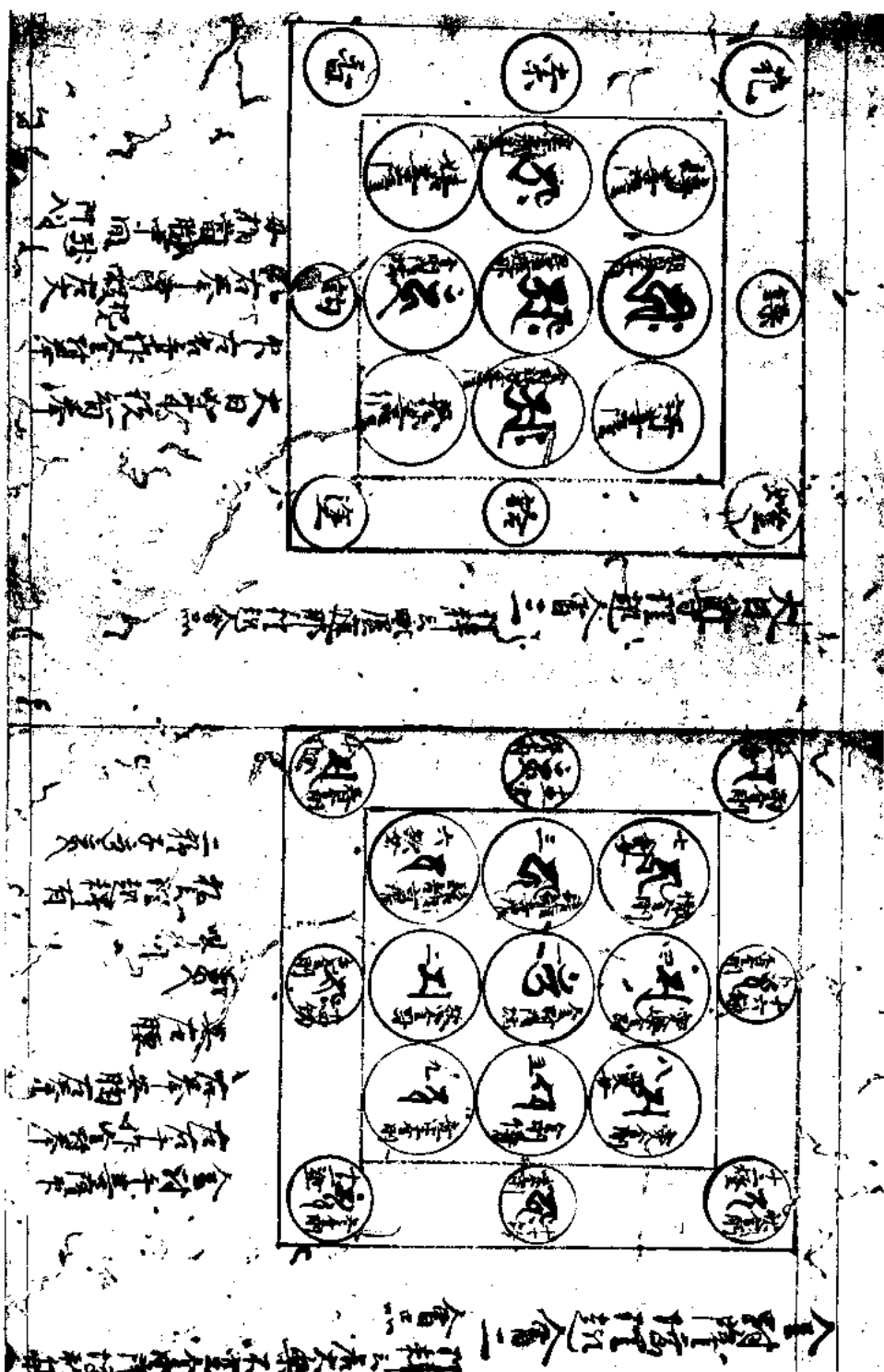
圖像 一〇七

次八供養會印書

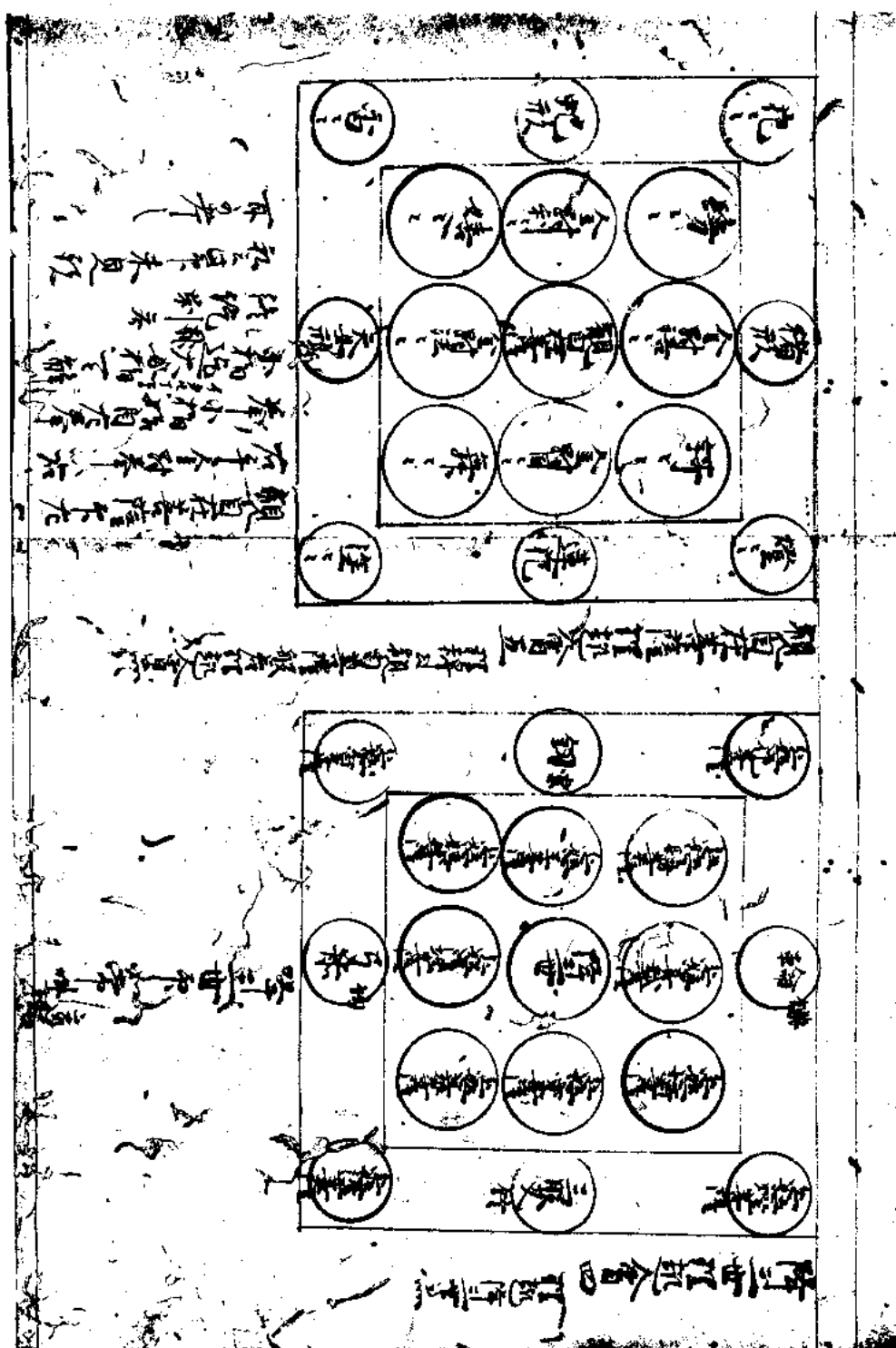
讚普救世但
禮佛如金剛

佛母 佛眼

本尊印 智拳印
言 正念誦 用上 字輪觀 五大



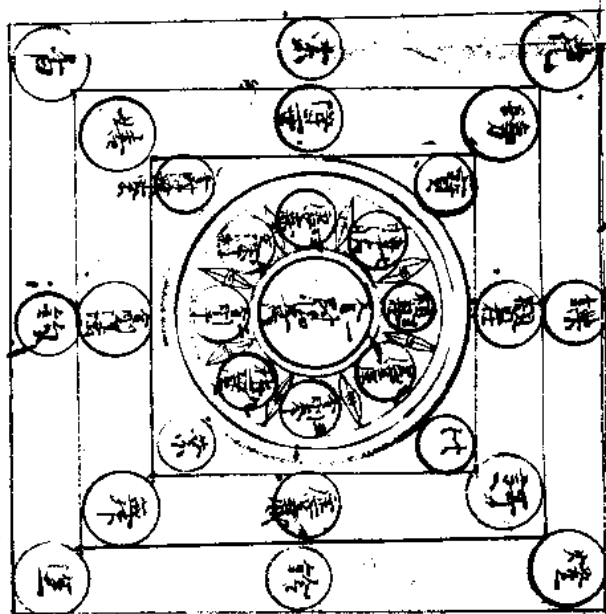
圖像 No. 91. 金剛薩埵理趣會二 圖像 No. 92. 大日尊理趣會三



圖像 No. 93. 降三世現趣會四 圖像 No. 94. 親自在菩薩現趣會五

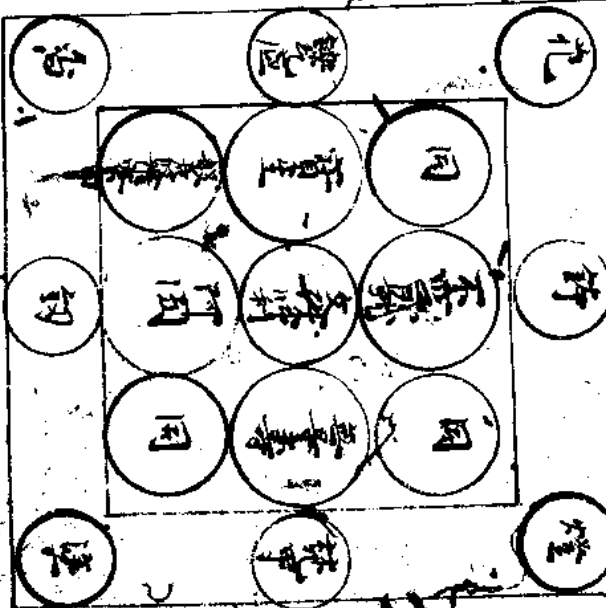


圖像 No. 95. 虛空藏菩薩理趣會^六 圖像 No. 96 金剛拳菩薩理趣會^七



陀特提陀提陀
天不頭物念昂物
在行念明不而
彼教教心對薩陀

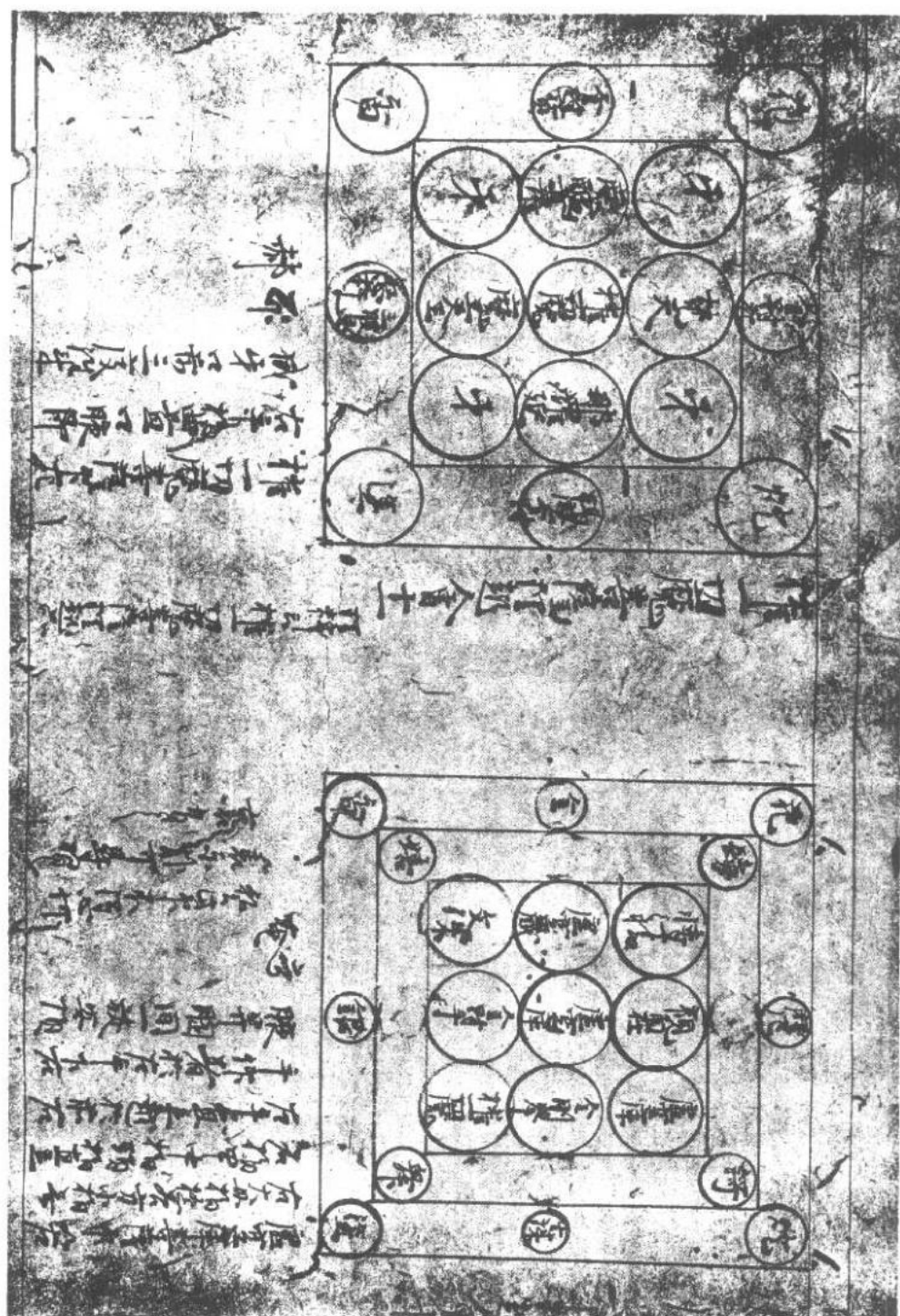
金剛輪菩薩經會九



陀特提陀提陀
天不頭物念昂物
在行念明不而
彼教教心對薩陀

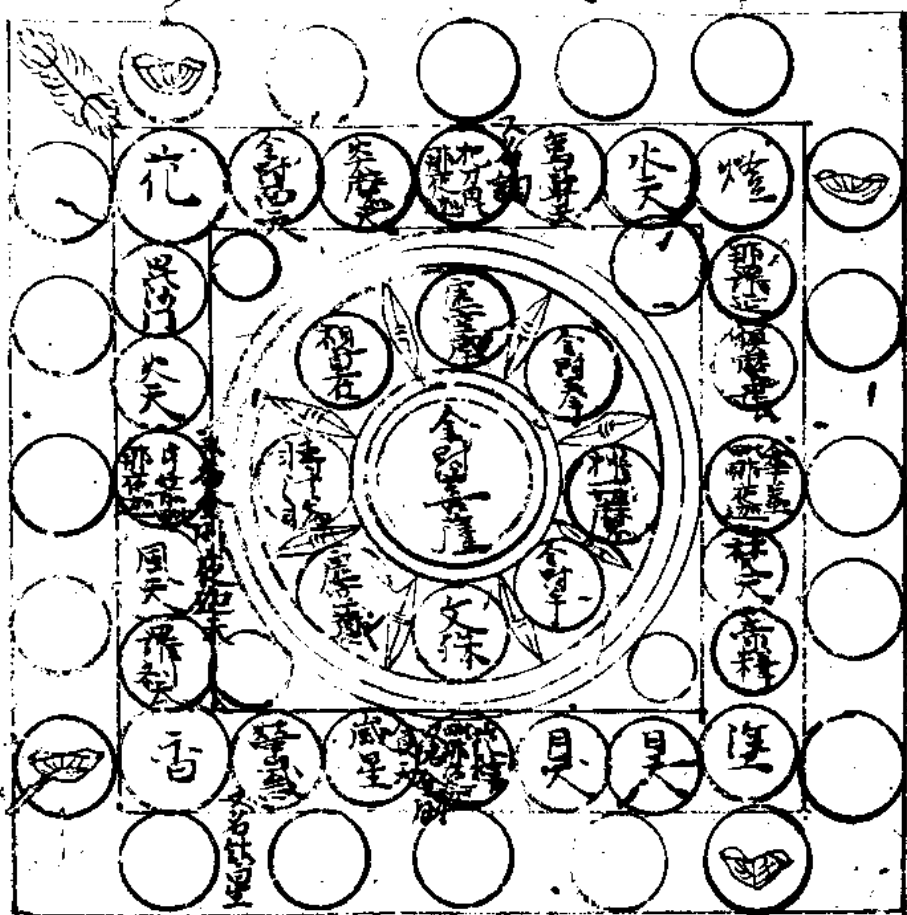
金剛輪菩薩經會九

圖像 No. 97. 文殊師利菩薩理趣會八 圖像 No. 98. 金剛輪菩薩理趣會九



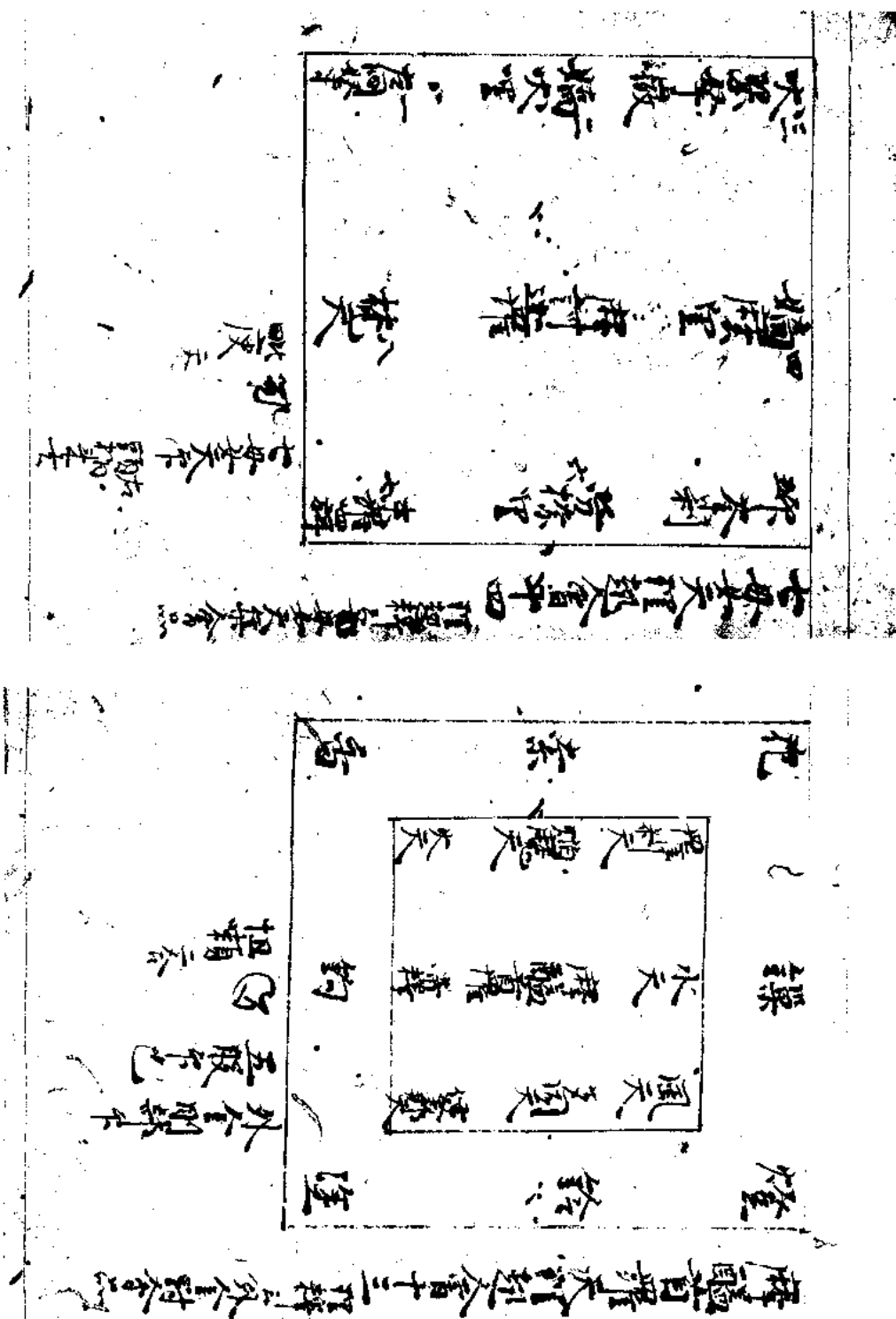
圖像 No. 99. 虛空庫菩薩理趣會十 圖像 No. 100. 推一切魔菩薩理趣會十一

金剛手菩薩迴趣會十二
 經上降世教金剛手

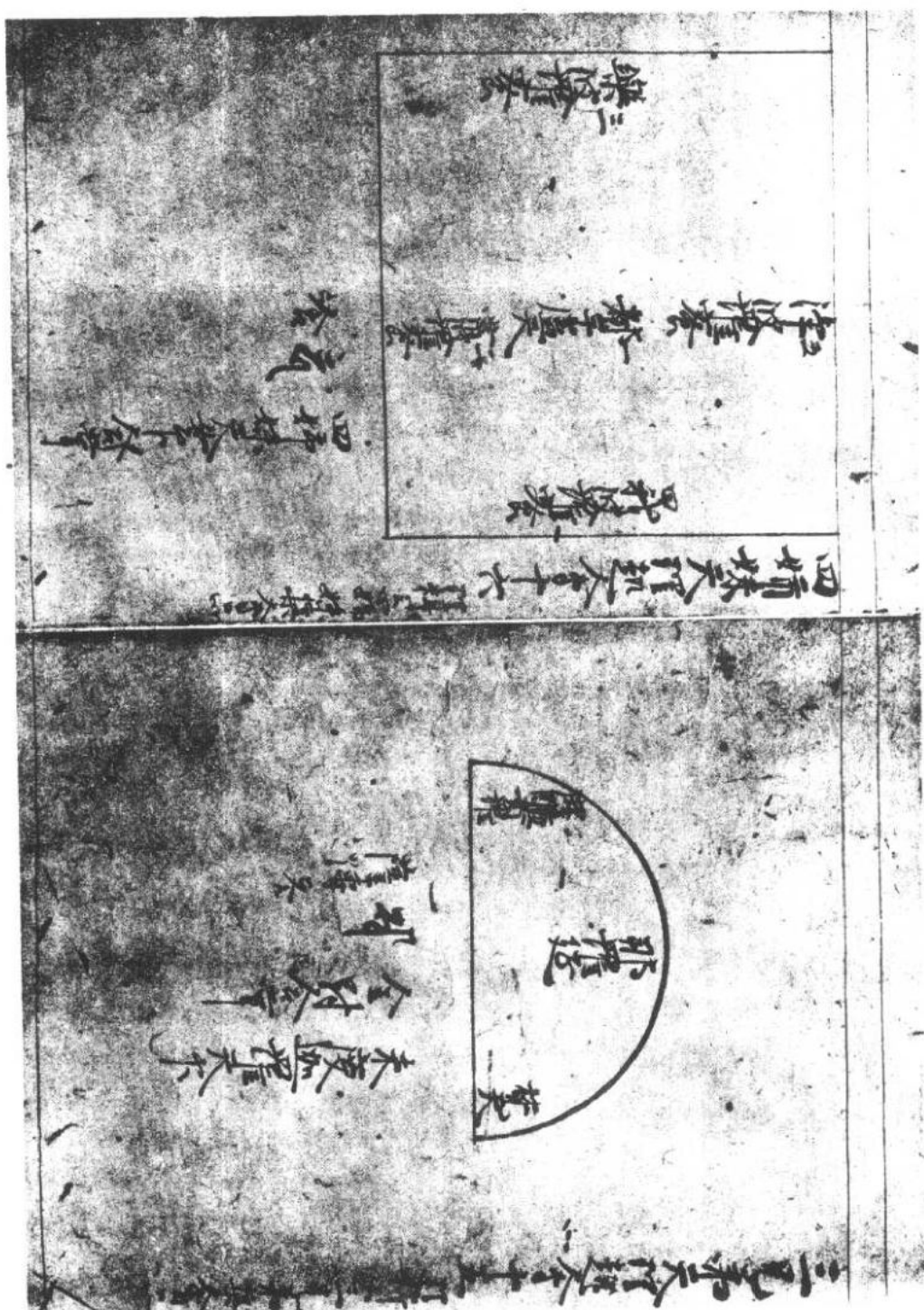


普濟眾生
 不令財金
 入心

圖像 No. 101. 金剛手菩薩迴趣會十二



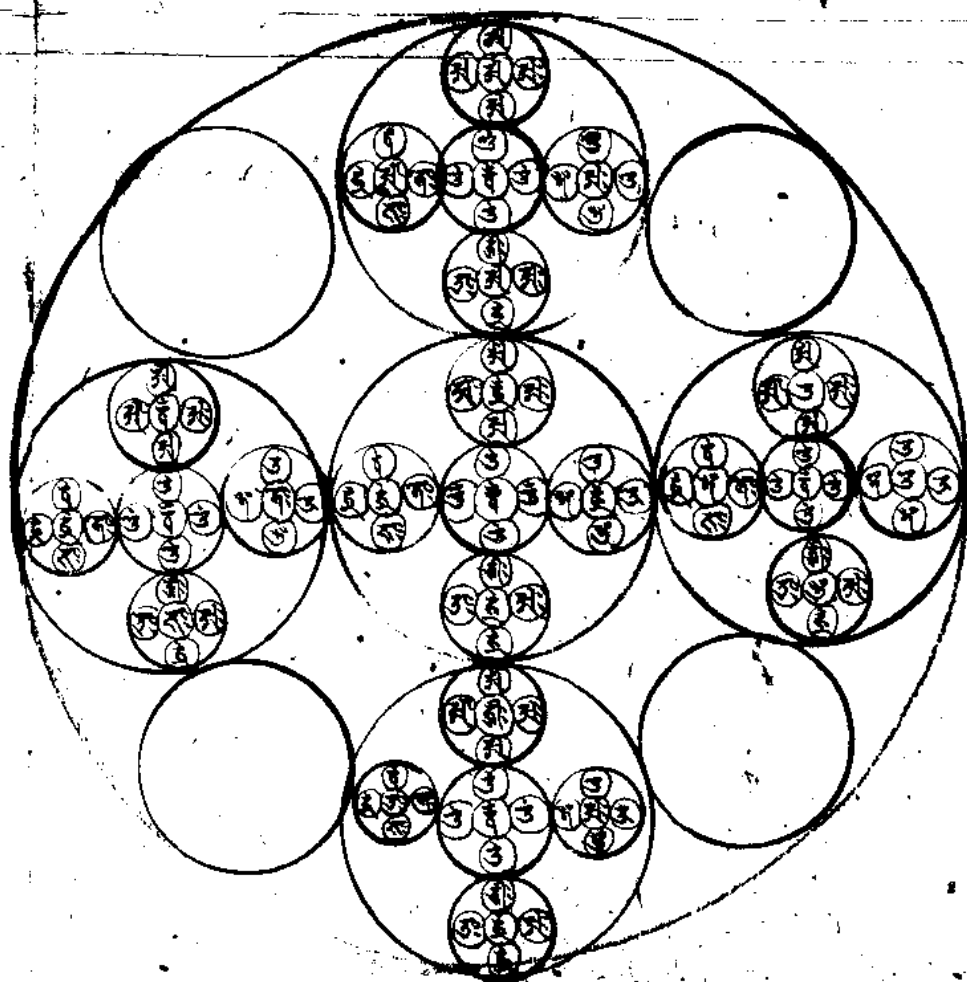
圖像 No. 102. 摩醯首羅天理趣會十三 圖像 No. 103. 七母女天理趣會十四

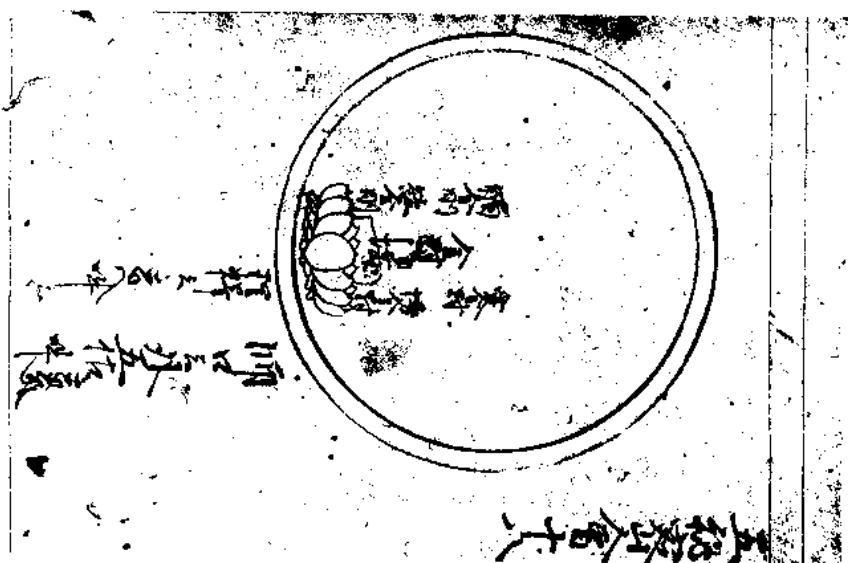
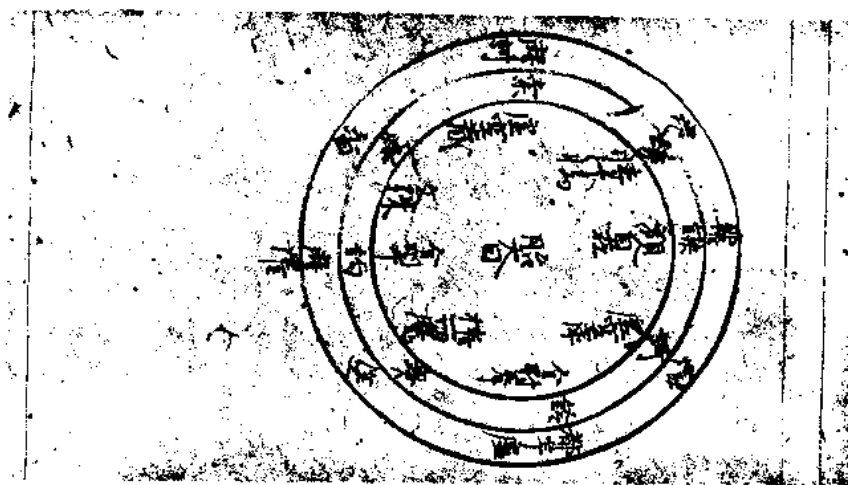
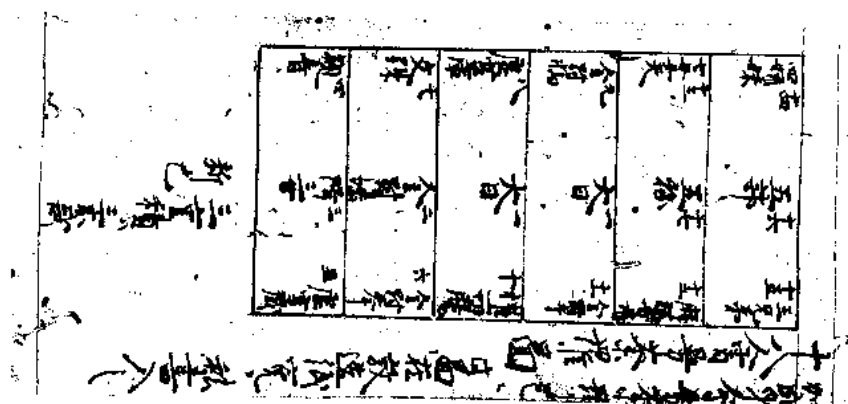


圖像 No. 104. 三兄弟天理趣會十五 圖像 No. 105. 四姊妹天理趣會十六

五部具會十七

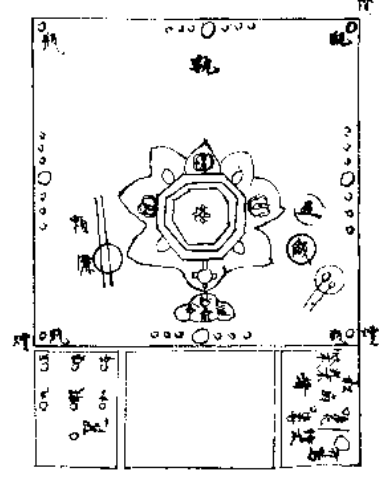
五部具會十七





圖像 No. 107. 五秘密會十八 圖像 No. 108. 大日尊會尊位圖 圖像 No. 109. 十八會曼茶羅圖

散念誦 佛眼 本尊 無礙藏
護摩 眞言 眞言 眞言 眞言



一、火天段

二、部主段 般若菩薩

舉身觀 種子 三形 智劍 或如意珠

尊形 結跏趺坐白蓮花上。身黃金色。衆

寶璽。遍身莊嚴。首戴寶冠。繫白纓。

兩邊垂下。左手當心持般若梵篋。右手

當乳作說法印。以大姆指押無名指頭。

自加持印明

二羽金剛合掌。二大指各捻指初

眞言曰

唵。訖利地室哩。秣嚩底。惹曳。ソワカ。

召請印明 前印明加勸請句四字明。

諸供物言 前言加伽路那句

撥遣印明 召請印明加發遣句

三、本尊段

自身觀 種子 三形 五結 或如意珠

尊形 台大 印明 智拳印 眞言

三、三三三

召請印明 前印明加勸請句四字明

諸供物言 前言加伽路那句

撥遣印明 召請印明加發遣句

四、諸尊段 序品 轉九識成五智觀也

舉身觀 轉九識成五智觀也

圖像 一〇八

召請印明 大鈎召印言 加勸請句 四字明

諸供物言

塗香乳木。酥油并混屯供。皆以普供養

眞言供之。但殘三杓供滅惡趣尊。眞言

五、世天段

伴僧 三力偈之後。轉讀經王

後加持 不動慈救呪

先師法務御口傳云。常途本有十七會。小

野御本有十八會。今一會云五部具會加

成身會曼荼羅也云。

十八會曼荼羅圖 此圖在教造紙。眞言釋書入之。

(眞書三二二)

圖像 一〇九

寫本云

應保二年五月二十二日眞乘房阿闍

梨奉傳之畢興。但法務御記後日書

加之 興一

正治三年正月比奉傳之數日居住之

間引出物給之 佛子覺禪

承元三年三月二十九日於理趣院書

之 沙門貞玄

先年比傳受此法十七段印口傳等悉

以沙汰了然重賜此書此興然闍梨祕

藏抄也然三月二十九日夜法務御房

見參次此法事粗申出所存旨等令申

之處有御感種々深奧子細等面受口

決畢。理趣經以大精進常處生死文句

法三宮所製一法界云文可心得。以此

可爲至極云。

元文五年庚申歲遂修復深藏竹木目

底每年轉軸勿忘

淨土院權僧正賢賀 五十

三〇四

理釋云。他化自在天宮者名爲欲界

頂。他化自在天王宮殿菩薩證得第

六地位。現前地菩薩住般若波羅蜜

觀。多作此天衆王。爲天人說般若波

羅蜜。其天界五欲殊勝超越諸天。是

故毘盧遮那佛爲金剛薩埵。說大樂

大食樂加持。現證瑜伽理趣速疾。由

是得聞不染世間雜染諸煩惱。超越

魔羅之境。其宮殿是大樂不空金剛

薩埵大曼荼羅。皆從毘盧遮那佛福

德資糧出生大妙金剛五寶所成金

剛峯寶樓閣云、

理趣釋云。如上所釋八大菩薩攝三種法。所謂菩提心大悲方便是也。如上所釋諸菩薩包括一切佛法真言門及一切顯大乘

〔義書三〇五〕

五祕密軌云。次結金剛薩埵大智印。○二羽各作金剛拳。左置膝。右手調擲金剛杵勢置心上。右脚以押左。理趣釋云。左手作金剛慢印者。為降伏左道。左行有情令歸順道。右手抽擲五智金剛杵作勇進勢者。令自他甚深三摩地順佛道念。昇進獲得普賢菩薩之地云、

〔義書三〇六〕

大樂金剛薩埵軌云。毘盧遮那如來。白色。二拳舒左大指。以右拳握初分當心前云、

〔義書三〇七〕

理釋云。四內隅安四忿怒。內四供養。於外四隅安四忿怒外供養云、金剛界軌云。二羽忿怒拳檀惠背鈎結。進力二背豎想身忿怒王云、

〔義書三〇八〕

口傳云。八葉印用之

〔義書三〇九〕

教王經云。寶金剛頭指面合而返屈云、反ト云ハカ、ルム也

〔義書三一〇〕

理釋云。一切如來智印如來者。不空成就之異名也云、又云。由修瑜伽者得金剛拳菩薩三摩地。能成就一切真言教中三密之門。是故廣瑜伽中。諸身意金剛合成名為拳。一切如來縛。是為金剛拳云、金剛界次第云。金剛拳菩薩。左拳仰臍前。以右拳覆之云、口傳云。八葉印用之

〔義書三一〇〕

理趣釋云。○一切有情。無始輪迴與四種識積集無量虛妄煩惱。則為凡夫。在凡夫位名為預聖流。至如來地名為智。以四智菩提對於四種妄識。既除。則成就法智。若不除妄執。則成法執病。是故智增菩薩用四種文殊師利般若波羅蜜劍。斷四種成佛智能取障礙。是故文殊師利現揮斫四佛臂也云、

〔義書三一一〕

理釋云。瑜伽者。彼三昧耶戒。阿闍梨非法失師位。由建立此輪壇。則復本安阿闍梨位。修一切三摩地真言。速得成就。若引弟子入。若自身入。則成一切世間出世間曼荼羅。或時瑜伽阿闍梨自坐壇中。連心布列諸聖眾云、瑜祇經云。復次金剛輪蜜語應當聽。唵。縛日羅。斫羯羅。吽。嚩。吽。錢。解

吽。二手金剛拳檀惠與進力四度互鈎結。是名彼密印云、私云。輪壇印可用此印歟。此延命菩薩印也。全非輪壇歟。如何

〔義書三一二〕

口傳云。三昧耶會業菩薩印。旋轉之置頂上外縛二大二小甲押。旋轉師云。虛空庫虛空藏之。寶部業部通故云、心覺抄云。印闍梨云。虛空庫菩薩是彌勒也

〔義書三一四〕

略出經云。用二展檀惠進力等度。置口兩傍如牙云、

〔義書三一五〕

應建立曼荼羅。其壇輪形三重。中輪畫八輻。臍中先別畫金剛手菩薩。安其臍中。八輻中畫八大菩薩。各頭外向。又更一重畫五類外金剛部諸天。所謂上界天王那羅延等四種。又畫遊空日天等四種。又畫住虛空四種。類那夜迦。四方於各配四門。又畫地居住藏等四種天。又畫地中猪頭等四神。如上等。從東北隅又旋布列令匝。頭皆向外。其第三重如前五種天之妃后。各配本天相對云、極深密門云。歸命聖主者。並賢金剛手。為降伏一切。現吽迦羅身。推三世

有毒。今印證菩提是甚深降三世瑜伽云：

理釋云：一切平等建立如來者，是普賢菩薩之異名也。又云：金剛手菩薩○者，此菩薩本是普賢，從毘盧遮那佛二手掌親受五智金剛杵，即與灌頂名之爲金剛手。

外縛五股

理趣釋云：摩訶迦羅者，大時義。時謂三世無障礙義。大者是大○理釋云：毘盧欲字云：

毘盧遮那法身無處不遍

口傳云：左手作拳安腰，右手舒頭指三度來去，是大黑天神主也。

七集下云：有七姊妹者，一左閼拏，二嬌吠哩，三吠瑟拏微，四嬌麼哩，五印捺哩，六勞捺哩，七末羅睺弭。此七名皆眞言。今云：莽怛哩毘藥云：七母皆女鬼，其形悉皆黑色云：出義釋

理釋云：七母天者，并梵天母表八供養菩薩，以事顯理也云：

理釋云：若依世俗，是名外曼荼羅。若依勝義，則爲普賢曼荼羅，以事顯理於理故。即事即理，事不相礙故。即凡即聖，性相同一眞如也。

理釋云：此三天表佛法中三寶三身。

佛寶者是金剛薩埵，法寶者觀自在菩薩，僧寶者虛空藏菩薩。此三寶者皆從毘盧遮那心菩提心中流出，亦名三法兄弟。次第以事顯理也。此天亦有曼荼羅，畫如弓形云：

理釋云：四姊妹者，表瑜伽中波羅蜜。所謂常波羅蜜、樂波羅蜜、我波羅蜜、淨波羅蜜是也。都牟盧表毘盧遮那佛云：

二微若耶 一惹耶 三阿波羅爾多 四阿爾多 一惹耶 三阿波羅爾多 一惹耶 四阿爾多

瑜祇經云：結率都婆印，誦明加持四處，普賢三昧耶，屈進力如鉤，檀惠禪智合，是名彼大印。次誦一字明，結大羯磨印，時不間斷，三十七圓滿，有口傳

上文云：時金剛界如來，復說率觀婆法界普賢一字心密言曰：

寶樓閣經下，不空次結一切如來大寶出生灌頂大印，二手合掌如金剛杵，二頭指傍舒，二中指屈節指面相合直豎，二無名指如金剛杵，二大指押二小指甲上云：

理趣釋云：般若波羅蜜無量故，一切如來無量者，此顯金剛部中曼荼羅皆具五部，一、聖衆具無量曼荼羅，四印等亦無量也。般若波羅蜜多無

邊故，一切如來無邊者，顯寶部中具五部曼荼羅，四印等亦無邊也。一切法一性故，般若波羅蜜多一性者，顯蓮花部中具五部曼荼羅，四印等同一清淨法界性也。一切法究竟故，般若波羅蜜多究竟者，顯羯磨部中具五部曼荼羅等四印得至究竟無住涅槃也云：

又云：薦福大和尚金泥瑜伽曼荼羅是也。所以不說心眞言者，彼教中一、聖衆各有一字心眞言，不可具載。今略指方隅云：

理釋云：今說修行曼荼羅像，同一蓮花座，同一圓光，中央畫金剛薩埵菩薩，右邊畫二種明妃本形，左邊亦畫二種，具如金泥曼荼羅像東南隅是也云：

又云：修行者得阿闍梨灌頂，方可修此五密，所獲福利，文廣不可具說。十八會指歸云：宿業罪障不能陵逼，亦不能障礙，速疾成就云：

十八會指歸云：宿業罪障不能陵逼，亦不能障礙，速疾成就云：

十八會指歸云：宿業罪障不能陵逼，亦不能障礙，速疾成就云：

十八會指歸云：宿業罪障不能陵逼，亦不能障礙，速疾成就云：

十八會指歸云：宿業罪障不能陵逼，亦不能障礙，速疾成就云：

十八會指歸云：宿業罪障不能陵逼，亦不能障礙，速疾成就云：

十八會指歸云：宿業罪障不能陵逼，亦不能障礙，速疾成就云：

十八會指歸云：宿業罪障不能陵逼，亦不能障礙，速疾成就云：

覺禪鈔 守護經

守護經法息災師云見經第十云。私云。經文不明。只除無量災難云云。若欲愛之中。息災歟。

本書

守護國界主陀羅尼經一部十卷（裏書三二二）
譯者三藏

來頁元

由來付國王

經第九云。爾時祕主金剛手復白佛言。世尊如佛所說。諸佛常住平等三昧。等視衆生。猶如一子。今者云何。但言守護國界主耶。諸有貧窮孤獨子。困苦無依。無歸無救。無護。何不慈念而守護耶。爾時如來。告金剛手言。善男子。諦聽當爲汝說。諸佛非不住於平等三昧。由平等故。守護國王。善男子。譬如良醫。見小嬰孩。身染疾病。不能勝醫藥。乃以良藥。令母服之。由母服藥。力及於乳。其子飲乳。疾病皆除。諸佛如是。哀愍一切。守護國王。獲七勝益。護國王。護國之太子。若護太子。守護大臣。護大臣。守護百姓。若護百姓。即守護庫藏。護庫藏。即守護四兵。若守護四兵。護隣國。如是一切皆安。是故國王與諸衆生。爲日爲月。爲燈爲眼。爲父爲母。若諸有情。無眼無燈。無日無月。無父無母。身命可在。若無國王。不可安立。又。如大龍池。龍若住時。水常盈滿。龍龍水族。皆安。龍去時。水枯涸。水性屬皆滅。無餘國王亦爾。若諸國王。受持陀羅尼門。能令無量無數衆生。生在安樂長守尊

貴。身懷命終。得生善道。是知國主善能開闢諸惡趣門。開示人天煩惱正路。故我偏說守護國王文。

金剛座說

經一云。薄伽梵住伽耶城。去城不遠。菩提樹下。又云。如來處於衆生會。座金剛座。威德巍巍。見者清涼。如秋滿月。身心寂靜。如大梵王。一切衆會。一心合掌。時菩提樹王。於其四面。各七由旬云。
金剛座高一由旬。縱廣正等各半由旬。以百千萬億微妙天衣敷其上。懸衆寶蓋。垂衆網繖。衆寶繖綵。以爲幢幡。羅列建立。皆以金剛爲其地。平坦如掌。清淨潤澤。香潔柔軟。蹈則沒足。舉則還復。衆生見者。欣樂無厭。爾時諸天。爲供養佛。雨天妙花。忽於其地。涌出數百寶蓮花。大如車輪。時去金剛座四隅。不近不遠。有寶樹從地涌出。以七寶所成。高二由旬半。數葉周匝。一由旬。如處金剛座。威德特尊。光明。逾百千日云。

諸佛所說

經七云。彌勒佛下生之時。年方十六。坐於道場。正覺始圓。說此守護國界主經。乃至賢劫千佛出現。亦復如是云。

大目所說

經九云。佛告祕主。善男子。毘盧遮那世尊。色究竟天。爲天帝釋及諸天衆。已廣宣說。我今於此。菩提樹下。金剛道場。爲諸國王及汝等。略說於此陀羅尼門云。

經名字

經一云。此經具有百千名字。所謂名爲毘盧遮那廣大三密甚深一字經。亦名三界最尊勝經。亦名如來說大悲門。亦名闍如來法不空得記。亦名如來微妙法藏。亦名如來微妙究竟果。亦名如來微妙法眼。亦名普照諸法寶炬。亦名能斷一切邪見。亦名顯示諸法平等。有如是等一千名字。如是名中。雖皆甚深。決定說一名字。守護國界主陀羅尼經云。

隨類見佛

又云。世尊常住三世平等法性。入三昧。名普隨順衆生心行。一切大衆各見佛不同。或有衆生。見如來相好之身。或見聲聞身。或有衆生。見菩薩身。或見梵天。大自在。那羅延天。乃至天龍八部人非人等。種種差別。其無信者。都無所見。猶如生盲不見日月。其得見者。咸儀音聲。隨所樂。雖隨衆生。如來身一味無二。所謂一解脫味。如虛空離一切塵細無分別。亦如大地一切世出世間。生長無厭倦。又如火大能燒衆生諸煩惱薪。無有厭倦。又如風大能飄一切煩惱塵垢。無厭倦。又如水大能滋長衆生善根。除煩惱熱。得清淨樂。無厭倦。佛身五光明。

又云。世尊忽於頂上肉髻之中。內膚骨毛孔。放大光明。百千光明。爲眷屬。下至阿鼻地獄。上至阿迦尼吒天。一切所有。皆白色。情非情物。鮮白如雪山。從口中放大

光明如帝青赤色○照東方從金剛座東盡恒河沙世界其中情非情皆常青色復於右肩放大光明如鎔金色○照南方從金剛座南盡南方恒沙世界其中所有皆鎔金色復從背上放大光明紅頗梨色○從金剛座西盡於西方恒沙世界彼中衆生見一切頗梨色復於左肩放五色光青黃赤白綠色照北方從金剛座北盡恒沙世界其中所有皆五色一一下至阿鼻地獄上至阿迦尼吒天照諸世界作佛事已云云

次文意云五色光明收光歸本右邊三匝入五處云云

五大觀

又云作五大觀一者觀地作白色觀二者觀水作綠色觀三者觀火作黃赤色觀四者觀風作黑色觀五者觀空作青色觀此觀成已一切諸毒皆成非毒○有情毒非情毒云云

未成就觀付月輪

又云諦觀自心以爲月輪當於鼻端不令馳散清淨圓滿色如凝雪牛乳水精而此月輪爲菩提心此大菩提心本無色相未成就諸衆生故說如月輪云云

月輪生五種三昧

(裏書三二四)

父云有人暫修習此三昧故身心輕安即能生於五種三昧○一者剎那三昧二者微塵三昧三者漸現三昧四者起伏三昧五者安住三昧云何名爲剎那三昧謂觀月輪剎那々々暫時相應尋復還失○爲剎那三昧○云何爲漸現三昧○漸々增

勝身毛皆豎悲泣流淚如黑物中見一白縷○由觀月輪得小分住於無明闇煩惱中見少定心微分顯現○云何爲安住三昧由前四定心得安住悉能守護一切善法增長新善身心安樂○忽得雪山清冷美水所有渴渴憂苦皆除○是爲無上菩提牙生○如上所說諸根不具五無聞業諸惡衆生向於此中修入有分何況一切比丘比丘尼優婆塞優婆夷而不趣入云云

略之意多

唵字觀付成佛

經九云佛言秘密主我於無量劫中修習波羅蜜多至最後身六年苦行不得阿耨多羅三藐三菩提成毘盧遮那座道場時無量化佛如油麻遍滿虛空諸佛同聲告我言善男子云何而求成等正覺我白佛言我是凡夫未知求處惟願慈悲爲我解說我時佛同告我言汝於鼻端想淨月輪於月輪中作唵字觀作是觀已於後夜分得成阿耨多羅三藐三菩提○十方世界如恒河沙三世諸佛不於月輪作唵字觀得成佛者無有是處云云

唵字生佛菩薩等

又云唵字毘盧遮那佛之眞身一切陀羅尼母從此能生一切如來從如來生一切菩薩從菩薩生一切衆生乃至少分所有善根○此陀羅尼其如是不可思議威德功用云云

虛空器觀

經七云一切器物連疾破壞多諸障礙虛空爲器不可損壞無有障礙一切器中爲最勝○自當見廣大之器○見菩薩身臍輪之中有一世界名水光王謂此世界大水瀾漫如大海故立其名

大會歡喜

又云此大會中諸大威德無量菩薩欲色諸天南閻浮提十六大國及諸小王龍神夜叉乾闥婆阿修羅迦樓羅○人非人等及比丘比丘尼優婆塞優婆夷聞此法門心淨歡喜踊躍無量云云

供養菩薩成天形事

又云爾時十方世界諸菩薩俱來○爲供養佛皆昇虛空各々變身作天形像○菩薩力故以衆寶網徧覆大會云云

功能部

大悲根本義事

經第三大悲胎藏出生品云○心及虛空陀羅尼菩薩無二無別皆以大悲爲其根本者而此大悲復以何法而爲根本○善男子此大悲根復以衆生受苦爲本云云

三乘慈悲

經四云如來於諸衆生大悲深重不可思議二乘之悲如剝皮膚菩薩悲心如割指肉如來大悲深徹骨髓又復隨順佛智是聲門悲勸諸衆生發菩提心是菩薩悲授當佛記是如來悲因慈心起是聲門悲因化衆生是菩薩悲因於究竟成就衆生是佛大悲求斷生死是聲聞悲運度衆生至

彼岸是菩薩悲，普能度脫一切煩惱。至於彼岸，佛大悲是故，如來大悲，最為尊勝。○或經一劫或千劫，久住於世，不入究竟，無餘涅槃云。

智者生都舉

經十云：大王當知，譬如團鐵，投水沈沒。若為鉢器，置水則浮。有智惠人，如彼鉢器，不沈苦海。汝造惡業，合入阿鼻大地獄中。一劫受苦，由汝有智發覺，懺悔暫入，便出如壯男女，以手拍毬，時著地，即便騰起。從此命終生兜率天，見慈氏尊，便得授記。○時阿闍世○心得清淨信云。

讀誦功德

又云：佛眼所見，諸佛剎滿中珍寶，施如來。我說此福尚輕微，以不聞此深經故。○是故讀誦受持經，斯福最勝過於彼。

滿來願

經九云：有一陀羅尼，即是一切陀羅尼母，名守護國界主。若有菩薩受持證得此陀羅尼，其身同如意寶，衆生見者所願滿足，亦能速得無上菩提云。

壽命長遠事

經十云：十方諸來菩薩，○異口同音而白佛言：世尊，我等今日得大利益。○長延壽命，願令此經久住不滅。於閻浮提一切國土，作大利益。世尊若比丘比丘尼，優婆塞，優婆夷，國王大臣，一切人民，受持此經，無諸病苦，壽命長遠，普能利益一切衆生。云信心成一切願事。

又云：阿闍世王，白佛言：如來在菩提樹下，我之國土，說陀羅尼及曼荼羅，即有無量功德。何以摩伽陀國風雨不節，旱澇不調，饑饉○疾病災難，無量百千。世尊言：此守護國界主陀羅尼，以十六俱胝那由他陀羅尼為眷屬。此金剛城曼荼羅，三千五百曼荼羅，以為眷屬。然彼一切皆以信心為根本。以般若而為先導，大菩提心及大悲心，以為莊嚴。大王一切善法皆悉從此陀羅尼生。一切罪惡不信因果，以為根本。汝今不信因果，耽五欲樂。○雖有眼耳如聾，盲人，不聞雷霆，不見日月云。

祈雨付乳

經九云：若有國土亢陽無雨，金剛阿闍梨，往有蓮華大龍池所，或河流岸，或小池，當大界或四方界，或四隅界，結護己身，作壇。○上圖畫七頭龍王，散種香花，壇場四面懸青色幡，建赤色幡，當以穀麥油麻大麥臘杏子銀金錢等投龍池中。右邊四面合掌禮拜，以為供養，謂諸龍王，起大悲心，發大誓願，為諸衆生，祈降甘雨云。

不降雨作法

又云：作是法已，法同若不降雨，當以忿怒尊陀羅尼念誦加持。我當自來以金剛杵而撥龍頭，令彼驚怖。時龍雲中合掌下微細雨，普遍充給。龍亦歡喜，除衆生有決定業，甘雨不降，餘必應心念誦之時，食三白食，所謂乳酪及粳米，誦十萬遍，便得成就。

云

止雨法事

又云：若雨過多，便誦止雨陀羅尼。曰：唵一阿密囉低底三吽三底瑟咤三沙縛二合賀引五。

誦此陀羅尼七返，或以鉢器或瓶缸等盛蜀葵花，以鉢瓶等覆在池上，便晴明。

除鬼病

又云：若為癩痢鬼魅所著，當以楊枝及石榴枝，以上真言加持七返，燒安悉香於地。畫彼神形像，令前童子先文云童子男女執楊枝等，鞭彼圖畫鬼神形像胸背等處。時彼病人如捷其身，嗥叫啼泣，叩頭求救。從今去不敢更來。時阿闍梨令鬼立誓，若再來者，願我眷屬喪滅無餘。鬼立誓後，更不再來。病者平復云。

滅逆罪

經一云：唵一娑麼合二囉微麼引義三娑引羅四摩訶訶迦囉五合縛上六吽七長聲佛言：○以此迴向陀羅尼力，於諸佛前悉得成就。真實供養一切諸佛，悉攝受。○若時若非時，若晝若夜，默念一遍，觀察運想。○由此力故，五無間極重罪業，皆得消滅。何況輕罪而不除滅云。

濟無間苦

經六云：如來身業，儀範端嚴。○被僧伽梨著衣持鉢。○千輻輪相出現分明。復有蓮花，香潔殊妙，而承其足。○如來袈裟離身四寸而不墮落。○身常光明，凡所照觸，乃

(裏書三二五)

至下濟阿鼻地獄離苦清涼云

(真書三二六)

臨終現五趣相

經十云若人命終當墮地獄有十五相

一夫妻眷屬惡眼視○二兩手攀虛空
三善知識不隨四啼泣咽流淚五大小
便利不知六閉目不開七常覆面八側
臥飲噉九身口臭十脚膝掉十一鼻梁
蔽十二左眼動十三兩目赤十四仆而
臥十五躐身左脇著地臥如是衆生決
定當生阿鼻地獄

生餓鬼有八種相

一好紙屑二身熱如火三常患飢渴說
飲食四張口不合五兩目乾孔雀六六
小便遺漏七右膝冷八右手常拳心懷
慳慳於水不與人命終決定生餓鬼中

生畜生有五種

一戀妻子貪不捨二躐手足指三遍體
流汗四出魚聲五口中咀沫命終決定
墮畜生趣

生人中有十相現

一臨終生善念謂柔軟心福德心歡喜
心發起心無憂二身無痛苦三能似語
一心憶念父母四妻子等作憐愍心無
愛無恚五於善惡心不錯亂六心正直
無諂誑七知父母眷屬護念我八見所
營理心生歡歎九遺屬藏舉財寶令出
十起淨信心請佛法僧三寶歸依五通

神佛歸命終決定生人趣
生天有十種相

一起憐愍心二發起善心三起歡喜心
四正念現前五無諸穢六鼻無側七心
無恚怒八於家財寶妻子眷屬心無愛
戀九眼色清淨十仰面含笑想念天宮
常來迎我此十相決定生天云云取意
抄之

勤修門

大師表性靈集第
一在之

奉爲國家請修法表一首

沙門空言空一幸沐先帝造雨遠遊海
西儼得入灌頂道場授一百餘部金剛乘
法門其經也則佛之心肝國之靈寶是故
大唐開元已來一人三公親授灌頂誦持
觀念近安四海遠求菩提宮中則捨長生
殿爲內道場復每七日令解念誦僧等持
念修行城中城外亦建鎮國念誦道場佛
國風範亦復如是其所將來經法中有仁
王經守護國界主經佛母明王經等念誦
法門佛爲國王將說此經摧滅七難調和
四時護國護家安己安他此道祕妙也空
一雖得師授未能練行伏望奉爲國家率
諸弟子等於高雄山門從來月一日起首
至于法力成就且教且修亦望於其中間
不出住處不被餘妨雖蝗蝻心體羊犬神
識此思此願常策心馬況復覆我救仁王
之天地開目開耳聖帝之醫王欲散欲答
罔極無際伏乞昊天鑒察款誠之心不任

懇誠之至謹詣闕奉表陳請以聞輕觸威
嚴伏深戰越沙門空一誠惶誠恐謹言

(真書三二七)

弘仁元年十月二十七日

沙門空一上表

御念誦先跡

惠什闍梨云守護經法雖有大師奏狀大
師御勤修未見其證據況其後又公私修
此事未見歟云云

實任云此法勤修舊記未聞之耳云云

私云大師奏狀來月從一日起首云云

定有御勤行歟

伊豆闍梨云奉圖此法云云先師禪定
仙院御祈每月七日誦真言奉祈寶壽長
遠之由予相次依院宣勤此御念誦奉
御卷數云云

請書

被宣旨云天屢示變地頻震動而近日
聖體不豫玉膳背例依之仰經王之本誓
持萬乘之王體思食者也傳聞守護國界
主經者偏護國主施無爲云云仍自來八
日修彼御念可被奉祈玉體安穩天長地
久之由狀如件

請文

月日

謹請宣旨事

右守護國界主經者國家泰平之指南聖
朝安穩之方軌也經王勝用聞首題有馮
者歟仍自來八日以數口僧侶可奉祈天

變怪異寶壽長遠之由狀所請如件
月 日 某

曼茶羅事 名金剛城

經九云。若阿闍梨若山野○泉流盈滿。或大河側。或近龍池。可建曼茶羅○選擇地時。其地若有沙石瓦礫。樹根株杭。髮毛爪齒。樓臺灰炭。骸骨塚墓。蛇窟蟻穴。如是等地。不堪建立曼茶羅場。擇地已。闍梨當選好宿直日。於清旦時。吉祥相時。五體投地。禮如來足。隨其力分。隨心廣狹。以建壇場。量極大者。一千由旬。或復九百七百五百三百一百一由旬。量。或七肘量。五肘三肘。或一肘量。或一手掌。乃至一爪甲量。我今當說作金剛城勝曼茶羅量之儀。則當要方作面。開一門。上安闍闕。以為莊嚴。一面各自三十二磔手之量。四周欄楯。盡成三重。共十二角。以種。寶。用作花鬘。而為莊嚴。於壇中心。畫毘盧遮那如來之像。并畫四波羅蜜菩薩。四方四佛。各四菩薩。或安種子。一。一。菩薩。各有一俱。那由他菩薩。以為眷屬。次安十二俱養菩薩。最外一院。安置十天。云師云。外院天等座。傳如攝真寶經。要書三二八彼經下云。東方門首。帝釋座位。南方。摩羅王座位。西方。水天座位。北方。毘沙門天座位。東北角。大自在天座位。東南角。火天座位。西南角。羅刹天女座位。西北角。風天座位。上方。大梵天座位。下方。堅牢地神座位。我今已說座位次第云。

諸尊多依龍尊之右。上謂空居。下謂地居也云。師云。金剛界准之云。

圖像 一一〇

師口云。實種子。以。中央。字。但除二十。苦。十。又如經。一一菩薩。十億俱胝。那由他菩薩。為眷屬云。
又云。羯磨會諸菩薩之處。表。字。一字。書之。若畫像。以。ナラハ。合掌菩薩。每尊。一菩薩。畫之。并如胎藏眷屬菩薩云。

行者用心 付迦樓

(要書三二九)

或抄云。兼意房中作法如常。至堂之間。我身想迦樓羅。降伏一切煩惱。有情非情。毒結迦樓羅印。行步入堂戶時。入無能勝定。三度彈指。二手拳左安腰。右中頭指誦短。結界印十方。

經二云。爾時世尊如象王迴。普觀大眾。此會中有二種人。一者成就。二者未成就。我今重為未成就者。以善方便。說一乘法。如世有法。名迦樓羅。欲修此法。應先圖畫迦樓羅像。審諦觀察。觀行純熟。然去畫像。手結印契。想其自身成迦樓羅。可云。

表白

金輪聖主殊潔觀慮於一心之底。致啟白於三寶之前。御事者其旨趣何者。護持王法者佛法也。十善政化專恃十力之擁護。弘宣佛法者王法也。三密興隆。偏依一人之

歸敬。是以鎮國土之逆亂。安聖主之主體。瑜伽上乘之功用。莫大。消天星之災變。滿人王之求願。歸依三寶之御願。速疾者歟。就中守護國界經者。殊為國家泰平。為攘災招福。說護國護民之方法。施無為無事之利益者也。爰我金輪聖王。聖體柳有意。玉膳纔背例。闍家三千之方。効驗如空。為氏百一之術。救療未及。所馮者。無諸病苦。文。長壽之本誓。殊勝。所仰者。獲七勝益。調守護之悲願。是新。一相成身之觀。一天安穩之妙術也。五佛聚集之誓。五方加護之靈藥也。仰願本尊界會。照見一心之微慮。施十痊之救療。然則王體安穩。南山松讓。金輪久轉。北辰星無動。

口傳行法依金剛界修之。經始終三十七。說故也。也。見經說。

種子 或 也

三形 塔

印 智拳印

眞言 唵 伊豆闍梨云。最

形像 金剛界大日用之。頭有五髮云。

右以大日一尊為本尊。當途習也。實任云。也。實覺。同之。

又傳五尊為本尊。實覺也。傳口傳上經說。嚴之。

本尊金剛界羯磨會大日四佛相竝可觀

種子 大日 阿闍 寶生 無量 不空

三形 寶大輪 五古阿 寶 寶 蓮 無 羯磨不



圖像 No. 110. 守護經曼荼羅

第一圖大日如金色身白界

種子 ㊦

三形寶珠

眞言 三昧耶戒

經九云。唵字是一切法門。亦八萬四千法門寶炬關鎖。卽毘盧遮那佛眞身。○一切陀羅尼母。

又云。一切法所生之處。三世諸佛皆觀此字得菩提。○一切菩薩從此而生。○一切佛一切菩薩諸陀羅尼集會處云々

又云陀羅尼母唵字三字和合爲唵字一
阿字菩提心義又法身義二烏字報身義

三葬字○化身義云；
秘藏藏記云、唵字有五義、歸命供養驚覺
攝伏三身義云；

經二云。右作金剛拳當心。握左手頭指。名能與無上最尊。勝印。本師毘盧遮那印。

陀羅尼曰
唵吽若護娑○以唵字安所觀月輪中。置

頂上如珂雪○自身成毘盧遮那具一切
智○亦般若波羅蜜多○想頂上出白光

明下至阿鼻地獄。上阿迦尼吒天。其中一切衆生。無始生死。無明黑闇。盲無智眼。以

此般若波羅蜜燈。開彼佛
久遠闇暝。一切皆除云々

第二 阿閼
種子

印 本三昧耶印 左取張契也

云。次人不動三昧。直

以拳執之上出兩角右手按地名能摧

印一切衆魔○外道惑業不能動是阿
印如上毘盧遮那眞言以吽字處月輪
置頂上成阿閼如來從頂放青光○一

光中有無量青色金剛菩薩作此印光
東方恒河沙數世界之中。其中衆生遇
光者。所有欺奪刺客惡心。皆悉捨離。寂

三寶生與顯身黃色

種子 寶珠 本三昧耶印 同上之圖

眞言 云云行者於南方面向

手執衣兩角。右仰掌。名滿願印。寶生○
誦前毘盧遮那真言。作蓮字觀。處月輪

置頂上。如融金色。○此身成寶生如來
頂上放金色光。○一、光中有無量金

已金剛菩薩。各々手中雨如意寶。光照南方恒沙世界。其中衆生。遇斯光者。所有願

第四阿彌陀上重天指柱身紅色

眞言 這表不許升
云西方。面向東。金剛

念令心一境。卽阿彌陀印。亦誦如上毗

遮那眞言作護_{本有}字觀處月輪中置
以上如紅蓮花色卽成彌陀如來從頂上
紅蓮花色光一一光中有無量紅蓮花

善薩○光照西方恒沙世
皆入三昧云々
不空成就圖左取衣右施願身綠色

種子
三形
十字杵

印 本三昧印如
眞言 法苑珠林

施無畏。此印能施一切。

惡人不能惱害。不空成就如來之印。誦
七吽盧遮那眞言作娑上字觀。此字處月

頂上放五色光。一、光中有無量五色光。

明菩薩○皆施無畏。光照北方恒沙世界。其中衆生○悉得無畏云々

加用印言

發願

本尊界會 大日如來

道場觀衆意

觀想以五輪成立器界其上七金山八功德水海金龜三層蓮花妙高山等如常可觀想

次結印誦明亦復如是

次結如來拳印

觀想須彌山頂無量廣大平等也觀想其莊嚴無量其中有五部曼荼羅壇其中

有如來部輪想其字成八葉蓮花臺其上有三字中央有左右其字成大覺師子座其上有其字變成大覺蓮花其上有其字

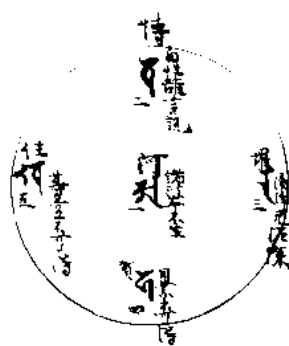
變成塔婆所成五大轉成毗盧遮那如來佛身自受法樂故流出三十七尊及外部天等被圍遶恭敬說三密法誦其字

印七處云

亮惠云此法不可觀須彌山可觀金剛座彼座上之所現其字故也仍名

金剛城之其字云

字輪觀五大



禮佛如金剛界

讀四智已上衆意

結界不動

母佛眼但三形用寶珠

入我入五佛

勸請印言自和印誦其字云

本尊加持本尊印有三種又本尊次

振鈴以後行羯磨會加十天天責任

亮惠云三十七尊并二十天各別印言

正念誦其字云

伊豆閣梨云本尊一字肝心呪用之

聖賢云金剛界大日呪最秘云

散念誦佛眼

責任云四波羅以下呪用之私云下

伴僧呪歟

賢覺云五大尊十二天呪可用云

大呪出于經第九卷責任曰傳呪也

呪一薩怛囉二合囉入日哩三合

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

引賀引四合賀引四合賀引四合賀

諸者三合三合三合三合三合三合

折囉入二合折囉入二合折囉入二合

一合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

四合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

二合折囉入二合折囉入二合折囉入二合

已上兼意抄有之。用否可隨人也。

惠什云。或無止。先德抄物中。守護經法。以降三世爲本尊云。

三形寶事

今法三形寶珠尤勝タリ。由緒見經云。

又云。祕藏記云。寶珠遍法界云。

一法界抄云。五佛皆以寶用三形云。

聖賢云。五佛三形皆安輪上云。

三三一

御念誦所

奉念

守護國界主陀羅尼經何遍

右謹依 院宣始自六月二十六日

至于今日。并一七箇日夜之間。持念

上件眞言。奉祈太上法皇御滅罪生

善御願圓滿之由。仍勸遍數謹解

年 月 日 大法師

覺禪鈔 六字經

六字經法 蓮花部法 調伏

具書

六字神呪經一卷 菩提流支譯二枚

六字呪王經一卷 五枚

六字神呪王經一卷 六枚。流布本

六字陀羅尼呪經一卷 二枚

聖六字大明王陀羅尼經一卷 錄外

六字經驗記一帖 道達三藏義真記。小野經藏。在之。大慈恩寺基法師撰。

六字經法二帖 或云。經康有之云。

勤修記

文德天皇之時。水尾天皇立皇太子。貞觀

僧正爲護持僧。水尾帝八歲時。文德天皇

御憐。文德天皇曰。我壽難延。春宮幼稚。惟

高親王成人。仍有其儀。爰攝政忠仁公。以

貞觀僧正被修六字法。成就如本意。如

支度皇太子著帝位云。

仁和寺親王 覺法 被奉仕件法之間。狐鳴

親王知食子細。院宣云。此法成就之由。所

傳聞也。權僧正範俊。法成就之由。仙院被

傳申云

仁僧正於東北院被行時。自壇中狐出。法

成就云。件度。息災被行云。 信蓮傳 大教

院僧都覺意鳥羽院御祈修之。自院三尺

青黑色木像。明王被送。私彼像後。懸曼荼

羅云。六七箇日行之。示我夢云。狐舍死

人頭入壇之下見。此悉地先相也。仍此度

得法驗。被補小僧都云。 仁和寺依六觀

美福門院御祈念範行之。御本尊。六字曼

荼羅被送。天台大壇奉懸聖觀音護摩壇

懸六字天曼荼羅云。

私云。以六字天爲本尊。偏調伏也。小野

廣澤說也。以聖觀音用本尊。行息災。醍

醐說 理三同之

惠什兼意皆同也。又以金輪井如意輪

爲本尊云。或云。義範調伏云。

曼荼羅異說

莊嚴寶王經四云。無量壽如來右邊安持

大摩尼寶菩薩。出佛左邊安六字大明王。

四臂肉色。白月色。種々寶莊嚴。左手持蓮

花。上中安摩尼寶。右手持數珠。下二手結

一切王印 此印可尋

又云。於六字大明王足下安天人。右手執

香爐。左鉢盛諸寶。曼荼羅四角列四大天

王云。

或云。貞觀寺寶藏大師御筆種子六字曼

荼羅有之。但中尊金輪六觀音之種子計云

餘二明王等無之。兼意等說

觀宿僧都曼荼羅 出小野教造紙并祕書。觀宿聖寶瀧頂弟子也。



大觀德

木郎

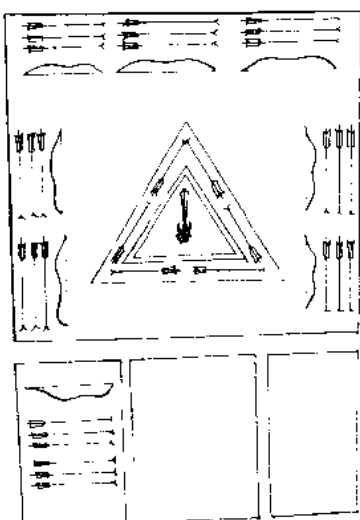
俊寬云普通六觀音圖曼荼羅觀宿傳也
非普通觀音者明仙傳也

圖像 一一一 (裏書三三三)

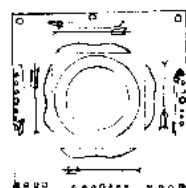
又六字天像天台圖 源運持本也
壇樣異說 小野一說也



天永四年五月二十五日被修行阿闍梨入寺云、付運圖小野一說同之
又樣 石山道場觀意 聖賢用此圖 (裏書三三三)



芳源閣梨圖號安養房仁和寺
若七日一時二時三時任意或護摩時令番僧讀成就禮盤讀之



理趣云爐壇外別置高座師云不用別只禮盤也

儀軌云壇邊禮盤之外設一高座爐壇高座以三尺五寸為其法

讚之後念珠加持之前登高座云

大本尊印言

次取珠念誦真言

次結線有次第

次師從高座下向火爐坐

次護摩畢還登高座

先結根本印讀經若九返多讀好復說護摩之間令傍人讀經云

次下自高座亦就念誦座作供養法讚闍

伽等云

已上傳受集說也古先德說近來白宗不用之請書

請書

被院宣云一天之下無非王土綿素誰人

非公民乎就中某法印年來殊浴無涯之

朝恩高加綱維之崇班雖為佛德豈非朝

恩乎而近來偏伴逆臣謀反之儼類偷奉

呪咀公家云

仍自明日修六字法為長日不斷之行法

可若件呪咀之中所被仰下也且開白已

前早可令參上給委曲面前可被仰含御

氣色所候也謹言

月 日

謹預

院宣狀事

右自來十一日修六字法長日可勤仕御

祈禱之旨謹以承候畢業偏忘朝恩相伴

逆臣之條實雖為末代爭無現罰乎但件

祕法者殊云願主之權那云勤行阿闍梨

共起大慈大悲之心住利益衆生之思所

令勤修也殊此御用意可候歟且又只今

企參院可承綸旨候恐謹言

月 日

本院御所於枇杷殿修之奉行中納言

顯隆已上二通為用意書入之

注進

六字經御修法一七箇日支度事

合

蘇蜜 名香 安息香

五寶 金銀真珠琥珀螺貝

五香 龍腦鬱金白檀丁子沈香

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲牛黃

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲牛黃

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲牛黃

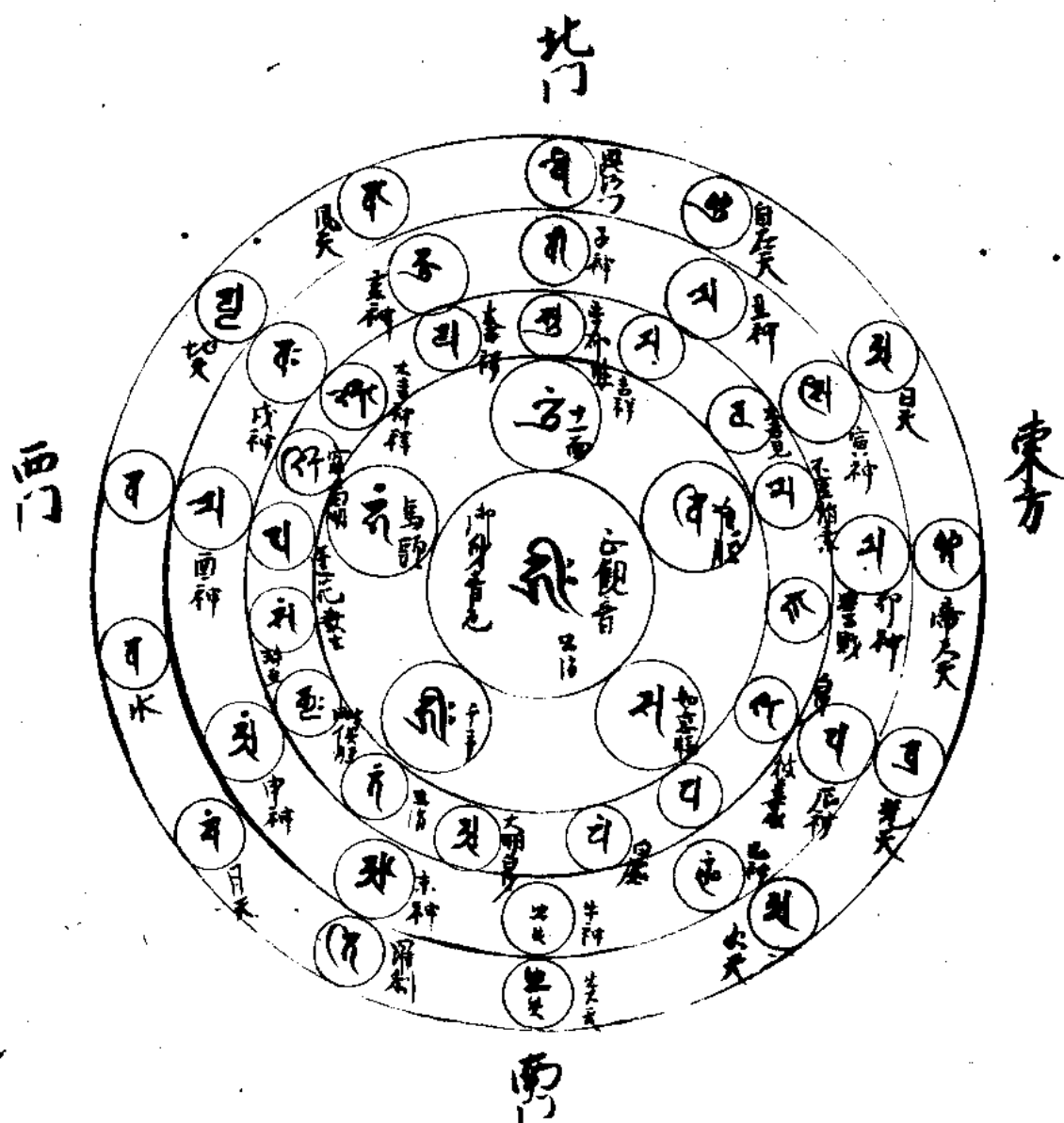
五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲牛黃

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲牛黃

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲牛黃

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲牛黃

五藥 赤箭人參伏苓石菖蒲牛黃



圖像 No. 111. 六字經曼荼羅(其一)

五穀 稻穀。大麥。小麥。菜豆。油麻。

壇一面 加爐桶 脇机二前

禮盤一脚 加半盤 燈臺四本

小燈臺六本 經机六前 已上二種可依律僧數加計經料定

壇供如常 御明一斗五升

壇敷布一端 大幕一帖

大弓一張 箭十二隻 太刀一腰

白練糸一兩 紙五帖 葦七束

阿闍梨 伴僧六口 承仕二人

駝仕二人 見丁一人 淨衣 鉤色

右注進如件

大治四年十一月十七日

大法師寬

保安年中支度同之

行法 付金界。向所修之。半夜時始。或日中羅和日等云。

小野口云。六字法調伏行之。餘家之說。或

息災修之。不可然之由。僧正示給之

(裏書三三五)

護摩抄云。調伏有四種。一攝化降伏。謂調

伏人及非人。我慢不信放逸也。二除難降

伏。謂伏王難賊難諸鬼怨敵難也。三無名

降伏。謂能拔去佛法中刺也。四悉地降伏。

謂能成就召及彼利法也

向南方事者。四季之中。以夏為陽熱方。臂

如夏炎燒物。山水枯渴。草木衰損。佛日陽

光照無明之黑暗。智火極炎。焚煩惱之株

杌也

表白

南贍部州大日本國太上天皇。莊嚴秘密

道場勤修六字明王法 御事 大願旨趣何

者。此有一惡人。忘朝恩伴逆臣。背國家企

謀反。或詣靈社呪咀公家。或祈三寶奉惱

君王。誠是旃陀羅類也。豈無現罰乎。以之

深仰明王之本誓。却萬惡。忝信三寶密教

法。滿眾願 御給也 今法摧天怪之利劍。除病

患妙藥也。六字明王。內祕慈悲之心。外現

忿怒形。黑色威猛之形。偏伏惡人。真言難

思之力。忽除厭魅。一結神呪。堅百年之壽

命。假模尊像。滿無邊之所求。手持太刀。更

拂怨敵。首現蛇頭。能滅惑業。草木無言。呪

於猶生。枝葉人倫之有情。祈早有感應。帝

釋奉仕施護持於一天。四王恭敬與利益

於萬國者也。依之殊凝一心之懇誠。修長

日之行法。成辦無邊悉地。可在此尊威力

種子 行不可得

(裏書三三六)

三形 弓

尊像

左右第一手印。左第二三戟叉。右大刀左

第三月輪。右日輪 形像雖多。左右手大指無名指相捻為說

或云黑佛觀宿傳云。

(圖像) 一一二

師云。此像調伏怨家。成就萬顯形也。又六

字天即聖觀音變身也 (裏書三三七)

驗記云。六字者。觀自在菩薩異名云。

叡山禪堂院在此像云。

鳥羽院今像丈六造立之御

印 觀宿僧都在厚造紙。此印為根本印

以二大指捻中指頭。仰定掌。覆掌。以惠頭

指入定大中間。以定小指入惠大中間。以

惠小指捻定無名指頭。以惠無名指捻定

頭指文

口傳云。以右大指捻右無名指頭。以左大

指捻左中指頭。左手仰掌。右手掌覆。右頭

指入左大指中指間。又以左小指入右無

名指大指間。以右小指左無名指頭押。以

右中指左頭指押也。口傳也。成加持四處

如厚造紙或文作以外御事由鳥羽僧正被示

此印名輪印。摧破義也。六字天結給印。

習祕事也。又陰陽反閉印云。御說也。

信運云。指頭作三角。調伏義也云。

中御室御口云。大三古印云。

眞言

何何何何何何何何何何何何何何何何

法知法法法法法法法法法法法法法法法法

漢字。出六字經。惠什云。梵本兩僧正始

所書付也。非唐土本。仍粗有失。二合三

合字不辨。漢字相違云。

六字神呪經云。此呪能斷。帝釋呪道能斷。

梵天呪。能斷。四天王呪道及與一切所

有邪鬼呪方道術。悉皆能斷云。

衆惡都盡。衆善補處。願此呪常吉。以眞實

章句使某甲書安夜安晝夜常安。得受百

歲。得見百秋文 (裏書三三八)

又印 明仙僧都傳。傳受集一云。根本印。二人押。二無名指。

二手內縛。二中指相立。屈二頭指。捻中指



上節二大指竝立。眞言用上呪

寬祐云。被甲印也。呪也。云云。

道場觀 結定印當胸下

(裏書三三九)
(裏書三四〇)

須彌山上有樓閣。八柱行列。樓閣中有滿
月輪。上有八葉蓮花。上有六字。變成
箭。變成六字明王。身青黑色。具六臂。持
種種器械。十二神等無量眷屬。前後左右
圍繞云。

誦呪步欠呪加持七處

或云。觀想於中臺圓明中有衆字。變成
獨胎杵。變成聖觀自在。入忿怒六字
三摩地。故彼心中有六字成弓箭云。
六臂忿怒
形可觀
(裏書三四一)

字輪觀



或說用五大種子

此說以觀音爲本尊時可用歟。可有
用意

正念誦 六字眞言

散念誦

佛眼 大日 大威德 本尊 六觀
音各別呪 但聖觀音 大金剛輪
一字

讀經護摩了。一字呪以前。可讀一卷歟

(裏書三四二)

勸請句

大聖慈悲六字尊 蓮花部中諸聖衆

(裏書三四三)

發願句

本尊聖者 六字明王 蓮花部中
諸大薩埵 兩部界會

禮佛句

南無六字章句觀世音

召請印

蓮花部心印明

結界馬頭

部母加持 白衣

入我々入

讀 西方法菩薩 師傳也

轉日羅達摩蘇薩他轉羅他轉日羅鉢娜

摩蘇輪駄迦路計濕嚩羅蘇轉日羅乞叉

轉日羅寧恒羅囊謨蘇都帝

御加持 用本尊呪 德呪云云。小野說
(裏書三四四)

伴僧所作事

師云。三力偈後誦佛眼眞言。振鈴後讀經

各三卷。傳受集九卷多讀爲好。文

小野說云。伴僧時間。讀經臨護摩末各令

滿六觀音呪云。

金寶抄云。師主云。伴僧分讀經四人云。

俊寬云。護摩終伴僧先誦本尊呪。次六口
伴僧。六觀音眞言各誦之云。

護摩壇圖

佛供十六坏 大八坏 小八坏

汁八坏 小豆

菓子十六坏 已上日中并開白

後夜粥八坏

初夜無供物

花瓶并供花用安世美

薪 八寸毒木 法陀羅木紫壇

乳木

加持物 華箭 黑芥子
(裏書三四五)

藥種 刺子 鐵末

丸香 安息香 丁子

散香 丁子 蘇香

灑淨 用之 蘇油生棘枳可入云

弓一張 之可張立

箭十二隻 之可張立 佛前立之二隻鳥

太刀一腰 之可張立 佛前立之二隻鳥

桑弓一張 施長一尺二寸。理趣經云。二尺許。開明記云。

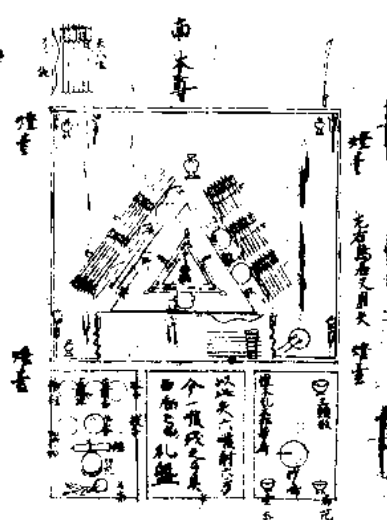
蘆箭四十九隻 或此弓箭不載支度長准弓

乳木 同之

爐三角 各一肘 中安獨古杵 異說 其三角

是南方火輪形也。四角標以矢立之。不用

例標。矢尻板敷立之。長故也



嚴覺奉仕院御修法。承仕前行備物具之間。佛前大弓。此圖定立之。而院被仰承仕云。弓。弦。ハツシテ可立。故僧正。サコソセシト云。

宗意說。大弓ハツス云。
三類形。燒之有二說。小野本尊段了燒之。或說形以下入灰。一ハ三類蓋ニヲハクナリ。
(裏書三四六)



理趣釋云。觀音段。應建立曼荼羅。中央畫觀自在菩薩。○於東門畫天女形表貪欲。南門畫蛇表嗔形。西門畫猪表癡形云。又云。害三界一切有情者。由貪瞋癡爲因。受三界中流轉云。
祕傳云。小野燒三類形。護摩畢。未置鈴杵以前。燒之。先燒人形。次天狐。次地狐。師云。各狹箸燒爐火。以器形之器也。受其灰。覆

蓋不令散。件灰七日了後。相具結線。送檀越。令服之。服怨敵之心也。以湯可服之。以酒不可服之。
後寬云。施主不知云。

宗意云。天狐。地狐。人形。各一枚。一時用之。護摩了。乍蓋覆置金剛盤右。以不動慈救。呪百八返。誦次大威德呪百八返。誦然後。誦降三世呪二十一返。以獨鉢加持之。次爐緣上置。誦法知々言。以爐火燒之。燒間觀念云。

想。一切衆生。依作業輪迴不盡。淨除此業。得解脫。灌頂名。
解脫灌頂者。法身理也。故一切衆生。法身理也。令時。斷怨家。調伏也。已可聞。

祕抄云。石山相應物者。天狐人形也。各以。麴染。榮作之。慎莫知他人。又以墨書其呪。咀怨家姓名。不知名者。其在所可書。內護摩。非是損人身。斷其命根。但爲燒滅其所作惡事。心懷慈。能應觀內護摩義也。作調伏法。慈心爲先。內無慈悲。自損々他。取意兼意云。以麵和毒汁。可作三類形。怨家形也。隨男女作之。

理趣云。傳集一三類形。團粉作之。大教院說。三類形。長各二寸計。各七枚也云。

醍醐法印。三類形。各被用七枚。
開明房說。同之。

重事。小野一說。天狐。人形。地狐云。
後寬云。天地人重之。宗意傳。兼意同之。

信與云。若有人呪咀者。先可燒人形。若地狐氣者。先可燒地狐。餘類可准知之。

信運云。各三分拆燒之云。

傳受集云。不作天狐等形。唯觀行用之云。
射六方事。
有異說。如三類形。小野正說。護摩了。射或本尊段云。

祕口云。以蘆箭。桑弓。射拂六方。燒三類形。後次射之。東南西北上下。其次第也。

先東方。次南方。射也。次西方。次北方。射也。
左モチ向。右モチ向。天井射之。有異說。行者左脇機。體盤間射。爲正。次下方。頭呆左云。或爐底。又拂左方云。

次下方。射也。次上方。射也。次西方。射也。次北方。射也。

行法了後。承仕取集燒。上方結願後。取燒之。但天井ヒキキニハ。特別取燒也。

口云。射時。可想施主怨家。射拂云。息災調伏。共自東方始射也。

聖賢云。護摩了。先金輪印。次本尊印。次弓箭。

結界有二傳。六方十方也。誦六字呪。或六足尊。

如法ハケテ射也。

私件次第結界云。射六方事也。

結線事。
右三說。阿闍梨自結。又極越結之。以件僧令結。爲正。師云。右ニヨリテ左ハ合儀說。

小野祕書云。供養法之後。護摩之間。以件僧一口。不可嫌上下。僧令結。一時以一箭。

百八返結之。三時三箭。凡七日。間二十一筋也。
本書云。三尺五寸爲法。誦法知々。呪可結也。長日修時。七日一筋可結云。已上。

後寬云。振鈴後。伴僧結之。每日百結。三時三百結也。一七日。料二十一繩。儲也。七筋爲片。二行十四條也。右合爲繩。三尺五寸爲百結。或說向鬼門結之。正實方也。已上。

理趣云。傳集一近代。不用高座。以細長線阿

蘭梨取片端。一度誦呪振鈴。檀越取片端懸無名指一結。如此滿百八結云。者示告檀越令結之義也 振鈴者行

小野僧正上東門院御祈令行給。每結時

振鈴。其聲聞食。檀主令結線云。七師師抄有之

傳受集云。取珠念誦真言。每滿百八一結

則灑香水於病者。百結已了。以糸繫病者。

無名指。男女左右又左師繫右無名指。不論男女。

以其結線者病者身。已上施主結也。

遍智院說云。若施主在遠所。或重病者。自

若伴僧結之送云。傳受集一說同之

解線

小野云。有解線法。悉地成之後解之。但故

僧正仁海僧都成等。俱不被行之云。

兼意云。施主所願成辦了。更備香花等三

禮。啓白。師自解之。檀越諸齋會等云。

糸埋生氣方。近來不行事也

護摩

相應句 阿鼻遮魯迦

初火天段如常

部主段

先以嗽口三度灑施爐口

次勸請部主爐中。我有心上乳字。成月輪。

中有乳字。變成棒。我身舉體。即棒也。

即成大威德尊。六面六臂六足身也。六臂

取種。器械。以觸體爲瓔珞。身青黑色。無

量由旬。以印言加持四處。所謂心。額。喉。頂

也。二手內縛。二中指直豎。頭相捻。即成

唯願部主 還著本座

唯願部主 還著本座

次取右一花。誦上呪三返投爐。想此花至爐中。成蓮花座。上有乳字。成棒。變成大威德尊。相好如上。結前印

啓白云

我今奉請 大威德尊 唯願大悲

以本願故 加持此處 受我微供

作是言已。誦先呪。末加翳醯翳啊。翳吽

錢解句。結印

曼荼羅如來。令冥會爐中身。一體無二

次嗽口三度

啓白云

至心奉獻 嗽口香水 唯願部主

納受護摩 悉地圓滿

眞言曰

唯願望利迦攞嚩跋吽欠阿鼻遮嚩迦娑

婆賀

次塗香三度

次乳木三度

次五穀三度

次丸香三度

次蘇油大小各三度

已上九種。啓白眞言。如嗽口

次普供養印言。三力偈。祈願句。如例

次嗽口三度

次撥遣 右手取一花。投曼荼羅本位。想

成蓮花座。即結劍印。誦呪。末加藥車。

穆撥之

次金剛合掌

唯願部主 還著本座

唯願部主 還著本座

本尊段 先嗽口三度。灑施爐口 次勸請本尊。令坐爐中 結定印

觀念有輪。中有乳字。成蓮花。上有

乳字。變成箭。我身舉體。是三形相也。即變

成六字。明王。六臂持種。器械。相好圓滿

次本尊印言。加持身四處

次右手取一花。誦呪三返投爐中。觀想此

花成蓮花座。上有乳字。成箭。變成六字

明王。相好如前。此觀了結本尊印

啓白云

我今奉請 六字明王 唯願大悲

以本願故 加持此處 受我微供

作此語已。眞言末加翳醯翳啊。翳吽錢解

句。曼荼羅尊。令冥會爐中如來身。一體無

二云

次嗽口三度

次蘇油三度

次飯三度

次花三度

次散香三度

已上九種。啓白眞言。如上

上供物了。飯器入穀花香等。承仕混屯

二器。一器諸尊段料。一器世天段供之

次蘇油一度

次六枝乳木

次加持物

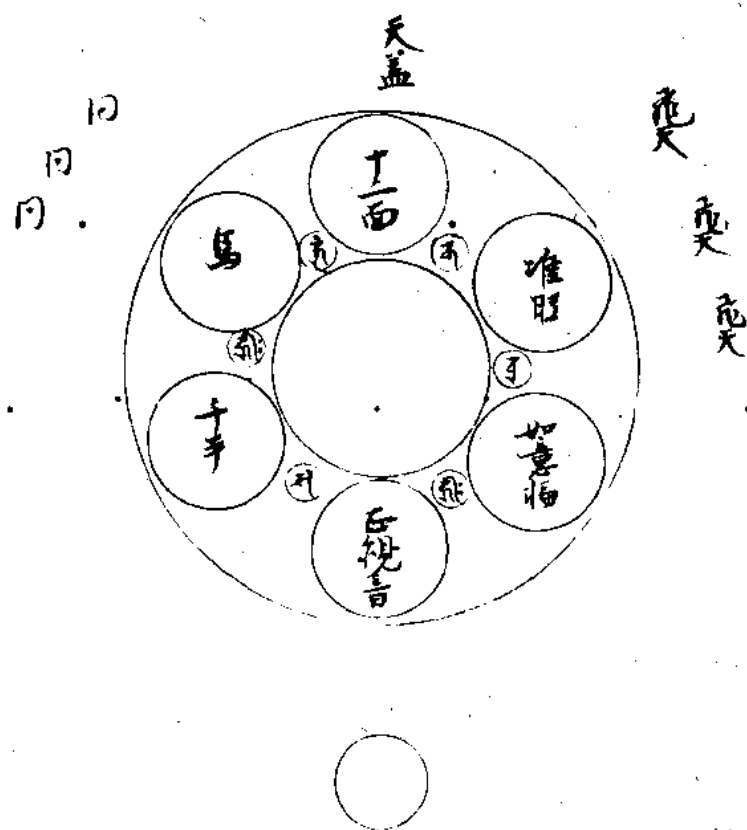
觀念云

觀念云

觀念云



圖像 No. 113. 六字經曼荼羅(其二)



小野秘抄云。明仙僧都曼茶羅云。傳受集云。六觀音中置金輪佛頂。口云。曼茶羅之中央金輪最勝佛頂也。即觀自在菩薩之本身也。故爲觀音本尊歟。

又前月輪鏡也。大國作法入深山時用方尺鏡。其面現惡獸影。仍見自影。惡心自然退失。以此義本尊前圖鏡。呪咀神等現自像。見之威神自然ヨハクナル也。

又正觀音三形用鏡。有深意。論紙經說之。十八日觀音供同之。呪咀神或云。須比其字。其尾無鏡所現影。各別印言。授給後可用。

如來形黃色。法界定印上有輪光。有七輪。內縛立二火爲輪。

變成獨古杵。變成聖觀世音菩薩。根本印。二手外縛頭指蓮花。

成八葉蓮花。變成千手千眼觀自在。菩薩八葉印。

變成寶形。變成如意輪觀自在。菩薩用三種印言。

變成軍持。變成十一面觀自在。菩薩合掌或八葉印。祕印也。

變成應入縛羅吉里。

變成中臂。變成准抵觀自在菩薩。印二手合掌。二地二水夾入掌。屈二風著二火背。二空著風側。中臂印也。

變莫颯多南三貌。三沒駄俱抵南恒爾。

也他庵者禮主禮准抵賀。印真言如常。

道場觀石山

先結定印。當臍下觀。有字。爲八功德水。廣遍法界。無有崖際。其水中心欠字。變爲寶山王。四寶所成。其上有大樓閣寶王。高無中邊。諸大妙寶王。種々嚴飾。鈴鐸繒幡。微風搖擊。珠慢瓔珞。半滿月等。而爲莊嚴。中心有字。變成初割蓮花。變成觀自在菩薩。及蓮花部聖衆。皆在其壇上。諸聖衆天龍八部。皆在其中。內外供養。男女諸天。挑衆供具。足惠樂天。奏諸音樂。供養諸尊。此觀繁廣。仍存略。唯步欠七處勸請句。

六字章句觀世音 六大八大諸觀音

禮佛 南無阿利耶縛嚕枳帝

南無蓮花部衆諸大薩埵

已上顯果傳

又傳 以金輪爲本尊

三 劍 智拳印

印 六字呪

眞言 六字河臨略記

先於本所任例修六字法七日。息災調伏。可依便宜河之趣方也。臨結願夜。初夜時。分結願日。次不宜者。第大壇移船。阿闍梨承任。六日後夜時了云々。

檀越難役人等。相共臨河乘船。必以本尊向下不得向上。若有從南流北川者。調伏尤吉。本尊向北故。若有從北流南河者。息災行之。本尊向南故。但雖本尊向南。亦調伏尤吉。降伏怨家呪咀故。其河必用檀越之家下。所以木津河向北流下。行調伏法。雖有便宜。向王城流下。所以不可用之。檀越若有南京用之尤吉云々。七時必從下行之。至上七瀬指登云々。修了以後還本所。不下流之末云々。能々可得心。

河臨支度

大船一艘。境所料若無。可並二艘。船二艘供所料。護摩壇一面。有廣五尺計。燈盤一面。半燈。脇机二前。燈械五。

壇敷布二端 大幕二帖

鐵人形四十九枚 藥人形四十九枚

華人形四十九枚 管拔七枚

解繩少々 小大鼓一口 若二口

寶螺四 錫杖四 鈴四 磬四

米七石 乃五十 人供可計載之用。可有

油七升

船圖

壇所船以幕引周壇所。幕中心置壇。中心置火爐。前圍伽。前并護摩支分等。皆悉安置。向壇掛本尊像。

行法供養法念誦護摩等如常七續各一日來伴侶數雖少河臨夜別可增加請云

作僧二十人護摩間十人誦經十人念誦念誦人中一人結緣一人其念誦誦經之了護摩之後作僧中若有堪能者中臣稔令讀

時別七返云

作僧中無之者別請陰陽師云又以一人令解繩或說檀越解繩云

中臣稔問四人作僧口誦六字呪振鈴鈴者

也、四人誦呪振錫杖四人吹螺又一人

不間斷打磬口誦呪二人打大鼓作僧數少者承仕等

動其後

此間阿闍梨念誦誦經人怒音噴月內起慈悲唱呼聲其間檀越應響即取鐵槩

槩人形各七取合摩身息吹繫置之即有

一人茅輪一枚繫檀越後令越而後以散

米加彼人形即解繩并スカスキ流河中

入之打一宇金後輪螺錫鈴等音止之

然迴向等如常

漸々如此第七潮同之七時同備佛供仍

一夜支度同七箇日修法七時了後還本

所後夜日中結願

歸命釋迦彌陀尊 大悲觀音大勢至

弘誓本願深如海 放大光明滅衆苦

我今依教作次第 誦持六字神呪經

唯願慈悲觀照我 所修行法成悉地

爲令一切諸衆生 消伏毒害呪咀等

施主安樂得長壽 是故我今稽首禮

我今奉獻諸供具 燒關塗香花食燈

讚歎蓮心三業禮 一々諸尊皆實相

實相周遍法界海 法界即是諸妙供

供養自他四法身 供養六字觀世音

佛法僧法福田海 三世常住普供養

我佛法界加持力 不受而受哀攝受

唯願本尊六觀音 觀照我身懽喜故

所知證誠所行法 決定顯得大靈驗

南無大慈觀音 南無大悲觀音

南無大光普照觀音 南無師子無畏觀音

南無天人丈夫觀音 南無深遠觀音

已上六字經法料也

有七禪師

元嘉元年七月二十七於光明寺尊

勝道場雨中馳筆了同西刻如法早速

一交了 小野末葉教果

寫本云

元應二年正月二十八日未刻交點了

覺禪集

元久三年四月十一日出寫了

同十三日交點了之

延寶七年六月二十四日於吉祥園院

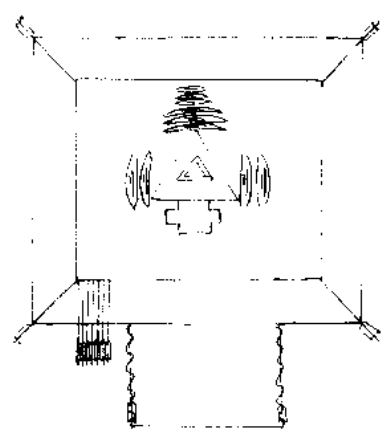
北軒下遂寫功了 佛子榮任

或抄云

或抄云

或抄云

或抄云



六字經供一七箇日支度事

合

蘇蜜 名香安息香

弓一張 箭十二隻 太刀一腰

白練糸一兩 壇供米二石一斗

御明油二升一合 壇敷布一端

阿闍梨 承仕一人

斷仕一人 淨衣黑色

右注進如件

嘉應二年八月十日

結線料 三類形并矢羽料

還著於本人事

疑云觀音大悲無愛憎差別所呪咀

人設念觀音何還有惱本乎答觀音

非惱本人呪咀之法必託鬼神所呪

之人。若念觀音之威神者。惡鬼不得便。不能便不能惱害。若不惱害必害本人也。釋心也。

〔真書〕三三六

又黑六種。弓刀 印宿言如常

種。初割蓮花 印三古言如常

〔真書〕三三七

敦造紙云大谷

六字經法以六觀音爲本尊。金輪中尊

六字天觀音變身事六字經云。觀世音觀照我身。憐愍我故。即說呪曰。

師云。六字天。即觀音變身也。

六字驗記云。六字者。觀自在菩薩異名也云。

驗記小野經藏有之。

莊嚴寶王經三云。彼觀自在菩薩摩訶薩有六字大陀羅尼。難得值遇云。

六字陀羅尼者。可々六波羅蜜圓滿云。

眞興記云。以六觀音配六道。天台意也云。

止觀二云。六字即是六觀音。能破六道三障云。

菩提心義一云。諸觀音經有六字章句陀羅尼。

天台引雜呪集。六觀音爲六字章句。破六道三障云。惠心要法文云。又有之略文。

六字經法云。唐書六字眞言表六觀音云。

小野次第內題云。六字觀音念誦次第云。

〔真書〕三三八

莊嚴寶王經云。有得此六字明王陀羅尼者。是人貪瞋癡三毒。不能染汚。

明日

〔真書〕三三九

明詮元興寺法相宗三會已講。元律師大僧都陞者也。但眞言師不見。

明仙天台一會講師。餘慶師也。又眞言師不見。

定賢道場觀云。四面青色像云。可尋

〔真書〕三四一

觀祐云。觀自在王如來軌印。或臥起用之。摧罪印。摧惑云。

〔真書〕三四二

讀經事

或說云。阿闍梨讀經護摩前云。以後フタシ

〔真書〕三四三

又發願

本尊界會 大悲大聖 觀自在尊

蓮花部中 諸大薩埵 六字神呪

甚深妙典 兩部界會云。

禮佛句

南無大光普照觀音

南無大梵深遠々々

南無師子無畏々々

南無天人丈夫々々

南無大慈觀音

南無大悲觀音

兼意云。八字文殊。如來慈護可用云。

〔真書〕三四四

太古法務云。御加持大威德呪山說

〔真書〕三四五

七禪師云。乳木只息災調伏本法本未也。小野僧正御說云。

或云。麥粉丸黃汁作餅云。

〔真書〕三四六

七禪師云。大弓大刀八方鎮。運心可有云。

又支度不載之傳有之云。

傳受集一云。大弓一張。箭八隻。大刀一柄立之。或說。大弓向外立之。隨形左右立之。必無定所云。

大箭四副。櫛立之云。

石山云。二十一乳木。蘆矢可用云。

私云。百八普通乳木。歟

信與云。息災不用葦箭。用例乳木云。

聖賢云：三類形藥種之次燒之。先結召罪摧罪印。并誦眞言。或加六足呪。或傳云：先取天地人形各三枚。合入掌中。屈進力與呪來去三返。是召罪印明也。起大慈愍心。想進力端各有穢字。變成劍形。曳一切有情及自身罪障。召掌入中。黑色如雲。衆多鬼形。即不解印。進力召之誦。窮劍印。進力入掌。誦咤。索印六指內縛一誦。饒鎖印。次摧罪印明。不解印。忍願申如針。觀獨貼杵。身變成降三世明王。心起慈愍。想願端有怛羅字。忍端有卓字。從字發生火焰。故諸罪障摧破。焚燒。以忍願三指。咤字一指。怛羅字一指。毛字一指。次護身。定初把三類。惠羽執杵。誦本尊呪。左右轉杵。辟除結界。印身五處。然後取人形三枚。合聚。即二段引切。誦降伏呪。前後三度投火呪曰。素。次取芥子。誦大日五字呪。火變已。上人形。又天形三枚。及地形三枚。作法不誤。如前人形。

或人取三類形。結召罪印。先誦四字明。而後誦召罪呪。

地布云：三類形本尊段各四枚。或六枚云。又二枚餘段各一枚云。

口云：三類形六方射事。

或本尊段藥種後燒三類形。次射六

方。或藥種後燒三類護摩了射六方云。

信與云：三類形燒事。

本尊段末吉射六方事。世天段。同前。或說云：護摩了可行云。

或傳灰不送也。

兼意云：三類形以紙影之。插蘆云。

六字法云：唐書可作排木。薑二具。金壺排具。置二方。辰巳彼怨人名書。此壺中入。以五色糸道。辻穴。堀。謨成蓮云。三類各別三器入之。令置左脇云。

信與各七插木端云。

驗記云：怨人姓名書於排鐵券。天獄地獄之地。二尺八寸深穿埋。此法者。天厭地厭法也。密法不輒不可用云。

又云：祭路中埋一切惡鬼。惡人靈。自此往還好。結路中者丑寅間。

又云：天獄者。辰巳間。一切天魔。自此往還。地獄者。戌亥間。一切鬼。自此往還云。

〔真書〕三四八

六字法云：唐書五色絲八尺云。

成就院云：一時五百返。五結。結願時三百返。誦加可滿百八結也云。

結數異說。

兼意云：一時五結。一七日百結。眞言一時五百返也。結願時不結。

七禪師云：一結別萬返百結也。

聖賢云：一時三十六返。三時百八結也。

亮惠云：夜二筋。七日十四筋。急事初度結線事。安置佛前耳。後寬同之。護摩間。伴僧二人。結糸二筋。二二百結也。餘讀經云。

○

灑水事。

聖賢云：結線了。加持灑水。施主灑之。次祈願。兼意。聖賢兩師散念誦間結之云。可然所聞鈴聲。令結給云。伸書云。兼意。

〔真書〕三九九

大谷云：六字種子加金剛佛頂。或說聖觀音計爲本尊。

亮惠云：調伏馬頭爲本尊。

或如意輪本尊。習也。六臂即六觀音也。

又云。或傳大威德爲本尊。

又五大尊。

聖賢云：明仙僧都印。次觀。次觀宿印。用六字呪云。

石山內供云：正觀音爲本尊。又六觀音云。

〔真書〕三五〇

六字供所。

奉供。

供養法六十三箇度。

奉念。

佛眼眞言一千三百二十三返。

大日眞言六千三百返
 大威德々々六萬三千返
 本尊々々六萬三千返
 正觀音々々六千三百返
 千手 如意輪 十一面
 准胝 馬頭 同上
 一千金輪々々六千三百返
 右奉爲 親王殿下御息災延命增
 長寶壽恒受快樂御願圓滿自七月
 十二日至平今月今日并三七箇日
 夜之間殊致精誠奉供如有
 天治二年八月四日
 阿闍梨大法師寬信

覺禪鈔 童子經

童子經供養作法 大師記
 以月八日若十五日。若他吉日先子母洗
 浴著新淨衣禮十方佛
 次定梵天座 可用机之類 七卷抄云
白黑月八日十五日云々
 次定大鬼王座
 次每座書鬼名立 次備供物
 次米二坏 御明二坏
 闍伽一前 種々味美菓子飲食
 先梵天 次供大鬼王
 就中十五小鬼神供乳。若五穀粥堅而盛
 按手散供加盛。每按手各座宛定。先幣二
 捧梵天。以散供小々打散諸鬼神供。宛如
 財施
 次三禮 叭 散花 次表白
 次奉爲梵天誦心經 次四弘
 次訓童子經一遍。次取小芥子。導師捧頂
 上拜後置壇上
 次以五色糸付師左手。糸末令持他清淨
 之人。五縛呪一結盈一百八遍。後留唱種
 々寶號。初詞任意
 次供養眞言 次六種 次若呪願
 次以淨桶梵天供物少々諸鬼神供物入
 桶內。尋子生氣養者方掘穴。深人件供物。
 不爲烏犬可令食之。但可避天一帝白方。
 即持誦鬼神遠行大呪
 次廻向

次件經百八結糸并芥子等令持生子枕
 方者。大安樂更無病患。俗不知此旨。大底
 書持者殊驗了
 栴檀乾闥婆神王形。如冥官甲冑形也。坐
 石上垂右足。以右手押膝。左手持縛日羅
 戟俱利毛形也。頂上有牛頭。耆年宿德形
 也。有王相云々
 塞陀者形忿怒利毛形也。裸形也。著天衣。
 坐右上。左手持三古戟。右手劍印也。牛脚
 坐也。餘略之
 已上記。小野傳用之。諸家同之。十五鬼
 唐本經有之。此經書略了
 右經爲寫本載之。又同經唐本持之。但
 繪圖等有之
 支度 左小辨光賴
若公府
 童子經供養支度
 蘇蜜 名香 安息
 壇一面 燈臺二本
 脇机一脚 半壘一枚
 佛供十七杯 菓子十七杯
 燈明二杯 壇敷布一段
 薄樣二枚
 五色糸各一筋 長五
尺
 生氣方水一桶
 桑木一枝 東枝
 墨 筆
 小刀 淨衣 白色
 永治二年四月十四日 勸修寺

童子經法 又云諸童子。又云乾闥婆法云。

小野傳云。食時以前童子經一卷無言可

書寫供養也。令沐浴清淨。信心堅固云。

或傳云。於持佛堂懸十五童子曼荼羅。於

其前向東方書之。東方增益方。又延命方

也。又藥師方也。檀波羅蜜方也。

或云。產以前向母生氣養者。方可書之。

已上

石山云。加持供物如例

次三禮 次如來唄 事由 神分

次經題名 次發願 至心發願云。

五大願等 次大鈎召

次淨土變 唵步欠

三力供養 次勸請印

次燒闍塗香花等 次第供之

次讚 次讀經

次結線 次後供

次迴向 次封經了

已上

一。五色糸兼日儲之。長五尺細少箸計可

合云。 或云。五色付胎藏用之。若白色計可用之。云。顯果云。長六

云。七尺

一。石山云。先晨朝酌花水則加持明。

取筆供料并硯水晨朝時洗滌云。

師云。當日寅時若平旦。見之。生氣方花水取之。

整法衣三部護身

次向東方立唱。梅檀大乾闥婆名字百遍

次十五鬼神名各七遍 二字 如例

次燒香一盃 不絕燒名香 寫經了 令母受持八齋戒

已上石山 或云。披三部被甲。成就院云。硯水去垢。明加持之。執筆加持之。

一。料紙桑木事

勸修寺傳。白薄樣。若薄紙二寸三分計。切

用之。兒之住所。東生桑木。東差枝。取細剋

入硯水云。 東方即一歲生氣方也。見二三歲。件生氣養者。方可取用之。

或云。寫經墨去垢。明不再磨。筆一管不再

取云。 顯果云。顯果產生安穩。其言并易。產陀羅尼。尤可書加云。又端為惡。沙摩呪書之。

唐本圖 梅檀乾達婆 十五童子 (裏書三五二)

圖像 一一四

圖像 一一五

圖像 二九

圖像 一一六

圖像 三〇

壇圖 古次第云。江河邊作。壇云。

口傳云。佛供居次第。如曼荼羅坐位云。

洗米十七杯。菓子同之。開白。日中此定也。

初夜無供物。後夜用粥二杯

石山云。大小并十六杯供物。洗米乳粥一

杯。蘇蜜菓子等云。 成就院云。燒入蘇蜜云。 用之。 (裏書三五三)

行法事

實任云。向東方供之。覺信云。丑時供之。

師云。梅檀乾闥婆王十五童子。供本尊也。

付十八道可行之。往年。先師法務御房。光

賴辨若君。祈被修三時御手替。令勤仕云。

不動主事 付梵天

勸修寺傳云。中央可觀不動尊 云。大師。御記無之。

仁和寺流大僧王說云。童子經以不動

尊為本尊。雖無指師說。依為天等主用

之云。

心覺說。十卷抄云。付不動法供之。道場

觀中尊觀之云。

兼意云。乾達婆為中尊。以十五童子為

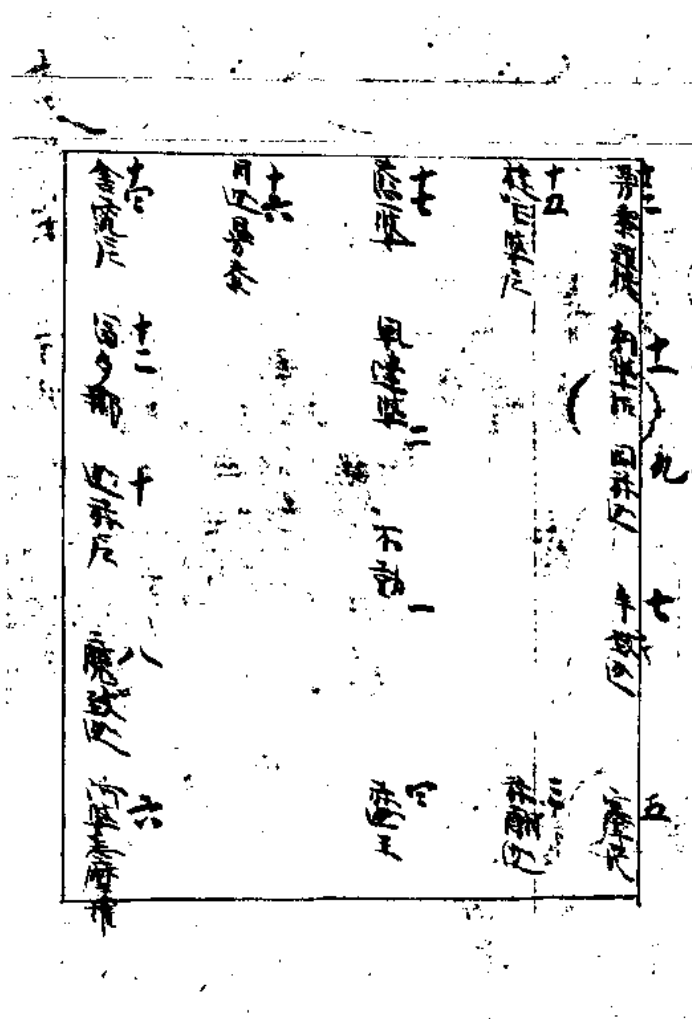
伴。可誦大鬼王呪。可行不動法也云。

實任云。以梵天為主。石山傳也。勸修寺

圖無之

種子 三昧耶形 鼓 或云。鉢

本尊 乾闥婆王 平像如



圖像 114. 唐本童子經曼荼羅



圖像 No. 115. 童子經曼荼羅樹乾闥婆



圖像 № 116. 童子經曼荼羅(其一)

印 內縛申水輪勿頭合
眞言

義莫三曼多沒駄南尾戌駄薩縛羅縛係
爾石山用之

加持供物 小三古印用枳里々々呪
次施甘露印明

舒五指臨食器歸命可有觀
道場觀集無之石山

宮殿中有荷葉座々上有有字變成大梵
天王々邊荷葉上有有字變成栴檀乾闥

婆大王其荷葉邊有有字成十五鬼王七
萬八千鬼神前後周匝云々

顯果云結如來拳印七處加持云々
十五鬼勸請印普通傳大鈎召

二手二小指二無名指內又大指柱餘四
指開來去眞言曰

歸命毗令々闍微枳履爾履訶沙難羅
婆難持持沙難羅飲滿印言印與顯

呪曰
歸命唵訶利々々藥叉尾爾夜達履比旨

々々羅吒薩羅藍々々々訶散難微訶散
難弱呼鑊斛大梵天王印言胎

定以空持水如取花形
歸命鉢羅二合惹鉢多曳寶

成就院說唵沒羅瘡摩寧曳ソハカ
乾闥婆王印言

內縛申水輪勿頭合疏云水相列

歸命尾戌駄薩縛二羅縛引係爾寶
十五鬼印言師傳

金剛合掌 各名號呪
羅刹主印言胎

左手空捻地水甲火風竝堅惠刀也
歸命羅吃察二姿地跛路曳ソハカ

諸樂又印言胎
外縛水堅合風屈如鈎勿付本文內縛者

歸命藥乞又濕縛羅ソハカ
已上用否可隨人

勸請之後讀經
次經釋或表白
大師御記云訓經一返讀了次取小芥子

導師捧頂上拜後置壇上云々
正念誦不用之

散念誦
釋迦 光明 延命 梵天 乾闥婆
十五鬼 童子經 心經 仁王陀羅

尼已上大金剛輪七返一字
讚四智石山云延命菩薩讚

唵縛日二羅細云或云此旨々々南無率都帝
禮佛石山

南無摩訶毘盧舍那佛
南無釋迦牟尼佛

南無大梵天王
南無栴檀大鬼神王

南無一切三寶顯果云十五鬼梵號
已上師傳也自餘如十八道云々撥遣

用天等右手彈指

結線事
經題名之後結線以五縛眞言一百八結

線經上卷可與施主云々
或傳五縛呪替用不動眞言是一祕說也

顯果云用不動慈救呪三寶院傳也云々
或師云結線一百八結之後又可有十五

結此十五鬼王料也云々
般若僧正御傳云々

石山云誦眞言百八遍結五色糸每度次
呼十五鬼十五結次大鬼王云々

或云乾闥婆呪一返一結十五鬼
梵名上加略終加沙呵

大師記云以五色糸付師左手末令持他
清淨之人五縛呪一結盈一百八遍之後

唱種々寶號初詞任意文
惠什云童子經中以五縛々鬼神文何事

乎
答是由呪力故鬼神之五所可蒙縛義也

謂左右手足并頭也配此五所云五縛也
云々是祕說也

又六字經之中悉被五縛也文是又此
義歟云々

結線眞言
勸修寺成就院奧初呪結線次呪

多姪他阿伽羅伽那伽々々波漏祿祿
祿伽婆祿々々不祿羅收補修羅俾遮羅

俾波陀尼波羅呵昌利沙泥那易彌那易
蘇婆呵
經云若有鬼神不順我呪者我當令其頭
破爲七分如阿梨樹枝文

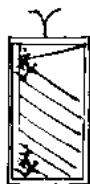
經封樣



切當高二十三分 合三

勸修寺法務御房之傳頗有兩說右圖爲正說是丹後守 惟方 若君祈令書給封樣也

又樣



僧都明海 令奉授給是一說也訛也後日先封樣重令授給云 已上勸修寺

信與云經書了以五色糸卷固其上下以紙裹之上下書封所謂印字也覺印云經書畢軸表紙ヒモ尤可有也其上薄樣裹上下四方書封送之云

顯果云以命木爲軸生年色紙爲表紙同色絹爲袋向玉女方懸之云

隨開記云先撰吉曜吉宿日其夜密取檀越生氣方水 或鹽 一日之中書供養供養

多日之致功爲勝 以本命木爲軸裹用生年色絹以五色線爲緒 一色九筋純用一種糸不左右令結以五大輪真言隨色加持一呪

一結五色五大也或五色也錦以裹之若損破時不捨糸絹其上可裹作法時畜生女人根缺人不見之

藥師經云以五色線作囊盛之囊綿云

私云顯果傳依此文歟

卷數 天治年中親王卷數大略同之所遺以未付之

十五童子供所

奉供

供養法四十二箇度

奉讀

童子經四十二卷

奉念

佛眼真言四千二百返

大日真言四千二百返

不動真言四萬二千返

護諸童子陀羅尼八百八十返

大梵天王真言四千二百返

栴檀乾闥婆王真言四萬二千返

一字金輪真言四千二百返

右奉爲 大施主殿下御息災安穩除病

延命恒受快樂所願圓滿始自今月十四

日迄今日并二七箇日夜之間殊致精誠

奉修如件

久安元年十月二十八日

阿闍梨權大僧都法眼和尚位寬

供物幹事

大師記云以清淨桶梵天供物少諸鬼

神供物入桶內尋子生氣養者方掘穴深

入鳥犬不可令食之但天一帝白方即誦

鬼神遠行大呪云 經裏呪

平等房傳云佛供等供養後新小桶納

入紙繩十文字結施主之許送之兒生

氣方土穴堀填之繩長二スチヲ竝片

端〇ナニ取結上ソハニ結云

信與桶封可付產以前ナラハ母之生

氣養者方埋之產以後ナラハ子之生氣養者方埋之云

童子經略作法 日一時花一水等事如上

師云作法普通之真言如經供養可修之

經書畢母令受八齋戒

次大小十六杯供物備之 洗米乳粥一杯 蘇蜜菓子等

禮佛 著座 禮 塗香 護身法

灑水 次加持供物如例字等 表白

經題名 發願 五大願 一切普誦

次釋經 次神分 五悔 發願

五大願 普供三力 供養法畢

次散念誦了 讀經 結線 作法如上

大金剛輪 一字 後供養 撥遣

三部 被甲 禮佛封經送施主許

已上師口傳也用不可任心云

佛說護諸童子陀羅尼經

爾時如來初成正覺有一大梵天王來詣

佛所敬禮佛足而作是言

南無佛陀耶 南無達磨耶

南無僧伽耶 我禮兩足尊

照世大法王 在於闍浮提

最初說神呪

彌伽迦 彌迦王 驚陀 阿波悉摩羅

牟致迦 摩致迦 閻彌迦 迦彌尼

梨波坭 富多耶 曼多難提 舍究尼

捷吒波尼 目佉曼茶 藍波

南無佛陀成就此呪護諸童子不爲惡鬼

神之所燒害一切恐怖悉皆遠離蘇婆呵

時梵天王聞此呪已歡喜奉行

護諸童子經

已上略本經世間流布又成就院抄被載之用不可隨人也

寬保元^{辛酉}年六月十五日雖難堪海暑遂校合深收竹目木底了可畏君子轉軸猶莫怠

眞言一宗勸學院末資

權僧正賢賀

五十歲

〔卷三〕

十五童子神供

名香 沈白檀

米五石 油五升

壇三尺八寸 蠟燭布半端

闕伽桶一口 杓一柄

折敷一枚 長櫃一合

承仕一人 駝仕一人

已上賢覺自餘物勸修寺同之

舊支度云

五色糸一丈 大麥

小麥 大豆 小豆 各五合計

紙一帖^{外料紙} 淨薦二枚計

大小土器少^{云云} 又^{云云} 三井銀錢等供云云

或云柏百枚 硯時花

雜香 菓子

粉張絹一尺 机二前

篠炭

送文 光顯

童子經支度

蘇蜜 名香 安息

薄樣二枚 五色糸各一筋^{長五尺}

生氣方水一桶 桑一枝^{束枝}

墨 筆

小刀 御淨衣 白衣

下文一枚佛供 菓子 燈明料

兩度云云

〔卷三〕

又世間流布有中央乾闥婆王四方

十五鬼并十五兒等圖之可見

〔圖像〕 一一七

此圖園城寺圖相叶但十五鬼左右

居之上下空也

易產生法^{古次第有之三井寺}

先種莊嚴道場

次曼荼羅安置其形像中寶月智嚴

光音自在王佛^{身色黃如來形也左方藥師佛施願印右療病印}

觀自在菩薩身黃色左執柳枝除病

相右持鬼頭五目面黑而牙生右地

藏菩薩合掌後左大梵王如常右栴

檀健闍婆鬼神王著甲冑著師子冠

分相身黑赤左持如意珠右執三古

手持十五鬼頭安左右摩利支天訶

利帝母十五鬼神園遶

一字頂輪王陀羅尼自在王治

濕毒陀羅尼^{二十}已上三井

鬼王形像事

十卷抄云乾闥婆王形如冥官甲冑形坐石上垂右足以右手押膝左手

持戟利毛形頂生有牛頭以老年宿

德形云但說所未勘之現圖又異

之云云

或圖云三戟又各一又指貫五鬼三

又合十五鬼也

形色經云樂乾闥婆王頂上八角冠

身相赤肉色身如大牛王左定執簫

笛右惠持寶劍具大威力相

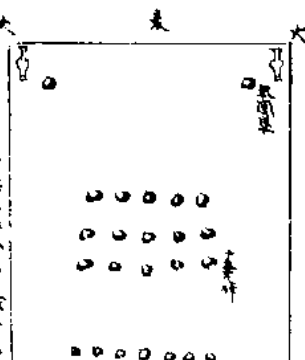
成就院云藥師散花用之

加持水事

顯杲云難陀跋難眞言以加持後千

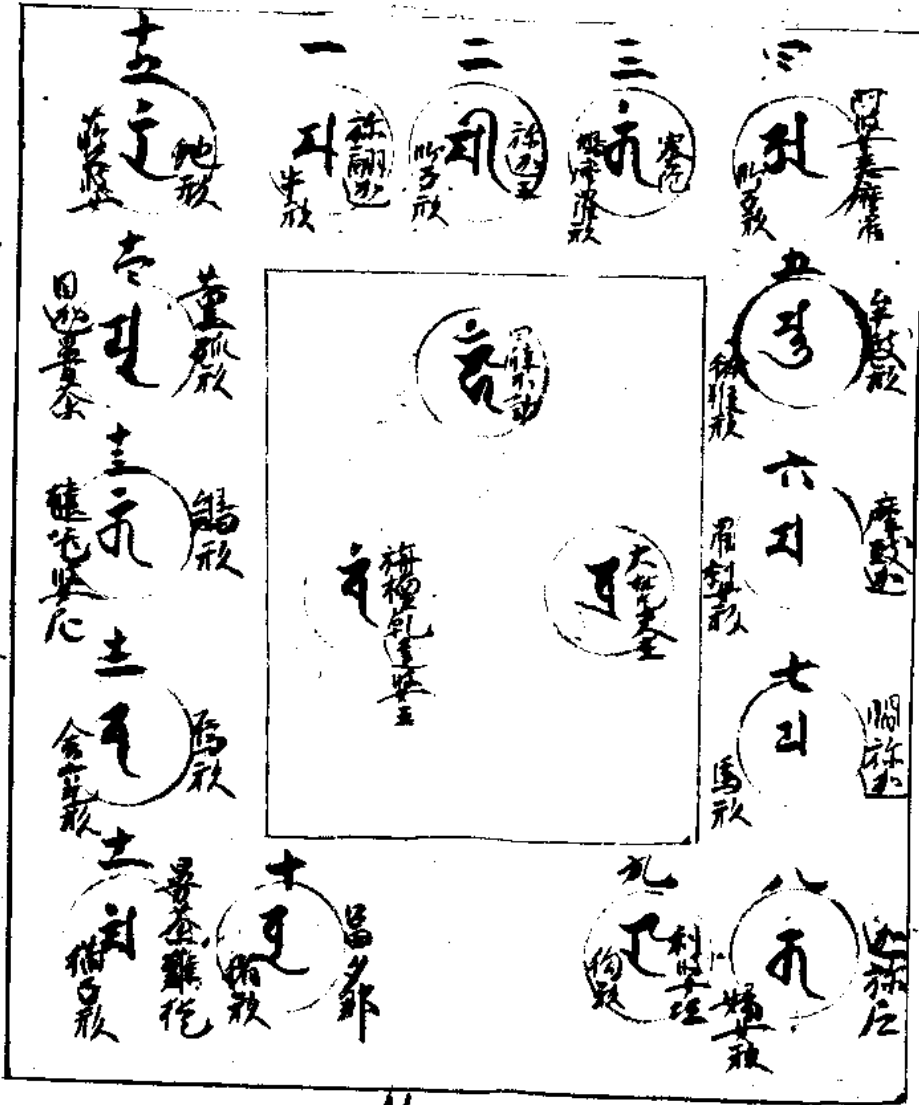
手陀羅尼五返誦云云

〔卷三〕



〔卷三〕

或口傳云始自梵天至于十五小鬼一捧供物云云



仙洲山宅居

復興三教
西七

圖像 No. 117. 童子經曼荼羅(其一)

勸請句
三五四

乾闥婆天威德尊

十五童子諸眷屬

發願句

乾闥婆天 十五童子 已上聖賢

釋經事 隨人用之

諷讀童子經一返 佛說護諸童子

陀羅尼經將今釋此經可有三意所

謂大意釋名入文判釋也初大意者

大衆生根性萬差ナレハ設教法蘭

菊也如明醫隨病施藥而此經爲除

諸小兒嬰孩厄害依大梵王請問如

來所說妙典也實一句觸耳類增萬

代福壽一偈染心人成二世悉地其

威驗莫大者也即大意也

次題目者能說教主此云覺者知者

也於菩提樹下唱正覺能知世間總

相之事故云覺者知者也說者所說

法護者舉經用諸童子者舉所護陀

羅尼此總持總證無量教經總一切

法故云總持經者聖教都名故佛

說護諸童子陀羅尼經

次入文判釋者可有三段爾時如來

初成正覺爲序分自有一大梵天王

至于覺正宗分時此梵天聞說此

呪歡喜奉行流通分也三段存略如

覺禪鈔卷第三十三(寶樓閣)

顯杲云念誦童子長命眞言誦云

姑欲弱昨鑊解延命

或縛日羅合二羅細引

三井次第云除一切鬼神畏安穩長

壽眞言有之可見

芥子供事

大師御記小芥子供近來不用歟

古次第等云三井

令小兒母受八齋戒至中夜加持芥

子置母頂然後授令持云

三五五

信運閣梨云經封時糸中心卷タル

經ノ中分ニ當テ、自經中分糸上

サマヘアケテ經ノ上下等分ニ成

セ、又自經中分下サマニ糸ヲ下シ

テ經ノ下ト等分ニ成セ上糸ヲハ上

下サマニ卷キ下シ下ノ糸ヲハ上

サマニ卷上テ糸ヲ經中ニ封止封

了、經ノ上下二字可書云

覺禪鈔 寶樓閣

實任云支度偏依增益

心覺云淨衣赤色云

大寶廣轉樓閣經三卷 御請求

寶樓閣經法

四種法

鈎召或傳此法屬愛敬召也

或云增益法實任又云爲滅罪

受茶羅事

寶樓閣經中云不空我今說畫像法成就

一切事業應取新白氈不割截者或一肘

或二肘令四方等畫人受八戒彩色新器

中盛勿用皮膠畫七寶莊嚴樓閣々々中

畫如來作法相坐師子座佛右邊畫金剛

手菩薩十二臂黃白色其像四面正面歡

喜右面忿怒相左面開口狗牙上出常頭

上面顰眉怒目頭冠瓔珞種種莊嚴蓮花

上半跏坐左邊畫寶金剛菩薩四面十六

臂正面歡喜右面青色作摩訶迦羅天面

左面綠色作師子面頭上面顰眉露齒忿

怒相作淺綠色右邊第一手持眞多摩尼

寶作獻佛勢左邊第一手持蓮右第二手

作安慰手左第二手持三戟叉二手持掌

餘手皆執諸器仗右第四手持輪左第四

手持劍右第五手持金剛杵左第五手持

花籃右第六手持念珠左第六手持軍遲

右第七手持刀左手第七手持梵篋右第

八手持寶塔左第八手持須彌山於蓮花臺上半跏而坐於其座下畫餉棄尼天女有八臂跪坐金剛手菩薩座下作吉祥天女跪坐持寶器滿盛於吉祥天女後畫金剛使者天女而為笑面手持種種寶物餉棄尼天女後畫花齒天女手持花鬘仰如來於如來前畫作七寶花吹簫環繞以金為臺其蓮花葉上畫作百幅輪周匝皆有光明於蓮花根下畫四大大王悉被甲冑蓮花下畫作水池莊嚴於池岸上應畫持誦人跪坐手持香座瞻仰如來於寶樓上於虛空中畫梵天毘紐天大自在天散花供養云

圖像 一一八

又說

圖像 一一九

勤行門

不簡曜宿事

或云修行此法不假簡擇吉祥宿曜齋戒於舍利塔前白月十五日潔淨著鮮淨衣隨力供養云云心覺開聖說

師云寶樓閣法以心為本尊也仍種子三形可用彼尊云云

心覺云字印形釋迦印明如經云云

種子三形鉢

印 智吉祥印如釋迦院

右中大指捻餘散左舒仰垂

真言大咒陀羅尼也

莫莫薩縛但他藥多去南引一唵二尾補

五個捺羅捨寧六麼拈七蘇上鉢羅

二合降八尾麼黎九娑引藥羅十儼鼻隸

十一呼十二呼十三入轉二合擢入轉二

羅十四沒駄尾盧枳帝十五虞四夜二合

地瑟耻二合多上藥陸十六娑婆引二合賀

寶樓閣經上云不容若讀若誦若受持若

佩身上乃至聞聲手觸及影其身及轉觸

餘人決定當得不退轉無上菩提能於現

世獲無量百千功德遠離諸罪成就一切

善根摧伏諸魔摧於諸世間皆得敬愛於

一切處皆得供養云云

臨命終時心不散動一切諸佛現前安慰

心陀羅尼

唵一麼拈縛日禮二合呼

隨心印

准前心印相大母與頭指相捻猶如環依

前左膝上

隨心陀羅尼

唵一麼拈足駄上禮二呼泮吒半音

已上呪印出經下在口傳云云

普光寶清淨一切如來心印

右母捻頭甲如環三展次左展頭屈母押

三指甲二手對置心得一切如來心印成

就獲福德身云云

又印宜任口傳誦印也

師云二手合掌二中指直立合柱二頭指

寶形二大指竝立二小指二無名指散開

立用隨心真言

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

住大寶樓閣內。右邊有金剛手菩薩。黃白

色十二臂。四面具足。坐蓮花上。左邊有寶

金剛菩薩。四面十六臂。餉菓尼天女。有八

吉祥天女。二臂。金剛使者天女。花鬘天女。

四大天王等。四方恭敬圍繞。於樓閣上方

有梵天。毘紐。自在天等。散花供養

心覺云。想由拳印。加此三千界。即成清

淨樓閣。具足無量寶莊嚴云。

勸請用釋迦

禮佛四攝次

南無釋迦牟尼佛三返無五大尊已上實任

梵號 可也

密號 寂靜金剛已上金寶抄

正念誦 心呪 或隨心呪

已上實任 心覺云。三隨一

散念誦

佛眼 大日 本尊呪 大小 一字

讚四智

伴僧御加持 用大呪

護摩 鈎召句 阿迦利者耶弱

本尊段 加持物 ウハラ 心覺

部主 胎藏大日

諸尊 三十七尊 已上實任 金寶同之

又說 諸師

祕說以金剛界大日爲本尊可懸彼可也

種也 實任 心覺同之

種 可也

三 摩都婆 智拳印 已上實任

三形 五輪塔

本尊

金剛界大日 三尊釋迦同座爲四佛。四佛合成是大日也。已上亮書

寫本云 正治元年也

建久十年七月十二日書之 覺禪

案書三五六

寶樓閣經下云。若有善男子善女人

誦陀羅尼呪。滿一遍者。若有心念地

獄餓鬼傍生惡趣諸苦惱者。彼等衆

生悉蒙解脫。得生極樂界云。

呪有面小呪梵字書也

覺禪鈔 圓滿金剛

圓滿金剛法

息災 安祥 寺傳 實任說 聖賢云。增益

梵漢名號

梵號

阿利也檀那波羅蜜多

可也

密號 普施金剛

或師云。布施彼岸法云。

又云。檀波羅蜜菩薩法云。

花嚴音義云。具云檀那波羅蜜多。檀那

此云施也。波羅蜜云彼岸也。多云到也。

言施能到彼岸云。

大乘義章九云。檀者是外國語。此名布

施。以己財事忿布與他云。

已上文多略之

屬寶部事

三十七尊心要云。檀波羅蜜者。爲是寶部

所收。亦由無住檀施等虛空界云。

或師。金剛界供養會用寶幢三昧耶眞言

長慶公次第云。名檀波羅蜜布施云。

略出經四云。結寶幢契已。復應察。盡生無

中一切衆生苦惱所纏。深生哀愍。我今爲

救護故。發阿耨多羅三藐三菩提心。是故

若未度者。我當令度。未安慰者。當令安慰。

未涅槃者。令得涅槃。及雨種寶。隨彼所

求令滿尼云：

私引之。金軌文同之。

圖像事

諸說不同記云：○右手仰掌。指頭向有。掌持金杯。上菓云：

或圖云。兩掌持之。半跏云：

山圖云。緊掌屈頭指。○如天女形。著襪。襪衣云。襪。古襪反。襪。古得反。衣上羅也。

現圖事

祕藏記云。檀波羅蜜菩薩。肉色持甘菓云。七集云。圖。肉色。左手持金盤盛花。右手屈水火風立地。坐赤蓮花。著羯磨衣云：

小原抄云。羯磨衣胎藏十波羅蜜。毘俱胝。金界四波羅蜜等所著衣也。短小衣。歟。○事業衣也。或云。侍女唐衣云。取。

或師云。身色。白肉色妙衣。纏身。左手持器。盛甘菓。安胸前。右手以空押火當器傍。相好威儀具足。圓滿云：

行法。聖賢祕說。種三寶。珠胎藏印言用之云。

種子。或。三形。甘菓盛器。或甘露云。

本尊。胎藏曼荼羅十波羅蜜中檀波羅蜜菩薩也。

根本印

右手仰掌。屈忍度與禪度相捻。餘度皆舒。聖賢云。左手作拳當胸云。

眞言

法。反。無。可。底。反。丁。以。娜。引。錢。地。跋。帝。

發願句。四滿金剛大聖尊。十波羅蜜諸聖衆。

尾婆。二合。悉。布羅野。娜。引。難。婆。嚩。賀。

實任云。字加眞言末祕事也云。

已上印言。玄法軌并千手軌出之。

千手軌云。由結此印。誦眞言三返。即滅無量劫慳吝業種。獲得三種施福。所謂資生。

施無畏。施法。施。即檀波羅蜜圓滿。現生獲得富饒。資緣具足。心得自在。壽命長遠云。

又呪。實任祕事云。

又呪。聖賢開梨。

供養會寶幢言也。檀波羅蜜云。

又金剛界三昧耶會寶生如來印言用之。

又云。金剛縛進力。禪智如寶形。檀惠戒方。

眞言曰。

又寶菩薩三昧耶印羯磨呪云。

道場觀。實在。

壇上有字。變成甘菓盛器。變成本尊身。左手持金盤盛花。右手屈水火風立地。

空。肉色著羯磨衣。坐赤蓮華。相好威儀具足。圓滿無量聖衆。前後圍遶。

勸請句。

發願句。四滿金剛大聖尊。十波羅蜜諸聖衆。

圓滿金剛。十波羅蜜。

正念誦。根本呪可用。

散念誦。

佛眼。大日。寶生尊。本尊。八方。

天。一字。實任。

伴僧御加持。正念誦言用之。

護摩。

部主。寶生尊。三昧耶會。聖賢云。用。

諸尊。八方天。毘沙門。三杓供增云。

芥子明。

已上布施彼岸法。實任傳也可祕云。

安祥寺流云。

聖賢開梨云。檀波羅蜜菩薩法云。

金寶抄云。件闍梨殊。以此法獲靈驗云。

或云。彼抄被載。今法。無其謂云。

寫本云。

建久十年七月七日集之。八日書之。

覺禪。

寫本云。

建久十年七月七日集之。八日書之。

覺禪。

寫本云。

建久十年七月七日集之。八日書之。

覺禪。

寫本云。

建久十年七月七日集之。八日書之。

覺禪。

寫本云。

建久十年七月七日集之。八日書之。

覺禪。

寫本云。

建久十年七月七日集之。八日書之。

覺禪。

寫本云。

覺禪鈔 水歡喜天

水歡喜天供口傳

次第作法如聖天供次第。但灌水上加持真言用次第真言也。非天大真言。其印聖天小印也。并加持物印用之。真言在次第道場觀。可用聖天道場觀。但一尊（裏書三五七）供物圖。如聖天供圖。

夏不用火。冬用火。夏自然水溫者歟。

自餘事等如次第云。

本文十一面軌等可見云。

已上實運僧一說法務之御傳也。愷

仁一僧正傳云。灌水上歡喜天法。先觀音像。若木若鏡。以鑄為良。安壇中五種供具。供養了。以觀音真言加持清水一百八返。升量隨宜耳。以其明灌像百八返了。後供了。像身塗香。置別所。次以歡喜天像安壇中同器也。便供天。以先真言加持同水一百八返。即灌天同百八返。後供了。天像上塗香。以其灌汁入湯可浴。行者一切障礙悉除。一切祈願雜果者悉成就滿足云。又有大抄。

已上文。便宜勒加之。

聖賢之傳云。水歡喜天四種法。任意本尊雙身之所立。觀音像十一面也。多羅淨水入之。沈水香。或白檀香等入云。

壇闍闍也。天像自象鼻山勸請云。大聖歡喜慈悲尊。尾那娜伽諸眷屬。

發願句

大聖大悲 歡喜大天

尾那娜迦 諸大眷屬云。

幕當根酒團飲食等。普通如聖天供云。

略加之。委彼次第可見。

賢覺法眼云。此法請雨經法聖天壇修之。

心覺云。載蓮抄云。

水歡喜供次第

先辨供

次三部被甲

次加一灌水七返

真言曰

巽莫羅怛曇 二合 恒羅夜也 巽莫阿里夜

二合 闍路枳帝濕囉 二合 邏也 闍地薩怛

縛 二合 也 摩訶薩怛囉 二合 也 摩訶迦魯

拏迦也 二合 怛囉也 二合 他訶 二合 壹里

弭里止里尾里金隸徒隸娑囉 二合 訶

次放安觀音像於香水中 水一升計云。

次加持焚香真言曰

怛囉也 二合 他跢嚕跢嚕訶 訶 訶 訶 訶

次加持花真言

怛囉也 二合 他悉里 訶 訶 訶 訶 訶 訶

地里 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶

以此密言加一花及燈奉獻。當誦七返

次加持飲食真言

怛囉也 二合 他娑引梨娑利悉里 訶 訶 訶 訶

里 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶

次普禮 次五悔

次四無量

次金剛厥

次道場觀 可用步欠真言

次大虛空藏菩薩真言伽陀

次送車轆在十八道 次迎請用阿魯迦印

二手內相叉作拳。左大指入掌。右大指豎

屈向身撥。用蓮花部觀自在菩薩心密

怛囉也 二合 他鉢納摩 二合 訶 訶 訶 訶

播提娑囉 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶 訶

里也 二合 縛路枳帝濕囉 二合 邏也 闍地薩怛

目佉莽囉賀也 阿路力迦 訶 訶 訶 訶 訶 訶

次四攝 次金剛網

次大三昧耶 次闍伽等供物

次普供 次禮尊號

次本尊加持 其印法以二手外相叉。二頭指相拄如蓮

葉。二大指竝豎即成加持四處真言

唵囉日囉 二合 達摩訶哩 二合 引

次念誦百八返 次本尊加持

次灌浴 晨朝四百返之終普供一祈願

日午三百返

次後供養等

次移居其像於他處

次更加持浴觀自在。水百八返 用天大

次安天像於水中 次迎請天

次荷葉座 次闍伽已。即法則如常

若滿期日。其水和湯。自身沐浴能除一切

障難意願滿足云。

發遣真言

但爾也 二合 他弭致弭致觀致止致藥綫
、、婆誡挽引曩謨阿里夜縛路枳帝濕
聯羅婆、、引南、、
天發遣真言在儀軌
唵補藍悉耶誡車娑訶
此云召諸呪誦七返即下淨水淨小呪
唵誡拏羅只路娑誦七返或三返呪水
呪食及花香等呪
唵納惹夜耶娑訶若食香花誦七返
供養行即發遣呪
唵摩度摩度摩邏耶娑訶
誦七返即成發遣
燈供養呪曰
唵發吒誦七返

加持燈供養 以或本交之
本批曰 般若寺僧正次第云、
十一面軌上云復次以衆香和水浴觀自
在菩薩又加持浴觀自在水一百八遍浴
毘那夜迦像一切障難皆悉殄滅云、
十一面神呪心經云、復次若知身中
有諸障難所求善事多不如心衰禍時、
無因而至應以香水浴此像身復取此水
呪之一百八遍以浴毘那藥迦像身復取
呪之一百八返自灑其身一切障難自然
消滅諸有所求無不如意云、

寫本
正治二年七月二十七日一日之內集
之 覺禪 年五十八
寬元四年四月二十三日於法花山寺

興慈院書了 紹賢

寬保元 辛酉年六月十四日補虫損之闕
失深收大經藏之竹木月底是爲貽後
來而已
淨土院權僧正賢賀 春秋五十八

裏書三五七
道場觀聖賢流
壇上有 字成蓮花座、上有 字
成月輪、上有 字成賢瓶、變成
十一面觀自在菩薩相好圓滿觀自
在心上有 字成箕變成大聖歡喜
天女身象頭人身相好威儀了、分
明次木像觀音像并本天心上各種
三圖具觀之云、
讚 法菩薩讚云、

覺禪鈔 寶篋印

寶篋印經法
本尊 釋迦
種子 卍
三形 鉢
印 卐
眞言 經陀羅尼
本尊 大日
三塔
印 塔印
眞言 如經 散念誦之時經可讀之
已上兩說實任口傳也二傳中大日爲
說云、
又傳口云息災修之
大日 種子或本
三 寶珠 或塔
印 自在契 塔印名也
眞言
部主 金輪
伴僧經亮惠經中陀羅尼云、
後加持不動慈救呪
已上聖賢闍梨傳也 亮惠全同也
又說 高野
種子 卍

三形塔

印塔印

眞言 五字明加

本尊 五輪塔

付金剛界行法可勤修之。但三摩耶會

許云、最秘傳也。醍醐流云、上野國梨良弘法

曼荼羅或聖人本圖之

寶篋印法事

勸請

恩德廣大牟尼尊 業部會中諸眷屬

發願

本尊聖者 牟尼善逝

業部會中 諸大眷屬

種子 亦利

三形 塔中舍利即本尊也常觀之

口云、以身體爲塔、以心月輪爲舍利云

印

眞言

心中中心呪呪云、下ヲ指也。最秘

或五字明加亦用之

口云、以印爲塔、以字月輪

又印

智拳印根本印也

此塔印習最祕事也。左四指地水風。右四

指空也。左風指行人。右大指大日。右金界

也。左胎藏也。兩部不二合行顯之祕也

眞言

唵縛薩羅駄都錢亦亦惡

本尊加持

印 拳印

五字明加亦用之。或同印大呪三返用之。但第二返唵字

道場觀

五大所成虛空藏有碧字。變成七寶殊妙

塔婆。塔中有赤字。變成八葉座。上有赤字。

變成如來舍利。變成釋迦法身如來。

相好端嚴。圓滿具足。十方諸佛。金剛手等。

大菩薩衆。前後圍繞云、付金剛界行法。

但三摩耶會許修云、

或羯磨會許云、

私云。此條如何。各成身會後可修事歟。

若十八道次行樣

陀羅尼誦作法。金剛合掌虛空諸佛滿給

思誦也

次外縛中指延如針臂合掌

唵下誦加持四處也。爲亡者婆婆賀上

彼亡者名加也前野

表白

今信心大法主貫主上綱奉始。并一門僧

綱諸德每迎每年上陽之嘉辰。息災延命

增長福壽爲。各顯法界塔婆之妙體。寫寶

篋印總持之眞文。調百種最之供具。展一

日嚴重之齋筵。御其旨趣如何善根雖道

廣。無過造塔之功德。教法雖功妙。不如上

乘之威力者也。依之爲年始不退御勤修。

造塔寫經之作善御所也。夫塔婆以地水

火風空五大爲體性。以我我我我五字

爲種子。卽是三世常住遮那智印也。在去

今當其體凝然也。次寶篋印不不經一

切如來分身之光儀。過去諸佛全身舍利也。聲字實相皆窮性海之源。大三法羯同

振五智高德。無垢妙光致供佛之請。牟尼

善逝趣利生之道。豐財苑朽塔放照曜之

光。出善哉釋迦之聲。造塔婆形像。泥土木

石。皆變成七寶所成。念神呪功力。五逆十

惡悉消。致一時消滅。凡甚深之勝利。得不

可稱者也。何況諸德大衆同心誦誦模寫

寶篋總持章句。貴賤上下合掌。法界塔婆

形像。造立供養。善根旨趣。併叶本說。利益

之勝利。定莫大者歟

佛依無垢妙光請受供養事

寶篋經云。有一大波羅門。名無垢妙光。多

聞聰惠人所樂見。常行十善。歸信三寶。善

心愍重。智慧微細。常恒欲令一切衆生圓

滿善利。大富豐饒。作是請言。唯願世尊

與諸大衆。明日晨朝至我宅中受我供養

佛像。率都婆中可安事

又云。若佛像中率都婆中安置此經。其像

卽爲七寶所成。靈驗應心。無願不滿。隨

力所辦。或土或木。若石若軀。由經威力。自

爲七寶。一切如來於此經典加其威力云

一花一禮善除無間罪事

又云。若有情。能於此塔。一香一花禮拜

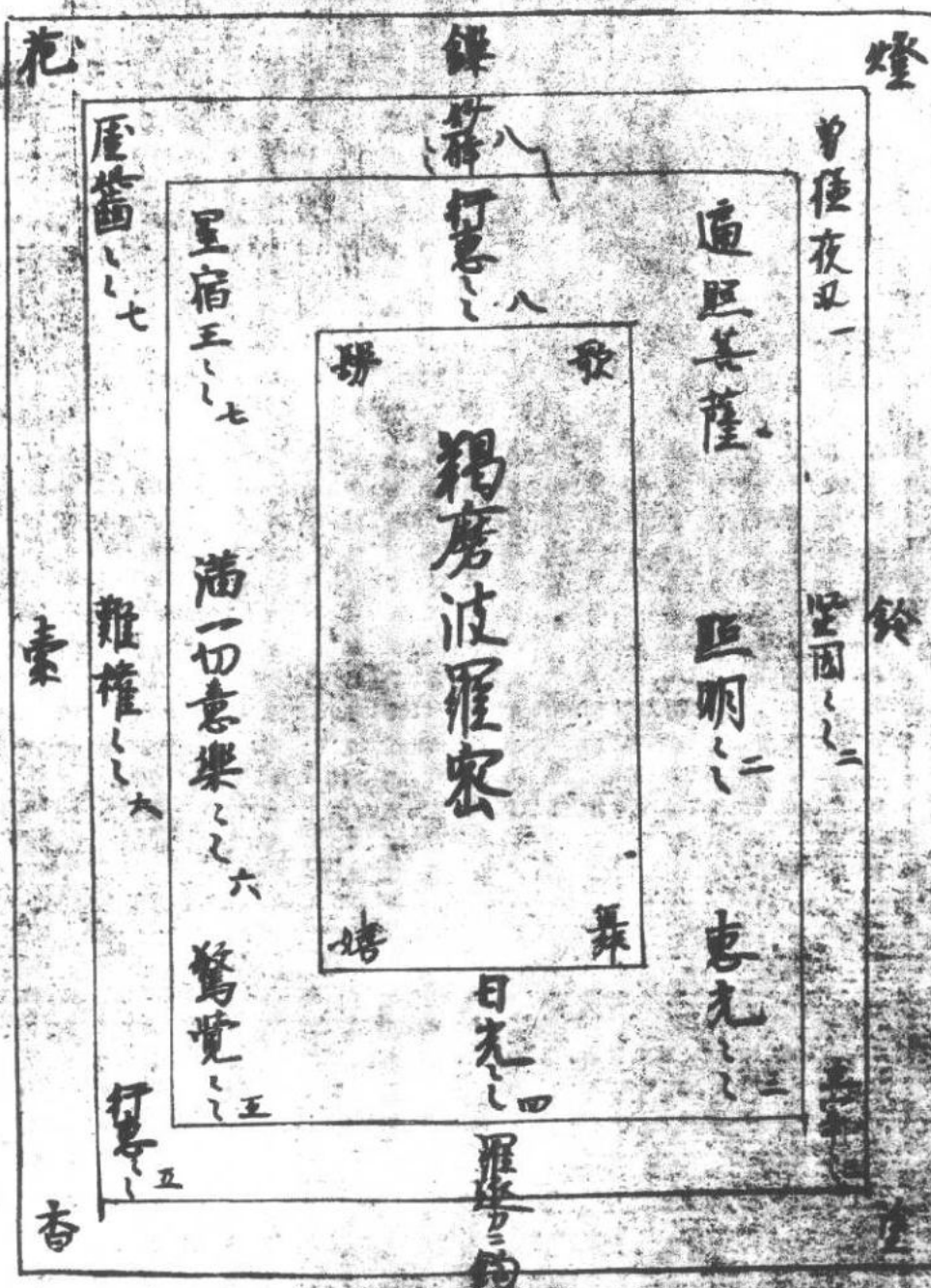
供養。八十億劫生死重罪一時消滅。生免

災殃。死生佛家。若有應墮阿鼻地獄。若於

此塔。或一禮拜。或一右邊塞地獄門。開善

根菩提路

子孫誦呪七返亡者生極樂事



圖像 No. 120. 出生無邊門曼荼羅

又云。有八大菩薩。生於欲界天。彼等亦來
加持攝授。何者爲八。所謂遍照菩薩。照明
菩薩。惠光菩薩。日光菩薩。驚覺菩薩。滿一
切意菩薩。星宿王菩薩。行惠菩薩。

圖像 一一〇

私云。八菩薩。八夜。又次第。准金剛界。寶劫十
六尊。菩薩二十。天。自東北角。始之法。大僧都
嚴。變爲悉地。成辦被行。云々

種子 此

三形 羯磨 此云輪

印言 三摩耶會密印加持頂

軌云。三摩耶會密印加持頂

實勝內供云。三摩耶會印言師傳也。云

金剛縛忍願入掌合面。檀惠禪智柱合當

頂成就印真言

佉鉢日哩二合尼斛 引入

護摩

部主 不空成就

諸尊 三十七尊

已上實任亮惠傳云如此

實勝口傳。同不空成就爲本尊。是釋迦

法也云々

此法以羯磨波羅蜜爲本尊事。此菩薩住

出生故示妙采女形。顯明大慈母。出生無

邊名以之可得心

又羯磨表十二因緣。十二因緣起有二種。

一無明等生無緣起。二能活羯磨輪緣起
也。故軌十二緣行輪云

又胎藏十二真言王。是能活緣起也。無明
緣行等生死輪迴無盡也。仍能活教法又
無盡也云々

本云

文永五年八月十一日於隨心院書寫

了 嚴舞

明曆四戊戌年五月二十八日書寫了

深秀

覺禪鈔 無垢淨光

無垢淨光陀羅尼法 敬愛 經意增發歟

本書秘錄 造塔部

無垢淨光大陀羅尼經一卷 貞 圓

無垢淨光真言一卷 安祥

梵字無垢淨光陀羅尼一卷 大師 慈

元由

經云。城中有大婆羅門。名劫比羅戰荼。歸
敬外道。不信佛法。有善相師而告之言。大
婆羅門。汝却後七日必當命終。時○聞是
語已。心懷愁惱。驚懼怖畏。作是思惟。誰能
救我。沙門瞿曇。稱一切智。○必當說我憂
惱之事。作是念已。即往佛所。於衆會前遙
觀如來。意欲請問。○時釋迦如來。於三世
法無不明。見知婆羅門心之所念。以慈軟
告言。却後七日必當命終。墮阿鼻地獄。從
此復八十六。地獄出已。復受游陀羅身。命
終之後。復生多猪中。恒居臭泥常食糞穢。
壽命長時多受衆苦。後得爲人。貧窮下賤。
○時悲泣至佛所。頂禮雙足。白佛言。歸命
世尊。唯願救我。大地獄苦。佛言。此迦毘羅
城三岐道處。有古佛塔。於中現有如來舍
利。其塔崩壞。汝應往彼重更修理。及造輪
槊。寫陀羅尼。以置其中。興大供養。依法七
遍念誦神。汝命根還復增長。久後壽終生
極樂。於百千劫大勝樂。次後復於妙喜世
界。亦百千劫如前受樂。後復於諸兜率天

宮亦百千劫相續受樂。一切生處常憶宿命。除一切障。滅一切罪。水離一切地獄等。

滅五逆事

又云。若有聞此陀羅尼者。滅五逆罪。閉地獄門。除滅慳貪嫉妬罪垢。命短促者皆得延壽。諸吉祥事。無不成辦。

生極樂事

又云。若有護淨日。別一遍誦念此呪。滿足百年。是人命終生極樂界。若一切時常念誦者。乃至菩提。恒應宿命。永離天壽及諸惡趣云。

造泥石塔延壽事

又云。或作小泥塔。滿足七十七。各以一本置於塔中。而興供養。如法作已。命欲盡者。更延壽。所生之處。一切所願。皆得滿足。得七十七億諸如來所而種善根云。或用甄石。呪滿一千八返。塔分量如爪甲。或一肘乃至由旬云。

造塔禮拜事

又云。若欲作此法者。當於月八日。或十三日。或十四日。或十五日。右邊舍利塔。滿七十七匝。誦此陀羅尼。亦七十七返。應當作壇。於上護淨書寫此呪。滿七十七返云。又云。右邊。或禮拜於阿耨多羅三藐三菩提不退轉云。

除重病事

又云。若人病重。命將欲盡。當爲作方壇。上畫種種形。金剛形。金剛形。金剛形。瓶滿香水。置四角。列香爐。以五色鉢盛種種食。

及三白食謂乳酪復以五鉢各盛香花壇上供養。種種飯食。盛滿一器。及水一瓶。置壇中心。於壇近邊畫作毘那夜迦像。頂上安燈。

將彼病人在壇西。面向此壇。盛一器食。對病人。呪師如法呪病人。七十七返。

生兜率天事

又云。有人爲亡者稱其名字。至心誦呪。滿七十七返。若彼亡人墮惡趣者。應時即得離惡道。若生天受樂。或稱彼名。依法書寫陀羅尼。置佛塔中。如法供養。亡者得離惡趣。生天上。或得生兜率天宮。乃至菩提。行儀門。諸事阿彌陀佛云。

勤修先跡

本院御時。爲郁芳門院修之。阿闍梨。或翻人云。可尊。或云。烏羽院御時。實範聖人。國光。房。依。院。宣於光明山修此法。作僧六口。口。實。任。云。八。信聖人。中川語仁。濟閑梨云。以件法支度。仙院令遣寬信。法務許仰云。實範今法習歟。如何。答申云。支度已敬愛令書進了。是傳習事歟云。
諸事別無之。如常小修。法云。但伴僧座。隔道戶。小事有云。若祕本。修。歟。口云。後日。先師法務。此由傳聞。頗有御難。事也云。

支度

注進
無垢淨光陀羅尼法一七箇日支度事
合

蘇蜜 名香 白檀
五寶 金銀 琉璃 琥珀 眞珠
五香 沈水 博金 丁子 白檀 麝香

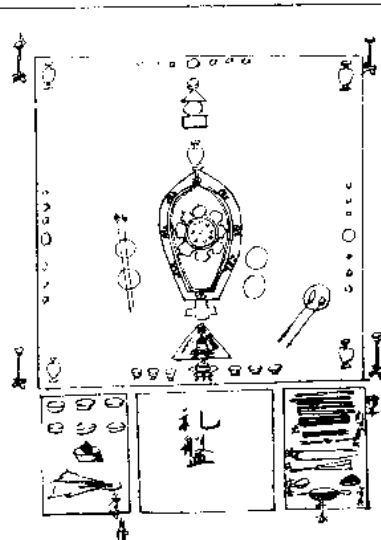
五藥 遠志。人參。訶梨勒。檳榔子。牛玉五穀 稻穀。大麥。小麥。大豆。小豆。

壇一面 脇机二脚 燈臺四本 禮盤一脚 壇供米八石四斗 御明油一斗五合 壇敷布一端 阿闍梨一口 伴僧 承仕二人 駐仕二人 見丁二人 淨衣 赤色

大幕一帖
右注進如件
保延七年六月十九日
大法師實範

師口云。阿闍梨。支度出之。敬愛也。但。不書。會。覽。見。七箇日。御修法云。
壇圖。師口云。各等依敬愛。

佛供十六坏大八 小八 汁八坏
菓子十六坏開白并每 後夜粥八坏
壇木長八寸松若楠 乳木長六寸合歡木
藥種赤箭 天門冬 加持物 或大豆 藥赤
祕說。已上。普通。敬愛也。



龔謨颯跛跼颯跛跼底毘藥三貌三沒賦

四智讚

垢淨光佛也云

又說

醍醐大僧正定海傳以除蓋障菩薩爲本尊云、

師云。無垢淨光經對揚菩薩故歟

種子疏十

三形 如意輪疏十六

印 虛合阿鑊入掌 除蓋障菩薩印也

眞言用陀羅尼

無垢淨光經云。時衆會中。除蓋障菩薩從坐而起。合掌向佛白言。世尊何者是彼陀羅尼法。而能生長福德善根。佛言。有大陀羅尼。名最勝無垢淨光明大壇場法。諸佛以此安慰衆生云、已上眞乘房說

私云。今法用本尊有多種

或云。彌陀。左觀釋迦。右多寶云、

實任云。釋迦多寶爲本尊也。種三可隨尊也云、

清淨光云。無垢光

私云。安祥寺阿彌陀。中有彼像也

或云。大師流無今法云、

私云。梵本已御請來也

貞元錄無披覽乎

右依舊損遂修復補其闕如了且爲大經藏傳持且佛法紹隆耳後葉莫忽焉
淨土院末弟 金剛子賢賀五十七

覺禪鈔 聖觀音上

本經等 往生極樂 付造塔 見觀音

見慈尊下生 侍者立水中 得聰明

降雨 止雨 敬愛辯才 官位 田園

得金釘 得上牛 除死難 除熱病

轉定業 大悲闍提 大悲代苦

實不受苦 滅逆罪 觀音念四季

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

尊形門 大悲名前後事 觀音初發心 過去成佛

觀自在大悲成就瑜伽蓮華部念誦法門

一卷 不空大慈或就大悲

梵天擇地法一卷 不空大慈或就大悲

觀音法一卷 傳教

觀自在菩薩心真言念誦法一卷 不空

聖觀自在菩薩根本心真言觀布字輪觀

門一卷 慈

金剛頂經觀自在菩薩瑜伽修習三摩地

法一卷 清信士馬

梵字觀自在開持真言一本 慈

梵字觀自在心真言一本 慈

梵字觀自在開持甘露真言一本 慈

觀自在菩薩隨心經一卷 智通智錄

觀自在菩薩如意心陀羅尼呪經一卷 慈

觀自在大悲成就念誦法一卷 慈

觀自在一印法一卷 慈

金剛恐怖集會方廣儀軌觀自在菩薩三

世勝心明經一卷 不空

略釋觀自在菩薩大悲真言五種相貌一

紙

觀音菩薩開持法一卷 一紙

觀音菩薩却粒方法一卷 一紙

觀世音菩薩受記經一卷 慈

觀世音三昧經一卷 慈

高王觀世音經一卷 慈

普門品經一卷 慈

請觀世音菩薩消伏毒害陀羅尼經一卷

亦直云請觀世音經

真圖缺注梵有注

清淨觀世音普賢陀羅尼經一卷 此有一錯

之音元開覺云清淨觀世

觀自在隨心呪經一卷 亦名多利心經

觀世音陀羅尼經一卷 慈

母多羅觀自在菩薩隨心法一卷 慈

千轉陀羅尼觀世音菩薩呪經一卷 慈

讀等 智通譯云

梵唐兩字觀自在菩薩讀一本 慈

觀自在法身讚嘆一本 慈

讀觀音菩薩頌一卷 慈

阿魯力觀音曼荼羅一帳 慈

往生極樂 付造塔

阿魯力迦經云先造十方塔於一塔前

誦一萬遍 如法供養 所求悉地皆

得捨身已任意往生極樂世界 云 又云

以蟻封泥作十方小塔一塔前誦三千

五百遍滅四重五逆往生極樂 文

念塔形生極樂

又云心念誦觀想心作塔形乃至八百此

人命終生極樂國土 文

行者見觀音

又云欲得見觀自在菩薩者於舍利塔中

誦二十五萬遍乃至坐三稜草一夜誦真

言乃至中夜聖者現其身說法此人常不

離聖者得不退菩薩地乃至成佛 文

行者人見慈尊下生

又云張像於修羅窟門前如法誦一俱胝

修羅女請行人於阿修羅王中得自在位

毒一劫見慈氏下生文

行者立水中

又云。直入海泉水中至腰下。誦二洛叉半。即聖者現說一切功德。說善法門云。又云。入水至臍。誦一俱胝。見地中一切伏藏文。

呪力不人語得聰明

又云。若每日晨朝於我像前。○散種華。誦八千遍。後不與人語。更誦多少。漸為強記。○能滿六月。即大聰明文。

降雨

又云。於直入海河泉水岸上面。西安本尊像。供養香花。行者面東。誦三千遍。從此已後。此國土風雨順時。五穀成就云。

止雨

又云。更誦一萬遍。過摩落花。於此境界。惡猛風雨停息。獻殘花也。

諸人敬愛

又云。加持窗木千遍。然嚼用。即得辯才。令一切人敬愛文。

得官位

又云。以蓮花三甜護摩一萬。得大官云。又云。於此像前。三尊。然千盞燈。用千蓮華。千物勿獻花。更取水中生花。隨得一類。五百華已上。是三色花。各加持八百遍。供養其像。即得如上文。

得田園

又云。以石榴果子日三時和三甜。准上。凡一月。得二十所田園。

得金釘

又云。以紅蓮花和三甜。護摩一萬。從此火中吉祥天現。殊特手執蓮花。隨所求願。即與。或與為母姊妹等事。亦與金釘云。

得上牛

又云。悉利婆^{二合夜}木^{一合夜}如^{二合夜}上^{一合夜}田園^{二合夜}以^{一合夜}犢子^{二合夜}糞^{一合夜}日三時准上。凡一月。得百上牛文。

安置像城門除死難

又云。在何國起厄難。將本尊於城門前。如法安置。禮拜供養。種香花飲食。災厄即息云。

又云。於國內。忽然起厄災。於諸城門中。門

畫我像。獻水中諸花。即於半夜取杉迷夜樹葉^以和^以搗^以蘇^以護^以摩^以乃至十五日。一切死災停息文。

除熱病

又云。加持手摩百八遍。以摩熱病者身。臥於淨處。即愈。

念觀音轉定業

法花記十云。若言機感厚。定業亦能轉。若過現緣淺。微苦亦無微云。

大般若百五十云。除先定業。現世應受文。殊問般若念佛三昧云。若菩薩持定者。而大所通。無有此處。○除惡業除決受報云。

大悲闍提菩薩

花嚴經云。若不令一切衆生住無上解脫道。而我無成阿耨菩提者。違我本願。是所不應云。

同經云。觀世音菩薩。住大悲法門。度脫一切也。

唯識樞要云。以衆生界無盡故。無性有情不成佛故。不悲菩薩無成佛期云。

大悲代受苦

玄云。又菩薩能大悲代受苦。令其休息。餘界拔苦與樂云。

花嚴經云。一。地獄中。經無量劫。為度衆生故。而能忍是苦云。

六十花嚴十六云。我當於一。惡道。盡末劫代諸衆生受無量苦。何以故。我寧獨受諸苦。不令衆生受諸楚毒云。

請觀音經云。衆生若聞名離苦得解脫。或遊戲地獄。大悲代受苦。或經云。衆生有苦。三稱我名。不往救者。不取正覺。

涅槃經十云。善男子。菩薩雖在地獄。不受熾然碎身等苦文。

大乘莊嚴寶王經一云。觀自在菩薩入阿鼻地獄中。度大苦惱。諸有情救彼苦已。便入大城。度一切餓鬼苦。入阿鼻地獄時。其身不能有所障礙。一切苦無能通切菩薩身。其大地獄猛火。悉成清涼池。中蓮花大如車輪。○獄卒將器械刀劍等。詣闍魔所。此業報地。以何事故。闍魔天子。以天眼通觀之。見觀自在。速疾往詣。佛面禮足。以

偈讚曰

歸命蓮華王

大自在吉祥

大悲觀自在

能施有情願

暗離爲燈明

觀者皆無畏

但千手所載之

滅五逆罪見觀音

軌云觀自在菩薩自心陀羅尼經云但淨心誦一十萬遍一切業障皆得清淨若誦二十萬遍能滅過去現在所有五無間重罪若誦三十萬遍一切福德聚皆集在身衆人畏敬愛之如母一切生地皆得成就誦百萬遍得見觀自在云

觀音念四季

觀音却粒法禪林云○取春三月秋八月極寒極熱不任常思念觀音菩薩云

尊形門

名號前後大悲觀音事

小野云大悲觀音者正觀音變救地獄道云

大悲破地獄道三障此道重苦宜用大悲

又云金剛界四無量觀之悲無量觀即觀音也云

又說第一大慈觀音聖觀音地獄道池上說大

第四大光普照正觀音修羅道讚鼓講師

小野眞言集云修羅有黑暗中不知父母兄弟現光明令知其破正也云

第六聖觀音三寶院僧正說私云第四第六如

觀音昔初發菩提心

大佛頂經六云爾時觀世音菩薩即從座起○頂禮佛足而白佛言世尊憶念我昔

無數恒河沙劫於此有佛出現之世名觀世音我於彼佛發菩提心云

授記經云是觀世音之昔於金剛師子遊戲箭初發菩提心也云

過去成佛

千手經云善男子此觀世音菩薩不可思議威神之力已於過去無量劫中已作佛竟號正法明如來大悲願力安樂衆生故現作菩薩云

所化身

彼岸功德經云佛告觀世音菩薩汝當度及衆生有誓願以三十三身爲度世故作上根者化不空絹索作中根者化十一面作下根者化千手千眼如本願度一切衆生云

十一面經云玄爾時觀自在菩薩○白佛言世尊我有神呪心名十一面云

集經云爾時觀世音菩薩現何耶揭哩婆身唐言馬頭

青頸觀音軌云大悲觀音化爲馬頭明王或記云唐開元寺堂壁觀音地藏二體相竝繪之世人名放光菩薩婦人皆蒙平產云

大日經疏五云觀自在者是蓮花部主云

摩揭陀國觀音像

或記云摩揭陀國有金剛座賢劫千佛成等正覺床南北兩邊在觀自在菩薩像沒不現釋尊佛法隨可滅文或云遍學三藏

七

爲禮五天聖跡訪三藏之玄旨出至關涉

流沙過鐵門向印度之日詣道場拜觀音萬字之胸已隱是時過正像及末法也云

放繪像光明

大軌云白月一日於像前一切時無間斷入三摩地念誦畫像放光於光明中流出觀自在菩薩及諸如來入行者肩間灌頂處○行者體同觀自在利那頃見極樂世界云

作泥像

阿嚕力迦經云說索像法以淨黃泥土作觀自在像或一肘二肘云

金銀香木像安舍利塔

又云說刻雕像法或用金銀或用香木已六指量刻觀自在像○安舍利塔中云

形像

授記經云畫觀自在菩薩坐蓮花上瞻仰合掌持白蓮花身白紅色嚴飾瓔珞首戴寶冠左絡白神索云

又像

阿嚕力迦經云淨毼上畫觀自在菩薩手執蓮花於蓮花上立應爲黑色以寶莊嚴變結向上以細白疊轉著二肩云

圖像 一一一

圖像 一二二

又尊形

菩提場一字頂輪王經三云。畫觀自在。虎皮以為裙。畫忿怒形持拂并念珠。頂髮無量壽。肅然具三目。著蓮花色衣。愍念諸有情云。
（裏書三六四）

圖像 一二三

又像

集經五云。畫觀世音菩薩。一切觀音。通身白色。結跏趺坐蓮花上。頂戴七寶花冠。有重光。冠中立化佛。冠後作嚴光。內作赤色。像背倚七寶繡枕。左手屈臂當心。屈中指向上直豎。右手屈臂向左手。屈頭指與大指相捻。柱左手中指上。多略之。
（裏書三六五）

圖像 一二四

又像

不空絹索經九云。觀自在菩薩。左手持蓮華。右手仰掌膝上。半跏趺坐。
（裏書三六六）

圖像 一二五

又像

集經云。畫觀世音菩薩。身白銀色。身分極令花飾。蓮花坐上結跏。左手執白拂。
（裏書三六七）

阿魯力迦經云。右手執白拂。左手執蓮花云。已上二經文相違

圖像 一二六

又像

又云。觀自在菩薩大悲聖者。從東方來。手持杖。身衣白服。寶璽珞以爲莊嚴。以黑鹿皮右膊交絡。髮戴寶冠云。

圖像 一二七

又像

弘決二云。觀世音。左手把楊枝。右手持澡瓶。又云。楊持拂。鈎以表惠。淨水澄淨以表定云。已上大原抄有之。私云。楊柳觀音歟。

圖像 一二八

又像 四臂 釋迦勝士

一切法功德莊嚴王經云。右邊安觀自在菩薩。以諸嚴具與莊嚴之。於蓮花上立身。有四臂。右邊上手執梵本經。下手執數珠。左邊上手執白蓮花。下手把君持云。

圖像 一二九

又三尊像

阿魯力迦經云。觀自在。白佛言。我說別畫像法。取無毛髮。不割截髮。中央觀自在菩薩。左手執紅蓮花。右手直下。與餓鬼水。髮上結身著白衣。於蓮花上結跏趺坐。左廂畫大勢至菩薩。右廂普賢菩薩。各執白拂。畫已。於舍利塔內安置。面應向西云。
（裏書三六七）

圖像 一三〇

又三尊像 二樣 板像

又云。說別畫像法。不割截無毛髮。鬚如前治淨。或木板平淨治。中央畫觀自在菩薩。坐蓮花臺。著白衣。左邊畫絹索及恒路迦悉地。右邊畫須彌山。山根畫大海菩薩。上畫彩雲。中畫諸仙天。兩種。花供養云。畫已。於直入海名泉岸上面向西安之。又云。畫觀自在像。右廂加畫阿彌多摩訶菩薩。於蓮臺上。身色如檀木云。

曼荼羅

理趣釋云。得自性清淨法性如來者。是觀自在王如來異名。則此佛名無量壽。若於淨妙國土現成佛身。住維摩五濁世界。則爲觀自在菩薩。修行者持觀自在菩薩心。眞言。欲求成就。般若理趣。應建立曼荼羅。中央畫觀自在菩薩。如本儀形。前安金剛法。右安金剛利。左安金剛因。上緣後安金剛語。於四內外隅。各安四內外供養。於東門畫天女形。表貪慾。南門畫蛇。表瞋形。西

門畫猪表癡形。北門畫蓮花。表涅槃形。

(集書三六八)

又像

又云。畫觀自在菩薩身。淺紅色。髮戴寶冠。化佛帶白神索。於蓮花上跏趺而坐。左手執蓮花。右手於頂上作敬禮勢。種々嬰諸莊嚴其身。作微咲貌。

圖像 一三一

集書三五九

或師云。法花經普門品可讀名號德通觀音故也。

師云。阿嚕力迦經多羅菩薩軌云。又聖觀音尤可加用也。

內題彼心眞言方取也。
大軌大字。大蓮部。說故歟。觀法又不皆白蓮花起也。

集書三六〇

離八難處事

經云。若有衆生。一聞觀世音。永離三惡趣。不生八難處云。可勸。

集書三六一

初發心事 悉增抄文

要集十意云。以身語意歸菩薩。唯得語業。失餘二業。或經云。何觀音此土有緣。答。皆闍浮提有七名曰普

首。有五百王子。第一名普光。值豈王觀世音佛。發十大願。又願云。我來世名觀世音。衆生有苦。三稱我名云。

集書三六二

未來成佛事

玄贊云。略觀音云。授記經云。阿彌陀滅度後。次當作佛。名普光功德山王佛云。

集書三六三

成就妙法蓮花經云。阿閼等四佛。普賢等四菩薩。皆觀世音也。又大日是觀音一身一體心也云。

法花開題同

賢覺云。台藏蓮花部。使蓮花部發生即觀音也。

種子云。三開敷蓮。無盡金剛云。

八大菩薩觀音變事

八大菩薩曼荼羅經云。佛在補陀洛迦山。觀世音宮所居住。所無量菩薩眷屬。時觀世音菩薩白佛云。世尊。我有八菩薩心呪云。可尋。

集書三六四

胎藏觀音了了三體

觀音院 身肉色。左持未敷蓮花。右

如開一葉。坐赤蓮

釋迦院 身肉色。右持白拂。左持腰

三蓮上。或左右白拂云。

文殊院 身肉色。左持蓮。右仰股上

安坐花

集書三六五

又像

威儀形色經云。觀世音菩薩。頂上現無量壽。十度開敷蓮。圓光遍世間。寶花承兩足。住月輪殿云。攝無礙經云。冠中現無量壽。身相白肉色。十度開敷蓮。黃金色。安住月輪中。跏趺右押左。同經法菩薩金剛也。

集書三六六

吽迦陀耶軌云。觀自在。左手執青蓮花。右手施無畏也。

①千心云。左手持青蓮花。右手施無畏也。御身青白也。

小野僧正宇治殿注進。身青色。左青蓮。右施無畏也云。

最勝明王經云。身白色。虎皮爲褥。以黑鹿皮角絡披住白蓮。左手持白蓮花。右手施願云。

又云。右手住安慰。即以風空相捻。堅餘指作引手勢。左手持蓮花。身如秋箭色。白色。

集書三六七

胎藏觀音了了觀音等

中台八葉尊

玄法軌下云。觀音頗梨色彩。紅金剛橫云。

謹軌云。色如紅頗梨。是名聖觀音。乘金剛幡云。

或抄云。八葉觀音。圓堂圖肉色。左手開掌當乳。右手持蓮花。置冠安無量

壽云

或抄云。安祥寺和尚說。右手豎五指。掌向外。名開勢也云。

或云。左上○

南音院

玄法軌云。光色如皓月。商佉軍那花。微笑坐白蓮。髮現無量壽。住善觀。

味蓮花部眷屬云。

法菩薩 羯摩會文

金剛界軌云。左連右開勢。

三六八

阿彌陀法中委圖之可尋也。

大軌云。顯成於八位。分爲八葉花。

是色應用朱。中台觀自在。於彼一。

葉圖盡大覺形云。

覺禪鈔 聖觀音下

聖觀音法息災備又除病誓之

就中連壇時尤可然

勸請集異說敬愛法

名號等

(要書三六九)

軌云。聖觀自在又聖觀音

却立法云。觀音菩薩

集經云。觀世音菩薩 法花經同之

授記經云。觀自在菩薩大悲聖者

阿魯力迦經云。觀自在菩薩理趣釋同之

大日疏五云。謂如來究竟觀察十緣生句

得成此普眼蓮花。故名觀自在。約如來行

故名菩薩文

同十三云。除遣諸漏無漏觀故自在也

觀自在最勝明王經云。最勝明王

略出經云。金剛眼菩薩云。

高尾口決云。九識中觀音眼識也

慈悲眼。其眼不狗

諸部要目云。除海息冤敵金剛眼以嚴重心觀悅明也

諸部要目云。敬愛法

讚金剛眼妙眼

密號

正法金剛

本清金剛

清淨金剛

釋迦院 小野異說。大原同之

私云。彌陀密號也

蓮花金剛

金剛界法菩薩 小野

已上小野云圖集說也

眞實經中云。金剛法云。

義操云。法金剛 八葉并觀音院

同云。法菩薩 正法金剛蓮花金剛

法性房云。法

名蓮花。正法。亦名蓮花清淨云。

若隨五部改易字是別義。金剛是總義。云。

義操并大原兩部密號可見也

梵號

胎軌云。玄阿縛路枳帝濕縛

小野集 觀音院

阿利也縛路吉帝濕縛

同集云 八葉

阿利也 二合 縛路枳帝尸縛

羅 大原云 木

薩恒縛二合

大原云。末四字加云。

已上二覺信內供云御筆儀操集有之云。

住所

師云。本土法界宮云。

胎藏曼荼羅中院并諸院坐初密號聖見

現圖八葉西北葉云。

疏意。東北葉

高尾口決云。西北彌勒。東北觀音。今正云

西北觀音云：

顯密諸經住極樂界

八大菩薩曼荼羅經云：住補陀洛山文
花嚴經六十八云：善財南方有山名補怛

洛迦彼有菩薩名觀自在

頌曰：海上有山多寶聖衆寶所成極清淨
花菓樹林遍滿泉流池沼悉具文四十經大略同之

(裏書三七二)

金剛智傳云：南大海濱有國曰板棘耶此
云無明國近觀音宮殿補陀落山云：

毘沙門經云：南天竺南濱而見南方海在
山如稻村名曰白山云：

或抄云：南州南濱南方七百由旬到補陀
落山文

大軌云：坐蘇彌盧頂云：

形像二臂普通用之

聖觀音軌云：聖觀自在菩薩結跏趺坐身
如金色圓光熾盛身被輕縠綵衣著赤
色裙左手當臍執未敷蓮花右手當胸開
花葉勢其頭冠瓔珞首戴無量壽佛住定
相文

無量壽軌云：於蓮花臺有觀自在菩薩相
好分明左手持蓮花右手作開花葉勢○
身金色文

理趣釋云：左持蓮花右手開敷花勢半跏
坐文

蓮花部念誦法云：觀自在菩薩放大光明
遍周法界冠上有無量壽佛本尊左手執
白蓮花右手作開蓮花勢文

念誦結護云：唐書觀自在菩薩身輝焰如
紅蓮頂上髻中有觀自在王如來寶冠瓔
珞莊嚴身左持青蓮花當心上右如僻蓮
花葉文

疏五云：作住現法閑熙怡微咲之容觀自
在身色如淨月或如商估是上妙螺貝或
如軍那花其花出西方亦其鮮白○其光
鮮潤微白中之上也
已上諸本文雖少相違有之二臂尊
大略同也仍一所載之

圖像

一三二

(裏書三七二)

頭冠佛

大日經疏第五云：頂現無量壽者明此行
之極果即是如來普門方便智也

所持蓮花

(裏書三七三)

無量壽軌云：作是思惟一切有情身中其
有此覺悟蓮花清淨法界不染煩惱文
理趣釋云：觀自在菩薩手持蓮花觀一切
有情身中如來藏性自性清淨光明一切
惑染所不能染由觀自在菩薩加持得離
垢清淨等同聖者云：

勤修門

修行日時

阿魯力迦經云：白月八日或十五日清淨
洗浴誦八千返云：

又云：從白月一日至十五日云云或十
四日云云

又云：正月一日云：

或不問日月好惡取中夜香湯洗浴著新
淨衣誦三千五百返阿魯力一切惡夢悉
得消滅文

三時行

軌云：觀自在菩薩前日三時別誦三千
返滿三箇月所求一切意願皆得滿足云
大儀軌云：於佛像前三時別誦三千返
滿三月文

阿魯力經云：三時至一月文

行者受三歸

軌云：自誓受三歸依戒○某甲始從今日
乃至當坐菩提道場歸依如來無上三身

悉地座

歸依方廣大乘法藏歸依僧伽諸善衆文

阿魯力迦經云：淨洗浴已坐三稜草座誦
三十萬返云云呪一切悉地無有不獲

仍離自身一切疾必無橫疫於觀自在菩
薩前連誦一萬返所求前願皆得成就云

請書

請定

明海云：

右從今月十六日於得長壽院學六口伴
侶七箇日可被修聖觀音法者依院宣執
達如件

月日

謹請

院宣事

請文法務筆

某

右白來十六日於得長壽院學六口伴侶



可勤仕觀音法者謹所請如件

月日 大法師明海

辭書

謹辭

不堪勤仕御修法狀

右白去七日依陪所勞謹辭如件

八月十二日

前少僧都寬信

支度

(裏書三七四)

得長壽院三十壇之供中壇

右兵衛督顯賴奉行

注進

聖觀音御修法支度事

合

蘇蜜名香

(裏書三七五)

五寶金銀真珠琉璃琥珀

五香沈水白檀丁子薰陸龍腦

五藥白朮人參甘草遠志苟杞

五穀稻穀大麥小麥菜豆油麻

淨衣白色

自餘用物如常

右注進如件

長永元年十一月十三日

權律師寬信

壇一面

在壇

脇机二前

燈臺四本

禮盤一脚

在平盤

壇敷布一段

大幕一帖

壇供

御明已上二種如常

阿闍梨

伴僧

承仕一人

駈仕二人

見丁一人

已上用意載之云

壇圖

開白佛供十六坏

汁八坏

菓子十六坏

餅八坏

每日中如開白

後夜粥八坏

初夜無供物

檀木長九寸

甘味木 椎 柏 樟 松 檜

乳木長十二指六寸作圓

檉 桑木 穀木

藥種 芍药 甘草 人參

加持物

塗香丸香等用白色香沈白檀白膠

供花白色

加持供物

馬頭半印

結界同之

行法付金剛界

表白得長壽院中壇

法務御筆

凝一心之敬慮。渴仰大悲之本誓。召諸宗

之淨侶。勤修數壇之行法。御願大意奉爲

兼除重厄。玉體無恙。更滿御願。寶壽長遠

也。觀世音菩薩者。婆娑國之尊主。施無畏

之上聖也。却急難者。類疾風之披雲。霧滿

衆願者。如巨海之納雨露。就中披人師之

解釋。轉定業勝諸佛考儀軌之所說。消宿

殃超餘聖。加之王者仰之擁護。已深。彼戒

日王之政務。依祈觀音。蒙遜王之延壽算。

在歸此教。太上天皇信仰無二。登千餘體

之尊容。薰修重期。竝三十二壇云。密法。

月氏已無其先跡。日域始有此御願。若爾

縱有理運厄怪。法力必消除。縱有難轉御

慎。佛德早解脫。百年壽祚彌堅。無邊御願

悉成矣

口傳

種子

本軌云。種子黃金色。具無量光明云。

疏十云。種子觀自在也。傍有二點。

除遣諸漏。無漏觀故自在也。經三同之

小野圖集云。釋迦院。文殊院。種子。

或抄云。觀音院。

三形 蓮花

實任云。開敷蓮。或師云。未敷蓮

又獨古

經三云。蓮花

軌云。未敷蓮花

蓮花部念誦法云。白蓮花云。

本軌云。觀花。於花上有一金剛。以是相故

名曰金剛蓮花。當作是心。即我此金剛與

蓮花非異云。

略出經三云。盡破折羅。腰有蓮花云。

護摩軌云。法如法波羅云。

上文云。法如獨結杵。上戴開敷蓮文

真寶經意云。印言共有金剛蓮花云。

或師云。未敷蓮花。開敷蓮花。共獨古爲

莖云。

私云。此說叶經軌文。即金剛蓮花也。

印

軌云。觀自在心印

金剛界蓮花部心印也（藏書三七六）

軌云：二手內相叉，翹豎右大母指。○當心

師云：以此印向身招之。

或誦真言七返，加持心額喉頂，即軌之意也。

真言

軌云：觀自在菩薩心真言

蓮花部心言也

唵阿去引盧力迦

大軌云：觀自在心真言曰：阿嚧力

大師御筆本云：觀音心真言

阿嚧力迦經云：此真言是一切蓮花部

心文

右印言：懺傳也。本流也。有傳受集三

石山

諸家用之。但聖觀音胎藏印，其尊

頗多。故印言經軌說不同也。仍先德傳

區末學難指南

異說：藏印寶覺法眼云：種子三形隨懷主所願

又說：賢覺云：為智慧辯才，種三寶鏡也。

璣祇經云：觀自在菩薩以手中鏡擲虛空

○還住手中，說金剛智曰：寶鏡云：

為發菩提心種子。三未敷蓮花云：

又為勝論義相論等。寶字寶鏡可用云：

道場觀石山傳結如來印（藏書三七七）

壇上有字，成大蓮花王，遍法界。其上有

寶字，成廣大寶宮殿，其中有曼荼羅，

中有師子座，其上有月輪，上有

字，變成蓮花，變成觀世音菩薩，金色

結跏趺坐，被輕縠綵衣，相好威儀圓滿。

左手執末敷蓮花，右手當胸，作開敷花葉

勢，千手，十一面，准胝，如意輪，馬頭等菩薩

始無量蓮花部眷屬，前後圍繞。

石山傳云：五輪世界上有字，成八葉蓮

花。○觀自在菩薩羯磨身放光明，入三昧。

具萬億莊嚴，背後有圓光，頂上戴彌陀佛。

三身隨機現之，二十五有隨苦救之，恒沙

眷屬，自然圍繞云：

字輪觀



金寶抄云：觀自在菩薩

賢覺云：祕傳也。諸尊通用云：

成就院云：用此觀自在云：

顯果云：中四方有字，觀云：

同略觀大谷

心滿月輪中有字，門是一切真俗二諦

不可得義也。二諦不可得故，佛界、衆生界

無二平等也。佛界、衆生界，無二平等故，自

身、本尊、法界施主，無二平等。無二平等，

靈邪氣，怨家呪咀，一切善惡諸法，皆以本

不生不可得也。如此觀畢，言忘慮絕，出定

云

布字觀可同師

軌云：修瑜伽者，應觀想自身眉間置字。

赤金色，變成白毫相。於腦交縫內置字。

白色光滿其腦中。於頂上置字。作赤色

光，分焰上制。於佛頂上應想字。白色光

照法界。於自右足掌置字。左足掌置

字。即觀自心。為菩提心。離一切我。離蘊

處界等。○了知自心。本來不生。空。無自性

○觀本尊心上有圓滿寂靜月輪。中右

旋安布陀羅尼字。皆放白色光。遍周法界。

其光還來入行者頂。於修瑜伽者心月輪

中。准前右旋布列。了分明。其字復旋光

明。准前作觀。如是觀了。修瑜伽者自身與

本尊觀自在菩薩身等。無差別。如彼鏡像

不一不異

勸請小野

大慈大悲觀世音 蓮花部中諸聖衆

發願句

本尊界會 大慈大悲 觀自在尊

蓮花部中 諸大觀音

禮佛大谷

南謨阿利也縛路枳帝濕囉羅耶冒地薩
埵耶摩訶薩埵耶石山二ノ耶無之
南無觀自在菩薩摩訶薩

〓〓〓千手千眼〓〓〓

〓〓〓十一面〓〓〓

〓〓〓准胝〓〓〓

〓〓〓如意輪〓〓〓

〓〓〓馬頭〓〓〓

密號 正法金剛

念誦

正念誦

我如來呪

顯果又縛日羅多羅摩衆

散念誦

佛眼 大日 本尊三呪千手 馬頭

十一面 准胝 如意輪 不空羂索

白衣 訶利帝 大金剛輪 一字

部母 白衣

伴僧呪 我如來顯果
御加持呪同上 寶覺

護摩事

本尊段 加持物真言

我下道明

部主段

馬頭小野 千手三寶院傳

大日 實任云。或愛染王寶覺

法務傳云。六觀音互部主事也。普通馬

頭優也。但究竟祕事法部主。其部肝心

也。然不空羂索蓮花部悉地王也。心念

不空過即不空羂索也。玄井譯經

種子 三形 絹索

印如常

心真言小野傳

出自在王呪經上。又在數造紙下卷

諸尊段

諸神供二十一箇度

奉念

佛眼真言一萬二千返

不空羂索自在王呪世尊陀羅尼

大日真言二千一百返

本尊真言七十萬七千返

千手真言二千一百返

馬頭真言二千一百返

十一面真言二千一百返

准胝真言二千一百返

如意輪真言二千一百返

不動真言二千一百返

護摩真言二千一百返

仁平年中女房祈

一字金輪真言二千一百返

右奉爲 太上天皇御息災安隱增長寶

壽御願圓滿始自今月十四日至于今日

并一七箇日夜之間學六口伴侶殊致精

誠奉修如右

長承元年十一月二十一日

阿闍梨權律師法橋上人位寬信

結願作法

大日劍印

亮惠云。或人用此印言云。

聖觀音軌云。二手當心合掌屈二頭指。中

節橫相跏以二大指跏押二頭指上節如

劍形。即觀自心中有八葉蓮花。於花中想

阿字放金色光。了。一切法本不生。真言

日

部

寧

日

歸命惡引尾羅畔欠云：以印言加持身五處云。

又云：我字流出白色光明，照無邊塵沙世界，除一切有情身中無明繫闇，即想自身轉成毘盧遮那如來，其頭冠瓔珞，坐白蓮花，身如金色，光明照曜，作住三摩地相。

大說觀音印言

或師信：偏今菩薩習胎藏大日事，私云：不堪心一說，諸尊觀先大日心月輪觀本尊種三。今軌文相叶，就中大師御意，觀音三摩地入時一，不可聖衆悉入觀音三摩地云：可察。

六觀音御修法蓮地敷共息災修之

（裏書三八〇）

千手 降明僧正三井

聖觀音 林豪僧都山

馬頭 長寬法眼三井

十一面 長津律師山

不空 綱索經範僧都

如意輪 仁豪律師山

已上，以千手爲始，不空綱索依爲秘法，東寺人例，不可依諸次也。

寶覺云：此大第天台說止觀云：文。

聖觀音 千手 馬頭 十一面 不空

綱索 如意輪

用東寺次第也，但准祇所用不空綱索事可隨時云。

傳受集云：堀河院御時，以隆明被奉居六

觀音

千手 聖觀音 馬頭等如次，三井用此

說云：

法成寺同之

右法，念佛隙撰集之，雖存本流口傳，諸

師說不同也，仍略抄之，謬頗多云：後見無嘲

建久八年八月十五日於金剛峯寺往生院書之 佛子覺禪十五

元文五 庚申年六月十六日遂修復深藏

篋底了每歲解絨普覽勿令虫食莫忘

金剛佛子賢賀七十

義疏云：三六九

光世音事

義疏云：○花嚴經云：此菩薩住大悲法門，光明之行云名光世音也。又住

普門光明三昧，所住法門爲名云：法花玄論云：光是智慧，如大經言：光

明者智慧，智慧觀也。此菩薩智慧光明照世間，故名光也。

觀世意光世音事

屬累品記云：正經引名此菩薩光世音，光觀聲，音便即智慧，後代何述釋

義云：法花玄論十云：問：觀世音幾名？答：經

云：光世音，今觀世聲

大經云：光明者即智慧，智慧是觀也

○又菩薩智慧光明照世間故

花嚴云：觀世音菩薩說大悲經，光明

行大悲，即是功德，光明有三：名觀世

音，觀世意，觀世身文

藥樹王身如意珠王身事

文句十云：觀世音者，譬藥樹王，遍體

愈病，普門者，譬如意珠所與觀世音

冥作，貪瞋癡三毒七難皆離，二求兩

願皆滿也。○普門者，顯作利益變身

三十三聖容耳，同十九種尊敬也。

觀自在事

大日疏十五云：以此普眼名觀衆生

故，故名觀自在。若入此三昧，即是普

門方便智也云。

同疏六云：觀自在是初入蓮花三昧

也云。

此中自在梵本正翻富貴義云。

名觀世音事

觀音玄云：西土正音名阿利耶婆婁

吉低輪，此言觀世音云。

玄贊云：阿縛盧枳帝濕伐邏耶，此云

觀自在，觀三業，歸依三身故，略云觀

音

要集十云：以身語音歸菩薩，下身語

業，失餘二業。○或經云：皆闍浮提有

王，名普首。○第一王子名普光，值空

王，觀世音佛，發十大願，又云：我來世

名觀世音文

大日經疏云：觀者能觀之智，世音者

所觀之境，合境智爲目也。

文句十云：觀有多種，折觀、體觀、圓觀

也。世有多種，有爲世、無畏世、不思議

白衣 馬頭 佛眼云：

私云。大日加持如軌說 可用劍印言獻

三 七九

供養數內御新

仁平三年二月依字治入道殿仰左大臣殿所卷數大略同之但不空願索呪加用

聖觀音供所

奉供 供養法三百箇度

奉念

佛眼真言三萬返

大日真言三萬返

不空願索自在王呪云：

本尊真言三十萬返

千手真言三萬返

馬頭真言三萬返

十一面真言三萬返

准胝真言三萬返

如意輪真言三萬返

不空願索祕密心呪

一字金輪真言三萬返

右奉爲 古本無下 金輪聖王御息災安穩增

長寶壽恒受快樂御願圓滿始自七

月二十二日至于今日并一百箇日

夜之間殊致精誠奉修如件

久安元年壬子十月四日

阿闍梨權大僧都

法眼和尚位寬信

三 八〇
聖觀音通行事

內裏十八日觀音供聖觀音爲本尊也

小野傳也。梵天帝釋爲脇士也

六字法。以正觀音爲本尊 醍醐傳也

或云。小野一流云：

阿麼提觀音法。偏是付聖觀音法可行云。

寬通云。其文不爾

傳受集三云。八大觀音。梵號聖觀音不入之。異說又奉入之如何

○ 以聖觀音餘觀音觀合事

或師問 信通 年來以聖觀音爲本尊。然餘觀音詣靈所。滿件呪三十萬返事如何

兼意答云。蓮花部心也。叶佛意歟

寬通僧正答云。正觀音與餘觀音。並種子三形觀之。用呪印云：

亮惠云。聖觀音。以大悲願力分形六道。現六觀音。實一身也。正觀音心月輪中可觀餘觀音種子云：

覺禪鈔 十八日觀音供

或記云 賢覺 大師准漢土風。被始置於禁中二間 於仁壽 每月十八日觀音供。長者修之。然內裏燒失後。長者遷代。其說不同也

或云 信通 大師於仁壽殿令始行給。有由緒歟 有深

或記云。般若僧正被始供之 私云。有書記十一面裏也

行法 小野

本尊聖觀音 小野口傳云。內觀音供聖觀音。梵天帝釋脇士法務御口傳

注進 仁壽殿御佛事

合 白檀正觀音像一體 高七寸

梵天帝釋像各一體 高六寸

平六角御堂一基

右依少舍人茨田兼則宣注進如件

長曆四年十月十九日

僧正法印大和尚位

已上記。寶仁持本也。彼云。小野僧正歟。

長者次第云。長曆二年六月十一日任

僧正云：

口傳云。迎請本尊印次以大鈎召印明可

請梵天帝釋也

聖觀音 梵天

本尊祕印 八葉印

實任口傳也。兼意闍梨同之也。賢覺云。

印言如胎藏云、付聖觀音普通說也云、但遍智院僧都傳云、則是小野僧正傳云、散念誦梵天帝釋真言加誦也云、顯果說

晦御念誦

小野傳云、小月始自二十七日至于晦日三箇日、令修護摩、大月始自二十八日三箇日修之、及于朔日爲祕朔兼晦三箇日行懸敷、本法一日也、增益本尊如後七日、念誦之後凡每後夜念之云、

法務御口傳

本尊 寶生尊

種子 寶生尊

三形 寶形

印 外縛二中指寶形 三昧會寶生尊印也

呪 唵羅怛曩三波嚩怛浴

理趣院云、念範已講法務御手替被勤仕、此定令據御云、行吉祥天有深意、實任云、付金剛界可行云、

散念誦

佛眼 大日 寶生 寶菩薩 不動

吉祥 大金剛輪 一字

已上實任

勝覺僧正傳云、晦御念誦、羯磨會寶菩薩真言云、或人云、以件呪遍本尊呪有誦加之句、以之爲本云、

勸修寺御抄有之

消息 小野僧正御自筆云、

眞言院晦御念誦申付人、俄所勞出來也、

明日、件手替可令勤仕給也、未申其事歟、件法如意輪也、但三昧耶形、一山也、能正念、心得心可令行給也、可讀呪等

散念

佛 大 寶生 本尊大呪 同心

中心 十一面 寶菩薩 不動

軍荼利 吉祥天 大金輪 一字

作法如此、委在對面耳

三月二日 僧正 仁海

密嚴房入寺御房

私云、消息日時已相違、今度若過定日被始行敷

追記、晦御念誦、大月自二十八日、小月二十七日行之、朔日、中結願、日別三時、三

日九時也、長者定額僧二人於伴僧護摩修之、近來長者一人修之、東寺陵地云、

向曼荼羅云、

供養法許

惡龍下、一山、一女、取爲避彼修此法、云

已上實任

御藥加持時、一女、想者、聖朝安穩、天長地久、念也、自餘准之可知之、一女滿一切願故、施所求可念也

元文五 庚申 年十月二十二日遂修復補虫損之闕略了 權僧正賢賀 生年五十七

覺禪鈔 千手

千手觀音法

勸請集 除病 所望云、

敬愛息災事

軌云、於壇西面安千手千眼觀自在菩薩、持誦者於壇東對像數茅薦爲座云、

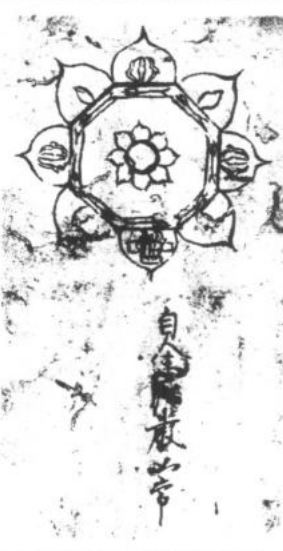
師口云、小野傳、行敬愛爲祕事、但連壇之時息災可修也、或人、三十壇供、付敬愛、出

赤色淨衣、諸人嘲之云、

又四十所持、依五種法敷

堂莊嚴 如例軌文略之

爐形



種子 八葉蓮花諸師

三形 顯果 八葉蓮花上隨事置四十所持

口云、顯果 八葉蓮花上隨事置四十所持、深祕置如意寶珠、一切所求悉地、無不成

就事 金寶抄同之

師云、寶所求通三昧耶形云、

亮惠云、殊求福云、

實任云、調伏用劍

賢覺云壽命願用五色雲敬愛合掌變成
本尊云

信與云紅蓮花

種

三鉢

印 開敷蓮花印用小呪已上
根本印

軌云千手千眼觀自在菩薩根本印云

二手金剛合掌稍曲手背合掌相離以忍

願二度相合檀惠禪智四度折開各直豎

即成云

口云根本印蒲恒洛山表

又云九峯印二大二小四峯二頭二無名

四峯二中指九峯也

羅索經八云畫七寶蒲陀洛山其山腰象

須彌山腰山巔九黃猶若蓮花當中背狀

如蓮花臺云

又說顯泉觀修寺法務無名中頭六指端

合云即蓮花五

醍醐法務二無名二頭四指外縛云

金寶抄云中指蓮葉或寶形

權僧正云師主祕說蓮花五古印云

亮惠云蓮花五古契所求分五部云

實勝云五指端蓮花部五部生中無量壽

餘四法利因語也此五部蓮花部五部諸

尊生云

千手陀羅尼略之
軌云由結根本印誦此陀羅尼能作四種
成就事一者息災二者增益三者降伏四

者敬愛鈎召等所有希望世間出世間果
報皆得滿願此本教中所不說作諸成就

法者用蓮花部中法對此像前作必護成

就也云

次結八葉印

口云諸觀音通印也八
葉之上觀音珠也

唵囉日羅達磨訖利

成喜院云諸家真言集千手小呪云

勸修寺真言集云見于青頸觀音軌功不說

仁濟云彌陀觀行軌說此言了外縛頭指

蓮葉印用之其文正觀音印言也千手無

證據

淳閣梨云千手言無其云也

私案云聖觀音通諸觀音而千手衆字爲

種子今言又有此字尤有道理歟

加用印言顯泉

如意寶珠御手印也

外縛二風爲寶形金剛界寶

唵引囉日羅二合唵哆吽吽吒出千光

經云爲富饒種々珍財資者當於如意寶

珠手同印明出千光二手堅固縛進力摩尼

形禪智並申立即成

唵囉日羅二合達磨金剛法振多摩拏如意珠

入囉囉光明囉囉尼與願ソハ力

結界用降三世事二故用之敬愛明王也一觀

軌云印言形像如常略之
修行者應住菩提心深起悲愍滅除內外
人天等障左右三匝隨意大小結爲方隅

界即印心額喉頂散頂上○所有煩惱業
障以金剛猛利惠火焚燒悉成灰燼云

私云蓮花部結界馬頭常途習也見無

量壽并觀自在軌然千手軌用降三世

也今明王內住慈悲外現忿怒即叶觀

音悲心

理趣釋云持降三世印者三世魔障首

羅義由此印得降伏淨信引入佛道以

蓮花面微笑而怒頻眉者住內心與觀

自在悲愍心相應外示現忿怒也云

九會密記云降三世持弓箭極喜三昧

耶是射厭離心大悲箭也三昧耶是本

誓義也云

口云是文即敬愛義也千手法敬愛爲

本仍結界用降三世也餘觀音不可用

之云

五相成身軌文

道場觀石山師傳云器界觀如常

次結如來拳印妙高山頂有八大金剛柱

成寶樓閣中有蓮花々々上有衆字從其

字流出大光明遍照一々佛世界此字變

成開敷蓮花蓮花變成千手千眼觀自在

菩薩身金色具千手千眼有無量相好威

儀嚴盛十波羅蜜八供養菩薩各住本位

四隅有白衣大白衣多羅毘俱胝等四大

菩薩及諸天部衆前後圍繞云
次七所加持 唵步入欠云
字輪觀



正念誦 用陀羅尼

散念誦 口云用陀羅尼事見軌文但隨時可用小呪此常途傳也

佛眼

大日 本尊 陀羅尼 正觀音

馬頭 十一面 准胝 如意輪

一字 顯果 白衣 毘沙門 吉祥天

金寶抄云散念誦毘沙門加誦云

師云何彌陀呪可加用見千光眼經云

實任云愛染王呪可滿加但卷數不書

云

勸請

千手千眼觀世音 蓮花部中諸聖衆

發願

大悲金剛 密號也

或云本尊聖者 千手千眼 觀自在

在尊 蓮花部中 諸尊聖衆云

禮佛

南無沙阿沙羅布惹阿利也縛路吉帝

濕波羅

部母 白衣觀音

讚西方 師說也

發遣眞言

唵囉日羅跋囉麼移歸命句

伴僧 羅尼

御加持同之

護摩相應句 息災云

部主 正觀音 小野

印外縛二頭蓮葉二大鼓聲 言呪阿口力迦莎賀

諸尊段 六觀音

已上 師云部主尤可用阿彌陀用之

千手經云稱念我之名字應專

念我本師阿彌陀如來云

千光眼經云同文略之

又馬頭用之一小野

或云千手部主用愛染王極祕事也

鳥羽僧正於奈智被修千手護摩部主愛

染王云

諸尊段或傳十波羅蜜白衣大白衣多羅

毘俱知八供四攝可供云

實任八大觀音云 (裏書三八三)

千手敬愛法 小野祕事

先跡

白河院御時權僧正 範 被修之有法驗

祇園女御奉爲院不和之時令修云

後寬云御布施多給之

讚岐院御時法務御房令修之給奉爲皇

嘉門院不和之時也

仁濟阿闍梨手替云

先師云今法小野傳也敬愛祕事付千手

合藥經習之云

彼經云若有夫妻不和狀如水火者取鴛

鴦尾於大悲心像前呪一千八返身上帶

彼此即終身歡喜相愛敬云

口云夫妻不和時若供若護摩可勤修常

千手法但鴛鴦一雙尾乍生拔取之尾裏

莖ハサメテ夫鳥尾夫姓名書妻鳥尾妻

姓名書以朱砂書也



裏方合糸以本結尻頭捻行者右脇机置之

興然師云鈴左行者右三古傍置云

護摩散念誦之時脇机取置鈴杵邊佛眼

大日眞言之次以三古杵誦本尊陀羅尼

一百八返若五加持之其後如本又置脇

机也次餘眞言共滿之

後寬云鴛鴦尾阿闍梨儲之世間

鴛鴦刀羽用云事祕事也云

種子 口云種子上伊字三點觀也三點即般

若法身解脫也又配三部又三寶也

三形 寶珠 口云四十所持物隨部可用也雖然實爲三形祕也

全所持物皆自寶出生也寶即般若法身解脫德備

根本印

合掌已二水二風交地空各開立二火相

合 口云二火寶形作云

師云、二水二風交、敬愛義觀也、男惠女定也、定惠指交、男女敬愛觀也

祕說、中指上寶觀也、男為女寶也、女為男寶也、中指寶觀、寶觀上財降也、寶滿一切意願故敬愛云、

眞言用陀羅尼

又印同軌

二手虛合二大二小開立、二中指之端小開、如未數蓮花云、

是懷校諸罪印云、

眞言

愛染王摩訶羅識呪末縛日羅達磨、加讀也

實任云、千手愛染王同佛也、深祕云、正念誦、用陀羅尼百八返、若二十次用小

呪百八返

散念誦

佛眼

大日

愛染王

但卷數不載之

本尊陀羅尼

同小呪

正觀音

馬頭

十一面

准胝

如意輪

護摩

供時可滿大

一字

梵號

千手觀音

密號

大悲金剛

禮佛

八大觀音梵號

伴僧

用陀羅尼

御加持

同陀羅尼

護摩

部主 愛染王 口云此法至極也

加持物

米赤染也、變成鴛鴦尾、夫妻身中入想云、

觀云、此團丸供、變成鴛鴦尾、人從本尊御口、至心蓮花臺、成無量蓮花箭雲海、從一口、毛孔流出供養虛空界諸佛菩薩、便還來射拂男女憎惡、隔別厭離、男女一體和合互令起無二敬愛之心

口云、加持物本尊智惠也、仍調伏法以加持物怨家摧破觀也、此尾敬愛故尾

本尊段、勸請發遣、本尊印明可用也

諸尊段六觀音

信運云、名香用安息香

實任云、置花箭行之云、

師云、鴛鴦之尾、行法滿結願之後、件尾紙卷封、其上續目上、亦字書也、又說上下亦字、中亦字也、

施主許遣之令懸頸、第一敬愛法也、與懸妻願也

小野流諸護上、亦字書也、金輪諸事所願令成就給尊也、又物不被摧破也

一宿五遍事

千手經云、當誦此陀羅尼、一宿滿五返除滅身中百千萬億劫生死重罪云、

定深抄云、七師異說中第七義云、一宿者

致誠名也

毛詩云、一宿是誠義故云、

內外異用言字同

或云、住靜室、或云、六時或不散念

或云、一直無離皆是精誠致言云、

故一宿至誠正義云、經云、曠野山澤、軍陣、蟲毒家等至誠稱誦、皆得解脫

又云、衆生濁亂時等至心得解脫云、陀羅尼功德事

千眼千臂神呪經上云、智通有得聞此陀羅尼者、若讀若誦、一切煩惱障礙消滅、

觀世音菩薩、恒隨逐擁護是人、○心念觀世音菩薩、誦陀羅尼七返、不墮一切諸惡之趣云、

又云、一切罪業滅生貴姓家得大力、入禪定、得宿命智云、取意

千手經云、若聞此陀羅尼名者、尚滅無量劫生死重罪、何況誦持者

諸佛成道觀音力事

千光眼經云、超八地得千手力

經云、名號功德

經云、專稱名號得無量福、滅無量罪、命終往生阿彌陀佛國云、

千光眼經云、常稱名號、等供養六十二億恒河沙數如來功德、何況至誠供養、其福無量、持者身氣利益、誦持者言音持受者

爲佛身藏

五穀豐登事 經文可見

延壽事 千眼千臂經上云

乾枯樹事

十五種惡死事

十五種善生事

除惡趣生佛國事 已上經文略之

滅五逆罪事

千臂神呪經上云 除邪姪事經云

轉女身事

經云諸女人厭賤女身欲得成男子身誦持大悲陀羅尼句若不轉女身成男子者我誓不成正覺生少疑心者必不果遂也

除不善人事

脫官難事

毒藥成甘露還呪咀

除疫癘延壽

除家中惡病

已上經文略之 自餘功能等略之

建曆元年十二月十一日書之

文永二年八月十六日書寫了

元文五申庚年九月十三日遂修復令收

大經藏了每歲轉軸卷舒勿忘

觀經寺淨土院權僧正賢賀春五十七秋

〔裏書三八一〕

道場觀

法務御房
通諸觀音

第八海南方有異字成七寶補陀洛

山其山腰象須彌山腰顯九寶猶若

蓮花當中背狀如蓮花臺山上畫諸

寶樹花菓一切藥草山下大海水中

魚獸水鳥之類當中背上七寶宮殿

種種莊飾其宮殿地衆寶所成殿中

置寶蓮花師子座云

種三形
像如常白衣大白衣多羅毘俱知六大
八大諸觀世音蓮花部諸尊聖衆前
後圍遶

〔裏書三八二〕

聖天十二天加用事

源運僧都云師聖賢圖梨千手護摩

千日行間十二天供一時初夜聖天

供二時後夜千日之間供之云

古今不行事也

小野僧都千日之外十二天供一百

日聖天供一百日行之近來人千日

內未只各百日行之云

〔裏書三八三〕

調伏時乳木事

千臂經云欲伏怨家呪苦練末二十

一返一呪一燒即得歸伏云

千手觀音法觀諸集除病

〔裏書三八四〕

敬愛息災事

軌云於境四面安千手千眼觀自在菩薩

持誦者於壇東對像敷茅薦爲座云

師口云小野傳行敬愛爲祕事但連壇之

時息災可修也或人三十壇供附敬愛出

赤色淨衣諸人嘲之云

又四十所持依五種法敷

請書

〔裏書三八五〕

自來十二日學六口伴侶令勤修千手法
可令奉祈女院御惱消除之由者依 院

御氣色執達如件

月 日 左中辨 某

謹請遂申支度注進之

千手修法事

右自來十二日學六口伴侶可奉祈女院

御惱消除由之狀謹所請如件

月 日

支度鳥羽
僧正

〔裏書三八六〕

注進

千手觀音御修法一七箇日支度事

合

蘇 蜜 名香安忌
或沈

五寶 金銀琉璃琥珀眞珠

五香 沈薰陸白檀丁香龍腦

五藥 檳榔子遠志人參桂心甘草

五穀 稻穀胡麻大麥小麥菜豆

壇供米八石四斗 御明油一斗五合

壇一面方六尺 脇机二前 燈臺四本

禮盤 在半邊 闍伽桶 加杓 爐桶一口

阿闍梨 伴僧 承仕 駟仕 見丁

淨衣赤色

已上供料
普通定

年 月 日

堂莊嚴

阿闍梨權僧正
範俊

軌云於清淨伽藍及舍利塔前修治精室
塗拭壇場周匝懸幡上施天蓋於壇四面
敷茅薦爲座成坐庫脚小床壇上分布曼
荼羅列諸聖位置二闍伽滿盛香水安四
賢瓶於壇四角每日取種々時花散於壇

上燒香塗香燈明飲食及諸菓子加持分
布四邊供養文

佛供小八坏 汁八坏

菓子十六坏 已上每日中并
開白時此定也

後夜粥八坏

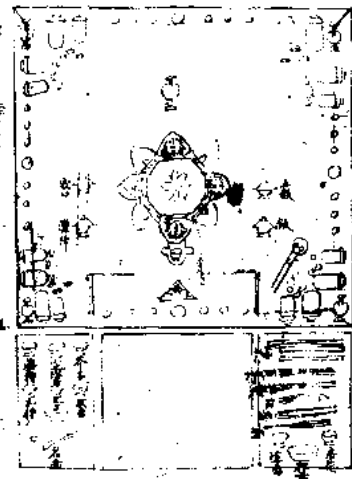
初夜無供物

壇木長八寸指
五寸合

乳木長五寸合
五寸合

藥種天門木
天門木

加持物色開粉
色開粉小豆



行法 付金剛界 (裏書三八七)

表白詞

夫以仰觀音之本誓造立等身之形像崇
祕密之教門今始七日之行法御願大意
者擬災安穩之計偏依大悲之本願除病
延命之旨只在無緣之弘誓今此千手觀
音昔仕千光王佛實得大悲神呪誓利一
切衆生忽備千手千眼遺日光月光照晝
夜不祥具二十八部除曜宿災障述破業

障陀羅尼除宿業之病有馮說延壽陀羅
尼保長壽之齡無疑藥師如來一經其耳
之誓只是巨海一滴也普賢菩薩恒順衆
生之願不及九牛一毛也此尊利益靈驗
揭焉爰以致誠憑誓隨願成就乾樹生花
菓何況有情有識身乎若然垂一子慈悲
奉護萬歲之壽算御願玉鄭重不可疑除
病之願望

種子 八葉蓮華諸師 (裏書三八八)

三形 八葉蓮華上隨事置四十所持
口云願果八葉蓮花上隨事置四十所持
又深祕置如意寶珠一切所求悉地無不
成就 金寶抄
師云寶所求通三昧耶形云
亮惠云殊求福云
實任調伏用劍
賢覺云壽命願用五色雲敬愛合掌手變
成本尊云
信與云紅蓮花

三 鉢

印 開敷蓮華印用小呪已上
根本印 軌云千手千眼觀自
在菩薩根本印云
二手金剛合掌稍曲手背合掌相離以忍
願二度相合檀惠禪智四度折開各直豎
即成云
口云根本印補陀落山表 又云九峯印
二大二小 四峯二頭二無名 四峯二中指
九峯也

綱索經八云畫七寶補陀落山其山腰象
須彌山腰山嶺九背猶若蓮花當中背狀
如蓮花臺云
又說願果勸修寺法務無名中頭六指端
合云 即蓮華五 醍醐法務二無明二頭四
指外縛云
金寶抄云中指蓮葉或實形
權僧正云師主祕說蓮花五古印云
亮惠云蓮花五古契所求分五部
實勝云五指端蓮華部五部生中無量壽
餘四法利因語也此五部蓮華部五部諸
尊生云
千手陀羅尼 本載云歸
私云陀羅尼異說多之古呪出世流布
經
又儀軌姥陀羅尼經青頸觀音軌等可
見之梵本惠果御筆本有之云
千手經云誦持大悲神呪者於現在生中
一切所求若不果遂者不得名為大悲心
陀羅尼委細有別
軌云由結根本印誦此陀羅尼能作四種
成就事一者息災二者增益三者降伏四
者敬愛鈎召等所有希望世間出世間果
報皆得滿願此本教中所不說作諸成就
法者用蓮華部中法對此像前作必獲成
就也文
次結八葉印 口云諸觀音通印也八
葉之上觀寶珠祕事也
唯願日羅達磨訖利

成喜院云諸家真言集

千手小呪云勤修寺真言集云見于青

頸觀音儀軌功不說

惠什闍梨云千手小呪出妙香印法并

蓮花頂法云

覺印闍梨云件兩三證文尚不分明云

仁濟云彌陀觀行軌說此言了外縛頭

指蓮葉印用之其文正觀音印言也千

手言無證據涼闍梨云千手言無其云

也

祕案云聖觀音通法觀音與千手此字

為種子今言又有此字尤有道理歟

加用印言顯果如意寶珠御手印也

外縛二風為寶形金剛界寶

菩薩印也

唯囉日羅合二囉多囉吽吽出千光

經云為富饒種珍財資者當於如意寶

珠手同印明出千光二手堅固縛進力摩尼

形禪智竝申立即成

唯囉日羅合二達磨金剛振多摩尼如意入

囉囉光明囉囉尼等願娑囉賀

結界用降三世事二故用之敬愛明王也一觀

軌云印言形像如常略之修行者應住善

提心深起悲感悲滅除內外人天等障左

右三匝隨意大小結為方隅界即印心額

喉頂散頂上○所有煩惱業障以金剛猛

利惠火焚燒悉成灰燼文

私云蓮花部結界用馬頭常途習也見

無量壽并觀自在軌然千手軌用降三

世也今明王內住慈悲外現忿怒即叶

觀音悲心

理趣釋云持降三世印者三世摩醯首

羅義由此印得降伏淨信引佛道以蓮

華而微咲而怒頻眉者住內心與觀自

在悲慈心相應外示現忿怒也

九會密記云降三世持弓箭極喜三昧

耶是射厭離心大悲箭也三昧耶是本

誓義也云

口云是文即敬愛義也千手法敬愛為本仍

結界用降三世也餘觀音不可用之云

五相成身私云或本與書軌文仍略之

道場觀石山十度外相又二大二小

相柱云

器界觀如金剛界

次三印如常

次結如來拳印妙高山頂八大金剛柱成

寶樓閣中有蓮花上有此字從其字

流出大光明遍照一一佛世界此字變成

開敷蓮花變成千手千眼觀自在菩薩

薩身金色其千手千眼有無量相好威儀

熾盛十波羅蜜八供養菩薩各住本位四

隅有白衣大白衣多羅毘俱胝等四大菩

薩及諸天部衆前後圍繞云

次七處加持 唯步欠云

字輪觀

正念誦 用陀羅尼

口云用陀羅尼事見軌文但

隨時可用小呪此常途傳也

軌云以二手各聚五度如未敷蓮花以

禪戒二度移珠誦千手○陀羅尼一返

與娑囉引合賀字齊聲移一珠○或百或

千常定其數念誦了云

散念誦

佛眼 大日 本尊陀羅尼 正觀音

馬頭 十一面 准胝 如意輪

一字

顯果白衣毘沙門吉祥天婆沙佛大金剛輪云

金寶抄云散念誦見沙門賀誦云

實任云娑囉王呪可滿加但卷數不寄之

勸請 千手千眼觀世音 蓮花部中諸聖衆

發願 大悲金剛 密說也

或云本尊連者千手千眼觀自在

尊蓮花部中諸聖衆云

禮佛 三十七尊如常

次沙訶沙羅合二布惹阿利也囉路吉

帝濕波 去 羅梵號也



部母 白衣觀音

讀西方 師說也

（裏書三九二）

聯日羅二達磨蘇婆恒聯引合羅他聯日羅

合鉢那摩合二蘇輪引駄迦路引計引濕聯

合二羅蘇聯日羅合二乞又合聯日羅合二寧引

恒聯合二羅蘇聯日羅合二乞又合聯日羅合二寧引

小野之內讀有多說一軌百字明或用總讀或用如意輪讀也

後供養

軌云復結八供養印各誦真言一返後結

十波羅蜜菩薩印及白衣觀自在菩薩等

四大菩薩印各誦本真言一返云

口云可結八供養印言計云

解界如常

軌云結三世殘菩薩印左轉解界云

發遣 如常真言

唵轉日羅二合跋那摩合二穆云一歸命句

伴僧用陀羅尼御加持同之實覺用小兒

護摩相應句 扇底迦婆娑訶

部主 正觀音 諸尊段 六觀音 （裏書三九二）

師主云部主尤可用阿彌陀

阿彌陀用之千手經云稱念我之名字應專念我本師

千光觀經云先覺智願欲度一切衆生至誠稱念彼

西方無量壽佛所以念本尊誦根本大咒隨智而修行

又云若欲成就如上諸法求於勝地作妙茶羅安置

像文 像作念誦燒香散花供養西方無量壽佛及本尊

又馬頭用之一說 或云 司馬千手部主用

愛染王極祕事也鳥羽僧正於奈智被修

千手護摩部主愛染王云

諸尊段

或傳十波羅蜜白衣大白衣多羅毘俱

抵八供四攝可供云實任八大觀音

卷數

千手觀音御修法所

奉供

大壇供二十箇度

護摩供二十一箇度

諸神供三箇度

奉念

佛眼真言一萬二千返

大日真言二千百返

本尊大呪百五十返

同小呪

正觀音真言三千一百返

馬頭

准抵

十一面真言二千一百返

如意輪真言二千一百返

護摩真言二千一百返

一字金輪真言二千一百返

右奉爲 太上天皇御息災安穩增長寶

壽御願圓滿始自今月十四日至今日并

一七箇日夜之間學六口伴侶殊致精誠

奉修如右

年月日

結願作法 阿闍梨權大僧都

先書卷數一通付枝立壇右又安文一通

置左脇机同机置佛布施供養法如常但

前方便無祈願等後供養燒香次供佛布

施

次闍伽 次取念珠金二丁

次讀卷數一丁 次事由申餘如常

元文五庚申夏六月五日遂修補深藏

竹目木底了

淨土院權僧正賢賀 享 五十八

六觀音千手爲初事

傳集四云國主御祈院 丈六之觀

音隆明僧正奉居千手聖觀音後

如常法城寺同千手初奉立云

千手八大觀音中不入事

大谷云義範手跡八大觀音梵號有

之但現文有九可除千手云

理趣房之同八大內不入之云

傳集云

大慈觀音餓鬼衆生以慈

爲喜故現慈念之可拔其中衆生云

金寶抄云大悲破地獄餓鬼道之障

此道飢渴呪用大悲

謹辭

不堪勤仕千手供狀

右自去某日依陪所勞謹辭如件

年 月 日 大法師

【藏書】三八六

注進 千手供支度事
合

蘇 蜜 名香 白檀

壇一面 脇机一脚 燈臺二本

半疊一枚 壇敷布一段

壇供 御明 已上二種如常

阿闍梨 承仕一人

斷仕二人 淨衣 赤色

右注進如件
保安四年九月十八日

大法師寬信

【藏書】三八七

緣日 付十日

隨聞記云。西國戒日王。於十八日。敬觀音。得爲帝王。爲報彼恩。每十八日。設無遮大會。文

【藏書】三八八

又傳 聖寶

種 光放千光明

三形 開敷蓮花 光如

亮惠云。字放千光明。種子轉成千

手持物。取其一。凡千手千眼。出生千佛。

千手出生。千轉輪王。千手千目。是父子云。

根本印。二頭二無名。又千羯磨也。所作事業。羯磨義也。二大二小。千光明也。

攝大軌云。智慧三昧。合舒散地風輪。

如放千光焰 文私云。實如佛印相也。
如意輪軌云。從蓮花胎藏妙放千光明。皆爲利衆生文。

大日疏云。以此觀音而觀衆生。故觀自在者。○從其心出種種光明文。

私云。依聖觀音千手千眼。所發願。如意輪放千光。千手具身。故名千手千眼。

後定額用 不可不

吉帝濕 合二囉

明星天子法云。帝釋即觀世音菩薩。是故曰千眼王。文

陀羅尼九種名事

經云。一廣大圓滿。一無礙大悲。一拔

苦陀羅尼。一延壽陀羅尼。一滅惡趣

陀羅尼。一破業障陀羅尼。一滿願陀

羅尼。一隨心自在陀羅尼。一速超上

地陀羅尼。文

○

百字真言

軌云。結本尊印。誦陀羅尼一返。不解

印。誦蓮花部百字真言一返。頂上散

印。真言曰 大略如

由誦百字真言。加持故。能令本尊三

摩地堅住身中。設曾犯五無間罪。勝

方廣大乘經。修行者。但堅住本尊三

摩地。誦此字真言。設薄福者。一切罪

怪。悉皆清淨。現生所求。殊勝悉皆圓

滿。文

○

二十八部衆總印 伊運
虛心合二他二風散開立
千手呪

唵 引 莫 阿 引 哩 耶 去 囉 路 引 吉 帝

引 濕 拂 合 二 羅 引 耶 二 娑 賀 薩 羅 合 二 步

惹 引 耶 三 唵 引 囉 謨 引 宰 都 帝 引 五 鉢

羅 合 二 某 那 輪 引 六 囉 羅 摩 引 婆 囉 引 彌

七 娑 囉 合 二 賀 引 入 梵 漢 共 出 小 野 真 言

殺 山 長 宣 僧 都 觀 音 集 云 千 手 心 呪

私 云 同 小 野 集 但 翰 字 作 鉢 引 形

法 性 房 胎 記 云 千 手 印 如 軌 真 言

曰 ○

本尊印事

外縛頭指蓮葉大指竝堅 小呪 開明

房傳信與同之

八葉印。可見合樂經 信與

蓮花頂合樂經可見

聖賢口云。內縛當心小呪

又二手以大指捺中指。餘三指舒立。

右伏當右膝。左印當左膝上 呪同

亮惠。外縛合二風如蓮葉。二空堅相

逼。是三昧耶云。

○

○

○

○

【藏書】三八九

道場觀

軌云。於下方空中。想含字。如深玄色。漸舒漸廣成大風輪。上上想鑲字。白色。與風輪相齊。變為水輪。上上想鉢羅。金色。成一金龜。背上想素字。為妙高山。四寶所成。又想劍字。成金山。七重圍繞於妙高山。上虛空中想毘盧舍那佛。遍身毛孔流出香水乳雨。澍七金山間。成八功德水乳海。於妙高山頂上。想有八葉大蓮花。上有八大金剛柱。成寶樓閣。於蓮花臺中。想乾哩字。流出大光明照一。佛世界。所有受苦衆生。遇光照觸。皆得解說。於大光明中。踊出千手千眼觀自在菩薩。具無量相好。熾盛威德。十波羅蜜菩薩周匝圍繞。八供養各住本位。於寶樓閣四隅有白衣。大白衣。多羅。毘俱胝等四大菩薩。各與無量蓮花部衆前後圍繞。諸天八部以為眷屬。如是觀想。無量聖衆及本尊極須分明。勿令忘失云。已上軌說

【藏書】三九〇

賢覺云。三十七日誦真言三落叉云。

【藏書】三九一

讚石山

唵囉日羅合三引麼惹合二鉢那摩合二羅誼額末蘭迦摩合二羅誼母翰路迦曇化滿駄迷薩囉秘駄悉轅尼

【藏書】三九二

聖天十二天加用事

源運僧都云。師聖賢闍梨。千手護摩千日行間。十二天供一時。初夜。聖天供二時。日中。千日之間供之。古今不行也。小野僧都。千日之外。十二天供一百日。聖天供一百日行之。近來人。千日內末。只各一百日行之云。

赤色紙事

金寶抄云。千手法以赤色紙八葉造之。百八枚。本尊段燒之。師主說也。法務。醍醐。敦造紙云。赤色之紙二帖計。千手法可用云。

調伏乳木

千臂經云。欲伏怨家。呪苦練木二十一返。一呪一燒。即得歸伏云。

【藏書】三九三

供卷數

千手供所六觀音次第可尋

奉供

供養法七箇度

奉念

佛眼真言七百返

大日真言七百返

本尊大呪百五十返

同小呪七百返

聖觀音真言七百返

如意輪真言七百返

十一面真言七百返

准胝真言七百返

馬頭真言七百返

大金剛輪真言七百返

一字金輪真言七百返

右奉爲 女大施主御息災安穩增

長福壽心中御願圓滿。始自今月二

十一日至于今日。并七箇日間。殊致

精誠奉供如右

大治々々

僧

千手御念誦所

奉念

千手陀羅尼二萬返

右奉爲 禪定仙院御息災安穩增

長寶壽御願圓滿。始自五月二十七

日至今月今日。并十箇日夜之間。二

十五口大法師等殊致精誠奉念如

件

年月日

大法師下

覺禪鈔 千手抄

千手觀音抄

今此菩薩者。祕宗規模。真乘肝心也。一結本契。一切罪障消。二唱真言。二世悉地滿。仰持萬歲之壽命。信感千秋之榮貴。誠見一之悲願。已有萬之利益。內滅八萬心患。外除四百四病。誓三稱我名。萬願皆令成就。得施無畏德。導有緣之衆生。厭女身成男子。願菩提登菩薩地位。何況餘悉地乎。凡一切衆生心中甘露也。

住所

此瞻部洲南天竺南海中。在山名補陀落山。亦名白宮殿。以諸摩尼瓔珞莊嚴。即觀音之住所也。此菩薩過去已成佛號正法明如來。安樂衆生故。現作菩薩身。昔世千光王佛。更得大悲神呪。誓利一切衆生。忽備千手千眼。遣日光月光。照晝夜不祥具二十八部。除曜宿災障云。

形像

諸家形像不同。故現在流布之本甚殊。雖然撰出一經形像圖之。千光眼經云。頂有十一面。當前三面作菩薩相。左邊三面白牙上出相。右邊三面忿怒相。當後一面暴咲相。頂上一面如來相。

菩薩本面有三目云。諸冠中有化佛。身上具四十手。一之手掌中。各有一慈眼。身金色結跏趺坐云。千臂經云。說畫像。菩薩身長五尺云。二十八部衆形像無說所。以先德口傳圖之云。

陀羅尼功能

千手經云。若聞此陀羅尼名者。尚滅無量劫生死之重罪。何況誦持者乎云。同經云。一宿誦滿五遍。除滅身中百千萬劫生死重罪云。千臂陀羅尼經云。到像前。白月十五日一日一夜不食。結印誦呪。滿一百八遍。諸苦患皆消滅云。

千手經云。七日七夜。身心精進。誦持大悲心呪。令彼國土一切災難悉皆除滅。五穀豐登。萬姓安樂云。或書云。昔波羅奈城有長者子。持念一日延十五壽。益九十算。是定業能轉之誓云。

千手經云。若諸女人。厭賤女身。欲得成男子身。誦持大悲陀羅尼句。若不轉成男子者。我誓不成正覺云。同經云。誦持大悲呪者。得十五種善生。不受十五種惡死云。

小呪

唵囉日羅達磨訖里。出于青頸觀音儀軌。不說功能。名號功德。千手經云。稱名號得無量福。滅無量罪云。

同經云。至心稱念我之名字。亦應專念我本師阿彌陀如來云。種悲願。見四十手釋緣日。十八日可動之。

四十手持物

依千手經并千光眼經文圖之。寶珠。雨財寶。亦名摩尼。



千手經云。爲富饒種。珍財資具者。當於如意珠手。或抄云。轉輪聖王七寶中其一也。最大者徑一尺六寸。放大光明。晝夜常照十六里。又雨無量財寶。觀音寶珠倍增之。行者摩尼形若造若畫。置本尊前。三七日持齋誦呪。得種珍財。又虛空藏地藏等大士。皆持寶珠。悲願同之。

私云。舍利寶珠同者也。即劫盡之佛舍利。變成寶珠。功能廣難記云。網索。得安穩。



經云。若爲種種不安求安穩者。妙云。索者結護義也。取五色糸作索。誦呪五返。三十五結繫項。得福滅罪。又有二用。一者縛惡人。二者圍繞四邊作結界云。寶鉢。治腹痛。



經云。若爲腹中諸病。當於寶鉢手。抄云。若水若食。若香等入寶鉢。於本尊前呪一百八返服之。除諸病得長命。又圓無長短。空襲也。表無礙云。滿法食。菩提心圓滿義也。

寶劍 除惡



經云若為降伏一切惡魔鬼神者當於寶劍手

抄云劍又名異用同行者取劍呪二十一返轉三匝降伏惡魔此劍外除惡魔內絕罪障云

跋折羅 降大魔



經云若為一切天魔神者當於跋折羅手

抄云跋折羅三占也金剛為體取此金剛誦大悲呪即降伏三魔一者一內魔先世罪業也業體似魔云二外魔其類世間多或天魔三十六禽等類也

三心魔心動時迷外魔不解正道云金剛杵 摧惡敵



經云若為摧伏一切怨敵者當於金剛杵手

抄云金剛杵獨古也行取此杵誦大悲呪摧一切怨敵云或帝釋執金剛杵伏一切修羅

私云常樂我淨四波羅蜜一一表不離中道第一義上下同形表佛界生界也施無畏 離怖畏



經云若為一切處怖畏不安者當於施無畏手

抄云其手下垂故名施即與願義也其掌外顯故名無畏行者怖畏時右手作施無畏誦大悲呪即得安穩云

日精摩尼 除眼闇



經云若為眼闇無光明者當於日精摩尼手

抄云日宮殿火珠所成也劫初人有身光明飛行自在也漸及末食故失光雖有眼目不見物爾時觀音作日天子照諸闇行者向日作禮想觀自在相好如法誦大悲呪除諸闇云月精摩尼 除熱難



經云若為熱毒病求清涼者當於月精摩尼手

抄云天扇中書月輪誦大悲呪扇病人得平愈也月宮殿水珠所成地上萬物依月清涼光皆生長也大勢至菩薩作月天子利益衆生熱云寶弓 增榮官



經云若為榮官益職者當於寶弓手

抄云於本尊前一弓誦呪成就榮官弓有曲直兩形以弦取直道以弓取曲道故得四沙門果十地果位悉不難何況世間榮官哉云寶箭 逢善友



經云若為諸善朋友早相逢者當於寶箭手

抄云箭有種德或飛行自在義或速疾義也二手取箭誦大悲呪悉速疾也箭於意樂之處相合何願不成乎愛樂明王以大悲箭射衆生惡障故成敬愛也

楊柳 除病難



經云若為身上種病者當以楊柳枝手

抄云柳多生水邊除熱惡也行若取川柳枝葉置本尊前呪一百八返洗浴身體除愈四百四病云昆舍離城鬼病時觀音以柳枝灑淨水除熱病得清涼身白拂 除障難



經云若為除身上惡障難去當於白拂手

抄云白者諸法本色本不生理也行者作一白拂立尊前呪一百八返觸自身拂諸障障得真如體云胡瓶 得和合



經云若為一切善和眷屬者當於胡瓶手

抄云胡瓶為頭瓶也行一胡瓶置尊前入水念誦灑不和眷屬得和順約諸難味成一類瓶轉輪聖王以鳥頭瓶置自身前表自在義有人云雪山北有胡國其國人見金翅鳥形始造此瓶故云胡瓶云榜排 除獸難



經云若為辟除一切虎狼豺豹諸惡獸者當於榜排手

抄云榜排楯也又門額云或作龍形或鬼面也行者造彼形於尊前誦呪除虎狼惡獸難云鉞斧 離宮難



經云。若爲一切時處好離官難者。當於鐵斧手。

抄云。諸難中。官難最煩。即現被罰。故鐵斧尤有力。破物。仍斧置本尊前。誦呪。向其方振之。即得和平云。

玉環 得便使



經云。若爲男僕使者。當於玉環手。

抄云。若金若銀若銅。作二玉環。相交纏安本尊前。修念誦法。男女僕使。左右隨逐。奉仕不散。



白蓮花 滿功德
經云。若爲種。功德者。當於白蓮花手。

抄云。白色爲種。色所染也。菩薩如彼白色。爲救衆生。假染諸色。雖然不能染煩惱。泥。如彼蓮花不染塵水也。蓮開敷。俱時衣因果。行者以白蓮於尊前。誦呪。滿功德。得果如此云。



青蓮花 生淨土
經云。若欲得往生十方淨土者。當於青蓮花手。

抄云。青蓮花無葉故。諸蓮中其輕。若人擲之。能遠飛云。



寶鏡 開惠眼
經云。苦爲大智惠。當於寶鏡手。

抄云。寶鏡大圓鏡智也。行者以

圓鏡置本尊前。誦大悲呪。所聞正法。悟甚深義。鏡顯諸色。似故。於一切智無不分明云。



紫蓮花 見諸佛
經云。若爲面見十方一切諸佛。當於紫蓮花手。

抄云。紫蓮亦黑二色和合色也。諸法實相如此。非淨非垢。煩惱菩提。不可別離。如彼二色和合也。故行者作紫蓮花形。置本尊前。誦大悲呪。於夢中見佛色身。故凡夫以肉眼佛見清淨身。二色和合義也。



寶篋 得伏藏
經云。若爲地中伏藏者。當於寶篋手。

抄云。地中伏藏者。指冥福也。以一寶篋安本尊前。可誦大悲呪。即開見之。有種寶。故行者得伏藏云。



經云。若爲仙道者。當於五色雲手。

抄云。表五通仙。自信義。黃精進赤念。黑定。空色青惠義也。向本尊念此手。誦呪。若一若二。乃至三年。即成仙長命也。往白花山中。得見本尊。故四十手中延命法。即今手也。仙若長年法。故也。



經云。若爲生梵天者。當於軍鍾持手。

抄云。梵云鍾持。唐云瓶也。瓶梵大三摩耶。

形也。梵王建立器界時。此瓶滿一切萬物云。

行者置本尊前。誦大悲呪者。生梵天。又常逢善王云。



紅蓮花 生諸天
經云。若爲往生諸天宮者。當於紅蓮花手。

抄云。赤花因日開。以火光所成也。故花赤。以此火色燒盡義也。故喻智惠。行者作紅蓮花形。置本尊前。誦大悲呪者。隨願生天。無智惠生天者。染五欲墮落。有智惠生諸天。不染世樂如蓮花。



經云。若爲辟除他方逆賊者。當於戟鞘手。

抄云。三劍鋒也。行者造鋒形。置尊前。誦大悲呪。內破煩惱賊。外降伏三賊。王賊。怨賊。盜賊也。



寶螺 召善神
經云。若爲召呼一切諸天善神者。當於寶螺手。

抄云。寶螺高聲器也。行者本尊前置一寶螺。誦大悲呪。而後右轉三匝。置左。常吹之。發大聲。故諸天善神來除災障。示正道。或山林行失道。或獨往時。可修此法。



經云。若爲使令一切鬼神者。當於觸髅杖手。

抄云。觸髅者是頭骨也。死人頭爲鬼所著。

云

行者於尊前壇前壇下誦呪諸鬼神等皆畏自無怖也。有三部鬼神或地上或虛空或水住也。表此故其頭安三古形云。



經云。若為十方諸佛速來授手者。當於數珠手。

抄云。觀音蓮花部尊也。故數珠可用蓮子也。百八珠百八煩惱也。誦一呪取一珠斷煩惱。即為諸佛種。故珠表菩薩果位。母珠表無量壽。諸觀音也。左右五珠之末二露表福智二種莊嚴。行者於本尊前誦大悲呪。然後擎念珠二手。想十方諸佛皆來授手云。

寶鐸得音聲



經云。若為成就一切上妙音聲者。當於寶鐸手。

抄云。寶鐸大鈴也。行者於本尊前懸一鈴鐸。誦大悲呪。其鈴自鳴。以是為期。其時行者。若善若惡。出音聲時。一切天魔外道等。聞者皆想清淨法音恭敬如佛云。

寶印得口業巧妙



經云。若為口業辭辨巧妙者。當於寶印手。

抄云。寶印此般若寶也。又諸佛祕密語印也。故即得口業辯才。行者造寶印。於尊前誦大悲呪。於諸口業得成就。又云。若不得無量三昧辯才者。我誓不成正覺。

鐵鈎伏龍神



經云。若為善神龍王常來擁護者。當於俱尸鐵鈎手。



經云。若為慈悲覆護一切衆生。當於錫杖手。

抄云。錫杖菩薩杖也。六輪表六度。聲聞杖表四諦。緣覺杖表十二因緣也。行者悲愍一切衆生。造菩薩杖。立本尊前誦呪。所出聲同菩薩。現生登菩薩位。救衆生合掌被敬諸人。



經云。若為一切衆生常相恭敬愛念者。當於合掌手。

抄云。合掌愛念義。恭敬義也。行者於本尊前作合掌誦呪。悲愍一切本尊恭敬行者。愛念故一切衆生恭敬行者。化佛不離佛邊。



經云。若為生之處不離諸佛邊者。當於化佛手。

抄云。化佛作定印。見一切衆生。一皆有如來妙身。菩薩亦爾。無迷時覺之後不離我身云。

佛三身不出三界。三界外無衆生。故行者此化佛前誦大悲呪。不離佛道宮殿離胎藏。

胎藏中受身者。當於宮殿手



抄云。宮殿人天居所也。若以世間宮殿奉佛者。還住佛宮殿云。



經云。若為多聞廣學者。當於寶經手。

抄云。寶經般若經也。智中智也。觀音妙觀。察智菩薩也。名一切如來智惠。即般若也。以此經安本尊前供養之。得大多聞廣學也。千光眼經心。持般若理趣經。最可祕云。



經云。若為從今身至佛身。菩提心常不退轉者。當於不退金輪手。

抄云。八輪輪也。本尊前置此輪。誦呪除輪迴業。發菩提心。令不動轉。頂上化佛得授記。



經云。若為十方諸佛速來摩頂授記者。當於頂上化佛手。

抄云。一佛來摩頂。諸佛共加冥助也。形一佛。用兼十方人。示非因非果相。即菩提形表非果頂現化佛。表非因也。

蒲桃成五數。經云。若為菓茂諸穀稼者。當於蒲桃手。



抄云。蒲桃有多色。有多菓云。

菓有五色。初青。次黃。次熟赤。次成黑。次熟已還成白。其實如玉。聚作蒲桃形。置本尊前。誦呪。甘雨澍器界。五穀成就云。

千光眼經云。千手觀音。得二十五三昧。迴

二十五有。發大誓願時。具足千手千眼。即

於光中涌出二十五菩薩。諸菩薩身金色。

二十五菩薩。各皆頂具十一面。身上具

足四十手云。

彼持物者。爲南瞻部洲利益衆生所現也。

二十五有略頌

四洲四惡趣 六欲并梵王

四禪四無色 無想五那含

四洲者 東南西南北

四惡趣者 畜生餓鬼地獄阿修羅

六欲者 天王天。忉利天。夜摩天。兜率天。樂變化天。他化自在天。

梵王者 梵天也。

四禪者 初禪。二禪。三禪。四禪。

四無色者 空無邊處。識無邊處。無想天。無所有處。非想非非想處。

無想天

五那含

四十手觀音別法事

北斗七星輔一星在大微宮云。唐本七星

大原云。北辰妙見也。紫宮中心星有之。此

妙見者。卽尊星王也。其形世所畫妙見形

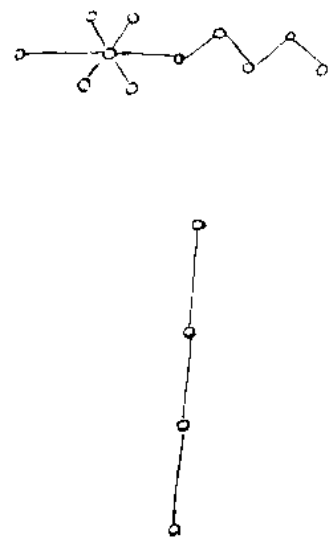
是也。頭光上當頂上七星卽紫宮也。若木

像光中作紫宮云。

私云。妙見菩薩陀羅尼經云。北斗者。妙見菩薩宮殿也。文鈞陳六星在紫

虛空現圖法務御圖

法輪院僧正覺祐說高隆之寺



魏石氏云。北極者北辰也。極者是中義也。

最尊最正義也。又名耀魄。此所極不移

之星也。

抄云。九執祕要云。北極天體傾低由而移

紅軸故。天中不移動在此者。北極卽北辰

也在南者。南極卽南斗。是如斗故曰南斗。

北辰抄云。南斗者斗宿也。主天主廟也。又

丞相大掌位也。普授爵祿也。中斗者主平

理方意也。

千光眼經云。金剛藏菩薩。爲諸大衆白觀

自在菩薩言。善哉。聖觀自在從無量

劫來。成就大悲門。利益衆生。於生死苦海

爲船筏。於無明闇常爲法燈。唯願大聖。普

爲大會及當來一切衆生。故隨我等問於

說其法。於此如上文

件別可撰也。

覺禪鈔 十一面上

十一面觀音法 息災

本書

陀羅尼集經第四卷 觀世音上十一面

十一面觀世音神呪經一卷 明舍摩多

十一面神呪心經一卷 玄奘譯第二

右二經。與集經四卷同本異譯。而集經中印法稍廣。

十一面觀自在菩薩經三卷 內題云十一面

密言儀軌經。不空大師。慈

已上貞元錄。法務云。件四經。雖有增減。

大旨同之。嗣多玄并兩譯。與軌上全同。

集經其外。出五十二印二十四呪。餘三

本無之。軌中下出行法儀則。餘譯闕之。

梵字十一面讚 大師

別本儀軌。長實僧都抄

十一面經義疏一卷 不知作者。釋玄并譯。祕錄云。

息災法 法務 小野師說。就息災行之同之。

類聚抄云。息災面向北。南方應置箱云。

軌下云。息災面向北。南方應置箱云。

已上息災

集經云。阿闍梨坐於西門。近火爐邊。正

面向東。端身正念云。

又像面向西云。餘譯

又云。淨泥塗壇。隨意方圓。闊狹大小。結

界已竟。請觀世音於壇上。燒香散花。種

軌下云○於舍利塔東面安本尊像像面
向西云、

又云○息災作圓爐增益應爲方降伏應
三角敬愛如蓮葉○觀自苦在薩通增益
法

簡曜宿等

儀軌下云○吉日吉宿吉曜淨其地離諸
過患○云、

名號

(真書三九四)

集經云十一面觀世音
玄云觀自在菩薩云、軌同

傳受集云正觀音云大光普照觀音十一
面阿修羅道末生在極闇之中不知父
面阿修羅道末生在極闇之中不知父

金寶抄云大光普照破修羅道之障
其道
用普照

小野僧上云大悲觀音者十一面變也
梵號 觀世音

南謨阿利耶曳迦陀舍冒地、、、
法三御子傳云圓云

南無阿利也二瞻迦娜舍目佉云、
密號 義操云變異金剛又云慈愍金剛

頂十一面等名 何第一面可尋
集經云

毘居喇多印 唐云第一面
離羅印 唐云高慢印

婆羊揭喇印 唐云大瞋印
婆伽印 唐云瞋心印

阿魯陀羅印 唐云大瞋印
阿魯陀羅印 唐云大瞋印

持廟合沙尼印 唐云唐平障雜印
阿耶印 唐云得勝印

阿目多印 唐云天龍印
阿波羅質多印 唐云無能勝印

魔羅納耶波羅末香陀儺印 唐云破魔軍
住所

胎藏圖云在蘇悉地院住一皆羅利左
何不住觀音院耶答或師云
觀音院上下同攝此院云、

已上真土

軌上云薄伽梵住補陀洛山大聖觀自在
宮殿中○時觀自在○白佛言我有心密
語名十一面云、

同中云車輅至極樂世界中央無量壽○
佛前本尊坐云、

御素木 集經云、
悉得云、

集經云用白栴檀作十一面○像其木要
須精好堅實不得枯筵云、

又云以金銀鑲石編云須用白栴檀作○
像其木要須精實不得枯筵云、

玄云應當先以堅好無隙白栴檀香刻作
○菩薩像云、

軌上云以堅好無隙白栴檀香彫觀自在菩
薩云、

白栴檀事 (真書三九五)
大日經疏七云白檀香西方名爲摩羅庚

是山名即智論所云除摩梨山更無出栴
檀處也云、

西域十云秣羅矩吒圓○南濱海有秣刺

耶山○其中則有白檀香樹栴檀儺婆樹
、類白檀不可以別唯於盛夏登高遠矚

其大蛇繁者於是知之猶其木性涼冷故
蛇盤也既望見已射箭爲記冬蟄之後方

乃採伐云、

聖德太子傳云推古天皇三年乙卯春土
左南海夜有大光亦有聲如雷輕三十箇

日矣夏四週著淡路島南岸島人不知沈
水以交薪燒於電太子遣使令獻其木大

一箇長八尺其異薰太子視而大悅矣曰
是爲沈水香者也亦名栴檀香木生南天

竺國南海之岸夏日諸蛇相繞此木冷故
也人以矢射之冬日蛇蟄即折而採之其

實鷄舌其花丁子其脂薰陸沈水久者爲
沈香不久者爲淺香而今陛下興隆釋教

崇造佛像故釋梵盛德漂送此木即有勅
命百濟工刻造檀作觀音菩薩高數尺安

置吉野比蘇寺時、放光云、

玄贊二云栴檀者亦謂牛頭栴檀黑謂紫
檀之類白謂白檀之屬云、

疏云問若無白檀之國者爲何木作像答
若依方法者必求白檀而作像若以義門

而推者亦以栴木作像但絹索經以布作
像○白檀不得者應用餘木云、取念、

私云無白檀者可用桂木敷
醫師俊通抄云沈香有五種淺香青桂

香○餘略之云、推之沈既有青桂名故
也今觀音殊除熱病誓給也

治熱病赤梅檀能去風腫皆是除病安身之藥故名與藥云

推之白樹治熱有冷氣故桂亦可有此德

閭巷云月之桂云

月即水珠所成也可除能熱云

又云求開持本尊書板云

又石間本佛桂造之云

集經云○和樺皮若青木香煎○令服風除瘧云

疏云樺皮蓋是桂皮耳云

一字頂輪王經一云○樺皮上寫陀羅尼

安頭警中○諸天擁護供養離惡趣無礙

安樂取意

推之樺皮桂皮也尤以桂木可用御素

木也

御身一揲手半事

玄云一揲手半造之云

輾多云一尺三寸不空用之

集經云其像身量長佛一肘

得者一尺三寸作之亦得云

揲字

東宮切韻云法玄云格

反沙門清微云手度也

右隨引得所勸進之他切韻等追可注

進之由且可被言上給也通景謹言

九月十一日 織部正通景上

進上 中林殿

推之玄輾二經同本異譯也仍玄一揲

手半輾一尺三寸同之佛在世人身長

八尺五寸也付彼身分一揲 八寸 手半

四寸 佛一揲准知之

智虛空藏云當寂時一尺三寸而則造取

一揲手半者胎內等身也○出生養育故

成八尺五寸身造亦爾得一揲手像由供

養故成丈六八尺等之身云

也四寸也一尺二寸

也人神生長也

一說佛師康助云一揲者頭指與大指張

弘也五寸手半者彼半也祖父覺助用此

量云

玄應音義大原抄第七十卷同之

推之康助七寸五分說今時人一揲手

半也人長五尺也仍先說不違凡施主

身分可付事也

十一面 校者曰已下至四二九頁中段十三

玄云作十一面當前三面慈悲相

靜面左邊三面作瞋怒相

三面作白牙上出相

當後一面作暴惡大咲相

前上一面頂上 最上云 一面作佛面像云

疏云前三面慈相見善衆生大慈與樂

有苦無樂有情難苦得樂一慈有無樂有情

具福惠三慈有惠無通有情令備神通智慧

瞋面見惡衆生而生悲心大悲拔苦

重苦欲救濟理者散亂境故

因三慈欲救濟理者散亂境故

出面見淨業者○勸進佛道

故二身白相也故知最後一面暴大咲面見善

惡難礙衆生而生怪笑改惡向道又云故有

頂上佛面○說諸法究竟佛道故現佛面

果無二云 三方三面爲化三有三九

面也合本面十二面而十一是方便面本

面眞實面○顯權實故常面十一現十一

面云

或抄云十一面十一俱抵諸佛所說神呪

顯形也如本面十二面表利益十二因緣

或顯年月日時加護當前三面利三善道

有情左三面濟三惡趣衆生右三面教化

三乘弟子背一面○表善惡不二○云

冠化佛

集經云十一面各戴花冠○其花冠中各

安一阿彌陀佛云

輾多云其十一面各戴花冠其花中各有

阿彌陀佛云

玄云作十一面○諸頭冠中皆作佛身云

軌上云作十一面○頭冠中各有化佛云

觀山講堂像頂上面之化佛立像也

觀山講堂像餘十一面化佛結跏坐也

圖像 一三三

類聚抄云或人語云上皇被召問忠尋律

師云或畫像頂上佛面之上又有佛面如

佛忠尋奏云天台講堂像如仰隨有所見

或悔過云頂上佛面除疫病最上佛面願

滿足云功德各別以之可爲證歟

私云今見講堂像頂上像非佛面是

化佛也仍忠尋之所奏非也又院御本

尊與此像同異不審也若有兩重佛面

(裏書三九七)

審小誦畫傍

余十面化佛結跏坐也



願聚沙云或人語云上皇被台問忠尋律師云或

者尤可勘證文

囉多譯本下說云。前上一面作大咲面。云餘十面如常。其意頗相似。但此本異常。真偽可尋之。悔過文更非證。

古譯云。頂上佛面

不空云。最上佛面又至于除病滿願者。是於一面出各別功能也。例餘面可知之。

千手

玄云。左手執紅蓮華。軍持集經云。把一蓮花。口以串。環。施。無畏。手。臂。垂。下。云。右手以掛數珠及作絕無畏手。集經云。以串。環。施。無畏。手。臂。垂。下。云。

疏云。投花者。左手是未便之手。以喻行者初發信心。右手柱數珠者。右手是已便之手。即喻行者修行增進便就之利。數珠者謂福惠二種莊嚴之寶珠。及作施無畏手者。修行求願必得所願。故表施無畏手。謂福惠二寶能施一切破貧窮。因故爲無畏手云。

私云。或師云。經二臂軌四臂同事也。右施無畏。取念珠。左軍持指蓮花也。又四臂有異。七集并法三記云。右第一手施無畏。軌持。右第二手持念珠。軌施無畏也。

形像

二臂像

普通 右本圖之。(裏書三九九)

集經四云。作十一面觀世音像。○當前三面作菩薩面。左相三面當作瞋面。右相三面似菩薩面。狗牙上出。後有一面。當作笑面。頂上面作佛面。左手把一澡罐。口掉

一蓮花。右臂垂下。展其右手以串。環。施。無畏。云。同也。仍不書。

圖像 一三四

又像 二臂

玄云。刻作觀自在菩薩像。○左手執紅蓮花。軍持。展右臂以掛數珠及作施無畏手。其像作十一面。當前三面作慈悲相。左面三面作瞋怒相。右邊三面作白牙上出相。當後一面作暴惡大笑相。頂上一面作佛面。像。疏云。十一面者。若合本面。應以十二面。實面。離身。不知面。主面。表內。應以十二面。實。

圖像 一三五

類聚抄云。此像蓮上置瓶。叶玄紅文觀世音寺講堂像。蓮花上置瓶也。但右手面向外。取念珠云。集經瓶插花像。同異可尋。

又像 二臂

集經二云。畫十一面觀世音菩薩。結跏趺坐。屈左臂向肩上。掌覆向背。手把蓮花。右臂節柱右膝上。手把白拂。尾向右出。

圖像 一三六

四臂像

軌上云。彫觀自在菩薩。○作十一頭四臂。右邊第一手把念珠。第二手施無畏。揚掌。

也。左一手持蓮花。第二手執軍持。其十一面當前三面作寂靜相。左邊三面威怒相。右邊三面利牙出現相。後有一面作笑怒容。最上一面作如來相。頭冠中各有化佛。觀自在菩薩身種。環。施。莊嚴云。

圖像 一三七

又像 四臂

東寺寶藏圖。小野圖。同之。私云。七集。文。引。之。

七集上云。淨祐。面肉色。四臂。十一面。前三面寂相。左三面利牙上出相。右三面威怒相。頂上如來相也。左第一手持蓮花。次手持水瓶。右第一手施無畏。次手持念珠。坐赤蓮花云。傳受集三同之。成院院又同。

圖像 一三八

類聚抄云。東寺寶藏本燒失了。仁和寬覺。施入東寺。加懸。灌頂堂。本。可。在。東。寺。云。又像四臂。同東寺。灌頂堂。本。胎。藏。加。本。面。二。臂。也。

圖像 一三九

類聚抄意云。左右大面青黑色。光師傳同之。又大原云。前三面左三面右三面大面三。左右二面青黑色。云。又圖。四臂。十一面。高。尾。本。金。泥。可。不。可。

圖像 一四〇



威像No. 134. 十一面(其二) (釋迦文院本)



四臂像



圖像 No. 136. 十一面(其四) (釋迦文院本)

種々瓔珞裝嚴云





圖像 No. 138. 十一面(其六) (釋迦文院本)



圖像 No. 139. 十一面(其七)(釋迦女院本)

又看



圖像 No. 140. 十一面(其八) (釋迦文院本)

類聚抄云以高尾正本金泥覺猷僧正

摸之勝覺僧正摸其本寬信摸彼本傳第四

而自御室被摸獻正本右第一手捻大

頭二指取念珠同第二與願也相違尤

不齊可決云又世流布曼タラ一本右

第一本右第一手捻無名大頭取念珠

第二手與願云

私法三御子傳云右手緊掌屈無名指

或圖堅掌如施無畏次手下仰掌○向

右屈頭中指執蓮花次手下仰垂掌屈

四指執染瓶云

曼茶羅增益

集經云阿闍梨與弟子於一夜中以五色

粉敷置壇內敷置法者先從內院初以白

色次黃青赤後以黑色物依前法作壇中

心安十一面○次爲坐主蓮花坐上安置

藍婆羅陀羅唐云青色次母嚕陀吒伽金剛

蘇蜜名香沈

名兒○次蘇幡合二迦羅次素婆體金剛

五寶金銀琉璃虎珀眞珠

也次夫鳩尸次跋折羅商迦羅外院西行

五香沈薰陸白檀丁子龍腦

從南頭先安摩利支次安日天次安毗嚩

五藥檀郎子遠志人參桂心甘草

博叉○次安作門北壁毗沙門天王次

五穀稻穀胡麻大麥小麥菓豆

安地天次安一切龍王其外院四角名安

壇一面在爐桶脇机二前

夾又二跋折羅如十又中院四角唯前各

燈臺四本禮盤一脚左半盤

安二跋折羅亦夾又著字形

大幕一帖壇敷布一端御明已上二種如常

又云以五色粉作四肘壇中心安十一

壇供阿闍梨伴僧六人

面○東方安阿彌陀佛頂北方大勢至○

承仕一人駝仕一人淨衣白色

南方安馬頭觀世音○西方安摩醯首羅

見丁一人大治五年四月十九日法務

天云校者曰已上高野山釋迦文院本四一九百中段參照

佛供十六坏大八坏小八坏汁八坏

勤修門請書

菓子十六坏開白每日後夜粥八坏

蒙繪旨云天下起熱病人民懷愁歎仍任

初夜無供物檀木松若栴加持物胡麻

先例自來十八日準六口僧侶可被勤行

乳木六寸桑藥種荷杞

十一面法者繪旨如此悉云左中辨源

謹領繪言事

右自來十八日準六口伴侶勤仕十一面

御修法可所熱病消除之由狀謹所領如

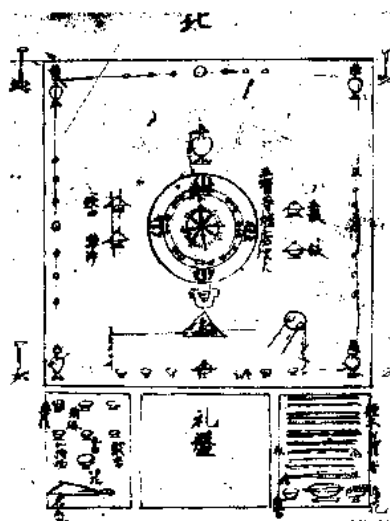
件五月五日支度橫辨新院御修法同法眼某

知此院南行東頭先安火頭金剛次安尼

心觀世音菩薩次一遶三跋底伽羅次阿

半伽幡除唐云絹索次蕊俱致毗摩羅未

知此院南行東頭先安火頭金剛次安尼



上野道説

集經
五十一
直鶴田書
○ 田 陽

○二頭指去四寸半。竝二大豎無名去一寸八分。二小豎去五寸。頭指來去。呪七返已。漸屈頭指入掌。○呪曰兼意云。二空火各

尋云。以聖觀音呪用此尊意如何。答又印言傳集云

網索經第四云。十一面觀世音印。合腕相著。二大指指各橫屈掌中。各以頭指中指無名指小指握大指指作拳。拳面相合。發大悲心。印真言云

唵一緣名義婆無何娜泥二跋二羅奈娜三舍野餅四

此印三昧能祐成就一切明法。無所障礙

已上印言。勸修寺類聚抄。并成就院抄有之

又呪石山云。十摩訶大迦囉尼悲伽也子種沙訶連疾義也

常喜院并大原抄有之

右印呪略注之。集經第四有四十九箇印。二十四種真言。省繁不抄。可見之。又

十一之面。各別印有之。皆根本之一呪用之有

彼經云。我今有十一面。各出一印。若人見聞。及學此法。○恒沙無量重罪。一時消滅

○隨何國土有此法處。與我自身現住無異。此十一印總用最初大陀羅尼云。

勸請句小野

大聖慈悲十一面 蓮花部中諸聖衆發願句法務

大光普照 六大八大 諸大觀音密號 變異金剛或說發願禮佛 用梵號

南無 道場觀石山

私云。儀軌中之文也

從大海中出寶山。上有樓閣。以衆寶所成。處。懸列珠寶。璽璫。鈴鐸。繡幡。微風搖綴

出和雅音。間錯種種摩尼。半滿月等。而按飾之。復有無量諸供養具。遍滿樓閣中。其

內有大曼荼羅。變成一十一面觀自在菩薩云。

軍持。變成一十一面觀自在菩薩云。

字輪觀



金寶抄。寶抄。等用之云。

正念誦小呪 用正念誦石山御傳云

散念誦 佛眼 大日 本尊大呪 經等云誦百八返

聖觀音手 千手 馬頭 准胝 如意輪 大金剛輪 一字加用呪可 隨時云

召請軌中云。七寶車將至極樂世界。中央無量壽佛。本尊坐云。

部主軌中云。右觀自在菩薩。在阿耨多羅三藐三菩提。本尊坐云。

部母軌中云。右觀自在菩薩。在阿耨多羅三藐三菩提。本尊坐云。

誦石山 誦石山 誦石山

或說云。用如意輪讀云。

醍醐法務同之。由緒可尋之

後加持 大呪但除

類聚抄云。或人云。後加持用歸命句。古體說也。可注之

護摩事 部主 聖觀音小野傳說。醍醐同之。願泉云。

本尊段 加持物用小呪。正念誦言也

諸尊段 六觀音 法務金寶抄云。小野傳用三十七尊

已上法務御傳也

施天段 十二天 次七鬼供。云。七鬼可尋也

儀軌下云。護摩之時。觀自在。大勢至。義成就。○置爐東。○持明仙。一切樂又吉祥。天置爐南。○又爐北。安佛。○不退轉

求增益。○西邊置白衣觀自在。○也取 卷數待賢門院 十一面御修法所

奉修

大壇供一百四十七箇度
護摩供一百四十七箇度
諸神供二十一箇度

奉念

佛眼真言三萬三千二百返

大日真言一萬四千七百返

本尊大呪九萬三千一百返

同小呪十四萬七千返

聖觀音真言一萬四千七百返

千手真言一萬四千七百返

馬頭真言一萬四千七百返

准胝真言一萬四千七百返

如意輪真言一萬四千七百返

護摩真言一萬四千七百返

一字金輪真言十萬二千八百返

右奉爲 准后殿下御息災安穩增長寶

壽恒受快樂御願圓滿始自十月九日迄

于今月今日并五十箇日夜之間舉六口

伴僧殊致精誠奉修如右

保安三年十一月二十八日

阿闍梨大法師寬信

結願作法

先書卷數付枝立壇右方案文一通置脇

机同机置佛布施供養法如常但前方便

無祈願等後供養燒香之次供佛布施

次關伽

次取念珠

讀卷數 次金一打中事由餘如常

出堂後轉經

軌中云○出道場於一淨處轉讀摩訶般若波羅蜜積集福德聚迴向無上菩提隨意經行

元文五庚申年十月十五日加修補了

淨土院末資權僧正賢賀五十七

〔藏書三九四〕

十一面經疏云○觀有二稱一遍二

不遍二乘所見有不遍義但見三千

大千世界內所菩薩所見不遍故曰

觀自在也故經云無垢清淨觀慧日

破諸闇能伏災風火普明照世間云

〔藏書三九五〕

補正記十云花嚴云阿那婆達多池

邊出沈水香文可令人御佛給物等

種子 佛舍利 香藥 白檀 龍腦

寶篋印經 菩薩場莊嚴陀羅尼

法身偈 梵本

已上白河十一面料依鳥羽院宣

勸之云

勸修寺法務

〔藏書三九六〕

私問何玄不二經本面之外有十一

面乎答本面表眞實十一面方便之

面也云難不盡

師問云亮玄云我有神呪心名十一

面云眞言無形體何名十一面乎師

答云十一面者十一地十面配十地

頂上佛果位也此眞言立十一位即

表斷十一品無明歟

私云集經出十一面印呪但呪大呪不

空有密語名十一面云即過去因行

十一俱胝如來同共宣說云知十一

面表十一俱胝如來身歟十二面義

若加護覺位歟

〔藏書三九七〕

悔過文云

南無當前三面慈悲相

前前三慈面求如意

前前三悲面除鬼病

左邊三面瞋怒相

左邊三面伏怨賦

右邊三面白牙相

當後一面暴笑相

頂上一面如來相

頂上佛面除疫病

最上佛面願滿足

〔藏書三九八〕

二臂四臂同事

師談會云經說二臂執四臂同事也

施願持念珠蓮瓶立也 玄之譯

〔藏書三九九〕

二臂

鳥肉色右手執紅蓮花上在臺其

○在獨胎右手施無畏

六字_{不可}圖也

醍醐法務云二臂樣小野僧正說也
齋然渡經說也

圖像 一四一

東大寺印佛像加本面有十一面大
佛殿金銅等身二體百如法院佛云
吉祥堂東像同之也暴咲面有後又
戒壇三體之內一體全同之

圖像 一四二

吉祥堂木像面十二面也暴咲有後
頂上佛面無化佛左右噴面如何可
尋本說

圖像 一四三

二月堂頂上佛面無化佛

圖像 一四四

觀世音寺講堂像

圖像 一四五

尊勝寺皆有化佛不持念珠

圖像 一四六

圖像 一四七

元興寺_{金堂}十二面暴咲有後之頂上佛面
無化佛

圖像 一四八

成勝寺
<sub>已上法成寺元興寺兩像噴怒面有右如何無
本說歟但石山七集傳集成就院同右邊三面
之威怒</sub>

圖像 一四九

左右有其跡二月堂有補陀落跡

圖像 一五〇

暴惡大咲有後之但中心慈爲一體
現在無之然有其跡
戒壇三體之內等身採色般若寺佛
云

私問云若繪像圖時後暴咲一面
何處可書乎答頂上佛面下本面
上邊可書歟
容耶舍譯前上一面作大咲面云

畫四〇〇

四臂

攝無礙經云十一面觀音諸頭髮髻
冠中住佛身正面淺黃金救世哀慈
相左右青黑面左三忿怒相右三降
魔相當後暴咲相頂上如來相四臂
兩足體左定執蓮花左理握鐔持右
惠施無畏或結拳印契右智持數珠
鬘妙瓔珞天衣及上裳商估妙色安
住千葉蓮跏趺右押左云

畫四〇一

供支度<sub>院縣宮御所於三條
坊門御所修之</sub>

注進

十一面觀音供支度事
合

蘇蜜_{名香沈}

壇一面脇机一脚燈臺二本

半疊一枚壇敷布一端

佛供<sub>御明已上二
種如常</sub>

淨衣承仕一人駝仕二人

右注進如件

天承四年閏三月十六日

遍照寺經範僧都五香青木香多

讚羅香_{蘇合香用之云}

伊與公云此法支度出七寶_云

軌云塗香用青木香多讚羅香等_云
最勝王經云零凌香又多揭羅香_云



圖像 Nos. 141—145，十一面御頭（其一—其五）（釋迦文院本）



圖像 Nos. 146-150. 十一面御頭(其六- 其十) (釋迦文院本)

【藏書四〇二】

醍醐法務抄云根本印

八葉印 唵乾哩曳莎呵

十一面經金剛智 顯果說也金剛智可

平教云根本印

聖賢云二手外縛二中指立合

之印文 聖賢云二手外縛二中指立合 教同

心呪云 本意 疫病消除對

心中心呪云 本意 疫病消除對

心中心呪云 本意 疫病消除對

大原說

春一印軌 眞言曰

唵縛蘇摩底奈里 二曳娑婆賀

或說十一面大心呪

那謨薩婆佛陀達磨僧伽耶那謨阿

梨耶二婆路枳帝接跋合羅耶二菩

提薩埵囉耶 摩訶薩埵婆耶 五摩

訶迦盧尼迦耶 六路姪他唵阿嚕迦

九娑婆賀

已上二呪大谷鈔有之

【藏書四〇三】

言不同事

集經呪不空歸命句次義莫以下六

十四字略之

又止里々々下里字置之餘皆不空

同之

願多歸命句 南無佛陀耶

南無達摩耶 南無僧伽耶

【藏書四〇四】

供遍數

十一面觀音供所

奉供

供養法三百箇座

奉念

佛眼眞言三萬返

大日眞言三萬返

正觀音眞言三萬返

千手眞言三萬返

馬頭眞言三萬返

本尊大呪三十萬返

同小呪九十萬返

不空羂索眞言三萬返

如意輪眞言三萬返

不動眞言三萬返

一字金輪眞言九萬返

右依 院宣始自閏三月十九日至

于今日并一百箇日夜之間殊致精

誠奉祈 女大施主殿下貴體安穩

增長福壽之由如件仍勒遍數謹解

天永四年七月二日

阿闍梨大法師寬信

覺禪鈔

十一面下

校者曰此卷以高野山 釋迦文院本補載之

十一面觀音法

過去因行

十一面經云 玄奘 我憶過去 餘譯無 過苑

伽沙等劫前有佛出世名百蓮花頂熾盛

功德光王 不空云百蓮花眼 如來我於爾時

作大仙人從彼世尊受得此呪得此呪時

見十方佛應時證得無生法忍 經云得未曾

有當知此呪具大威力云

又云我憶過去 餘無過十 無量 梵伽沙

等劫後過於此有佛出世名美音香 餘譯

茶羅 如來爾時我自作大居士 塞不空云長

者於彼得此呪時便於生死超四 不空云萬

劫誦持此呪後得諸佛大悲智藏一切苦

薩解脫法門 生忍前 釋文之大第抄之

總行作法

行人不作願 集經云婆駄印 唐云儒心 而作寬容莫作願

形若人日々作此法燒香供養蒙觀世音

歡喜隨其所欲皆得稱意云

洗浴并淨衣

玄云讀誦此神呪者〇至心繫念每晨朝

時如此清淨念誦云

又云著新衣云軌中云彼行者先應澡

浴潔身淨衣服云

又云於河池或於浴室加持水呪然後入

池澡浴或取水澡浴作法其 廣略之澡浴既了取淨

衣以此如來衣密言加持所著衣服皆成如來衣其言略之

集經云若善男善女○晝夜讀誦○持此法時更莫他境晨朝洗浴著新淨衣受持此法作印護身

又云人道場時香湯洗浴著新淨衣新淨衣三具晨朝日中及日暮時各著一衣上屏之時脫捨淨衣著汚衣裳

身受持

玄云造此像已欲求願者○受持齋戒云不空云像戒已○若在家者持八戒云

飲食法

集經云行道之人一食長齋不食餘味唯食大麥乳糜云玄云不空兩譯出抄之第二七日處仍下抄之

行法時限

集經云晨朝日中及日暮三時云玄云每日三時云不空云三時供養云

眞言數遍

集經云誦根本大呪一百八遍云又云禮拜誦呪一百八遍云

軌云以淨信心愍重心憶念作意云又云無限數念誦云

玄云念誦此呪一百八遍云又云或無量無邊云

疏云對一百八煩惱故謂百八遍云

擇道場處

集經云閑吒印呪第五唐云若居聚落若在山林中離雜聲處有華菓樹竹林水池中央起舍日日洗浴入於道場云一作印

明法也印

建壇安尊

又云安道場處必須淨室掘地治法如前七日壇中所說○泥拭鮮潔香泥塗地復以香水遍灑其地在其室中量八肘地縱廣正等四角豎柱周匝懸幡正壇中央施一高座置十一面像面向西以種花散道場內唯燒沈水蘇合等香云餘譯至仍下抄云

類聚抄意初七日行法前被載總行作法集經意初七日普通行儀自八日副莊嚴安像如法可行歟只可限二七日

東大寺二月堂行之集經云從白月一日入於道場至十三日入道場云

初七日作法又云從初一日乃至七日三時各誦根本大呪一百八遍來須斷食云

玄云從白月一日至第八日每日三時念誦云

不空云三時供養無限數念誦從白月一日乃至八日云

第二七日作法但二七日前六日也

安置尊像玄云安置尊像從此以後私云於一靜處敷清淨座安置所造觀自在○像面向西方云不空同之

疏云靜處者山谷靜寂之處也○於里廣靜處○面向南方下○明所向方是菩薩

所住○亦是觀音之師阿彌陀佛所住之處故向西方也

類聚抄云面向西方事者悅尊像也故集經云像面向西云而疏云行者向西方者謬之甚也集經最初迎像云

餘兩譯第八日安像云東大寺二月堂行法二七日行也至第八日奉迎印藏像依此說歟件像號補陀洛觀音云

所獻供具集經云從八日中時至十三日日別一獻種飲食菓子所獻食不著盤上唯敷淨草淨瓦器并諸葉等盛飲食云

玄云隨力所辦獻諸飲食唯燒沈水及蘇合香○如前念誦至十三日云

不空云燒沈香蘇合檀香隨力乃至十三日云

行者食玄云行者當食大麥不空乳食云

集經文出上疏云大麥乳者謂內腹長養不妨脹滿云

第十四日作法所獻供具

集經云於十四五日中午倍加種上妙香花種種飾膳及餘雜菓倍勝於前以爲獻佛云

玄云從此以後次上文云所設供具須倍勝前云

不空云其日次上文云○廣大供養云

私問集經分明指十四十五日玄十三日以後云不空十三日不說如何得准餘法十五日結願日

可定

行者食

集經云行者其二日十四五全不得食云

玄云行者唯應食三白食謂乳酪飯云云不

行者座

集經其行法者唯敷莎草以為坐具胡跪

護摩

定日 集經云十四日及十五日云云

新 集經云像前燃梅檀火云云

疏云菩提此云道波若問論曰優樓頻螺

林中成道即菩提樹也優樓頻螺者此云

木瓜云云法花義疏云優樓頻螺者此云

木瓜林云云

乳木 集經云須沈水香龜細如指寸截

數滿一千八段太子傳云沈水香亦云梅檀

玄云菩提樹寸截一千八段云云

不空云菩提樹木○長十指截以蘇合香

油搗兩頭一千八遍投爐中云云

香油玄云觀瞻色迦香油云云後通抄云此香

是胡國名也當朝之章草也或謂之忘憂草云云

類聚抄云呢樓婆香草也都魯色迦者蘇合香也

形像振動

集經云至十五日夜靜之時觀世音來入

道場餘譯無其梅樹像自然搖動爾時三

千○世界一時振動餘大地動云云

疏云問木是無心何故動而出聲耶答此

有三義動而出聲一者行人心誠故二者

願力強盛故三者菩薩願重故人世不無
是事如丁蘭木母猶現生相僧成畫女尚
應形何況是菩薩而不應耶經云佛從天
下木像起坐佛先令坐後異處住故佛言
若人禮佛像得福如真佛云云

所願成就

集經云其像頂上佛面出聲讚行者言○

我來看汝所有願悉令滿足時有四願○

一願我不離坐處飛騰虛空○自然無礙

二願我在一切賢聖眾中無所障礙得三

菩提三願我常作持呪仙人中王四者願

我現身即得隨從觀音○爾時行者於四

願中隨意乞者即與一願云云餘譯無四願

疏云騰空而去者得菩薩小分神通○作

持呪仙者仙有二種一內仙謂佛菩薩故

然寸讚曰阿彌陀仙兩足尊二者外仙苦

行外道今是內仙何故而出聲者佛是極

果相證為是亦行此行故當得佛果云云

略抄之

不成就願時作法

擇日安像

集經云其四願中若不得者更至後月十

五日期更無道場於道場中置二一願云

像中有舍利者還以十一面像置舍利像

邊云云

不空云復次第二儀則從白月十五日○

於舍利塔中安像云云

玄云或於白月十五日以十一面像置有

佛駄都制多中云云

疏云白月十五日者○如日月圓滿所行
滿足又○晝夜清明所決定清明無疑又
諸佛菩薩必用中道欲學佛行故用中道

行者持戒

玄云著新淨衣受持齋戒云云

疏云著新淨衣者明外淨衣謂內淨意業

外淨身口故乃淨三業堪可行道○受持

齋戒○明內淨意云云

行者斷食

不空云晝夜不食云云

玄云一日一夜不飲不食云云

疏云經一日一夜者明修行時間行為三

時短者一日一夜中者一七以上三七以

下長者是一月以上人有三根一上根福

德人是七日以上下根是一日一夜中根

是七日以上下根是一月以上必為現瑞

○不飲不食者明共行相○是仙人行飲

食是大患也若學佛道持呪者一日一夜

尚不飲食何況長時斷穀云云

行者座

集經云其行法者在於像前敷草為坐胡

跪恭敬云云

護摩

集經云應須一千八葉好花取其一花呪

之一遍散著像上如是乃盡千八花云云

玄云取蘇末那花一千八枚每取一花呪

之一遍擲置像上乃至皆盡云云疏云蘇末那花

此云好意是天竺國花也
此土無斯花云

不空云以百八枚惹底花蘇末那花有廣符誦密言

一 遍 一 擲 繁 像 花 類
マタカナ一云アシナツ 北 菜
ナ一云ハマセリ本草 方 杜
亭 云
壓 越
子 處
和 木
名 或
云 不
亭 重
壓 背
子 云
ハ 膝

悉地成就

玄云其像當前一面口中出聲如雷吼○令大地震動行者爾時應自安心勿生恐怖但今神呪乞所期願○時觀自在便與其願與願時諸天等無障礙餘譯同之

疏云從惹面出聲者前表極果於行者無
大慈令得大樂○先縱動像○動地發動
行人心○後發發動心 云々取意

現世功能

得十種勝利

玄云現身護得十種勝利○一者身常無病不空離諸病二者恒爲十方諸佛攝受三者財寶衣食受用無盡四者能伏怨敵而無所畏五者令諸尊貴不空國王恭敬先言經集能伏一切衆生六者蟲毒鬼魅不能中傷不空皆生慈心七者一切蟲毒不中蟲毒寒熱等病不著身云集毒一切蟲毒一切熱病無能侵害云刀杖所不能害八者水不能溺九者火不能燒十者終不橫死文

名號功德

玄云若有稱念百千俱胝那由多翻云六十萬億諸佛復有暫時於我名號至心稱念彼一功德平等々諸有稱念我名號者一切皆得不退轉地離一切病脫一切障一切怖畏及除身語意惡況神呪受持○是人於無上善提○如在掌中餘譯同之

疏云：那由他佛名稱觀世音菩薩名平等。

緣此土無機也。觀音有緣故。二功德平等。無異也。今義以不二者。諸佛於他方有。

緣故功德多是觀音於此土有緣故福多也。二以二不二者。諸佛是法身體。二是菩薩亦爲法身體一故。曰平等々々也。

根本呪徳

玄云、觀自在菩薩白佛言、我有神呪、心名十一面。○說之、欲利益安樂一切有情、除一切病故、滅一切惡集舞令一切衆生念善法。故爲止一切不吉祥集經一切降災法。故爲却一切惡夢想。

故爲遮一切非時死故。欲令諸惡心者得
調淨不容不淨信故。有憂苦者得安樂故。有
怨對者得和解故。魔鬼不容一切障障礙皆
消滅故。心所願求皆稱遂故云。

諸佛守護

又云此神呪心呪也一切諸佛○稱讚隨喜一切如來憶持守護云

集經云。小心印呪第四○持此呪印者。當覓一百八莖蓮花。江水中浴著新淨衣。還

入江水。立至於膝。而正向東。作此印。呪。讀。
觀世音大指來去。○左手搯珠。右手把花。
七遍誦呪。散觀世音上。一花各呪七遍。○
一切百八莖花。卽得見觀音。○若不得一
日。一百八花者。日別求五莖花。滿一百八
云云。
又檀茶印。第九施法。
印。摩尼已說。云云。

勝論義

又云。觀世音羅索印二十一印略。若其他

傳法。皆用此印。若欲解時。心作放想。卽得解脫云々。

除諸苦難

玄云過去有佛名美香香如是○我得此
呪時 呪略之 得諸佛大悲智藏一切菩薩
解說法門由此威力能救一切牢獄繫閉
杻械枷鎖臨當刑戮水火風賊蟲毒厭禱
人非人等種種苦難云

又云一切障礙自然消滅諸有所求無不如意云々

一切八難皆無畏云々

止風雨

又云毗闍那印唐云最勝印梵八面印略之若作大功德道場時起大雲雨大風動者當作此印誦呪一百八遍將持鹽味和白芥子一捻一呪投火中燒其雲風雨應時卽止云

除火燄

金剛般若驗記中云。萬歲通天元年十一月二十三日。清虛在齊州三總山中。暮間忽有東北風起。遙見野火燒山。相去可有一千餘里。至人定時。其火漸近。去僧坐處可百餘步。其僧心驚。誦經念佛。并誦十一步面呪。其火去所住屋可五十步已來。忽然迴風。其火遂漸自滅。建至○更三。忽然遇熾僧將掃帚撲火。撲遂不禁。去屋不逾十步。火即自滅云。

消惡夢

玄云行者○應等分取雄黃置此像前念誦此呪一千八反○和暖水洗浴其身一切惡夢除滅云
疏云夢惡者附神令見誦神呪變惡令吉云

還呪咀

集經云輪印呪略之若人日作此印法呪供養者他起惡心作別法欲害呪師還著惡人若作佛法建立道場及行道所當作此印誦呪一切諸惡不能侵燒云

伏諸魔

又云毘居喇多印唐云魔印若作此印印略之摧伏一切惡魔外道皆無所畏一切鬼神永無也云

又云阿目多印第九印作此印時欲界天魔皆悉戰慄諸鬼神等皆悉倒地時觀世音語諸鬼云汝等魔鬼莫倒莫怖汝等起坐我於今日作此法印誦諸四部衆學此法者莫令短命作病難等云

又第十一印名破魔軍印略之
惡人變心
又云身印第二略之又注灌盛淨水以此印呪二十遍經一宿已用洗手面一切惡人及鬼神等不能惱害云

又云阿嚕陀羅印唐云大緊印第五面○作此印惡人惡神等皆悉變心轉作好心云
息闍靜付結泉

玄云取白縷結作一百八結一呪一結繫

著此像左邊噴面頂上經一宿已解取此索稱怨酬名截一結各令異處一稱一截乃至都盡云

又云令彼怨酬所作不遂自然歸伏云不空云加持白線一百八遍繫忿怒面一切闍靜言訟皆悉得勝除息若繫於寂靜面能除一切障難云

勝軍陣

集經云大呪若入陣闍靜若爲毒所中持此法者一切諸難無所能爲云
玄云他方怨賊欲來侵境應取燕支一顆如大豆誦此呪呪之一百八遍集經八遍粧點此像左邊噴面正向彼方集經向彼令怨賊軍不得前進云

不空云以香花奉獻聖觀自在取烟支加持一百八遍塗左微怒面額降伏一切怨敵軍陣云焉支煙支云

婦女得兒法

集經云十果報印呪第十三印略若婦人欲得兒者以五色粉作四肘壇曼荼羅取一淨罐淨盛淨水中著五穀以柳枝等塞口復以生絹束其柳枝種好花莊嚴其

壇即著壇中懸雜色幡壇開四門燃十六燈復以種種上妙香花十二盤食而爲供養於四門外各安一部好細香盤如不能辨一部亦得嚴辦供已呪師著新淨衣壇西門外面向東坐作印奉請觀音彌陀等大第請已各安本位令其婦人香湯洗著新淨衣於西門外作大蓮花座座上敷生

淨草次阿闍梨右手把跋折羅左手把婦人右手引來向壇北門外立阿闍梨至心誦呪二十一遍教令婦人至心念彼觀音名字二十一遍如是次念彌陀馬頭大勢至魔醯首羅名已令其婦人三禮發願乞兒阿闍梨以五色線一呪一結成三七結繫婦人項次令坐花草上念觀音百八遍

次阿闍梨以右手安水罐上以左手把數珠指呪其水罐千八遍竟次與婦人護身結界次阿闍梨手擎水罐婦人邊立發願

○言仰啓十方一切諸佛菩薩聖衆天龍八部諸鬼神等以他心智證知今日此優婆夷欲得有身生好男女願大慈悲速滿其願婦人合掌念觀音阿闍梨灌其頂上即得聰明端正男女具諸相好云云取意衆病對治門

除諸病
又云若月蝕時赤銅鉢玄云盛牛蘇三兩玄云在於露地觀音像前用黃土泥塗作圓壇一尺五寸蘇鉢置上從初蝕時誦呪乃至月還生如是方止取其蘇食必須食盡不得留殘食此蘇已身中疾病諸病除愈云

又云甘露印第十印略種疾病皆以此印病處至心誦呪即得除愈云玄意不空云於月蝕時取蘇一兩置於銀器對像前誦密言七返自喫及與他一切疾病皆得除愈云

疏云月蝕還生已天表災相神呪令除也

玄云取白縷結作一百八結一呪一結繫

○誦此呪是月還生也

長病治付結緣

玄云：若有長病困不差，或惡神鬼來入宅中，應取薰陸香一百八顆，在此像前，願呪一遍，擲置火中，乃至香盡，復取白縷作二十一呪結，一呪一結，繫置當前慈悲面頂上，經一宿已，解取，以繫病者頸上，所患除愈，惡鬼退散云。

疏云：病有二種，一定業病，雖定業病漸得愈，二橫病，天下萬病，經曰：用三寶物，十年得病，金剛所責故也，雖是橫病，以呪得愈也云。

除疫癘難

玄云：行者應等分取雄黃、牛黃、置像前，念誦呪一千八遍，以水和之，點置眉間，三事成，和暖水洗浴其身，頂沐其身，則一切障礙，一切惡夢，一切疫病，皆得除愈云。

集經大旨同之

又云：復次若國土中人畜疫起云，疏云：若國土中不○能祛國災也，國有災怪，為四因緣，一政令不順，正二別有阿黨，三不修慈心行，四不修福業也，國常豐樂，為四因緣，一政令順，正二心常平等，三常行慈心，四勤修福業也云。

又云：復取排縷作七呪，一呪一結，繫置最上佛面頂上，能令疫病一切消除，疾病除已，解去呪索云。

不空云：以排縷右樣作線，龜如銅箸，為兩條，誦一遍作一結，乃至七結，繫於患者頭

不或頭髮云，

疫癘時護摩

集經云：應以種、香花等供養此像，以婆鑠迦木，像前燃火，取芸臺一百八顆，各呪一遍，擲置火中云。護摩目錄云：婆鑠迦木者，檀木也。不空云：應供養觀自在菩薩，以縛捨迦木燒芸臺子云。

和名云：本草云：芸臺，味辛，溫。無毒。蘇頌曰：此人間可收，藥也。

梵網經疏云：香象此中五辛，與餘處別，餘處有菲、蘭、蔥、蘇及興渠為五，此又五中，大荻可知，有人說：菲、蔥是胡蔥，蘭、蔥是家蔥，上三是人間常食，草蔥是山蔥，北地有江南無，其興渠有說：芸臺是也，然未見成文，有說：江南有菜，似野荻，葉根似菲，亦名差子，無子，北地所無也云。

集經云：取白芥子，押取其油，使滿一升，取紫薑木，大如筆管，寸截數滿一千八段云。

護摩集云：覺超集經云：依陀羅木，唐云紫檀木，新羅學生云：依陀羅木，唐云五柯木。

又云：無依陀羅木持，赤葉木代亦得。○瑜伽論師記云：依地羅迦山，此云檜木，往阿修羅，以此木擔須彌山，故云檜木，此木生此山，故為名也。

玄云：任婆木，○寸截為一千八段，○塗芥子油云。

疏云：任婆木者，○木綿木花也，此土所無也云。

集經云：婆木，此云苦練云。不空云：取苦練木，搗芥子油云。

瘧病治

爛云：若有人患寒熱病者，或一日一發，或二日一發，或三日一發云。文多略之

集經云：若患瘧病，若一日一發，若二日一發，若三日一發，若四日一發，若患鬼病，若被惡鬼打，若鬼子鬼，若茶枳尼所作，若毘舍遮所作，若羯吒布怛那所作，若癩鬼，若羅刹作，若癩鬼作，若餘種種惡鬼所作云。

不空云：彌坦拏文略注大佛頂云：餓鬼云：又癩鬼入，囉羅狀如癩鬼者，癩迦，即一發，底也。迦，即四日一發鬼。

集經云：以此呪印甘露病者，呪一百八遍，即除愈，若罪障重者，用五色縷，一呪一結，○一百八結，繫病者項，或繫臂上，罪障消滅，病即除差云。玄同之

不空云：加持白芥子和白檀香，一七遍塗，即愈，一切業障，皆得清淨云。

狂病治

集經云：卒得狂病，不空云：擊枳樹，等諸魅所持。呪白線，一呪一結，成三七結，像前跏趺，呪線一百八遍，繫像正前頂上，經一宿已，取繫病者項，○其病即差云。茶枳尼，此云莫勝云，是舍連，此云狂鬼，或疏同之，亦曰朱色鬼，注大佛頂云：則神云。

除一切鬼病

集經云：婆羊揭唎印唐云大唎印，第三面即略之，若作此法，一切鬼病悉皆除差云。又云：特崩合沙尼印第六面，若治鬼病印，以此印掌向石斫之，日、燒香，此印者，蒙觀世音○歡喜，諸惡障難悉滅無餘，所有一切諸鬼神

皆不得近亦不得便

除瘡病

又云若患丁腫癰腫若身玄云無病瘡瘡瘡疽瘍癰等種惡瘡玄云病云云

不空云瘰癧白癰云丁腫和名云瘰癧瘡瘡

集經云皆以此印呪之七遍即得除差若障重者呪黃土泥呪一七遍用塗患處即得除愈云玄同之

不空云如上鬼病對治云

刀箭病治

集經云若被刀箭矛玄云稍等傷云矛和名云手戟人所持也同經云如上瘡病治云

風病治

又云若患風病緩風偏風若患癰風瘰癧風等病云玄云同之緩風血氣云瘰癧穴風瘰癧

又云皆印病處至心誦呪一百八遍病即除愈若障重者以胡麻油若牛酥和樺皮青木香煎○以為膏每以此印呪七遍以塗身上○若令服之即除愈云玄同之

不空云若患邪風加持油塗即愈云

樺皮疏云蓋是桂皮耳云青木香香字抄云本草云味辛溫無毒亦治邪氣辟毒疫溫鬼云

頭風治

不空云若患耳病以青木香油樺皮煎滴

耳中其痛即止亦能治半頭風

除呪咀病

翻多云若有人被他敵禱野道呪咀因即成病如是病者在於像前用其緋緹一呪一結呪之七遍使作七結繫著像頂經由一夜取繫病人即得除愈餘譯無此事

小兒病治

集經云婆羅門呪第八唐云隨心若小兒病用五色線一呪一結成三七結繫其頂上呪師手作此印印小兒頂其病即差

當生利益

四種勝利

玄云復得四種功德勝利一者臨命終時得見諸佛二者終不墮諸惡趣三者不因峻厄而死集經云不為一切禽獸所害四者得生極樂世界云

往生極樂

集經云阿目多印第九諸四部衆學此法者莫令短命作病難等若人日作此印法種供養者即得大驗死生阿彌陀佛

近於阿耨菩提云

又云檀茶印若人日作此印者得四禪定命終以後得西方無量壽國成阿鞞跋致云

得不退地

又云禮拜印作此印至心誦呪稱讚三寶作禮一拜遍十方一切刹土恒沙俱知諸佛皆與授記滅除禮者萬生已來罪障悉除豁盡無餘臨命終時所禮諸佛皆來迎

接橫截業道不經諸難直入佛會必定得無生忍成不退地云

離三惡趣

集經云散花印呪第二十五印明作是法印雜色花香誦前呪三遍已散諸佛會禮拜作音樂自然感動十方諸佛○歡喜常為伴侶○臨命終時一切菩薩來迎不經八難○地獄苦自然解脫餓鬼皆蒙甘露飲食畜生常得安樂

離六道苦

又云離羅印第二面作寬容作瞋形私云也形作此法六道衆生一切皆得離諸苦難

超多劫罪

翻多云若有人於十四日朝或十五日以香湯洗浴其身著新淨衣作法至心誦持此呪行此法者當知是人得四萬劫離生死際云

滅五逆罪

集經云復有人犯四重罪及五逆罪○讀誦一遍陀羅尼者悉得除滅○況復依教能作印法誦持呪者當知是人○於萬億玄云百千俱胝那由他諸佛所曾聞此今還得聞況復受持誦誦晝夜不忘者是人若心有所念者我滿其願云餘譯皆同之根本呪功能也

又云觀世音○作如是言我今有十一面

各出一印。若人見聞及學此法。如法行者。四重五逆及恒沙無量罪。一時消滅。猶如猛火燒諸草木。隨何國土。有此法處。與我自身。現住無矣云云。
玄云。以此神呪隨所住處。若遠若近。結作界已。有能越之來相燒害。唯除決定惡業。應熟云云。
不空云。唯除宿業不決定心受持云云。
疑云。五無問者。是決定業也。雖觀音力。何除滅乎。答云。神呪功力可滅決定業。餘尊多有此事。
或云。權教之中。可有定業。今教不可有定業之事。

正應三年庚戌十月一日於釋迦文院書寫了
德治二年丁未七月三日於利生護國寺以釋迦文院之本書寫了
同八月十五日時點交了
元亨四年甲子三月十六日於田原本往生院僧房爲密教弘通利益衆生校合了二交了

金剛資了性 俗四十四歲 法二十四歲

覺禪鈔 馬頭

馬頭觀音法

校者曰已下至四四八頁中段十四行以高野山寶龜院本補載之（裏書四〇五）

本書

陀羅尼集經第六卷
何耶揭唎婆觀音受法壇一卷

私云諸錄無之或師云昔通馬頭觀音大原大軌也

聖賀野紇哩囉大威怒王立成大神驗供養念誦儀軌法品二卷 上下

私云諸家錄無之法務御抄云。私云集經六受法壇并二卷軌大略同之一卷軌形像集經不達一卷軌之十餘餘印書集經同也又兩軌別法全同也

馬頭觀世音菩薩大呪法一卷 無人名說得驗
畫馬頭像法一卷 別錄無之但經錄并小野經藏目錄有之
梵字馬頭觀音陀羅尼一卷 內題云心陀羅尼云云

法師起付馬口海委有別
師傳云。今尊者常護行者。更摧魔界。除重障。能滅衆生惡業。有馬口德故。得噉食名也云云。又云。世間驢。今明王有彼馬口海德。謂大海底能噉海水無盡。此尊食噉一切衆生煩惱濁水罪業毒草。悉盡之云云。

大日經疏五云。如轉輪王寶馬巡履四州。於一切時一切處。其心不息。菩薩大精進力亦如是。以威猛之勢。於生死重障中。不顧身命多摧伏者。爲白淨大悲心。故以白蓮嚴其身也。同疏十云。馬頭菩薩。具此空者諸法實相行之得實相果。噉食即此

空行即菩提法也云云

又云。除諸法實相餘皆破障菩提法。以食噉壞破此悉盡。故得成威猛大勢也云云。
義釋云。除諸法實相之外。一切皆噉食之云云。（裏書四〇六）

胎軌云。青龍噉食無明諸障盡云云。

軌云。如羸飢馬只草食更無他念云云。

軌上云。如大馬口吞噉焚燒一切衆生。藏識中若干名號等。（裏書四〇七）

胎軌云。青馬頭觀自在菩薩如意軌同之

網索經四云。馬頭觀世音同之授記經云。馬頭菩薩。疏十三云。馬頭胎軌云。馬頭明王。千手軌并青蓮軌同之也

甘露經云。馬頭金剛明王。八大菩薩同之。二卷胎軌云。青馬頭尊

胎軌云。青大力持明王。經一之。二卷軌云。大威怒王云云。

集經六云。云何耶揭唎婆觀世音菩薩經三云。何耶揭唎。義釋云。梵字御筆。義釋集云。

集經云。何耶揭唎婆。唐云馬頭普照觀音身也

同云。師子無畏觀音。止觀二云。師子無畏觀世音。被畜生道三障。王威猛云云。

同同集云。小者爲大被噉。弱爲強被食。故施無畏。救其衆生云云。悉檀抄云。私云。諸經中。白馬首故名馬頭觀世音也

密號

義操云。迅速金剛 噉食金剛

住所

軌上云。命終以後生安樂國。從馬頭尊

右脇而生云：

又云：本願力故，十方刹土無不現身云：

本尊

時觀世音菩薩，即現何耶揭哩婆身云：青頸觀音軌云：大悲觀音，化為馬頭明王云。

御身量

集經六云：其菩薩身長佛一擲，長短正當以人一肘智虛空藏記云：一擲者，從母肘節至于六腕節云。

匡房云：裏云：肘臂面云：擲云：可尋之網索經云：八分云。

俱舍論十二云：○七麥為指節，三節為一指，二十四指橫布為一肘云。

光云：謂一肘有一尺六寸云。

頌疏云：解云：計一肘有一尺八寸。

光云：一肘有一尺六寸。

有人云：俱舍一肘者，自腋至指前有二十四指，網索經一肘者，自腋至腕，現現，有十六指也，各據一義，並不相違云。

已上法務御抄

採畫作法

受法壇云：取淨潔，不得截割，請一畫師，最功能勿還其價，洗浴著新淨衣，受八戒，日如是云。

又云：又畫作像法，取新瓦瓶，未曾用者，染作青色，於瓶上畫作何耶揭哩婆，○像身

高如來一擲云：集經同之，但瓶事無之，即口中出像也。

經一云：作大力持明王，晨朝日暉色，白蓮

以嚴身，赫奕成焰鬘，吼怒牙出現，利爪獸

王髮，何耶揭利婆

疏五云：馬頭其身非黃非赤，如日初出之

色，以白蓮花為璎珞等，大悲心故，云用白

蓮花，璎珞等而自嚴身也，光焰猛盛，赫奕

如鬘，指甲長利，雙牙上出，髮如師子頂毛，

作極吼怒之狀云。

胎軌云：青大力持明王，晨朝日暉色，白蓮

以嚴身，赫奕成焰鬘，吼怒牙出現，利爪獸

王髮，何耶揭利婆

菩提場一字頂輪王經二云：畫賀野乞哩

身如火色，作忿怒形，鼻如猿猴，以蛇璎

珞臂，釧膊釧，繫花鬘，作瞻睹輪王勢云。

已上文等手背不分明也

圖像 一五一

釋說非明故，古像圖之用不隨人也。圖云：肉色三面，二臂結印，立右足也，左跌翻外也。

又像二臂

不空網索經九云：馬頭○左手執鉞斧，右手持蓮花莖葉，半跏趺坐云。（裏書四〇八）

圖像 一五二

中天竺國那蘭陀寺三藏善無畏於大唐東都河南府大聖善寺圖像，書本云：唐和五年癸未八月十五日以前，唐院唐本移圖了云：養和中，中覺禪寫之了，最極秘藏本云。

又像四面二臂

集經六云：○其菩薩身長，佛一擲，長短正當以人一肘總有四面，中菩薩面，極令端正，作慈悲顏，色赤白，頭髮純青，左邊一面作大瞋怒，黑色之面，狗牙上出，頭髮從豎，如火焰色。

右邊一面作大咲顏，赤白端正，似菩薩面，頭髮純青，三面，頭上各戴天冠，及著耳環，其冠上有一化佛，結跏趺坐，中面頂上作

碧馬頭，仍令合口，菩薩頸下著寶璎珞，頂

背圓光，數重色作，右手屈臂，手當乳前，把

紅蓮花，其蓮花與菩薩頭齊，正臨左膊，其

花臺上作化佛，著袈裟，結跏趺坐，頂背

有光，右手仰掌，五指皆伸，臂肘平屈，其手

掌擎真陀摩尼珠也，其珠圓圓，如作白色

赤色，光焰圍繞其珠，於其右手正當珠下

雨種，寶其左膊上著弊耶，二迦羅者摩

虎皮，如著祇支，當右腋下，掩皮結帶，更用

虎皮，綴其勝上，以外臂釧，天衣裙等，皆如

餘處畫菩薩法，如令菩薩端身，正立紅蓮

花上，空懸寶傘，蓋菩薩頭，其上空中畫作

種，天音樂具，兩邊空中須陀會天，儼踏

供養頂一面

（裏書四〇九）

圖像 一五三

以古本圖之

又像四面二臂立像

同經云：畫馬頭觀音○身高如來一擲，以人一肘作四箇歡喜面，左一面黑色，眼青牙上出，

右一面作赤色，名：呪面，當中前而作苦

薩而，令端正，白色，頂上空中畫面，口吐寶

珠，四頭戴寶冠，上化佛坐，左手把蓮華

向上，右臂下五指申施無畏○立在寶蓮

花上云：

私云：大略同前像也，但右手并座蓮花



圖像 No. 151. 馬頭(其一) (寶龜院本)



圖像 No. 152. 馬頭(其二) (寶龜院本)



圖像 No. 153. 馬頭(其三)(寶龜院本)

少遠也。仍別不圖之。受法壇二臂像。集經全同也。但口中出寶像。軌說青色瓶上畫之云。

又圖四臂

授記經云。畫四臂馬頭菩薩。二手結根本印。右手持斧。左手執蓮花。丁字而立。作忿怒相云。

圖像 一五四

成就抄云。後本一面四臂。二手結印。右手持三貼鈎。左手持未開蓮花。坐赤蓮花。肉色云。

已上大原抄同之。惠什開梨云。或古本像。二手似金剛童子印云。

又像三面八臂

八字文殊軌云。畫馬頭明王。面有三面。八臂各執器械。左一手執蓮花。一手執瓶。一手執棒。當心。二手結印契。右手上手執鉞斧。一手執數珠。一手執索。輪王坐在蓮花中。大忿怒相。現極惡猛利勢。餘皆依本法云。

圖像 一五五

又像四面八臂

馬頭軌下云。鑄作一金銅威怒王像。隨意大小現。四面八臂。四口上下利牙出現。八手把金剛器械。正面頂上現作碧馬頭。

髮如螺。焰大暴惡形。乘青水牛。背有蓮花。上蹲坐。遍身火焰。遼劫災焰云。

又云。四面皆忿怒。四口狗牙。上下出。頭髮豎。如火焰。四面頂上戴天冠。著耳珞。冠上有化佛結跏坐。中面頂作碧馬頭。身色赫奕。如日輪。身火焰遼劫火。有八手。左右二手結根本馬口印。右一手執銳劍。左一手執金剛棒。右一手執金剛鉞。左一手執寶輪。右一手施無畏。左一手執念珠。坐寶盤石上。青蓮花臺。山色赤黃青色。身分莊嚴。如餘處說云。二文合戴一所也。

圖像 一五六

初文乘水牛。足次文寶盤石上。青蓮花臺上云。蓮略之。身古本也。

校者曰。已上高野山寶龜院本。

曼荼羅等事

受法壇言。當覓勝地。清淨之所。掃灑清淨。以香水。牛糞泥。地懸種。雜色幡蓋寶鈴。佩鏡。并諸金銀嚴飾。道場立五色壇。縱廣四肘。先下白色。次黃次赤。次青。次黑。作四門。其壇中心以種。供養。心作蓮花座。安何耶揭喇婆。東門花座。安十一而菩薩。北門花座。安八臂觀音。南方安八龍。難陀婆素。德叉迦。竭因。毗摩。摩訶般摩。商估。達。摩。喇。迦。等。能也。

燈四十五燈。西門近南安火爐。文

又說。二卷軌云。作四肘壇。先下白色。次黃次赤。次青。次黑。作四門。壇中心作蓮花座。置馬頭尊像。東門作兩蓮花座。安波羅

多摩。波羅遮那二童子。北門二連安一。羅刹。阿婆囉底等二童子。壇南方外。無花座。作八大龍王云。

又云。南北西三面。畫蓮花座。其上畫著牙形。東西花上。畫作跋折羅印云。已上兩所文也。

四童子像事

又云。四大童子。一雙同體。無異形。暴惡大。有強力。身色青赤。索髮分垂左右。著赤袈裟。腰背。膀間。繞虎皮。為力布。二手腕有寶釧云。

波羅多摩者。左右二手。婆羅遮。二手執。一。各。羅刹。右執金剛。阿婆囉底。右利劍。左。按折羅。各。跪坐。瑟。盤石山。身有大火焰云。

行儀門

四種法事

息災。師主。權說也。又諸家同之。小野云。滅罪法。調伏。實任。亮惠等之說。或師云。小野僧。正調伏。令行給云。

又云。敬愛。辨事。尊也。受法壇云。西門近南安火爐云。

軌下云。像面向北。若向惡人所居方。持誦者。身黑衣云。同上云。壇西安本尊。驗伽者。於壇東對像。敷蒲薦。文

軌云。速獲得四種成就事。所謂息災。增益。降伏。敬愛。鈎召等也。

日時限等事

軌云。從白月十四日起。首云。又云。十三十四十五日。三日三夜云。又一七日。或二七日。或三七日。或三十五日。或三十九日。或九十日。若六時。若四時。



圖像 No. 154. 馬頭(其四)(寶龜院本)



圖像 No. 155. 馬頭(共五) (寶龜院本)



圖像 No. 156. 馬頭(共六)(寶鑑院本)

若三時。若二時。若一時。如上護摩作念誦。莫限數返云。

請書

自來二十三。日於烏羽殿御所。可被行六觀音御修法。仍犂六口伴侶馬頭觀音法。可被參勤者。依院御氣色執達如件。

月 日

某

請文

院宣事

右自來二十三。日於烏羽殿犂六口伴侶。可勤仕馬頭觀音法者。謹所請如件。

大法師某

支度 小野權僧正

注進 馬頭觀音御修法支度事

蘇 蜜 名香 沈

五寶 金。銀。真珠。瑠璃。虎珀

五香 沈水。薰陸。安悉。日檀。龍腦

五藥 白朮。人參。甘草。遠志。苟杞

五穀 稻穀。大麥。小麥。菜豆。油麻

淨衣 白色

自餘用物 如常

右注進如件

年 月 日

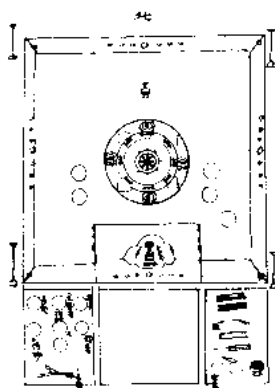
檀樣

佛供十六坏 大八。汁八坏

菓子十六坏 小八。汁八坏

後夜粥八坏 初夜無供物

檀木 三十六或二十一。長八寸。無毒。甘味。木用。乳木 二把。百八十一。束長十二指六寸也。其端直。藥種 廿。八。也。藥穀木。二十一。種等云。蘇油 蘇。胡。麻。油。房花。用。白。花。和合用之。



表白

今此馬頭尊者。蓮花部之明王。觀世音之變作也。內窮實相。悟。噉食妄相。戲論。外現忿怒形。摧破作障難者。首上戴白馬表滅。衆生惡業。身色類日輪。顯除行者之惑暗。利益揭焉。拂天魔於四十里之外。本願甚深。分身形於十方刹之內。凡厥種。災難一。除滅者也。種子 七集說

台藏軌等云。哈種子也云。經二云。歸命舍何耶揭哩。轉種子真言也。

疏十云。含馬頭也。訶是行加大空。是即大空之行也。

三形 馬口 小野 石山 六 白馬頭印 二卷軌云。最勝根本印云。

口云。二手合掌。屈進力。戒方二節相合。禪智竝堅。去進力。如口形。法務御。經三云。如前印。以定惠手。空心中。屈二風。置虛空輪下。相去猶如橫麥。何耶揭哩。縛印云。廣攝軌同也。青玄軌同意。

如意輪軌云。馬頭○印。二手合掌。屈二頭指。無名指。於掌內。甲相背。豎。開二大指。云。

八字文殊并無是壽軌。全同也。私云。本流印也。勘諸軌。本文爲證據。載之。諸家大旨。用此印也。

眞言 大谷傳除 歸命句

囊莫穆曼多沒駄 引南 引哈種子 昨 恐怖 依那野 昨惹 打破薩匠 合 吒野 碎破

令娑縛 合 二 賀 引 出胎青龍軌。玄軌同之。經三并廣攝軌上。壽。壽。二字無之也。

又眞言 八字文殊 軌名心明 (裏背四一〇) 哈 引 阿蜜 裸觀 納婆 囉 昨 發 吒 呼 娑縛

合 二 賀 出八文文殊軌。十一面軌。最勝心明。經同之。

出無量壽軌。梵本御筆。又無量壽軌。亦異之。

右口傳小野傳也。

密栗

各屈一節勿著食字作指來去云

擬哩隣
 反無可
 昨發吒
 半音
 大出集
 法身經
 呪名

嫗密哩
 合二
 嫗納婆
 合二
 傳納婆
 囉
 吽發吒

出十二面觀馬頭觀世音真言

已上有常喜院集

右印言等依師傳載之。用否可開口傳。此外集經并二卷軌等有十四箇印。就中十一十二呪甚廣。仍略之。可見別抄

道場觀 石山

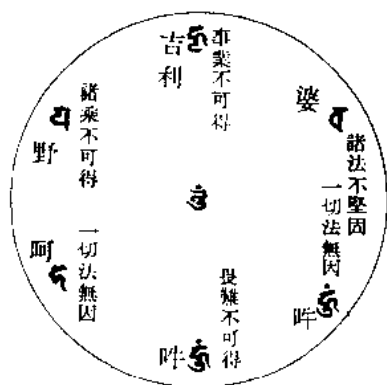
本傳用之。但略種子等爲異

壇中有我字。變成蓮花座。上有我字。變成馬口形。口形變成馬頭明王。赤肉色。三面二臂忿怒之形也。頭上有白馬之形。如輪玉寶馬。碎破衆生諸恐怖。噉食無明諸障盡無餘云。

入我入觀 兼意

想我胸有八葉白蓮花。其上有淨月淨。上有我字。成三昧耶形。變成於本尊身。壇上本尊與我一體無二也。即本尊入我。我入本身。自從眷屬亦復如是云。

字輪觀 石山 金寶抄等云



正念誦 廿路呢

散念誦

佛眼 大日 本尊二呪 聖觀音

千手 十一面 如意輪 一字金輪

不空忿怒王 大金剛輪 一字金輪

勸請句

馬頭觀音大悲尊 蓮花部中諸聖衆 小野

禮佛句 用梵號

南無阿利耶迦耶揭利婆 大谷

冒地薩埵摩訶薩埵 此句加用

發願句

噉食金剛 又云馬頭觀音 觀自在尊 蓮花部中云

部母白衣

伴僧 本呪

御加持 本呪

實任云阿密里都呪惠什同之

護摩

部主 聖觀音 息災

不空忿怒王 法務御口云諸觀 或千手 寶任云祕用云

阿彌陀 寶任大威德 顯呆 調伏

諸尊段 六觀音 或三十七尊也云

八千枚事

軌云榮食作念誦數滿十萬返。不食一日

一夜。方設大供養。作護摩事業。以苦練木。

兩頭搗蘇燒。八千枚爲限。心中望求悉

成就云

卷數

馬頭明王護摩所

奉供

供養法

護摩供

諸神供

奉念

佛眼眞言

大日眞言

本尊眞言

聖觀音眞言

千手眞言

十一面眞言

如意輪眞言

不空奮怒王眞言

一字金輪眞言

右奉爲后主殿下御息災安穩增長福壽

心中所願決定圓滿。始三月五日至于今

日并三七箇日夜之間。殊致精誠奉修如

右

年月日

結願作法如常

功能等

顯體德

現忿怒

軌上云賀野吃哩嚩。能摧魔障以慈悲方

便現大忿怒。形成大威日輪。照曜無邊界。

修行者暗暝。速得悉地。故云

又云金剛手菩薩。復告文殊師利言。如來

奉事是大威怒王。復過去十阿僧祇俱胝

如來。肯蒙教示。正等菩提。有無量天龍八

部等恒常供養恭敬承仕事若纔憶念是威怒王能令一切作障難者皆悉斷一切障者不敢親近常當遠離是修行者所住之處四十里內無有魔事及諸鬼神等與諸大菩薩共同得止云

前後文同不動立印軌也

現馬頭

又云○我大慈大悲馬口本願深重故化一切衆生專勝諸尊由大慈故不著生死由大悲故不住涅槃常住無明諸境界種種惡趣滅盡六道四生老病死之苦又能噉食滅盡取事近喻如羸飢馬草食實無他念此本願力故十方利土無不現身云

一切衆同體

又云時金剛手○驚覺召集一切聲聞辟支佛一切天龍藥叉乾闥婆阿素羅○人及非人一切群生等皆來集會復抽擻彼○衆生差別之心令同一體等住三摩地名俱胝焚燒世界火滅唯成一大火聚如七日光照大馬口等衆流俱湊吞納無餘盡成猛焰說是大威怒王聖者馬頭尊微妙心亦大馬口云

出世門

生安樂國

(裏書四一三)

又云常憶念大威怒王故滅無量禍命終以後生安樂國從馬頭尊右脇而生云

速疾成道

青頸觀自在軌云作此法者大悲觀音化為馬頭明王加破行人速成佛已云

弊諸呪

集經一云爾時會中無量諸大菩薩四道果人諸緣覺并諸天衆一切鬼神諸仙外道皆悉雲集各獻神呪皆云○爾時觀世音菩薩即現何耶揭哩婆身說神呪時即現呪神映蔽前一切菩薩諸天神等所現呪神悉令不現云

文廣略之帝釋羅施大佛頂也即樂馬頭云云委在金輪抄

伏五百山句尊法

軌云由此大威怒王威勢故五百山句內不得諸尊悉地即修行者○得威德自在云

破外法

(裏書四一四)

集經六云若破諸法欲令餘人近作呪法不成辦者當作四肘三色粉壇○略之呪白芥子一百八百一呪一枚火中燒之一切諸人作法皆破此不能成辨外人者諸外道惡人軌云又法若欲喫他呪者取己身中小計血和白芥子為八千丸黑月十四日一日不食取法陀羅木爐中燃火取前白芥子丸投火中燒○一切諸呪悉皆喫盡云

喫外國語也外道也即同大唐破滅諸訓他者勝論義

勝論義

集經六云是法印呪印言若欲論議取牛黃麝香龍腦香三昧和研呪千八返點著頂上及膊上心喉眉間髮腦○後即彈指得勝他法云文略之

二卷軌云又法若欲論議當作前四肘壇而供養者皆得勝上不被他難云

世間悉地

除國中災事

軌上云又法若起種種災難國土亂他國怨敵數來侵擾百姓不安大臣謀叛疫疾流行水旱不調日月失度如是災難起時是古國王身心精進請取持明者大威怒像前作念誦以骨盧草搗蘇乳蜜護摩數滿十萬返外國怨敵即自降各還政治國土通調慈心相向王子百官皆行忠亦妃后嫔女敬向王諸龍鬼神擁護其國雨澤順時菓實豐饒人民歡樂云

家內止百怪

又云又法若家內遇大惡百怪競起鬼神邪魔耗亂其家惡人橫造口舌以相謀害害里家大小內外不和者向馬頭前像作念誦數滿一萬返諸惡事悉皆消滅云

除一切畏

軌云又法日月蝕時取淨牛蘇一兩新瓦鉢盛即把此鉢仰看日月呪鉢中蘇乃至蘇暖或煙火出服此蘇已隨欲詣處舉意即至若常誦此呪一切怖畏得無所畏所有障難悉皆解脫

伏惡人法

又云對此像前作三角壇作底畫彼惡人形或書姓名云

除衆病事

二卷軌云○作四肘壇已病無不差若被毒藥毒蟲虎等之所傷者當誦前根本真言者無有不差用蘇木依子搗以為末極

令微細用格汁和如妙法用大威怒王心
眞言二十一遍與其病人空腹服之復內
所一切毒蟲悉皆吐出爲一切病惱我成
醫王治之不差者無有此處是古本願云

治漏失

軌云若人夜失不淨取於白線呪八百返
後作呪索一呪一結爲三七結即用繫腰
更不漏失呪略之
大日經疏云蓮花部中忿怒明王也云
帥云三部中蓮花部辦事明王也

（裏書四一五）

元文五
庚申年九月五日加修復補蟲損
闕分了

東寺定額僧傳法會學衆

末資賢賀 五十七

裏書四〇五

梵字馬頭觀音自在菩薩心眞言一
本

梵字馬頭觀音心眞言一本

梵字馬頭明王眞言一本

已上慈覺大師錄

馬頭明王大儀軌一卷小野錄有之可尋

裏書四〇六

馬口海事後口心地觀經文助之有別

悉壇抄云十八道義釋云是大明王

噉食無明諸障盡摧破衆生諸恐怖

文謂如大馬口海吞納衆流表示此
故頂現馬頭有人云百川異流同會
一海沒犯不增不減此觀自在亦
如是也謂諸佛菩薩慈悲方便種種
雖異悉抄入觀自在身而不增不減
如大海中犯馬口也是故現馬頭也

此書不知誰人集得來一見次載之云不可爲指南云

裏書四〇七

觀聽抄云法務溫縛賀尊明王何尊
哉

裏書四〇八

藏所事

松尾寺本佛馬頭觀音等身也
在丹後國加佐郡內願主若狹國海
人也依惡風漂著鬼國劇海人念願
云今度歸著本國者可奉造立觀音
像云即華毛馬一疋現來仍二人
海人乍悅取之即本國木津濱小松
本到了

裏書四〇九

又像三面四臂

攝無礙經云馬頭三面三眼正面
寶冠中安化佛身相赤肉色其大
顯怒相利牙現臂上四臂兩足定惠
結印左結拳屈腕戒忍輪舒進禪如
背右亦如是定惠進合頭常隨稍下
垂左定拳印相右惠持錢斧○住大
蓮花跏趺右押左云
祕藏記云馬頭觀世音菩薩赤肉色

大忿怒之相并三面臂在上牙在白
馬形如寶王寶馬云可見之藏
又像二臂小野僧正治嚴注進也天光普照也

右手取蓮臺盛赤蓮花左施無畏
六字咒不可中之圖也

裏書四一〇

疏十云斜義怖佉陀是噉食義謂噉諸障也然此眞言以佉字爲體佉〇官也傍用點是陀是授與義所謂官者諸法實相猶行此用而得印相之果後當以此而授與人也或言噉食即是此也
同是生也合說二薩普吒也普破碎令盡字即是類壞義也
反無有餘也

除諸法實相餘皆是破菩提法也以
食噉壞破此悉盡故得成猛威大勢
也此菩薩是蓮花部明王也

裏書四一一

若人欲入死亡家者誦是心呪二十
一返即得安穩

又云行惡道者同呪二十一返誦即
得安穩文

已上可助之

裏書四一二

聖賢云內縛二空屈印

字云云云云

裏書四一三

受法壇云○當前面上至八千返○
中大光圍邊呪師身已還入像口其
口中出如意珠取此珠已即得十四
千歲壽命得七寶轉輪聖王命終以
後生安樂國從觀世音足下而生之

此尊不被金輪事

軌上云。由此印言大三昧印言也。故如金輪

佛頂經說。若有人誦持頂輪王等。五

百由旬內修餘部真言者。請本所尊

念誦。聖者不降赴。亦不與悉地。由一

字頂輪威德攝故。若能此太子設隣

近持誦輪王人。不蝕阻礙。不奪威力。

所持餘真言。皆速得成就云。

兼意抄云

降伏諸魔法云。若有人欲入死亡家

者。誦是心呪二十一返。即得安穩。若

有人欲行惡道者。誦是真言二十一

返。即得安穩云。

兩事用小呪云。

私云。此文可尋

覺禪鈔 白衣

白衣觀音法具要

勤行先跡

天慶三年。東西賊亂。賀茂忠行。奏言。被修

白衣觀音法。兵革除滅。其法名為白衣。時

無知者。隱者安攘災。決白衣真言。

又傳。聞天曆比。坊城有僕射間。或者引不

明。仍以神護寺別當寬靜令修。爰彼者引

就東寺別當寬靜尋之

又寬靜於右府殿修此法時。台山或律師

云。無之何修之。衆人喚云。已上心覺

保安二年

長承元年。勸修寺法務令行給

律師在賢美福門院御祈行之云。息災行之

白衣白處一體事付白字

師說云。白衣觀音胎藏白處尊一體異名

也同心覺

實運僧都云。白處者白衣是也

疏五云。半拏羅縛悉寧。譯白處也。此尊常

在白蓮花中。故以為名。亦名白身觀世音

義釋五云。白是本淨菩提心蓮花種子含

藏處。萬德莊嚴從此出生。故以為名云。

又疏云。從此最白淨處出生普眼故。此三

昧名為蓮花部母也云。

攝無礙經云。白是紫色。本故以白衣相云。

或師云。胎藏受荼羅有白身。白處。大明

白身三尊。千手軌有白衣。大白衣二尊。

經中列濕吠多菩薩。半拏羅悉爾菩薩

之二尊。合本尊相何耶。

又小呪中有濕吠帝之句。并半拏羅嚩

悉爾之句。何菩薩真言乎。心覺

依葉衣法事付不空絹索

或傳云。白衣者。即葉衣觀音也。又被葉衣

觀音云。又先德寬救。依葉衣法可行之

天德二七。信濃守家讀經矣。隱者問般若

寺。祚惟大德。答長慶大德云。被葉衣是。又

問。就何軌誦何真言乎。答。依葉衣經誦

葉衣真言。檢有二十八藥叉。須伽彼經及

義淨譯孔雀經出梵漢兩名云。

問答抄曰。問。上古叡山無止真言宗會

東寺祚惟阿闍梨而起。問云。觀靜僧正

被行白衣法之時。依何文被行之乎。云。

祚惟答云。以葉衣經為本書。又以葉衣

印言等用之云。

今此問答可然乎

信闍梨云。我宗先德也。雖是非。但葉衣

形像印明等。皆各別也。何云一法乎。只

別法可行也云。祚惟闍梨般若僧正

御弟子無止人師也。雖然此義恐難指

南歟

或云。白衣觀音。不空絹索也云。

私云。彼經形像印等說故。祚可尋。

為蓮花部母事

師傳云。白衣觀音是蓮花部之母也云。

或云根本母云：

疏十云：此是觀音母，即蓮花部主也云；青龍軌云：白處觀音部母也。破是第一義體猶如虛空也云；

不空絹索經第八、九、二十二、三十。白衣觀音母云：

如意輪經云：白衣觀世音母菩薩云；十一面軌云：部母白衣觀音云；經同之

爲諸星母事
或云：白衣觀音諸星爲祖母云；

七是即觀音所變故也云；北斗星手正觀音云；

抄云：星供以白衣觀音爲祈禱之助，成因緣也。諸星宿之根本生母義也。佛菩薩自在神通境界，用助成因緣云；

詩命經云：面向東方，禪指召集一切如來，作是誓言：○乃至證菩提者，咸皆助我；

十一面軌云：結白衣印，亦護本尊，亦護自身，念誦速疾成就云；

又云：妙見觀音菩薩色身三昧之中，一現身也云；女多略之

形像事

阿嚕力迦經云：畫聖者半拏羅婆悉備，菩薩白衣觀音髮亦上結寶冠種、寶衣，以爲莊嚴，著白色衣，天衣爲坐，左手持棒，或持

絹索，右手執於般若梵篋云；

十卷抄云：見蘇悉地經等，執梵篋是部母之表示也云；

十卷抄圖

地寶云：所持三形棒或索又蓮花也。此中以般若爲深祕云；

圖像 一五七

三

惠什云：白衣觀音形像，雖有異說，阿嚕力迦經所說尤吉云：仍快禪律師而謁之

次，用阿嚕力迦經說云：信運闍梨云：任賢律師勤修之時，自院被

送唐本御本鏡，右手持梵篋，左手持索，頂戴阿彌陀佛坐白蓮花云；

又像

不空絹索經八云：白衣觀世音母菩薩，左手搏脇，膝上仰掌，執不開蓮花，右手側揚掌半跏趺坐云；

同三卷云：白衣觀世音菩薩，顏貌熙怡，左手執蓮華，右手仰申膝上，半跏趺坐云；

或經九卷像全同也，攝無礙經云：右垂印云；或記云：蓮華如阿彌陀至花者，極白色也；

同經二十七云：觀世音母菩薩，身白色，面日熙怡，手執蓮華，微少低頭，半跏趺坐，以諸羅穀天妙衣服珠釧而莊飾之，坐蓮華座云；

舊同也本尊繪之

圖像 一五八

(裏書四一五)

三二

又像

大目經一云：近學者多羅，住於白處尊，髮

冠製純帛，鉢雲摩花手云；

胎軌并羅索經二十二文同之

疏五云：多羅之右置半拏羅縛悉寧，○戴天髮冠，製純素衣，左手持開敷蓮花云；

圖像 一五九

三三

又像

菩提場一字頂輪王經二云：著白衣觀自在，以蓮花髮莊嚴其身，以寶綯角絡披，右手把真多摩尼寶，第二手施願，此菩薩是蓮花族母，應於蓮花上坐云；

圖像 一六〇

三四

又圖 已下本說可尋

或云：頂上在觀自在王住說法相，菩薩頭上以淨天衣覆垂，左手執寶鏡，右手把楊柳枝，身白色，安立寶山，北斗七星，及一切星宿顯現，本身圍遶云；

心覺并聖賢不空軌說也

又圖 別無形持之 (裏書四一六)

先德云：白衣觀音，其形慈悲柔軟，如天女，著白色輕羅衣，頭髮上覆白帛，頂戴本闍阿彌陀尊，左手執念珠，右手持印文，足踏白蓮花云；

心覺已上，闍略之





白面多白膚鼻白黃色左蓮右
 与般若天衣坐赤蓮或左用般若蓮
 銷金經身白色臂經白色衣
 三形用白蓮 經賢律師云唐李
 坐白蓮云







又像唐本

大內記云。立二蓮花上。右手取念珠。左手以大指押無名指頭。從寶冠上白衣垂下。寶冠有化佛。又從頂上出五色雲。雲上有佛。右手作說法印。左手當前云。

圖像 一六一

圖像 三五

又像唐本

抄云。白河院在位之時。造等身白衣觀音。被渡眞言院。其像純押銀薄。以薄羅縠覆頂。左手垂持印籠。右手持楊柳枝云。

圖像 一六二

圖像 三六

勤修事

口傳云。小野僧正付撰災決。令習白衣法。給故別無本書云。或師云。白河院。殊信此尊。丈六等身。令造立御云。

今法。小野流計有之。無他流之云。心覺云。摩訶師記云。白衣有儀軌。不知誰請來云。後日勤修寺經藏。以寫之法。務仰云有疑。

支度

注進

白衣觀音御修法支度事

合

蘇蜜 名香沈

五寶 金銀眞珠珊瑚琥珀

五香 沈水白檀丁香薰陸龍腦

五藥 人參甘草遠志黃精根荷杞

五穀 稻穀大麥小麥菜豆油麻

淨衣白色

自餘用物如常

右注進如件

長承元年九月六日 權律師寬信

自九月七日始修。十月十二日結願。五

七日。歟。壇所白河之忠盛宅云。

院。羣星之御祈也。今度無請書。眼前奉

之行法。付金剛界。指無次第等

表白 箇

夫轉禍爲福之計。不如秘密眞言之威德。

除災延算之功。不過護摩妙法之力用。就

中白衣觀音法者。是靈驗殊勝神力不思

議。所以緣致志者。猶如谷響之應聲。暫運

念者。亦同月影之浮水。誠利物之力廣大。

化度之功不虛。況護持帝王。鎮押國家之

旨。專說此尊此法之中矣。是以太上天皇

當今年殊可慎御之時。所令修此法御也。

然則本尊聖者。半拏羅轉悉爾蓮花部明

王明妃。乃至二十八大法藥。又將各本誓

悲願。凝一天法。新靈驗。守顯御願之勝利。

本尊界會白衣觀音 蓮花部中諸聖衆
發願句
白衣觀音 蓮花部主 明王明妃
諸大眷屬
道場觀

大寶樓閣中有衆字。變成八葉蓮花臺。蓮
花臺上有衆字。變成淨月輪。月輪中有衆
字。變成鉢曇摩花。花變成白衣觀自在菩
薩。蓮花部聖衆。眷屬圍繞。

北斗七星及一切星宿。恭敬圍繞云。

懺說云。小野

種子

三形 白蓮花 開敷 芬陀利迦云。

師云。胎白身觀音。續一引三連也云。

寬祐大呪九曜曆具言云。

印 金剛合掌

大呪曰。金俱吒。遇私云。覺

義謨羅。但義合。二怛羅。合。二夜引野。一。義莫素

摩薩囉。縛。合。二諾訖灑。合。二怛羅。合。二還惹。上。野

者。去。觀地波阿。引。去。路迦羅。野。怛。爾。也。合。二。他

唵。努。麼。底。跋。努。麼。底。薩。寶。上。爾。佉。上。細。娑

囉。二。合。賀

出。優。災。決。并。前。曜。軌

安。師。殿。被。修。御。修。法。之。間。念。誦。九。曜。曆。具。言。云。

攘。災。決。云。九。曜。息。災。大。白。衣。觀。音。陀。羅。尼

（裏書四一七）

（裏書四一七）

（裏書四一七）

（裏書四一七）





經云若日月在人本命宮中及五星在本
命宮闕戰失度可立大息災觀音或文殊
八字熾盛光佛頂等道場各依本法念誦
一切災難自然消散一切障不吉祥誦此
真言能吉祥真言已上小野

或抄云若有衆生續誦一返一切日月
星宿皆大歡喜加護彼云
心覺云若有衆生被宿業破壞者持念
一百八遍更不能破壞常得大安樂云
又傳

種子 見疏十 或云

三形 鉢曇摩花 開赤蓮花或青蓮花
心云吉祥藥石榴

印言 出十一面軌印中卷下卷

內結二頭指圓相柱 禪智竝立 口云二頭相
衣白衣 禪智

也 本尊
唵濕吠合二帝濕吠合二帝半拏羅嚩引 悉爾

婆嚩合賀
已上師傳心同之

結界

讚 用正觀音讚 出十一面軌下
心覺云用阿彌陀讚云
禮佛句

南無半拏羅縛悉爾 三返

抄云無礙經云伴タラハシニト云是

白衣觀音也此爲母云

密號 離垢金剛 或普化金剛

佛母 正觀音

本尊印 御口傳口本尊加持相應經
三種印言加用之云

正念誦

唵囉路枳多羯嚩摩耶羅、娑縛賀
字輪觀 對等
散念誦

護摩

部主 聖觀音 又馬頭 或阿 或千
諸尊 六觀音 又三十七尊
加持物呪 初正念呪用之

伴僧用大呪
御加持同上御傳

寬祐云十一面軌小呪用伴僧御加持

白衣觀音御修法所 (裏書四一八)
奉供

大壇供一百五箇度
護摩供一百五箇度
諸神供十五箇度

奉念
佛眼眞言二萬三千返
大日眞言一萬五百返
聖觀音眞言一萬五百返
本尊眞言六十三萬返
金剛吉祥成就明一萬五百返
妙吉祥祇諸宿曜明一萬五百返
成就一切明一萬五百返
馬頭眞言一萬五百返
一字金輪眞言七萬三千返
石奉爲 太上天皇御息災安穩增長寶
壽御願圓滿始自九月七日至今日并

五七箇日夜之間學六口伴僧殊致精誠
奉修如右
長承元年 寬信

寫本云

壽永二年壬九月二日初建久九年功
了 康元二年三月上旬書寫之同十四日
校點了

元文五 庚申年十月七日加修復補虫損
了明六日於醍醐山上悉曇字記并行
狀記等講談成滿不顧疲倦雙考了是
偏爲令法久住而已

東寺觀智院 末資權僧正賢賀 七十
勸修寺淨土院

裏書 四一五
胎圖小野白身也肉色左未敷蓮右
拳置右膝立坐赤連大明白身左蓮
上珠左掌仰左乳上置乳上置身白
黃坐赤蓮

裏書 四一六
又左手持念珠右手覆左手手銘云
行道觀音云唐本也
或云此像雖爲白衣本尊云
已上心覺

寬祐闍梨云白處尊白衣是道行觀
音也是外例白衣云
攝無礙經云白處觀音髮冠裝純色

相。白黃色。左定鉢曇摩。右惠垂傘印。
百千種璽路嚴身。如上說云。

七卷抄云

大白衣觀自在菩薩。真言如常略之。

義謨囉怛瑟引二合怛羅夜引野一娜

莫阿引哩耶引囉路引根帝濕縛二

羅引野二冒地薩怛囉合二野三摩訶

引薩怛縛引二合野摩賀引迦嚩拏迦

引野五怛囉也合二他六引濕吠引二合

帝引二合濕吠合二黨引寬引八濕吠合二多

上都惹慈曳九濕吠合二多囉無獲悉怛

隸引二合濕吠合二多摩引上隸十一羅榜

呼去聲訖哩合二帝引惹反在羅曳尾惹上

曳阿上爾帝引阿跋羅引爾帝引十四

薩囉悉駄娜莫娑訖哩合二帝引十五咽

反色異里弭里枳里六捺羅捨合二野娑

此外印言經疏并蘇悉地。下手軌。
絹索經。集經等多之。恐繁不書。且
無師傳故也。可見別抄

白處缺微人中

半怛他藥多尾灑野三婆吠鉢娜麼

忙股爾婆縛賀

御作台梵本次第有之。延命院次

第有歸命句。雖非師傳。呪祕載之。

白衣觀音白處像同故也

多羅印言云

二手內縛進力端相柱。禪智竝立

法務云。如多羅菩薩者。十一面軌文

也。而上說多羅印云

二手內縛合二頭指如未敷青蓮花。

諸師據之。而今說之。禪智進力者。是

古軌之說也。可交他軌文。歟可尋之

已上勸修寺四帖記也

右文心覺說

柿袋云。撰災真言

唵薩囉怛囉合二室哩曳三摩曳莎呵

三十六箇真言

唵阿詣羅々々々僧伽羅々々々莎

呵

又言

唵濕吠合二帝惹致爾半摩羅縛悉爾

惹吒摩矩吒駄引哩拏娑婆合二賀

印 普通印 又合掌或云連合掌
又印 惠施願定拳。進禪案合

已上心覺開列

唵迦致尾迦致迦吒摩迦致二娑囉

引二合賀

出最勝心明王經 心覺云 觀智記

真書 四一八

供卷數

白衣觀音供所

奉供

供養法一七箇度

奉念

佛眼真言七百返

大口真言七百返

本尊真言七千返

馬頭真言七百返

一字金輪真言七百返

右奉爲 女大施主殿下御除病延

命恒受快樂御願圓滿。始自十二月

十三日至于今日。并一七箇日之間

殊致精誠奉修如件

保安二年十二月十九日

阿闍梨大法師寬信

覺禪鈔 如意輪上

本書 贈部益 尊付屬

祕法 呪功多少 名號

形像 六手 至信心

不發願 父母孝 日月吉凶

念珠 三種法 時貝

限呪遍 請書 請文

支度 道場莊嚴 表白 無之

道場觀 種三印言 念誦等

護摩 卷數 結願 寶珠

裏書

呪多少 八名 形像

六手六觀音 六手本誓 障形

綬提 道觀印言 呪等句義

布字 加用呪 讀經

供卷數 送印 寶珠法異說

兼意闡梨云阿陵國僧智弘本國日誦

持如意輪瑜伽稍得法力云

如意輪觀音法

本書等

如意輪陀羅尼經一卷 花金剛三昧耶加持大蓮

密無障礙 眞一圓

觀自在菩薩如意輪心陀羅尼呪經一卷

義淨六枚 祕

觀世音祕密無障礙如意輪陀羅尼藏義

經一卷 祕錄云 梵釋闍本

觀自在菩薩如意摩尼轉輪聖王金輪呪
王經一卷 法務御抄云無諸家
如意輪念誦法一卷 不空大師智慧慈
內云觀自在菩薩如意輪念誦法字有儀軌云

觀自在菩薩如意輪瑜伽一卷 不空大師智慧慈

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷 金剛

大功德一切天龍八部皆應敬護云
經云義淨說此微妙陀羅尼法於贈部洲
有諸衆生發心口誦得親驗汝依我教諸
有情數々勒加策勵令得證驗爲現其
前云

受釋迦付屬

經云大本我於無量劫來以大悲力受如
來教付屬有情常隨擁護與其敬驗准佛
證知爲有情說如意輪明云

祕密法

軌云若以此法令見他人惡比丘得三
世諸佛御身出血罪入十羅刹彼身中生
災能祕密云爲鳥羽僧正上一祕法其一也

本尊隨行者

都表軌云承事聖尊持密言唯願尊者○
莫違本誓○速現妙莊嚴身我若已現身
得證法雲地常侍尊者不離左右云

神呪多少

經云大本若國王誦念時於七日中六時
各誦一千八十返若后嬪妃每時常誦九
百返若王子誦八百返若公主誦七百返
若宰官誦六百返乃至若比丘誦一百八
返若男子誦一百六返若女人一百三返
若童男誦一百返若童女誦九十返此名
課法持念稱名一切勝事皆獲成就富貴
安樂資財穀帛奴婢象馬一切樂具隨意
增長

法務集云通三呪功能

名號

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

（裏書四二一）

軌云。如意輪 又云。眞多菩薩云。

又云。如意輪蓮花峰王云。

抄云。今菩薩正觀世音。爲成衆生。二世悉

地名。詮自性。號觀自在如意輪。如意者。即

寶也。雨世間七寶及寶相寶。一切珍寶在

如意輪中。○輪者。羯磨事業。即教令輪轉

法輪。佛菩薩皆具此萬德。能衆生滅重惑

業障。無有缺減。故名如意輪

經云。無障礙觀自在云。

法要云。慈有情作無量方便化身。爲種

從生及涅槃。轉大妙法輪。皆從意寶出。所

說妙法以輪成就。以輪爲妙智。能斷諸結

使云。

或文云。如意寶輪王。隨愛樂如意。無不隨

心云。

形像 六臂

法要云。六臂身金色。皆想於自頂髻寶莊

嚴。即生自在王。住說法相。第一手思惟。○

第二持寶珠。○第三持念珠。左第一按光

明山。○第二持蓮手。○第三手持輪。同不空

軌云。不空。○想自身如本像。六臂相好起

大悲心云。

不空經索經十二云。如意輪。○菩薩一手

取輪。一手取蓮花。一手掌寶珠。一手頰。一

手膝上執數珠。一手按地。結跏趺座云。

攝無礙經同之

六手利六道

七卷抄云此像
常通行法用之

（裏書四二三）

法要云。六臂廣博體。能遊於六道。以大悲

方便。斷諸有情苦云。

抄云。六道中。三重。三輕。以右三手救重。左

三手救輕云。

或云。六手利益有二種義。一者以六手三

昧利六道衆生。二者一。三昧。普利六道

云。

右一思惟手

利地

軌云。○思惟。慈念有情故云。

抄云。思惟。定。定三昧也。觀察義。正觀音入

無垢三昧。拔地獄重苦與樂。彼苦重故。爲

彼表之。或云。毘盧舍那內心得金剛法清

淨無染三摩耶。已從其心出種。光云。

念誦結護云。在補陀羅山。住思惟三昧。云

第二寶珠手利饑鬼道

文云。持如意寶。能滿一切願。文

抄云。爲救饑鬼苦。以如意珠雨種。食。施

諸餓鬼。乃至法界一切衆生。所願皆令滿

足

又云。寶三密攝持。故得大悉地。觀音三密。

寶珠三密。衆生三密。三平等成大悉地。又

財寶爲從珠生。爲人口生。即因緣和合生

依玉出寶。依行生珍。無玉有行。無財有玉

無行不出寶。寶與行相應。雨二世寶。本覺

之利理。無行願時不顯云。

第三念珠手利畜生道

文云。持念珠。爲度傍生苦云。

抄云。畜生者。愚癡所惑。念珠是智慧形也。

以智治愚。諸衆生破愚癡暗。滅無明苦。云

左第一按光明山手利修羅

文云。按光明山。成就無傾動云。

抄云。以大定手按光明山。修羅恒與諸天

鬪諍。調伏其心。令不傾動。又能令一切衆

生令斷惡云。

第二蓮花手利人道

文云。持蓮能淨諸非法云。

抄云。持清淨蓮花。除人道重苦。蓮不染泥

水。諸淨非法。所有衆生離苦得清淨云。

第三金剛輪手利天道

文云。持輪能轉無上法云。

抄云。三界諸天。未斷生死輪迴苦。故轉法

輪令斷苦輪。乃至法界亦復如是云。

修行門

行人可至信心事

經云。大本觀自在於一切時護如愛子。與

自在作是法者。除不至心云。

不可發瞋意事

軌云。異本。若人持此法。先斷瞋恚心。若興

瞋意者。滅萬善。成萬惡。能迴心思。易悉地

成就云。

行者可孝父母事

法要云。先擇其弟子族姓敬法者。多人所

敬愛。智惠而勇進。決定毗離耶。覺惠常不

捨。盡孝於父母。淨信於三寶。樂修善提行。

於四無量心。剎那無有間。常樂大乘佛法。

不擇日月吉凶事

經云。善淨發心。怖求此生現報者。應當一

心受持此呪。欲受持時。不問日月星辰吉

如意輪觀音御修法一七箇日支度事

合

蘇蜜名香沈

五寶金銀眞珠慈代螺貝頗梨代水精

五香沈白檀鬱金龍腦丁子

五藥赤箭人參伏苓石菖蒲天門冬

五穀稻大麥小麥萊豆胡麻

別香

荅陵香乳頭香甘松香藿香

薰陸香牛黃黃精根荳蔻

白芥子淨衣黃色

前已下別在之壇一面有爐稱脇机二

壇供八石御油一斗五升

壇敷布一段大幕一帖

阿闍梨一口伴僧

承仕二人駝仕四人

見丁二人

右注進如伴

嘉承三年六月八日權僧正範一

法務定海大略同

建立道場

念誦法云於淨室山林流水最爲上勝建

立道場安置本尊○應置摩夷塗拭其地

以白檀香磨爲香泥以用塗壇或方或圓

隨意大小云

法要云山間及流水清靜阿蘭若隨樂之

間谷遠離諸危難隨力嚴供具云

都表軌云或在伽藍精室處或神舍利神

軌云不空以白檀香泥塗壇圓文

行時員數事

師主云日別可行三時普通事也

經云大本不斷絕六時文

軌云不空四時相應壇云

法要云四時或三時此法後夜勝文

都表儀軌云每日三時云

限呪遍事

經云大本時別一千八十返不絕滿三落

又梵落文唐云十萬數云

軌云不空百日中誦百萬返文

法要云心及中心一千與百八隨力念誦

都表軌云三七日中滿三十萬返○三時

別誦一千八十返或百八返如是數滿

三十萬返云

請定

某阿闍梨

右自來十八日於禁中被始行六觀音

法仍學六口伴侶可被勤行如意輪法者

依綸旨請定如伴

年月日

謹請

綸旨一紙

右自來某日於禁中學六口伴僧可勤

修如意輪觀音法者謹所請如伴

康平八年五月日

支度二所文一通加書之

注進

凶并別修齋戒亦不假洗浴及以淨衣但

止攝心口誦不懈百千種事所願皆成通

或云此大悲儀軌時食與澡浴若淨而不

淨常應不間斷云

經云大本依法持如意輪明不假占擇日

月吉宿亦不一日二日斷食亦不沐浴亦

不作壇著淨衣服明水灑淨如常齋食作

成就法云

文云或淨不淨能成有情云

念誦法云不空行者澡浴或不澡浴悉無

障礙但當運心思惟觀察文淨三業現功德

相應念珠

軌云不空持念珠○蓮子螺珠餘寶無瑕

光好者當穿一百八文法要同之

通三種法事

增益

小野傳云如意輪增益○定賢法務支

度增益也

經云大本居淨室中面東跌座

軌云不空修眞言者面向東方文

敬愛

或師云可敬愛云

法要云金行人面於西文

次第云石山面向方不同文○隨意樂

但作送東轅法向西方者良得便宜也

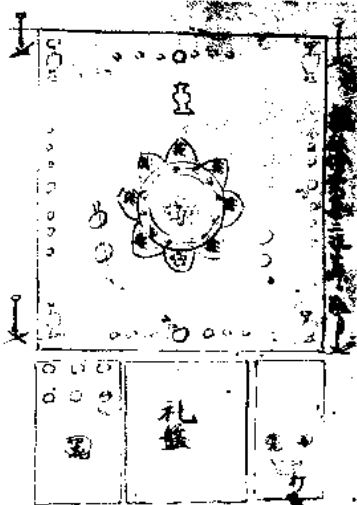
息災

金寶抄并諸師傳息災修之云

或云六觀音連壇之時尤可修息災云

塔中應可存心辨供具，尊向西方云：

佛供各菓子十六坏 汁八坏 已上開白并
後夜 粥八坏 初夜無供物 檀木
乳木 藥種 加持物



行法 念誦法不容 依十八道
法要金智 依大法不容軌同之

禮拜

法要云：行人漫提自在王次禮餘方佛，以五輪著地，如教之敬禮云：（裏書四二四）

開白表白詞

擇定吉日良辰，如行震多摩尼，行法大意者，最上尊教，經億劫難遇，極秘密宗，簡萬機正授，而今謬以羊質得觀音密法，忝傳鴻業修三密觀行，聖如意輪觀音隨類應度之方便，勝諸佛菩薩普門示現之利益，超一切大士，深垂一子平等之慈悲，正六道利益之色形，如衆生之滿衆，願寶珠之雨萬寶，弘誓殊深，名號表之妙流，千光明，廣備六手，臂加之惡夢惡想，百千萬種諸不吉祥，由此呪力，一時消滅，某雖愚鈍，

實仰宿緣，伏乞拂五住之塵，漸榮心鏡，酌

兩部之流，遂開覺運

加持供物 馬頭印言用之 有別

勸請句 小野

大聖大悲如意輪

如來部中諸聖衆

梵號

義謨阿梨耶真陀摩尼智地薩埵摩訶

薩埵 成本

御筆義操集云 又等引金剛

密號 持寶金剛 又等引金剛

道場觀 結如來印

壇上有 卍字，變成寶殿樓閣，其內有壇

場，四面皆有階道，寶樹行列，皆垂瓔珞羅

網，其壇場上有 卍字，變成紅蓮花臺，其上

有 卍字，變成滿月輪，上有 卍字，左右亦有

卍字，其三字變為金剛寶，金剛寶變為

本尊，六臂身金色，頂髻寶莊嚴冠，坐口在

王，住說法相，身出千光明，頂背圓光，右第

一手思惟，慈念有情相也，第二持如意寶

為滿一切願也，第三持念珠，為度傍生，萬

左第一手按光明山，成就無傾動，第二持

蓮花，能淨諸非法，第三持輪手，能轉無上

法，六臂廣轉體，能遊於六道，以大悲方便

斷諸有情苦，八大觀音及蓮花部無量聖

衆，前後圍繞，與言如常

或云：由結此印，加持威力，成即變

此三千大千世界，成極樂刹，云云

部母 白衣 印言有別

字輪觀

金剛部 咒六



法要云：想尊口中流出秘密言，第三呪

五色光照耀入瑜岐口，列心月輪中，諦思

惟入阿字門，即入字輪觀，遍觀諸字，此名

三昧念，不久成種智云：不容軌同之

種子

或云：範愛僧正師云：蓮花，右 卍如意寶

也，左 卍輪即智也，私云：或云：三字變成

三辨寶云：

或云：範懷義之故，離不染，具一切善法云：

金剛二部也，定惠攝入云：

石山次第云：左右 卍，共變成金剛寶

蓮花，種子放光明照十方，然後變成八葉

蓮花云：

持寶金剛次第云：卍字變成八葉蓮花，左

右有 卍字，成寶流散千光明

法要云：金智想已身，前觀咒哩字，變為蓮

花王，中有咒哩字，但羅安兩邊云：不容軌同

摩耶形

如如意寶珠摩耶印說

一僧正云。金剛蓮者。蓮花上置寶珠也

諸家云。紅蓮花上震多摩尼云。

或云蓮上輪也

法要云。金剛寶蓮。共變成所尊。持真多妙

寶云。

念誦軌云。想心中正當胸間。如滿月形。

月上八葉蓮。上有如意寶珠。如紅顏梨。赫

々光明至無量世界。於光明中想自身本

尊像六臂相好云。

三種印言

根本印

師傳云。虛合。進力寶形。二中指連葉形。

念誦法云。不空根本印。二手合掌。二頭指

如寶形。二中指如蓮葉。合堅二大。○頂上

散之。誦根本真言七返

法要云。金智秘根本印。平掌常心。忍願如

蓮葉。進力摩尼形。餘度如幢。○滿有情願

不空別本軌同也

石山七卷抄文同之

根本真言

莫謨引 囉怛囉 二合 怛羅 二合 夜引 耶瑟

引 耶瑟 二合 囉路引 根帝濕囉 二合 羅

引 耶瑟 二合 囉路引 根帝濕囉 二合 羅

引 耶瑟 二合 囉路引 根帝濕囉 二合 羅

引 耶瑟 二合 囉路引 根帝濕囉 二合 羅

引 耶瑟 二合 囉路引 根帝濕囉 二合 羅

引 耶瑟 二合 囉路引 根帝濕囉 二合 羅

他 去引 唵 祈訖囉 二合 機底了以反 振路引

摩扼摩賀跋納銘嚕 二合 底瑟蛇 二合 入喇

二合 囉阿羯囉囉囉 二合 耶畔發吒莎賀

梵本同義注秘譯 〇私云大本經同但文字作違也

心印石山心秘密印

師傳云。前印小指無名指外縛云。

念誦法云。結心印。根本印無名指小指外

相又云。

法要云。本心印。依根本印。無名指小指外

相又云。

法要云。本心印。依根本印。戒方檀惠縛。一

切意願。應心之所念。悉得成就云。

不空別本同之。石山等用此文

密言曰。心呪大本經云。大心陀羅尼

唵 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

囉 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

心中心呪大本經云

唵 囉 囉 跋 納 銘 嚕 二合 底瑟蛇 二合 入喇

二合 囉阿羯囉囉囉 二合 耶畔發吒莎賀

梵本同義注秘譯 〇私云大本經同但文字作違也

心印石山心秘密印

師傳云。今法。種子。三形。印言。皆蓮花寶輪

三習也

都表軌云。三種真言次第。初大心外加持。

第二根本想內。第三小心內外通。如此三

道妙真言。安立行者文

又傳廣澤

種 〇私云。胎觀音院傳集

三 金剛寶 〇私云。胎觀音院傳集

印。第三印 前根本印無名指縛。小指相

交大

真言 心中心呪

已上廣澤口傳在之

興師云云。已下最秘傳也。努々可

祕藏。未與一人云。

印 二中指如蓮葉。二頭指寶形。二大竝

堅。二無名縛二小交

口云。二大輪也。二頭指寶。二中蓮花也。二小輪云。

疑云。珠形圓也。何作三角乎。等三角表三寶寶云。

興師云。三印准知云。

真言中呪 跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

跋 納 囉 二合 振路引 摩拏摩訶入縛 二合

實任云。右印言。二臂像為本尊。左掌摩尼珠。右掌無畏傳。兼意云。必不可用三印言。唯用此一印言。名小心契云。

聖賢云。此印用大呪云。

熾盛光明云。觀自在亦號如意輪。定惠金剛轉。忍願如蓮葉。二風感如寶。空輪並似幢。舉地交上節。為小心契。真言曰。

囊莫三曼多沒駄。引南一吽。引鉢娜摩。二合。

進路摩尼。尼員入。二合。擢引。吽。引入。

或云。此呪如意寶珠也。放千光明。照十方世界。生七寶。隨有情圓滿求願云。

八葉印

師主口傳。祕印八葉蓮花印上。觀寶珠心。呪用之。金寶說。信與云。八葉印祕印也。

經云。大本大蓮花三昧耶印。二手合掌以二頭指。二中指。二無名指。各操開微屈。頭相去一寸半。二大指。二小指。各豎相著微屈。印。明日。大呪在經可見之。此外印呪多之。

想印作百千葉七寶開敷蓮花。供養一切佛菩薩。諸天龍神一切歡喜。

都表軌云。第三根本真言印。以二手腕相著。當在胸前。十指並散。二小二大並豎。如蓮花形云。

正念誦真言。石山云。心中心。裏書四三一。

亮惠云。心呪用儘說也。

念誦法云。念珠於掌中。以心中心言加持七返。○當心次第記數。至百八返。乃至一千八百返。往本尊三摩地。更莫異緣文。

法要云。當聲願念誦勝妙音。特不高不下。不緩不急。智者離分別及諸妄想心。若誦落又所求皆悉地云。

心中心呪也。不空別軌同之。

散念誦或云。大日呪。次可滿阿字云。

佛眼 大日 本尊 大呪中呪 聖觀音 白衣 准胝 大金剛輪 一字

讚如常

或云。實任。六觀音中如意輪王也。彌勒與如意輪為大摩尼殿之主。同主天故。讚通用二尊云。祕事云。

伴僧呪用大呪。亮惠心呪云。

御加持大呪

醍醐大僧正伴僧御加持用大呪云。

金寶抄同

護摩用安息香 （裏書四三二）

經云。大本護摩法。饒益有情。○於清淨處。方量三肘塗地。當中圓一肘。深半肘穿。○火爐。黃土泥磨拭。白栴檀木。長二指半截。之。○次白芥子。沈香等。五更護摩。五無間罪消滅。七日護摩。壽命無天。三七日福壽增起。國王等敬愛。三七日三十三天日月天子。四天王。明仙。眾來擁護。○觀自在現身。隨願滿足敬愛云。

金輪呪王經云。若暫燒火。念誦供養一切三寶。災難消除。諸罪滅減。乃至無間燒火供養者。壽命轉增。滿一千歲文。

部主 寶生尊 祕准胝上。優闍

正觀音 馬頭 已上小野

信與云。六觀音部主皆阿彌陀云。已上金寶抄

諸尊段 六觀音 又三十七尊 （裏書四三三）

如意輪觀音御修法所

奉供

大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

諸神供三箇度

奉念

佛眼真言五百返

大日真言二千一百返

本尊真言七千返

白衣觀音真言二千一百返

馬頭觀音真言二千一百返

護摩真言二千一百返

一字金輪真言二千一百返

右奉為。大施主。殿下御息災安穩增長。福壽所願。圓滿始。今月十八日迄。于今日并七箇日夜之間。殊致精誠。奉修如右。

年月日 某

結願作法

先書卷數一通付枝。立壇右。（裏書四三四）

又案文一通。置左脇机。同机置佛布施。供養法如常。

但前方便無祈願等。後供養燒香。次供佛布施。次闍伽。次取念珠。金二打。次卷數讀之。

金一打。次事由。自餘如常。

如意輪寶珠法 亮惠

（裏書四三五）

法務御說云。不至也云。

法要云。金智此即如意寶能成諸事業。文
菩薩法事也。爲證
文秘引之

口傳云。寶珠法付如意輪法。相承祕事也。
印有大本經。言有義注祕決。可祕之。

種子 寶

三形 塔

宗意律師云。塔中有寶珠云。

印 塔印

眞言 寶字用之

祕藏記云。我心觀月輪。上觀阿字。變阿

字成如意寶珠。寶珠遍滿法界。口誦阿字。

隨疲即寢印用率都婆印云。

義注祕決云。次作取相之法。謂作本尊印。

寶字觀於心中。想寶字成明珠。遍周法界

了。即誦此寶字文

已上亮惠傳

私云。用寶字寶種子。准知五大虛空藏

無所不至。可見件口傳等也。又可聞

口傳

或云。以阿字爲種子。以塔爲三形。用塔

印爲今法肝心。付灌頂習事也云。

元文五

庚申年九月二十六日。遂修復以

觀智院藏之古本。令雙考深收。篋底且

爲密教紹隆。且爲後昆拜覽而已。勿忽

淨土院末資權僧正賢賀七歲

真書四一九

持寶金剛次第第一云。尊師付金剛

界

誦呪多少

誦呪多少

經云。寶思惟若貴若賤。若男女沙門外

道。稱名字住心誦呪。應以後夜明時。

男最貴一千八百返。女最貴一千十返。

第二貴男八百返。第二貴女七百返。

第三貴女六百返。婆羅門五百返。刹

利四百返。首陀三百返。二百返。比

丘一百八返。女人一百三十返。丈夫

百五十返。童男六十返。女九十念誦。

百由旬迅疾如風。誦八百返。觀音眞

身現前。一切所願與之云。

真書四二一

八名

抄云

如意輪 纔發心轉法輪 金剛道

場 金剛因 大堅實 妙轉輪

金剛起 摩訶理趣

凡八名也。略頭如錄。
道因。大妙起理云。

真書四二二

六臂像

宗祕論云。第一執妙蓮。表離塵染義。

第二持妙法。願濟諸貧匱。第三把數

珠。爲度傍生義。第四持寶輪。廣轉法

輪義。第五按寶山。表無傾動義。第六

手低頰思惟衆生義。恒遊六道未優

會暫息止。菩薩悲願深。由斯現六臂

云 ○

頂上彌陀佛事

大日疏云。觀自在者。卽蓮花部主。○

約如來之行。故名菩薩。頂現無量壽

者。明此行至極果地云。

真書四二三

六手配六觀音

或云

右一思惟手 聖觀音。修無垢三昧

能救濟地獄受苦衆生

第二如意珠手 千手也。修心樂三

昧。雨寶。救饑鬼飢饉苦也

第三念珠手 馬頭觀音也。修不退

三昧。度畜生鞭撻苦

左一光明山手 十一面。修歡喜三

昧。度修羅鬪諍苦

第二蓮花手 准胝觀音。修日光等

四三昧。教化人道

第三金輪手 如意輪觀音也。修不

動三昧等十七三昧。能破天道有也

卽六道觀音。修二十五有三昧。破二

十五有作。如意輪觀音在一身也。是

觀自在六臂圓滿體相也

傳受集二云。師子無畏觀音如意輪

變也。身金色。右手執蓮花。花上在三

站。

真書

開明抄云。一切明集三蓮
花上三結云。

六手本誓

或抄云

大悲三昧安禪手八風不動利他相

大悲三昧念珠手三途衆生離苦相

大悲三昧金輪手能轉法輪成罪相

大悲三昧蓮花手能示衆生不染相

大悲三昧如意手願求衆生能滿相

大悲三昧思惟手難度衆生能度相

心覺抄云證師記云如意輪事天上

大梵深遠字佛中報身也如來身得

度金剛悲帝王金剛軌文

大梵深遠觀音正觀音人師能如意輪

傳集云利天道衆生大梵天王爲首

故其天王像救其中衆生

金寶抄云破天三障梵王標主得臣

也

○

補多落山事

或云名光明山如何

答小野傳云光明山者補多落山也

彼山樹花常有光明是表大悲也云

都表軌云布多勒迦山

○

罪障有形事

法要云金智心想召諸罪想彼衆罪

狀植髮裸黑形云召罪印所有之

觀聽抄云如意輪軌漫提自在王者

視聽抄云如意輪軌漫提自在王者

何尊哉有小野僧正秘口云

大原抄二

天台說禮言集云禮未捺南未備第

滿願傳也云

護摩達摩云小野抄滿提先師云伴底

等云

或蒲底或畔底皆敬禮梵位也云

道場觀法務御傳

第八海南方有

山其山腰象須彌山腰山顛九寶猶

若蓮花當中背大妙蓮花臺山上畫

諸寶樹花菓一切草木山下大海水

中魚獸水鳥類當中背七寶宮殿

種莊嚴其宮殿地衆寶所成殿中

置寶蓮花師子座如常三形像白衣大白

衣多羅毘俱智六大大八諸觀音蓮

花部諸尊聖衆前後圍繞結繩索經說

平救道場觀云大蓮花上觀大覺師

子座云

私云付軌也

或道場觀畢八供四攝菩薩圍繞八

云天等住本方

○

阿字微心明事

法要云金智汝想於心中所內惡字

內以字微心云不空是同

持寶金剛次第云四無量觀有大日

觀

七卷抄云

字輪觀中心觀字次第

觀呪石山同也

初作本印

都表軌云當心合掌二小無名鉤在

掌中二頭指押中指背第二節二大

指竝豎大心眞言密印文

第二根本眞言印

八葉印也說文面出之

第三心眞言印

二手虛心合掌如未開蓮花

又云開二大指此小心印云

大呪義淨經三呪但

曇謨佛陀耶

曇謨佛陀耶曇謨達摩耶

僧伽耶曇謨觀自在菩薩摩訶薩

具大悲心者恒姪他唵祈羯囉伐利

底寔多末尼莫訶鉢鉢囉謎嚕

底瑟佉篇婆攞摩訶羯囉沙也吽發

多莎訶

大心呪

唵鉢囉摩震多末尼入篇婆羅吽

隨心呪

唵跋利陀鉢宜繼吽

香隆寺加持身五處除煩惱業障乃

至淨六道拔苦與樂云

私云三種印了在之若第三印功

能歟可尋

○

根本印

口云中指蓮葉衆相應即蓮花部也
進力摩尼形衆相應寶部也

本經等印言

大本經云根本印二十五印言頗多

二手合掌虛掌內二大指竝豎伸屈

二頭指捻二頭誦大心明小心明

塔印也

師云塔印三種言用之

〔義書〕四二八

大呪句義

如義注祕決云

或抄云初二句歸命三寶也次七

句歸命三寶也以大悲爲體指自

利他德善也次二句開示三世

諸佛所說甚深祕密義也八萬法

藏不出此句唵一字三身也

〔義書〕四二九

心中心呪 布字

〔頂〕此身下體三所觀也此三身此

眞言布字一々字布列本尊行者平

等無異置頂成觀音頂上想字

置額成白毫相兩目置字得觀音

無垢光眼觀心蓮花臺○字置口

聞音聲得解脫如觀音十九說法

字置心萬法自相心中明了第一義

諦自然影現到字置肩得八自在具

六臂斷有情苦太字置臍從臍輪出

大乘了義智○令得常住果云

三井寺經藏本云

〔頂〕阿彌陀佛口毘俱胝觀音衆多羅觀音

大勢至觀音口白衣觀音口耶輸陀羅觀音

〔義書〕四三〇

心呪三井經藏本云

〔頂〕觀音頂戴彌口到蓮花衆所持

如意寶衆而按光衆摧破義衆持所

心咒

法務云聖賢甲之今法心眞言并心印

爲祕云

實勝云根本印大中小三呪讀云

信與云此說用本尊加持云

種

〔義書〕四三一

加用呪

金剛藏 〔頂〕

執金剛 〔頂〕

不空軌云正念誦所或毘俱多羅作

此法加持云

召請印掌師

內縛左大指入掌以右大指招之

眞言曰

唵阿盧力迦翳鷄咽沙呵

發遣同

唵鉢頭摩合二薩怛縛合二訖哩合二穆

〔義書〕四三二

行法了讀經事

法要云金智

楞伽花嚴般若及理趣

○經教思惟修習○行住坐臥寢息
不問善提心不久悉地不空同之

〔義書〕四三三

供卷數

如意輪法所

奉供

花水供三七箇度

飯食供一七箇度

燈明供三七箇度

奉念

佛眼眞言五百返

大日眞言二千一百返

本尊大呪七千返

同中呪七千返

同小呪七千返

正觀音眞言二千一百返

白衣觀音眞言二千一百返

馬頭明王眞言二千一百返

大金剛輪眞言二千一百返

一字金輪眞言二千一百返

右奉爲護持大施主殿下息災安

穩增長福壽恒受快樂無邊御願皆

悉滿足決定成夏季分始今月二十

一日至今日一七箇日夜之間殊致

精誠奉修奉念如右

仁平三年四月二十八日

阿闍梨法眼賢覺

〔義書〕四三四

逆印事

如意輪要略法一印安祥

如意輪陀羅尼注一紙不空三藏註

梵字如意輪真言一本三十帖錄

梵字如意輪讀三十帖錄

贈部洲利益事又安祥禪來

如意輪陀羅尼經并又經義淨無見

受釋迦付屬事大本同經見

秘密法

軌云異本若以此法令見他人惡比丘得

三世諸佛御身出血罪

又十羅刹彼身中生災能秘密云

鳥羽僧正十一秘密法其一也

本尊隨行者事都表軌見

神呪多少

如意輪陀羅尼經見法務抄云此功能通三呪

如意輪觀音

爲灌頂部法事

念誦法云不空應須先入諸如來海會灌

頂道場受灌頂已發歡喜心從師親受念

誦法則云

法要云金智入三昧耶從師獲灌頂既蒙

印可已不久當成就云

師云未灌頂者不可受學云

本尊安城門事

都表軌云行者若除他病時感自他災

請大聖於一、大城門○安本尊妙寶莊

嚴思惟六臂又想眉間出白光○遍世界

○衆生所有殃悉頓謝無所有云、取意

現本章事

又云誦此真言大呪於七日中滿三十萬

返聖者即現持誦人前隨心所欲皆得成

就若常持念每日三時時別念誦一千八

返或八百返如是數滿三十萬返即成悉

地云

滿世間出世願事

經云大本爾時世尊出迦陵頻伽美妙梵

說深妙偈讀觀自在菩薩○善哉、善哉、善

男子汝能愍念諸有情於是如意陀羅尼

竝濟有情大勝益令信受者速消罪當超

三界證菩提隨方若有修持者世出世願

得圓滿

又云復有二法一在世間二出世間言世

間者所謂誦念果法勝願成就攝化有情

富貴資財勢力威德皆得成就言出世間

者所謂福德智慧解資糧莊嚴悲心增長

濟苦有情衆人愛敬文

法要云持寶蓮勝幢幢中出妙聲有薄福

者滿一切願云

與珍寶事

都表軌云我今說福生法大慈悲故菩薩

分身遍一切隨衆生所樂心安立諸珍寶

○百千萬國所隨者一、勤求皆悉成云

經云我今對佛宣說世尊垂哀加護

我及一切持明呪者雨妙珍寶猶如寶

樹如意寶珠於諸衆生令所有希求應時

果遂云、
成一切悉地事

又云我今有大陀羅尼明呪大壇場法若

青蓮花頂楞嚴摩尼心○所謂無障礙觀

自在蓮花如意法輪王陀羅尼心呪第一

希有能於一切所求事隨心饒益皆得成

就

得仙法事

別本軌云若欲成持呪仙者行高峯滿一

百日日誦真言十萬返心取五葉松如

粟殺煎米粥取其汁和合之每日三合加

持百八返服之飛行三千大千界壽命千

歲亦得六通文

都表軌云持誦勿間斷現三相初現煖相

成聰智第二相相隨其軀第三火現昇空

去成就大仙人

延壽命事

又云若服藥求色力根本言念誦十萬滿

○三七五七七後過七力同九龍無差若持

延年甘露藥或得一切過劫中云

服藥成一切法事

經云大本是陀羅尼明服藥法者令諸有

情得大勝利○其藥雄黃紅蓮花蕊青蓮

葉牛黃鬱金小柏云、桑、麝香、龍腦、石

蜜相和精研盛銅器置檀內觀自在前誦

根本明等作成成就法當獲日月盈復圓滿

煖煙光現隨上中下成就先以藥塗觀自

在足下○起大悲心誦三明返百八則塗眼

○中努肉皆除差第二度塗者頭痛○

熱病一日發二日發三日發或常發悉除

度塗。一切作障。毘那夜迦諸魔遠離。○第六度塗。五無間業。應墮阿毘獄除滅。○第七度塗。摩訶迦羅鬼子母擁護。○第二十一度塗。得神通見色界天諸佛菩薩。二乘會淨土。若一年塗。持三昧淨五眼。○默庵眼中常除。信解勿生疑惑。云、文多略之。

國王所愛事

別本軌云。若人欲得國王所愛者。取波羅木。阿不長十指。二十段。以胡麻油漬之一宿。以根本言加持百八返。燒得國王愛敬。世出世七珍百寶現前。三界中貴物應意生文。

除雷難惡星怪事

經云。大本刀兵水火惡風雷電王難滅難。怨酬等難。不相橫害。一切惡相。妙福之業。惡星變怪。皆自滅。○師子虎狼一切惡獸。亦不相害。○若常五更誦此陀羅尼一千八十遍。如上諸事皆得解脫。自在如意。云。

除惡鬼盜賊難事

經云。義淨若有藥叉羅刹惡魔諸行惡者。皆不得便。亦無刀杖兵箭水火惡風怨賊劫盜能及其身。亦無王賊。無有橫死。○若誦一返。如上諸事悉遂意。文。

勝軍陳事

經云。大本若有軍陣鬪諍訟。○五更誦此陀羅尼一千八十返。得解脫。云、

降雨事

又云。作是法者。於日中應受祕種。上妙供養。若有惡敵軍陳鬪諍。皆得勝利。云。

又云。若天亢旱。以白芥子和酥。三日三夜。如法護摩。則降甘雨。文。

別本軌云。有旱魃。取宇都波羅木。梧桐長五尺。加持一千八十返。打灑水。即降之。云。

止風雨事

經云。大本若多霖雨。取護摩灰。仰觀空雲。明一百八十返。上散空中。其雨即晴。○一百八返散之。風雹即止。云、

本尊變王女事

別本軌云。若欲雨止。取易如木。於保太長一時。加持百八返。燒即止。云、

女人敬愛事

又云。發邪見心。姪欲熾盛。可墮落於世。如意輪我成王女。爲其人親妻妾共生愛。一期生間。莊嚴以福貴。令造無邊善事。西方極樂淨土。令成佛道。莫生疑云、

求兒法事

又云。若欲得女人敬愛者。取白芥子一合。加持百八返。打其姓名。即得王女子。王女。又云。若有女人。薄福種。惡現世。取桑樹汁。加持百八返。浴頭及身。滅惡相。現福相。爲男子敬愛。敬云、

難產治法事

又云。若有女人無子。欲得子者。取赤小豆七粒。加持一千八十返。令服得懷妊孕。所生男婦才無礙。福智滿足。官祿具足。○人天愛敬。見者歡喜。聞者欲見。文。

又云。取弓弦五寸。燒火百八返。加持服之。即出也。云、

發姪事

又云。若欲令發者。取真桑木白汁一合。許取酒二合。和加持百八返。服之。即發動。文。

滅姪事

又云。若佛子欲斷姪欲者。取花水誦真言。加持千返。洗聞齒。姪欲悉消滅。發大菩提心。終不退轉。文。

返呪咀事

經云。義淨若有他人厭魅蟲毒皆銷滅。無復遺餘。云、

除天狐難事

別本軌云。有人急被呪咀。○臨命終時。取縛日羅。若作印。加持花水一百八返。服之。病除。身心悅樂。命終無災。云、

治病入裸難事

又云。欲離天狐地狐者。取石榴木。加持百返。打病者即止。云、

治病人裸難事

又云。若人難治病。○或脫衣裸馳走。或相打。如是不吉。定知屍鬼入其身。作病狂。取安息香少分。以根本真言加持百八返。作印於病者頂。護摩即除。愈云、

愈惡瘡事

又云。欲治惡瘡。取牛屎。加持百八返。摩其瘡上。即除。愈云、

不墮惡趣事

經云。義淨常爲諸王公卿宰輔恭供養。衆人受敬。所生之處。不入母胎。蓮花化生。衆

相具足在所生處。當得壽命。始從今日乃至成佛。不墮惡道。常生佛前云：

地獄衆離苦生天事

又云。觀自在。說呪王已大地。震動。天宮龍宮。藥叉阿蘇羅等宮殿迷惑。所依。惡心衆生。皆顛墜於地獄中。受苦衆生。悉離苦。生天上云。

經云。大本一切地獄。皆自開門。是中一切罪人。報有情。皆得解脫。盡生天界。受勝安樂云。

滅無間重罪事

(裏書四三八)

又云。由住瑜伽觀法誦念。所有過現。五無間罪。極惡業障。自然消滅。常見種々大善夢罪滅相云。

經云。義淨更無明呪。能得與此如意呪王。勢力齊者。是故先當除諸罪障。次能成就一切事業。亦能銷除受無間獄五逆重罪。亦能殘滅一切痛苦。皆得除差。一切重罪。悉能破壞云。

得聰明事

都表軌云。行者。每日辰時。取柳木呪滿八百嚼之。不久一月或三月。開心得聰明。小心呪也。

現身成佛事

經云。大本。於是如意陀羅尼。令信受者。消諸罪。常超三界證菩提。世出世願得圓滿云。

法要云。如意輪經中大教佛所說。若如是修習。現世證初地。過此十六生成無上菩提。

提。何況世悉地。現生不如意文。

現身見極樂事

經云。義淨若日。誦一百八返。即見觀自在菩薩。善男子。汝等勿怖。欲求何願。一切施汝。阿彌陀佛。自現其身。亦見極樂世界。種々莊嚴。又見極樂菩薩。全同之。仍不抄。

見十方佛并補陀落山事

又云。若日。誦一百八返。亦見十方一切諸佛。亦見觀自在菩薩所居之處。補陀羅山。即得自身清淨。

生極樂事

經云。大本依法念誦者。生西方極樂。隨所生處。當識宿命。乃至菩提。不墮惡道。文。

形像門

校者曰。以下至四九二頁中段八行。以高野山轉經文。院本補載之。

尊形二臂

金輪呪王經云。又畫像。菩薩左手執一寶蓮花。上安寶珠。有火焰。右手屈臂。在乳房下。仰掌。把如意寶珠。文。又二十二葉中。尊形也。與同之。(裏書四三九)

圖像

一六三

又像四臂

又云。先畫一水池。上有山。上有紅蓮花。無莖。敷在山頂。上下平正。菩薩處之而坐。身色赤白。相好端嚴。迴向。纔似仰頭。先垂左足。右扶左上足。著草履。頭有寶冠。中。

有一化佛。下有寶。如仰半月。復有寶蓮花。佛處花中。加跌坐。菩薩頂一著寶。著輕赤裙。四臂。左上一手。向至繫腰處。低蓮花。草。於虎口中。上出掌。向下投其花。出於當身。坐。下池中。其中其四手。腕。各著劍。二道。於前蓮華臺兩邊。各一蓮花。作開勢。以前花莖。東有龍女。人身色著。又於大蓮花西。有龍女。人身開肉色。口角有鬚。與前女對。龍女亦如是。左足前有人。肉色著衣。冠。中現馬。○菩薩左有一人。似女。面。肉色。○下有青蓮。○善薩頂上有七箇佛。

圖像

一六四

又像六臂

右像以古本圖。但二手持物。不見本文。覺疑等不審。可證如本文者。菩薩左邊可有肉色女形。無。

又云。畫像法。有六手。頭上有化佛。坐前蓮花云。左上手。仰掌。大姆中指。把一開敷寶蓮花。上有如意珠。上有火焰。第二手下。曲向膝上。五指作拳。抱一天髻。口向下。磬金色。第三向臍下。以中指頭。指捻一紅蓮花。似開小許。右第一手。屈於腰前。○立一跋折羅。上有火炎。第二手。向下垂覆。作降魔印。第三手。向下齊花上。作捻花勢。其菩薩跏趺坐。寶蓮花。○及頭光。竝在白月光內。左右各有三道光明。菩薩上有二天。似散花。地碧色。





圖像 No. 164. 如意輪(其二) (釋迦文院本)

圖像 一六五

又像十臂

又云、疊上畫作一菩薩像、身安十手、上第一左右於頂上合掌、第二手左掌把日右掌把月、第三左手把如意寶珠、右手把輪、第四左手執澡罐、口著青蓮、右手執跋折羅、第五手執呪索、右手執數珠、其像頂上放大光、照十方大地、身上天衣、頭項兩手竝有七寶環珞、其像足畫一十地菩薩從地涌出、像踏勝上十地菩薩、交手捧足、其像左邊畫帝釋、提頭羅陀、毘樓勒及二天王、各領諸衆二部鬼神、左邊畫梵天王、毘沙門、毘樓博叉、天王、各領諸衆二部鬼神、各執器械云、

(畫書四四〇)

圖像 一六六

又像十二臂

又云、如意輪蓮峯王十二手像法、乃至白疊布不問淨不淨、不擇時日、作法、其菩薩相好端正、頂上有一化佛、結跏趺坐、蓮花上、仰掌、菩薩著頭冠環珞、上左右二手在頂上作合掌勢、左上第二手少曲託金輪、右第二手投拔折羅作擬勢、左第二手仰掌向上、屈無名指大指捻一寶蓮花、蓮花內有一如意珠、珠上有火焰、右第三手執色如意杖、左第四手作歡喜印、大指捻無

名指第三節上、作向前擬勢、右第四手把

一三股叉、左第五手向下垂執澡罐、右第

五手下中作施無畏手、左右第六手當心

作自在神通如意神力印、左右二小指二

無名指反相叉入掌中、中指頭相跂二

頭指第二節曲以二大押中指第三節文、

身白紅色、緋絡膊、朝霞曼勝、紅紗爲裙、脚

踏白蓮花、在水池中、上有二天、散花供養、

下左相畫一金剛藏王菩薩、右手出向脇

前執一青蓮花莖、其花在頂前、蓮花上有

跋折羅、上有火焰、左手執白拂、身著種々

衣服、立於青蓮花、右相畫一軍荼利菩薩、

六手、青面、青色身、左上一手執輪作擬勢、

右一手執跋折羅作擬勢、左二手作斷其

一切煩惱印、大母指捻中指第二節側文、

無名指中指小指急抱作拳勢、右二手向

下作施無畏手、左右第三手、左押右二交

在胸前作身印、大母指押小指甲上、三指

竝豎、散如八字、立青蓮花上、菩薩足下畫

一呪師、手執香爐、胡跪瞻仰菩薩、呪師著

白衣

(畫書四四一)

圖像 一六七

圖像 一六八

曼荼羅三十二葉

經云、大本分爲二院、內院當心畫三十二葉開敷蓮花、於花臺上畫如意輪菩薩、西面

結跏趺坐、頭戴寶冠、身金色、相背戴寶冠、冠有化佛、菩薩

相天衣、身放光、東面畫圓滿意願明王、

左畫白衣觀音母、北面畫大勢至、左畫多

羅西面畫馬頭、左畫一醫羅刹女、南面畫

四面觀世音明王、左畫毘俱胝菩薩、是等持

環珞、耳環、天諸衣服、外院東面畫天帝

釋、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間

也、左右畫諸天衆、南面畫焰摩王、雲間



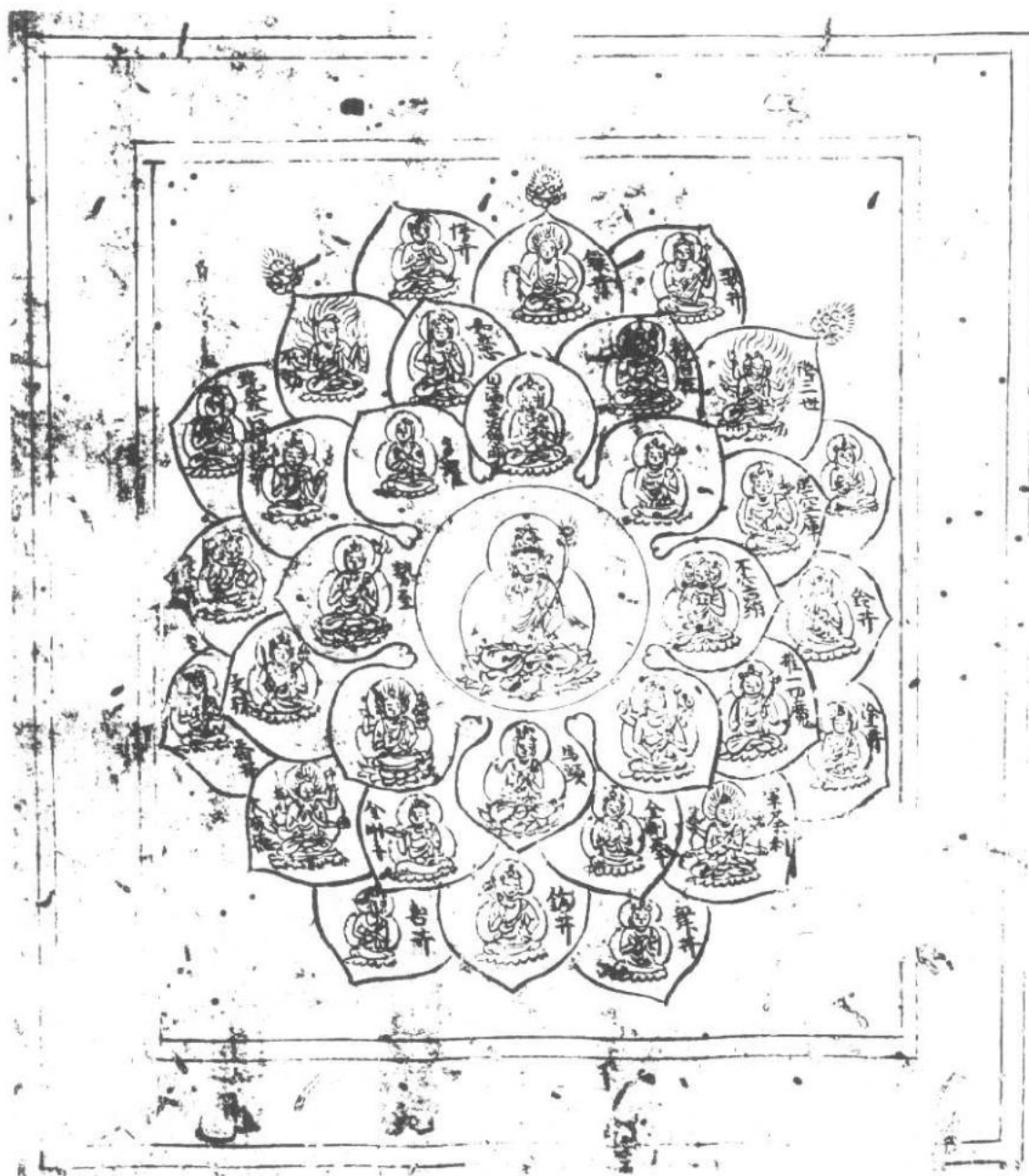


如意輪
寫



圖像 No. 167. 如意輪(共五)(釋迦文院本)





圖像 No. 169. 如意輪曼茶羅(其一)(釋迦文院本)

七星如意輪云。大雪山伽仙那蘭陀之說。七星如意輪法。又云。佛言。昔燃燈佛所受此法門。七星精靈從天下。訶利大神從地出。願我等護此大法。若有人等。奉造此法。我等成就法事云。

又云。七寶莊嚴一寶輪。菩薩相好不思議。世有衆生有所願。念我如意寶輪王。隨其種。所受樂。無不從心爲如意。支度付患災。名香白檀。

曼荼羅以小野本圖之先師傳也。七星像付本。文妙見神咒經也。小野通印也。

七星如意輪經云。如意輪般多羅道場。七里火壇秘密者。最清淨室地平如鏡。中央造五色輪如車輪。或八道或十道或十二道。輪轆間畫波折羅相。輪轆上亦爾。中央安如意輪王菩薩一。轆間安七星像。及訶利帝母位。一。像。最安燈蘇香等種。供養所爲人姓名畫於本星。阿闍梨坐於輪外云。

（裏書四四二）

圖像 一七〇

法務仰云。如意輪二臂像。如熾盛光法說。七星如北斗曼荼羅。訶利帝母只懷一子。右手取吉祥菓云。

惠什云。八輻輪之中圖七星。中心圖十二臂像或六臂。

私云。勸修寺護摩堂圖中尊十二臂。仍所持本尊付彼圖。之。又圖無八供養。

四攝御口傳。攝在之。

道場觀勸修寺。

八輻寶輪中央安如意輪觀音。八輪間右施安北斗七星。尊前訶利帝母。輪外八供養。四攝如常。

又說愛意

宮殿內有壇。壇上有七寶輪。其輪內有蓮花。花上有義字左右有字。此三字變成如意寶珠。珠變成如意輪觀自在菩薩。身紅色。有十二臂。或六臂。執諸寶物。又於八輻之間有字。變爲北斗七星。訶利底母。蓮花部菩薩聖衆。九曜十二宮二十八宿。恭敬圍繞。

種子三形。惠什云。七星如意輪法。種子三形如常。如意輪法可行也。

印言。勸修寺云。根本印明如常。本尊加持之。次。北斗印明。次。訶利帝母印明。如常已上。

或云。印在口傳。眞言用陀羅尼云。正念誦如意輪。小兒。本尊。北斗。總呪。同各別呪。任意散念誦。本令星。增幾數。訶利帝母。宿總呪。

大呪。七星如意輪經云。爾時神通王菩薩頂禮聖輪。還來本處。一心受持。此不可思議摩訶般若多羅秘密法門眞言。

南無阿羅剎。阿阿阿。一南無阿利耶。二婆嚕吉帝沙。波訶耶。三菩提薩埵。婆耶。四摩訶迦烏尼。迦。耶。五多姪他。七唵。八折。

揭羅婆帝。九眞多摩尼。十摩訶波地迷十一。嚕。帝揭阿沙。吽。刺婆訶。十二唵。十三波地迷。眞多摩尼。摩訶遮揭阿。吽。十四唵。波阿多波。地迷。吽。十五爲用意私引之。

禮佛。三十七尊。本尊梵號。南無北斗七星一返。南無訶利帝母一返。

發願。本尊聖者。如意輪尊。訶利帝母。兩部界會。

卷數勸修寺。佛眼。大日。本尊。大呪。心呪。北斗總呪。阿梨帝母。一字。伴僧可念誦。大呪。後加持用之。已上勸修寺。

護摩

部主本命星。本尊段。如意輪。諸尊段。如曼荼羅。本尊並七星。訶利帝母。八供四攝等。次第誦其呪。可供之已上。勸修寺。本書。

七星如意輪王秘密要經一卷不空譯。亮惠云。蘭城寺人修此法云。或云。出外法云。

私云。今法。法務御房御口傳。余少。事引加選之。不可他見。

如意輪開持法。觀世音開持眞言正念誦用之。

南無阿羅剎。陀那羅夜耶。南無阿梨耶。婆盧胝。胝。伐羅耶。菩提薩埵。耶。摩訶薩埵。耶。摩訶迦烏尼。迦。耶。他。姪他。唵。利曳。



圖像 No. 170. 如意輪曼荼羅(其二)(釋迦文院本)

〓〓摩提耶帝制第開摩訶諦陀羅尼輪
盧陀羅尼悉膩彌諦陀羅尼娑婆呵

本印

於靜室中造一小壇高一尺四寸縱廣一
如常壇法以百和香水塗於壇上置觀世
音如意輪菩薩像至心作法如常儀則觀如

言心真

先啓十方諸佛等辭曰

啓十方三世三部之中一切諸尊及蓮花
部中如意輪觀世音菩薩內外諸尊
始以來三業罪重心神闇鈍法眼難開如
今歸依如意輪大悲觀音欲求聰明開持
智惠唯願十方諸佛菩薩大悲大慈如意
輪觀自在菩薩諸尊聖衆大悲本願利衆
生故降臨道場證成攝受所願成就一七
日三七日七七日一百日乃至一年滿十
萬遍應得好相然後取新淨乳一升煎之
全熟昌蒲鉢大一兩投於乳中念前真言
一百八遍便喫經宿不吐功能即成日覽
萬言聞而不忘能滅宿業之罪增長福智
取菖蒲法鷄犬婦人不曾到處一寸有九
節爲好取東流水洗之數日乾杵爲末以
絹羅

本云

弘安四年辛巳九月二十六日於金剛
峯寺勸學院託證淨言令書寫了

正應三年庚寅十月三日酉時半於釋
迦文院書寫了

同六日一校了
德治三年丁未五月二日辰初於利生護
國寺以釋迦文院之本書寫了

同七日一校了

元亨四年甲子三月二十八日於田原本
往生院僧房爲密教弘通利益衆生寫
點校合了 重一校了

金剛乘佛子了性法俗四十四歲
校者曰已上高野山釋迦文院本

轉法輪行樣三密

著座 塗香 三部被甲

加持香水 新佛開眼 事由
神分 五悔 地結 四方結

道場觀 如來摩印

壇上有大輪形其八幅輪其臍中有字
變成大蓮花臺上有字成滿月輪
〓〓中有字成千幅大輪輪變成本尊
身青色有二臂右手作金剛拳安腰左手
執三古金剛怒杵一切相好圓滿八幅輪
中坐八大菩薩此金剛手菩薩變入降三
世三摩地其位有字變成五古金剛杵
〓〓變成五明王身色青黑四面八臂第
一兩手結大智印右第二手持五古金剛
鈴第三手持箭第四手持智劍左第二手持
妃右足踏大自在天呪恐怖形四牙熾盛
相也外金剛部五類諸天並妃后坐四方
蒙明王教勅降伏惡魔怨敵某甲令安穩

如此觀已加持七處
大虛空藏 送車
諸車 大鈎召
四明 拍掌
結界不動 闍伽
花座 振鈴
前供養 禮佛三十七尊
竝五大尊梵號 部母忙奔鷄
次入我入 入降三世
本尊加持 正念誦根本明百八返
本尊加持 字輪觀五大若一字心
本尊加持 大日本尊
十字佛頂 內轉二空入掌
唵縛日羅薩埵 〓〓

壞二乘心金合呪曰
唵摩賀演曇縛日羅薩埵縛薩縛達摩尼
式弟吽
散念誦

佛眼 大日 本尊 十字佛頂 壞二乘心
四尊 但尊若總呪 五類諸天
那羅延天 吽跋里入底娜縛里多縛日
羅羯灑哈惹
遊空天 唵縛日羅薩羅跋拏耶縛日羅
吽

住空天 唵縛日羅マラ吃ラ饒
地居天 唵縛日羅駄憐
地底天 唵迦嚩迦縛日羅娑摩野娑縛
拏瑟吒娑摩那母捺羅鉢羅憐
惹迦吽〓〓

念誦畢心經七卷 先根明

次十字佛頂印明 次取念誦右手作金剛拳當幢上以左手持念誦十字佛頂呪一百八返 次結大智印降三世印也

已上如次第

結一切如來鉤印誦真言稱名請召十六大護及其眷屬大威德諸神將等境中供養呪曰如常大鈎印也

護請毘首羯磨樂叉

劫比羅

法護

肩日

廣目

護軍

珠賢

滿賢

持明

阿吒縛

縛蘇枳龍王

蘇摩耶龍王

補沙毘摩大龍王

訶利帝大天后

嚩羅縛蹉大天后

雙自大天后

天照大明神

八幡三所

賀茂上下

松尾

平野

大原野

木船 春日四所 稻荷三所 祇園天神 北野天神

猶大神等勸請任意也 諸天靈祇等各領所部來入道場

次結大智印誦大真言

次明王教勅十六大護五類書天竝當國鎮守等

先結十六大護教勅印

以二手各作金剛拳二頭指互相纏結印成已而教勅言汝等十六大護大樂叉將

當所守護諸大神將受佛付屬護持佛法護持大施主及護當國一切有情令得安樂

避除怨敵令我國界安穩大難汝等大護當國神將助我軍陳助我念力消除怨敵

汝等當今彼怨敵等降伏同令法久住利益有情教勅

真言曰

吽跋里底娜縛里多縛日羅羯灑哈惹

次結前印上界天教勅印

教勅云汝等那羅延上界諸天已上真言曰

吽跋里底娜縛里多縛日羅羯灑哈惹

次遊空天教勅印

以二手金剛縛屈二頭指以甲相背竝立

二空押於二風結印成已

教勅云汝等日月天等遊空諸天已上真言

吽縛日羅薩ラハ拏カハサラ吽

次住空天教勅印 如降三世印二風相結印安頂上

教勅云汝等毘那耶迦等住空諸天餘如上

吽縛日羅マラーラ饒

次地居天教勅印

金剛縛舒二風頭相合

教勅云汝等多聞天等地居諸天餘如上

真言曰

吽縛日羅滿多憾

次地底諸天教勅印

二手各展合掌向外頭相拄捻二風相鉤

二火以頭相拄以印於眉間

教勅云汝等炎摩天等地底諸天餘如上

吽賀魯迦縛日羅娑摩耶娑縛瑟吒

娑麼野母捺羅鉢羅憾惹迦吽發吒

次置幢於本所

次入護摩

部主 金剛手 五古

尊形 二臂右拳安腰左持三鈷青黑色

內五古印

真言

忿歸命戰拏摩訶嚩灑拏吽

蘇油入鹽

本尊 四面八臂

諸尊 五大尊

世天段如常

加供十六大護 金剛手菩薩正法輪

身降三世明王教令輪身也

師口云可尋之

轉法輪法 入我々入時降三世之三摩地人也

正念誦時十六大護並五類天教勅印真言但真言初明王一字心加子教勅義也

口具傳在
次護摩入初火天段如常

第二部主段二說

一大輪金剛明王三寶院僧正說也
一金剛手後說道理勝也

散念誦

佛眼 大日 次十字佛頂

金剛拳 具有口傳

有說彌六本尊不用之

又說本尊 大○金剛明王

種子 義

三昧耶形 輪八幅形也

印真言 小金剛輪印真言也

又大金剛輪印真言也

大輪明王慈氏菩薩教令輪也

部主一字金輪也

師口云本尊降三世其故理趣釋一切

平等建立如來品見

是深祕中深祕也引生鹽頭酢者

實任

轉法輪 彌勒爲本尊

種子 義 璽字

三昧形 蓮花上迅疾

印並言 是小金剛輪也

銅筒壇中立之筒圖是彌勒又有種子蓋圖

云可尋之

師主云轉法輪法以彌勒爲本尊此尤祕事也

大妙金剛甘露軍荼利經以彌勒爲轉法輪菩薩云々

醍醐流以大輪金剛爲本尊云々
此二傳實義無違大輪金剛是彌勒變故也

部主大輪金剛

諸尊段 十六大護等也

部主諸尊以或人說注之可問師主耳

護摩伏獻 可問之

或人云以相爲乳木云々

賢覺法眼語云石山內供胎藏次第出轉

菩薩印言舉大金剛輪印言云々

師主授云等身畫檀越形彼左足下書怨敵姓名可籠彼銅筒中是小野究竟祕說也云々

口傳云勸勤等印明振鈴以後可行之羯磨會不行云々

師傳云銅筒外方書十六大護別圖有召細工界可打筒中下底畫八幅輪筒外上書

十佛頂種子別圖有

軌云末後吒字在轉輪而書字事違儀也中

夜圖方壇者此法必可修中夜初夜不可始行之

總調伏法中夜可始行也云々

方壇上重畫三角壇者謂壇也同一闕伽云而如常

四面可供之入三世勝金剛定者結誦印

明也是可入三世勝印者勝三世印也

但明常達也以金剛拳按轡上者觀想也

簡安壇後之振鈴之後始自一切如來劍印次第可用之大輪金剛者曼荼羅菩薩

也在胎藏虛空

種子 義
印 小金剛輪印言 本尊彌勒

部主 不動

諸尊 五大尊

護摩世天段之時供十六大護云々

又蘇油入鹽云々

轉法輪

本尊部三世 義

銅筒事

本尊印三種儀軌說以苦練木造之

大佛頂印明在轉法輪軌カフチ入蘇油

ウシホ用別內五古 降三世呪

石榴加持物加具鐵末

降三世印明是即本尊二種印明用之付

十八道行之云々

阿闍梨誦十

佛頂呪云々

後加持阿闍梨誦十佛頂呪

唵縛日羅薩怛縛瑟拏娑吽發吒

伴僧誦降三世呪

元文五申庚年六月七日遂修補深收竹

目木底了後覽者每歲轉軸等勿闕忘

儀哉

淨土院末資金剛乘賢賀 七十五歲

〔藏書四三六〕

延壽事

或傳云實又沈檀香木柴各長五指橫置指截之著爐中燒以手抄取少許藥呪一返放火中燒如是滿一千八返能破一切業障壽命長二百二十歲相續七日能作大呪法壽命一千歲身即清淨文

〔藏書四三七〕

除癰病事

經云義淨諸所有熱病或晝或夜一日瘡乃至四日瘡風黃疾瘰三集嬰纏如是病等誦呪便差

〔藏書四三八〕

轉定業事

或抄云如意輪觀音本誓功能中云爲求現報者說所願皆成爲造重罪業者說悉能破壞受知不捨此身不捨此識轉決定業報有觀音悲願得此悉地人々生々世々中滅宿世業報受此悉地果矣

〔藏書四三九〕

二臂像

金輪呪王經云二臂像菩薩白色莊嚴結跏趺坐白蓮花上脚押左右叉

押左々手押右竝仰相押其手安脚上云

二臂西中尊同

除災救令輪軌云次明觀自在亦號如意輪也七常摩尼珠惠施願印身白紅色住大蓮花中云

〔圖像 一七一〕

二臂

十卷抄云從昔所造二臂像右手施無畏左手於膝上作與願印垂下左足坐磐石山大和國龍蓋寺丈六如意輪像同之又東大寺大佛左方如意輪同之垂下左足

〔圖像 一七二〕

二臂

石山燒亡之時像拜見之左手與願安膝上而垂足右手持蓮花莖三枝一枝未開數今一枝葉或云蓮上寶云流布本珠無之

惠什云石山金剛藏王執金剛神如意輪式法出件書不審也彼式爲實者可尋

決私云金剛藏王金輪呪王經今一尊若軍荼利歟

二臂

十卷抄云持左蓮花右說法印云上已

〔藏書四四〇〕

惠什云石山如意輪左右有金剛藏王執金剛神出如意輪式法件書不審也若開彼像造之歟將彼式爲實者歟依其文作件像歟可尋決之云覺禪云金輪呪王經十臂像下卷畫金剛像云面圖之可見

〔藏書四四一〕

義淨經云金剛祕密常加護杵及執金剛菩薩云信運云經云大本明滿十方本尊明也

〔藏書四四二〕

始縛婆訶明王事

御抄云敕造紙上云如意輪壇前始縛婆訶明王降三世云慈尊院抄云蓮花部忿怒是濕縛訶也石山七集及胎藏界記云施婆縛訶是寂留明王也云法三護摩抄云蓮花部忿怒是忿怒鈎也云文意欲取施婆縛訶也金剛部明妃是孫那利文

〔藏書四四三〕

筒四寸長也降筒呪十字佛頂印右金剛拳云





圖像 No. 172. 如意輪（其八）（釋迦文院本）

流志不為世間厭惡咒咀
茶吉尼鬼而得便死云云

十七者煩惱纏垢不現行

十八者刀毒水火不能傷害

十九者諸天善神常隨衛護

二十者生不離慈悲喜捨云云

臨終八法

經云玄復獲八法何等為八一者臨命終時見觀自在菩薩作菩薩畫像來現其前歡喜慰喻二者安穩命終無諸苦痛三者將捨命時眼不變戴口無缺味手絕紛擾足離舒捲不泄便穢無顛墜床四者將捨命時住正憶念意無亂想五者當命終時不覆面死六者將捨命時得無盡辨七者即捨命已隨願往生諸佛淨國八者常與善友不相捨離云云

極樂觀

經二云

唯除大小	出入之時	消息之時
餘常場內	靜心端座	觀置西方
極樂世界	瑠璃寶池	七寶宮殿
樓閣欄楯	寶幢花蓋	寶池寶岸
八功德水	諸寶行樹	一切寶藏
寶師子座	阿彌陀佛	一切如來
神通光明	一切相好	觀音勢至
諸大菩薩	若夢若覺	而悉見之
見彌陀佛	伸手摩頂	而復告言
汝所修求	不空心王	母陀羅尼
祕密壇印	三昧耶者	皆已成就
汝此身後	更不重受	胎卵濕化

蓮花化生 十惡五逆 四重諸罪
俱時除滅 觀音菩薩 畫像身上
放大光明 或得觀音 變作淨行
大婆羅門 來行者前 心所乞願
則皆滿足

往生極樂

經三云若真言者每自月八日一日不食不語輪印誦持母陀羅尼真言祕密心真言一百八返者速令當得觀世音○現身摩頂告言真善男子○於諸有情發大悲心○安住我法汝今此身為最後身捨此生後真往西方極樂國土云云
經二十云依法持誦滿二洛又又或三洛又是業成就當定觀世音○現大真身指示○阿彌陀佛座寶蓮花師子之座復得阿彌陀佛手摩其頭○安樂國土上品蓮生云云

誹謗逆緣

經云玄若有來生為勝他故○或怖惡獸故怖厄難故○或求高貴多財寶故聽聞神呪經雖聽聞不恭敬或此復誹謗輕賤毀譽智者應知非其自力是觀自在威神力故令彼耳聞為令彼得現在未來利樂事故世尊譬如有人採沈取麝或栴檀龍腦香等種種誹謗擣磨用塗身體然沈麝等不作此念彼陵蔑我不為其香而性自然恒作香事此神呪亦如是雖有誹謗輕賤義如上說以誹謗心書寫受持供養○隨所生處具戒定慧功德妙香○此神呪

威德難思信誹俱能作饒益事云云

誹謗轉重輕受事

經云玄世尊若有來生造諸重罪習行惡法毀辱○賢聖誹謗正法流志云破滅佛菩薩形像塔廟當隨無間大地獄經無數劫受諸劇苦諸佛菩薩緣覺聖賢雖具神通而不能救彼若聞此神呪心經能生悔愧終不更造若彼復能一日夜斷食受持齋戒誦此心所作業現世輕受不墮地獄○以要言之所有逼切自心苦禍及惡夢由此證智被現輕受不復當墮地獄所造罪業悉得消滅云云

名號

陀羅尼集四云阿牟伽除謂云不空觀世音菩薩說不空羅索神呪之時現此形故名不空羅索觀音也
經序云玄題稱不空等者別來經之殊號也至如擲取獸時或索空茲教動桴因不玄會故受斯目云云

或云羅索者慈悲索也世間之魚網雁繩魚鳥自有漏此觀音慈悲羅索一切衆生無漏羅網覆大千界奉仕修行者必與悉地施利益意也此義不空故云不空此古德說也

類祕抄云不空羅索蓮花部悉地王也心念不空過即不空羅索也玄特譯經序釋同之

本身

小野抄云不可變地藏不可變不空羅索不可變執金剛悉地王變不空大奮怒王文殊變除一切蓋障云云

尋云此文本說何處乎甚不審也

經十五云大壇在當壇西門八肘圓壇○中

置淨土阿彌陀佛變而東當壇北門八肘

方壇○中置毘盧舍那變地藏菩薩變彌

勒菩薩變不空奮怒王變而南○當壇東

門八肘方壇○中置釋迦牟尼佛變執金

剛祕密主菩提變不空羼索悉地王變不

空大奮怒王變而西○當壇南門八肘方

壇○中置不空羼索觀世音菩薩變世間

王如來變曼殊室利菩薩變除一切蓋障

菩薩像面北云

有口傳云彌勒不空羼索春日大明神一

身所變云

私云此傳無所證錄

已上類秘抄文略載之

形像一面八臂

(裏書四四四)

經云玄以新白疊應長一丈而闊五尺總

一段成勿斷經緯畫作佛像所用采色應

和合香膠自外諸膠咸不得用佛像右邊

復畫作觀自在菩薩似大自在天頂有鬘

髻首冠花冠鑿聖邪皮鹿皮被右肩上

自餘身分環珞環釧而爲莊嚴云

經一云如法圖畫不空羼索觀世音菩薩

如大自在天首戴寶冠冠有化阿彌陀佛

被鹿皮衣七寶衣服珠環珞環釧種莊

嚴執持器械云

類秘抄問云此像不說手數是何臂乎

答慶助已講說似大自在天而彼天三

目八臂也故可有八臂歟此儀優也

私云今觀音在自在天名三寶要略下

云大聖不空羼索觀自在天王云

以之思之自在天八臂此觀音所變故

歟

智度論二云如魔醯首羅天秦言大自在

八臂三眼騎白牛教王經疏

十一面經疏云福州不空羼索經曰是觀

自在菩薩乃現八手而被鹿皮○此菩薩

或現大自在天身故現此身也千手十一面

寶志和尚傳云昔新羅國有一沙彌曰元

考神通智慧能化衆生唐國有王名太宗

皇帝爲衆生欲作三身一體之觀音像傳

聞新羅國有化身沙彌神變自在今請彼

可問伴菩薩沙彌元考語唐朝使云我詣

唐國不可赴御願我師寶寶志和尚是觀

音化身云

此時國王行幸敬陳禮拜曰願大和尚被

救度朕寶志答曰不敢罪過國王陳大願

旨和尚云然者得三人造工令造三身一

體身國王歡喜歸譯差送三人好手佛師

和尚即以右大指爪從眉間至頤裂開令

見佛師一人見三面八臂不空羼索長一

丈一人見十一面觀自在菩薩一擇手半

一人千手觀音長六尺云

三人各圖一體云取意

寶誌還化時化六觀音身可考彼傳也

又云奇然請來執說八臂像持物違此

尊故裏書之

圖像 一七三

私云近來所畫皆八臂也南圓堂像爾

也

聖賢閣梨云唐國圖皆八臂也鎮西之

觀世音寺之本佛八臂之不空羼索也

云

或記云興福寺南圓堂鎮壇弘法大師

令鎮之給云

惠什云賢哲尋之處南圓堂并鎮壇者

大師御所爲也於佛者非御造作件佛

長岡左大臣內丸造立也其子冬嗣大

臣與弘法大師共造南圓堂奉渡件像

也云

閭巷說壇築時長七尺許老翁交人夫

是築其歌云

補陀洛之南之岸庵師天北幸花之藤浪

又像三面六臂

經八云清潔如法純金造像三面六臂正

面熙怡左面顯眉怒目張口狗牙上出右

面顯眉怒目合口首戴寶冠有化佛一手

執蓮花一手執網索一手把三戟又手執

瓶一手施無畏一手揚掌結跏趺坐坐蓮

花座其座上天諸衣服寶環環釧種莊

嚴像腹內空以白栴檀香末龍腦末和

佛舍利納像腹中云

圖像 一七四



圖像 No. 173. 不空絹索（其一）



右像安祥寺本願皇后御願云：

件佛純金像也，居長二寸五分，座長三寸五分，大座弘五寸，光有金剛界五佛，不空奮怒王像一面，四臂。

經八云：不空奮怒王，一面四臂，面目嗔怒，首戴月冠，冠有化佛，一手持鬚索，一手把劍，一手執三叉戟，一手蓮花，半跏趺坐，頂上阿彌陀佛，作說法相，結跏趺坐，坐金銅蓮花樹座，其樹枝葉蓮花，如法莊嚴，八同此像，經二十一，不空王，三而四臂，皆上戴寶冠。

功能

(裏書四四六)

經二十二云：按像銀像，足上誦大奮怒王真言，所有過去積集善根，悉皆來集，當得富饒，若每晨時瞻視像面，誦真言者，得諸貴人恭敬供養。○又抱像腰誦真言者，世人敬愛心。○抱像膝誦真言者，一切金剛當自歸伏，力如金剛。若按像頂誦真言者，當得夢見十方三世一切如來摩頂祐護，不入三塗，得不退，抱像右耳邊誦真言者，得富貴圓滿，若像左耳邊誦奮怒王真言者，得一切藥，又羅刹恭敬給侍云。

又云：能日作此法，速滅一切障礙，漸得慧悟，解深法門。○等云。

矜羯羅事

陀羅尼集經云：不空羅索緊羯羅，一切作事悉皆成辦，作於夜叉童子之形，瞋面怒目，髮赤黃色，向上聳豎，猶如火焰，鼻作扁鼻，狗牙上出，吐舌舐唇，身有兩臂，著赤衣。

一手持索，一切嚴具，以為莊嚴，葛摩布上畫像云：古譯品云：使者。

作法，又云：白月八日，或十四日，持八戒齋，於其夜中詣四衢道，或空室中安置其楨，○而用供養。○應誦不空羅索王呪一百八返，時緊羯羅則來現前，隨所處分，依命則作，若須驅使，令其同事。○如實來報，若不驅使，彼當日與持呪者一百金錢，得已為佛法僧用，却不應怪，勿向人說云。

制擲迦

又應作不空羅索制擲迦像，作童子形，歡喜相貌，頭上五髮，一切嚴具，以為莊嚴。○或用木作，名以白檀或紫檀香栢木天木，亦用金銅，或畫絹上，著緋赤衣，以胡烟脂，不得著膠，以朱沙共和，鬱金銀又鬱金香，畫其身相。○歡喜笑面，黃白色，而作兩臂，其一手把阿摩羅菓，一手把花云。

古譯品云：使者不云。

作法，又云：作此像已，持齋住慈心，應持安置自住室內。○種々。○供養。○應誦不空羅索呪一千八返，則得成就，制擲迦驗，亦當現身，則得自在，所處分依命則作見所聞皆來相報，隨所驅使，受教來去。○如忠孝受父教命。○等云。

私曰：古經羅刹童子，其制多迦，驗自在王經中云：其持呪者，應先畫作羅刹童子，上為五髮，狀如童子，身相端嚴，衣服黃色，如空行，手執蓮花。

右四尊合為一，不可不先師法務寬，用本尊給也。

法務云：中尊安祥寺古本也，就中小野抄被載之，奮怒王二童子究竟樣也云。

私云：圖加恭王，為部主故也，又司司別安之也，彼王即不動也，故具一童子，彼王又悉地王也，旁加用尤有深意，可開師傳云。

凡不空羅索形像，本說頗多之，取最要略圖之，不可不本流本尊也。南圓堂像世開流布尊形也。此外像別卷載之。

所向方并季節

經二十云：每後夜時至明晨時，日沒時至三更時，誦神通解脫心陀羅尼真言，一字真言，○午時，子時，消息諸事。○世間所作自在無礙成辦。○等云。

經二云：於像前獻諸香花，面東。○誦母陀羅尼云。

又云：念誦處，面東結跏趺坐云。

經七云：增益護，酉戌之時，面東而座云。

經十五云：冬夜護摩，春晝護摩，日別三時云。

自在王呪經上云：若欲作壇，於春秋時，吉祥星下選擇好時，無風無雲云。

或云：吉祥星下選擇好時，吉祥相，直日也，其日下也。

持念成就，并日月分限。

經二云：以大悲心受持心真言百八返者，十方如來一時讚歎，千劫以來一切重罪皆散壞。○應常淨浴，著鮮潔衣服，食三白食，每月八日十五日，斷食。○誦母陀羅尼一百八返，誦奮怒王真言一百八返，誦心真言一千八十遍云。

經云 受持呪者當三日三夜斷食如其不能但一日夜說志白於日中三時洗浴若大小便更澡浴著新淨衣服食三白食○滿八千返云

經二云修此法者當於十方一切諸佛於神通月修所謂正月五月九月白月一日至十五日始法清淨讀誦得成就證此法者先於一月兩月三月四月五月依法清淨調伏身心日誦念承仕供養○則得成就云

經十八云每月依時一日一夜斷語不食或單食菓或空服乳或復常食三白飲食云

經二十一云智者欲求成就法者○堅發大悲○依止和尚闍梨供施諸求于法○若能如是修習法者則爲常存供養於我此人一七二七三七乃至七或復百日或復千日或復三四千日或復當事我爲現身宜密樂逐而祐護之文三千日乃至四千日得成就云

請書

(裏書四四七)

被殿下仰云內心依有思食事從明日早六口番僧可被勤修不空觀衆觀音法也是興福寺南園之上風併移壇上青龍東塔之古月悉羅家中者御氣色如此悉之謹言

十一月三日 式部大輔藤原某

成尊闍梨御房

請文

謹請

御修法請定事

右謹所請如件準六口僧侶從明日可勤修不空觀衆觀音法也如仰逝多林花芳而薰家孫之袖不墮歟布陀山月照而墮博陸之冠無雲歟以此由且言上如件某誠恐謹言

十一月三日

大法師成尊 請文

支度二公家註進可加

(裏書四四八)

不空觀衆御修法一七箇日支度事

合

蘇蜜 名香 沈

五寶 金銀琉璃琥珀眞珠

五香 沈薰陸白壇丁子龍腦

五藥 檳榔子遠志人參桂心甘草

五穀 稻穀胡麻大麥小麥菜豆

壇一面在壇桶 脇机二前

燈臺四本 禮盤一脚 在半堂

壇敷布一段 大幕一帖

壇供米八石四斗 油一斗五合

阿闍梨 伴僧

承仕二人 駢仕四人

見丁二人已上供料如恒

淨衣 白色 供所雜具 如常

右註進如件

長承二年八月四日

壇圖

五色糸自丑寅寅角始之五

實等入小器罐底埋之

開白佛供十六坏之內大汁八坏

菓子十六坏 每日日中同之

後夜粥八坏

初夜無供物

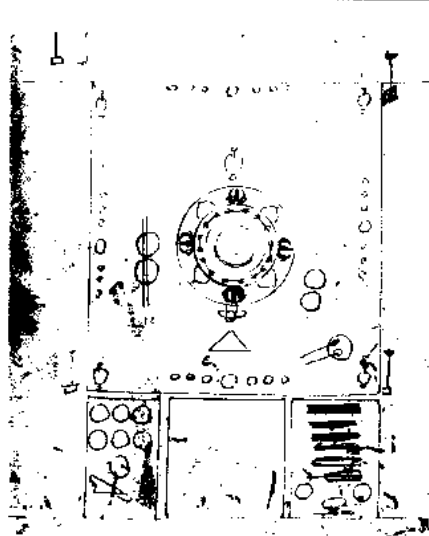
壇木 三十六枚或二十一長八寸

乳木 二束長六寸端圓桑槐柏櫟百八二十一

藥種 枸杞

加持物 胡麻

蘇油 一器蜜胡麻油合用之



行儀付金剛界

供物加持馬頭

表白

今信心大施主出自慇懃鄭重之懇誠圖畫不空觀衆觀世音之形像開供養恭敬之齋席御事有 其趣何者法性眞如之理體諸佛平等應化隨緣之利益諸尊各別爰觀世音菩薩者彌陀如來一生補處之薩埵娑婆世界能施無畏之大士也分形於三十三身施益於現世後世祈必應如鏡之浮影叩定答似谷之發響其中不空

網素者觀音應化之一分身。普門示現之一化形也。面輪現三日。表三諦之義。身上生八臂。自顯八自在之德。現世施二十勝。利息災增益利益無窮。臨終獲八法。往生淨刹素意愛滿加之。十方諸佛加擁護於持明之人。三界諸天。致潛衛於恭敬之倫。昔月氏國王安置形像。王臣保壽。五穀豐饒。日域永相。建立圓堂。家門繁昌。光榮無萎。以今准昔。利益何疑。見賢思齊。願念寧空。依之圖畫真形像。演開眼供養之齋筵。仰願本尊界會。臨見懇誠。成就願望。給勸請句。

不空網素大聖尊 如來部中諸聖衆
發願句

本尊界會 大慈大悲 不空網素
觀自在尊 蓮花部中

道場觀 先師法務云。仁比字治入。
道殿下御時。被引用本文了。

第八海南方有月字。成七寶補陀落山。其山腰象須彌山腰。山巔九寶。猶若蓮花。當切藥草。山下大海。水中魚獸水鳥之類。當中所著上七寶殿。種種莊飾。其宮殿地。衆寶所成。殿中置寶蓮花師子座。其上有月字。字變成網素。網素變成不空網素。金色有八臂。左右第一手合掌。左第二手開敷蓮花。勢右第二手執錫杖。左右第三手共施無畏。左第四手持網素。右第四手執白拂。白衣。大白衣。多羅。毘俱知。六大八大諸觀音。蓮花部諸尊聖衆。前後圍遶。

種子 又說。經二并八云。經字。小野僧正傳。

經二云。置八葉開敷蓮。上觀置金色。

經字。○出示觀世音菩薩云。

經二十二云。西門作法。○觀蓮花。○臺。

上觀經字門。爲同明光。照有情如千日。

會。○經字門。現不空王觀世音云。

三形 索

諸師傳。不

同記同之。

已上類秘鈔。白拂。寶鬘。

印。八葉印。

眞言。已上印言。名決定成就印言。又名隨作事。

成就明云。自在王。呪經云。隨作何事。若

誦此呪。悉皆成就。就文類聚抄云。決定成就

眞言印。密事也。可尋習之云。

集經云。出二十蓮花印。二腕相著。十種散堅。

小曲向上。如蓮花開。二合。是名蓮花印。

千光王所說。所願滿足。從自身出云。

八葉印。蓮花印。已上最秘傳。類聚抄云。

蓮花合掌印。

自在王。呪經上云。蓮花印。入息。然而住。

云。又云。蓮花印。安。心。合掌。呪。諸。菩薩。云。

當。心。合掌。蓮花印。一切諸佛。菩薩。云。

類聚抄云。此等文。蓮花合掌。就中見

兩譯經。共有十種呪。而第一呪。出蓮花

印。餘九種無印契。仍可通用蓮花印。賦。

事成。就是第十呪。

金寶抄云。蓮花合掌。用事成。就明證也。

已上蓮花合掌。用事成。就明證也。

或云。蓮花印有二種。一定印。是也。二風。

空。檢各如半蓮相。又結定印。

定印者。蓮花部。佛定印也。故蓮。

花。力。佛。現。摩。印。故。蓮。花。印。也。

一常蓮花合掌也云。

又印。出千手軌。石山云。根本印。

二手蓮合。進力。禪智。金剛。縛。右手。禪度。入。

左手。虎口。象。意。云。蓮。方。禪。智。如。案。云。

小心。眞言。出。不。空。網。素。神。

蓮鉢頭。二合。摩陀羅。二合。阿慕伽。惹野泥。

三。主。尊。主。尊。四。婆。訶。訶。

已上大谷傳。或云。端八葉印。用此呪云。

神變眞言經云。以大悲心。讀誦受持。此祕。

密心。眞言。百八遍者。是人。則爲。十方。殑伽。

沙。俱。抵。那。庚。多。百。千。微。塵。世。界。所。有。一。切。

如。來。應。正。等。覺。一。時。讚。歎。而。攝。受。之。於。千。

劫。來。積。集。惡。業。一。切。重。罪。皆。盡。散。壞。一。切。

怨。敵。惡。相。病。惱。亦。消。滅。速。得。觀。世。音。菩。薩。

夢。覺。現。身。當。與。諸。願。云。

又同千手軌印。用大呪。石山內供。

蓮阿。上。謨。引。伽。跋。娜。麼。二。合。播。引。捨。矩。嚕。

二。合。賦。引。羯。羅。灑。二。合。野。二。鉢。羅。二。合。吠。

代引 三摩賀引 鉢輪跋底 反丁以野廢

反引 拾野 三摩賀引 鉢輪跋底 反丁以野廢

喇囉 上矩吠 引羅 五沒羅 二合 懷廢 合

吠囉 跋羅 六跋 娜摩 矩羅 三 去 廢 跋 引 七

呼 引八 千手軌四攝之中 索印明

已上三種印言最秘傳也所謂八葉印

事成就明千手軌之印小心真言同千

手軌印同軌大呪也寫本記云法務御

房以御自筆本書了云

愚案云理趣房一之傳事成就明用千

手軌印尤勤心也廣澤同之

惠什云普通說也

自在王呪出不空羼索自在王

南護羅多那但羅夜耶南謨阿喇耶阿弭

哆婆耶但他藥多耶南謨阿喇耶跋盧吉

帝矢筏囉耶菩提薩埵耶摩訶薩埵耶摩

訶迦盧尼迦耶但跌他唵阿暮伽鉢囉底

喝哆訶吽吽娑婆訶

如是所說不空陀羅尼自在王呪即是一

切秘密神呪之王若有人能誦此神呪成

就之者即能通達一切神呪但是呪法所

有事業皆得圓滿文

小野傳云此書大向御傳

不空羼索心真言

古阿慕伽鉢囉底喝多訶吽娑婆訶

吃阿慕伽鉢囉底喝多訶吽娑婆訶

吃阿慕伽鉢囉底喝多訶吽娑婆訶

吃阿慕伽鉢囉底喝多訶吽娑婆訶

吃阿慕伽鉢囉底喝多訶吽娑婆訶

類聚抄云有云以此呪名決定成就真言

云

惠什云三卷經呪除歸命句誦之云

有傳云此呪者是蓮花部蘇悉地王呪也

即自在王呪也故經文成就一切云

蘇悉地王者瑜祇經疏雖有其名而不出

真言今呪此也師說云難成之事祈請不

空羼索者必得成就云

不空故也如云○心心不空過說此呪者

是根本明也以之充念誦滿遍數除歸命

句用之印者千手軌中印是為根本印即

以此印為自在王呪印云

私云此呪用蓮花合掌見自在王經可見

類聚抄也

金寶抄云用蓮花合掌

已上印言歸傳也此外本經印言多也

其中少與教之系別抄有之

梵號

南無阿利也母伽跋舍

密號 等引金剛

字輪觀 石山



正念誦 隨作事成就明

散念誦

佛眼 大日 本尊 多種 正觀音

千手 馬頭 十一面 如意輪

不空忿怒王 一字

聖賢大日次囉陀云

讀石山云正觀音平教等同之

縛日羅達麼素娑怛縛羅他縛日羅跋納

摩素輪歐迦路計濕羅素縛日囉乞叉

囉日羅寧但囉囊謨卒觀帝部用之云

部母 白衣 伴僧 用小心呪

御加持 同前

護摩

部主 正觀音 普通 馬頭 優也 已

大日 聖賢 千手 實任

小野不空忿怒王 秘傳

種 三 獨古

印 內縛獨古印頭指立合

真言

唵矩嚕陀囉惹摩訶慕伽歌那 薩縛

訶瑟吒吽出經第四

誦口云凡今法加持衆物皆用此書王呪之不空

羼索法也應二十二小呪出之有別經四出印

法務御口云法部主其部肝心用之然不

空羼索蓮花部悉地王也仍諸觀音法通

今尊可用也密印見底里經云

口云不空奮怒王者不動明王也

傳受集三云不空聖者云 底里經云

實任云不空奮怒王蘇氏人尤奉崇行者

殊餘人勝

彼怒形即入不動三摩地也。行人屬骨誹謗邪見輩。調伏色身。此不空羂索教令輪也。於此等事者。雖入室兩人不可傳云。

諸尊段 六觀音

除雜底中央不空觀
索供之云々 御說

或三十七尊

(裏書四五〇)

卷數 中宮御所

不空羂索護摩所

奉供 供養法六十三箇度
護摩供六十三箇度
諸神供九箇度

奉念

佛眼眞言六千三百返
大日眞言六千三百返
本尊眞言六萬三千返
同自在王呪六萬三千返
聖觀音眞言六千三百返
千手馬頭十一面如意輪已上各返六千三百返
不空奮怒王眞言六千三百返
一字金輪眞言一萬八千返

右奉爲 后主殿下御息災安穩增長福壽心中御願決定圓滿始自三月五日至今日并三七箇日之間殊致精誠奉修如右

保延四年三月二十六日
阿闍梨前少僧都法眼和尚位寬信

結願作法

先卷數案文一通。佛布施一裹。儲置左脇。机書卷數一通付枝。本尊左立之。行法如

常。但五悔以前神分略之。後供養燒香。次供佛布施。次闍伽。次取念珠。金二打。次讀卷數案。金打。次事由。自餘如常。

次破壇作法

本尊印言已下雖本尊說。不受師傳。仍舉堂之用。吾人可隨也。
母陀羅尼出經第二。儀軌下。
惠什云。師傳經大陀羅尼奧。以下

用之。先德以之爲小呪。

枚數極多。行法之間。難持念故也。

祕密心眞言

儀軌下云。不空釋迦牟尼佛。摩觀世音頂告。○汝說母陀羅尼。○中祕密心眞言。○爾時觀世音即說呪曰。

唵。鉢特摩。荷塞哆。二忙訶。阿慕伽。播捨。三娑駄。野娑摩耶。四訖喇。娜引焰。五枯羅。枯羅鉢云々。

召請印
經二云。根本二手虛掌。屈二頭指。當中指側上第一節。又其二大姆指相竝。手伸。此

印能纂一切佛菩薩法門。亦能請召觀世音。菩薩來加護念印眞言。

唵。阿慕伽。上弭矩喇。弭路。二綫漫。彈路。迦耶輪。三室。同上。履野特。三合。婆。同上。地。瑟耻。彈。四。慕伽。上。鉢頭。二合。米。五者。羅弭。者囉。六。鉢。鉢。七。

右傳云。三十經根本印召請印也。以二頭指可召之云々。

一字明
縛布克大已廣遍也。

經二十云。薄遍解脫心一字眞言。

此眞言有大呪印。今依小野僧正此呪印。契可祕之。

身呪。率相違。可見本文。

集經五云。不空羂索身印。呪第十。准前觀世音母身印。背上文云。左右無名指。名別手。在中指。大著。第二食。頭。各壓。大指。開。唯改。開。二中指去。一寸計。二頭指。無名小。舉。勿與大指相著。

頭指。無名指。間。開。容。一中指。地。頭指。來去。

呪曰。路姪他。一唵。二濕閉。二合。多夜。三濕閉。二合。多善。聞。去。音。夜。四。唵。醯。醯。醯。五。鉢。羅。摩。六。輪。駄。薩。埵。七。摩訶。迦。嚩。膩。迦。八。娑。婆。訶。九。

心中。心。呪。出。同。前。

唵。梨。悉。底。里。合。二。盧。迦。見。社。耶。二。阿。謨。伽。波。舍。三。摩。訶。鳩。盧。駄。四。羅。闍。夜。五。梨。陀。夜。六。

阿。波。羅。攏。提。阿。路。七。鳴。鉢。鳴。鉢。八。泮。泮。九。此。外。經。第。四。蓮。花。印。網。索。印。等。多。也。恐。繁。不。抄。之。

密印。如。意。輪。或。經。云。蓮。花。合。掌。進。力。禪。智。金。剛。拳。縛。禪。入。虎。口。眞。言。

唵。阿。暮。伽。毘。盧。駄。伽。訖。利。入。娑。婆。呵。天。台。勝。範。座。主。傳。密。印。云々。

天神印明。經四云。一切天神印。合。腕。相。著。二。中。指。平。屈。頭。相。柱。其。餘。八。指。各。散。磔。開。岐。間。相。去。一。寸。總。微。屈。頭。勿。相。著。印。眞。言。

唵。一。阿。慕。祇。反。虫。鉢。二。頭。摩。二。縛。囉。囉。三。悉。囉。悉。囉。鉢。四。是。印。三。昧。召。諸。天。神。住。會。

言。

悉。囉。悉。囉。鉢。四。是。印。三。昧。召。諸。天。神。住。會。

壇內歡喜設持云：

菓子呪經十九云

呪匣攪弭戌梯一破合囉綫囉訖三

如是眞言三返加持一切菓子獻供養

乞夢呪經十九云

三許四 曼禪一 娜羅捨那二 鉢頭二 合米

如是眞言五返讚誦乞夢加被云：

私云光明眞言今本尊咒無過不空羅索毘盧遮那

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

塞鼠孔陀羅尼

寫本云

文治五年閏四月二十四日清書了

生、值遇結緣頂禮臨終正念往生極

樂

又云建仁元年極月二十八日書了

又云承久二年辰十二月三日於三輪

平等寺書了

元文五庚申年林鐘十五日遂修補了年

之卷舒莫忽

淨土院權僧正賢賀

俗齒五十七歲

八臂像證據

尊那菩薩大明成就儀軌經第三云

齋然畫不空羅索四面八臂以虎皮

爲衣復爲絡腕復以鹿皮爲天衣面

有三目頂戴寶冠髮髻下垂右第一

手作施願印第二手持數珠第三手

執羅索第四作施無畏印左第一手

持白蓮花第二手持經第三手持拳

堅立忍願指作斯剋印第四手執鉤

光焰遍身照耀熾盛下面畫難陀鳥

波難陀二龍王皆有七頭手執佛座

及蓮花莖云

不空羅索觀自在天身

經云玄和尚首被服鑿涅耶皮具大

不空羅索觀自在天身

經云玄和尚首被服鑿涅耶皮具大

經云玄和尚首被服鑿涅耶皮具大

經云玄和尚首被服鑿涅耶皮具大

經云玄和尚首被服鑿涅耶皮具大

經云玄和尚首被服鑿涅耶皮具大

經云玄和尚首被服鑿涅耶皮具大

經云玄和尚首被服鑿涅耶皮具大

慈悲自在大自在能破一切惡鬼神

者速來々々救護我等

南圓堂八角

弘仁記云長二丈二尺一寸廣二丈

九尺二寸

興福寺緣起云安置不空羅索觀音

像并四天王像也

長岡右大臣殊發大願所奉造之後

閑院贈太政冬嗣大臣以弘仁四年

造立圓堂所安置尊像也云々

供養僧形四柱合居榻

善珠僧正一柱居榻後在

像一讀文障子

并愍惠禪師智者禪師像一行々

惠果々々善無畏三藏像

金剛智三藏玄井三藏

各在從者并畫上在大師御筆讚

文

或云南圓堂木像六體繪像三體

ト云々

東大寺羅索院如何

圖書云東大寺法花堂丈六不空羅

索立像坐蓮花云々

○

三面四臂高尾坐石山小野

傳受集一圓肉色四臂右第一手持

念珠次手持水瓶左第一手持蓮花

次手持羅索以鹿皮爲袈裟坐蓮花

云或不着鹿皮

云或不着鹿皮

云或不着鹿皮

云或不着鹿皮

云或不着鹿皮

八五五

覺禪鈔 不空羂索 下

不空羂索法

道場莊嚴

結界分齊事

不空羅索經二云。是法加持白芥子水散灑壇地。其地變成金剛城界。七踰膳那無令一切諸惡鬼神邪惡人民來相繞惱。云地結天結。皆七踰膳那行。

牛五淨

又云治牛淨眞言略之加持五淨塗潔壇
內至一切山林樹下阿蘭若○園苑寺色
房舍○等處但所行住坐臥作法之處悉
以塗潔灑之皆得清淨不令一切○惡鬼
神等著諸天擁護令諸病惱一切垢障○
闕靜惡星災變不吉祥相速當除眞言者
○得母陀羅尼○永無障礙當爲刹利沙
門居士恭敬常夢中得見七寶宮殿○一
切善友觀世音菩薩常與諸願○命終生
極樂云

安尊辨供

經一云以淨黃王瞿摩夷香泥如法塗境
清潔畫影中置其像幡花莊嚴飾四角中
央置香水瓶玄云八解瓶各受一升
盛花香水安置八方
唯除一切殘穢觸食惡律儀家百味飲食
五辛酒肉○餘者盡通玄云世
香美請召供養
燒沈水香

經云。欲念誦時。應先結界。其結界法。取灰或水。或白芥子。或擔山楸楸云。紫楸木。流志去。佐地。屬木。金剛楸木。

呪七返已。遺釘四方。燒沈水香。至心念誦
 瑜伽論云。佉陀羅樹。此木造須彌山。故云樹木。云々
 集經云。佉羅木。唐云紫魯木。云々

和名云橘唐韵云々 音奇和名賀之萬草木也云々

或抄云紫樞木無加志也或云椎木云々

經二云○金剛橛量長八指加持五色絲索七返繫橛頭上釘列壇界則得周遍七踰膳那成結界云

自在王呪經上云○於壇內應畫螺形萬

字香印。門內各有二吉祥瓶云々。
或云。香印者。謂燒香器也。香爐是也云々。

護廠

建立壇

經七云增益去道場處不遠不近觀見尊容作護摩壇方圖四肘治飾壇地開廊門道基高側手內院穿城廣一肘半深一肘量周匝重緣內緣高潤二指之量外緣高潤四指之量爐底泥作八葉蓮花於花臺上重捏泥輪如法塗磨外院一肘東方置

花香飲食供養云々
支物

支物

又云增益以杉仲木。檀木。柏木如大拇指長十二指截。爐內火燃扇撻勿吹云。又云。柏木。桑木。構木。蓮花莖。白栴檀木。十截。○此諸木等。隨得一木作法亦成云。

已上薪在兩所可尋之

已上斷在兩所可尋之

又云、以蘇白芥子、安悉香○種々抹香、甘
味菓子、眞言護摩七返云々
又云○薰陸、甘松香、稻穀、花蘇○粳米、餅

蘇團一千八團。加持護摩云々已上増益

又云。患災。扇底迦三昧耶。杜仲木。檀木。奢彌木。栢木。桑木。構木。夜合木。長十二指。

截五淨浴加持

莖葉蘇蜜護摩一千八返云々

牛黃三昧耶

除刀杖祝能斷急時病得智慧王
后敬愛得長壽得懷妊治頭風

又云牛黃神通三昧耶化伏世間而最第
一○當以牛黃紫檀香鬱金淨治精研以
火舍灰減藥三分中一分別盛眞言加持
盛赤銅器置於壇內觀世音○像前淨帛

覆上。或荷葉盞上。其火食灰用紫檀木。柱。

仲木。稻穀花。白梗米。白芥子。油麻。蘇。蜜。酪。

然頂香王

有別抄云下文云此香名大可曼明王與俱捨其
言然頂香王云云除龍毒治諸瘡諸天祐護其
歡喜團具鬼神信說

引小野抄可見別抄

經七云丁香木香柏木截治燃火誦母陀

羅尼○奮怒王眞言加持梗米某豆蒸餅

乾蓮花葉白芥子蘇蜜作歡喜團上文云

日○護摩爐內復現火天牛身手執寶盤

滿中團藥奉眞言者時眞言者受藥服餌

便證不空王明仙神通三昧耶一萬八千

持眞言明仙一切火天○來現○爲侶云

又云火天手捧銀器滿中有藥奉眞言者

受或餌之則得仕悅身出光焰止時延萬

歲證宿命智云

又云服此藥者○誦千言爲人愛敬若命

終已直生西方若有女人服此藥者得子

性大聰慧若諸人民服此藥者除諸災厄

罪障云

又云以火天藥和乳粥中盛三鉢一鉢供

養諸佛一鉢供養觀世音一鉢供養文殊

便以乳粥施諸沙門人民服食者即得除

滅一切業病鬼宿一切罪障善根成就云

形像

一面二臂

經二云聖者觀世音○眞金色身顏貌熙

怡左手當胸執金蓮花右手持珠結跏趺

坐一切莊嚴身放動種々奇特光明云云

御抄云此文可問之大原抄有

三面二臂

經五云其像網索三昧耶以金或銀鑄不

空網索○身長八指量取手兩三面兩臂正

面慈悲左面大憤怒目張口右面微瞋

眉合口首戴寶冠冠有化佛左手執網索

右手揚掌七寶瓔珞環釧天衣而莊嚴之

坐蓮花座云

一面四臂 古本

經云李無諍淨白毘上畫古譯有觀自在菩薩

形像作髻髮色如蓮花藏面上三眼百紫

絡身被黑鹿皮○左上一手執持蓮花左

手一手執持澡罐右上一手執持數珠右

下一手垂向下作施無畏古譯云左上手施無

蓮花上○作歡喜面其頂持阿彌陀佛云

圓○圖用此像

一面四臂

又云作觀自在戴天冠頭上作阿彌陀佛

作水精色菩薩四臂左上一手執蓮花瓶

左下手施無畏手右上手把數珠右下手

作施無畏正當胸前作萬字西國蓮花上

立

一面四臂

八云不空網索觀世音一面四臂面目熙

怡冠有化佛一手執蓮花一手持網索一

手執三叉戟一手揚掌結跏被鹿皮衣云

一面四臂

十五云不空網索○一面三目熙怡微笑

身有四臂左一手執蓮花右一手把網索

二手合掌○寶冠有化佛○坐花座上曲

躬瞻仰云云在曼荼羅

又云不空網索○一面四臂著天衣○狀

大梵天面有三目首戴寶冠冠有化佛一

手把蓮花一手把三叉或一手把網索一

手施無畏結跏趺坐經八曼荼羅像并經二十

十六云清淨如法作銀蓮花以一寸鏡爲

蓮臺面寶珠花髮四穗莊嚴如法銀造一

尺二寸不空網索○一面三目身有四臂

一手執三叉戟一手持網索一手執蓮花

一手掌如意寶珠結跏趺坐戴寶冠冠有

化佛像腹內空舍利百粒龍腦香白栴檀

香安內腹中○天諸衣服種種莊嚴置鏡

心上有畫地可

三面四臂

二十一云白栴檀香像○量十六指眞言

加持彫圖不空王觀世音○三面四臂結

跏趺坐正中面眉間一目三面目慈悲

熙怡首上各戴衆寶月冠冠有化佛左一

手持網索一手執開蓮花右一手把三股

金剛杵一手伸施無畏○坐寶蓮花師子

之座身佩光焰左栴檀香多羅菩薩坐蓮花右

三面六臂

二十二云○白栴檀香多羅羅香○凡有十

之取吉宿日蠟和眞言加持千返圖素不

空王觀世音○身量橫量十六指數三面

六臂正中面慈悲熙怡如大梵天面眉

間一眼首戴天冠冠有化阿彌陀佛左面

怒目可畏眉間一眼鬘髮聳聳首戴月冠

冠有化佛右面鬘髮怒目狗牙上出極大

可畏眉間一眼鬘髮聳聳首戴月冠有

不空羅索○左無垢惠菩薩左執蓮花右

眞言者翻說後不空奮怒王有面四臂一身

把箭索一手執劍一手持三叉戟後白衣觀世音

母蓮花右手中執持不問後一臂羅刹女

使者持三股叉一手持蓮花一手持箭索右一執金剛杵

三叉戟不空羅索下左置大頂金剛

胸側揚掌結跏趺坐後阿室理眞言明仙各執花

理保眞言明仙備羅縵眞言明仙

密主左手執劍右手執三叉戟後屈綫眞言明仙各執花

託眞言明仙驕答摩眞言明仙

環珞環釧○種、莊衛宮殿外山左背上

置帝釋天、俱廢羅天、娑婆摩天、毘摩尼天、

地天神、苗稼天神、坐宮殿外山右背上

置大梵天、功德天、辨財天、水天、焰魔王半

用、其山半腰左右置四天王各執器仗

莊飾、宮殿外上左右置苦行仙衆各執花

官殿外右上置日天子、後淨居天、伊首羅

天子供養宮殿外左上置月天子、後摩醯

首羅天子、諸天子、供養其諸天仙、花鬘

衣服、寶珠瓔珞、種、莊嚴、宮殿外直上置

阿彌陀佛、釋迦、佛、世間王如來結跏趺坐

寶師子座、乘其大海岸、作七寶山、山上種、

寶樹花菓、其諸樹上有種、色藤枝花葉、

山間亦有池河澗、水中具有蓮花、物勿頭

花、芬陀利花、優鉢羅花、山上亦有師子、白

象、一切鳥獸、宮榮茶鬼、藥叉、羅刹等、繞其

山腰、有五空窟、窟山下海中左右五小七

寶山、於五嶺上各置龍王、狀如天神、頭

上出蛇龍頭、一一蛇頭、一三蛇頭、一五蛇

頭、一七蛇頭、一九蛇頭各持寶花、半脚

小山、種、莊嚴、此像是斯補陀洛山寶宮

殿會、不空羅索觀世音○身云、

十五云、畫補陀洛山○如上山、上畫諸寶

樹花、樹葉、樹藤、枝花葉○身云、中畫四臂

數曼荼羅增益

二十云○如法作法、隨心作壇、純鬱金香

泥塗、曼荼羅中以朱砂圖畫二肘上、百八

葉○蓮花又繞蓮花畫蓮花鬘貫穿○界

道其蓮臺上黃綵高座、上置像、面西、

黃闍伽瓶、滿盛白檀鬱金香、置於座前、

當以數珠盤置瓶上、四角置香水瓶、四門

置闍伽水、水上沈花、四門壇心各置香爐

○以妙香花三白食布設○四面燃列蘇

油燈云、

自經第八二十二訖、萬荼羅有十餘種、

今略出一兩云、

所現身等

現諸觀音身

三云、聞此不空解脫法清淨圓滿若蓮花

慈悲爲濟諸有情、十方諸佛皆加護天列諸

等、金剛

千臂千眼觀世音 手結千印住其前

又得十方一切佛 各諸菩薩摩訶薩

觀音種族母青頸 十波羅蜜菩薩衆

不空羅索觀世音 變作大梵天身相

捉羅健託觀世音 馬頭觀音大明王

播擊目佉觀世音 十一面首觀世音

四面大悲觀世音 除八難仙觀世音

俱持不空陀羅尼 最勝廣大、解脫○

各現種、妙色身 夢覺都會俱住前

爲現西方極樂界 阿彌陀佛坐寶座

後現十方殑伽沙 俱胝那庾百千等

微塵佛刹諸如來○悉於夢覺一肘現云

現千手身

六云、阿暮伽王觀世音像羅索三昧耶○

隨諸相類示現一切神變相狀、所謂現於

千手現輪持無量神通手印、器械印三界

○云、

十三云、不空羅索心王陀羅尼中、而能示

現不空千手千臂觀世音○種、形好、種

、三昧耶云、

十四云、觀世音○言此不思議觀陀羅尼

○是觀世音最上○神通、能現種、廣大

神變、幻化千臂千手千印千願三昧耶等

云、

不空奮怒王

一面二臂

九云、奮怒王、面目瞋吼、狗牙上出、形畏青

大、踞踞虛坐、青蓮花座、左手執、但、右手

持渴伽、放大火焰、甚可怖畏云、

二十五云、阿暮伽觀世音奮怒王、面目瞋

怒、坐蓮花座、一手執蓮花鬘、一手揚掌、繞

身光焰云、

三面四臂

十三云、奮怒王、三面四臂、當中正面、無怡

微笑面目。顯眉。顯怒一手執鉤。一手施無畏。一手執蓮花。一手持羼索。瞻仰菩薩半跏坐云。

五云。不空羼怒王。三面四臂。面別三日。當

中正面。顯怡微笑。左右面目。顯眉。顯怒。左手執鉤。右手持索。二手捧寶花盤。首戴寶冠。冠有化佛。種。莊嚴。坐花座上。曲躬瞻仰云。

又云。二手合掌。一手蓮花。一手羼索。

二十一云。大奮怒王。三面四臂。正中大面。眉間一目。三面顯怒。首戴月冠。冠有化佛。一手把羼索。一手執鉤。一手把三叉戟。一手持斧。半跏趺坐云。

二十二云。銀造大奮怒王。身長橫量十六指量。三面四臂。正中大面。顯怡。眉間一目。左面顯眉。怒目可畏。眉間一眼。右面顯眉。怒目。狗牙上出。極大可畏。眉間一眼。三首寶冠。冠有化佛。一手執蓮花。一手羼索。一手持曲刀。一手執三叉戟。結跏坐蓮花座上。身佩光焰。天妙衣服。寶珠瓔珞。種。莊嚴。

已上像等皆。不可不察也。

印明說云。

可見務抄。小。別卷部主處載之。

悉地王。

三面四臂

十一云。不可不處。顯不空。悉地王。觀世音。三面四臂。身真金色。結跏坐。正面顯怡。右面微怒。合口顯眉。怒目。左面可畏。亦忿。

目張口。狗牙上出。首戴月冠。冠有化佛。一手執蓮花。一手把三叉戟。一手把不空梵甲。一手施無畏。佩身光焰云。

印契不說之。

真言。甚廣。仍略之。

廣大明王。

三面六臂

二十五云。不可不處。不空廣大明王。觀世音。菩薩。結跏坐。三面六臂。身真金色。正面顯怡。右面微顯。狗牙上出。左面大顯。三首月冠。有化佛。三頭鬘。髮焰亦聳。左第一手執金剛鉤。並持蓮花。右第一手執三叉戟。並持金指。左第二手執羼索。並持金剛鉤。右第二手執金剛杵。並持金剛鉤。左第三手伸兩來寶。第三手向外揚掌。安慰摩頂。寶珠瓔珞。耳環環釧。天諸衣服。種。莊嚴。坐寶蓮花師子座上。佩火焰光如鉤相。

印契不說之。

真言。出經二十四卷甚廣也。

大可畏明王。

三面六臂

二十七云。不可不處。於花臺中。不空大可畏明王。觀世音。菩薩。結跏趺坐。三面六臂。身真金色。當中正面顯怡微笑。首戴寶鬘。左面顯怒。齒咬下肩。右面可畏。狗牙上出。三首戴寶冠。冠有化佛。鬘焰赤聳。當中頭上出。大可畏明王。半身。一面兩臂。面狀青色。作大笑面。狗牙上出。首戴寶冠。冠有化

佛。髮鬘赤色。鬘焰赤聳。一手持劍。一手執鉤。繞劍。劍上出。大光焰。天妙衣服。珠瓔珞。璫釧。具莊嚴。身遍身火。焰。右身一手持開蓮花。鬘屈如鉤。右第二手伸施無畏。雨下衆寶。右第三手持三叉戟。左第一手持鉤。左第二手執索。左第三手執把金輪。是六手上放種。光。衆妙花綵。羅縠。天衣。珠瓔珞。璫釧。具飾之。身放火光云。

印契不說。

真言。出經二十七甚廣也。

蓮花明王。分大梵天觀音。

三面四臂

二十八云。不空羼索心王。清淨蓮花明王。三面四臂。首戴寶冠。冠有化佛。當中正面圓滿顯怡。眉間一目。左右二面如不空羼索。觀世音。左右面目。一手持開蓮花。一手執羼索。一手持寶幢。一手把三叉戟。衆寶瓔珞。耳環環釧。天諸衣服。種。莊嚴。於諸無量億千蓮花臺上。結跏趺坐。放億俱。百千光明云。

印契不說之。

真言。出經二十八甚廣也。

大梵天相觀音。四臂

九云。不可不處。大梵天相觀世音。菩薩。眉間一眼。身有四臂。一執蓮花。一持澡罐。一把。一施無畏。結跏趺坐云。

十五云。觀世音。菩薩。身持大梵天相。一手執蓮。一手執戟。一手持索。一手彈指云。

在不可不處。蓮花。頂觀音。同具可等之。

根本蓮花頂觀音四臂

十七云、觀世音○在大光明中千葉蓮臺、即於臺上出現寶帳、寶帳中現蓮花頂觀世音○大梵天相、面目熙怡、三眼四臂、具以衆寶環瑤○首戴寶冠、冠有化佛、一手把索、一手執寶蓮花冠、一手把寶杖、一手執金剛杵、結跏趺坐云、

十九云、觀世音根本蓮花頂觀世音菩薩大梵天相、三面四臂、面目熙怡、當中正面眉間一眼、首戴七寶月冠、冠有化佛、右第一手把三叉戟、右第二手把蓮花貫索、左第一手把七寶開敷蓮花、於花臺中出觀世音菩薩、面首頭戴寶冠、繞頭冠上發火光焰、右第二手下舒五指、雨出七寶、手上繞發火焰、衆寶環瑤、耳環環、天諸衣服、種種莊飾、結跏趺坐寶蓮花座、身圓光焰、其蓮下盤大海水、七寶岸、二九頭蛇龍王、水中出身、左右撒蓮花幹云、

印契不說之

眞言甚廣出經第二十八

不空明王神

十三云、明王不空曼荼羅神、面目瞋怒、狗牙上出、身有四臂、一手執繩索、一手執蓮花、一手執鉞斧、一手執劍、半跏坐○云、

夢相所現身

自在王呪經上云、即於夢中得見聖觀自在菩薩、或現慈、或現婆羅門形、或現童子形、或現帝王形、或現宰官形、讀誦呪人、作如是言、善哉大夫、汝長受持我之所

說汝所愛樂、皆得圓滿云、

悲願等

呪人得如意珠

同經下云、持呪之人、應往至彼龍所居處、取淨黃土、用和牛土糞、塗作壇場、燒栴檀香、及沈水香、散花供養、應誦尊者不空羂索心呪王一百八返、龍所畏居池水、皆枯渴、龍及男女自然而現○若廣即入海中、取如意寶珠、奉施呪人、而發大願、以如意珠施贈部洲一切衆生、所求滿足、呪人復以種種香花供養寶珠、唯應自見勿示他人、若示他人、珠即失神變、復不自在、後若賣時、臨百俱胝價中、但得其半、復更賣時、又減半價、如是後、復更賣時、常減其半、及出如右、一無所直、棄之臨地、無有光明、若於後時、有佛出世、此如意珠還有神變、入於海中云、

於舍利塔滿所求

經十一云、若舍利塔前誦遍心印眞言、旋杖上云、行道滿七日、夜塔內放光、出種種聲、得是相者、所求諸法、悉皆圓滿云、

獲得財寶

八云、若白月八日、加持蘇蜜、塗蓮花上、護摩供養、獻我之者、滿七日、夜、則得財寶云、又云、白月十五日、一日夜、不食不語○加持婆羅奢木、檀木、柏木、截治燃火、加持沈水香、白栴檀香、稻穀花、蘇蜜、護摩萬返、得金萬兩、分爲三分、供養一切寶、一分寫經造像、一分自用、布施貧窮、孤老、病人、持莫

貯積、若貯積者、即不復得云、

二十七云、若芭蕉皮寸截、如是護摩、自然衣服出云、

死屍與財

自在王呪經中云、持呪人先當誦呪、防自身已、即往塚間、取大夫屍身形之上、無瘡癰者、應與洗浴、洗浴屍已、即取香花塗其兩足、而供養之、便誦呪、呪屍令起、作如是言、尊師今者與我何事、彼屍即從索紙筆、墨、其持呪人、即賣紙等、而與死屍、彼死屍即如法抄寫、取伏藏珍寶之法、與持呪人、若持呪人不用抄寫、即語屍言、汝應爲我自取將來、其屍如言、即爲將來、所得珍寶、應如法受用、供養三寶、及將施與一切衆生、而此死屍、隨持呪人所得珍寶、若受用盡、即便送來、若不施三寶及一切娑門婆羅門貧窮衆生、即便不送云、

治失念

經一云、含香處、恒常如法含香者、大辯才天、密神通、隱入舌端、辯無礙、先所忘失、令憶知云、

得智惠辯說

七云、牛黃、若以藥蜜丸、丸如豆等、每日誦密言、加持藥、初日一丸、二日二丸、三日三丸、乃至七日七丸爲度、服滿百日、文詞智惠、辯說無礙、聲相和雅、如緊那羅迦陵頻伽之聲、其聲深隱、令衆樂聞云、

現煖爛相。當復和牛病。空腹而含服。經滿於一百日。聲香淨和雅。齒舌得無痛。一切人民聞所語。晉之者。災厄罪障除云。

相摸得勝

十六云。若和蘇塗二臂。力敵百人相摸。相摸盡皆得勝如意。軌藥作法甚廣。可見之。

隱形登空

經云。玄。若欲自隱。應呪雌黃或安緒那。城滿八千返。研以塗眼。若欲乘空應用。塗足云。瑜伽抄云。安緒那者。藥名。其藥是名。貴人敬愛。此未能染眼。令有黑。不令眼白云。

貴人敬愛

七云。牛黃若含是藥。往於王宮。國王后妃。見皆歡喜云。

自在王上云。應廣供養聖觀自在。○於尊者前一心淨信。○應誦不空罽索神呪王一百八返。○常為國王大臣。婆羅門居士等之所敬重。一切之所愛樂。○云。經八並十九文略之。

祀聖天

經云。供養使者真言可見。是真言以不空王神變海雲。加持歡喜團妙虛腹。三白食。香花香水。獻祀毘那夜迦。令生歡喜。不作障闕云。

除兵亂謀叛

經八云。若有國土。刀兵競起。驚亂不安。○結奮怒王印。面目瞋怒。誦母陀羅尼祕密真言。滿七日夜。或三七日。或五七日。刀兵自散云。略抄。

十三云。若陣戰處。右手把杖。怒聲誦縛迴心印真言。旋杖期劫。兩兵和解云。

二十一云。淨浴身服。以紫檀木鉢。鑊燒火。白芥子。安悉香。牛蘇蜜。酪。加持護摩。滿七日。諸兵衆心退散云。

二十六云

誦真品。若塗螺中。○若於官門。大七聲者。即除宮內一切災疫。謀叛惡火。云。靈物可尋見。

消國土災

經云。諸有國土。王都災難起時。流志大應結道場。牛黃塗地。香湯遍灑於場。四角各置一瓶。瓶中置花水。以新淨草敷布。○用美菓食。○衆花散場內。燒上妙香。即為供養。其誦呪者。香湯沐浴。著新淨衣。坐鮮潔座。難便息。諸有疾妖出惡等處。呪瓶中水。灑處及身。一切災患。皆悉除滅云。

降雨

十三云。若天旱時。有龍。湫。泮。執杖。誦縛迴心印真言。稱龍。旋杖。龍降大雨云。

十九云。復加持杜仲木。蘇枋木。長一磔手。斫截燃火。加持白芥子。龍花。稻穀。花護摩。便諸龍衆降大甘雨。苗稼滋盛。云。經二十有雨品。

驟索頭降雨

自在王。經下云。唵。阿暮伽烏。波味除。呬。呬。呬。○先誦此呪。○隨心遠近。其界畔。○便以淨黃土。於界內選擇淨地。四方壇。於其壇內。燒香。散花。應畫。繩。索。猶如蛇形。名龍。索。爾時。呪人以右足。拊指。躡。躡。索。頭。誦不空。索。心。呪王一百八返。其龍。爾時。身如然。焰。至。呪人前。以呪力。故。雖有。瞋。怒。不

能為害。即變其形。以為水蛇。呪人取之。以置瓶內。或篋筒中。無所逃避。所去之處。恒將隨逐。飲以乳汁。存其軀命。○若有國土旱澇。不調。令其降雨。○云。

止雨付龍風雷

經云。玄。若遇惡風暴雨。災雹。呪清淨水。流志云。見白芥子水。二十一返。散灑四方。或呪羯毘羅木。石楠枝。二十一返。口仍誦呪。向四方。搗風等便止云。

十三云。若災風暴雨。雷雹。霹靂。數起者。高峯。迴處。把杖。慈視。風雨。雷雹。起處。發大慈聲。誦縛迴心印真言。旋杖。搗之。九方。周圍。十輪。轉。那。即。迴止之云。

又云。若霖雨者。高山。峯上。仰天。樓上。高大怒聲。誦縛迴心印真言。旋杖。搗之。其雨即止云。

除却蝗虫

十五云。蝗虫若繞園林田。壇。遍遺散者。不為一切蝗虫。咬食。花果。苗稼。○云。

除却宅災

經云。玄。欲護國宅。使無災厄。應取蓮花一百八枚。各呪一返。投火壇內。流志云。一百八。三時。別百。供養賢聖。災厄。並息。國宅安穩。

除滅恐怖

三十云。真言者。應令一日不食。誦持解脫心真言。持孔雀尾。排彼身上。滅一切恐怖。當為如來觀世音。○諸天之所祐護。若命終。○往生安樂國。

除滅怨讎

十九云、加持歸陽木、苦練木葉、滿稻糠護摩○即除滅一切怨讎云、

除盜賊

又云、紫檀木、苦棟木、長一礫手破截燒火、加持稻穀烏麻白芥子鹽蘇酪以種族奮怒王眞言護摩○即除滅一切毘那夜迦鬼神、怨讎盜賊、干戈云、

除癰病

十三云、若患癰病者、執杖拂身、癰鬼惶走、即得除差云、

又云、諸患寒熱及癰病者、應呪結縛疏云白線

二十一返繫頸或臂云、

二十六云香頂若患那羅延天神癰者、或

患一切可畏天神虛風癰疾廣癰寒熱之

癰、一日一發、二日一發、三日一發、四日一

發、並諸神鬼癰痢之病皆淨洗浴燒香薰

之加持病者皆得除差云、

治諸根病

經十一云、牛黃若和胡麻油塗頭之風疾

速除差云、

經云、流志若患眼疼、眞言白線索、用繫耳

環、又眞言竹瀝、甘草、白檀香水、每日晨朝

午時、夜時洗眼、或眞言波羅奢水、日、洗

之、即得差也、一切經音義云、波羅奢樹之汁、其色甚赤、亦用藥皮等是也

又云、若患耳疼耳鳴熱風、眞言生烏麻油

或醍醐、數灑耳中、不久除差云、

經云、諸患耳鼻應呪煎油二十一返、滯耳

鼻中、即得除差云、

又云、諸有牙齒患疼痛者、應呪羯羅鼻羅

木二十一返已、而嚼槽之、即得除差云、
又云、諸患腹痛、應呪鹹水與之令服、即除差云、

除痔病等

七云、牛黃品若患痔瘡癰癰痔痢腹中病者、

煖水和藥、與令飲服、即除差云、

除癰病等

十三云、縛遍心印眞言○療治一切癰病

風病疥癬病癰病腹痛六根等病

脫禁閉

二十七云、若迦羅惹子如是護摩、即解禁

閉、枷鎖解脫云、

七云、牛黃若人牢獄枷鎖禁閉藥塗獄門、

並塗枷鎖云、

得懷妊

又云、牛黃若半茶婦人藥和蘇服、即得胎

藏云、

生男子

玄云、伽陀藥諸婦人、求生男、呪此藥丸一百

八返、繫其身上類云繫、或和水浴、便得生男

云、

除兒邪氣

玄云、尼羅若有小兒、邪氣魘魘所驚怖者、

呪此藥丸一百八返、繫於咽下、便不驚怖

云、

救畜生

經云、玄自往畜生耳邊、慇懃念誦、令彼聞

經八云、若有鳥獸傍生有情、見此像者、當

捨是身生於天上云、十八臂像也

救亡者

十五云、護摩灰若散屍陀林墓屍上、彼所亡

者、皆脫諸罪、上生天上、或生淨土○云、

滅衆罪

二云、大悲心誦此祕密心眞言百八返者、

是人即爲十方○如來○一時讚歎而攝

受之、於千劫來積集惡業、一切重罪、皆盡

散壞云、

滅五逆罪

三云、造五逆、一切賢聖、棄捨墮阿毘獄○

純生怖心、悔衆罪、得見聞此經典、從師七

日受持者○無間報於須臾、日盡鎖鑰云、

又云、是印言最勝蓮花印以大悲心持結之者、當

今十方一切佛刹宮殿門開、六種震動、其

三十三天一切宮殿門開、觀世音歡喜觀

視放光照觸、令得清淨、滅五無間罪○後

生十方淨刹、閉十六大地獄門、超惡趣得

大解脫云、

二十七云、稻穀胡麻白芥子蓮荷葉蘇蜜

酪加持護摩一千八返○滅十惡五逆一

切重罪云、

逆罪不憊得益

二十二云、成就神通解脫心陀羅尼眞言

者、淨浴身、服白月十五日晝夜不食不語

○取蓮花牛蘇梗米、每日三時護摩七日、

縱造五逆無間重罪、雖未懺悔、亦得成就

滅謗法罪

四云、羅索印略之觀世音○摩頂讚勸、於無劫訪讀正法大邪見罪、皆得除滅所得福祿、如是見我見、譬須彌山云、
經云、若常念誦此神呪心、四重五逆勝法等障、咸得除滅云、

天神守護付真言明神

經云、世尊若他方所有此呪心、當知是所有自在天、大自在天、梵天王、帝釋等、爲上首十二億諸天神衆常護○供養如佛制多、不令暴惡諸鬼神等遊止其中云、
經六云、摩尼○若有日別但誦此陀羅尼一百八返者○一切眞言明神、常樂擁護云、

七云、是不空王護三昧耶○常使四天王一切天龍八部鬼神、皆當護祐、一切如來觀世音觀察加祐云、
十九云、加持胡麻樹米蘇蜜、高山頂上面向日天護摩○日天祐護○加持胡麻柳畢鉢仙陀黎鹽蘇蜜乳、高山峯面向月天護摩○月天星天當作祐護云、

諸佛護念付彌陀真言

二云、含香每念誦時、加持含香、使得口氣而香潔如鬱鉢羅花之香、常得諸佛觀世音歡喜祐護而讚歎云、
四云、自在印○此印眞言、若以清淨大悲之心、常觀音前結持供養、當得十方○如來一時放光照明、安慰時觀世音○亦爲現前、由斯當得十波羅蜜功德云、
又云、母陀誦百千萬返、爲諸如來安慰記

別一切惠解、六波羅蜜自然成就云、
又云、如是蓮花手印○若常一、依三昧耶、字觀相應、受持讀誦者○於當來世證趣阿耨菩提處、爲阿彌陀之眞子、從法化生云、

速得菩提

經云、能斷酒肉及諸薰辛、不食殊穢、身常清潔、日、三時轉讀是○經、彼勝功德、晝夜增長、若能於法捨慳吝心、離嫉妬意、專爲利樂一切有情、觀諸衆生有力、如應爲說此○經、當知是輩速證無上正等菩提、隨諸菩薩摩訶薩數云、

經二云、祕密心眞言○若但讀誦、即得成就最上菩提功德善根云、
又云、每常至時、觀世音菩薩前、數白茅草結跏趺座、誦此母陀羅尼眞言祕密眞言者、我得爲與成就衆願日、增長、無暫退轉、令證菩提云、

元文五 庚申年九月二日遂修補收大經藏了是偏爲密教紹隆而已
淨土院權僧正賢賀 五十歲

真言 四五一

三面四臂

攝無礙經云、不空觀音、頂上五髮冠、安住化身佛、具三面九眼、正面白肉色、微咲慈悲相、左右大青色、眼

怒降魔相、身被妙瓔珞、繫鹿皮袈裟、百福莊嚴寶身、四臂兩足體、左定開蓮花、左理持網索、或執持數珠、右惠說法印、或持金剛鎖、右惠執錚持妙法琉璃光、住千葉蓮花、跏趺右押左

覺禪鈔 准抵

准抵法

具書事

貞元錄二十一云

七俱胝佛母大心准提陀羅尼經一卷

大唐中天竺三藏地婆訶羅譯

七俱胝佛母准抵大明陀羅尼經一卷

大唐南天竺三藏金剛智譯新編入

七俱智佛母所說准提陀羅尼經一卷

不空

七俱胝佛母陀羅尼經一卷

不空譯

七俱胝准泥佛母陀羅尼念誦儀軌一卷

無人名不說別法

七俱智准提陀羅尼經念誦儀軌一卷

不空說念誦法則大等

七俱胝佛母心大准提陀羅尼經一帖

日無譯

佛說七俱胝佛母准抵大明陀羅尼一枚

標本

梵字七俱胝儀軌一卷大師

梵字七俱胝佛母真言一本大師

梵字七俱胝佛母讚一卷大師

梵字七俱智真言一本慈

七俱胝佛母准抵讚一紙茶子

七俱胝佛母心大准提陀羅尼法獨部別

法一卷

七俱胝佛母心大准提陀羅尼二十五部陀大三曼荼羅獨行灌頂懺悔大道場法一卷唐善無畏三藏譯

七俱胝佛母像樣一卷傳

名號事

大明經云金智准抵菩薩

陀羅尼經云不空准抵佛母云

胎藏軌云尊然尊那佛母云

真言云安然准抵妙義云

本身事

軌云金智結此印契印布也想自身若釋迦

如來三十二相八十種好紫磨金色圓滿

真光西觀近譯善滿通化身

或云進抵不空網索菩薩也。不空爲准。網

索號抵。或多羅菩薩金剛藏等云

已上心覺抄

(纂書四五一)

觀音事

勝軍不動軌云。槌鐘迦太羅王是准提觀

音所變身

經云。過去七俱胝准那如來等佛母准抵

乃即得都見聖觀自在之像後心覺抄有之

莊嚴寶王經四云。有七俱胝如來。皆

來集會同說陀羅尼曰。此經偏演觀音法。令無

餘尊然說准抵真言尤

小野抄云。天人丈夫觀音者准抵佛母救

人道云。

止觀云。天人觀音破人三障人道有事理。事伏

勤修寺抄云。濟朝云。准抵爲觀音。見于攝

無礙經無異何如在

所居土事

軌云。送車結此契心想阿迦尼瑟吒天

宮里盧遮那如來十地菩薩圍繞集會中

請准提佛母聖者。乘七寶莊嚴車輅。

上有白蓮花坐上。如前莊像形。心中想念

如在目前。即誦真言三返

軌云。七寶車輅乘空而去。至於色界頂

功能

無善根種子生菩提芽事

經云。金智若有薄福衆生。無有少善根者。

無有根器之者。無有菩提分者。是人若得

聞此准抵陀羅尼讀一返得菩提分根器

芽生。何況誦常不懈廢。由此善根速成佛

種。無量功德悉成就。無量衆生遠離塵垢

決定成就阿耨菩提云。

軌云。不空又法。若人無宿善根無善根種。

不修菩薩行。繞誦一返。則生菩提法芽。何

況常能念誦受持云。

得聰明事

經云。金智若欲求聰明。取石菖蒲牛黃各

半兩。搗作末。以蘇和。於佛前作曼荼羅。念

誦五千返服之。即得聰明

經云。日照。聰明呪曰

寐帝。寐帝。寐帝。寐陀帝。娑阿

各誦一萬返。聰明不可思議云。

知善不善成不事

軌云。不空又法。欲知事善不善成就不成

就。取蘇摩那花香油。誦真言加持一百八

返塗右手大母指面誦真言聲不斷絕。令童子觀指面上現諸佛菩薩形像。或現文字具說善惡。

諸呪得驗事

軌云無畏若人先誦一切陀羅尼無効。及先作一切法不成。但得遇此灌頂。先所不成法速皆成就云。

又誦此真言一返。同誦一切陀羅尼一返云。

闍諍論并勝軍敵事

軌云不空又法。若闍諍言詔論理及談論求勝者。誦此真言強勝人云。

又法。兩軍相敵於樺皮上畫此陀羅尼。懸於竹竿上。令人手持誦真言。彼敵即破云。

夫婦敬愛事

經云金智若夫不樂婦。取淨瓶盛滿香水。別置淨處。以瞿摩夷塗作曼荼羅。念誦一百八返。如是七瓶皆作此法。於淨處以香花爲道場。取瓶內香水洗浴夫。即愛樂亦得有孕。婦不樂夫。亦如前法云。

經云不空有女人。夫不敬重。取一新瓶滿盛水。瓶中著七寶及諸靈藥五穀白芥子。以絹帛繫瓶頂。以真言加持一百八返。令女人結本印。安頂上。以水灌頂。即得寵愛敬重。非但敬重。亦得有子息在胎牢固。

求子事

經云金智若求子。於皮葉上書此陀羅尼并書童子。以此綵裹之。念誦一千八返。安著髮中即孕云。

經云不空若女人無男女。以牛黃於樺皮上書此真言令帶。不久當有男女。

止小兒夜啼事

經云不空又法。若孩子夜啼。令童女右搓線。誦真言加持二十一返。結繫於頸下。孩子即不夜啼云。

見亡父母并延命事

軌云無畏若欲得見亡過父母及亡過男女。兼知生受。二七日內。依法念誦皆得見見云。

又云。父母遇此法。得入灌頂。能令子孫皆同得福。若男女得入灌頂。能令父母延年增福。永無災難。所求稱遂云。

治諸病事

經云金智若人卒得惡病。以石榴枝白茅香草等念誦。鞭拂之即癒云。

又云。以銅鎖鐵木等作金剛杵。置病人邊念誦。以杖打亦即奔走。

經云不空若人患癰腫等。及諸毒蟲所囓。取檀香汁和土爲泥。誦真言七返。塗瘡上即癒云。

又云。國中有疾病。七夜以油麻梗米和蘇蜜作護摩。即得災滅國土寧云。

又云。若人身體支節痛加持手二十一返。摩觸痛處即差云。

又患瘡法全同之

滅逆罪事

經云不空誦持此陀羅尼滿九十萬返。無量劫造十惡四重五逆無間罪。悉皆消滅。

(真書四五四)

所生之處。常遇諸佛菩薩。豐饒財寶云。誦此陀羅尼。常生天趣。或於人間常作國王。不墮惡趣。親近賢聖。諸天愛敬。擁護加持。若營世務無諸災橫。儀容端正。言音威肅。心無憂惱云。

經云日黑若有比丘比丘尼。優婆塞優婆夷。滿八十萬返。無量劫來所造五無間等一切諸罪。皆悉消滅。所在生處皆得值遇諸佛菩薩云。

祈雨事

軌云無畏若大旱可於中夜燒安息香結印。勅五方龍。速令降雨。若三七日雨不降者。即須沈香。尅五箇龍各長九寸。隨方五色。各安壇上。更七日。依法念誦。即得降雨。若須晴。即仰面向天。誦陀羅尼八十一返。即晴云。

現青衣童子事

又云。每日夜六時此陀羅尼一千八十返。經四十九日。如此念誦。即兩青衣童子。當現其身。事念誦人。其二童各自有使者七人。其左邊童子知生人間善惡。吉凶人間之事。其右邊童子知冥道中善惡。若欲知人官祿年壽吉凶等事。但勅右邊童子。令於冥道抄與姓勅司命及閻羅。令速當報。每勅之時。結印誦陀羅尼七返。即於冥中具知善惡。其右邊童子自現其身。可問本師說。若能四十九日。如此六時念。已後。但作法時。誦陀羅尼七返。法即成。但早朝長誦一百八返。亦更不別返數。其兩箇童

子問取名字。須便即使云：

形像部

三目十八臂像

軌云金智說○准胎畫像法。取不截白髭。清淨者。擇去人髮。畫師受八戒齋。不用膠。和色用新碗成。綵色畫之。其像作黃白色。種。莊嚴其身。腰著白衣。衣上有花。身著輕羅棉袖天衣。以緩帶繫腰。朝霞絡身。手腕以白螺爲釧。其臂上釧七寶莊嚴。一、

手上著指環。都十八臂。面有三目。上二手作說法相。右第二手施無畏。第三手把劍。第四手把數珠。第五手把微若布羅迦葉。第六手把鉞斧。第七手把鈎。第八手跋跋折羅。第九手把寶鬘。第二手把如意寶幢。第三手把開敷紅蓮花。第四手澡罐。第五手網索。第六手輪。第七手螺。第八手寶瓶。第九手把般若波羅蜜經。薩。薩下作水池。中安蓮花。難陀拔難陀。二龍王。共持蓮花。於蓮花上安准提菩薩。其像周圍安明光焰。其像作憐愍眼。看行者。在下坐手執香爐。面向上看。菩薩上畫二淨居天。像法如是云：

不空軌空。一名俱素陀天子。手持花鬘。向下乘空而來。供養聖者○於像下應畫法身緣起偈云：

或口傳云。坐赤蓮

隨求願觀像事

(要略四五五)

軌云金智說准胎求願觀想法○求不二法門觀兩臂求四無量者四臂求六通觀

六臂求八正道觀八臂求十波羅蜜圓滿十地者觀十臂求如來普遍廣地觀十二臂求十八不共法者觀十八臂求三十二相觀三十二臂求八萬四千法門者觀八十四臂如上觀念。當入一切如來三摩地門○是正念處正真如是正解脫云：

曼荼羅事

軌云金智磨白檀香。塗作八曼荼羅。猶如滿月。或似八葉蓮花云：

不空軌云。以檀香塗九箇聖位如滿月。又云。用陀羅尼九字布列於行者身。即成如來印八大菩薩所加持身云：

行儀門

四種法事

軌云金智欲作扇底迦等種種方法。爲自身爲他人。依法作念誦云：

說扇底迦法求息災除一切鬼神。聰明長命求解脫○面向北交脚堅膝坐。衣服飲食香花燈燭地等用白護摩。妙言曰：

噯左隸祖隸隸准胎與彼。除災難。莎縛訶。又說布瑟置迦法。求增長五通轉輪。種寶藏。劍賢瓶。如意寶。安善那。處里迦鏡。及鐵斧。網索。三叉等一切財寶。藥草。求成就法。著黃衣。面向東結跏趺坐。香花食菓燈

地用黃色云：

妙言如前某甲所求如意莎縛訶說伐施迦羅摩拏法

若欲呼召一切天龍鬼神等。著赤色衣。面向西結跏趺坐。香花食菓燈地等用赤妙言如前

說阿毘遮嚕迦法

若欲降伏一切惡鬼神及損三寶人天者。有多罪業障重衆生調伏難者。令發菩提心。修諸善業者。起慈悲心。著青衣。面向南蹲居坐。左腳香花飲食燈燭菓子地等。用青黑色護摩。妙言曰：

昨左隸祖隸隸准胎發吒已上金剛智軌取意

軌云不空說息災。增益。敬愛。調伏。四種法。扇底迦法○疾病國難。水旱不調。蟲損苗稼。五星陵逼。本命除滅煩惱。求解脫。後文

息災眞言
上同
噯者禮主禮准胎
今某甲爲他人
念誦稱彼名
扇底矩嚕二莎縛訶
今某甲爲他人
念誦稱彼名
布瑟置迦法。求命官策。伏藏。富饒。聰慧。聞持不忘。藥法成就。或作師子象馬類。以眞言加持三相現。隨上中下所求。獲果如蘇悉地廣說。欲求時明仙人阿蘇羅。囉及諸八部鬼神。窟求入者。皆得證地位。神通求二種寶。糧圓滿。速成無上菩提。是名增益法。本尊黃色。眞言如前今某甲

布瑟微合二矩嚕莎縛訶
伐施迦羅摩拏法。欲令一切人見者發歡喜心。攝心鈎召。若男若女。天龍八部。樂叉女。及攝伏難調伏鬼神。有諸怨敵。作不饒益

事皆令迴心歡喜諸佛護念加持名攝召敬愛法本尊赤色前發文真言如前今某甲轉試唱合莎縛賀

阿毘遮嚕迦法犯五無間謗方廣大乘毀滅佛性背逆君主惑亂正法於如是人深起悲愍降伏法以驢糞或燒尸灰塗填本尊黑色供養物黑色或青色餘前發文

眞言曰
吽者禮准照今某甲鉢羅合二喃伽多野吽發

已上不空軌取意

准照息災行之小野儀

大治二年十一月二十五日

鳥羽院御祈法務覺息災祈行之
金寶云息災係元四年三月十八日始百箇日師主御手替修之本尊等身三月十八日替像云云

傳受集云增益
私云軌照說四法增益殊勝延命尤吉云云

支度同承保年中
准照御修法七箇日支度不空軌云請七僧云云

合

五色糸各三丈五尺

蘇蜜名香沈子子

五香龍腦蘇合鬱金薰陸安息

五藥赤箭人參伏令石菖蒲天門冬

五寶黃金瑠璃白銀眞珠琥珀

五穀如例

壇一面

燈臺四本

油米等准例

臨机二脚
壇敷布

阿闍梨一口

伴僧

承仕

經仕

見丁准例

淨衣黃色

右注進如件

承保五年二月十日行事僧義範

獨部經意明鏡一面云云

先達被注支度彼經意云云

天台行林抄有之獨部云以一新鏡於佛前月十五日夜燃安息香結印誦呪一百八返以鏡依鏡爲壇得成就云云

經云金智於淨潔鏡面以好花念誦一百八返散置鏡上使者即現鏡中云云

又取好花散鏡面上即有善惡相自現鏡中云云作法如前私引之

道場事

經云金智若於佛像前或於塔前若清淨處以羅摩夷塗地而作四肘方曼荼羅復以花香幡蓋飲食燈明燭火隨力所辦依法供養○於曼荼羅四角及中央置一香水瓶行者於西向東方踰跪念誦一千八十返云云

軌云金清淨澡浴著新淨衣嚴飾道場先選擇便勝地東西南北各取四肘作方曼荼羅掘深一肘除去骨石磚尼惡土髮毛灰炭○以好淨土填滿築平羅摩夷香湯相和塗地若在建閣或居船上依法泥塗或在山中及好淨屋○張天蓋四面懸幡云云

用本尊事付諸尊

又云若有本尊七俱佛母形像安置曼荼羅中面向西若無本尊有諸佛像舍利及大乘經典供養皆得云云

帛覆本尊事

軌云不空以帛覆像念誦時去覆帛瞻禮供養念誦畢却以帛覆慎勿令人見何以故從師受儀軌畫像法若轉與人呈像被魔得便當須秘密云云或云餘尊准知皆如是軌

行人不簡淨不事

獨部法云建立曼荼羅結印誦呪能滅十惡重罪成就一切百法功德作此法不簡在家出家飲酒食肉有妻子不簡淨穢依我法無不成就云云

行事可忌事

軌云無畏威儀忌法不得左右手洗口不得兩脚相揩洗脚不得仰臥不得等閑涕唾不得喫芸薑不得喫馬齒菜欲出門須彈指道場中不得語笑不得喫胡瓜不得喫蘿蔔不得抱小孩兒不得手觸犬不得喫美右物若犯者令法不成云云

念珠事

軌云不空即取菩提子念珠具一百八依法貫穿即以塗香塗其珠上云云

起首日事

經云不空從月一日至十五日軌云金智從月一日至八日息災

從八日至十五日增益

從十六日至二十三日攝召敬愛

從二十三日至月盡降伏

足觀。一、真言字活出光明。照六道四生輪迴有情。深起悲愍。施與安樂。用○九字

布列行者身即成以如來印八大菩薩所
 加持身若作息災增益降伏敬愛隨四種
 法所謂白黃黑赤成辨悉地即結布字印
 二手內相叉二大指二頭指二小指相合
 直豎。庵安頂上以大指左字兩目意禮字以
 大指左右祖字安頂上禮字當心以大指
 安左右肩泥字安頂上禮字當心以大指
 大母指安左右肩泥字安頂上禮字當心以大指
 小指安左右肩泥字安頂上禮字當心以大指
 詞字安左右肩泥字安頂上禮字當心以大指
 者身成准抵佛母身滅除一切業障積集
 無量福德吉祥身成金剛不壞體常尊住
 觀行一切悉地得現前速證無上正等菩
 提云

本尊根本印師口三古印又云法螺印
口云二頭如蓮葉內三古印云
 秘印

軌云金智准提佛母根本身契

以二手小指二無名指相叉入掌二中指
 直豎頭相著二頭指以指附二中指上節
 側二大指各附二頭指側即成妙言誦根
 本陀羅尼上解云以解頂

不空軌此處說大呪云

後僧正真然御口傳云地水交入掌中二

大直豎頭指合屈風著火背空著風側云

寬平法皇念律師同此印用給時文有異

又印言不空軌云堅固金剛印云意有之注
下仁濟云此法正命也此印相應也

軌云金智第二根本契以二手向外相叉

二頭指二大母指並直豎即成妙言日

護菩薩故用印印精進波羅蜜說文堅固印云
 娜慕顯珍南去一三藐三勃陀去俱抵南

不空 他三庵左隸五祖隸六准泥七

莎縛二合詞

小呪

花藏院集云小呪

庵者禮准抵安喇賀

金智軌云誦根本陀羅尼三七返已然後

但從庵字誦之云

又印言次出小呪息災法所
惠什云准抵法無大小呪只一真言云

軌云不空第二根本印用護身說文如金剛
之仍尋誦佛母心真言印身五處心喉頂散

眞言日

庵迦麼黎尾麼黎准泥娑囉二合賀

結護身印時起大慈心遍緣六道四生願

一切有情被大誓莊嚴堅固金剛甲冑速

證無上正等菩提云

私云金智軌二印用大呪不空軌二印

二呪有之可察

正念誦事（兼書四五七）

軌云金智○取數珠安二手掌中合掌誦

前陀羅尼三返淨珠又以二手二無名指

二大指捻珠上二手相去一寸計妙言日

庵微路遮那何麼囉莎囉二合賀

誦三返淨珠已以自心想七俱抵佛母口

中有陀羅尼一々字放五色光入行者口

裏安自心中右旋布置即誦本尊陀羅

尼一返以右手無名指捻一顆珠○不急

不緩不得高聲分明稱字○念誦一千二
 千乃至三千五千返○如有緣事不得減
 數至一百八返已下此名聲念誦若求出
 離生死作此三摩地云取意

軌云不空結根本印誦眞言七返頂上散

印○以二手掌中捧珠當心誦七返加持

念珠

眞言日

庵吠盧引遮那麼囉娑婆賀

頂戴心口作是願本尊諸佛菩薩加持護

念同等事觀自身同本尊○於身前壇中觀

想七俱知佛母與眷屬圍繞坐一百八返

或一千八十爲念誦返數若不足一百八

返不宛求悉地返數念誦了已蟬珠於掌

中頂戴發願○以我念誦功德一切衆生

所修眞行求上中下悉地速得成就安珠

於篋中云

師云庵以下可用云

字輪觀

軌云金智想自心如一滿月湛然清淨內

外分明庵字安心中左隸祖隸准抵莎囉

詞字從前右旋布輪緣觀一々字義○庵

字門流注不生不滅義於一切法爲最勝

義左字於一切法無行義隸字於一切法

無相義祖字於一切法無起住義隸字於

一切法無垢義准字於一切法無等覺義

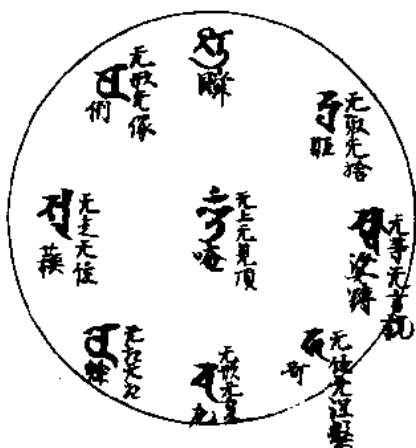
泥字於一切法無取捨義莎囉字於一切

平等無言說義詞字門者於一切法無因

寂靜無住涅槃義所說字義雖立文字皆

無文字義○諦觀一義相周復始無記
無數不得斷絕不斷絕者謂流注不生不
滅最勝義由不生不滅最勝義是故無行
爲無行義是故無相爲無相義是故無起
住爲無起住義是故無等覺爲無等覺義
是故無取捨爲無取捨義是平等無言說
義是故無因寂靜無住涅槃爲寂靜無住
涅槃義是故不生不滅最勝義無斷周而
復始此名三摩地念誦云

不空軌云結定印端身閉目澄心靜意當
於臍臆身內炳現圓明如滿月皎潔光明
起大精進決定取證能不懈怠必當得見
本源清淨之心字義略之
又云般若相應無所得以爲方便入勝義
實際則證法界真如以此爲三摩地云



或云軌說用不有意云
金寶抄到等云
相傳書有之
石山被付歟

覺禪師卷第五十二 (准照)

散念誦

佛眼 大日 聖觀音 本尊 萬金九十
云七十萬返云 千手 馬頭 十一面
如意輪 降三世 護摩
一字金輪 大德都
伴僧呪本呪
御加持同之

護摩

部主 聖觀音 勤修寺云准部法也
父釋迦 口准部主或云四親近之薩婆故以
或馬頭 小野 大日台 實勝云金大日
諸尊 六觀音 又三十七尊
實勝云後火天段止北斗段行之
金○奉請心也云
撥遣

軌云金智結前車轆契以二大母指向外
三度撥中指頭誦妙言曰
唵觀嚩嚩莎囉訶誦三返
復結前迎請契以二大母指向外三度開
即成逆還本宮妙言曰
唵左緣祖緣准抵藥車上々々婆伽去囉
底莎囉二合囉縛喃布娜喝還 二合 哦摩
那耶莎囉訶誦三返不空軌同

讀經印佛
又云出道場隨意經行誦誦大般若或花
嚴或無邊門或法花楞伽涅槃大乘經論
等思惟講說或以七俱胝佛塔印用香泥
砂上紙上隨意印之多少如念誦有功德
如經所說云々不空軌同

小壇事 付炎魔天供初夜時許行之
小壇事 小野傳也

勸修寺云或人云准抵法小壇行加或帝
釋或炎摩天也云
或人云今法延命法故供炎魔天
如何文度可書之小野流也

獨行法云無畏授三藏口傳密意云
若比丘比丘尼童男童女命欲終盡不問
宿殃大橫但去命盡三七日得遇此法勸
闍羅王令幽冥處更與延壽合終之命却
得增壽云

每一灌頂增二十一年壽命長短悉自能
知云
十卷抄云灌頂者入此法無常釋事可尋本文如何
伴僧勤之無器者時了阿闍梨行之

准抵牛黃藥加持作法
若准抵御修法若護摩若只供之時先安
置牛黃佛前欲入時之神分以前加持
牛黃以三指杵或印用軍荼利小呪如常
次本尊眞言 次易產呪
孔雀明王呪 延命呪 各七返但本尊
然後神分供養法等如常

牛黃磨事
或說自發願結願散念誦後每
時以五呪香水加持云々可尋
臨產生時取產者生氣方水以上呪等呪
之水入名香次一間籠居勤仕之若屏風
立迴云々先入件水白地以吉里々々眞
言加持水二十一返如常取右手牛王磨
之以左手念誦誦准抵呪千返爲限

御產安穩 無諸災難 但依有權此水可令痊
產生期磨迴產門 下云或說令吞云

賢覺云。本文有許聞未及見之。但師資相傳口傳也。

尊師聖實僧正天曆皇帝降誕時加持之云尋
相承次第還和院僧都傳勝覺僧正云
傳賢覺云々

三寶院權僧正勝待賢門女院御產之時
度々被勤仕之。如有効驗補任權僧正云

(裏書四五八)

私勸長者次第云天治二年五月二十八日
任權僧正女院御座貴不經法印實否可尋

法眼寶覺美福門院御產四箇度勤此役
每度易產就中近衛院誕時王子誕生之
由兼被觸申民部卿顯賴又故三條河自仲至
云云

右曰傳中產生安穩呪一兩有之略之

舍利放光明事接入之

經云金智取舍利骨七粒。於白琉璃碗中盛著。取醍醐半升。亦盛著碗中。於白月十五日夜。香臺前。及華堵裝塔前。塗一二肘方曼荼羅。置碗中。取好花供養。西面著一香爐。燒安悉香。厥々念誦。舍利放光。云伏大鬼神法也

生出舍利事

又云或生出舍利時行者香爐發願禮拜
卽出取舍利盡飲取醍醐舍利盛一琉璃
瓶中以五色綵囊盛之頂戴卽無量俱胝
佛常逐行者諸鬼神等自然降伏作法時
一日一夜不食云々

又云。舍利塔前。○念誦右繞。滿七七日。卽現阿鉢羅。是多菩薩。及呵利底菩薩。隨其所願。皆滿足云。

建仁元年八月八日年五十九撰之更
不可他見且有憚又集前後文極見苦
故祕法條證文可見金剛軌云有苾芻
々々尼歸婆素迦卽婆斯迦發菩提心
行菩薩行○先須入三摩耶灌頂道場
○愛樂大乘菩薩戒行○修四無量發
四弘願可入此祕密法門云々
布字身念誦也正念誦音聲念誦也字
輪觀三摩地念誦也卽三密相應身口
意清淨義此本軌見能々可察可開口
傳也餘尊法以之可准知也

佛子覺禪云

又不空軌云。愍念未來薄福惡業衆生。卽入准胝三摩地。說七俱胝佛所說陀羅尼云。

于時弘安四年辛巳四月三日、沒後
於高野山勸學院爲佛法興隆寫了云

正應三年十月二日於釋迦文院書寫了

永仁第六天八月十日以釋迦文院本寫之

正平十二年西曆六月二十日以勢州向陽山本於室生寺閑寂臺颺筆者也

天授六年庚申孟夏下旬之候以彼御本
染筆了順盛

書四五二

大谷闍梨列八大觀音梵號。不入准
 胝也

四三

傳受集二云天人丈夫觀音聖者身也

石山云准謁觀自在菩薩云：「道場觀見。」

勸修寺云蓮花部尊也云
經云金甍有一去冷大海巖或可者

間。砂坦之上。以塔形像印。印砂坦上。

爲塔形像念誦一返卽成一塔數滿六十萬返卽得覩見聖者觀自在菩薩之像或見多羅菩薩金剛菩薩隨其心願皆得滿足正觀自在准胝歟餘士歟

書 四五四

除睡眠事

軌云日照吉帝伊帝彌帝毘伽肥殖
帝波陀莎賀右呪除眠塗地香泥燒

○ 安息香誦一百八返。誦誦時。吟律誦七返。其睡永無。菩薩足力強記云。

除口舌事
又云。除口舌利官治病患呪
數々宿婆々々阿徑婆々々究吒

斷五辛。具齋戒。二七日內。入此道場。卽增祿。若迫怨家。橫爲口舌。每夜三

時向本尊誦真言百八返。每一返稱其名字。即解怨結。如親父母。

〔藏書〕四五五

傳受集二云。天人丈夫觀音。青白色。左手施無畏。或云。多摩利師子佛身。應體也。天人丈夫名迹化門使者也。大日疏云。此如來境而生云。

〔藏書〕四五六

不空經云。若在家菩薩修持戒行。堅固不退。誦此陀羅尼。常生天趣。○若在家菩薩具諸禁戒。三時念誦。○證無上菩提云。文頗廣。金智經同之。

〔藏書〕四五七

無部母事
今法。本軌意。不說部母印言。私云。本尊即佛母故。歟。可尋。行林云。正念誦。

先部母 次大日 次本尊
一字 又部母云。可察也。

〔藏書〕四五八

注進 准抵佛母御修法支度事

五色糸各三丈五尺

蘇 蜜 名香

五寶 金、銀、眞珠、珊瑚、水精

五香 沈、安息、薰陸、白檀、白膠

五藥 檳榔子、呵梨勒、遠志、甘草、石

菖蒲

五穀 稻穀、大麥、小麥、大豆、胡麻

御明油 壇供米

阿闍梨 伴僧 承仕 駝仕

見丁 淨衣白衣

右注進如件

元永二年五月十四日

阿闍梨權少僧都

壇等自本有之。仍不載此支度耳。

自來二十一日始修件法。可令祈請。

中宮御產平安之由。有院宣者。此支

度令進了。

賢覺牛玉加持口傳之中。載云。遍

知院僧都云。

賢覺永治元年。皇后宮御祈支度

有別。如普通修法。

金寶抄云。師主口傳云。准抵法。求兒

修此法云。

經云。金智若無男女。○以牛黃於樺

皮上書此真言。令帶。不久當有男女

云。

又云。牛黃半兩。搗作末。以蘇和。於佛

前。○念誦五千返。服之。得聰明云。

又云。取牛黃。念誦令煙火出。即塗目

并服之。見鬼神云。

天台葉衣支度牛黃一果云。

或支度牛黃。自本有本房云。

此等事可沙汰也。

覺禪鈔 阿麼鉢

阿麼鉢觀音法 息災或云天下火
平祈行之云。

本書

觀自在菩薩阿麼鉢法一卷

禪林請來。三枚。祕錄無之。

題注云。無人名。觀自在菩薩現身令見。

法元起事

軌云。昔于闐國有清信士。精心持念。觀自

在菩薩真言。願見大聖。彌歷年歲。不遂宿

心。執志不易。倍復精勤。後於一夕。聞空中

聲曰。汝往隣國。謁彼某王。行者依言。即往

彼國。聞王法。令非常嚴酷。有犯必刑。修行

者遂謁其王。因蒙汲引。詢問所欲。白以本

求。遂近入後宮。悉如淨佛刹土。王乃觀自

在菩薩也。行者白菩薩曰。大聖治化。豈用

於刑戮。大悲何在。菩薩告曰。此土衆生。剛

強難制。吾敏誘道。分身爲王。所刑戮者。皆

化人耳。使彼橫俗。畏威從風。政令若成。吾

當隱矣。行者被王留住數月。通悟大乘。後

乃辭歸。默然而許。修行者白菩薩言。弟子

有幸遇大聖。慈悲得見。聞法。親沐慈化。十

二年來。方獲斯驗云。

示未來法要事

又云。於未來世。有求見菩薩者。宿心不易。

久受勤苦。空無所成。疑心一起。謗法獲罪。

唯願慈悲。示未來法要。菩薩告言。我有阿



圖像 No. 175. 阿 婆 羅

勸請

阿摩羅尊大悲者 蓮花部中諸聖衆

發願

阿摩羅尊 觀自在尊 蓮花々々

梵號 變謨阿利也阿摩羅薩多埤藥多

護摩事

部主 大威德 或聖觀音

諸尊 六觀音 又三十七尊

伴僧 誦陀羅尼

後加持 馬頭或聖觀音 加歸命句

眞言功能

軌云。菩薩說是眞言已告行者言此眞言有大神力。能滅衆生一切業障。速獲神驗。所求如意。若欲持眞言求見觀自在菩薩。結護加持供養。儀軌竝依大教。蘇悉地經。及金剛頂瑜伽所說次第。先須志心誦滿千返。

毫相光入行者身事

又云。想菩薩毫相之中有兩道光。一道直入地獄中。救苦衆生。令得解脫。一光來入修行者頂。想遍己身。衆惡諸業。皆悉消除。內外清淨。如是觀想念誦志心見我。我爲彼現身滿其所願云々。

五逆罪人見本尊事

又云。一日一夜持三昧現前。若犯五逆重罪。兩日兩宿當見云々。

又云。汝可受持。設有會犯五無間重罪者。兩日兩夜精勤念誦。必當得見。何況本清淨者。除不志心云々。

正治元年八月十九日抄之

覺禪

本尊一鋪 文治三年六月七日於綾小路之壇所傳師以行通圖之

心覺阿闍梨云。卷數支度如聖觀音

私云。兼意闍梨抄可尋見

聖賢闍梨法務御房申云。禪林錄阿摩提

觀音法秘法依云々

嘉曆二年丁卯二月十日於靈山院西

坊以草本寫了 金剛佛子惠海

正平十年乙未六月十二日以右本於

閑寂臺馳筆了 金剛末賁元寶

天授六年八月十八日以彼御本於本

願院書寫了 權律師明式

延寶八年歲次庚申初冬十日於吉祥

園院挑青燈寫功訖於闍像令屈輪師

了一交了 佛子榮佐

覺禪鈔 多羅尊法

多羅尊法 私勘云。蘇摩呼經下云。多羅此云妙目精云々

種子 青蓮花

三形 青蓮花

尊形

(裏書四六〇)

經一云。彼右名稱聖者多羅尊。青白色相

雜。中年女人狀。合掌持青蓮。圓光耀不迴

暉發猶淨金。微咲鮮白衣云々

疏五云。於觀音右邊。畫多羅菩薩。作中

年女人狀。不太老太少也。青是降伏色。白

是大悲色。其妙有二用之中。故令二色相

合。不青不白也

其像合掌掌中持此青蓮花。手面皆向觀

音。如微咲形。通身圓光。妙淨金色。被服白

衣。首有髮髻。作天髮形。不同大日髻冠也

攝無礙經云。多羅菩薩。頂上髮髻冠。身相

青白色。中年女人狀。定惠青蓮花。圓滿周

遍光。暉發猶淨金。微咲鮮白衣。嚴身無有

極云々

圖像 一七六

(裏書四六一)

圖考 三七

高尾本無蓮。只蓮合掌也

綱索經二十一云。多羅菩薩微少低頭。二



圖像 No. 176. 多羅菩薩(其一)







圖像 No. 177. 多羅菩薩(其二)





軌咄咄水歟

【真書】四六〇

般若云。世尊眼相縱廣。譬如青蓮花葉云。

又云。八十隨好。世尊眼淨青白分明

文

瑜祇經云。多羅爲二目文

【真書】四六一

又授記經有此像。但身綠黃色

【真書】四六二

授記經云。觀自在菩薩。入於普光明多羅三昧。以三昧力。從其面輪右

目童中。放大光明。隨光流出現妙女

形。無價雜寶爲嚴身。如融真金映瑠

璃文

左手持青蓮。右手仰安臍。上文

菩提場一字頂輪。王經二云。畫多羅

尊。種々嚴具莊嚴。著輕縠衣。其形不

太龜。不太細。中扇形。右持青蓮。左手

施願。坐蓮花上。作淺綠色云。

面像左持蓮花。此像持右蓮花也。

不空羼索經八云。多羅菩薩。照怡瞻

仰。左手執持青優鉢羅花。右手仰伸

膝上。中指大指相捻。半跏趺坐。云。

面像右手施無畏也。此圖右手仰中

指大指指頭相捻云。

【真書】四六三

正念誦。伴僧後加持

唵多喇咄多利吽

唵多喇咄多利吽

唵七哆去利哆八都多去利九都

多利十咄喇上莎去訶十一

歸命句略之。出觀自在菩薩隨心呪

經。在三卷真言集

又云。以右手作拳。以大指頭指相捻

卽印頂

又云。內縛。豎合頭指。青蓮華。心真言

曰

唵鉢娜摩多喇吽

覺禪鈔 被葉衣

被葉衣法七 祕錄

葉衣觀自在菩薩陀羅尼經一卷

【內略陀羅尼字不空譯】

貞元入目錄。圓覺。海列外題。仁列內題云

葉衣觀自在菩薩法一卷

梵字葉衣心真言一本。仁。廣澤云。或本軌云

葉衣觀音法 息災 成調伏

形像事 四臂

葉衣陀羅尼經云。不空。若國內疫病流行。

應取白氎。闊一肘半。長二肘。先令畫人潔

淨。齋戒。以置摩夷汁。和小青綠。以香膠和。

勿用膠。取鬼宿日。畫葉衣觀自在菩薩像。

其像作天女形。首戴寶冠。有無量壽佛。

瓔珞環釧。莊嚴其身。身有圓光。火焰圍繞。

○像有四臂。右第一手當心持吉祥蓂。第

二手作施願手。左第一手持鉞斧。第二手

持網索。坐紅蓮花上。文

【圖像】一七九

【圖像】一八〇

右像高雄圖也。實運僧都云。右手持如意

幢云。

小野圖蓮上立一古。後入唐圖右三莖未

數蓮也





圖像 No. 180. 披葉衣(其二)

十卷抄云右未敷蓮云
攝無礙經云頂上大寶冠誓現無量壽身
相白肉色左定說法印右惠未開蓮商怯
軍坐白蓮云

行法付金界

勸請句

本尊界會觀世音 蓮花部中諸聖衆

發願句

梵號

密號

種子

三形

亦鉞斧

道場觀

壇中有

成月輪

成葉衣

冠中有

背後圓光

祥葉第二

二手持

又將並

字輪觀

印

心真言

合

咤

一鉢

合

三

業衣經云觀自在菩薩陀羅尼能除一切
有情災禍疫疾飢饉劫賊刀兵水旱不調
宿曜失度亦能增長福德國界豐盛人民
安樂文

又云誦此陀羅尼一返即護自身若誦兩
返即護伴侶若誦三返即護一家若誦四
返即護一聚落若誦五返護一國界文已上

又印言等

右手與願印 左手作持索勢安養同之

又金合掌

觀自在業衣菩薩心真言出業衣經

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

又金合掌

羅摩所摩羅四捨摩鉢羅二捨摩五親奴
尾都奴二親黎親母黎婆二賀
成喜云大師請來以三十帖本書之梵
字業衣觀音真言以同書梵漢共恒備
也以下云

正念誦用心真言但小呪也

散念誦

佛眼 大日 本尊小呪 八字 馬頭

護摩 一字

御加持 小呪 伴僧同之

護摩 正觀音

諸尊 六觀音

業衣鑑

天養元年十月二十三日

有鎮事四人伴僧持四方札誦吒奇王真

言一匝大壇了上方四枚大阿闍梨持之

御卷數所載真言大日佛眼本尊八字馬

頭八方天護摩一字燒供時以後八人伴

僧各配八方天真言令誦之小壇机二重

立之內院地下四方入筒立之四隅立之

支度鐵鋤金鎚被入之

已上別紙

又云二十八枚札磨牛玉合朱書之

乃札云二十四帖問之

四箇石同以朱四石各書地下四藥又真

言也

言也

言也

言也

言也

言也

於鎮者第七日也。雖然依日次第五日第六日無失數。但於本尊像結願了後可上之。

金剛合掌用之

又印

內轉進力二度立小開禪智

車輪次招請印 右手把左腕於頂上左手四指來去

義謨吠室羅末摩薩也。廢地以瑟捺羅薩也。悉地婆嚩都婆婆訶。

四天結護印 二小又入二無二中指開立二頭二大指

二十八部大將總印外五結印用之

舍家四方柱四角舍上柱角舍下隅繫

二十八部大藥又真言各以六種供物可供。

供啓告

唯願二十 八大藥又 并諸眷屬

各住本方 護持守護 某甲除災禍

不祥疾病 天壽獲得 色力增長

聰惠威肅 端嚴具足 易益易長

壽命長遠三返

此二十八部大將呪書之。各本住方繫之。即疫病消滅。家內安穩云。

第一法中 私云於現有驗者

先靈尊像如經說

大可儲道具。賢瓶一口 滿盛香水。插花菓樹枝。

懸像竿一枝 有龍頭。法螺二口。

大鼓加拔 磬二口加拔。

香爐三口加香壺

已上物兼日置壇場內。以辨事真言等加

持之。於壇場內安置所畫佛像。七日七夜修護摩法 可具助修

至第七夜。正作遣除法。於初夜時。修供養

至念誦。念誦已了。未修護摩。阿闍梨助修

相共先作三部被甲。然後出壇場。一人

持賢瓶。心真言加持。三返誦之。持之

一人持懸像竿 無問新誦大陀羅尼。

二人吹螺 誦王真言。加持。

二人擊鼓 誦王真言。加持。

二人鳴磬 誦王真言。加持。

二人誦讚 誦王真言。加持。

三人持香呂 燒安息香。其香以心真言加持。一百八返。又淨人持香。

阿闍梨在從出行結根本印。而無間斷誦

大陀羅尼 或持之。引入王宮。從南行入右邊

一匝。又從南門而出。後從東却遠城坊市

一匝。便從城門出。於城南門外大水瓶處

於中置此。飯食雜藥及錢等。至彼所阿闍梨誦

妙色身。如來真言。加持瓶七返。真言曰

義謨婆嚩嚩帝蘇嚩婆耶。二但。他。誦多耶

婆嚩訶。

又誦陀羅尼七返。真言句 其句可稱國王

名字加持之。可國王除災安穩增長。實

路側曠野棄擲水瓶。令破。作是告言

閻魔界中行病鬼等。汝等受領此飲食而

歸。於諸有情起大慈心。令此國界無諸災

難。金剛合掌誦了。私云。誦心經仁王經

次阿闍梨助修三部被甲。然相共還入

壇場。安置佛。修護摩法 以下諸法。第三法。又

七日七夜。修護摩法。書二十八部大藥。又將

真言。建立別壇。隨其方位而置之。經云。於二

又將位。各。白。次。辨。修。諸。供。具。經云。壇上燒香

以助修一人。每日令勸請供養。經云。令

經云。虔誠啓告

唯願二十八部大藥。又將并諸眷屬。各位本

方護持某甲。爲除災禍。不祥疾病。天壽。獲

得色力增長。聰惠肅。端嚴果報。具足長易

養。壽命長遠。私云。經文。真言。已。在。供。養。時

次至第七夜。作護持法。於初夜時。供養法

至念誦。念誦已未修護摩。阿闍梨助修。相

共先作三部被甲。然後持所寫藥。又將

真言出於壇場。到彼所居之處。隨諸方位

次第帖之。帖真言了

又阿闍梨助修。三部被甲。然後相共還

入壇場。修護摩法。供養啓白。大藥。又將

第四是除難灌頂法也 其可

自餘別法如文。又有口決。已上責任

廣澤口傳云。大呪了文

或本軌二十八部大藥。又將後入此真言。其後

有帖真言已等文。可尋之云。

或人云。書此真言一通。令帶。患瘡者。即除

瘡云。

成就院云。平等房云。此法有鎮事。別紙注

之云。

葉衣御修法。一七箇日支度。天台

御佛一體。御等身。可仰佛師

護摩壇一面。壇敷。燈臺四本

脇机二前 禮盤一面半疊
壇供燈明人供等如常

蘇蜜 名香五香

芥子袋 大幕一帖

小壇一面 方四尺 壇數

小禮盤一面 半疊 脇机一前 米二斗八升

五穀各三合 油五合

手作布五尺六寸

已上每日料

裏黑二十八口 小春日七十

牛黃一果 厚絹五尺六寸

淨衣白色 雜人等淨衣

右注進如件

應德三年正月四日

仙陽房三宮御祈修之 右大臣仰進

名香 龍腦 沈水 蘇香 丁香 薰陸

牛黃在房 米砂 可具

造石四可具 方三寸許厚 切釘少 可具

小壇一面 方五尺許可具

小禮盤一面 小脇机 大壇具等如常仍不註

淨衣白色

康平八年二十四日七箇日於花山院

業衣御修法良宴

功能事

業衣經曰時金剛手菩薩頂禮觀自在菩薩足白觀自在菩薩言聖者住大悲解脫如幻三昧能除一切有情苦惱與世出世間利益安樂假使三千大千世界一切衆生同時有種々苦惱及八難苦或希望世

問出世果報若能一心稱念觀自在菩薩摩訶薩名號應時不捨大悲誓願即現種種隨類之身能滿衆生一切勝願亦能護持國界拔濟苦難能攝受養育增長吉祥亦能遮止凶禁苦刑亦能銷除蟲毒鬼魅及諸惡病亦能臨陣禁制刀杖亦能除水火災難亦能斷除獻禍呪咀亦能結護方隅地界唯願聖者哀愍未來一切有情國王男女淨信三寶護持佛法相承王業勿令斷絕爲彼等故說軌儀陀羅尼加持方便文

又曰欲求長壽無病者隨意大小於白氈上畫業衣觀自在菩薩像如前四臂於施願手下畫彼求願男女其像置道場中每日香花飲食旋繞供養發願常得加持滿其所願

又法若國王男女難長難養或壽命短壽疾病纏眠寢食不安皆由宿業因緣生惡宿直或數被七曜陵逼本宿令身不安則於所居之處用牛黃或紙素上書二十八

大藥又將眞言帖四壁上先東方壁上帖四大藥又將眞言從東北角起首又法應畫本命宿直像每月供養若作如是法者其惡宿直轉成吉祥復以白檀香

炷作業衣觀自在菩薩像竝於檀皮上書此眞言共帶若作此法取鬼宿直日受灌頂其灌頂瓶以紺繫瓶頸滿盛香水水中著七寶及五種藥云

信運閑梨云白衣業衣雖異名一體尊也

但本尊別也從此白蓮花出生故名業衣疏五意

建曆二年八月比抄之 覺禪十年七同十月十五日於淨土院清書了

寫本云 嘉曆二年卯十二月六日於大和州釜口靈山院西坊誦筆師以草本令書寫

畢 正平十年未乙五月五日以右本於閑寂臺馳筆了 金剛末資元寶

天授第 曆極月十四日以彼御本於本願院馳筆了 律師順成

明曆三丁歲次十一月二十日於勸修寺長吏御房則依法務鈞命膳寫訖

沙門榮俊

二手內相又翹豎大母指

此印者經不出理性依師傳用之云

或云二手左覆右仰背相著十指互相背鈎豎如斧形



